

# 下館銅屋遺跡発掘調査報告書

主要地方道弥栄金成線道路改築工事（金沢街道踏切）関連発掘調査報告

《分冊 1 本文編》

## 序

岩手県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地にあり、平成6年度現在で8,771箇所にあぶ遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、私たち県民に課せられた重大な責務であります。

一方、本調査の原因になりました県道花泉金成線整備事業を例にあげるまでもなく、生活・産業基盤の整備や生活の利便性を目指した地域開発もまた県民の切実な願いであります。埋蔵文化財の保護と地域開発との調和のとれた施策が今日的課題となっております。

財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財の保護の立場に立ち、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむをえず消滅する遺跡の発掘調査をおこない、その記録を残す措置をとってまいりました。

本報告書は、縄文時代早期末から近世にいたるまでの人々の生活の跡を残した下館銅屋遺跡の発掘調査の成果をまとめたものであります。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財、ひいては先人に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご協力とご援助を賜りました岩手県一関地方振興局土木部をはじめ、花泉町民の方々、花泉町教育委員会などの関係機関の方々に、心より深く感謝申し上げます。

平成11年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 船越昭治

## 例 言

- 1 本書は、岩手県西磐井郡花泉町字花泉大字館77-5ほかに所在する下館銅屋遺跡の発掘調査結果を収録した。
- 2 調査は、岩手県道花泉金成線整備に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は、岩手県土木部一関土木事務所（平成8年度より岩手県一関地方振興局土木部に改組）と岩手県教育委員会事務局文化課との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、埋文センターと略称）の受託事業としておこなわれた。
- 3 野外調査は、平成7年度に開始され、平成8年度に終了した。
- 4 室内整理は、平成7年度・8年度は11月1日から平成8年3月31日までの5カ月間、平成9年度は室内整理のみを1年間おこなった。
- 5 調査と整理に関わる事項は「Ⅲ 調査と整理・報告書」に記載する。
- 6 本書の執筆と観察表の作成は松本建速がおこなった。
- 7 分析や鑑定・保存処理・遺構平面実測図作成およびトレース・遺物実測の一部は次の個人と機関に依頼・委託した（順不同・敬称略）。記して、深く感謝いたします。  
石材鑑定委託：佐藤二郎（長内水源工業）  
金属器保存処理・鑑定委託：川崎テクノリサーチ  
黒曜石原産地同定：藁科哲男（京都大学原子炉実験所）  
火山灰分析：古環境研究所  
遺構平面実測図作成およびトレース：シン技術コンサル  
石器（石鎌・石錐・石匙）実測・トレース：アイテック環境研究所
- 8 野外調査および室内整理を通じて、多くの方々からご教示・ご協力を賜りました。お名前を記して感謝いたします（五十音順）。  
井 憲治（福島県文化センター）・木村 高（青森県埋蔵文化財調査センター）・後藤 円（花泉町教育委員会）・佐々木繁樹（宮城県立若柳高等学校）・佐々木浩一（八戸市教育委員会）・鈴木良一（福島県文化センター）・中村良幸（大迫町教育委員会）・能登谷宣康（福島県文化センター）・丹羽 茂（宮城県多賀城跡調査研究所）・本間 宏（福島県文化センター）・森村健一（堺市埋蔵文化財センター）
- 9 野外調査参加者：阿部恵美子・阿部昭幸・阿部俊一・阿部民男・阿部千代子・阿部政子・阿部由喜・伊東和歌子・小野寺みわ子・加藤 孝・加藤たか子・金今義彦・小金森すみ子・小金森浩子・小金森千代子・佐々木由紀・佐藤貴津子・佐藤喜久子・佐藤さつき・佐藤勝子・佐藤 武・佐藤つゑ子・菅原いつ子・菅原恭子・菅原幸子・菅原良子・菅原淑江・鈴木千代子・高橋洋子・千葉英子・沼倉貞子・山川靖一
- 10 室内整理者  
・遺物実測図作成：越場チエミ・浅沼則子・高倉京子・浅沼育子・川原悦子・下田美代子・藤村裕子・武田和子・滝沢玲子・村上宏子・村上喜美・泉谷久美子・藤沢洋子・中野崎真愉美・今 明子・鎌田律子・長沢比呂子・高橋サツキ・原田みな子・浅沼サヨ子・橋本順子・風張敏代・阿部尚美  
・遺物撮影：岩淵希士
- 11 調査に関する中間報告は、当センター発行の『調査略報』や、研究会等で発表してきた。しかし、本書が公式の報告書であり、上記の刊行物と違いがある場合、現時点では本書が正しいものとする。
- 12 調査に関する諸記録・遺物は岩手県立埋蔵文化財センターに一括保管されている（平成11年3月現在）。

# 報告書抄録

ふりがな	しもだてどうやいせきはくつちようさほうこくしょ							
書名	下館銅屋遺跡発掘調査報告書							
副書名	主要地方道弥栄金成線道路改築工事（金沢街道踏切）関連発掘調査報告							
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第297集							
編著者名	松本建速							
編集機関	(財)岩手県文化財振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL.019-638-9001							
発行年月日	西暦1999年 3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しもだてどうや 下館銅屋	いわてけんしらいわいぐん 岩手県西磐井郡 はないづみまちあぎはないづみ 花泉町字花泉 おおあぎなて 大字館77-5ほか		OE27 -2111	38度 51分 17秒	141度 10分 11秒	95年度 19950801 ～ 19951130  96年度 19960410 ～ 19971031	1,787    3,713	岩手県道 花泉金成 線整備に 伴う事前 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
下館銅屋	集落	縄文時代 早期末～ 前期前半 中期中葉～ 後期前葉  平安時代 9世紀～ 10世紀  中世末期	落とし穴12 各種土坑3 竪穴住居45 各種土坑572  竪穴住居19 各種土坑70  掘立柱建物12 井戸5 各種土坑25 溝3	【縄文時代】土器 (早期末～中期中 葉・前期前葉・後 期前葉中期後葉) 各種石器(石鏃・ 石錐・石匙・不定 形石器・磨製石 斧・敲石・凹石・ 石皿・石棒)各種 石製品  【平安時代】土師 器・須恵器・灰釉 陶器  【中世末期】中国 産磁器・内耳鉄鍋 鑄型		【縄文時代】中葉 ～後期前葉の黒曜 石製石鏃生産遺跡  【中世末期】 鑄物による内耳鉄 鍋生産に係わる遺 物		

# 目次

序  
例言  
報告書抄録

## [本文]

I	調査に至る経緯・経過	1
II	調査経過と調査・整理概要	2
	1. 調査経過	2
	2. 調査・整理概要	2
III	調査と整理・報告書	3
	1. 野外調査	3
	2. 室内整理	4
	3. 報告書	5
IV	周囲の環境	6
	1. 自然環境	6
	2. 歴史環境	6
V	出土遺構と出土遺物	11
	1. 概要	11
	2. 縄文時代早期後半から前期の遺構と遺物	25
	(1) 落とし穴・各種土坑	25
	3. 縄文時代中期から後期の遺構と遺物	27
	(1) 住居跡	27
	(2) 埋設土器	65
	(3) 各種土坑	69
	4. 平安時代の遺構と遺物	451
	(1) 住居跡	451
	(2) 各種土坑	460
	5. 中世の遺構と遺物	508
	(1) 溝跡	508
	(2) 掘立柱建物跡	509
	(3) 各種土坑・井戸跡	512
VI	分析・鑑定報告	547
	1. 下館銅屋遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析	547
	2. 下館銅屋遺跡の火山灰分析	557
VII	考察	649
	1. 出土した縄文時代中期末葉から後期初頭の土器について	649
	2. 大木9～10式土器を用いた頃の住居について	659
	3. 下館銅屋遺跡出土の石器について	672
	4. 遺跡の時代別遺物量の変化と土地利用の変遷—まとめにかえて—	684

[ 挿 図 ]

第1図	花泉町位置図	1	第41図	縄文住居跡(24) 7-34-SI2	62
第2図	凡例	5	第42図	縄文住居跡(25) 10-24-SI1・2・3・4	63
第3図	下館銅屋遺跡調査区とその周辺	7	第43図	縄文住居跡(26) 7-20-SI1	64
第4図	花泉町内遺跡分布図	10	第44図	埋設土器5-26-6-26区	137
第5図	遺構配置略図	12	第45図	縄文各種土坑(1)1-32・1-33区	138
第6図	遺構配置図(1)	13	第46図	縄文各種土坑(2)2-32区	139
第7図	遺構配置図(2)	14	第47図	縄文各種土坑(3)2-31・2-32区	140
第8図	遺構配置図(3)	15	第48図	縄文各種土坑(4)3-31・3-32区	141
第9図	遺構配置図(4)	16	第49図	縄文各種土坑(5)4-26・5-26区	142
第10図	遺構配置図(5)	17	第50図	縄文各種土坑(6)4-29区	143
第11図	遺構配置図(6)	18	第51図	縄文各種土坑(7)4-29・5-29区	144
第12図	遺構配置図(7)	19	第52図	縄文各種土坑(8)4-31・5-32区	145
第13図	遺構配置図(8)	20	第53図	縄文各種土坑(9)4-32・5-32区	146
第14図	遺構配置図(9)	21	第54図	縄文各種土坑(10) 5-25区	147
第15図	遺構配置図(10)	22	第55図	縄文各種土坑(11) 5-26・5-27区	148
第16図	遺構配置図(11)	23	第56図	縄文各種土坑(12) 5-26・5-27区	149
第17図	縄文時代遺構配置図	24	第57図	縄文各種土坑(13) 5-28・5-29区	150
第18図	縄文住居跡(1)	39	第58図	縄文各種土坑(14) 5-29・5-30・5-31・5-32区	151
第19図	縄文住居跡(2)	40	第59図	縄文各種土坑(15) 5-31・6-32区	152
第20図	縄文住居跡(3)	41	第60図	縄文各種土坑(16) 5-32区	153
第21図	縄文住居跡(4)	42	第61図	縄文各種土坑(17) 6-22区	154
第22図	縄文住居跡(5)	43	第62図	縄文各種土坑(18) 5-24・5-25・6-24・6-25区	155
第23図	縄文住居跡(6)	44	第63図	縄文各種土坑(19) 6-22・7-22区	156
第24図	縄文住居跡(7)	45	第64図	縄文各種土坑(20) 5-23・5-24・6-23・6-24区	157
第25図	縄文住居跡(8)	46	第65図	縄文各種土坑(21) 6-23区	158
第26図	縄文住居跡(9)	47	第66図	縄文各種土坑(22) 6-28・6-29区	159
第27図	縄文住居跡(10)	48	第67図	縄文各種土坑(23) 6-28区	160
第28図	縄文住居跡(11)	49	第68図	縄文各種土坑(24) 6-29・6-30・7-30区	161
第29図	縄文住居跡(12)	50	第69図	縄文各種土坑(25) 6-30・6-31区	162
第30図	縄文住居跡(13) 7-36-SI1・5-36-SI3・ SI4・6-34-SI1・SI2・SI3(1)	51	第70図	縄文各種土坑(26) 7-19・8-19区	163
第31図	縄文住居跡(14) 7-36-SI1・5-36-SI3・ SI4・6-34-SI1・SI2・SI3(2)	52	第71図	縄文各種土坑(27) 7-20区	164
第32図	縄文住居跡(15) 7-36-SI1・5-36-SI3・ SI4・6-34-SI1・SI2・SI3(3)	53	第72図	縄文各種土坑(28) 7-21区	165
第33図	縄文住居跡(16) 7-36-SI1・5-36-SI3・ SI4・6-34-SI1・SI2・SI3(4)	54	第73図	縄文各種土坑(29) 7-23区	166
第34図	縄文住居跡(17) 7-36-SI1・5-36-SI3・ SI4・6-34-SI1・SI2・SI3(5)	55	第74図	縄文各種土坑(30) 7-23・7-24区	167
第35図	縄文住居跡(18) 8-29-SI2・3	56	第75図	縄文各種土坑(31) 7-25区	168
第36図	縄文住居跡(19) 8-31-SI2・3・4	57	第76図	縄文各種土坑(32) 7-27区	169
第37図	縄文住居跡(20) 3-30-SI1・2・3(1)	58	第77図	縄文各種土坑(33) 7-28・7-29区	170
第38図	縄文住居跡(21) 3-30-SI1・2・3(2)	59	第78図	縄文各種土坑(34) 7-29区	171
第39図	縄文住居跡(22) 3-30-SI1・2・3(3)	60	第79図	縄文各種土坑(35) 7-30区	172
第40図	縄文住居跡(23) 5-32-SI1・2・3・4・5	61	第80図	縄文各種土坑(36) 7-31区	173
			第81図	縄文各種土坑(37) 8-20区	174
			第82図	縄文各種土坑(38) 8-22区	175
			第83図	縄文各種土坑(39) 8-24区	176
			第84図	縄文各種土坑(40) 7-25・8-26区	177
			第85図	縄文各種土坑(41) 8-26区	178

第86図	縄文各種土坑(42)	8-27区	179
第87図	縄文各種土坑(43)	8-28区	180
第88図	縄文各種土坑(44)	8-28・8-29・8-30区	181
第89図	縄文各種土坑(45)	7-31・8-31区	182
第90図	縄文各種土坑(46)	8-30・8-31区	183
第91図	縄文各種土坑(47)	8-30・9-30区	184
第92図	縄文各種土坑(48)	8-30区	185
第93図	縄文各種土坑(49)	8-24・9-23区	186
第94図	縄文各種土坑(50)	9-23区	187
第95図	縄文各種土坑(51)	9-24区	188
第96図	縄文各種土坑(52)	9-26区	189
第97図	縄文各種土坑(53)	9-27・9-28区	190
第98図	縄文各種土坑(54)	9-25・10-25・10-26区	191
第99図	縄文各種土坑(55)	10-22・11-22区	192
第100図	各種土坑(56)	10-23区10-23区	193
第101図	各種土坑(57)	10-24・11-24区	194
第102図	各種土坑(58)	10-25区	195
第103図	各種土坑(59)	10-25区	196
第104図	各種土坑(60)	10-26・10-27区	197
第105図	出土遺物	土器実測図(1)	198
第106図	出土遺物	土器実測図(2)	199
第107図	出土遺物	土器実測図(3)	200
第108図	出土遺物	土器実測図(4)	201
第109図	出土遺物	土器実測図(5)	202
第110図	出土遺物	土器実測図(6)	203
第111図	出土遺物	土器実測図(7)	204
第112図	出土遺物	土器実測図(8)	205
第113図	出土遺物	土器実測図(9)	206
第114図	出土遺物	土器実測図(10)	207
第115図	出土遺物	土器実測図(11)	208
第116図	出土遺物	土器実測図(12)	209
第117図	出土遺物	土器実測図(13)	210
第118図	出土遺物	土器実測図(14)	211
第119図	出土遺物	土器実測図(15)	212
第120図	出土遺物	土器実測図(16)	213
第121図	出土遺物	土器実測図(17)	214
第122図	出土遺物	土器実測図(18)	215
第123図	出土遺物	土器実測図(19)	216
第124図	出土遺物	土器実測図(20)	217
第125図	出土遺物	土器実測図(21)	218
第126図	出土遺物	土器実測図(22)	219
第127図	出土遺物	土器実測図(23)	220
第128図	出土遺物	土器実測図(24)	221
第129図	出土遺物	土器実測図(25)	222
第130図	出土遺物	土器実測図(26)	223
第131図	出土遺物	土器実測図(27)	224
第132図	出土遺物	土器実測図(28)	225
第133図	出土遺物	土器実測図(29)	226
第134図	出土遺物	土器実測図(30)	227
第135図	出土遺物	土器実測図(31)	228
第136図	出土遺物	土器実測図(32)	229
第137図	出土遺物	土器実測図(33)	230
第138図	出土遺物	土器実測図(34)	231
第139図	出土遺物	土器実測図(35)	232
第140図	出土遺物	土器実測図(36)	233
第141図	出土遺物	土器実測図(37)	234
第142図	出土遺物	土器実測図(38)	235
第143図	出土遺物	土器実測図(39)	236
第144図	出土遺物	土器実測図(40)	237
第145図	出土遺物	土器実測図(41)	238
第146図	出土遺物	土器実測図(42)	239
第147図	出土遺物	土器実測図(43)	240
第148図	出土遺物	土器実測図(44)	241
第149図	出土遺物	土器実測図(45)	242
第150図	出土遺物	土器実測図(46)	243
第151図	出土遺物	土器実測図(47)	244
第152図	出土遺物	土器実測図(48)	245
第153図	出土遺物	土器実測図(49)	246
第154図	出土遺物	土器実測図(50)	247
第155図	出土遺物	土器実測図(51)	248
第156図	出土遺物	土器実測図(52)	249
第157図	出土遺物	土器実測図(53)	250
第158図	出土遺物	土器実測図(54)	251
第159図	出土遺物	土器実測図(55)	252
第160図	出土遺物	土器実測図(56)	253
第161図	出土遺物	土器実測図(57)	254
第162図	出土遺物	土器実測図(58)	255
第163図	出土遺物	土器実測図(59)	256
第164図	出土遺物	土器実測図(60)	257
第165図	出土遺物	土器実測図(61)	258
		・土器拓本(1)・石器実測図(1)	258
第166図	出土遺物	土器実測図(62)	259
第167図	出土遺物	土器実測図(63)	260
第168図	出土遺物	土器拓本(2)	261
第169図	出土遺物	土器拓本(3)	262
第170図	出土遺物	土器拓本(4)	263
第171図	出土遺物	土器拓本(5)	264
第172図	出土遺物	土器拓本(6)	265
第173図	出土遺物	土器拓本(7)	266
第174図	出土遺物	土器拓本(8)	267
第175図	出土遺物	土器拓本(9)	268
第176図	出土遺物	土器拓本(10)	269
第177図	出土遺物	土器拓本(11)	270
第178図	出土遺物	土器拓本(12)	271

第179图	出土遺物	土器拓本(13)	272	第226图	出土遺物	土器拓本(60)	319
第180图	出土遺物	土器拓本(14)	273	第227图	出土遺物	土器拓本(61)	320
第181图	出土遺物	土器拓本(15)	274	第228图	出土遺物	土器拓本(62)	321
第182图	出土遺物	土器拓本(16)	275	第229图	出土遺物	土器拓本(63)	322
第183图	出土遺物	土器拓本(17)	276	第230图	出土遺物	土製品実測图(1)	323
第184图	出土遺物	土器拓本(18)	277	第231图	出土遺物	土製品実測图(2)	324
第185图	出土遺物	土器拓本(19)	278	第232图	出土遺物	土製品実測图(3)	325
第186图	出土遺物	土器拓本(20)	279	第233图	出土遺物	土製品実測图(4)	326
第187图	出土遺物	土器拓本(21)	280	第234图	出土遺物	土製品実測图(5)	327
第188图	出土遺物	土器拓本(22)	281	第235图	出土遺物	土製品実測图(6)	328
第189图	出土遺物	土器拓本(23)	282	第236图	出土遺物	土製品実測图(7)	329
第190图	出土遺物	土器拓本(24)	283	第237图	出土遺物	土製品実測图(8)	330
第191图	出土遺物	土器拓本(25)	284	第238图	出土遺物	土製品実測图(9)	331
第192图	出土遺物	土器拓本(26)	285	第239图	出土遺物	石器実測图(2)	332
第193图	出土遺物	土器拓本(27)	286	第240图	出土遺物	石器実測图(3)	333
第194图	出土遺物	土器拓本(28)	287	第241图	出土遺物	石器実測图(4)	334
第195图	出土遺物	土器拓本(29)	288	第242图	出土遺物	石器実測图(5)	335
第196图	出土遺物	土器拓本(30)	289	第243图	出土遺物	石器実測图(6)	336
第197图	出土遺物	土器拓本(31)	290	第244图	出土遺物	石器実測图(7)	337
第198图	出土遺物	土器拓本(32)	291	第245图	出土遺物	石器実測图(8)	338
第199图	出土遺物	土器拓本(33)	292	第246图	出土遺物	石器実測图(9)	339
第200图	出土遺物	土器拓本(34)	293	第247图	出土遺物	石器実測图(10)	340
第201图	出土遺物	土器拓本(35)	294	第248图	出土遺物	石器実測图(11)	341
第202图	出土遺物	土器拓本(36)	295	第249图	出土遺物	石器実測图(12)	342
第203图	出土遺物	土器拓本(37)	296	第250图	出土遺物	石器実測图(13)	343
第204图	出土遺物	土器拓本(38)	297	第251图	出土遺物	石器実測图(14)	344
第205图	出土遺物	土器拓本(39)	298	第252图	出土遺物	石器実測图(15)	345
第206图	出土遺物	土器拓本(40)	299	第253图	出土遺物	石器実測图(16)	346
第207图	出土遺物	土器拓本(41)	300	第254图	出土遺物	石器実測图(17)	347
第208图	出土遺物	土器拓本(42)	301	第255图	出土遺物	石器実測图(18)	348
第209图	出土遺物	土器拓本(43)	302	第256图	出土遺物	石器実測图(19)	349
第210图	出土遺物	土器拓本(44)	303	第257图	出土遺物	石器実測图(20)	350
第211图	出土遺物	土器拓本(45)	304	第258图	出土遺物	石器実測图(21)	351
第212图	出土遺物	土器拓本(46)	305	第259图	出土遺物	石器実測图(22)	352
第213图	出土遺物	土器拓本(47)	306	第260图	出土遺物	石器実測图(23)	353
第214图	出土遺物	土器拓本(48)	307	第261图	出土遺物	石器実測图(24)	354
第215图	出土遺物	土器拓本(49)	308	第262图	出土遺物	石器実測图(25)	355
第216图	出土遺物	土器拓本(50)	309	第263图	出土遺物	石器実測图(26)	356
第217图	出土遺物	土器拓本(51)	310	第264图	出土遺物	石器実測图(27)	357
第218图	出土遺物	土器拓本(52)	311	第265图	出土遺物	石器実測图(28)	358
第219图	出土遺物	土器拓本(53)	312	第266图	出土遺物	石器実測图(29)	359
第220图	出土遺物	土器拓本(54)	313	第267图	出土遺物	石器実測图(30)	360
第221图	出土遺物	土器拓本(55)	314	第268图	出土遺物	石器実測图(31)	361
第222图	出土遺物	土器拓本(56)	315	第269图	出土遺物	石器実測图(32)	362
第223图	出土遺物	土器拓本(57)	316	第270图	出土遺物	石器実測图(33)	363
第224图	出土遺物	土器拓本(58)	317	第271图	出土遺物	石器実測图(34)	364
第225图	出土遺物	土器拓本(59)	318	第272图	出土遺物	石器実測图(35)	365



第273図	出土遺物	石器実測図(36)	366	第320図	出土遺物	石器実測図(83)	413
第274図	出土遺物	石器実測図(37)	367	第321図	出土遺物	石器実測図(84)	414
第275図	出土遺物	石器実測図(38)	368	第322図	出土遺物	石器実測図(85)	415
第276図	出土遺物	石器実測図(39)	369	第323図	出土遺物	石器実測図(86)	416
第277図	出土遺物	石器実測図(40)	370	第324図	出土遺物	石器実測図(87)	417
第278図	出土遺物	石器実測図(41)	371	第325図	出土遺物	石器実測図(88)	418
第279図	出土遺物	石器実測図(42)	372	第326図	出土遺物	石器実測図(89)	419
第280図	出土遺物	石器実測図(43)	373	第327図	出土遺物	石器実測図(90)	420
第281図	出土遺物	石器実測図(44)	374	第328図	出土遺物	石器実測図(91)	421
第282図	出土遺物	石器実測図(45)	375	第329図	出土遺物	石器実測図(92)	422
第283図	出土遺物	石器実測図(46)	376	第330図	出土遺物	石器実測図(93)	423
第284図	出土遺物	石器実測図(47)	377	第331図	出土遺物	石器実測図(94)	424
第285図	出土遺物	石器実測図(48)	378	第332図	出土遺物	石器実測図(95)	425
第286図	出土遺物	石器実測図(49)	379	第333図	出土遺物	石器実測図(96)	426
第287図	出土遺物	石器実測図(50)	380	第334図	出土遺物	石器実測図(97)	427
第288図	出土遺物	石器実測図(51)	381	第335図	出土遺物	石器実測図(98)	428
第289図	出土遺物	石器実測図(52)	382	第336図	出土遺物	石器実測図(99)	429
第290図	出土遺物	石器実測図(53)	383	第337図	出土遺物	石器実測図(100)	430
第291図	出土遺物	石器実測図(54)	384	第338図	出土遺物	石器実測図(101)	431
第292図	出土遺物	石器実測図(55)	385	第339図	出土遺物	石器実測図(102)	432
第293図	出土遺物	石器実測図(56)	386	第340図	出土遺物	石器実測図(103)	433
第294図	出土遺物	石器実測図(57)	387	第341図	出土遺物	石器実測図(104)	434
第295図	出土遺物	石器実測図(58)	388	第342図	出土遺物	石器実測図(105)	435
第296図	出土遺物	石器実測図(59)	389	第343図	出土遺物	石器実測図(106)	436
第297図	出土遺物	石器実測図(60)	390	第344図	出土遺物	石器実測図(107)	437
第298図	出土遺物	石器実測図(61)	391	第345図	出土遺物	石器実測図(108)	438
第299図	出土遺物	石器実測図(62)	392	第346図	出土遺物	石器実測図(109)	439
第300図	出土遺物	石器実測図(63)	393	第347図	出土遺物	石器実測図(110)	440
第301図	出土遺物	石器実測図(64)	394	第348図	出土遺物	石器実測図(111)	441
第302図	出土遺物	石器実測図(65)	395	第349図	出土遺物	石器実測図(112)	442
第303図	出土遺物	石器実測図(66)	396	第350図	出土遺物	石器実測図(113)	443
第304図	出土遺物	石器実測図(67)	397	第351図	出土遺物	石器実測図(114)	444
第305図	出土遺物	石器実測図(68)	398	第352図	出土遺物	石器実測図(115)	445
第306図	出土遺物	石器実測図(69)	399	第353図	出土遺物	石器実測図(116)	446
第307図	出土遺物	石器実測図(70)	400	第354図	出土遺物	石製品実測図(1)	447
第308図	出土遺物	石器実測図(71)	401	第355図	出土遺物	石製品実測図(2)	448
第309図	出土遺物	石器実測図(72)	402	第356図	出土遺物	石製品実測図(3)	449
第310図	出土遺物	石器実測図(73)	403	第357図	平安時代遺構配置図		450
第311図	出土遺物	石器実測図(74)	404	第358図	平安住居跡(1)		471
第312図	出土遺物	石器実測図(75)	405	第359図	平安住居跡(2)		472
第313図	出土遺物	石器実測図(76)	406	第360図	平安住居跡(3)		473
第314図	出土遺物	石器実測図(77)	407	第361図	平安住居跡(4)		474
第315図	出土遺物	石器実測図(78)	408	第362図	平安住居跡(5)		475
第316図	出土遺物	石器実測図(79)	409	第363図	平安住居跡(6)		476
第317図	出土遺物	石器実測図(80)	410	第364図	平安住居跡(7)		477
第318図	出土遺物	石器実測図(81)	411	第365図	平安住居跡(8)		478
第319図	出土遺物	石器実測図(82)	412	第366図	平安住居跡(9)		479

第367図	平安住居跡(10)	480	第395図	中世建物(1)	519
第368図	平安住居跡(11)	481	第396図	中世建物(2)	520
第369図	平安住居跡(12)	482	第397図	中世土坑(1)	521
第370図	平安住居跡(13)	483	第398図	中世土坑(2)	522
第371図	平安住居跡(14)	484	第399図	中世土坑(3)	523
第372図	平安住居跡(15)	485	第400図	中世土坑(4)	524
第373図	出土遺物 平安住居跡出土品(1)	486	第401図	中世土坑(5)	525
第374図	出土遺物 平安住居跡出土品(2)	487	第402図	出土遺物 鋳物製作に使う匙	526
第375図	出土遺物 平安住居跡出土品(3)	488	第403図	出土遺物 鍋鑄型(1)	527
第376図	出土遺物 平安住居跡出土品(4)	489	第404図	出土遺物 鍋鑄型(2)	528
第377図	出土遺物 平安住居跡出土品(5)	490	第405図	出土遺物 鍋鑄型(3)	529
第378図	出土遺物 平安住居跡出土品(6)	491	第406図	出土遺物 鍋鑄型(4)	530
第379図	出土遺物 平安住居跡出土品(7)	492	第407図	出土遺物 鍋鑄型(5)	531
第380図	出土遺物 平安住居跡出土品(8)	493	第408図	出土遺物 炉破片(1)	532
第381図	出土遺物 平安住居跡出土品(9)	494	第409図	出土遺物 炉破片(2)	533
第382図	出土遺物 平安住居跡出土品(10)	495	第410図	出土遺物 炉破片(3)	534
第383図	出土遺物 平安住居跡出土品(11)	496	第411図	出土遺物 炉破片(4)	535
第384図	出土遺物 平安住居跡出土品(12)	497	第412図	出土遺物 炉破片(5)	536
第385図	出土遺物 平安住居跡出土品(13)	498	第413図	出土遺物 炉破片(6)	537
第386図	出土遺物 平安住居跡出土品(14)	499	第414図	出土遺物 炉破片(7)	538
第387図	出土遺物 平安時代須恵器(1)	500	第415図	出土遺物 炉破片(8)	539
第388図	出土遺物 平安時代須恵器(2)	501	第416図	出土遺物 鉄製品	540
第389図	出土遺物 平安時代須恵器(3)	502	第417図	出土遺物 中国産磁器	541
第390図	出土遺物 平安時代須恵器(4)	503	第418図	出土遺物 国産陶磁器(1)	542
第391図	中世遺構配置図	504	第419図	出土遺物 国産陶磁器(2)	543
第392図	中世溝配置図	505	第420図	出土遺物 板碑	544
第393図	中世溝(1)	506	第421図	出土遺物 古銭(1)	545
第394図	中世溝(2)	507	第422図	出土遺物 古銭(2)	546

[表]

第1表 花泉町内の遺跡一覧表……………9

[付表]

1	土器観察表……………	562	9	石器観察表(磨製石斧)……………	630
2	土器観察表(拓本分)……………	568	10	石器観察表(敲石・凹石)……………	632
3	土製品観察表……………	596	11	石器観察表(礫石器・石皿)……………	636
4	土製円盤観察表……………	598	12	石器観察表(石製品)……………	638
5	石器観察表(石鏃・石錐・石匙)……………	601	13	平安時代遺物観察表……………	639
6	石器観察表(不定形石器)……………	620	14	中世・近世陶磁器観察表……………	646
7	石器観察表(石核・利用されたフレイク等)……………	627	15	炉・鍋鑄型・鉄製品観察表……………	647
8	石器観察表(フレイク)……………	629	16	板碑・古銭観察表……………	648

# I 調査に至る経緯・経過

## 1. 調査に至る経緯・経過

下館銅屋遺跡の発掘調査は「主要地方道弥栄金成線道路改築工事（金沢街道踏切）」の事業 **道路改築**  
実施に伴い、事業区域内に所在する埋蔵文化財の記録保存を目的として実施したものである。

主要地方道弥栄金成線は、岩手県一関市の一般国道284号との接続点を起点とし、岩手県西 **一関市**  
磐井郡花泉町を経過地として、宮城県栗原郡金成町の一般国道4号との接続点を終点とする実 **花泉町・金**  
延長18,851.8mの路線で、岩手県南部の一関市と宮城県北部の金成町を結ぶ、産業、経済、文 **成町**  
化上重要な幹線道路である。

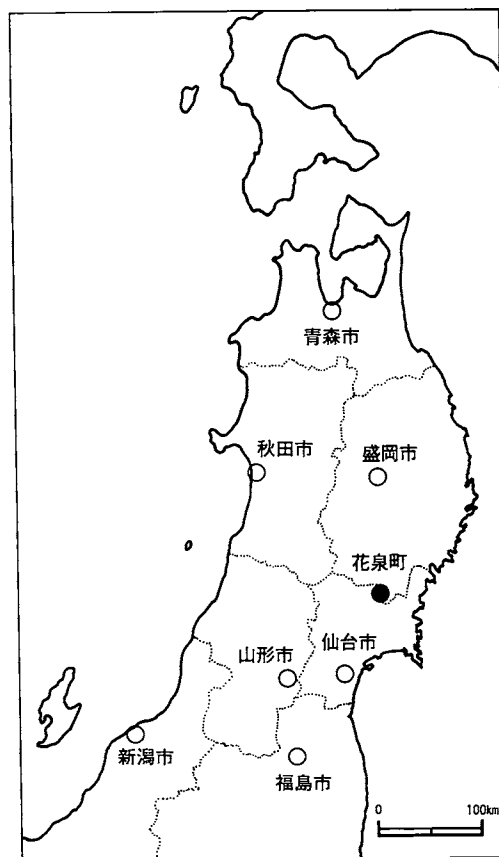
岩手県内における本路線は、起点を岩手県一関市弥栄地内とし、同県西磐井郡花泉町を経過  
地として、花泉町大股前地内に至る実延長17,300mで、(一部、一般国道342号と重複)、岩手  
県南部の丘陵地帯を東西に横断する幹線道路であり、沿岸の地域住民の生活道路として重要な  
役割を果たしている。

しかし、道路幅員4.8mと狭小であることや、花泉町花泉字下館地内に所在する東北本線金  
沢街道踏切が狭小かつ平面交差であること、また線形不良箇所が存在することにより、近年の  
自動車交通量の増大と車輛の大型化に伴い、沿道環境の保全および交通安全の確保が困難とな  
り、また、車輛の円滑な交通が阻害され、幹線道路としての機能が低下している。

これらを解消するため、跨線橋による立体交差化を  
図り、前後の取り付け道路の拡幅、平面線形の改良を  
おこない、交通の円滑化・交通安全の確保・沿道環境  
の改善を図るものである。この事業が完成した暁には、  
計画交通量に対応可能となり、円滑な交通はもとより  
交通安全の確保など良好な道路環境・生活環境が確保  
されるとともに、沿線地域にとっては土地の有効利用  
の促進と産業・経済の基盤としての幹線道路網の形成  
・確立が図られるものと期待される。

本事業の施工にかかる埋蔵文化財の取り扱いについ  
ては、岩手県一関土木事務所（現：岩手県一関地方振  
興局土木部）と岩手県教育委員会との間で諸協議・手  
続きがなされ、平成6年9月に岩手県教育委員会によ  
る試掘調査がおこなわれた。その結果、本調査が必要  
なことが判明し、この結果を受けて岩手県一関土木事  
務所と岩手県教育委員会は発掘調査の実施について協  
議をおこない、調査の実施機関を財団法人岩手県文化  
振興事業団埋蔵文化財センターとすることとした。

**立体交差化**



第1図 花泉町位置図

## Ⅱ 調査経過と調査・整理概要

### 1. 調査経過

平成7年度は平成7年8月1日から11月30日まで野外調査をおこなった。当初は8月1日から10月31日までの間に調査区東側全域を終了させる予定であった。だが、調査を始めてみると、予想以上に住居や土坑などの諸遺構が重複していたため、予定よりも調査に時間がかかることが判明した。そこで、調査期間を11月30日まで1ヶ月間延長し、また、7年度の調査終了部は、7年度分の県道工事に必要な部分だけとした。

平成8年度は平成8年4月10日から10月31日まで野外調査をおこなった。

### 2. 調査・整理概要

#### (1) 平成7年度野外調査

8月1日に、東地区の調査を開始し、11月30日に終了した。当初計画していた調査面積は2,796㎡であったが、7年度の工事に関わる部分だけを終了させ、残りは8年度に繰り越した。調査完了面積は1,787㎡であった。

調査担当者は、松本建速・宮本節子である。

調査開始時に、3ヶ所ほど試掘してみると、耕作が深くまでおよんでおり、文化層の残存状態は悪いが、粘土層以下に遺構は多量にあることが予想された。また、現在の耕作土である表土中にも、土器片や石器などが多量に含まれることがわかった。調査期間に限られているので、表土の大方は重機ではいだが、遺物が密集している部分はできるだけ人力ではいだ。

表土をはぐと、調査区のほぼ全面に遺構が密集していることがわかった。しかも、現代の耕作により、すべての遺構の上部が削られていたため、縄文時代の遺構と平安時代の遺構が同じ面で検出された。重複して存在する遺構が多かったため、調査は難航を極めた。結局、平安時代の住居と縄文時代の住居が重複していた部分では、7年度は平安時代の住居のみを調査し、縄文時代の大部分の住居の調査は8年度に繰り越した。

#### (2) 平成7年度室内整理

11月1日～8年3月31日まで、遺物の水洗をおこない。12月1日～3月31日までは、遺構図面の整理、写真の整理も平行しておこなった。

#### (3) 平成8年度野外調査

4月10日から調査を開始し、10月31日に完了した。調査完了面積は3,713㎡である。

調査担当者は、松本建速・宮本節子・下田隆衛・山下浩幸である。

最初、7年度に精査を残した調査区東区（以下では東調査区と呼ぶ）の精査と、調査区西区（以下には西調査区と呼ぶ）の表土除去をおこなった。表土除去の結果、西調査区もほぼ全域に遺構が存在するが、時期が中世に限られ、一部を除けば遺構の重複も少ないことがわかった。そこで4～6月は遺構の重複が激しく、しかも量の多い東調査区の精査をほぼ全員でおこない、西調査区の調査は、7月から10月上旬までおこなった。

非常に多くの遺構が重複していたため、それぞれの遺構精査が済むたびに実測をおこなうことはできなかった。遺構が重複している場合、断面の実測はできる限りその都度おこなっ

たが、精査終了後の平面実測についてはステレオ写真を撮り、後に図面化する方法をとった。10m×16mほどの範囲の調査が完了後、そこから検出された遺構をすべてまとめて撮影したため、写真撮影時には遺構の縁などが崩れ、調査完了時よりも大きくなっているものが多数ある。

調査終了日、ただちに重機を使い遺構を埋め戻した。

(4) 平成8年度室内整理

11月1日～3月31日まで、遺物水洗と遺構図面整理、写真整理をおこなった。

(5) 平成9年度室内整理ならびに報告書作成

4月1日から8月中旬まで遺物水洗、土器・炉の復元、遺物実測、拓本作成を平行しておこなった。6月以降、遺構トレース、遺物実測、拓本作成、遺物観察表作成などをおこなうとともに報告書をまとめた。

### Ⅲ 調査と整理・報告書

#### 1. 野外調査

(1) 岩手県遺跡台帳に記載されている遺跡番号はOE27-2111である。遺跡略号はShimo-Date-Douyaのローマ字音3音の頭文字であらわしたSDDとし、同じ空間を2年にわたって調査したので、その2年間の西暦後半2桁の数字を連続させて、SDD9596と標示した。

(2) 遺跡測量と区割り

調査開始時に、調査区内に、国土調査法・平面直角座標系第X系に基づく測量基準点を設置した。そして、それに基づいて、最後の数字が0で終わる数字を持つ点を基点とする、調査区全域を覆う5mグリッドを設定した。基準点の設置は、第一航業株式会社に委託した。各グリッドの基点のX軸とY軸の値は、折り込み付図に記した。南北方向の基準線に対し、真北は西偏約7°51′である。

グリッドは先の基点に従ったもので、7年度調査開始時に、予想される調査区西隅に原点(0-0)を置き、この原点から南へ1・2・3・・・、同じように東へ1から増す数字を付け、その交点を標示し、0-1・1-1・・・7-38などのように呼ぶことにした。しかし、8年度の調査区域が7年度に予想した最北西隅よりも更に西にあったので、8年度の調査区のグリッドには-（マイナス）の付く数字が付されている。例えば13-（-1）のように標示されている。

(3) 粗掘り・検出・遺構の標示・精査・実測記録

調査区は畑地として利用されていた。試掘調査の結果から、多くの遺構の存在が予想されたため、遺構畑表面には遺物が散乱しており、表土中にも遺物が多量に存在することが予測されたが、調査期間が限られていたため、厚さ30cmほどである耕作土部分を重機で除去することとした。しかし、重機で除去した廃土中から多量に遺物が採集されるため、途中で方針を変え、遺物が多量にある部分に関しては、耕作土下部をスコップ半分ほどの厚さに限り人力で粗掘りすることとした。遺構外出土の遺物はグリッド単位で採集した。

検出の後、遺構に名称を与えた。野外調査では、グリッドを優先し、それに遺構の性質を

示すアルファベットを付し、No.を加えた。例えば5-36-SIのように標示されている。遺構の性質を示すアルファベットは次のように標示した。

土坑：P、柱穴状土坑：PP、掘立柱建物：SB、溝：SD、井戸：SE、竪穴住居：SIである。

次に、個別の精査法をいくつか記述する。

竪穴住居で埋土が比較的深く残っているものは、4分法で掘り下げ、土層観察用のベルトを残し、土層の観察、記録をおこなった後、ベルトを撤去した。

土坑については、2分法で掘り下げ、土層の観察をおこなった。土坑の数が多く、記録するのに十分な時間をとれなかったので、複数層の埋土のものに限り断面図を取ることにし、単層のもの多くは、図を取らず、文字記録だけで掘りあげた。

また、遺構の量が多かったため、実測に時間をさけなかったので、ほとんどの遺構の平面実測は写真測量を用いた。写真測量は、リフティング・ケーブル・システムで24mmレンズを装着したカメラを懸下し、撮影高度11～12mで図化範囲を撮影した。基線長は6.0m、オーバーラップ率は60%に設定した。撮影したフィルムは業者に送付し、図化を委託した。ただし、複数の遺構が切り合い、古い遺構の調査をすることにより消滅してしまう遺構については、完掘のたびに人手で平面図を記録した。

#### (4) 写真撮影

写真撮影は、埋土断面、完掘状況、細部状況など、必要に応じておこなった。使用機材はモノクローム、カラースライドとも35mmカメラを用いた。また、状況に応じてモノクロームには中判(6×7cm)カメラも併用した。また、調査終了後、業者に委託し、セスナ機による空中撮影をおこなった。

## 2. 室内整理

### (1) 遺構実測図と遺構名称

遺構が密集していた8年度調査区の東部分については、先に述べた撮影法で撮影したフィルムを用いて、株式会社シン技術コンサルに図化を委託した。その後、その原図をもとに、当埋文センターでトレースをおこなった。原図の完成から報告書作成までの時間が短かったため、遺構図の点検、遺構性質の見直し等に時間をさけなかった。ゆえに、遺構名称は野外調査時に使ったものをそのまま用いた。

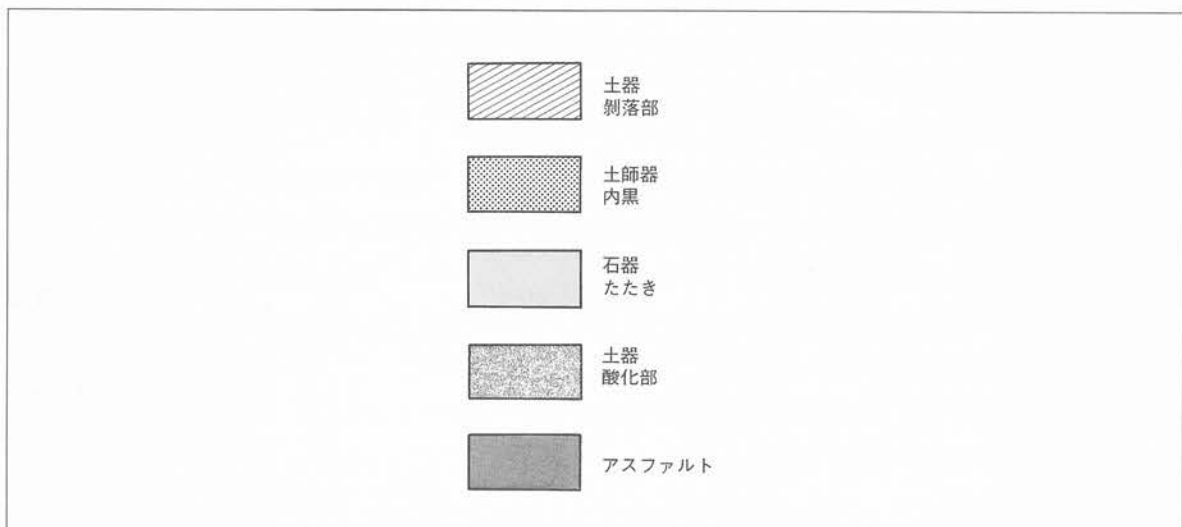
### (2) 遺物の標示

遺物を示すR (relicの頭文字) を最初に付し、次に遺構内出土品の場合はIを、遺構外出土品の場合はOを続けた。その次に遺物の種類に応じた名称の頭文字を続けた。例えばRIJPのようにである。これは遺構内出土縄文土器を示す。遺物種類ごとの標示は次である。

JP：縄文土器、JPF：縄文土器破片、JCO：縄文土製品、SA：石鏃(石錐・石匙も含む)、SC：不定形石器、ASA：石斧、HS：敲石・凹石、SQ：石皿、GS：礫石器、SO：石製品、OCO：黒曜石石核、COR：黒曜石以外石材の石核、FL：剝片、HW：土師器、SW：須恵器、W：国産陶磁器、CW：中国産磁器、鋳型や炉破片、M：鉄製品

### 3. 報告書

- (1) 遺構記載順は、古い時代に属するものから新しい時代に属するものの順とした。
- (2) 調査時に「グリッド」と記していた調査区域内の地割りは、記すスペースの節約目的で、「区」と呼び替えてある。例 1-1グリッド→1-1区
- (3) 遺物は、種類・数とも多いため、個別の記載はすべて観察表を用いた。観察表は一括して掲載した。
- (4) 遺構挿図の縮尺は40分の1、60分の1、100分の1を主に、一部が任意縮尺である。  
挿図右下にスケールで標示した。遺物挿図は、遺物の大きさに応じて、4分の3～6分の1までの縮尺を主に用いた。挿図右下にスケールで標示した。また、遺構挿図中、方位が示されていないものは、図の上面が北である。
- (5) 遺構図中、土坑内の数字は写真实測に基づく標高である。遺構完掘から写真撮影までに時間が開き、実際より深く計測されている場合がある。本文解説中に遺構の深さが記されているものの数字は、調査完了時の深さである。
- (6) 遺構写真はすべて任意縮尺である。遺物写真は3分の2～6分の1を主に、一部が原寸や任意縮尺である。図版右下に縮尺率を標示した。
- (7) 遺物写真図版は種類ごとに掲載することを原則にし、実測図に掲載したものを中心に、おむね遺物番号順に並べている。一部に、実測図を掲載せず、写真だけが掲載されたものがある。
- (8) 遺物番号は挿図と写真図版とを対応させている。
- (9) 土色の色調は、農林水産技術事務局監修『新版 標準土色帳』による。
- (10) 遺物解説中に、風化度という用語が記されている。風化度0：風化確認できない。風化度1：破片断面の角がわずかに丸みをおびる。風化度2：破片断面の胎土のざらつきがほとんど無い。風化度3：破片断面と器表裏面の区別がつかない。
- (11) 遺構と遺物の実測図にかかわる凡例は第2図のとおりである。



第2図 凡例

## IV 周辺の環境

### 1. 自然環境

今回の調査は、遺跡に暮らした人々の生活圏のうち、集落の一部を調査したに過ぎない。出土した遺物の形態や材料から推定できる当時の人々の生活圏はかなり広範なものである。ここでは、当時の生活に関わる自然環境について多少解説する。

#### (1) 遺跡所在地の地形的条件

##### 中位の河岸 段丘

下館銅屋遺跡は有馬川と金流川に挟まれた低位段丘より更に一段高い中位の河岸段丘上にある。低位段丘の標高は約27～30m、中位段丘の標高は32～40mである。今回の調査区の標高は37～40mである。低位段丘は遺跡の乗る段丘の周囲にあるが、そこは現在水田として利用されている。平安時代や中世に当地に住居を構えていた人々も、低位段丘を水田として使用していた可能性がある。

#### (2) 遺跡周辺の自然条件

遺跡周辺の自然条件のうち、今回の調査によって知ることのできた縄文時代の生活に関わる自然条件について少し述べてみる。

##### 黒曜石

下館銅屋遺跡の縄文時代の住人は、黒曜石を材料とした石鏃を多量に製作していた。遺跡近辺に黒曜石の原石を採集できる場所があったからと推測できる。遺跡の北部から東部にかけて、約1 kmほど離れた場所に黒曜石原石を含む礫層がある。それは、滝沢層と呼ばれる層で、

##### 滝沢層

遺跡北東部の丘陵のうち、標高100～120mほどにその層はある。地籍名で言えば、一関市滝・滝沢・弥栄、花泉町金沢・老松・日形である。現在でも、切り通しなどに現れた滝沢層からは、いくらか黒曜石の原石を採集することができる。

##### 石越町

また、下館銅屋遺跡から直線距離にして約13km南には宮城県石越町があるが、そこからは縄文時代の石皿の材料となるデイサイトが採集できる。

##### デイサイト

また、遺跡のすぐ南の一段低い段丘面は、現在、水田として利用されている。そこから収穫される米は、花泉町内でも、味の良いものとして定評がある。その低位段丘面は水稻耕作にたいへん適した場所である。それは、平安時代に人々が遺跡に居住した理由の一つと関係がある可能性がある。また、縄文時代中期には湿原となっており、様々な植物、動物が集った可能性もあろう。

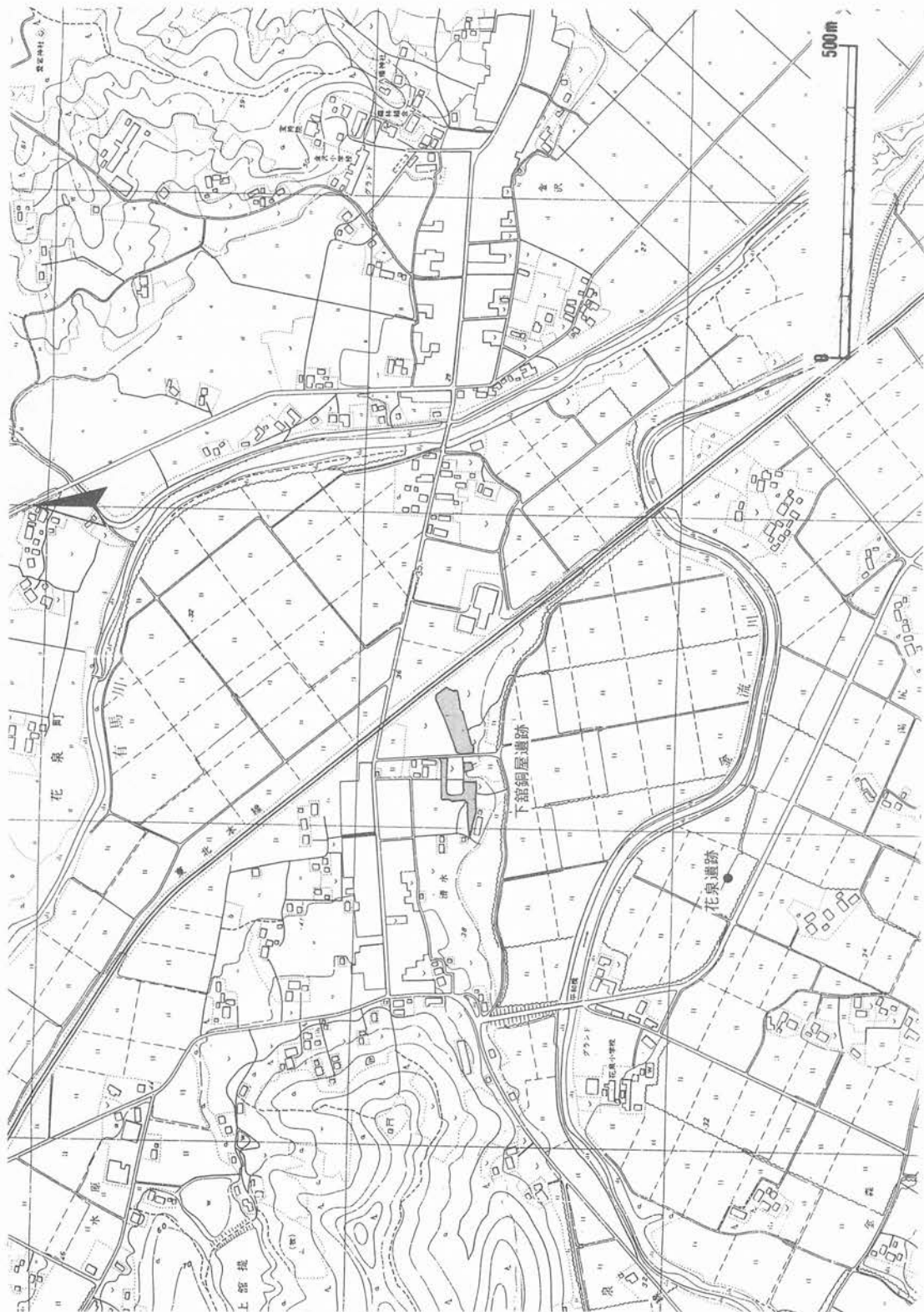
### 2. 歴史環境

花泉町教育委員会作成の『遺跡分布図』および、岩手県教育委員会作成の遺跡一覧をもとに花泉町教育委員会が修正・加筆した遺跡一覧表によると、1998年5月現在、花泉町内では121箇所の遺跡が知られている。ただし、一部でも調査されたことがある遺跡は少ない。ここでは、少しでも調査されたことのある遺跡を中心に述べ、他の遺跡は、一覧表と地図に基づいて簡単に記載するにとどめる。

##### 花泉遺跡

調査された遺跡で特に有名なのは、花泉遺跡と貝島貝塚である。花泉遺跡は、後期旧石器時代の遺跡で、下館銅屋遺跡の南約450m地点にある。花泉遺跡は中位段丘上にあり、泥炭層から多量の動物骨が出土した。特に、ハナイズミモリウシ、オオツノジカの骨が有名である。





第3図 下館銅屋遺跡調査区とその周辺

**貝島貝塚** 貝島貝塚は、縄文時代前期～晩期の淡水産貝塚で、下館銅屋遺跡の南、直線距離にして約7 kmにある。墓地としても利用されていた。周囲には住居もあったと推測できるが、これまでは住居部は調査されていない。下館銅屋遺跡が存続した時期とはほぼ重なるので、同遺跡の人々と貝島貝塚の人々の間には交流があったと推測できるが、貝島貝塚出土の遺物を観察していないため、今回の報告では、それには触れられない。

**高鞍荘** 平安時代末、12世紀には、遺跡を含むあたりは、高鞍荘であった。高鞍荘は、藤原頼長の記した『台記』にも登場する重要な荘園である。花泉町内でも、日形字中通に12世紀中葉頃の作  
**鹿ノ畑経塚** と考えられる常滑産三筋壺が出土した鹿ノ畑経塚（第4図95）がある。その付近からは12世紀  
**高倉東ノ森** 後半頃のものとして推測できる「かわらけ」や常滑産の陶器破片も出土している。他に、高倉東ノ  
**経塚** 森経塚（第4図20）からも12世紀後半代の珠洲系陶器の三筋壺が出土している。以上の2遺跡は経塚と呼ばれており、そこから出土した三筋壺は経が納められていた容器であった可能性もあるが、出土状況は不明である。

中世に入ると明確な遺跡は知られていないが、下館銅屋遺跡の載る段丘の西に続く丘陵には  
**伝清水城跡** 伝清水城跡と呼ばれている場所がある。そこは調査されていないので、正確なことはわからないが、奥州藤原氏に関連する頃以降の伝承のある場所である。

**板碑** また、花泉町内には多くの板碑が建てられている。紀年銘のあるものがいくつか残っているが、老松水沢屋敷にある1304年のものから、日形高山屋敷にある1525年のものまでの幅がある。地理的に近い川崎村や平泉町には13世紀の紀年銘を持つものもある。13～16世紀の板碑は宮城県北部の北上川流域に多く、この地域と花泉町を含む西磐井郡は北上川に沿って連続している地域である。

近世に入ると、現在の花泉字町の住宅密集地中心を走る道が造られたと推測できる。その道は、伝清水城跡にある八幡神社と金沢にある八幡神社を結ぶ道でもある。

#### 参考文献

佐々木繁喜 1997「東北地方の黒曜石」『岩手考古学』9 pp.45～83

花泉町教育委員会編 『花泉町史』

図No	遺跡名	種別	時代	所在地	図No	遺跡名	種別	時代	所在地
1	西永井館(内ノ目館・岩坂館・西館)	城館跡	室町? 桃山	永井字待井	62	葛西塚	祭祀跡	室町	花泉字田東
2	内の目薬師館	城館跡		永井字寺前	63	宝泉院跡	祭祀跡		花泉字田東
3	高崎館(下館)	城館跡	室町中期	永井字岫前	64	下館銅屋	集落跡	縄文・平安・中世末	花泉字下館
4	青葉山城(東永井館・東館)	城館跡	室町	永井字字角屋	65	金森	散布地	旧石器	花泉字阿慈沢沖
5	一向井坊行人塚	祭祀跡		永井字南小茂	66	下金森	散布地	縄文・古代	花泉字寺沢
6	一本木行人塚	祭祀跡		永井字南小茂	67	高山館(金森城)	城館跡	室町? 江戸	花泉字寺沢
7	狼の沢塚	祭祀跡		永井字西狼ノ沢	68	寺ノ沢	散布地	縄文	花泉字寺沢
8	長崎堀	城館跡	室町中期	永井字長崎	69	七ツ森	祭祀跡		花泉字阿慈沢
9	西狼の沢経塚	経塚		永井字狼ノ沢	70	西郷ノ目	散布地	縄文?	花泉字西郷ノ目
10	石崎貝塚	貝塚・集落跡	縄文(前期)	永井字狼ノ沢	71	四日市場経塚	経塚		老松字四日市場
11	鴻ヶ崎	散布地	縄文	永井字狼ノ沢	72	四日市場	散布地	縄文	老松字四日市場
12	鴻ノ巣貝塚	貝塚	縄文	永井字鴻ノ巣	73	一里塚	一里塚		老松字上足字野屋敷
13	七里塚	一里塚		永井字三本木	74	杉屋歌館(杉館)	城館跡	平安? 室町	老松字佐野屋敷
14	大塚館	城館跡	桃山? 明治	永井字杉則	75	王塚	塚	鎌倉? 室町	老松字藤田
15	寺場	散布地	縄文(前期)	永井字寺場	76	栄館(宮沢館)	城館跡	室町? 桃山	老松字上宮沢
16	鷹の田館	城館跡	桃山末期	永井字薬師沢	77	宮沢	散布地	縄文・古代	老松字上宮沢
17	明之中山櫓	城館跡	室町後期	永井字鞍掛山	78	寺沢	製鉄炉跡	江戸	老松字寺沢
18	高蔵寺跡	寺院跡		永井字薬師沢	79	衆徒塚	祭祀跡		老松字寺沢
19	高倉中の森経塚	経塚		永井字薬師沢	80	金提寺跡	寺院跡		老松字寺沢
20	高倉東ノ森経塚	経塚	平安(12世紀)	永井字鞍掛山	81	鷹島館(男沢城)	城館跡	室町? 桃山	老松字館平
21	薬師堂跡	寺院跡		永井字薬師沢	82	劫明館の内本丸館(峠城)	城館跡	室町? 桃山	老松字峠沢
22	釣野館	城館跡	室町? 桃山	永井字薬師沢	83	劫明館の内西館(峠城西館)	城館跡	室町? 桃山	老松字峠沢
23	麻生沢館	城館跡	桃山後期	永井字薬師沢	84	劫明館の内南館(峠城南館)	城館跡	室町? 桃山	老松字峠沢
24	高倉城(西永井館)	城館跡	桃山	永井字薬師沢	85	劫明館の内北館(峠城北館)	城館跡	室町? 桃山	日形字上通
25	高倉貝塚	貝塚	縄文(後・晩期)	永井字高倉	86	劫明館の内東館(峠城東館)	城館跡	室町? 桃山	日形字上通
26	夏屋敷	散布地	縄文(後・晩期)	永井字東方	87	割山塚	祭祀跡		日形字上通
27	杉山古墳	古墳	奈良	永井字杉山	88	安善寺跡	寺院跡		日形字沼田
28	尼塚古墳	古墳		永井字九千沢	89	瀬上館	城館跡	桃山	日形字中神
29	下三ノ町	散布地	古代	涌津字下三ノ町	90	どうじゃ森	散布地	縄文? 弥生	日形字中神
30	館	散布地	縄文	涌津字館	91	宝領館	城館跡	桃山	日形字中神
31	紫館(涌津城・涌津北館)	城館跡	鎌倉? 桃山	涌津字館	92	中神四日市	散布地	平安	日形字中神
32	退陣塚	祭祀跡	江戸末期	涌津字熊ノ倉	93	高山館(須藤館)	城館跡	中世	日形字高山
33	熊倉館(池上櫓)	城館跡	室町? 桃山	涌津字熊ノ倉	94	角堂塚	祭祀跡		日形字中神
34	湯山館(悪法師館)	城館跡	中世	涌津字松ノ坊	95	鹿ノ畑経塚	経塚	平安(12世紀)	日形字中通
35	五輪堂	祭祀跡	鎌倉	涌津字五輪堂	96	小館	城館跡	中世	日形字中神
36	北角野	散布地	平安	涌津字北角野	97	上須釜館	城館跡	桃山	日形字須釜
37	下館城(下薬館・東城・下館)	城館跡	室町? 桃山	涌津字石畳	98	宝寿院跡	寺院跡		日形字須釜
38	猪閉館	城館跡	鎌倉? 桃山	涌津字亥年前	99	関峯寺庵跡	寺院跡		日形字石畑
39	白浜塞(涌津南館・南櫓)	城館跡	室町	涌津字山中	100	兼山館(小野山館・石畑館・小野寺館)	城館跡	室町	日形字石畑
40	白浜貝塚	貝塚	縄文	涌津字台	101	小野下館	城館跡	室町? 桃山	日形字小野
41	赤赤塚	城館跡		油島字北ノ沢	102	雲南古塚	墳墓		日形字下清水
42	石食塚	塚		油島字明賀山	103	穴ノ沢	洞穴		金沢字穴ノ沢
43	名賀山塚	塚	室町? 桃山	油島字明賀山	104	板倉館(愛宕館)	城館跡	室町? 桃山	金沢字要害
44	上油田城(竹下城)	城館跡	平安? 桃山	油島字穴ノ沢	105	地藏崎ノ城(愛宕館)	城館跡	中世	金沢字大門沢
45	上油田経塚	経塚	江戸末期	油島字穴ノ沢	106	大門沢塚	祭祀跡	鎌倉	金沢字大門沢
46	蒲沢塚	塚		油島字蒲沢	107	日壇	祭祀跡		金沢字ニヶ沢前
47	蒲沢館(下油田城)	城館跡	室町? 桃山	油島字蒲沢	108	山神館	城館跡	中世	金沢字新田
48	要害(館)	城館跡		油島字表谷地	109	大槻館	城館跡	桃山	金沢字大槻
49	大石沢塚	祭祀跡		油島字大石沢	110	北館	城館跡	室町? 桃山	金沢字卯南田
50	久保庭園	庭園		油島字猪岡西	111	経ヶ森塚	経塚		金沢字小沢田
51	猪岡館(泉沢館)	城館跡	平安後期	油島字坂谷	112	高台寺跡	寺院跡		金沢字手代森
52	西館(蝦島館)	城館跡	室町? 桃山	油島字飛ヶ沢	113	柴ノ沢館	城館跡	桃山? 江戸	金沢字白の沢
53	飛ヶ沢	祭祀跡		油島字飛ヶ沢	114	朝日館(金沢城・東雲城・旭日館)	城館跡	平安? 桃山	金沢字西川
54	平等寺跡			油島字貝島	115	西川塚	祭祀跡		金沢字西川
55	貝島貝塚	貝塚・集落跡	縄文(中期? 晩期)	油島字貝島	116	前鹿野一里塚	一里塚	近世	金沢字前鹿野
56	高森館(奈良坂城・白鷹城)	城館跡	室町? 桃山	花泉字館前	117	中山	散布地	縄文	金沢字新田
57	奈良坂	散布地	縄文	花泉字館前	118	歌塚	祭祀跡	近世	金沢字新田
58	野田沖	散布地	縄文	花泉字野田沖	119	要害館	城館跡	中世	金沢字東要害
59	和泉館(小山城)	城館跡	室町? 桃山	花泉字薬師前	120	柏木館(丸森館・大森館)	城館跡	中世	金沢字柏木
60	二桜館(清水城・舞鶴城)	城館跡	平安? 桃山	花泉字上館	121	中村城	城館跡	中世	老松字四日市場
61	上館	散布地	縄文	花泉字上館	122	相ノ沢	捨て場	縄文後~晩期	藤沢町黄海岸深田和

第1表 花泉町内の遺跡一覧表



第4図 花泉町内遺跡分布図

## V 出土遺構と出土遺物

### 1. 概要

今回の調査区からは縄文時代早期末～前期前葉頃、縄文時代中期後半～後期前葉、平安時代、中世末～近世初頭頃の、それぞれの時期の遺構が検出された。なかでも、最も多かったのは縄文時代中期後半～後期前葉の遺構である。ただし、同じ地域を、縄文時代、平安時代の複数の世代、中世の人々が居住域として利用し、更に現在の人々が畑として利用していたため、攪乱が激しく、どの時期の遺構も残存状況は良くない。中世以前の遺構として精査された遺構は柱穴を含めると2,000基を越える。しかし、多くの柱穴は建物としての構造を把握しきれなかった。以下にあげるのは、各時代の遺構として確実に把握できたものだけの数字である。

縄文早期末～前期前葉頃	落とし穴12基、各種土坑3基
縄文中期後葉	住居跡45棟
縄文中期後半～後期前葉	各種土坑572基
平安時代（9～10世紀）	住居跡19棟、各種土坑70基
中世末～近世初頭	掘立柱建物跡12棟、井戸跡5基、各種土坑25基、溝3条

今回の調査区は、調査区内を南北に走る道路によって東と西の地区に分けられる。出土した遺構や遺物の性質も、道路によって2分された東西の調査区ごとに違っている。また、その東西地区は、地形の違いもいくらか反映している。道路の東側の調査区（以下では東調査区と記す）は、中位段丘面の先端に近い平坦面である。一方、道路の西側の調査区（以下では西調査区と記す）は、中位段丘面の先端から、西の丘陵に向かって次第に高まる部分である。

東調査区  
西調査区

以下に、時代ごとの遺構・遺物の在り方を簡単に述べる。

縄文早期～前期前葉頃の遺構は東調査区の北東部にかたまる傾向がある。遺物もその周辺から出土している。

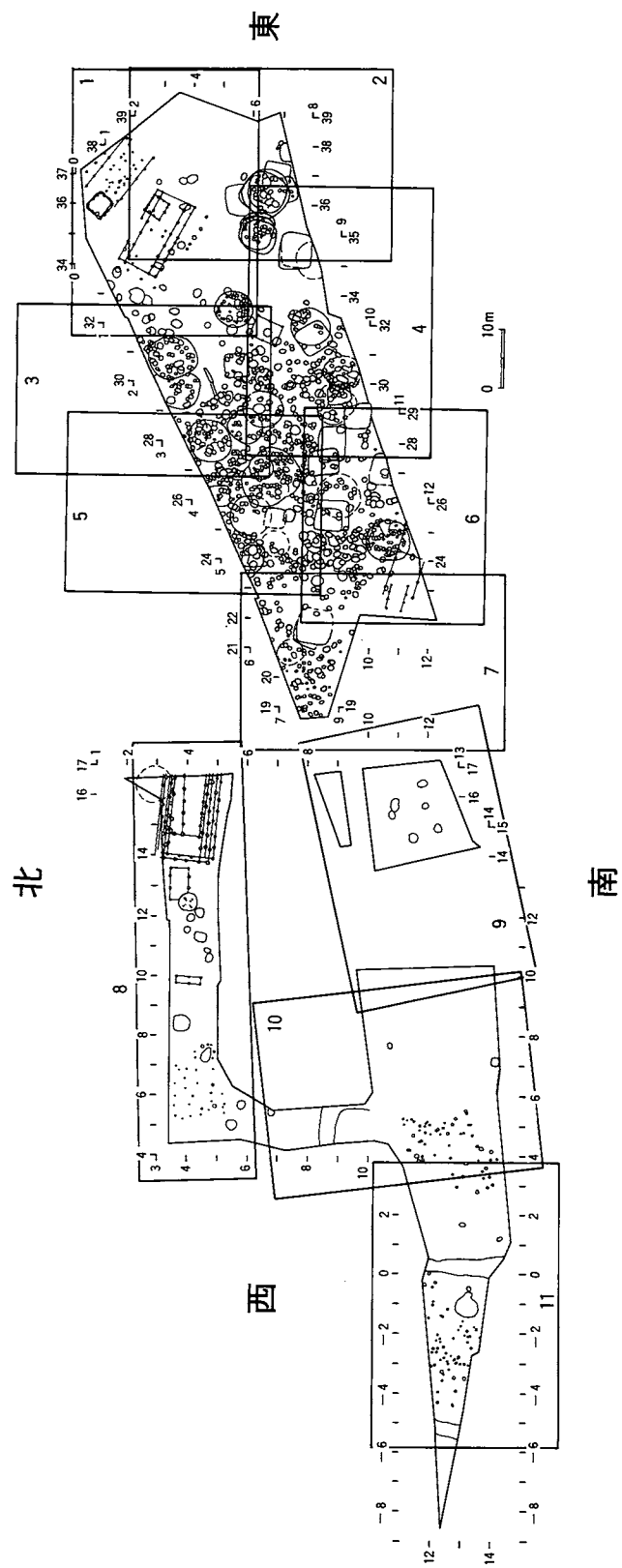
縄文中期後半～後期前葉の遺構は東調査区にかたまる。西調査区からも風化した遺物はいくらか出土した。ただし、遺構はほとんどない。東調査区に近い部分から住居跡の炉と推測できる遺構の一部が検出されただけである。

平安時代の遺構も、縄文時代中期後半～後期前葉の遺構の分布に似た傾向がある。東調査区に多く、西調査区からは風化した遺物はいくらか出土するくらいで、明瞭な遺構は少ない。

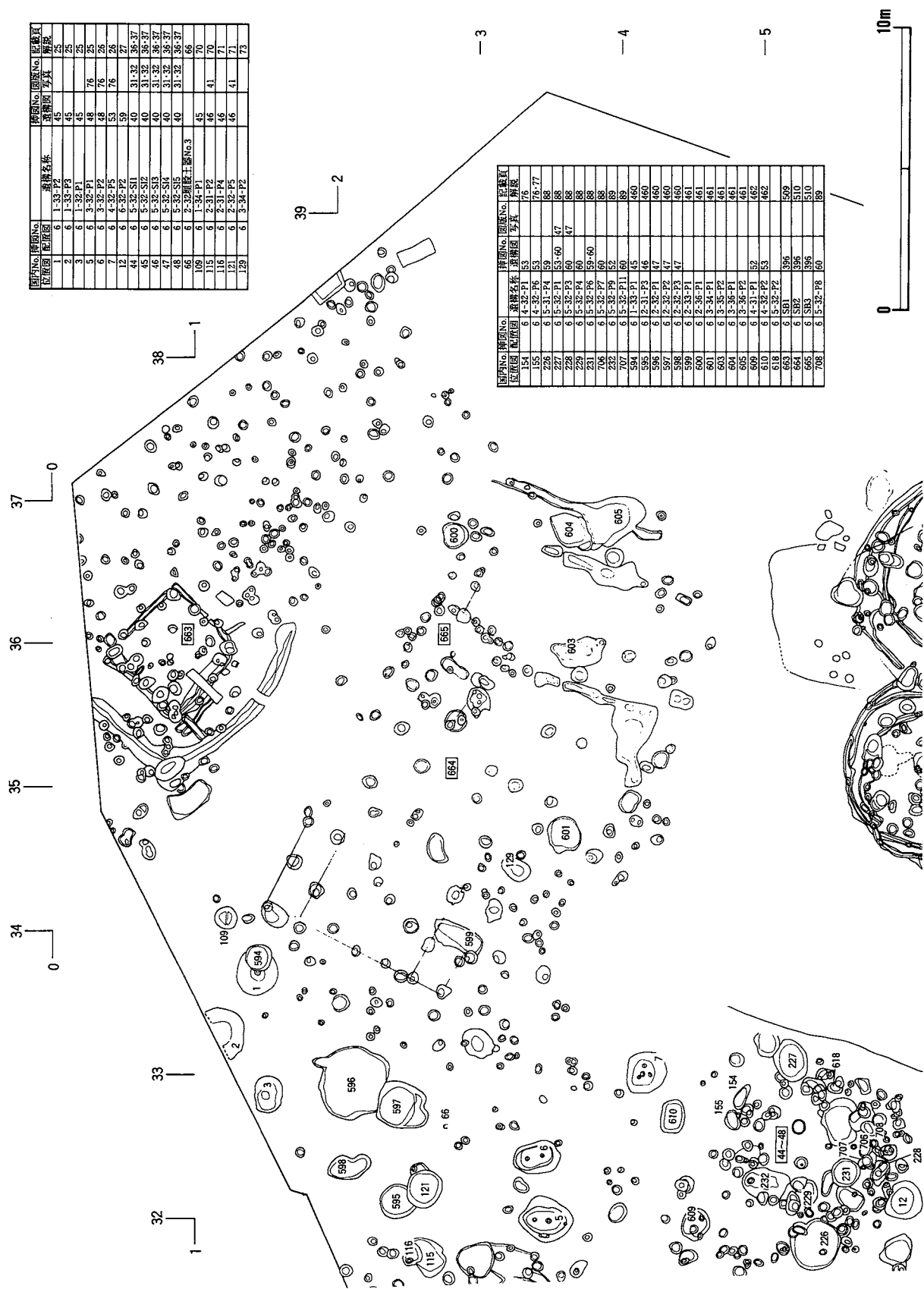
中世末～近世初頭頃の遺構は、調査区のほぼ全域から検出されている。ただし、土地を区画するような溝は西調査区からのみ出土している。また、鉄の鋳物に関わる遺物の出土場所も、西調査区に集中する。だが、鋳物をおこなった遺構は明確には出土しなかった。

次に遺物について簡単に記す。最も多く出土したのは縄文中期後葉の土器である。また、石器も多量に出土したが、それらの帰属時期も遺構の帰属時期とほぼ同じ傾向にあるだろう。縄文土器はコンテナ約250箱、フレイク、チップを含まない石器は、22,170点出土した。ただし、これらの土器、石器の多くは、表土中や遺構を埋める土に紛れて存在していたもので、当時の使用状況や廃棄状況などを直接反映していると考えられるものは少なかった。

他に、中世末頃の鉄鍋鋳造にかかわる鋳型や炉の破片と考えられるものがいくらか出土した。鉄鍋鋳型



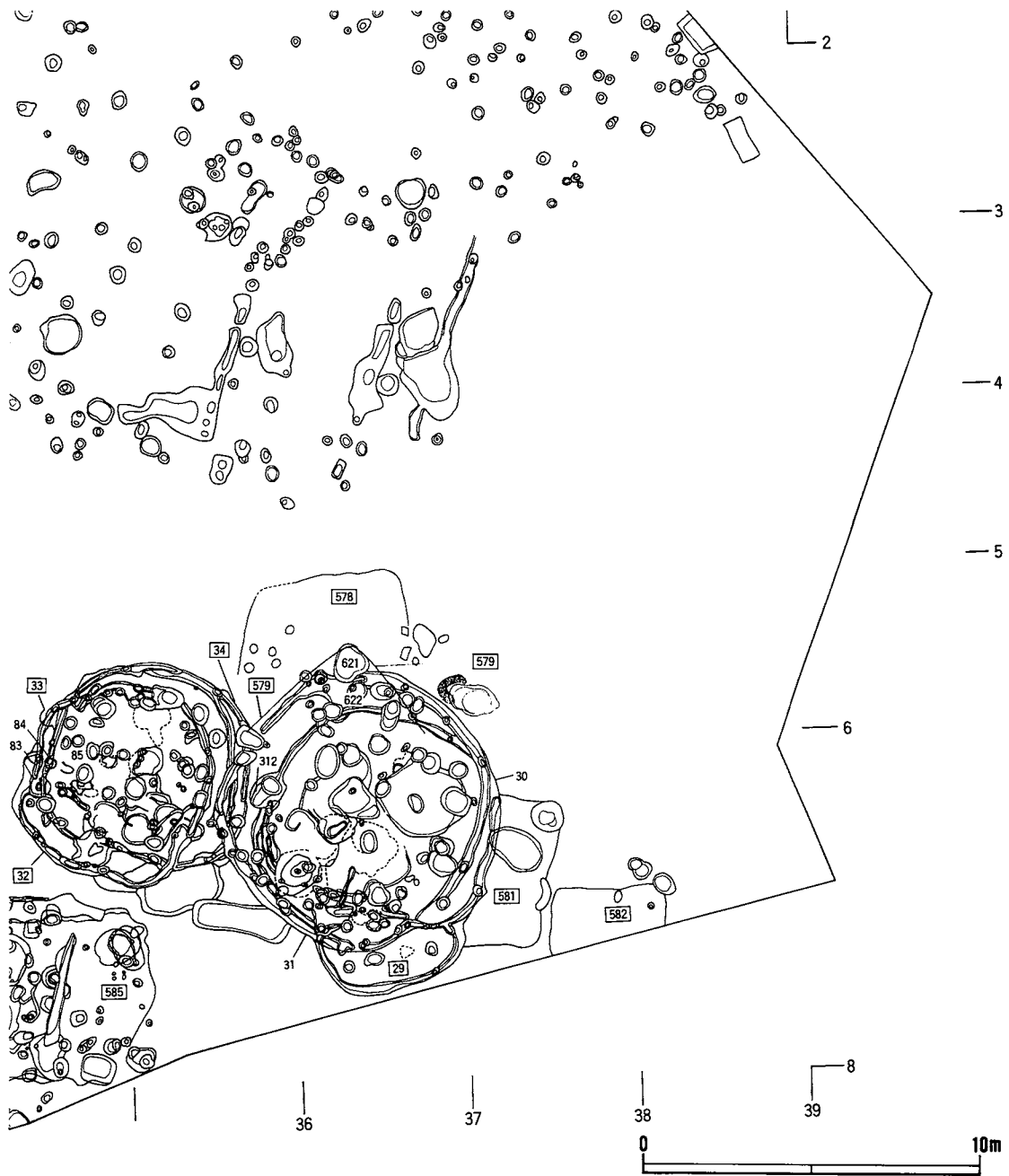
第5図 遺構配置略図



位置No.	構造No.	名称	位置No.	構造No.	名称
1	6	1-33-P2	45	6	2-32-P5
2	6	1-33-P3	46	6	2-32-P6
3	6	1-32-P1	47	6	2-32-P7
4	6	1-32-P2	48	6	2-32-P8
5	6	3-32-P1	49	6	2-32-P9
6	6	3-32-P2	50	6	2-32-P10
7	6	4-32-P5	51	6	2-32-P11
12	6	5-32-P2	52	6	2-32-P12
44	6	5-32-S11	53	6	2-32-P13
45	6	5-32-S12	54	6	2-32-P14
46	6	5-32-S13	55	6	2-32-P15
47	6	5-32-S14	56	6	2-32-P16
48	6	5-32-S15	57	6	2-32-P17
66	6	2-32-階段上壁No.3	58	6	2-32-P18
109	6	1-34-P1	59	6	2-32-P19
115	6	2-31-P2	60	6	2-32-P20
116	6	2-31-P4	61	6	2-32-P21
121	6	2-32-P5	62	6	2-32-P22
128	6	3-34-P2	63	6	2-32-P23

位置No.	構造No.	名称	位置No.	構造No.	名称
154	6	4-32-P1	65	6	2-32-P24
155	6	4-32-P6	66	6	2-32-P25
226	6	5-31-P4	67	6	2-32-P26
227	6	5-32-P1	68	6	2-32-P27
228	6	5-32-P3	69	6	2-32-P28
229	6	5-32-P4	70	6	2-32-P29
241	6	5-32-P6	71	6	2-32-P30
242	6	5-32-P9	72	6	2-32-P31
243	6	5-32-P10	73	6	2-32-P32
383	6	1-33-P1	74	6	2-32-P33
384	6	1-33-P1	75	6	2-32-P34
594	6	2-31-P3	76	6	2-32-P35
595	6	2-31-P3	77	6	2-32-P36
596	6	2-32-P1	78	6	2-32-P37
597	6	2-32-P2	79	6	2-32-P38
598	6	2-32-P3	80	6	2-32-P39
599	6	2-32-P4	81	6	2-32-P40
600	6	2-32-P1	82	6	2-32-P41
601	6	2-32-P1	83	6	2-32-P42
602	6	2-32-P1	84	6	2-32-P43
603	6	2-32-P1	85	6	2-32-P44
604	6	2-32-P1	86	6	2-32-P45
605	6	2-32-P2	87	6	2-32-P46
609	6	4-31-P1	88	6	2-32-P47
610	6	4-32-P2	89	6	2-32-P48
618	6	5-32-P2	90	6	2-32-P49
663	6	S81	91	6	2-32-P50
664	6	S82	92	6	2-32-P51
665	6	S83	93	6	2-32-P52
706	3	3-32-P8	94	6	2-32-P53

第6図 遺構配置図(1)



国内No.	挿図No.	遺構名称	挿図No.	図版No.	記載頁
	位置図	配座図	遺構図	写真	解説
29	7	7-36-S11	30		33
30	7	5-36-S13	30-32-34	13-15	33-34
31	7	5-36-S14	30-32-34	13-15	33-34
32	7	6-34-S11	30-31-33	14-16-18	34
33	7	6-34-S12	30-31-33	14-16-18	34
34	7	6-34-S13	30-31-33	14-16-18	34
83	7	6-34埋設土器No.1	30	41	67
84	7	6-34埋設土器No.2	30	41	67
85	7	6-34埋設土器No.3	30	41	67
312	7	6-35-P1			
578	7	5-36-S11		80	452
579	7	5-36-S12		80	453
581	7	6-37-S11		80	454
582	7	6-37-S12		80	455
585	7	7-34-S11		81-83	456
621	7	5-36-P2			463
622	7	5-36-P4			

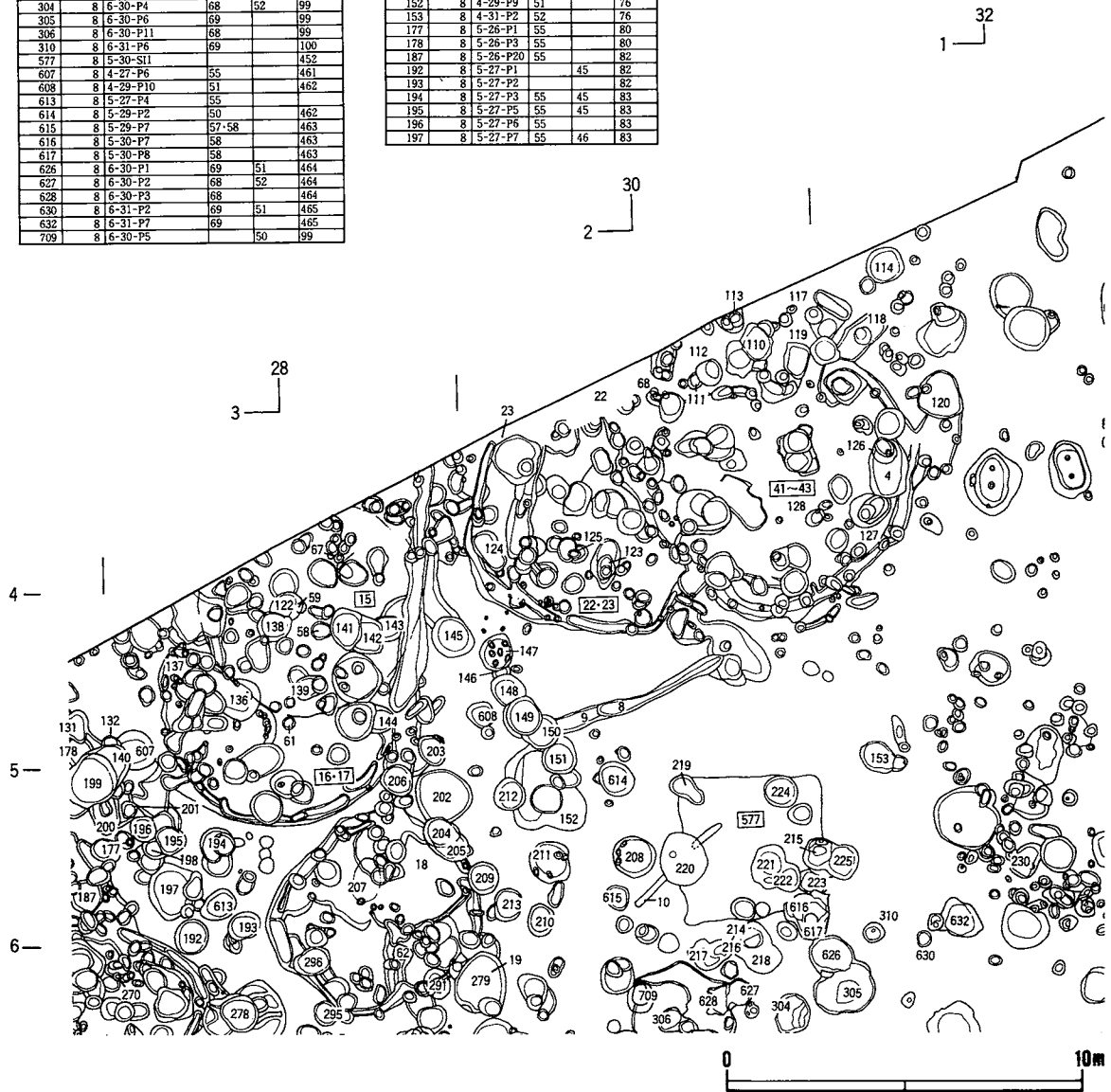
第7図 遺構配置図(2)



国内No. 位置図	押図No. 配図	遺構名称	押図No. 遺構	図版No. 写真	記載頁 解説
198	8	5-27-P8	55	45	83
199	8	5-27-P9	55	45	83
200	8	5-27-P10	55	45	84
201	8	5-27-P13	55	45	84
202	8	5-28-P1	57		84
203	8	5-28-P2	57		84
204	8	5-28-P3	57	46	84
205	8	5-28-P4	57		84
206	8	5-28-P5	57		85
207	8	5-28-P6	57	74	85
208	8	5-29-P1	57-58		85
209	8	5-29-P3	57		85
210	8	5-29-P4	57		85
211	8	5-29-P6	57		85
212	8	5-29-P8	57		85
213	8	5-29-P22	57		86
214	8	5-30-P1	58	46	86
215	8	5-30-P3	58	46	86
216	8	5-30-P4	58		86
217	8	5-30-P5	58		86
218	8	5-30-P6	58		86
219	8	5-30-P9	50		87
220	8	5-30-P10	58	46	87
221	8	5-30-P11	58	46	87
222	8	5-30-P12	58	46	87
223	8	5-30-P13	58	46	87
224	8	5-30-P14	50	47	87
225	8	5-31-P3	58	46	87
230	8	5-32-P5	59-60		88
270	8	6-26-P15			94
278	8	6-27-P3			95
279	8	6-28-P7大口状土坑	67		95
285	8	6-28-P18	66		98
286	8	6-28-P20	66	50	98
304	8	6-30-P4	68	52	99
305	8	6-30-P6	69		99
306	8	6-30-P11	68		99
310	8	6-31-P6	69		100
577	8	5-30-S11			452
607	8	4-27-P6	55		461
608	8	4-29-P10	51		462
613	8	5-27-P4	55		462
614	8	5-29-P2	50		462
615	8	5-29-P7	57-58		463
616	8	5-30-P7	58		463
617	8	5-30-P8	58		463
626	8	6-30-P1	69	51	464
627	8	6-30-P2	68	52	464
628	8	6-30-P3	68		464
630	8	6-31-P2	69	51	465
632	8	6-31-P7	69		465
709	8	6-30-P5	50		99

国内No. 位置図	押図No. 配図	遺構名称	押図No. 遺構	図版No. 写真	記載頁 解説
110	8	2-30-P1			70
111	8	2-30-P2			70
112	8	2-30-P3			70
113	8	2-30-P4			70
114	8	2-31-P1	46		70
117	8	2-31-P5	46		71
118	8	2-31-P6	46		71
119	8	2-31-P7	46		71
120	8	2-31-P8	46		71
122	8	3-27-P1			72
123	8	3-29-P1			72
124	8	3-29-P2			72
125	8	3-29-P3		42	72
126	8	3-31-P1			72
127	8	3-31-P3			72
128	8	3-31-P8			72
131	8	4-26-P2	55		73
132	8	4-26-P5	55		73
136	8	4-27-P1		43	74
137	8	4-27-P2		43	74
138	8	4-27-P3			74
139	8	4-27-P4			74
140	8	4-27-P7	55		74
141	8	4-28-P1		43	74
142	8	4-28-P2		44	75
143	8	4-28-P3			75
144	8	4-28-P4			75
145	8	4-28-P5	51		75
146	8	4-29-P1	51		75
147	8	4-29-P2		44	75
148	8	4-29-P3	51	44	75
149	8	4-29-P4	51	44	76
150	8	4-29-P5	51	44	76
151	8	4-29-P8	51		76
152	8	4-29-P9	51		76
153	8	4-31-P2	52		76
177	8	5-26-P1	55		80
178	8	5-26-P3	55		80
187	8	5-26-P20	55		82
192	8	5-27-P1		45	82
193	8	5-27-P2			82
194	8	5-27-P3	55	45	83
195	8	5-27-P5	55	45	83
196	8	5-27-P6	55		83
197	8	5-27-P7	55	46	83

国内No. 位置図	押図No. 配図	遺構名称	押図No. 遺構	図版No. 写真	記載頁 解説
4	8	3-31-P9			48
6	8	4-29-P12			50
9	8	4-29-P13			50
10	8	5-29-P5			58
13	8	6-31-P3		69	52
15	8	3-27-S11			18
16	8	4-27-S11			18
17	8	4-27-S12			18
18	8	5-28-S11			20
19	8	6-28-S11			21
22	8	3-29-S11			24
23	8	3-29-S12			24
41	8	3-30-S11			37-39
42	8	3-30-S12			37-39
43	8	3-30-S13			37-39
58	8	3-27-S11埋設土器No.1	18	6	28-65
59	8	3-27-S12埋設土器No.2	18	6	28-65
60	8	3-27-S11埋設土器No.3	18		28-65
61	8	4-27-S11埋設土器	18	7	29-65
62	8	6-28-S11埋設土器No.1	21	11	30
67	8	3-28埋設土器No.1			66
68	8	3-30埋設土器No.1-2			35
69	8	4-28埋設土器No.1			35

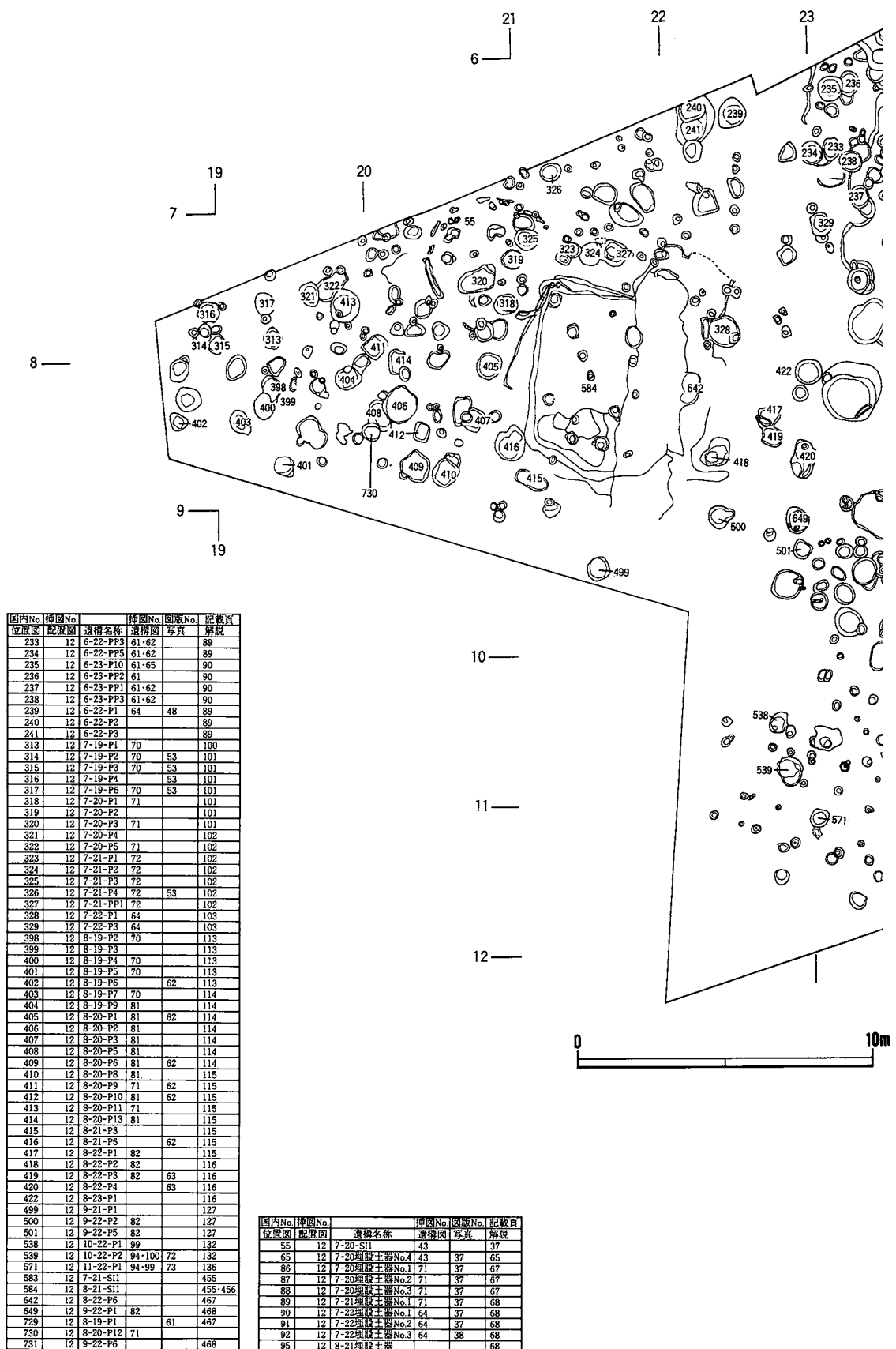


第8図 遺構配置図(3)

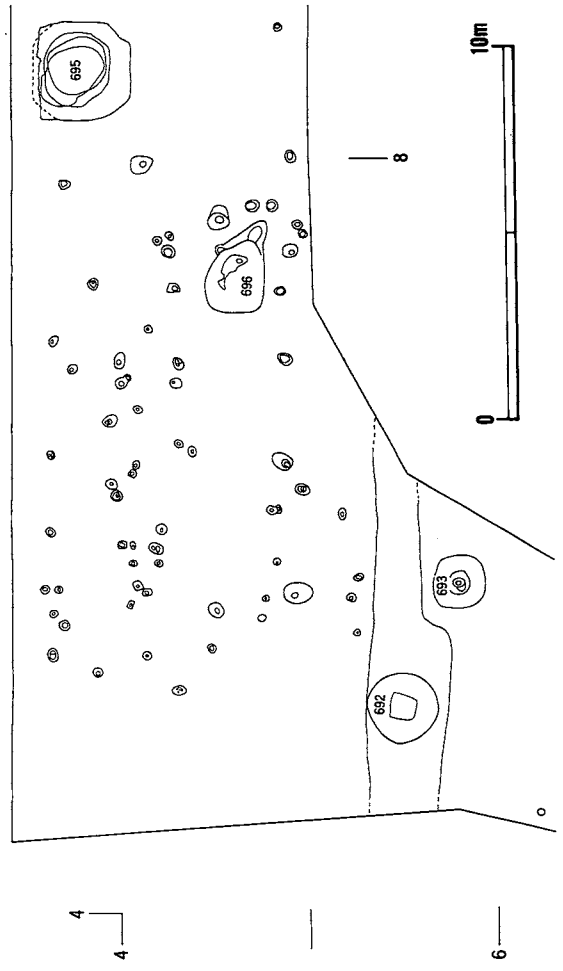
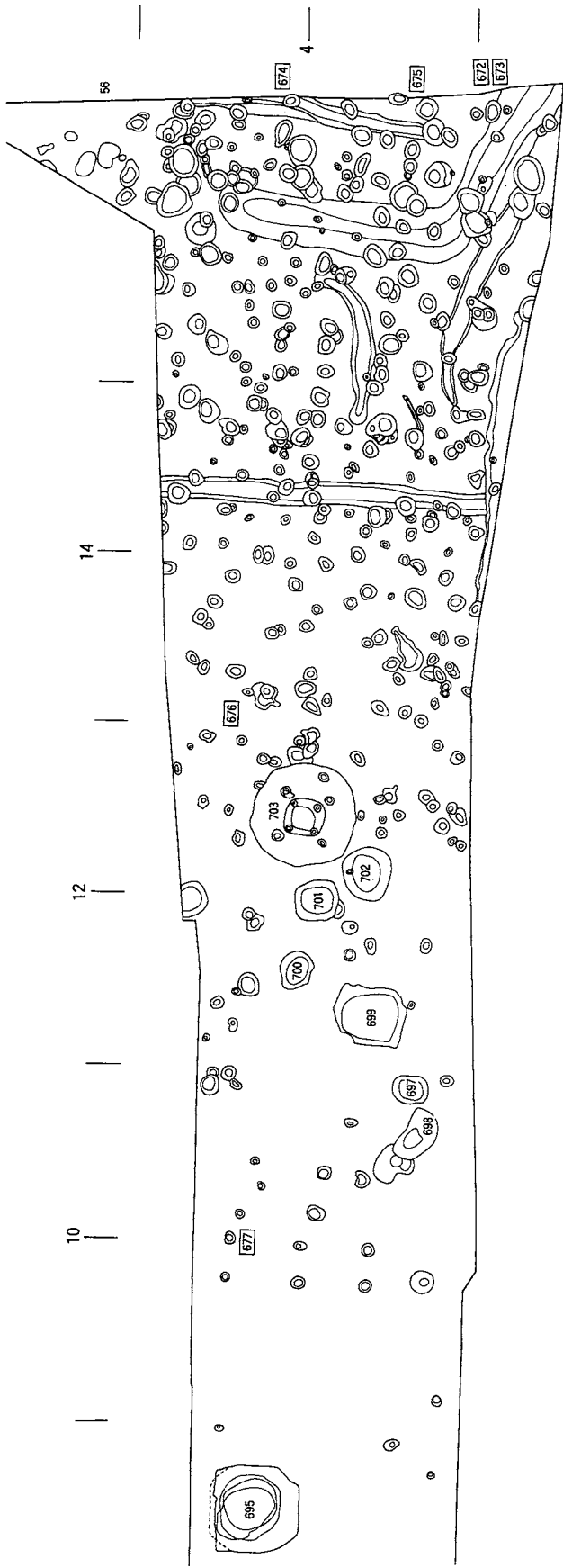






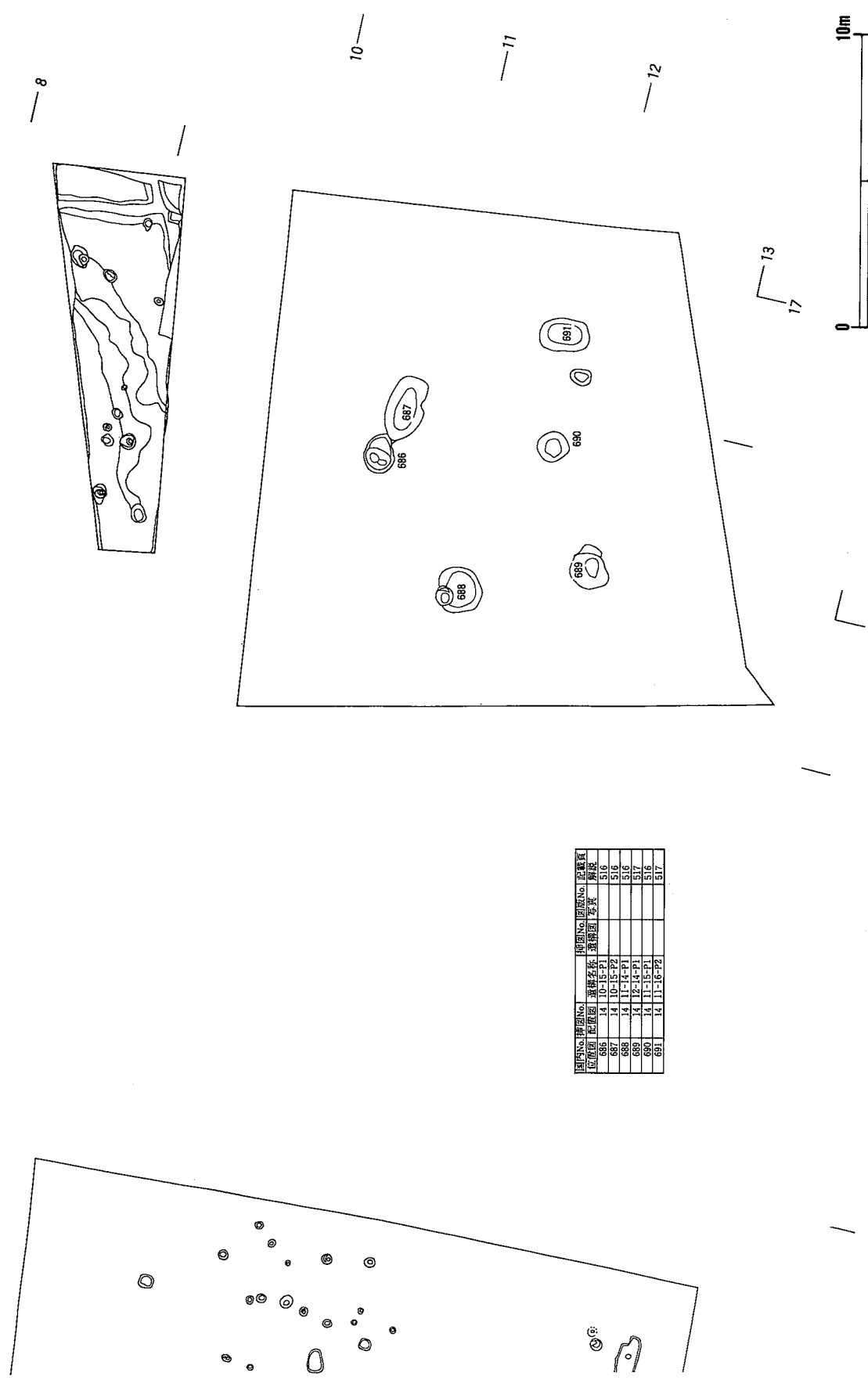


第12図 遺構配置図(7)



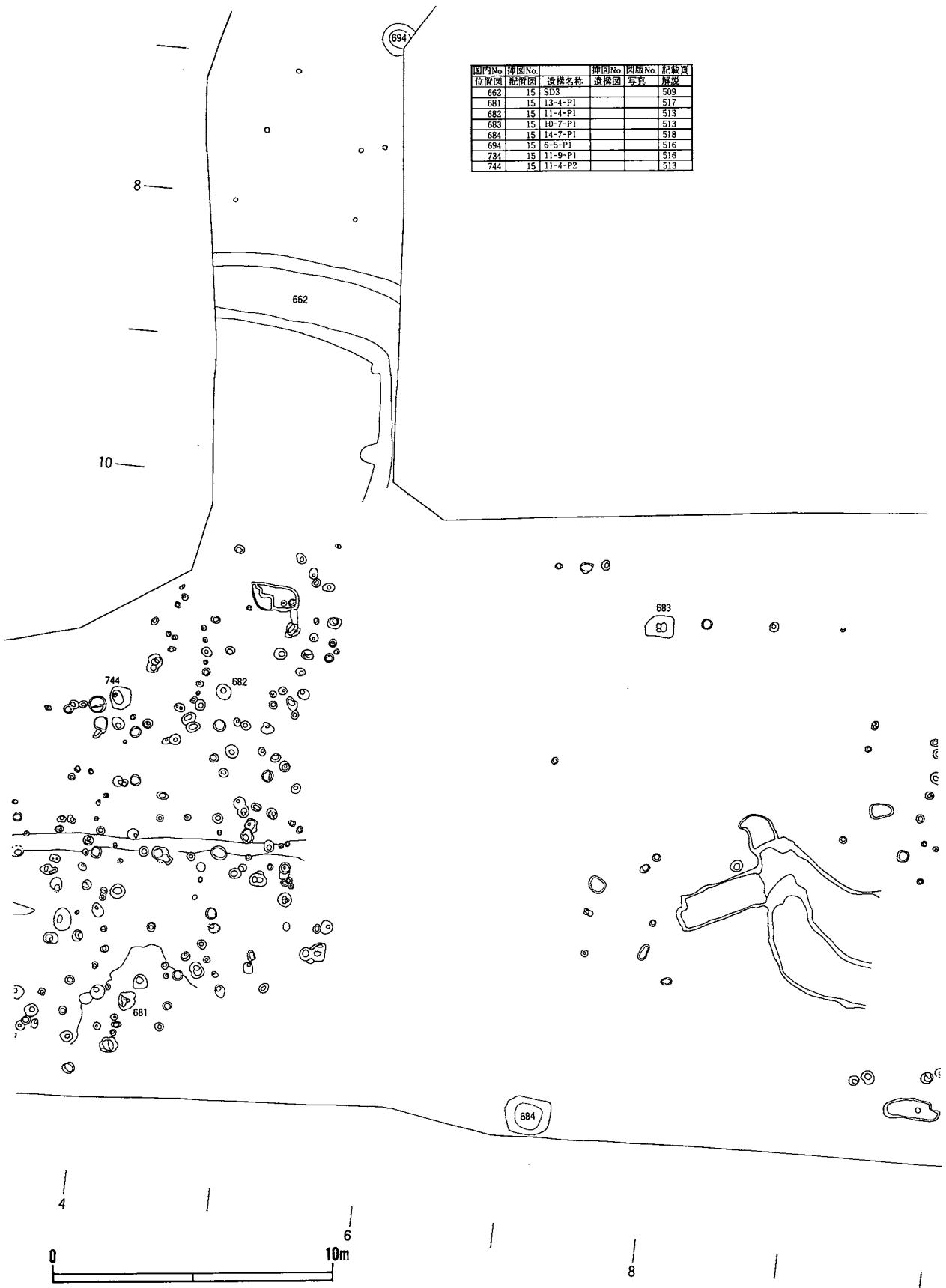
図内No.	部図No.	遺構名称	推定No.	図版No.	記載頁
56	13	2-15-S11	305	34	30
671	13	S58	305		51-512
672	13	S58	305		51-512
673	13	S58	305		51-512
674	13	S58	305		51-512
675	13	S58	305		51-512
676	13	S58	305		51-512
677	13	S58	305		51-512
692	13	5-5-P1			515
693	13	5-6-P1			516
695	13	3-3-P1		89	514
696	13	4-7-P1			515
697	13	4-10-P2			515
698	13	4-11-P1			514
700	13	3-11-P4		90	514
701	13	4-12-P1		90	515
702	13	4-12-P2			515
703	13	4-12-P3			515
732	13	3-12-P1			514

第13図 遺構配置図(8)



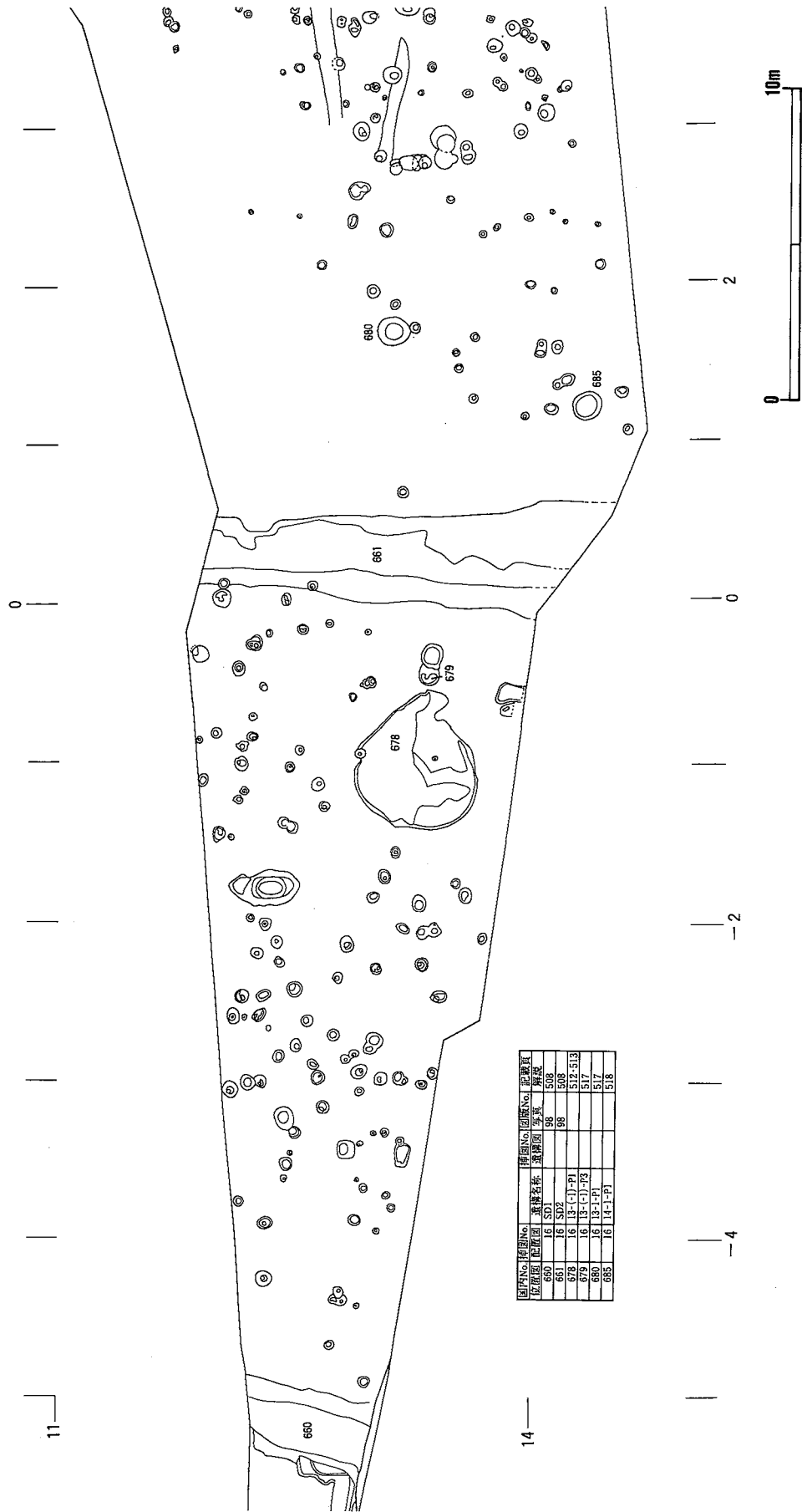
图例	说明	地层	层位	层号	层名
○	柱础	14	11-15-P1	516	
○	柱础	14	11-15-P2	517	
○	柱础	14	11-15-P1	516	
○	柱础	14	11-15-P2	517	
○	柱础	14	11-15-P1	516	
○	柱础	14	11-15-P2	517	

第14图 遺構配置図(9)



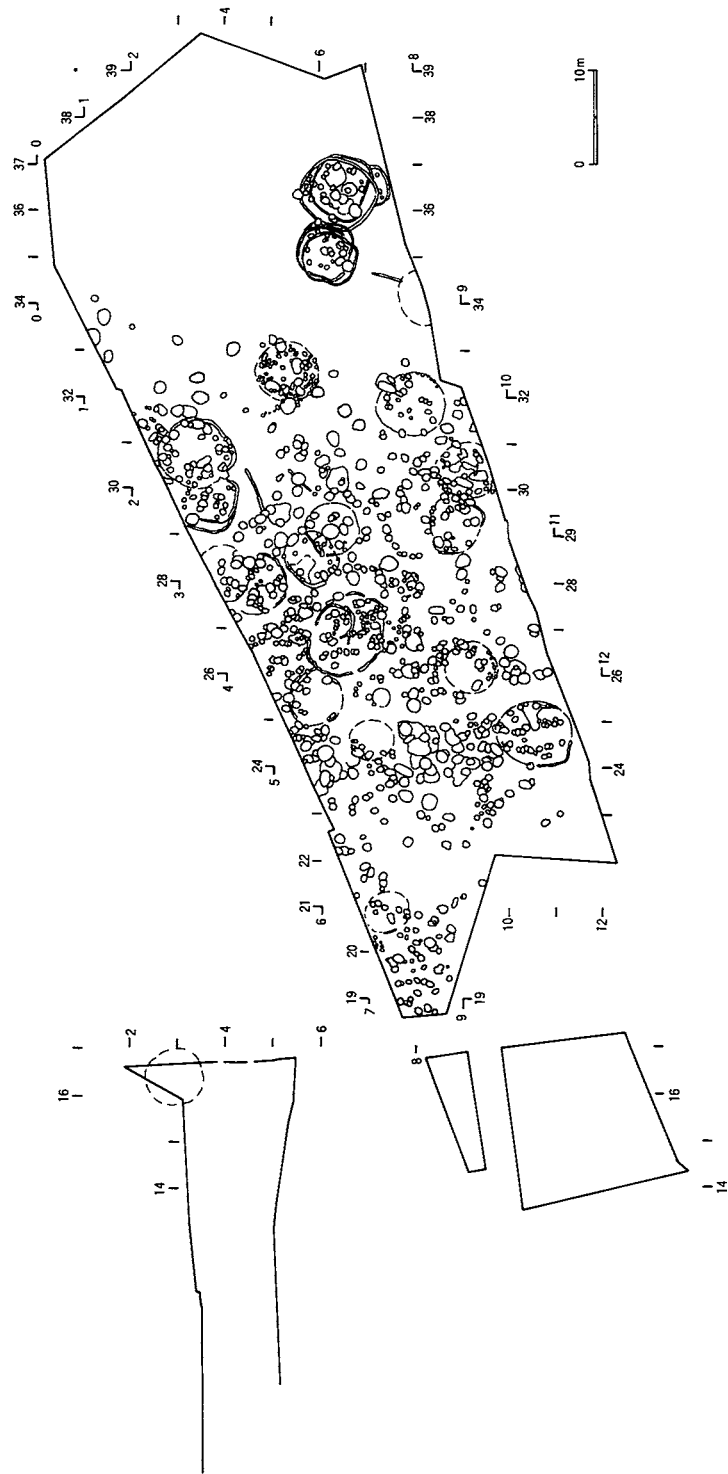
第15図 遺構配置図(10)





国内No.	群団No.	遺構No.	遺構No.	遺構No.	遺構No.	記載頁
位置	位置	名称	遺構No.	遺構No.	字號	解説
660	16	SD1	89	89	508	
661	16	S12	91	91	508	
678	16	13-1-P1			512-513	
680	16	13-1-P1			517	
685	16	14-1-P1			518	

第16図 遺構配置図(11)



第17図 縄文時代遺構配置図

## 2. 縄文時代早期後半から前期の遺構と遺物

### (1) 落とし穴・各種土坑

本調査区東地区からは、縄文時代早期後半から前期初頭にかけての時期に属する土器が出土した。量は少なく、表土から出土したものを含めても土器小破片が200点ほど出土したにすぎない。また、確実にその時期のものとして把握できる遺構はない。それらの土器破片は大木9式などの縄文時代中期末頃の土器破片を含む遺構から出土している。ただし、遺物が出土する地区は限られている。4-28区から最も多くの土器破片が出土したが、その周辺からも数点ずつ土器破片が採集された。この付近に遺構があった可能性もあるが、不明である。

ここに説明する遺構は、埋土から遺物が出土しなかったため、明確な帰属時期が不明のものである。ただし、埋土が自然堆積であるのに、その周辺に多く存在する縄文時代中期中葉から縄文時代後期初頭の土器破片が含まれないので、縄文時代中期中葉以前のものとして判断した。

#### 1-33-P 2 (第6図1・第46図)

規模：長径1.76m、短径1.50m、深さ1.16m。形態：底に直径10cmほどの穴が垂直にあげられているタイプである。埋土：自然堆積である。縄文時代前期頃の埋土である。遺物：含まれない。時期：埋土の性質から、縄文時代早期末から前期にかけて堆積したと考えられる。したがって、使用はそれ以前である。性質：埋土が自然堆積であることと、形態から、落とし穴として利用されたと推定した。

落とし穴

#### 1-33-P 3 (第6図2・第46図)

遺構の半分は、調査区外に広がる。規模：長径2.00m、短径(1.04)m、深さ0.60m。現地表面からだと深さ1.06m。形態：底がボールの底状である、円筒型の土坑。埋土：自然体積土。遺物：含まれない。時期：周辺に多量にある、大木8b式以降の土器片を含まないことから、まだ、周囲に土器を使用する人々がいなかった頃のものとして推定できる。埋土の性質から、縄文時代前期頃のものと推測した。性質：埋土が自然堆積土であることと、形態から、落とし穴の可能性も考えられるが、不明である。

落とし穴

#### 1-32-P 1 (第6図3・第46図)

規模：長径1.32m、短径0.88m、深さ0.31m。形態：楕円筒型の土坑。埋土：縄文時代の自然堆積土。時期：周囲に多い縄文時代中期中葉以降の遺物が含まれないことから、縄文時代前期以前に埋まったと推測した。

#### 3-31-P 9 (第8図4・第49図)

位置と重複関係：3-30-S I 1の諸遺構に切られている。規模：長径(1.76)m、短径1.08m、深さ0.72m。形態：底中央に直径10cmほどの穴が垂直に二つ、土坑長軸に平行してあげられているタイプである。埋土：自然堆積である。縄文時代前期頃の埋土である。遺物：含まれない。時期：埋土の性質と中に縄文時代中期の遺物が含まれないことから、縄文時代早期末から前期にかけて堆積したと考えられる。したがって、使用はそれ以前である。性質：形態と埋土が自然堆積であることから、落とし穴として利用されたと推定した。

落とし穴

#### 3-32-P 1 (第6図5・第49図・写真図版76)

3-30-P 3の東2 mにある。規模：長径1.92m、短径1.60m、深さ0.78m。形態：底中央に直径10cmほどの穴が垂直に二つ、土坑長軸に平行してあけられているタイプである。埋土：自然堆積である。縄文時代前期頃の埋土である。遺物：含まれない。時期：埋土の性質から、縄文時代早期末から前期にかけて堆積したと考えられる。したがって、使用はそれ以前である。

落とし穴 性質：埋土が自然堆積であることその形態から、落とし穴として利用されたと推定した。

**3-32-P 2** (第6図6・第49図・写真図版76)

3-32-P 1の東約0.8mにある。規模：長径1.64m、短径1.08m、深さ0.80m。形態：底に直径10cmほどの穴が垂直に二つ、土坑長軸に平行してあけられているタイプである。埋土：自然堆積である。縄文時代前期頃の埋土である。遺物：含まれない。時期：埋土の性質から、縄文時代早期末から前期にかけて堆積したと考えられる。したがって、使用はそれ以前である。

落とし穴 性質：形態と、埋土が自然堆積であることから、落とし穴として利用されたと推定した。

**4-32-P 5** (第6図7・第54図・写真図版76)

位置：規模：長径1.48m、短径1.40m、深さ0.65m。形態：底ほぼ中央に直径10cmほどの穴が垂直に三つあけられているタイプである。埋土：自然堆積である。縄文時代前期頃の埋土である。遺物：含まれない。時期：埋土の性質から、縄文時代早期末から前期にかけて堆積したと考えられる。したがって、使用はそれ以前である。性質：形態と、埋土が自然堆積であることから、落とし穴として利用されたと推定した。

落とし穴

**4-29-P 12** (第8図8・第51図)

位置と重複関係：4-29-P 13に切られる。規模：長径3.90m、短径0.48m、深さ0.66m。形態：幅の狭い深い溝状である。埋土：自然堆積である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積であることと、その形態から、落とし穴と考えられる。時期：この周辺で最も量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃のものとして推測した。

落とし穴

**4-29-P 13** (第8図9・第51図)

位置と重複関係：4-29-P 5に切られる。また、4-29-P 12を切る。規模：1.36m以上、短径0.52m、深さ0.52m。形態：幅の狭い深い溝状である。埋土：自然堆積である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積であることと、その形態から、落とし穴と考えられる。時期：この周辺で最も量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃のものとして推測した。

落とし穴

**5-29-P 5** (第8図10・第58図)

位置と重複関係：5-30-P 10に切られる。長径3.38m、短径0.24m、深さ0.65m。形態：幅の狭い深い溝状である。埋土：自然堆積である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積であることと、その形態から、落とし穴と考えられる。時期：この周辺で最も出土量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃には埋まっていたと推測した。

落とし穴

**6-31-P 3** (第8図13・第69図・写真図版52)

位置と重複関係：6-32-P 2の南西2.5mにある。規模：長径1.44m、短径1.40m、深さ0.72m。形態：検出面平面形が隅円方形的な円筒型の土坑である。埋土：縄文時代中期後半の埋土とは異なる。自然堆積的である。遺物：含まれない。性質：不明だが、埋土が自然堆積的で、周辺に多量に存在する縄文時代中期後半以降の遺物が含まれないので、落とし穴の可能性もあ

落とし穴

る。時期：周辺に多量に存在する縄文時代中期後半の遺物が含まれないので、縄文時代前期頃のものとして推測した。

#### 6-31-P 12 (第9図14・第69図・写真図版51)

位置と重複関係：6-31-P 3の西南0.9mにある。規模：長径1.47m、短径1.22m、深さ0.72m。形態：検出面平面形が不正円形の円筒型の土坑である。埋土：縄文時代中期後半の埋土とは異なる。自然堆積的である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積的であることから、落とし穴であった可能性がある。時期：周辺に多量に存在する縄文時代中期後半の遺物が含まれないので、縄文時代前期頃のものとして推測した。

落とし穴

#### 6-32-P 2 (第6図12・第59図)

位置と重複関係：5-32-SI 1南端の柱穴に切られる。規模：長径1.36m、短径1.30m、深さ0.66m。形態：検出面平面形が不正円形の円筒型の土坑である。埋土：縄文時代中期後半の埋土とは異なる。人為堆積土と考えられる。遺物：含まれない。性質：埋められた土坑と考えられる。時期：この周辺で最も出土量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃のものとして推測した。

#### 7-31-P 17 (第9図11・第80図)

位置と重複関係：7-31-P 6に切られる。短径0.56m、深さ0.86m。形態：幅の狭い深い溝状である。埋土：自然堆積である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積であることと、その形態から、落とし穴と考えた。時期：この周辺で最も出土量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃のものとして推測した。

落とし穴

#### 7-34-P 1 (第9図716)

位置：7-34-SIに切られる。検出面規模：長径2.98m、短径0.24m、深さ0.72mである。形態：幅の狭い溝状である。埋土：自然堆積である。遺物：含まれない。性質：埋土が自然堆積であることと、その形態から、落とし穴と考えた。時期：この周辺で最も出土量の多い縄文時代中期後半の遺物が含まれないことから、縄文時代前期頃のものとして推測した。

落とし穴

#### 出土遺物 (第165図・写真図版143)

276は、内外面に縄文が施され、胎土中に繊維が含まれる尖底土器である。この口縁部は不明だが、このタイプのものと思われる口縁部が数個体分出土している。1033は、外面全体に縄文が施され、口縁の部分だけ内面にも縄文が施される土器である。胎土には繊維が含まれる。この時期のものと思われる多くの土器破片は1片が2～5cmの大きさである。

尖底土器

繊維土器

### 3. 縄文時代中期から後期の遺構と遺物

本調査区東地区からは縄文時代中期中葉から後期前葉の土器破片が多量に出土した。土器型式名では大木8aから大湯式である。また、その時期の遺構も多量に出土した。特に、中期後葉から中期末葉には住居跡も多数検出された。以下に、住居跡、土坑の順に記述する。

#### (1) 住居跡

本調査区からは縄文時代の住居跡が45棟検出された。それらはすべて大木9式～大木10b式

45棟の住居跡

土器が使用される時期のものである。

## 大木9式期

### 3-27-SI1

遺構（第8図15・第18・19図）

位置と重複関係：東地区の北辺ほぼ中央にある。4-27-SI1のすぐ北に重複して存在する。こちらの方が新しいと推定できる。検出状況：埋土のほとんどは耕作により削られており、床面の数センチ上の面で検出された。炉の存在によって住居跡の存在が認識された。炉は後期前葉土器を含む3-27-P1によって切られる。また住居跡北の一部は調査区外にあり、未調査である。規模と形態：炉の位置や柱と推定される遺構の配置から、直径約7mのほぼ円形と推定した。炉の形態：地山面が固くなった箇所+石囲い凹部+石囲いのある炉+埋設土器の4つに区分できるタイプの複式炉である。付属施設：複式炉の長軸延長上に壺が埋められていた（4）。大木9式新段階の長頸壺である。柱は6本柱であったと推定した（第18図では、PP1～PP6）。

## 大木9式新段階

時期：大木9式新段階土器が複式炉の先端部に埋められており、その周囲にわずかに焼土が形成されていた。また、複式炉の延長上に埋められた埋設土器も大木9式新段階なので、大木9式新段階の頃に使用されたと推定できる。

遺物（第105図・写真図版99）

4は複式炉の先端部に埋められた土器である。大木9式新段階の深鉢である。胴部のみが使用されている。後期前葉の土坑3-27-P1に一部が壊されている。3は、床面から下に土坑を掘り、その中に埋められていた土器である。埋められる前に既に口縁の部分が失われていたと考えられる壺である。大木9式壺である。縄などを通せるような取っ手が器の左右に一基ずつ付いている。壺の頸から上は欠損しているが、下部の取っ手の位置をもとに考えると、左右の取っ手は、器の上部にも器下部の取っ手と同じ列上に配置されるように、更に一基ずつ付いていたと考えられる。土器の底中央は土器焼成後穿孔されている。その穿孔部の直下に、土器破片が数枚敷かれていた。敷かれていた土器は2で、大木9式新段階深鉢である。3261は、床面上から検出された頁岩製石核である。3599はPP1（旧遺構名3-28-PP14）に埋められていた石皿である（写真図版94）。半分に折れている。

## 底部穿孔

### 4-27-SI1

遺構（第8図16・第18図・写真図版5～7）

位置と重複関係：東地区の北辺ほぼ中央にある。3-27-SI1のすぐ南に重複して存在する。両者の直接の切り合い関係を示す遺構はなかったが、こちらの炉が石囲炉であることから、こちらの方が古いと推定した。炉の大部分など、住居内には縄文後期初頭から前葉にかけての土坑が複数重なる。検出状況：床面直上の埋土が約20cm残った状態で検出した。規模と形態：建物縁に周溝が巡るタイプの住居である。住居の北半は3-27-SI1に重なり、不明だが、直径約7mのほぼ円形と推定した。炉の形態：炉の周囲を礫で囲むタイプの燃焼部を持つ複式炉と推定できるが、燃焼部以外の部分は後の時代の土坑に切られており全貌は不明である。燃焼部を囲う礫には長さ10～15cm、厚さ5cmほどの粘板岩が用いられていた。礫は二重に囲われていた。4-27-SI2の炉を埋め、少し位置をずらしてこの炉は造られていた。付属施設：複式炉長軸延長

上に埋設土器が1基ある。縄文だけが深鉢の下半部が正位に埋められていた。柱穴：太い柱が4本用いられるタイプと推定した（第18図PP7～10）。建物縁に近い炉の端部にも左右に1本ずつ細い柱があるようである（第18図PP11・12）。時期：この住居に付随すると考えられる柱穴の埋土からは大木9式土器だけが出土するので、この住居は大木9式土器使用期のものと推定した。

大木9式

#### 遺物（第105図・写真図版99）

5は、炉の延長部。建物のほぼ中央に正立に埋められていた埋設土器である。土器の下半部だけが埋められていた。住居の床面直上の埋土は20cmほど残っていたのに、この土器の上部は床面より上にはなかったため、この土器は埋設時点では既に土器下半部だけだったと推定した。土器周囲の土は焼けていない。

#### 4-27-SI2

##### 遺構（第8図17・第18・19図・写真図版5～7）

位置と重複関係：東地区の北辺ほぼ中央にある。4-27-SI1に重複して存在する。こちらの方が古い。検出状況：4-27-SI1の炉周辺には一部貼床されており、それを剥ぐと下から古い炉跡が検出され、別の住居跡があることが認識された。貼床は炉の上だけに施されていた。規模と形態：炉の形態：炉の燃焼部だけが検出された。4-27-SI1の燃焼部の下に一部重なっていた。礫が燃焼部周囲にあったと推定できるが、埋められていた礫のほとんどは抜き取られていた。礫の抜き取り痕跡があった。礫が2点残っていたが、それらは、長さ30～40cm、厚さ10cmほどの粘板岩である。囲いの礫は一重である。この炉が埋められ、少し位置をずらして4-27-SI1の炉が造られていた。複式炉と推定できるが、全貌は不明である。付属施設：柱穴が3本用いられるタイプと推定した（第18図A～C）。燃焼部の両脇に2本の柱が立てられ、それらを結んだ線と燃焼部が交わった点から直角に延ばした線上に1本の柱が立てられるものである。時期：この住居に付随すると考えられる柱穴の埋土からは大木9式土器だけが出土するので、この住居は大木9式土器使用期のものと推定した。

大木9式

#### 5-28-SI1

##### 遺構（第8図18・第20図・写真図版8）

位置と重複関係：東地区のほぼ中央にある。4-27-SI1のすぐ南に隣接する。屋根の存在を考えると、4-27-SI1と5-28-SI1は同時には存在していなかったと考えられる。6-28-SI1に切られる。また、後期初頭の土器(225)が横倒しになり潰れていた6-28-P6が重複していた。検出状況：床面直上の埋土が約10cm残った状態で検出された。規模と形態：住居の縁に周溝が巡る。縦6.6m、横約7.2mの隅円の長方形な平面形である。炉の形態：地山面が固くなった箇所+石囲い凹部+埋設土器炉の3つに区分できるタイプの複式炉である。埋設土器としては大木9式新段階の深鉢と縄文だけが施された深鉢底部が並んで正位に置かれていた。土器の周囲の土は焼けていた。炉の周囲に置かれていた礫は一部を除き失われていた。付属施設：7本の柱が立てられていた可能性がある（第20図PP1～7）。炉の燃焼部の両脇に2本の太い柱を立て（PP1・5）、その2本の柱を結ぶ線の中央から直角な位置に太い柱よりいくらか細い柱を1本（PP3）立てる。また、2本の太い柱を結んだ線と平行な位置に太い柱よりはいくらか細い2本の柱（PP2・4）を立てる。更に、壁と炉接するあたりに2本の細い柱（PP6・

## 大木9式新段階

7)を立てる。時期：大木9式新段階の土器が土器埋設炉に用いられていたため、その頃使用されていた住居と推定できる。

遺物（第106図・写真図版99・100）

7は西側に置かれていた埋設土器炉の土器である。大木9式新段階土器深鉢である。上半部は無い。8は東側に置かれていた埋設土器炉の土器である。器の底部付近しか残っていない。

## 大木10a式古段階

### 6-28-SI1

遺構（第8図19・第21図・写真図版8～11）

位置と重複関係：東地区のほぼ中央にある。5-28-SI1の南端に重複して存在する。検出状況：床面直上の埋土が約10cm残った状態で検出された。規模と平面形：あまり明確には床面の広がりをとらえられなかったが、周溝らしいものの痕跡から、平面形はほぼ円形で、直径約4.3mと考えることができるが、柱と考えられる遺構の配置をもとに考えるならば、それより少し大きめと考えるべきかもしれない。炉の形態：地山面が固くなった箇所+石囲い凹部+埋設土器炉の3つに区分できるタイプの複式炉である。炉の周囲には礫があったと推定できるが、検出時にはほとんどは抜き取られていた。炉の土器は深鉢の胴部だけを用いられており、正立に埋められている。土器の周囲は土器を中心に同心円状に幅5cmほど褐色の焼土が形成されていたが、土器の内面には、底の部分も含め、焼土は形成されていない。付属施設：6-28埋設土器No.1はこの住居の西端に埋められていた。土器底中央部は穿孔されていた。土器は土器がちょうど埋められるだけの深さの土坑に埋められていた。土器の底には、土器破片が数枚敷かれていた。土器内の埋土は水平に4層が堆積していた。埋められる前に入れられていたと推測した。柱穴：4本のほぼ同じ太さの柱が正方形のそれぞれの頂点の位置に1本ずつとなる配置で立っていたと推測された（第21図PP1～4）。正方形の下辺の2本（PP1・2）は、炉の燃焼部と重なる位置である。時期：炉に用いられていた土器が大木10a式古段階なので、その頃使用されていた住居と推測した。また、大木9式新段階の土器11が床面に伏せて置かれていたことから、大木10a式土器の使用期でも、最も古い段階の住居と推定した。

## 大木10a式古段階

遺物（第107図・写真図版100）

11は、床面にぴったり付く状態で、倒立して置かれていた小さな壺である。大木9式新段階のものである。口縁部は失われていた。ただし、その欠損部には朱が塗られていた箇所が残っている（原色図版IV参照）。土器内部には土がいくらか入っていた。9は、炉に用いられていた大木10a式古段階の深鉢胴部である。

### 5-25-SI1・SI2

遺構（第10図20・第22図・写真図版20）

位置と重複関係：調査区東地区の北辺の中央やや西寄りにある。6-28-SI1の東約13mにある。大方の部分が現代の攪乱を受けており、正確な全体像は不明である。複数の柱穴状の遺構があることと、同心円状の周溝が2条巡るので、2棟の住居跡が重複している可能性があるが、攪乱などが激しく、柱穴などは正確には把握できなかった。直径5.4mのものと、直径6.4mのものがある。検出状況：後の時代の耕作による攪乱がほぼ床面まで達していたので、炉が把握さ



れて初めて住居と認識された。炉の形態：13が横倒しになった状態で検出された。その周囲には焼土が形成されていた。14は正立して埋められていたが、周囲には焼土はなかった。時期：大木10a式古段階の深鉢が埋められていたので、その頃の住居と推定した。

大木10a式  
古段階

遺物（第108図・写真図版100・101）

14は大木10a式古段階の土器である。胴部の一部だけが正立して埋められていた。周囲に焼土は観察されなかった。13は土器埋設炉の土器である。底に近い部分だけが残っていた。器面はヘラ状の物で削られている。

### 9-29-SI1

遺構（第9図21・第23図・写真図版12）

位置と重複関係：東調査区ほぼ中央の南辺にある。8-29-SIが東に隣接するが、そちらはこれよりも新しい。多くの時期の異なる土坑が重なる。検出状況：床面直上までは耕作により攪乱されていたため、炉が確認されてから住居として認識された。規模と平面形：竪穴としての壁は未検出であるし、周溝もないタイプなのであまり明確には床面の広がりをとらえられなかったが、柱の配置から、直径約6.7mのほぼ円形と推定した。炉の形態：一つの浅い直方体土坑を掘り、その中を2つの性質の異なる部分に仕切るタイプの複式炉。その先端に土器を正立に埋設した炉がある。柱の配置：複式炉の無い側に5本の太い柱が五角形に配置され、2本の細い柱が複式炉端の壁際附近に配置されるタイプである。埋設土器を中心としてその両脇に1対の太い柱が立つが、それらは埋設土器から3m離れている。複式炉の長軸上にある柱と埋設土器との距離は4.3mである。埋設土器の両脇の1対の柱に平行する2本の柱までの距離は2.8mである。時期：土器埋設炉に用いられた土器の形態・文様から、大木10a式古段階の土器が使用されている時期の住居だったと推定した。

大木10a式  
古段階

遺物（第129図・写真図版116）

108は、土器埋設炉に用いられていた壺型の大型土器である。文様のモチーフから大木10a式でも古段階の土器と推定した。外面は熱を受け、真っ赤になっている。

## 大木10a式新段階

### 3-29-SI1・SI2

遺構（第8図22・23・第24図・写真図版17）

位置と重複関係：調査区の東地区の北辺ほぼ中央にある。3-30-SIが東に一部重なる状態で検出されたが、3-29-SIの方が古い。2重の周溝の存在から、ほぼ同じ場所に二つの住居跡が重なっていたことがわかったが、炉が残っていた新しい方を3-29-SI1と呼ぶ。柱穴と周溝ぐらゐしかはっきりとはわからなかった建物をSI2と呼んだ。検出状況：後の時代の耕作による攪乱が床面直上までおよんでいたため、炉が検出されてはじめて住居跡の存在を確認した。規模と平面形：北西隅は未検出だが、平面形は隅円の長方形と推定できる。周溝が巡るタイプである。3-29-SI1は縦が5.1m、横が7.3mほどである。柱の配置から、3-29-SI2は、周溝の配置から、6.4×7.3mほどと推定した。検出状況：炉と床面が検出されて初めて住居と認識された。炉の形態：壁側から住居中央に向かい3つのくぼみからなる複式炉である。壁に近いすり鉢状のくぼみ（内面は非常に固い）+内面底に白い粘土が貼られたくぼみ+浅いくぼみの燃焼

大木10a式  
新段階

部の三つの部分からなる。燃焼部底中央に深鉢胴部大破片が敷かれていた。燃焼部に付属する土器は普通、燃焼部の端に位置するが、この炉の場合、燃焼部の中央にあるので、普通のものとは異なる性質を考える必要がある。柱の配置：2者とも、4本の柱が長方形の四隅に配置されるタイプである（第24図では、S I 1がPP1～4、S I 2がPP5～8）。4本の柱からなる長方形は、埋設土器炉を中心にしてその両脇に埋められた一対の柱をその底辺として、複式炉の無い側にある。柱穴の規模は中規模に属する。時期：大木10a式新段階土器が炉に埋設されていたことから、その頃使用された住居と推定した。

遺物（第109図・写真図版101）

17は炉に敷かれていた土器である。大木10a式新段階に属する。

5-27-SI1

遺構（第10図24・第25～29図・写真図版19・20）

位置と重複関係：調査区東地区ほぼ中央にある。6-26-SIと重複しているが、5-27-SI1が新しい。5-27埋設土器No.1（171）を切る。床面の高さは6-26-SIと同じである。他に、6-26埋設土器群を切っている。検出状況：床面を覆う埋土が約30cm残っている状態で検出された。規模と平面形：周溝ほぼ円形に巡る。直径約4mである。炉の形態：深鉢が正立するタイプである。炉は2つの正立した深鉢からなっており、それらは北西-南東ライン上に隣接している（第109図19・20）。柱の配置：明確には分からなかった。時期：炉に使用された土器が大木10a新段階の土器なので、その頃の住居と推定した。

大木10a式  
新段階

遺物（第109図・写真図版101・102）

18は埋土2層最上部にあった土器である。地文の縄文を消して無文帯で文様モチーフを描くので、大木10b式と考えられる。19は炉として利用された南東側の埋設土器である。大木10a式新段階に分類できる。20は北西側の炉に利用された土器である。

6-26-SI1・SI2・SI3・SI4

遺構（第10図25～28・第25～29図・写真図版21・22）

位置と重複関係：調査区東地区ほぼ中央にある。5-27-SI1が上に重なる。両者の床面の高さは同じである。炉が4基あるので、4つの住居跡がほぼ同じ位置に重複していると推定できる。炉No.1を持つ住居をS I 1、炉No.2を持つ住居をS I 2、炉No.3を持つ住居をS I 3、炉No.4を持つ住居をS I 4と呼ぶ。炉と周溝の位置から、SI1とSI4がほぼ同じ位置、SI2とSI3がほぼ同じ位置であると、更に細かく分けることができる。炉の切り合い関係から、古いものから新しいものへ並べると、SI1→SI4→SI3→SI2の順と考えられる。SI1は6-26埋設土器群を切る。検出状況：床面を覆う埋土が約30cm残っている状態で検出された。規模と平面形：一部に周溝が残っていたので、すべて縁に周溝が巡るタイプと考えられるが、どの建物も周溝の一部が検出されなかった。S I 1の径は約6.7m、S I 4の径も約6.7m、S I 3の径は約7.3m、S I 4の径は約9.1mである。炉の形態：SI2とSI3は前庭部+両脇に斜めに土器を埋め込むタイプの燃焼部を持つ複式炉である。SI1とSI4の前庭部は不明である。付属施設と柱穴の配置：特別な付属施設は無い。

大木10a式  
古段階～新  
段階

時期：土器埋設炉に使用されている土器が大木10a式古段階～新段階のものなので、その頃の住居と推定した。SI1の炉に埋設されていた土器は大木10a古段階頃、SI4の炉に埋設され

ていた土器は大木10a 古段階頃、SI 3の炉に埋設されていた土器は大木10a 新段階Iタイプ、SI 2の炉に埋設されていた土器は大木10a 新段階IIタイプに属する。

**遺物** (第111～113図・写真図版103・104)

29は、SI 2の炉に埋設された土器である。大木10a 式新段階の深鉢である。32は、SI 3の炉の燃焼部南東側に埋設されていた土器である。大木10a 式古段階に分類できる。35はSI 3の炉の燃焼部北西側に埋設されていた土器である。34は大木9式新段階の壺である。SI 1の炉の埋土から出土した。31は、SI 1の炉に埋設された土器である。大木10a 式古段階のものである。30は、SI 4の炉に埋設された土器である。大木10a 式古段階に分類できる。

### 7-36-SI 1

**遺構** (第7図29・第30図)

位置と重複関係：東調査区北東部の南辺にある。5-36-SIがその北半を切って重なる。両者の床面の高さはほぼ同じである。検出状況：床面を覆う埋土が約50cm残った状態で検出された。炉の一部は5-36-SIを造るときに土で覆われていたため、わずかに残っていた。規模と平面形：南辺が一部残っているだけであるが、隅円の方形的な平面形と推定できる。残った一辺の規模は4.2mである。規模と形態：南辺が一部残っているだけであるが、隅円の方形的な平面形と推定できる。炉の形態：大方は削られており不明であるが、炉に横倒しに埋設されたと推定できる土器の一部があった。付属施設と柱穴の配置：周溝が巡る。柱の配置は不明であるが、PP 1とPP 2は柱であった可能性がある。時期：炉に埋設されていたと推定できる土器(第113図37)をもとに、大木10a 式新段階のものと推定した。

大木10a式  
新段階

**遺物** (第113図・写真図版105)

37は縄文が施された胴部だけしか残っていないが、形態からは、大木10a 式新段階のものと推定した。

### 5-36-SI 3

**遺構** (第7図30・第30～32・34図・写真図版13～15)

位置：東調査区北東部の南辺にある。ほぼ同じ時期の住居である3-29-SI 1からは約30m離れている。7-36-SI 1を切り、6-34-SI に切られる。規模と形態：周溝が巡るタイプである。平面形は、隅円で4辺中央がやや膨らむ正方形である。径は6.0×6.8mである。検出状況：厚さ50cmほどの埋土で覆われていた。その中には多くの土器破片や自然礫が含まれていた。土器破片は住居が廃棄され、埋まっていく過程で、この住居の住人とは無関係の人々によって入れられたと推定できる。埋土が埋まりきったのは後期初頭のいわゆる門前I式土器が使用される頃である。炉の形態：深い前庭部と埋設土器を持つ燃焼部の二つの部分からなる複式炉である。一部に礫が残っていたことから、燃焼部の周囲を礫が囲うタイプであったと推定できる。燃焼部の両端には土器が斜めに埋められていたようである。付属施設：柱穴は4本の主な柱で建物を支え(第31図PP31～34)、炉の壁より細に2本(第31図PP35・36)が付くタイプと推定した。時期：大木10a 式新段階II類の深鉢(38・39)が炉に埋設する土器として用いられていたことから、その頃使用された住居と推定した。

大木10a式  
新段階II類

**遺物** (第114図・写真図版105)

38・39は炉の燃焼部両端に埋められていた土器である。38は、形態から、大木10a 式と推定

される。39は、文様から、大木10a式新段階Ⅱ類の深鉢と考えた。

#### 5-36-SI 4

**遺構** (第7図31・第30～32・34図・写真図版13～15)

位置：東調査区北東部の南辺にある。5-36-SI 1 とほぼ重なる位置にある。規模と形態：平面形は、隅円形で4辺中央がやや膨らむ正方形で、規模は7.5×7.7mである。検出状況：5-36-SI3と同じである。5-36-SI1の床面がこれらの遺構の検出された埋土上面となる。炉の形態：燃焼部西袖脇に深鉢が斜めに埋められていた。土器の外側はよく焼けており、土器と接している外側には、土器をくるむように厚さ5cmほどの焼土帯ができていた。土器内部から加熱され、土器外側が焼けたようである。付属施設：柱穴は4本の主な柱で建物を支え(第31図PP41～44)、炉の壁よりに2本(第31図PP45・46)が付くタイプと推定した。時期：土器埋設炉に用いられていたのは大木10a式の新段階の中でもかなり10b式に近いタイプのものである。

#### 大木10a式 新段階

**遺物** (第115～120図・写真図版106～110)

69は、複式炉燃焼部に用いられていた深鉢である。無文帯が連続するタイプの大木10a式新段階Ⅲ類土器である。

第35図は、5-36-SI 4 が埋められていく過程での遺物の散乱状況を示している。埋土における土器の出土面は3面あった。最下面は住居床面である。その上に15cmほど土が堆積してから1つめの遺物散乱面(中面と呼ぶ、第35図面中左下の図)が広がる。更に15cmほど土が堆積してから2つめの遺物散乱面(上面と呼ぶ、第35図中右上の図)が広がっていた。41～67は、床を覆う埋土内に堆積していた土器である。住居が単なる窪地となつてから、周囲の人々によって入れられたと推定できる土器であり、この住居の住人とは無関係の土器である。大木10b式・いわゆる門前Ⅰ式土器がある。比較的大きな破片が多い。115はいわゆる門前Ⅰ式で、埋土上層上部から出土した。大木10b式土器は埋土全体から出土した。他に、折れた石棒3627が1点あった。埋土からは多量の石器が出土した。石鏃304点、不定形石器90点などである。他に、円盤状土製品も113点出土している。ただし、これらの遺物はこの住居が単なる窪地になってしまつてから入れられたものである。

#### 単なる窪地

#### 石棒3627

#### 6-34-SI 1・SI 2・SI 3

**遺構** (第7図32～34・第30・31・33図・写真図版14・16・18)

位置：東調査区北東部の南辺にある。5-36-SI 3・4の西にすぐ隣接し、周溝が一部重なる。こちらの方が新しい。周溝が3条、炉が3基あるので、3つの建物が重複していると考えた。ただし、炉は4基ある可能性もある。確実な3棟について述べる。炉と周溝、柱穴の配置から、炉No. 1を持つ住居をSI 1、炉No. 2を持つ住居をSI 2、炉No. 3を持つ住居をSI 3とした。新しい順に並べるとSI 1←SI 2←SI 3である。検出状況：SI 1・2・3はほぼ同じ位置に重なるので、3棟とも同時に調査した。床面は3棟とも同じ面を利用している。床面から30cmほど上の埋土面で確認された。炉の形態：SI 1は、前庭部と埋設土器を持つ燃焼部の二つの掘り込み面を持つタイプの複式炉である。燃焼部の両脇に深鉢(79・82)を1つずつ斜めに埋め込むものである。SI 2もSI 1とほぼ同じ形の複式炉である。SI 3も二つの掘り込みを持つ複式炉と推定できるが、燃焼部は片側に2つの土器を並べて埋め込んだ型の可能性がある。付属施設：柱穴時期：3棟とも、炉の埋設土器として利用された土器が大木10a式新段階なので、そ

#### 大木10a式 新段階

の頃使用された住居と推定した。

#### 遺物（第121～127図・写真図版110～114）

79・82はSI 1の炉に埋められた土器である。大木10a式新段階に属する。79が燃烧部の東側、82が西側に埋められていた。76・73・75は、SI 2の炉に埋められた土器である。大木10a式新段階に属する。72・77はSI 3の炉に埋められた土器である。大木10a式新段階に属する。85はSI 3の炉の埋設土器72を埋める土の中に入っていた。大木10a式古段階に属する。

#### 8-28-SI 2・SI 3

##### 遺構（第9図35・36・第35図・写真図版23・24・原色図版Ⅲ）

位置：東調査区ほぼ中央の南辺よりにある。SI 2とSI 3はほぼ同じ空間にあった住居跡と推定した。ただし、二つの住居の炉跡は約2m離れている。炉の残存状況はSI 2の方がよかったので、SI 2がSI 3よりも新しいと推定した。2棟は9-29-SI 1のすぐ西にあるが、こちらが新しい。平安時代の住居跡8-29-SI 1が真上に重なるので、床面などの一部はそれに削られている。規模と形態：周溝は一部が検出されただけなので、住居の正確な形態は不明である。残った周溝の形態からは隅円の方形的な住居が想像される。SI 1・2とも、規模は6×6mほどと推定される。炉の形態：3つの部分から成る複式炉である。燃烧部両脇には深鉢が斜めに埋め込まれるタイプである。付属施設：柱は4本構造と考えられる（第36図PP 1～4）。これら4本は、SI 1・SI 2の両方に共通して利用された可能性がある。時期：炉に埋設された土器が大木10a式の新段階なので、その頃の住居と推定した。

大木10a式  
新段階

##### 遺物（第128図・写真図版114）

101・102は、SI 2の埋設炉である。101が燃烧部の南側、102が燃烧部の北側に埋められていた。どちらも大木10a式新段階Ⅲ類に属する。104は、SI 3の炉、燃烧部南脇に斜めに埋め込まれていた土器である。大木10a式新段階に属する。

#### 8-31-SI 2・SI 3・SI 4

##### 遺構（第9図37～39・第36図・写真図版25・26・30）

位置：東調査区ほぼ中央の東よりにある。同時期の5-36-SI 2の西12m、8-28-SIの約6m東にある。真上に平安時代の住居8-31-SI 1が重なるので残りは悪い。炉が3回造り替えられているので、時期の異なる3つの住居が重なっている可能性があるが、それぞれの住居の構造などは不明である。炉No. 2を持つ住居をSI 2、炉No. 3を持つ住居をSI 3、炉No. 4を持つ住居をSI 4と呼ぶ。規模と形態：不明だが、細い柱穴が住居と関連のある施設と推定し、その配置から、ほぼ円形の形態を想定した。規模は6mほどと推定した。炉の形態：燃烧部両脇に二つの土器が斜めに埋め込まれるタイプの複式炉である。付属施設：SI 2に関しては、柱は4本構造と考えた（第37図PP 1～4）。他の住居の構造は不明である。時期：土器埋設炉に用いられている土器から、大木10a式の新段階に使用された住居と推定した。

大木10a式  
新段階

##### 遺物（第129～131図・写真図版115～117）

106・112は、土器埋設炉NO. 4の埋設土器である。どちらも大木10a式新段階に属する。110は炉No. 2の埋設土器である。地文の縄文しか文様は無いが、器形から、大木10a新段階のものと考えられる。201は単に埋設土器としているが、土器の周囲は焼土で囲まれており、炉の一つであったと考えられる。

### 9-26-SI 1

**遺構** (第11図40・第96図・写真図版12)

位置：東調査区ほぼ中央にある。規模と形態：炉が一部残っていたので、床面は残っていたと考えられるが、周溝は検出されなかった。周囲に細い柱穴が弧状に巡る部分があるので、細い柱を壁状に建てるタイプの可能性もある。ただし、これらの柱穴状の穴は、炉跡に近すぎるので、別の遺構のものとも考えられるが、それらの配置から、直径6mほどの円形住居と推定した。炉の形態：燃灰白色粘土を用いて燃焼部周囲を囲む炉である。燃焼部脇には土器は埋設されていない。この燃焼部に付属する炉施設と思われる遺構はなかったもので、複式炉と積極的に言える理由はない。時期：炉の形態から、大木10a～10b式土器使用期の住居と推定した。

大木10a～  
10b式

**遺物** (第131図)

115は、土器埋設炉として利用されていた深鉢の底である。文様は地文しか残っていない。

### 大木10b式土器使用期

#### 3-30-SI 1・SI 2・SI 3

**遺構** (第8図41～43・第37～39図・写真図版26～30)

位置：東調査区ほぼ中央の北辺にある。3-29-SI 1のすぐ東に一部重なって存在する。規模と形態：7.3×7.6mの四角形に近い円形である。周溝が巡るタイプである。検出状況：床面から5cmほど上の埋土面から検出された。炉の形態：3棟とも、二つの燃焼部からなる複式炉である。3棟とも住居のほぼ中央に土器を埋設した燃焼部がある。付属施設：柱穴：3棟とも五角形に柱を配置するタイプと考えられるが、正確な配置は不明である。柱穴は深く、床面からの深さは70～80cmである。柱穴直径は50～60cmほどである。時期：土器埋設炉に埋められた土器が大木10b式なので、その頃使用された住居と推定した。

大木10b式

**遺物** (第132～134図・写真図版118～120)

120・123はSI 1の埋設土器である。大木10b式である。119はSI 2の埋設土器である。大木10b式である。122・127はSI 3の埋設土器である。大木10b式土器である。121はSI 3の炉の下にあった炉に埋められていたものである。大木10a式新段階のものである。

#### 5-32-SI 1・SI 2・SI 3・SI 4・SI 5

**遺構** (第6図44～48・第40図・写真図版31・32)

位置：東調査区ほぼ中央の東よりにある。3-30-SI 1の東南約6mにある。規模と形態：床面や炉は残っていたのに周溝が未検出であったので、周溝は巡らないタイプのものと推定した。炉の形態：浅く掘りくぼめられた燃焼部からなるものである。5棟とも、燃焼部片脇には深鉢が斜めに埋められていた。付属施設：柱の正確な配置は不明である。ただし、直径30cmほどの比較的細い柱穴が床面周囲に巡るタイプである。住居跡北側隅の床面より下にフレイクが収納された部分があった(第40図フレイク集中部・写真図版32)。まるで、何か袋状のものに入れて埋められていたようで、フレイクがびっしりと詰まっていた。他のものは入っておらず、土の入る隙間もほとんどなかった。SI 5に属するものの可能性がある。時期：埋設炉に用いられた土器が大木10b式に属するので、その頃使用された住居と推定した。

フレイク集  
中部

**遺物** (第135～137図・写真図版121・122)

133は、SI 1 の炉に用いられた深鉢である。大木10 b 式である。139はSI 2 の炉に用いられていた深鉢である。一見、大木10 a 式新段階の文様に見えるが、地文の縄文を施してから無文帯で文様モチーフを描くので、18や132に近い大木10 b 式と考えた。SI 3 SI 4 SI 5 フレイクが埋納されていたが、互いに接合できるものは少なかった。必要なフレイクは既に利用されていたのであろう。石材は珪化木である。

#### 7-34-SI 2 ・ SI 3

**遺構** (第9図50・第41図・写真図版33)

位置：東調査区北東部南辺にある。住居の南半分は調査区の外に残る。炉に使用された土器が二つ平行して存在するので、二つの住居が重なっていたと考えた。規模と形態：不明である。炉の形態：全貌は不明だが、燃焼部の片端に土器が斜めに埋められるタイプの複式炉と考えられる。付属施設：柱穴の配置は不明である。時期：炉に埋設されていた土器が大木10 b 式のも

大木10 b 式

**遺物** (第138図・写真図版123)

146は炉No. 1、147は炉No. 2 の土器である。どちらも大木10 b 式土器である。

#### 10-24-SI 1 ・ SI 2 ・ SI 3 ・ SI 4

**遺構** (第11図51～54・第42図・写真図版33)

位置：東調査区西南部南辺にある。炉と柱穴の数から、ほぼ同一空間で4棟の住居が建替えられたことがわかる。炉No. 1を持つ住居をSI 1、炉No. 2を持つ住居をSI 2、炉No. 3を持つ住居をSI 3、炉No. 4を持つ住居をSI 4と呼ぶ。最も新しい住居は炉No. 2を持つ住居である。他のSI 1・3・4の炉はほぼ同じ場所に造られており、それらの建物の柱穴の位置もほぼ同じ場所にある。規模と形態：SI 2は柱の配置から、隅円のほぼ方形で、5.5×5.5mほどと推測した。SI 1・3・4も、柱の配置から、隅円のほぼ方形と考えられ、規模はおおよそ6.7×6.7mと推測した。炉の形態：残りが悪く、全貌は不明だが、燃焼部の端に土器を斜めに埋めるタイプの複式炉である。付属施設：最も新しいSI 1は4本構造(PP1～4)、他は5本構造と考えられる。時期：炉に埋設されていた土器が大木10 b 式のも

大木10 b 式

**遺物** (第139・140図・写真図版123・124)

154は炉No. 1の埋設土器である。底部と胴部下半しか残っていないので、正確な型式は不明である。156・159は炉No. 2の埋設土器である。どちらも大木10 b 式の深鉢である。158は炉No. 3の埋設土器である。大木10 a 式新段階Ⅲ類の深鉢である。155・157は炉No. 4の埋設土器である。どちらも胴部下半しか残っていないので、正確な型式は不明である。

### 時期不明住居跡

#### 7-20-SI 1

**遺構** (第12図55・第43図)

位置：東調査区南西部北辺西よりにある。規模と形態：炉の形態：焼土がある部分が中央よりやや北西よりにあるが、そこが炉であったと推測できる。付属施設：周溝が巡るが、とぎれとぎれにしか残っていない。柱穴：不明である。時期：7-20-埋設土器No. 4が住居内にある。

これは口縁部近くまで埋められた状態だったので、当時の表土から埋められたのではなく、住居床面から下に埋められたことが考えられる。この周辺の住居はこの7-20-SI1しかないので、7-20-埋設土器No.4は、この住居にともなう施設である可能性が高い。このことから、この住居の時期は大木10a（古）式期と推定することができる。しかし、炉の構造が、今回の調査区から検出された同時期の住居とは異なるので、一応、時期不明としておく。

**遺物**（第144図・写真図版128）

182は7-20-埋設土器No.4である。この埋設土器はこの住居に伴う可能性が高いが、確実ではないので、この土器については、埋設土器の項で述べてある。

### 2-15-SI1

**遺構**（第13図56・写真図版34）

位置：西調査区北東部の最東端にある。ただし、炉の一部と思われる深鉢が残っただけである。規模と形態：残りが悪く不明である。炉の形態：焼けた土器大型破片と、その周囲の土が焼けている場所があったので、土器を斜めに埋設した炉と推定した。付属施設：柱の配置は不明である。時期：炉に埋設されたと推定した土器は地文に縄文が施された部分しか残っていなかったため、細かな時期は不明である。だが、燃烧部端に土器を横倒しに置くタイプの炉であることと、土器の器形の特徴から、大木10式期のものと推定した。

他に、住居とできる確証の弱い遺構が2基あった。ただし、炉と考えられる遺構と柱穴状の土坑が周辺に複数あったことから住居として、ここで述べる。

### 6-23-SI1

**遺構**（第10図57・写真図版34）

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。規模と形態：残りが悪く不明であるが複式炉の一部と考えられる燃烧部があった。時期：複式炉の形態から考えると、大木9式新段階の可能性はあるが、確実ではない。大木9式新段階の土器大破片が埋土上部から出土している。それに近い位置から、中に粘土を入れた深鉢胴部下半部が出土した（第143図174・写真図版34）。これがこの遺構と関係あるとすれば、この遺構は大木9式新段階のものでいいだろう。

### 8-30焼土No.1

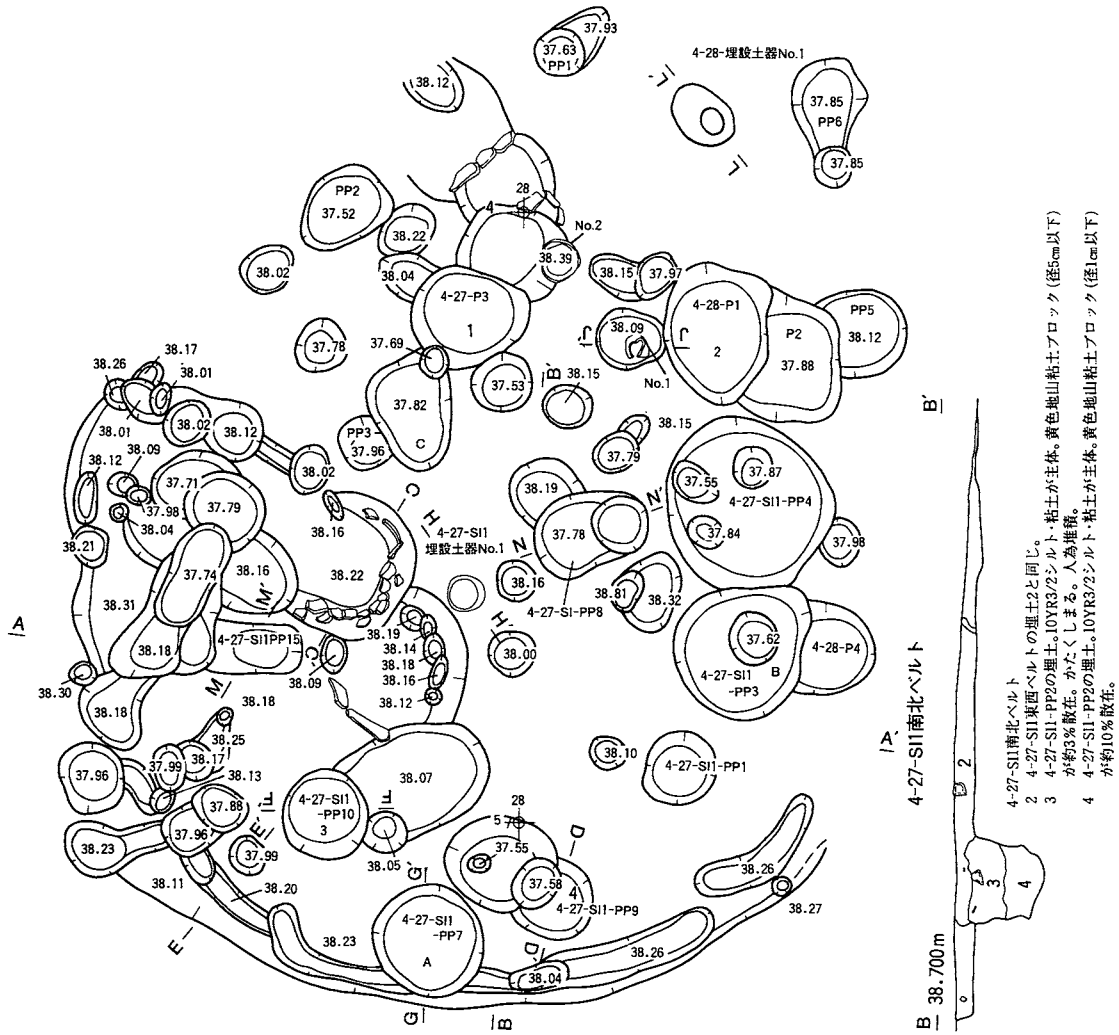
**遺構**（第9図715・写真図版40）

位置：東調査区ほぼ中央の南辺にある。9-29-SI1の炉の北東1mほどにある焼土である。焼土は現地成のものであるため、炉と考えられる。その中に、深鉢（107）が埋まっていたが、他の住居の炉に付随していたように、燃烧部の底面と土器の内面がスムーズに同一面となるようには埋められていなかった。ただし、周辺には柱穴状の土坑が複数あるので、この焼土を炉とする住居があった可能性がある。

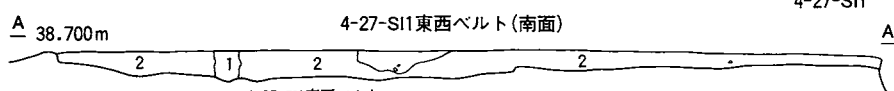
**出土遺物**（第129図・写真図版115）

107は大木10a式新段階の土器である。

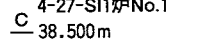




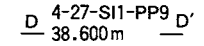
- 4-27-S11南北ベルト
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物片(径1cm以下)が約3%散在。人為堆積。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が約10%散在。
- 3 4-27-S11東西ベルトの埋土2と同じ。
- 4 4-27-S11-PP2の埋土。10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径5cm以下)が約3%散在。かたくしめる。人為堆積。
- 5 4-27-S11-PP2の埋土。10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径1cm以下)が約10%散在。



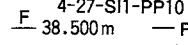
4-27-S11東西ベルト  
 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。浅いくぼみ埋土。固くしめる。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。固くしめる。床面直上層。自然堆積?



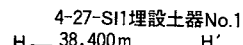
4-27-S11 No.1  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小粒が2%ほど散在。  
 2 炭化物層。下面是焼土。



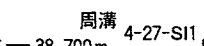
4-27-S11-PP9  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物片(径1cm以下)1%散在。黄色地山小粒が5%ほど散在。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が3%ほど散在。  
 ※ 人為堆積。



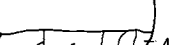
4-27-S11-PP10  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒少量散在。  
 2 成分は1と同じ。地山粘土小粒の量が少し多い。  
 3 埋土2と成分は同じ。黄色地山粘土の量が少し多い。  
 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒20%ほど。



4-27-S11埋設土器No.1  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小粒少量散在。  
 2 成分は1と同じ。地山粘土小粒の量が少し多い。  
 4-27-S11-PP10  
 1 10YR3/2シルト・粘土主体。炭化物片が少量散在。  
 2 10YR3/2シルト・粘土主体。黄色地山粘土小粒少量散在。  
 3 埋土2と成分は同じ。黄色地山粘土の量が少し多い。  
 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒20%ほど。

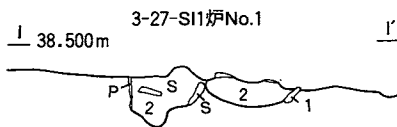


4-27-S11  
 1 10YR3/2シルト・粘土主体。  
 2 10YR3/2シルト・粘土主体。地山粘土小粒少量散在。



4-27-S11-PP7  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物片(1cm以下)が1%以下散在。固くしめる。柱痕跡か?  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。固くしめる。柱痕跡か?  
 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が2%ほど散在。固くしめる。人為堆積。  
 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径2cm以下)が20%ほど散在。固くしめる。人為堆積。  
 5 10YR3/2粘土、灰白色粘土、黄色地山ブロックが散在。人為堆積。

第18図 縄文住居跡(1)

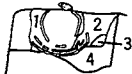


3-27-SI1炉No.1

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。別のPitの埋土。中礫がいくらか入る。人為堆積層。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径5mm以下)が1%以下散在。

3-27-SI1埋設土器

J—38.500m —J'

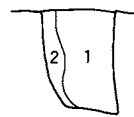


3-27-SI1埋設土器

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土、10YR4/4シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在。炭化物小片(径5mm以下)が1%ほど散在。
- 3 黄色地山。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5cm以下)が1%ほど散在。

4-27-SI1-PP15

M—38.500m —M'



4-27-SI1-PP15

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径5mm以下)が3%ほど散在。

4-27-SI1-PP1

K—38.600m —K'

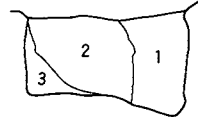


4-27-SI1-PP1

- 1 10YR2/2シルト・粘土と10YR3/2シルト・粘土がほぼ半々。柱痕跡か？
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。礫が10数個入る。掘り形埋土。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が1%以下散在。

4-27-SI1-PP8

N—38.500m —N'



4-27-SI1-PP8

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)が1%以下散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。固くしまる。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。

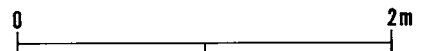
4-28埋設土器1

L—38.600m —L'

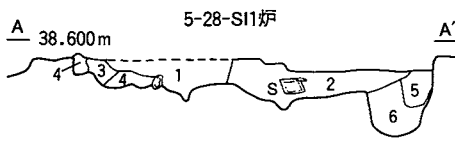
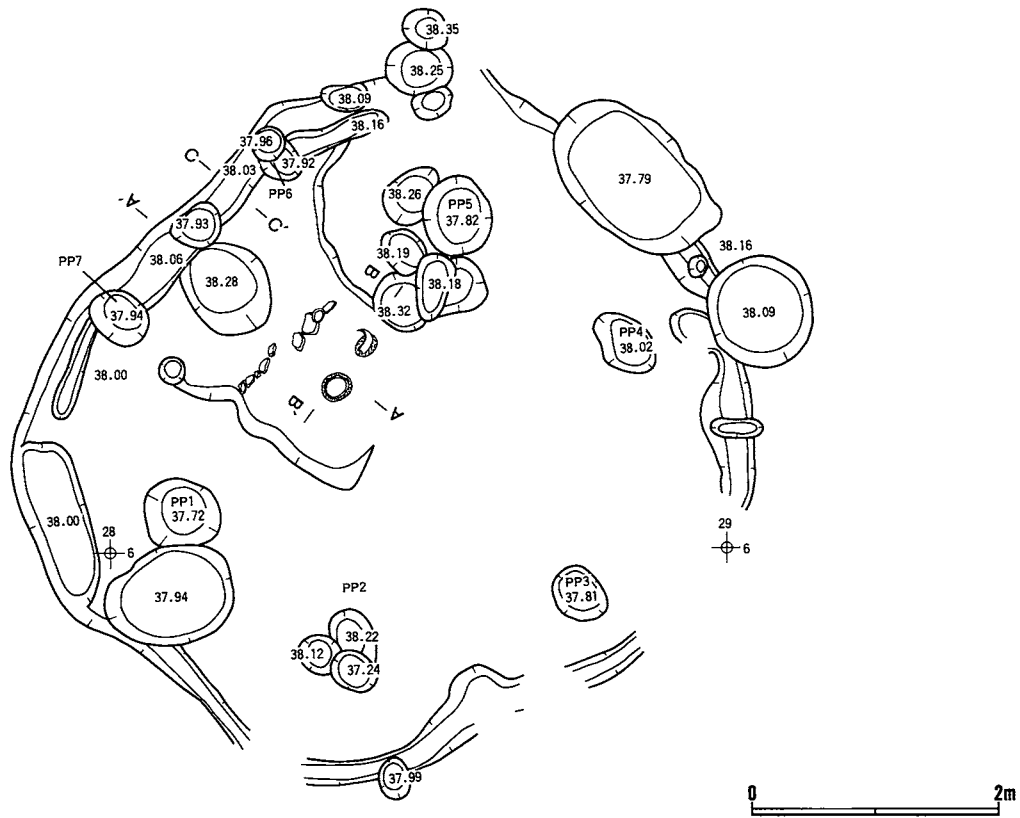


4-28埋設土器1

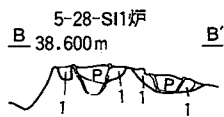
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土(径5mm以下)が1%以下散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在。



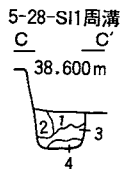
第19図 縄文住居跡(2)



- 5-28-S11 炉
- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%以下散在。炉の周囲に礫と思われる物が数点入る。
  - 3 灰白色粘土ブロック+10YR3/2シルト・粘土。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。灰白色粘土小ブロック(径2cm以下)2~3%散在。焼土粒少量散在。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山粘土ブロックが半々。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在する。



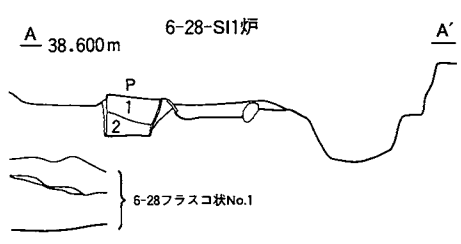
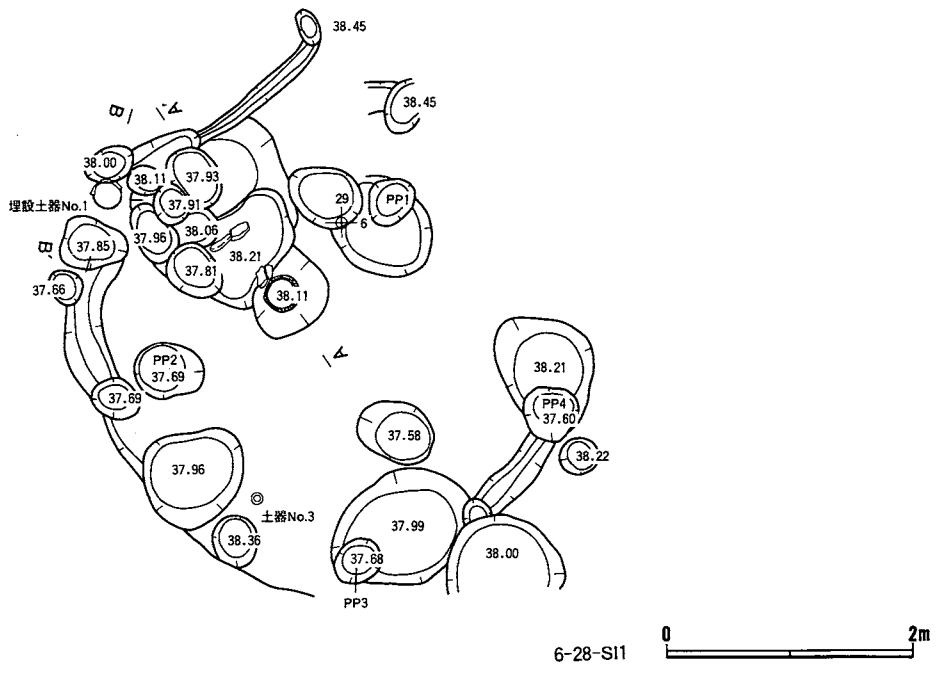
- 5-28-S11 炉
- 1 焼土。



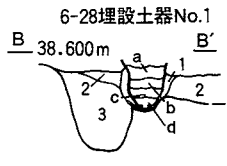
- 5-28-S11 周溝
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が2%以下散在。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2~3%散在。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。



第20図 縄文住居跡(3)

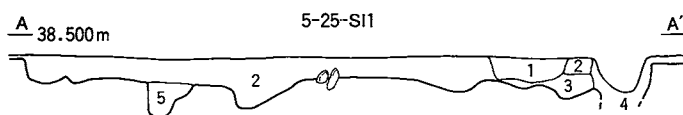
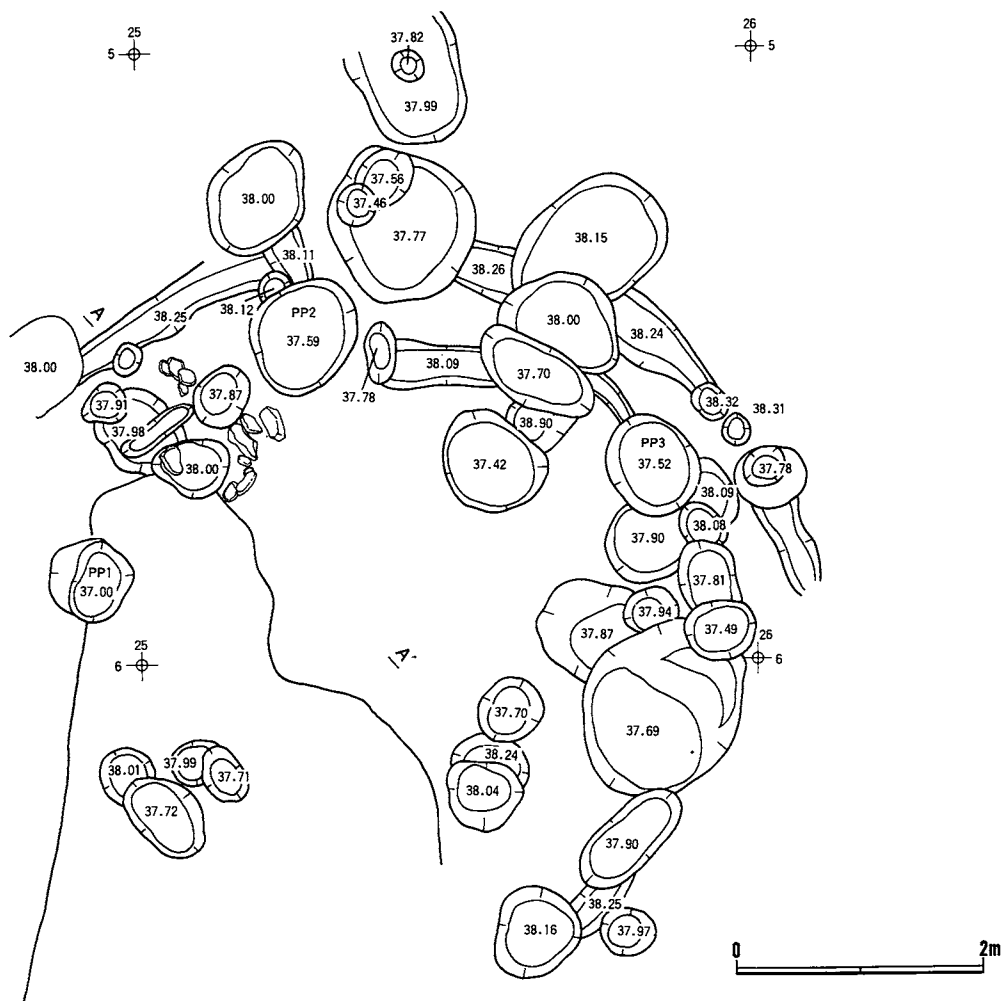


6-28-S11炉  
 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山小粒1%以下散在。固くしまる。自然堆積。  
 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体、焼土小粒がいくらか散在する。1に比べ柔らかい。土層外には焼土が形成されている2が、土器内には焼土層は形成されていない。→焼土が捨てられたか？  
 ※地山面、非常に固くしまる。



6-28埋設土器No.1  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在する。  
 2 10YR3/2シルト・粘土、10YR2/2シルト・粘土が混在。人為堆積。  
 3 成分は1とほぼ同じ。黄色地山粘土小ブロックが5%ほど散在。  
 a. 10YR3/2シルト・粘土が主体。10YR2/2シルト・粘土も散在。  
 b. 10YR2/2シルト・粘土が主体。土器固が下層に数枚水平に入る。  
 c. 10YR3/2シルト・粘土が主体。灰オリーブ色粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。  
 d. 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物小片が5%ほど散在。

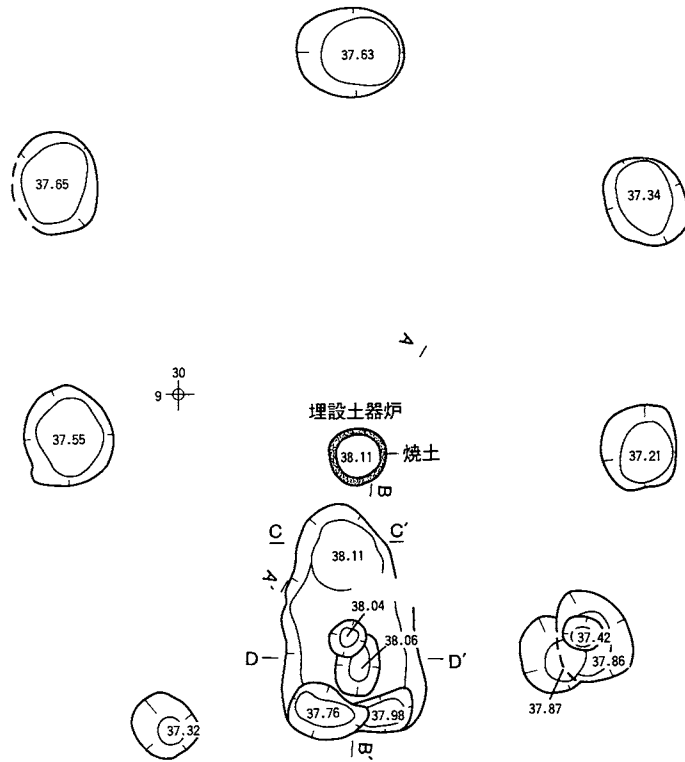
第21図 縄文住居跡(4)



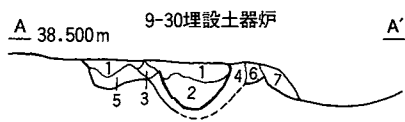
5-25-S11

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)や地山黄色粘土小ブロック(径2cm以下)が10%ほど入る。人為堆積層。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径5mm以下)や極少量散在。固くしめる。人為堆積層。
- 3 現地成焼土(10YR3/2シルト・粘土が焼けた土)。
- 4 成分は2とほぼ同じ。
- 5 成分は2とほぼ同じだが、2よりいくらか明るい。

第22図 縄文住居跡(5)

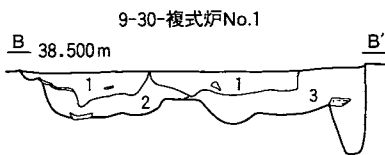


8-30-SI



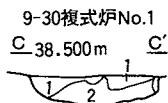
9-30埋設土器炉(大木9式)

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。土器片、礫なども含まれる。人為堆積層。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小ブロック(径5mm以下)が40%ほど散在する。人為堆積。
- 3 根の痕か?
- 4 焼土。現地成。
- 5 10YR4/4褐色シルト・粘土。黄色地山粘土小粒10%散在。



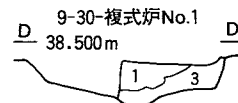
9-30複式酢炉No.1

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2~3%入る。
- 2 成分は1と同じだが、地山粘土ブロックの量が80%ほど。
- 3 成分は1と同じだが、地山粘土ブロックの量が30%ほど。



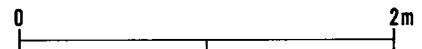
9-30複式炉No.1

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2~3%入る。
  - 2 成分は1と同じだが、地山粘土ブロックの量が80%ほど。
- ※ 人為的に埋められた層。

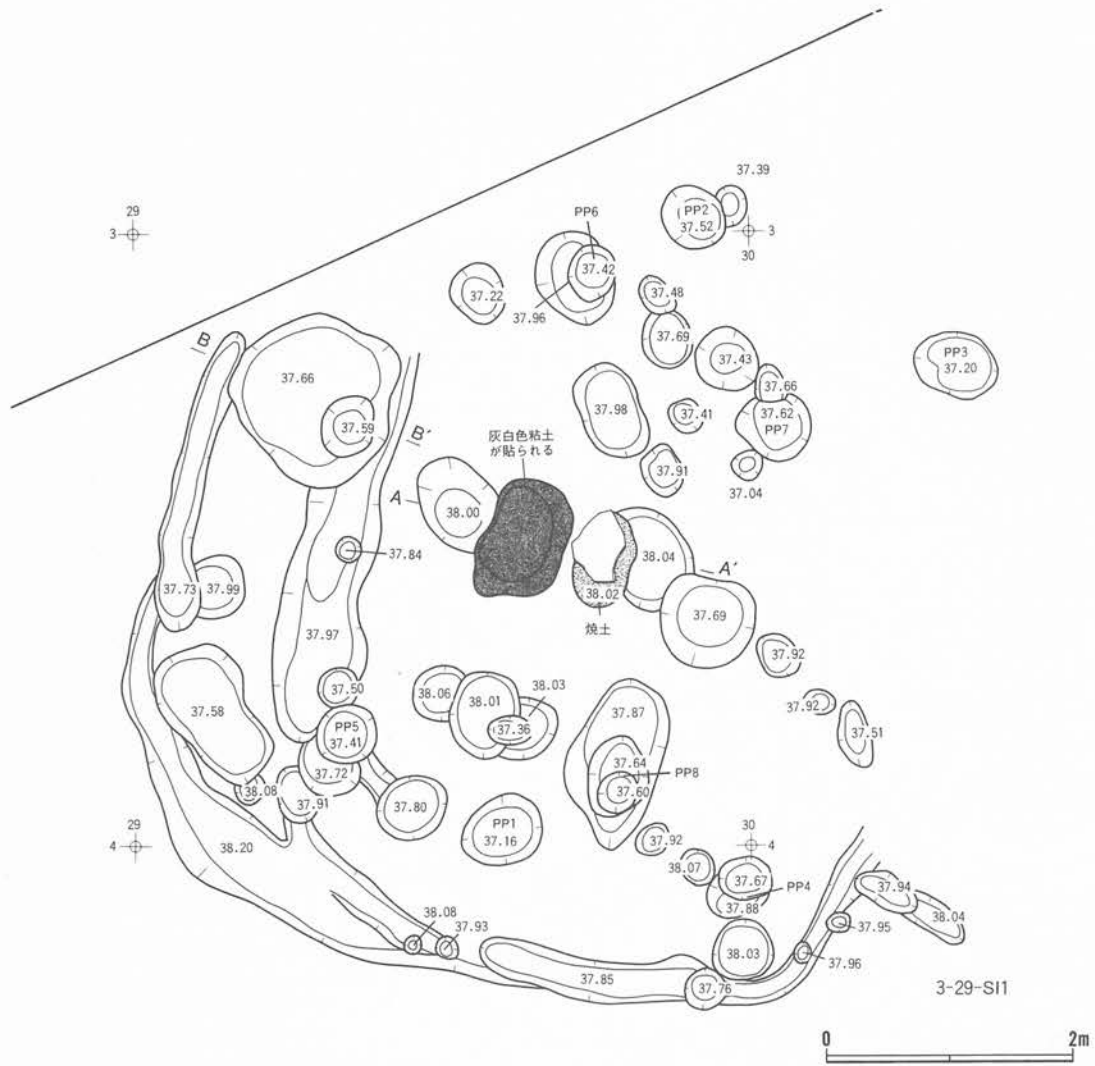


9-30複式炉No.1

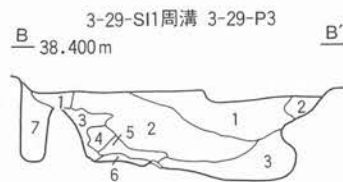
- 1 B-B'の1と同じ。
- 3 B-B'の3と同じ。



第23図 縄文住居跡(6)

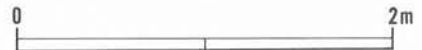


3-29-S11炉  
 1 10YR3/2黒褐色シルト(10YR2/2にも近い)・粘土が主体。炭化物片(径5mm以下)。固くしまる。

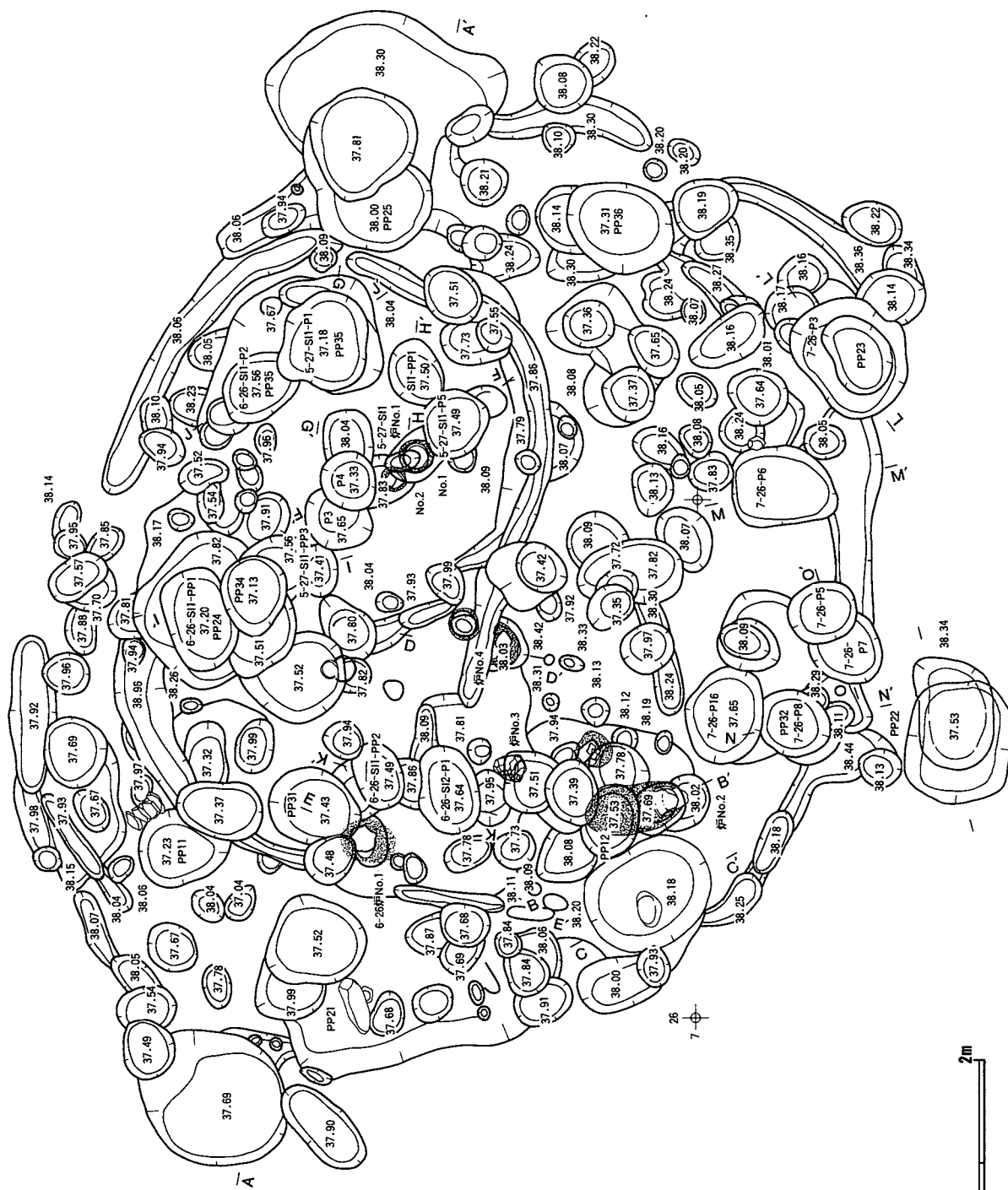


3-29-P3  
 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物片(径5mm以下)1%以下散在。固くしまる。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土小粒1%以下散在。固くしまる。  
 3 地山黄色粘土ブロック(径5cm以下)。固くしまる。  
 4 地山黄色粘土ブロック(径4cm以下)と10YR3/2シルト50%ずつ散在。  
 5 埋土2に成分は似る。炭化物片が3%ほど散在。  
 6 10YR3/2シルト・粘土。

3-29-S11周溝  
 7 10YR3/2シルト・粘土主体。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)2%散在。固くしまる。

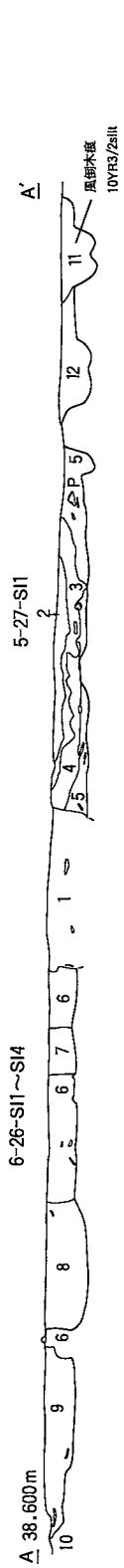


第24図 縄文住居跡(7)



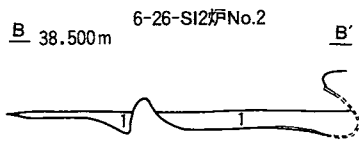
第25図 縄文住居跡(8)





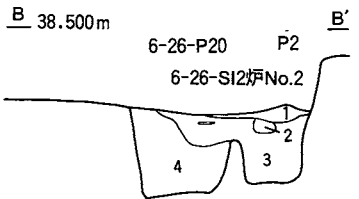
- 1 10YR3/2~2/2シルト・粘土が主体。炭化物小片、黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が1%以下散在。固くしまる。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片いくらか散在。
- 3 成分は2とほぼ同じだが、炭化物が小片が70%ほど含まれる。人為堆積層。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径5mm以下)が2%ほど散在する。人為堆積層。
- 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。成分は4とほぼ同じだが、4より地山の量は少ない。人為堆積層。5-27-S11の床面直上層。
- 6 成分は5と同じ。6-26-S1の床面直上層。
- 7 10YR2/2~3/2シルト・粘土が主体。
- 8 10YR2/2~3/2シルト・粘土が主体。固くしまる。縄文後期初頭土器片含む。
- 9 成分は8とほぼ同じ。独立した塊、くぼみの土。
- 10 成分は8とほぼ同じ。地山粘土アロックが半々。
- 11 10YR3/2シルト。地山粘土が主体。黄色地山粘土小粒が1%ほど散在。人為堆積層。固くしまる。
- 12 10YR3/2シルト。粘土が主体。黄色地山粘土小粒が1%ほど散在。人為堆積層。固くしまる。

第26図 縄文住居跡(9)



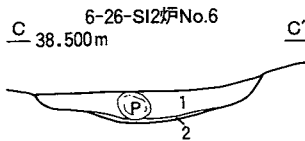
6-26-SI2炉No.2

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。固くしまる。



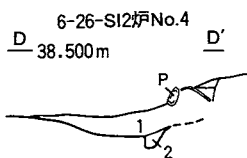
6-26-P2・P20

- 1 焼土5YR4/6赤褐色。上面のみかなり固い。
- 2 黄色地山粘土。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径1cm以下)や焼土粒(径1cm以下)が1%ほど散在する。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径2cm以下)が15%まほど散在。(P20埋土)



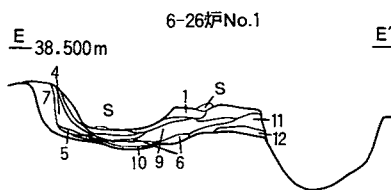
6-26-SI2炉No.6

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土が小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。表面が焼けた跡が2個入っていた(巨礫・径25cmほどの円礫)。
- 2 地山焼土炉床面に、10YR3/2シルト・粘土が斑状に入り込んだ層。礫は焼けているが、その穴から埋土とともに入れられたと推測できる。



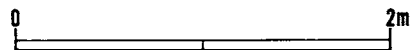
6-26-SI2炉No.4

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)、黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。固くしまる。人為堆積。
- 2 成分は1に同じだが1より地山ブロックの量が多い(5%ほど)。

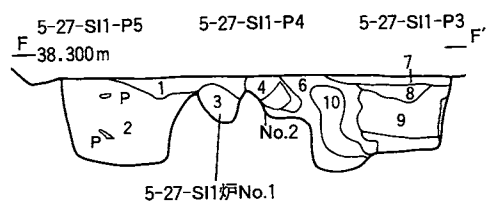


6-26炉No.1

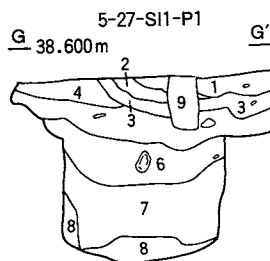
- 1 10YR3/2シルト主体。粘土含む。よくしまった土。黄色地山ブロック(5mm)3%未満散在。
- 2 10YR3/2シルト主体。あまりしまっていない土。炭化物(5mm以下)7%散在。
- 3 10YR3/2シルト主体。粘土。よくしまった土。焼土粒(5mm以下)7%、炭化物(5mm)5%散在。
- 4 10YR5/3粘土。よくしまった土。白色地山ブロック(0.5~1cm)7%散在。
- 5 10YR3/2シルト主体。粘土含む。よくしまった土。炭化物(5mm)3%散在。
- 6 10YR3/2シルト主体。粘土含む。よくしまった土。炭化物(5mm)7%散在。
- 7 10YR5/3粘土。よくしまった土。白色地山ブロック(0.5~1cm)10%散在。
- 8 10YR3/2シルト主体。粘土含む。よくしまった土。白色地山ブロック(5mm)3%、炭化物(5mm)3%未満散在。
- 9 10YR5/3粘土。よくしまった土。白色地山ブロック(5mm)3%散在、焼土粒(5mm)3%散在。
- 10 10YR5/3粘土。よくしまった土。焼土(現地成?)
- 11 10YR5/3粘土。よくしまった土。黄色・白色地山ブツク(5mm)10%散在。
- 12 10YR5/3粘土。よくしまった土。黄色地山ブロック(5mm)13%散在。



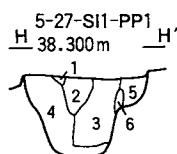
第27図 縄文住居跡(10)



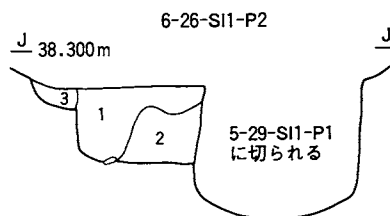
- 5-27-SI1-P5・P4・P3・炉No.1・炉No.2
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小ブロック(径2cm以下)が30%ほど散在。固くしまる。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)が1%以下散在。炭化物小片(径1cm以下)が1%以下散在。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片。←5-27-SI1炉No.1
  - 4 地山粘土ブロック。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山黄色粘土ブロック(径2cm以下)が30%程散在。固くしまる。←5-27-SI1炉No.2
  - 7 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が1%ほど散在。
  - 8 成分は6とほぼ同じ。
  - 9 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%以下散在。炭化物小片(径5mm以下)が1%以下散在。
  - 10 成分は9と同じ。



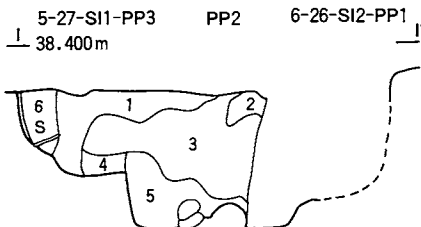
- 5-27-SI1-P1
- 1 5-27-SI1東西ベルト土層の3層と成分は同じ。
  - 2 5-27-SI1東西ベルト土層の2層の続き。
  - 3 5-27-SI1東西ベルト土層の3層の続き。
  - 4 5-27-SI1東西ベルト土層の4層の続き。
  - 5 5-27-SI1東西ベルト土層の5層の続き。
  - 6 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%散在。
  - 7 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が20%ほど散在。
  - 8 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土と黄色地山粘土小ブロックが半々に混在する。



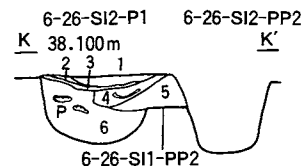
- 5-27-SI1-PP1
- 1 10YR4/4シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が50%散在。成分は1と同じ。1よりも地山の量が少ない(20%ほど)。炭化物小片(径5mm以下)1%以下散在。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在。炭化物小片(径1cm以下)が1%以下散在。柱痕跡状に見える。
  - 3 10YR4/4シルト・粘土が散在。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が70%ほど散在。固くしまる。
  - 4 成分は2にはほぼ同じ。
  - 5 成分は5とほぼ同じだが地山の量が50%ほど。
  - 6 すべて人為堆積。



- 6-26-SI1-P2
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在する。固くしまる。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)が1%以下散在。固くしまる。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山粘土小ブロックが半々に散在。
- ※ すべて人為堆積。



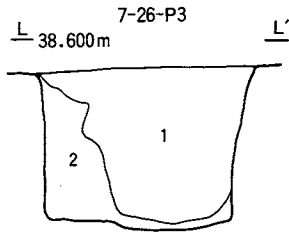
- 5-27-SI1-PP2・PP3
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が20%ほど散在する。炭化物小片(径5mm以下)が極少量散在。
  - 2 黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)100%。
  - 3 10YRシルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が極少量散在(0.1%ほど)。炭化物小片(径5mm以下)が1%以下散在。固くしまる。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在。固くしまる。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径6cm以下)が20%ほど散在。巨礫もいくつか入る。固くしまる。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山粘土小ブロックが半々に混在する。



- 6-26-SI2-P1
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。固くしまる。
  - 2 灰オリープ粘土ブロック層。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(5mm以下)が10%ほど散在。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。(径5mm以下)、地山粘土黄色粘土小粒(径5mm以下)らが50%ほど散在。炭化物小片も入る(1%ほど)。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径5mm以下)が2%ほど散在。固くしまる。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。炭化物小片(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。中礫、大礫が数点入る。
- ※ すべて人為堆積。

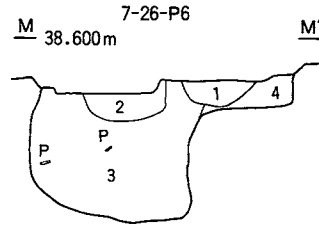


第28図 縄文住居跡(1)



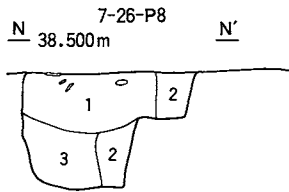
7-26-P3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が少量散在する。固くしまる。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在する



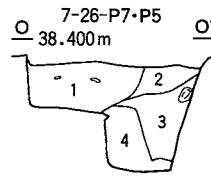
7-26-P6

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。砂混じりAtype。
  - 2 1とはほぼ同じ埋土。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が20%ほど散在。固くしまる。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土と黄色粘土が半々に混在。固くしまる。
- ※ 人為堆積。



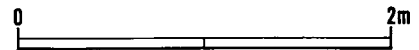
7-26-P8

- 1 10YR3/4暗褐色シルト主体、粘土・砂含む。緊密な土。地山ブロック(0.3~1cm)13%散在。焼土片、炭化物片(3mm以下)1%弱散在。
- 2 地山粘土主体。1の土の1cm前後のブロックが10%位混じる。緊密な土。
- 3 1の土によく似ている。地山ブロック(5mm以下)3%散在。炭化物片(5mm以下)1%弱散在。人為堆積。

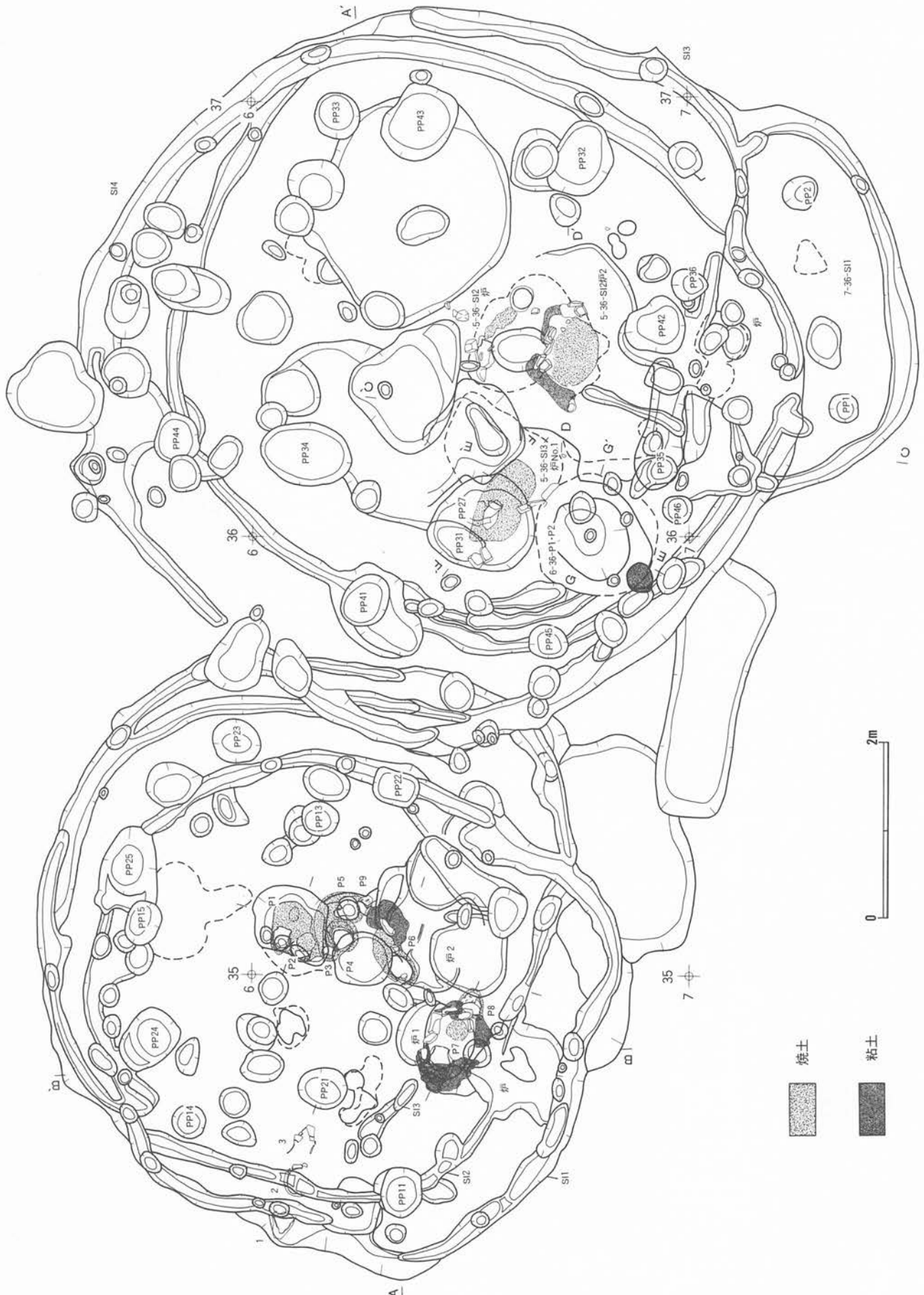


7-26-P7

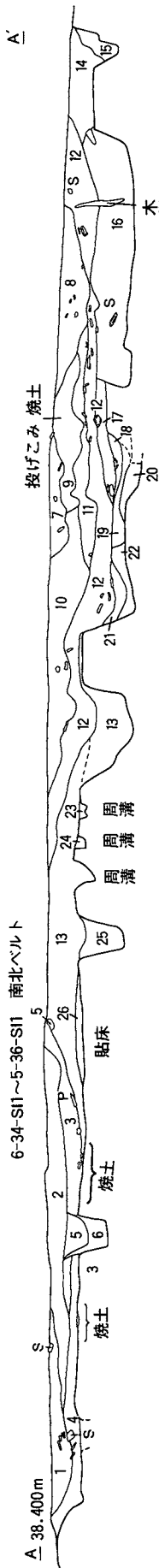
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体。地山黄色粘土ブロック散在。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体砂混じり土がMatrix。
  - 3 10YR3/2黒褐色シルト主体砂混じり土がMatrix。地山黄色粘土小ブロック(径5mm以下)2%ほど散在。
  - 4 10YR3/2黒褐色粘土主体。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在する。固くしまる。
- ※ 縄文中期土器片含む。



第29図 縄文住居跡(12)



第30図 縄文住居跡(13)



- 6-34-S11~5-36-S11 (東西ベルト)
- 1 10YR1.7/1砂質シルト。粘性なし。しまり、普通。炭化物含む。
  - 2 10YR2/2~2/3砂質シルト。粘性なし。しまり、普通。
  - 3 7.5YR1.7/1砂質シルト。土器片、炭化物、礫(大~小)多量を含む。粘性なし。しまり、弱。
  - 4 10YR3/3砂質シルト。粘性なし。しまり、普通。褐色土粒アロック10~20%含む。
  - 5 地山と同じ。10YR4/6褐色粘土アロック。しまり、強。埋め戻された状態。
  - 6 7.5YR2/1黒。しまりなし。5層と同様の褐色土中~小アロック含む。

- 7 10層にほぼ同じ。7.5YR2/2黒褐色砂質シルト。炭化物若干含む。
- 8 10YR2/2シルト。粘性なし。しまり、普通。均質土器片、中小礫多い。
- 9 弱炭質土(7.5YR5/6~5.8明褐色)土アロックを80%と10層の黒褐色土の混在。炭化物片含む。
- 10 10YR2/2黒褐色砂質シルト。1層とほぼ同じ。粘性なし。しまり、普通。炭化物細片含む。土器片が多い。
- 11 10YR2/2砂質シルト。10層にほぼ同じ。粘性なし。しまり、弱~普通。炭化物片含む。焼土粒含む。
- 12 7.5YR1.7/1~2/1黒色土砂質シルト。土器多量を含む。炭化物片多い。焼土粒含む。粘性なし。大、中礫多し。しまり、普通~弱。
- 13 4とほぼ同じ。粘性なし。しまり、強。褐色土粒含む。
- 14 10YR3/3明褐色シルト。粘性なし。しまり、強。褐色土粒含む。
- 15 14の明褐色土に地山褐色土アロック30~40%混じる。マンボソとした土。炭化物片含む。
- 16 15層の明褐色土に地山褐色土アロック20%混じる。粘性、強。埋め戻された状態。
- 17 16層の明褐色土に地山褐色土アロック20%混じる。粘性、強。埋め戻された状態。
- 18 10YR4/4暗褐色砂質シルト。しまり、強。粘性なし。埋め戻された状態。
- 19 地山の褐色土(10YR4/6)の埋め戻し。しまり、強。図の右側にもっと広がるが途中段階で変質。
- 20 10YR3/4暗褐色シルト。粘性、弱。褐色土小アロック含む。
- 21 7.5YR3/4砂質シルト。しまり、普通。粘性、弱。褐色土アロック20~30%含む。
- 22 埋りつき。地山10YR3/4暗褐色土。しまり、強。粘性、強。埋め戻された状態。
- 23 埋りつき。地山10YR3/4暗褐色土。しまり、強。粘性、強。埋め戻された状態。
- 24 13層の暗褐色土に地山の褐色土アロック50%くらい混じる。しまり、弱。部断床状。
- 25 13層の暗褐色土に地山の褐色土アロック40~50%混じる。しまり、弱。部断床状。
- 26 貼床。地山の褐色土を厚さ15~20mmで貼っている。その下は18層とほぼ同じ土。貼り付けた土はそれほどしまり、強くない。

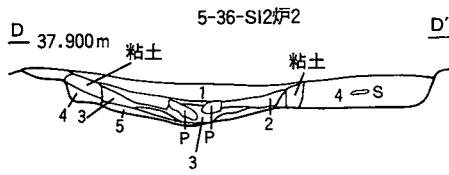


- 2 } 6-34-S11~5-36-S11 (東西ベルト)の2~4と同じ。
- 3 }
- 4 }

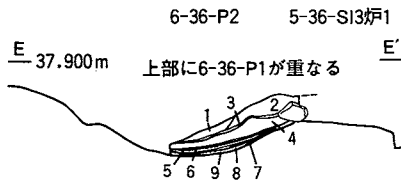


- 5-36-S11
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体。砂・粘土少量混じり土がMatrix。固く緊密。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂・粘土混じり土がMatrix。焼土粒、炭化物片なども比較的が多い。→平安任居の床面と思われる箇所。床面と同じくらい、固い箇所。
  - 3 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂・粘土少量混じり土がMatrix。縄文中期土器大片、あるいはほぼ完形品が多量に捨てられている箇所がある。人為的に捨てられた土である可能性がある。炭化物片(径1cm以下)もいくらか散在。礫も比較的多く捨てられている。固くしまる。ただしアロックが捨てられたように見える所もある。
  - 4 10YR1.7/1黒色粘土主体。砂混じり土がMatrix。炭化物が多量に入っているようだ。それによって黒色となっているようである。黒色部は粘土である。縄文中期土器固が多量に入る。特に底部にはほぼ完形品などがまとまって捨てられている。礫や石器なども比較的よく捨てられている。固くしまる。
  - 5 10YR1.7/1黒色粘土と、10YR3/2黒褐色シルト主体。砂混じり土が半々に混在。4と同じ固さ。
  - 6 10YR3/2黒褐色シルト主体。砂混じり土がMatrix。地山粘土粒がいくらか散在。4と同じ固さ。

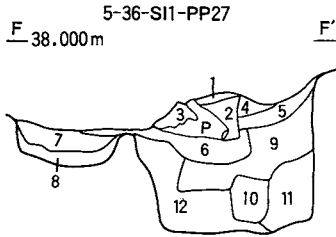
第31図 縄文住居跡(14)



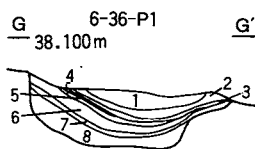
- 5-36-SI1炉
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。地山シルト小ブロック(径5mm以下)が1%以下散在。固く緊密。
  - 2 10YR4/4褐色中粒砂層。やや固く緊密。
  - 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。固く緊密。土器片が多く散在。
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。地山シルト小ブロック(径1.5mm以下)が10%ほど散在。固く緊密。
  - 5 炭化物層(厚さ3mm以下)と焼土層(厚さ3mm以下)と10YR3/2シルト層(厚さ3mm以下)の互層。



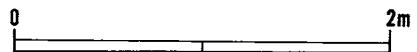
- 6-36-P2
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。炭化物片集中している箇所。固く緊密。
  - 2 10YR4/6褐色シルト主体、砂混じり土。非常に固い。緊密。人為的に埋めた土。
  - 3 焼土。厚さ5-3mmほど。現地でできたもの。
  - 4 10YR6/8明黄褐色シルト、砂混じり(地山シルトのこと)の再堆積。固く緊密。人為堆積層。
  - 5 1と同じ成分。炭化物50%。
  - 6 4と同じ成分。
  - 7 炭化物層。
  - 8 1と同じ成分。
  - 9 焼土。厚さ5-3mmほど。



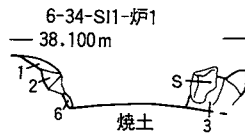
- 5-36-SI1-PP27
- 1 2.5YR6/4鈍い黄色細砂主体。緊密。粘土的にみえるが、粘土ではない。
  - 2 焼土粒が主体の埋め戻された土。
  - 3 10YR3/2黒褐色シルトと細砂が半々。柔らかい。この周辺の埋土には無い土である。
  - 4 地山シルト小ブロック主体。少し2.5YR6/4鈍い黄色細砂が混じる。固く緊密。
  - 5 地山シルト小ブロック主体(径1cm以下)主体。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土が10%ほど混じる。固く緊密。
  - 6 現地でできた焼土、5YR5/8明赤褐色シルト・砂混じり土。柔らかい。
  - 7 現地でできた焼土。6よりも少し明るい。シルト・砂混じり土。固くしまる。
  - 8 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山小ブロック(径8mm以下)が10%ほど散在。
  - 9 10YR3/2黒褐色シルト、砂混じり土。地山小ブロック(径8mm以下)が10%ほど散在。
  - 10 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山小ブロック(径8mm以下)が20%ほど散在。
  - 11 10YR3/2黒褐色シルト、砂が半々の土が主体。地山小ブロック(径8mm以下)が10%ほど散在。
  - 12 10YR3/2黒褐色シルト、砂が半々の土が主体。地山小ブロック(径5mm以下)が5%ほど散在。



- 6-36-P1
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック2%ほど散在。
  - 2 成分は1と同じ。炭化物片いくらか含む。
  - 3 焼土。現地でできたもの。
  - 4 焼土。3より少し暗い。現地でできたもの。
  - 5 2に似る。
  - 6 成分は1と同じ。炭化物片が20%ほど散在。
  - 7 焼土。
  - 8 成分は1と同じ。

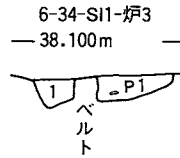


第32図 縄文住居跡(15)



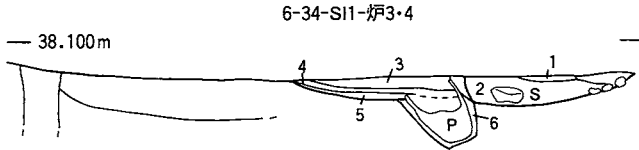
6-34-SI1炉1

- 1 2.5YR8/1灰白色シルト、砂がMatrix。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土が10%ほど混じる。これらは火を受けていない。シルトは非常に固く、しっかりと固められている。
- 2 焼土ブロック多。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂がMatrix。焼土小ブロック1%ほど散在。下部に炭化物層(厚さ1cm以下)があり、その下に焼土面がある。
- 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。
- 5 焼土。固く緊密。しかし、カンカンに固いわけではない。
- 6 土器の中にも灰白色シルトが入っている。火を受けてはいない。また他に10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土も多量に入っている。



6-34-SI1炉3

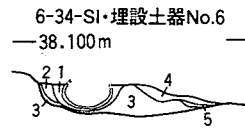
- 1 単層。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。地山シルト小ブロック(径2cm以下)が30~40%散在。人為堆積。固く緊密。



6-34-SI1-炉3・4

6-34-SI1炉3・4

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土Matrix。焼土小ブロック(径8mm以下)、炭化物小片(径5mm以下)1%以下散在。固く緊密。
- 2 地山シルト小ブロック(径2cm以下)が70%、10YR3/2黒褐色シルト主体砂混じり土がその隙間を埋める。固く緊密。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。地山シルト小ブロック(径2cm以下)が50%。固く緊密。炭化物小片少量含む。
- 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土がMatrix。地山シルト小ブロック(径8mm以下)が1%散在。炭化物小片少量含む。
- 5 4とほぼ同じ成分。
- 6 焼土。

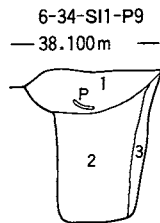


6-34-SI埋設土器No.6

38.100 m

6-34-SI埋設土器炉No.6

- 1 焼土。5YR4/8~5/8。固く緊密。
- 2 焼土。根による攪乱と思われるが、一部に10YR3/2黒褐色シルト、砂混じり土混入。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり小ブロック(径1.5cm以下)が10%散在。
- 4 10YR5/1灰色シルト・粘土混じり小ブロック(径1.5cm以下)が40%散在。他は10YR3/2黒褐色シルト。固い。←作られた炉。これは炉の一部だろう。
- 5 焼土。

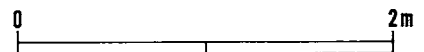


6-34-SI1-P9

38.100 m

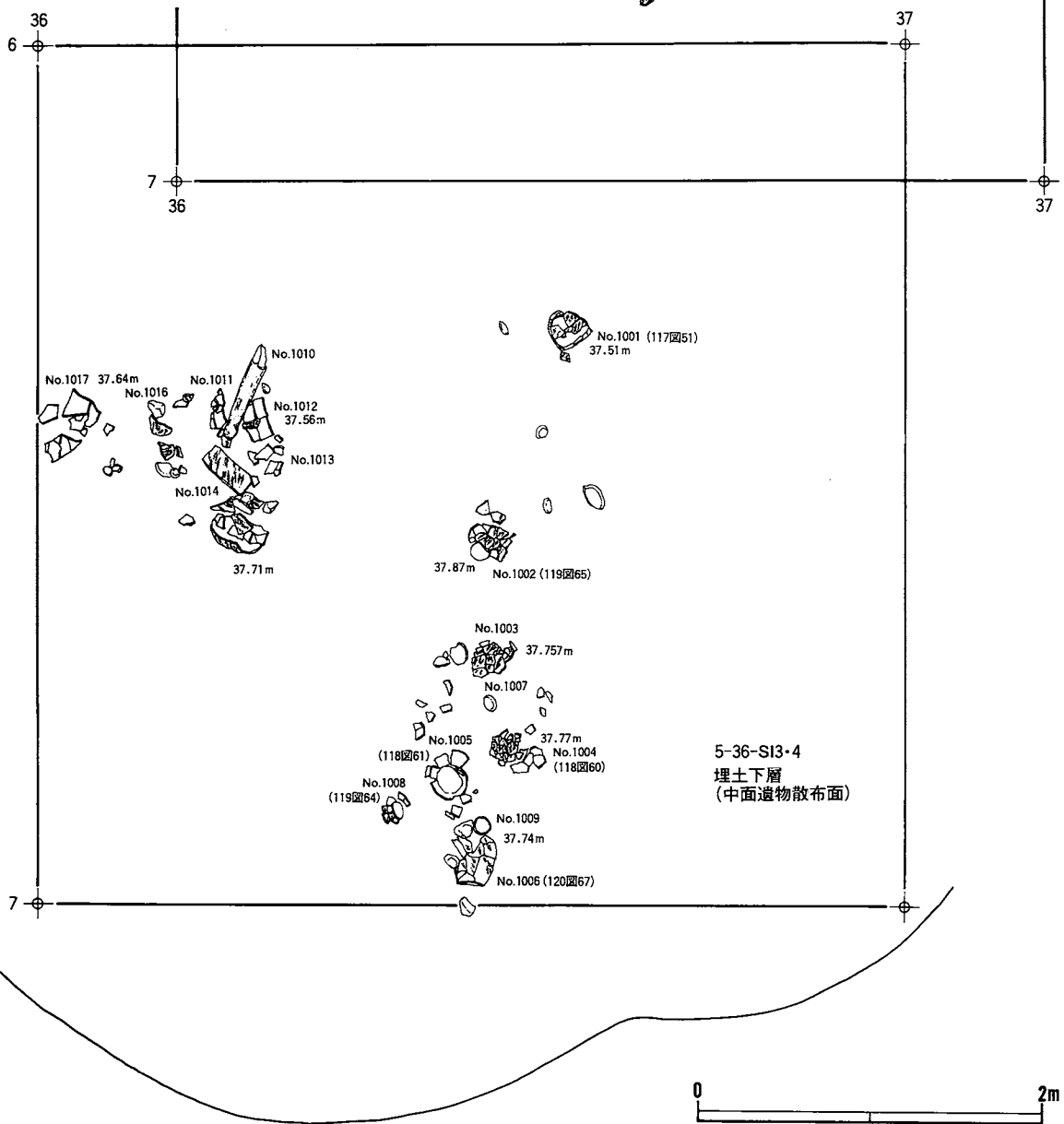
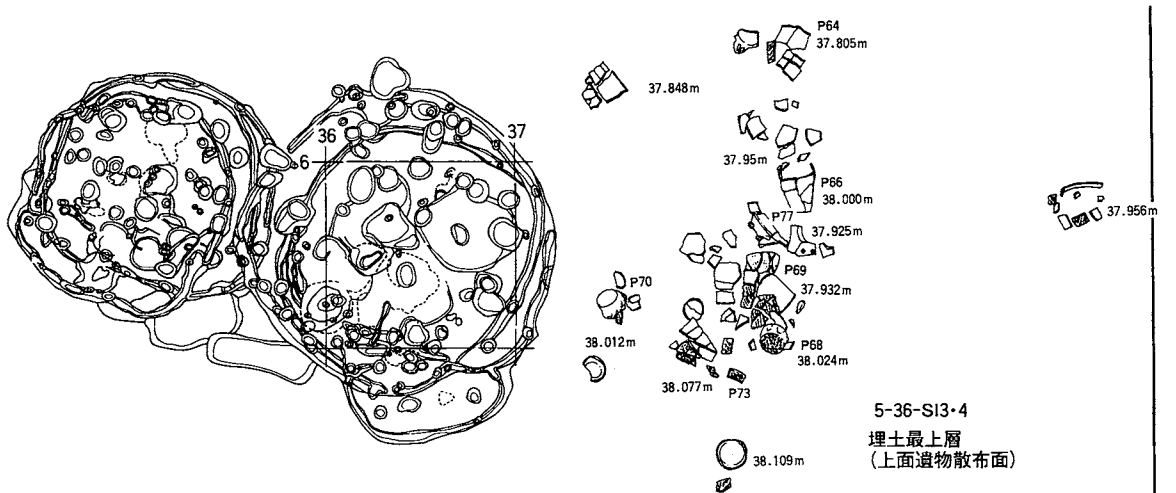
6-34SI1-P9

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体の砂混じり土。ほぞほそしてやわらかい。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体の砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1.5cm以下)が3%ほど散在する。ほぞほそしてやわらかいが1よりは固い。
- 3 黄色地山粘土主体。周囲の地山よりもほぞほそしてやわらかい。

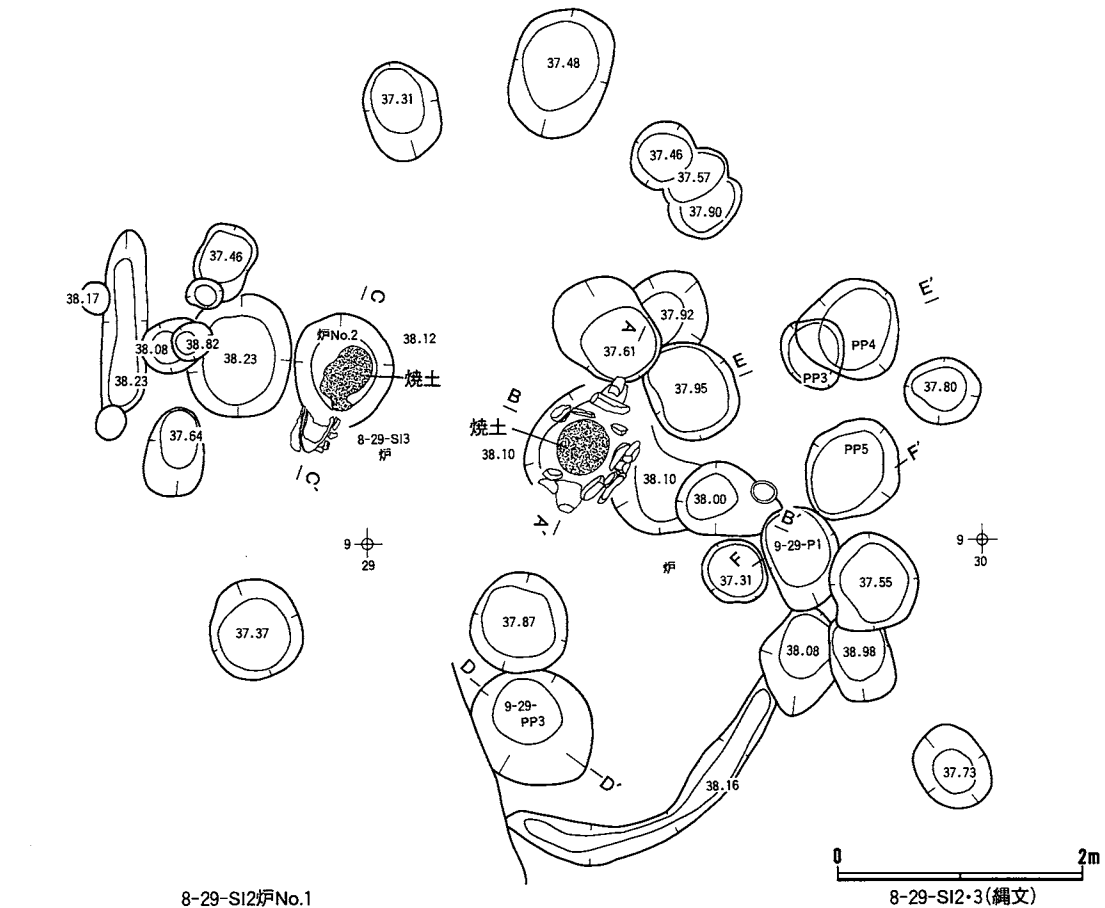


第33図 縄文住居跡(16)

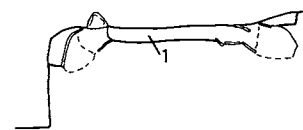




第34図 縄文住居跡(17)



8-29-SI2炉No.1  
A—38.500m —A'



8-29-SI2炉No.1

1 10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土ブロック、炭化物片がいくらか散在する。  
この埋土の中にまるで石囲炉の礫のように複数の礫が置かれている。  
床面は焼けている。

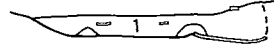
8-29-SI2炉  
B—38.400m —B'



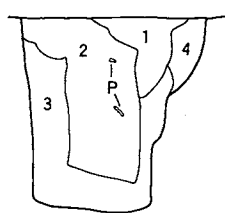
8-29-SI2炉No.2

1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)1%以下散在。人為堆積か? 床面は焼けている。

8-28-SI2炉No.2 C  
C—38.600m —C'



9-29-PP3  
D—38.600m —D'

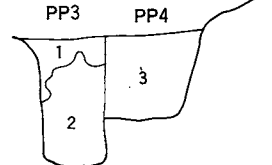


9-29-PP3

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%散在。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小ブロック(径1cm以下)が3%散在。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土小ブロック(径3cm以下)が10%散在。

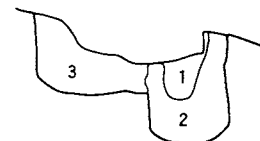
8-29-SI2・3(縄文)  
0 2m

38.400m —E' —E'



- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が10%散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%散在。

9-29-P1 8-29-SI2-PP5  
F—38.400m —F'

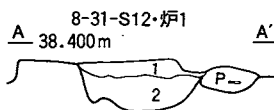
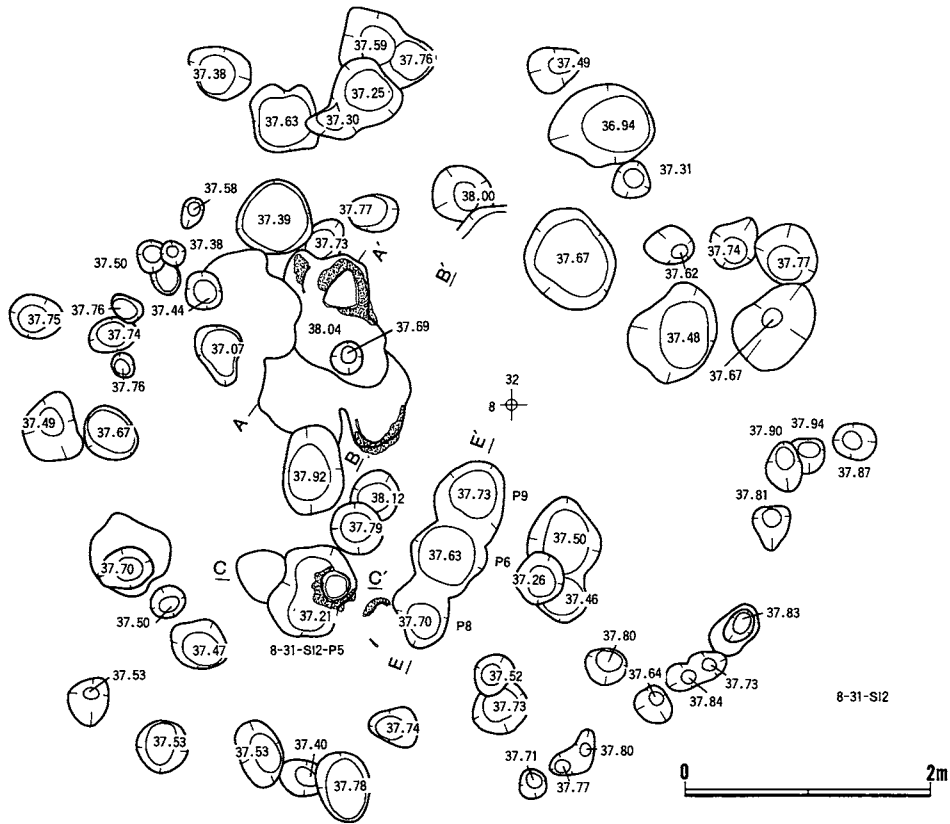


8-29-SI2-PP5

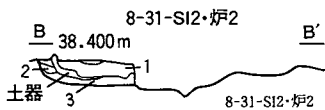
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が10%散在。固くしめる。人為堆積。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土小粒が散在する。人為堆積。PP5とは別のPit。
- 3 10YR4/4褐色シルト・粘土。固くしめる(上の1・2よりも固い)。縄文前期のものか? 自然堆積。

0 2m

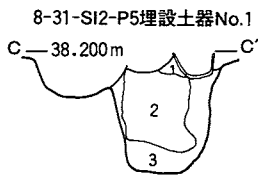
第35図 縄文住居跡(18)



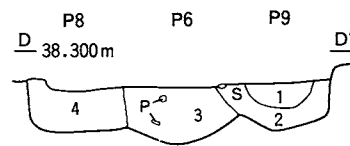
- 8-31-SI2・炉1
- 1 10YR3/2黒褐色粘土・シルト。固くしまる。
  - 2 10YR3/2黒褐色粘土・シルト。地山黄色粘土ブロックが3%散在。床面が焼けている。



- 8-31-SI2・炉2
- 1 10YR3/2黒褐色粘土・シルト
  - 2 焼土。
  - 3 焼土。



- 8-31-SI2-P5埋設土器No.1
- 1 焼土。
  - 2 10YR3/2黒褐色粘土・シルト。
  - 3 10YR3/2黒褐色粘土・シルト主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が3%散在。



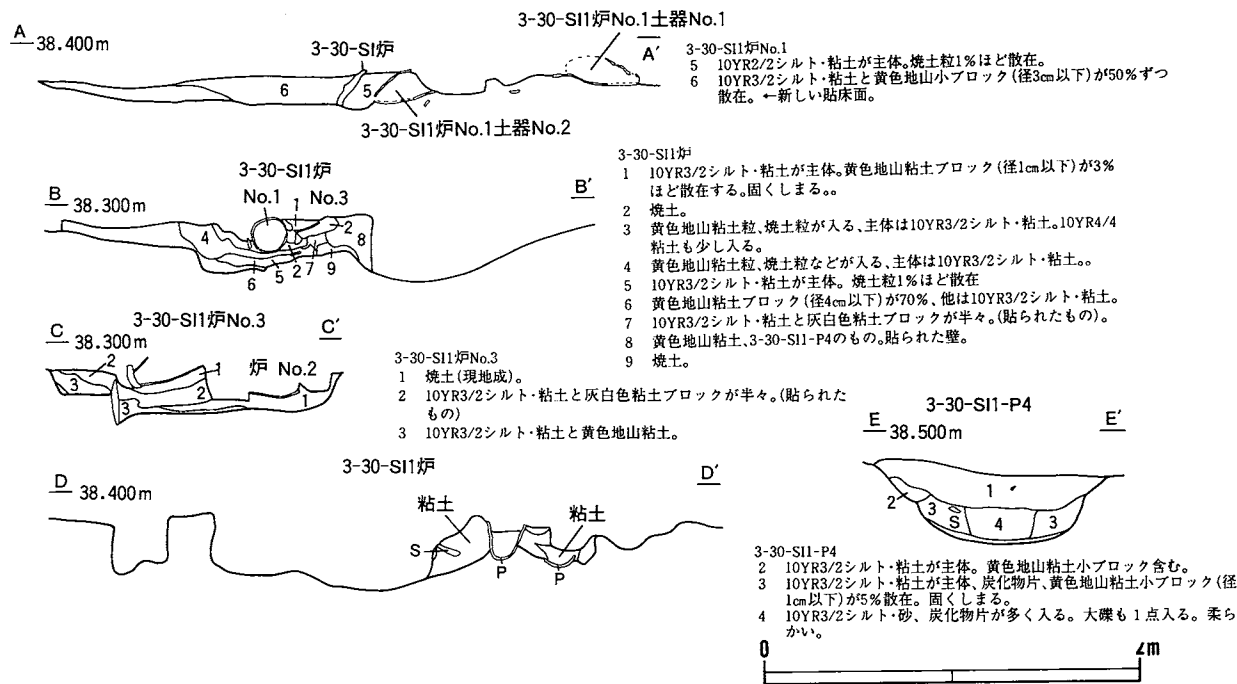
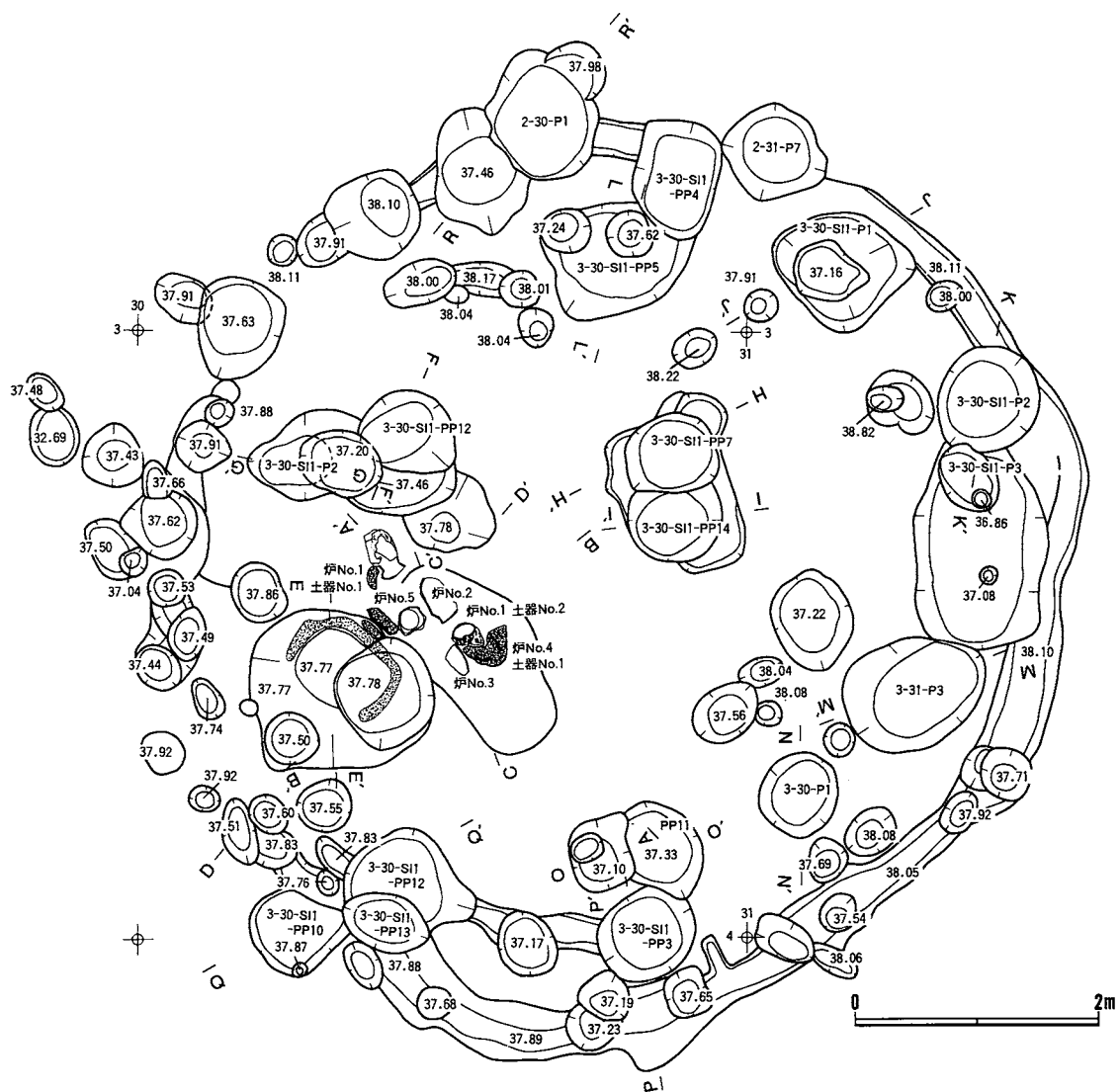
- 8-31-P8 8-31-SI2炉No.2に覆われる。
- 4 10YR3/2黒褐色粘土主体、砂、シルト混じり土。固くしまる。

- 8-31-P6 P8を切る。P9に切られる。
- 3 10YR3/2黒褐色粘土主体、砂、シルト混じり土。固くしまる。

- 8-31-P9 平安時代のものか
- 1 10YR2/1黒色主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロックが散在する。8-31-SI1の貼床埋土と同じ成分。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロックが1%ほど散在する。

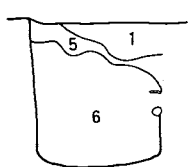


第36図 縄文住居跡(19)

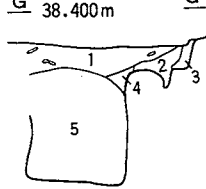


第37図 縄文住居跡(20)

F 3-30-SI1-PP12 F' 38.400m



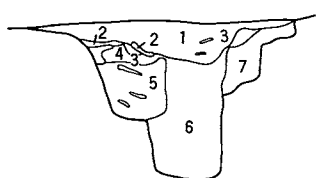
G 3-30-SI1-PP6 G' 38.400m



3-30-SI1-PP6-PP12

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2%ほど散在。固くしまる。縄文中期土器片散在。
- 2 3とほぼ同じ。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%散在。(植物根の影響と思われる。)
- 4 3と同じ。植物根の痕跡。
- 5 黄色地山粘土ブロック(径3cm以下)が主体。10YR3/2シルト・粘土が10%ほど散在する。
- 6 成分は1とほぼ同じだが、1よりも柔らかい。縄文中期土器片散在。
- ※ 2~3、柔らかいが黄色粘土の量が異なるだけ。
- ※ すべて人為堆積。

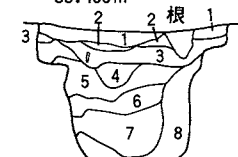
H 3-30-SI1-PP7 H' 38.400m



3-30-SI1-PP7

- 1 10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。固くしまる。
- 2 炭化物片が多い。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)30%散在。
- 4 黄色地山粘土ブロック(径5cm以下)80%+10YR3/2黒褐色シルト・粘土。
- 5 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)10%散在。
- 6 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)3%散在。
- 7 黄色地山粘土ブロック主体。10YR3/2黒褐色シルト・粘土が30%ほど散在する。

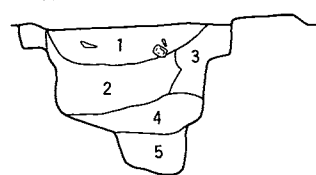
I 3-30-SI1-PP14 I' 38.400m



3-30-SI1-PP14

- 1 黄色地山粘土ブロック95%。貼られたもの。非常に固くしまる。上面は床面。炭化物小片が1%以下散在。
- 2 10YR2/2シルト・粘土が主体。
- 3 10YR3/2シルト・粘土。
- 4 成分は3と同じだが、3より少し柔らかい。
- 5 黄色地山粘土ブロック95%。他は10YR3/2シルト・粘土。
- 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山黄色粘土ブロック(径2cm以下)が20%散在。柔らかい。
- 7 黄色地山粘土ブロックほぼ100%。ブロックはよく見えない。
- 8 成分は6とほぼ同じ。
- ※ すべて人為堆積。柱を抜いて埋め戻した穴。

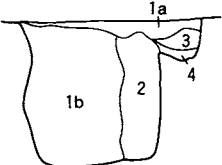
J 3-30-SI1-P1 J' 38.400m



3-30-SI1-P1

- 1 10YR2/2黒褐色シルト・粘土主体、砂混じり土Matrix。固くしまる。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土主体、砂混じり土Matrix。地山黄色粘土小ブロック(径5mm以下)が2%散在。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体、砂混じり土Matrix。地山黄色粘土小ブロックが10%散在。
- 4 10YR3/2黒褐色シルト・粘土と地山黄色粘土小ブロックが半々に混在する。
- 5 10YR3/2黒褐色シルト・粘土主体。

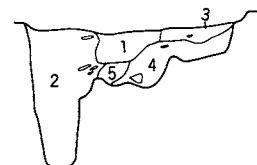
K 3-30-SI1-P2 K' 38.400m



3-30-SI1-P2

- 1 a 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体砂混じり土がMatrix。地山黄色粘土粒(径3mm以下)が1%以下散在。
- 1 b 1aとほぼ同じだが、1aよりもいくらか地山黄色粘土粒が多い。固くしまる。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体砂混じり土がMatrix。固くしまる。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が10%散在。
- 3 1aに似るがいくらか暗い色調。
- 4 2とほぼ同じだが、2よりも地山の量が多い。
- ※ すべて人為堆積層。

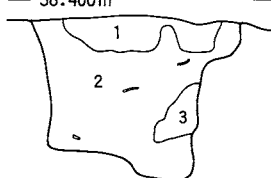
L 3-30-SI1-PP5 L' 38.400m



3-30-SI1-PP5

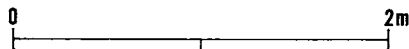
- 1 10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。地山小ブロック3%。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。地山小ブロック1%。
- 4 成分は2と同じ。黄色地山粒20%散在。
- 5 黄色地山粘土が主体。99%

M 3-31-P3 M' 38.400m

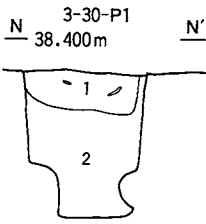


3-31-P3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在する。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2%ほど散在する。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が20%ほど散在する。

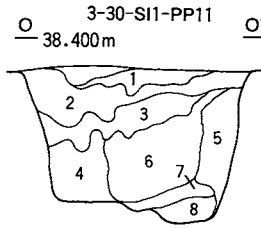


第38図 縄文住居跡(21)



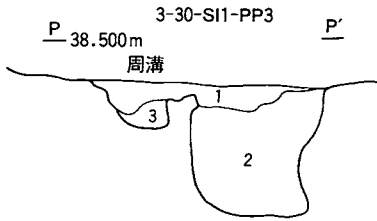
3-30-P1

- 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土(埋土2よりも地山粒がいくらか多い。)主体、黄色地山粘土小ブロック(径3mm以下)が2%散在。固くしまる。
- 2 埋土1とほぼ同じ。固くしまる。地山ブロック径10cmなどがいくらか散在。



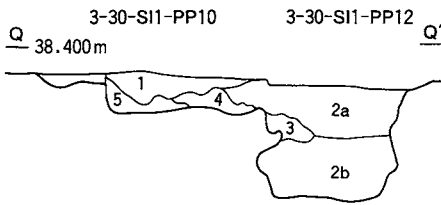
3-30-SI1-PP11

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物粒が50%ほど散在。
- 2 10YR2/2シルト・粘土が主体。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小ブロック(径1cm以下)が20%散在。
- 4 成分は3と同じだが、3よりも地山粘土粒が少ない。約1%散在。
- 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土(径5mm以下)約2%散在。
- 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土(径1cm以下)約10%散在。
- 7 黄色地山粘土100%
- 8 10YR4/4褐色シルト・粘土。



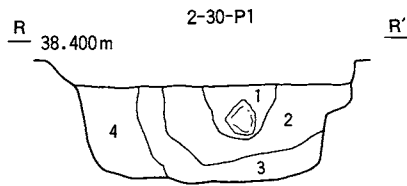
3-30-SI1-PP3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)1%散在。固くしまる。
- 2 1とほぼ同じ成分。1よりいくらか、柔らかい。
- 3 黄色地山粘土ブロック79%。10YR3/2シルト・粘土が散在。



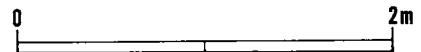
3-30-SI1-PP10(3-30-SI1-PP12)

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%散在。炭化物(5mm以下)3%散在。PP10の埋土。
- 2 a 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)1%散在。PP12の埋土。
- 2 b 2aとほぼ同じ成分だが、2aよりも地山の量がいくらか多い。また地山ブロックの大きさも大きい(径3cm以下)。
- 3 成分は2bと同じだが、地山ブロックが20%ほど散在。
- 4 3とほぼ同じだが、3より粘土の量が多い。
- 5 成分は3と同じだが、地山ブロックが70%ほど。

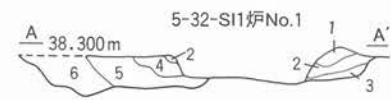
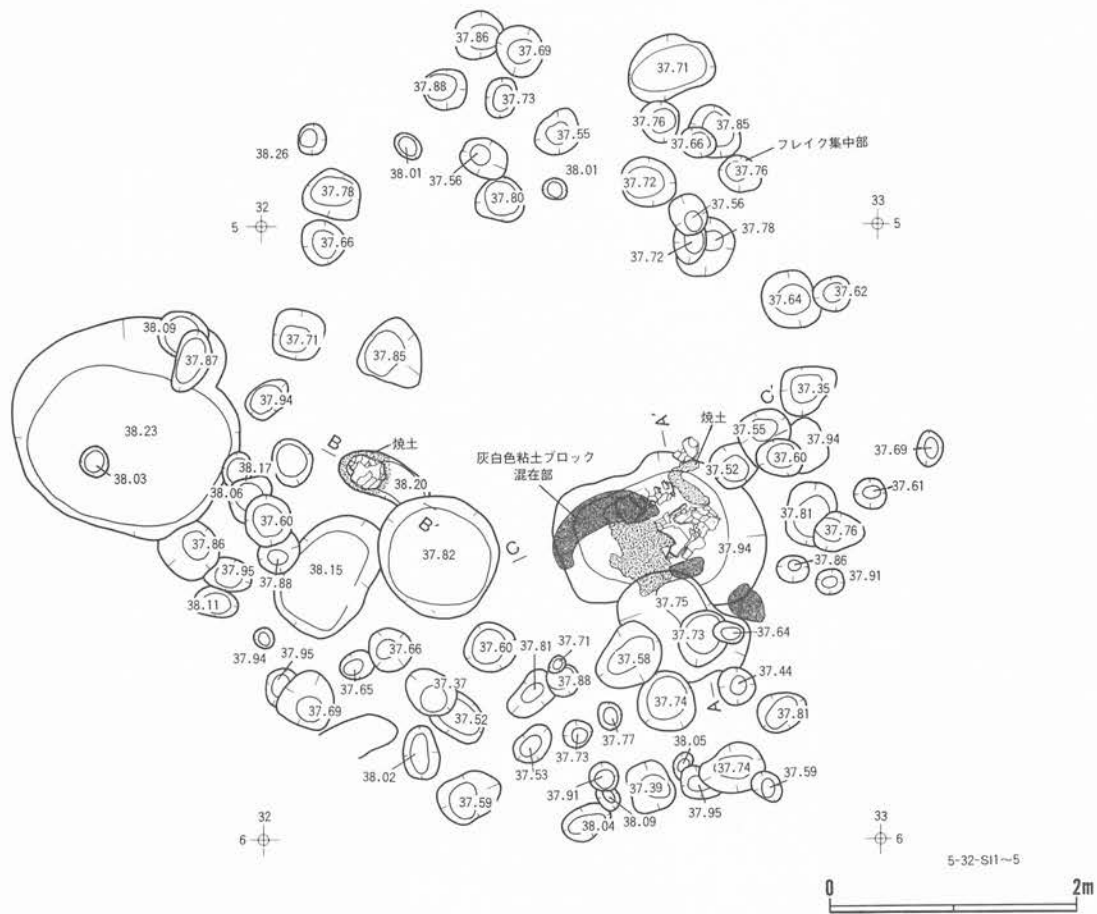


2-30-P1 2-30-P2とP3を切る。

- 1 10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。固くしまる。
- 2 10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が2%ほど散在。固くしまる。
- 3 成分は2と同じだが、2よりも地山ブロックが多い。10%散在。
- 4 成分は2とほぼ同じだが、これは別の遺構の埋土。



第39図 縄文住居跡(22)



5-32-S11 炉No.1

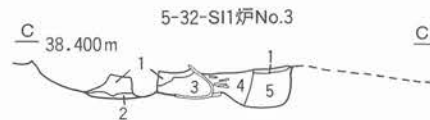
- 1 焼土。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック3%散在。
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック10%散在。
- 4 灰白色粘土小ブロック主体。10YR3/2黒褐色シルト、砂混じり土が30%ほど散在する。
- 5 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック5%散在。
- 6 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック10%散在。

5-32-S11 炉No.2  
B—38.500m — B'



5-32-S11 炉No.2

- 1 焼土。

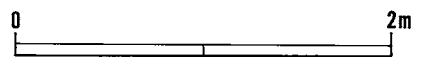
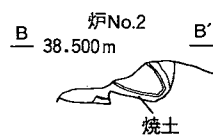
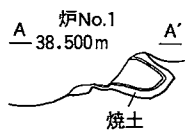
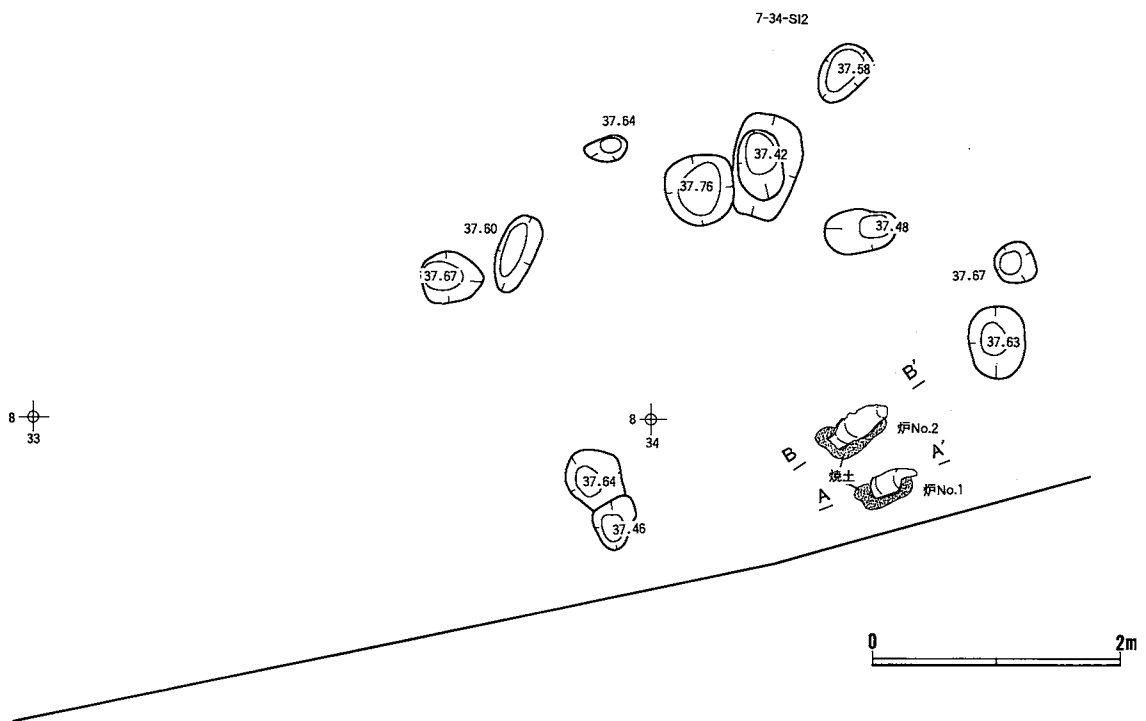


5-32-S11 炉No.3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土ブロック3%散在。
- 2 焼土。
- 3 成分は1と同じ。黄色地山粘土ブロック1%散在。
- 4 成分は1と同じ。埋設土器の周囲は焼土となっている。
- 5 成分は1と同じ。黄色地山粘土ブロック5%散在。

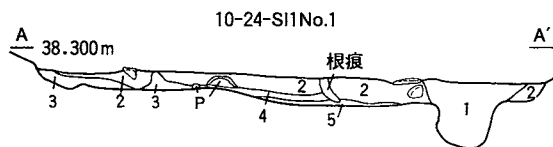
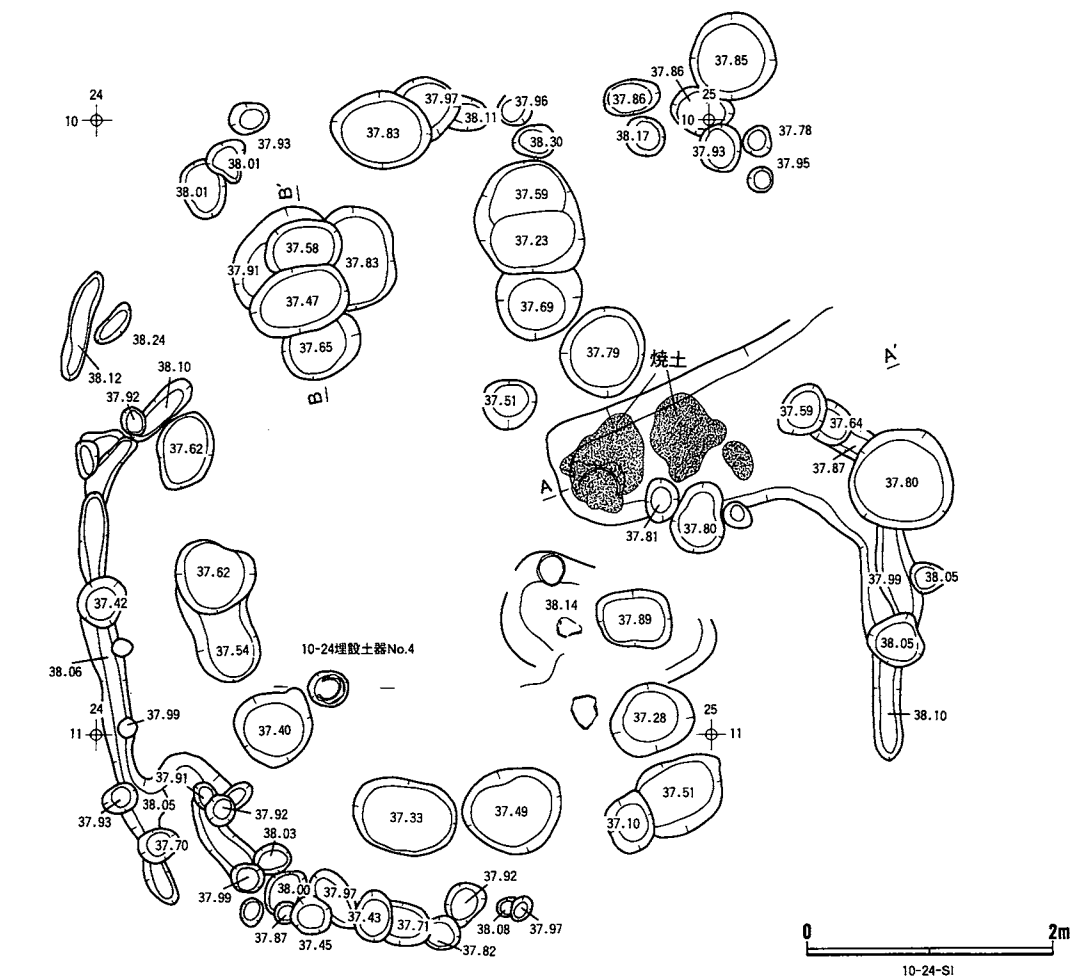


第40図 縄文住居跡(23)



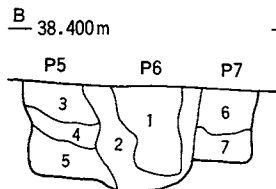
第41图 縄文住居跡(24)





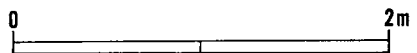
10-24-住居2炉(7-32-P1)

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。灰白色火地山粘土小ブロック(径2cm以下)や、焼土ブロック(径2cm以下)が10%ほど散在する。人為堆積土。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。人為堆積土。極少量地山小ブロック混在。
  - 3 成分は1とほぼ同じだが、1よりも10YR3/2粘土が多い。
  - 4 成分は3とほぼ同じ。3より地山粘土少し多い。
  - 5 成分は3とほぼ同じ。
- ※ 固くしまる。人為堆積層。

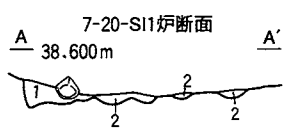


10-24-P6

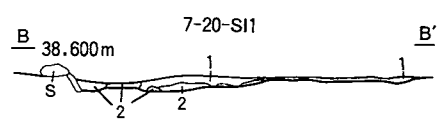
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が3%ほど散在する。下部に炭化物片が5%ほど散在する。柱痕跡か?
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5~15mm以下)が25%ほど散在する。
- 10-24-P5
- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5~10mm以下)が少量散在する。
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径10mm以下)が15%ほど散在する。
  - 5 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径10~15mm以下)が40%ほど散在する。
- 10-24-P7
- 6 10YR3/2黒褐色よりやや明るいシルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が3%ほど散在する。
  - 7 10YR3/2黒褐色シルトよりやや明るいシルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が7%ほど散在する。



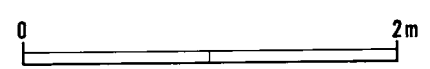
第42図 縄文住居跡(25)



7-20-S11 炉  
 1 10YR3/2黒褐色シルト、粘土主体、砂混じり土。  
 2 焼土。



7-20-S11  
 1 10YR3/2黒褐色シルト、粘土主体、砂混じり土。  
 2 焼土。



第43図 縄文住居跡(26)

## (2) 埋設土器

埋設土器炉以外で、地中に土器が埋められていた場合を埋設土器と呼んだ。土坑に土器を入れることになるが、土坑の大きさには、土器とほぼ同じ大きさのもの、土器以外の何かを埋めることを主目的としていたと考えられるほどの大きさのものの2つがある。後者には、墓に添えられた土器などが入ることになる。ここでは、かなりの高さの確率で墓に添えられたと考えられそうな場合のものは、埋設土器とはしなかった。

調査区からは48基の埋設土器が検出された。すべて東地区からの出土であった。大木8b式～後期初頭土器までであった。埋設土器はその埋設される場所の性質によって、大きくは2つに分けることができる。屋内に埋められる場合と屋外に埋められる場合である。以下には、屋内埋設土器と屋外埋設土器とに分けてその出土状況を中心に記述する。

### 屋内埋設土器

**3-27-SI1 埋設土器No. 1**（遺構：第8図58・第18図・写真図版6・遺物：第105図4・写真図版99）

住居跡出土遺物の解説参照。

**3-27-SI1 埋設土器No. 2**（遺構：第8図59・第18図・写真図版6・遺物：第105図3・写真図版99）

住居跡出土遺物の解説参照。

**3-27-SI1 埋設土器No. 3**（遺構：第8図60・第18図・遺物：第105図1・写真図版99）

住居跡出土遺物の解説参照。

**4-27-SI1 埋設土器**（遺構：第8図61・第18図・写真図版7・遺物：第106図5・写真図版99）

住居跡出土遺物の解説参照。

**6-28-SI1 埋設土器No. 1**（遺構：第8図62・第21図・写真図版11・遺物：第107図10・写真図版100）

住居跡出土遺物の解説参照。

**5-25-SI1 埋設土器No. 1**（遺構：第10図63・第22図・遺物：第108図14・写真図版101）

住居跡出土遺物の解説参照。

**5-27-SI1 埋設土器No. 1**（遺構：第10図64・第25・44図・写真図版20・遺物：第143図171・写真図版126）

5-27-SI1の周溝に切られていたので、5-27-SI1よりも古い時期に埋められていたと考えられる。5-27-SI1は6-26-SI1～4よりも新しいが、床面の高さはどの住居もほぼ同じである。5-27-SI1埋設土器No.1は、床面で検出され、土器底部だけが埋まっていたので、それらの住居跡よりも古い時期のものと推測できる。

**7-20埋設土器No. 4**（遺構：第12図65・写真図版37・遺物：第144図182・写真図版128）

正立していた。口縁部がいくらか失われているが、破損部はかなり風化している。埋められた時にすでにこれに近い状態であった可能性がある。大木10（古）式の深鉢である。土器の表面は二次焼成を受けたと考えられるが、土器の周囲には焼土は形成されていない。煮沸等に使用された土器が埋められたと考えられる。周囲の埋設土器に比べて、深く埋設されているので、当時の表土の位置から埋められたのではなく、7-20-SI1の床面から埋められた可能性がある。

## 屋外埋設土器

### 2-32埋設土器No. 3 (遺構：第6図66・遺物：第141図161・写真図版125)

大木8b式土器が土坑内に埋められていた。ただし、これは意図的に埋められたものではない可能性がある。

### 3-28埋設土器No. 1 (遺構：第8図67・遺物：第141図162・写真図版125)

4-28埋設土器No. 1に隣接して埋められていた。正立していた。土器の底付近しか残っていない。大木9(新)式の深鉢である。

### 3-30埋設土器No. 1 (遺構：第8図68・写真図版35)

正立していたが、土器の底しか残っていない。3-30埋設土器のすぐ東に隣接していたが、No. 2よりも浅い位置に土器底はあった。

### 3-30埋設土器No. 2 (遺構：第8図68・写真図版35・遺物：第141図164・写真図版125)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10b～後期初頭の深鉢と推測できる。

### 4-28埋設土器No. 1 (遺構：第8図69・写真図版35・遺物：第141図163・写真図版125)

3-28埋設土器No. 1に隣接して埋められていた。正立していた。口縁部が欠損しているだけである。大木10a(古)式の深鉢である。

### 5-26埋設土器No. 1 (遺構：第10図70・第44図・写真図版35)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10b～後期初頭の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 2 (遺構：第10図71・第44図・写真図版35・36・遺物：第142図167)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10式～後期最初頭頃の深鉢と推定できる。

### 5-26埋設土器No. 3 (遺構：第10図72・第44図・写真図版35・36)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形と、後期最初頭頃の5-26-P1を切る事実から、後期初頭頃の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 4 (遺構：第10図73・第44図・写真図版35・36)

いくらか傾くがほぼ正立していた。土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10式～後期最初頭頃の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 5 (遺構：第10図74・第44図・写真図版35・36)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10式頃の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 6 (遺構：第10図75・写真図版35・36・遺物：第141図166・写真図版126)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10式～後期最初頭頃の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 7 (遺構：第10図76・写真図版35・36・遺物：第142図168・写真図版126)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。胴部に文様の一部が残っている。ほぼ水平な隆線が施されていることから、大木10b～後期最初頭の深鉢と推測できる。

### 5-26埋設土器No. 8 (遺構：第10図77・写真図版35・36・遺物：第141図165・写真図版125)

正立していたが、土器の底付近しか残っていない。縄文が施された部分しか残っていないが、器形から、大木10式頃の深鉢と推測できる。

**6-24粘土入り土器**（遺構：第10図78・写真図版34・遺物：第143図174・写真図版127）

正立していた。底部付近だけが残っていた。中に灰白色の粘土が入れられていた。大木9（新）式の深鉢である。

**6-26埋設土器No. 1**（遺構：第7図79・第44図・遺物：142図169）

正立していた。口縁部は失われている。北側に一部重なって6-26埋設土器No. 2が埋められていた。大木9（新）式の深鉢である。

**6-26埋設土器No. 2**（遺構：第7図80・第44図・遺物：第142図175・写真図版127）

正立していた。口縁部は失われている。6-26埋設土器No. 1を切って重なる。大木10a（新）式の深鉢である。

**6-26埋設土器No. 3**（遺構：第7図81・第44図・遺物：第142図173・写真図版127）

正立していた。口縁部は失われている。大木9（新）式の深鉢である。

**6-26埋設土器No. 4**（第7図82）

正立していた。底部付近だけが残っていた。底部のミガキ調整のあり方から、大木9（新）式土器の深鉢と推測できる。

**6-34埋設土器No. 1**（遺構：第7図83・第31図・写真図版41・遺物：第142図170・写真図版126）

この土器の周囲の土は土器を中心に赤く酸化した土が同じ幅で広がっていた。土器埋設炉と考えられる。

**6-34埋設土器No. 2**（遺構：第7図84・第31図・写真図版41・遺物：第143図172・写真図版127）

この土器の周囲の土は土器を中心に赤く酸化した土が同じ幅で広がっていた。土器埋設炉と考えられる。

**6-34埋設土器No. 3**（遺構：第7図85・第31図・写真図版41）

この土器の周囲の土は土器を中心に赤く酸化した土が同じ幅で広がっていた。土器埋設炉と考えられる。野外調査中の埋設状況の実測図や写真はあるのだが、不注意により、調査～整理の過程で、どの個体が6-34埋設土器No. 3であるかわからなくなってしまった。実測図や写真によると、この土器は斜めに埋められており、埋まっていた斜め下半分がかなりよく残っている。そのように復元できた土器で、出土地等の記録が不明となった遺物が1点（254）ある。それが、6-34埋設土器No. 3である可能性が高い。

**7-20埋設土器No. 1**（遺構：第12図86・第71図・写真図版37・遺物：第144図176・写真図版127）

正立していた。深鉢だが、底部までの23cmが残っていた。捺糸文が施されている。器形から、後期初頭頃の深鉢と推測できる。

**7-20埋設土器No. 2**（遺構：第12図87・第71図・写真図版37・遺物：第144図177・178・写真図版128）

正立していた。器形から、後期初頭頃の深鉢と推測できる。

**7-20埋設土器No. 3**（遺構：第12図88・第71図・写真図版37・遺物：第144図179・写真図版128）

正立していた。胴部の下半に近い部分がリング状に残っていた。水平な隆線が貼り付けられていることと器形から、後期最初頭頃の深鉢と推測できる。

**7-21埋設土器No. 1**（遺構：第12図89・写真図版37・遺物：第144図180・写真図版128）

大木9（新）式の小型壺である。

**7-22埋設土器No. 1**（遺構：第12図90・第64図・写真図版37・38・遺物：第145図184・写真図版128）

正立していたが、胴部のほぼ中央部がリング状に埋められていた。大木9（新）式の深鉢である。土器は二次焼成を受けているようだが、土器の周囲には焼土は形成されていない。使用された土器が埋められたのであろう。

**7-22埋設土器No. 2**（遺構：第12図91・第64図・写真図版37・38・遺物：第145図186・写真図版129）

正立していた。胴部下半部だけが残っていた。それより上は耕作により切られている。大木9式新段階土器である。

**7-22埋設土器No. 3**（遺構：第12図92・第64図・遺物：第144図181・第145図183・写真図版128）

正立していた。大木9（新）式小型壺である。181と183は同一個体である。

**7-25埋設土器No. 1**（遺構：第10図93・第75図・写真図版38・遺物：第146図189・写真図版129）

倒立して埋められていた。口縁部から胴部にかけて34.5cmが残存していた。底部に近い部分は失われている。より地表に近い位置にあったはずの胴部が潰れ落ち、土器を埋めた土坑の底近くにあったことから、埋められた時点では、空洞に近かったと思われる。大木9（新）式の深鉢である。

**7-26埋設土器No. 1**（遺構：第10図94・第75図・遺物：第145図185・写真図版128）

正立していた。土器上半部は失われている。大木9（新）式の深鉢である。

**7-30埋設土器No. 1**（遺構：第9図・第79図・写真図版38・39・第146図190・写真図版130）

正立していた。土器上半部は失われている。縄文が施されている。

**8-21埋設土器**（遺構：第12図95・遺物：第147図193・写真図版130）

正立していた。底部を含む下部だけが、11cm残っていた。器形と文様から、大木9～10式の深鉢と推測できる。

**8-25埋設土器No. 1**（遺構：第11図96・遺物：第148図194・写真図版130）

正立していた。底部を含む下部だけが16.5cm残っていた。器形と文様から、大木10式の深鉢と推測できる。

**8-25埋設土器No. 2**（遺構：第11図97・遺物：第148図195・写真図版131）

正立していた。底部を含む下部だけが14.5cm残っていた。器形と文様から、大木9～10式の深鉢と推測できる。

**8-25埋設土器No. 3**（遺構：第11図98・遺物：第148図196・写真図版131）

正立していた。底部を含む下半部が24.8cm残っていた。器形と文様から、大木10式の深鉢と推測できる。

**8-30埋設土器No. 1**（遺構：第9図99・第91図・写真図版39・遺物：第149図197・写真図版131）

正立していた。底部を含む下半部の一部が失われている。大木10a（新）式だが、だいぶ大木10b式に近い文様である。

**8-30埋設土器No. 2**（遺構：第9図100・遺物：第149図199・写真図版131）

底部を含む下半部だけが正立していた。器形から、大木10式の深鉢と推測できる。

**9-23埋設土器No. 1**（遺構：第11図・写真図版39・遺物：第150図202・写真図版132）

正立していたが、土器底部に近い部分しか残っていなかった。それより上は耕作により切られている。縄文が施された深鉢である。

**10-23埋設土器No. 1**（遺構：第11図723・第94図）

土器の底部だけが残っていた。周囲には焼土が形成されていた。炉であった可能性があるが、周囲にはこれを中心とした柱穴は未検出である。

**10-23埋設土器No. 2**（遺構：第11図724・第94図）

土器の胴部がリング状に正立して埋められていたが、上部が削られていて残りは悪い。周囲にはわずかに焼土が形成されていた。

**10-27埋設土器No. 1**（遺構：第11図101・第103図・写真図版40・遺物：第151図204・写真図版132）

胴部のほぼ中央部がリング状に正立して埋められていた。大木10（古）式の深鉢である。

**10-27埋設土器No. 2**（遺構：第11図102・第103図・写真図版40）

胴部のほぼ中央部がリング状に正立して埋められていた。縄文が施されていた。

**10-27埋設土器No. 3**（遺構：第11図103・第103図・写真図版40・遺物：第151図206・写真図版132）

胴部のほぼ中央部がリング状に正立して埋められていた。大木9（新）式の深鉢である。

**10-27埋設土器No. 4**（遺構：第11図104・第103図・写真図版40・遺物：第151図205・写真図版132）

底部を含む下半部が正立していた。器形から、大木9～10式の深鉢と推測できる。

**7-29-P 4埋設土器**（遺構：第9図380・写真図版38・遺物：第144図180・写真図版128）

逆さまに埋められていた。大木9式土器の小型壺である。口縁部は埋められたときに既に失われていた。

**7-30-P 6埋設土器**（遺構：写真図版39・遺物：第145図188・写真図版129）

倒立して埋められていた。口縁部付近のみが残る。大木9式土器である。

**7-31-P 3埋設土器**（遺構：第9図105・遺物：第161図242・写真図版139）

後期初頭の深鉢である。

**8-24-P 12埋設土器No. 1**（遺構：第11図106・写真図版39・遺物：第147図192・写真図版130）

大木8b式の小型壺である。底部中央に穿孔されている。内外から丁寧に穿孔されている。ドリル状のものを利用して穿孔したと推測できる。

**8-30-P 6埋設土器**（遺構：第9図481・遺物：第149図200・写真図版131）

器形から、後期初頭頃の深鉢と推測できる。

**10-24-P 10埋設土器**（遺構：第11図550・遺物：第150図203・写真図版132）

底部を含む下半部が残っている。器形と文様から大木10式と推測できる。

### (3) 各種土坑

縄文時代中期中葉から後期前葉にかけての土坑を以下に述べる。主に東地区から検出された。

遺構の重複が激しかったので、特徴的なものだけ断面の記録図を取り、単層のものは図を取らずに掘りあげた。したがって、断面図を掲載しているものは全体のおよそ1/3である。

**1-34-P 1** (第6図109・第45図)

位置：東調査区の北東部北辺にある。周囲にはあまり縄文時代の遺構はない。検出面規模：長径0.76m、短径0.76m。深さ0.48m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。埋土：縄文時代中期埋土。地山粘土小ブロックが散在していることから、人為堆積と推定できる。遺物：大木9式～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた可能性がある。時期：大木10b式土器を使用している頃に埋められたと推定した。

**2-30-P 1** (第8図110)

位置：東調査区ほぼ中央、北辺にある。検出面規模：深さ0.65m。形態：埋土：縄文時代期あるいは平安時代的埋土。人為堆積。遺物：大木9～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：遺物は縄文時代中期のものしかないが、堆積土の性質から縄文時代後期前葉頃に埋められたものと推定した。

**2-30-P 2** (第8図111)

位置：東調査区ほぼ中央、北辺にある。検出面規模：深さ0.28m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代後期あるいは平安時代的埋土。遺物：大木9～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、人為的に埋められたものと推定した。時期：遺物は縄文時代中期のものしかないが、堆積土の性質から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと推定した。

**2-30-P 3** (第8図112)

位置：東調査区ほぼ中央、北辺にある。検出面規模：長径0.62m、短径0.62m。深さ0.52m。形態：不整円筒形。埋土：縄文時代後期あるいは平安時代的埋土。遺物：大木9式から大木10b式土器破片が含まれる。性質：時期：遺物は縄文時代中期のものしかないが、堆積土の性質から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**2-30-P 4** (第8図113)

位置と重複関係：東調査区の北辺の中央東部よりにある。遺構の半分は調査区の外に残る。周囲には3-30-SI1～3があるが、それらよりこの遺構は古い。検出面規模：長径(0.90)m、短径(0.60)m、深さ0.58m。形態：円筒形であろう。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**2-31-P 1** (第8図114・第46図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。遺構の半分は調査区外に残る。検出面規模：長径1.04m、短径0.95m、深さ0.16m。形態：ほぼ円形の浅い土坑。埋土：縄文中期後半頃の埋土の単層で、人為堆積と考えられる。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：人為的に埋められた土坑である。時期：含まれる遺物から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**2-31-P 2** (第6図115・第46図・写真図版41)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。検出面規模：長径1.44m、短径1.02m、深さ0.50m。形態：平面形が楕円形の土坑である。埋土：平安時代か縄文時代後期初頭の埋土。地山粘土ブロックが含まれることから、人為堆積と判断した。遺物：大木9式～大木10b式直後の後期初頭土



器破片が含まれる。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑。時期：縄文時代後期初頭頃に埋められたか、平安時代に埋められたと推定した。

**2-31-P 4** (第6図116・第46図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。2-31-P2に切られる。検出面規模：長径0.74m、短径0.64m、深さ0.40m。形態：平面形が不整円形の筒形。埋土：平安時代か縄文時代後期の遺構に多い埋土である。地山小ブロックが含まれることから、人為的に埋められたと判断した。遺物：大木9式～大木10b式直後の後期初頭土器破片が含まれる。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑である。時期：遺物からは縄文時代後期以降に埋められたことが推定される。

**2-31-P 5** (第8図117・第46図)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.48m、深さ0.29m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土である。遺物：大木9式～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**2-31-P 6** (第8図118・第46図)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。検出面規模：長径1.68m、短径0.80m、深さ0.21m。形態：隅円の直方体型である。埋土：縄文時代中期の埋土。地山粘土ブロックが散在することから、人為的に埋められたと判断した。遺物：大木9式～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：大木10b式土器を使用している頃のものと考えた。

**2-31-P 7** (第8図119・第46図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。2-31-P6を切る。検出面規模：長径0.48m、短径0.46m、深さ0.58m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**2-31-P 8** (第8図120・第46図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.36m、短径1.29m、深さ0.21m。形態：平面形が不整円形の浅い土坑である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：縄文が施された土器破片が出土している。縄文時代中期後半以降の土器と推定できる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代中期後半代に埋められたと判断した。

**2-32-P 5** (第6図121・第46図・写真図版41)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。2-31-P3に切られる。検出面規模：長径1.36m、短径1.20m、深さ0.37m。形態：平面形がほぼ円形の浅い円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土。地山粘土ブロックが含まれることから、人為堆積と判断した。遺物：縄文が施された土器破片が出土している。縄文時代中期後半以降の土器と推定できる。性質：不明だが人為的に埋められた土坑。時期：堆積土の性質から縄文時代中期末頃のものと判断した。

**3-27-P 1** (第8図122)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。3-27-SI1の炉と4-27-P3を切る。検出面

規模：長径0.91m、短径0.85m、深さ m。形態：平面形が不整円形の円筒形である。埋土：縄文後期埋土。単層である。地山粘土小ブロックが含まれ、人為堆積と考えられる。遺物：大木9式～縄文後期初頭の土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる土器片から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

### 3-29-P 1 (第8図123)

位置と重複関係：調査区北辺ほぼ中央にある。3-29-SI1・2と重複する。検出面規模：長径1.12m、短径0.65m、深さ0.50m。形態：平面形が楕円形の土坑。埋土：縄文中期後半埋土の単層である。人為堆積である。遺物：大木8b式～大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる埋土や土器破片から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

### 3-29-P 2 (第8図124)

位置と重複関係：調査区北辺ほぼ中央にある。3-29-SI1・2と重複する。検出面規模：長径1.16m、短径0.55m、深さ0.70m。形態：二つの柱穴が並列したような形態である。埋土：縄文時代中期埋土。単層の人為堆積土である。遺物：大木8b式～大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが人為的に埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

### 3-29-P 3 (第8図125・写真図版42)

位置と重複関係：調査区北辺ほぼ中央にある。3-29-SI1・2と重複する。検出面規模：長径0.50m、短径0.50m、深さ0.52m。形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土である。遺物：大木9式～大木10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器使用期に埋められたと判断した。

### 3-31-P 1 (第8図126)

位置と重複関係：3-30-SI1～3東端の床面直上埋土に重なる。検出面規模：長径0.82m、短径0.60m、深さ0.10m。形態：平面形が楕円形の凹レンズ状の浅いくぼみである。埋土：10YR2/2黒褐色シルト主体の縄文時代後期あるいは平安時代の埋土である。炭化物片が多く含まれる。遺物：大木8b式～大木10b式土器破片が含まれる。風化度1～2である。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑である。時期：遺物は縄文時代中期のものしかないが、埋土の性質から、縄文時代後期あるいは平安時代のものと推定できる。

### 3-31-P 3 (第8図127)

位置と重複関係：3-30-SI1～3と重複する。検出面規模：長径1.20m、短径0.85m、深さ0.89m。形態：楕円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積である。遺物：大木8b式～大木10b式土器破片が含まれる。風化度1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。また、位置や規模、形態から考えると、3-30-SIの柱穴であった可能性が高い。時期：埋土や含まれる遺物から、大木10b式土器使用期に埋められたと考えられる。

### 3-31-P 8 (第8図128)

位置と重複関係：3-30-SIと重複する。検出面規模：長径0.60m、短径0.42m、深さ0.21m。形態：平面形が楕円形の浅い土坑。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層である。地山ブロック

を30%ほど含む。遺物：大木10b式土器破片を含む。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

#### 3-34-P 2 (第6図129)

位置と重複関係：調査区東部の中世建物S B 3の下に重なる位置にある。検出面規模：長径1.28m、短径0.96m、深さ0.17m。形態：平面形が楕円形の浅い窪地である。埋土：縄文時代中期後半の頃の埋土に似る。地山粘土小ブロックが2%ほど散在する。人為堆積と推定される。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木10b式土器使用期に埋められた可能性がある。

#### 4-26-P 1 (第10図130・第55図)

位置：調査区の北辺のほぼ中央にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.30m。形態：平面形が不整円形の筒型である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

#### 4-26-P 2 (第8図131・第55図)

位置と重複関係：調査区の北辺のほぼ中央にある。5-26-P 3に切られる。検出面規模：長径(0.80)m、短径0.80m、深さ0.52m。形態：平面形が不整円形の筒型である。埋土：縄文時代中期の埋土。地山粘土ブロックが散在するので人為堆積と判断した。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期のものであろう。

#### 4-26-P 5 (第8図132・第55図)

位置と重複関係：調査区の北辺のほぼ中央にある。4-27-P 6を切る。4-27-P 7を切られる。検出面規模：長径0.62m、短径0.55m、深さ0.41m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土の単層である。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質と、含まれる土器片から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

#### 4-26-P 9 (第10図133・第55図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。4-26-P 2に切られる。検出面規模：長径(0.56)m、短径0.58m、深さ0.41m。形態：平面形が不整円形の筒型である。埋土：縄文時代中期埋土。地山粘土ブロックが多く含まれる。人為堆積と判断した。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期に埋められた可能性が高い。

#### 4-26-P 10 (第10図134・第49図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。平安時代住居跡4-25-SI 1の貼床の下から検出された。検出面規模：長径0.72m、短径0.60m、深さ0.27m。形態：不整円筒形。埋土：4-25-SI 1の貼床埋土が上部に含まれる。しかし、大部分は縄文時代中期の埋土である。地山粘土ブロックが散在するので、人為的に埋められたと判断した。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木10b式土器使用期に埋められた可能性が高い。

**4-26-P 12** (第10図135・第49図)

位置と重複関係：東調査区北辺ほぼ中央にある。平安時代の土坑4-26-P 11に切られる。検出面規模：長径1.08m、短径0.68m、深さ0.35m。形態：不整楕円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**4-27-P 1** (第8図136・写真図版43)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。4-27-SI 1の炉を切る。4-27-P 2に切られる。検出面規模：長径(1.10)m、短径1.10m、深さ0.55m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代後期の単層埋土。人為堆積土。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器使用期に埋められたと判断した。

**4-27-P 2** (第8図137・写真図版43)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。4-27-P 1を切る。検出面規模：長径0.96m、短径0.84m、深さ0.32m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代後期の単層人為堆積土。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器使用期に埋められたと判断した。

**4-27-P 3** (第8図138)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。3-27-P 1に切られる。検出面規模：長径0.91m、短径0.85m、深さ0.38m。形態：平面形が不整円形のほぼ円筒形である。埋土：複数の層からなる、人為堆積土。最上層は縄文時代後期前葉の遺構に含まれる埋土である。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質と含まれる土器破片から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**4-27-P 4** (第8図139)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。4-27-SI 1の中にある。4-27-SI 1-PP 8に切られる。検出面規模：長径(0.73)m、短径0.67m、深さ0.41m。形態：不整円形の土坑である。埋土：単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**4-27-P 7** (第8図140・第55図・写真図版43)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。5-27-P 9に切られる。検出面規模：長径(1.40)m、短径1.79m、深さ0.68m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土。地山粘土ブロックが多く含まれる部分があり、人為的に埋められたと判断した。遺物：性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：不明だが、埋土の性質から縄文時代中期末頃のものとして推定した。

**4-28-P 1** (第8図141・写真図版43)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。4-28-P 2を切る。検出面規模：長径1.16m、短径0.85m、深さ0.51m。形態：ほぼ円筒形。埋土：上部に一部、縄文時代後期あるいは平安時代のもののような埋土が入るが、多くは縄文時代中期の埋土である。人為堆積と判断した。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。4

-27-SI1の柱穴と考えられる位置にある。時期：大木9式土器使用期のものの可能性が高い。

**4-28-P2**（第8図142・写真図版44）

位置：調査区の北辺ほぼ中央にある。4-28-P1に切られる。4-28-P3を切る。検出面規模：長径1.18m、短径（0.80m）、深さ0.43m。形態：ほぼ円筒形。埋土：埋土上部には平安時代のもののような埋土が入るが、下部は縄文時代中期の埋土である。人為堆積と判断した。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**4-28-P3**（第8図143）

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。4-28-P2に切られる。検出面規模：長径0.96m、短径（0.70m）、深さ0.40m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土。人為堆積と判断した。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期のものの可能性が高い。

**4-28-P4**（第8図144）

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。4-27-SI1-PP3を切る。検出面規模：長径1.22m、短径1.09m、深さ0.38m。形態：円筒形。埋土：縄文時代後期あるいは平安時代のもののような埋土と縄文時代中期の埋土が入る。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**4-28-P5**（第8図145・第51図）

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。検出面規模：長径1.20m、短径1.04m、深さ0.61m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積の単層である。縄文時代中期埋土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P1**（第8図146・第51図）

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。4-29-P2を切る。検出面規模：長径0.40m、短径0.38m、深さ0.38m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期の埋土である。単層の人為堆積である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P2**（第8図147・写真図版44）

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。4-29-P1に切られる。検出面規模：長径0.97m、短径0.94m、深さ0.56m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期の埋土である。複数の層からなる人為堆積である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P3**（第8図148・第51図・写真図版44）

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。4-29-P4に切られる。検出面規模：長径（0.88）m、短径0.85m、深さ0.55m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期の埋

土である。複数の層からなる人為堆積である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木9式土器使用期頃に埋められたと判断した。

**4-29-P 4** (第8図149・第50・51図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。4-29-P3とP5を切る。検出面規模：長径1.05m、短径0.95m、深さ0.84m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期の埋土である。人為堆積である。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P 5** (第8図150・第50・51図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。4-29-P4に切られる。検出面規模：長径(1.05)m、短径0.97m、深さ0.60m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P 8** (第8図151・第50・51図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。検出面規模：長径1.03m、短径0.99m、深さ0.63m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代後期以降の埋土。人為堆積。遺物：大木10b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から大湯式土器期に埋められたと判断した。

**4-29-P 9** (第8図152・第51図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央、4-27-SI1・2のすぐ東にある。検出面規模：長径2.30m、短径2.05m、深さ0.39m。形態：底が丸い、不整円形の土坑である。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：縄文時代早期末から前期初頭・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**4-31-P 2** (第8図153・第52図)

位置：東調査区ほぼ中央東のあまり遺構の密集しないところにある。検出面規模：長径0.96m、短径0.72m、深さ0.16m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：縄文時代中期の人為堆積単層。遺物：大木9式～後期最初頭土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：縄文時代後期最初頭頃に埋められたと判断した。

**4-32-P 1** (第6図154・第53図)

位置：東調査区ほぼ中央の東より、5-32-SI1～5の北辺あたりにある。検出面規模：長径0.96m、短径0.42m、深さ0.25m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑である。埋土：縄文時代中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**4-32-P 6** (第6図155・第53図)

位置：東調査区ほぼ中央の東より、5-32-SI 1～5の北辺あたりにある。検出面規模：長径0.72m、短径0.48m、深さ0.33m。形態：平面形が楕円形の浅い土坑である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 1** (第10図156・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.75m、短径0.72m、深さ0.34m。形態：不整楕円筒形。埋土：人為堆積。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 2** (第10図157・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.86m、短径0.84m、深さ0.34m。形態：不整楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土。人為堆積。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器使用期に埋められた可能性が高い。

**5-24-P 3** (第10図158・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。遺構の半分は調査区の外に残る。検出面規模：長径0.90m、短径(0.55)m、深さ0.53m。形態：ほぼ円筒形と推測できる。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 4** (第10図159・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。5-24-P 2に切られる。検出面規模：長径0.41m、短径0.41m、深さ0.61m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 5** (第10図160)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。遺構の一部は調査区の外に残る。検出面規模：長径(0.50)m、短径0.50m、深さ0.49m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大湯式土器破片が含まれる。風化度は2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 6** (第10図161・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.64m、短径0.48m、深さ0.34m。形態：不整楕円形土坑。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められた

と判断した。

**5-24-P 7** (第10図162・第65図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。6-24-P13に切られる。検出面規模：長径(0.80)m、短径0.96m、深さ0.62m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 8** (第10図163・第63図)

位置：東調査区北辺のほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.94m、短径0.72m、深さ0.46m。形態：不整楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、門前I式土器期に埋められたと判断した。

**5-24-P 9** (第10図164・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径1.32m、短径0.87m、深さ0.32m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**5-24-P 10** (第10図717・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.89m、短径0.70m、深さ0.46m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木10式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる埋土から、大木10式土器使用期頃に埋められたと判断した。

**5-24-P 17** (第10図165・第65図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-23-SI1に切られる。検出面規模：長径1.01m、短径0.78m、深さ0.65m。形態：平面形がほぼ円形のボール状。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる土器破片から、大木10b式使用期に埋められたと判断した。

**5-25-P 1** (第10図166・第54図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。平安時代の住居跡4-25-SI1に切られる。5-25-P15に切られる。検出面規模：長径(1.28)m、短径0.78m、深さ0.28m。形態：平面形が楕円形の箱形。埋土：縄文時代中期埋土単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P 2** (第10図167・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。平安時代の住居跡4-25-SI1に切られる。5-25-P1の東に隣接する。検出面規模：長径0.70m、短径0.62m、深さ0.40m。形態：底がボール状の円



筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：縄文時代後期前葉の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**5-25-P 3** (第10図168・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径1.00m、短径0.76m、深さ0.27m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の単層。人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる土器破片から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**5-25-P 5** (第10図169・第54図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径1.16m、短径1.00m、深さ0.57m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P 6** (第8図170・第54図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。遺構の一部は調査区の外に延びる。検出面規模：長径(0.96)m、短径0.88m、深さ0.58m。形態：平面形が楕円形の土坑。底面中央に小さな筒状のくぼみがある。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積土。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。中央のくぼみは何かを示しているだろうが不明である。時期：埋土や含まれる土器破片から、大木8b式土器使用期頃に埋められたと推測した。

**5-25-P 8** (第10図171・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.90m、短径0.80m、深さ0.64m。形態：底が丸い不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P 9** (第10図172・第63図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-25-P 8に切られる。検出面規模：長径(0.35)m、短径0.40m、深さ0.45m。形態：楕円筒型である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積である。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や、含まれる遺物から、大木8b式土器使用期に埋められた可能性が考えられる。

**5-25-P 13** (第10図173・第54図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.82m、短径0.72m、深さ0.82m。形態：円筒形。埋土：縄文中期の人為堆積土単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P 14** (第10図174・第54図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-25-P15に切られる。検出面規模：長径0.60m、短径(0.55)m、深さ0.68m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P15** (第10図175・第54図・写真図版44)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-25-P14とP1を切る。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.39m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-25-P17** (第10図176・第54図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.80m、短径0.74m、深さ0.58m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P1** (第10図177・第55図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26埋設土器No3・5-26-P2に切られる。検出面規模：長径0.82m、短径0.60m、深さ0.56m。形態：楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積。遺物：大木8b式～縄文後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期最初頭期に埋められたと判断した。

**5-26-P3** (第8図178・第55図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-27-P9に切られる。検出面規模：長径1.28m、短径1.25m、深さ0.82m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P4** (第10図179・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26-P17を切る。検出面規模：長径1.02m、短径0.72m、深さ0.32m。形態：不整楕円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭に埋められたと判断した。

**5-26-P5** (第10図180)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.92m、短径0.40m、深さ0.46m。形態：平面形は楕円形の溝状土坑。埋土：縄

文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 6** (第10図718・第55図・写真図版45)

6-26-SI内にある小さな土坑。炭化物が入っていた。遺構図はとっていない。

**5-26-P 7** (第10図181・第55図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.76m、短径0.72m、深さ0.26m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 9** (第10図182・第55図)

位置東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.70m、短径0.68m、深さ0.48m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 10** (第10図183・第55図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.58m、短径0.48m、深さ0.38m。形態：柱穴状である。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、形態からは柱穴の可能性がある。埋められた土坑である。時期：埋土から、縄文時代中期に埋められたと判断した。

**5-26-P 15** (第10図184・第55図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26-P1に切られる。検出面規模：長径0.80m、短径0.80m、深さ0.32m。形態：平面形が不整円形の浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期初頭に埋められたと判断した。

**5-26-P 17** (第10図185・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26-P4に切られる。検出面規模：長径(0.80)m、短径0.76m、深さ0.37m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭に埋められたと判断した。

**5-26-P 18** (第10図186・第55図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26-P15に切られる。検出面規模：長径(0.80)m、短径(0.80)m、深さ0.41m。形態：埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2

である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 20** (第8図187・第55図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.96m、短径0.92m、深さ0.30m。形態：平面形が不整円形の浅い円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～縄文後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期最初頭期に埋められたと判断した。

**5-26-P 21** (第10図188・写真図版74)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。6-26-SIを切る。検出面規模：長径0.70m、短径0.60m、深さ0.58m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土の単層。遺物：大木9式～縄文後期初頭期の土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土と含まれる土器破片から、縄文時代後期初頭に埋められたと判断した。

**5-26-P 22** (第10図189・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。6-26-SIの周溝に切られる。検出面規模：長径0.60m、短径0.55m、深さ0.57m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 23** (第10図190・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。平安時代の住居跡4-25-SI1に切られる。検出面規模：長径0.98m、短径0.78m、深さ0.42m。形態：不整楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大木10a新式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a新式土器期に埋められたと判断した。

**5-26-P 31** (第10図191・第49図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.68m、短径0.58m、深さ0.65m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭に埋められたと判断した。

**5-27-P 1** (第8図192・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.98m、短径0.92m、深さ0.30m。形態：円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式・大木10a式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 2** (第8図193)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.94m、短径0.72m、深さ0.35m。形態：平面形が不整楕円形の円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 3** (第8図194・第55・56図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.88m、短径0.86m、深さ0.73m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 5** (第8図195・第55・56図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-27-P 8を切る。検出面規模：長径0.83m、短径0.82m、深さ0.55m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 6** (第8図196・第55図)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.72m、短径0.72m、深さ0.51m。形態：不整円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 7** (第8図197・第55図・写真図版46)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径1.55m、短径(1.30)m、深さ0.46m。形態：不整円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大木10a式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 8** (第8図198・第55図・写真図版45)

位置：東調査区北辺ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-27-P 5に切られる。検出面規模：長径0.82m、短径0.75m、深さ0.46m。形態：不整円筒形。埋土：下層に薄く別の層があるがほぼ単一の人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期前葉の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**5-27-P 9** (第8図199・第55図・写真図版45)

位置：東調査区北辺のほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。5-26-P 3・4-27-P 7を切る。検出面規模：長径1.00m、短径0.83m、深さ0.54m。形態：楕

円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期最初頭期に埋められたと判断した。

**5-27-P 10** (第8図200・第55図・写真図版45)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.63m、短径0.60m、深さ0.43m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-27-P 13** (第8図201・第55図)

位置：調査区北辺のほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が隣接する。検出面規模：長径0.48m、短径0.48m、深さ0.13m。形態：平面形が不整円形の浅いボール状の土坑。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-28-P 1** (第8図202・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1の北に隣接するが、それより新しい。5-28-P3を切る。検出面規模：長径1.56m、短径1.52m、深さ0.27m。形態：浅い不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大木10a式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a式土器期に埋められたと判断した。

**5-28-P 2** (第8図203)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1の北、約1.3mにある。検出面規模：長径0.80m、短径0.72m、深さ0.27m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b～9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-28-P 3** (第8図204・第57図・写真図版46)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1周溝に切られる。また、5-28-P4を切る。検出面規模：長径0.98m、短径0.78m、深さ0.58m。形態：不整楕円筒形。埋土：ほぼ上中下の3層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-28-P 4** (第8図205)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1周溝に切られる。5-28-P3に切られる。検出面規模：長径(0.80)m以上、短径0.87m、深さ0.53m。形態：不整楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積層である。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：大木8b式土器の大破片が含まれていた。時期：大木9式期に埋められたと考えられる。

**5-28-P 5** (第8図206・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1の北に隣接するが、それより新しい。この周辺には前後する時期の類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.93m、短径0.84m、深さ0.60m。形態：円筒形。埋土：最下部に薄く別の土が入るが、ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-28-P 6** (第図207・写真図版74)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1の床面直上の埋土を切る。検出面規模：長径1.33m、短径0.82m、深さ0.10m。形態：平面形が楕円形の凹レンズ状の浅いくぼみである。埋土：10YR2/2黒褐色シルト主体の砂混じり土である。この周辺の一般的な縄文時代後期の埋土である。遺物：底面に実測図No.225の土器が横たわり、潰れていた。潰れた土器の中には土は入っていなかった。その底部付近から実測図No.226も出土した。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭頃に埋められたと判断した。

**5-29-P 1** (第8図208・第57・58図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径1.15m、短径1.14m、深さ0.58m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-29-P 3** (第8図209・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-28-SI1の東端に重なる。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.90m、短径0.83m、深さ0.45m。形態：円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-29-P 4** (第8図210・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.90m、短径0.72m、深さ0.30m。形態：楕円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-29-P 6** (第8図211・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。4-29-P9を切る。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.96m、短径0.80m、深さ0.51m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-29-P 8** (第8図212・第51図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。4-29-P9を切る。検出面規模：長径0.75m、短径0.67m、

深さ0.31m。形態：底の丸い円筒形。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-29-PP2** (第8図213・第57図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺にはほぼ同時期の類似する土坑が複数ある。検出面規模：長径0.91m、短径0.78m、深さ0.61m。形態：底の丸い円筒形。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 1** (第8図214・第58図・写真図版46)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 6を切る。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.56m、短径0.56m、深さ0.26m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑である。時期：大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 3** (第8図215・第58図・写真図版46)

位置：調査区ほぼ中央にある。5-31-P 3と連続するが、埋土からは新旧関係を把握できなかった。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.93m、短径(0.80m)、深さ0.59m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 4** (第8図216・第58図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 5と連続する。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.65m、短径0.54m、深さ0.18m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～大木10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 5** (第8図217・第58図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 4と連続する。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.90m、短径0.76m、深さ0.08m。形態：平面形が不整円形の浅い土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 6** (第8図218・第58図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 1に切られる。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径1.10m、短径0.88m、深さ0.51m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積土。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から、大木8b式土器期に埋められたと判断した。



**5-30-P 9** (第8図219・第50図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。  
検出面規模：長径0.89m、短径0.54m、深さ0.43m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：縄文中期埋土の人為堆積土単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 10** (第8図220・第58図・写真図版46)

位置：調査区ほぼ中央にある。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。5-29-P 5を切る。検出面規模：長径1.50m、短径1.28m、深さ0.76m。形態：ほぼ円筒形。中央底に更に小さな円筒形のくぼみがある。埋土：複数枚の層からなる人為堆積土。遺物：大木10b式・縄文後期初頭の土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**5-30-P 11** (第8図221・第58図・写真図版46)

位置：調査区ほぼ中央にある。5-30-P 12と連続するが、埋土に違いはなかった。周辺には前後する時期の類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径1.24m、短径0.93m、深さ0.55m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：隣接する5-30-P 12と同様の埋土であることから、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 12** (第8図222・第58図・写真図版46)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 11と隣接するが、埋土による新旧関係は把握できなかった。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.74m、短径0.68m、深さ0.50m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 13** (第8図223・第58図・写真図版46)

位置：調査区ほぼ中央にある。5-30-P 15・P 12・P 3に切られる。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.84m、短径(0.56)m、深さ0.52m。形態：平面形が楕円形の土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木8b式土器期に埋められたと判断した。

**5-30-P 14** (第8図224・第50図・写真図版47)

位置：東調査区ほぼ中央にある。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.93m、短径0.86m、深さ0.52m。形態：円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木8b式土器期に埋められたと判断した。

**5-31-P 3** (第8図225・第58図・写真図版46)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-30-P 3と隣接する。埋土による新旧の把握はできなかった。この周辺には前後する時期の、類似する性質の土坑が多い。検出面規模：長径0.97m、短

径0.86m、深さ0.47m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期と判断した。

**5-31-P 4** (第6図226・第59図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIの西に隣接する。検出面規模：長径1.80m、短径1.52m、深さ0.26m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**5-32-P 1** (第6図227・第53・60図・写真図版47)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIの東に隣接する。検出面規模：長径1.48m、短径1.18m、深さ0.48m。形態：楕円筒形。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式・縄文後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。形態から考えると、上半部は後に削られたようだ。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期最初頭期に埋められたと判断した。

**5-32-P 3** (第6図228・第60図・写真図版47)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.86m、短径0.53m、深さ0.66m。形態：二つの柱穴が連結したような形態。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：形態から考えると柱穴であろう。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-32-P 4** (第6図229・第60図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.95m、短径(0.91m)、深さ0.52m。形態：不整楕円形土坑。埋土：単層人為堆積土。遺物：大木8b式・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**5-32-P 5** (第8図230・第59・60図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.92m、短径0.66m、深さ0.17m。形態：平面形が長方形的な浅い楕円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-32-P 6** (第6図231・第59・60図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.97m、短径0.97m、深さ0.40m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：遺物は採集されていないが、縄文時代中期の埋土である。

**5-32-P 7** (第6図706・第60図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.76m、短径0.64m、深さ0.28m。形態：浅い楕円筒形。埋土：縄文中期人為堆積土。二つの土坑が重なる可能性もある。遺物：大木10式土器破片含む。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：大木10式期頃に埋められたと判断した。

**5-32-P 8** (第6図708・第60図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。5-32-SIと重なる。検出面規模：長径0.66m、短径0.36m、深さ0.29m。形態：浅い楕円筒形。埋土：縄文中期埋土。遺物：大木10式土器破片含む。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：大木10式期頃に埋められたと判断した。

**5-32-P 9** (第6図232・第53図)

位置：調査区ほぼ中央にある。5-32-SI1～5と重なる。検出面規模：長径1.66m、短径1.17m、深さ0.25m。形態：底の丸い浅い不整楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**5-32-P 11** (第6図707図・第60図)

位置：調査区ほぼ中央にある。5-32-SI1～5と重なる。検出面規模：長径0.48m、短径0.44m、深さ0.25m。形態：底の丸い浅い不整楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-22-pp 3** (第10図233・第61・62図)

位置：東調査区北辺の西部にある。縄文時代の住居とは重ならない。検出面規模：長径0.80m、短径0.70m、深さ0.59m。形態：ほぼ円柱状。埋土：中央に直径0.24mの柱痕跡があり、その周囲にそれを支える人為堆積埋土がある。遺物：大木9式～後期初頭の土器破片がいくらか入る。風化度は1である。性質：柱が立てられていたと考えられる。付近には類似した柱穴がある。時期：埋土と含まれる土器片から、後期初頭頃に埋められたと判断した。

**6-22-pp 5** (第10図234・第61・62図)

位置：東調査区北辺の西部にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.59m、深0.59m。形態：ほぼ円柱状。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式の土器破片がいくらか入る。風化度は0～1である。性質：埋められた穴である。隣の6-22-pp 3との形態や規模の比較から、柱を抜いて、埋められた柱穴と推定した。付近には、類似した柱穴がある。時期：含まれる土器片は大木9式のものしかないが、埋土の性質や形態から、隣接するPP 3や近くにあるPP 2とほぼ同じ、大木10b～後期初頭頃のものとも考えられる。

**6-22-P 1** (第12図239・第64図・写真図版48)

位置：東調査区北辺の西部にある。検出面規模：長径1.00m、短径0.95m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形。埋土：異なる成分の層が複数堆積する。人為堆積層。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期初頭に埋められたと判断した。

**6-22-P 2** (第12図240)

位置：東調査区北辺の西部にある。遺構の一部は調査区外に残る。6-22-P 3を切る。検出面規模：長径0.88m、短径(0.76)m、深さ0.72m。形態：円筒形。埋土：柱痕跡と思われる埋土がある。性質：付近の6-22-PP 5などと同じ性質の柱穴と考えられる。時期：形態から、大木10b式～後期初頭頃に埋められたものと推定できる。

**6-22-P 3** (第12図241)

位置：東調査区北辺の西部にある。北端を6-22-P2に切られ、南端を新しい穴に切られる。  
検出面規模：長径0.80m、短径(0.64)m、深さ0.67m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土である。性質：付近の6-22-PP3などと同じ性質の柱穴で、柱を抜いて埋められたものと推測した。時期：形態から、大木10b式～後期初頭頃に埋められたものと推測できる。

**6-22-P10** (第10図235・第61・65図)

位置：東調査区北辺の西部にある。6-22-PP2を切る。検出面規模：長径0.80m、短径0.80m、深さ0.64m。形態：円筒形。埋土：中央に柱痕跡あり。その周囲の土は柱を支える人為堆積土。遺物：大木10b式～後期初頭の土器破片がいくらか入る。風化度は0～1である。性質：柱が埋められたまま、放置されていた可能性がある。付近には、類似した柱穴がある。時期：含まれる土器片から、後期初頭に埋められたと推定した。

**6-23-PP1** (第10図237・第61・62図)

位置：東調査区北辺の西部にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.75m。形態：円筒形。埋土：中央に柱痕跡状の埋土がある。その周囲にはそれを支えるような人為堆積土がある。遺物：大木9式土器の破片がいくらか入る。性質：柱が埋められたまま放置されたものの可能性がある。時期：含まれる土器片は大木9式のものしかないが、付近にある、類似する柱穴の時期とほぼ同じだとすれば、大木10b～後期初頭のものとなろう。

**6-23-PP2** (第10図236・第61図)

位置：東調査区北辺の西部にある。6-22-P10に切られる。検出面規模：長径0.82m、短径(0.62)m、深さ0.51m。形態：円筒形。埋土：埋土最上部は別の埋土で覆われているが、それを除くと中央に柱痕跡あり。遺物：大木9～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：柱が埋められていたが、途中で隣の6-22-PP10を使うようになった可能性がある。柱の上部を切って埋めたのであろうか。付近には、類似した柱穴がある。時期：含まれる土器片からは、大木10b式土器使用期に埋められたと考えられるが、隣接するP10と連続した時期のものと考えれば、後期初頭に埋められた可能性もある。

**6-23-PP3** (第6図238・第61・62図)

位置：調査区北辺の西部にある。検出面規模：長径0.78m、短径0.68m、深さ0.39m。形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質から、縄文時代中期末頃のものとして推測できる。

**6-23-P10** (第10図242・写真図版46)

位置：東調査区北辺の西部にある。検出面規模：長径4.04m、短径2.37m、深さ1.10m。形態：複数の土坑を埋めたような、不整形の土坑である。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や、埋土から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**6-23-P11** (第10図243・第65・74図・写真図版47)

位置：調査区北辺の西部にある。6-23-P10に切られる。検出面規模：長径1.68m、短径0.98m、深さ0.35m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代後期以降の埋土である。遺物：大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**6-24-P 1** (第10図244・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.02m、短径0.95m、深さ0.51m。形態：平面形が楕円形の土坑である。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～縄文後期初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期初頭期に埋められたと判断した。

**6-24-P 2** (第10図245・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.64m、短径0.49m、深さ0.34m。形態：平面形が楕円形の筒型である。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる土器片から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**6-24-P 3** (第10図246・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。6-24-P 4とP10を切る。検出面規模：長径(0.40)m、短径0.44m、深さ0.55m。形態：埋土：遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-24-P 4** (第10図247・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。6-24-P 1・P 3に切られる。検出面規模：長径0.64m、短径0.60m、深さ0.55m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる土器片から、大木10b式土器使用期に埋められたと推測できる。

**6-24-P 5** (第10図248・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。6-24-P 1に切られる。検出面規模：長径(0.80)m、短径0.65m、深さ0.46m。形態：平面形が不整形の円筒形である。埋土：人為堆積土の単層である。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-24-P 10** (第10図249・第63図)

位置：東調査区北辺、ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。6-24-P 3に切られる。検出面規模：長径1.20m、短径0.80m、深さ0.54m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-24-P 11** (第10図250・第74図・写真図版48)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。検出面規模：長径1.30m、短径1.10m、深さ0.30m。形態：平面形が不整形楕円形の浅い土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。

遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土と含まれる土器片から、大木9式土器使用期に埋められたと推定した。

**6-24-P13** (第10図251・第65図)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。6-24-P14を切る。検出面規模：長径1.93m、短径1.73m、深さ0.45m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式・10b・大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-24-P14** (第10図252・第65図)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。6-24-P13に切られる。検出面規模：長径(0.92)m、短径(0.76)m、深さ0.54m。形態：平面形が不整形の浅い土坑。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10式土器期に埋められたと判断した。

**6-24-P17** (第10図253・第74図)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。6-24-P11を切る。検出面規模：長径0.58m、短径0.50m、深さ0.55m。形態：楕円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-25-P2** (第10図254・第63図)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。別の小さな土坑を切る。検出面規模：長径0.76m、短径0.50m、深さ0.30m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-25-P4** (第10図255)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。6-25-P6を切る。検出面規模：長径0.84m、短径0.80m、深さ0.55m。形態：円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-25-P5** (第10図256)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。検出面規模：長径0.68m、短径0.65m、深さ0.51m。形態：平面形が不整形の円筒形。埋土：縄文時代中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式・大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期前葉の大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-25-P6** (第10図257・写真図版48)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。検出面規模：長径1.25m、短径1.25m、深さ0.52m。形態：不整円筒形。埋土：縄文中期埋土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、

大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-25-P 7** (第10図258)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。検出面規模：長径0.51m、短径0.40m、深さ0.41m。形態：楕円筒型である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、大木9式土器使用期に埋められたと考えられる。

**6-25-P 8** (第10図259)

位置：東調査区北辺、中央西端にある。検出面規模：長径0.67m、短径0.61m、深さ0.48m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 1** (第10図260・写真図版49)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.58m、短径0.50m、深さ0.22m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期の人為堆積土である。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 2** (第10図261)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.58m、短径0.50m、深さ0.73m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期の人為堆積土である。遺物：大木8b～10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 3** (第10図262)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.41m、深さ0.58m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土である。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 4** (第10図263)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径(0.50)m、短径(0.52)m、深さ0.23m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 5** (第10図264・写真図版48)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.60m、短径0.50m、深さ0.51m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P 10** (第10図265)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.00m、短径0.85m、深さ0.51m。形態：

楕円筒形。埋土：人為堆積土である。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大湯式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P11** (第10図266)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.69m、短径0.60m、深さ0.58m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期の埋土である。人為堆積である。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：大木10b式期に埋められたと判断した。

**6-26-P12** (第10図267・写真図版49)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。こちらの方が新しい。検出面規模：長径(0.90)m、短径0.90m、深さ0.55m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期最初頭期に埋められたと判断した。

**6-26-P13** (第10図268)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。こちらの方が古い。検出面規模：長径0.48m、短径0.40m、深さ0.41m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P14** (第10図269)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。こちらの方が古い。検出面規模：長径0.88m、短径0.69m、深さ0.52m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質や含まれる遺物から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**6-26-P15** (第8図270)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。こちらの方が古い。検出面規模：長径0.62m、短径0.40m、深さ0.41m。形態：楕円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-26-P17** (第10図271)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.42m、短径0.30m、深さ0.31m。形態：平面形が不整円形の土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質や、含まれる遺物から、大木10b式土器使用期に埋められたと判断した。

**6-26-P18** (第10図272)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.80m、短径0.71m、



深さ0.90m。形態：平面形が不整形の筒型である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-26-P19 (第10図273)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-P18に切られる。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.80m、短径(0.51)m、深さ0.52m。形態：平面形が楕円形の筒型である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-26-P20 (第10図274)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.69m、短径0.51m、深さ0.44m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-26-P21 (第10図275)

位置：調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.58m、短径0.44m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：遺物：大木9式・10式土器破片が含まれる。風化度は0である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-27-P1 (第10図276)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径1.01m、短径0.82m、深さ0.85m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～大木10a新式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a新式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-27-P2 (第10図277)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径0.69m、短径0.60m、深さ0.52m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

#### 6-27-P3 (第8図278)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-26-SIと重なる。検出面規模：長径1.04m、短径0.98m、深さ0.61m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式・10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器使用期に埋められたと判断した。

#### 6-28-フラスコ状土坑1 (第8図279・第67図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-28-SI1に切られる。埋土の上部には6-28-SI1の床面を造るための地山シルト起源埋土がある。検出面規模：長径1.70m、短径1.48m、深さ0.66m。

形態：検出面、底面ともほぼ円形のフラスコ状。埋土：地山起源のシルト主体の人為堆積土。  
遺物：大木8b式土器破片が少し含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。形態から考えると、通常「フラスコ状ピット」と呼ばれているものである。しかし、土坑の直径に比べ、あまりに浅いので、遺構の上部はかなり削り取られていると考えるべきであろう。時期：埋土中に遺物が含まれないが、その理由は、埋土の多くが地山起源の土であることに由来する可能性もあるので、遺物が無いからといって、最も遺物が多く出土している縄文中期中葉以降のフラスコ状土坑ではないとは言い切れない。大木10a式土器期の住居に切られているので、それ以前のものである。また、土坑の埋土が地山起源土の人為堆積土であることを考慮すると、陥没しないように意図的に地山起源土を選んでいる可能性もあるので、この周囲に人々が大々的に生活するようになってから埋められた可能性がある。このことや、含まれる遺物から、大木8b式期頃に埋められたと考えることができるのではなかろうか。

**6-28-P 1** (第9図280・第66図・写真図版49)

位置：調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.67m、短径0.65m、深さ0.49m。形態：底の丸いほぼ円筒形。埋土：人為堆積土である。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10式期に埋められたと判断した。

**6-28-P 2** (第9図281・写真図版49)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.60m、短径0.58m、深さ0.24m。形態：底の丸い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P 3** (第9図282・第66図・写真図版49)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.65m、短径0.62m、深さ0.25m。形態：円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木8式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木8b式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P 4** (第9図283・第66・77図・写真図版49)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.62m、短径0.60m、深さ0.44m。形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P 5** (第9図284・第66図・写真図版50)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.06m、短径0.93m、深さ0.21m。形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P 6** (第図285・第66図・写真図版50)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検

出面規模：長径1.04m、短径0.92m、深さ0.54m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭に埋められたと判断した。

**6-28-P7** (第9図286・第66図・写真図版50)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.48m、短径0.34m、深さ0.16m。形態：浅い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P8** (第9図287・第76・77図・写真図版50)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.64m、短径0.53m、深さ0.24m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P9** (第9図288)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.84m、短径0.70m、深さ0.31m。形態：不整楕円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～後期最初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、後期最初頭期に埋められたと判断した。

**6-28-P11** (第9図290・第66図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.84m、短径0.65m、深さ0.25m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P12** (第9図291)

位置：東調査区ほぼ中央にある。6-28-SI1の床面直上の埋土を切る。検出面規模：長径0.84m、短径0.78m、深さ0.32m。形態：底の丸い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭期の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期初頭に埋められたと判断した。

**6-28-P14** (第9図292・第66図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。6-28-SI1の床面直上の埋土を切る。検出面規模：長径1.38m、短径0.88m、深さ0.41m。形態：底の約半分が傾斜する不整円形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P16** (第9図293・第66図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検

出面規模：長径0.98m、短径0.89m、深さ0.36m。形態：ほぼ円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P17** (第9図294・第66図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.48m、短径1.25m、深さ0.35m。形態：底の丸い不整形円形の土坑。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭に埋められたと判断した。

**6-28-P18** (第8図295・第66図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.68m、短径0.59m、深さ0.30m。形態：底の丸い不整形円形の土坑。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～大木10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-28-P20** (第8図296・第66図・写真図版50)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.06m、短径0.78m、深さ0.47m。形態：楕円筒形。埋土：最下部にはいくらか別の種類の土があるが、それ以外は単層の人為堆積土。遺物：大木9式・10式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P2** (第9図297・第67・68・78図・写真図版52)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.89m、短径0.84m、深さ0.38m。形態：やや四隅が角張る楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～10a新式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や、埋土から、大木10a新式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P3** (第9図298・第68図・写真図版52)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。6-29-P2や6-29-P1と重複する。検出面規模：長径(1.20m)、短径0.88m、深さ0.39m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P4** (第9図299・第68図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。新しい時代の土坑である6-29-P1に切られる。検出面規模：長径0.85m、短径0.84m、深さ0.30m。形態：やや四角柱に近い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P6** (第9図300・第67・68図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.00m、短径0.91m、深さ0.40m。形態：やや隅が角張る円筒形。埋土：縄文中期の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P7**（第9図301・第67図）

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.02m、短径0.95m、深さ0.40m。形態：楕円筒型である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P9**（第9図302・第66図・写真図版50）

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.04m、短径0.82m、深さ0.42m。形態：楕円筒形。埋土：一部新しい時期に掘られているが、主体は縄文中期の人為堆積土である。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-29-P10**（第9図303・第67図）

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.10m、短径0.92m、深さ0.61m。形態：楕円筒型である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-30-P4**（第8図304・第68図・写真図版52）

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.02m、短径0.88m、深さ0.28m。形態：平面形が不整楕円形の筒型である。埋土：後期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b式～縄文後期初頭期土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から縄文後期初頭期に埋められたと判断した。

**6-30-P5**（第8図709・写真図版50）

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.82m、短径0.75m、深さ0.15m。形態：不整円形の浅いくぼみ。埋土：縄文時代中期人為堆積土の単層。遺物：不明。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土から、縄文中期に埋められたと判断した。

**6-30-P6**（第8図305・第69図）

位置：東調査区ほぼ中央にある。平安時代の土坑6-30-P1に切られる。検出面規模：長径1.72m、短径1.52m、深さ0.28m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9～10a新式土器破片を含む。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10a新式土器期頃に埋められたと判断した。

**6-30-P11**（第8図306・第68図）

検出面規模：長径0.72m、短径(0.60m)、深さ0.08m。形態：検出面に近い部分は楕円形だが、途中から柱穴状になる。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。形態から考えると柱穴であった可能性もある。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式頃に埋められたと判断した。

**6-30-P 13** (第9図307・第68図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.75m、短径0.75m、深さ0.73m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-30-P 14** (第9図308・第68図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.45m、短径0.42m、深さ0.52m。形態：平面形が不整形の筒型である。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～後期初頭期の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭期に埋められたと判断した。

**6-30-P 18** (第9図309・第68図)

旧遺構名は7-30焼土No.1である。位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.12m、短径1.08m、深さ1.06m。形態：ほぼ円筒形である。底面中央に小さな円筒形の窪みがあるタイプである。埋土：複数枚からなる人為堆積土である。遺物：底面に大木10b式の壺が置かれていた。倒れて、潰れてはいたが、埋められた当時は完形品であり、中に何かを入れて正立して置かれていたと思われる。中に入っていた土は、土坑を埋めた土とは異なる色調のものであった。性質：壺の他には遺構の性質を特定できるようなものは出土しなかったが、壺は土坑の端に置かれていたので、中央には何かがあったと考えることもできる。墓の可能性もあろう。時期：置かれていた土器から、大木10b式土器使用期に埋められたと判断した。

**6-31-P 6** (第8図310・第69図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.57m、短径0.57m、深さ0.26m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-32-P 1** (第9図311・第59図・写真図版52)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.00m、短径0.80m、深さ0.17m。形態：浅い楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれている。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**6-35-P 1** (第7図312)

位置：東調査区北東部の南辺にある。5-36-SI3の周溝を切る。検出面規模：長径0.70m、短径0.65m、深さ0.51m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-19-P 1** (第12図313・第70図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.72m、短径0.70m、深さ0.50m。形態：平面形が不整形の筒型である。

埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-19-P 2** (第12図314・第70図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径1.00m、短径0.66m、深さ0.26m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-19-P 3** (第12図315・第70図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.66m、短径(0.48)m、深さ0.34m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-19-P 4** (第12図316・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.80m、短径0.74m、深さ m。形態：埋土：遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から、縄文中期後葉に埋められたと判断した。

**7-19-P 5** (第12図317・第70図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.26m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-20-P 1** (第12図318・第71図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.37m。形態：浅い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期頃に埋められた可能性が高い。

**7-20-P 2** (第12図319)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径0.76m、短径0.73m、深さ0.50m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から、大木9～10式期に埋められたものの可能性が高い。

**7-20-P 3** (第12図320・第71図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。埋設土器No. 4に切られる。検出面規模：長径1.52m、

短径0.80m、深さ0.44m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-20-P 4** (第12図321・第71図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.84m、短径0.68m、深さ0.28m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-20-P 5** (第12図322・第71図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径1.21m、短径0.64m、深さ0.22m。形態：浅い楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-21-P 1** (第10図323・第72図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。7-21-P 2を切る。検出面規模：長径0.64m、短径0.54m、深さ0.16m。形態：浅い楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-21-P 2** (第12図324・第72図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。7-21-P 1に切られる。検出面規模：長径0.72m、短径0.57m、深さ0.32m。形態：浅い播り鉢状である。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-21-P 3** (第12図325・第72図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.80m、短径0.65m、深さ0.51m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：人為堆積土。柱痕跡状の部分がある。遺物：採集されていない。性質：不明だが、柱が埋められている可能性もある。時期：埋土の性質から、縄文時代中期のものと考えられる。

**7-21-P 4** (第12図326・第72図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.75m、短径0.58m、深さ0.40m。形態：楕円筒形。埋土：2枚の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-21-PP 1** (第12図327・第72図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径0.90m、短径0.88m、深さ0.52m。形態：隅円立方体。埋土：柱痕跡と思われる埋土とそれを支える人為堆積土からなる。遺物：性



質：柱が埋められていた可能性が高い。時期：縄文時代中期に廃棄されたと判断した。

**7-22-P 1** (第11図328・第64図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径1.20m、短径1.04m、深さ0.28m。形態：浅い楕円筒形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-22-P 3** (第10図329・第64図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。周囲には前後する時期の類似する土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.80m、短径0.64m、深さ0.20m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-PP 2** (第10図719・第73図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径0.76m、短径0.72m、深さ0.64m。形態：円筒形。埋土：中央に柱痕跡状埋土がある。その周囲には、人為堆積土がある。縄文中期埋土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：柱が建てられていたと考えられる。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-PP 3** (第10図720・第73図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.76m、深さ0.52m。埋土：中央に柱痕跡状埋土がある。その周囲には、複数の層からなる人為堆積がある。縄文中期埋土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：柱が建てられていたと考えられる。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 1** (第10図330・第73図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径2.17m、短径0.94m、深さ1.38m。形態：隅円直方体。開口部が少し開いた形になっている。埋土：最上層には複数の遺物が入るが、3層以下は遺物を含まない7枚の自然堆積層。遺物：大木8b式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：形態や埋土の状況から、落とし穴であったと推測した。時期：埋土上部以外には遺物が含まれないことから、縄文時代中期中葉よりも古い時期に廃棄されたと判断した。

**7-23-P 2** (第10図331)

位置：東調査区の南西部北辺にある。7-23-P 3を切る。検出面規模：長径1.28m、短径(0.95m)、深さ0.46m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：文様のわかる土器は大木9式しか含まれていないが、大木10b式土器を含む7-23-P 3を切っているため、この土坑も大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 3** (第10図332・第73図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。7-23-P 2に切られる。検出面規模：長径1.28m、短径(0.88m)、深さ0.44m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。埋土上部に大型の土器破片が入れている。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で1が多い。

性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 4** (第12図333・第73図)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径1.15m、短径0.94m、深さ0.74m。形態：ほぼ円筒形。埋土：ほぼ水平に堆積する3層からなる人為堆積層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 5** (第10図334・第73図・写真図版53)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径1.08m、短径1.03m、深さ0.49m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 6** (第10図335・第73図・写真図版54)

位置：東調査区の南西部北辺にある。検出面規模：長径0.88m、短径0.72m、深さ0.41m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-23-P 7** (第10図336・第73図)

位置：東調査区の南西部にある。検出面規模：長径0.69m、短径0.67m、深さ0.70m。形態：底が狭まる円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-25-P 1** (第10図337・第75図・写真図版54)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径(1.30)m、短径1.18m、深さ0.23m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-25-P 2** (第10図338)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径0.56m、短径0.52m、深さ0.27m。形態：底の丸い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-25-P 4** (第10図339・第75図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径0.78m、短径0.64m、深さ0.46m。形態：楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-25-P 5** (第10図340・第75図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径0.68m、短径0.67m、深さ0.15m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、門前I式土器期に埋められたと判断した。

**7-25-P 8** (第11図341・第84図・写真図版54)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径1.40m、短径1.38m、深さ0.57m。形態：不整円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-25-P 9** (第11図342・第84図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径1.84m、短径0.96m、深さ0.48m。形態：埋土：不整楕円筒形。縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 2** (第10図343・写真図版54)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-26-P3とほぼ同じ位置にあり、それに切られる。検出面規模：深さ0.86m。形態：不明。埋土：縄文時代中期の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 3** (第10図344)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.10m、短径1.00m、深さ0.87m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、門前I式土器期頃に埋められたと判断した。

**7-26-P 5** (第10図345)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-26-P7を切る。検出面規模：長径0.65m、短径0.55m、深さ0.33m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期前葉土器破片が含まれる。風化度は0～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-26-P 6** (第10図346)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.88m、短径0.68m、深さ0.76m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 7** (第10図347・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.08m、短径0.72m、深さ0.58m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、

大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 8** (第10図348・写真図版54)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.62m、深さ0.60m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 10** (第10図349)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.81m、短径0.70m、深さ0.77m。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 11** (第10図350・第75図・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.69m、短径0.63m、深さ0.60m。形態：底の丸い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～後期前葉器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**7-26-P 12** (第10図351・第75図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径(0.64)m、短径0.68m、深さ0.62m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 13** (第10図352・第75図・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-26-P 15に切られる。検出面規模：長径(0.82)m、短径1.44m、深さ0.54m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 14** (第10図353・第75・76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.68m、短径0.52m、深さ0.12m。形態：平面形が楕円形の浅い土坑である。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期前葉に埋められたと判断した。

**7-26-P 15** (第10図354・第75・76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-26-P13を切る。検出面規模：長径0.49m、短径0.43m、深さ0.75m。形態：不整円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：文様のわかる土器には大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：大木10b式土器を含む7-26-P13を切るなので、この土坑も大木10b式土器期頃に埋められたと判断した。

**7-26-P 17** (第10図355・第75・76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-25-埋設土器No.1に切られる。検出面規模：長径1.00m、

短径0.88m、深さ0.25m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-26-P 19** (第11図356・第85図・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.79m、短径0.69m、深さ0.62m。形態：ほぼ円筒形。埋土：中央に柱痕跡状の埋土がある。その周囲はそれを支える人為堆積土と思われる。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：柱が埋められていた可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 2** (第10図357・第76図・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.58m、深さ0.87m。形態：楕円筒形。埋土：柱痕跡状の埋土とその周囲にそれを支えたような人為堆積埋土がある。遺物：大木8b式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：6-26-SIの柱を埋めた穴であった可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**7-23-P 3** (第10図721・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。性質：6-26-SIの柱を埋めた穴であった可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器使用期頃に埋められたと判断した。

**7-27-P 4** (第10図358・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-27-P 3に切られる。周溝を切る。検出面規模：長径(0.66)m、短径0.58m、深さ0.22m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式期に埋められたと判断した。

**7-27-P 5** (第10図359・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.37m、深さ0.22m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 6** (第9図360・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.73m、短径0.56m、深さ0.58m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 7** (第10図361・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.78m、短径0.66m、深さ0.37m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 8** (第10図362・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.64m、短径0.52m、深さ0.41m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 9** (第10図363・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が複数存在する。7-28-P 4に切られる。検出面規模：長径(0.75)m、短径0.68m、深さ0.31m。形態：平面形が不整楕円形の筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 10** (第9図364・第76図・写真図版55)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が複数存在する。7-27-P11を切る。検出面規模：長径1.12m、短径0.75m、深さ0.24m。形態：平面形が不整楕円形の筒形である。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：時期：含まれる遺物には大木9式土器しかないが、7-27-P11を切ることや埋土の性質から、縄文後期前葉に埋められたと判断した。

**7-27-P 11** (第9図365・第76図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。検出面規模：長径1.00m、短径0.92m、深さ0.47m。形態：楕円筒形である。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期前葉に埋められたと判断した。

**7-27-P 12** (第10図366・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.88m、短径0.75m、深さ0.39m。形態：平面形が不整円形の筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層である。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 13** (第9図367・第76図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.78m、短径0.64m、深さ0.48m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-27-P 14** (第10図368・写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-27-P 15を切る。検出面規模：長径0.55m、短径0.50m、深さ0.57m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期以降に埋められたと判断した。

**7-27-P 15** (第10図369)

位置：東調査区ほぼ中央にある。7-27-P 14に切られる。検出面規模：長径0.62m、短径0.50m、深さ0.42m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：縄文後期から平安時代の埋土。単層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：文様のわかる土器には大木9式土器しか無いが、埋土から、縄文後期前葉頃に埋められたと判断した。

**7-27-P 16** (第10図370)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.40m、深さ0.35m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文後期から平安時代の埋土。遺物：大木9式～後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭の土器使用期に埋められたと判断した。

**7-27-P 17** (第10図371)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.51m、短径0.42m、深さ0.41m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土。単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-28-P 2** (第9図372・写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周辺には前後する時期の類似した土坑が複数存在する。検出面規模：長径0.72m、短径0.65m、深さ0.62m。形態：不整円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭頃に埋められたと判断した。

**7-28-P 3** (第9図373・第77図・写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.82m、短径0.75m、深さ0.32m。形態：平面形が不整楕円形の筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-28-P 4** (第10図374・第76・77図・写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。7-28-P 7・7-27-P 9を切る。検出面規模：長径0.90m、短径0.87m、深さ0.50m。形態：底が丸いほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-28-P 5** (第9図375・第77図・写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.50m、短径1.42m、深さ0.48m。形態：浅い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：

不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-28-P 7** (第10図376・第76・77図・写真図版57)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。7-28-P 4に切られる。検出面規模：長径0.82m、短径0.75m、深さ0.54m。形態：底が丸いほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-28-P 12** (第9図377・写真図版57)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.80m、短径0.68m、深さ0.48m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：縄文中期埋土単層人為堆積。遺物：大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**7-29-P 2** (第9図378・第78図・写真図版58)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。7-29-P 3を切る。検出面規模：長径1.20m、短径0.95m、深さ0.62m。形態：不整楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**7-29-P 3** (第9図379・第78図・写真図版58)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。7-29-P 2に切られる。検出面規模：長径0.77m、短径0.58m、深さ0.46m。形態：底が丸い楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**7-29-P 4** (第9図380・第78図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。7-29-P 2に切られる。検出面規模：長径1.02m、短径(0.39)m、深さ0.35m。形態：底が丸い不整円形土坑。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-29-P 5** (第9図381・第67・78図・写真図版58)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.75m、短径0.72m、深さ0.26m。形態：浅い不整円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-29-P 6** (第9図382・第78図・写真図版58・59)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。平



安時代の土坑 7-29-P 7 に切られる。検出面規模：長径 (1.20) m、短径 1.02m、深さ 0.52m。形態：ほぼ円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木 9 式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は 1～2 で、1 が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**7-30-P 4** (第 9 図 383・第 79 図・写真図版 59)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径 0.82m、短径 0.68m、深さ 0.40m。形態：底の丸い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木 9 式～10 b 式土器破片が含まれる。風化度は 1 である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木 10 b 式土器期に埋められたと判断した。

**7-30-P 5** (第 9 図 384・第 78 図・写真図版 59)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径 0.80m、短径 0.71m、深さ 0.50m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土人為堆積単層。遺物：大木 9 式土器破片が含まれる。風化度は 0～1 である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木 9 式土器期に埋められたと判断した。

**7-30-P 6** (第 9 図 385・第 79 図・写真図版 60)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径 0.95m、短径 0.78m、深さ 0.34m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木 9 式～10 b 式土器破片が含まれる。風化度は 1 である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木 10 b 式土器期に埋められたと判断した。

**7-30-P 7** (第 9 図 386・第 79 図・写真図版 60)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径 0.76m、短径 0.55m、深さ 0.24m。形態：底の丸い浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木 9 式～10 b 式土器破片が含まれる。風化度は 1 である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木 10 b 式土器期に埋められたと判断した。

**7-30-P 8** (第 9 図 387・第 79 図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径 1.18m、短径 1.10m、深さ 0.35m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層。遺物：大木 9 式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は 0～2 である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**7-31-P 3** (第 9 図 388・第 80 図・写真図版 60)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。7-31-P 6 に切られる。検出面規模：長径 1.78m、短径 0.82m、深さ 0.68m。形態：平面形が楕円形の溝状の土坑。埋土：複数の水平な堆積層からなる人為堆積土。遺物：大木 9 式～縄文後期初頭期の土器破片が含まれる。風化度は 0～1 である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から縄文後期初頭頃に埋められたと判断した。

**7-31-P 4** (第 9 図 389・第 80 図・写真図版 61)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。7-31-P14を切る。検出面規模：長径0.78m、短径0.72m、深さ0.62m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 5** (第9図390・第80図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.40m、短径0.38m、深さ0.42m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 6** (第9図391・第80図・写真図版60)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。7-31-P8を切る。検出面規模：長径1.68m、短径1.68m、深さ0.50m。形態：隅円不整形の箱形である。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭頃の土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土や含まれている遺物から縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**7-31-P 7** (第9図392・第80図・写真図版61)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.65m、深さ0.31m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 8** (第9図393・第80図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.98m、短径0.50m、深さ0.10m。形態：平面形が楕円形の浅いくぼみ。埋土：遺物：大木9式～後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**7-31-P 9** (第9図394・第80図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.88m、短径0.80m、深さ0.71m。形態：底がボール状の円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 11** (第9図395・第80図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。7-31-P6に切られる。検出面規模：長径0.96m、短径0.56m、深さ0.32m。形態：平面形が不整形楕円形の浅いくぼみ。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 13** (第9図396・第89図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.40m、短径0.40m、深さ0.38m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積層。遺物：大木9式～10

b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**7-31-P 14** (第9図397・第89図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。7-31-P 4に切られる。検出面規模：長径0.72m、短径(0.70)m、深さ0.37m。形態：ほぼ円筒形。埋土：2層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められた可能性が高い。

**7-31-P 15** (第9図712・第89図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.84m、短径0.72m、深さ0.37m。形態：楕円円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式・大木10式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められた可能性が高い。

**7-31-P 16** (第9図713・第89図)

位置：東調査区ほぼ中央東部の南辺に近い位置にある。検出面規模：長径0.60m、短径0.56m、深さ0.62m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木10式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められた可能性が高い。

**8-19-P 2** (第12図398・第70図)

位置：東調査区南西部西端にある。8-19-P 4より新しい。検出面規模：長径0.80m、短径0.68m、深さ0.14m。形態：浅い土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**8-19-P 3** (第12図399)

位置：東調査区南西部西端にある。8-19-P 4を切る。検出面規模：長径0.40m、短径0.36m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**8-19-P 4** (第12図400・第70図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.96m、短径0.78m、深さ0.78m。形態：円筒形。埋土：柱痕跡と思われる埋土がある。その脇にはそれを支えたと思われる埋土が埋められている。遺物：大木9式～10式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：柱を埋めていたと思われる。時期：大木10式土器期に埋められたものと判断した。

**8-19-P 5** (第12図401・第70図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.65m、短径0.52m、深さ0.24m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土からは縄文時代中期頃のものとして判断した。

**8-19-P 6** (第12図402・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.70m、短径0.52m、深さ0.12m。形態

：平面形が不整楕円形の浅いくぼみ。埋土：人為堆積土単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。遺物：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-19-P 7** (第12図403・第70図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.92m、短径0.64m、深さ0.35m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10式土器期に埋められたと判断した。

**8-19-P 9** (第12図404・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.72m、深さ0.53m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 1** (第12図405・第81図・写真図版75)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.84m、短径0.81m、深さ0.22m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 2** (第12図406・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.08m、短径1.06m、深さ0.40m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 3** (第12図407・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.82m、短径0.72m、深さ0.41m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 5** (第12図408・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.64m、短径0.60m、深さ0.31m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 6** (第12図409・第81図・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.22m、短径1.04m、深さ0.15m。形態：浅い不整四角形土坑。埋土：縄文時代中期埋土。人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 8** (第12図410・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.88m、短径0.76m、深さ0.18m。形態：浅い隅円方形土坑。埋土：中央に柱痕跡状の埋土がある。縄文時代中期埋土の人為堆積層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 9** (第12図411・第71図・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.79m、短径0.67m、深さ0.28m。形態：浅い隅円の方角土坑。埋土：縄文時代中期埋土。人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 10** (第12図412・第81図・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.60m、短径0.52m、深さ0.23m。形態：隅円方形の筒状。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-20-P 11** (第12図413・第71図・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.12m、短径0.93m、深さ0.32 m。形態：平面形が不整円形で、底面がいくらか狭まる土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質から、縄文時代中期後半代に埋められたと推定できる。

**8-20-P 13** (第12図414・第81図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.55m、深さ0.21m。形態：不整楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-21-P 3** (第12図415)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.14m、短径0.47m。深さ0.21m。形態：平面形が二つの土坑が横につながったような楕円形の土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-21-P 6** (第12図416・写真図版62)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.25m、短径1.02m、深さ0.40m。形態：平面形が不整円形の土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-22-P 1** (第12図417・第82図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.78m、短径0.72m、深さ0.11m。形態

：浅い不整円形土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-22-P 2** (第12図418・第82図)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.18m、短径0.79m、深さ0.25m。形態：浅い不整円形土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-22-P 3** (第12図419・第82図・写真図版63)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径0.84m、短径0.72m、深さ0.13m。形態：浅い不整円形土坑。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-22-P 4** (第12図420・第82図・写真図版63)

位置：東調査区南西部西端にある。検出面規模：長径1.33m、短径0.91m、深さ0.14m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 1** (第12図422・第82図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.88m、短径0.84m、深さ0.15m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 2** (第11図423・第82図・写真図版63)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径2.13m、短径2.06m、深さ0.34m。形態：浅い不整円形土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 3** (第11図424・第83図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.12m、短径0.92m、深さ0.52m。形態：浅い不整楕円形土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 4** (第11図425・第83・93図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.28m、短径1.26m、深さ0.58m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 5** (第11図426・第93・94図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。8-23-P 6を切る。検出面規模：長径1.08m、短径0.98m、深さ0.57m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 6** (第11図427・第93図・写真図版63)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.50m、短径(1.50)m、深さ0.31m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 7** (第11図428・第93図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.02m、短径(0.80)m、深さ0.34m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-23-P 8** (第11図429・第93図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.05m、短径0.88m、深さ0.46m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 1** (第11図430・第83図・写真図版63)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。8-24-P12を切る。検出面規模：長径1.10m、短径0.86m、深さ0.14m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：4枚の埋土からなる、人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 2** (第11図431・第83・93図・写真図版63)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。8-24-P 3に切られる。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.43m、短径1.12m、深さ0.80m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 3** (第11図432・第83・93図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。8-24-P 4を切る。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.45m、短径(0.26)m、深さ0.24m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 4** (第11図727・第83図・写真図版64)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.50m、短径1.28m、深さ0.24m。  
形態：浅い不整楕円形土坑。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 7** (第11図433・第74図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径2.37m、短径1.56m、深さ0.66m。形態：隅円直方体。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期と判断した。

**8-24-P 8** (第11図434・第83図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.72m、短径0.64m、深さ0.50m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期のものと判断した。

**8-24-P 9** (第10図435・第74・83図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.54m、短径0.98m、深さ0.47m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 11** (第11図436・第83図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径(1.50)m、短径(1.50)m、深さ0.38m。形態：不整円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-24-P 12** (第11図106・第83図)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.80m、短径1.64m、深さ0.42m。形態：不整楕円形の土坑。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：南の壁際に小型壺(192)が、口を壁に向けて横向きに置かれていた。性質：小型壺が土坑縁に置かれていたことから、土坑中央には別の何かを埋めていた可能性がある。墓の可能性も考えられる。時期：壺192が大木9式なので、大木9式土器使用期に埋められた土坑である。

**8-25-P 3** (第11図437・第84図・写真図版64)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径(0.90)m、短径0.80m、深さ0.50m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-25-P 4** (第11図438・第84図・写真図版64)



位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径0.45m、短径(0.40)m、深さ0.55m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-25-P 5** (第11図439・第84図・写真図版64)

検出面規模：長径(0.88)m、短径(0.80)m、深さ0.54m。形態：円筒形。埋土：遺物：大木8b式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土の性質から縄文後期前葉に埋められたと判断した。

**8-25-P 6** (第11図440・第84図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径1.20m、短径(0.90)m、深さ1.07m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-25-P 7** (第11図441・第84図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径(0.80)m、短径(0.40)m、深さ0.62m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～縄文後期前葉土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物から、縄文時代後期前葉に埋められたと判断した。

**8-25-P 9** (第11図442・第84図)

位置：東調査区ほぼ中央西よりにある。検出面規模：長径(0.90)m、短径0.80m、深さ0.86m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土の性質から縄文時代中期後半代に埋められたと判断した。

**8-26-P 1** (第11図443・写真図版64・65)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径(2.00)m、短径(1.78)m、深さ0.48m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。イノシシなどの動物の焼けた骨が複数出土した(写真図版64)。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 2** (第11図444・第84図・写真図版65)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.62m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b～10式土器破片を含む。風化度は0～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 3** (第11図445・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.42m、深さ0.35m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる

遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 5** (第11図446・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-26-P15に切られる。検出面規模：長径0.60m、短径(0.50)m、深さ0.64m。形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 6** (第11図447・第84図・写真図版65)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.68m、短径0.68m、深さ0.61m。形態：ほぼ円筒形。埋土：複数の斜めに堆積した層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 7** (第11図448・第85図・写真図版65)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-26-P17を切る。検出面規模：長径0.70m、短径0.55m、深さ0.80m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 8** (第11図449・第85図・写真図版65)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.92m、短径0.84m、深さ0.83m。形態：ほぼ円筒形。埋土：中央に柱痕跡のような埋土がある。その周囲の埋土はそれを支えていた埋土と思われる人為堆積土。遺物：大木8b式～9b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：柱が埋められていた可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 9** (第11図450・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-26-P8に切られる。検出面規模：長径0.72m、短径0.62m、深さ0.70m。形態：底の狭い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 10** (第11図451・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-26-P11を切る。検出面規模：長径0.60m、短径0.44m、深さ0.55m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明。時期：不明。

**8-26-P 11** (第11図452・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-26-P10に切られる。検出面規模：長径0.66m、短径0.54m、深さ0.25m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～9b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P 13** (第11図453・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.76m、短径0.68m、深さ0.68m。形態

：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P14** (第11図454・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.96m、短径0.80m、深さ0.65m。形態：円筒形。埋土：中央に何か埋められていたような人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P15** (第11図455・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.87m、短径0.71m、深さ0.64m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P16** (第11図456・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.91m、短径0.65m、深さ0.98m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-26-P17** (第11図457・第85図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-27-P7に切られる。検出面規模：長径(1.10)m、短径0.82m、深さ0.65m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P1** (第11図458・第86図)

検出面規模：長径1.89m、短径0.79m、深さ1.00m。形態：細長い楕円筒形。埋土：最上部には土師器破片などを含む平安時代の層がある。それより下には遺物を含まない、縄文時代の自然堆積層が水平に複数枚堆積する。性質：落とし穴と推定できる。時期：遺物を含まない自然堆積層があることから、大木8b式よりも古い時期のものと判断した。

**8-27-P2** (第11図459・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.72m、深さ0.80m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P3** (第11図460・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径(0.60)m、短径0.54m、深さ0.45m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P 4** (第11図461・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径(0.82)m、短径0.80m、深さ0.15m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P 5** (第11図462・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.82m、短径0.80m、深さ0.80m。形態：円筒形。埋土：人為堆積単層。遺物：大木10b式～後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土の性質や含まれる土器破片から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**8-27-P 6** (第11図463)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.49m、深さ0.38m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P 7** (第11図464・第86図・写真図版66)

検出面規模：長径0.98m、短径0.78m、深さ0.90m。形態：底が狭くなる円筒形。埋土：中央に柱痕跡状の埋土がある、人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：柱を埋めていた可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。その後放置されていたのであろうか。

**8-27-P 8** (第11図465・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.60m、深さ0.91m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～縄文時代後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる土器破片から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**8-27-P 10** (第11図466・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.96m、短径0.60m、深さ0.49m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木8b式～9b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P 11** (第11図467)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.92m、短径0.50m、深さ0.43m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P 13** (第11図468)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.67m、短径0.58m、深さ0.42m。形態：底が狭まる平面形が不整円の筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器

破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P16** (第11図469・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.53m、短径0.51m、深さ0.32m。形態：円筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P19** (第11図470・第96図・写真図版66)

8-27-P20を切る。検出面規模：長径0.70m、短径0.60m、深さ0.90m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。直径25cmほどの礫が一点埋土上部に入っていた。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-27-P20** (第11図471・第96図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。8-27-P19に切られる。検出面規模：長径(0.72)m、短径0.65m、深さ0.62m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-28-P1** (第9図472・第87図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.29m、短径0.24m、深さ0.37m。形態：平面形がやや隅円方形的な不整楕円形の土坑。埋土：人為堆積土単層。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から後期初頭頃に埋められたと判断した。

**8-28-P3** (第9図473・第87図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.64m、短径0.57m、深さ0.38m。形態：不整円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-28-P5** (第9図474・第88図・写真図版66)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.92m、短径0.78m、深さ0.64m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-28-P6** (第9図475・第87図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.68m、短径0.49m、深さ0.87m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが何かを埋めるための土坑であったと推定できる。柱が埋められていた可能性もある。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式に埋められたと判断した。

**8-28-P10** (第9図476・第87図・写真図版57)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径0.70m、短径0.60m、深さ0.37m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：採集されていない。性質：不明。時期：埋土の性質から、縄文時代中期後半代に埋められたと判断した。

**8-28-P 11** (第9図477・第87図)

位置：東調査区ほぼ中央にある。検出面規模：長径1.78m、短径1.59m、深さ0.20m。形態：平面形が不整円形の浅い筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-29-P 2** (第9図478)

検出面規模：長径0.82m、短径0.78m、深さ0.39m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期頃に埋められたと判断した。

**8-30-P 3** (第9図479・第91図・写真図版67)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.80m、短径0.78m、深さ0.62m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-30-P 4** (第9図480・第90図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.56m、短径0.56m、深さ0.25m。形態：浅い掘り鉢状の土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木8b式土器期に埋められたと判断した。

**8-30-P 6** (第9図481・第90図・写真図版63)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.63m、短径0.30m、深さ0.31m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：無節縄文の深鉢が正立に埋められていた(第149図200)。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、後期初頭頃に埋められたと判断した。

**8-30-P 7** (第9図482・第91図・写真図版67)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.04m、短径0.81m、深さ0.25m。形態：平面が不整円形の浅い土坑である。埋土：縄文時代中期埋土の単層。人為堆積。遺物：大木8b式・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土と含まれる土器破片から、大木9式土器使用期に埋められたと判断した。

**8-30-P 8** (第9図483・第91図)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.35m、短径(0.80)m、深さ0.61m。形態：平面形が楕円形の筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期

に埋められたと判断した。

**8-30-P 9** (第9図484・第91図・写真図版67)

検出面規模：長径1.95m、短径1.02m、深さ0.93m。形態：直方体。埋土：埋土上部には礫を含む平安時代の人為堆積層があるが、下半分は自然堆積土である。遺物：埋土最上部には新しい層があり、その中には土師器破片・須恵器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。しかし、埋土下半の層には遺物は含まれない。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、落とし穴とも考えられる。時期：埋土の様態や、埋土下半から遺物が出土していない状況から、土坑が掘られた時期は縄文時代中期より古いと思われる。

**8-30-P 11** (第9図485・第91図)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には、前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。8-30-P12を切る。検出面規模：長径0.96m、短径0.73m、深さ0.54m。形態：平面形が楕円形の筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-30-P 12** (第9図486・第91図)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には、前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。8-30-P11に切られる。検出面規模：長径0.74m、短径0.60m、深さ0.32m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-30-P 13** (第9図487・第91図)

周囲には、前後する時期の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.84m、短径0.40m、深さ0.12m。形態：溝状土坑。埋土：縄文時代中期埋土。人為堆積の単層。遺物：採集されていない。性質：不明。時期：縄文時代中期後半代のもものと推測できる。

**8-30-P 14** (第9図488・第91図)

周囲には、前後する時期の、類似する性質の土が複数ある。位置と重複関係：調査区南辺付近のほぼ中央にある。検出面規模：長径1.04m、短径0.81m、深さ0.71m。形態：平面形が不整形の円筒形。埋土：縄文中期埋土。人為堆積土の単層。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土と含まれる土器片から、縄文時代中期後半代に埋められたと推定した。

**8-30-P 18** (第9図489・第91図)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。周囲には、前後する時期の、類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.50m、短径1.02m、深さ0.74m。形態：平面形が隅円の円筒形。埋土：埋土最上部には何か別のものが埋められていた可能性があるが、それより下は複数枚のほぼ水平に堆積した層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 3** (第9図490・写真図版68)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.93m、短径0.58m、深さ0.64m。  
形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期の人為堆積単層である。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 4** (第9図491)

検出面規模：長径0.62m、短径0.52m、深さ0.46m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 5** (第9図492・第89・90図・写真図版68)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.85m、短径0.70m、深さ0.52m。  
形態：平面形が不整楕円形の筒形である。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 6** (第9図493・第89図・写真図版68)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.66m、短径0.63m、深さ0.41m。  
形態：ほぼ円筒形。埋土：遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 7** (第9図494・第89図・写真図版68)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.97m、短径0.88m、深さ0.54m。  
形態：平面形が不整円形の筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 8** (第9図495)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.66m、短径0.54m、深さ0.32m。  
形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 9** (第9図496・第89図)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.60m、短径0.60m、深さ0.35m。  
形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**8-31-P 12** (第9図497・第90図・写真図版68)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.95m、短径0.93m、深さ0.44m。  
形態：ほぼ円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9～10式と思われる、縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式～10式土器期頃に埋められたと判断した。



**8-31-P 13** (第9図498・第89・90図)

検出面規模：長径1.40m、短径0.92m、深さ0.66m。形態：楕円筒形。埋土：大木8b式土器を含む遺構埋土よりも明るい埋土である。複数枚の自然堆積層からなる。遺物：縄文が施された土器破片がごく少量含まれる。風化度は1である。性質：不明だが自然堆積土と判断した。遺物はほとんど含まれない。時期：大木8b式よりも前の時代のものであろう。

**9-21-P 1** (第12図499)

位置：東調査区の南西部にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.69m、深さ0.28m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-22-P 2** (第12図500・第82図)

位置：東調査区の南西部にある。検出面規模：長径0.94m、短径0.68m、深さ0.32m。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-22-P 5** (第12図501・第82図)

位置：東調査区の南西部にある。検出面規模：長径0.52m、短径0.48m、深さ0.25m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土の性質から、縄文時代中期後半代に埋められたと判断した。

**9-23-P 1** (第11図502・第93図・写真図版71)

位置：東調査区の南西部にある。検出面規模：長径1.87m、短径1.66m、深さ0.40m。形態：不整楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から縄文時代後期前葉頃に埋められたと判断した。

**9-23-P 2** (第11図503・第93図・写真図版71)

位置：東調査区の南西部にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.38m、短径1.24m、深さ0.52m。形態：不整円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木7式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-23-P 4** (第11図504・第83・93・95図・写真図版71)

位置：東調査区の南西部にある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.16m、短径0.95m、深さ0.51m。形態：楕円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：採集されていない。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土の性質から縄文時代中期後半代に埋められたと判断した。

**9-23-P 5** (第11図505・第94図・写真図版69)

9-24-P 6を切る。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.17m、短径0.91m、深さ0.32m。形態：浅い楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9

式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10式土器期に埋められたと判断した。

**9-23-P 7** (第11図506・第94図)

検出面規模：長径0.88m、短径0.86m、深さ0.32m。形態：円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。中央に柱痕跡がある。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：柱が建てられていたと考えられる。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断したが、それより新しい可能性もある。

**9-23-P 8** (第11図507・第94図)

検出面規模：長径0.69m、短径0.66m、深さ0.41m。形態：円筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。中央に柱痕跡がある。遺物：大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：柱が立てられていたと考えられる。時期：含まれる土器破片から、後期初頭に埋められた可能性がある。

**9-23-P 9** (第11図508)

検出面規模：長径0.71m、短径0.70m、深さ0.49m。形態：円筒形。埋土：縄文中期埋土人為堆積単層。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 1** (第11図509・第95図・写真図版68)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.08m、短径0.86m、深さ0.38m。形態：不整円形の土坑。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 2** (第11図510・第93・95図・写真図版69)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.20m、短径0.80m、深さ0.51m。形態：楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 3** (第11図511・第95図・写真図版69)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.75m、短径1.20m、深さ0.36m。形態：平面形が楕円形の筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる土器破片から後期前葉に埋められたと判断した。

**9-24-P 4** (第11図512・第95図・写真図版69)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.68m、短径1.38m、深さ0.22m。形態：浅い不整円形の土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式～後期初頭土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期初頭に埋められたと判断した。

**9-24-P 6** (第11図513・第94図・写真図版69)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.18m、短径

0.98m、深さ0.21m。形態：平面形が不整楕円形の筒形。埋土：縄文中期埋土の人為堆積単層。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質から、縄文中期後半代に埋められたと判断した。

**9-24-P 7** (第11図514・第95図・写真図版70)

位置：東調査区の南西部南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.74m、短径0.55m、深さ0.24m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：門前Ⅰ式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、縄文後期初頭に埋められたと判断した。

**9-24-P 8** (第11図515・第95図・写真図版70)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.71m、短径0.56m、深さ0.20m。形態：浅い不整円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期以降に埋められたと判断した。

**9-24-P 9** (第11図516・第95図・写真図版70)

位置：東調査区の南西部南よりにある。検出面規模：長径1.18m、短径0.90m、深さ0.83m。形態：ほぼ円筒形。埋土：複数の埋土からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式期に埋められたと判断した。

**9-24-P 10** (第11図517・第95図)

9-24-P 5に切られる。検出面規模：長径0.90m、短径(0.68)m、深さ0.60m。形態：ほぼ円筒形。埋土：2つの層がほぼ水平に堆積している。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 11** (第11図518)

9-24-P 10を切る。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.53m、短径0.50m、深さ0.19m。形態：浅い掘り鉢状。埋土：人為堆積土単層。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 12** (第11図519・第95図)

位置：東調査区の南西部南よりにある。検出面規模：長径0.78m、短径0.69m、深さ0.65m。形態：不整円筒形。埋土：上中下3層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 13** (第11図520・第83・95図)

9-24-P 14を切る。検出面規模：長径0.78m、短径0.62m、深さ0.82m。形態：底の丸い円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：文様の施された土器には大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土の性質と、大木10b式土器を含む9-24-P 14を切る事実から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 14** (第11図521・第83・95図)

位置：東調査区の南西部南よりにある。8-24-P12・9-24-P13に切られる。検出面規模：長径(1.20)m、短径0.95m、深さ0.18m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-24-P 15** (第11図522)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.48m、短径0.44m、深さ0.56m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土単層。遺物：大木8b～9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-25-P 2** (第11図523・第98図)

9-26-P7を切る。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.96m、短径0.86m、深さ0.28m。形態：浅い楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-25-P 3** (第11図524・第98図)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.84m、短径0.70m、深さ0.31m。形態：浅い楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 1** (第11図525・第98図)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。位置：東調査区の南西部南よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.18m、短径0.99m、深さ m。形態：不整円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 3** (第11図526・第96図)

検出面規模：長径0.80m、短径0.68m、深さ0.47m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 4** (第11図527)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.92m、短径0.84m、深さ0.33m。形態：埋土：遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 6** (第11図528・第96・98図・写真図版70)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.30m、短径(0.25)m、深さ0.41m。形態：浅い円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大

木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：柱を埋めた穴の可能性はある。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に廃棄されたと判断した。

**9-26-P 7** (第11図529・第98図)

9-25-P 2に切られる。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径(0.78)m、短径0.78m、深さ0.20m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 8** (第11図530・第96図・写真図版70)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.80m、短径0.66m、深さ0.65m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 9** (第11図531・第96図)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。9-26-P 8に切られる。周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。検出面規模：長径0.82m、短径(0.45)m、深さ0.82m。形態：底が少し狭くなる円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9～10式土器と思われる、縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9～10式土器期に埋められたと判断した。

**9-26-P 10** (第11図532・第96図)

周囲には前後する時期の類似する性質の土坑が複数ある。9-26-炉No. 1に切られる。検出面規模：長径0.92m、短径0.88m、深さ0.48m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-27-P 2** (第11図533・第96図)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。検出面規模：長径0.56m、短径0.52m、深さ0.35m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる土器破片から、縄文時代後期初頭頃に埋められたと判断した。

**9-27-P 7** (第11図534・第97・103図)

位置：東調査区ほぼ中央南西よりにある。検出面規模：長径1.23m、短径1.01m、深さ0.59m。形態：平面形が不整円形の筒形である。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-28-P 2** (第9図535)

検出面規模：長径0.62m、短径0.60m、深さ0.20m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**9-28-P 3** (第9図536・第97図)

検出面規模：長径1.28m、短径0.92m、深さ0.60m。形態：平面形が不整楕円形の筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**9-30-P 1** (第9図537・写真図版70)

位置：東調査区ほぼ中央南よりにある。検出面規模：長径0.76m、短径(0.60)m、深さ0.32m。形態：平面形が不整楕円形の筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-22-P 1** (第12図538・第99図・写真図版72)

位置：東調査区南西部南よりにある。検出面規模：長径0.79m、短径0.54m、深さ0.22m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、縄文時代後期初頭に埋められたと判断した。

**10-22-P 2** (第12図539・第99図・写真図版72)

位置：東調査区南西部南よりにある。検出面規模：長径0.98m、短径0.82m、深さ0.24m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代後期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～縄文時代後期初頭の土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、縄文時代後期初頭に埋められたと判断した。

**10-23-P 1** (第11図540・第94・100図・写真図版72)

位置：東調査区南西部南よりにある。検出面規模：長径0.82m、短径0.80m、深さ0.10m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-23-P 2** (第11図541・第94・100図・写真図版72)

位置：東調査区南西部南よりにある。検出面規模：長径1.06m、短径0.90m、深さ0.21m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1から2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-23-P 4** (第11図542)

検出面規模：長径0.88m、短径0.75m、深さ0.21m。形態：浅い不整楕円形土坑。埋土：人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが埋められた土坑。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 1** (第11図543・第100図)

位置：東調査区南西部南よりにある。検出面規模：長径0.80m、短径0.63m、深さ0.11m。形態：浅い楕円形のくぼみ。埋土：人為堆積単層。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土性質から、縄文中期後葉に埋められたと判断した。

**10-24-P 2** (第11図544・第101図・写真図版72)

位置：東調査区南西部南よりにある。10-24-SI 1 の炉に切られる。検出面規模：長径0.81m、短径0.73m、深さ0.82m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 4** (第11図545)

検出面規模：長径0.60m、短径0.56m、深さ0.57m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 5** (第11図546・第101図)

10-24-P 6 に切られる。検出面規模：長径0.38m、短径(0.14)m、深さ0.53m。形態：楕円筒形。埋土：上中下の3層からなる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 6** (第11図547・第101図)

10-24-P 5・P 7 を切る。検出面規模：長径0.64m、短径(0.30)m、深さ0.57m。形態：楕円筒形。埋土：中央に柱痕跡状の埋土がある。その周囲は人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：柱が立てられていた可能性がある。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 7** (第11図548・第101図)

10-24-P 6 に切られる。10-24-P 8 を切る。検出面規模：長径0.60m、短径(0.40)m、深さ0.40m。形態：円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 8** (第11図549・第101図)

10-24-P 7 に切られる。検出面規模：長径(0.65)m、短径0.70m、深さ0.22m。形態：浅い楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 10** (第11図550・第95図)

検出面規模：長径0.88m、短径0.80m、深さ0.32m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 11** (第11図551・第104図)

検出面規模：長径0.68m、短径0.60m、深さ0.60m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 12** (第11図552)

検出面規模：長径0.82m、短径0.48m、深さ0.22m。形態：底の丸い浅い楕円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 13** (第11図553・第95・104図)

検出面規模：長径0.68m、短径0.48m、深さ0.40m。形態：楕円筒形。埋土：縄文後期的埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：後期前葉土器破片が含まれる。

**10-24-P 16** (第11図554・第101図)

検出面規模：長径0.66m、短径0.62m、深さ0.10m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-24-P 18** (第11図555)

検出面規模：長径0.81m、短径0.80m、深さ0.22m。形態：浅い円筒形。埋土：中央に柱痕跡状の埋土があり、その周囲に柱を支えたかのような埋土が埋められている。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：柱を埋めた穴の可能性がある。そして、柱は埋められたまま放置されていたようである。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-25-P 1** (第11図556・第101図・写真図版72)

検出面規模：長径0.78m、短径0.58m、深さ0.38m。形態：平面形はいくらか長方形的な楕円形。一部が柱穴状に深くなる土坑である。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-25-P 2** (第11図557・第101図)

検出面規模：長径0.75m、短径0.63m、深さ0.25m。形態：不整楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-25-P 3** (第11図558・第98図)

10-26-P 4を切る。検出面規模：長径1.12m、短径(0.92)m、深さ0.34m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から、縄文時代中期末葉頃に埋められたと判断した。

**10-25-P 4** (第11図559・第102図・写真図版74)

10-25-P 5に切られる。検出面規模：長径0.95m、短径0.92m、深さ0.41m。形態：浅い円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期以降の縄文時代中期末葉頃に埋められたと判断した。

**10-25-P 5** (第11図560・第102図・写真図版74)



10-25-P 4 をわずかに切る。検出面規模：長径1.04m、短径1.04m、深さ0.20m。形態：底の丸い浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、門前I式土器期頃に埋められたと判断した。

**10-25-P 6** (第11図561)

10-24-SIの炉に切られる。検出面規模：長径0.74m、短径0.68m、深さ0.28m。形態：浅い円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-25-P 7** (第11図562・第101・102図)

検出面規模：長径0.56m、短径0.52m、深さ0.30m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：埋土から縄文中期後半代に埋められたと判断した。

**10-25-P 8** (第11図563)

検出面規模：長径0.88m、短径(0.68)m、深さ0.10m。形態：平面形が不整円形のくぼみ。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土から、縄文中期後半代に埋められたと判断した。

**10-26-P 2** (第11図564・第103図・写真図版71)

検出面規模：長径1.48m、短径1.44m、深さ0.55m。形態：円筒形。埋土：縄文時代中期埋土。複数の層からなる人為堆積。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-26-P 3** (第11図565・第98図・写真図版73)

検出面規模：長径1.42m、短径1.31m、深さ0.40m。形態：円筒形。埋土：大きく分けて上下2層からなる人為堆積。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-26-P 4** (第11図566・第98・103図)

検出面規模：長径(1.05)m、短径(0.88)m、深さ0.36m。形態：平面形が不整円形の浅い土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**10-26-P 5** (第11図567・第98図)

検出面規模：長径1.60m、短径(1.04)m、深さ0.21m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、門前I式土器期に埋められたと判断した。

**10-26-P 7** (第11図568・第103図)

10-26-P 3に切られる。検出面規模：長径0.96m、短径0.77m、深さ0.44m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-27-P 2** (第11図569・第97・103図・写真図版73)

検出面規模：長径1.04m、短径(0.56)m、深さ1.01m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

**10-27-P 3** (第11図570・第103図・写真図版73)

10-26-P 7を切る。検出面規模：長径1.52m、短径1.20m、深さ0.48m。形態：円筒形。底面中央に更に小さな筒状のくぼみがあるタイプである。埋土：縄文時代中期埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～10b式土器破片が含まれる。大型の土器破片(252)が底面壁際から出土した(写真図版73)。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**11-22-P 1** (第11図571・第94・99図・写真図版73)

検出面規模：長径0.64m、短径0.64m、深さ0.20m。形態：円筒形。埋土：平安時代以降の埋土に似る。遺物：縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。中世建物の柱穴であった可能性がある。時期：中世末頃に埋められた可能性がある。

**11-24-P 3** (第11図572・第104図)

11-24-P 1に切られる。検出面規模：長径(0.55)m、短径(0.45)m、深さ0.22m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

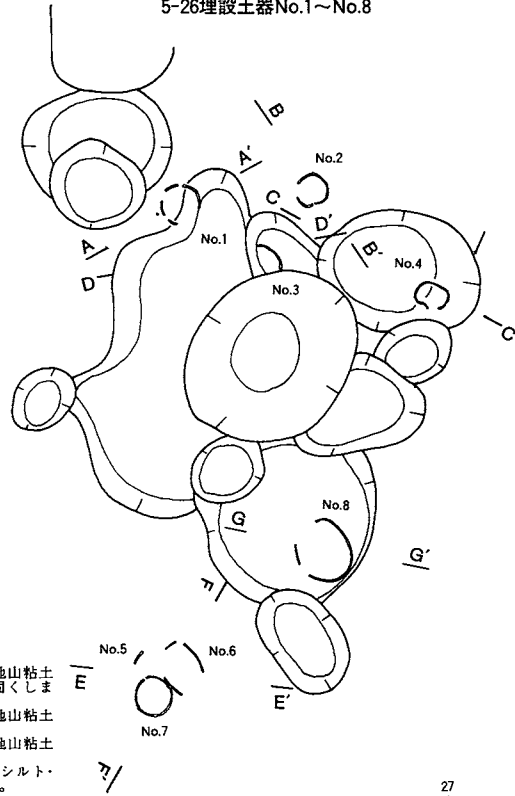
**11-24-P 4** (第11図573・第104図)

11-24-P 3に切られる。検出面規模：長径0.82m、短径0.60m、深さ0.65m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

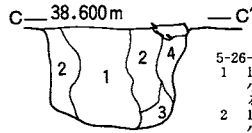
**11-24-P 5** (第11図574)

11-24-PP 7に切られる。検出面規模：長径(0.70)m、短径0.60m、深さ0.54m。形態：底がボール状の円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：大木8b式～9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、大木9式土器期に埋められたと判断した。

5-26埋設土器No.1~No.8



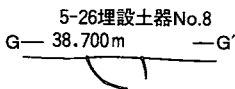
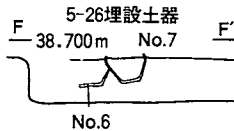
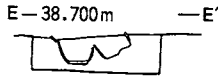
5-26埋設土器3(5-26-P1を切る)



5-26-P1

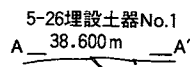
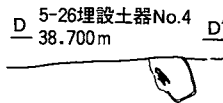
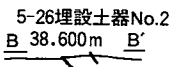
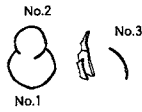
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。柱痕跡状。人為堆積。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が5%ほど散在。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック、小粒と半々に混在。
- 4 黄色地山粘土が99%ほど。10YR3/2シルト・粘土あるいは10YR4/4が残りに散在。

5-26埋設土器No.6(右)・No.5(左)



No.4

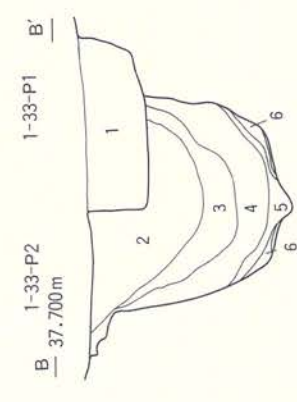
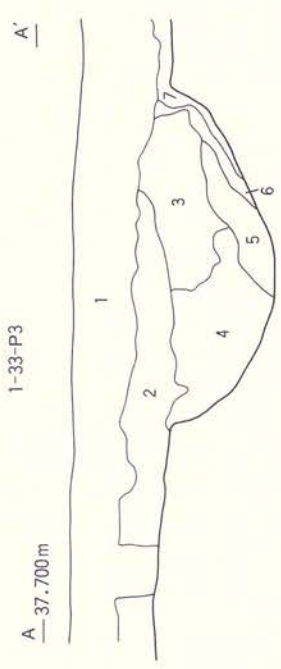
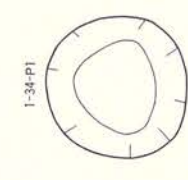
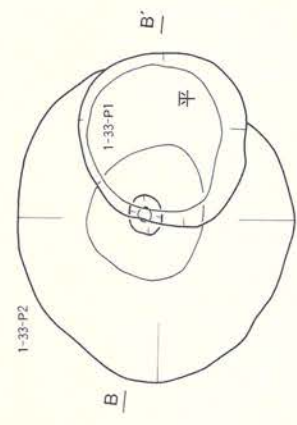
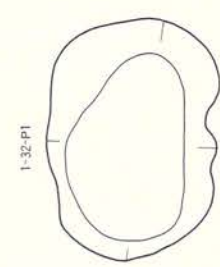
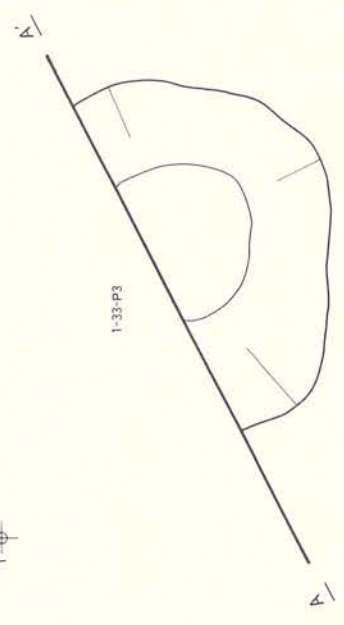
6-26埋設土器No.1~No.4



5-27埋設土器No.1



第44図 埋設土器



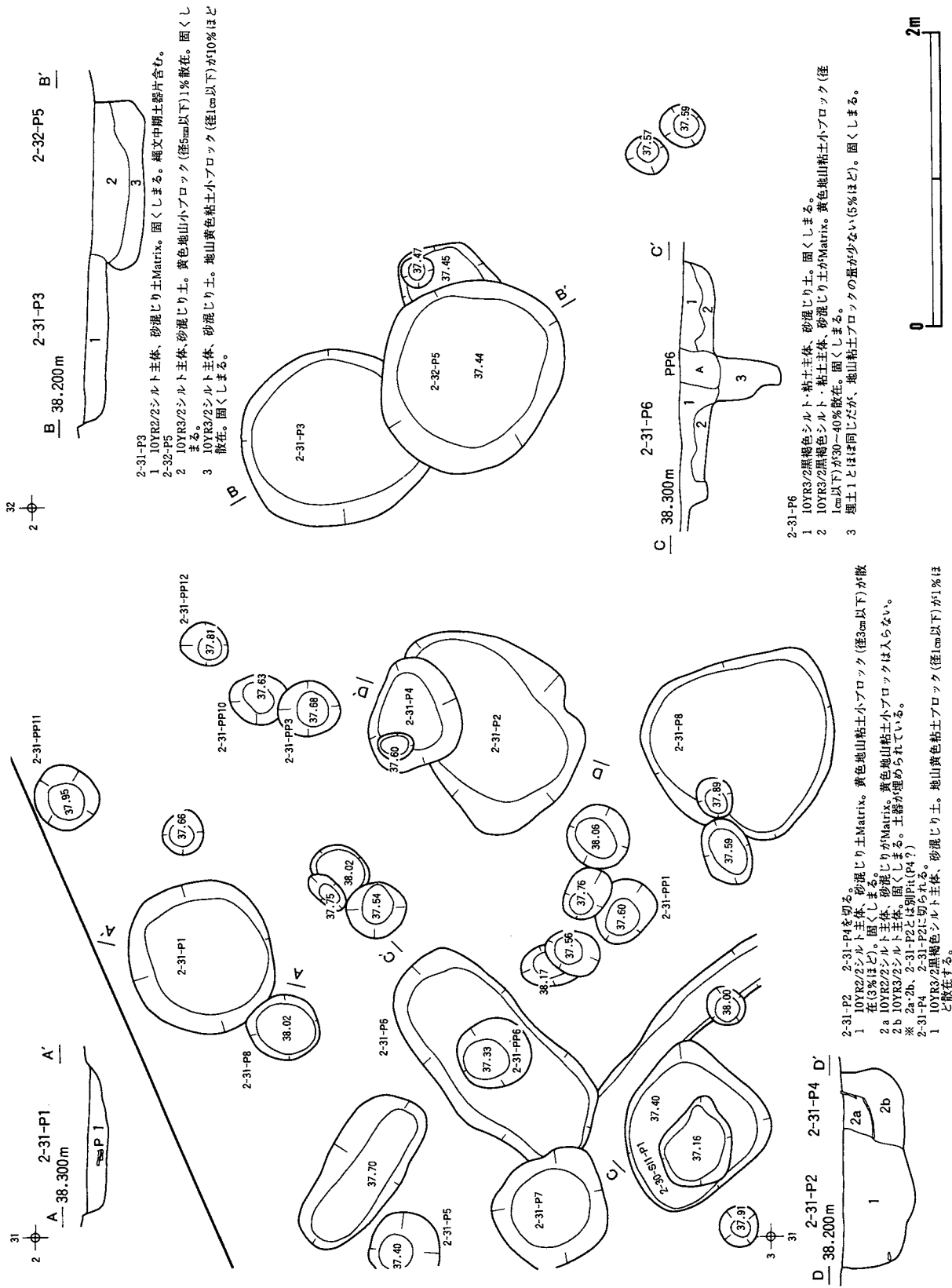
- 1-33-P3
- 1 10YR2/2黒褐色より少し明るめのシルト、砂混じり土、現在の耕作土やわらかい。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト、砂混じり土。黄色地山粘土小プロックが1%ほど散在する。
  - 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。茶密だが柔らかい。
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小プロックが1%ほど散在する。
  - 5 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小プロックが3%ほど散在する。
  - 6 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小プロックが510%ほど散在する。
  - 7 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小プロックが30%ほど散在する。

- 1-33-P1 1-33-P2を切る
- 1 単層。10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山粘土小プロック(径1.2m以下)が3%ほど散在する。人為堆積。しまりはあるが、周囲の柱穴埋土に比べると柔らかい。

- 1-33-P2
- 1 10YR2/3黒褐色シルト主体、砂混じり土。茶密だが柔らかい。自然堆積。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。茶密だが柔らかい。自然堆積。
  - 3 周囲の地山シルトと10YR3/2黒褐色シルトが交互に流れ込んでいる層。柔らかい。
  - 4 2と同じ成分。
  - 5 3と同じ成分。
  - 6 2と同じ成分。



第45図 縄文各種土坑(1)

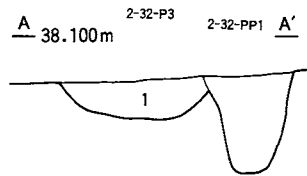
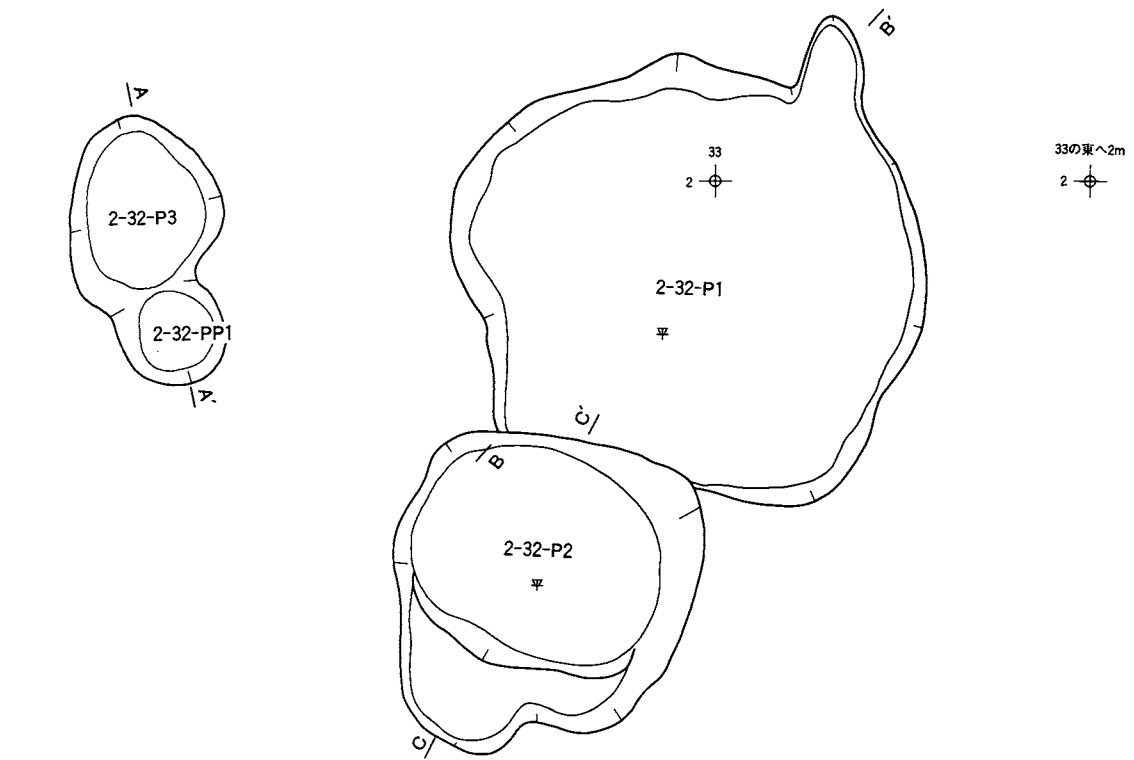


2-31-P3  
 1 10YR3/2シルト主体、砂混じり土Matrix。固くしまる。細文中期土器片含む。  
 2-32-P5  
 2 10YR3/2シルト主体、砂混じり土。黄色地山小ブロック(径5mm以下)1%散在。固くしまる。  
 3 10YR3/2シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。固くしまる。

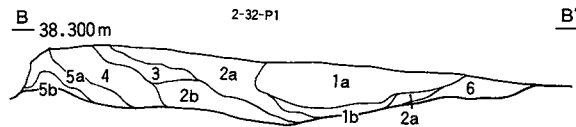
2-31-P6  
 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土主体、砂混じり土。固くしまる。  
 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土主体、砂混じり土がMatrix。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が30-40%散在。固くしまる。  
 3 埋土1とはほぼ同じだが、地山粘土ブロックの量が少ない(5%ほど)。固くしまる。

2-31-P2 2-31-P4を切る。砂混じり土Matrix。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が散在(3%ほど)。固くしまる。  
 2a 10YR2/2シルト主体、砂混じり土がMatrix。黄色地山粘土小ブロックは入らない。  
 2b 10YR3/2シルト主体、砂混じり土がMatrix。黄色地山粘土小ブロックは入らない。  
 ※ 2a-2b、2-31-P2とは別Pit(P4?)  
 2-31-P4、2-31-P2に切られる。  
 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。

第46図 縄文各種土坑(2)

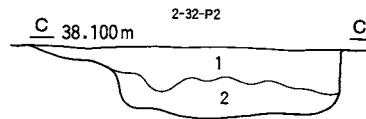


2-32-P3  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。固く緊密。土師器片少量含む。人為堆積。



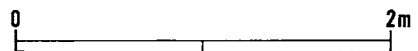
2-32-P1

- 1 a 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。炭化物片を多量に含む。縄文土器片を多く含む。固く緊密。  
 1 b 成分は1 aとほぼ同じだが、炭化物の量が少ない。  
 2 a 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。固く緊密。  
 2 b 成分は2 aと同じ。地山シルトが少し混じる。固く緊密。  
 3 地山シルト主体。10YR 3 / 2 黒褐色シルトがブロック状に入る。  
 4 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。炭化物片が含まれる。  
 5 a 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山シルトが40%ほど散在する。  
 5 b 成分は5 aと同じ。地山シルトが60%ほど散在する。  
 6 成分は2 bと同じ。

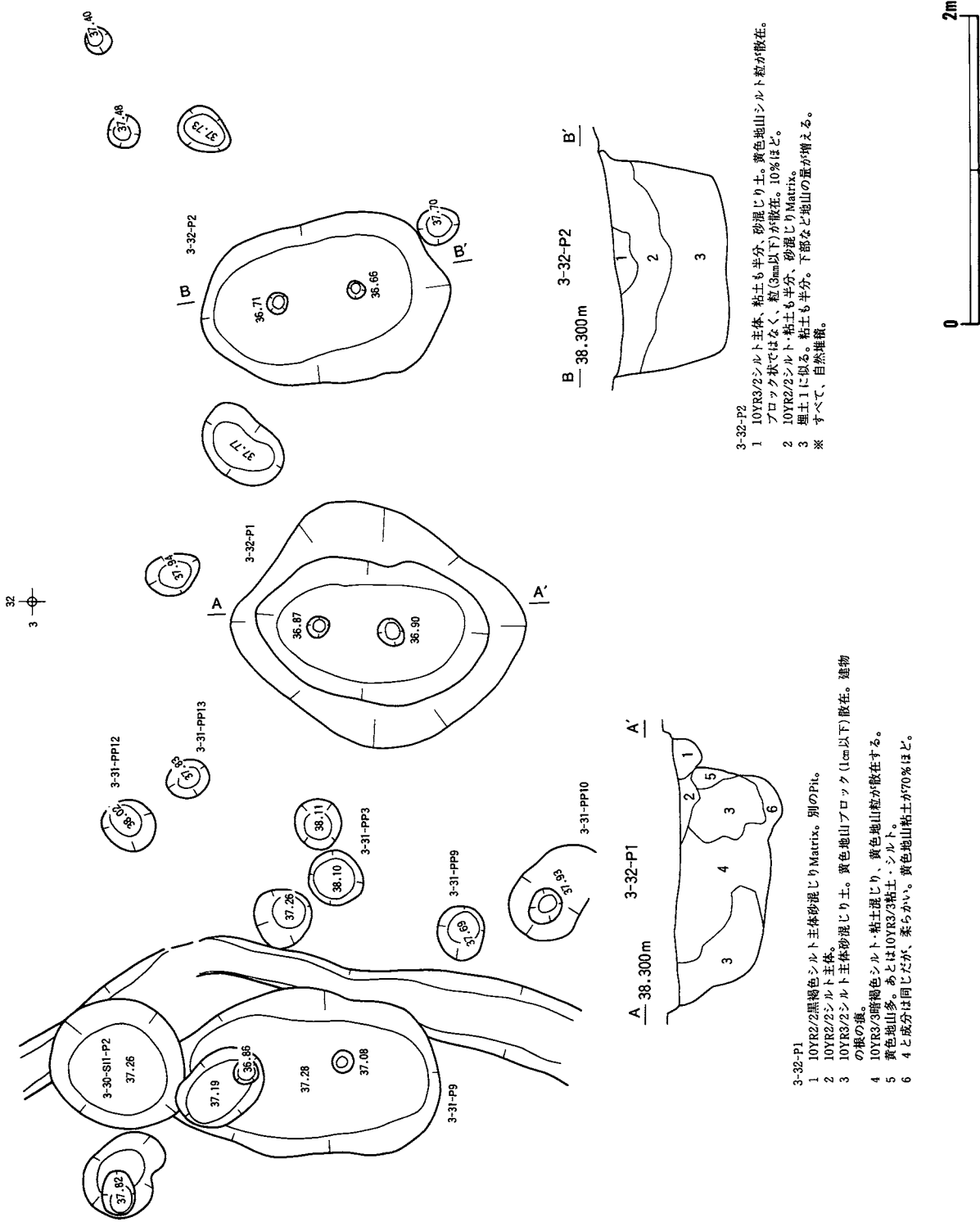


2-32-P2

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。固く緊密。径10cm以下の亜円礫が入る。人為堆積。  
 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山粘土小ブロック(径1.5cm以下)が約40%散在する。固く緊密。人為堆積。



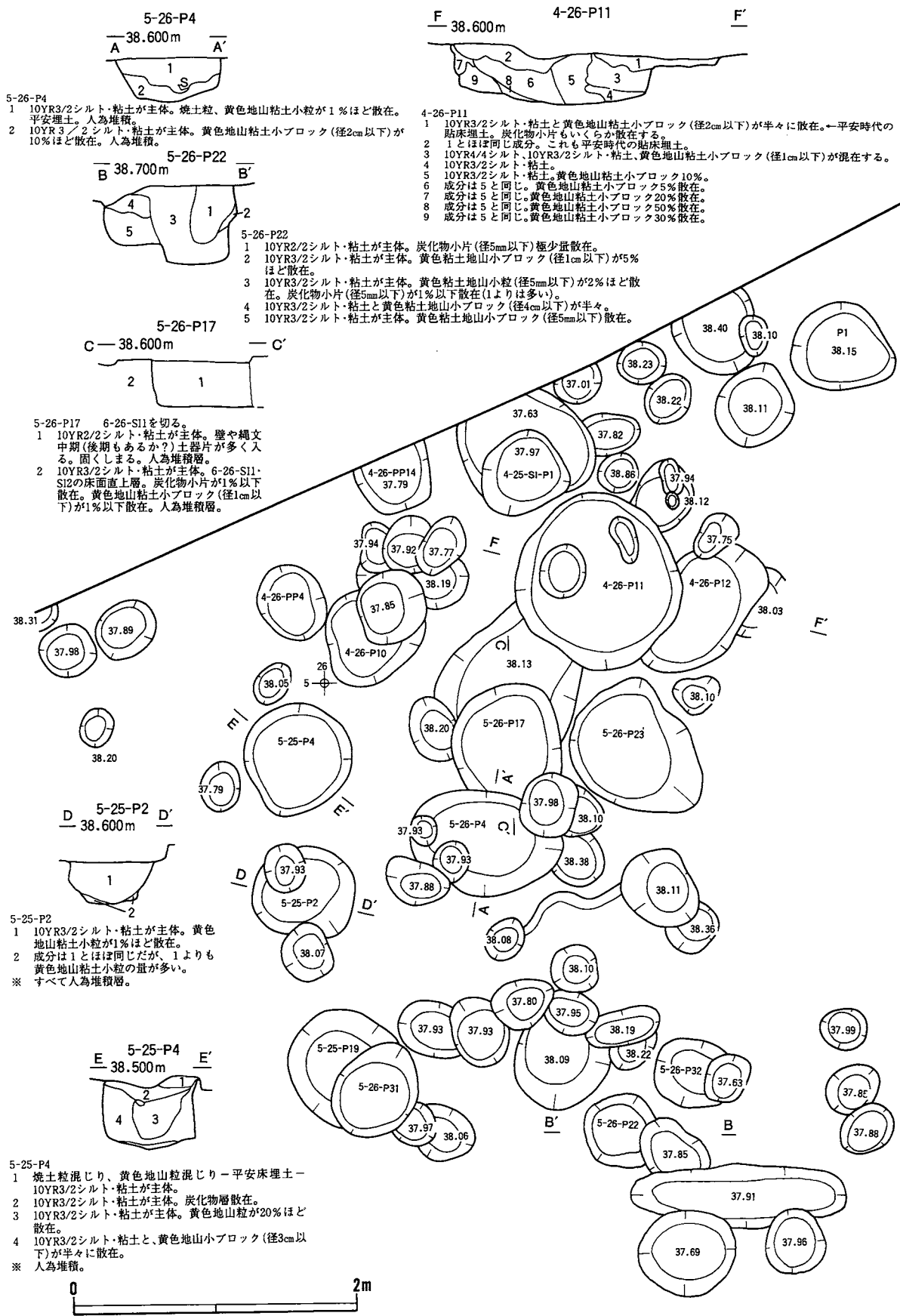
第47図 縄文各種土坑(3)



3-32-P2  
 1 10YR3/2シルト主体、粘土も半分、砂混じり土。黄色地山シルト粒が散在。フロック状ではなく、粒(3mm以下)が散在。10%ほど。  
 2 10YR2/2シルト・粘土も半分、砂混じりMatrix。  
 3 煙土1に似る。粘土も半分。下部など地山の量が増える。  
 ※ すべて、自然堆積。

3-32-P1  
 1 10YR2/2黒褐色シルト主体砂混じりMatrix。別のPit。  
 2 10YR2/2シルト主体。  
 3 10YR3/2シルト主体砂混じり土。黄色地山アロックス(1cm以下)散在。建物の痕。  
 4 10YR3/3暗褐色シルト・粘土混じり、黄色地山粒が散在する。  
 5 黄色地山多。あとは10YR3/3粘土・シルト。  
 6 4と成分は同じだが、柔らかい。黄色地山粘土が70%ほど。

第48図 縄文各種土坑(4)



5-26-P4  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土粒、黄色地山粘土小粒が1%ほど散在。平安埋土。人為堆積。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が10%ほど散在。人為堆積。

4-26-P11  
 1 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が半々に散在。—平安時代の  
 粘床埋土。炭化物小片もいくらか散在する。  
 2 1とほぼ同じ成分。これも平安時代の粘床埋土。  
 3 10YR4/4シルト・10YR3/2シルト・粘土、黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が混在する。  
 4 10YR3/2シルト・粘土。  
 5 10YR3/2シルト・粘土。黄色地山粘土小ブロック10%。  
 6 成分は5と同じ。黄色地山粘土小ブロック5%散在。  
 7 成分は5と同じ。黄色地山粘土小ブロック20%散在。  
 8 成分は5と同じ。黄色地山粘土小ブロック50%散在。  
 9 成分は5と同じ。黄色地山粘土小ブロック30%散在。

5-26-P22  
 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)極少量散在。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在。  
 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径5mm以下)が2%ほど散在。炭化物小片(径5mm以下)が1%以下散在(1よりは多い)。  
 4 10YR3/2シルト・粘土と黄色粘土地山小ブロック(径4cm以下)が半々。  
 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)散在。

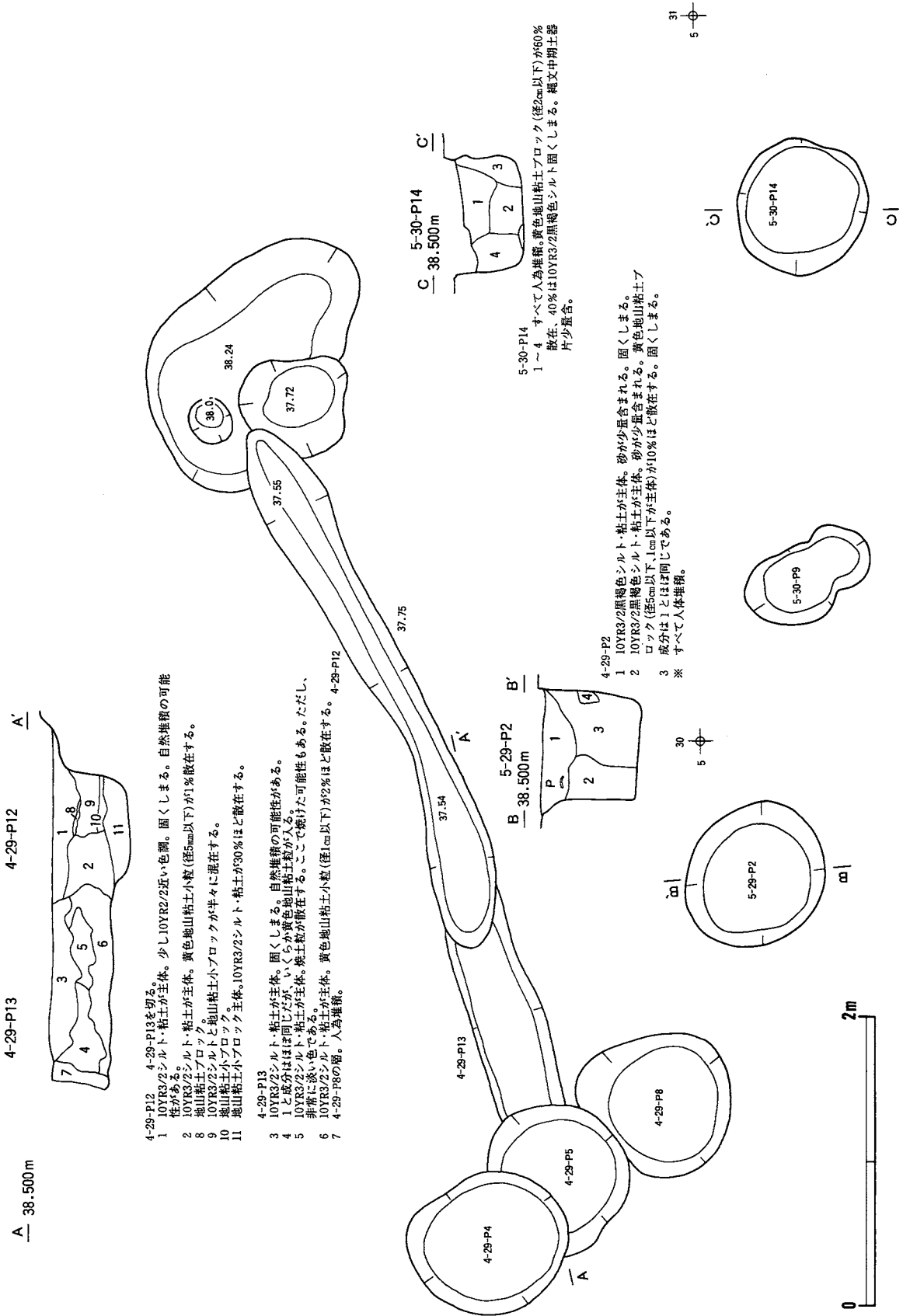
5-26-P17 6-26-S11を切る。  
 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。壁や縄文中期(後期もあるか?)土器片が多く入る。固くしまる。人為堆積層。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。6-26-S11・S12の床面直上層。炭化物小片が1%以下散在。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%以下散在。人為堆積層。

5-25-P2  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が1%ほど散在。  
 2 成分は1とほぼ同じだが、1よりも黄色地山粘土小粒の量が多い。  
 ※ すべて人為堆積層。

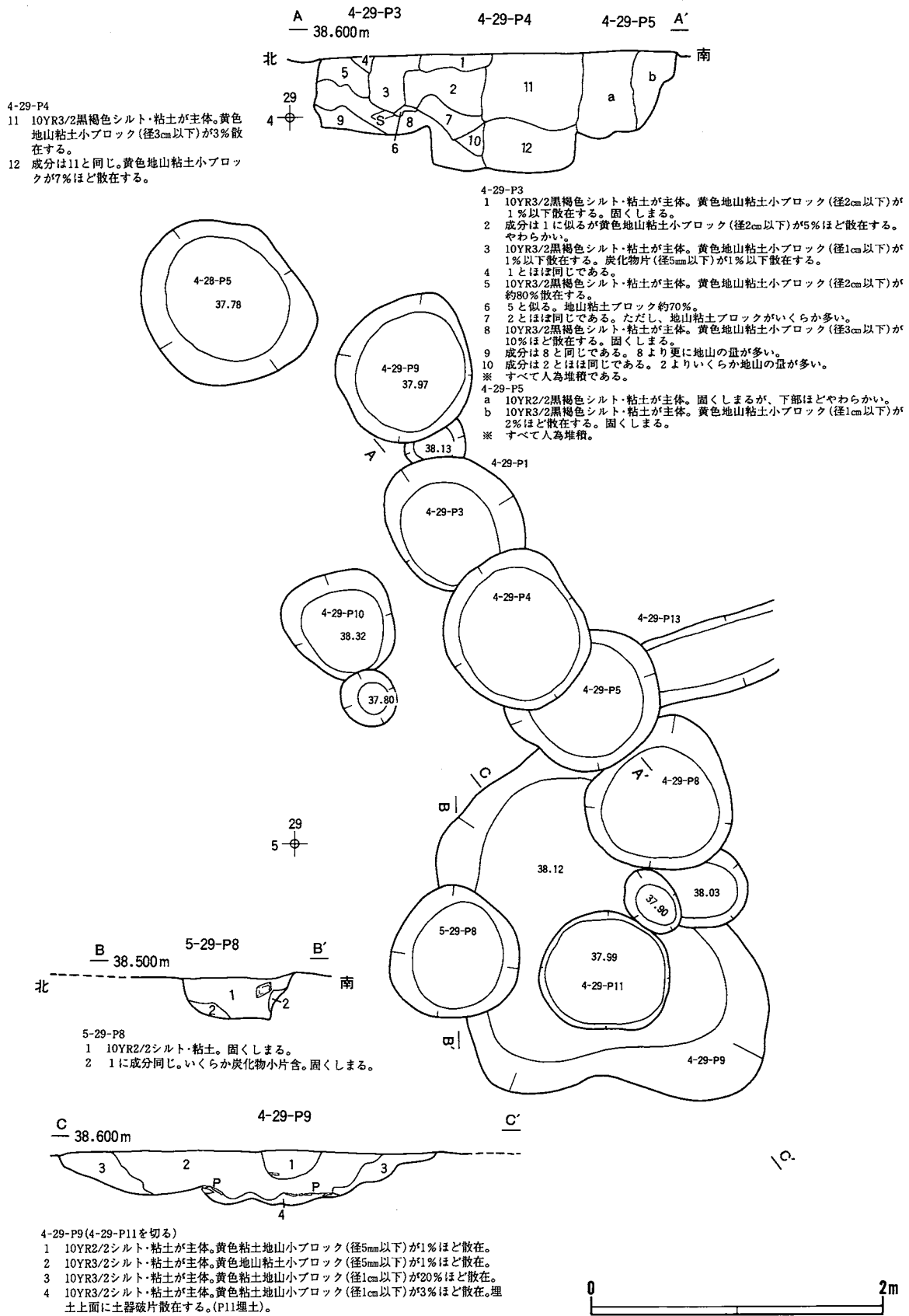
5-25-P4  
 1 焼土粒混じり、黄色地山粒混じり—平安床埋土—  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。  
 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。炭化物層散在。  
 4 10YR3/2シルト・粘土と、黄色地山小ブロック(径3cm以下)が半々に散在。  
 ※ 人為堆積。

第49図 縄文各種土坑(5)

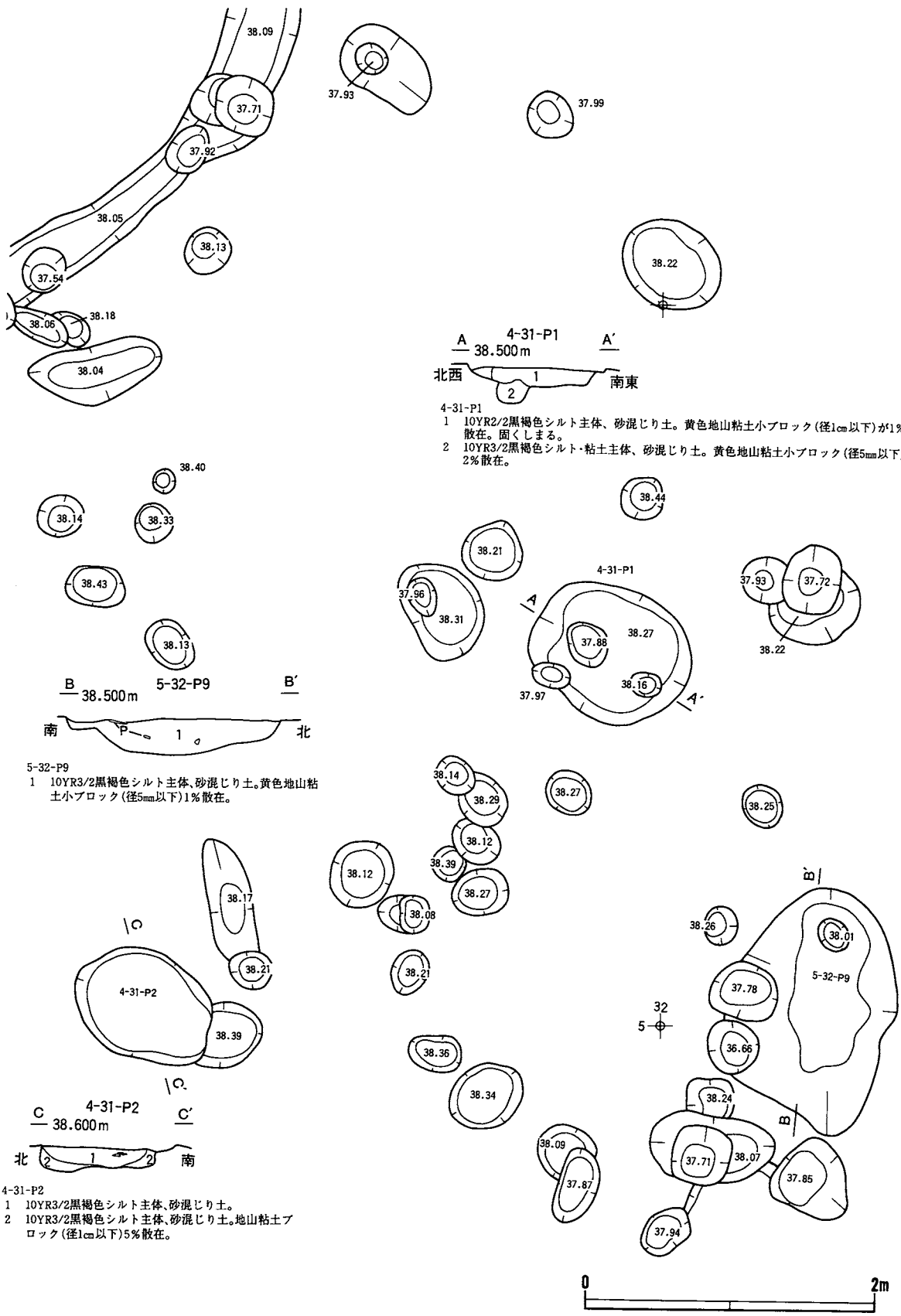




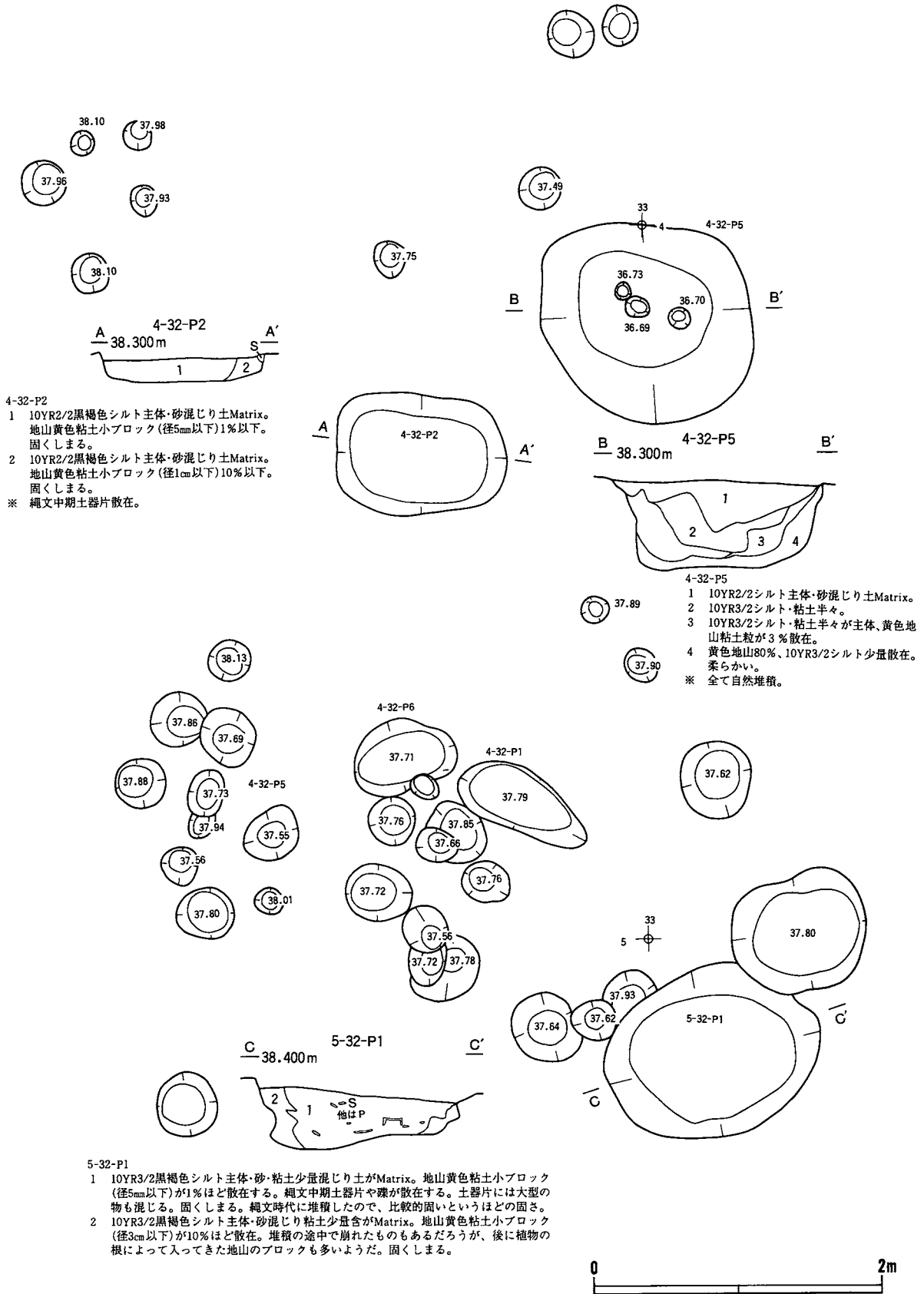
第50図 縄文各種土坑(6)



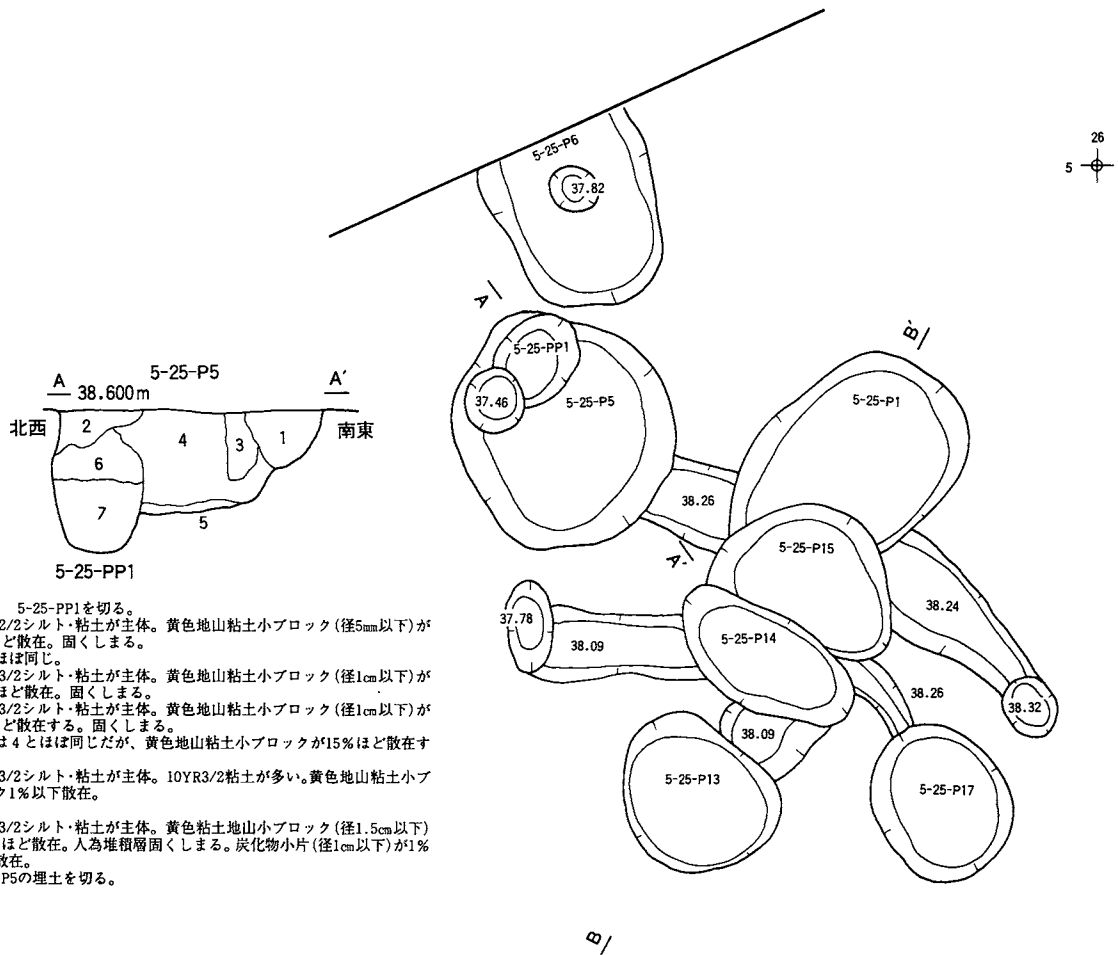
第51図 縄文各種土坑(7)



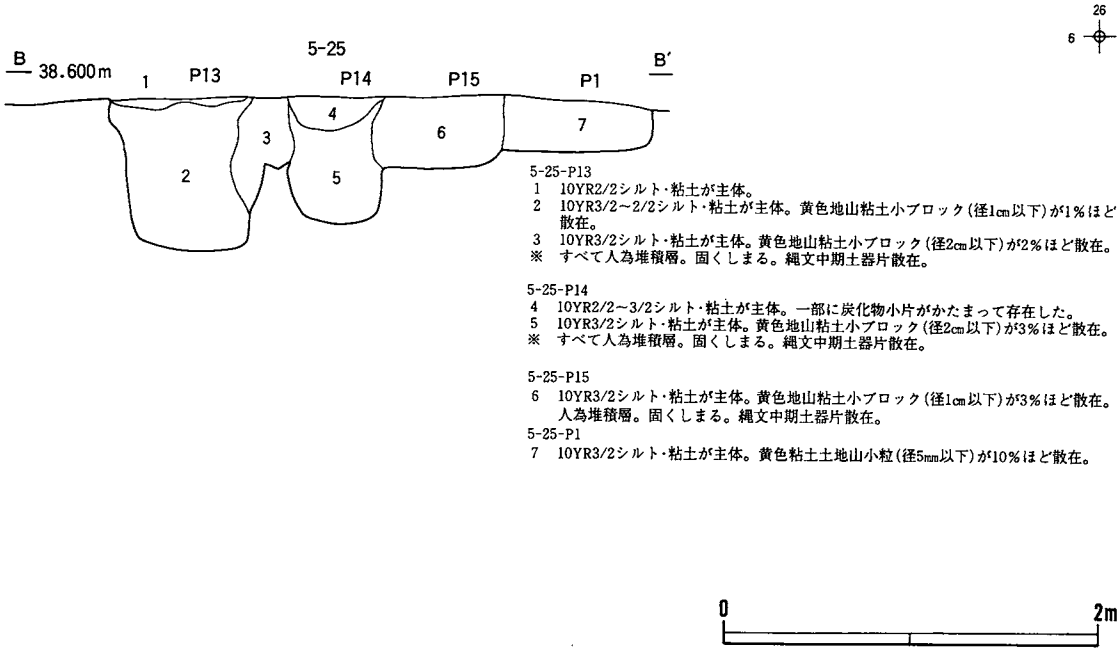
第52図 縄文各種土坑(8)



第53図 縄文各種土坑(9)

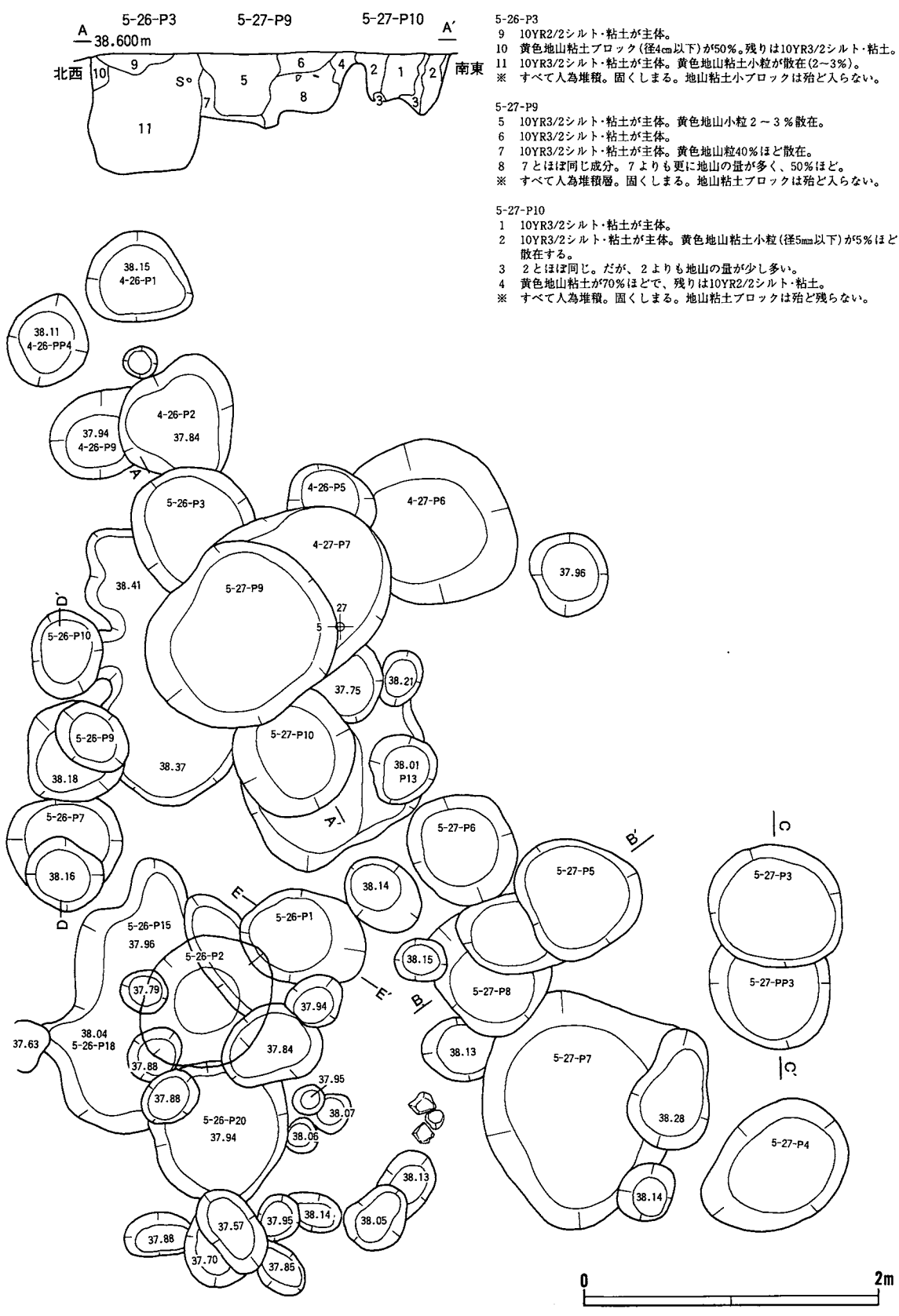


- 5-25-P5 5-25-PP1を切る。
- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。
  - 2 1とほぼ同じ。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が20%ほど散在。固くしまる。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2%ほど散在する。固くしまる。
  - 5 成分は4とほぼ同じだが、黄色地山粘土小ブロックが15%ほど散在する。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。10YR3/2粘土が多い。黄色地山粘土小ブロック1%以下散在。
- 5-25-PP1
- 7 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1.5cm以下)が2%ほど散在。人為堆積層固くしまる。炭化物小片(径1cm以下)が1%以下散在。
- ※ 5-25-P5の埋土を切る。

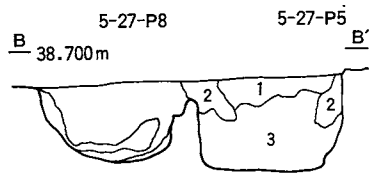


- 5-25-P13
- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。
  - 2 10YR3/2-2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が2%ほど散在。すべて人為堆積層。固くしまる。縄文中期土器片散在。
- 5-25-P14
- 4 10YR2/2-3/2シルト・粘土が主体。一部に炭化物小片がかたまっている存在した。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が3%ほど散在。すべて人為堆積層。固くしまる。縄文中期土器片散在。
- 5-25-P15
- 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在。人為堆積層。固くしまる。縄文中期土器片散在。
- 5-25-P1
- 7 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小粒(径5mm以下)が10%ほど散在。

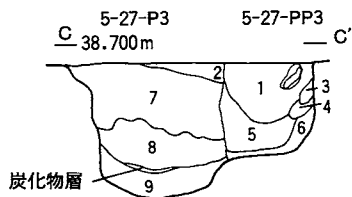
第54図 縄文各種土坑(10)



第55図 縄文各種土坑(11)

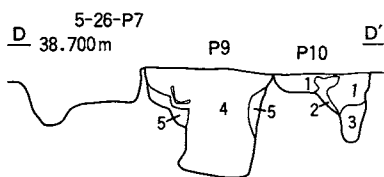


- 5-27-P5
- 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土小粒(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。
  - 成分は1と同じ。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。固くしまる。
  - 成分は1と同じ。1よりも黄色地山粘土の量が少ない。固くしまる。

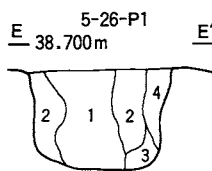


- 5-27-P3
- 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。
  - 成分は7とはほぼ同じ。黄色粘土ブロックが40%ほど散在。8と9層の間に薄い(厚さ1cmほど)炭化物層がはさまる。
  - 黄色地山粘土ブロック(径3cm以下)が98%散在。固くしまる。残りは10YR3/2シルト・粘土。
- ※ すべて人為堆積。

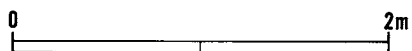
- 5-27-PP3
- 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物片少量含。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)2~3%散在。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土ブロック(径1cm以下)と小粒が20%ほど散在。
  - 10YR2/2シルト・粘土が主体。ほそほそしている。柔らかい。植物の根の痕。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土小ブロック(径5mm以下)と地山粒が5%ほど散在する。
- ※ すべて人為堆積。



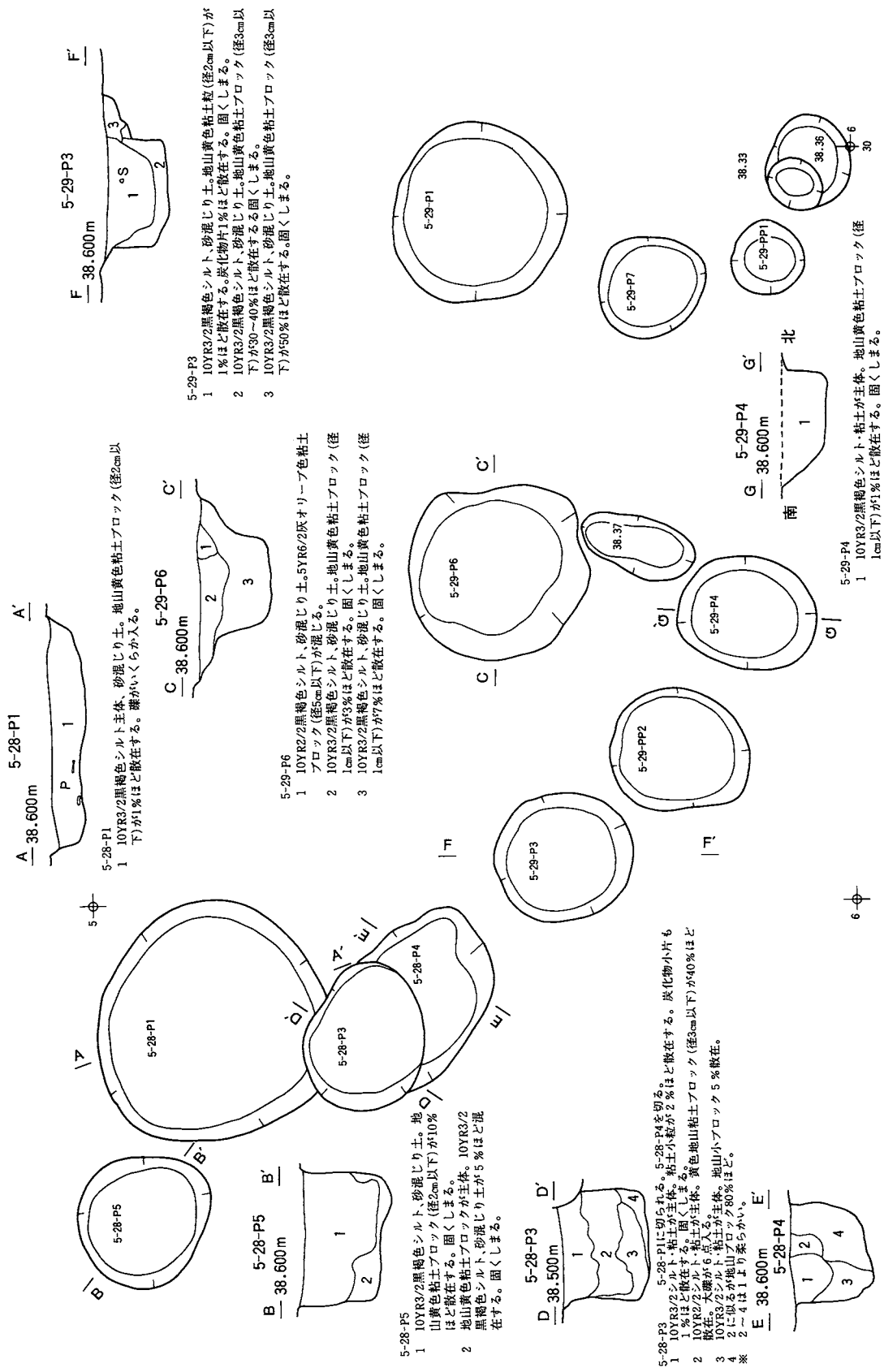
- 5-26-P9・P10
- 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。
  - 植物根。
  - 成分は1と同じ。地山黄色粘土ブロック5%散在。
  - 成分は1と同じ。
  - 成分は1と同じ。地山黄色粘土ブロック3%散在。



- 5-26-P1 5-26埋設土器No.3に切られる。5-26-P2に切られる。
- 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。柱痕跡状。人為堆積。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が5%ほど散在。
  - 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック、小粒と半々に混在。
  - 黄色地山粘土が99%ほど。10YR3/2シルト・粘土あるいは10YR4/4が残り散在。
- ※ 人為堆積。固くしまる。細文中期土器片散在。

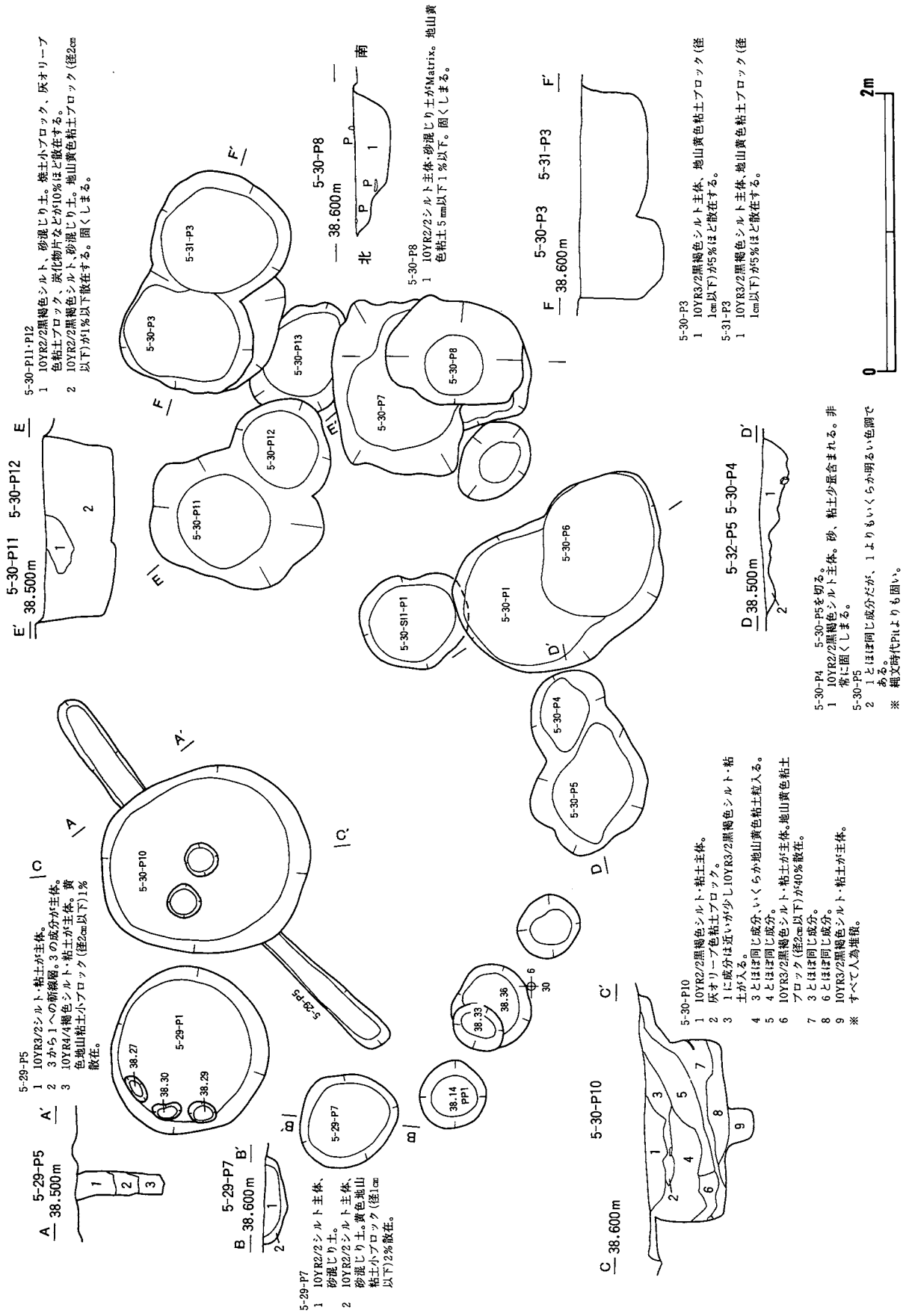


第56図 縄文各種土坑(12)

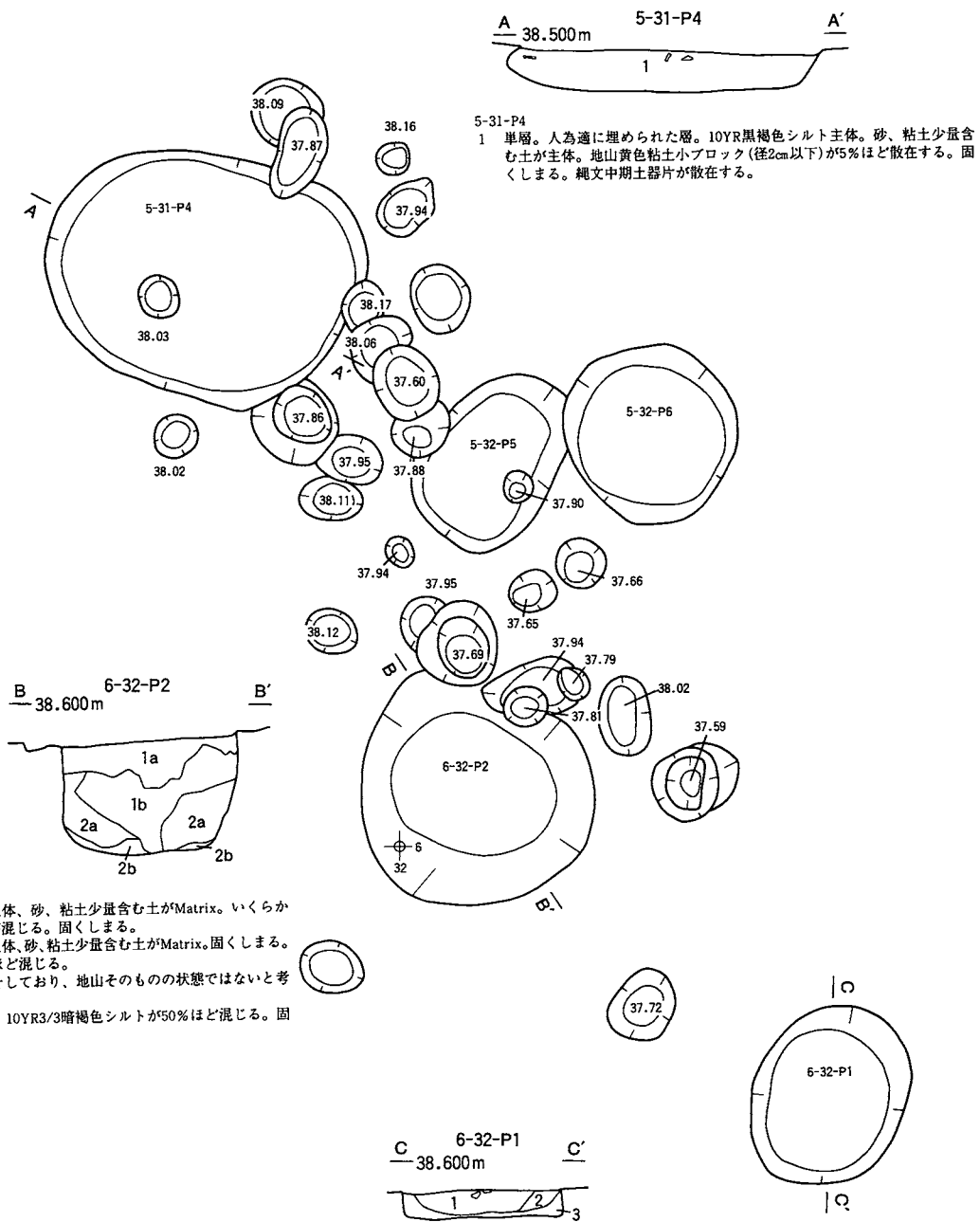


第57図 縄文各種土坑(13)





第58図 縄文各種土坑(14)



5-31-P4  
 1 単層。人為適に埋められた層。10YR黒褐色シルト主体。砂、粘土少量含む土が主体。地山黄色粘土小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在する。固くしまる。縄文中期土器片が散在する。

6-32-P2-1

※ 6-31-P12の埋土と同様。

1a 10YR3/3暗褐色シルト主体、砂、粘土少量含む土がMatrix。いくらか10YR3/2黒褐色シルトが混じる。固くしまる。

1b 10YR3/3暗褐色シルト主体、砂、粘土少量含む土がMatrix。固くしまる。地山黄色粘土粒が10%ほど混じる。

2a 地山黄色粘土。ほそほそしており、地山そのものの状態ではないと考えられる。固くしまる。

2b 地山黄色粘土がMatrix、10YR3/3暗褐色シルトが50%ほど混じる。固くしまる。

※ 遺物は全く含まれない。

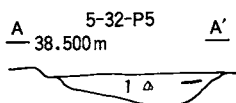
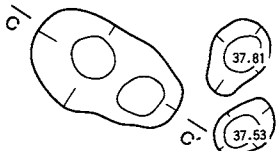
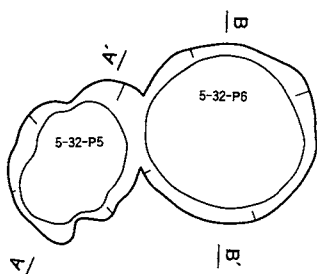
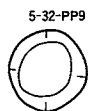
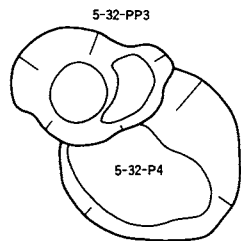
6-32-P1

1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山小ブロック(径5mm以下)が3%ほど散在する。炭化物片、焼土粒(径5mm以下)が1%ほど散在する。

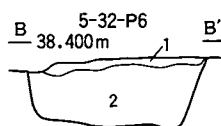
2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山小ブロック(径5mm以下)が10%ほど散在する。炭化物片、焼土粒(径3mm以下)が1%ほど散在する。

3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山小ブロック(径10mm以下)が10%ほど散在する。

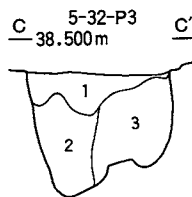
第59図 縄文各種土坑(15)



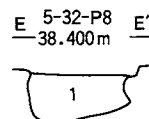
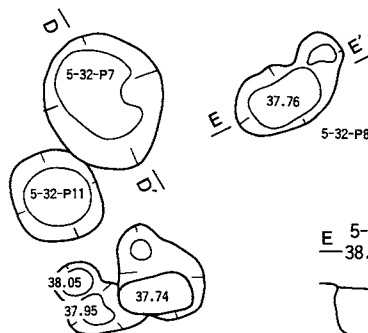
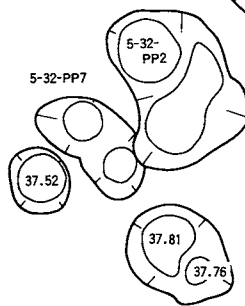
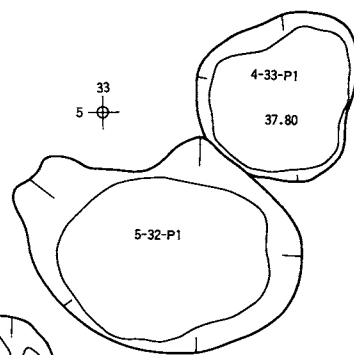
5-32-P5  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土がMatrix。10YR2/2黒褐色シルト小ブロック(径1cm以下)が散在。縄文中期土器片が少量散在。固くしまる。



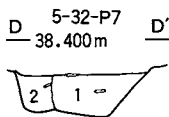
5-32-P6  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土がMatrix。固くしまる。この上面は5-32-SI1の床面である。  
2 10YR4/3にぶい黄褐色(10YR3/2黒褐色に近い色)主体・砂混じり土がMatrix。固くしまる。縄文土器片、非常に少ない。



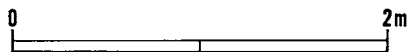
5-32-P3  
1 10YR2/2黒褐色シルトが主体。砂、粘土少量混じり土、炭化物層(径5mm以下)が少量散在。しまりがある。固くはない。  
2 10YR3/2黒褐色シルト主体の砂混じり土がMatrix。しまりあり。固くはない。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が2~3%散在。ほそほそしている。柱の痕か?  
3 地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が30%ほど散在。しまりあり。固くはない。10YR3/2黒褐色シルトがMatrix。ほそほそしている。



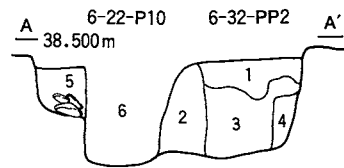
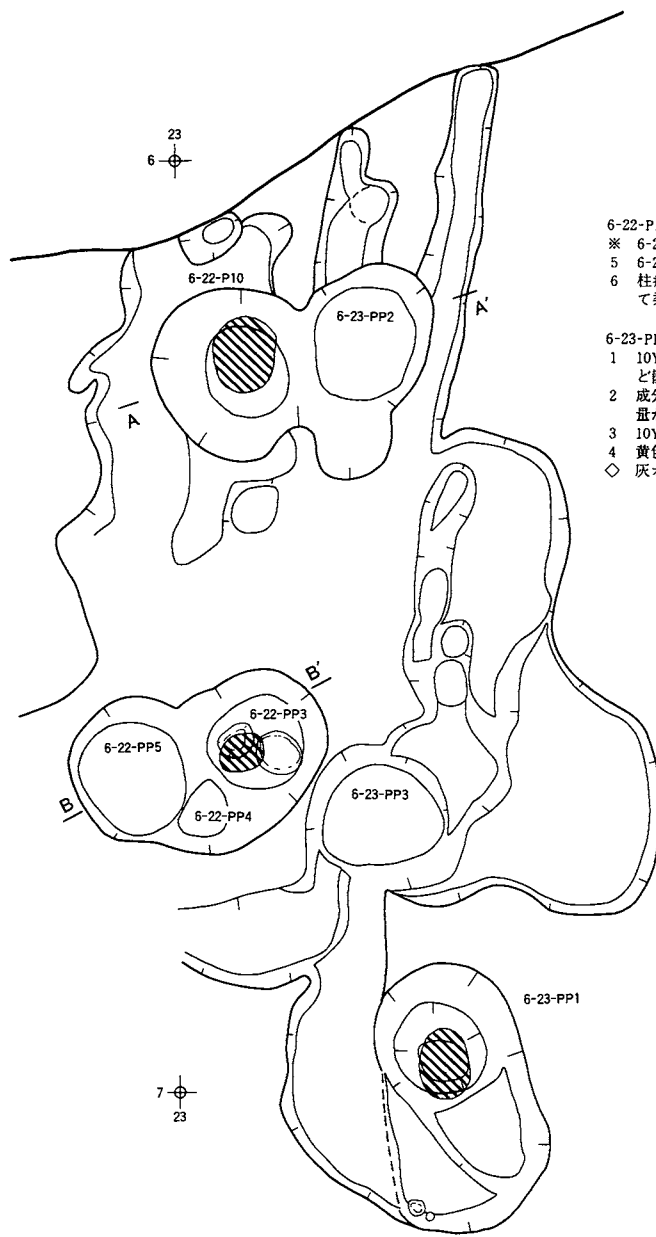
5-32-P8  
1 埋土、単層。10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土がMatrix。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)2%ほど散在。



5-32-P7  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土がMatrix。地山黄色シルト小ブロック(径1cm以下)少量散在。  
2 埋土1とはほぼ同じ。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在。炭化物片(径5mm以下)少量散在。固くしまる。縄文中期土器片含む。

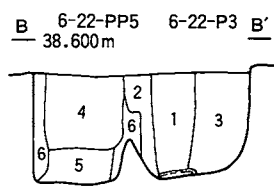


第60図 縄文各種土坑(16)



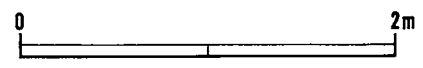
6-22-P10  
 ※ 6-22-PP10が、6-23-PP2を切る。  
 5 6-23-PP2の注記の中に記した2である。  
 6 柱痕跡。10YR3/2シルト・粘土。炭化物小片が10%以下散在する。埋土1に比べて柔らかい。

6-23-PP2  
 1 10YR3/2シルト・粘土主体。黄色、浅黄色粘土地山ブロック(径2cm以下)が20%ほど散在している。  
 2 成分はほぼ1と同じだが、1よりも黄色・浅黄色・灰オリーブ色粘土ブロックの量が多い。固くしまる。6-22-PP10の掘形埋土である。  
 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。  
 4 黄色地山粘土ブロック(径2cm以下)が80%ほど散在。残りは10YR3/2シルト・粘土。  
 ◇ 灰オリーブ色火山灰。炭化物小片3%ほど散在。

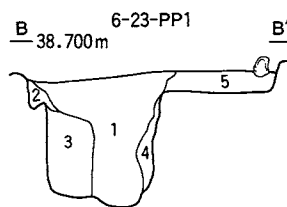
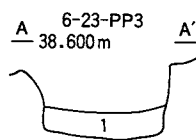
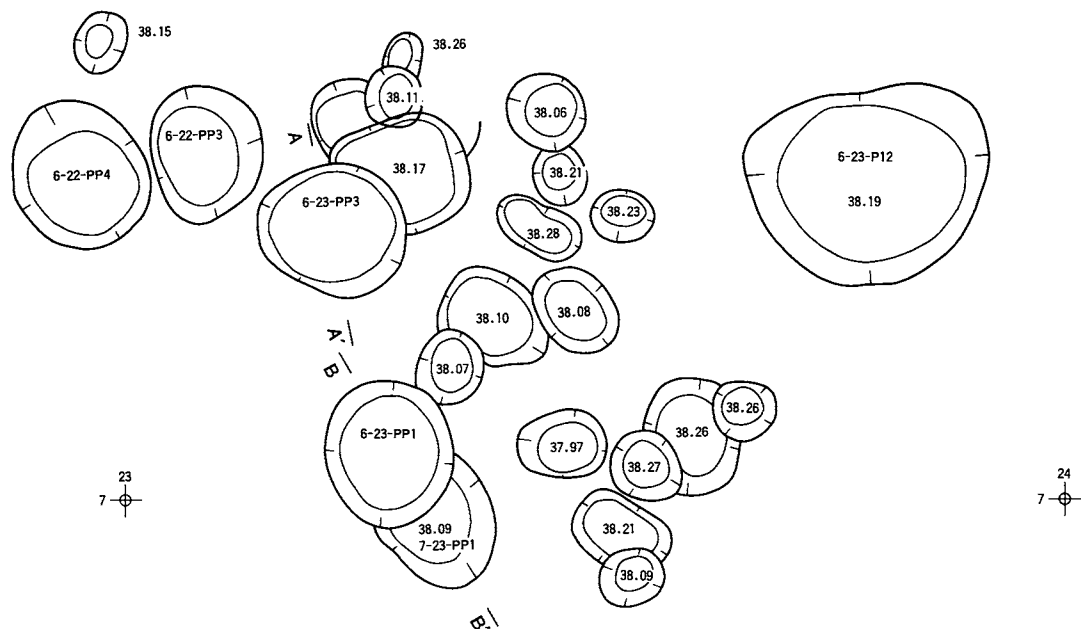


6-22-PP3・PP5  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。柱痕跡。  
 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小粒(径5mm以下)が3%ほど散在。  
 3 10YR3/2シルト・粘土、10YR4/4褐色シルト・粘土と、黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が混在。炭化物小粒(径5mm以下)が少量散在。  
 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が3%ほど散在。  
 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。  
 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロックが5%ほど散在する。  
 ※ 全て固くしまる。縄文中期土器片少量散在。人為堆積(1を除き)。

柱痕跡



第61図 縄文各種土坑(17)

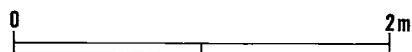


6-23-PP3

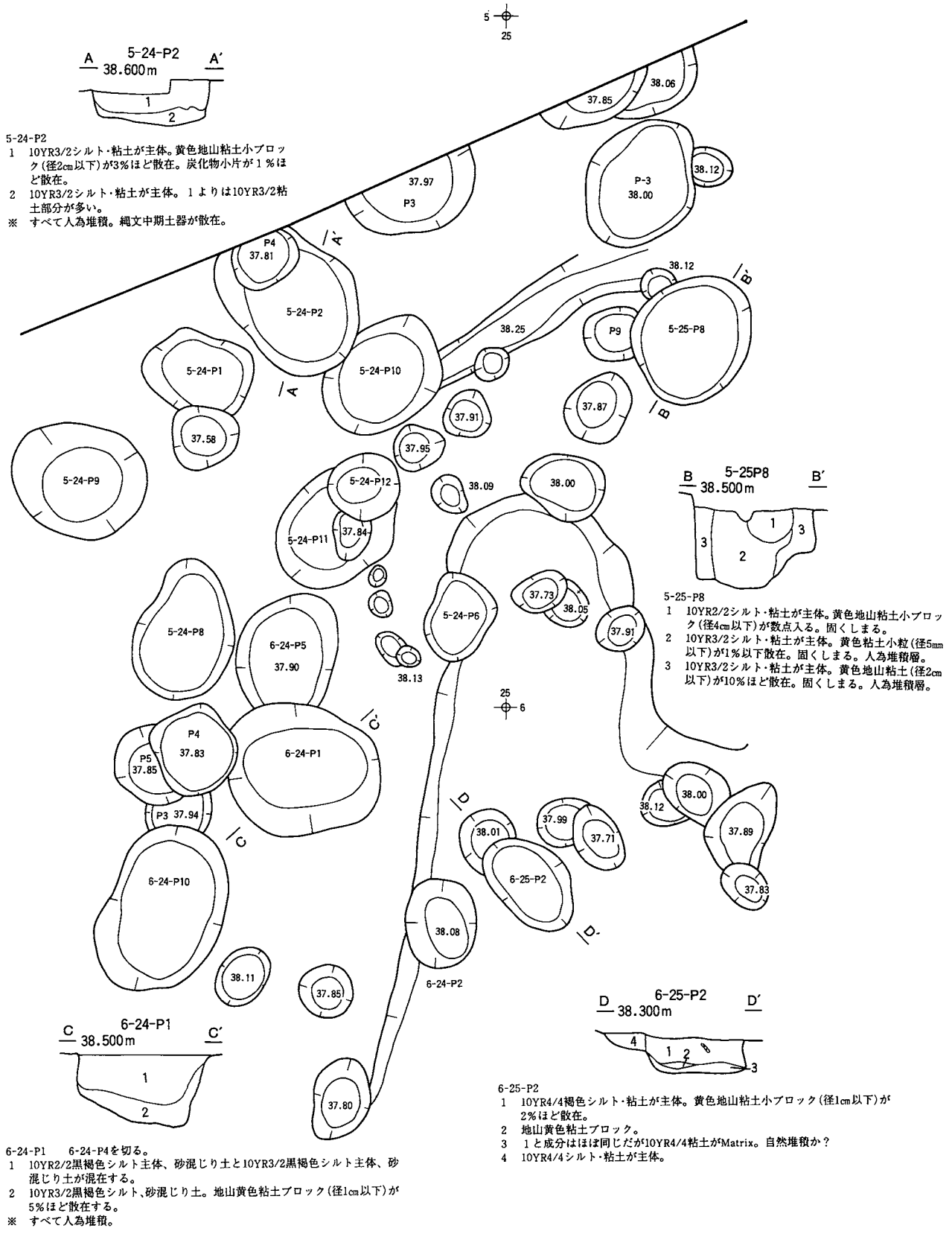
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山粘土(黄色)小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在固くしまる。縄文注記土器片が少量散在。

6-23-PP1

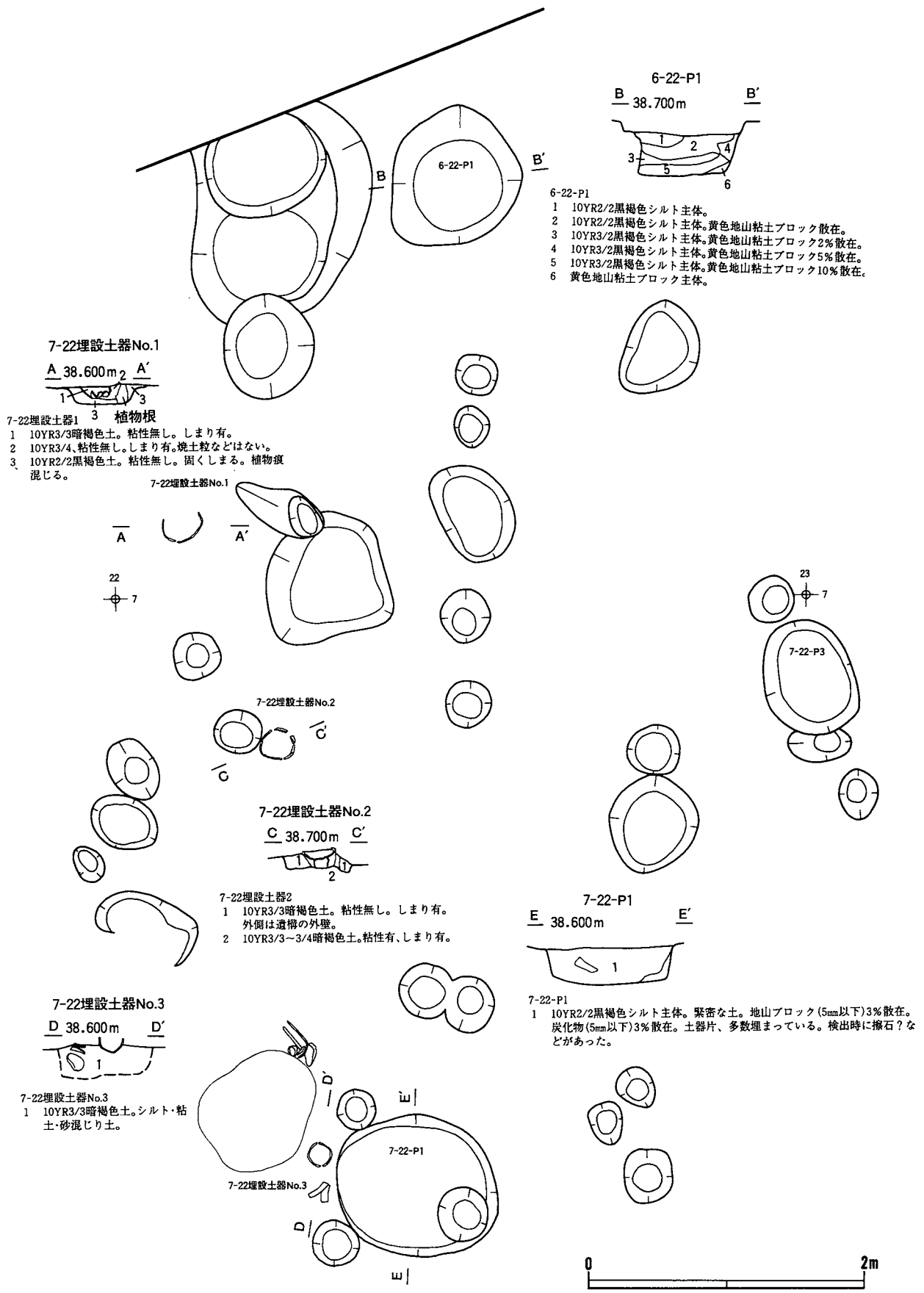
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。柱痕跡状である。
- 2 成分は1とほぼ同じ。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が10%ほど散在する。固くしまる。
- 3 成分は1とほぼ同じ。但し、黄色地山粘土のブロックは大きく径15cmほどの部分もある。70%ほどが地山ブロック。地山で埋めた掘形埋土である。成分はほぼ2と同じである。但し、地山のブロックは径1.5cm以下である。
- 4 成分は4とほぼ同じである。
- 5 成分は4とほぼ同じである。
- ※ すべて人為堆積か？但し1は自然か？



第62図 縄文各種土坑(18)



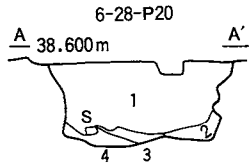
第63図 縄文各種土坑(19)



第64図 縄文各種土坑(20)

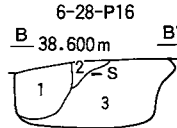
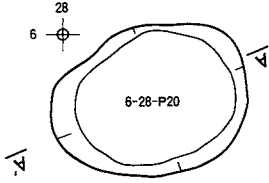






6-28-P20

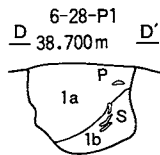
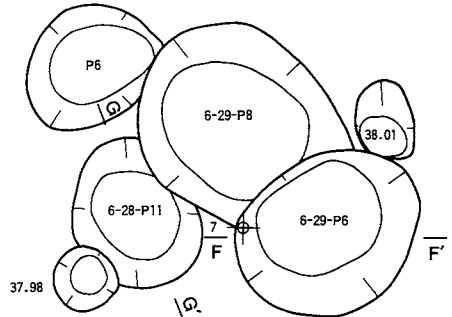
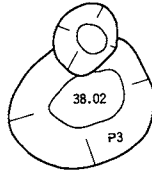
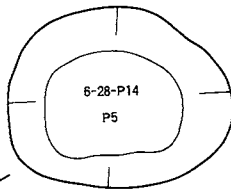
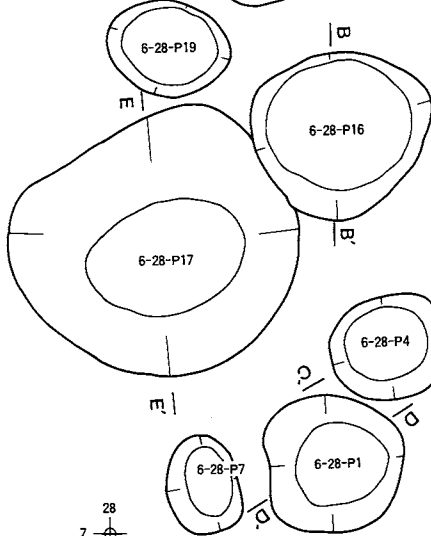
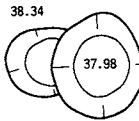
- 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が2%ほど散在。人為堆積。
  - 2 成分は1と同じだが、1より地山ブロックの量が多い。(50%ほど)。
  - 3 成分は1と同じだが、地山ブロックが80%ほど
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト、100%ほど。
- ※ すべて固くしまる。6-28-P20 1層は5-28-S11の周溝埋土とほぼ同じ。見分けがつかない。



6-28-P16

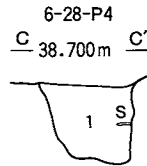
6-28-P16

- 1 黄色地山粘土(径2cm以下)1%散在。
  - 2 黄色地山粘土(径1cm以下)3%散在。
  - 3 地山粘土、1より更に少ない。固くしまる。
- ※ すべてBtype。



6-28-P1

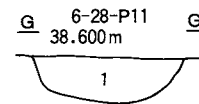
- 6-28-P1
- 1a 10YR3/2シルト主体、砂・粘土含。縄文中期土器片いくらか含。固くしまる。
  - 1b 1aと主成分は同じだが、地山粘土ブロック(径3cm以下)が1%ほど散在。固くしまる。縄文中期土器片、比較的多い。



6-28-P4

6-28-P4

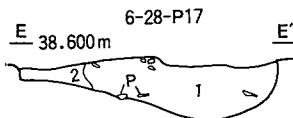
- 1 6-28-P1とほぼ同じ埋土。10YR3/2黒褐色シルトが主体、砂・粘土含む。固くしまる。縄文中期土器少量含む。人為堆積。



6-28-P11

6-28-P11

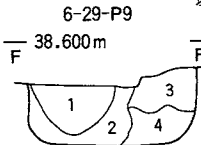
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が少量散在する。



6-28-P17

6-28-P17

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体、上部の一部に灰オリーブ色粘土ブロックがいくらか集まる。炭化物小片(径8mm以下)が1%散在。固くしまる。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が20%散在。



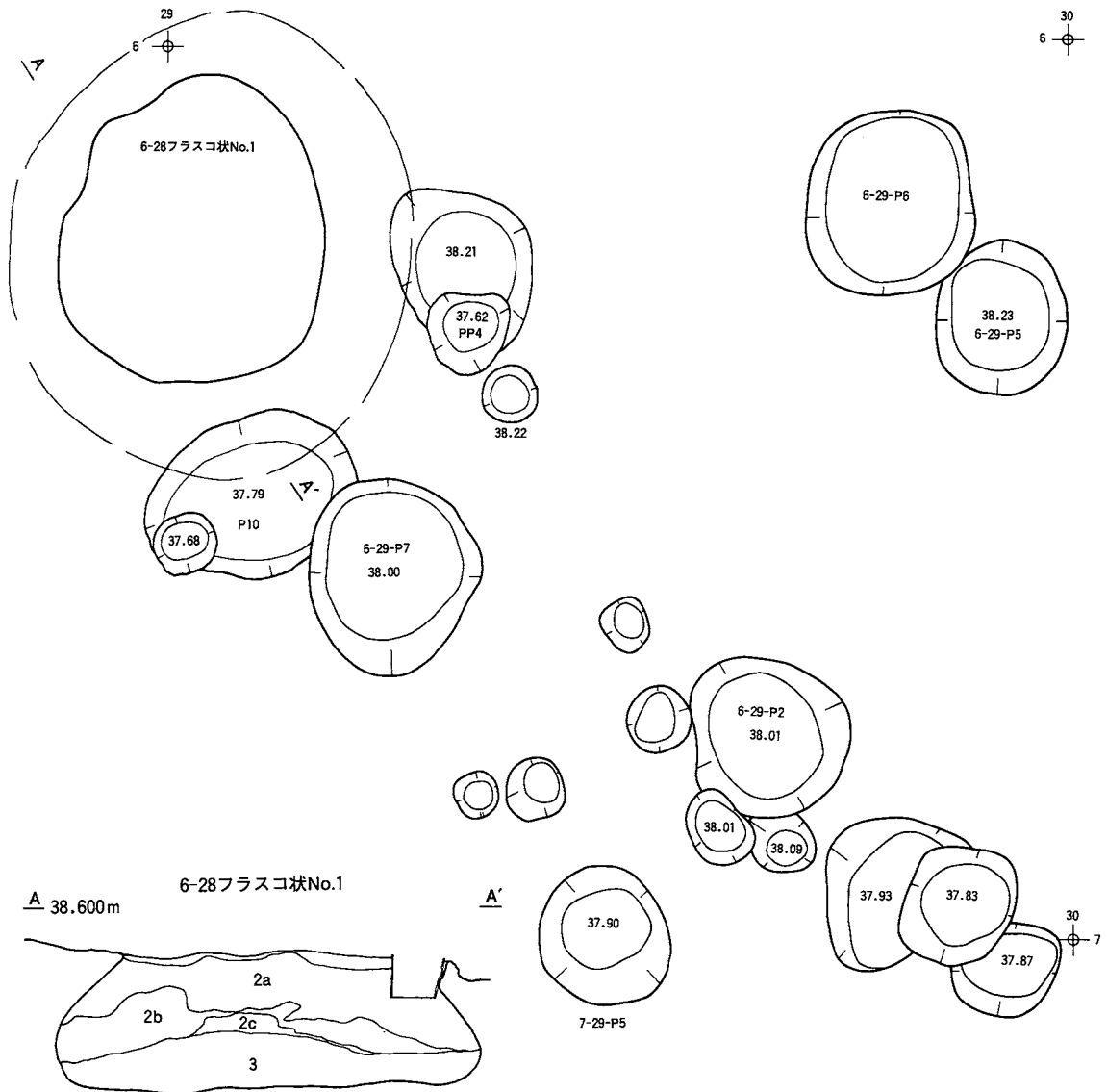
6-29-P9

6-29-P9

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土1%以下散在。炭化物小片が1%以下散在。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が2%ほど散在。
- 3 地山粘土・シルトブロック(径2cm以下)が98%ほど。10YR3/2シルト・粘土が散在。
- 4 成分は2と同じ。ただし、地山粘土ブロックが約20%散在。

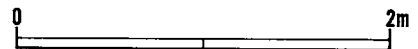


第66図 縄文各種土坑(22)

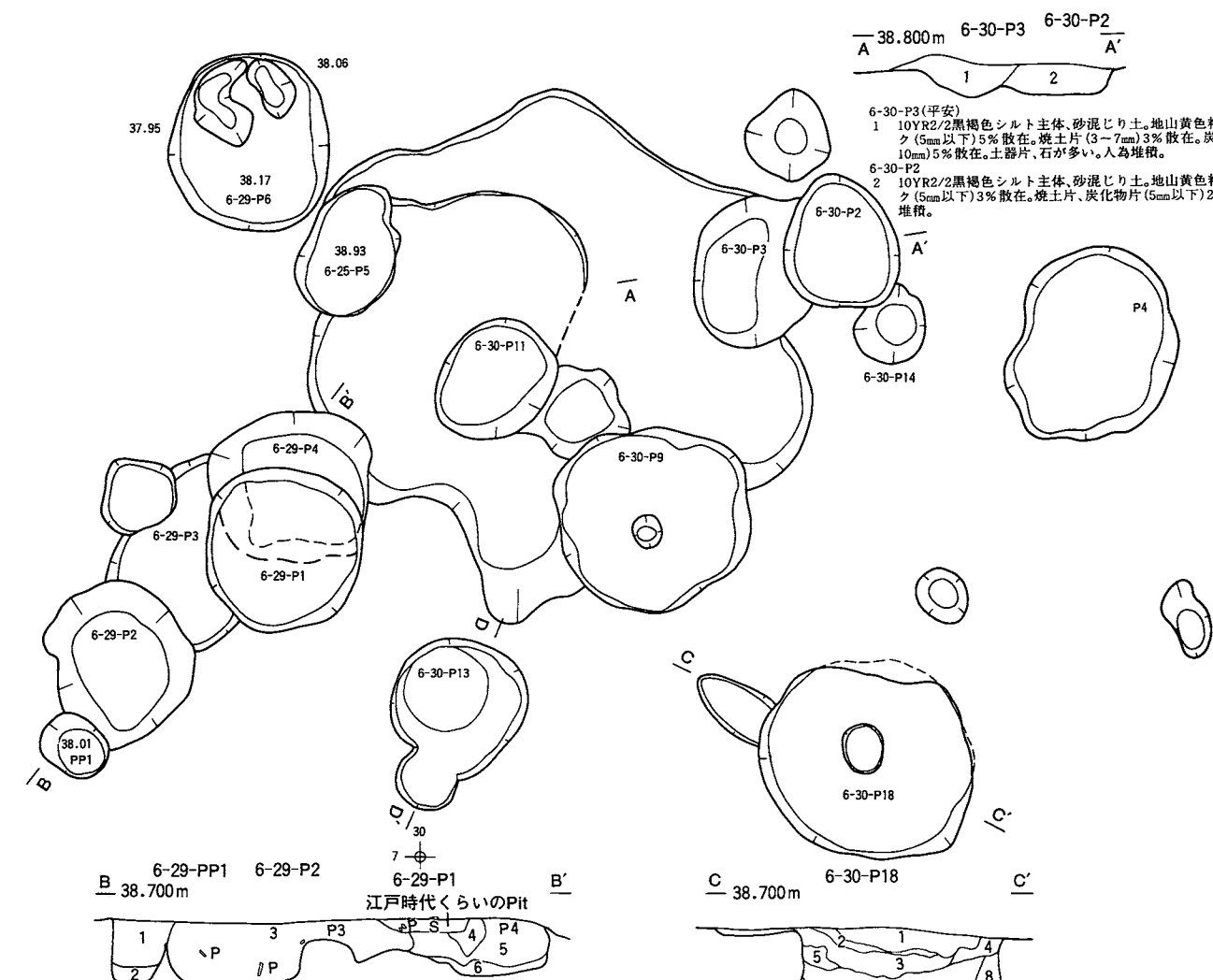


6-28フラスコ状No.1

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。地山粘土小ブロック（径3cm以下）が7%ほど散在する。
- 2a 地山粘土ブロック主体。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土ブロックが50%ほど散在する。
- 2b 地山粘土ブロック主体。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土ブロックが30%ほど散在する。
- 2c 地山粘土ブロック主体。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土ブロックが5%ほど散在する。
- 3 10YR3/3暗褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。地山粘土ブロックが30%ほど散在する。



第67図 縄文各種土坑(23)



38.800m 6-30-P3 6-30-P2  
A A'

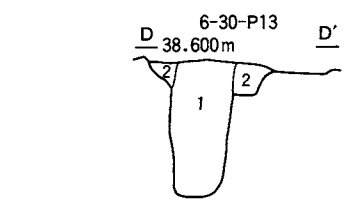
6-30-P3(平安)  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(5mm以下)5%散在。焼土片(3-7mm)3%散在。炭化物片(3-10mm)5%散在。土器片、石が多い。人為堆積。  
2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(5mm以下)3%散在。焼土片、炭化物片(5mm以下)2%散在。人為堆積。

6-29-PP1  
1 a 10YR2/2黒褐色シルト主体。地山ブロック(φ2cm以下)が30%ほど散在。あまり固くないが緊密。  
1 b 地山ブロック(φ3cm以下)がほぼ100%。あまり固くない。

6-29-P1  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体。地山粘土小ブロック(径8mm以下)が2-3%散在。また地山小粒が散在しており、周囲の10YR3/2黒褐色土入の遺構よりいくらか明るく見える。固く緊密。鉄器片含む。近世の遺構か? 縄文時代の遺構の土で埋め戻した浅い穴。  
2 近世?頃の浅いPit。10YR2/2シルト。  
3 P2とP3の埋土は同じ。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土、地山小ブロック(径1cm以下)が2-3%散在。固く緊密。縄文中期土器片がいくらか入る。

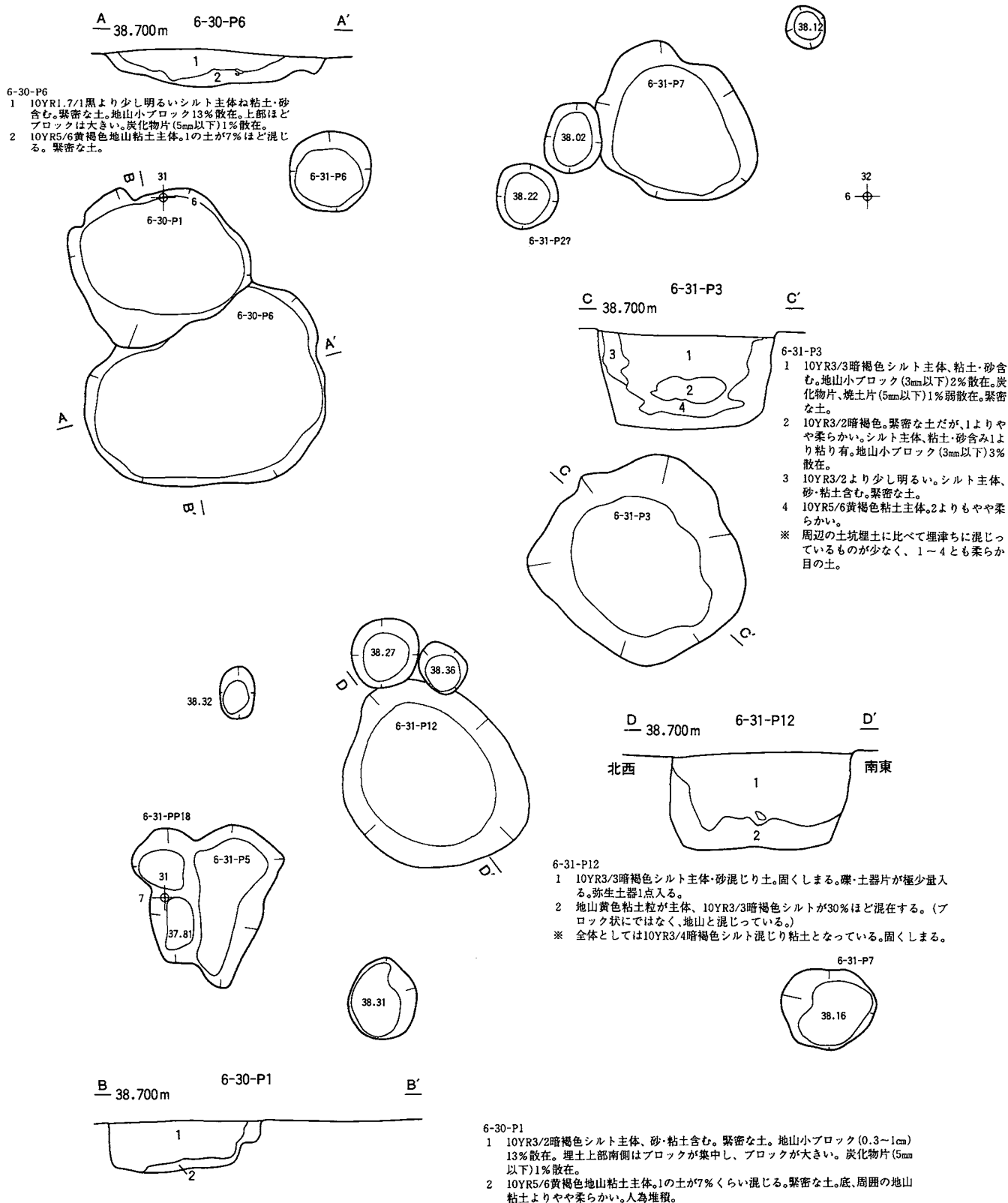
6-29-P1-P4  
4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土、地山小ブロック(径3mmほど)が1%ほど散在。  
5 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土、地山ブロック(径3cm以下)が50%ほど散在。  
6 5と成分は同じだが、地山ブロックが79%ほど。

6-30-P18  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。焼土粒極少量散在。固くしめる。炭化物片少量散在。  
2 成分は同じ。1よりも焼土粒の量が多い。下の3層の影響であろう。  
3 焼土層。最上面には2.5YR5/6明赤褐色部あり。しかし、これは部分的であり薄い。他の部分は5YR4/8赤褐色シルト・粘土・砂混じり土。固くしめる。この場で焼けたと思われる焼土である。所々後の時代の植物根と思われる黒褐色部あり。  
4 10YR3/2黒褐色シルト粒。5YR4/8赤褐色シルト粒が半々。固くしめる。根に押されて入ったのか? 須恵器片1点あり。  
5 4と同じ成分・性質ともほぼ同じ。  
6 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土がMatrix。縄文中期土器片が少量入る。焼土粒、炭化物片(φ5mm以下)が全体に1%ほど散在する。  
7 土主成分は6と同じだが、地山小ブロック(φ2cm以下)が全体に70%ほど入る。  
8 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土がMatrix。地山ブロック(φ2cm以下)が50%ほど入る。  
9 主成分は8とほぼ同じ。隙(φ1cm程の偏平なもの)が1点入る。  
10 主成分、堆積状況とも、6とほぼ同じ。  
11 地山ブロック。  
12 主成分、堆積状況とも、8とほぼ同じ。  
13 主成分は8とほぼ同じだが、地山ブロックが70%ほど。  
14 炭化物片が主体の層。10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土が50%、隙間を埋める。しまりはあるが、それほど固くはない。地山ブロック(φ1cm以下)が1%ほど散在。(14aが炭化物層。14bが10YR3/2)。  
15 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土がMatrixの地山小ブロック(φ1cm以下)が10%ほど散在。人為堆積層。  
16 主成分は15と同じだが、こちらの方がいくらか固く感じられたので、分けた。  
17 主成分は15と同じだが、こちらの方が地山小ブロックは少ない。底面南東端に大木10式深鉢形器が横たわっている。  
18 焼土ブロック(φ3cm以下)が散在。また焼土面があることから、ここで火を焚いた可能性も考えられる。この面の上面には炭が薄く広がっている。  
19 主成分は15と同じだが、こちらの方が地山粒が多い。  
※ 2層以下はすべて縄文時代の人々がその面を火を焚いた跡か?

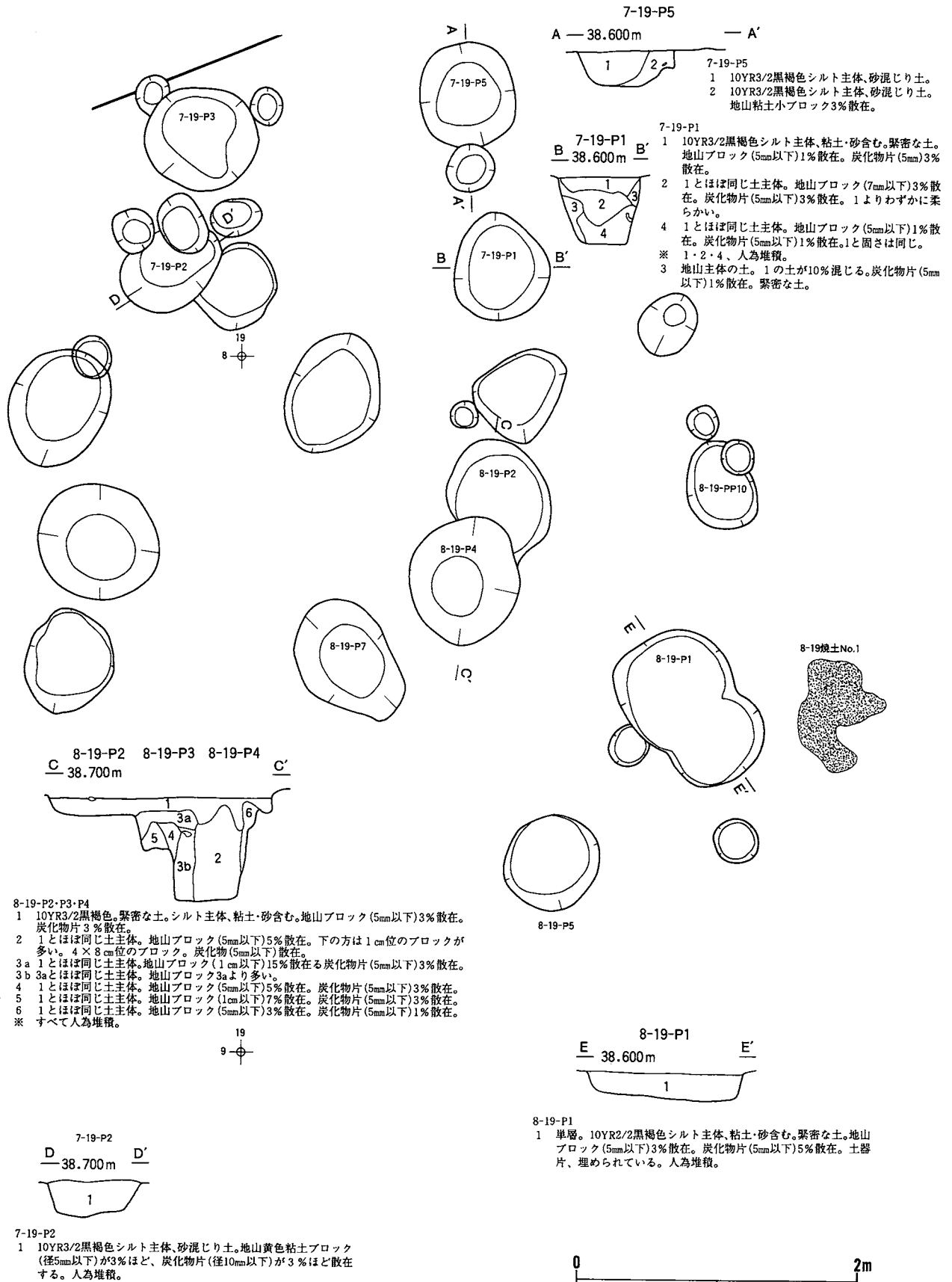


6-30-P13  
1 10YR3/2黒褐色シルト主体・粘土混じり土。固くしめる。  
2 10YR3/2黒褐色シルト主体。地山粘土小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在。縄文中期土器片含、やや固くしめる。縄文中期の土坑。埋土と同様のしまり具合、ただし、こちらの方がいくらか柔らかい。

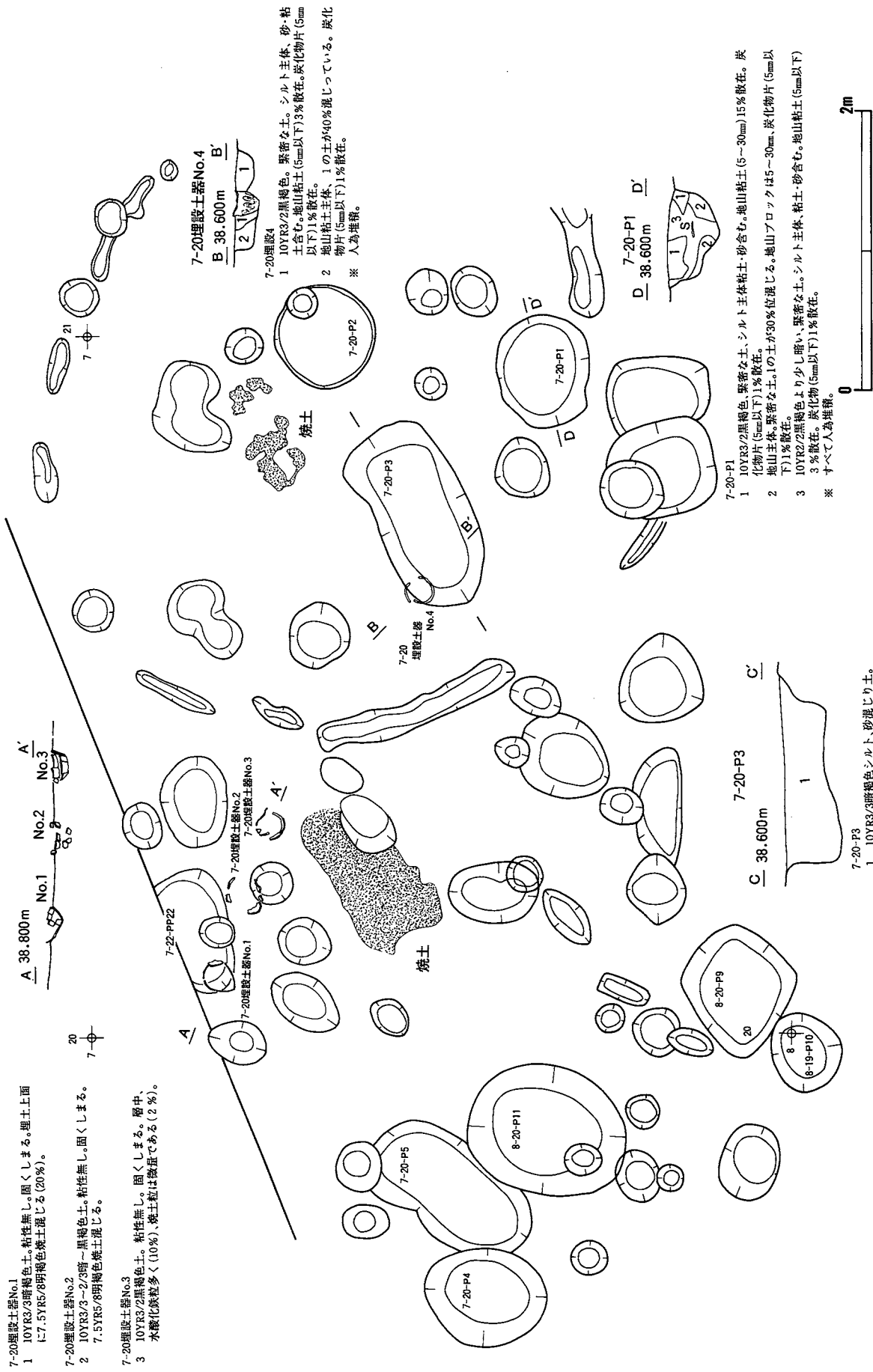
第68図 縄文各種土坑(24)



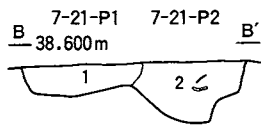
第69図 縄文各種土坑(25)



第70図 縄文各種土坑(26)



第71図 縄文各種土坑(27)



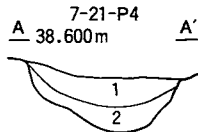
7-21-P1

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。緊密な土。地山ブロック(5mm以下)5%散在。炭化物(5mm以下)1%散在。人為堆積。

7-21-P2

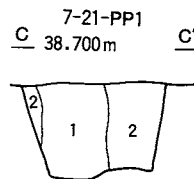
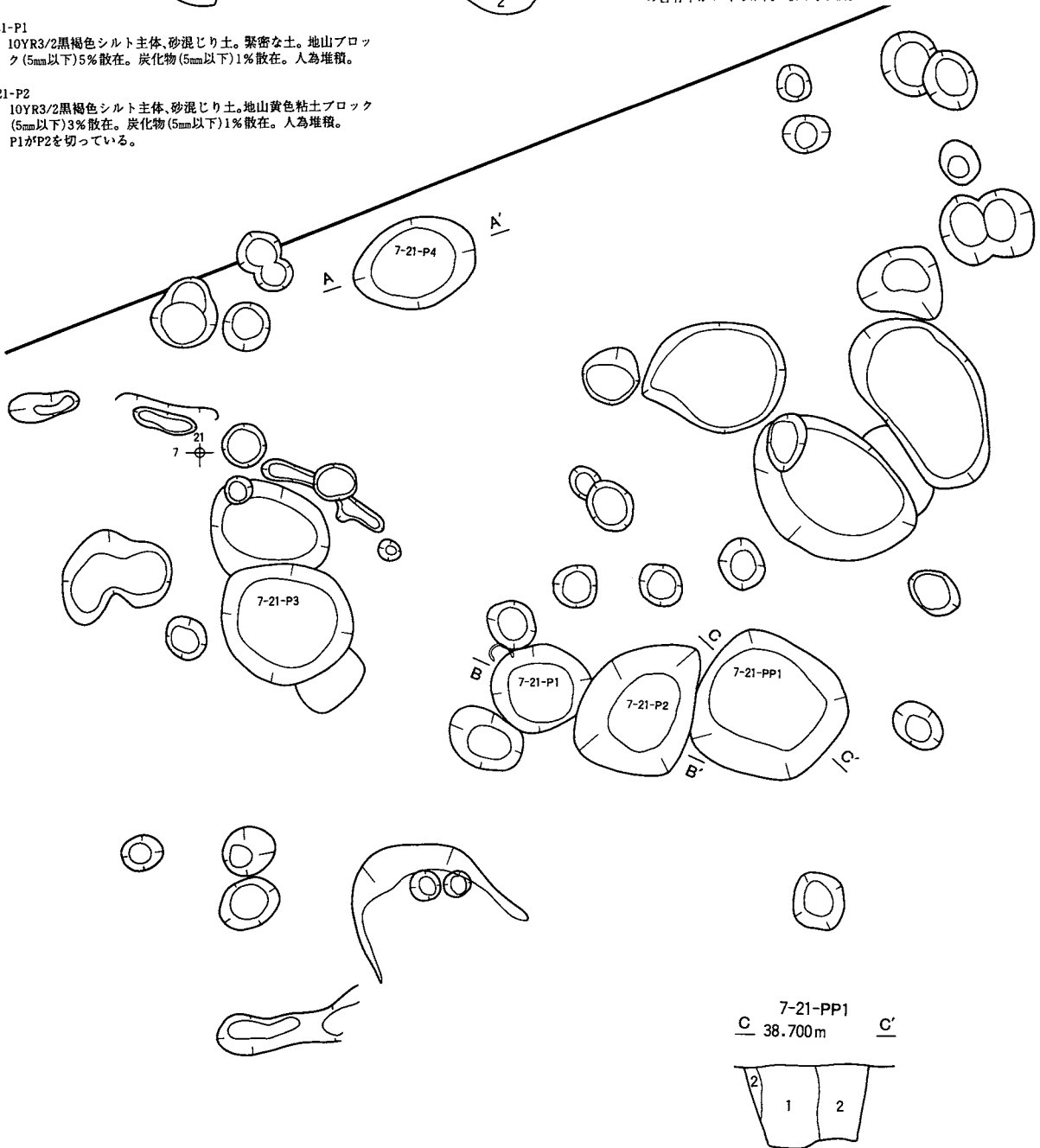
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(5mm以下)3%散在。炭化物(5mm以下)1%散在。人為堆積。

※ P1がP2を切っている。



7-21-P4

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が3%ほど、炭化物片(径7mm以下)が5%ほど散在する。人為堆積。
- 2 埋土1とほぼ同じ成分。ただし、地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)の含有率がいくらか高い。人為堆積。

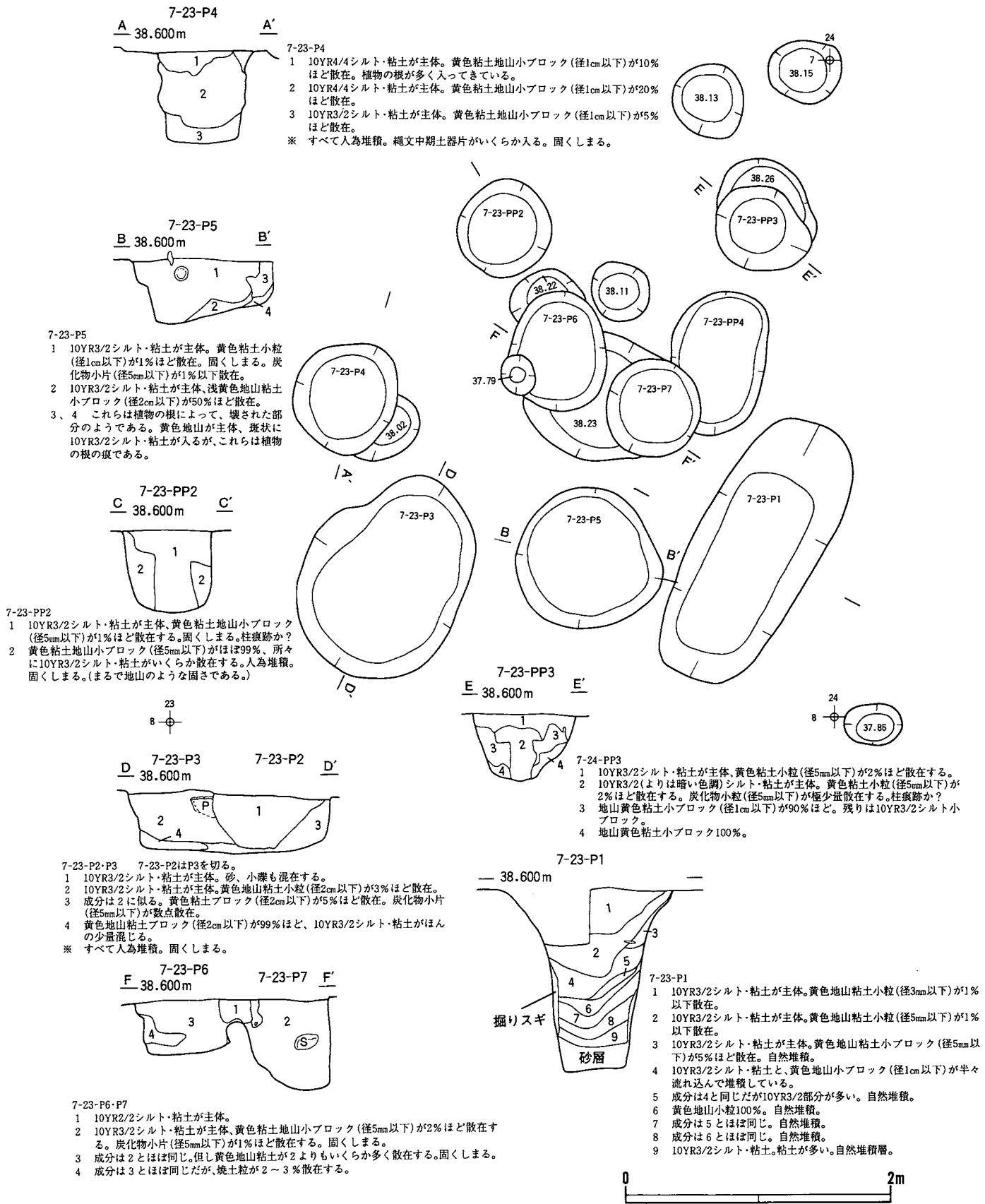


7-21-PP1

- 1 10YR3/2黒褐色シルト、砂混じり土。黄色地山粘土ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在する。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト・砂混じり土。黄色地山粘土ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在する。

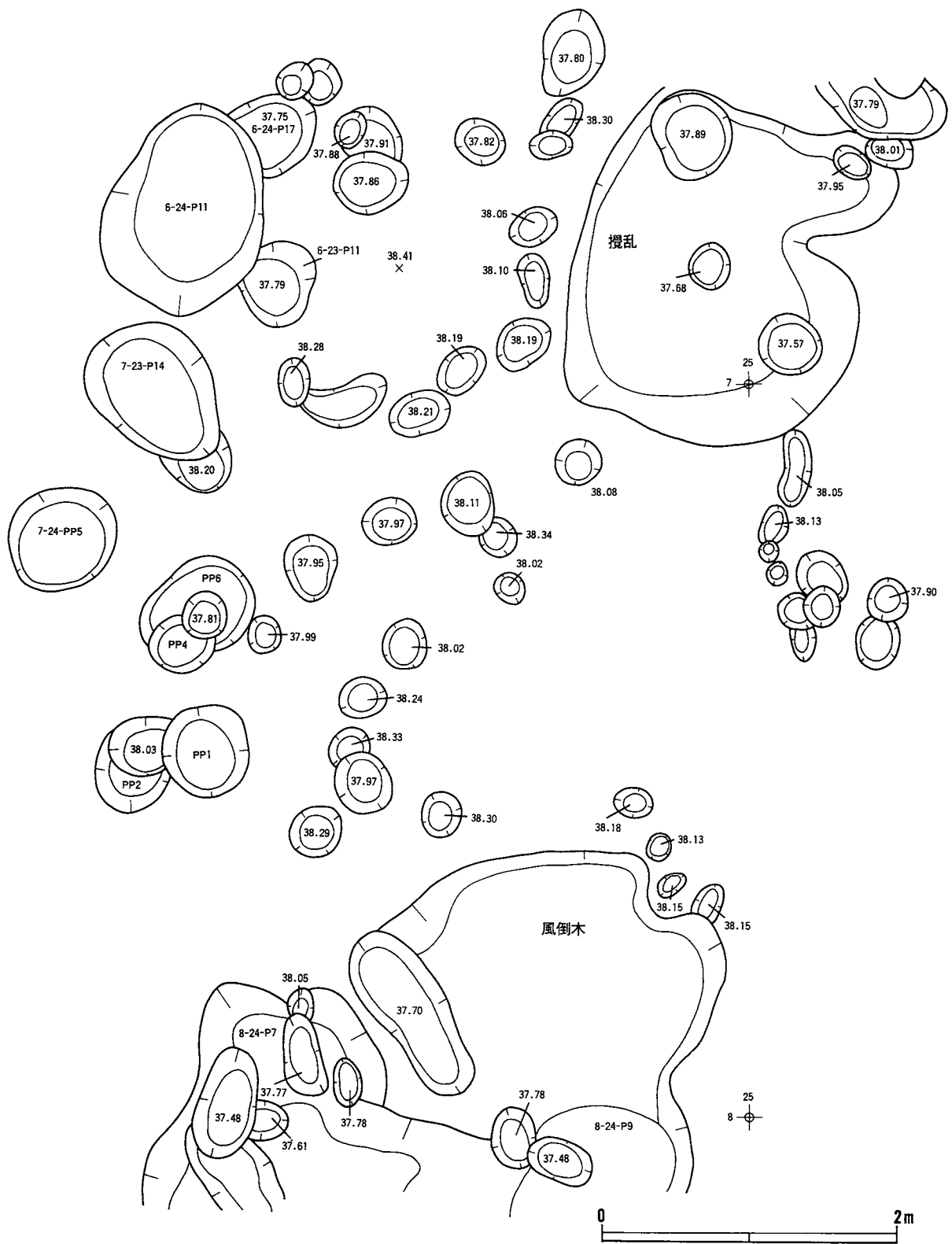


第72図 縄文各種土坑(28)

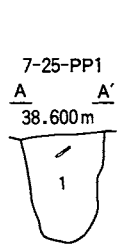


第73図 縄文各種土坑(29)

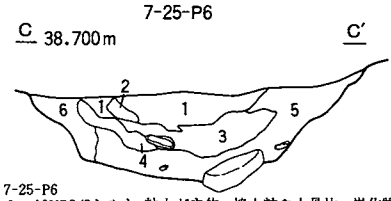




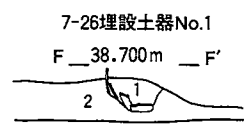
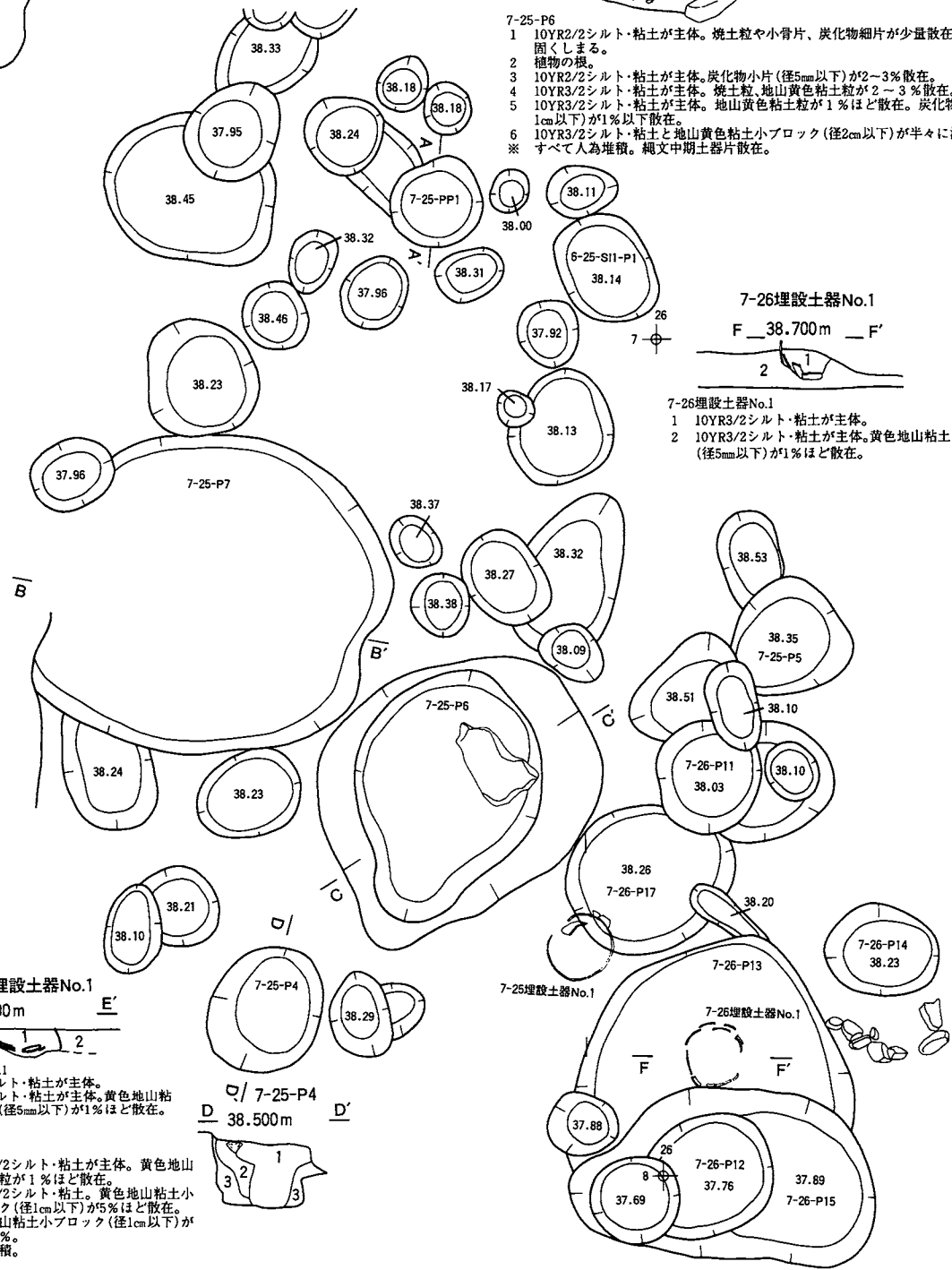
第74図 縄文各種土坑(30)



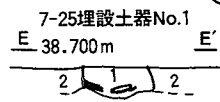
7-25-PP1  
1 単層。10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が所々にかたまってる。中塚や縄文中期土器片がいくらか散在する。固くしまる。人為堆積層。



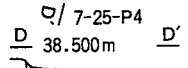
7-25-P6  
1 10YR2/2シルト・粘土が主体。焼土粒や小骨片、炭化物細片が少量散在する。固くしまる。  
2 植物の根。  
3 10YR2/2シルト・粘土が主体。炭化物小片(径5mm以下)が2-3%散在。  
4 10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土粒、地山黄色粘土粒が2-3%散在。  
5 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山黄色粘土粒が1%ほど散在。炭化物片(径1cm以下)が1%以下散在。  
6 10YR3/2シルト・粘土と地山黄色粘土小ブロック(径2cm以下)が半々に混在。  
※ すべて人為堆積。縄文中期土器片散在。



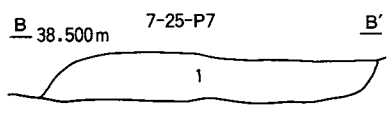
7-26埋設土器No.1  
1 10YR3/2シルト・粘土が主体。  
2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。



7-25埋設土器No.1  
1 10YR3/2シルト・粘土が主体。  
2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。

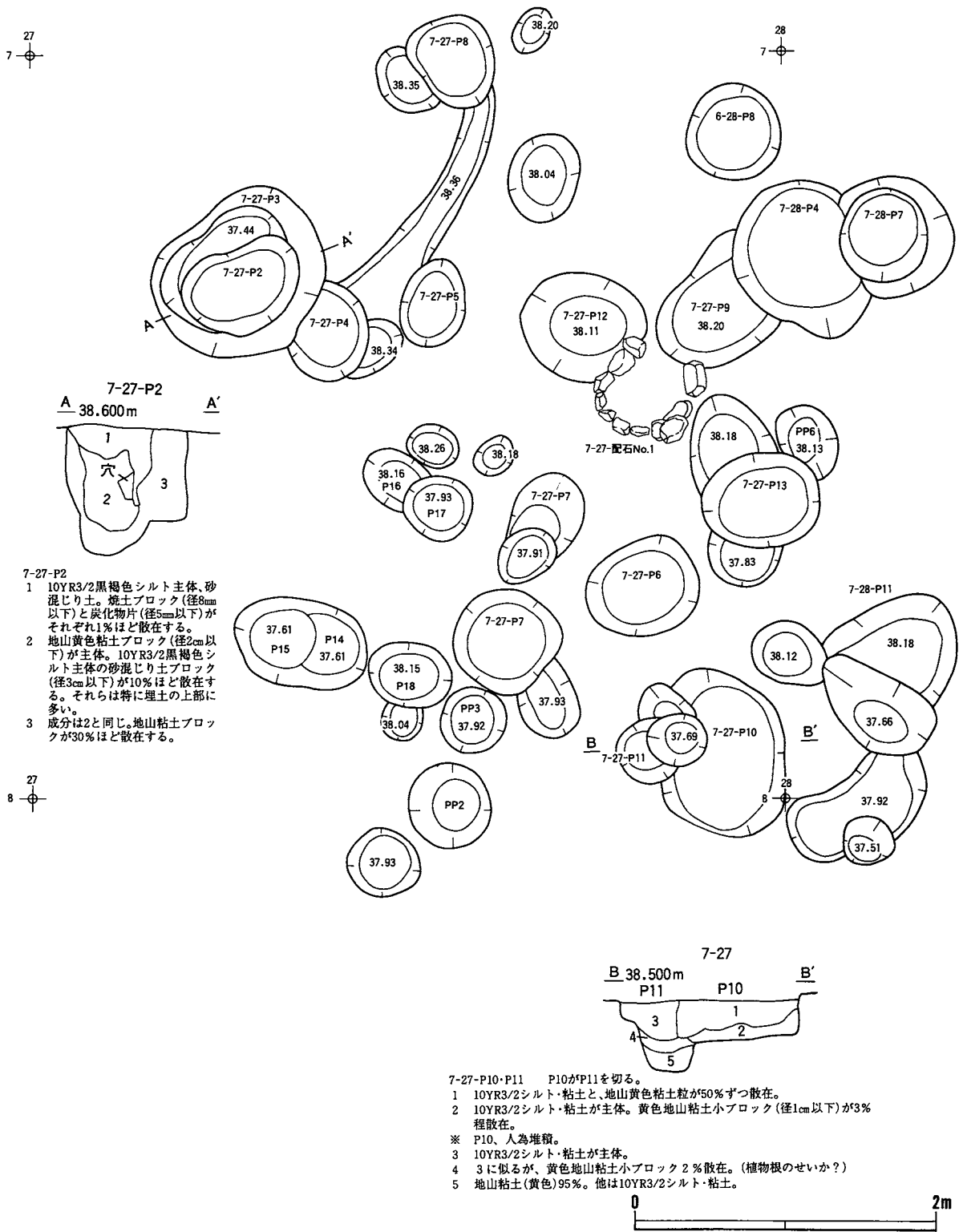


7-25-P4  
1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が1%ほど散在。  
2 10YR3/2シルト・粘土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が5%ほど散在。  
3 黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)がほぼ10%。  
※ 人為堆積。

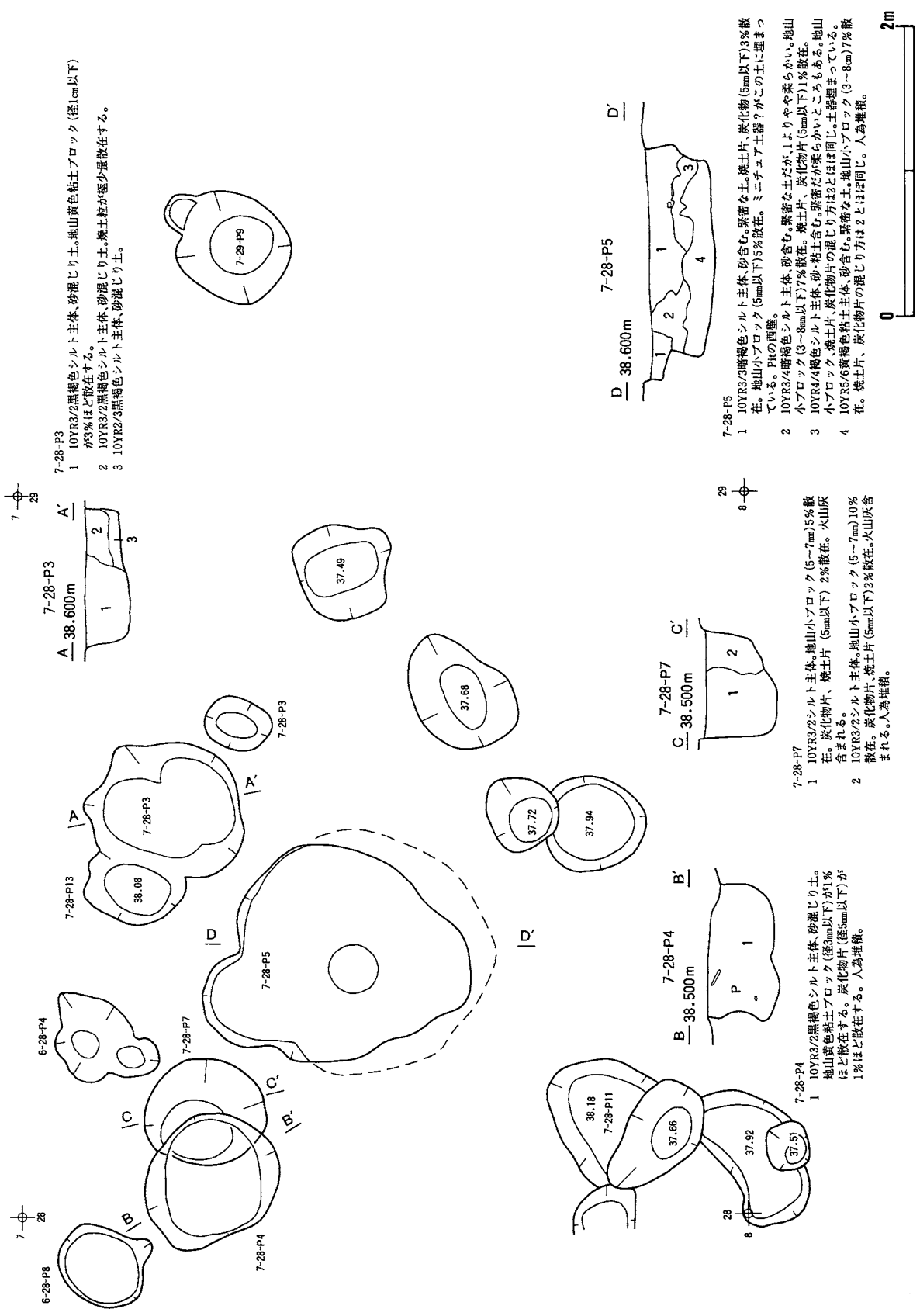


7-25-P7  
1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在する。上部には10YR2/2シルト・粘土の小ブロックも散在する。上面は平安時代の住居床面である。それより下は縄文中期の土坑である。人為的に埋められた層。固くしまる。

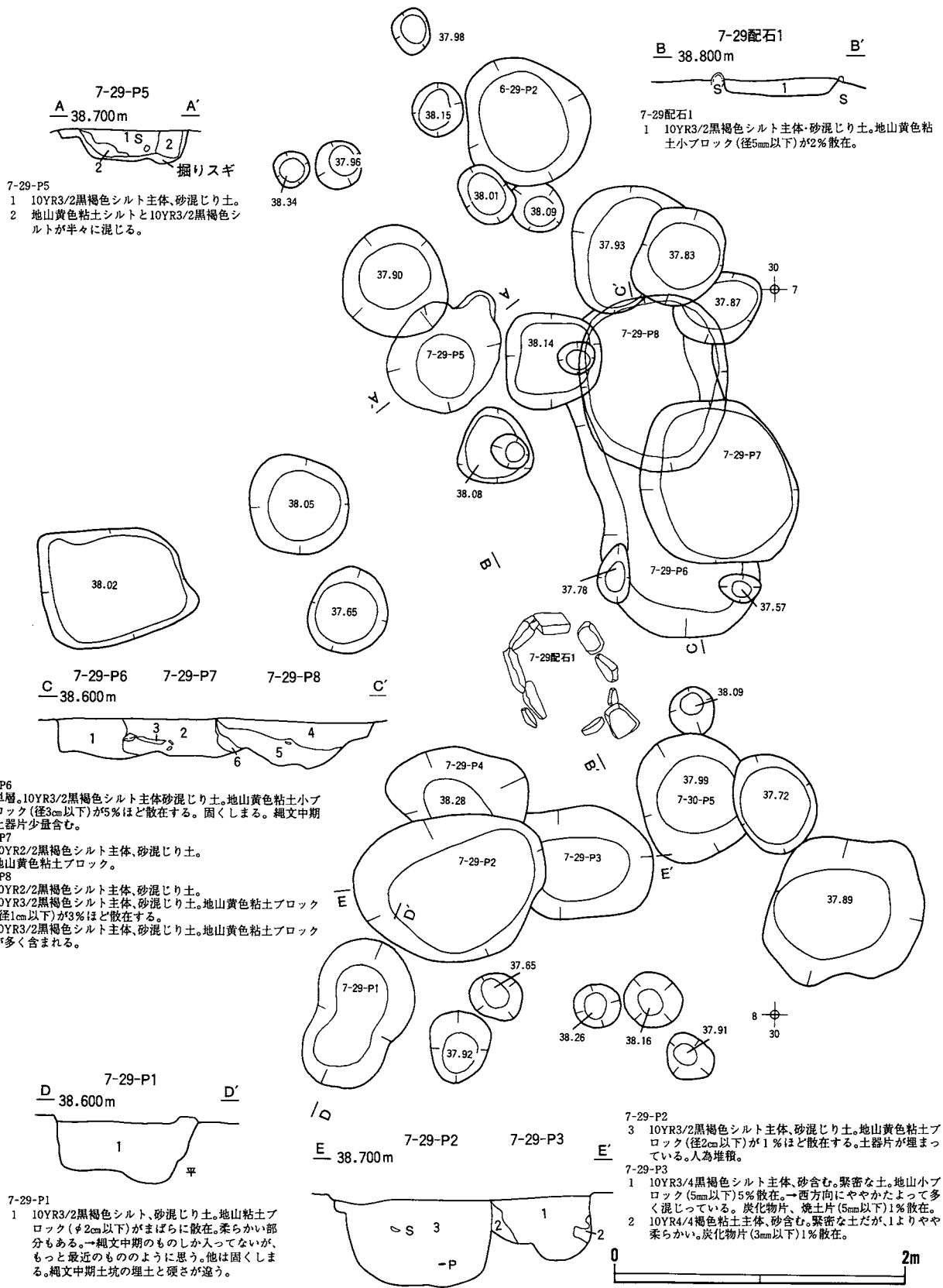
第75図 縄文各種土坑(31)



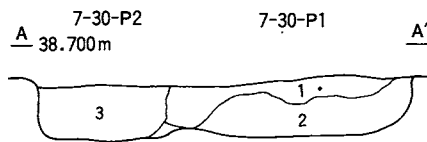
第76図 縄文各種土坑(32)



第77図 縄文各種土坑(33)



第78図 縄文各種土坑(34)

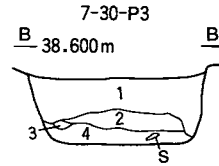


7-30-P1 7-30-P2に切られる。

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径2cm以下)が10%ほど散在する。

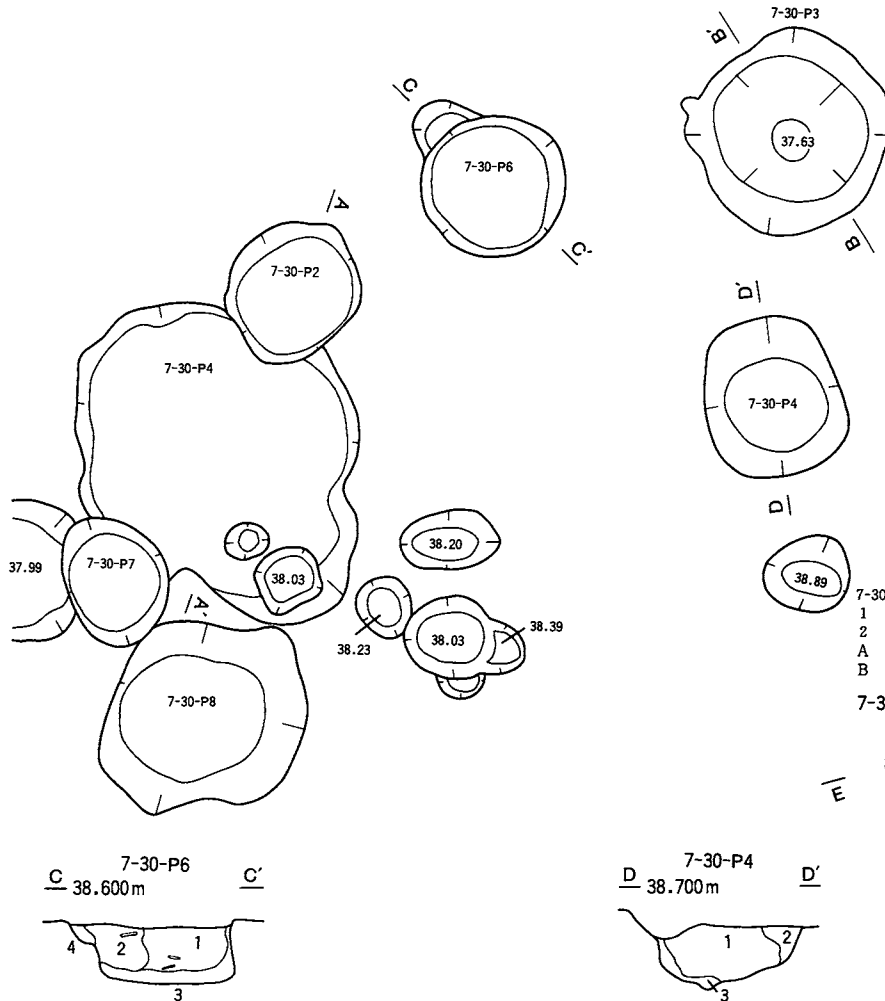
7-30-P2

- 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。10YR3/2黒褐色シルトが入る。



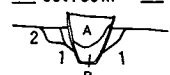
7-30-P3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、粘土・砂含む。緊密な土。地山小ブロック(5mm以下)3%散在。焼土片、炭化物片(5mm以下)1%散在。
- 2 10YR2/1黒色シルト主体、粘土・砂含む。緊密な土だが、1の土よりやや柔らかい。地山小ブロック、焼土片については1と同様。炭化物30%含まれている。
- 3 1とよく似た土。1より炭化物片やや多い。
- 4 10YR5/4にぶい黄褐色。緊密な土。粘土主体。地山小ブロック(5mm以下)3%散在。地山を深く掘っているわりに埋土への地山の混じりが少ない。人為的に埋め戻された土。a



7-30埋設土器No.1

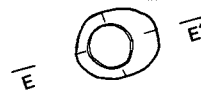
E 38.700m E'



7-30埋設土器No.1

- 1 10YR3/2シルトと地山粘土ブロックが混在。
- 2 10YR3/2シルト主体。
- A 10YR3/2シルト主体。地山粘土ブロック5%。
- B 成分はAと同じ。地山粘土ブロック2%。

7-30埋設土器No.1

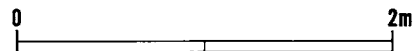


7-30-P6

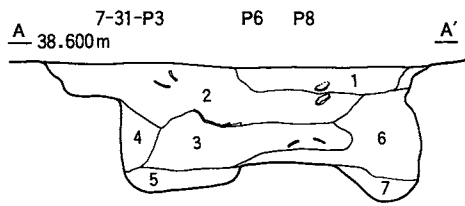
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土含む。緊密な土。地山小ブロック(5mm以下)5%散在。焼土、炭化物片(5mm以下)1%散在。

7-30-P4

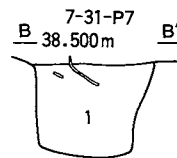
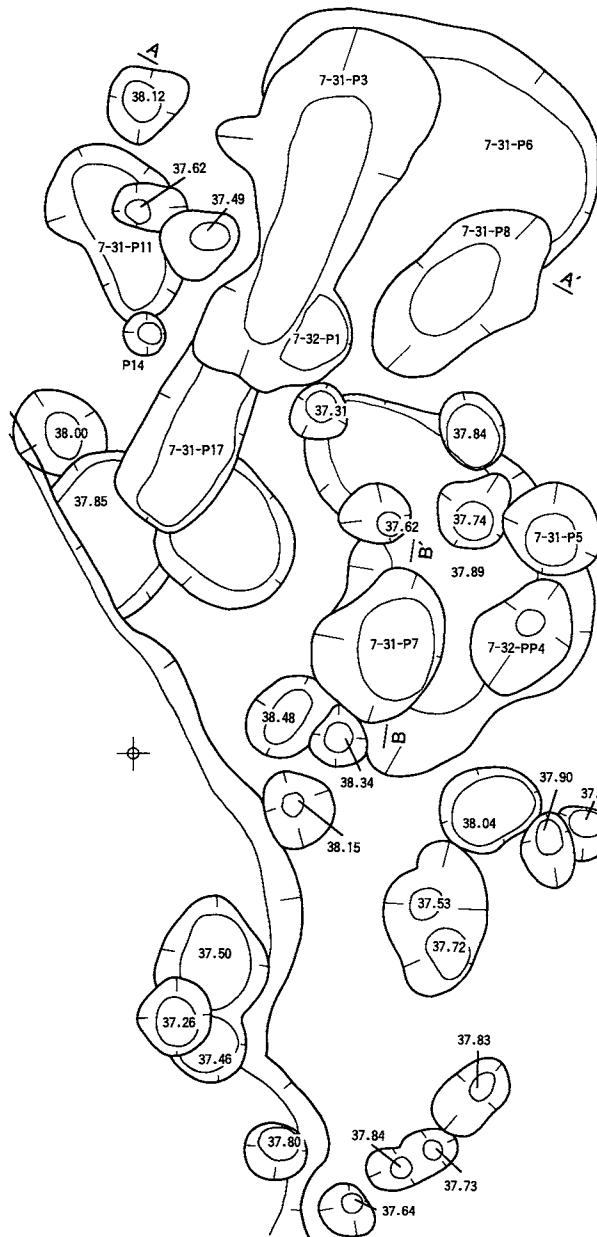
- 1 10YR3/4黒褐色シルト主体、砂含む。地山小ブロック(5mm以下)3%散在。焼土片、炭化物片(7mm以下)散在。
  - 2 10YR4/4褐色シルト主体、砂・地山粘土含む。緊密な土。地山小ブロック(3mm以下)10%散在。7-30-P4とは別Pitか？
  - 3 10YR3/3暗褐色粘土主体、砂含む。緊密な土。焼土片(5mm以下)1%以下含む。
- ※ 1と3はよく似ており、2は1・3よりやや柔らかい。7-30-P3aと同じ。



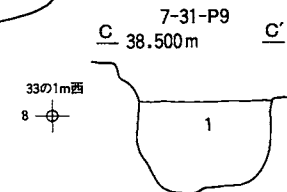
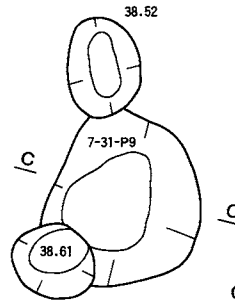
第79図 縄文各種土坑(35)



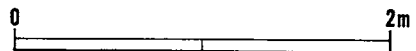
- 7-31-P3 7-31-P6を切る。
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。固くしまる。縄文時代中期土器片が多量に入る。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径3cm以下)が20%ほど散在する。固くしまるが1よりはやわらかい。
- 7-31-P6
- 3 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。土器片が水平に広がる面がある。炭化物片(径5mm以下)が3%ほど散在する。焼土粒も少量散在する。固くしまるが、1よりはやわらかい。
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が10%ほど含まれる。しまりはあるが、1よりはやわらかい。
  - 5 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。
- 7-31-P8 7-31-P7の底にある土坑。僅かなくぼみとして把握された。
- 6 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。
  - 7 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山小ブロック10%散在。



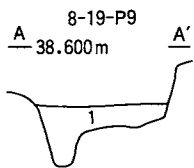
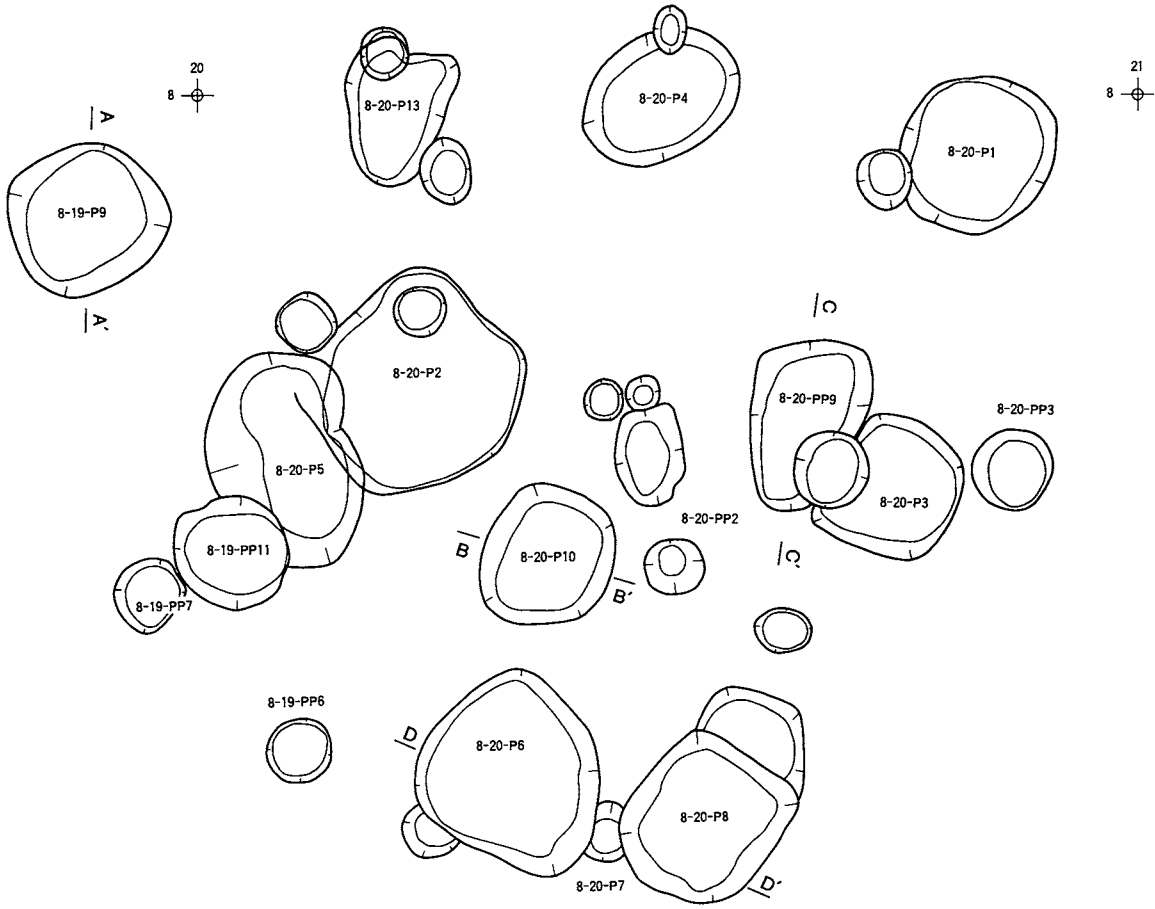
- 7-31-P7 7-32grid内にある
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂、粘土が混じる土。地山黄色粘土ブロック(径2cm以下)が2%ほど散在する。固くしまる。



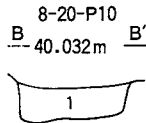
- 7-31-P9 P7に切られる。
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径2cm以下)が7%ほど散在する。固くしまる。縄文時代中期土器破片が散在する。



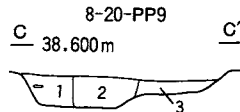
第80図 縄文各種土坑(36)



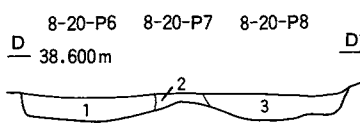
8-19-P9  
1 単層。10YR3/2黒褐色より少し暗いシルト主体。砂・粘土含む。緊密な土。地山ブロック(≠5mm以下)5%散在。炭化物(7mm以下)3%散在。人為堆積。北側の深いところは柱穴か？



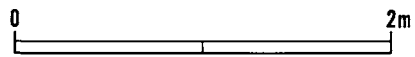
8-20-P10  
1 単層。10YR2/2黒褐色シルト主体。砂・粘土含む。緊密な土。地山ブロック(5mm以下)5%散在。炭化物(7mm以下)5%散在。人為堆積。土器片埋められている。



8-20-PP9  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂・粘土含む。  
2 主成分は1と同じ。地山粘土小ブロック(径5mm以下)が5%ほど散在する。  
3 主成分は2と同じ。地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在する。

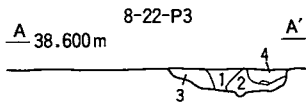


8-20-P6  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が5%ほど、炭化物片(径5mm以下)が3%ほど散在する。人為堆積。  
8-20-P7 8-20-P6とP8に切られる。  
2 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が5%ほど、炭化物片(径5mm以下)が1%ほど散在する。人為堆積。  
8-20-P8  
3 10YR2/2黒褐色シルト主体。砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が5%ほど、炭化物片(径5mm以下)が3%ほど散在する。人為堆積。



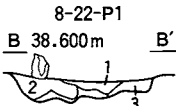
第81図 縄文各種土坑(37)





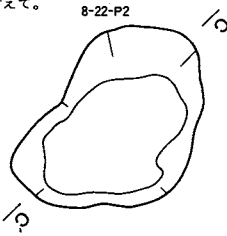
8-22-P3

- 1 10YR3/4暗褐色シルト主体、砂・粘土含む。緊密な土。炭化物片、焼土片(3mm以下)3%散在。地山小ブロック(3mm以下)2%散在。
- 2 1とよく似た土。地山小ブロック(3mm以下)3%散在。
- 3 10YR4/4褐色シルト主体、粘土・砂含む。緊密な土。地山小ブロック(径3mm以下)10%散在。炭化物片、焼土片(3mm以下)3%散在。
- 4 3とよく似た土。一部に火山灰を含む。人為堆積。

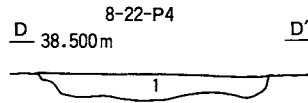
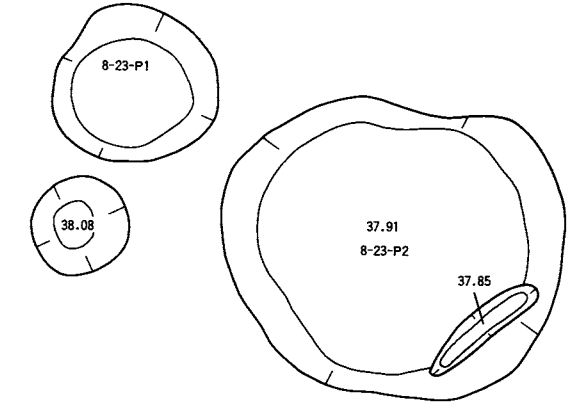
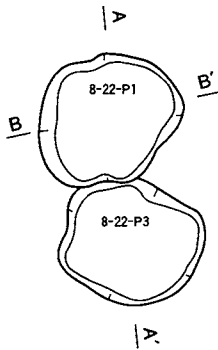


8-22-P1

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、粘土・砂混じりシルト主体。団粒あり。このPitの埋土の中では最も柔らかい。
  - 2 10YR3/3褐色シルト主体、粘土・砂混じり。固くしまる。白色地山粘土粒、黄色地山粘土粒(径8mm以下)いくらか散在。不自然な散らばり方、2%ほど。石皿片が入っていた。
  - 3 2と成分は同じだが、こちらの方が粘土ブロックが多く散在する(径1.5cm以下)5%ほど。
- ※ 1~3から、縄文中期土器片がまばらに出土。すべて人為的に埋められたと思われる。上部は削り取られているものと思われる。石皿の突出の仕方、埋土の在り方(1)から考えて。

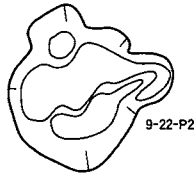


8-22-P2

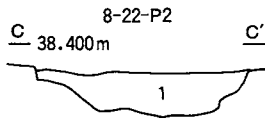


8-22-P4

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土が混じる土がMatrix。周囲の地山粘土粒や小ブロックがまばらに散在(1%)。炭化物小片(φ5mm以下)が少量散在(1%以下)。縄文中期土器小片が極めて少量散在。固く緊密。人為堆積?

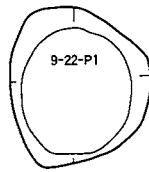


9-22-P2



8-22-P2

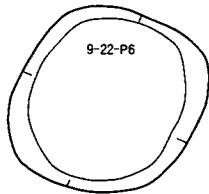
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土含む。地山粘土ブロック(径1cm以下)1%以下散在。固くしまりあり。縄文中期土器片少量含む。用途不明。



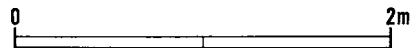
9-22-P1



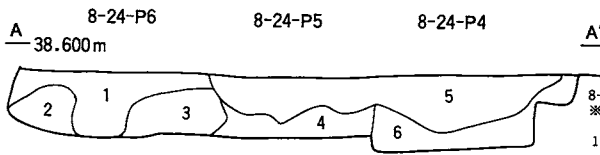
9-22-P5



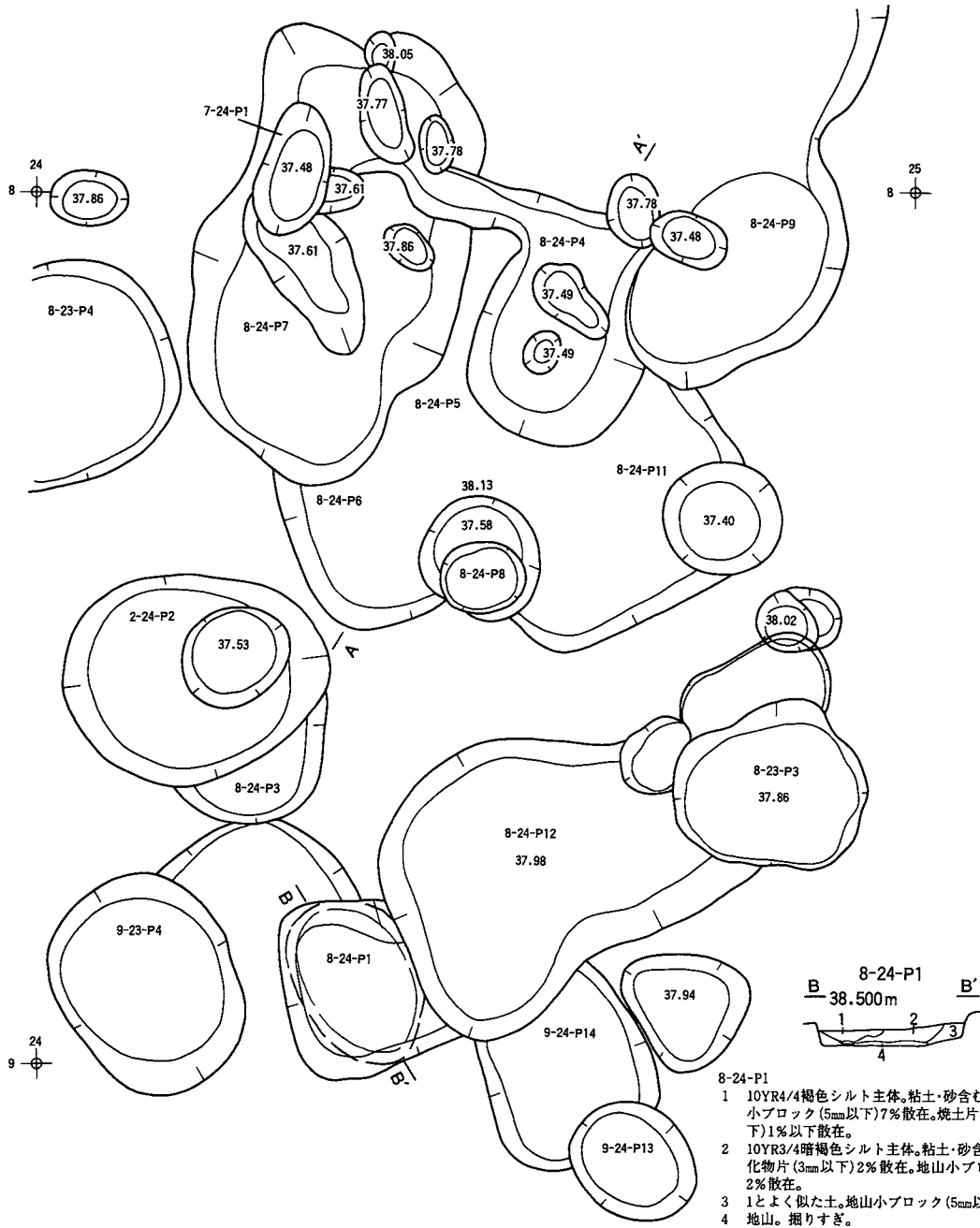
9-22-P6



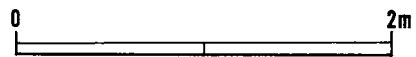
第82図 縄文各種土坑(38)



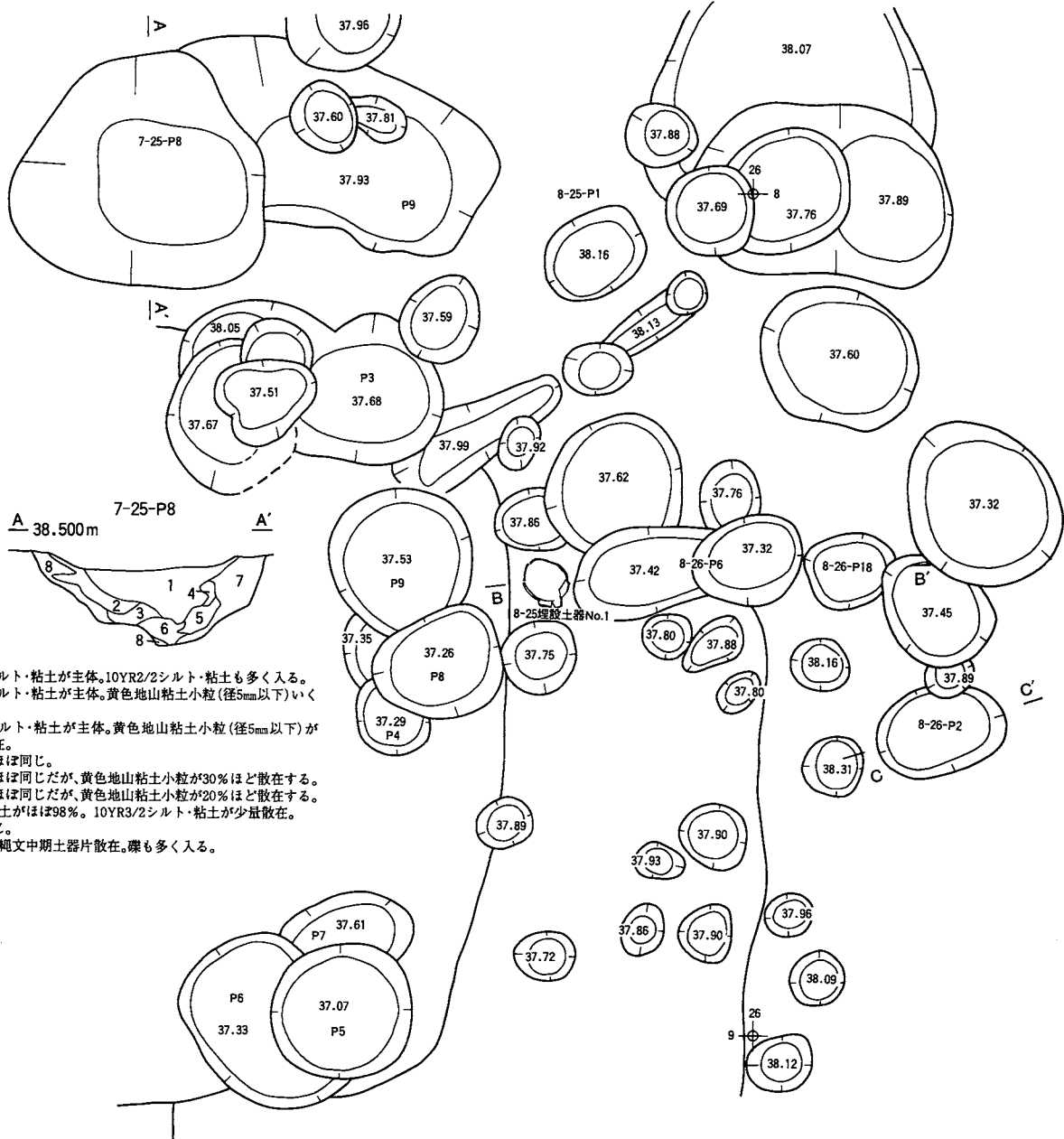
8-24-P6・P5・P4  
 ※ 3つのPitはほぼ同じ土を主体にしており、わりあい近い時期に掘り埋められたと考える。  
 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土を含む緊密な土。地山粘土(5mm以下)5%散在。炭化物片(5mm以下)3%散在。  
 2 1とほぼ同じ土主体。地山粘土(5mm以下)13%散在。炭化物片(5mm以下)1%散在。  
 3 1とほぼ同じ土主体。地山粘土(5mm以下)10%散在。炭化物片(5mm以下)3%散在。  
 4 1とほぼ同じ土主体。地山粘土(1cm以下)7%散在。2×2~3×4cm位の大きいブロックも混じる。炭化物片(1cm以下)3%散在。土器片有。  
 5 1とほぼ同じ土主体。地山粘土(1cm以下)5%散在。炭化物片(1cm以下)3%散在。  
 6 1とほぼ同じ土主体。地山粘土(1cm以下)7%散在。炭化物片(5mm以下)3%散在。  
 ※ すべて人為堆積。



8-24-P1  
 1 10YR4/4褐色シルト主体。粘土・砂含む。緊密な土。地山小ブロック(5mm以下)7%散在。焼土片、炭化物片(3mm以下)1%以下散在。  
 2 10YR3/4暗褐色シルト主体。粘土・砂含む。緊密な土。炭化物片(3mm以下)2%散在。地山小ブロック(5mm以下)2%散在。  
 3 1とよく似た土。地山小ブロック(5mm以下)1%散在。  
 4 地山。掘りすぎ。

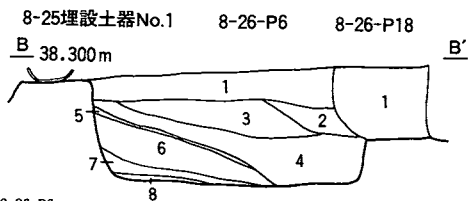


第83図 縄文各種土坑(39)

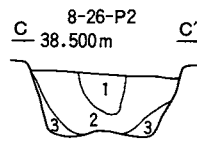


7-25-P8

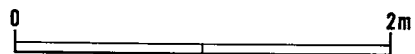
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。10YR2/2シルト・粘土も多く入る。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)いくらか散在。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)が2%ほど散在。
  - 4 成分は3とほぼ同じ。
  - 5 成分は3とほぼ同じだが、黄色地山粘土小粒が30%ほど散在する。
  - 6 成分は3とほぼ同じだが、黄色地山粘土小粒が20%ほど散在する。
  - 7 黄色地山粘土がほぼ98%。10YR3/2シルト・粘土が少量散在。
  - 8 7とほぼ同じ。
- ※ 人為堆積。縄文中期土器片散在。礫も多く入る。



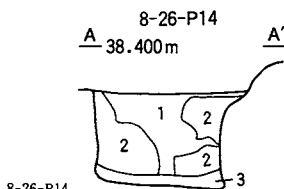
- 8-26-P6
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック20%ほど固くしめる。
  - 3 黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が95%ほど、10YR3/2シルト・粘土が散在する。固くしめる。
  - 4 成分は3とほぼ同じだが、3と4の境界に。
  - 5 10YR3/2シルト・粘土が主体。
  - 6 成分は4とほぼ同じ。
  - 7 成分は5とほぼ同じ。
  - 8 成分は4とほぼ同じ。
- ※ 人為堆積層。縄文中期土器片含む。
- 8-26-P18
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体。砂混じり土。地山黄色粘土小ブロックが散在する。



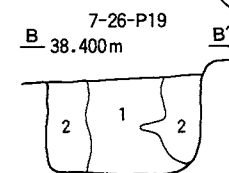
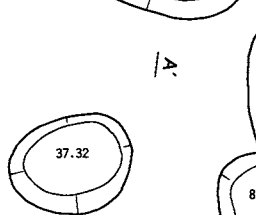
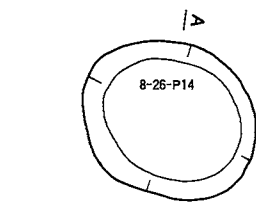
- 8-26-P2
- 1 10YR3/2黒褐色。緊密な土。粘土主体、砂含む。焼土片、炭化物片(5mm以下)1%散在。地山小ブロック(5mm以下)3%散在。
  - 2 1とよく似た土。地山小ブロック(0.5~1.5cm)10%散在。焼土片(5mm以下)1%以下、炭化物片(5~8mm)3%散在。
  - 3 地山(掘りすぎ)。



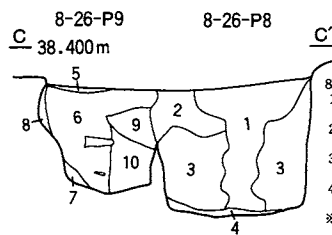
第84図 縄文各種土坑(40)



- 8-26-P14
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)が3%ほど散在する。固くしまる。
  - 2 10YR4/4, 10YR3/2シルト・粘土、地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が1/3ずつ混在する。固くしまる。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土。粘土が多い。固くしまる。
- ※ 人為堆積。縄文中期土器片混在。

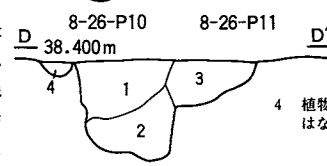


- 7-26-P19
- 1 柱痕跡状。10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径3mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。柱痕跡状ではあるが、地山諸雨竜が全体に散在しているところから人為堆積層かとも思える。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が7%ほど散在。炭化物小片(径mm以下)が極少量散在。固くしまる。人為堆積。

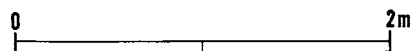


- 8-26-P9
- 5 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山粘土が半々に混在。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。大礫、縄文中期土器片比較的多く含む。
  - 7 地山粘土小ブロック95%ほど、残りは10YR3/2シルト・粘土。
  - 8 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。
  - 9 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。
  - 10 成分は9とほぼ同じ。地山粘土小ブロック(径2cm以下)が70%ほど入る。
- ※ 5~10、すべて人為堆積。

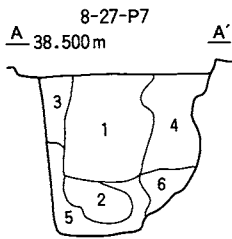
- 8-26-P8
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小粒1%以下散在。上部は固くしまるが、下半部は柔らかい。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小粒(径5mm以下)10%ほど散在。固くしまる。
  - 3 黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が95%ほど、残りは10YR3/2シルト・粘土。
  - 4 成分は3と同じだが、3よりも10YR3/2シルト・粘土が多い。
- ※ 1~4、すべて人為堆積か? → 1は坑状のものかもしれない。



- 8-26-P10
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以上)が10%ほど散在。固くしまる。
  - 2 成分は1と同じ。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在。
  - 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。
- 4 植物の根か?(遺構ではない。)

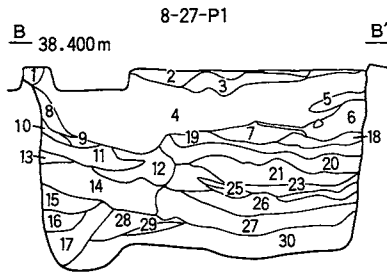
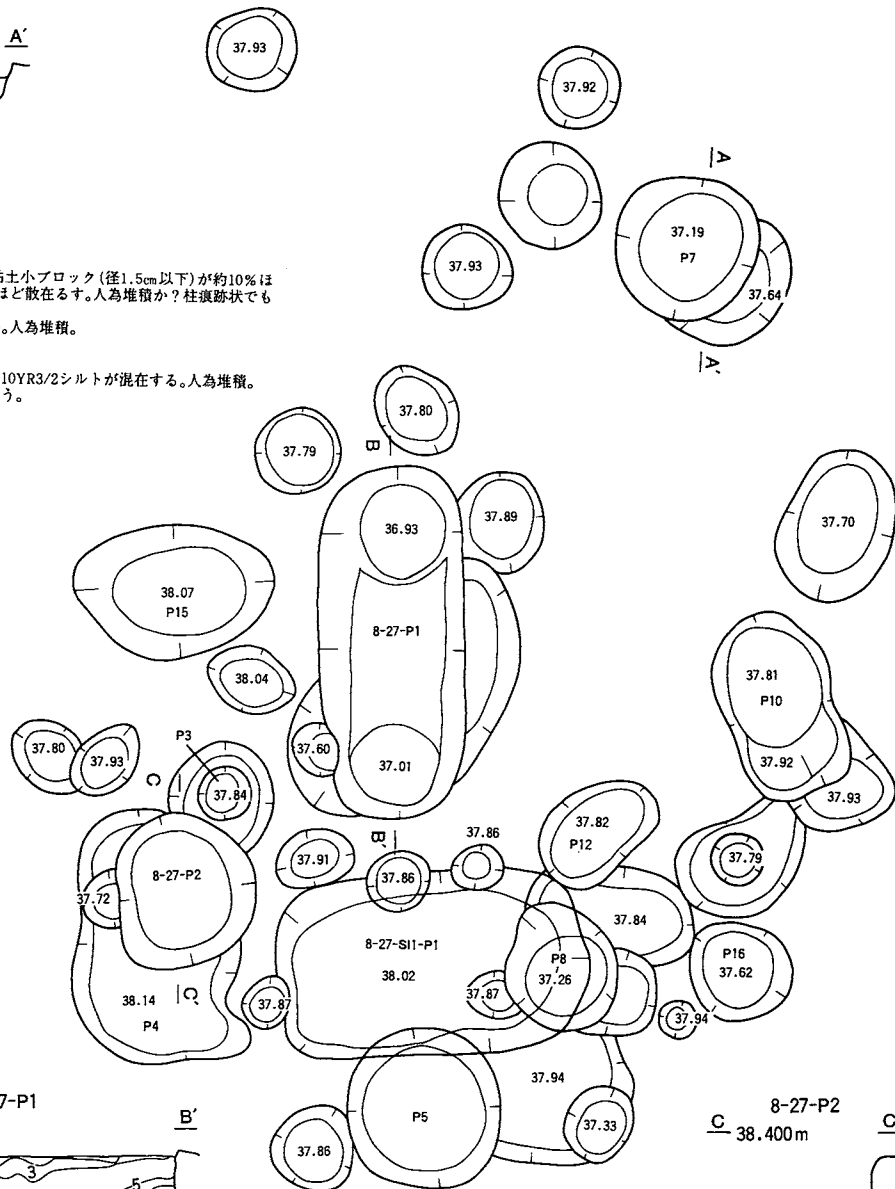


第85図 縄文各種土坑(41)



8-27-P7

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土小ブロック(径1.5cm以下)が約10%ほど散在。炭化物片(径5mm以下)が1%ほど散在する。人為堆積か?柱痕跡状でもある。
- 2 成分は1に近いが、炭化物片入らない。人為堆積。
- 3 2とほぼ同じ。人為堆積
- 4 2とほぼ同じ。人為堆積。
- 5 黄色地山粘土が99%ほど、柔らかい。10YR3/2シルトが混在する。人為堆積。
- 6 黄色地山。やわらか。だが地山であろう。



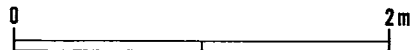
8-27-P1

- 1 10YR2/1黒色粘土・シルトと、黄色地山粘土が半々に混在。固くしなる。平安時代の貼床埋土。
  - 2 10YR2/1黒色粘土、10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)がわずかに散在。平安住居跡床。
  - 3 成分は1・2と同じだが、地山粘土・砂が80%ほど。平安時代の床か?
  - 4 成分は1・2と同じ。地山はほとんど入らない。
  - 5 成分は1・2と同じ。地山小粒が1%ほど散在する。
  - 6 成分は1・2と同じ。地山小粒が1%ほど散在する。
- ※ 1-6、平安のものか?人為堆積。

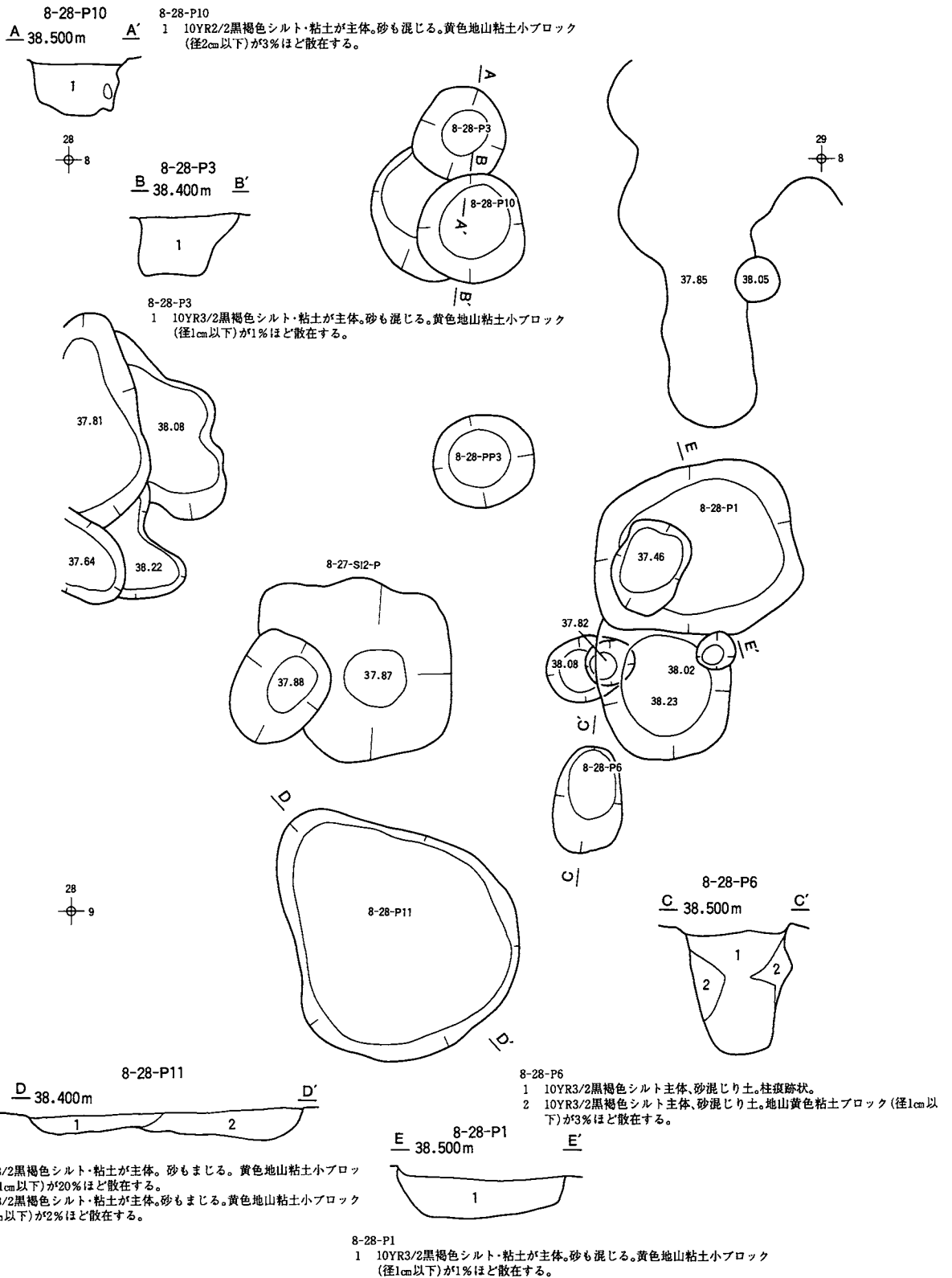
- 7 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒が3%ほど散在。
  - 8 成分は5とほぼ同じ。
  - 9 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山小粒が1%ほど散在。
  - 10 成分は9とほぼ同じ。黄色地山小ブロック(径1cm以下)が90%ほど散在。
  - 11 成分は9とほぼ同じ。黄色地山小粒が20%ほど散在。
  - 12 成分は9とほぼ同じ。黄色地山小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在。
  - 13 成分は10とほぼ同じ。
  - 14 成分は11とほぼ同じ。黄色地山小ブロック(径2cm以下)が5%ほど散在。
  - 15 成分は11とほぼ同じ。
  - 16 地山小ブロックほぼ100%。崩壊土。
  - 17 成分は14とほぼ同じ。
  - 18 黄色地山シルト・粘土、砂、崩壊土。
  - 19 成分は9とほぼ同じ。
  - 20 18と同じ。だがしかし、10YR3/2シルト・粘土入る。
  - 21 18と同じ。地山は粘土が多い。
  - 22 成分は18とほぼ同じ。
  - 23 成分は14とほぼ同じ。
  - 24 10YR4/4褐色シルト・粘土と黄色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が50%ほど散在。
  - 25 24とほぼ同じ。
  - 26 21とほぼ同じ。
  - 27 23とほぼ同じ。
  - 28 21とほぼ同じ。
  - 29 21とほぼ同じ。少しだけ10YR3/2シルト・粘土が入る。
  - 30 21とほぼ同じ。
- ※ 7-30、すべて自然堆積。

8-27-P2

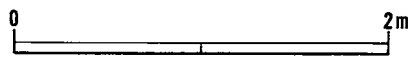
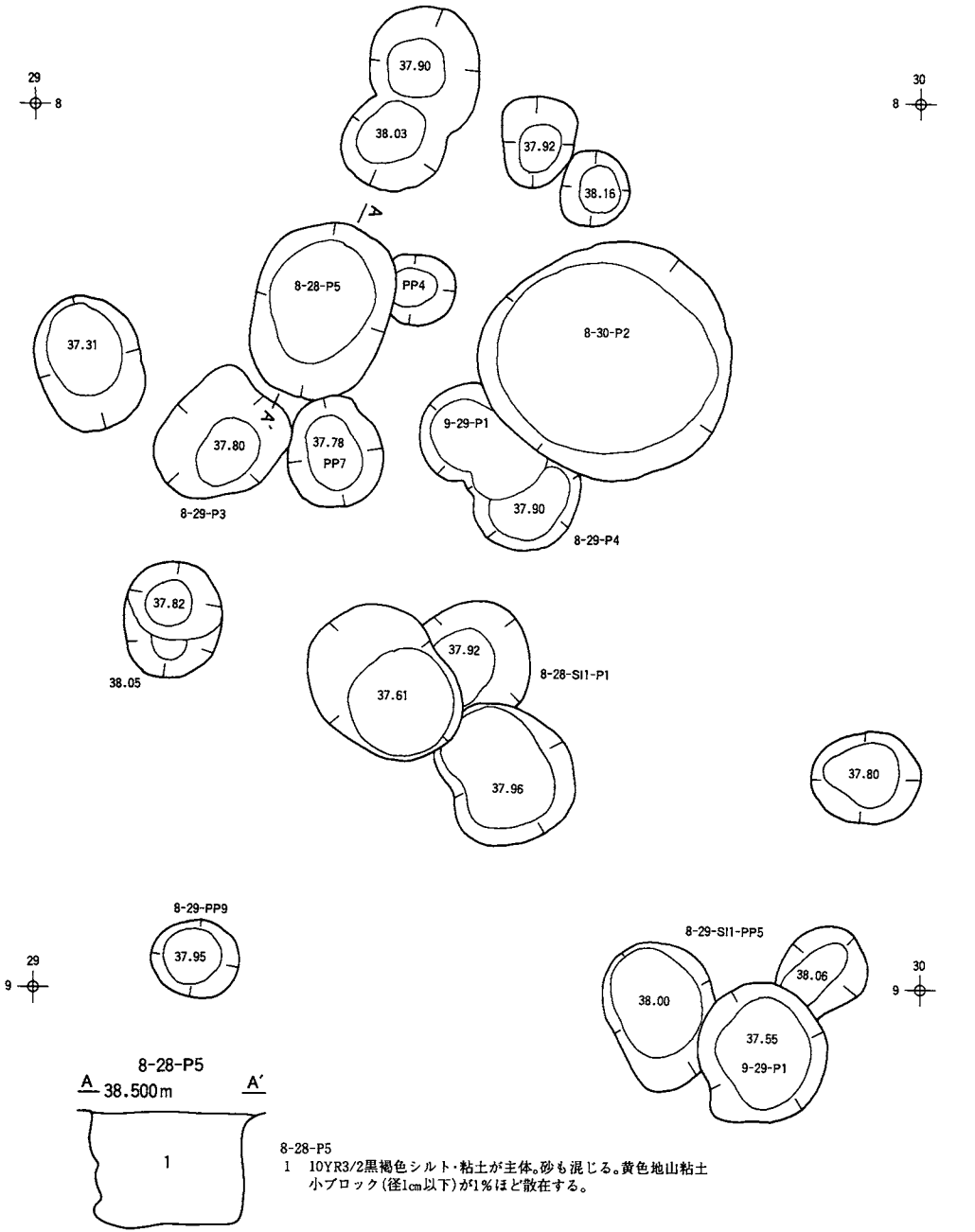
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在する。



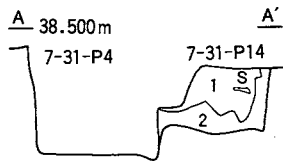
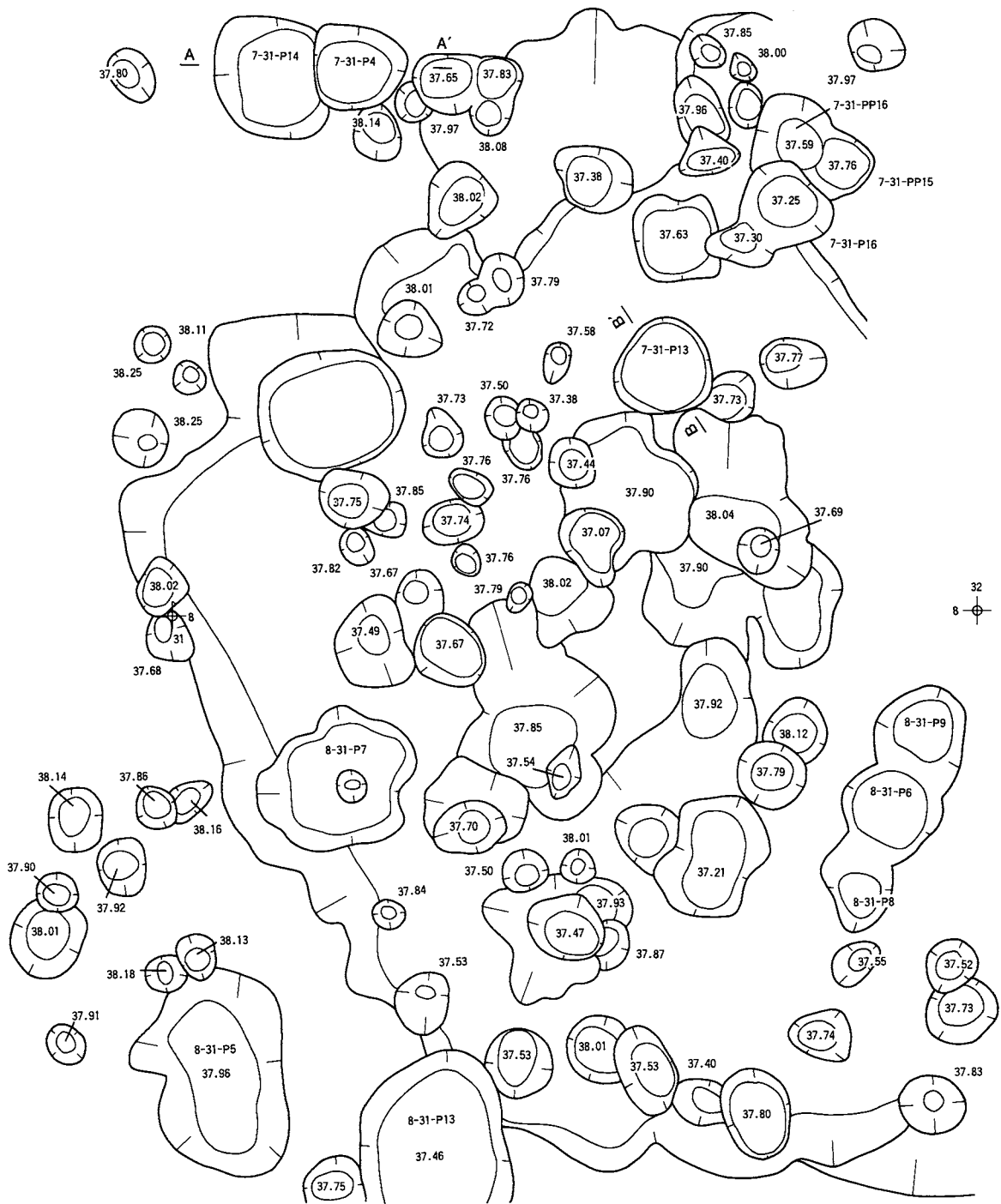
第86図 縄文各種土坑(4)



第87図 縄文各種土坑(43)

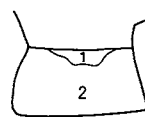


第88図 縄文各種土坑(44)

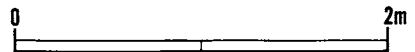


- 7-31-P14
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在する。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。地山黄色粘土ブロックが5%ほど散在する。

7-31-P13  
B 38.400m B'

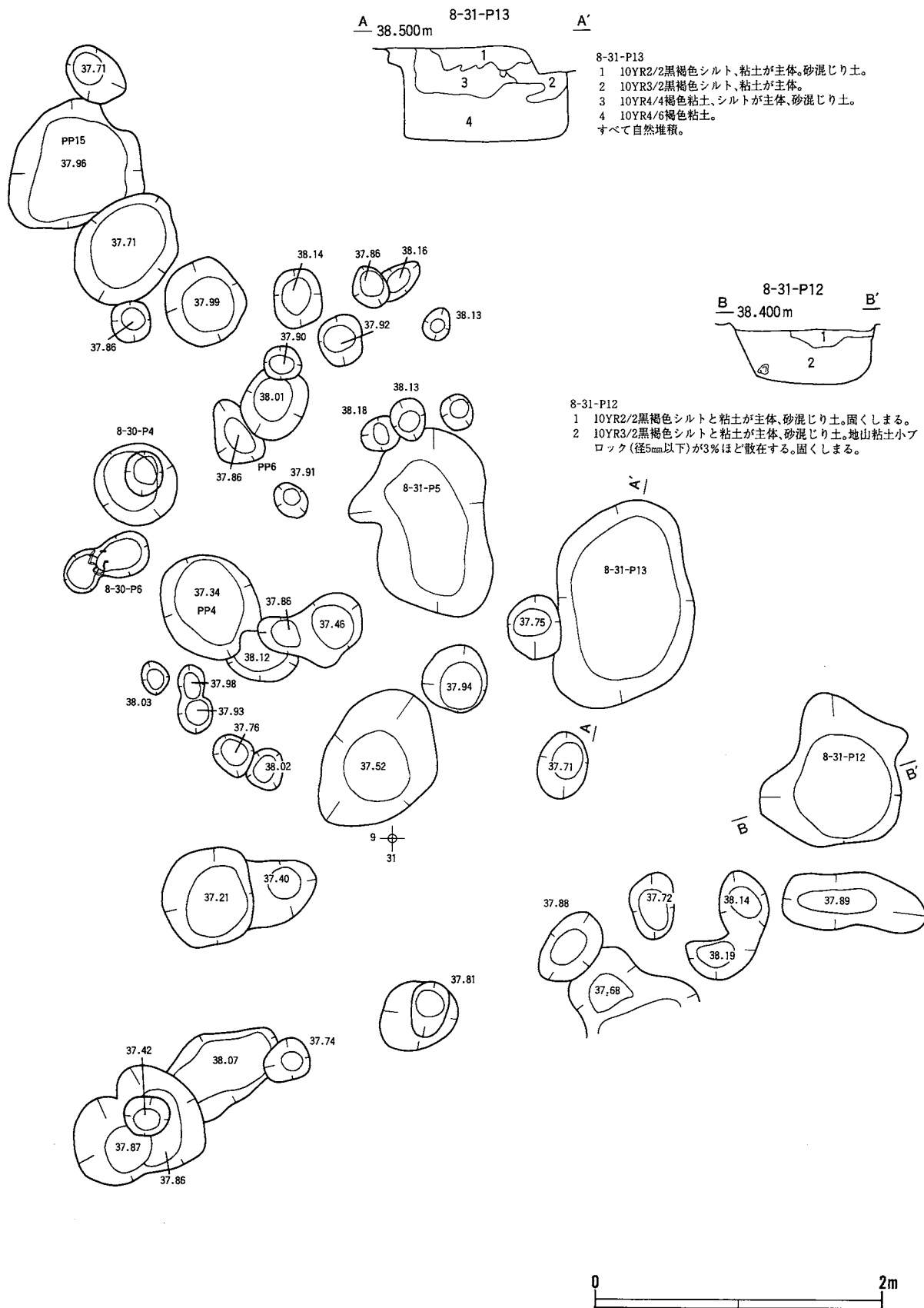


- 7-31-P13
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。炭化物片少量含む。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック2%散在。

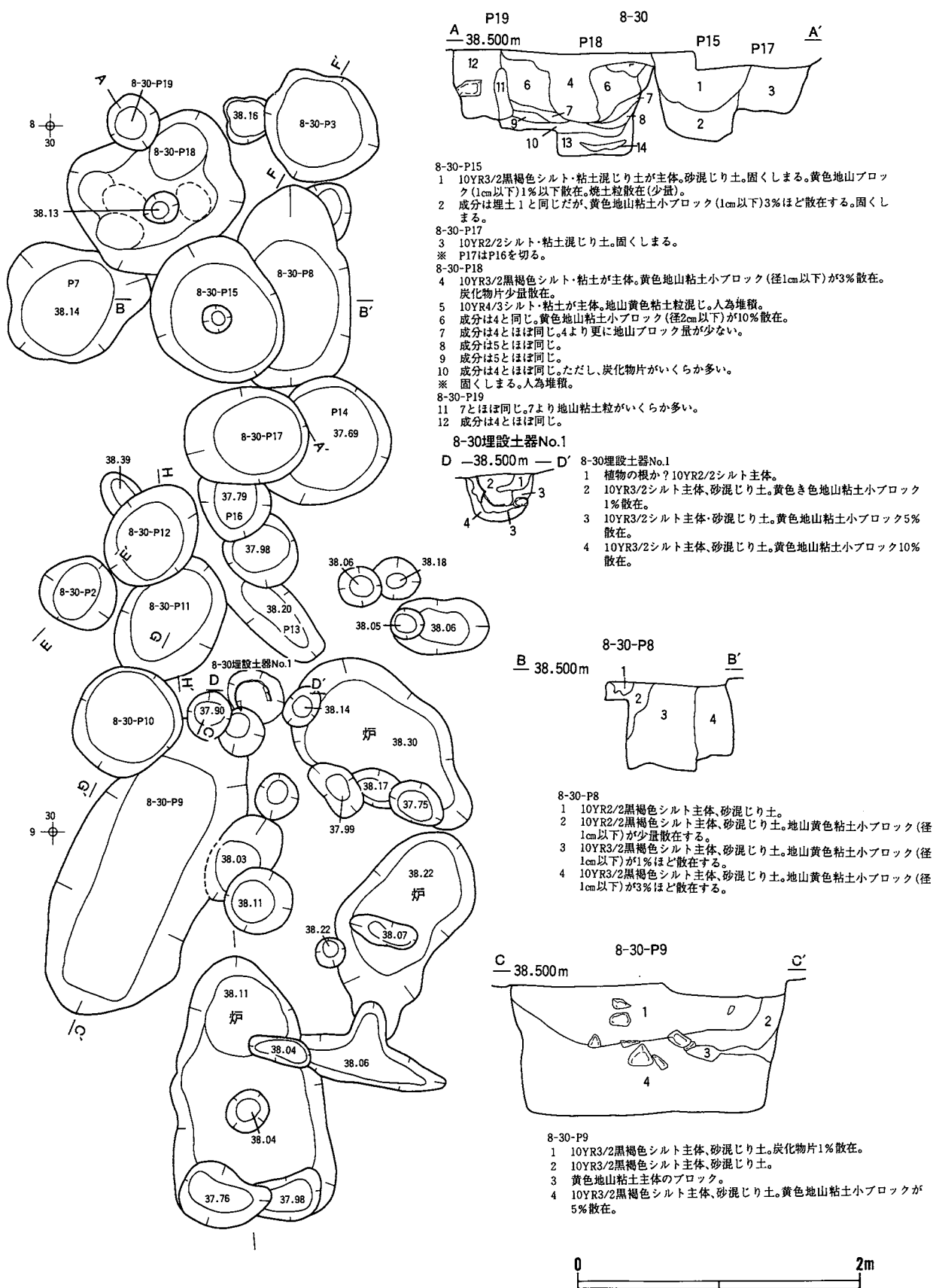


第89図 縄文各種土坑(45)

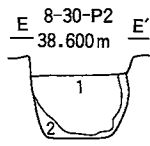




第90図 縄文各種土坑(46)

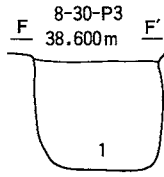


第91図 縄文各種土坑(47)



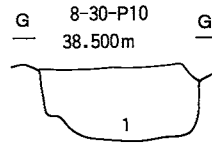
8-30-P2

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。固くしまる。灰白色の火山灰のような土がブロック状に入っている。
- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体の砂・粘土混じり土。地山小ブロック(径1.5cmほど)が40%ほど散在。1に比べると柔らかい。



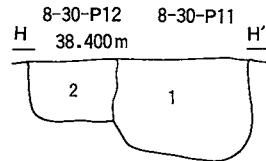
8-30-P3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在している。固くしまる



8-30-P10

- 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土混じり土が主体。砂も混じる。固くしまる。黄褐色地山小ブロック(径1cm以下)

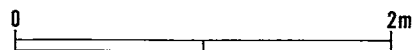


8-30-P11 8-30-P12を切る。

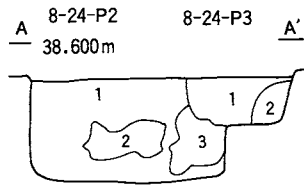
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が3%ほど散在している。固くしまる。

8-30-P12 8-30-P11に切られる。

- 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が1%ほど散在している。固くしまる。



第92図 縄文各種土坑(48)

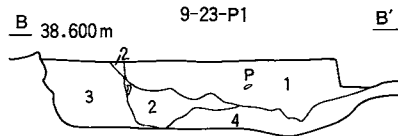


8-24-P2

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。地山小ブロック（径2cm以下、1cmほどが主）1%以下散在。固く緊密。炭化物片（径5mm以下）少量散在。
  - 2 1と成分は同じだが、地山ブロックや地山土粒が多い。1よりも柔らかい。地山が50%ほど。
  - 3 1と成分は同じだが、95%くらいが地山起源の土、固く緊密。
- ※ 人為堆積。縄文中期土器片やフレイクをいくらか含む。

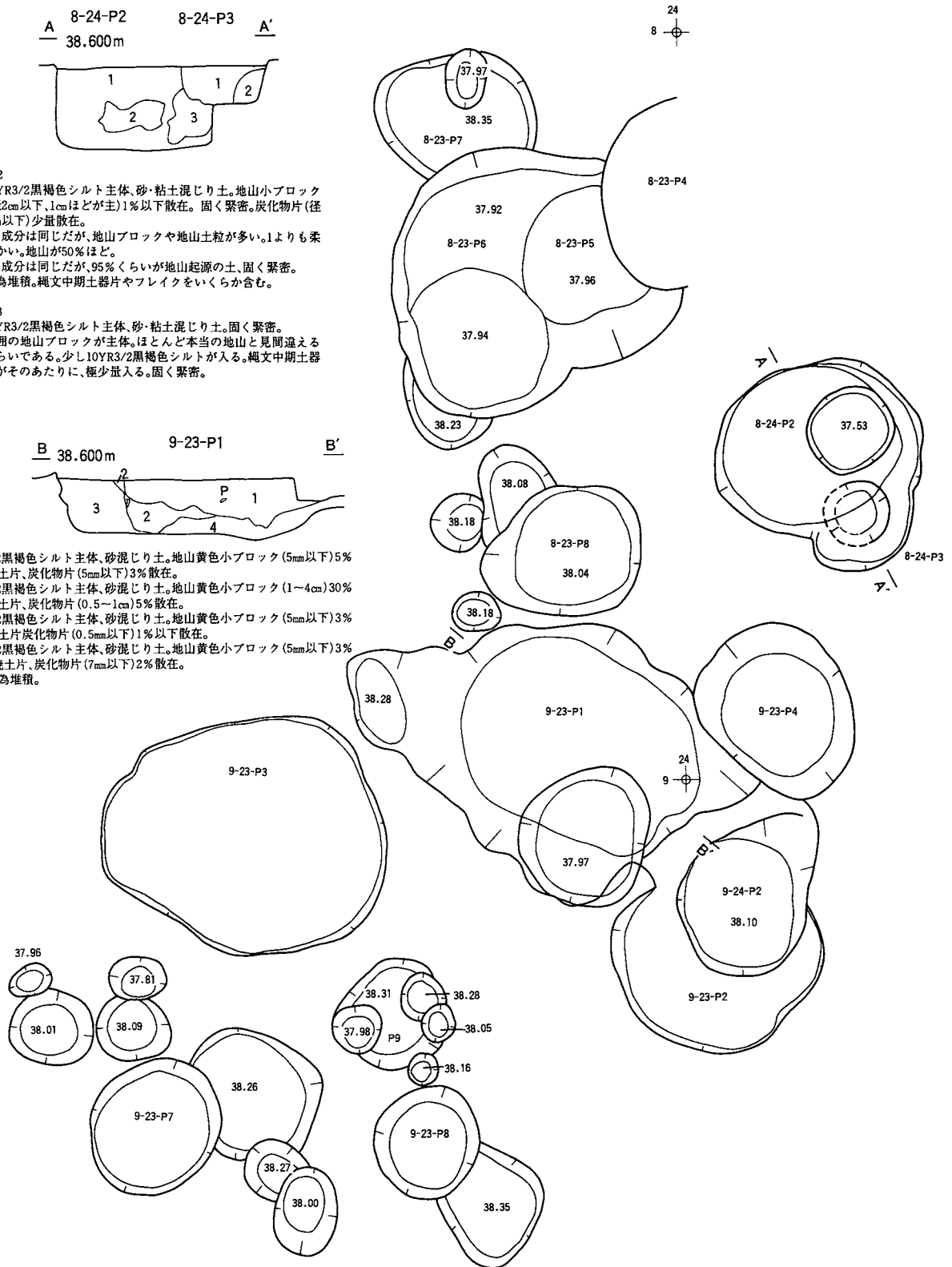
8-24-P3

- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。固く緊密。
- 2 周囲の地山ブロックが主体。ほとんど本当の地山と見間違えるくらいである。少し10YR3/2黒褐色シルトが入る。縄文中期土器片がそのあたりに、極少量入る。固く緊密。

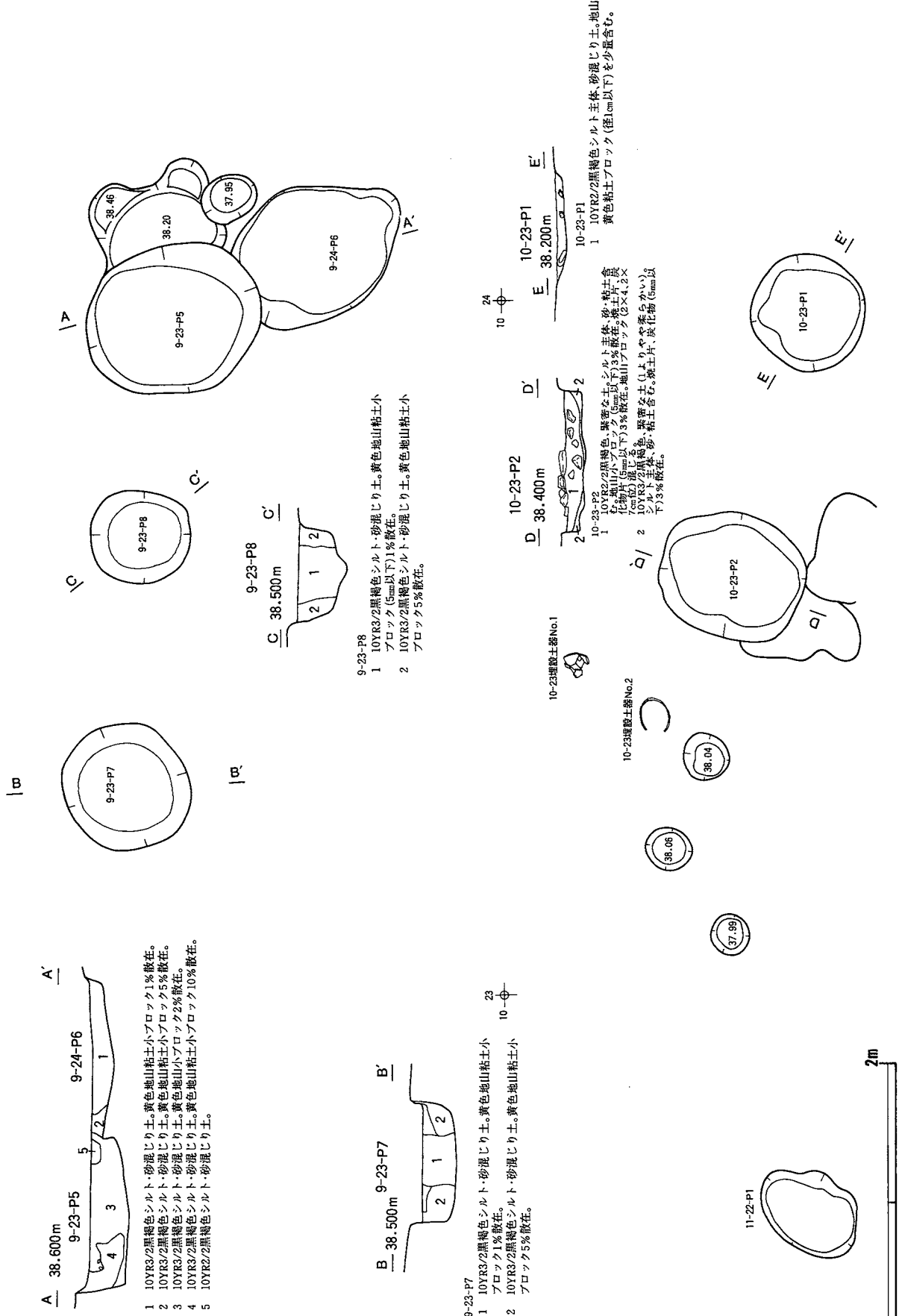


9-23-P1

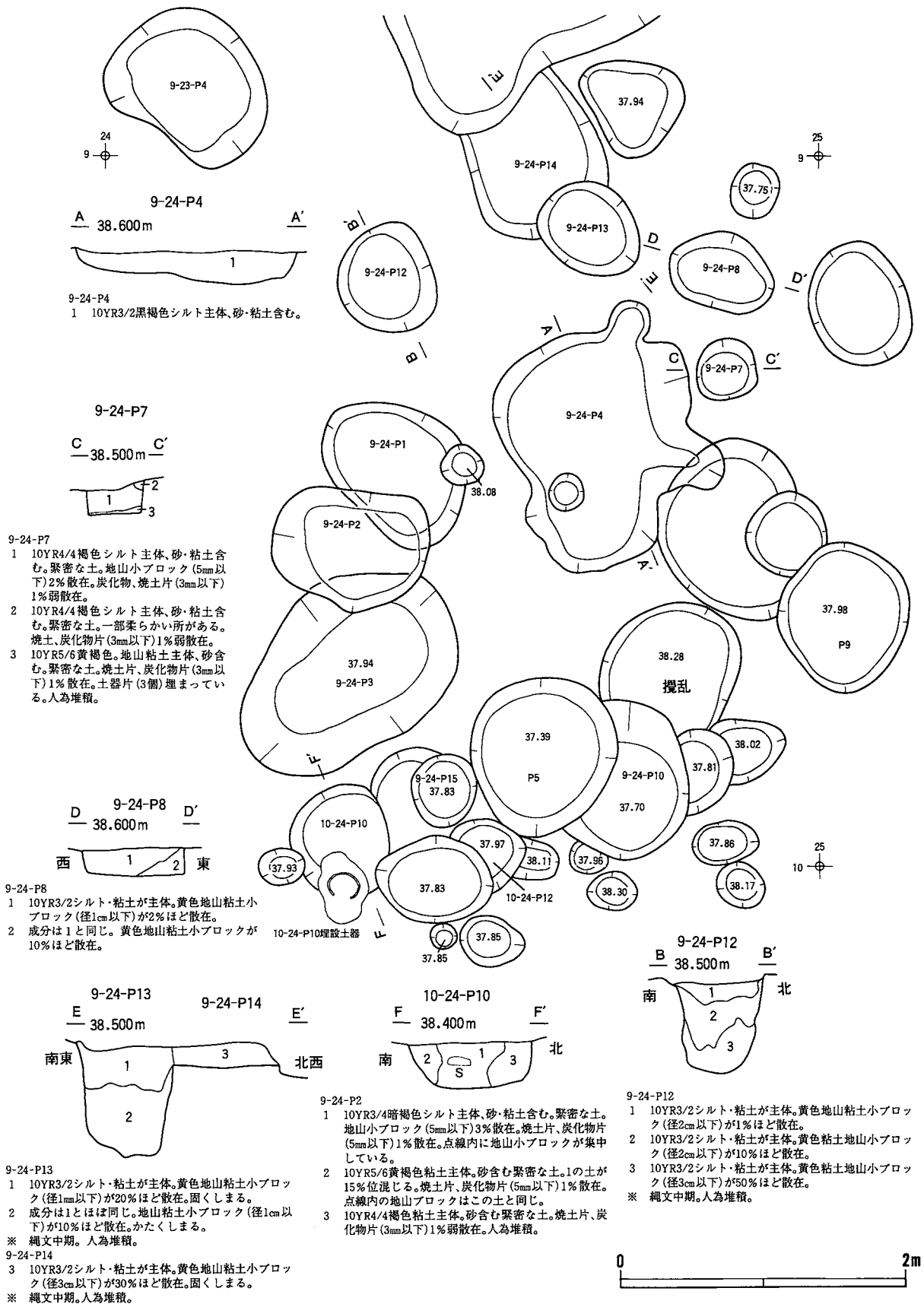
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色小ブロック（5mm以下）5%散在。焼土片、炭化物片（5mm以下）3%散在。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色小ブロック（1-4cm）30%散在。焼土片、炭化物片（0.5-1cm）5%散在。
  - 3 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色小ブロック（5mm以下）3%散在。焼土片炭化物片（0.5mm以下）1%以下散在。
  - 4 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色小ブロック（5mm以下）3%散在。焼土片、炭化物片（7mm以下）2%散在。
- ※ すべて人為堆積。



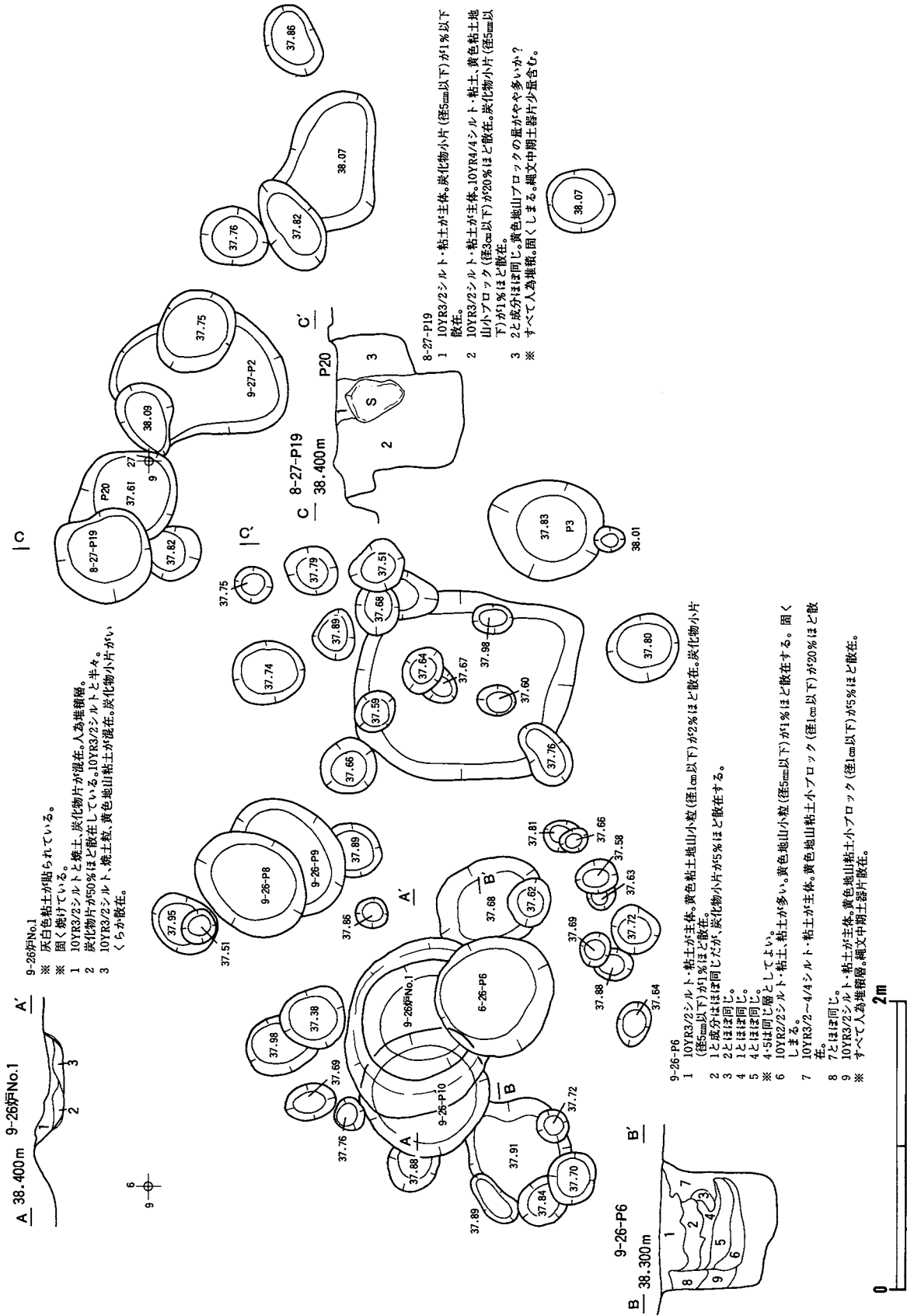
第93図 縄文各種土坑(49)



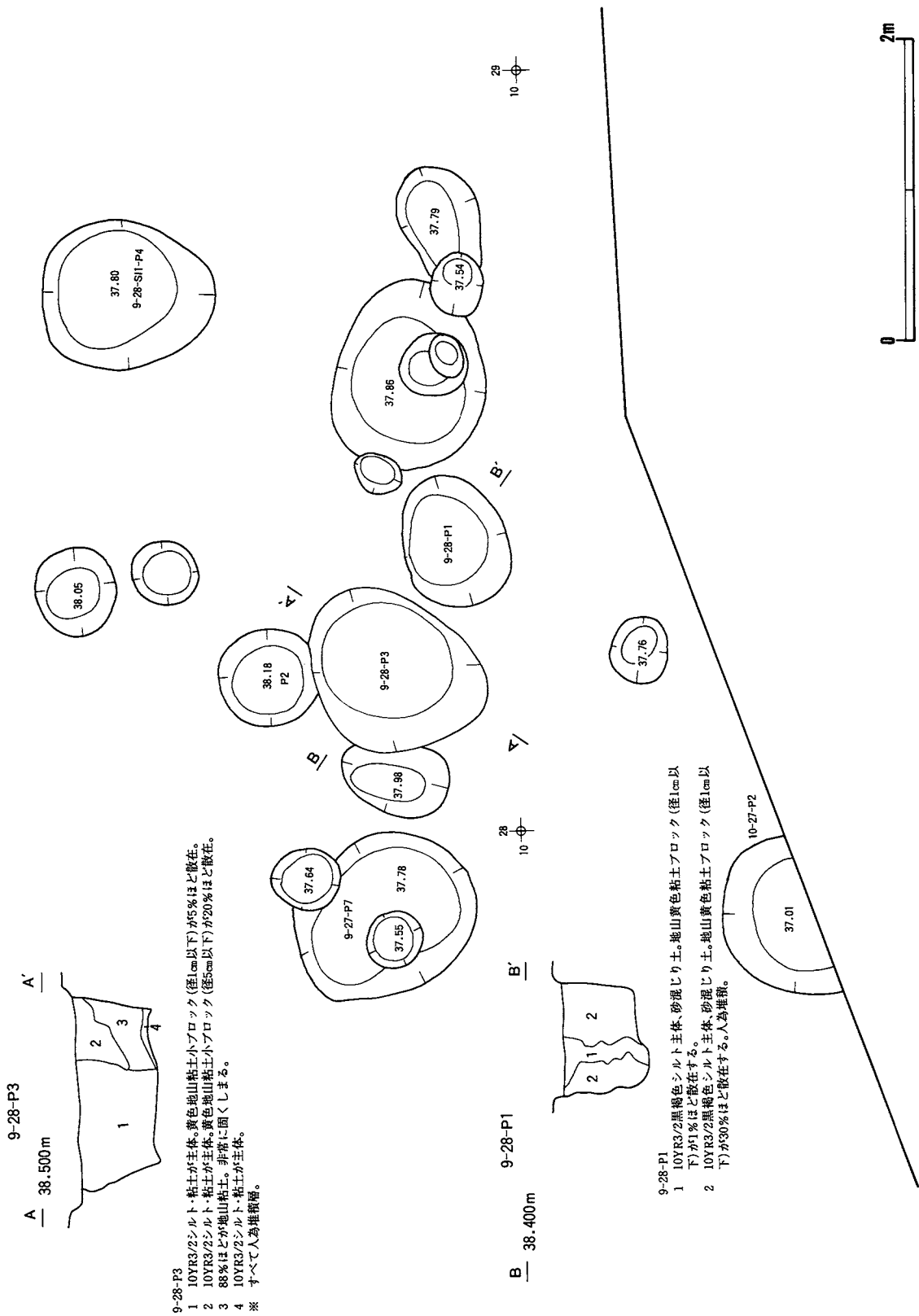
第94図 縄文各種土坑(50)



第95図 縄文各種土坑(51)



第96図 縄文各種土坑(52)

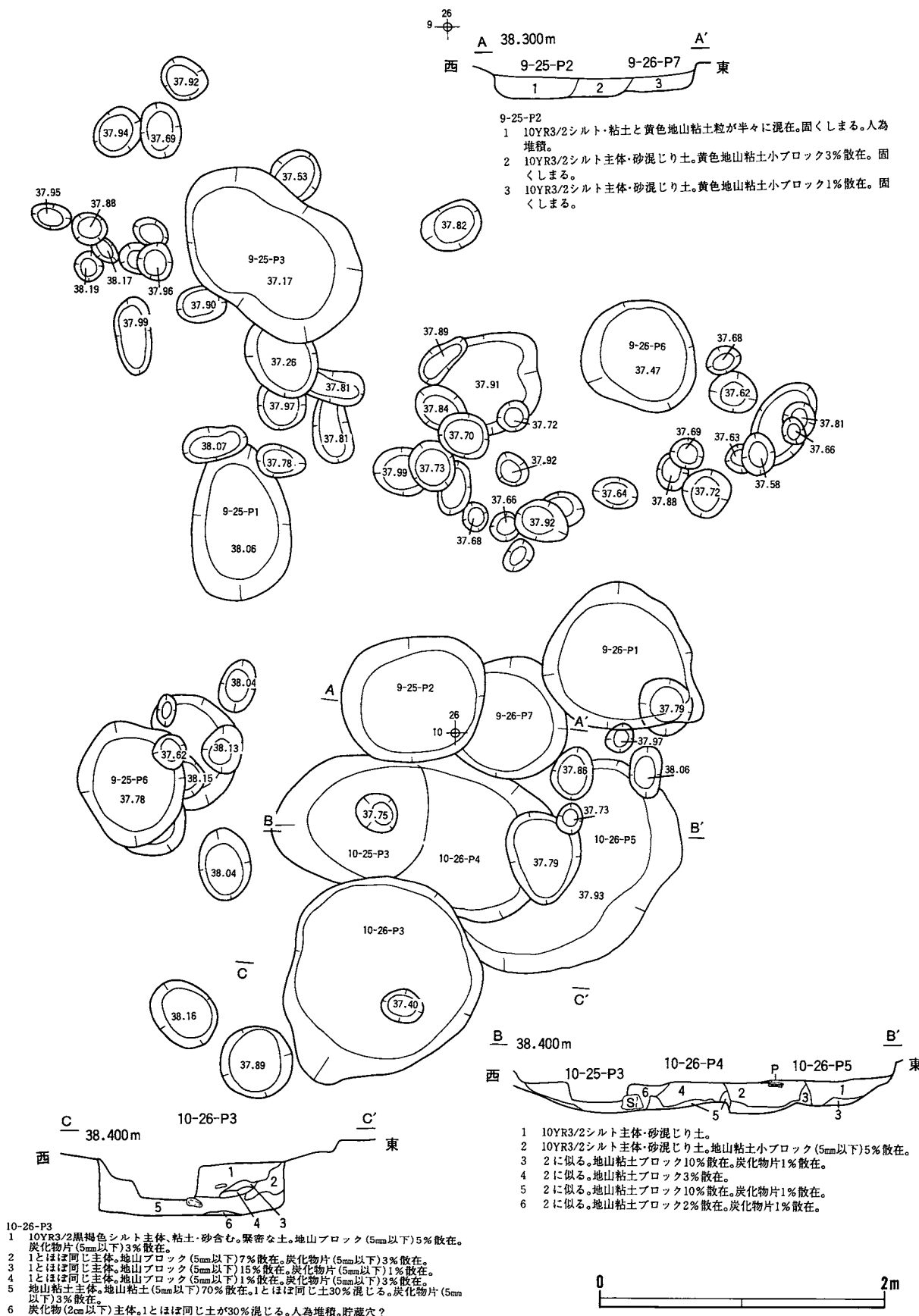


- 9-28-P3
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック (径1cm以下) が5%ほど散在。
  - 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック (径5cm以下) が20%ほど散在。
  - 3 88%ほどが地山粘土。非常に固くしまる。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。
- ※ すべて人為堆積層。

- 9-28-P1
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック (径1cm以下) が1%ほど散在する。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック (径1cm以下) が50%ほど散在する。人為堆積。

第97図 縄文各種土坑(53)



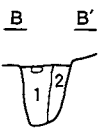


第98図 縄文各種土坑(54)

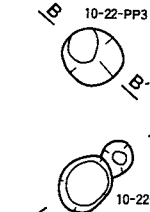
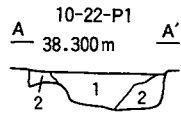
10-22-P1

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、粘土・砂混じり土、非常に固く緊密、縄文中期土器片が少量含まれる。炭化物片(径5mm以下)がいくらか散在。
- 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、粘土・砂混じり土がMatrix。周囲の地山粘土ブロック(径4cm以下)が5-10%散在。固く緊密。

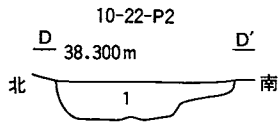
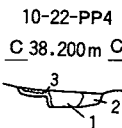
10-22-PP3  
38.200m



- 10-22-PP3
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
  - 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。黄色地山粘土ブロック10%散在。

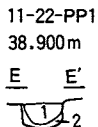
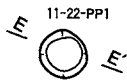
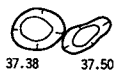


- 10-22-PP4
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
  - 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック10%散在。



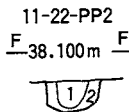
10-22-P2

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、粘土・砂混じり土。固く緊密。地山粘土ブロック(径4cm以下)1%ほど散在。10-22-P1の埋土とほぼ同じ。縄文中期土器片が少量出土。雑多なものを含んで一様に堆積しているところから見て、人為的堆積であろう。性質不明。

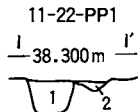


11-22-PP1

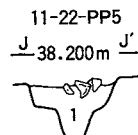
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
- 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック10%散在。



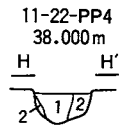
- 11-22-PP2
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
  - 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック7%散在。



- 11-22-PP1
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。

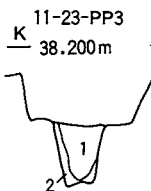


- 11-22-PP5
- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。



11-22-PP4

- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
- 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。黄色地山粘土10%散在。



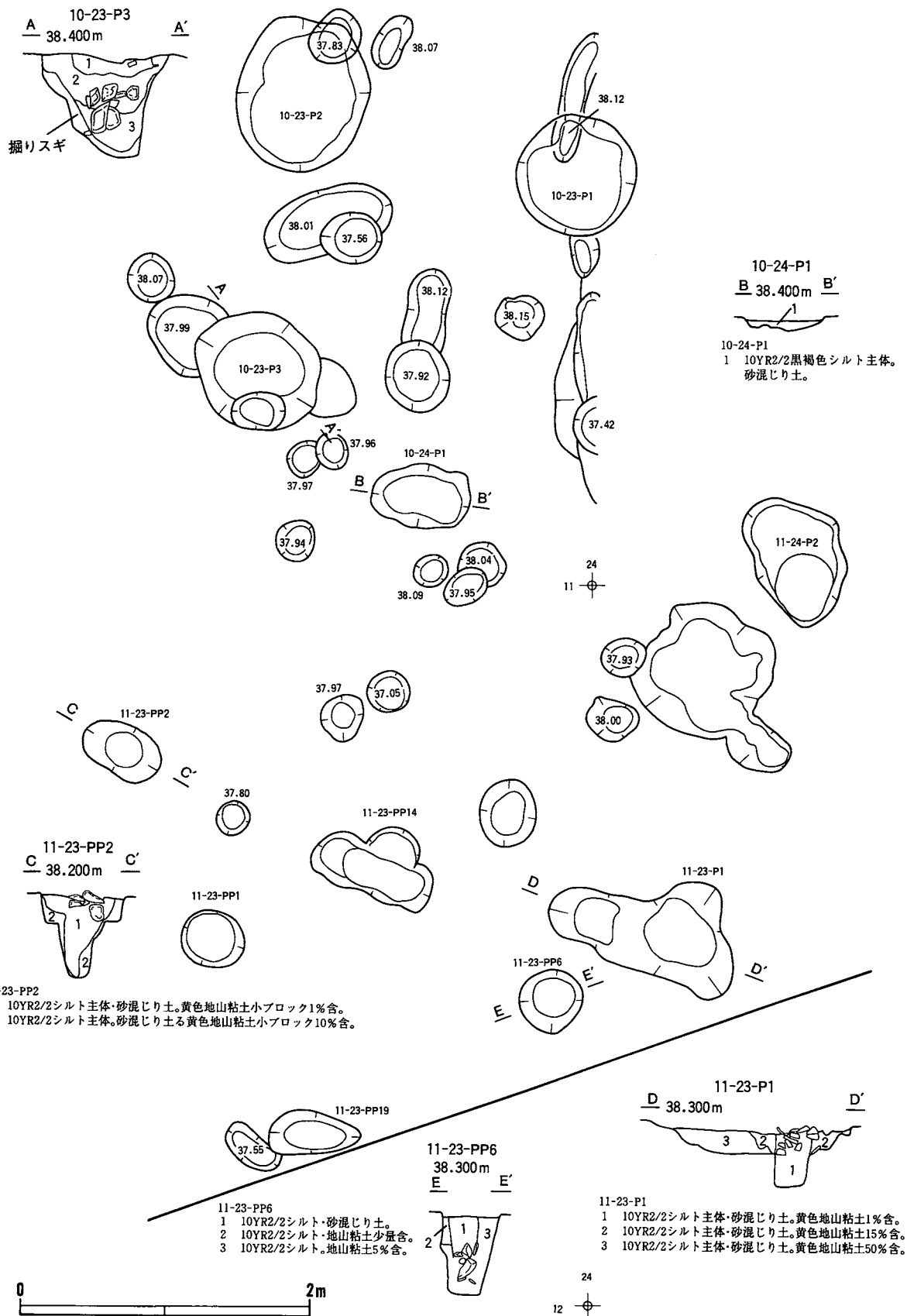
11-23-PP3  
38.200m

- 1 10YR2/2シルト・砂混じり土。
- 2 10YR2/2シルト・砂混じり土。地山粘土10%散在。

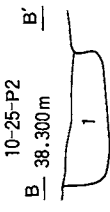
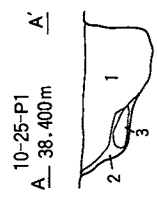


第99図 縄文各種土坑(55)

10-23-P3  
 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在する。  
 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径30mm以下)が25%ほど散在する。  
 3 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径80mm以下)が50%ほど散在する。

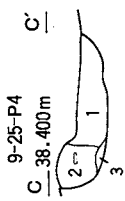


第100図 縄文各種土坑(56)

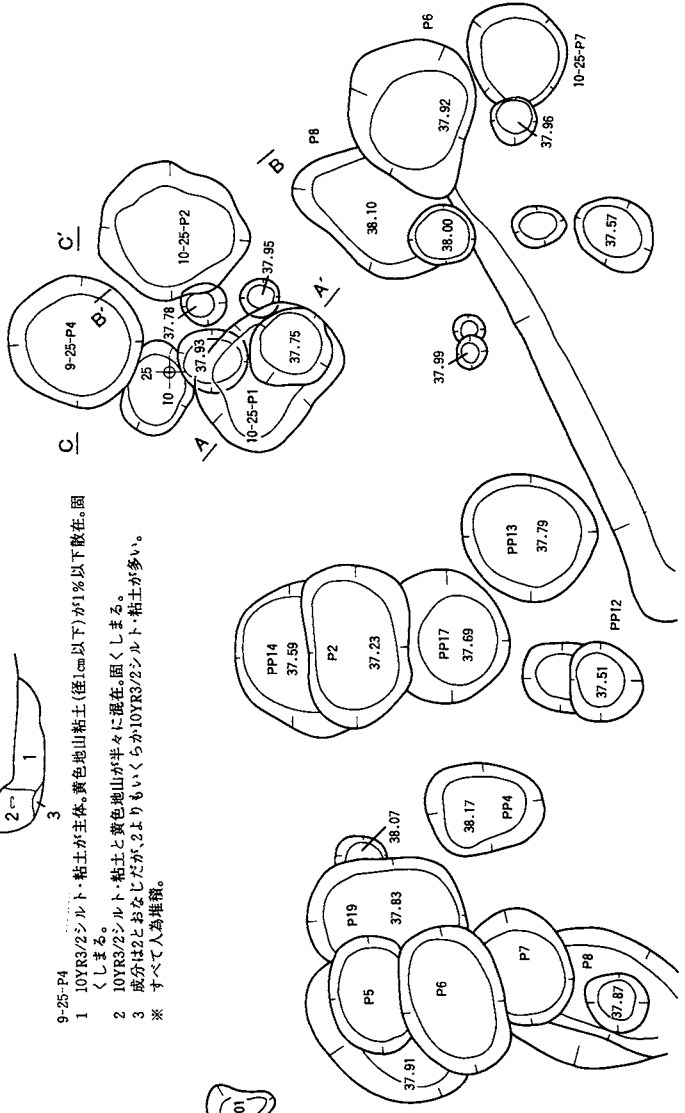
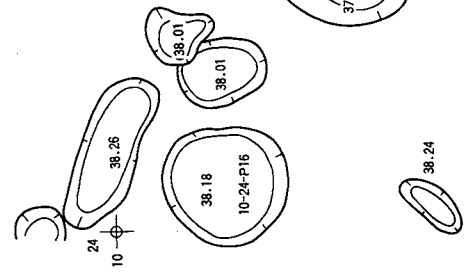
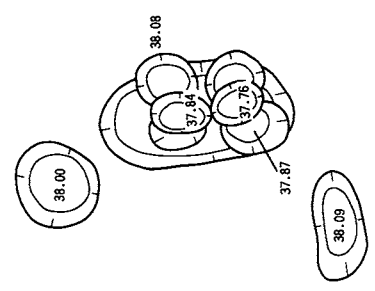


- 10-25-P1  
 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土、固くしまる。炭化物片(径5mm以下)極少量散在。縄文中期土器片、極少量含む。  
 2 10YR3/2黒褐色シルト主体、黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)3%散在。  
 3 黄色地山粘土ブロック。

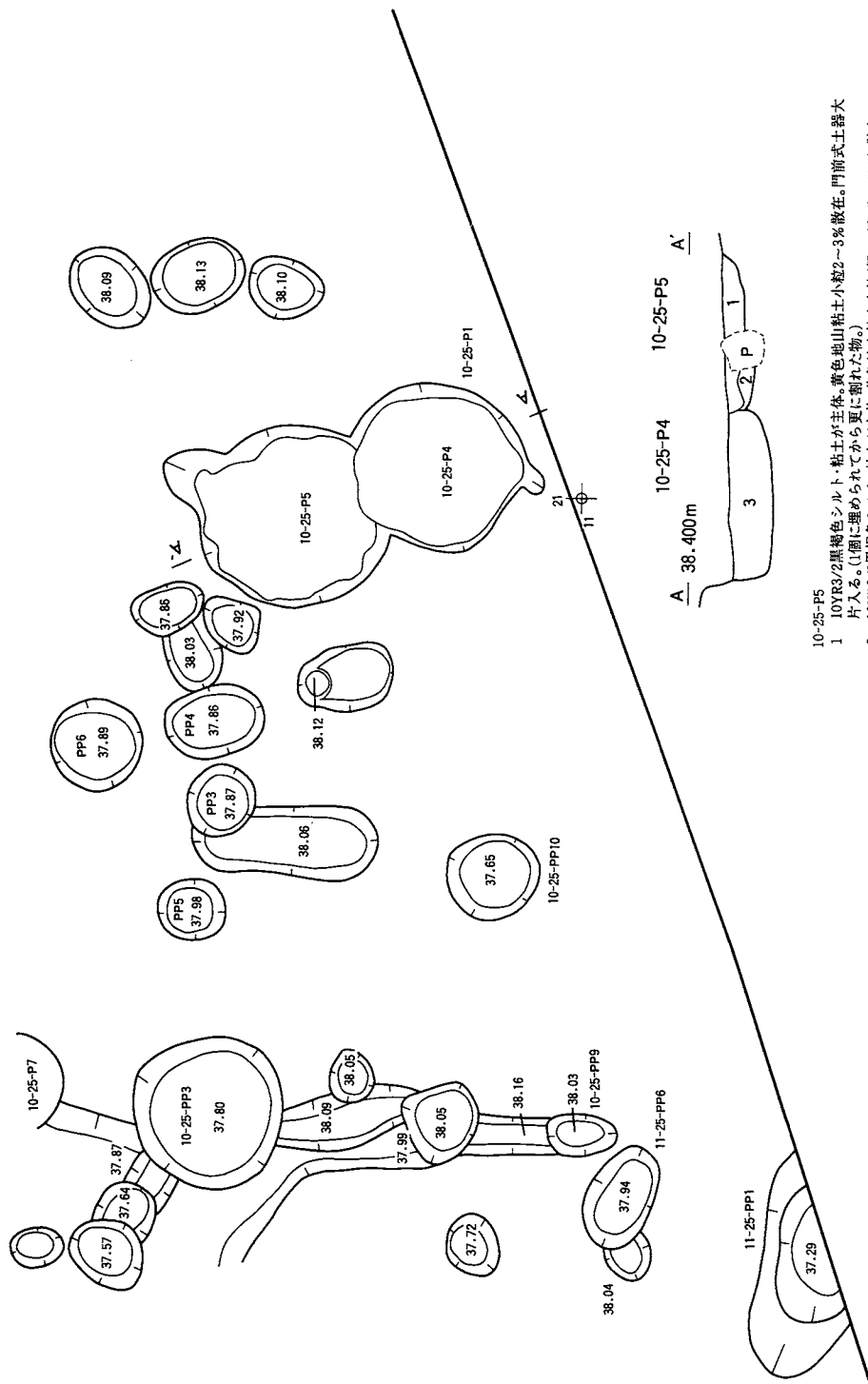
- 10-25-P2  
 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂混じり土、固くしまる。地山黄色粘土ブロック(径5mm以下)が5%ほど散在する。炭化物片(径5mm以下)が1%以下散在する。縄文中期土器片、極少量含む。



- 9-25-P4  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土(径1cm以下)が1%以下散在、固くしまる。  
 2 10YR3/2シルト・粘土と黄色地山が半々に混在、固くしまる。  
 3 成分は2とおなじだが、2よりもいくらか10YR3/2シルト・粘土が多い。  
 ※ すべて人為堆積。



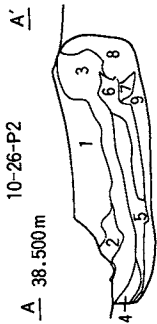
第101図 縄文各種土坑(57)



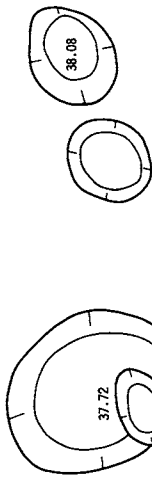
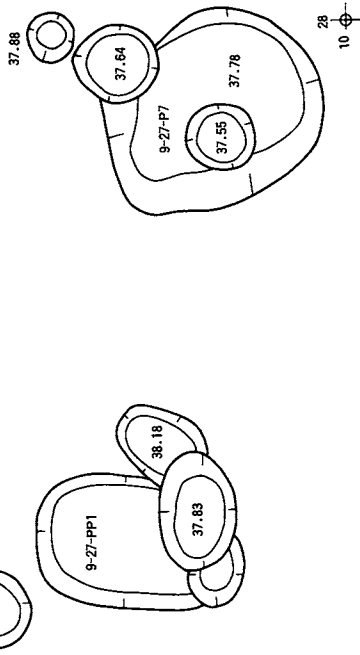
- 10-25-P5  
 1 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒2~3%散在。門前式土器大  
 片入る。(1個に埋められてから更に割れた物)  
 2 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径5mm以下)1%ほど散在。  
 10-25-P4  
 3 10YR3/2黒褐色シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径1cm以下)と細粒が20%  
 散在。

第102図 縄文各種土坑(58)

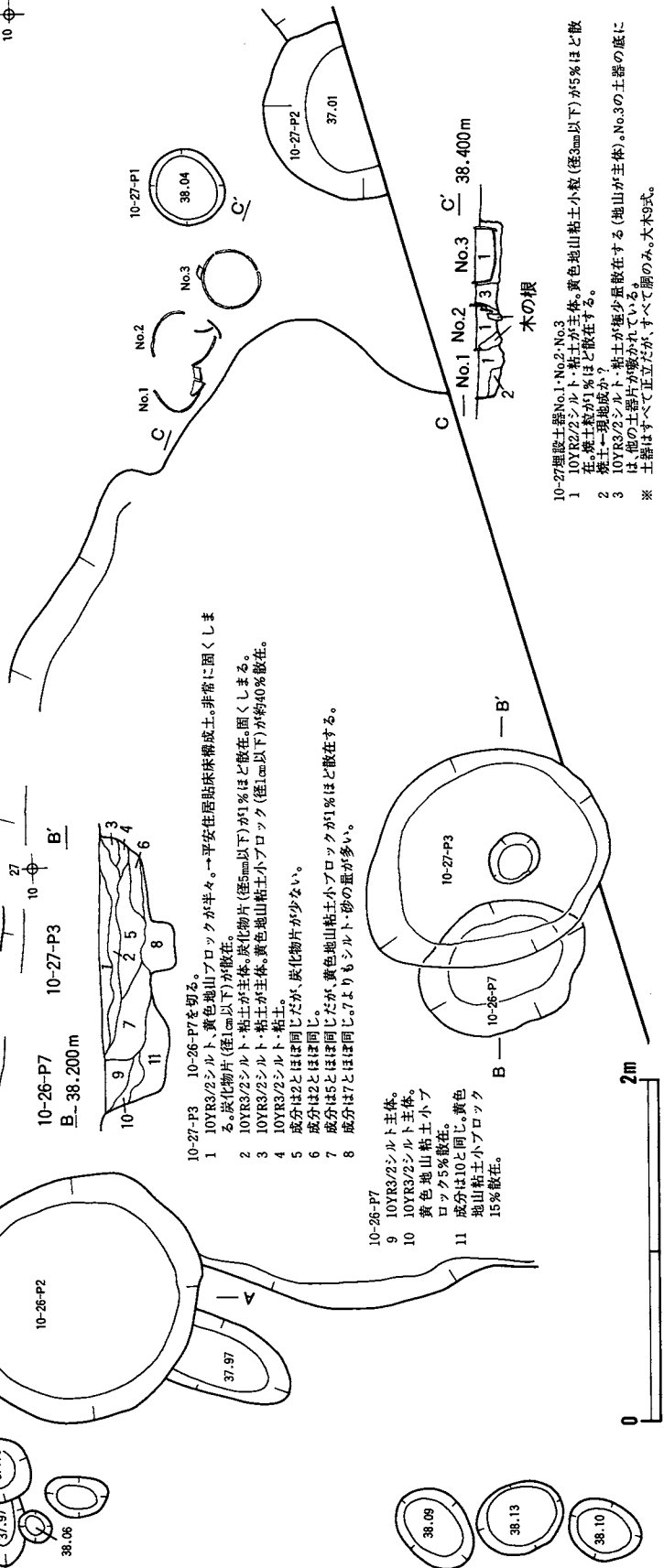
- 4 10YR3/2暗褐色、紫褐色土片が1-3に比べややまらからい。シルト主体、粘土含む。地山小ブロック、炭化物片、粘土片(3mm以下)1%弱散在。
- 5 10YR2/1黒色シルト主体、粘土含む。4よりややまらからく、炭化物40%位混じる。
- 6 10YR3/3暗褐色粘土主体、紫褐色土。炭化物15%位含む。地山粘土7%位。小ブロックより細かい粒で全体に混じる。
- 7 10YR3/2黒褐色、紫褐色土。粘土主体、砂含む。地山粘土6と同様に混じる。
- 8 10YR3/4暗褐色、紫褐色土。粘土主体、砂含む。地山粘土6と同様に15%位、全体に混じる。炭化物片(3mm以下)1%散在。
- 9 10YR3/4暗褐色シルト主体、粘土・砂含む。地山粘土6と同様に15%位、全体に混じる。炭化物片(3mm以下)1%散在。



- 10-26-P2 いわゆるプラスチック球状であるが、上半部は削られている。
- 1 10YR3/2黒褐色シルト主体、砂・粘土含む。炭化物片(径5mm以下)が1%ほど散在。細文土器土器片少量含む。
  - 2 10YR4/4褐色シルト主体、粘土・砂含む。炭化物片、粘土片(3mm以下)1%散在。紫褐色土、地山粘土が30%位、小ブロックより細かい粒で全体に混じる。
  - 3 10YR3/3暗褐色シルト主体、粘土含む。炭化物片(5-7mm)、粘土片(3mm以下)、2%弱散在。地山小ブロック3%散在。土器器型まっている。



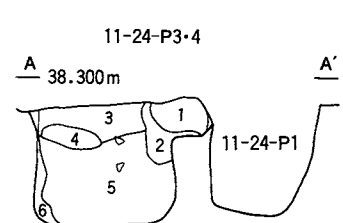
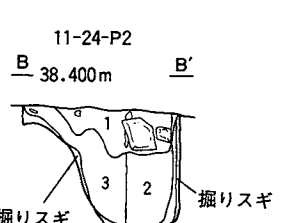
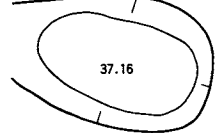
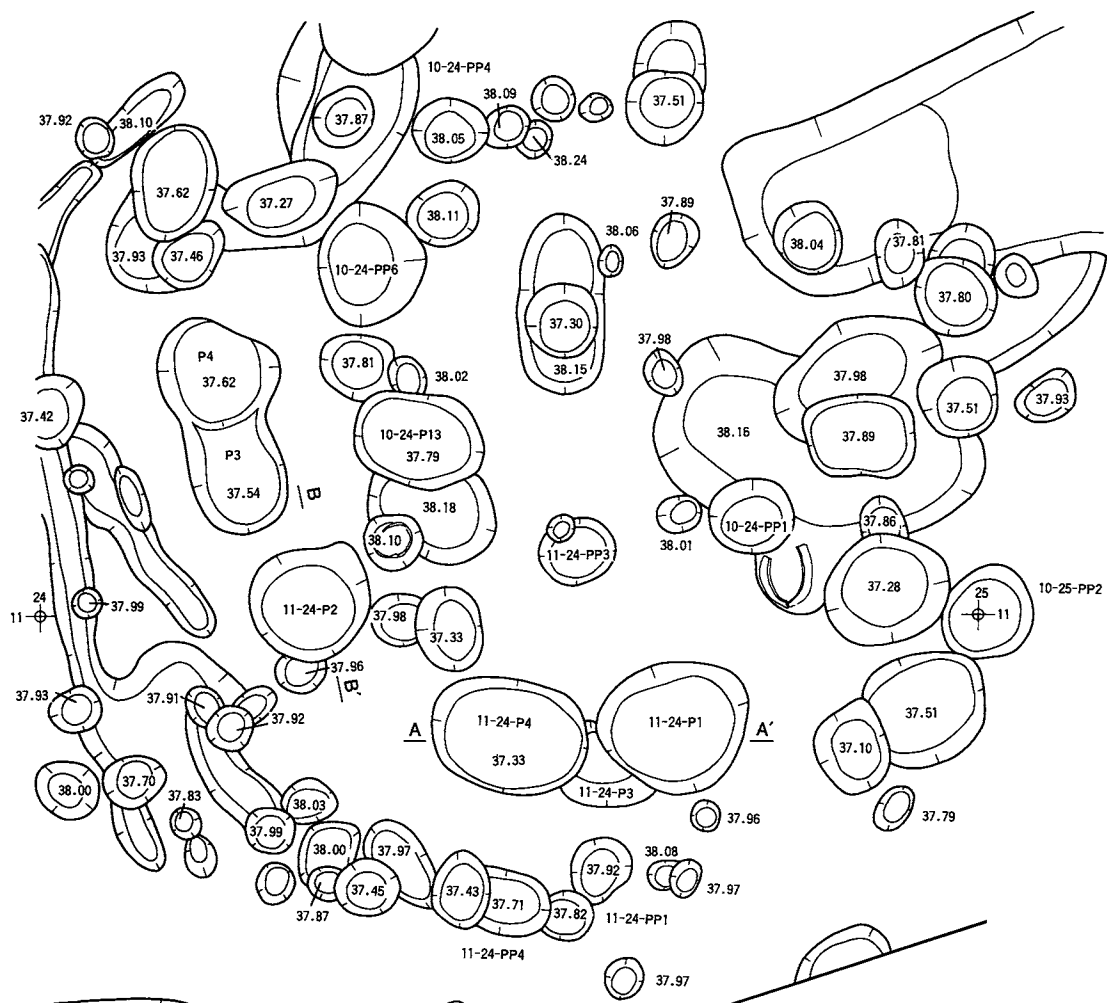
第103図 縄文各種土坑(59)



- 10-27-P3 10-26-P7を切る。
- 1 10YR3/2シルト、黄色地山小ブロックが半々。→平安住居貼床構成土。非常に固くしまる。炭化物片(径1cm以下)が散在。
  - 2 10YR3/2シルト、粘土が主体。炭化物片(径5mm以下)が1%ほど散在。固くしまる。
  - 3 10YR3/2シルト、粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が約40%散在。
  - 4 10YR3/2シルト、粘土。
  - 5 成分は2とほぼ同じだが、炭化物片が少ない。
  - 6 成分は2とほぼ同じ。
  - 7 成分は5とほぼ同じだが、黄色地山粘土小ブロックが1%ほど散在する。
  - 8 成分は7とほぼ同じ。7よりもシルト・砂の量が多い。

- 10-26-P7
- 9 10YR3/2シルト主体。
  - 10 10YR3/2シルト主体。黄色地山粘土小ブロック5%散在。
  - 11 成分は10と同じ。黄色地山粘土小ブロック15%散在。

10-27細線土器No.1・No.2・No.3  
 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒(径3mm以下)が5%ほど散在。粘土粒が1%ほど散在する。  
 2 粘土一層地蔵か？  
 3 10YR3/3シルト・粘土が極少量散在する(地山が主体)。No.3の土器の底には他の土器片が散在している。  
 ※ 土器はすべて直立だが、すべて開のみ。大木9式。

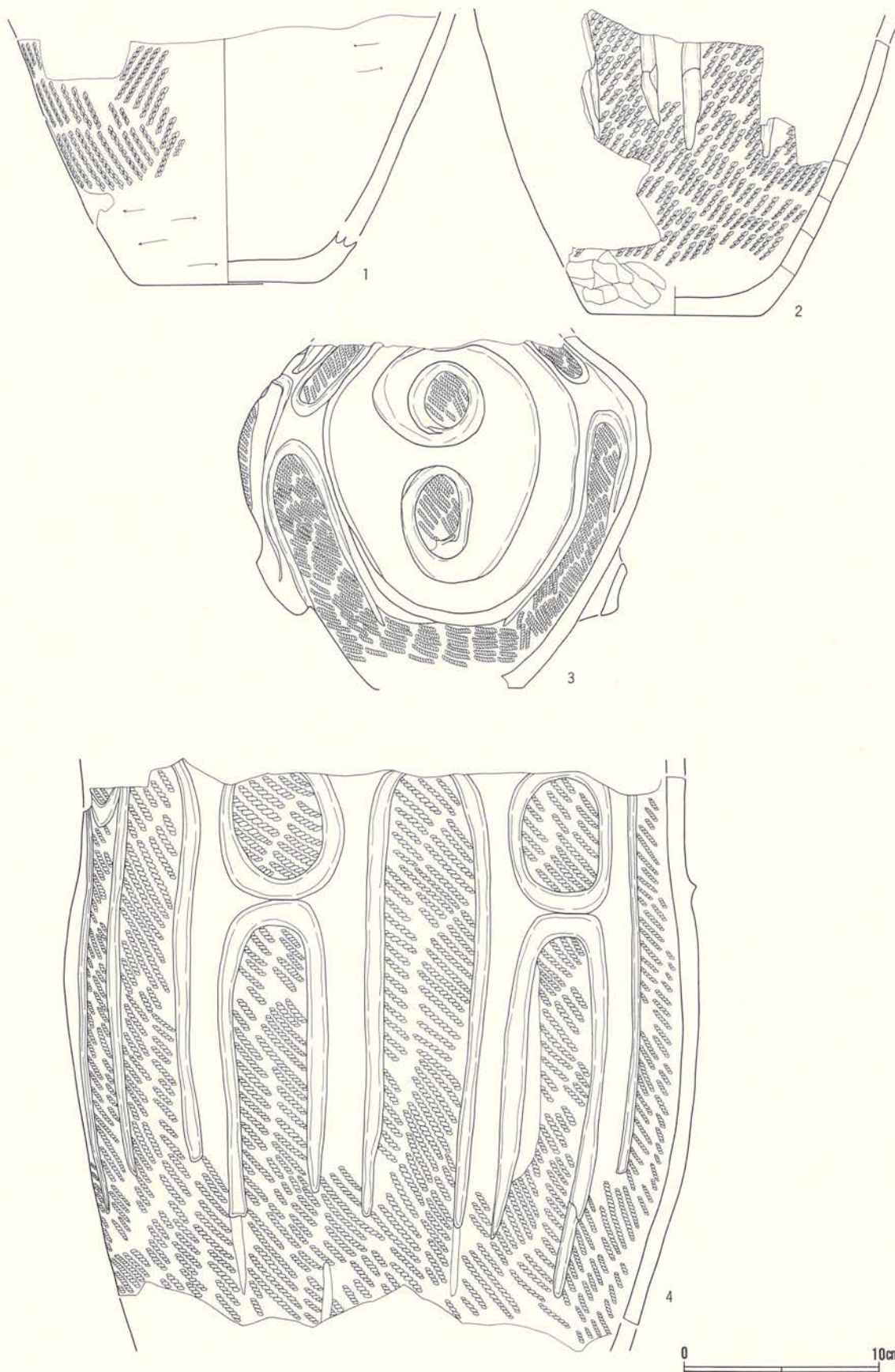


- 11-24-P2
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック5%含。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック1%含。
  - 3 10YR2/2黒褐色シルト主体・砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック40%含。

- 11-24-P3
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径10mm以下)が15%ほど散在する。炭化物片、焼土片が3%ほど散在する。礫が入る。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径30mm以下)が30%ほど散在する。焼土片が3%ほど散在する。
- 11-24-P4
- 3 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径10mm以下)が5%ほど散在する。
  - 4 地山黄色粘土ブロック(径30mm以下)が主体。10YR2/2黒褐色シルトブロックが散在する。
  - 5 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。地山黄色粘土ブロック(径30mm以下)が15%ほど散在する。
  - 6 地山黄色粘土ブロックが主体。10YR2/2黒褐色シルトブロックが散在する。

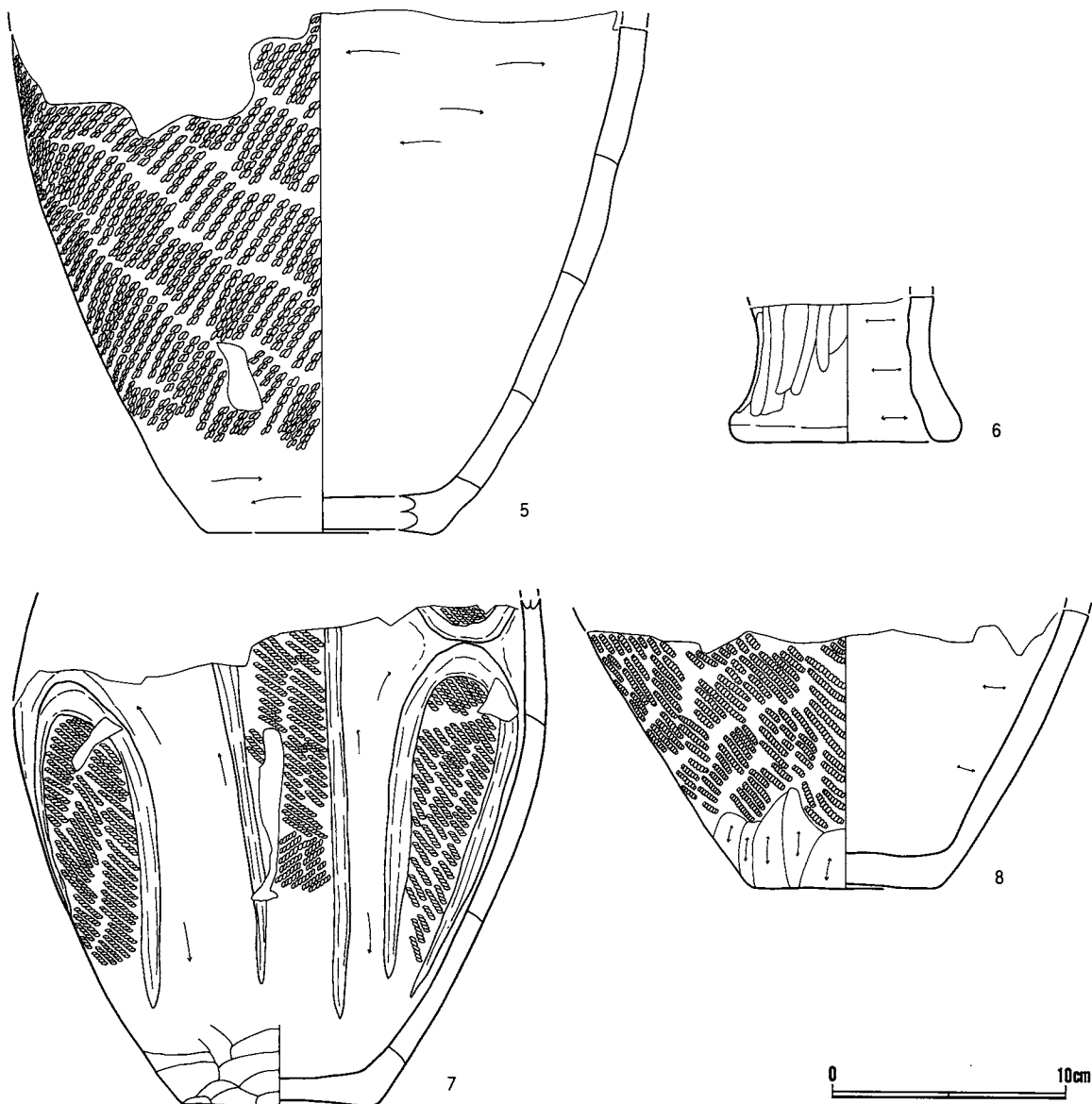


第104図 縄文各種土坑(60)



第105図 出土遺物 土器実測図(1)

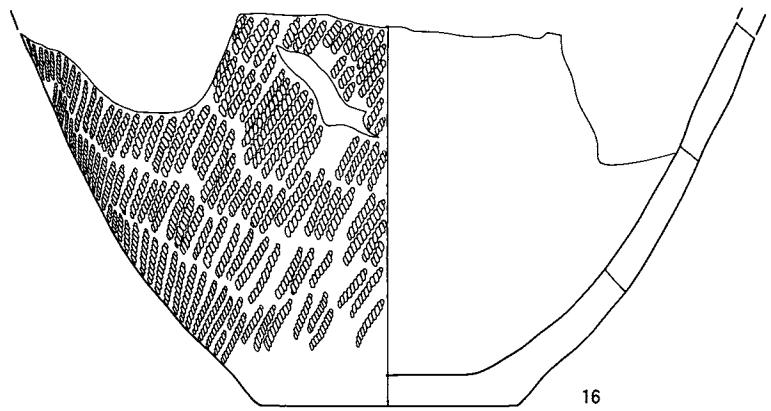
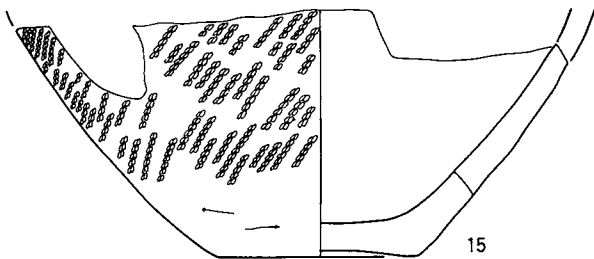
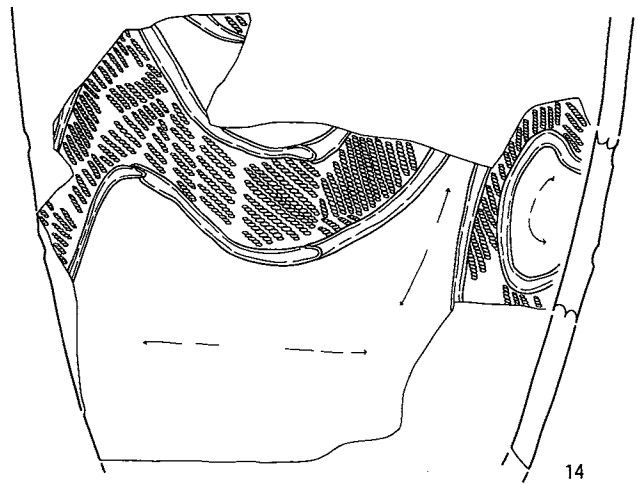
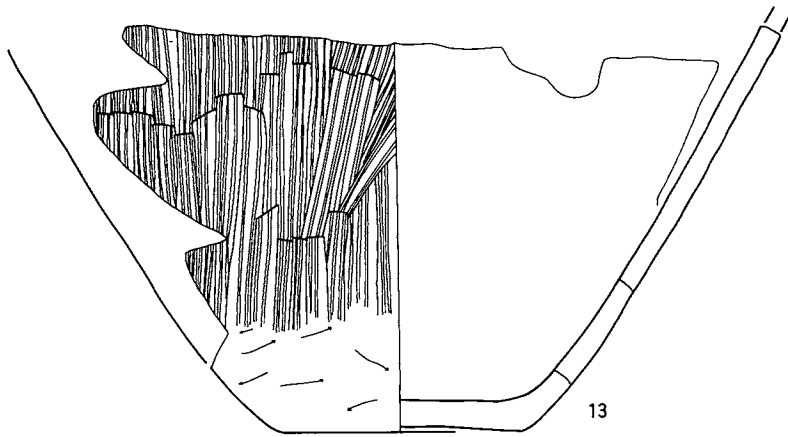




第106图 出土遺物 土器実測図(2)

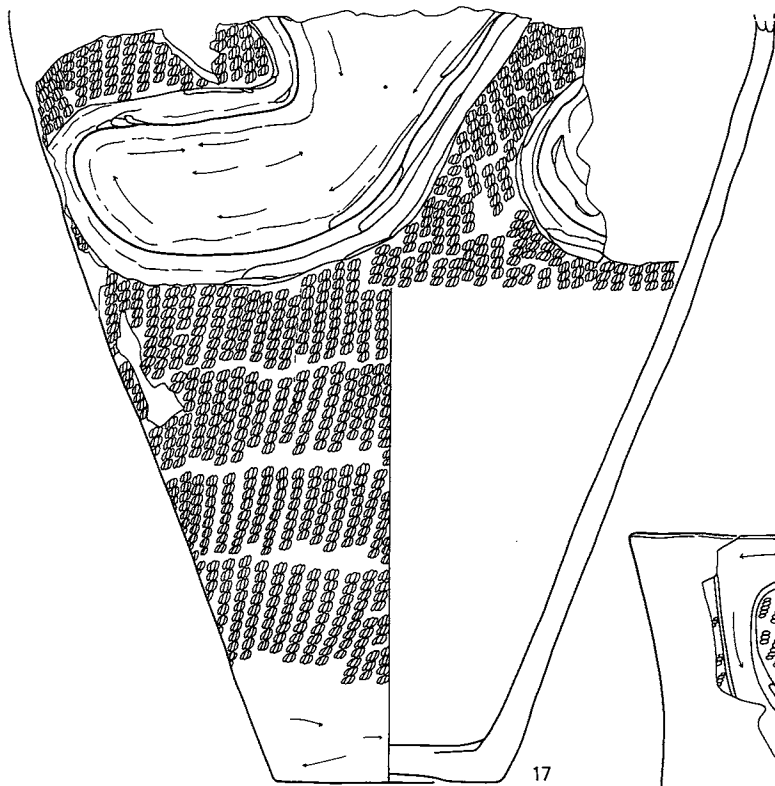


第107図 出土遺物 土器実測図(3)

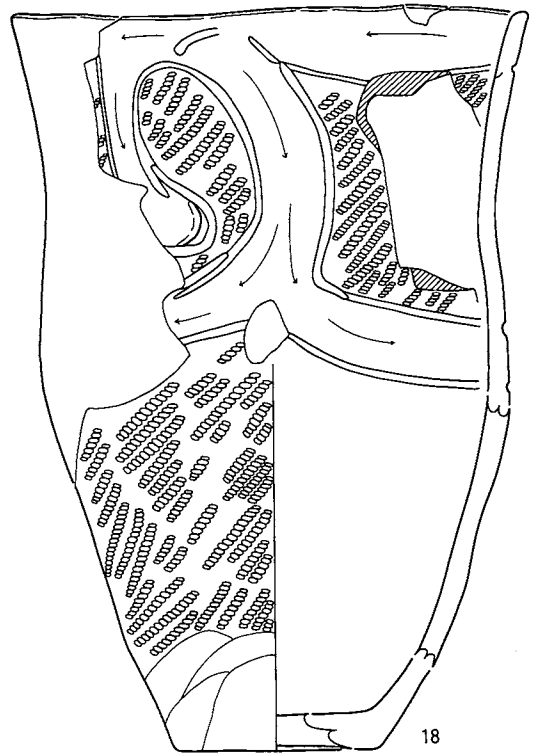


0 10cm

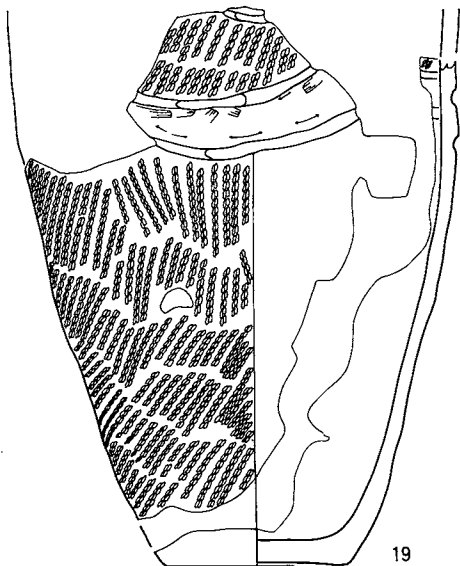
第108图 出土遗物 土器实测图(4)



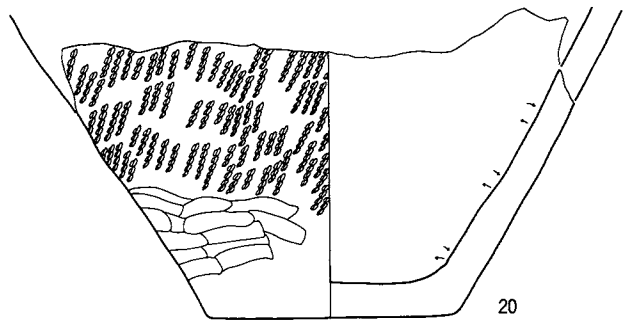
17



18



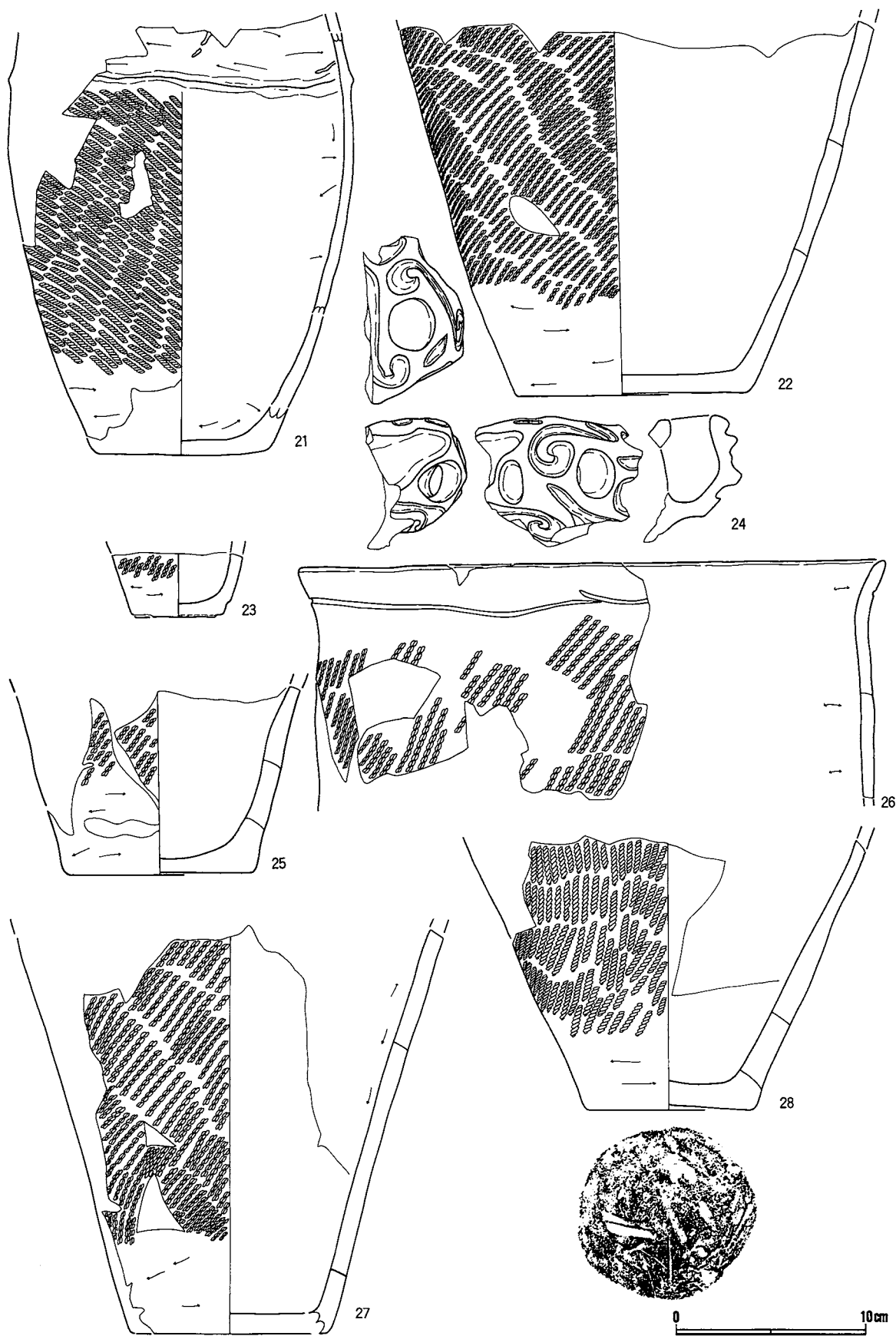
19



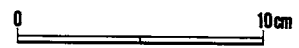
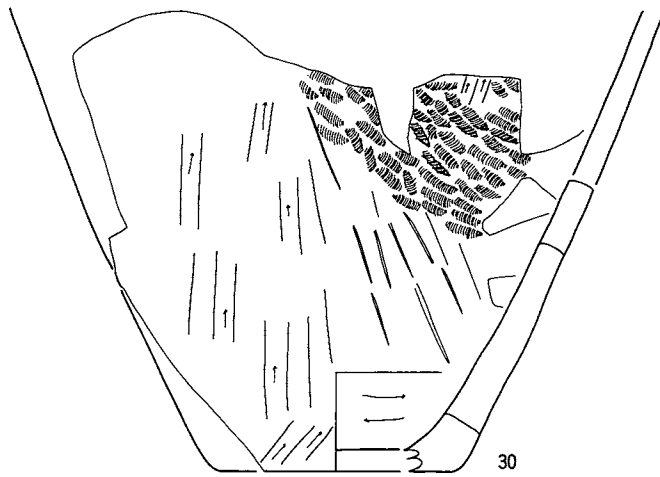
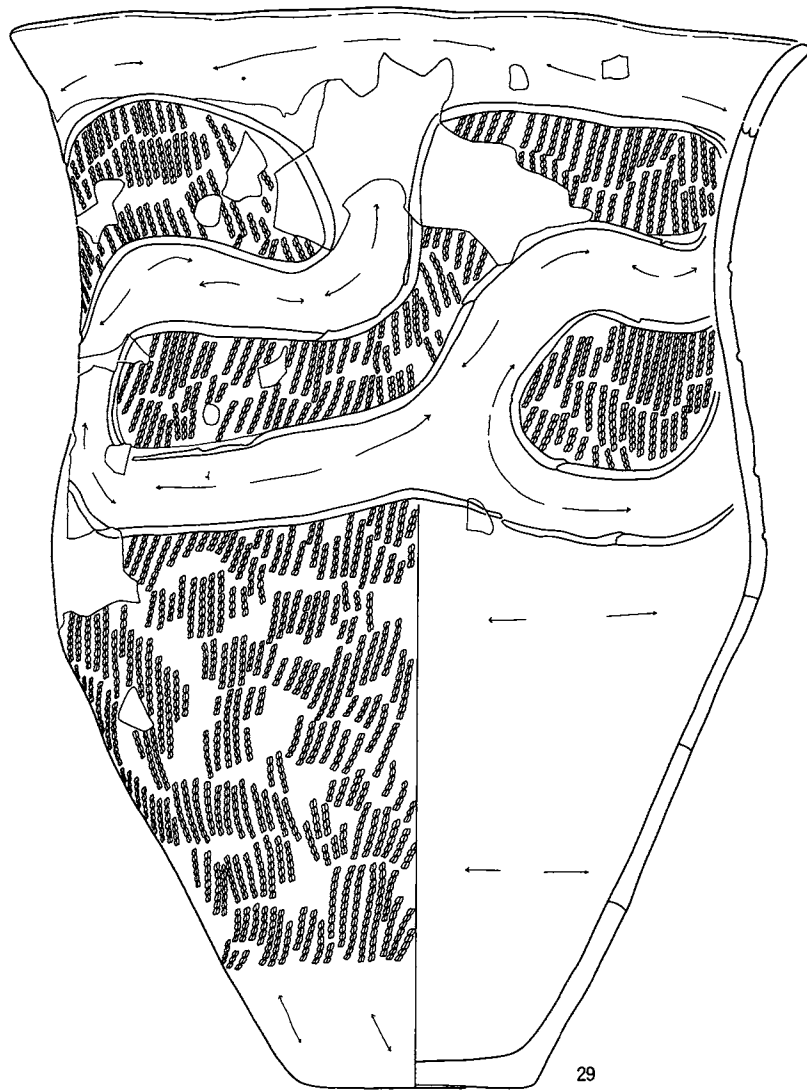
20



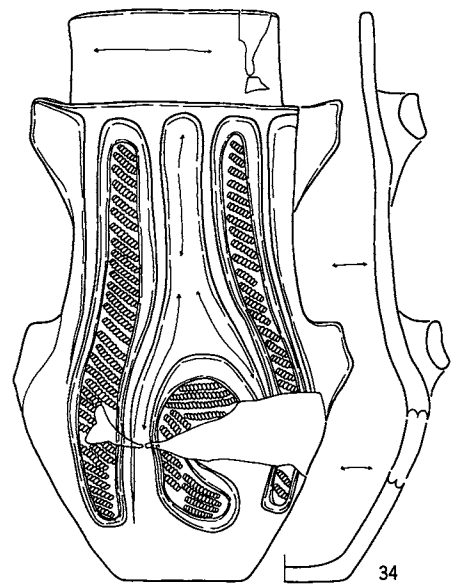
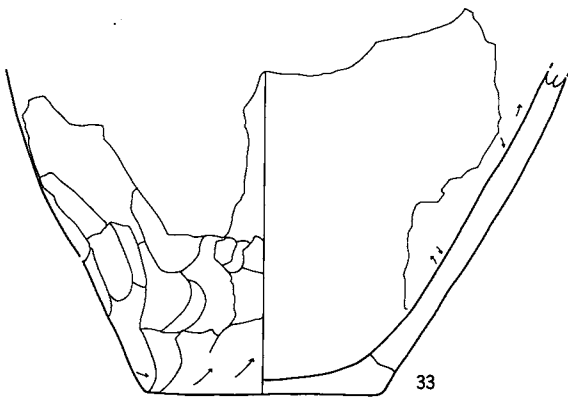
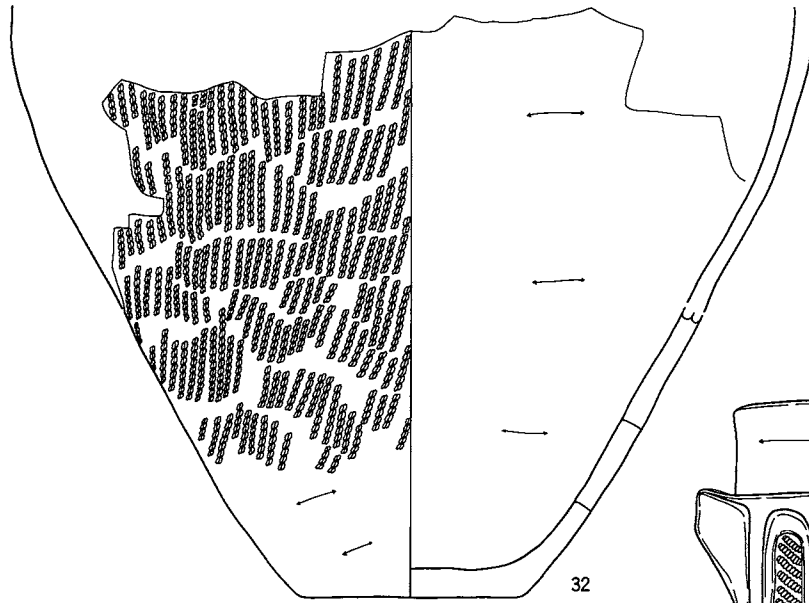
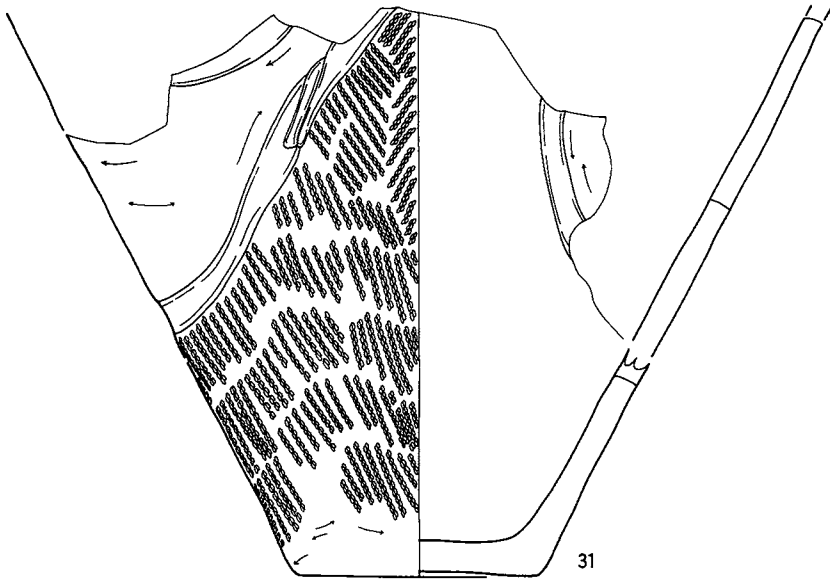
第109图 出土遗物 土器实测图(5)



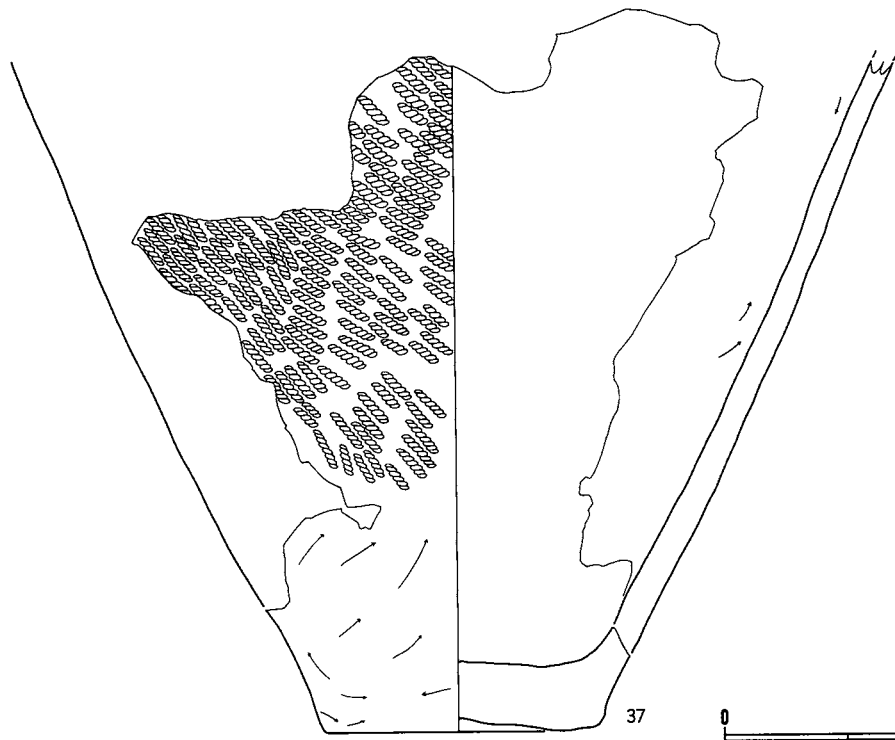
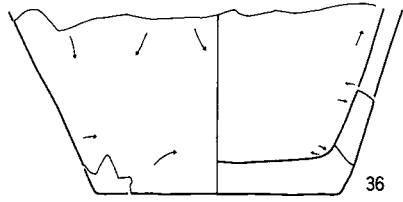
第110图 出土遺物 土器実測図(6)



第111图 出土遗物 土器实测图(7)

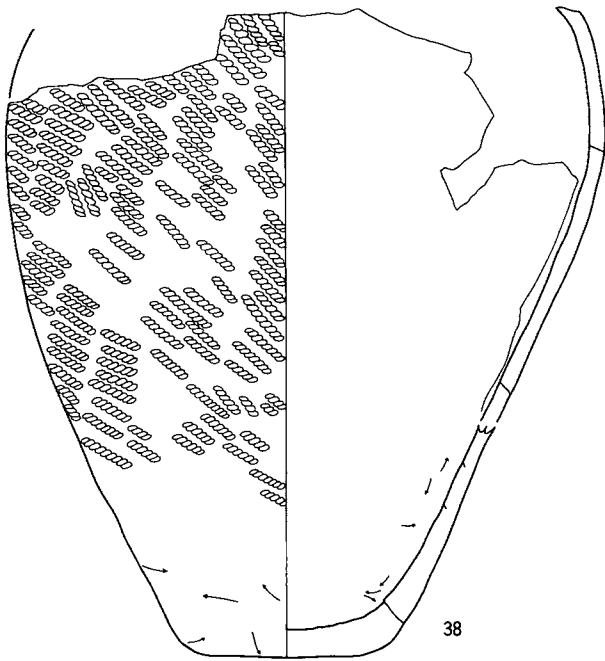


第112図 出土遺物 土器実測図(8)

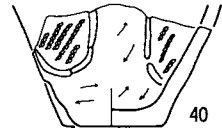


第113图 出土遗物 土器实测图(9)

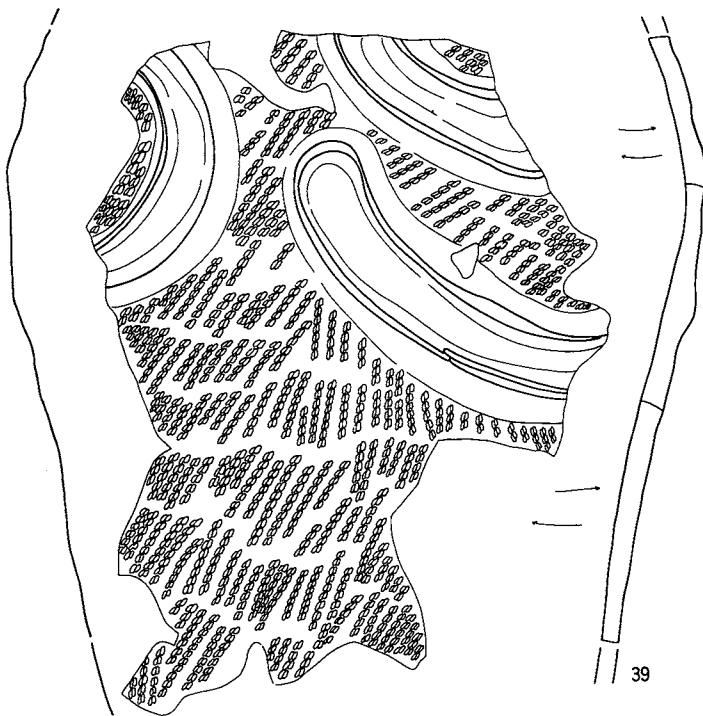




38



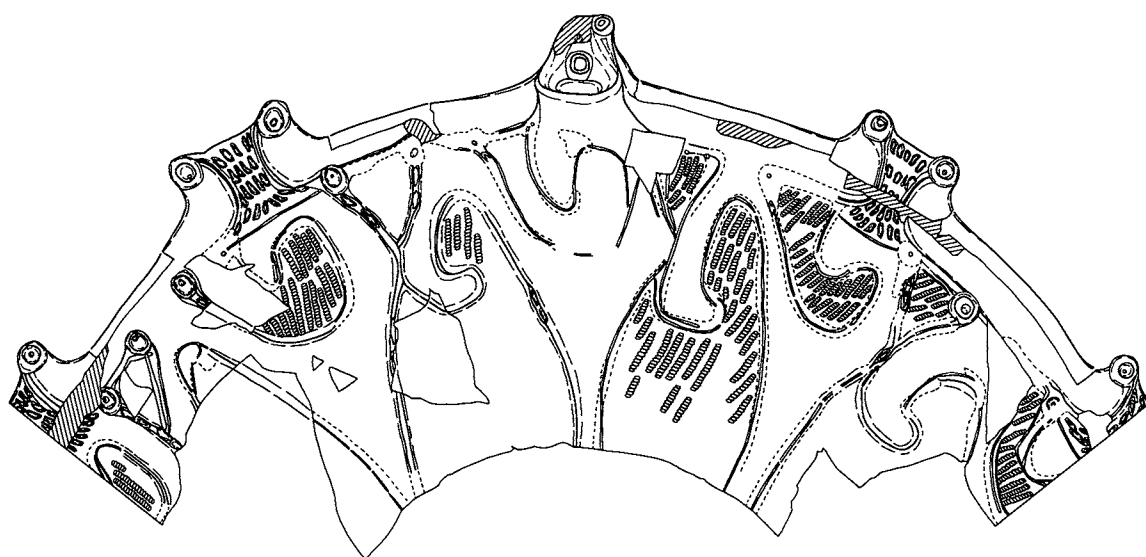
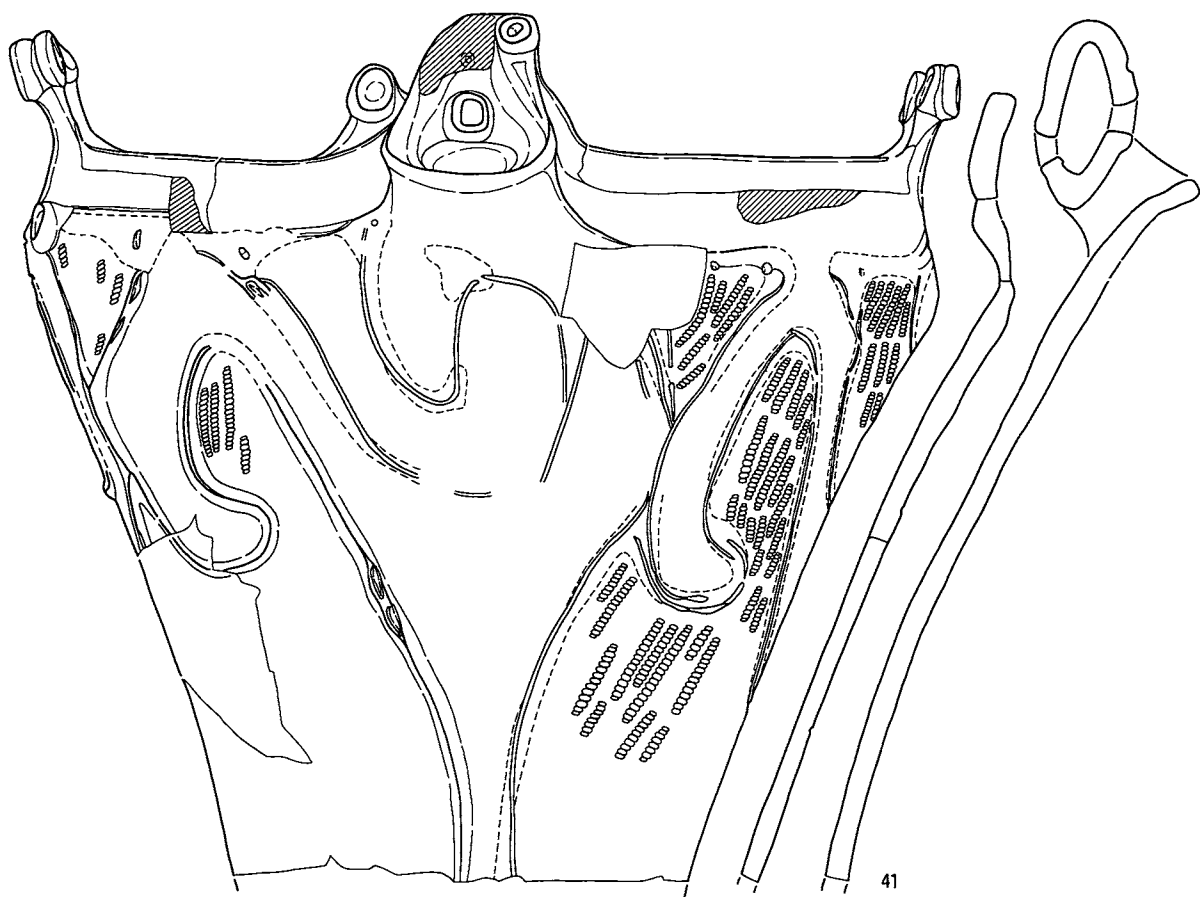
40



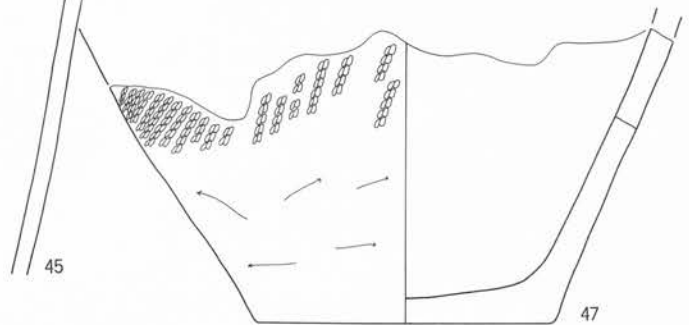
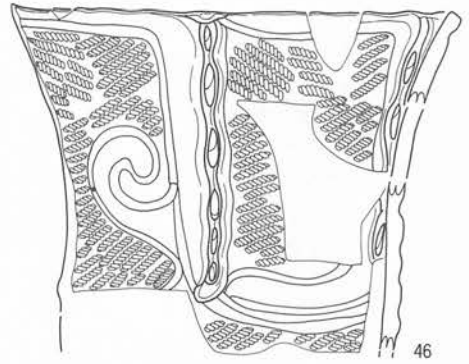
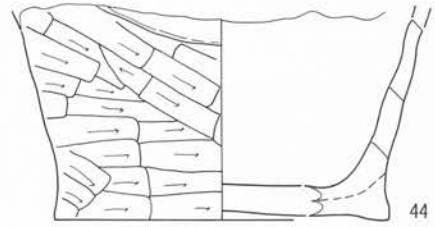
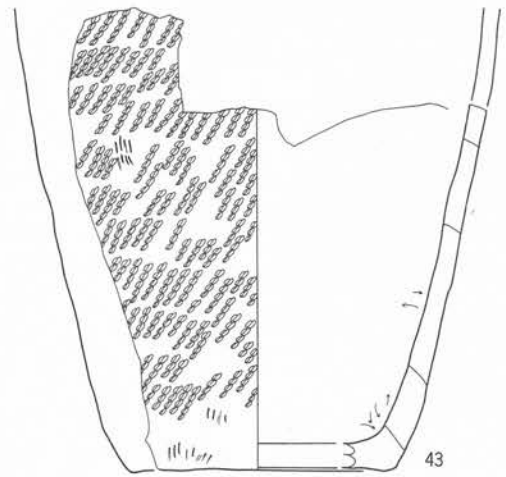
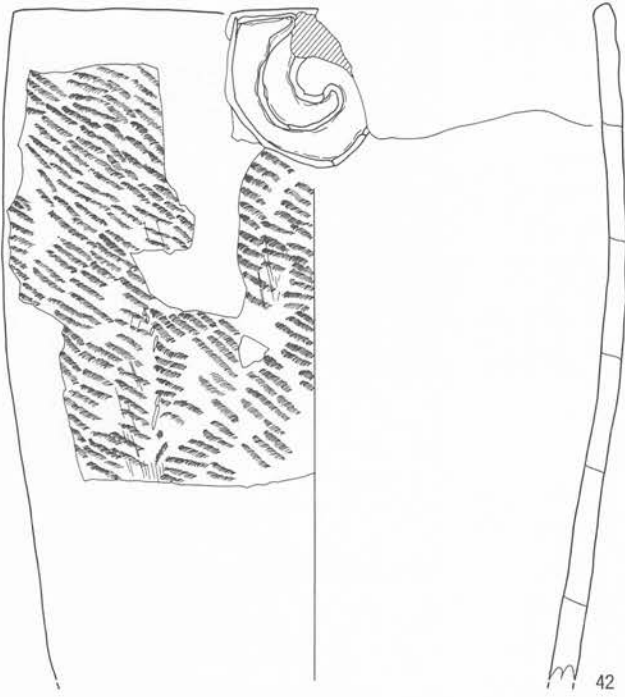
39



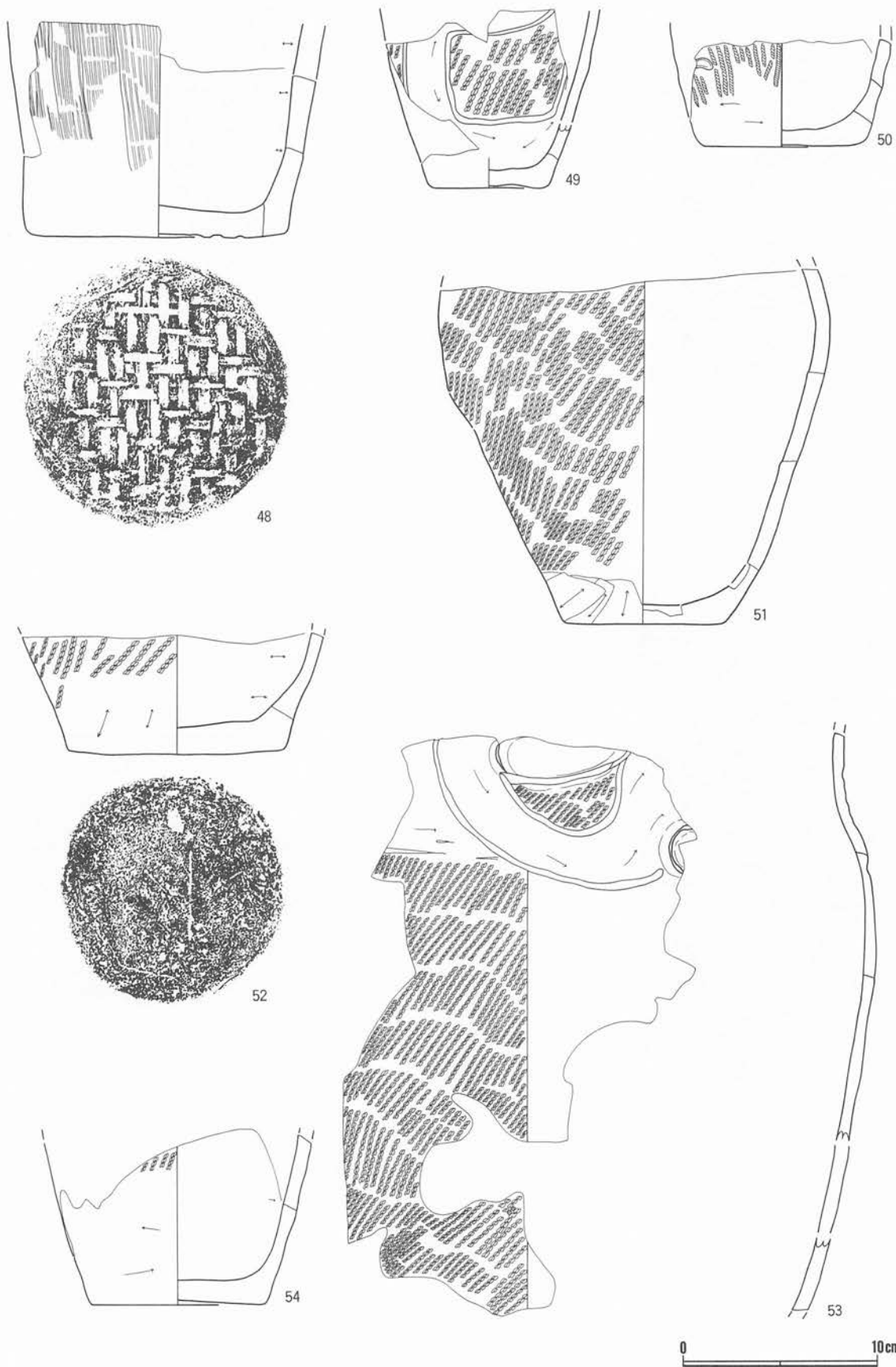
第114図 出土遺物 土器実測図(10)



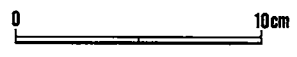
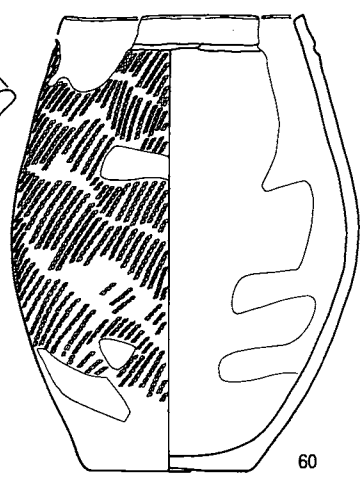
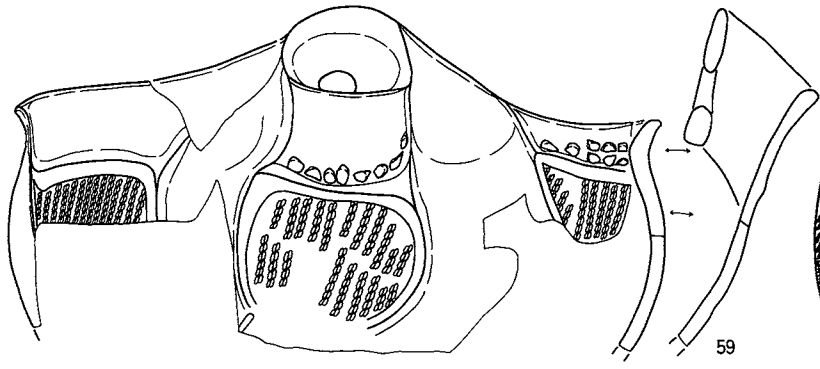
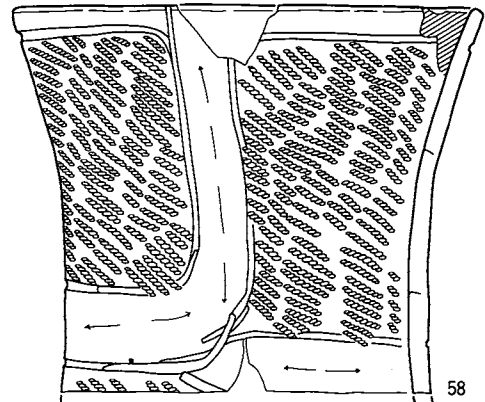
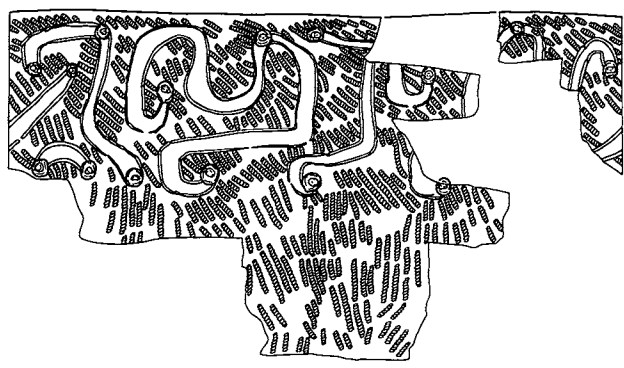
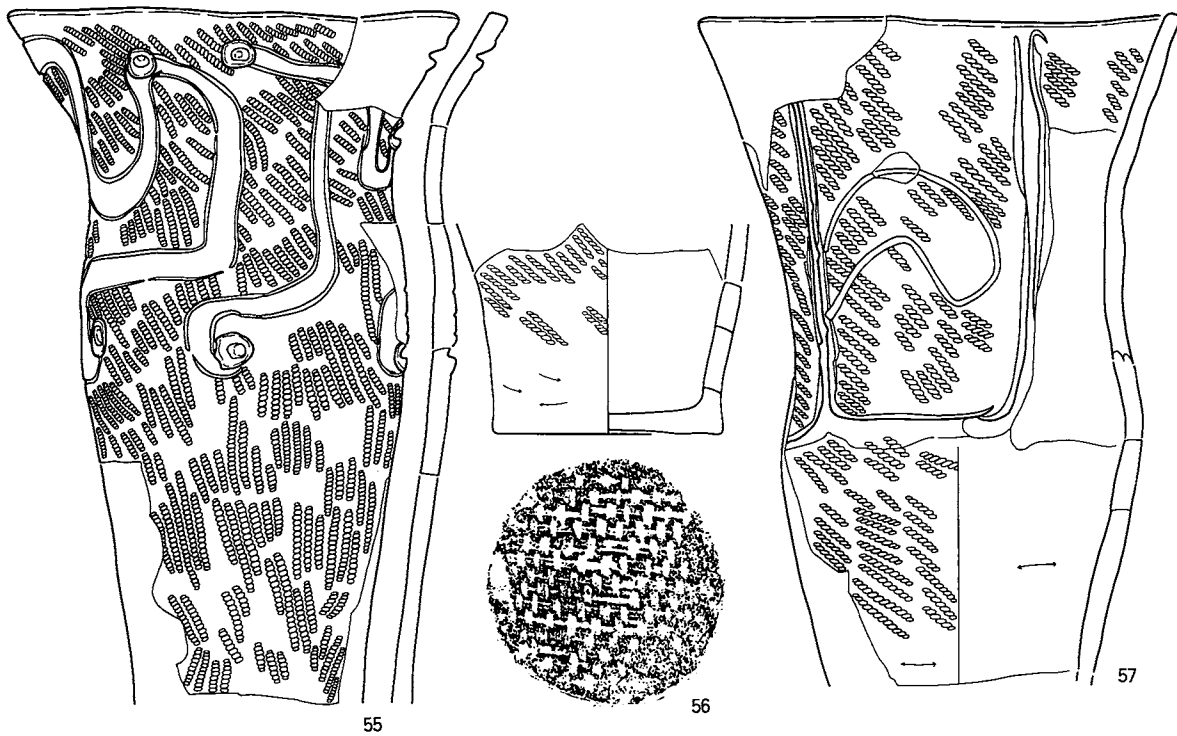
第115図 出土遺物 土器実測図(11)



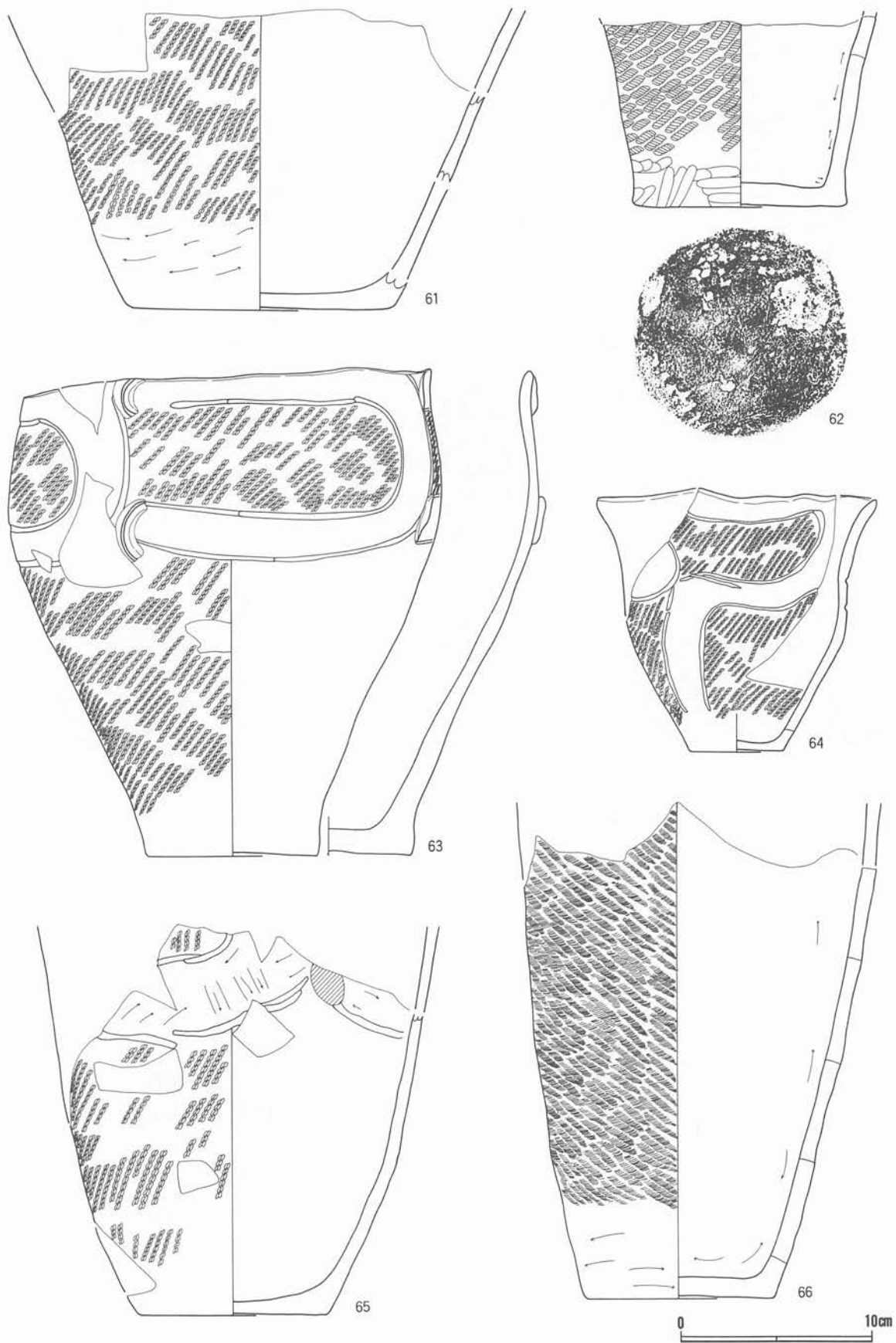
第116図 出土遺物 土器実測図(12)



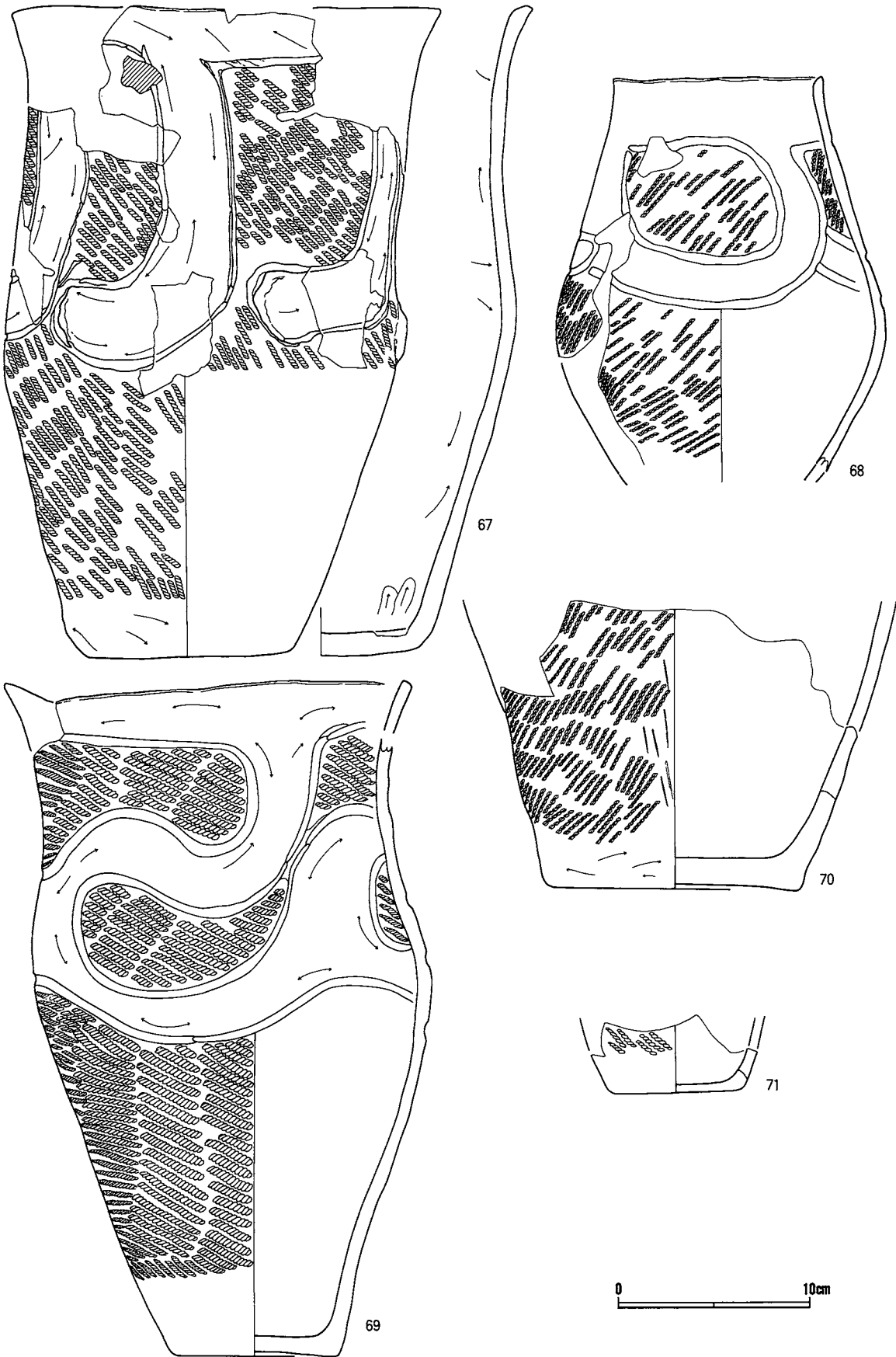
第117図 出土遺物 土器実測図(13)



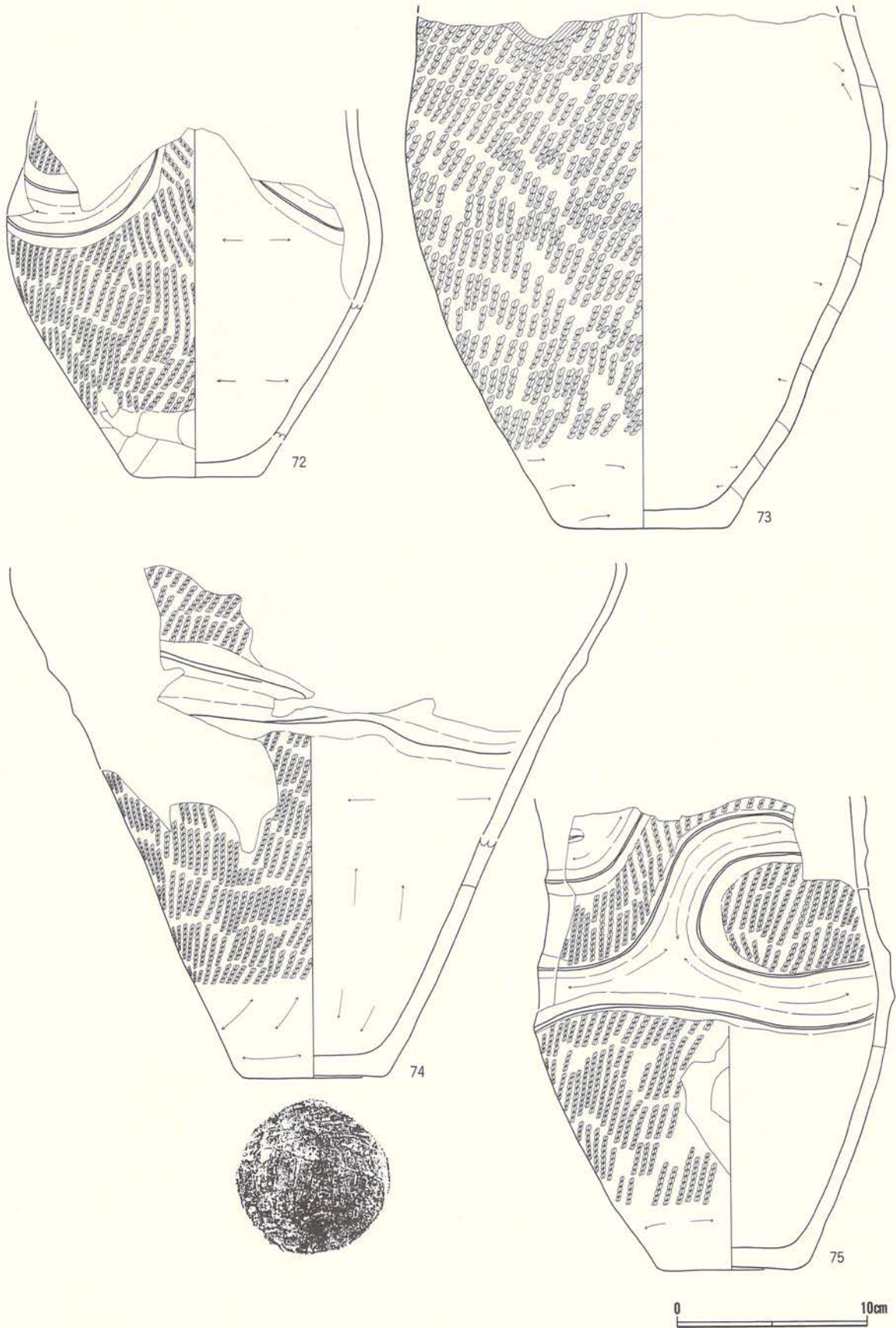
第118图 出土遗物 土器実测图(14)



第119図 出土遺物 土器実測図(15)

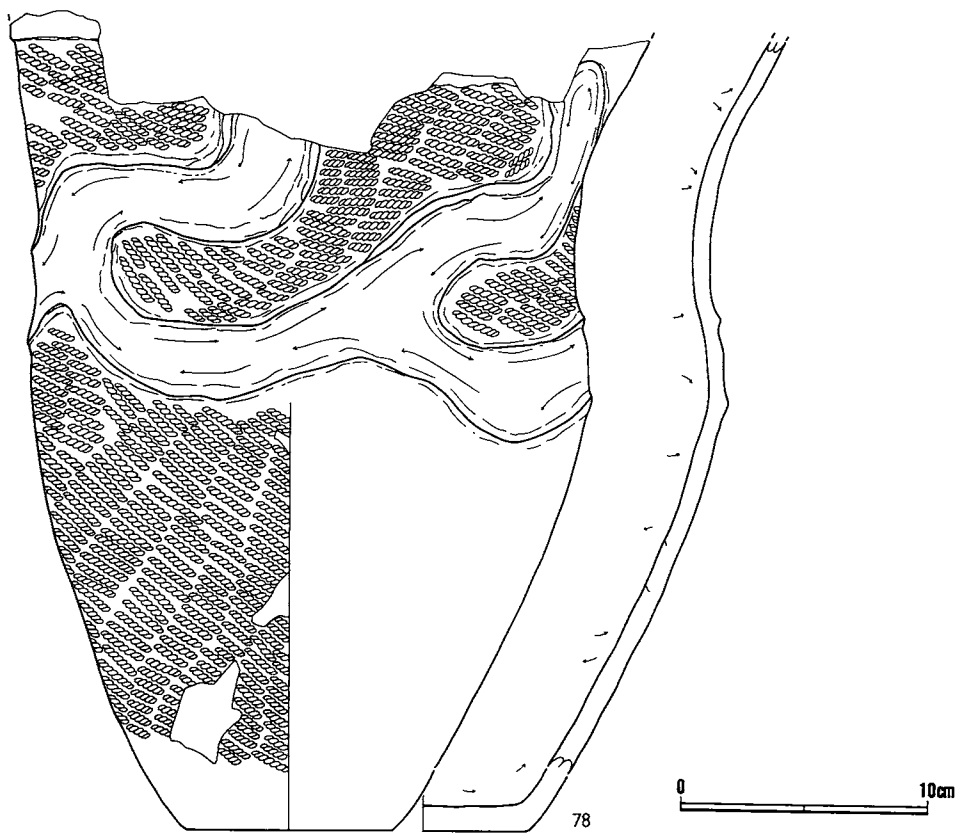
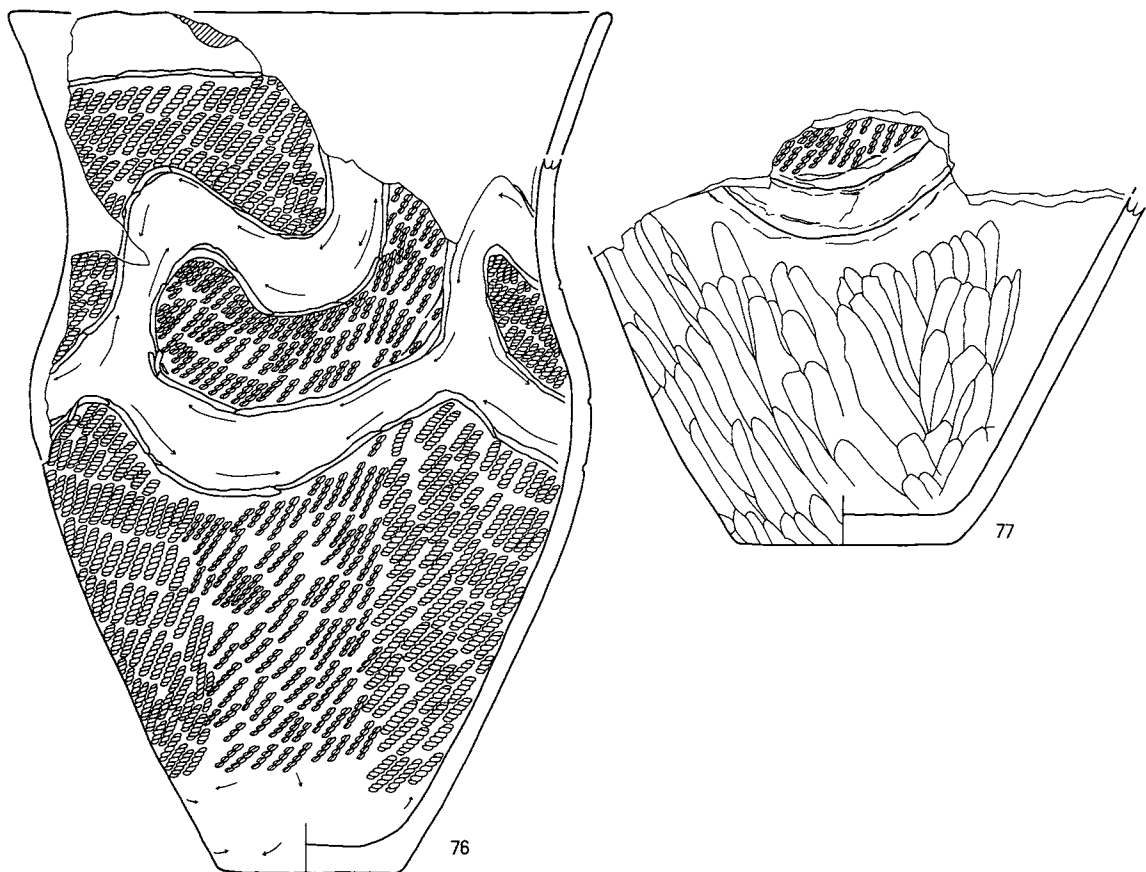


第120图 出土遗物 土器实测图(16)

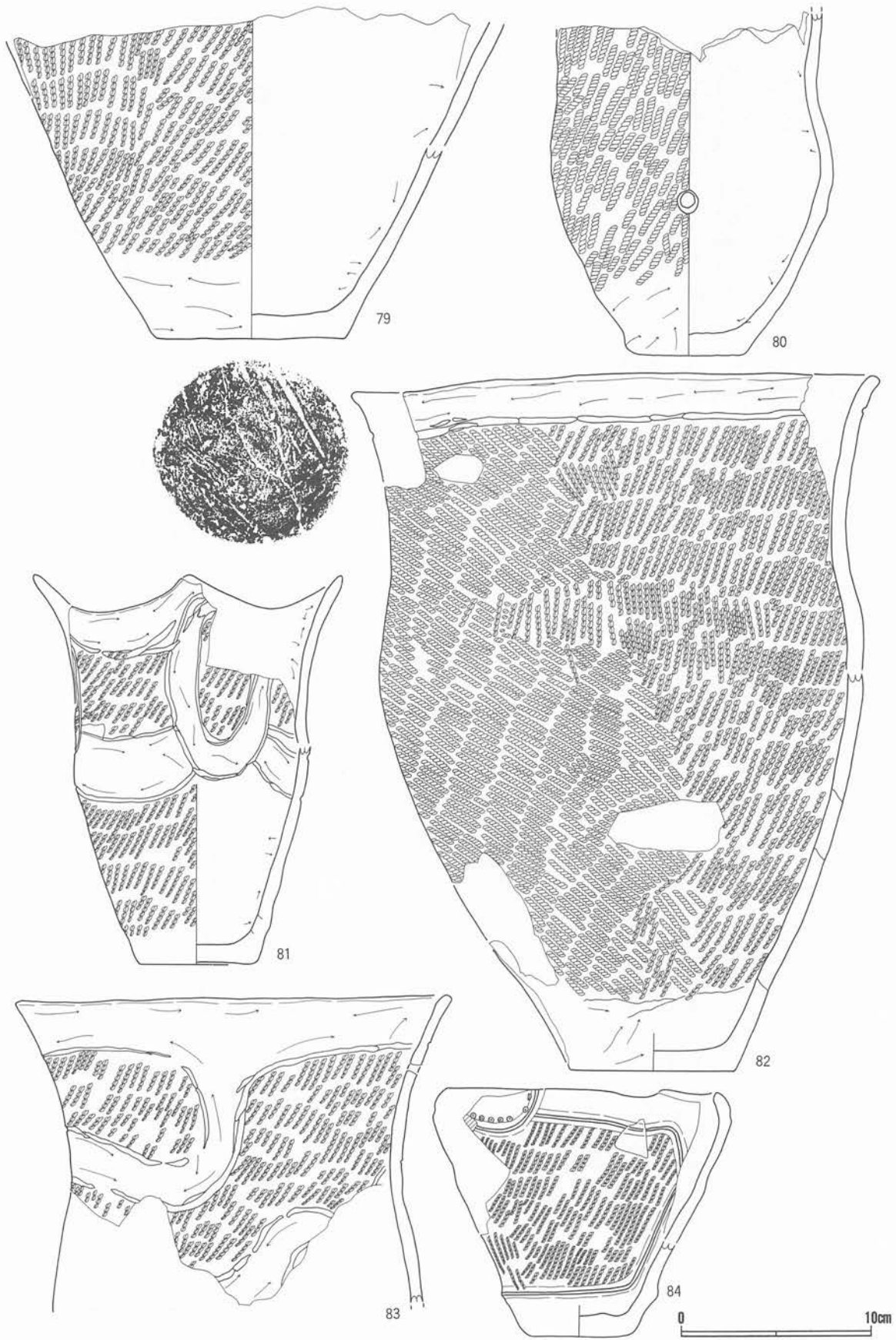


第121図 出土遺物 土器実測図(17)

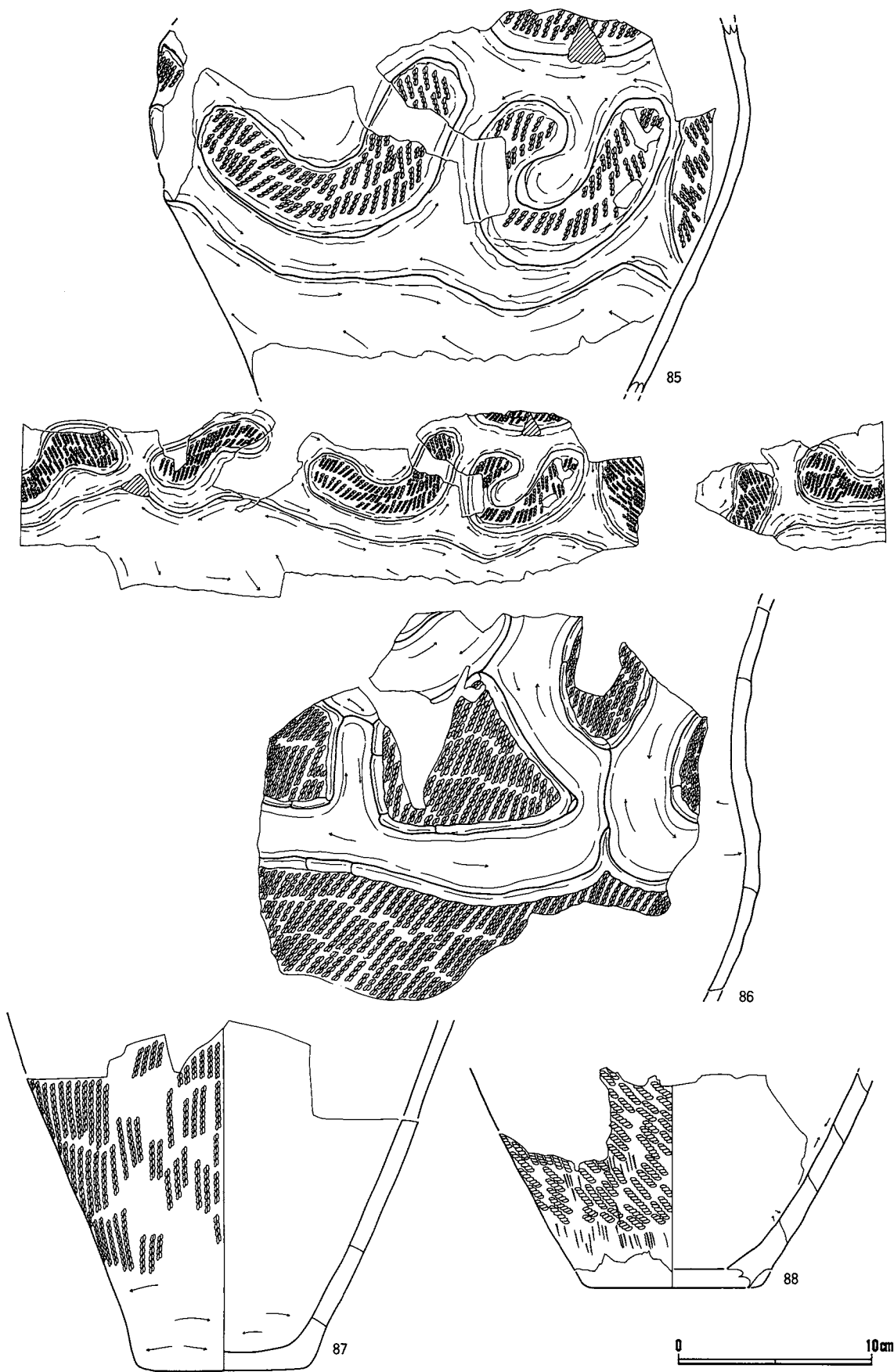




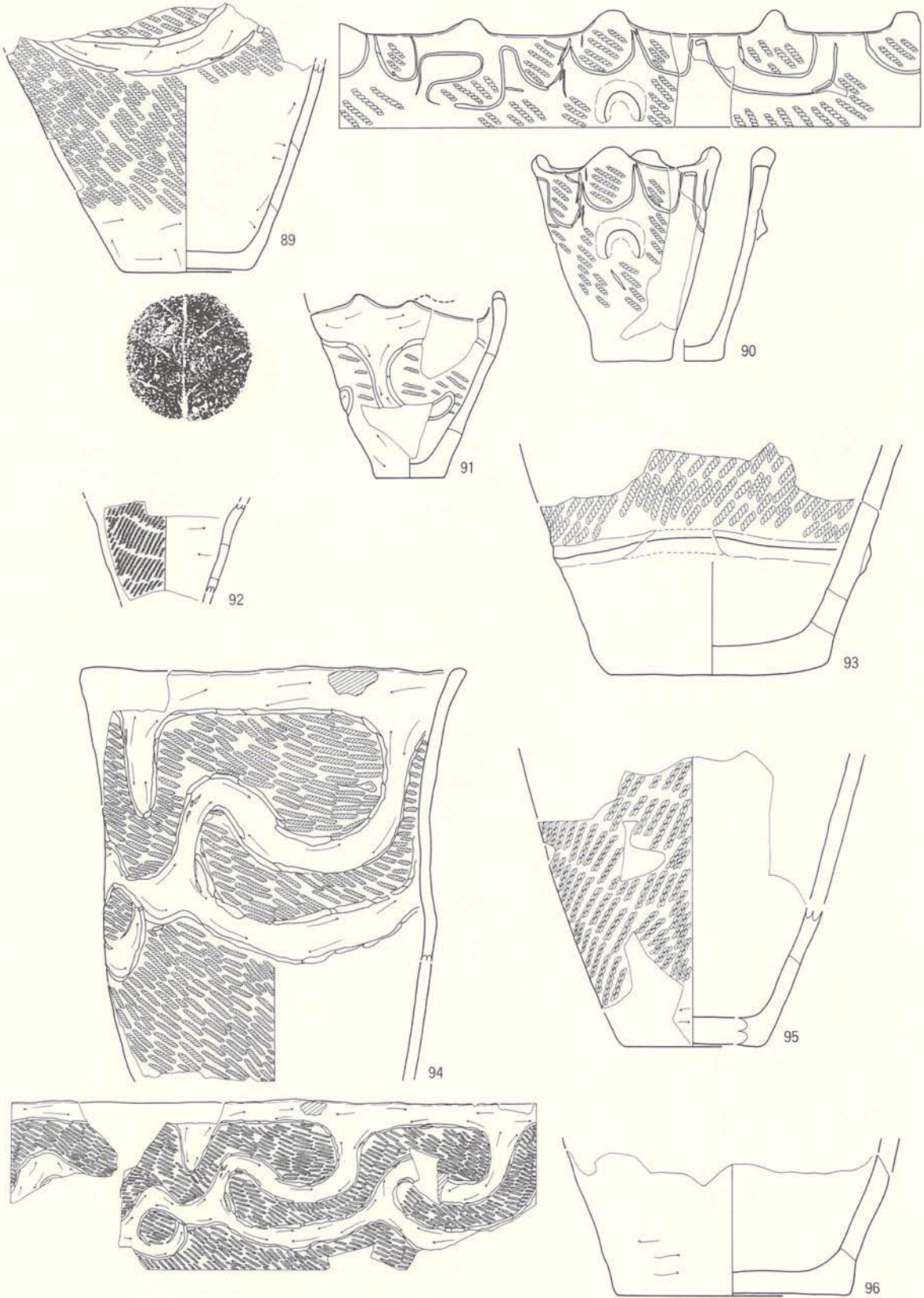
第122图 出土遗物 土器实测图(18)



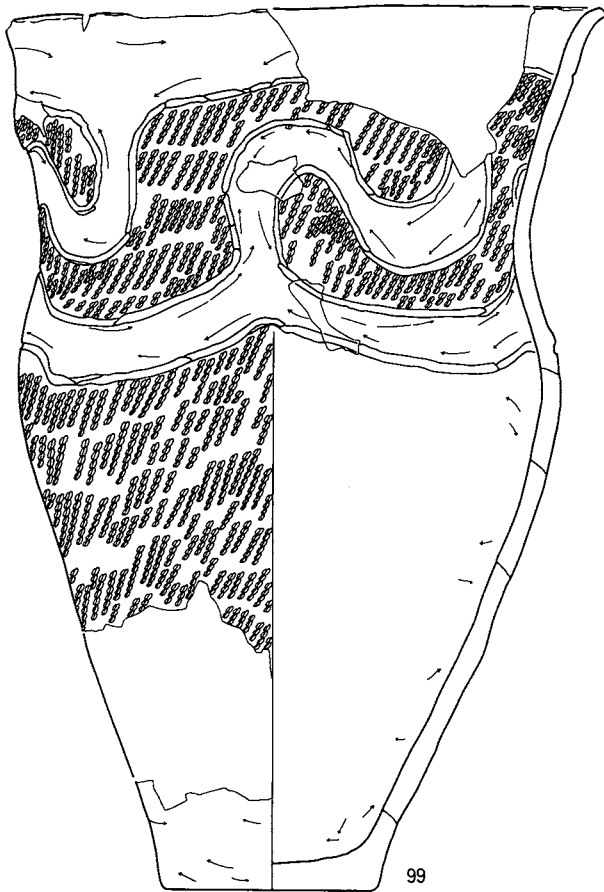
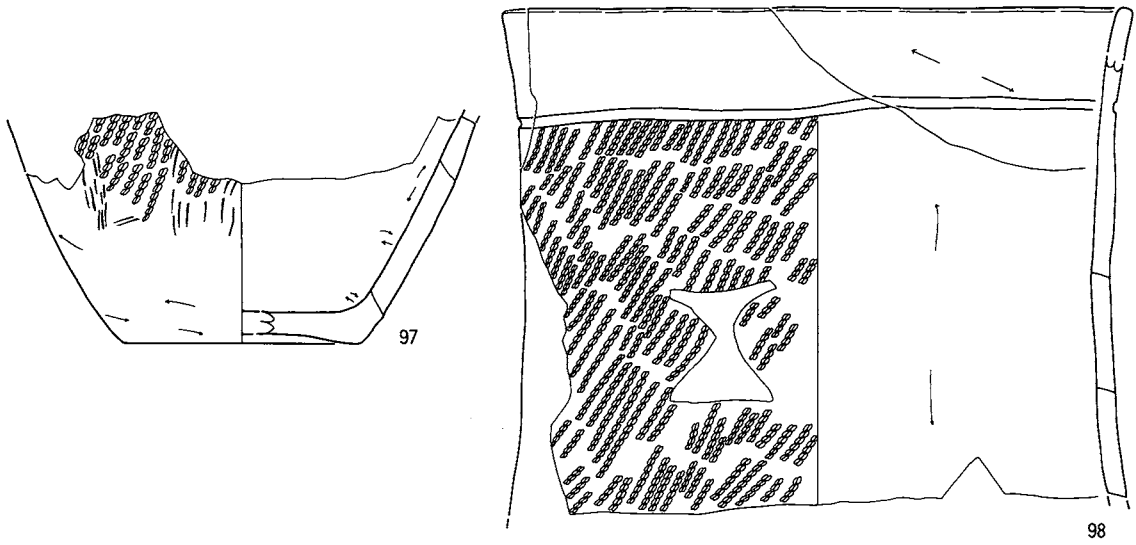
第123图 出土遺物 土器実測図(19)



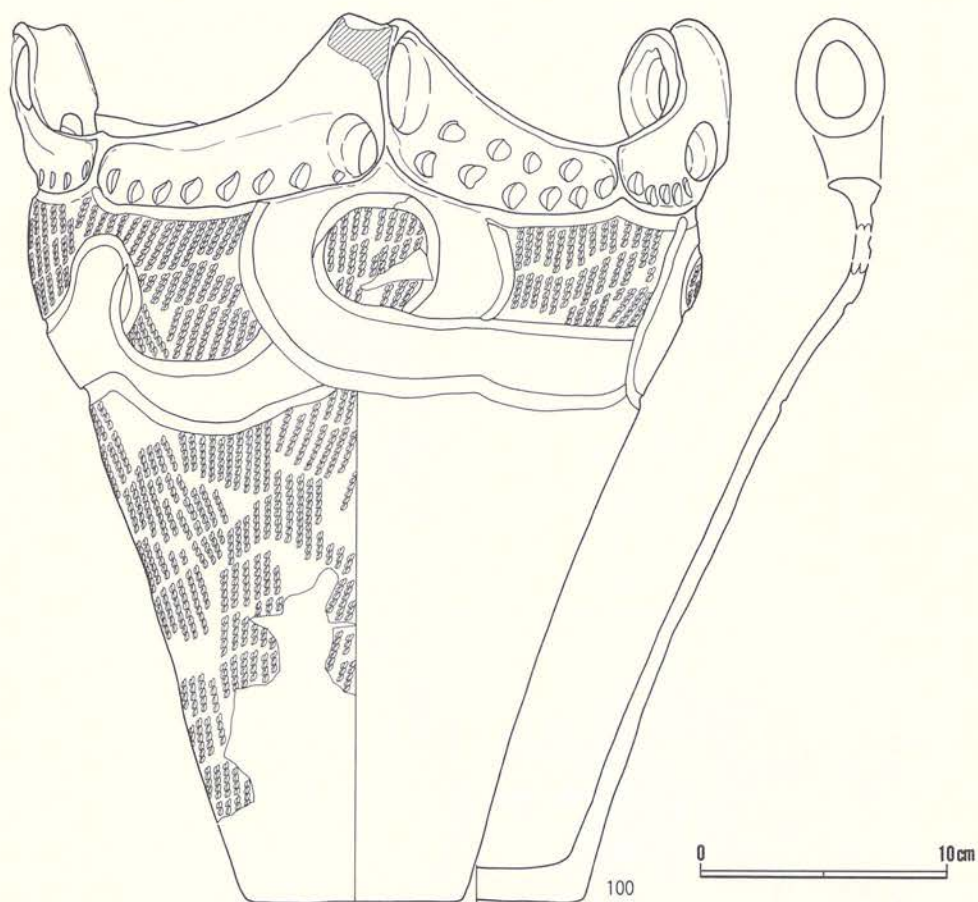
第124图 出土遗物 土器实测图(20)



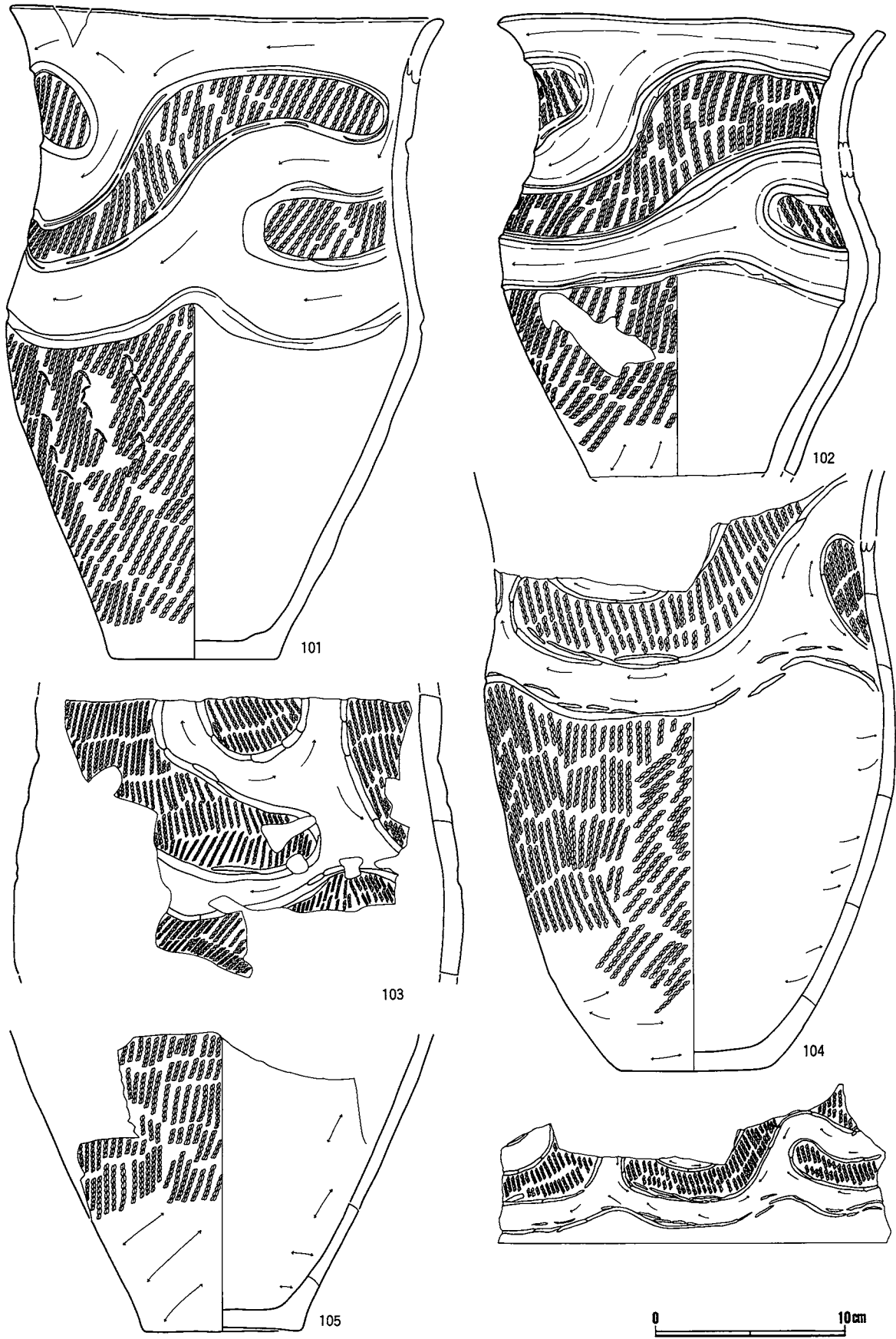
第125図 出土遺物 土器実測図(21)



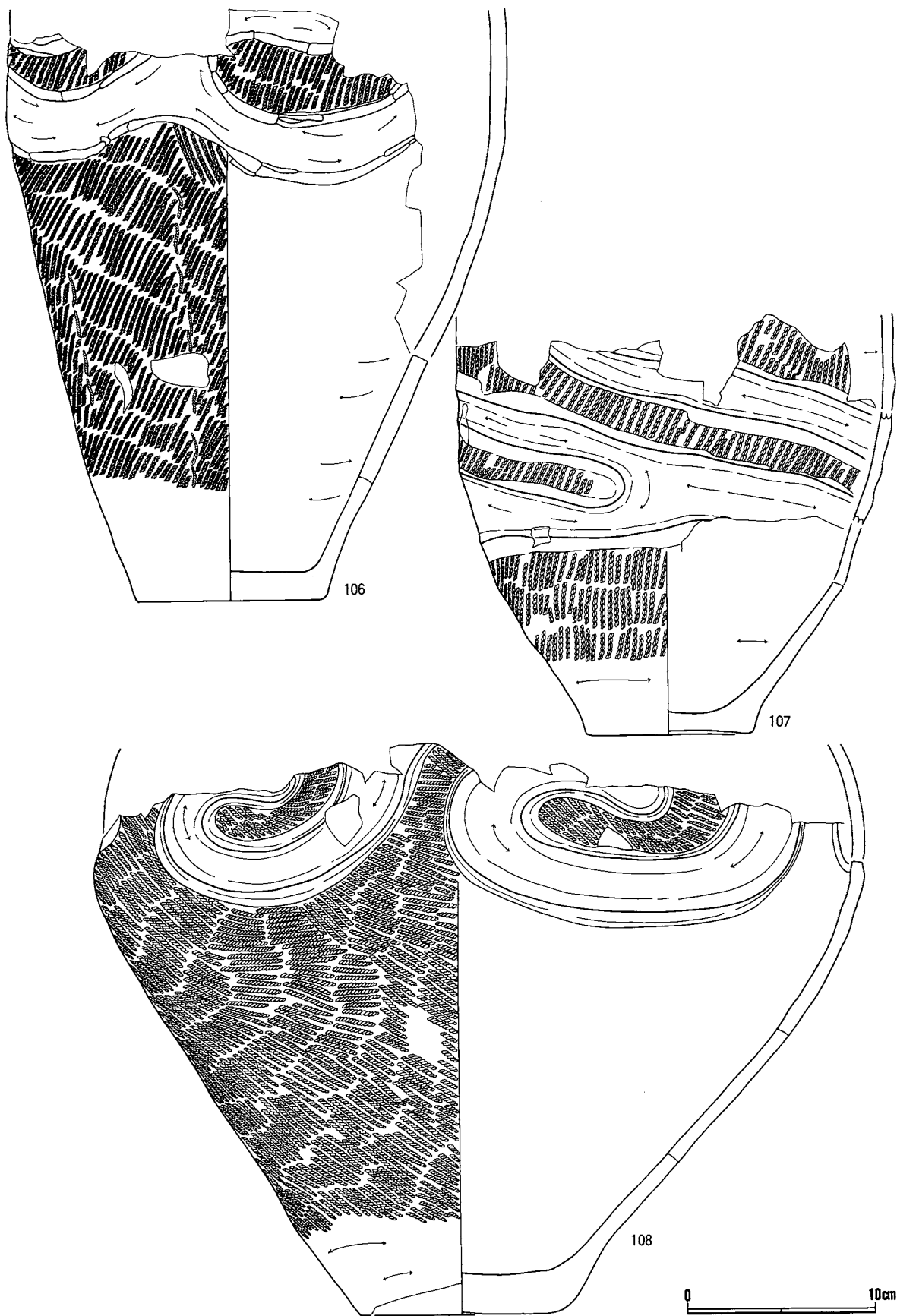
第126図 出土遺物 土器実測図(2)



第127図 出土遺物 土器実測図(23)

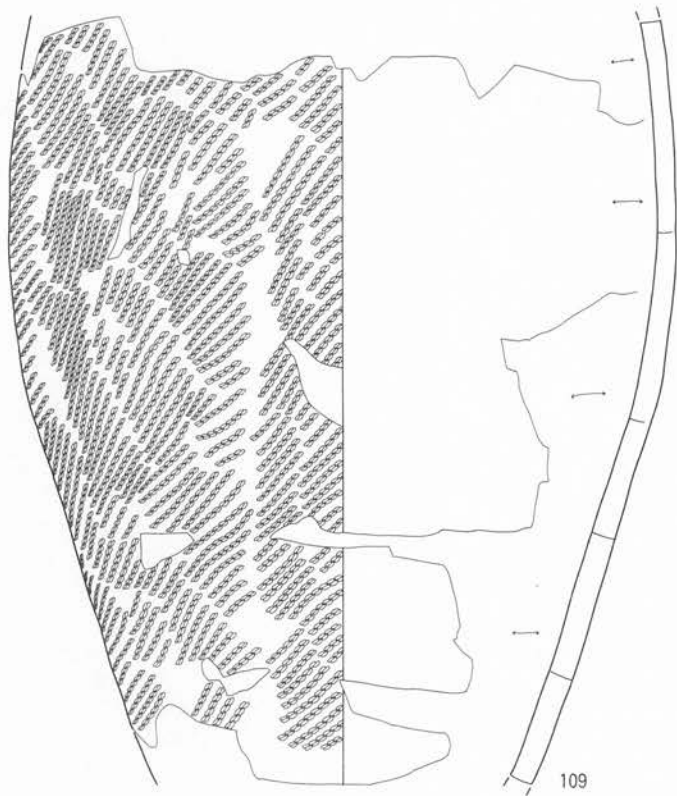


第128図 出土遺物 土器実測図(24)



第129图 出土遗物 土器实测图(25)

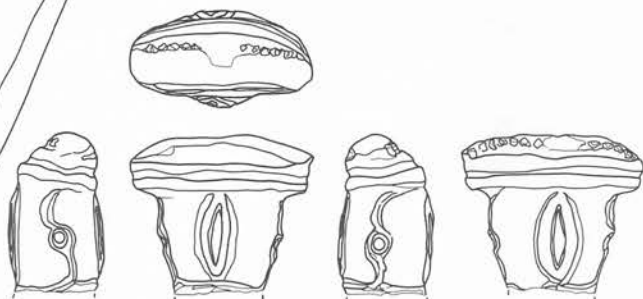




109



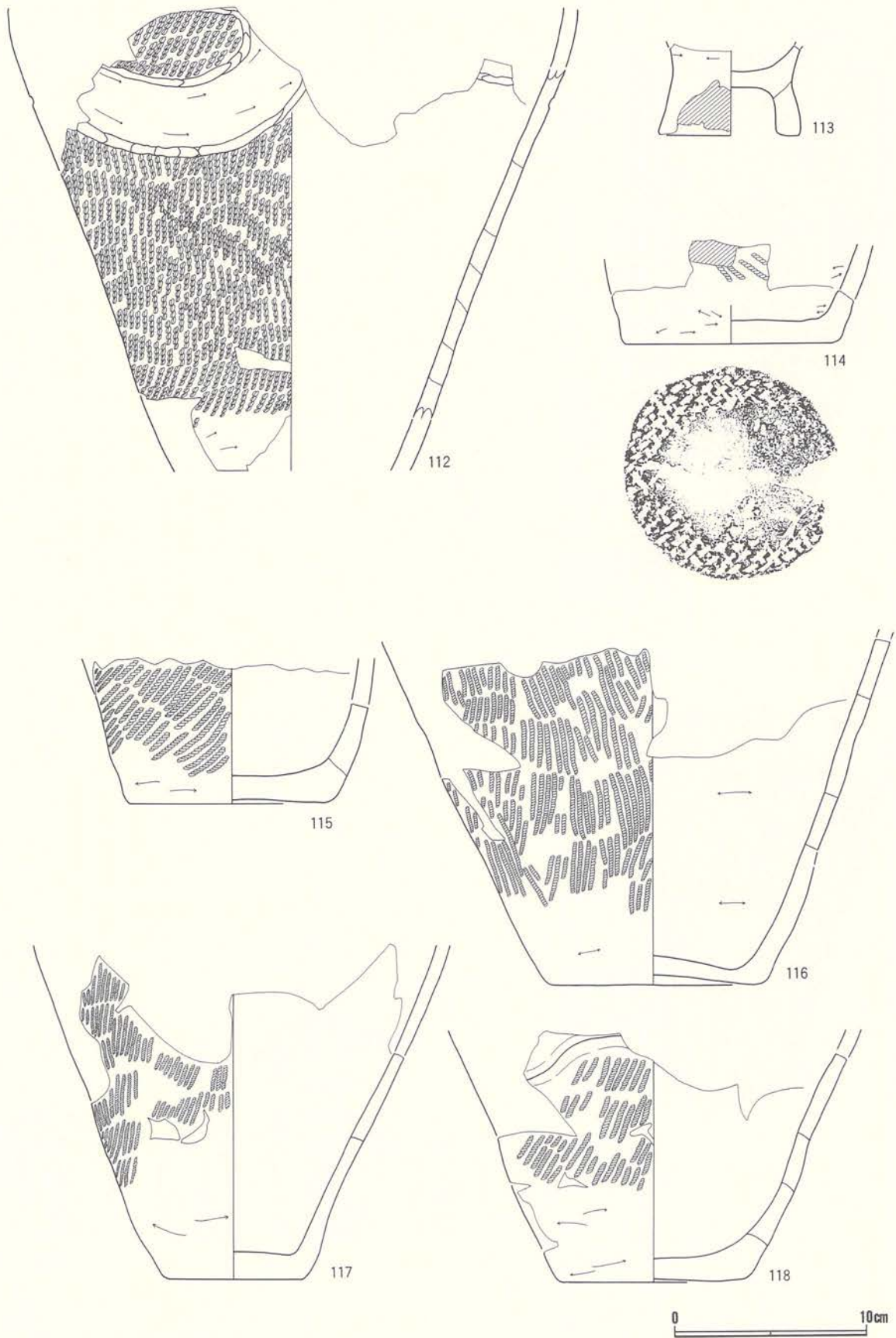
110



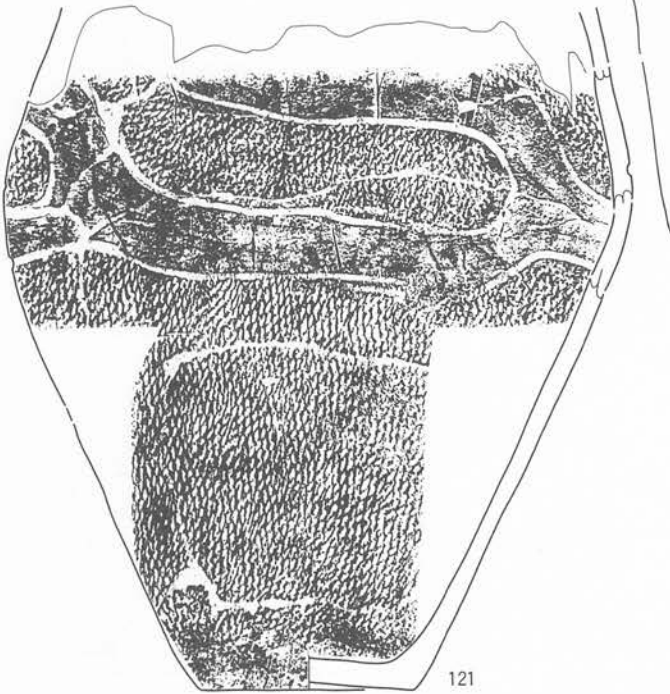
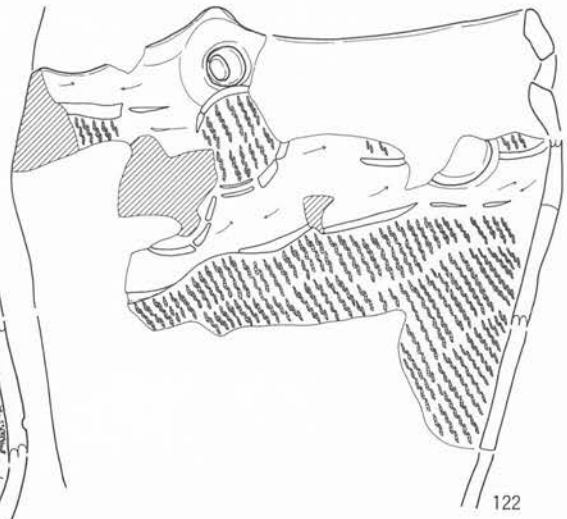
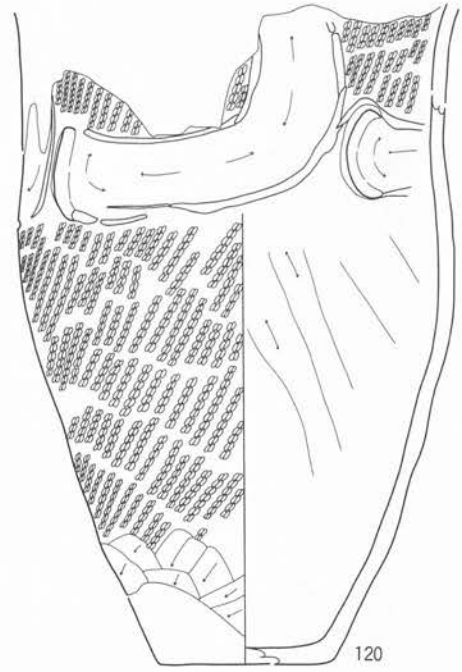
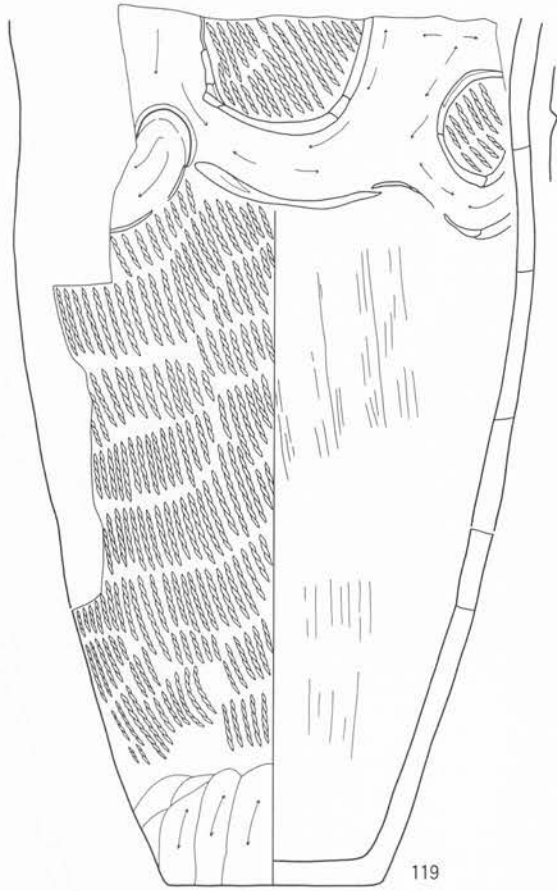
111



第130图 出土遺物 土器実測図(26)

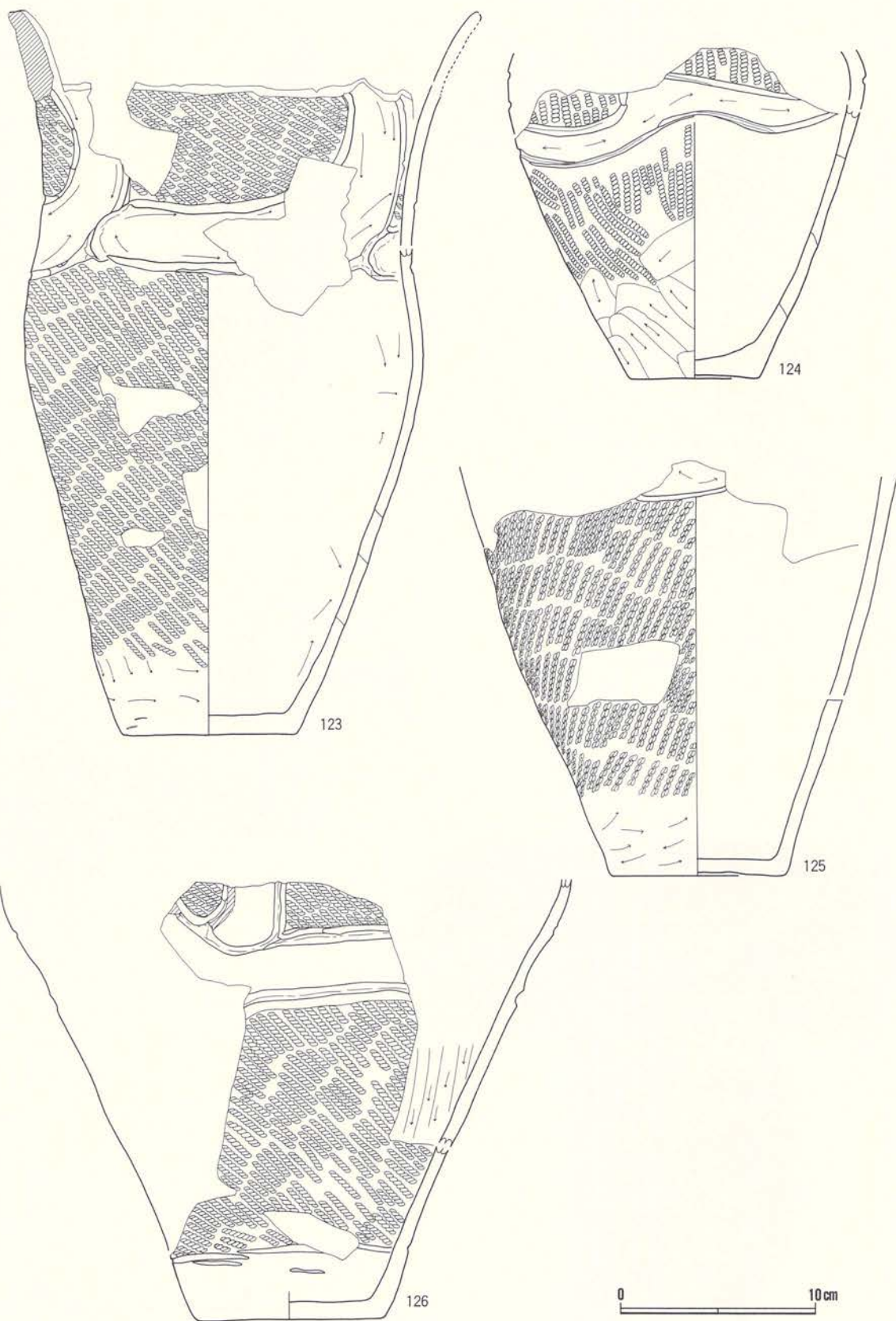


第131图 出土遺物 土器実測図(27)

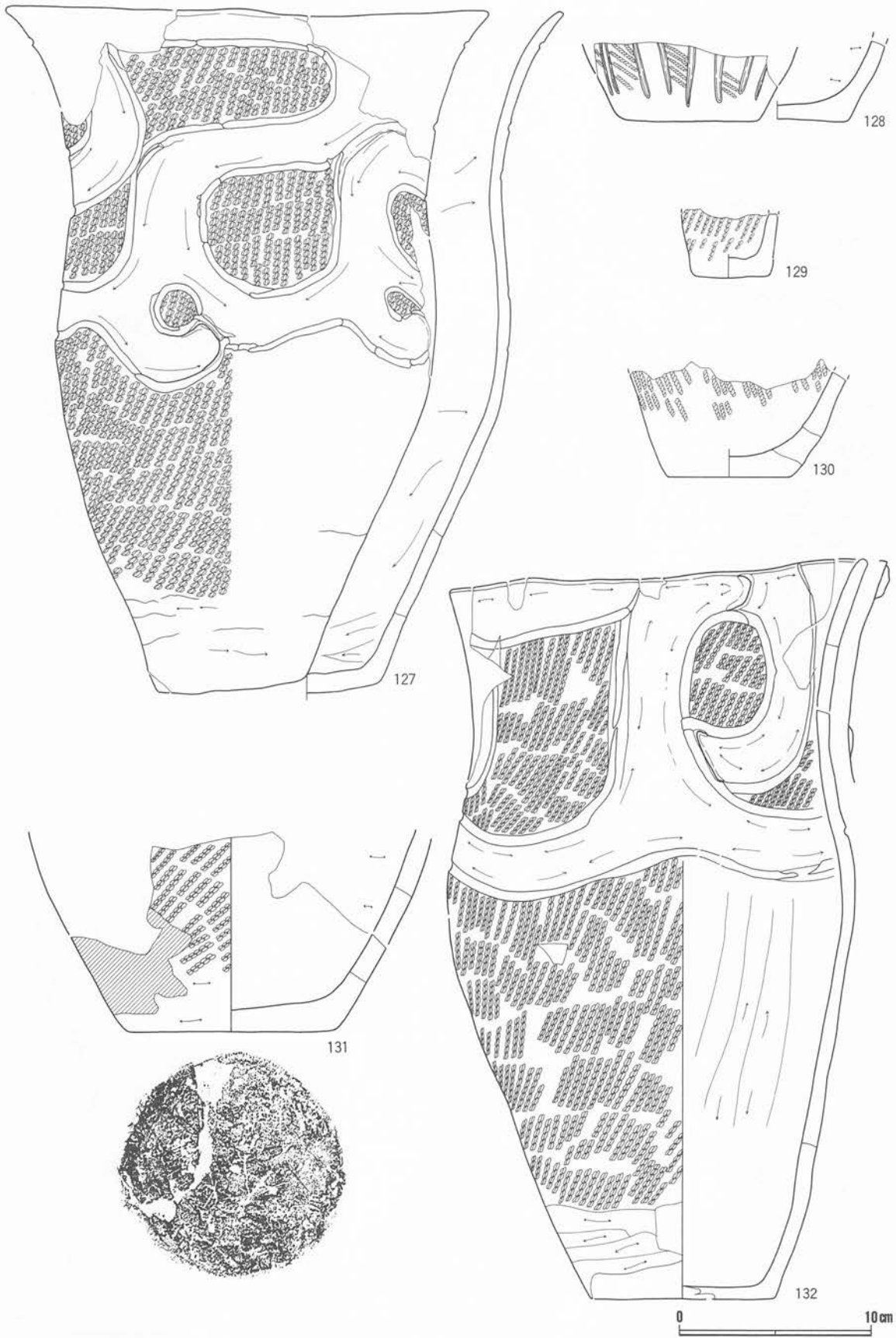


0 10 cm

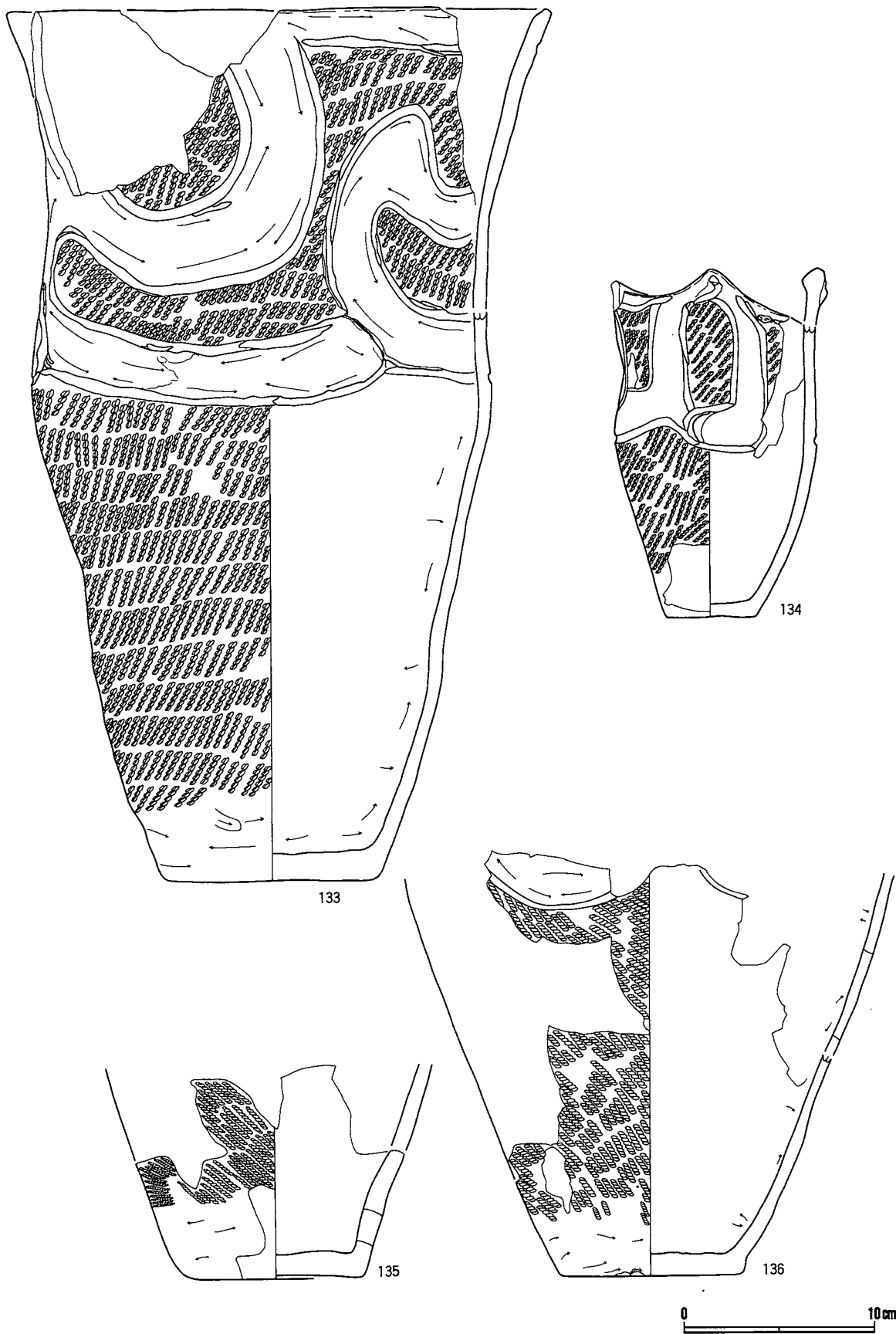
第132图 出土遺物 土器実測図(28)



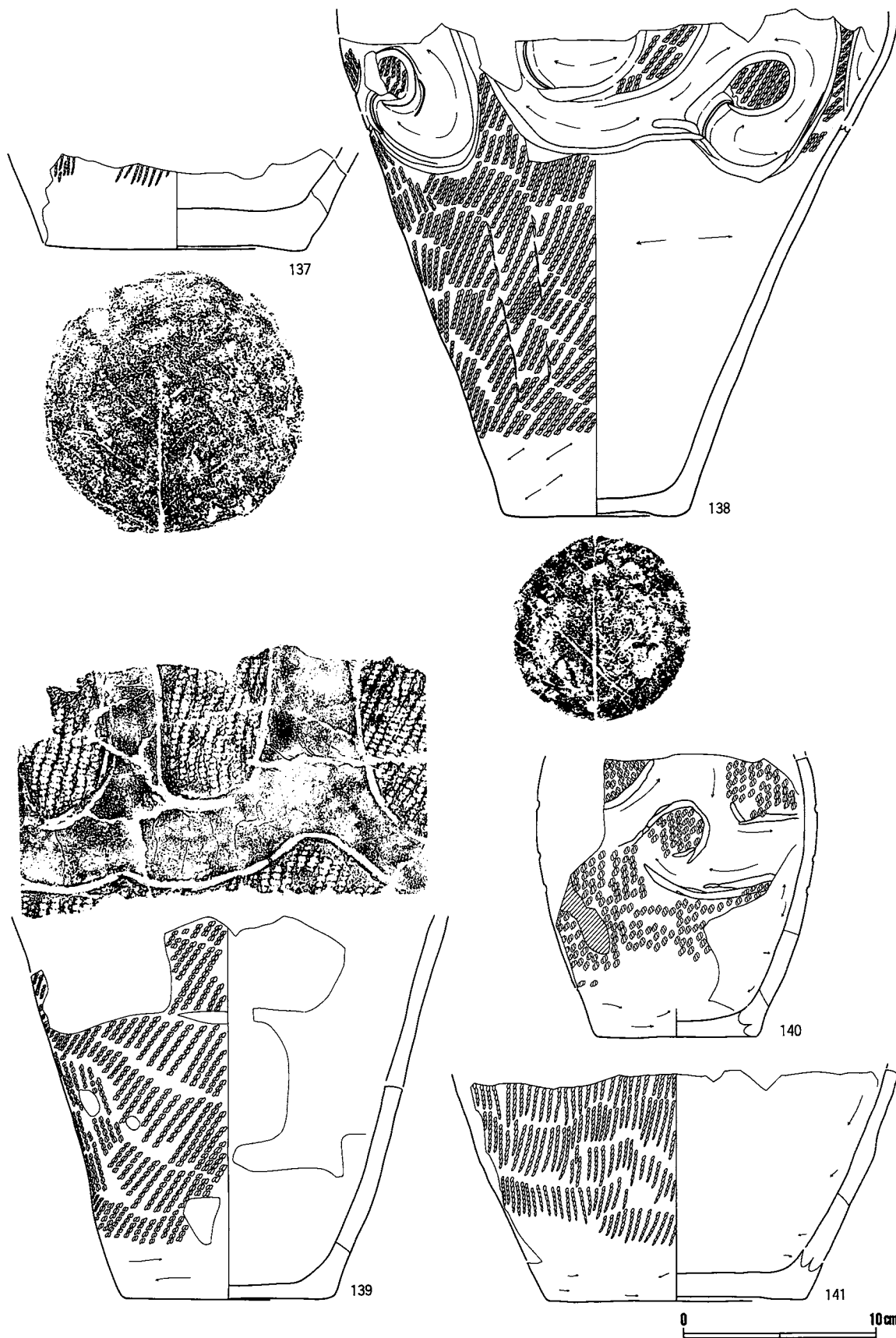
第133図 出土遺物 土器実測図(29)



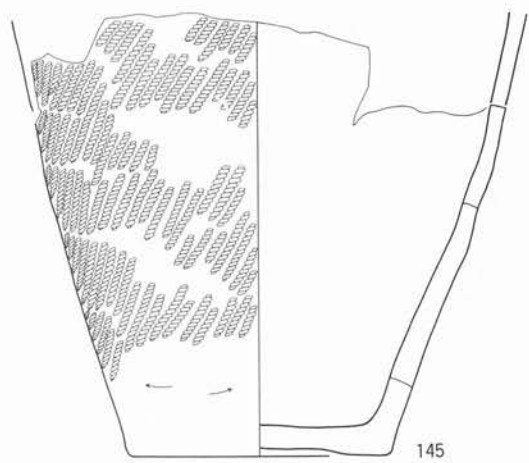
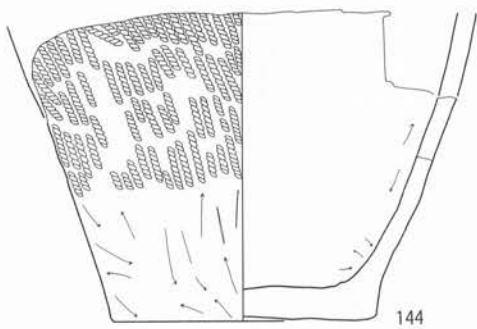
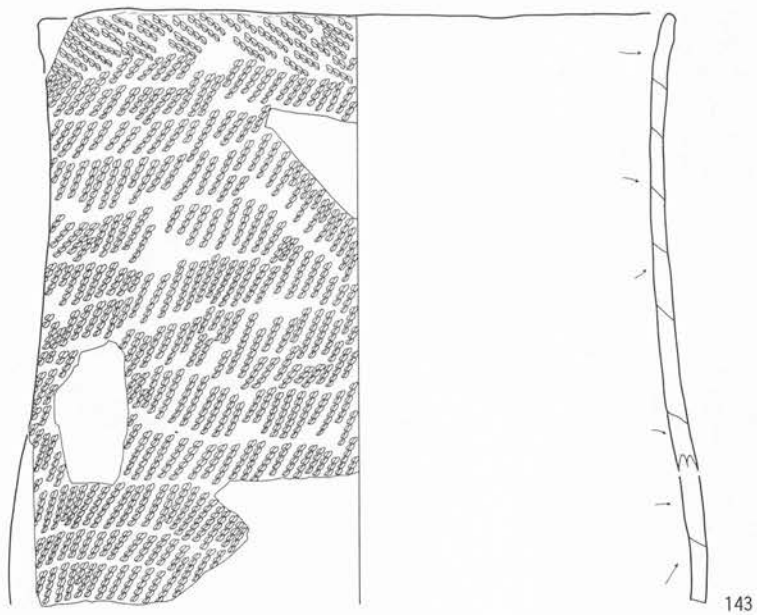
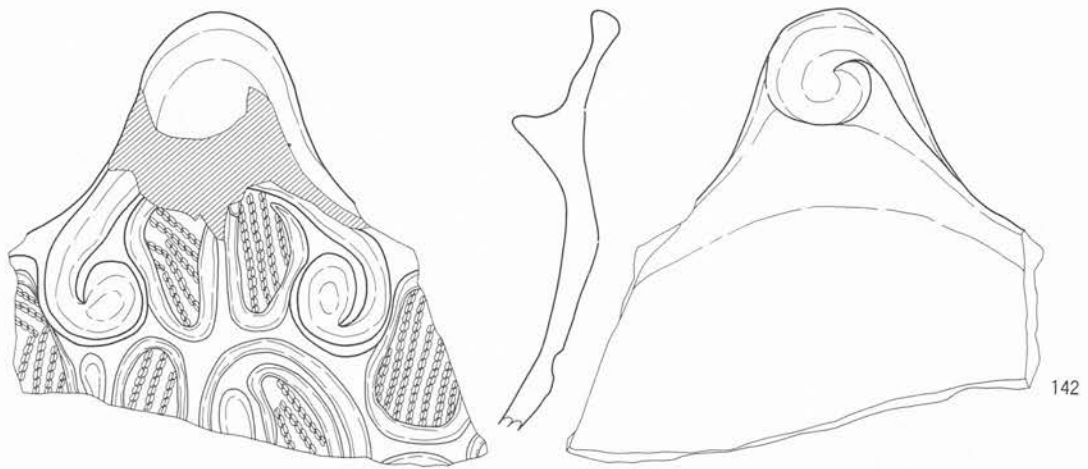
第134図 出土遺物 土器実測図(30)



第135图 出土遗物 土器实测图(31)

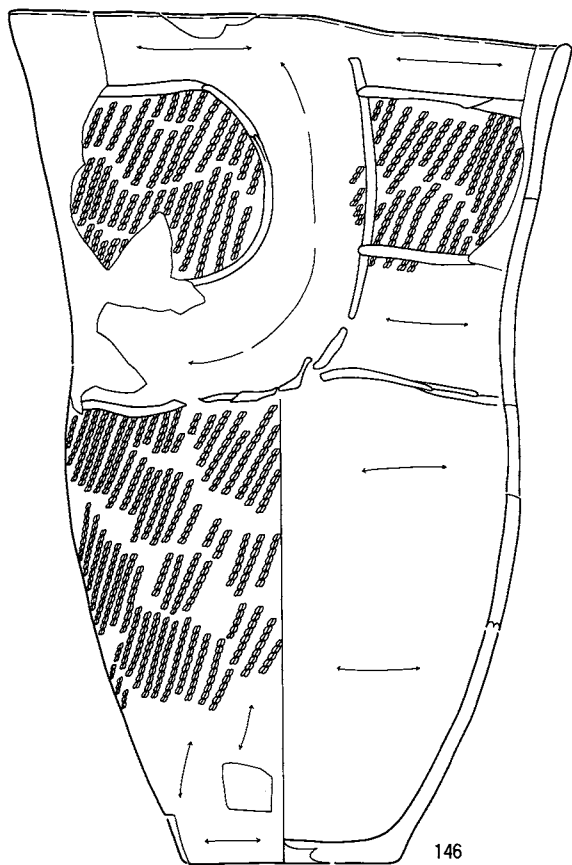


第136图 出土遗物 土器実測図(32)

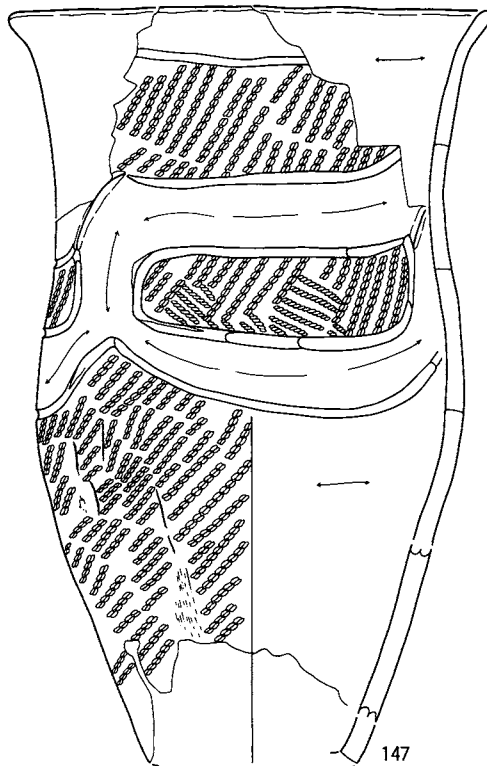


第137図 出土遺物 土器実測図(33)

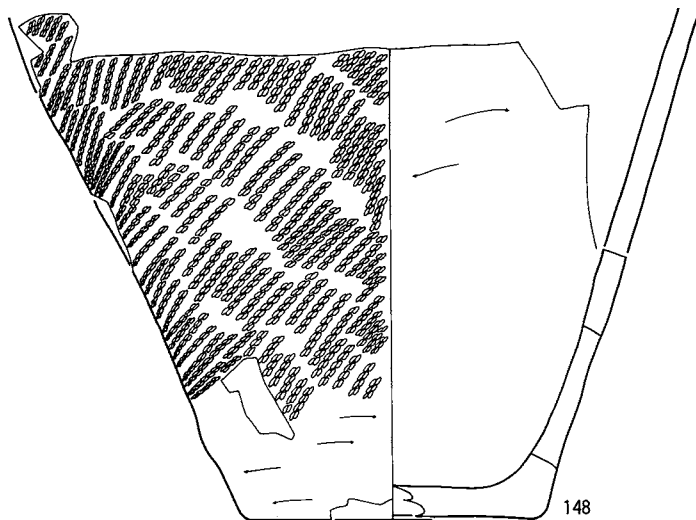




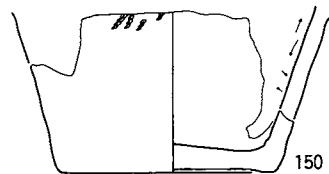
146



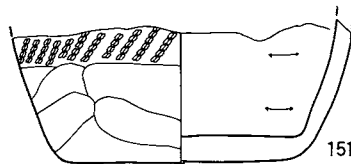
147



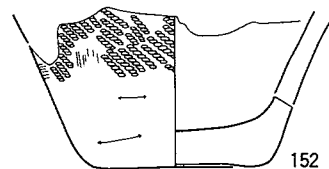
148



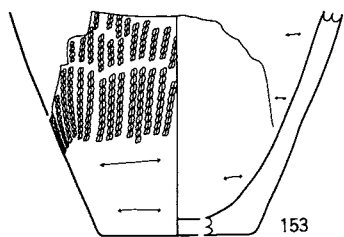
150



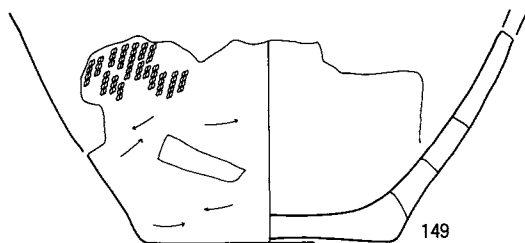
151



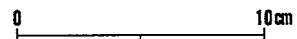
152



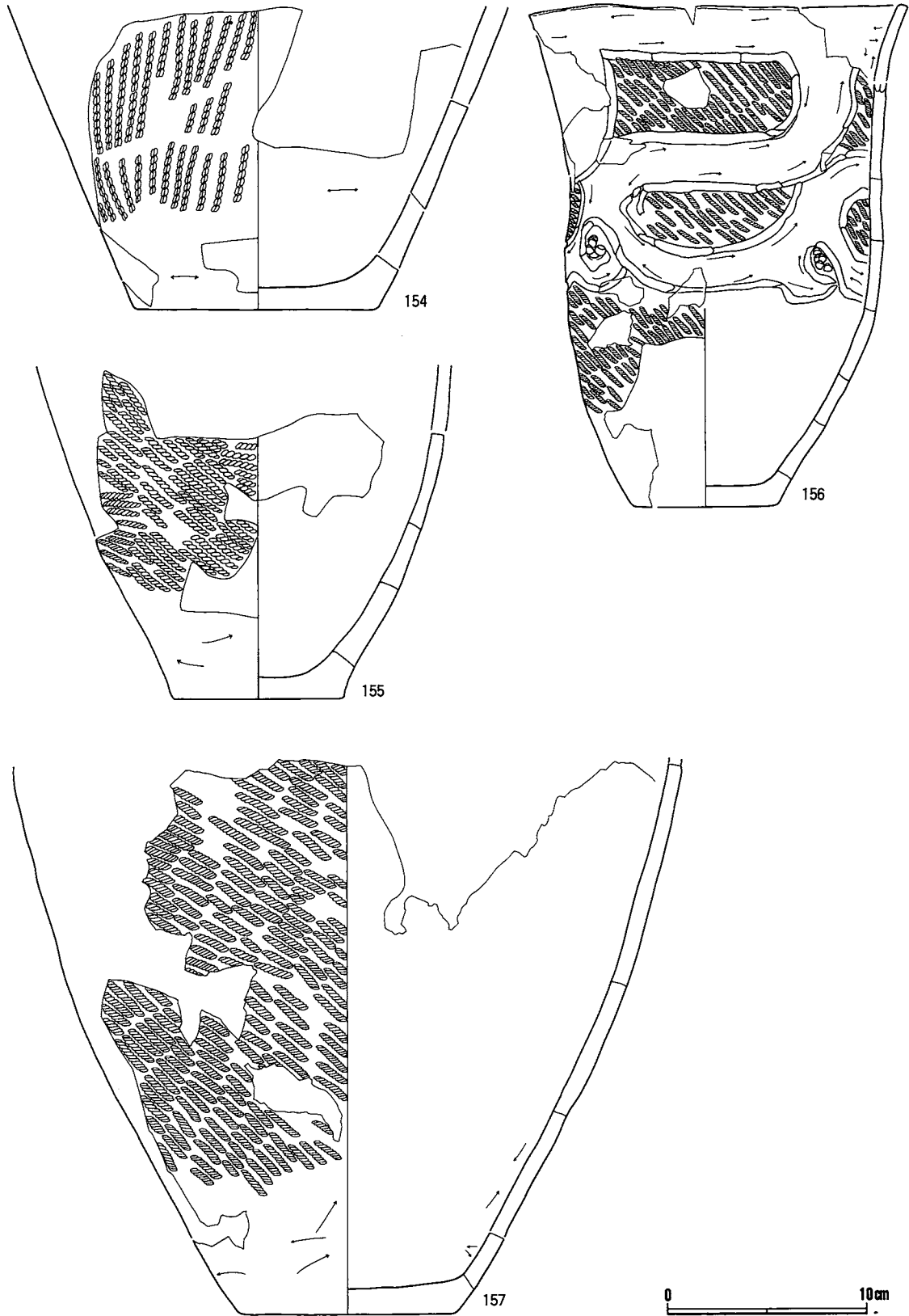
153



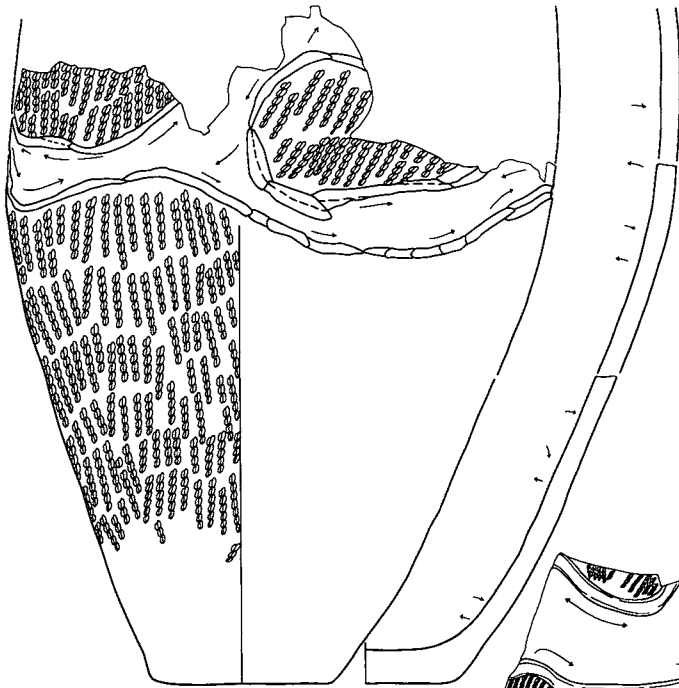
149



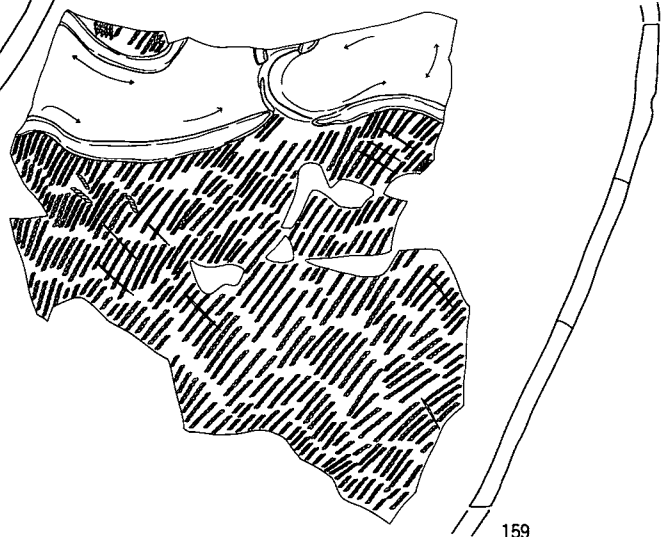
第138图 出土遗物 土器実測图(34)



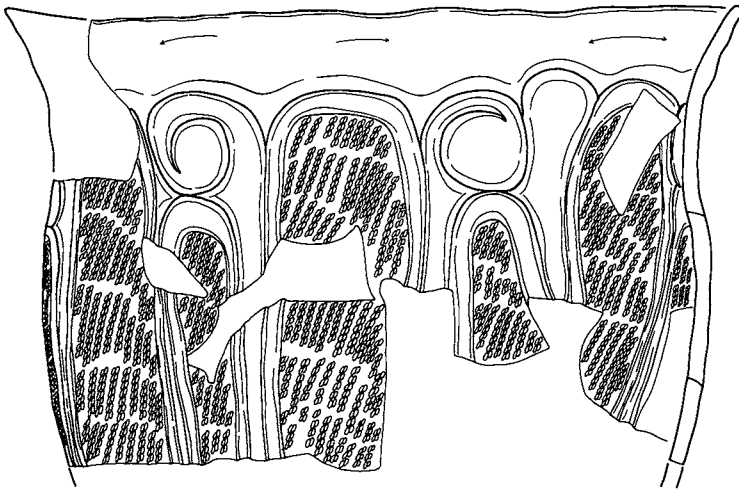
第139図 出土遺物 土器実測図(35)



158



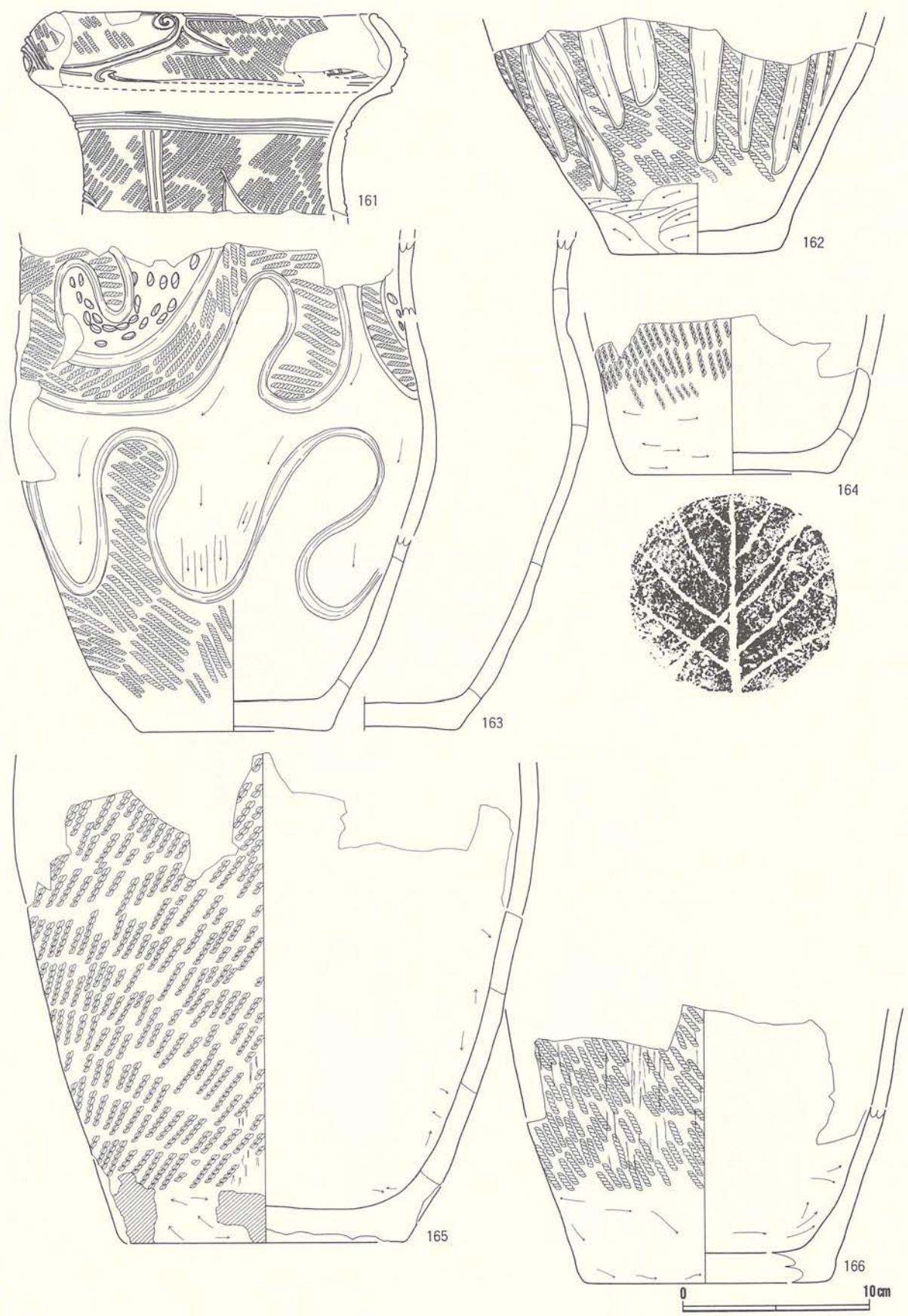
159



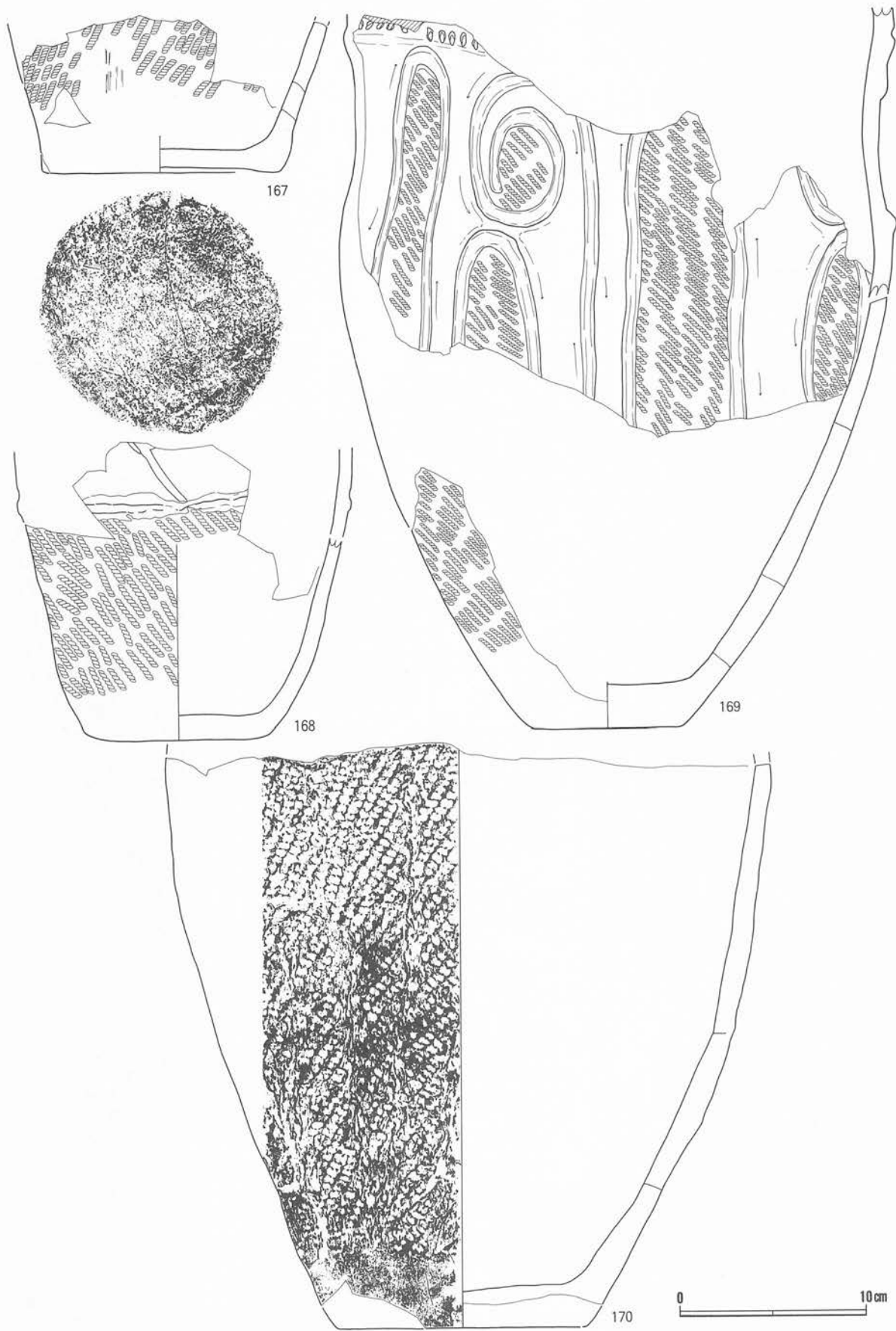
160



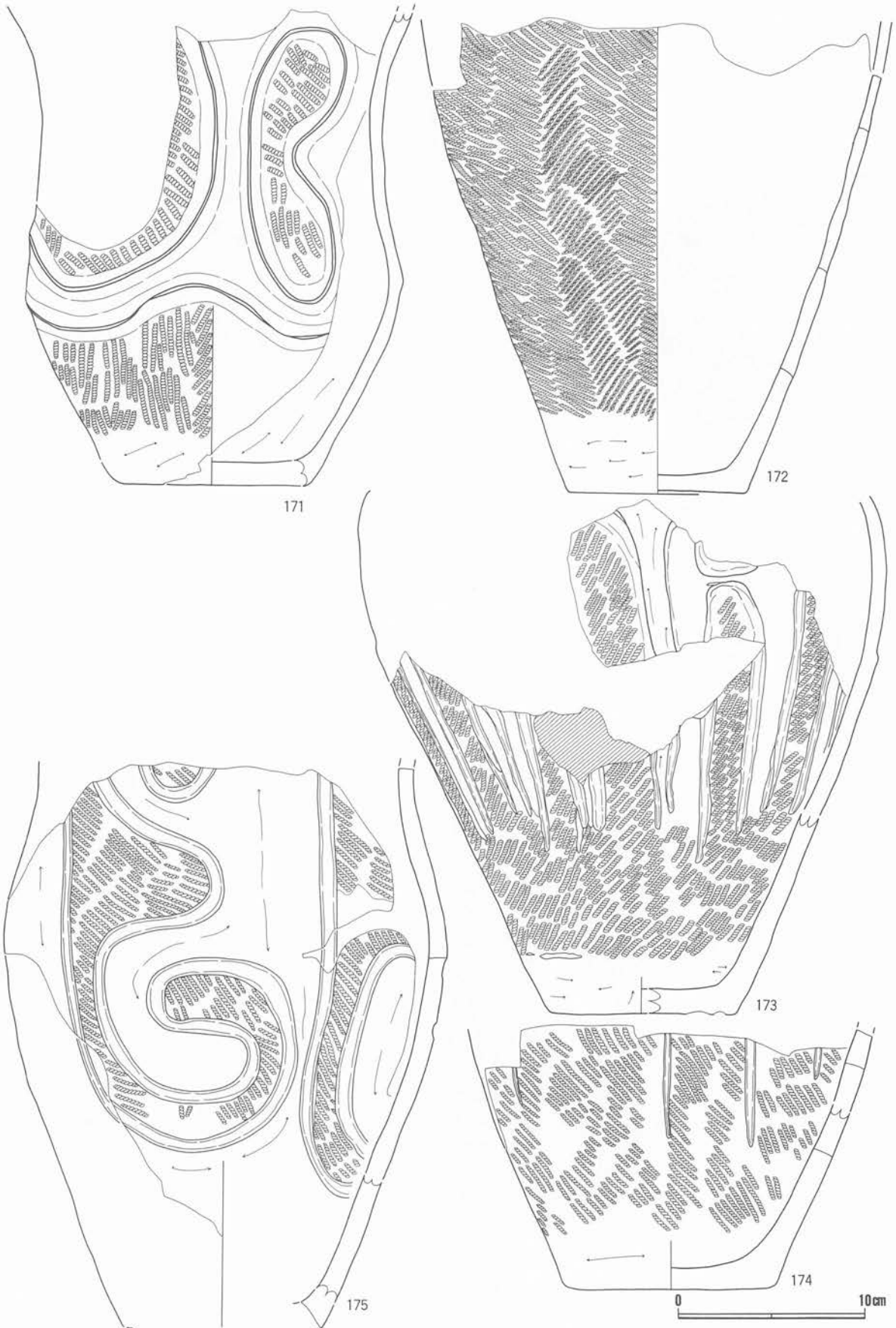
第140图 出土遺物 土器実測図(36)



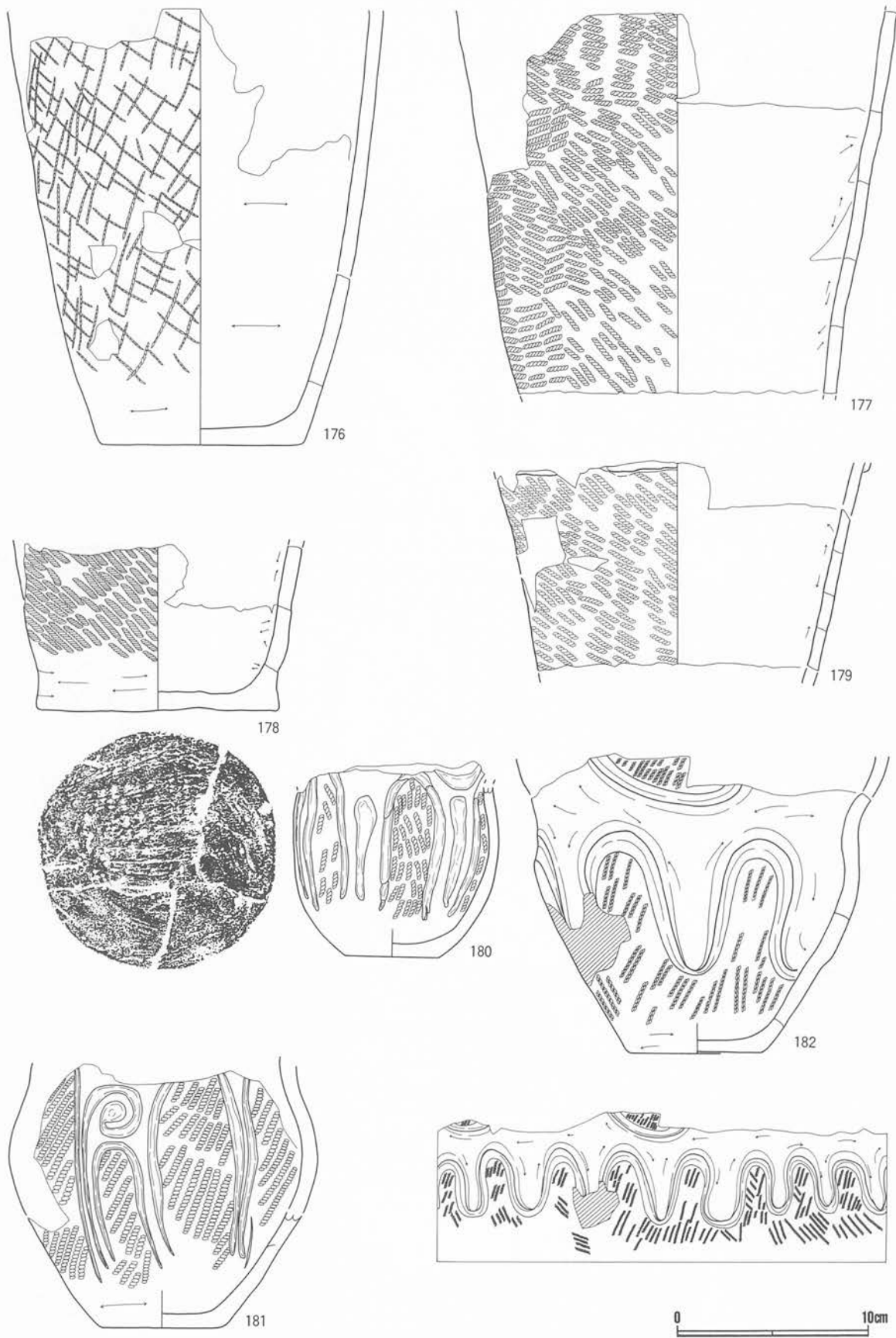
第141图 出土遺物 土器実測図(37)



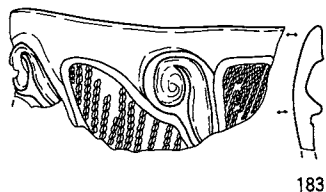
第142図 出土遺物 土器実測図(38)



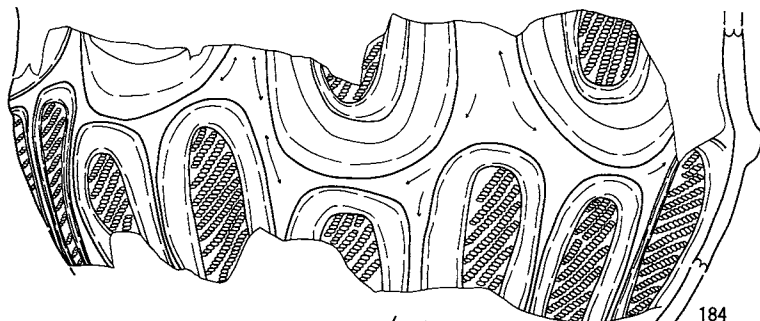
第143图 出土遺物 土器実測図(39)



第144图 出土遺物 土器実測図(40)



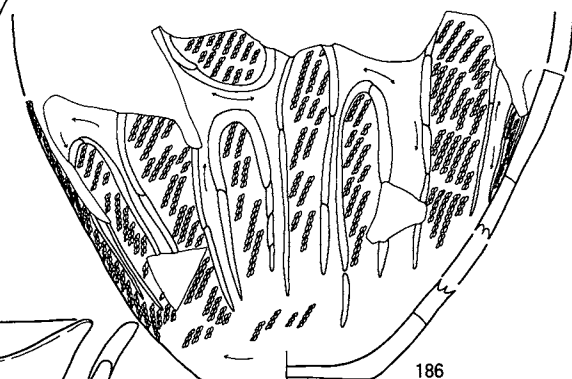
183



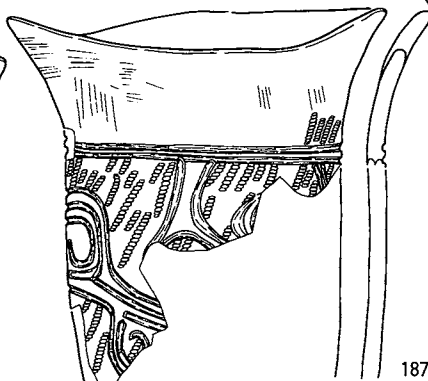
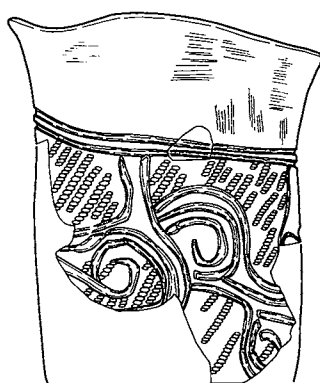
184



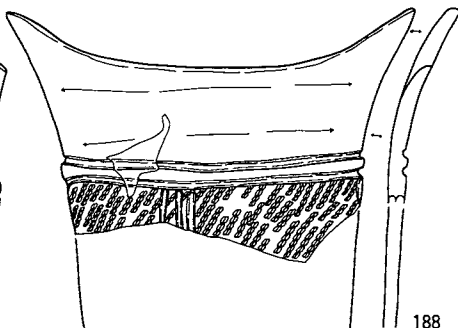
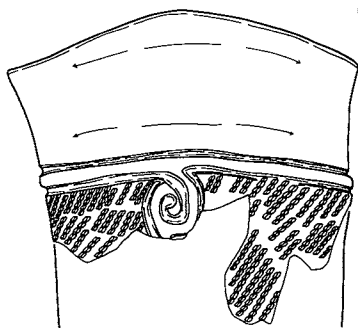
185



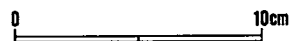
186



187

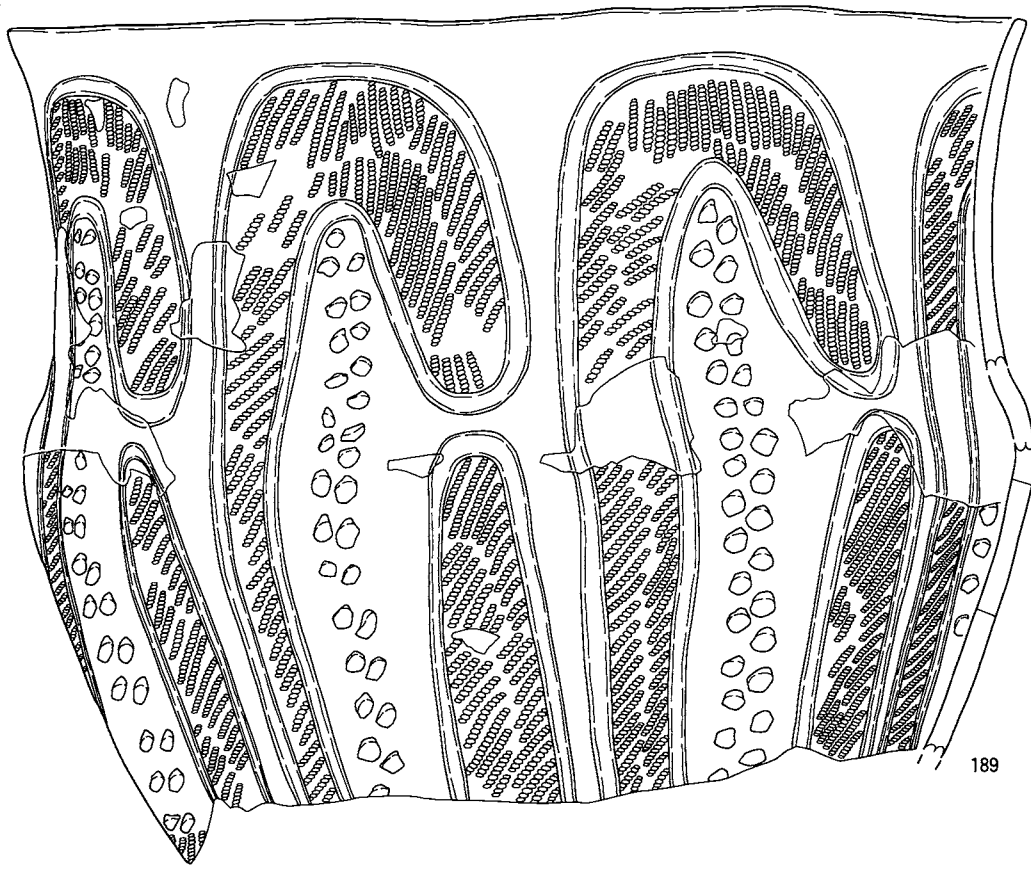


188

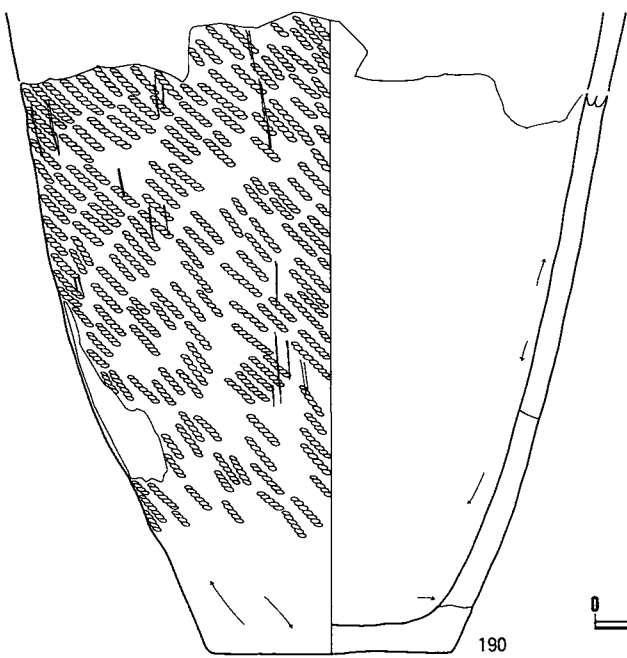


第145图 出土遗物 土器実测图(41)





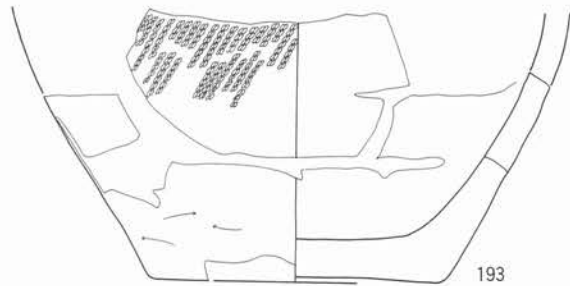
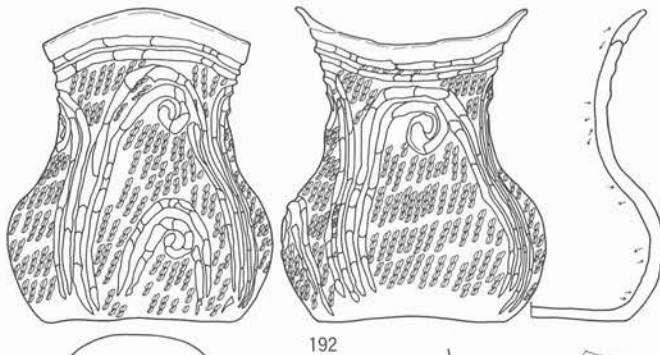
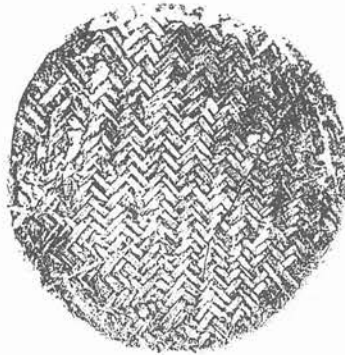
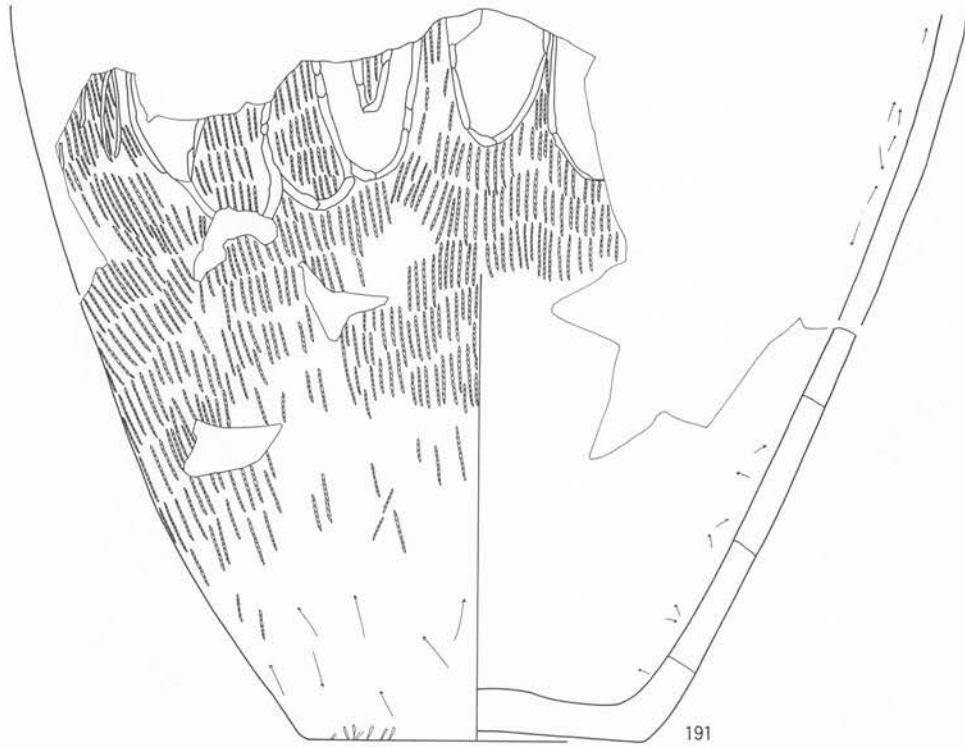
189



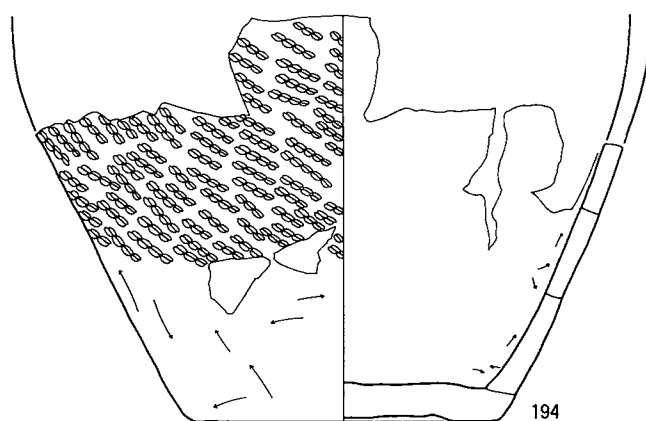
190



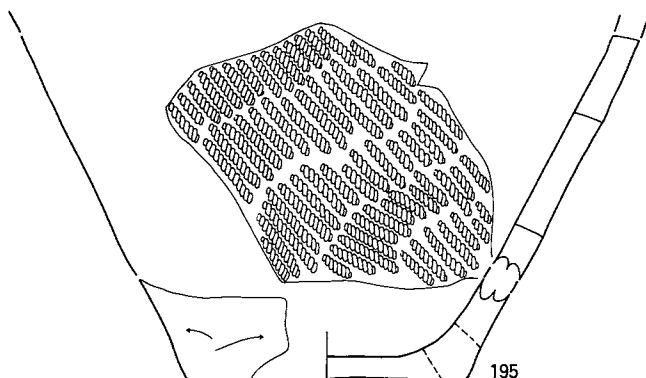
第146图 出土遗物 土器実測图(42)



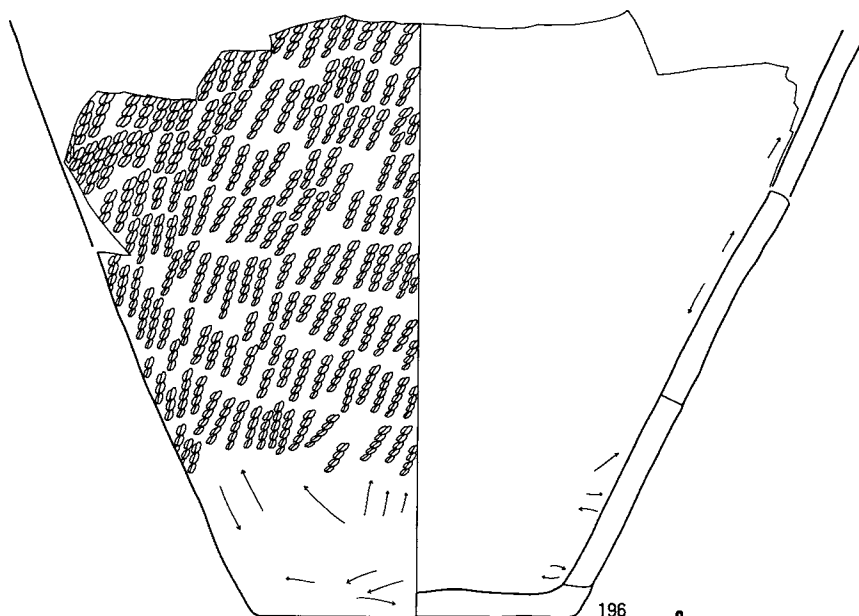
第147图 出土遺物 土器実測図(43)



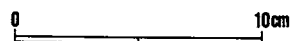
194



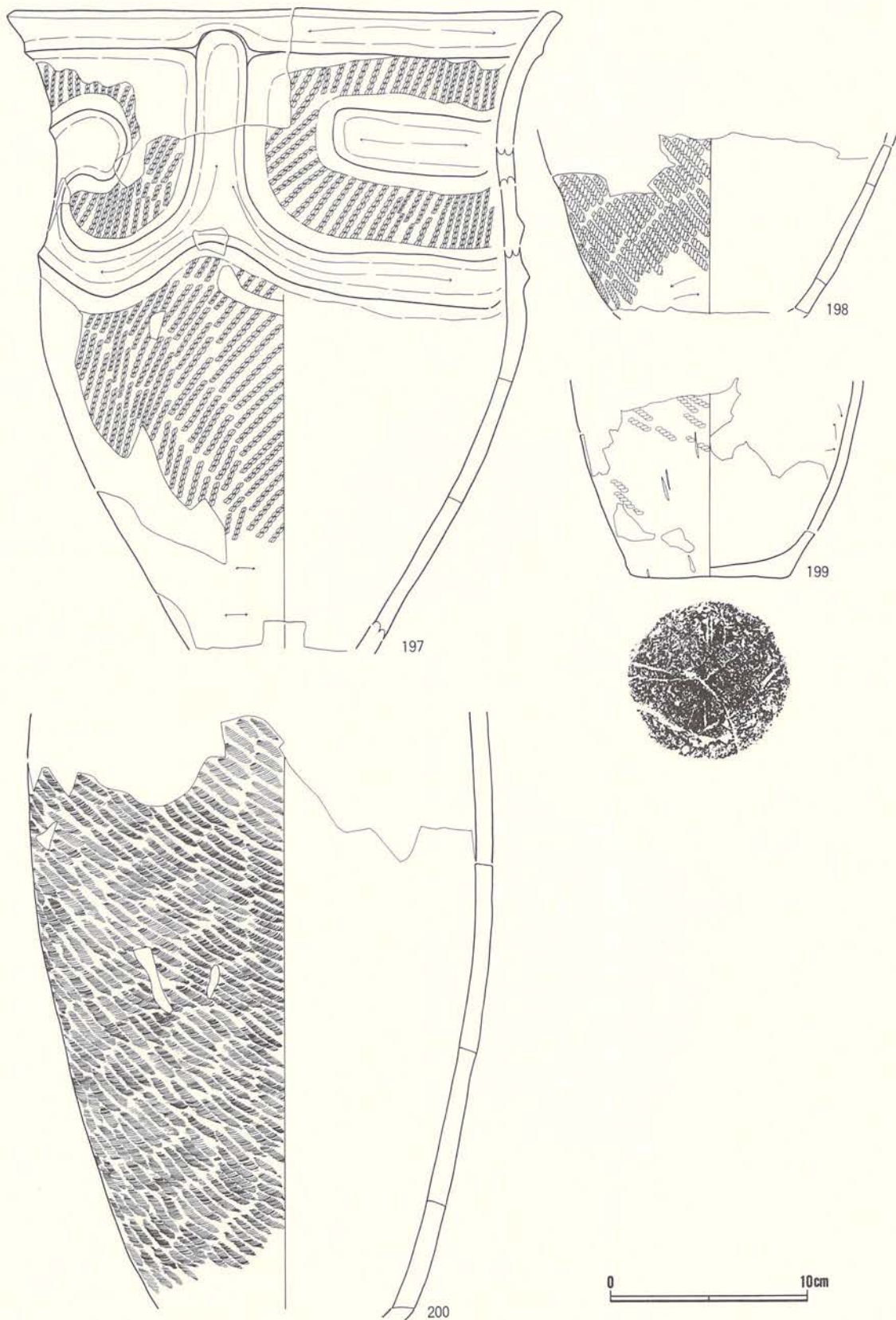
195



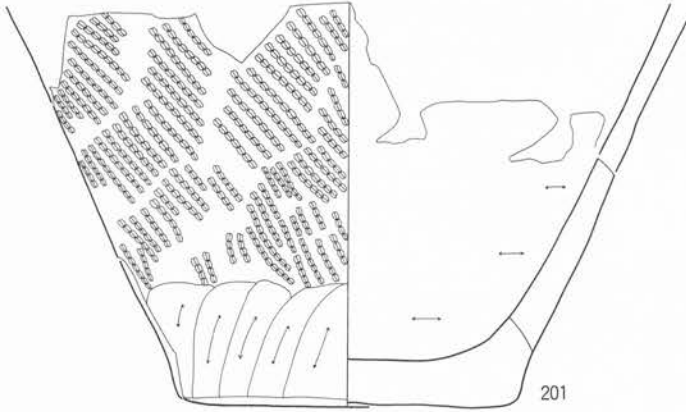
196



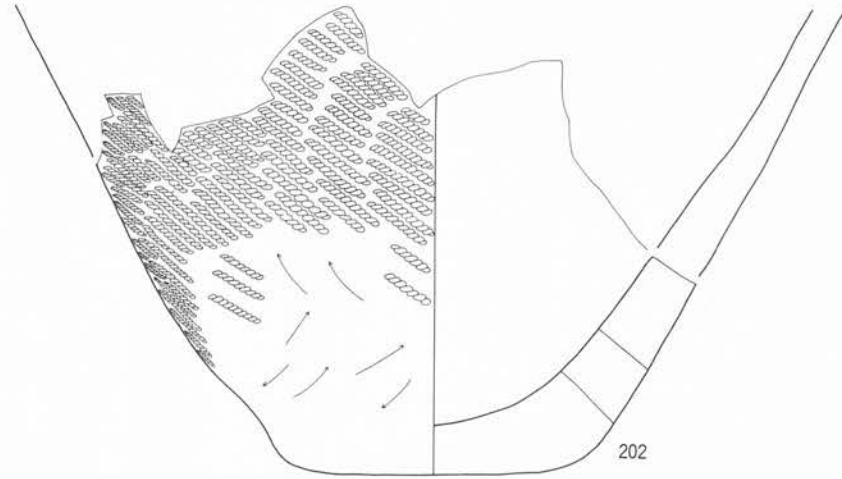
第148图 出土遺物 土器実測図(44)



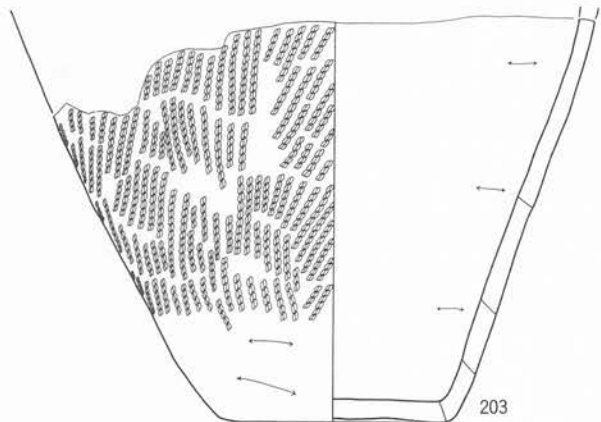
第149図 出土遺物 土器実測図(45)



201



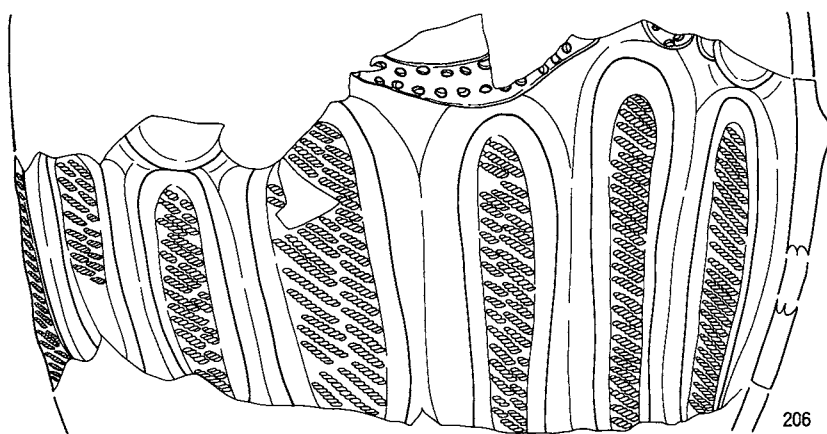
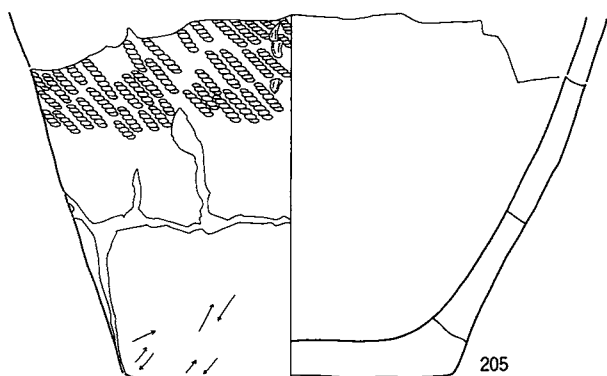
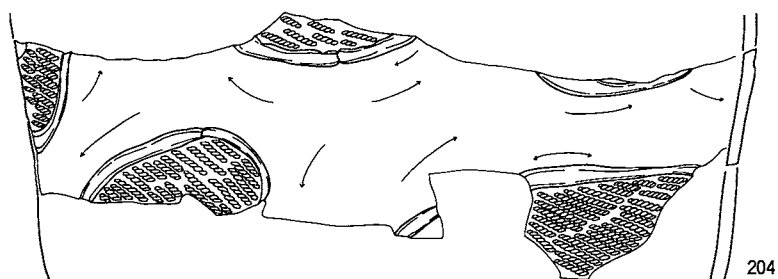
202



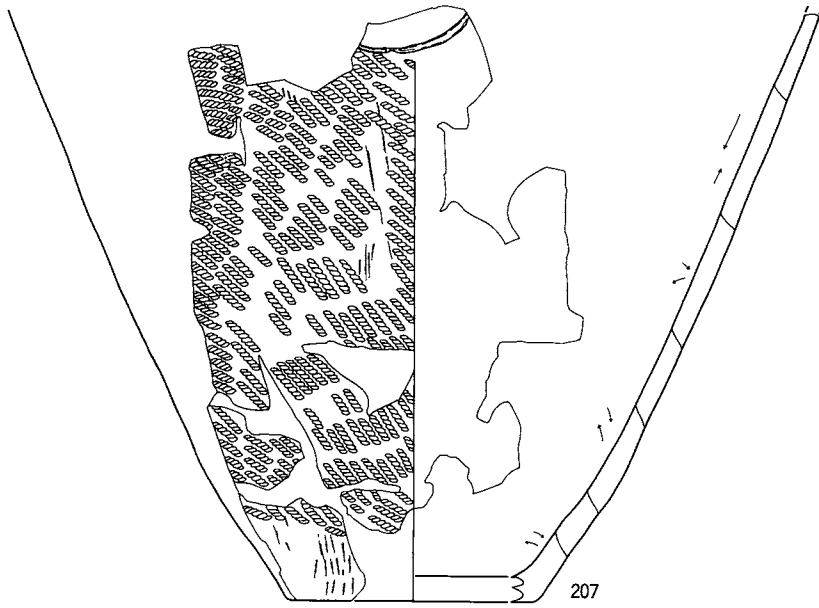
203



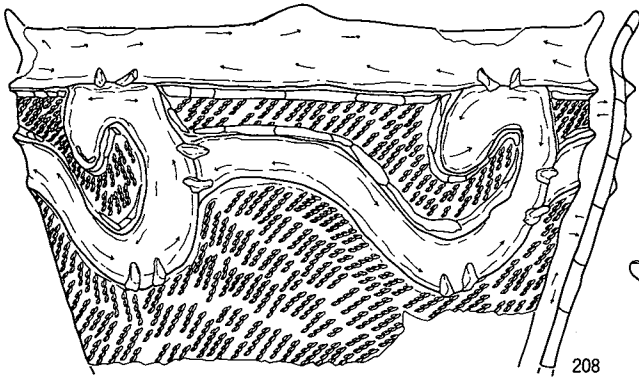
第150図 出土遺物 土器実測図(46)



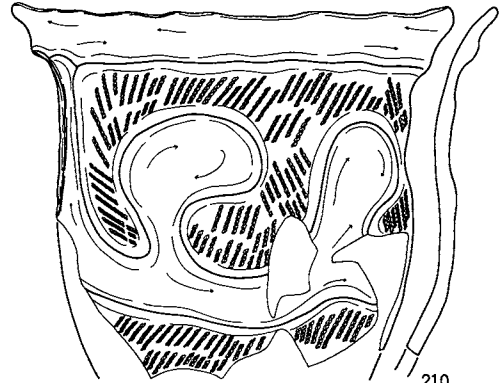
第151图 出土遗物 土器实测图(47)



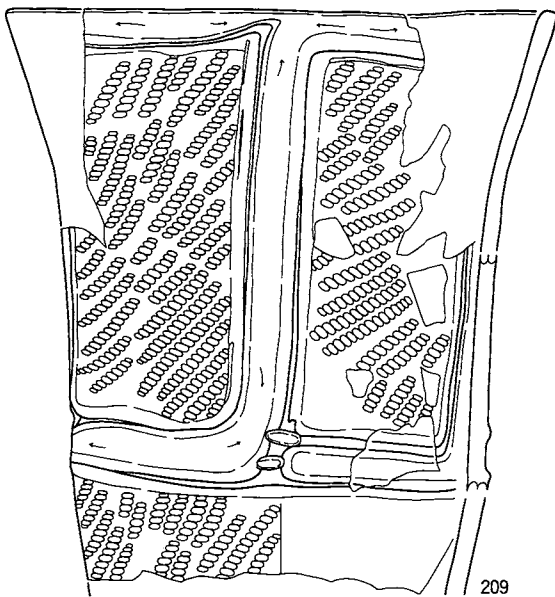
207



208



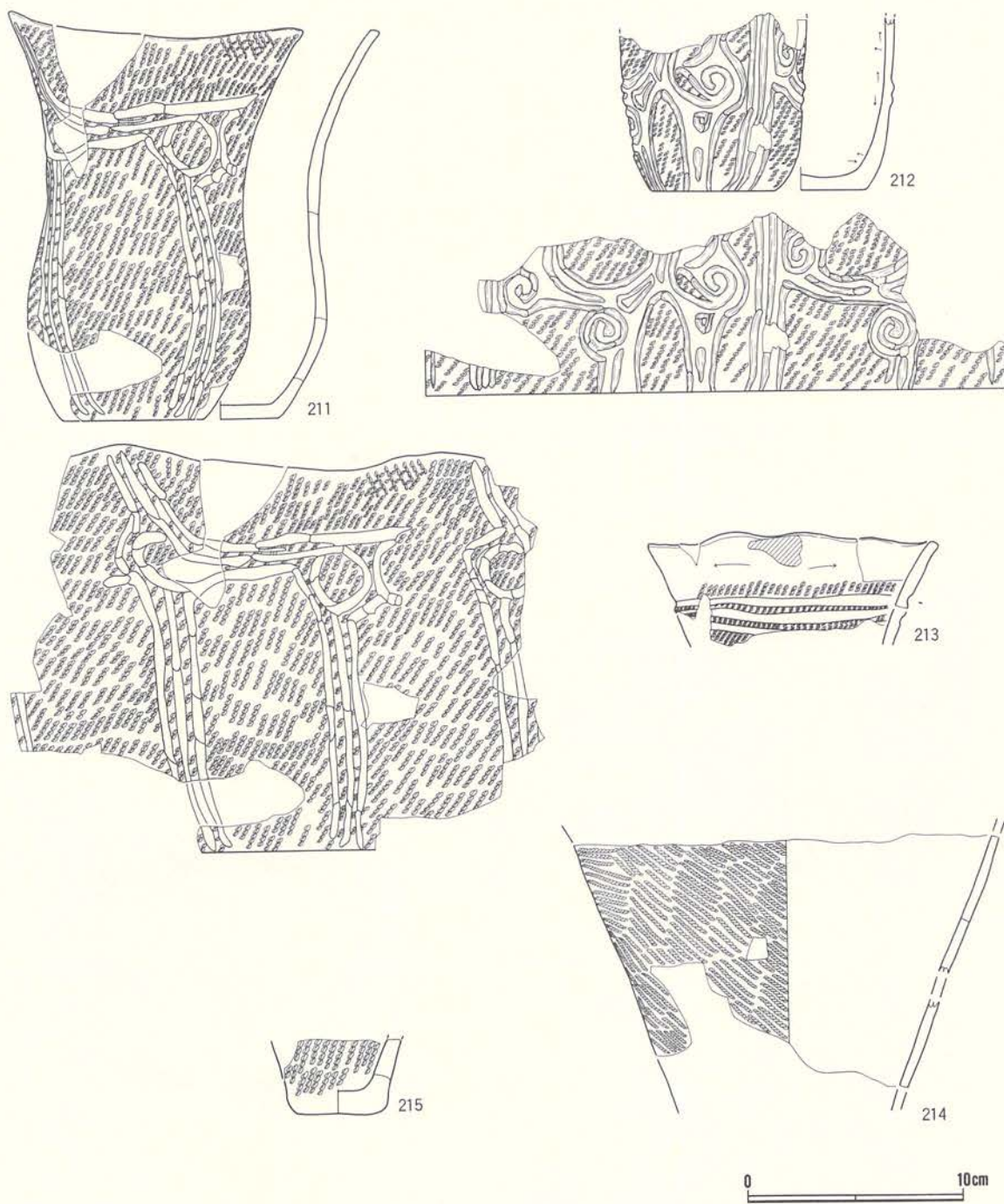
210



209

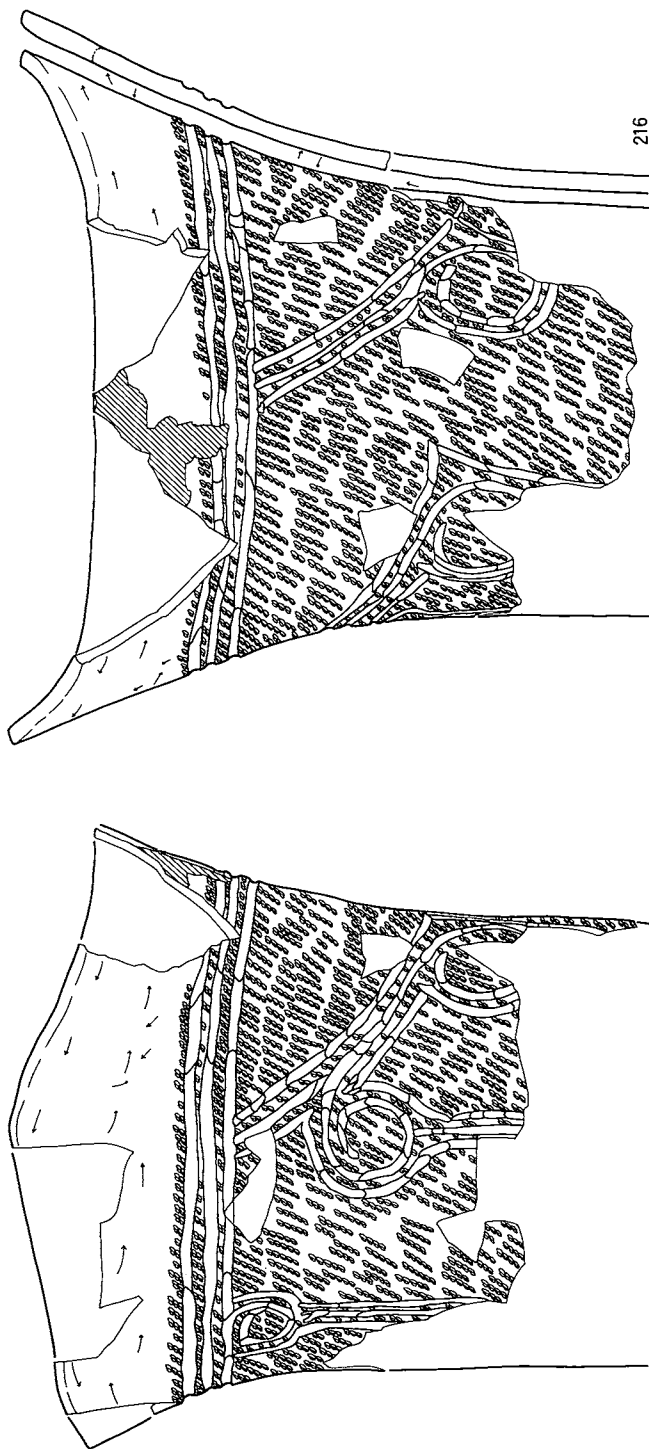


第152图 出土遗物 土器実測图(48)

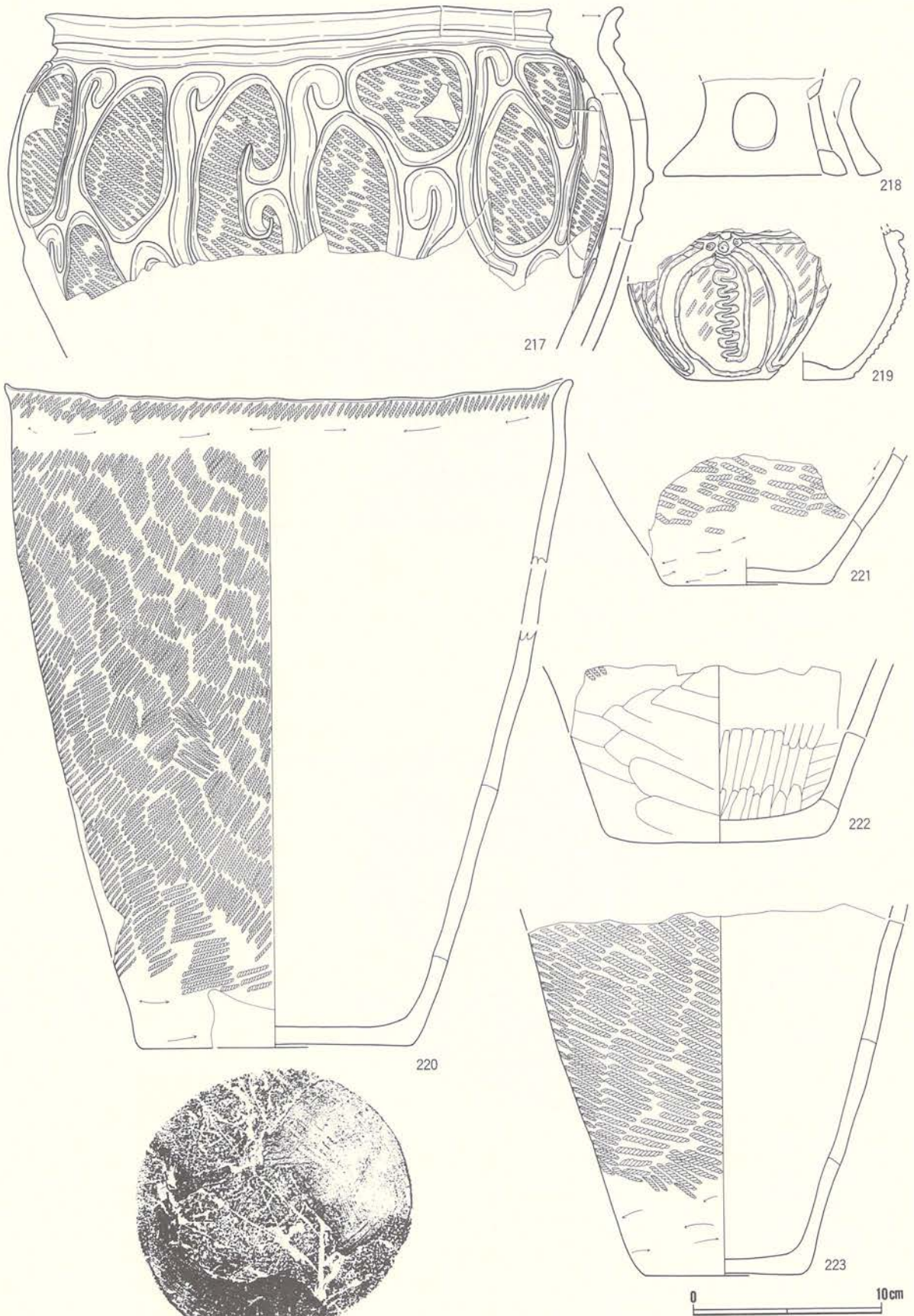


第153图 出土遺物 土器実測図(49)

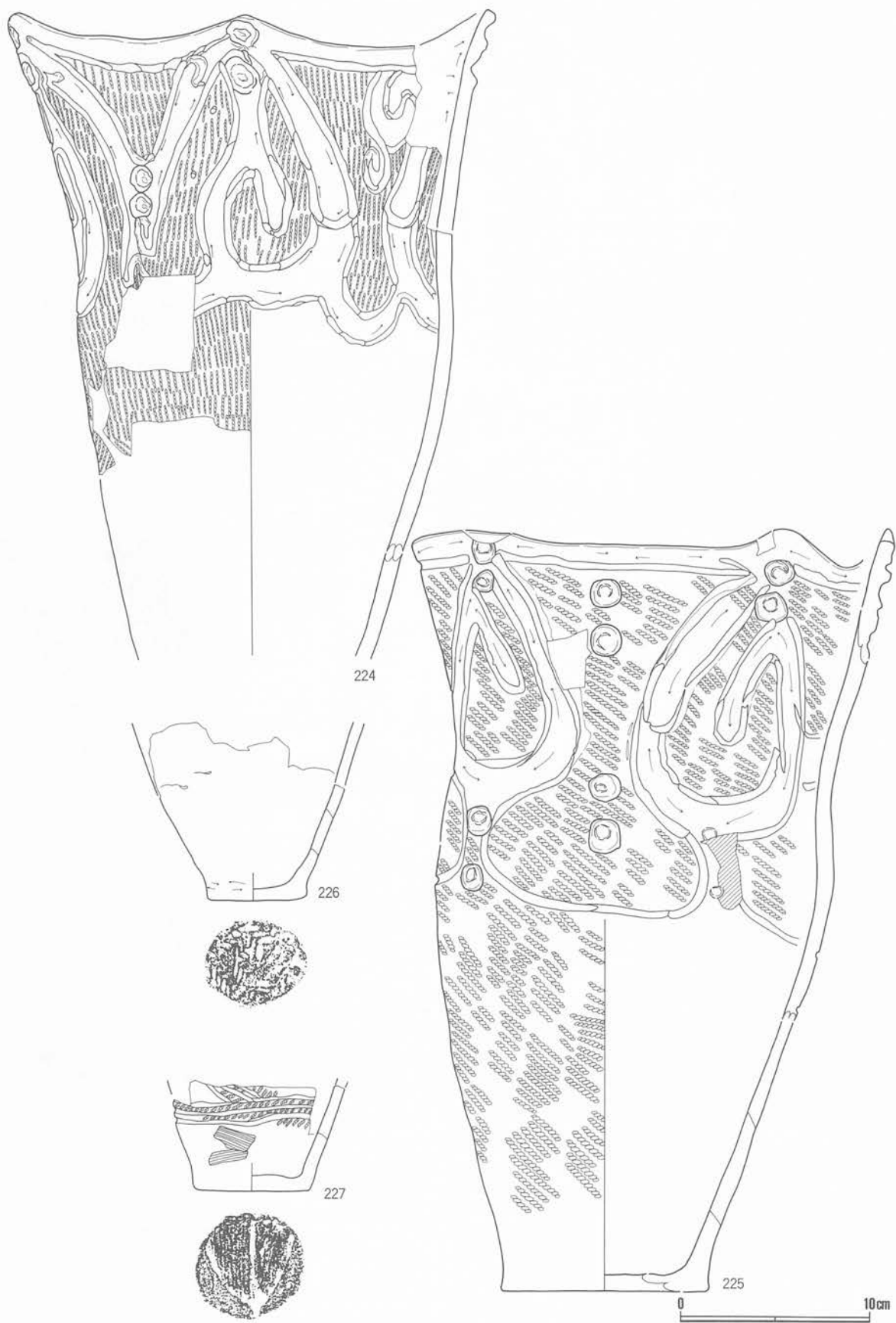




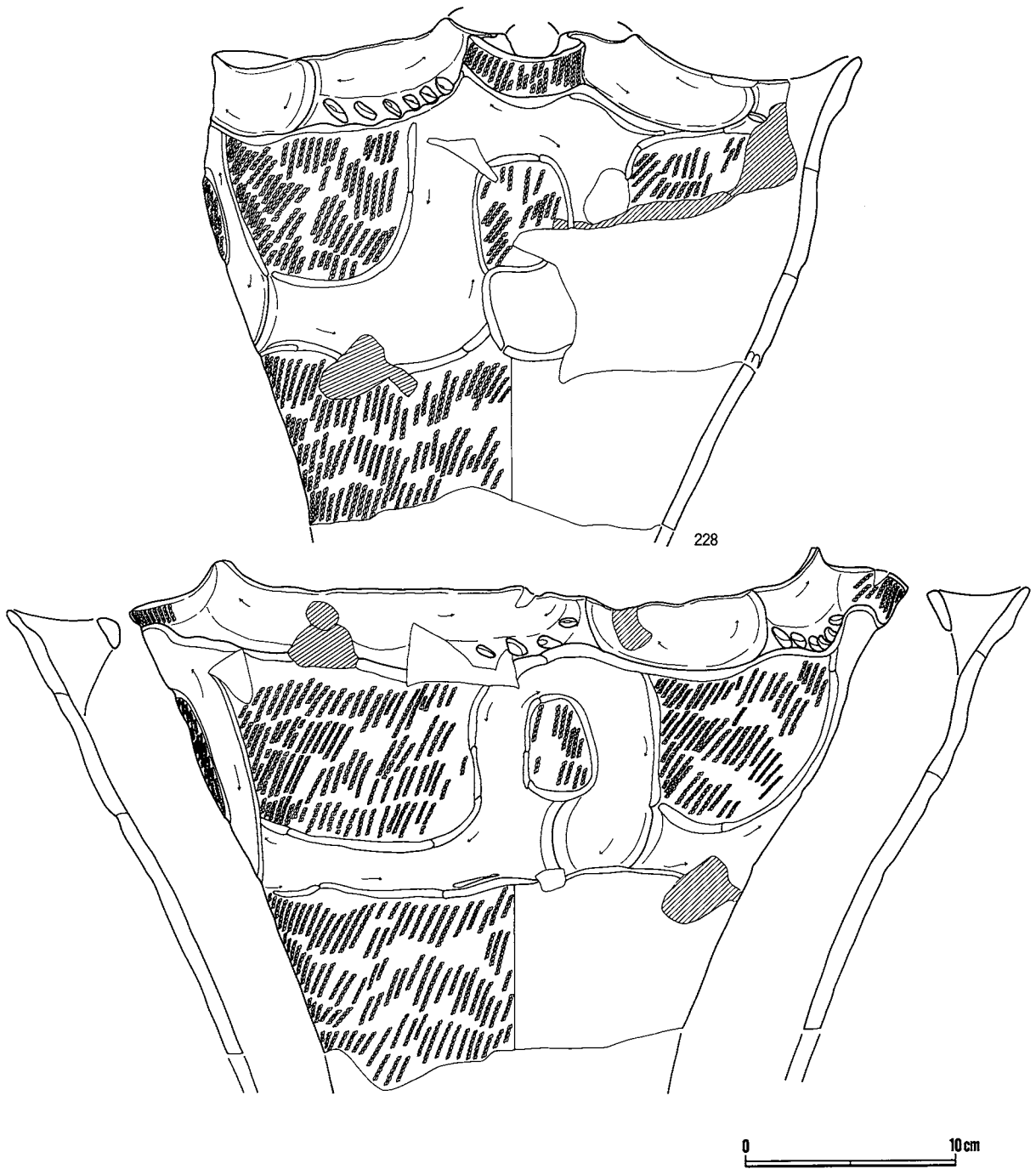
第154图 出土遗物 土器实测图(50)



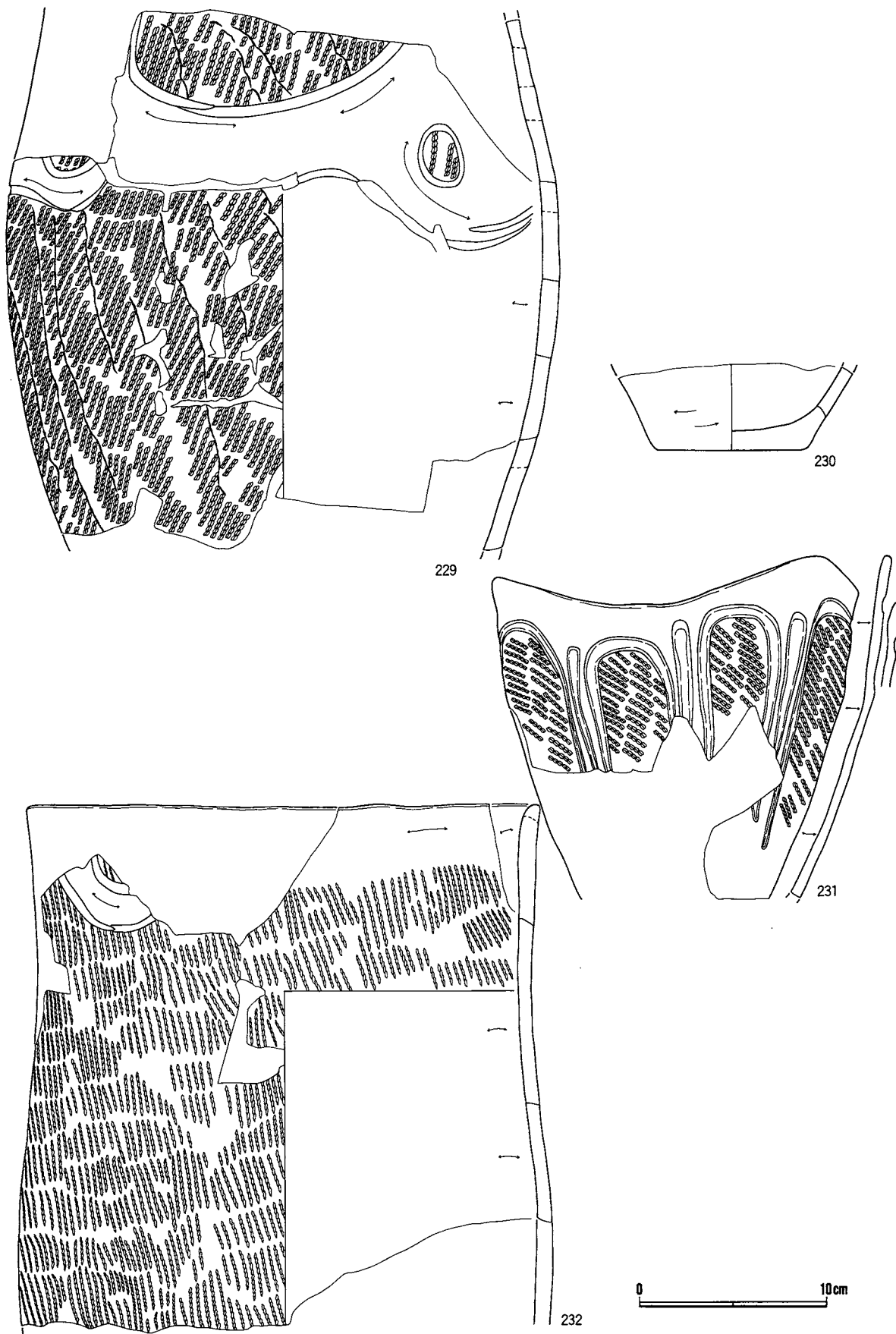
第155图 出土遗物 土器実測图(51)



第156图 出土遺物 土器実測図(52)



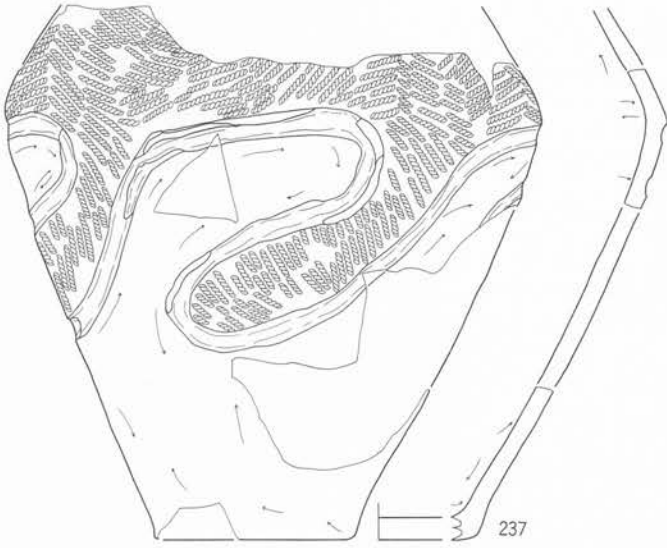
第157図 出土遺物 土器実測図(53)



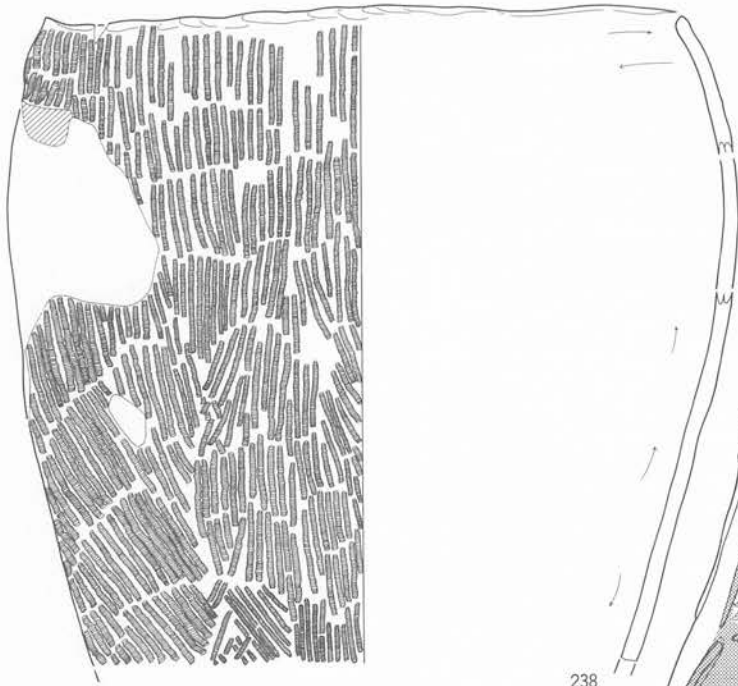
第158図 出土遺物 土器実測図(54)



第159图 出土遗物 土器实测图(55)



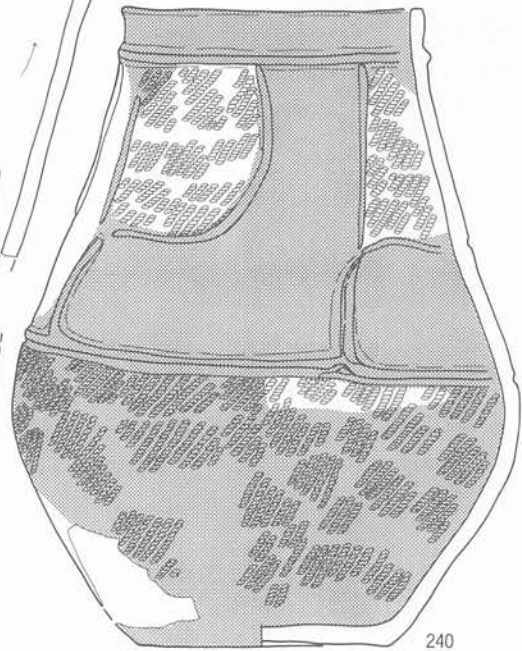
237



238



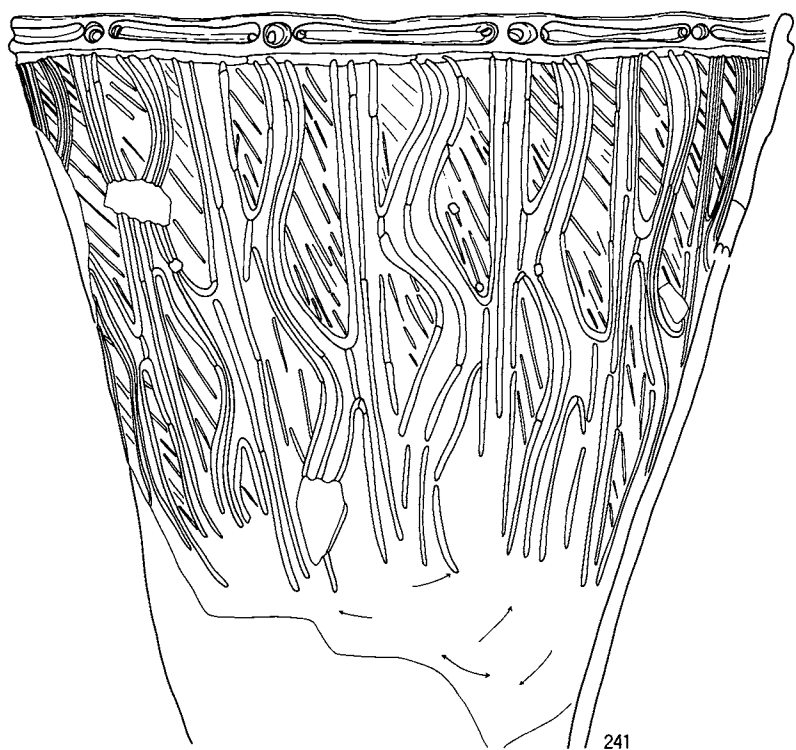
239



240

0 10 cm

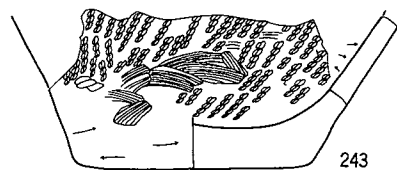
第160図 出土遺物 土器実測図(56)



241



242



243

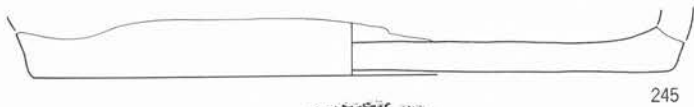


244

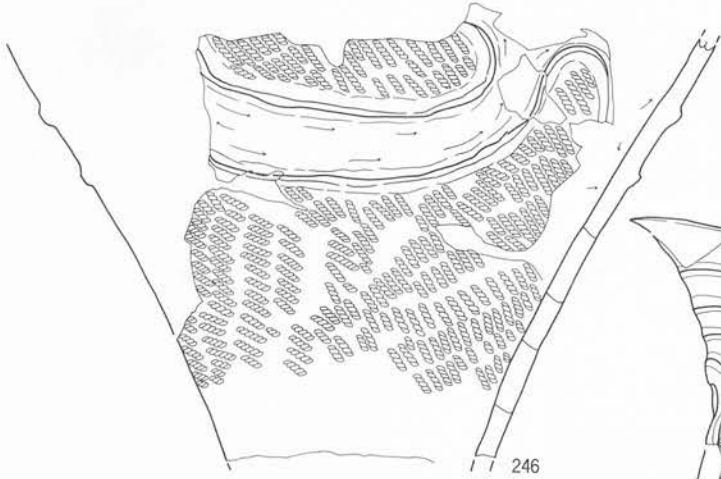
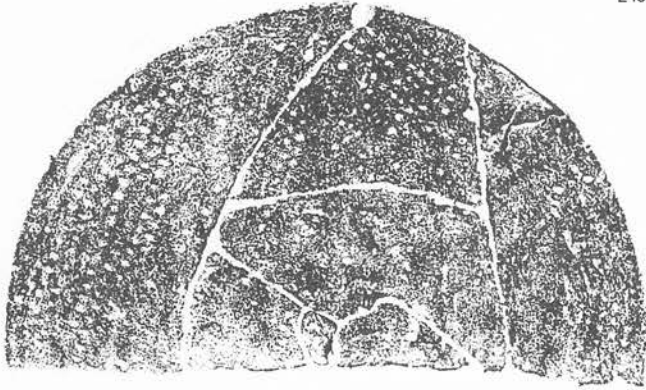


第161图 出土遺物 土器実測図(57)

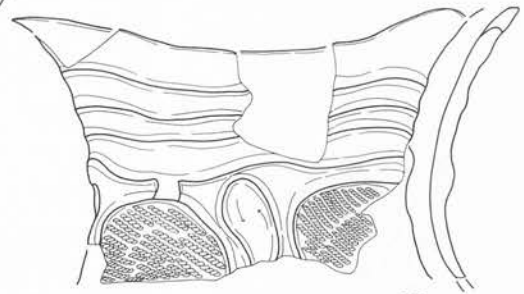




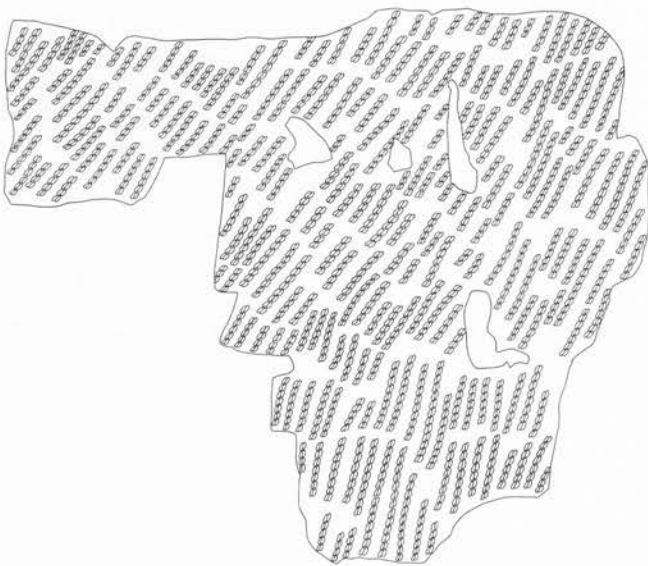
245



246



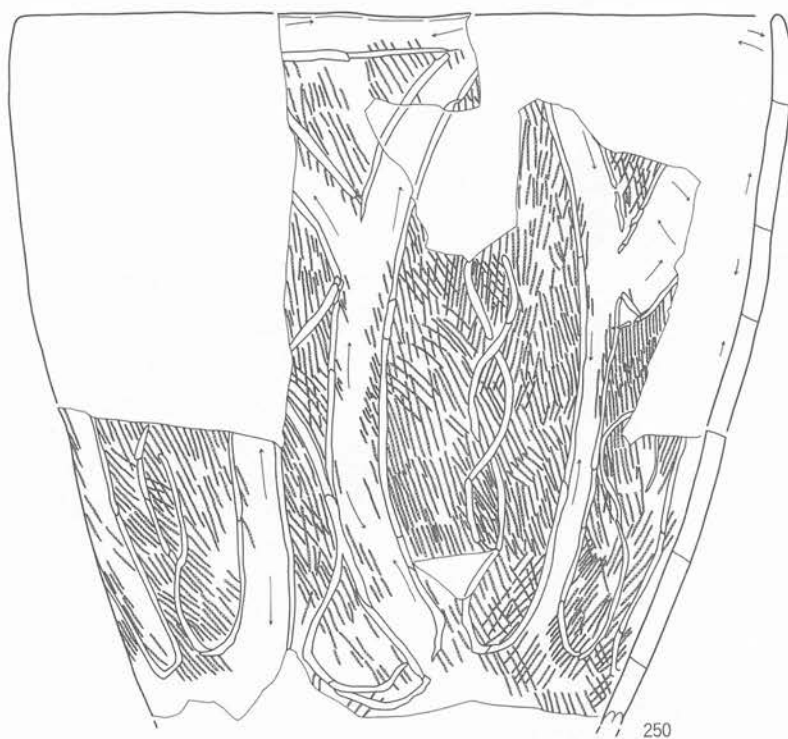
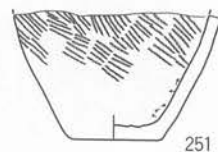
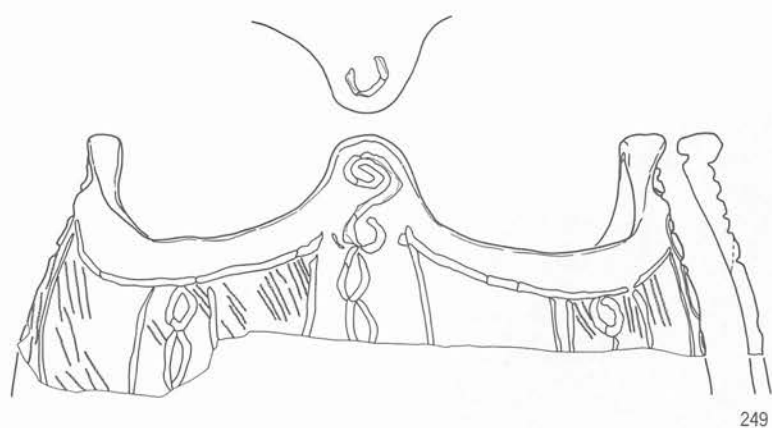
248



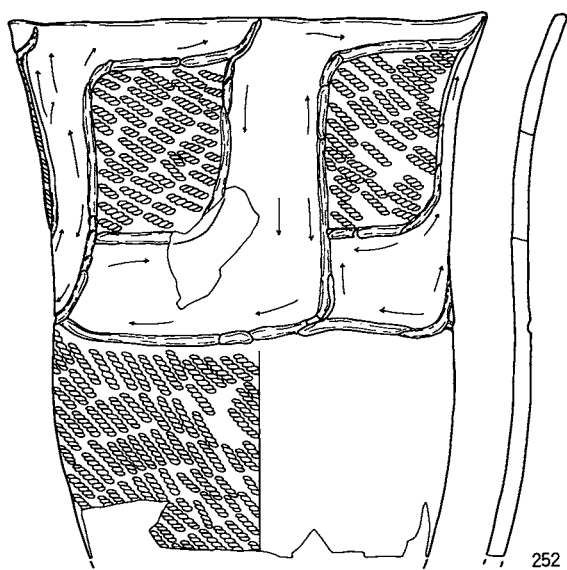
247



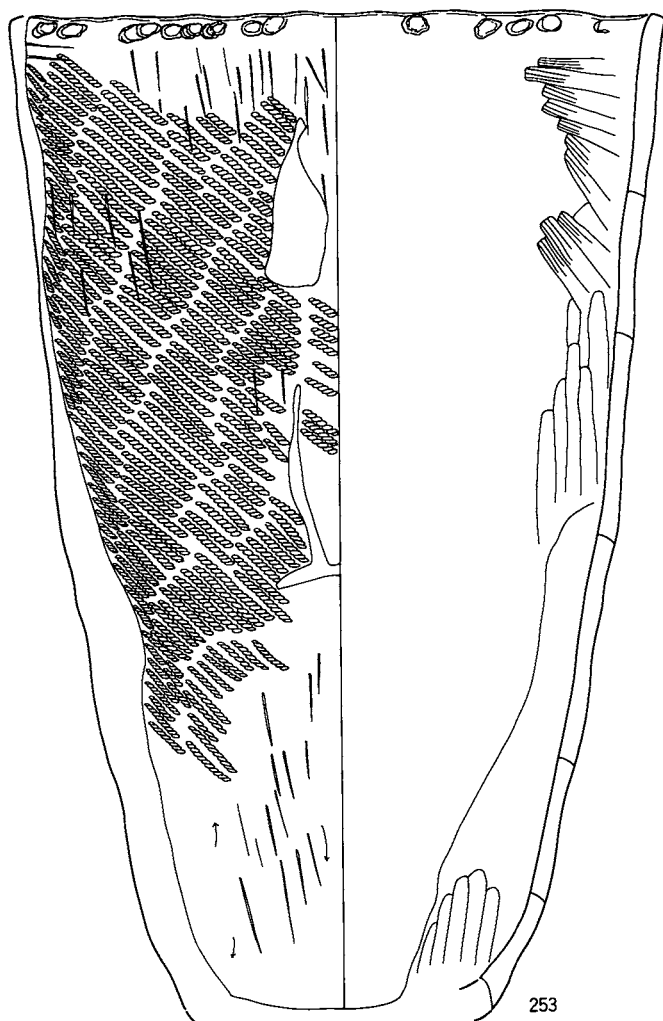
第162図 出土遺物 土器実測図(58)



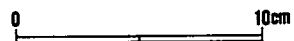
第163図 出土遺物 土器実測図(59)



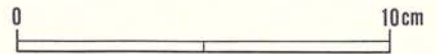
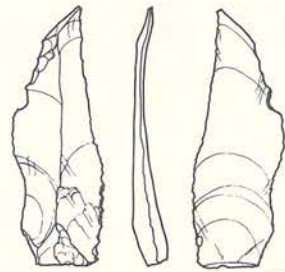
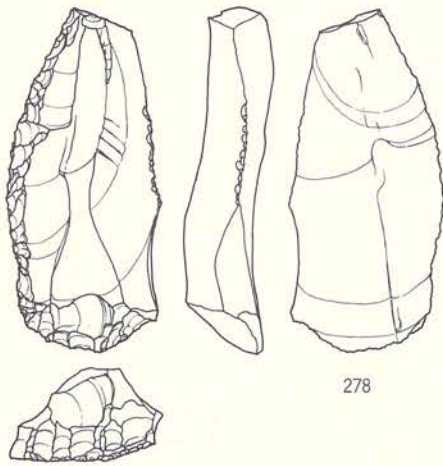
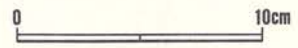
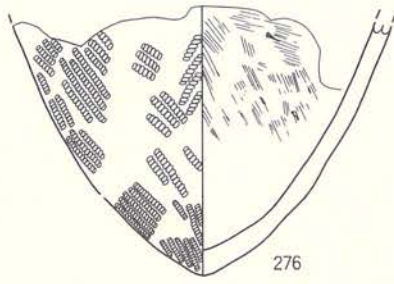
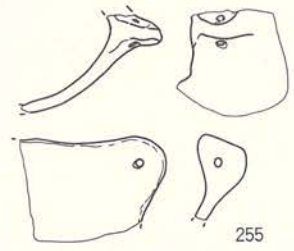
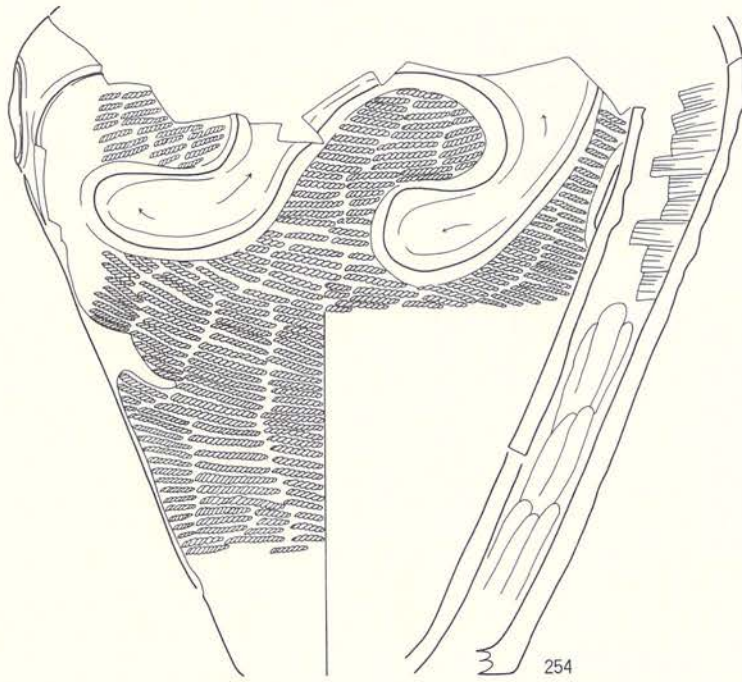
252



253



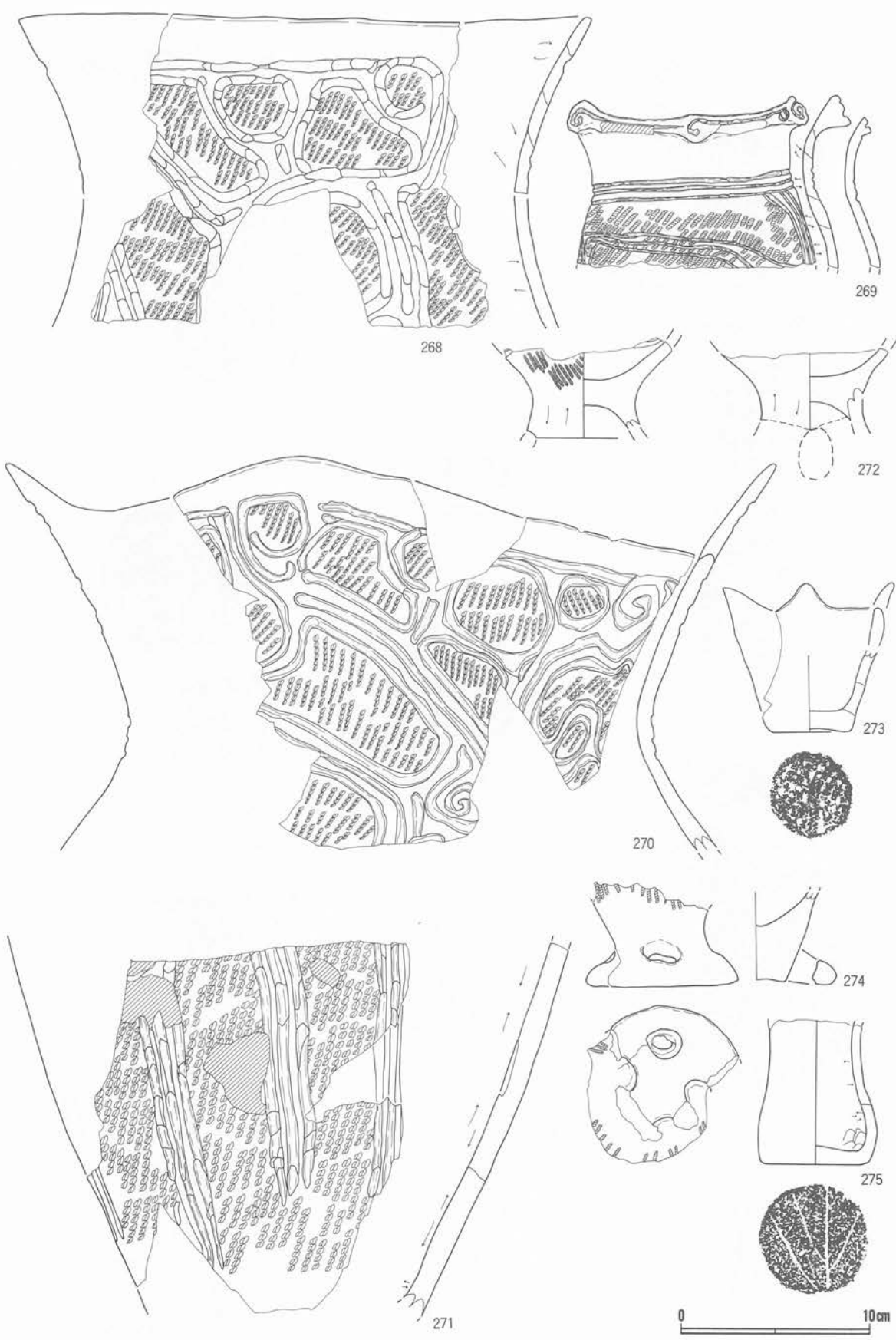
第164图 出土遗物 土器实测图(60)



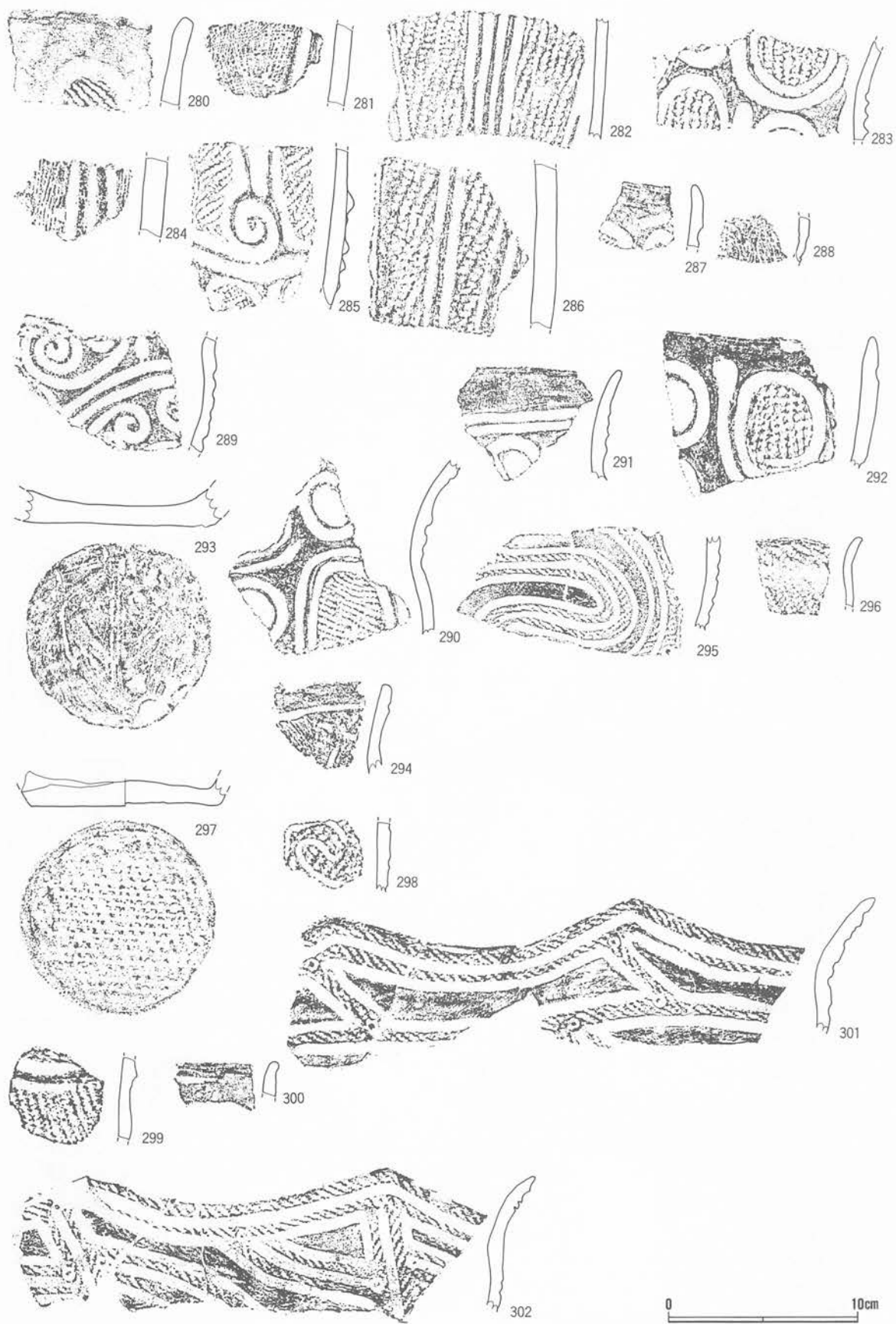
第165图 出土遺物 土器実測図(61)・土器拓本(1)・石器実測図(1)



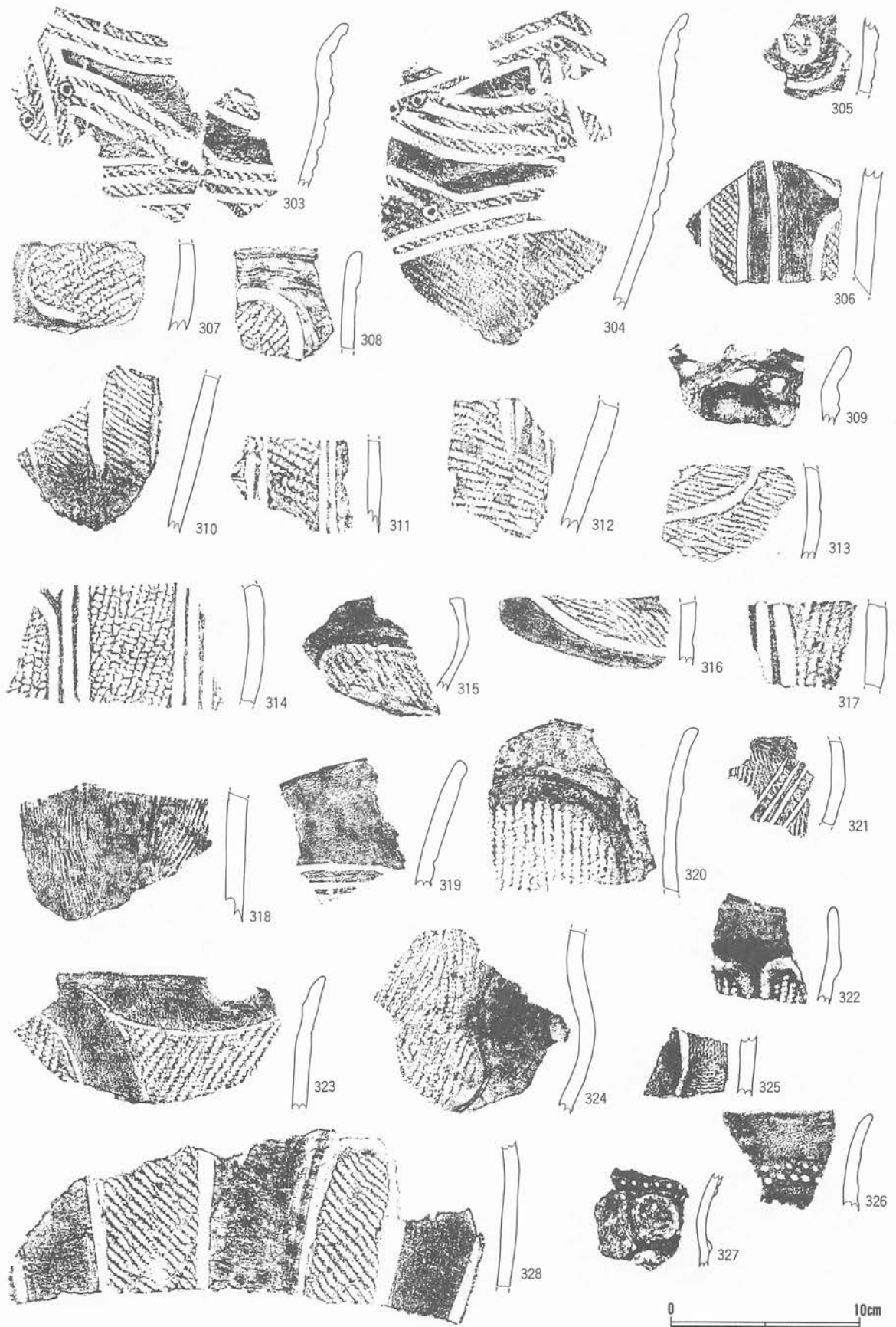
第166图 出土遺物 土器実測図(62)



第167图 出土遺物 土器実測図(63)

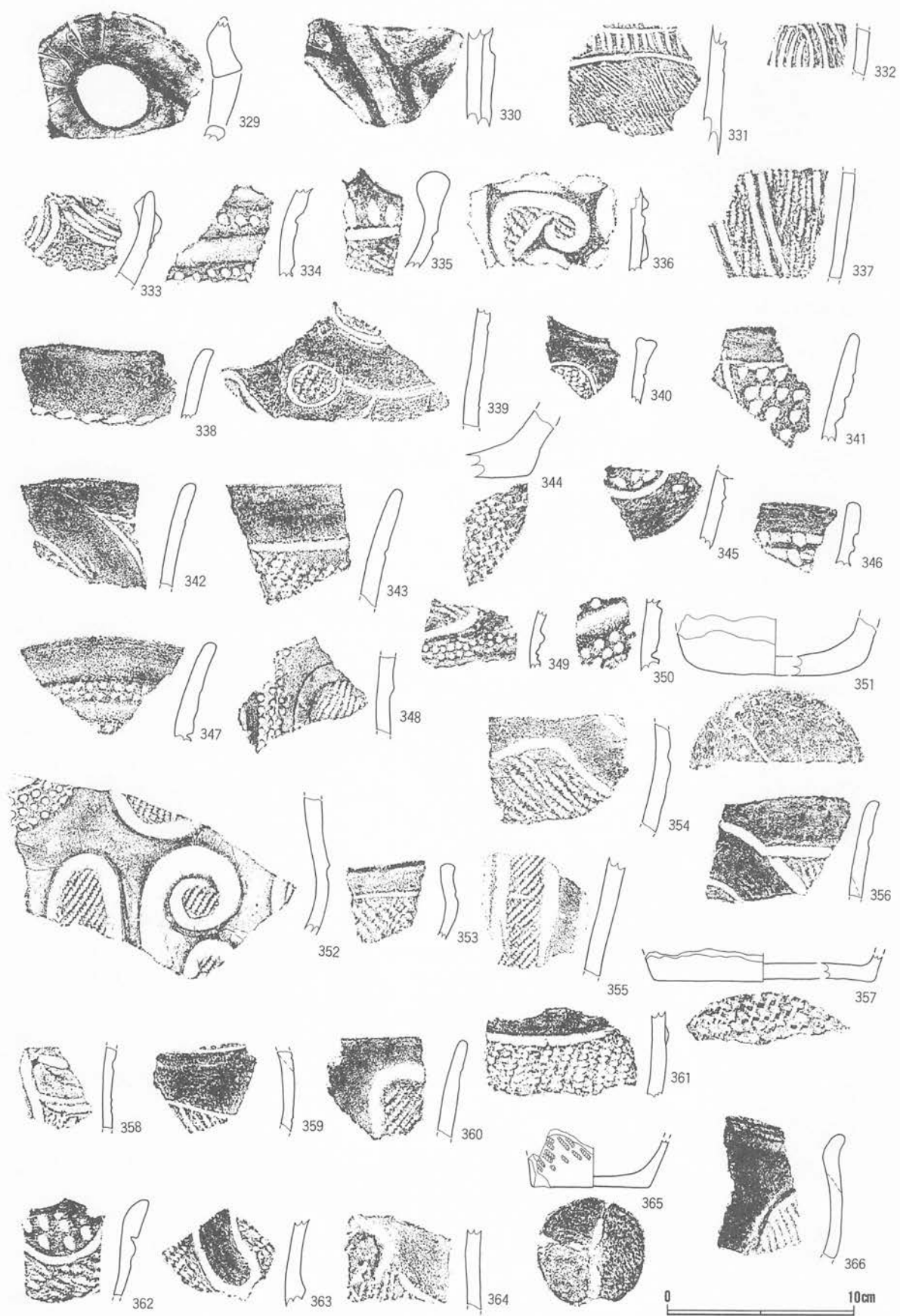


第168図 出土遺物 土器拓本(2)



第169图 出土遺物 土器拓本(3)

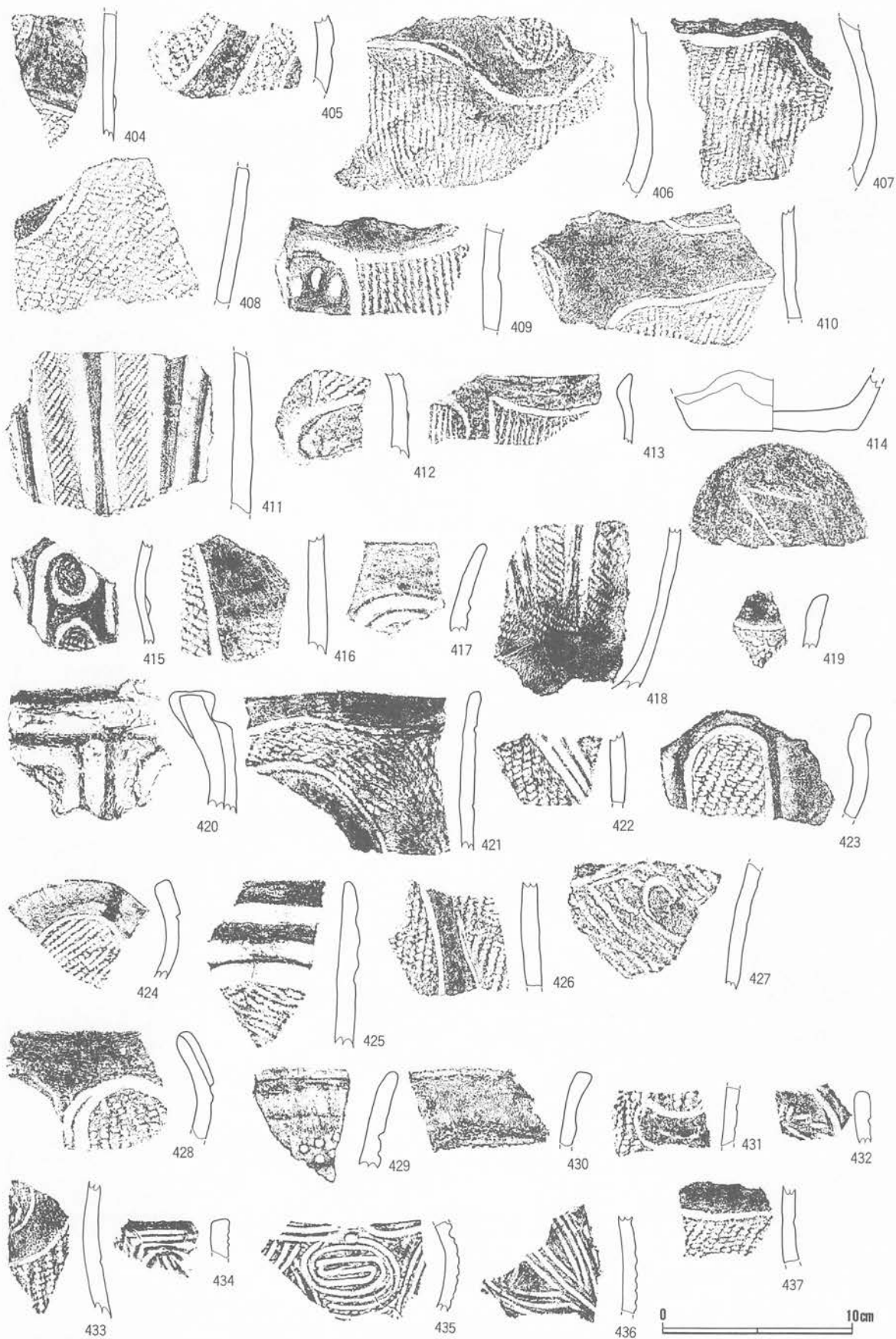




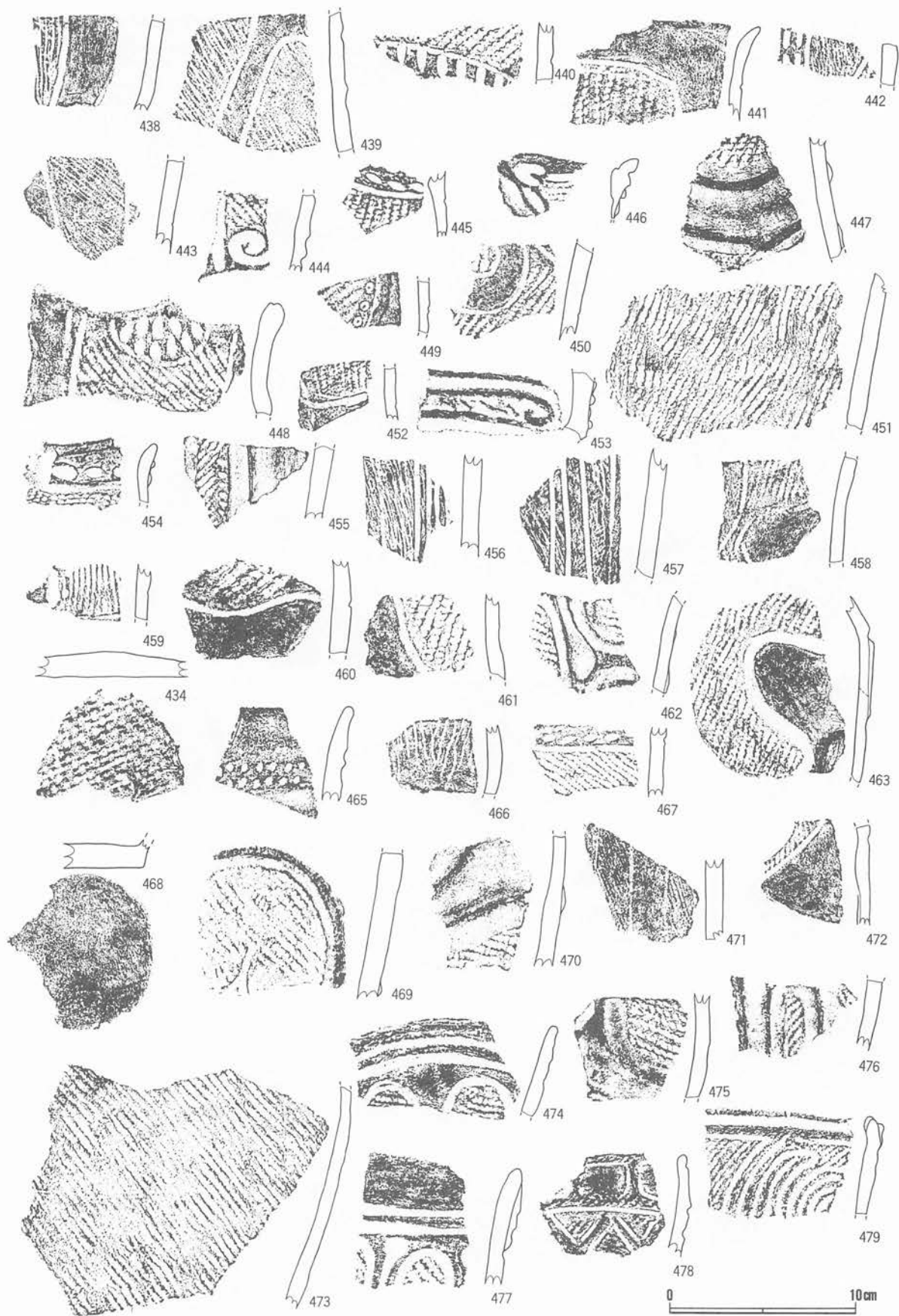
第170図 出土遺物 土器拓本(4)



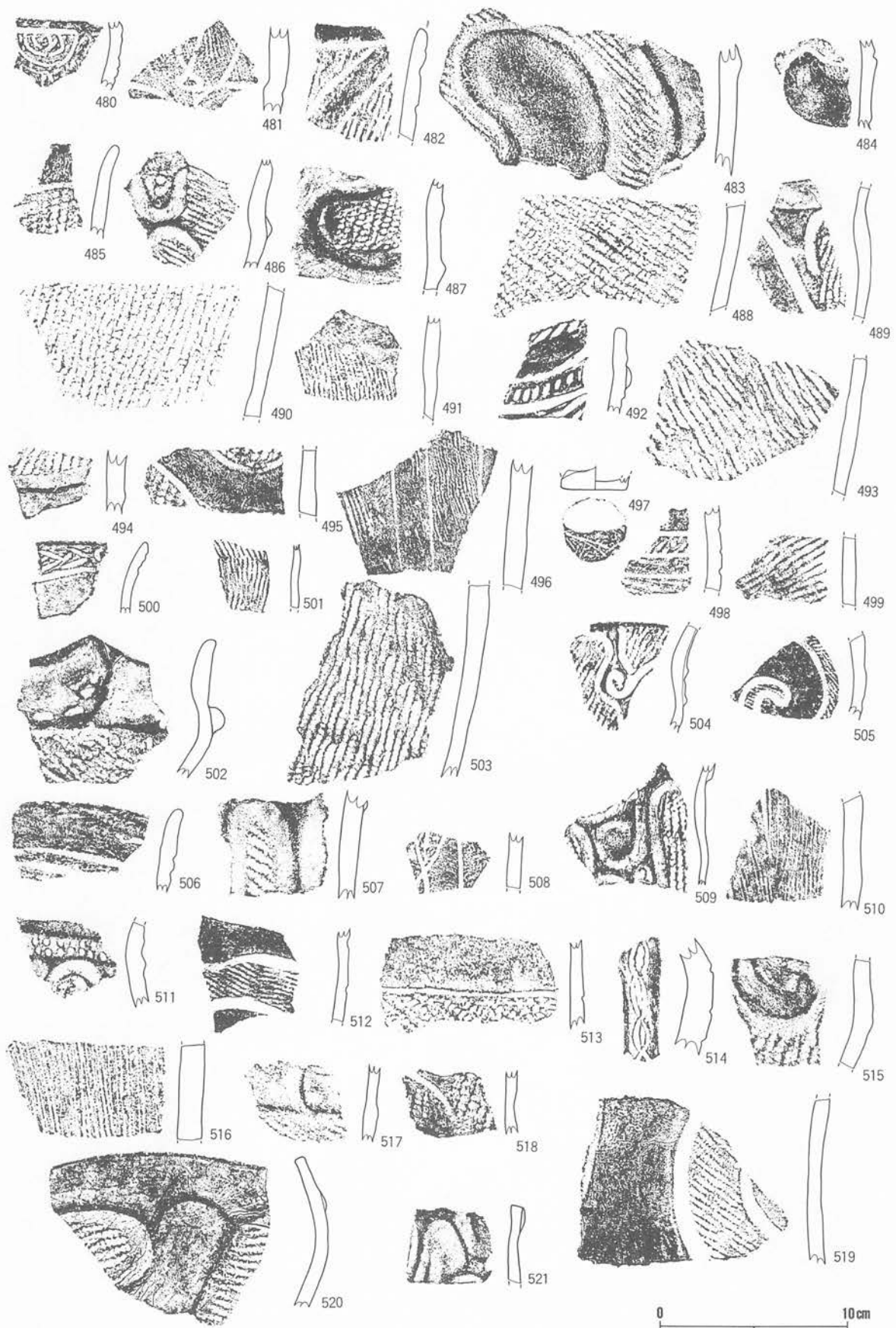
第171図 出土遺物 土器拓本(5)



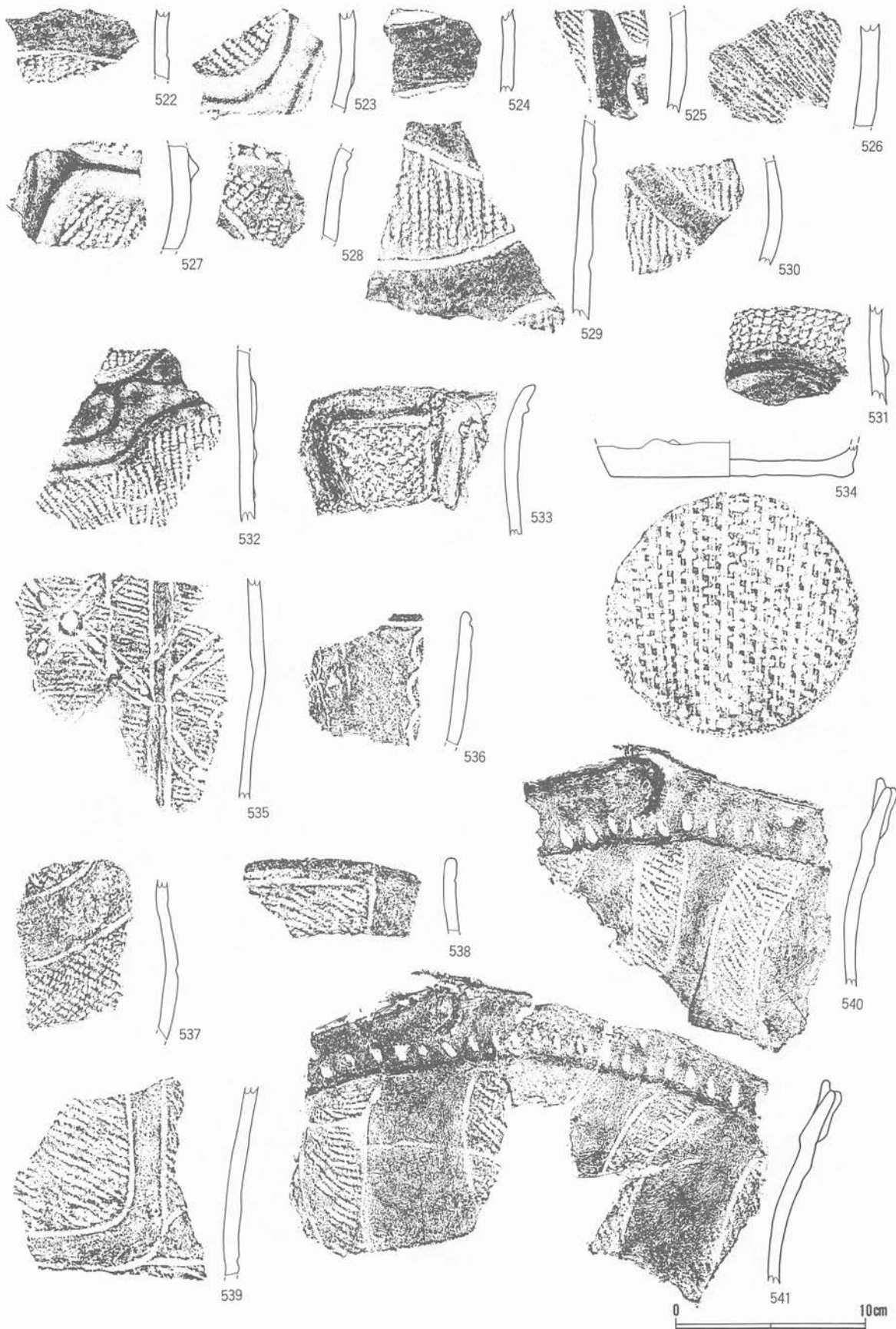
第172図 出土遺物 土器拓本(6)



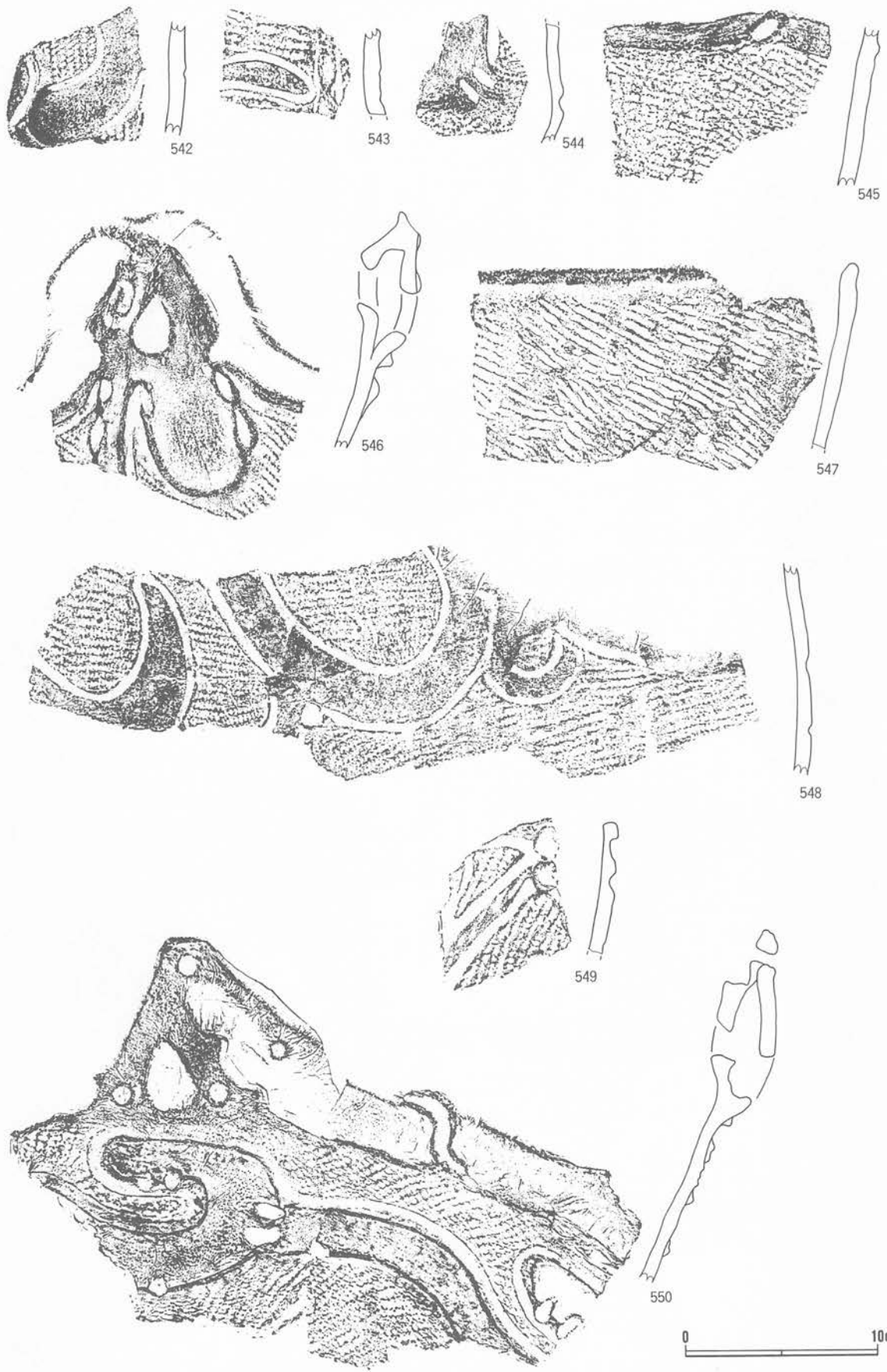
第173图 出土遺物 土器拓本(7)



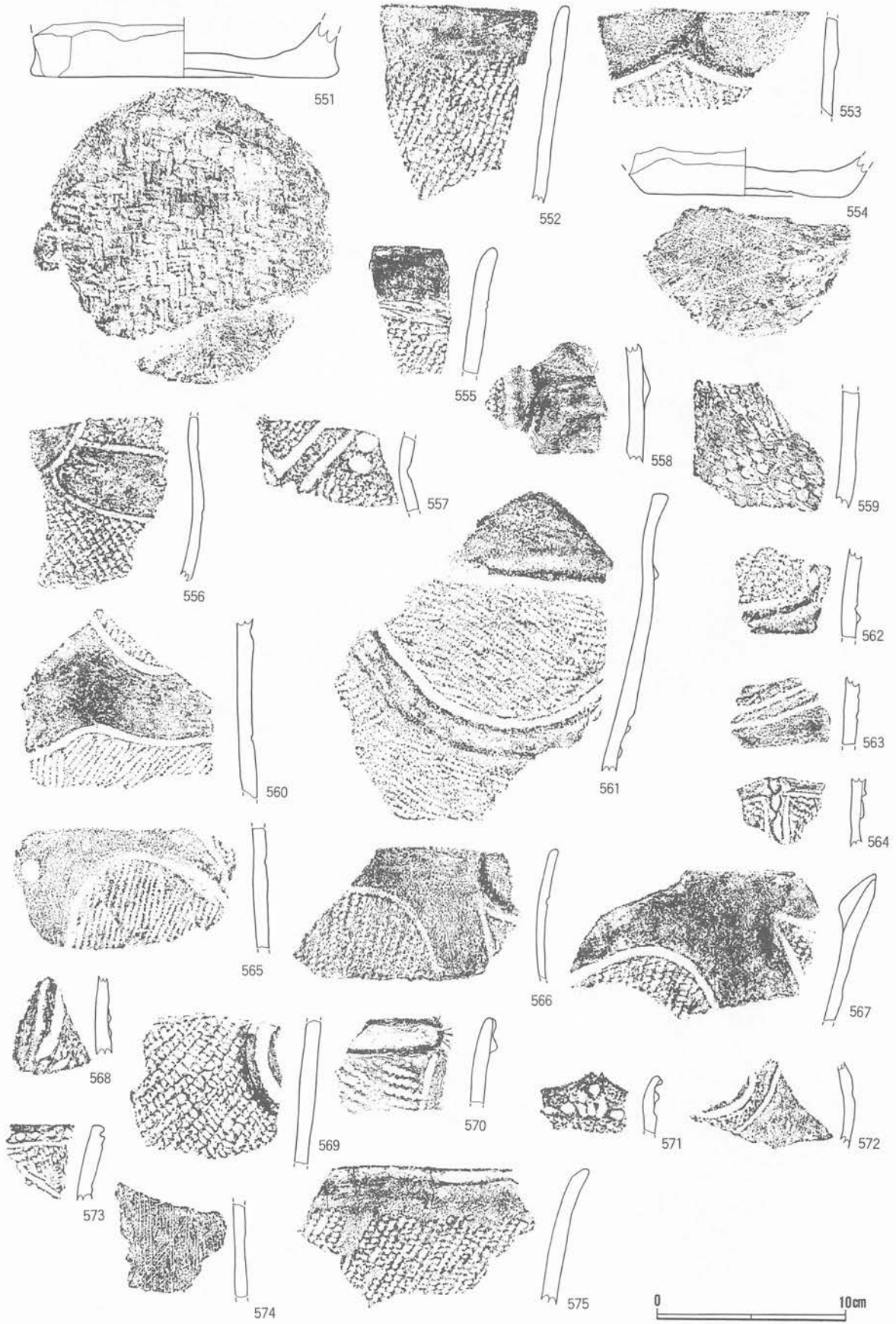
第174図 出土遺物 土器拓本(8)



第175图 出土遺物 土器拓本(9)

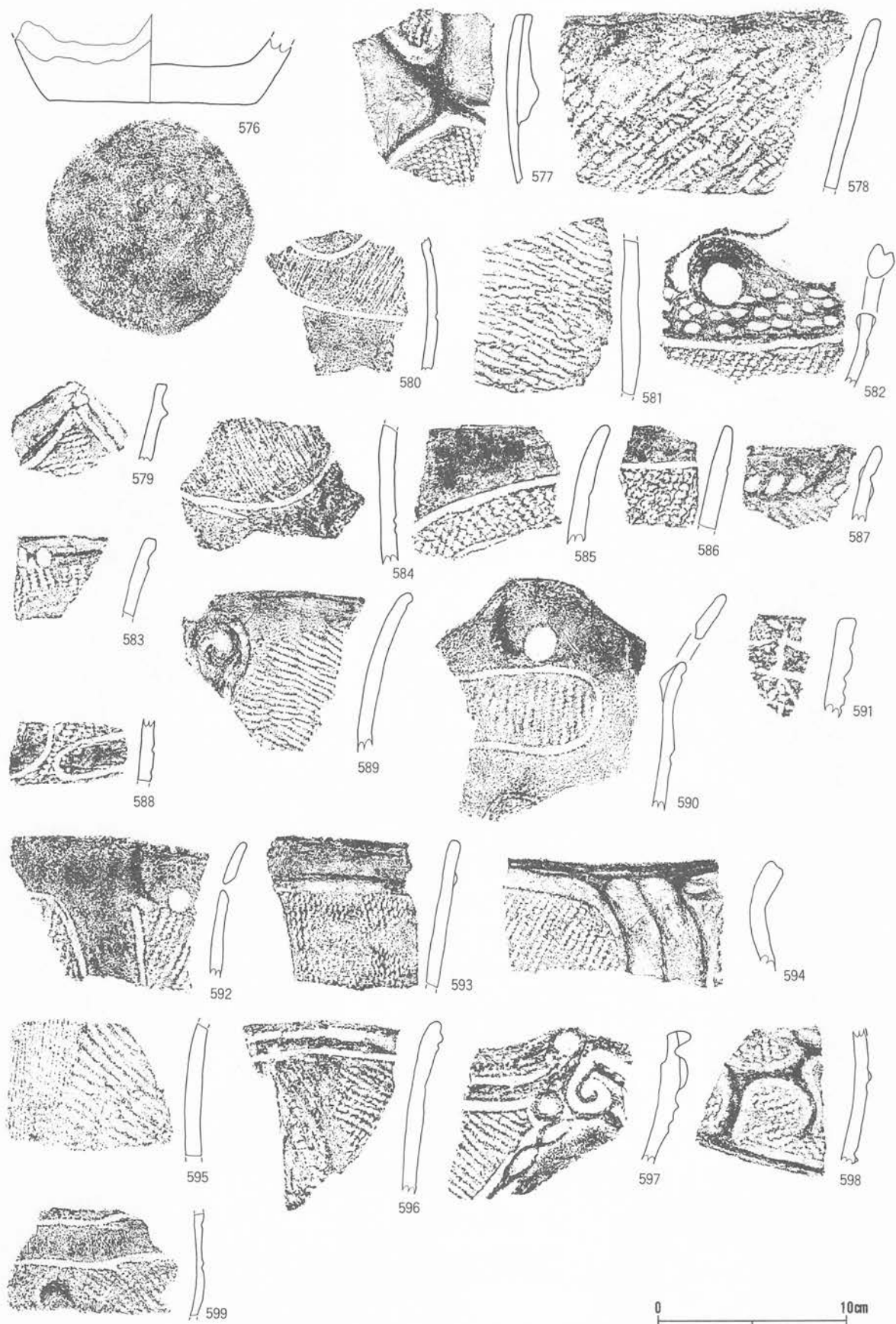


第176図 出土遺物 土器拓本(10)

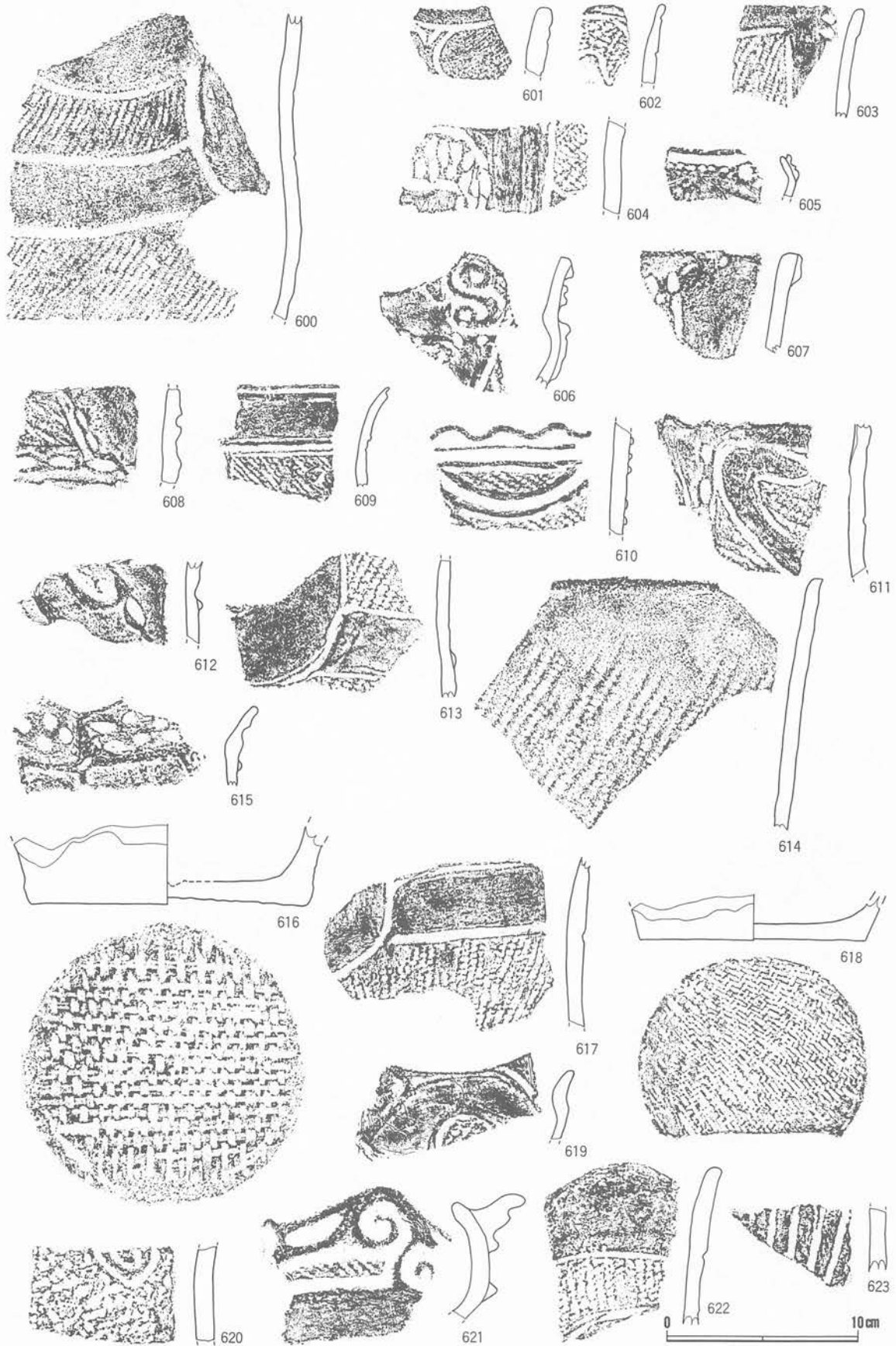


第177図 出土遺物 土器拓本(11)

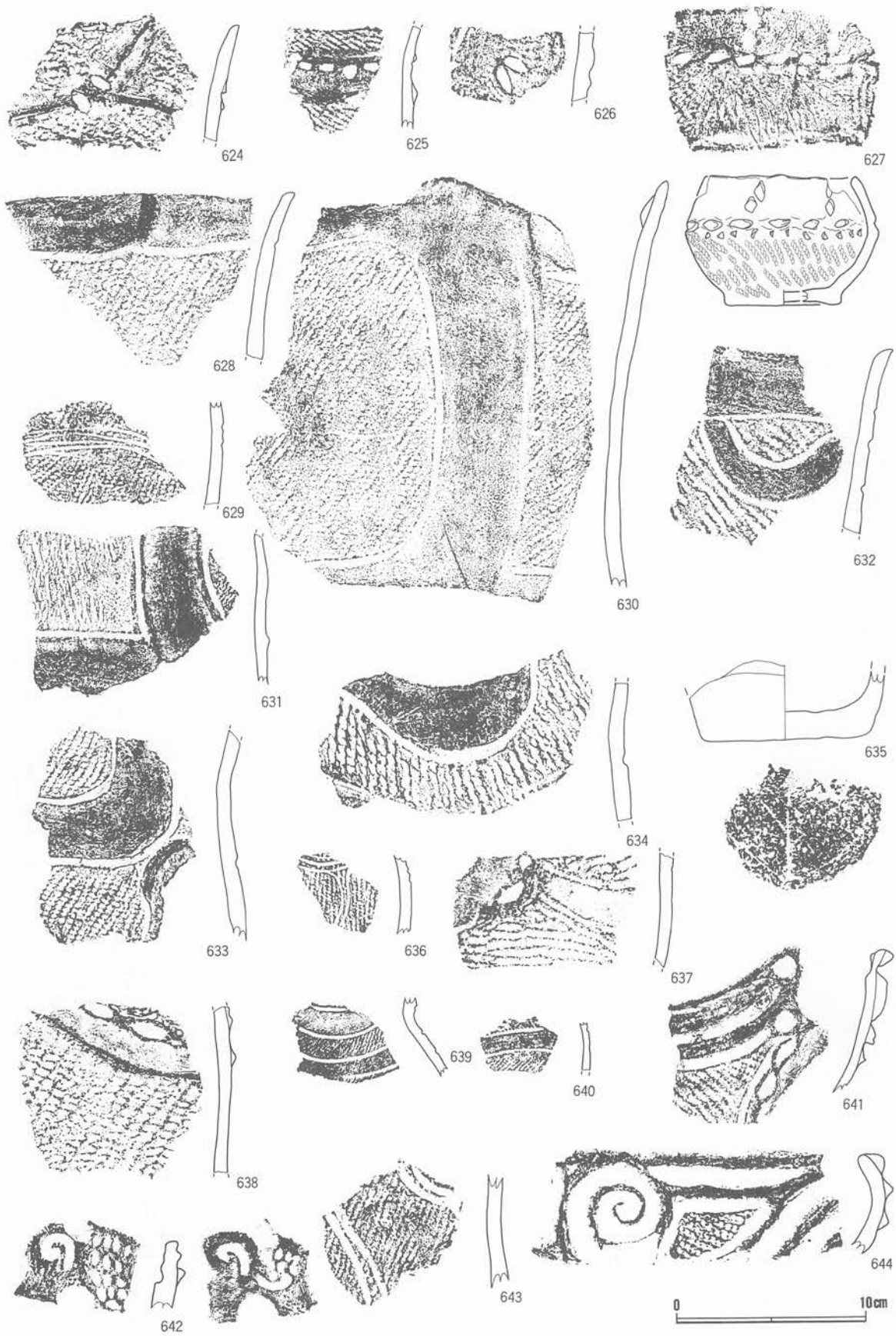




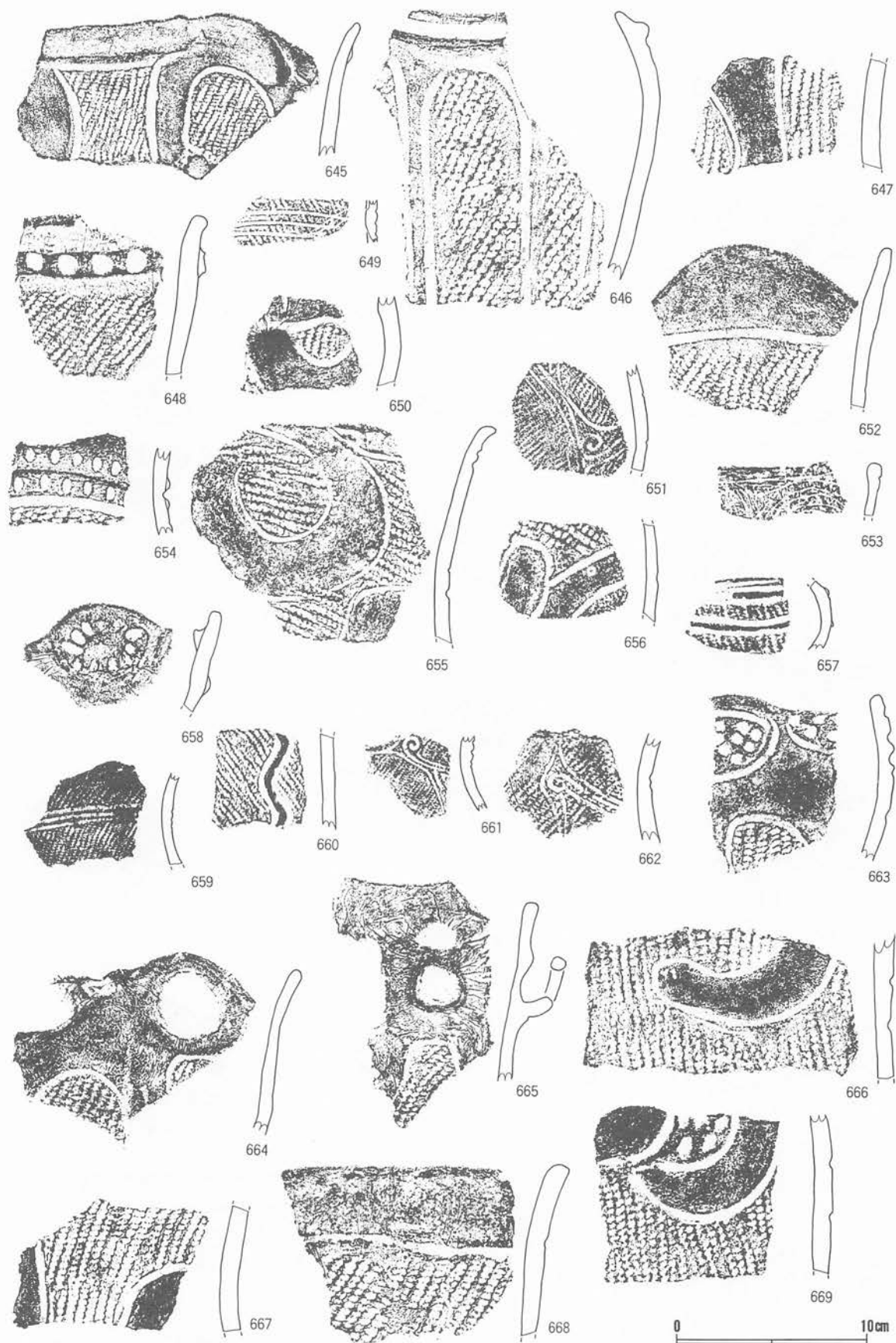
第178图 出土遺物 土器拓本(12)



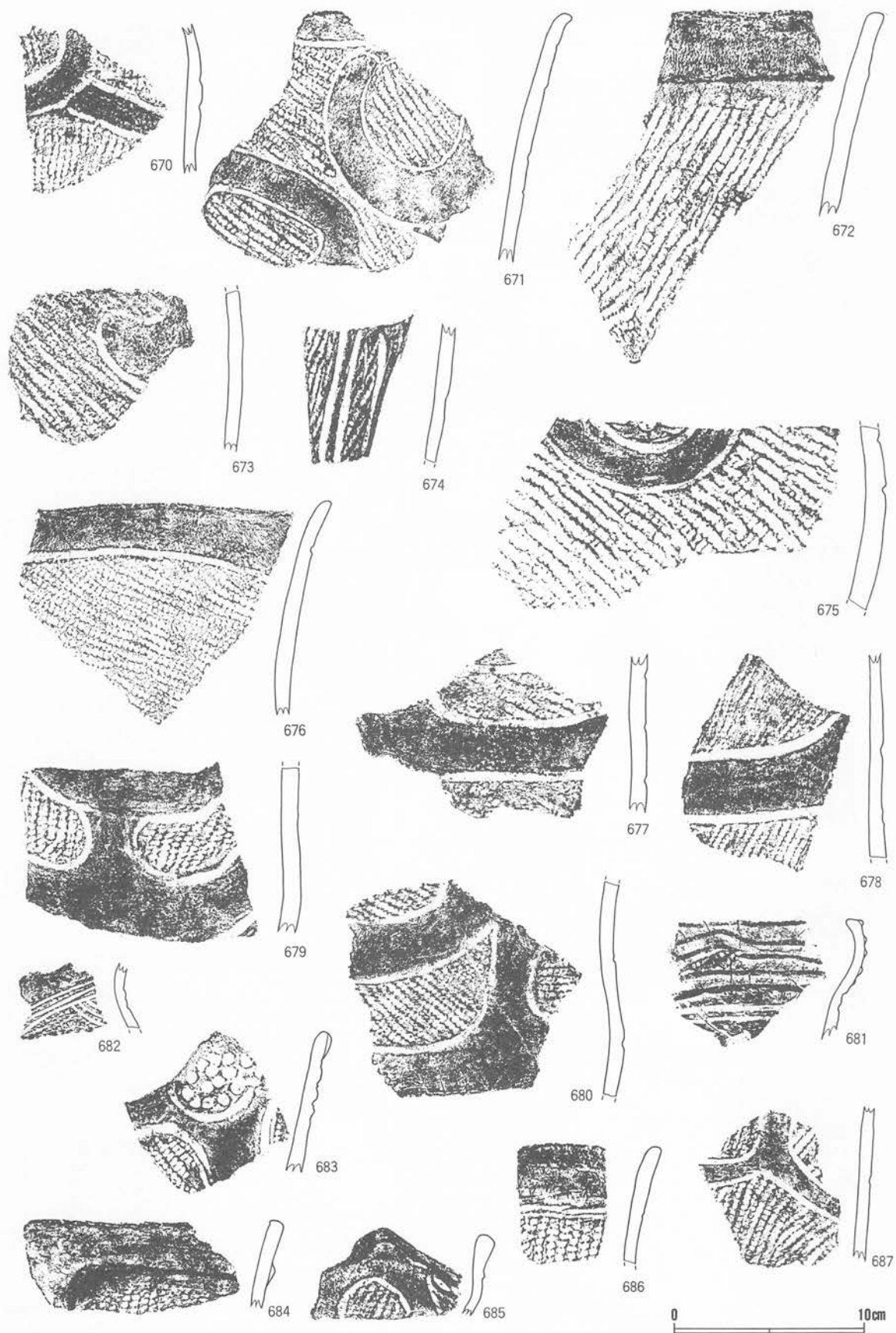
第179図 出土遺物 土器拓本(13)



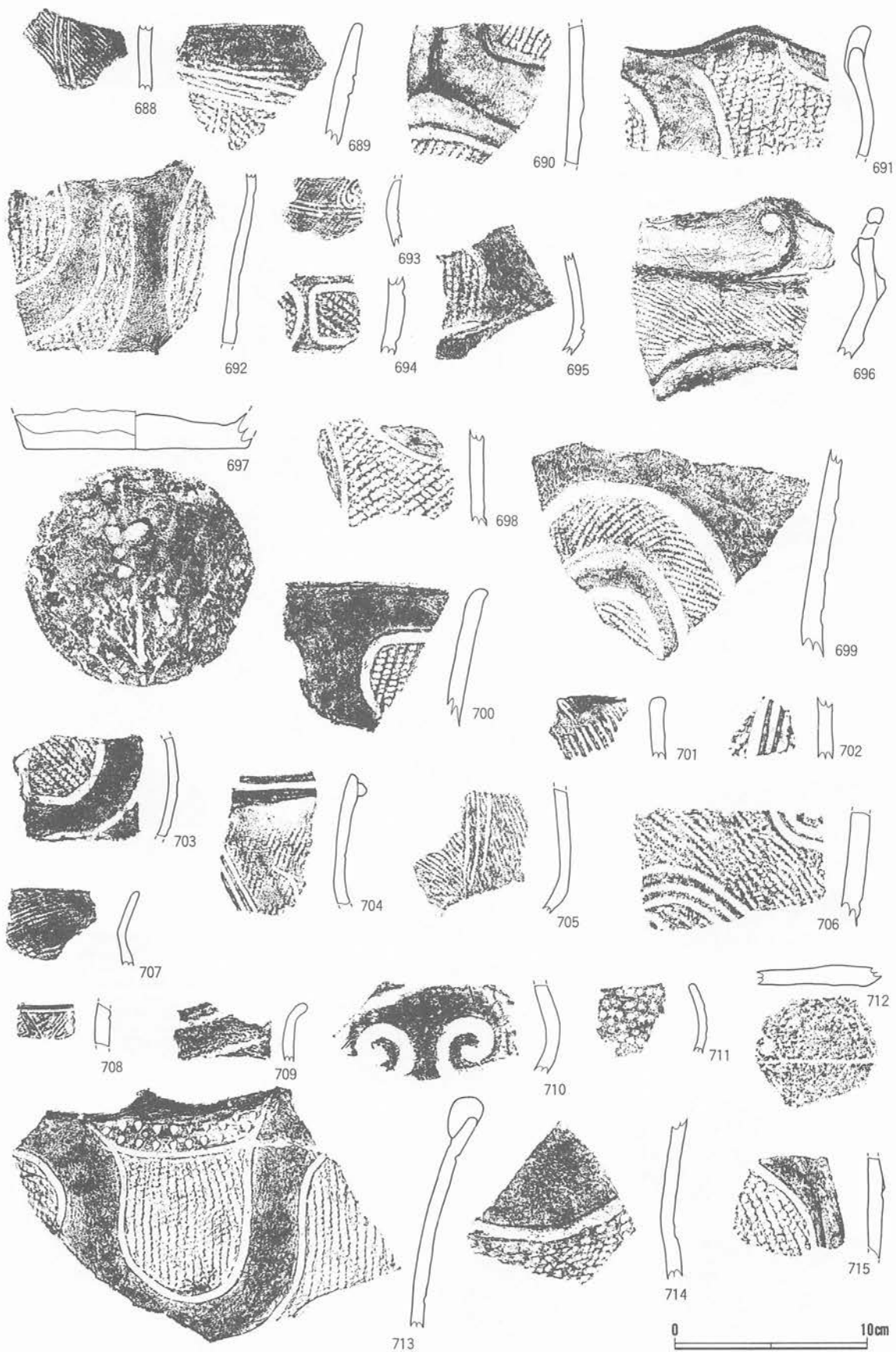
第180図 出土遺物 土器拓本(14)



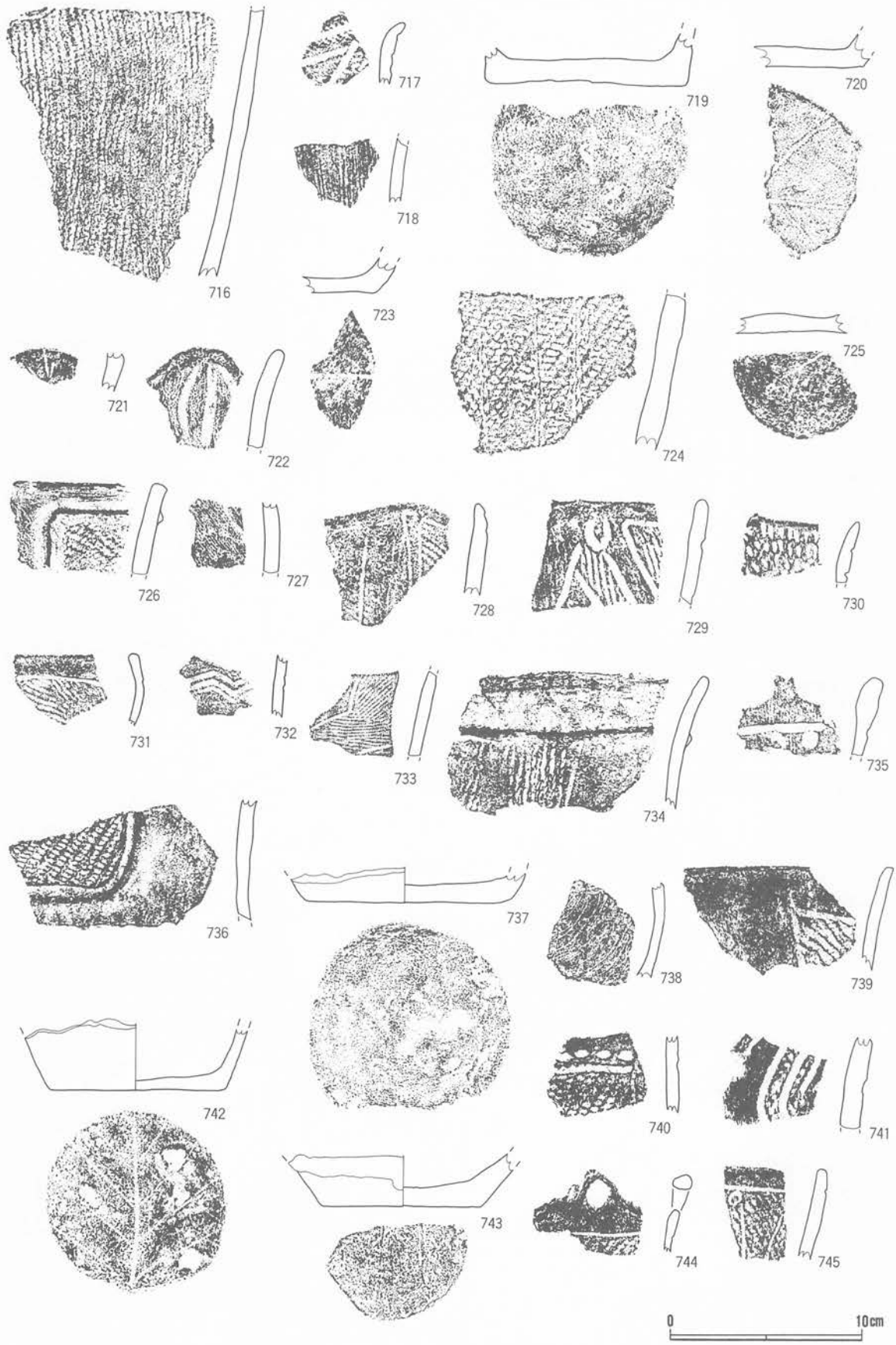
第181图 出土遺物 土器拓本(15)



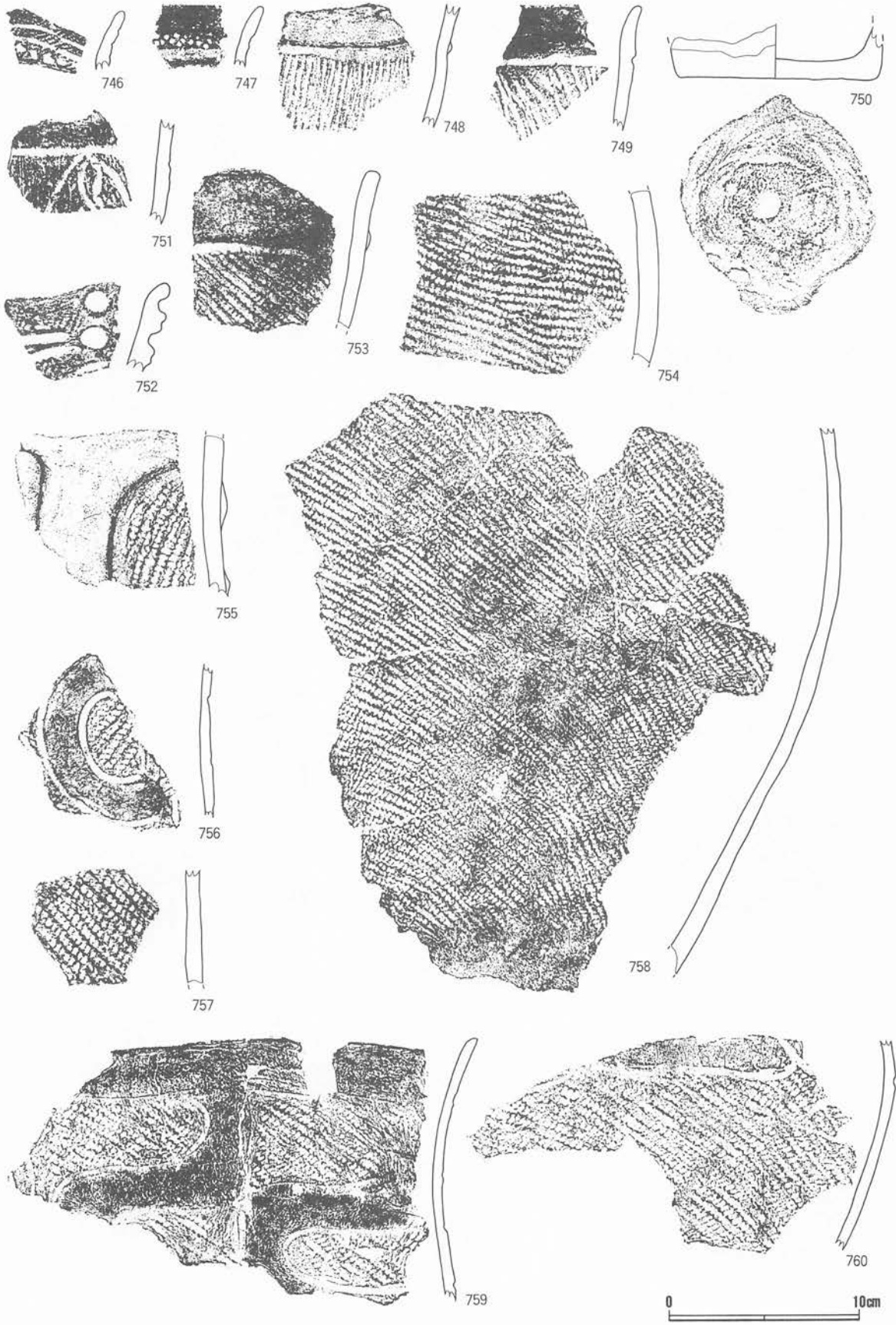
第182図 出土遺物 土器拓本(16)



第183図 出土遺物 土器拓本(17)

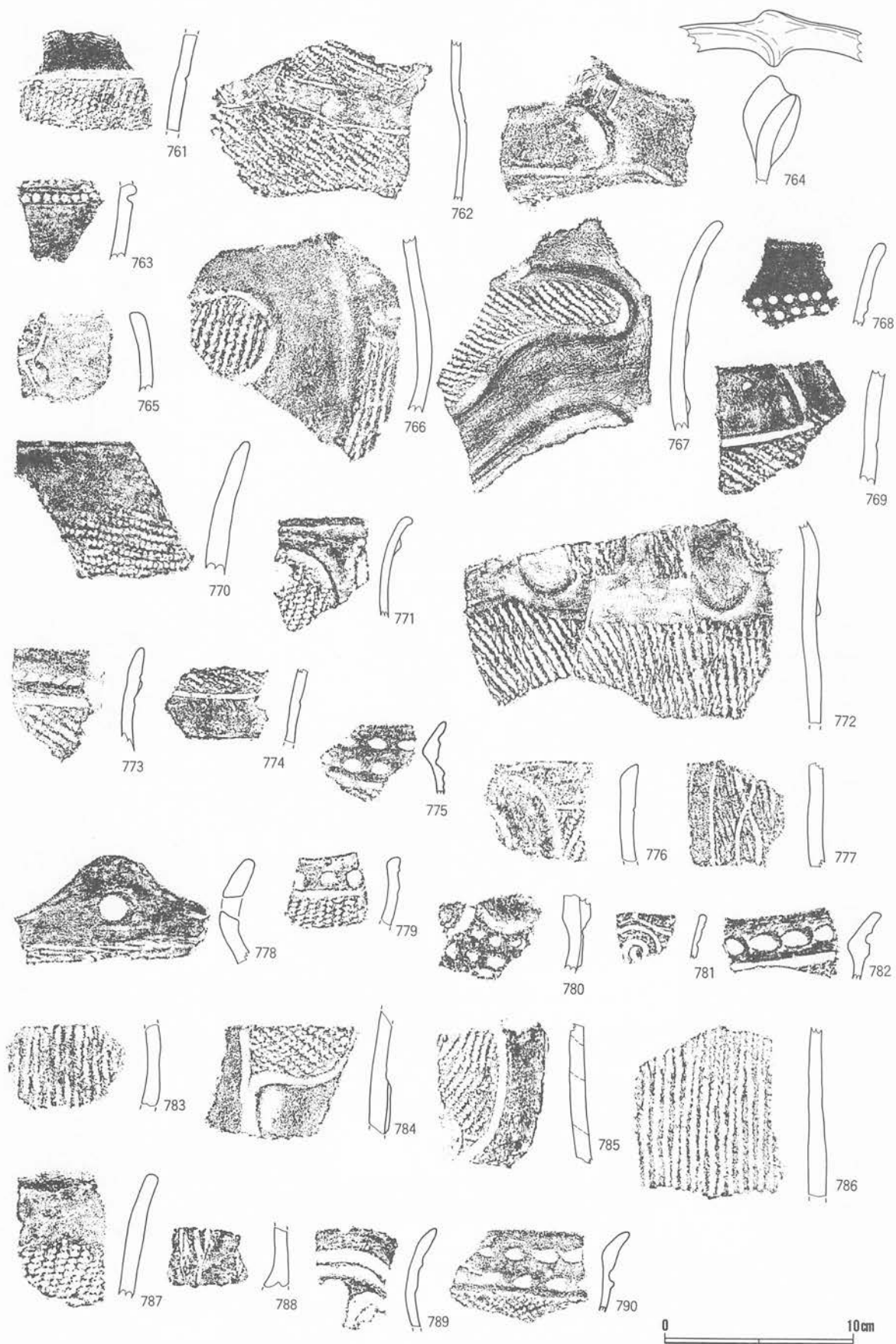


第184图 出土遺物 土器拓本(18)

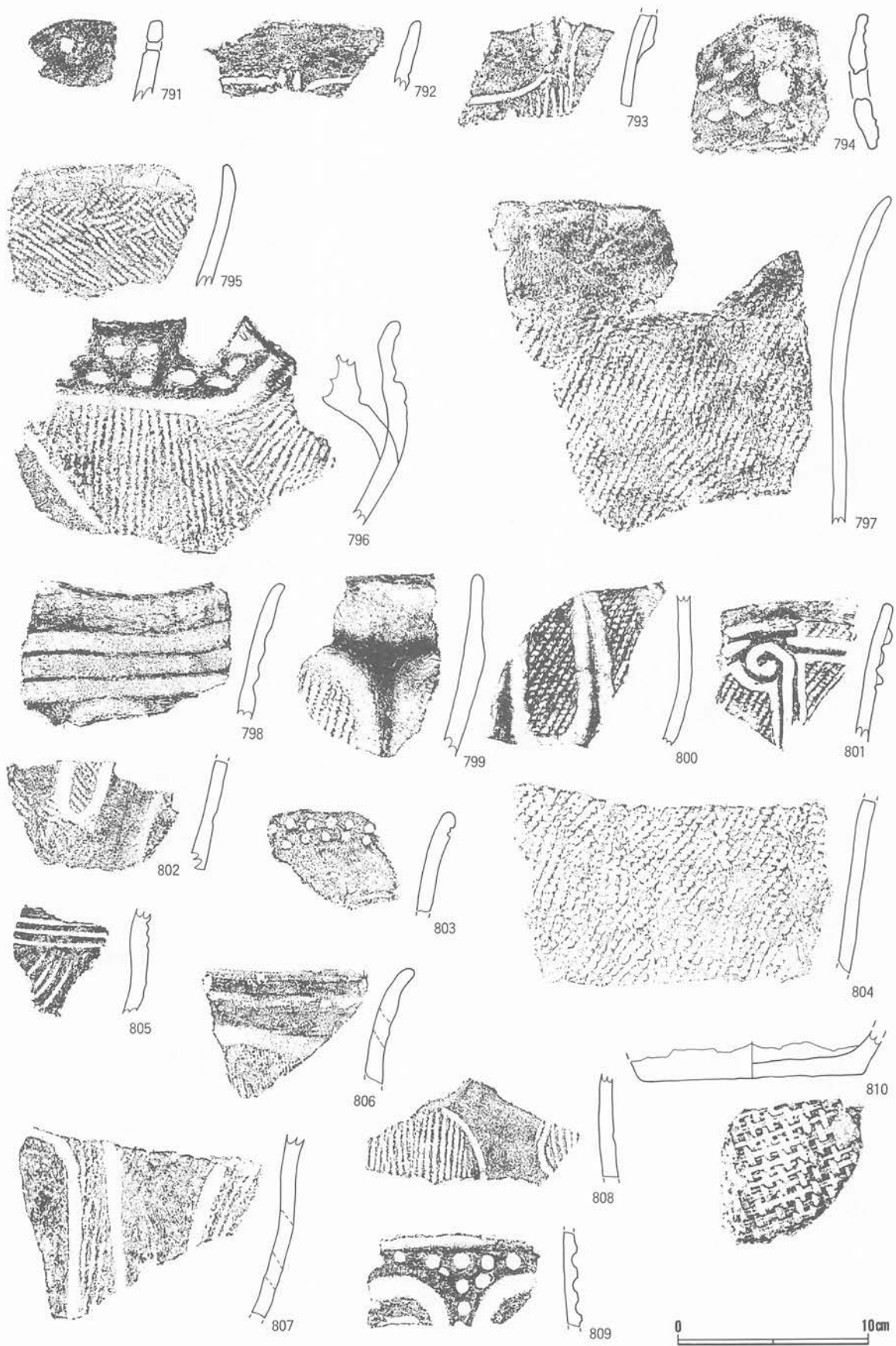


第185図 出土遺物 土器拓本(19)





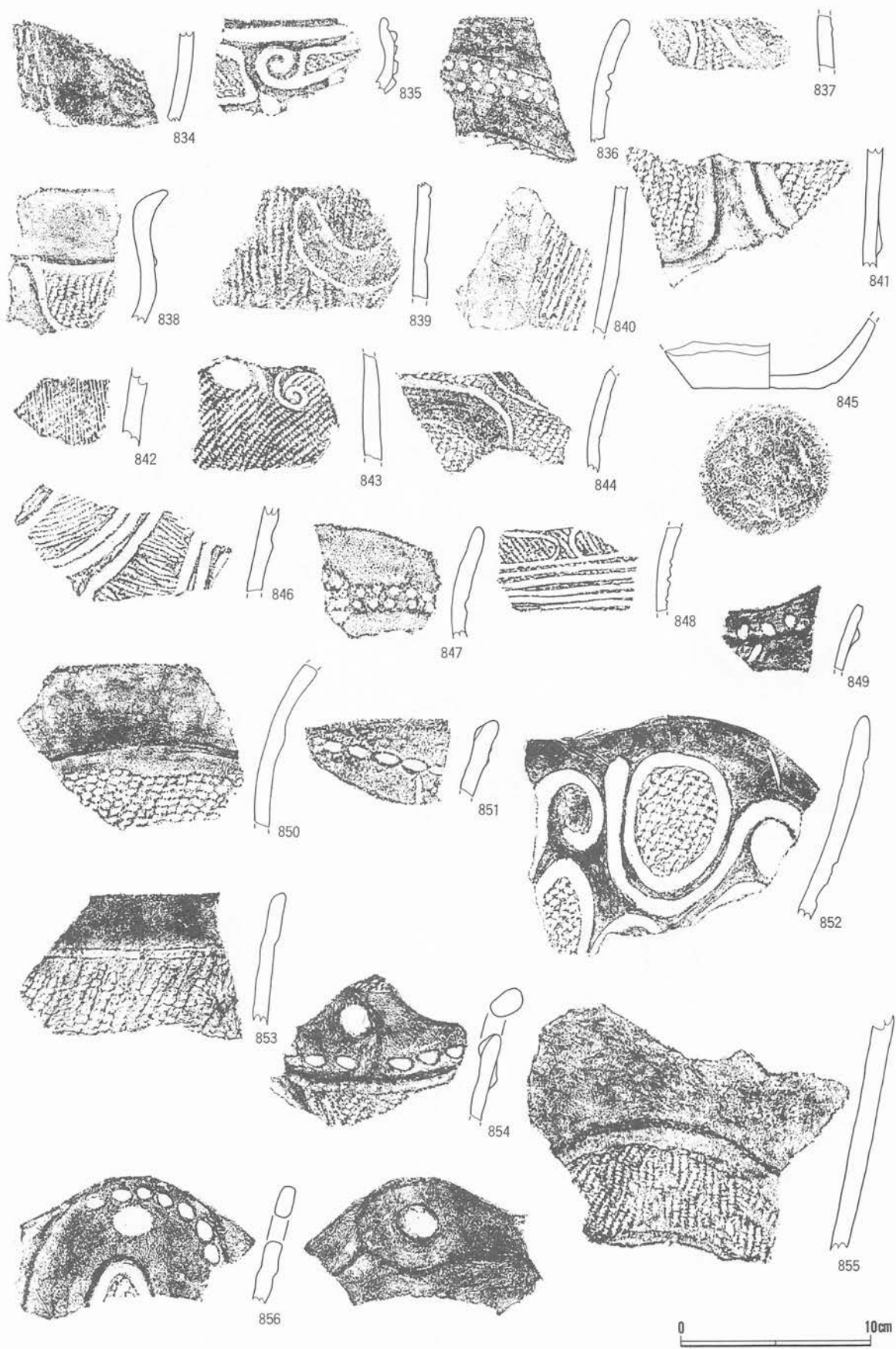
第186图 出土遺物 土器拓本(20)



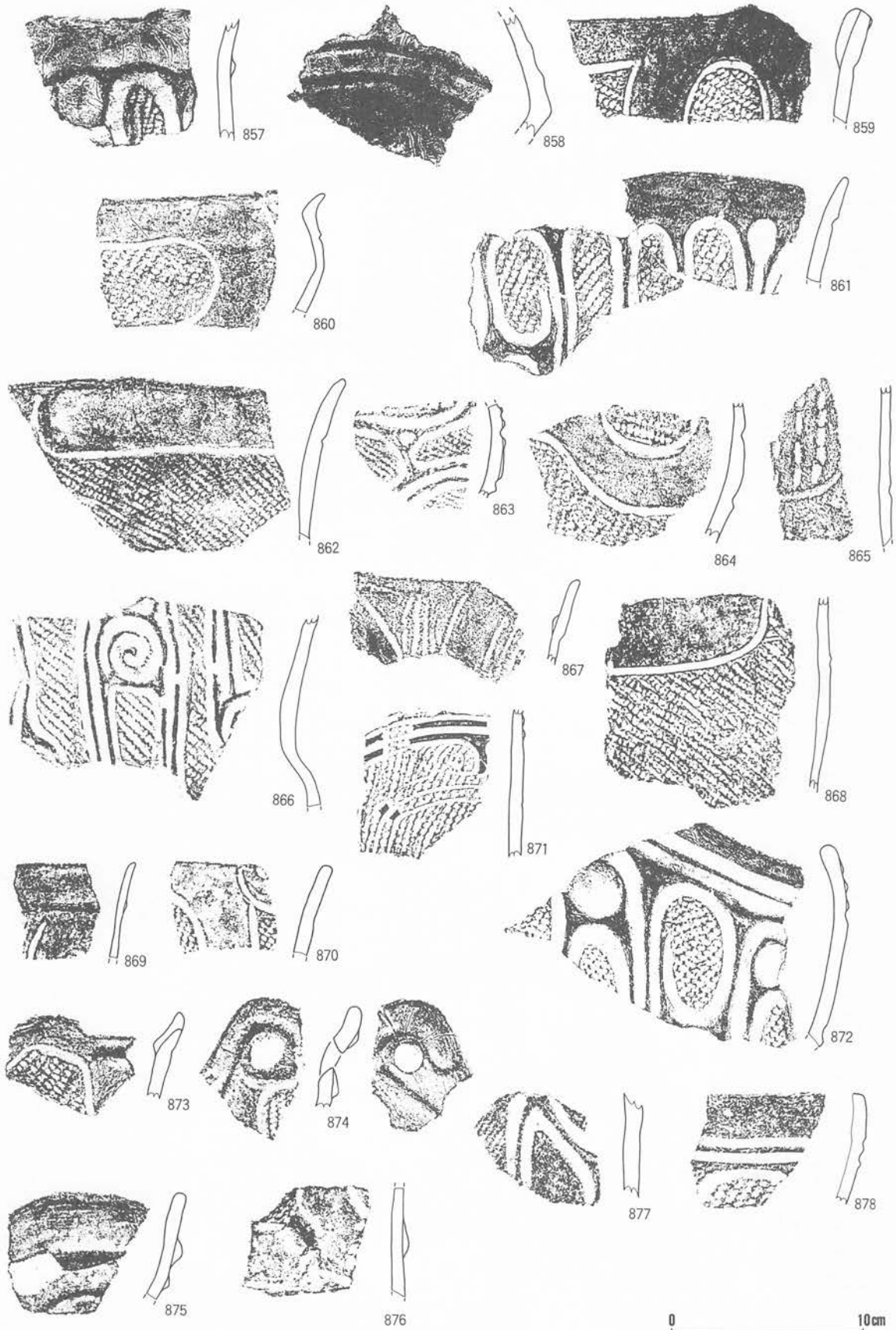
第187図 出土遺物 土器拓本(21)



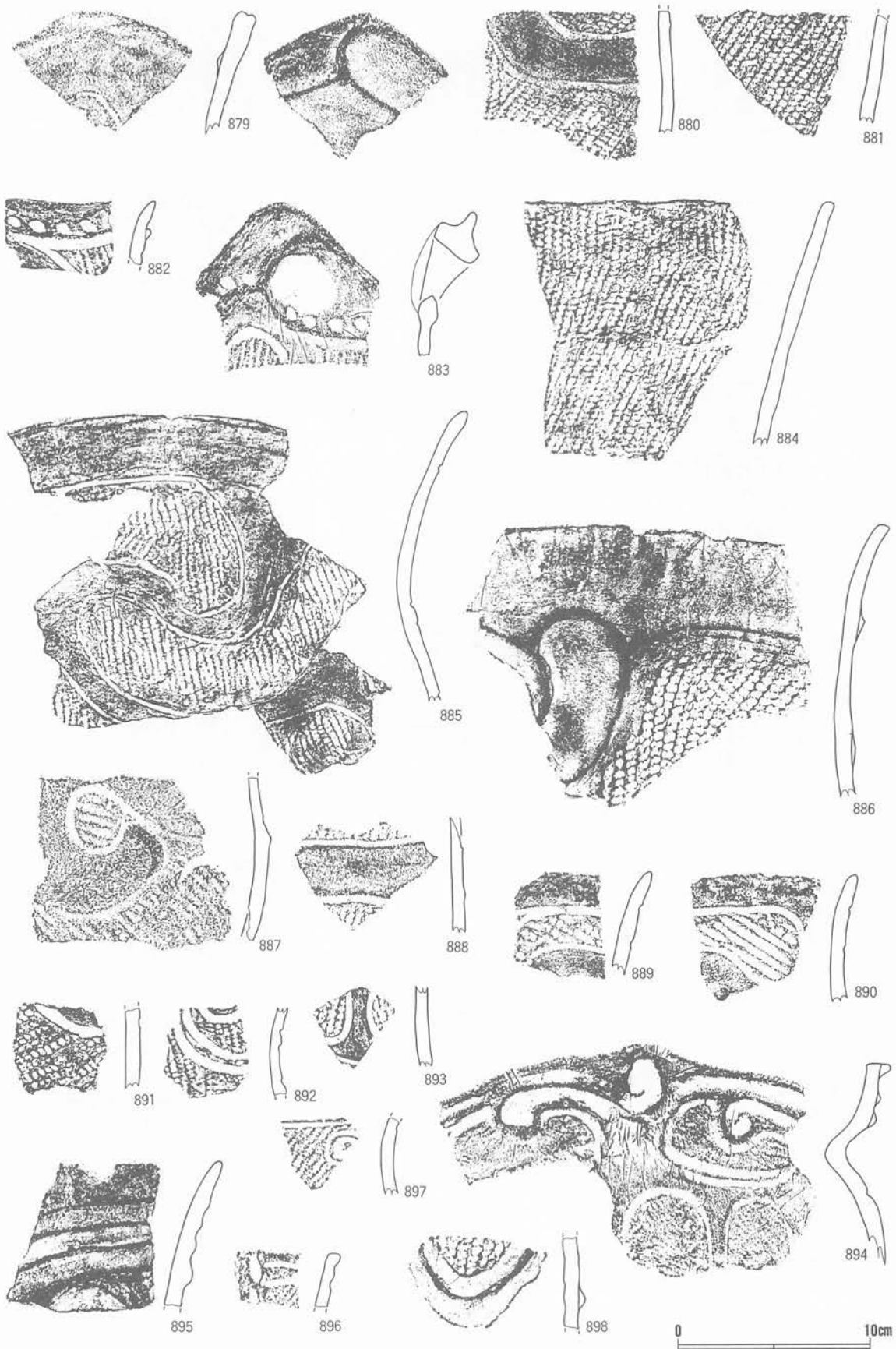
第188図 出土遺物 土器拓本(22)



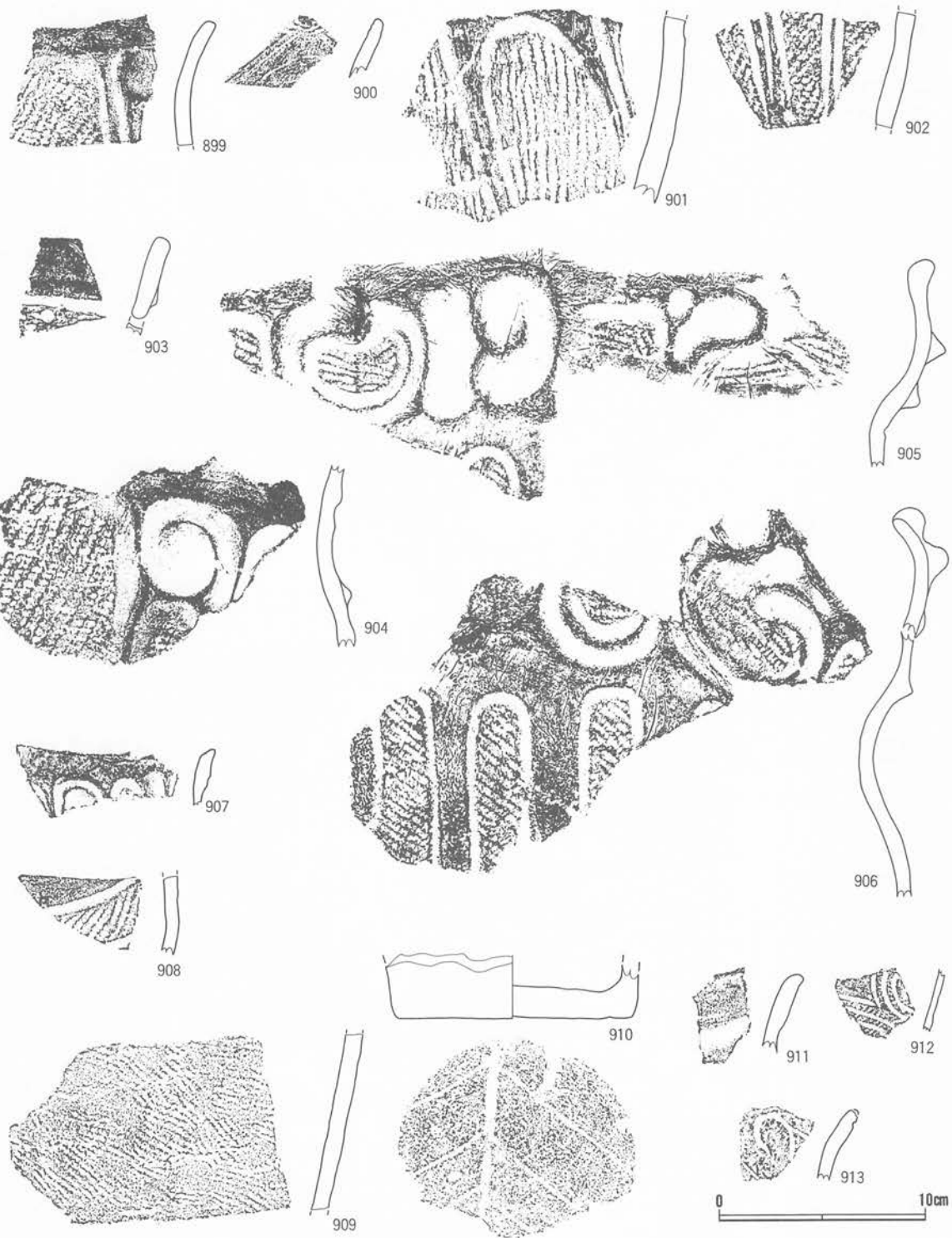
第189図 出土遺物 土器拓本(23)



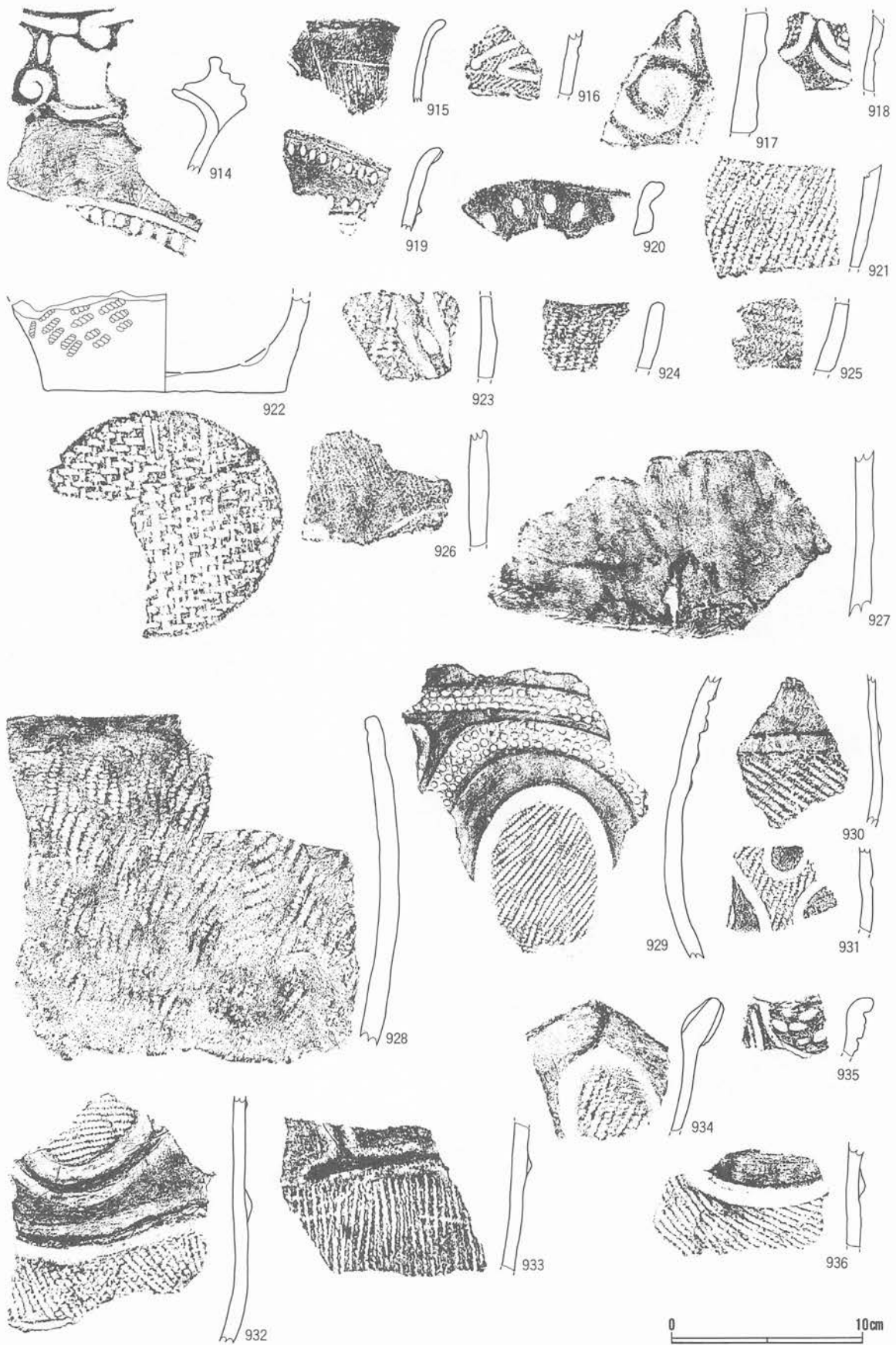
第190图 出土遺物 土器拓本(24)



第191图 出土遺物 土器拓本(25)

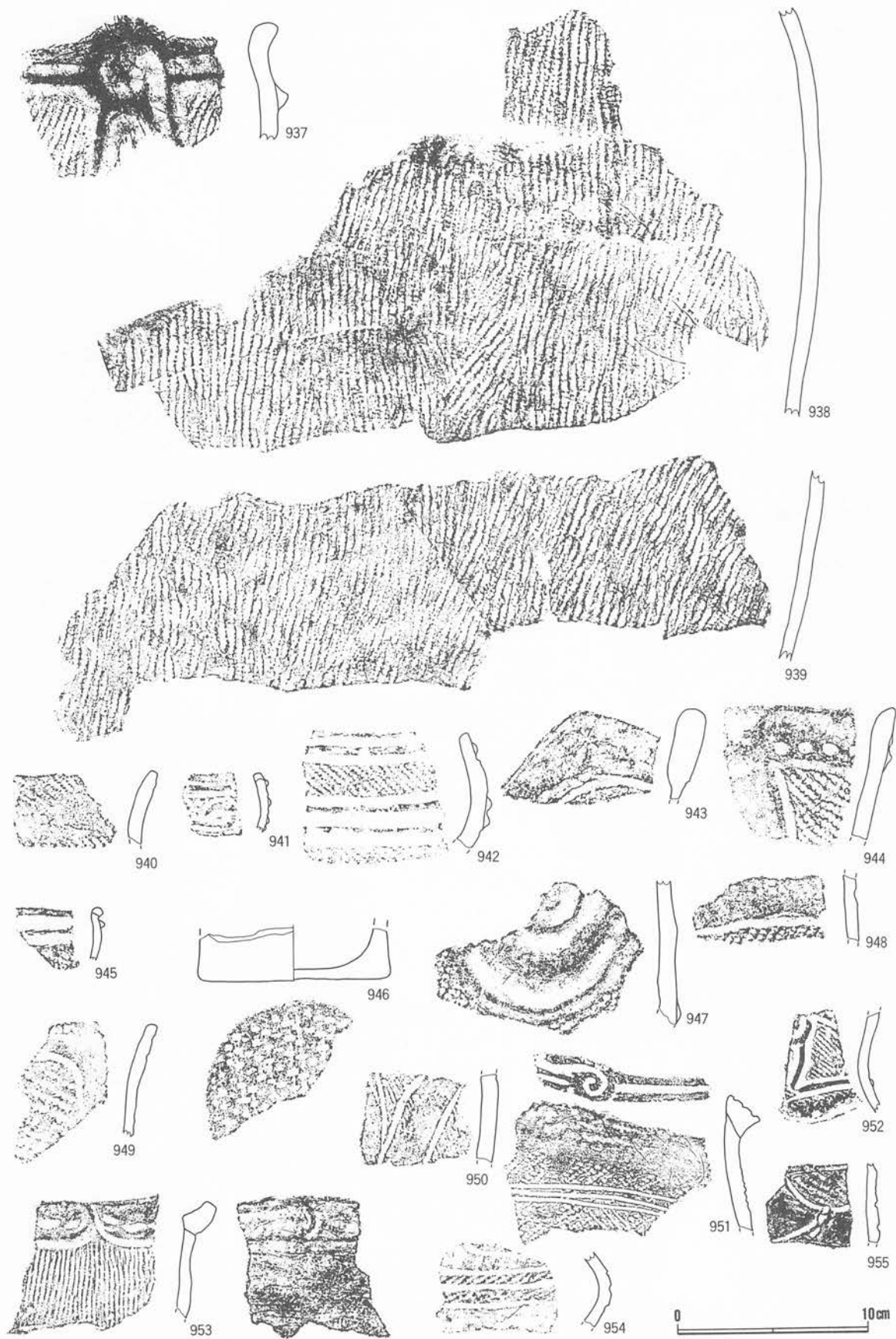


第192図 出土遺物 土器拓本(26)



第193图 出土遺物 土器拓本(27)

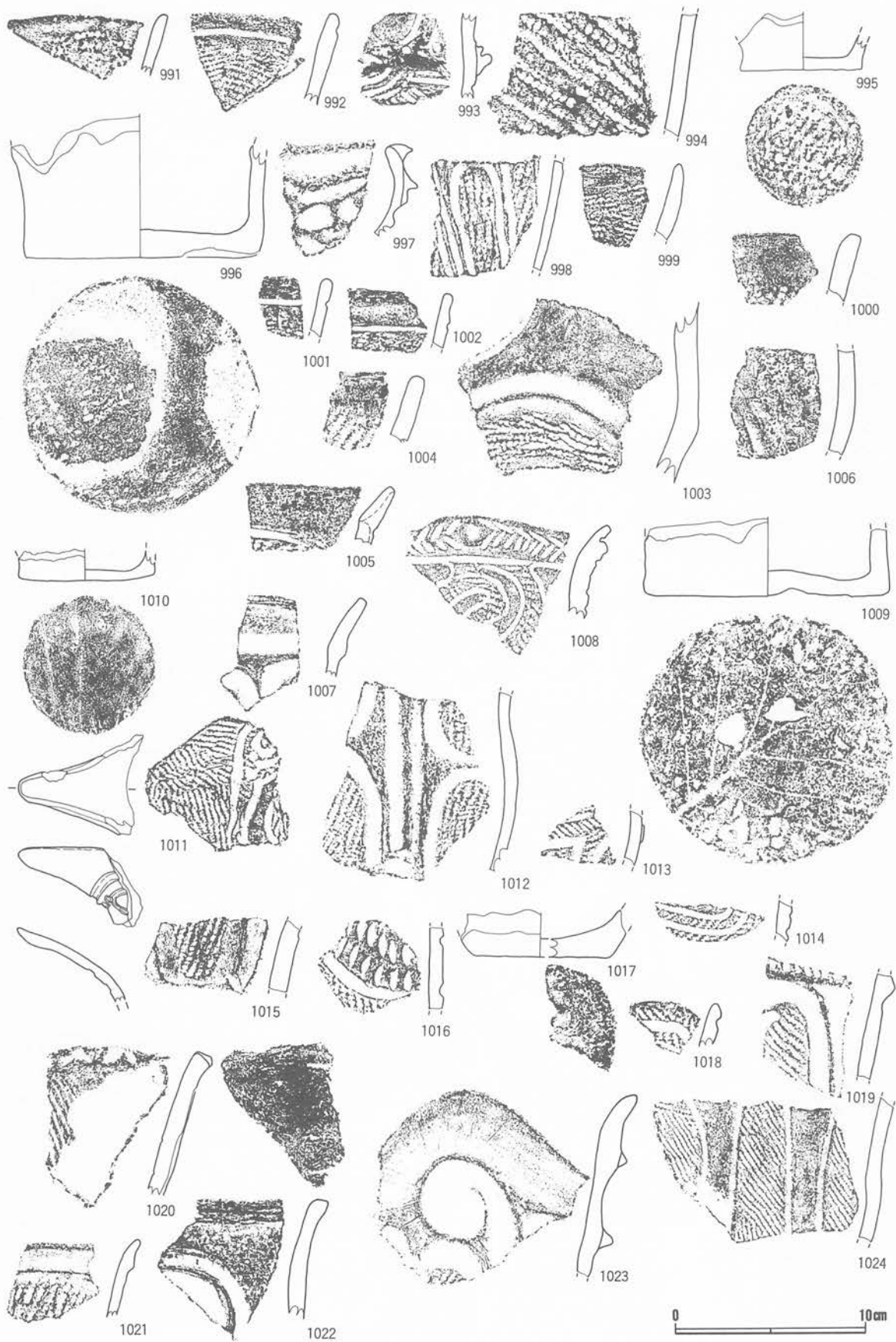




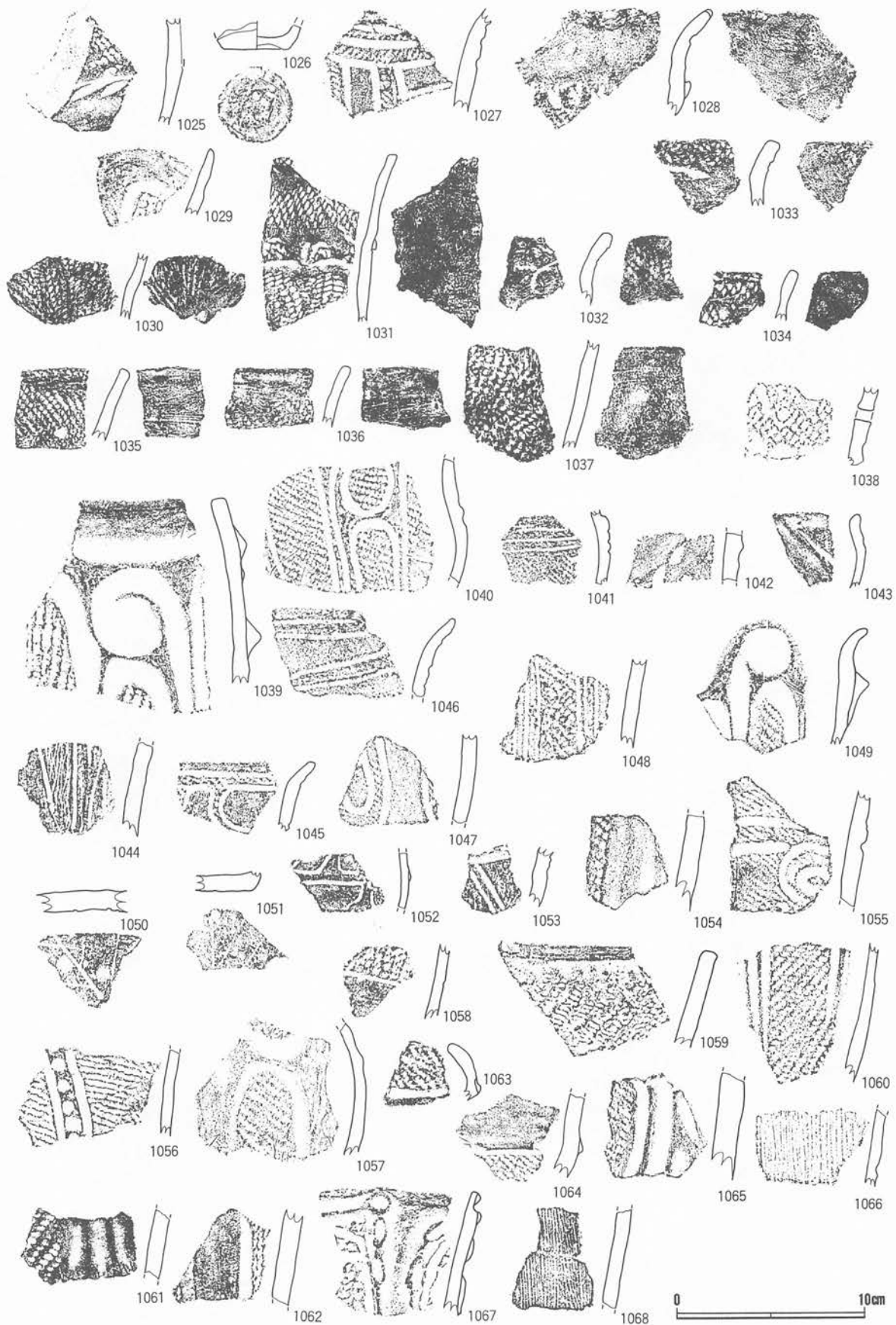
第194图 出土遺物 土器拓本(28)



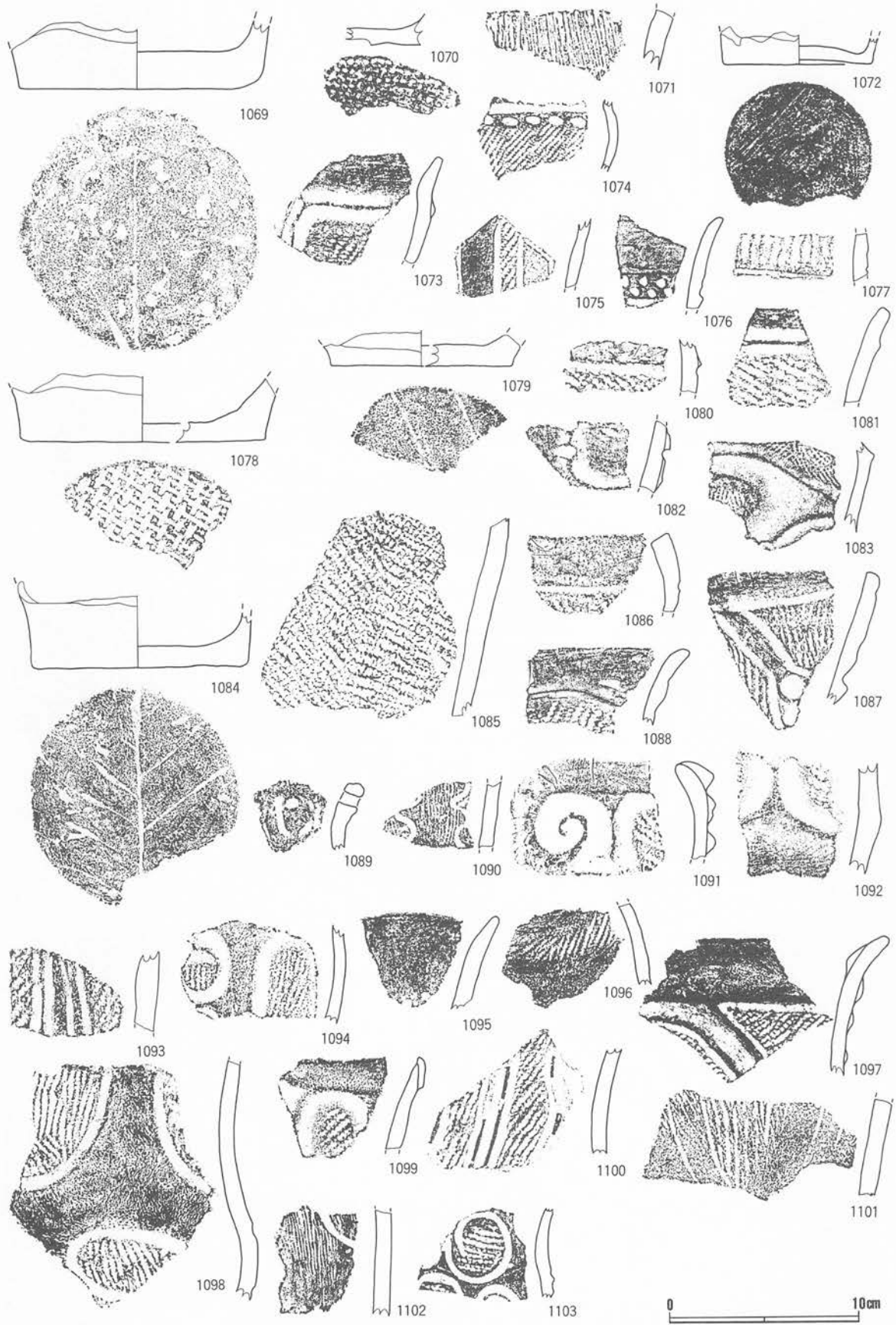
第195図 出土遺物 土器拓本(29)



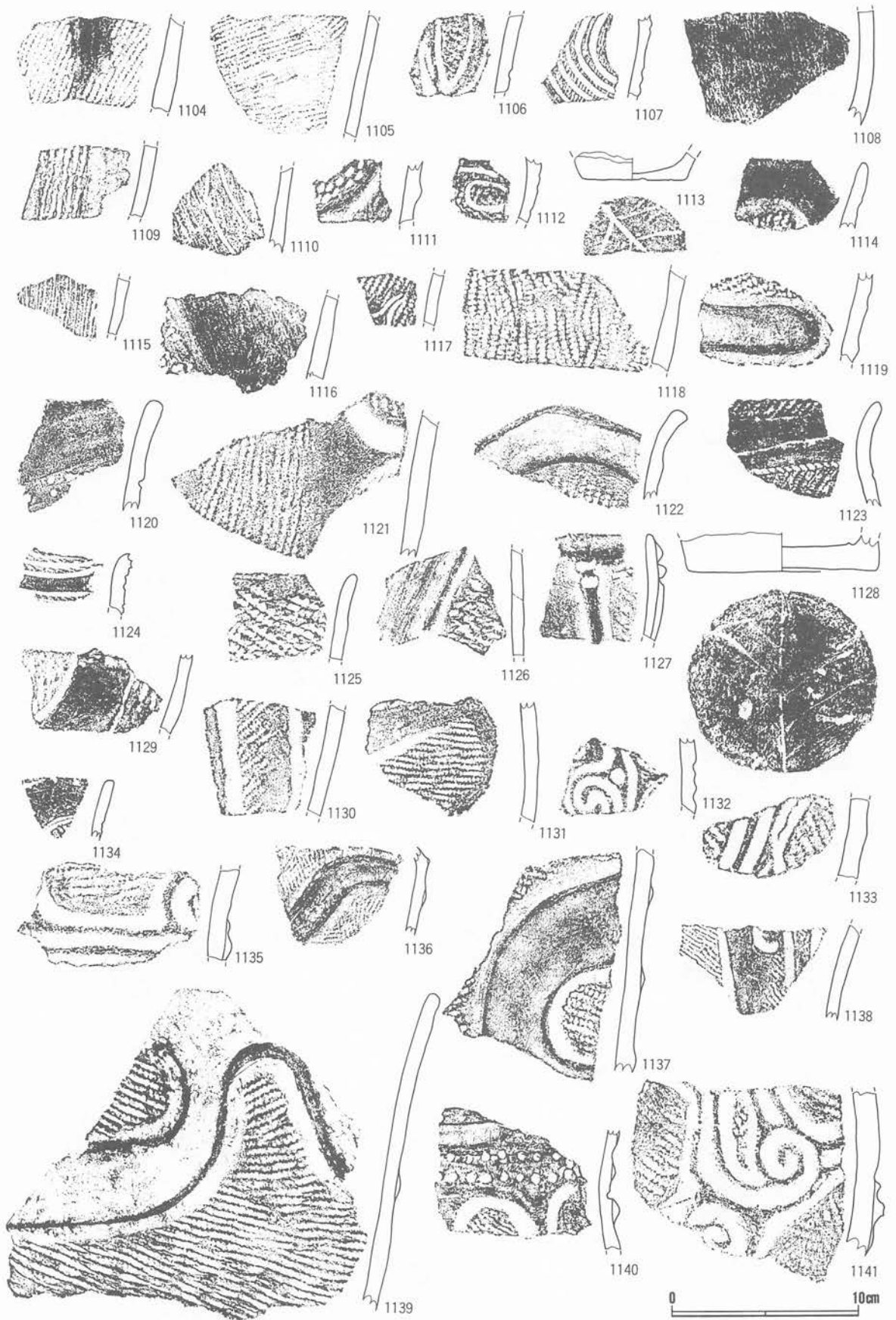
第196図 出土遺物 土器拓本(30)



第197图 出土遺物 土器拓本(31)



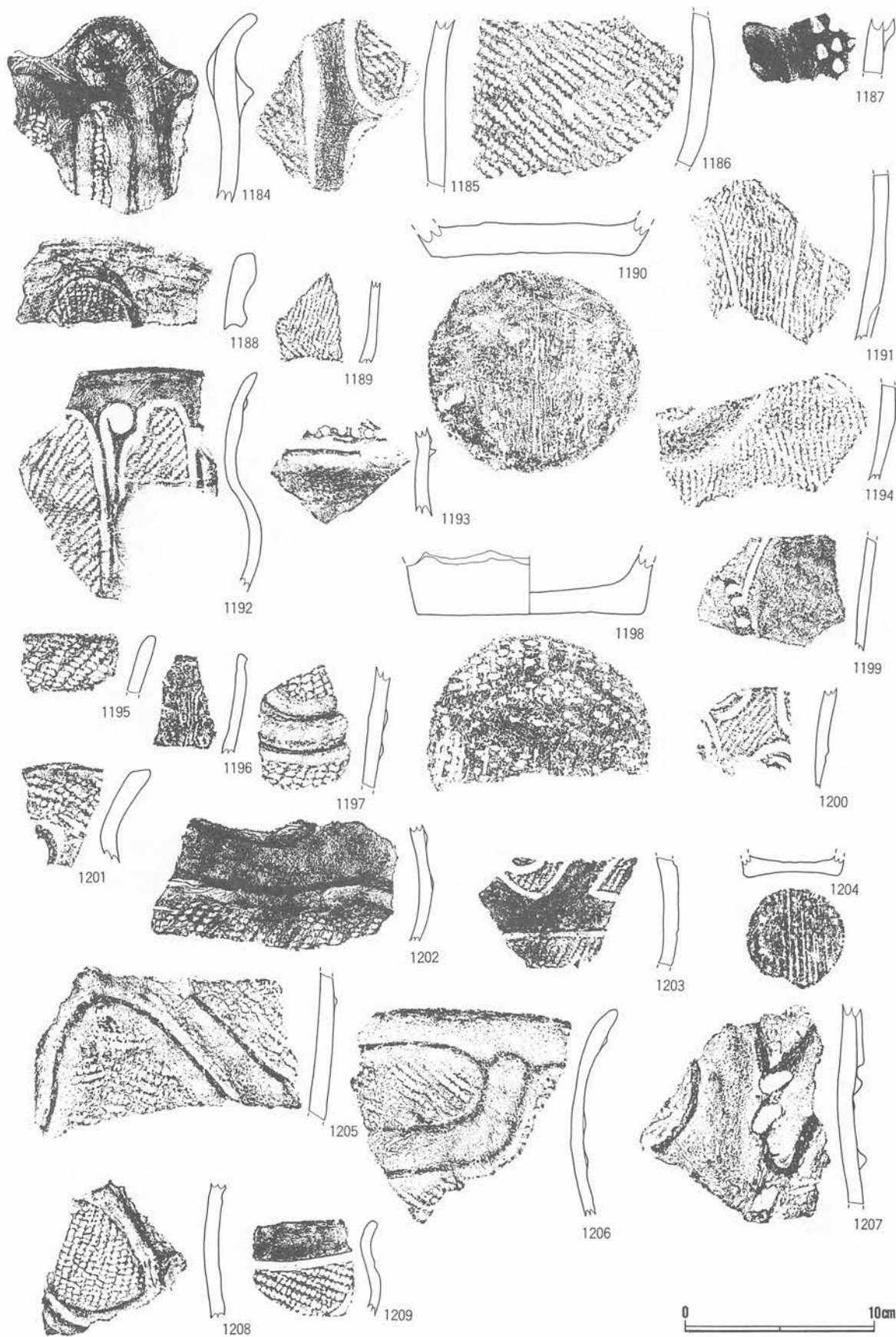
第198図 出土遺物 土器拓本(32)



第199図 出土遺物 土器拓本(33)



第200图 出土遺物 土器拓本(34)

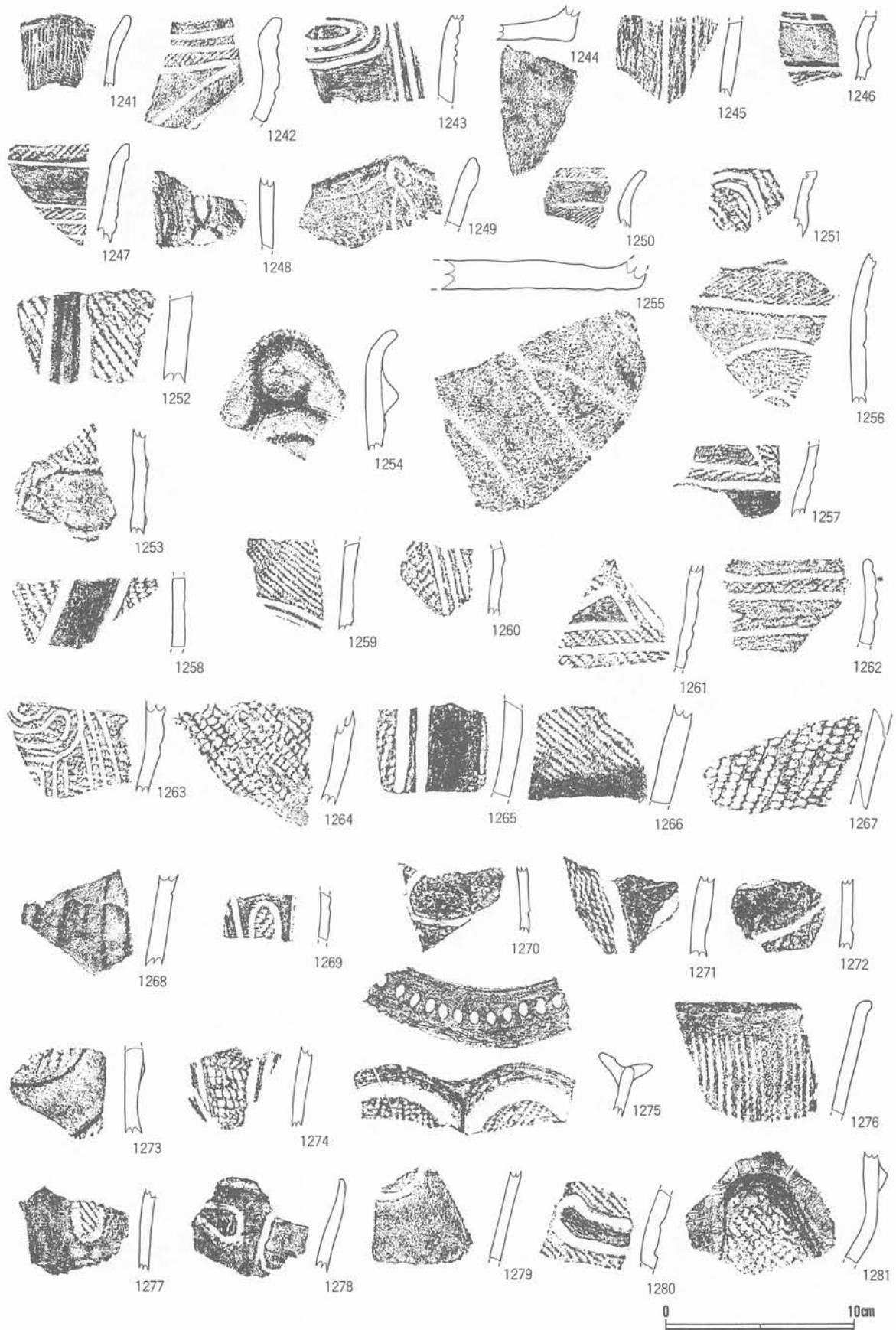


第201図 出土遺物 土器拓本(35)

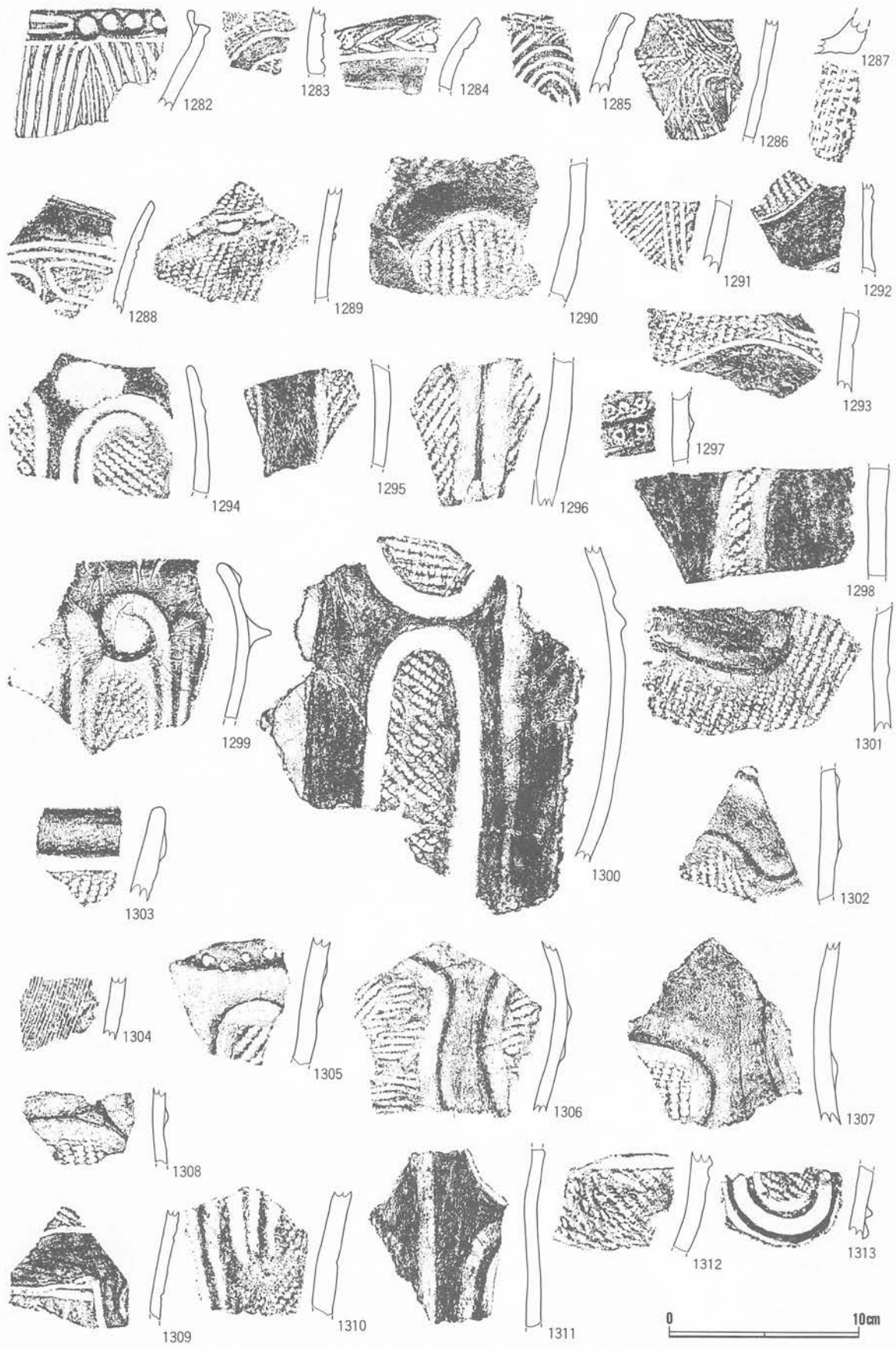




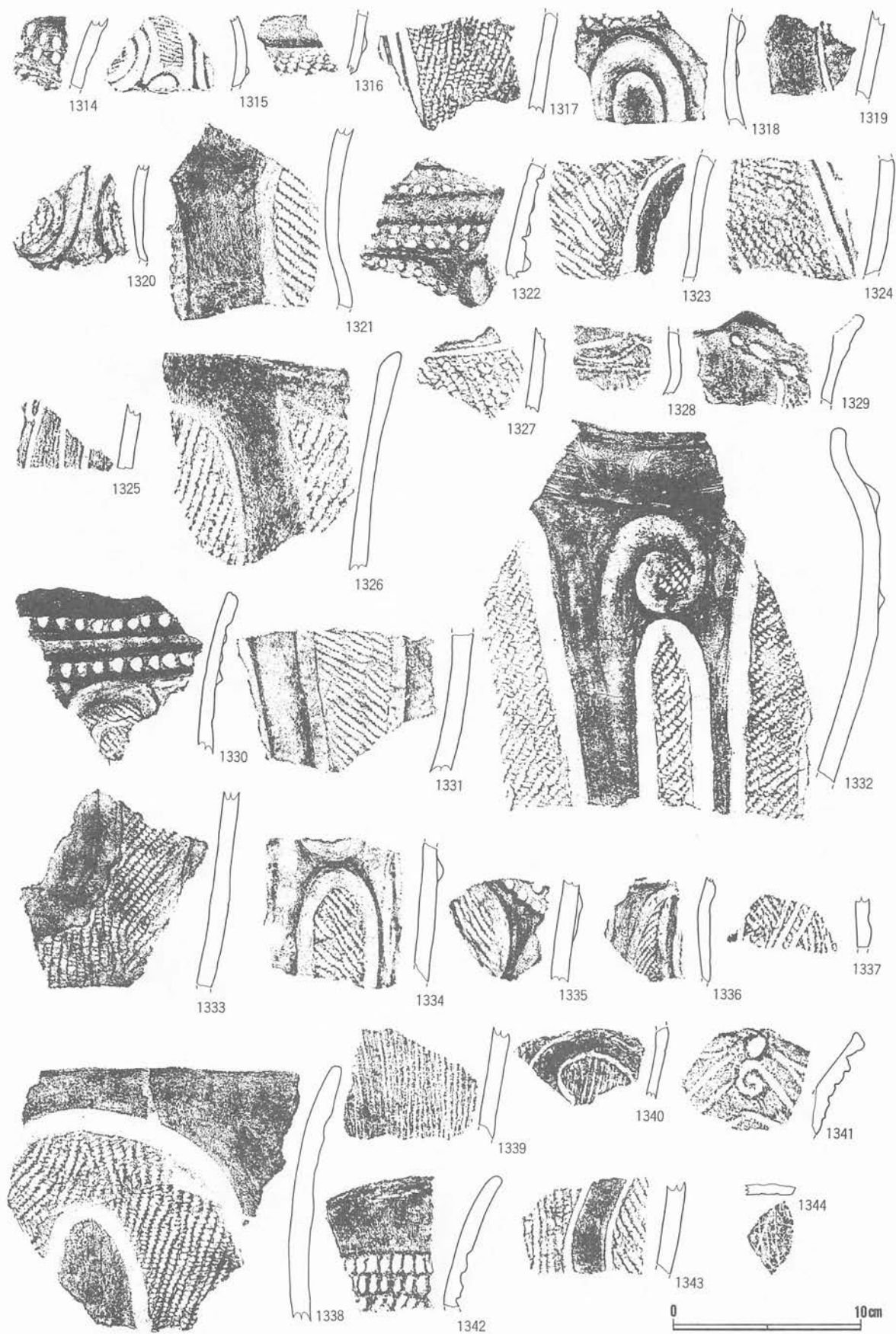
第202図 出土遺物 土器拓本(36)



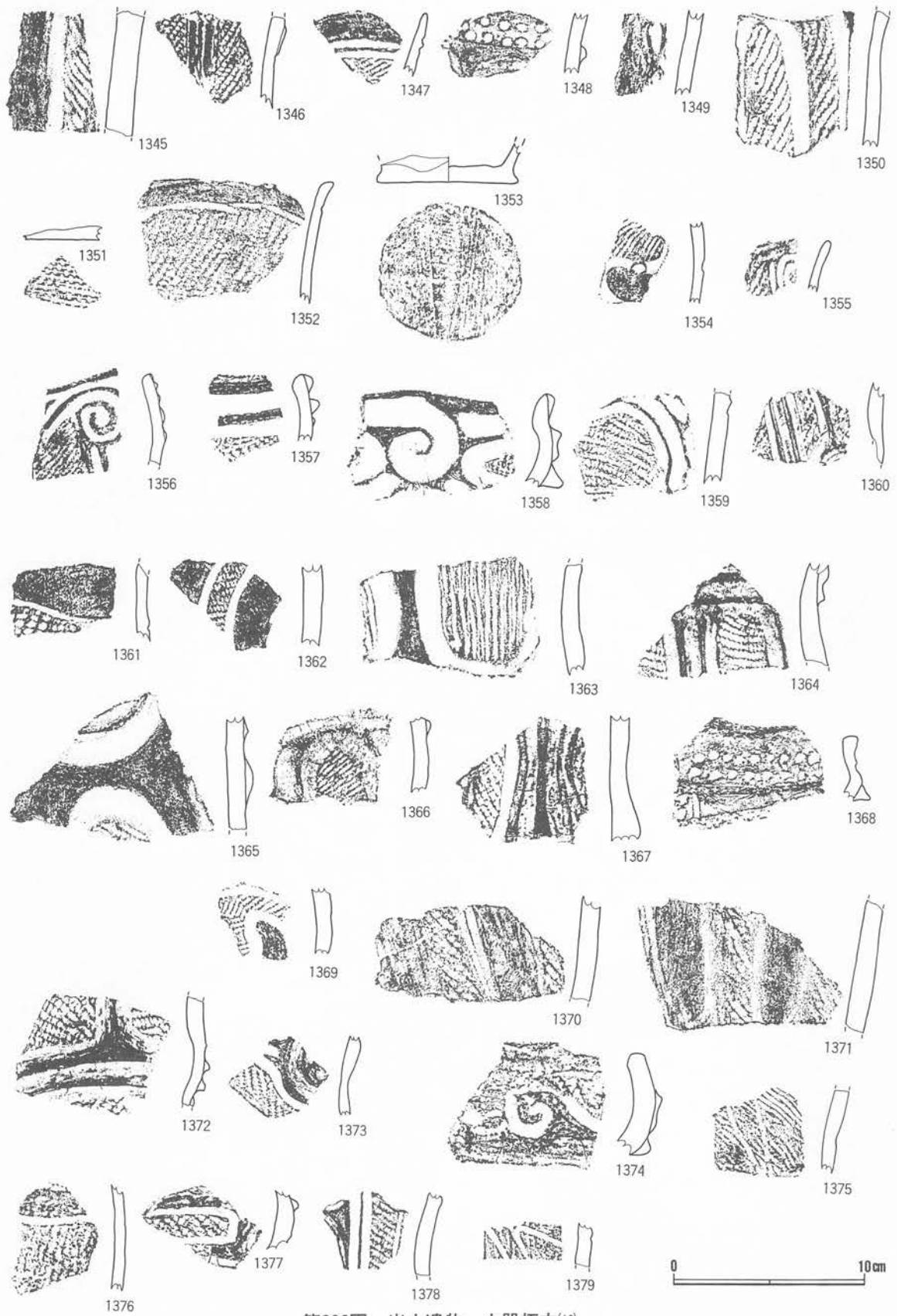
第203図 出土遺物 土器拓本(37)



第204図 出土遺物 土器拓本(38)



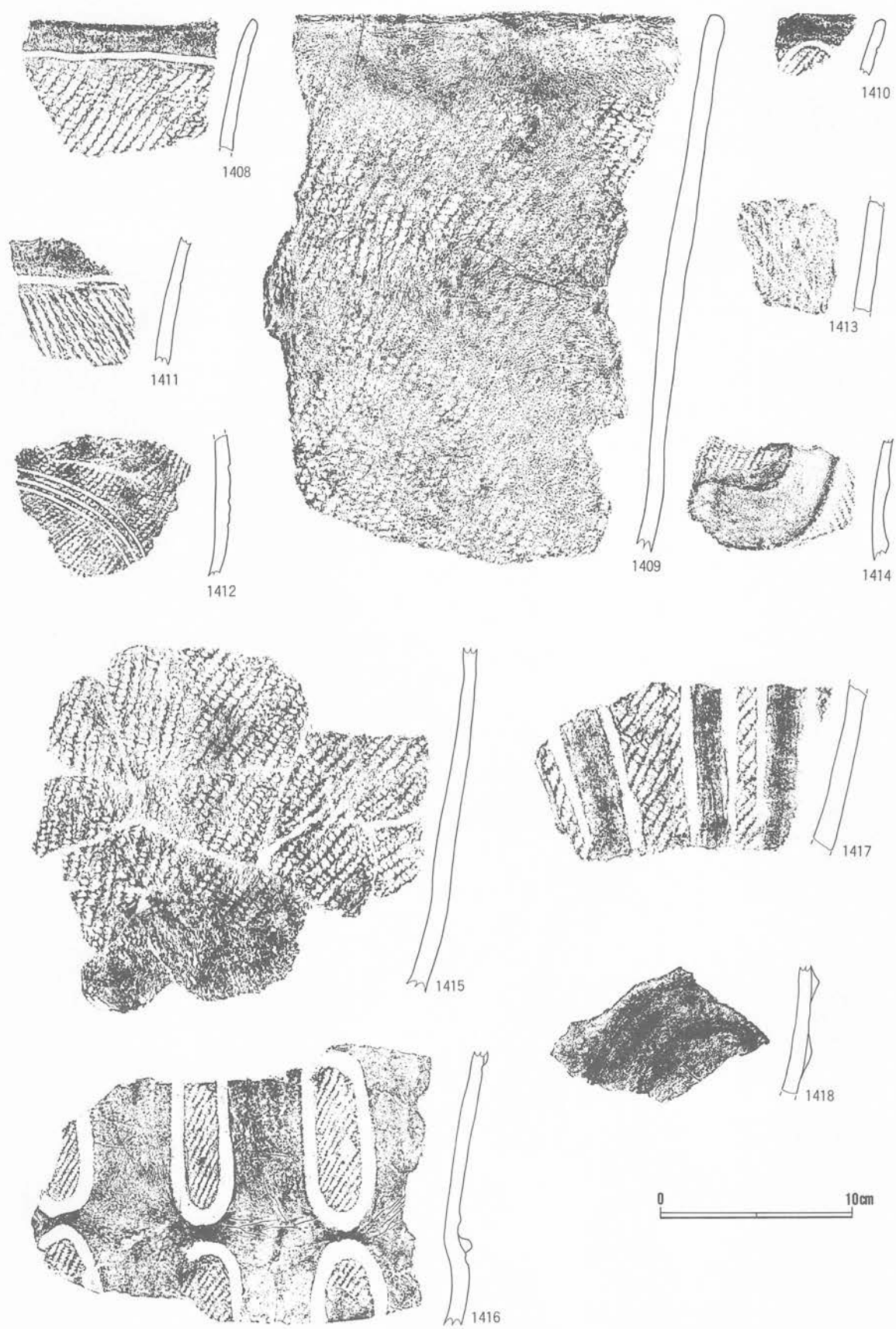
第205图 出土遺物 土器拓本(39)



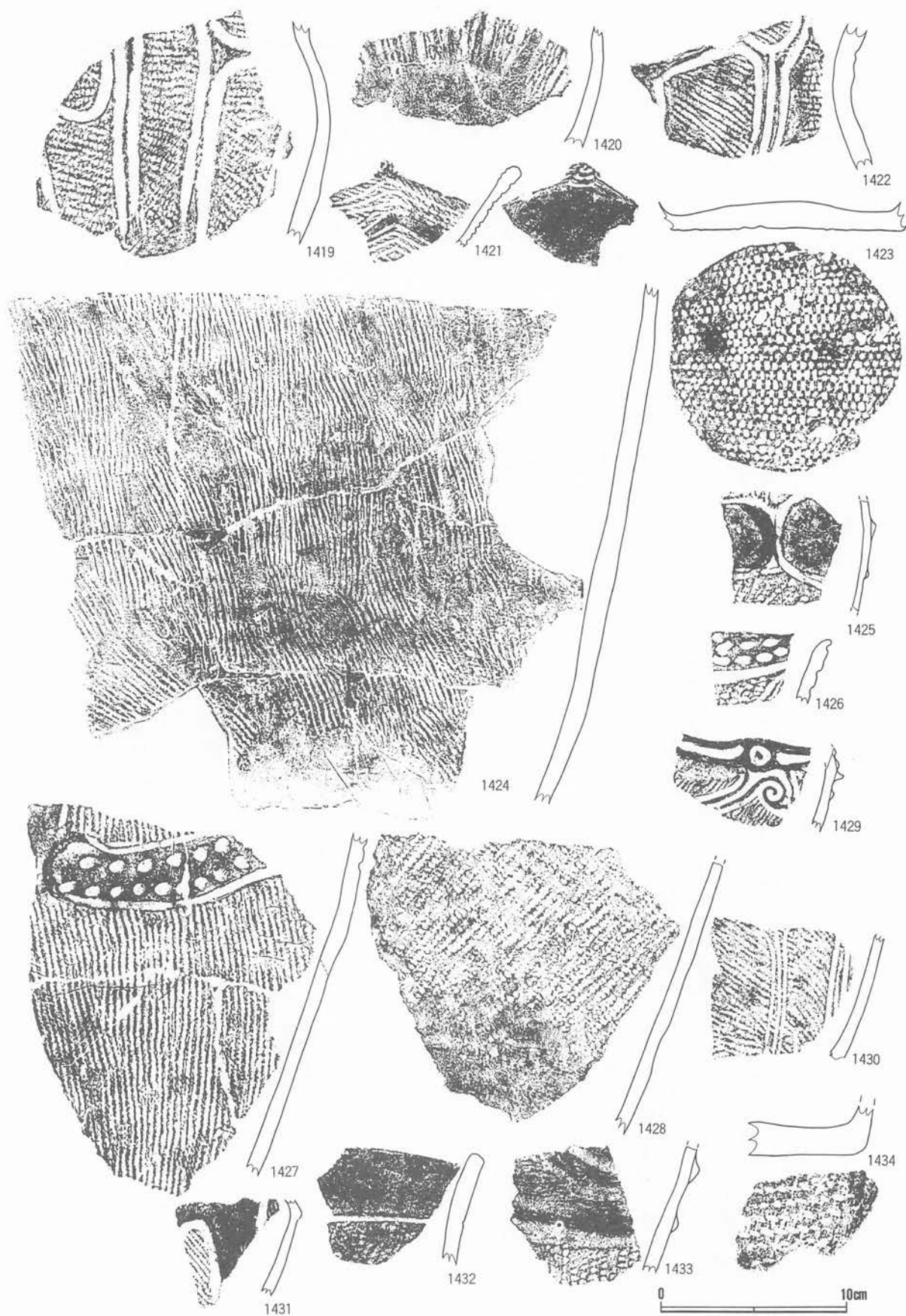
第206图 出土遺物 土器拓本(40)



第207图 出土遺物 土器拓本(41)

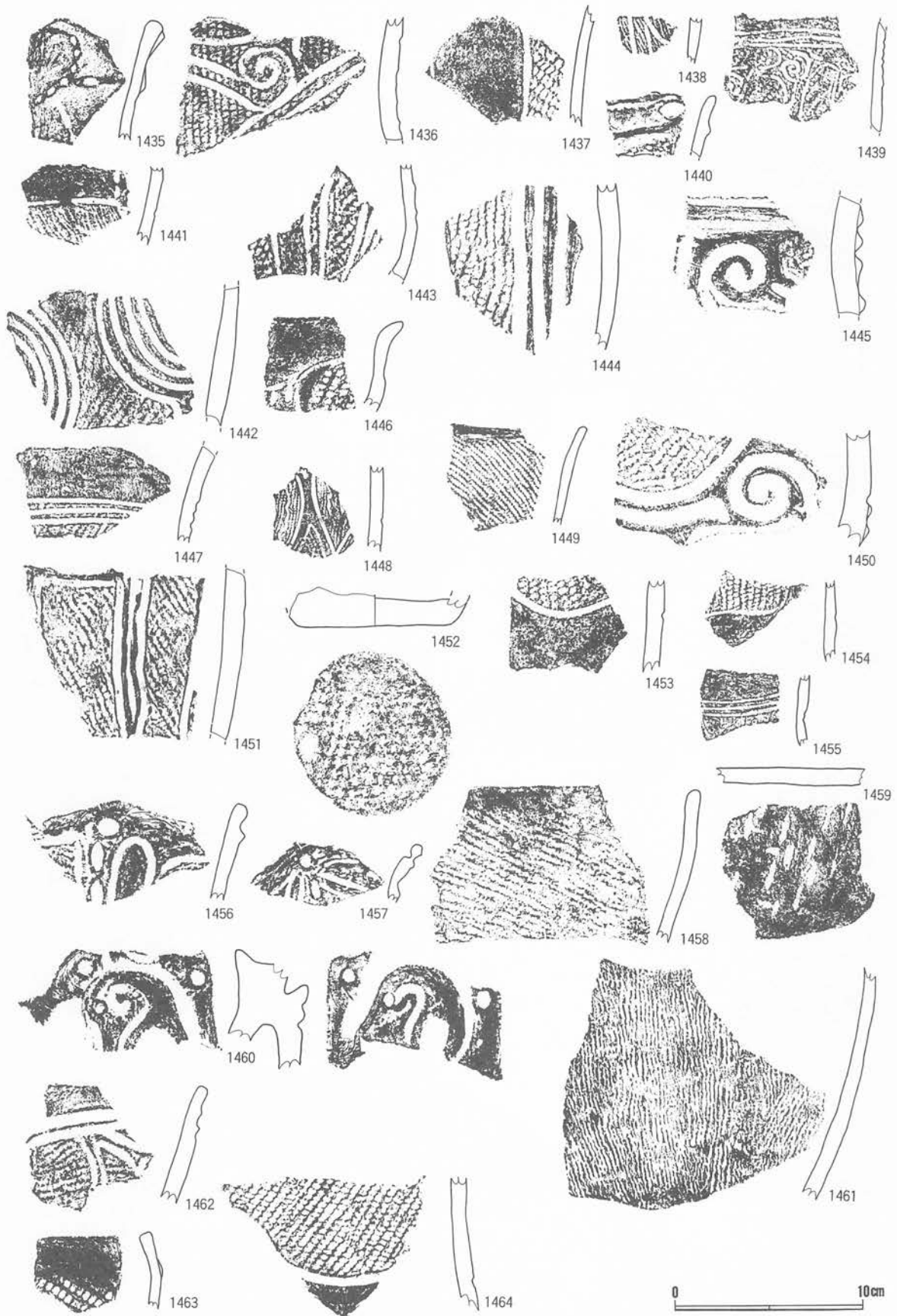


第208图 出土遺物 土器拓本(42)

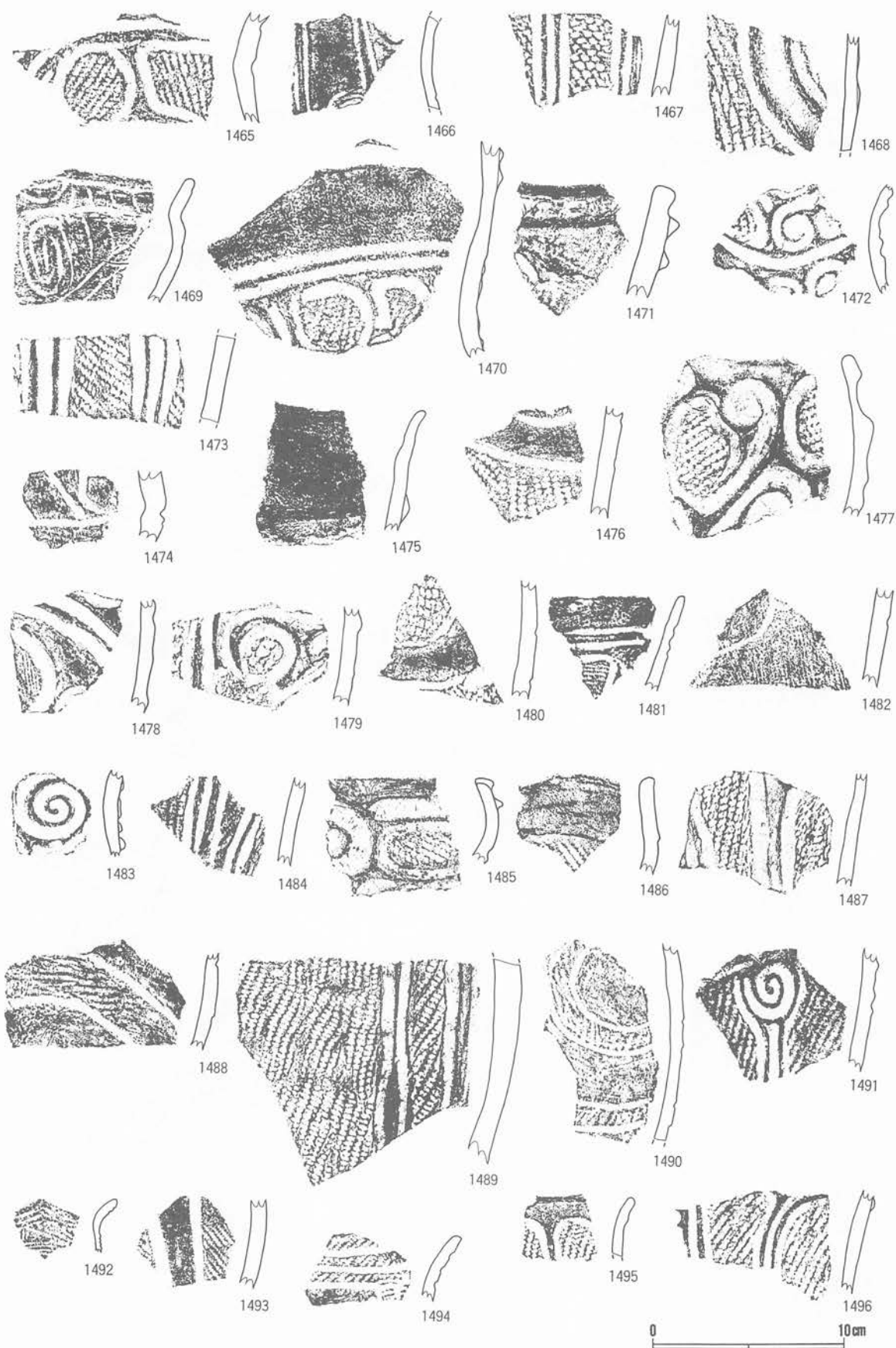


第209图 出土遺物 土器拓本(43)

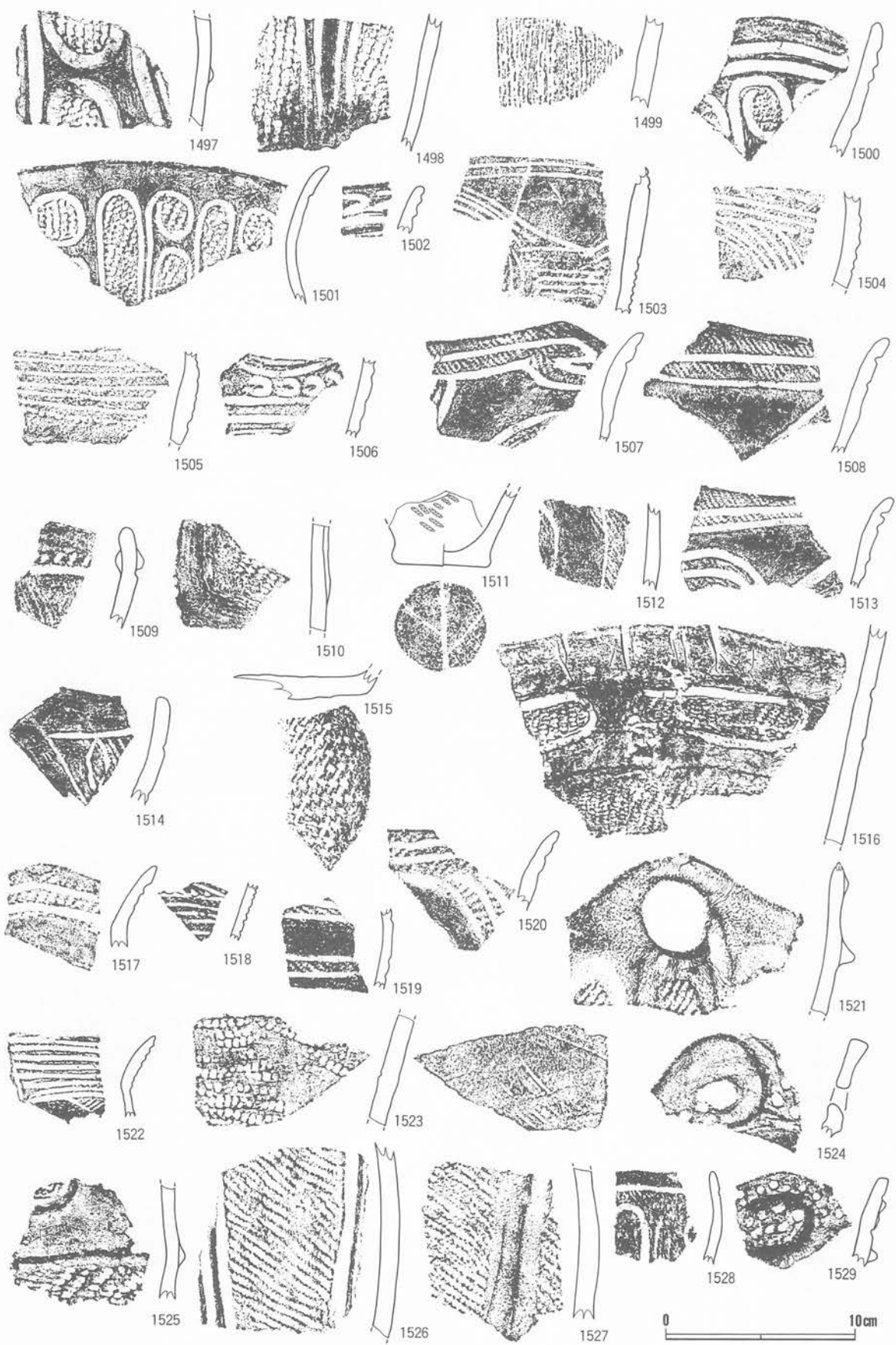




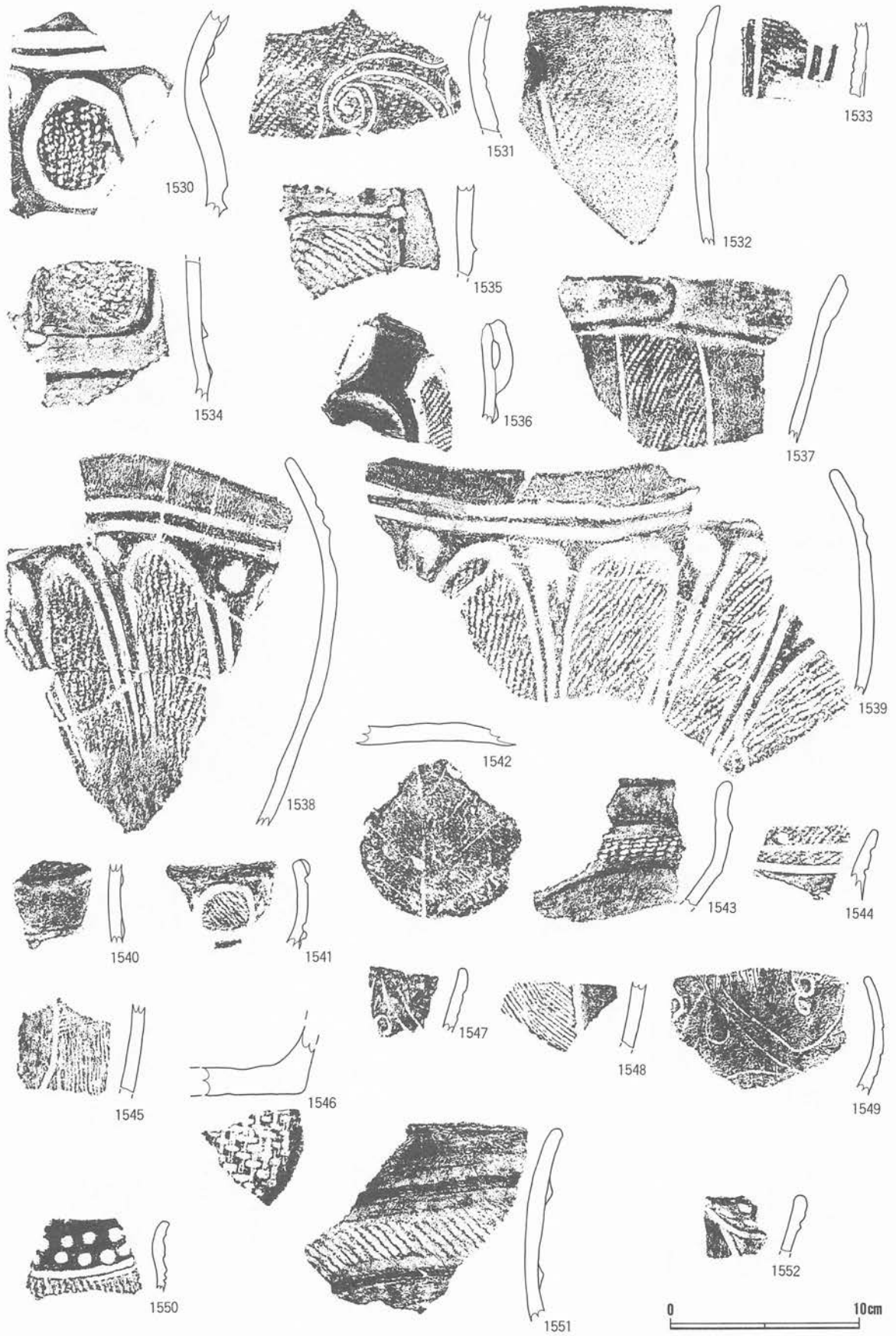
第210图 出土遺物 土器拓本(44)



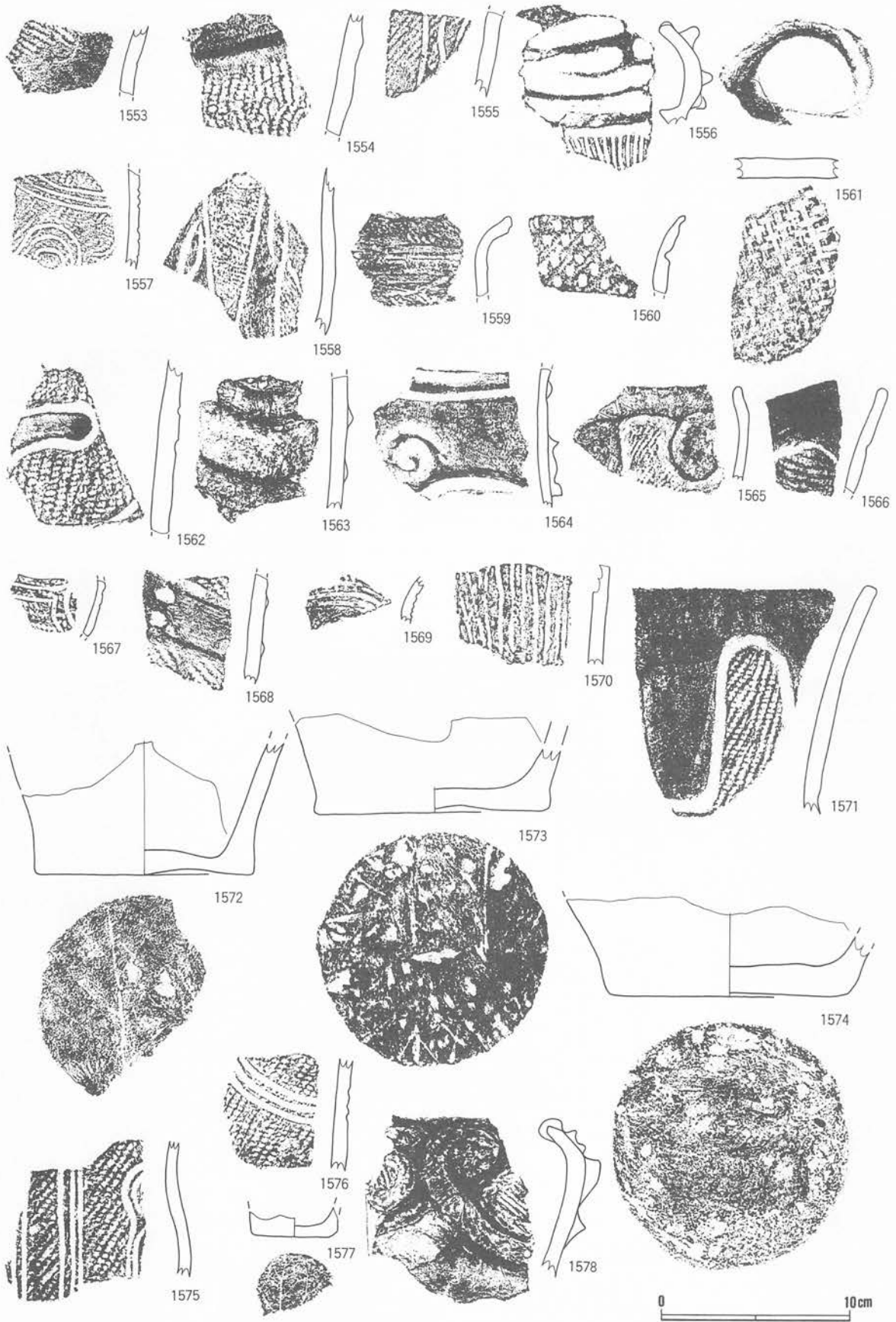
第211图 出土遺物 土器拓本(45)



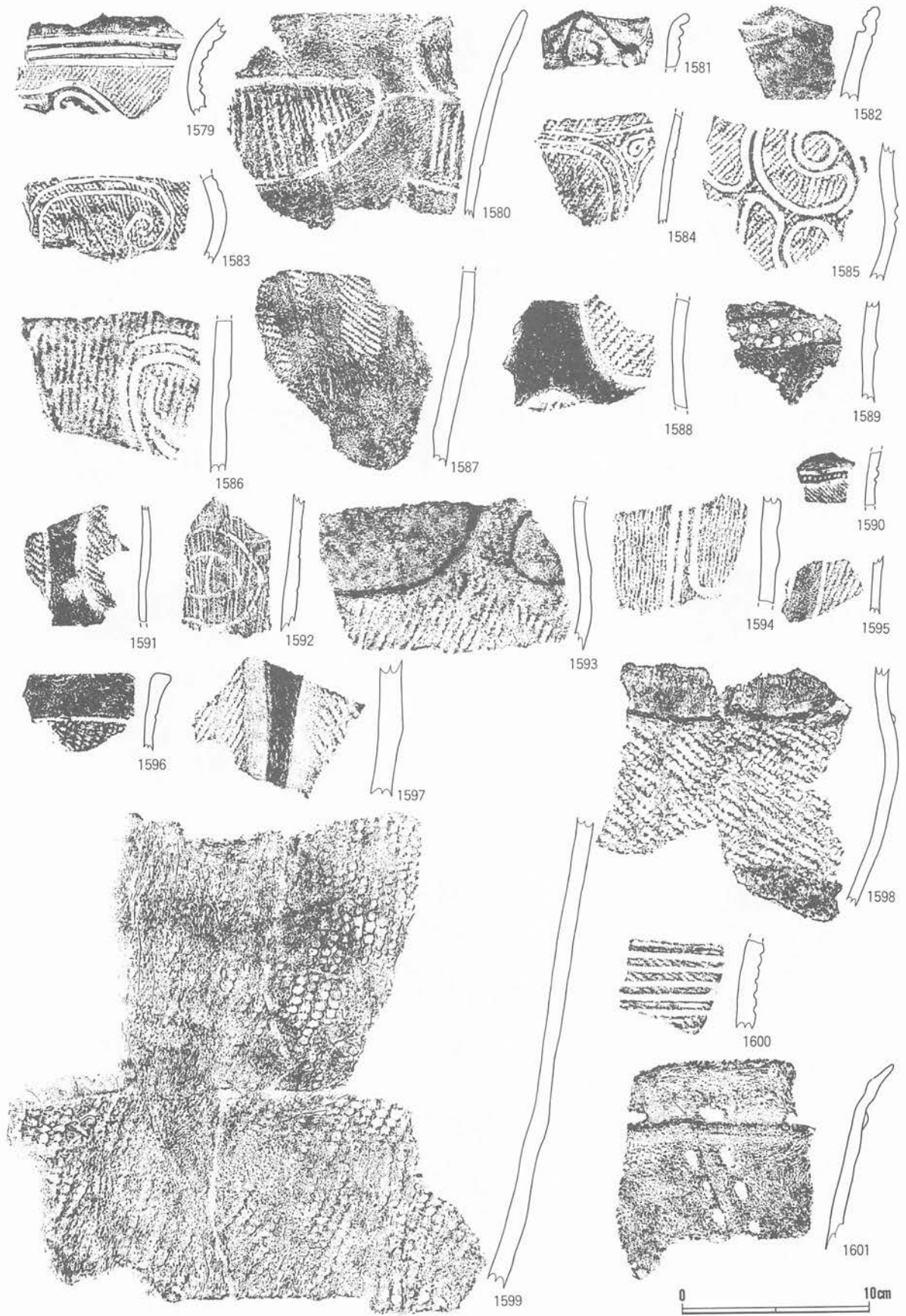
第212図 出土遺物 土器拓本(46)



第213图 出土遺物 土器拓本(47)



第214図 出土遺物 土器拓本(48)



第215図 出土遺物 土器拓本(49)

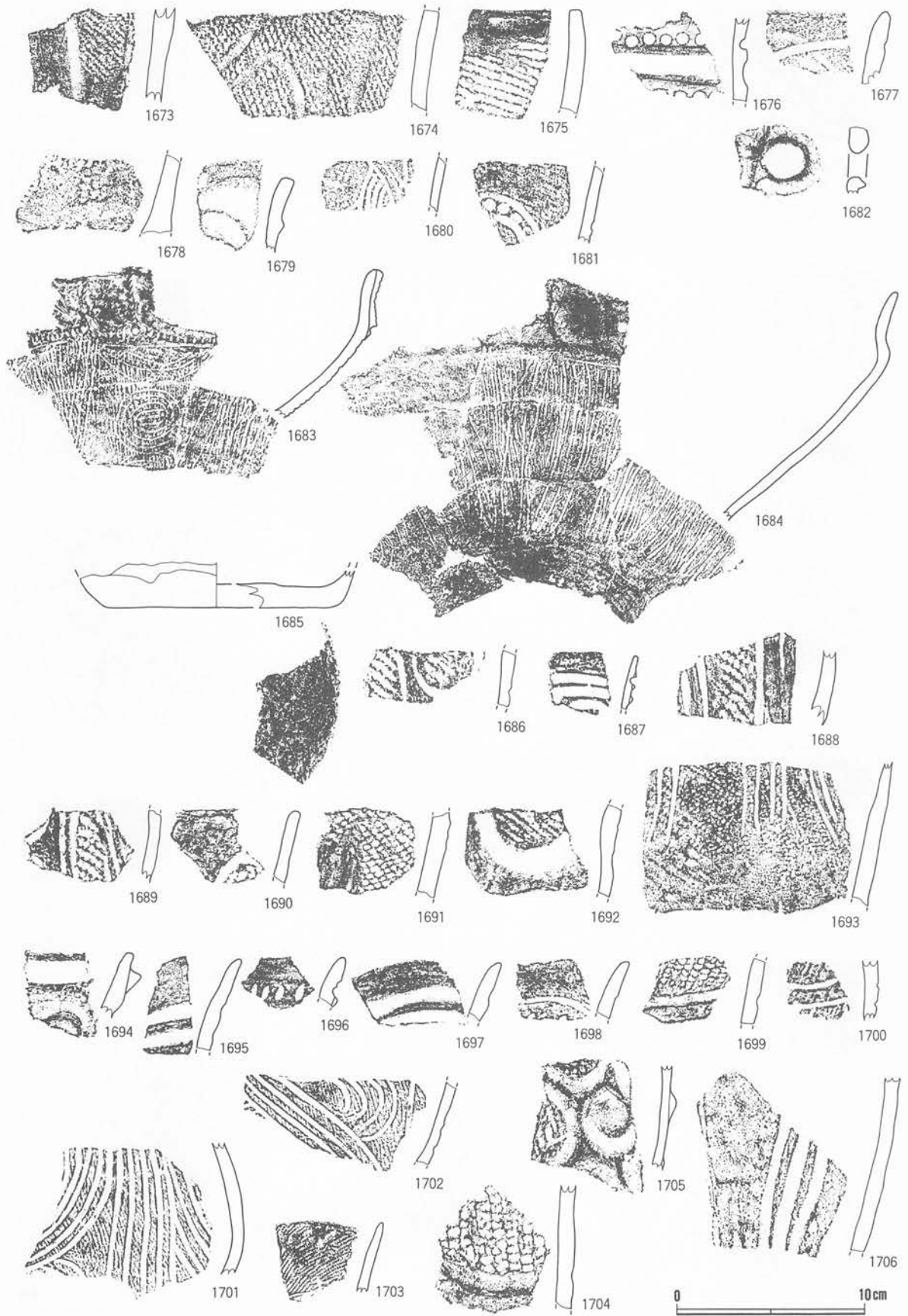


第216図 出土遺物 土器拓本(50)



第217图 出土遺物 土器拓本(51)

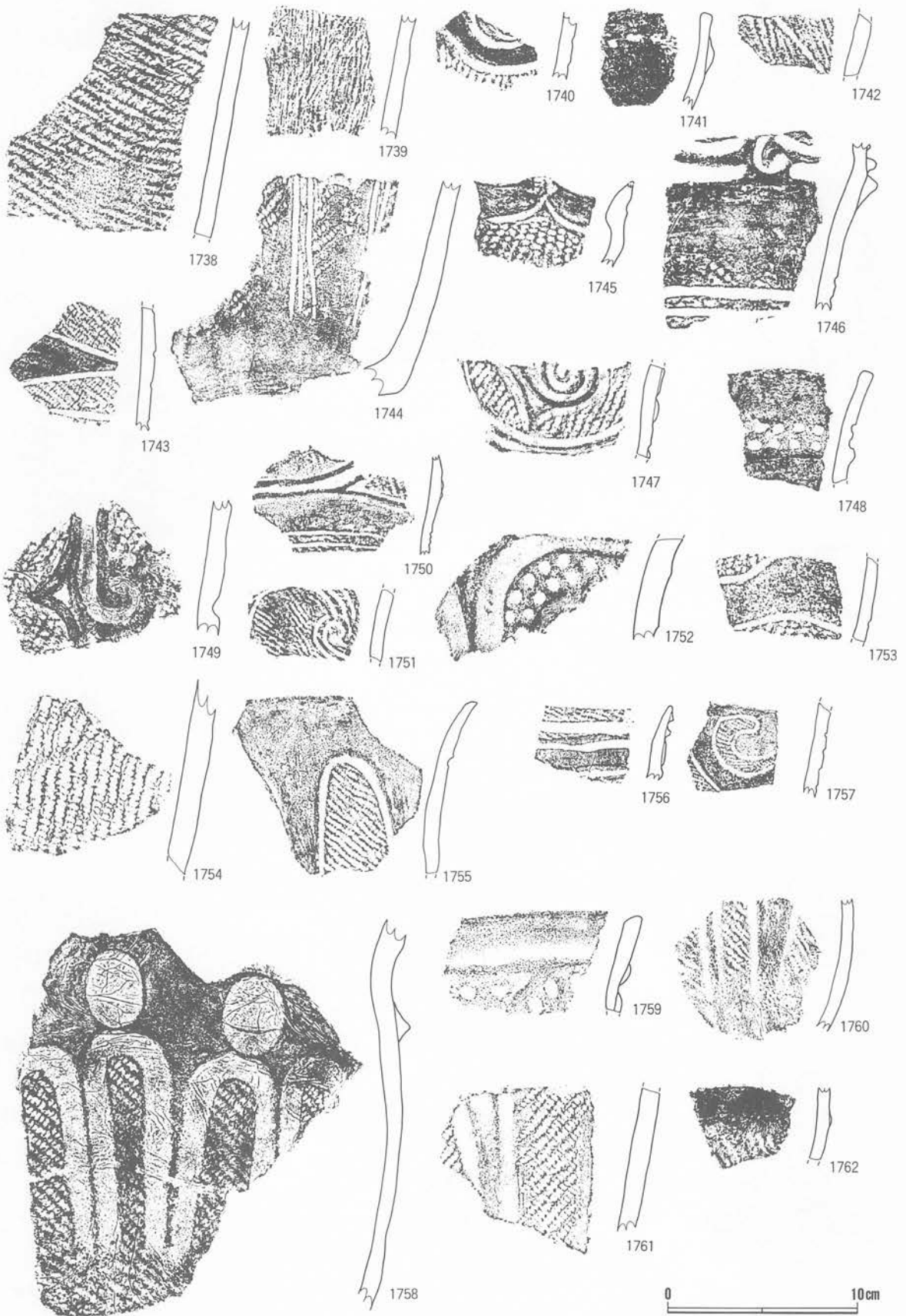




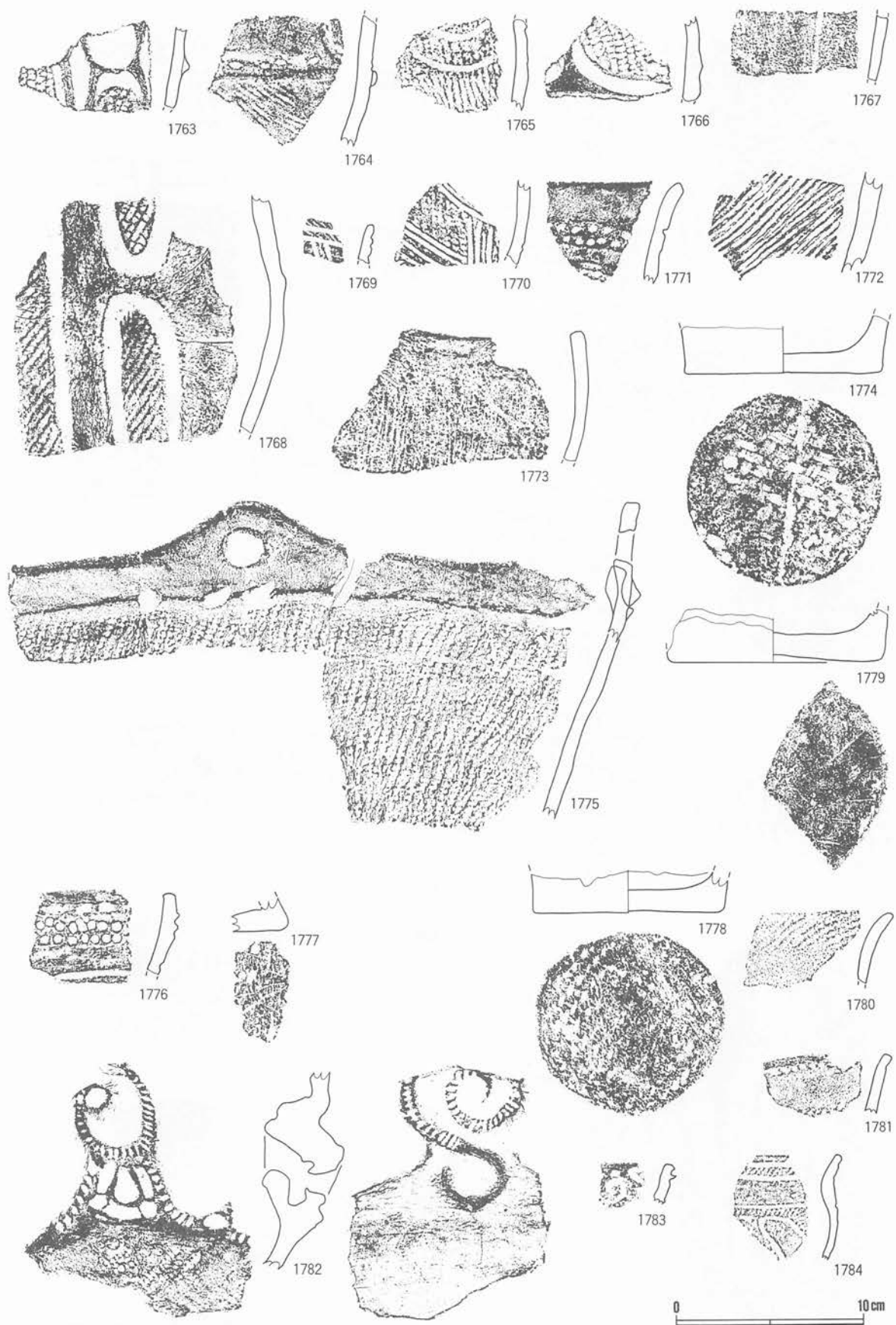
第218図 出土遺物 土器拓本(52)



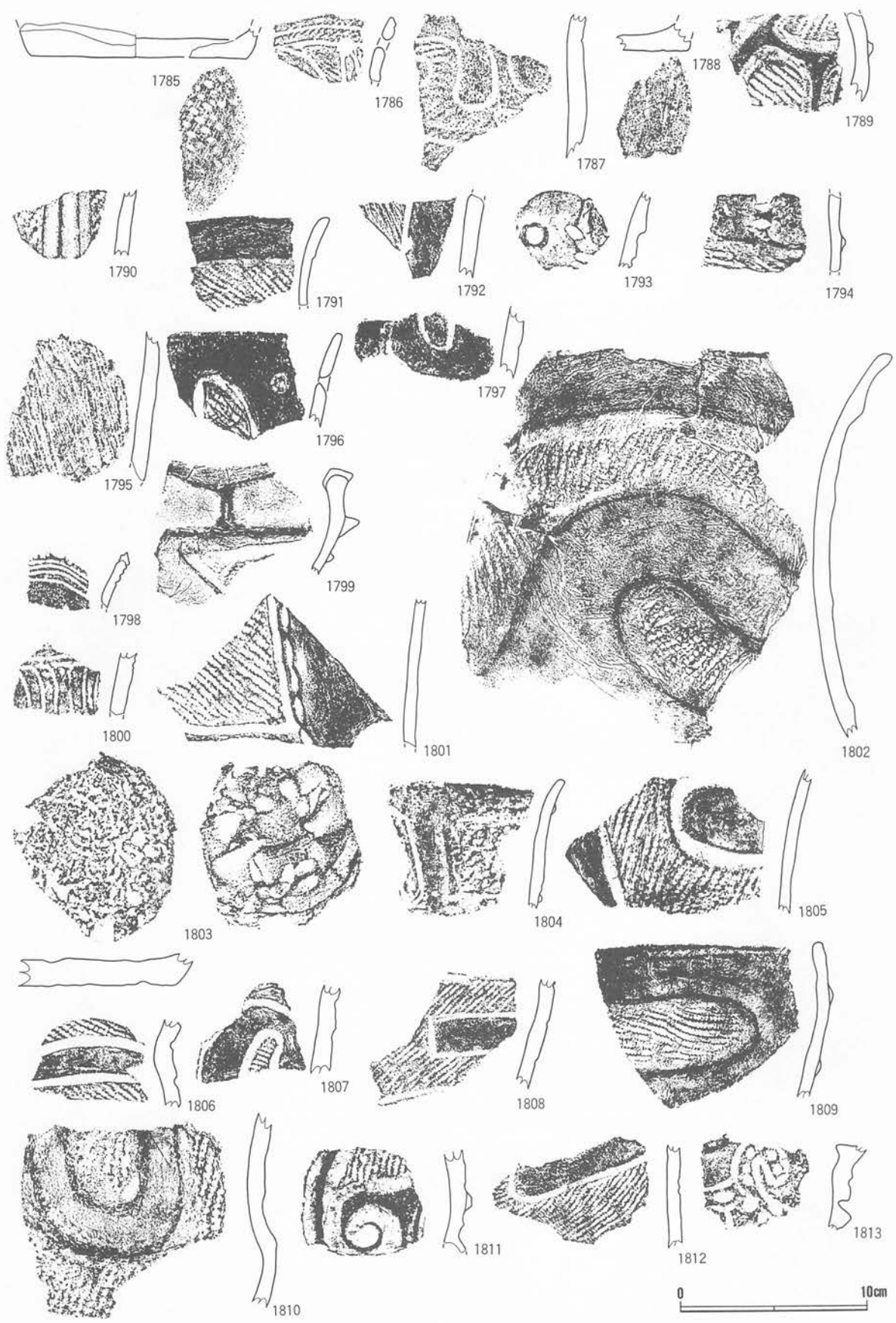
第219図 出土遺物 土器拓本(53)



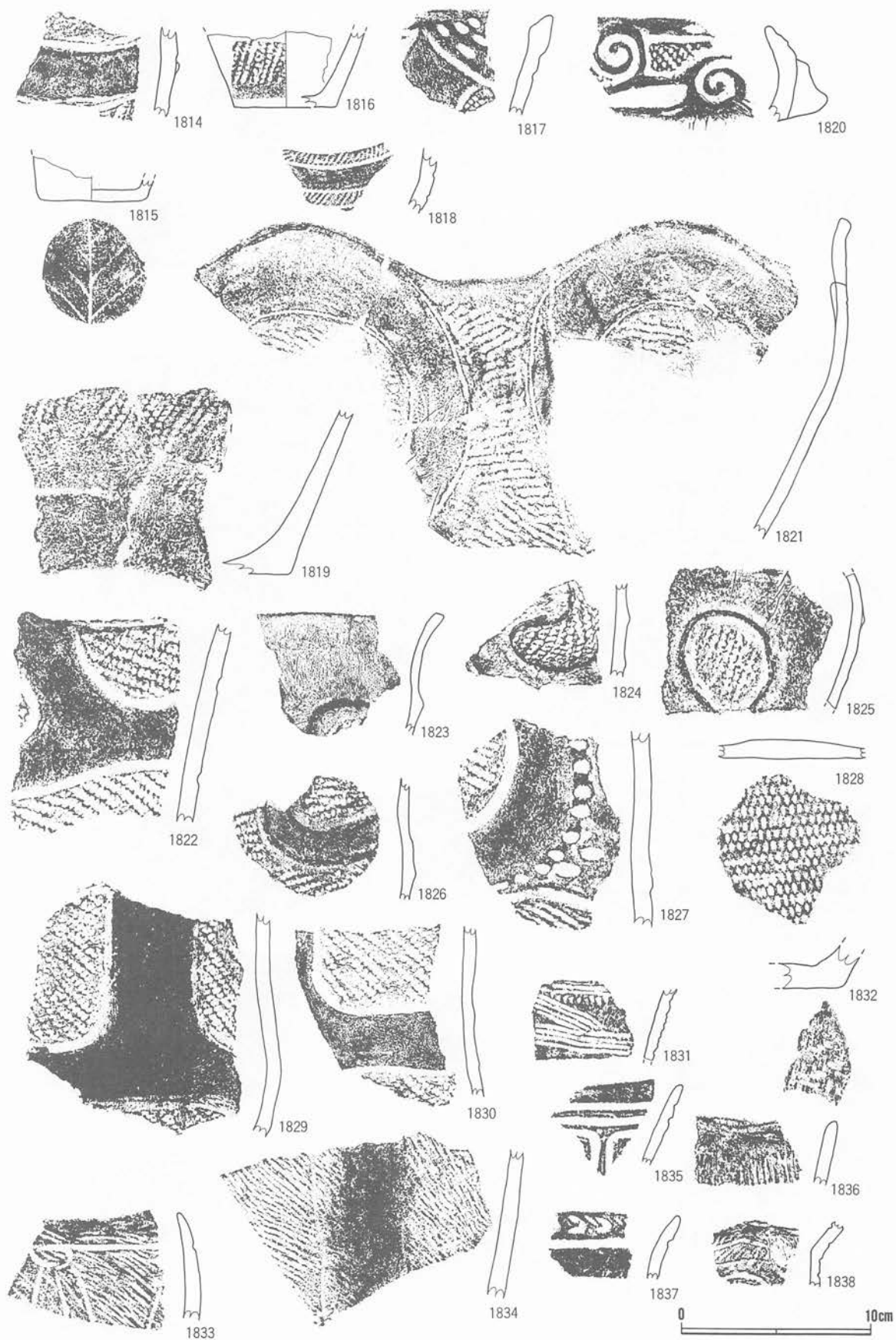
第220図 出土遺物 土器拓本(54)



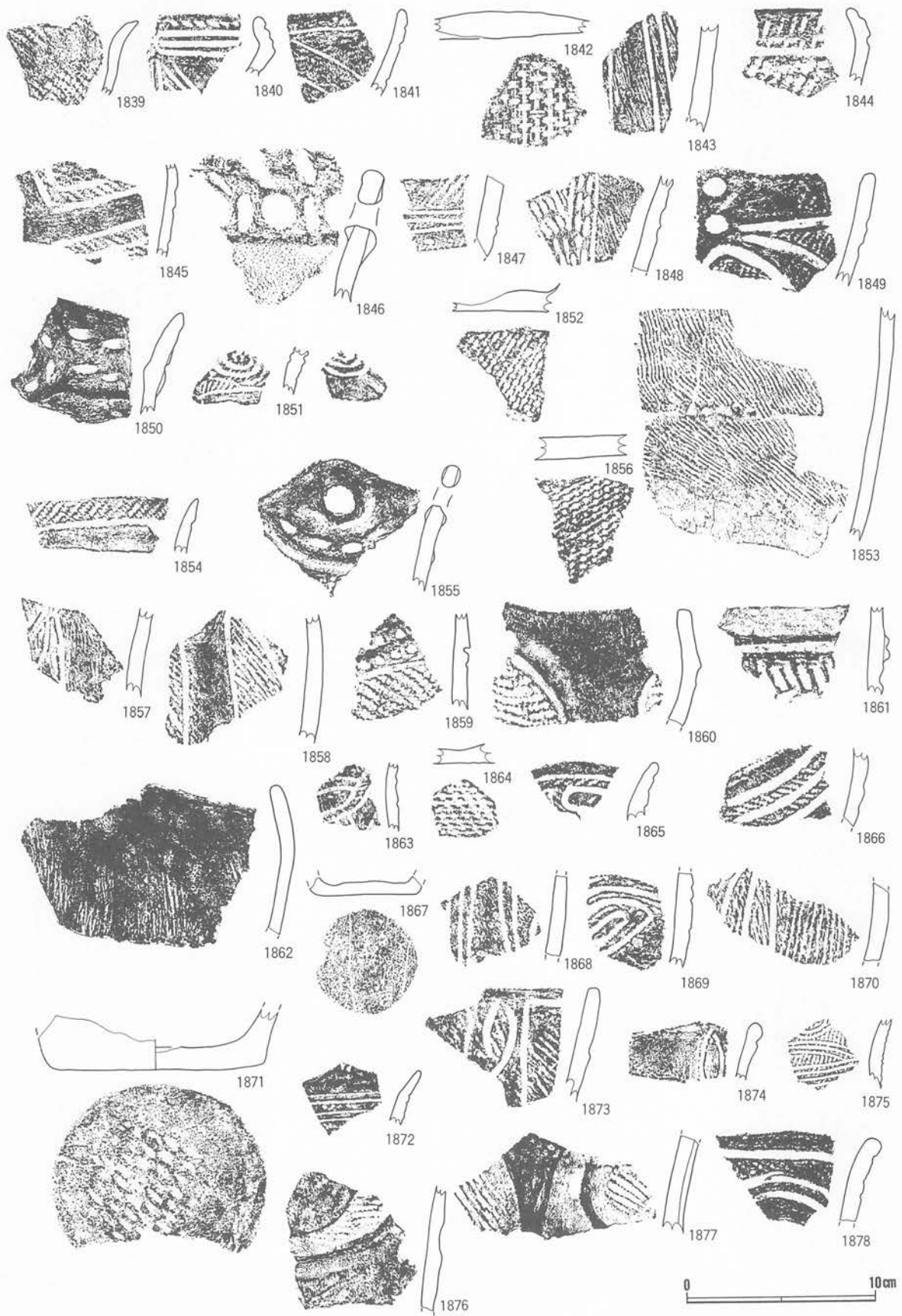
第221图 出土遺物 土器拓本(55)



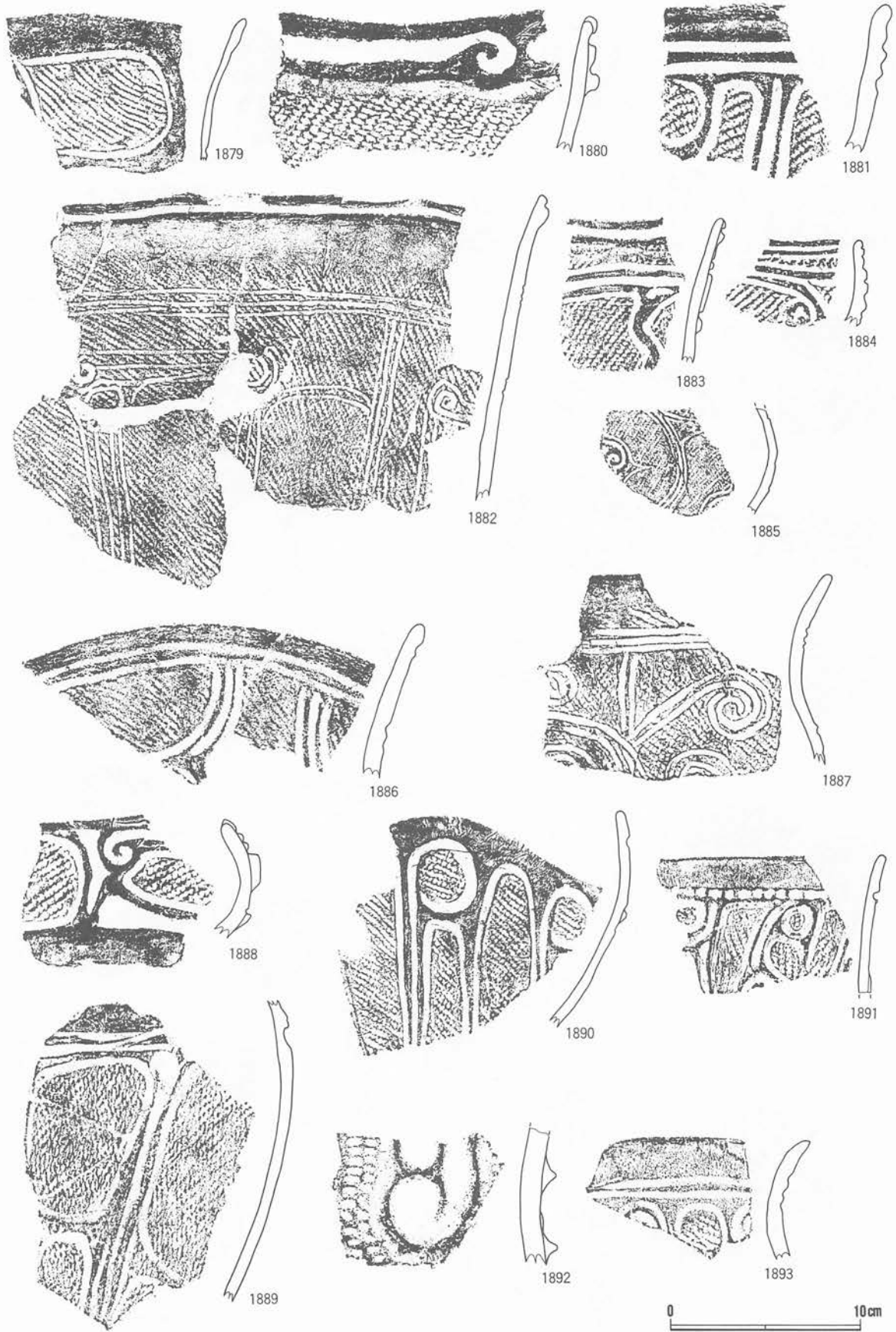
第222図 出土遺物 土器拓本(56)



第223图 出土遺物 土器拓本(57)

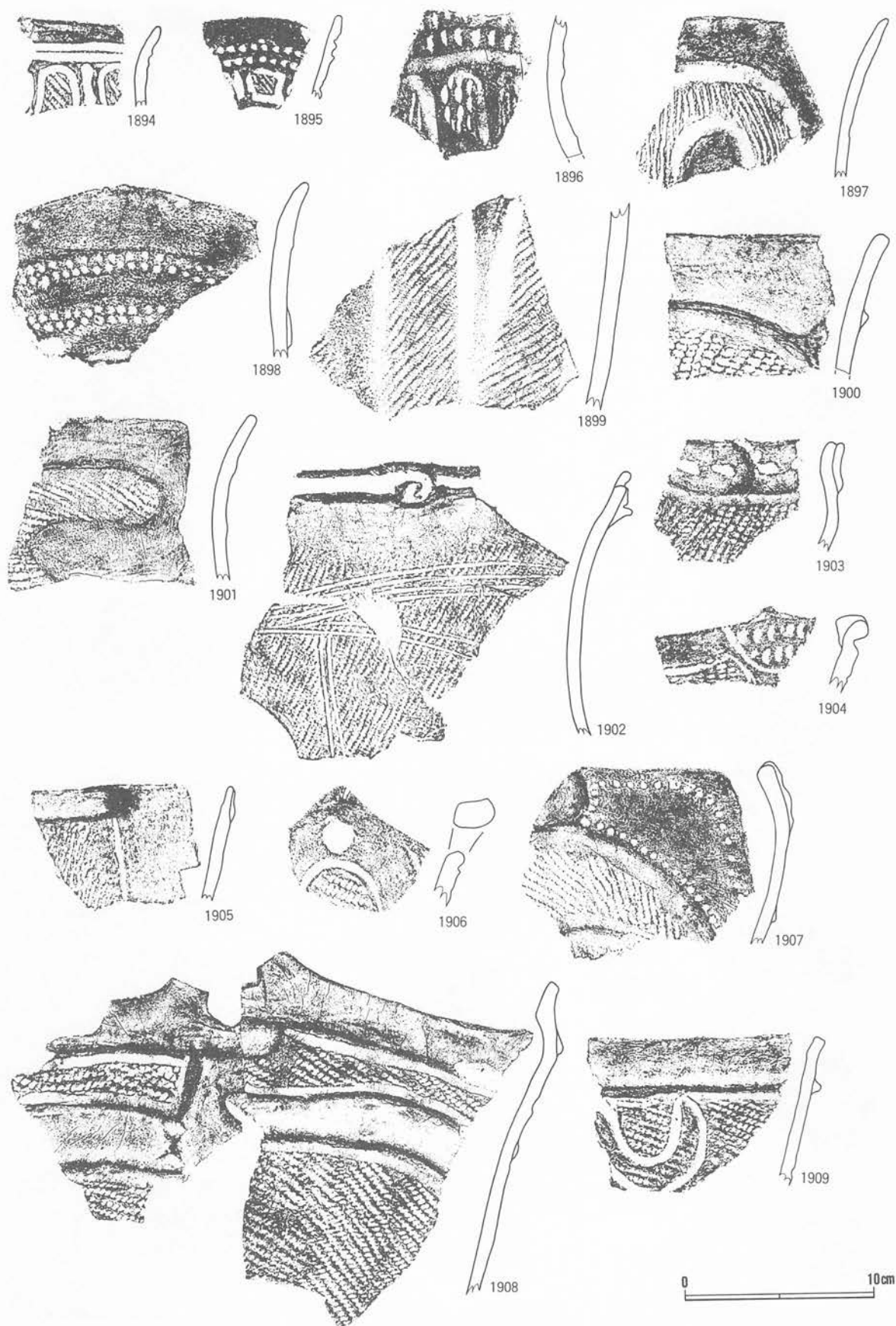


第224図 出土遺物 土器拓本(58)

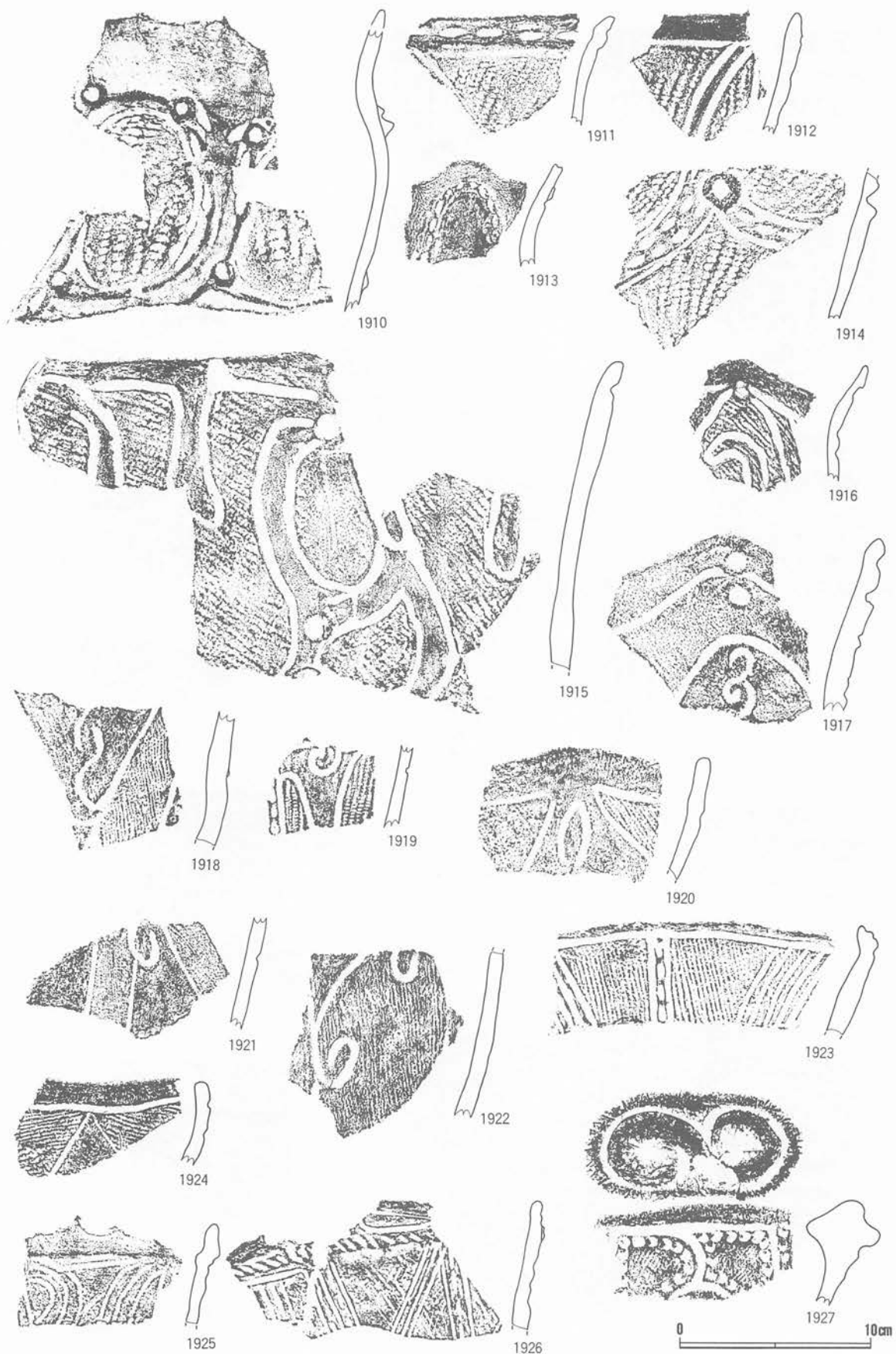


第225图 出土遺物 土器拓本(59)

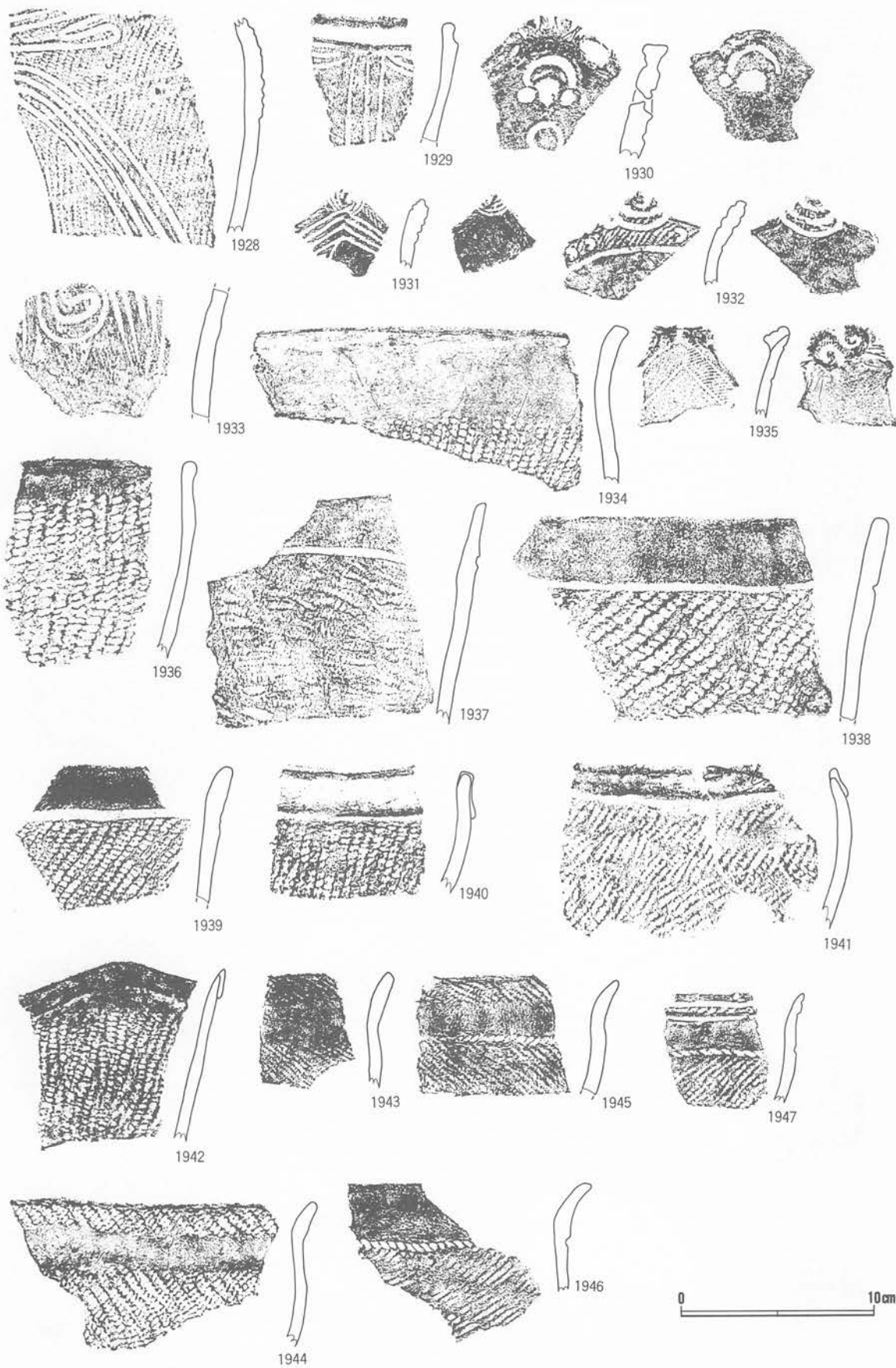




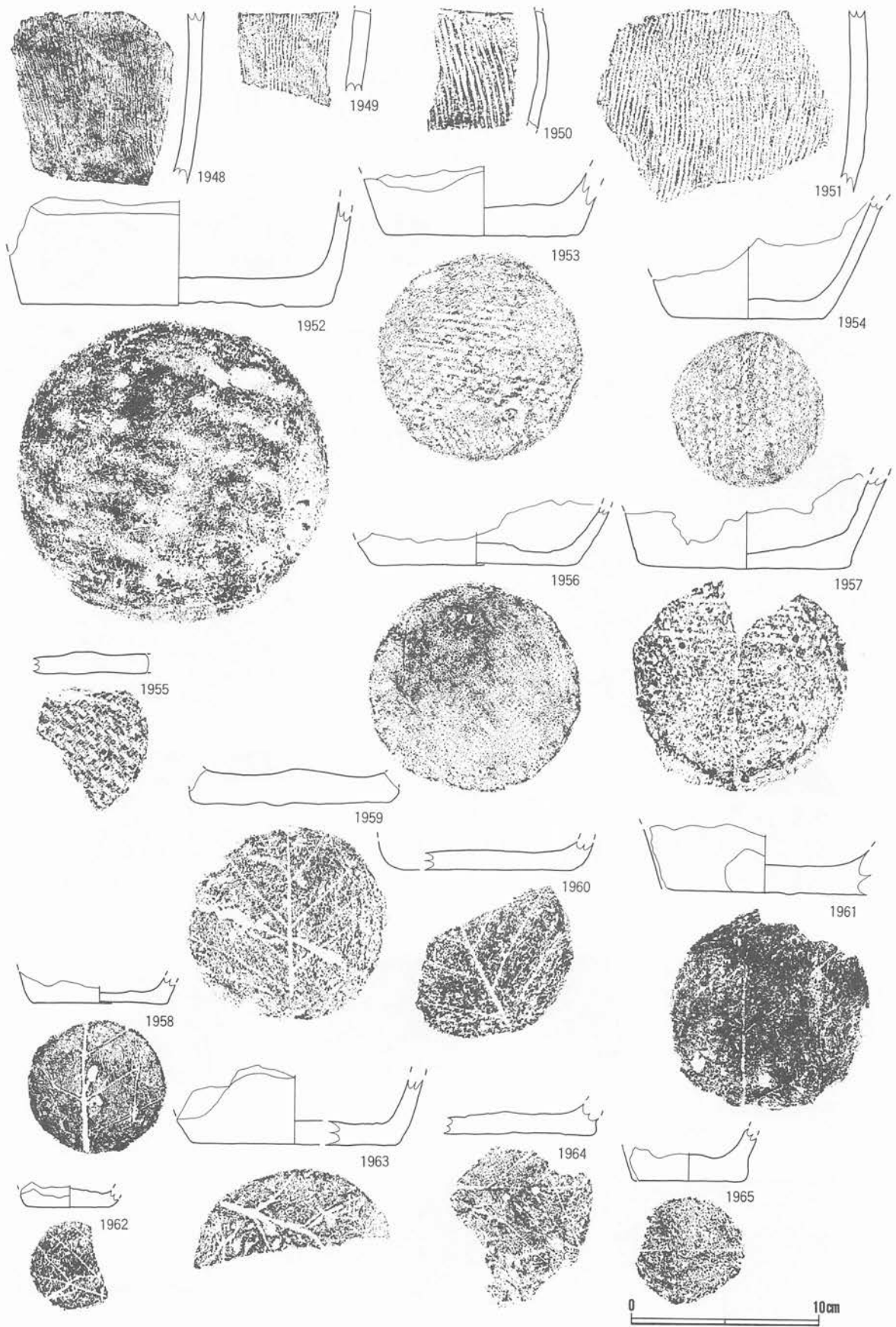
第226图 出土遺物 土器拓本(60)



第227图 出土遺物 土器拓本(61)



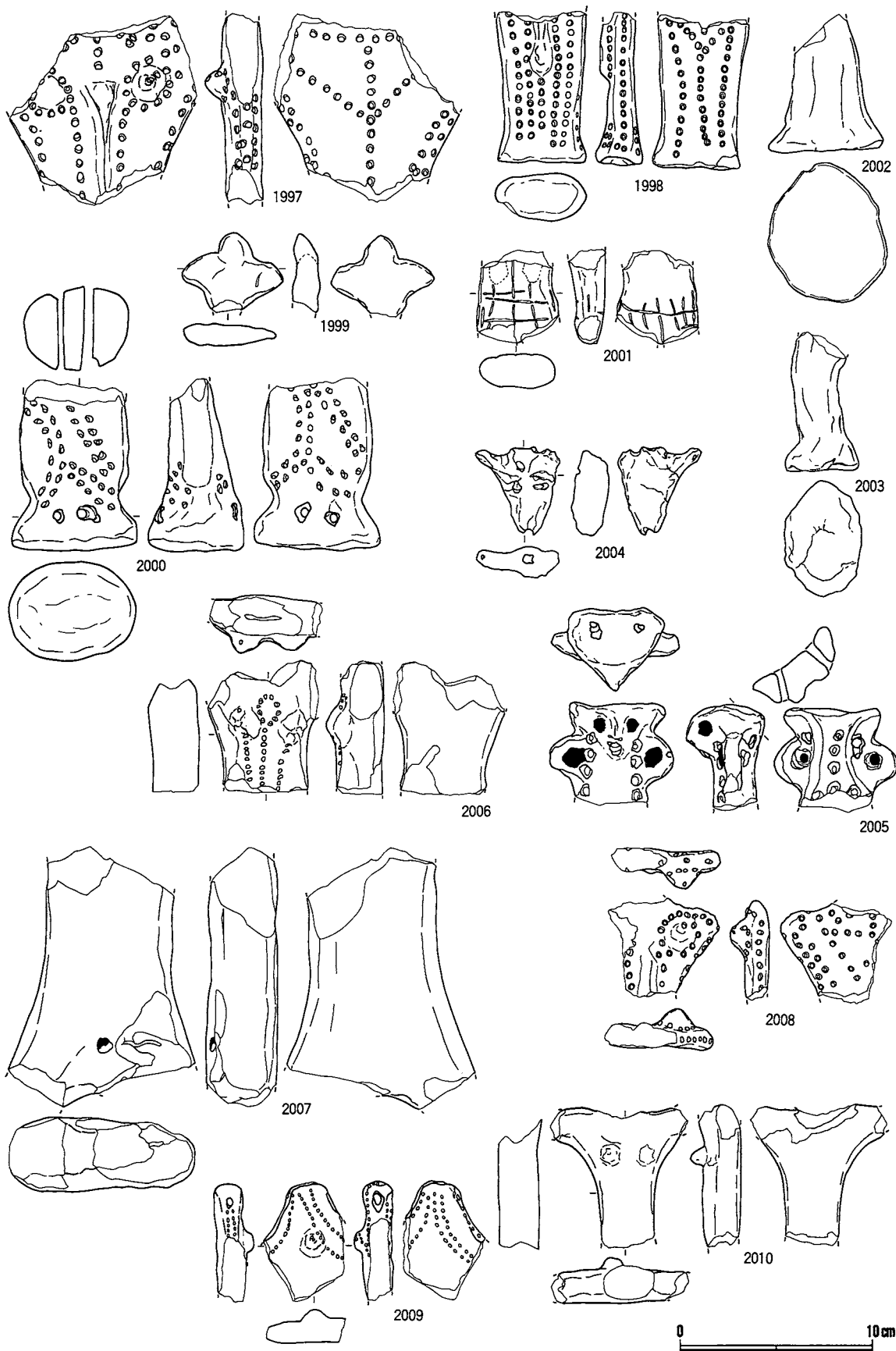
第228図 出土遺物 土器拓本(62)



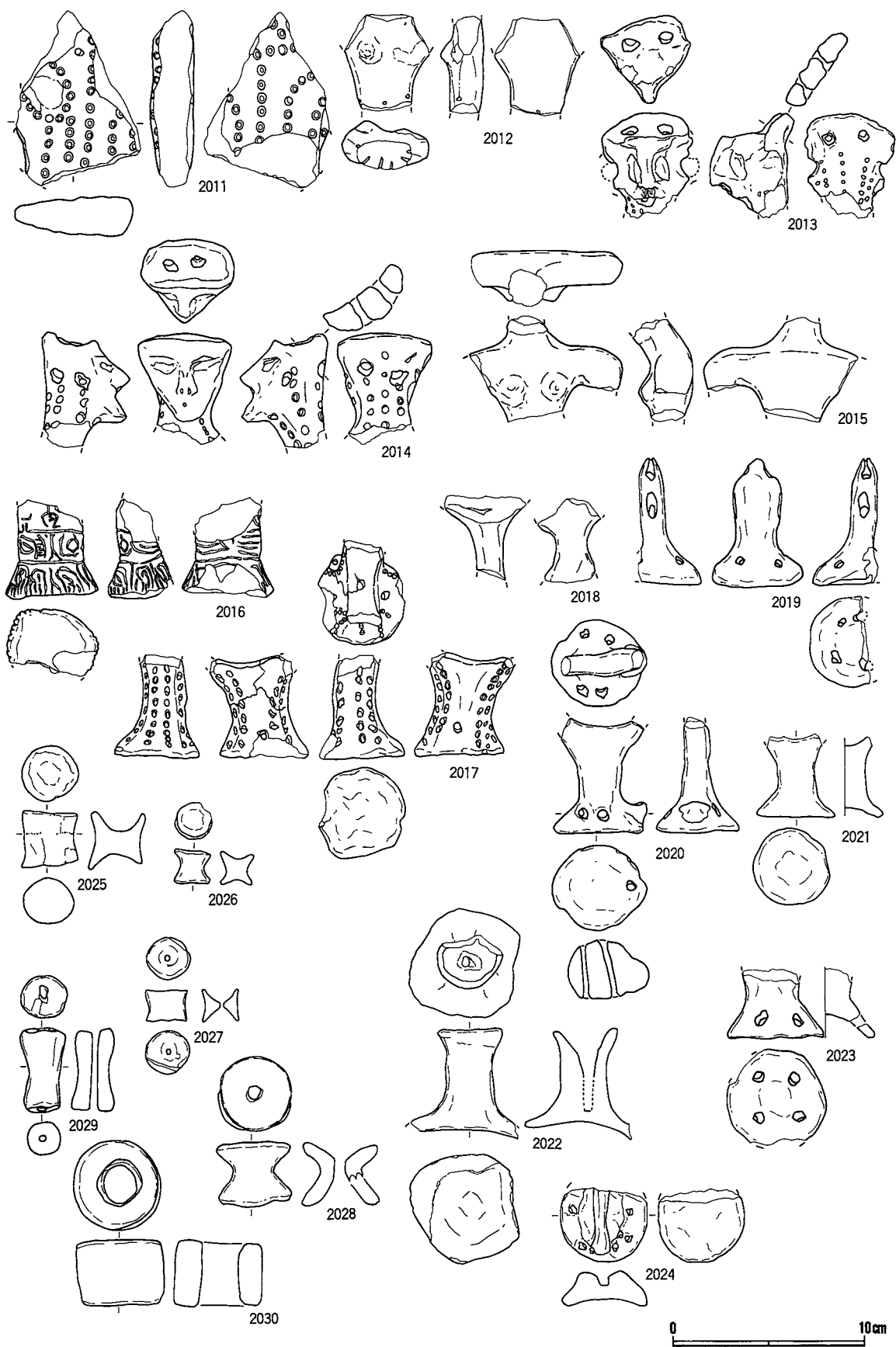
第229図 出土遺物 土器拓本(63)



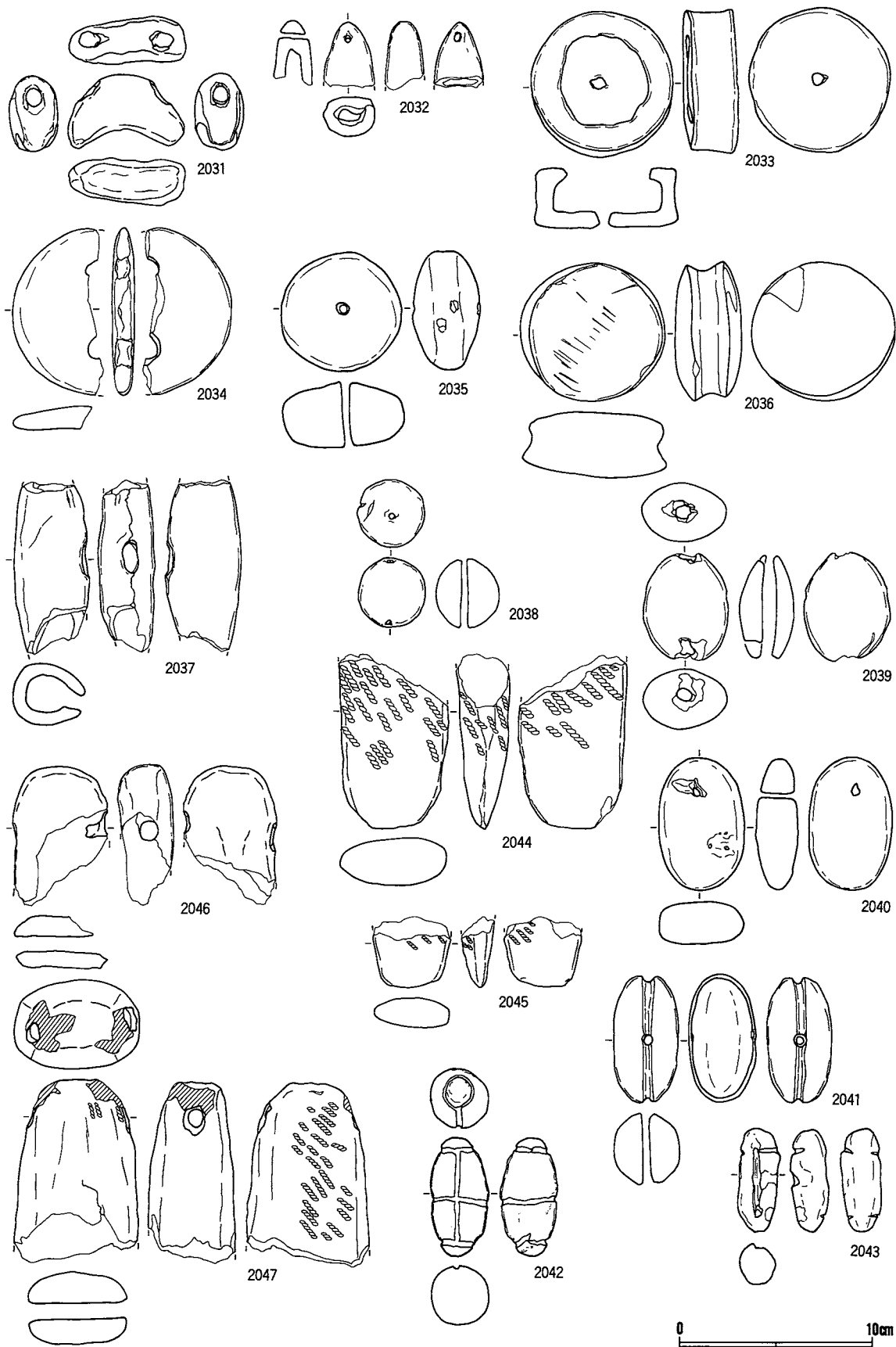
第230图 出土遺物 土製品実測図(1)



第231图 出土遗物 土製品実測図(2)

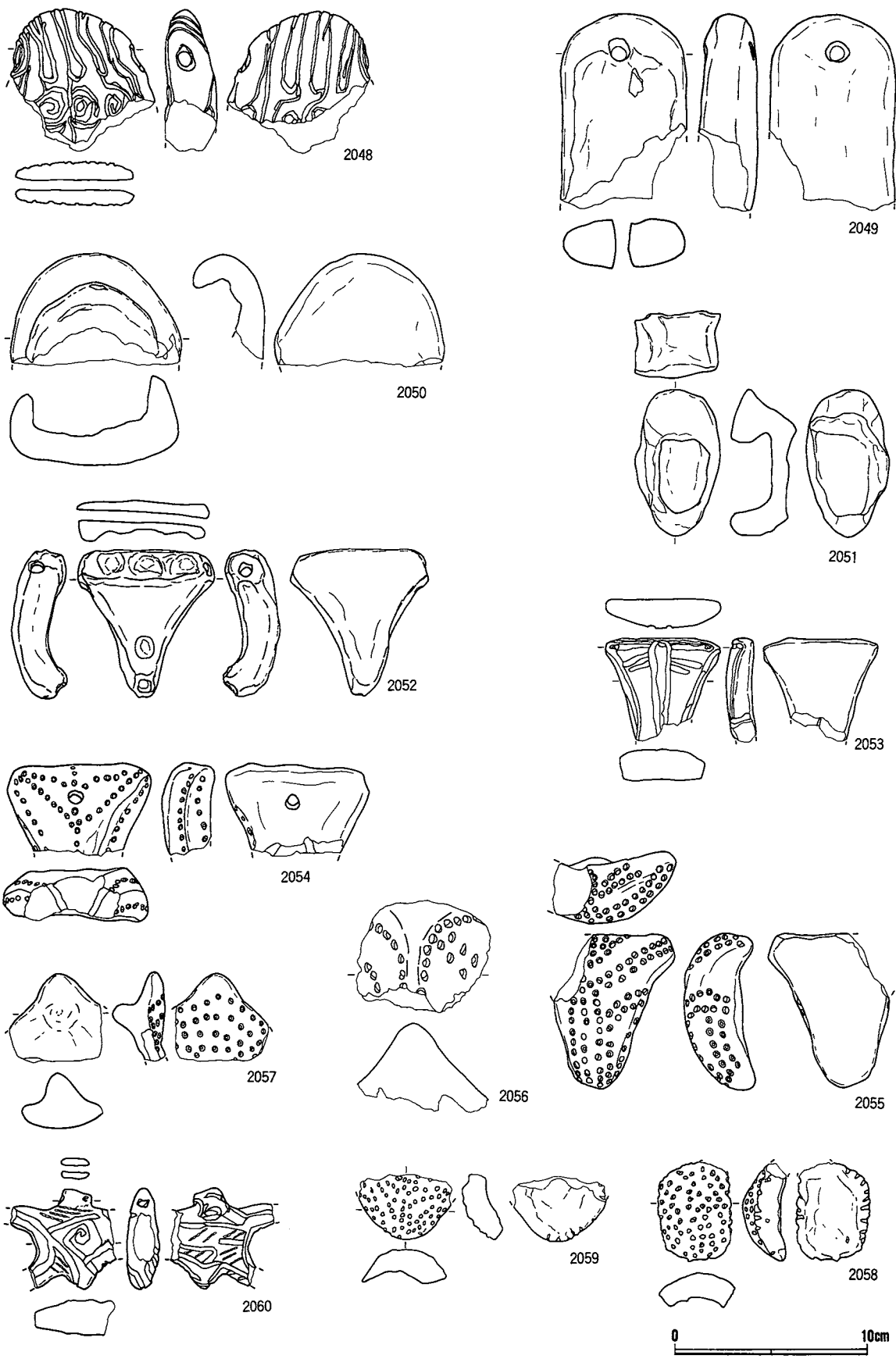


第232図 出土遺物 土製品実測図(3)

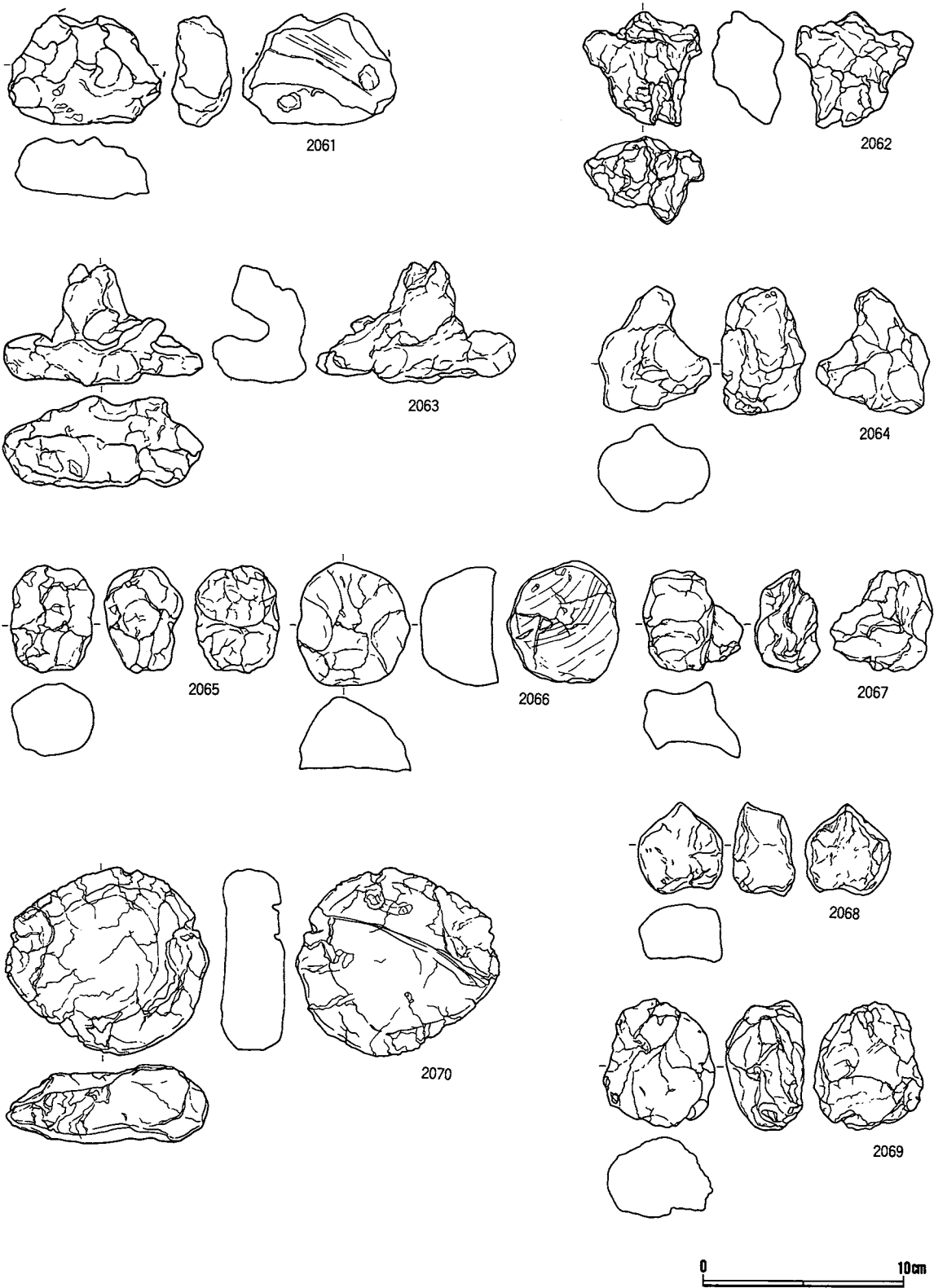


第233图 出土遗物 土製品実測图(4)

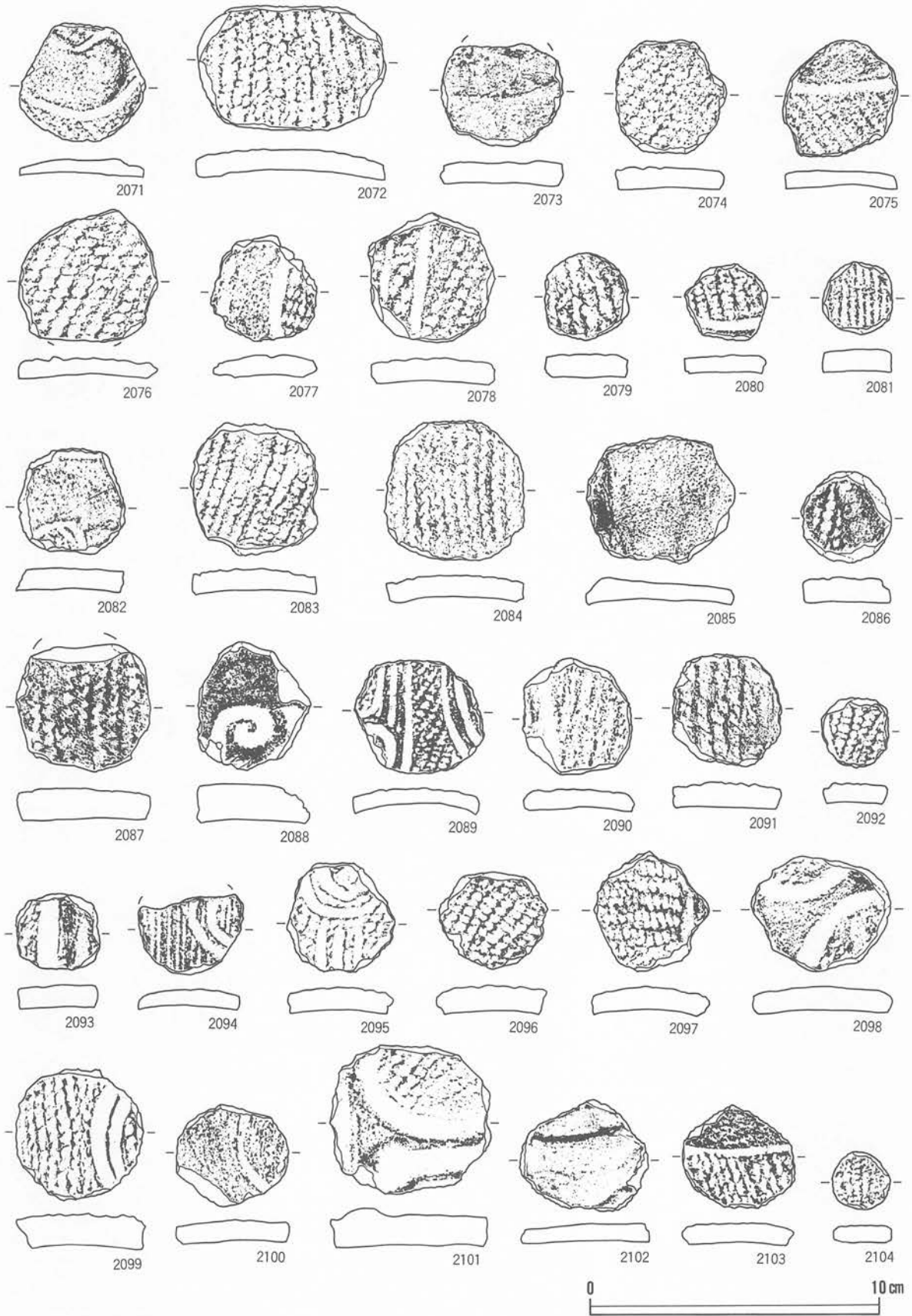




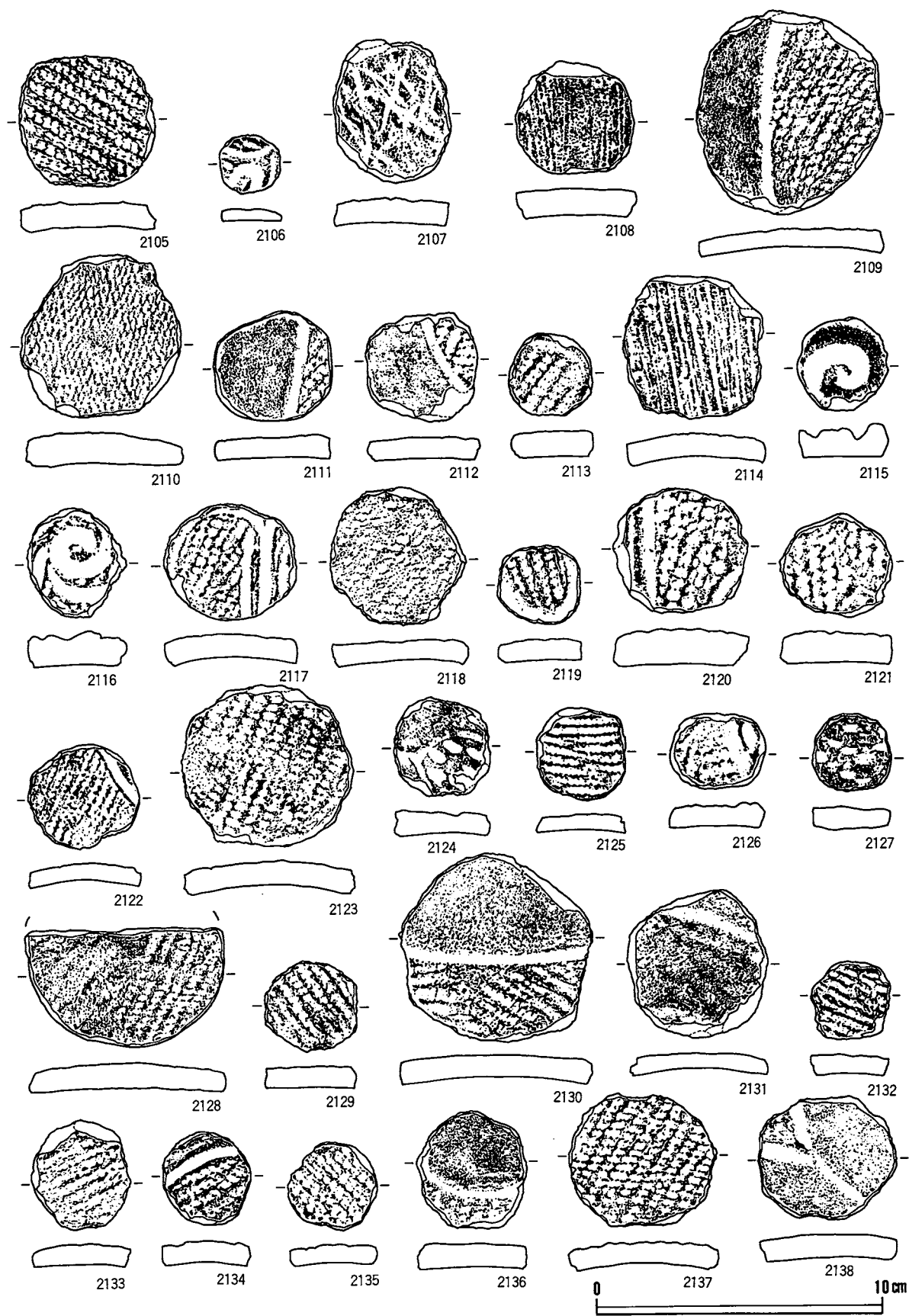
第234图 出土遗物 土製品実測図(5)



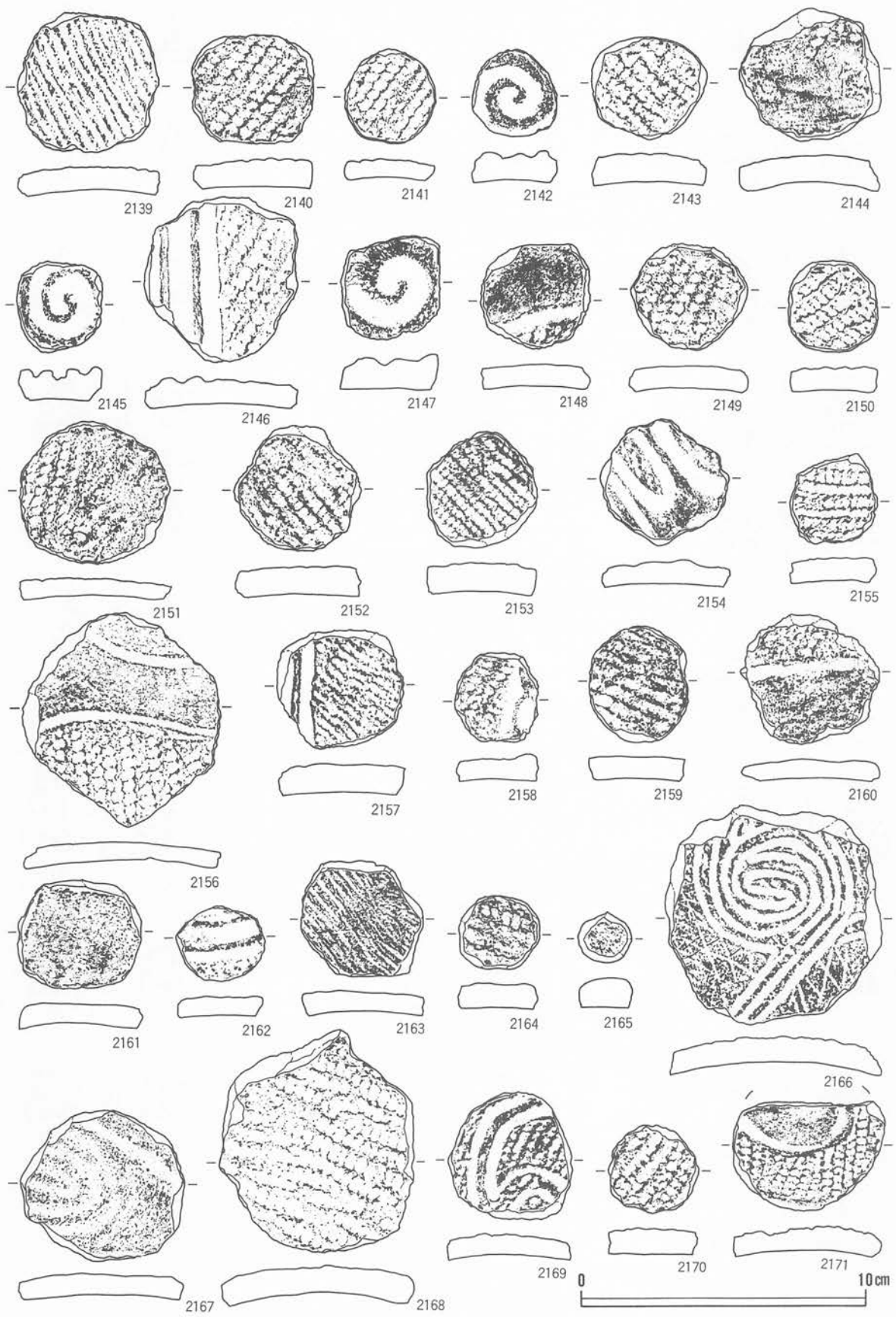
第235図 出土遺物 土製品実測図(6)



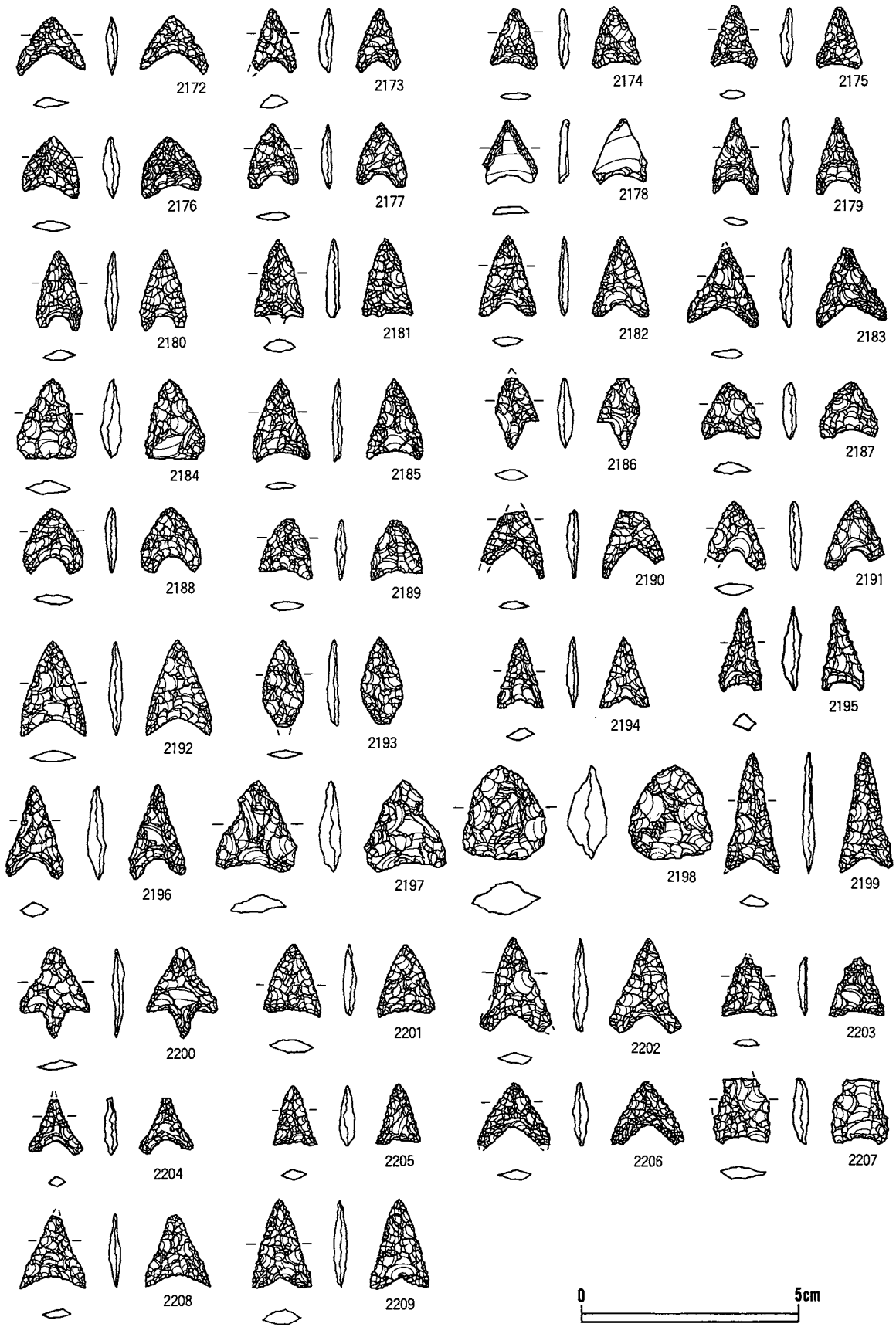
第236図 出土遺物 土製品実測図(7)



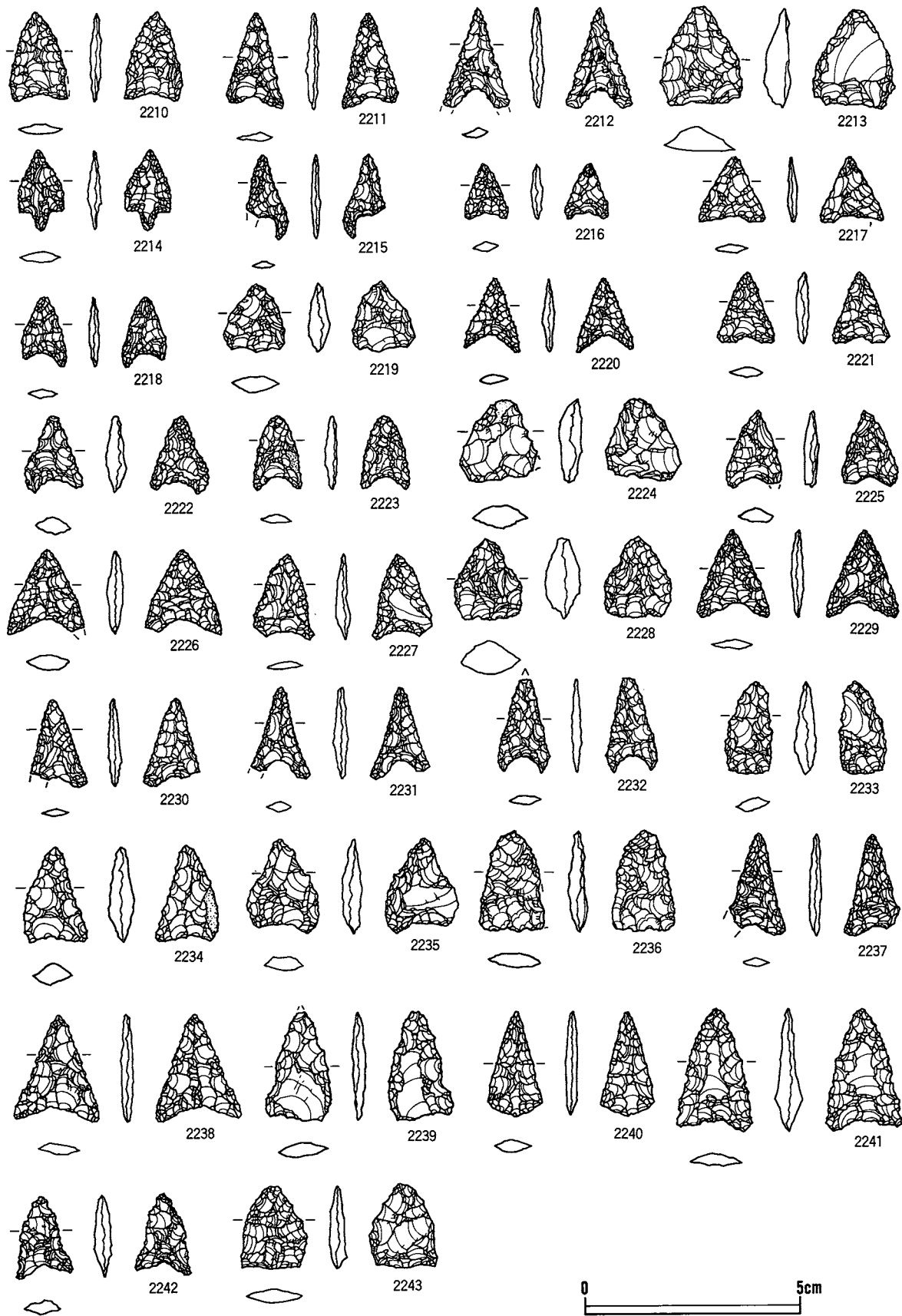
第237图 出土遺物 土製品実測図(8)



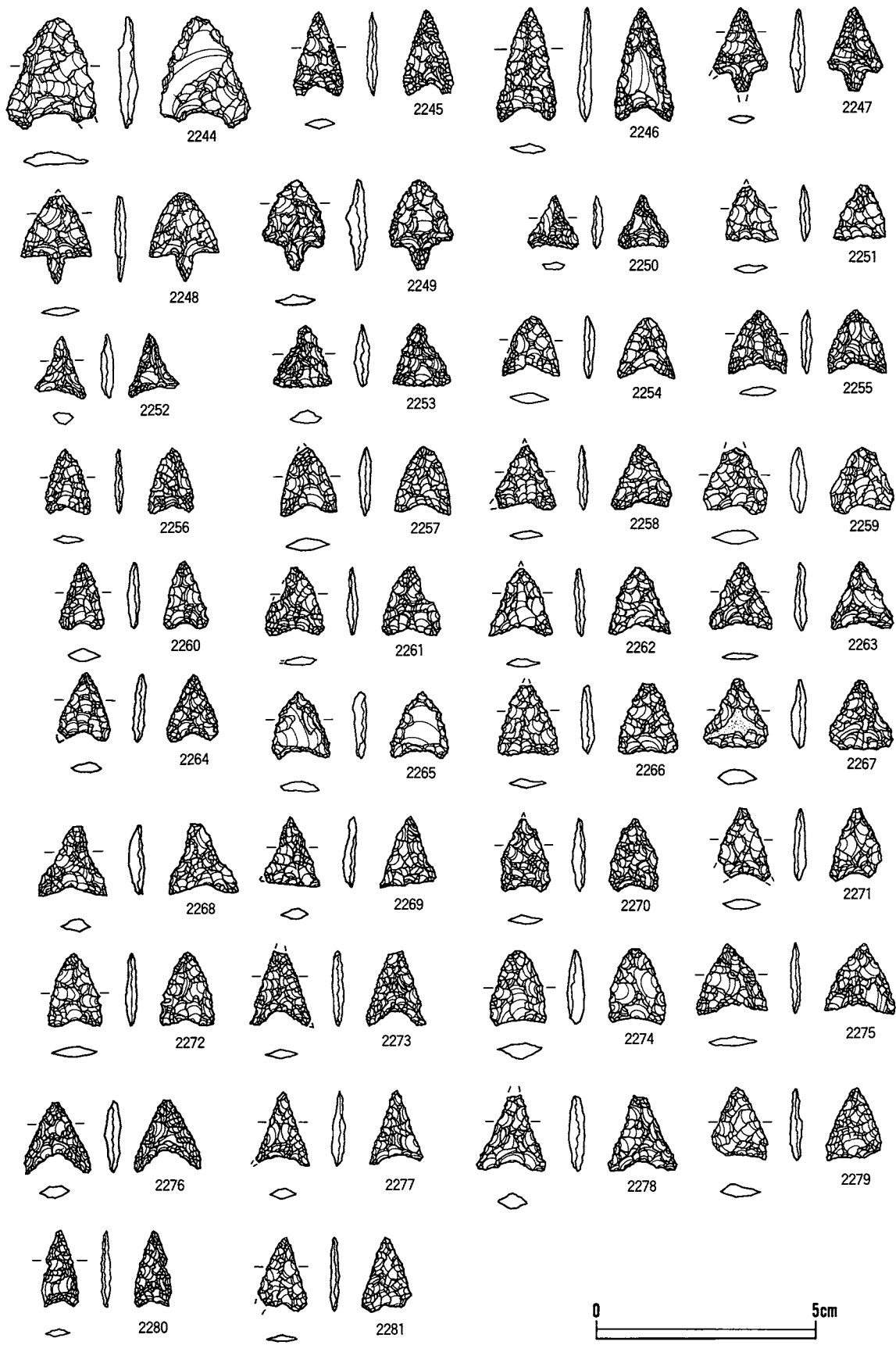
第238図 出土遺物 土製品実測図(9)



第239图 出土遗物 石器实测图(2)

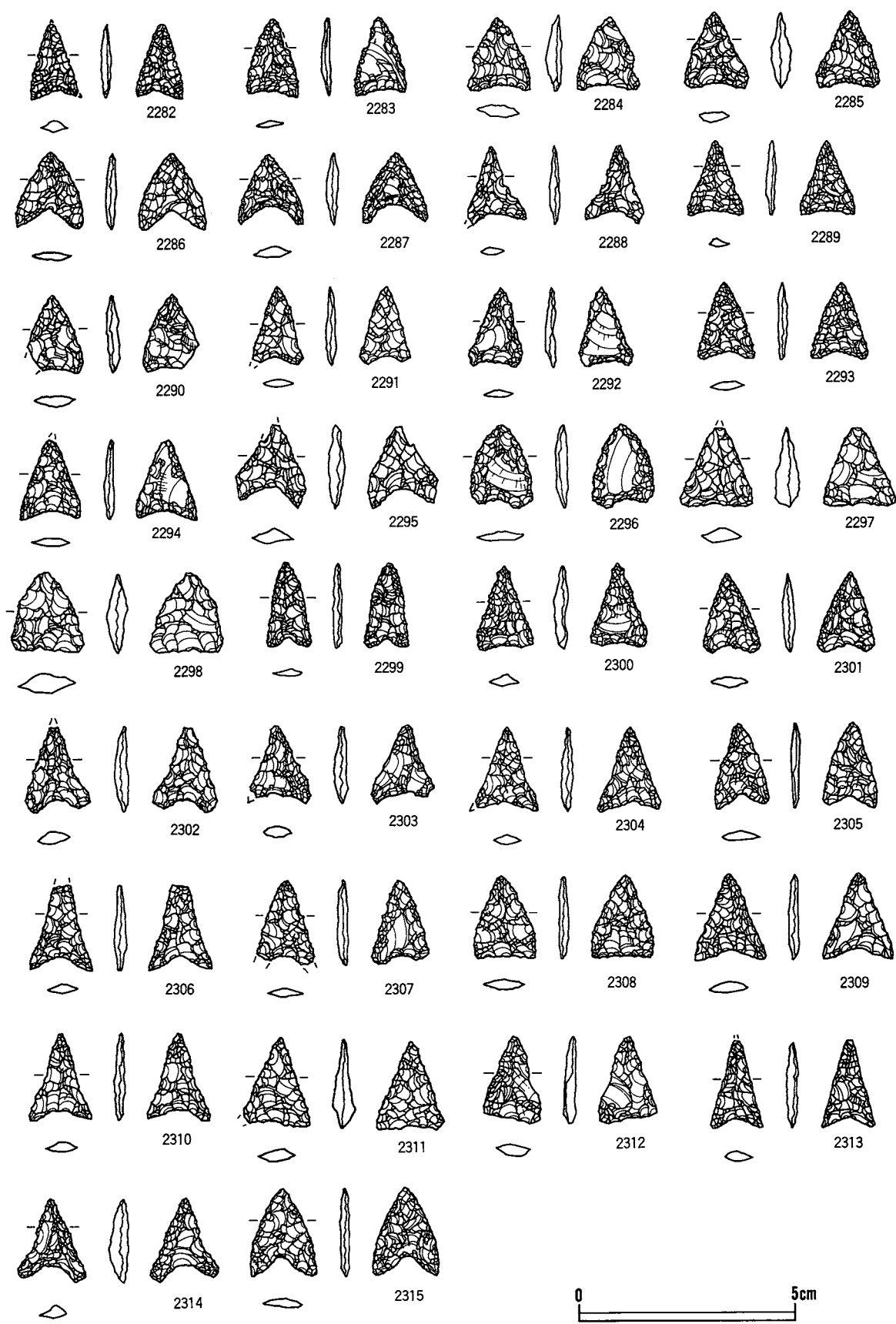


第240图 出土遗物 石器实测图(3)

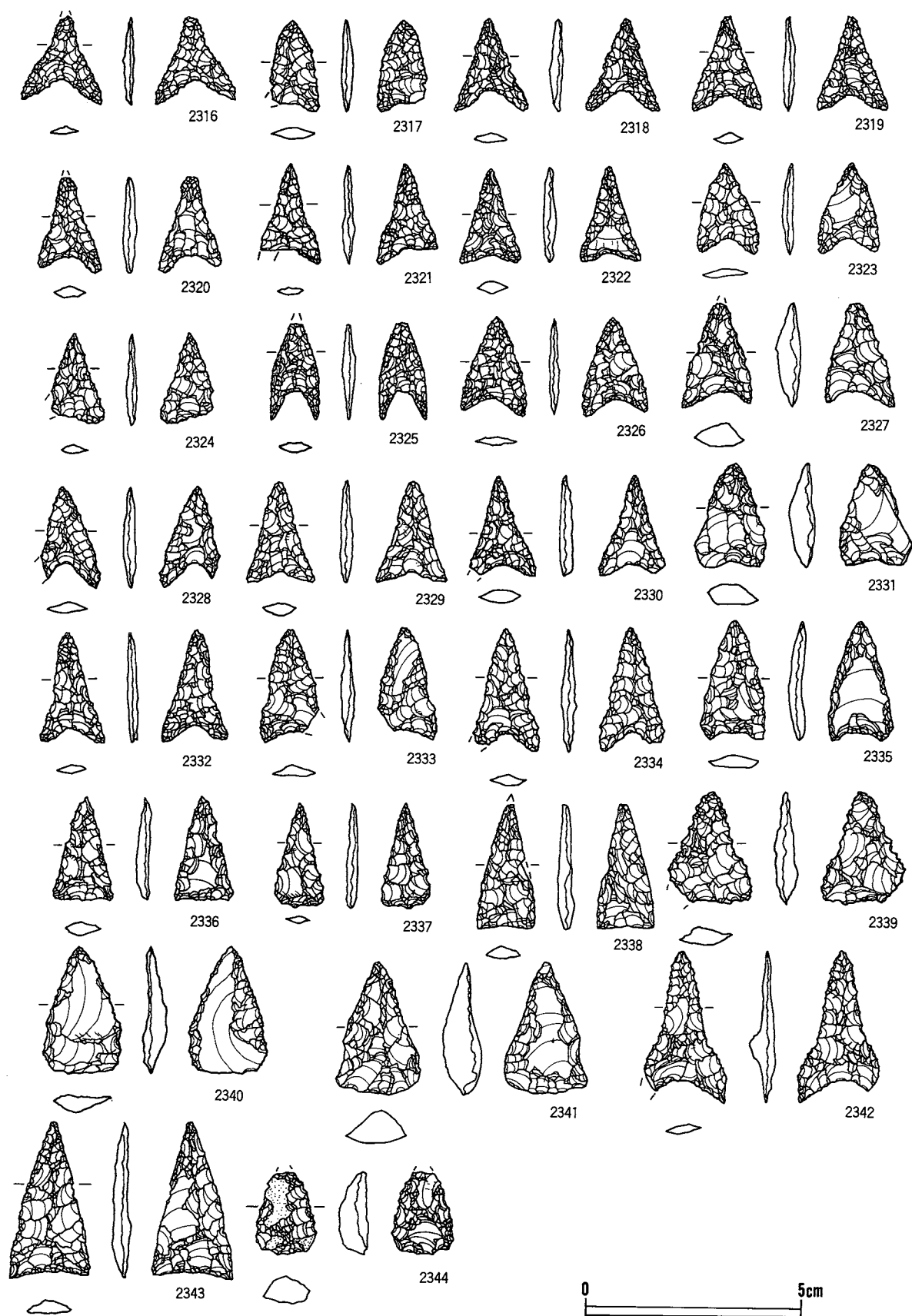


第241图 出土遗物 石器实测图(4)

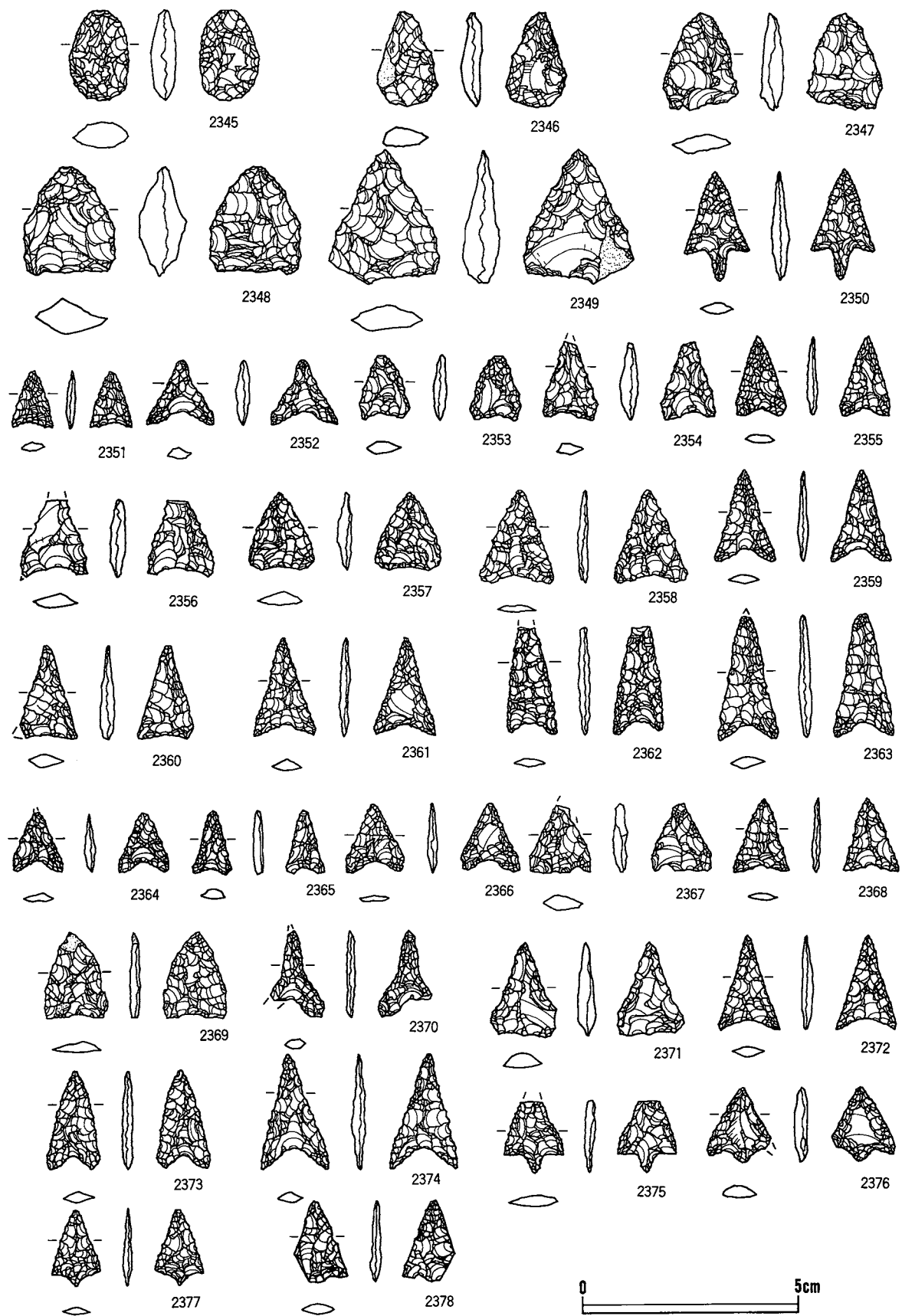




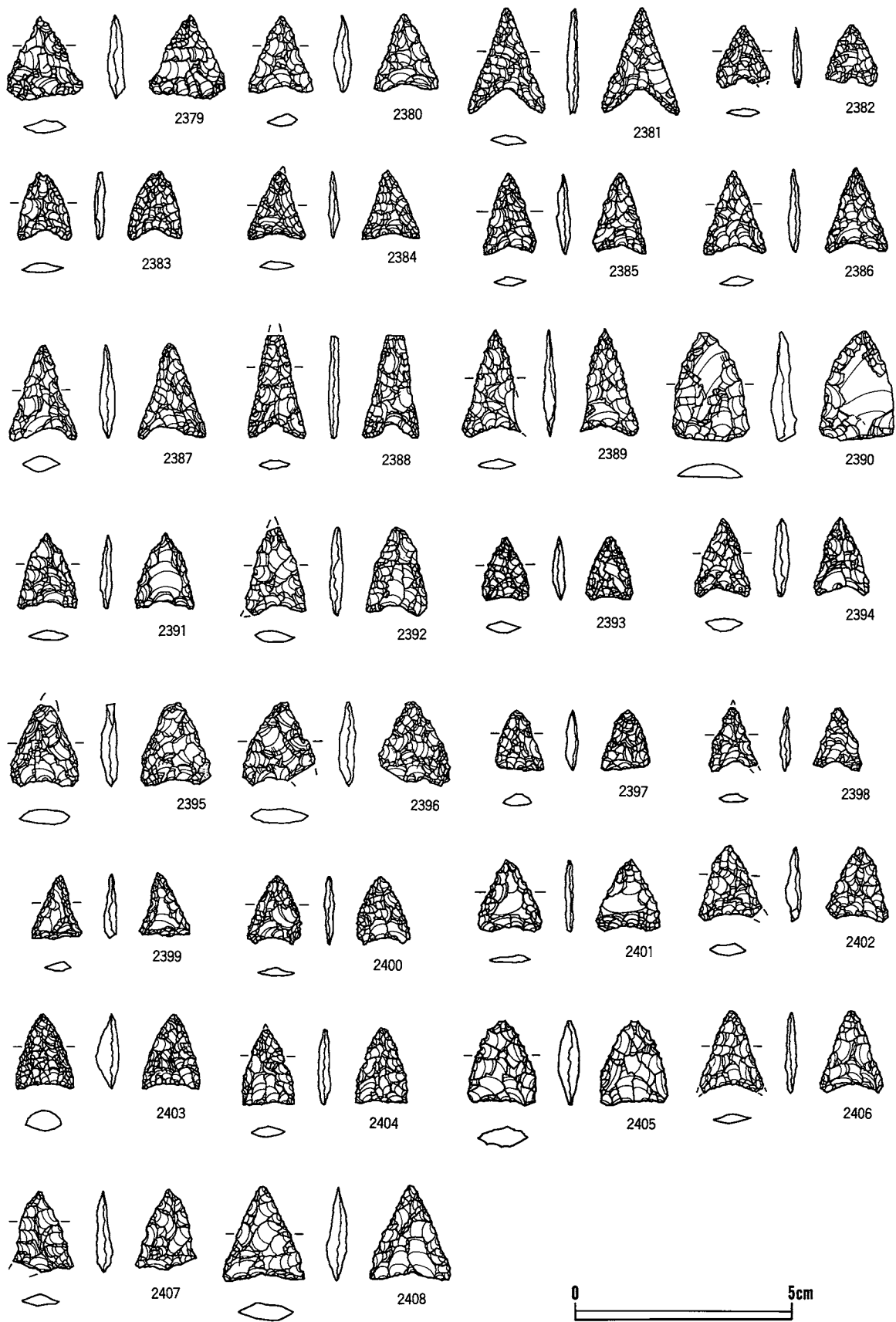
第242图 出土遺物 石器実測図(5)



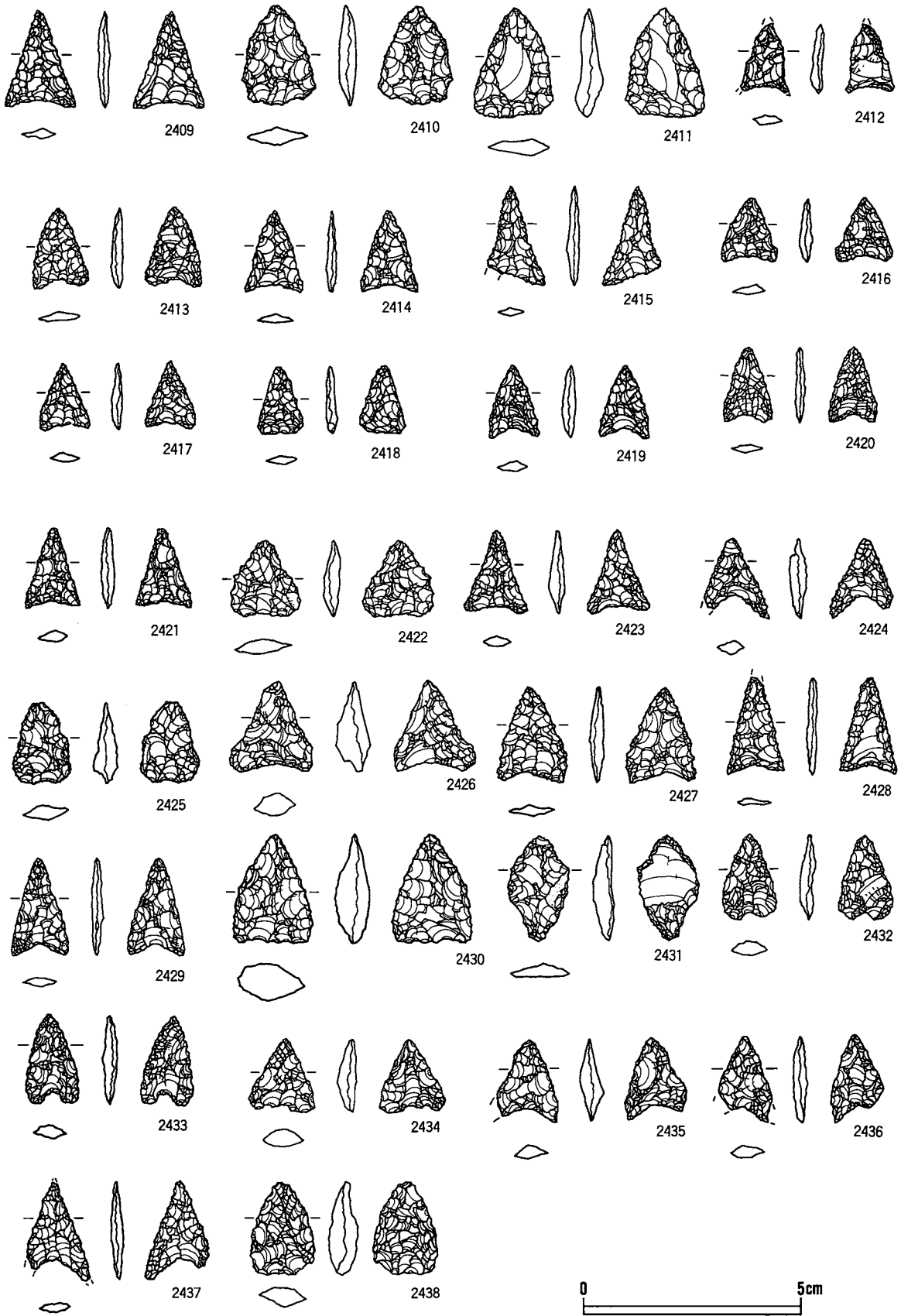
第243图 出土遺物 石器実測図(6)



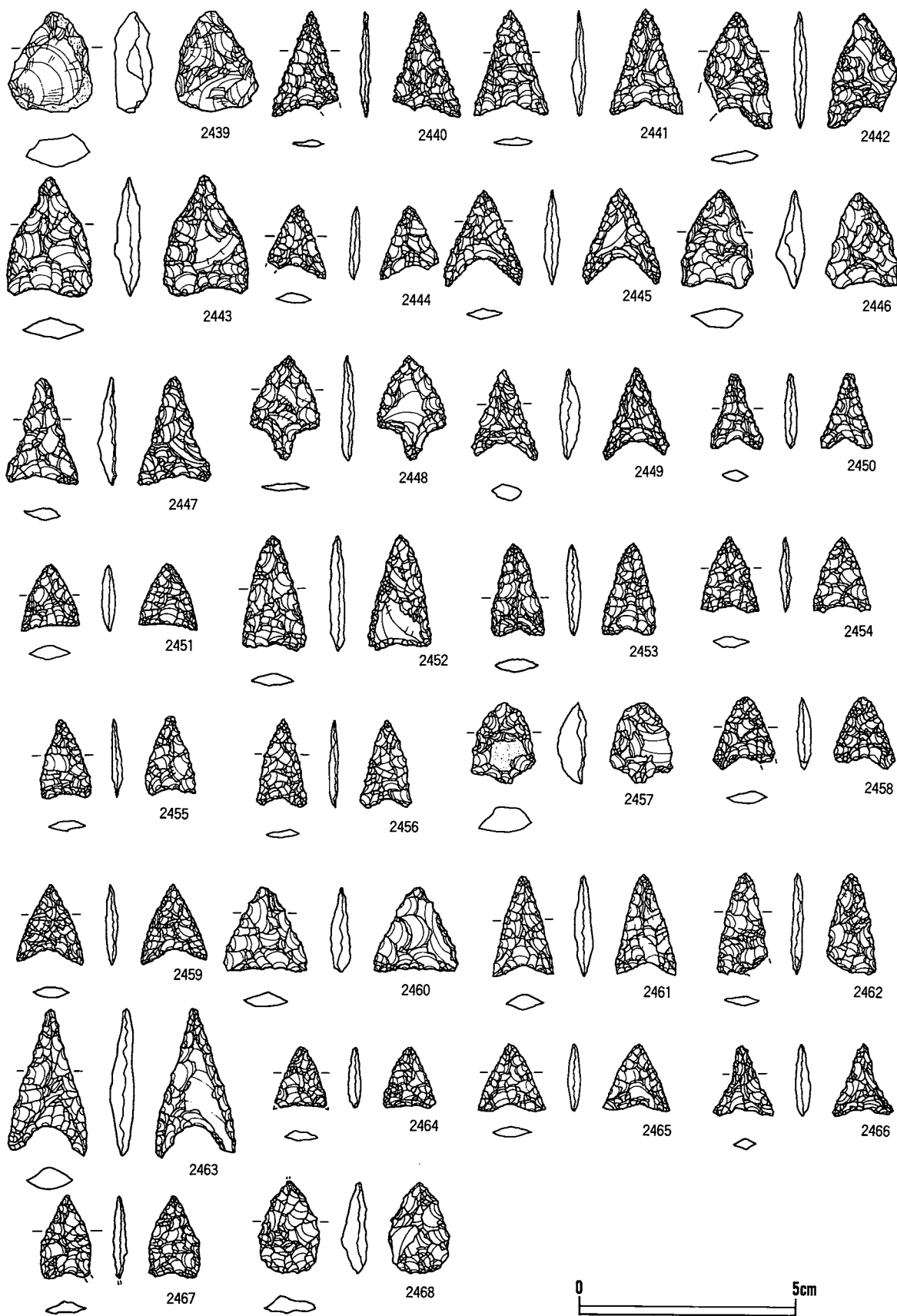
第244图 出土遗物 石器实测图(7)



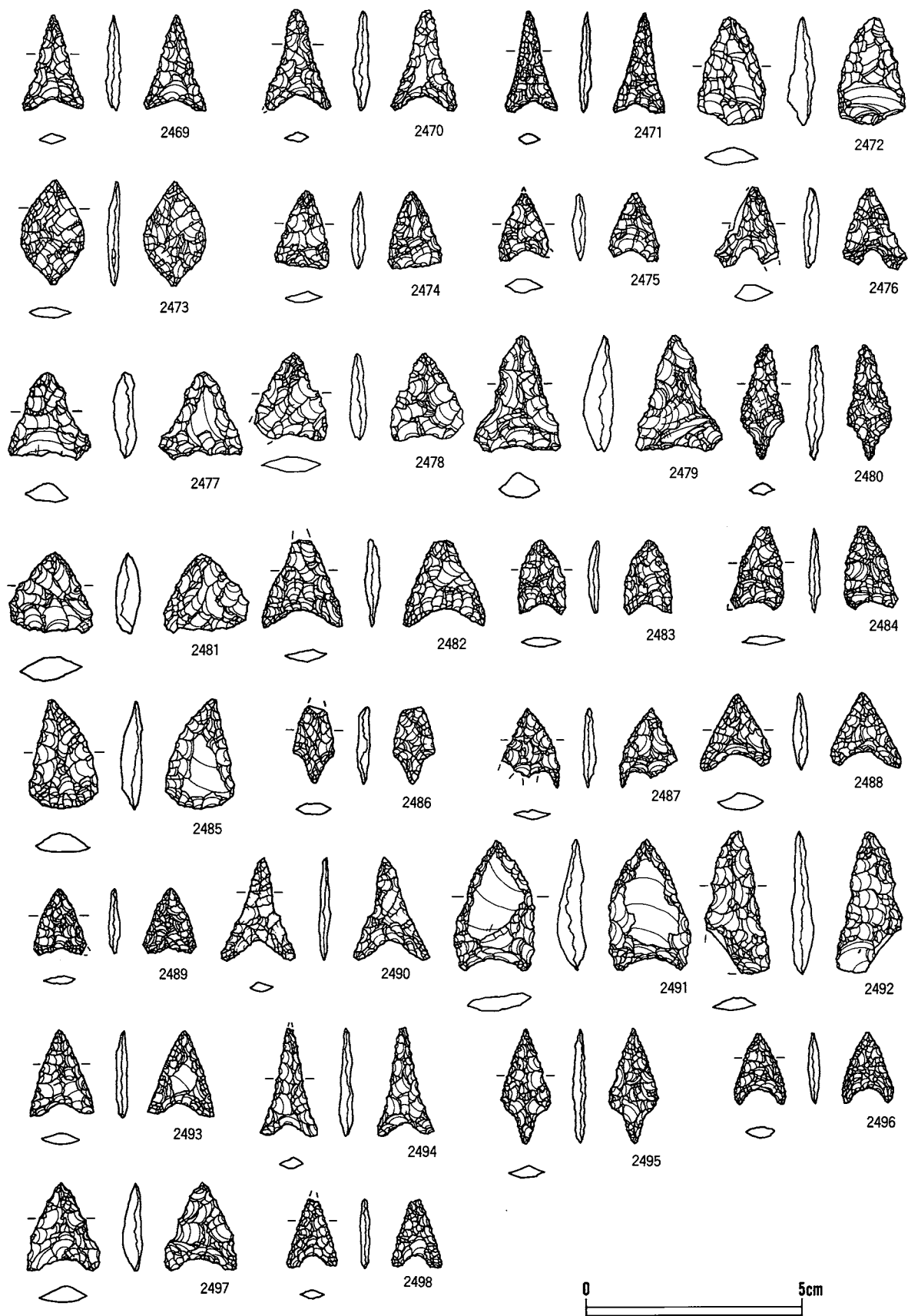
第245图 出土遗物 石器实测图(8)



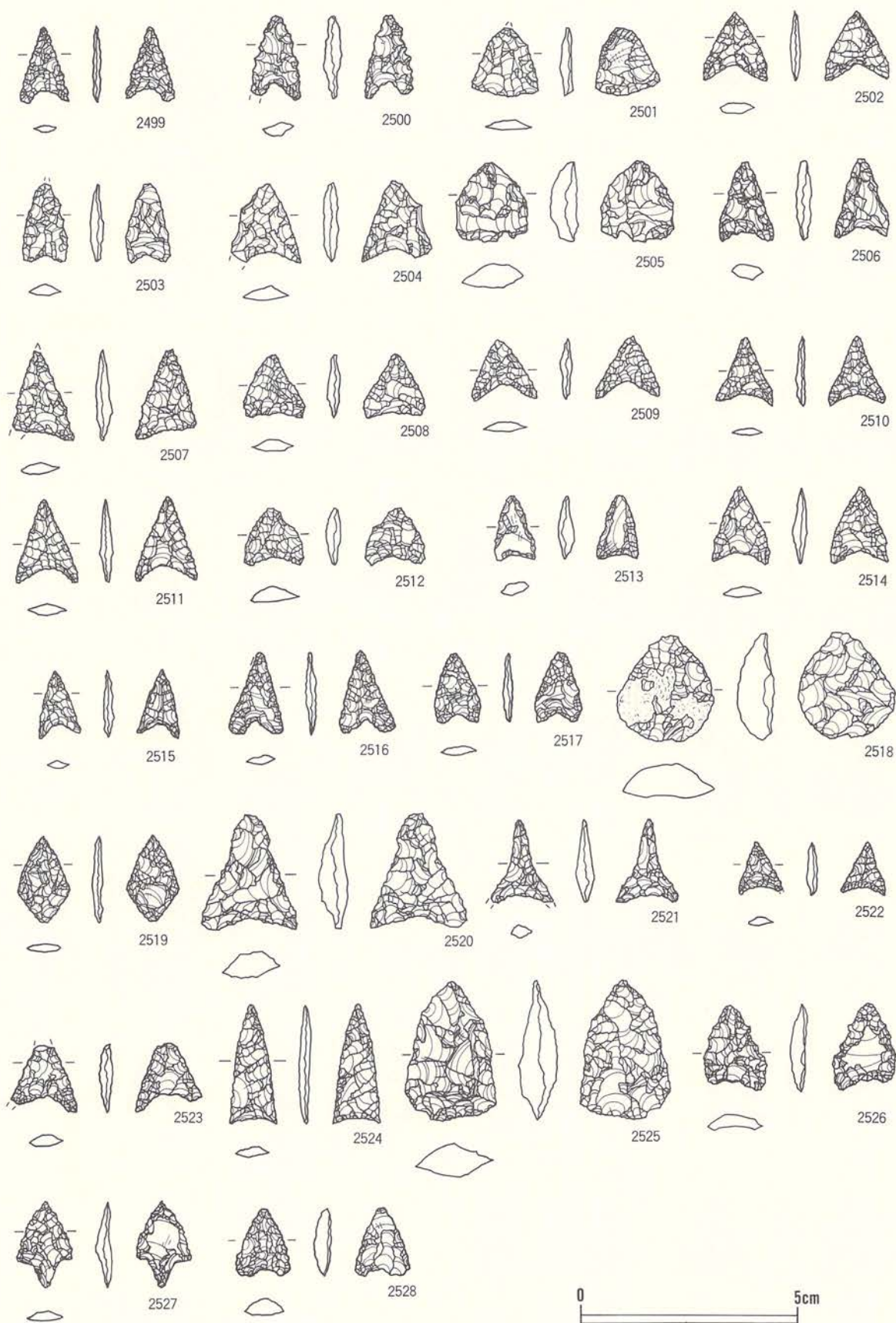
第246图 出土遗物 石器实测图(9)



第247图 出土遗物 石器实测图(10)

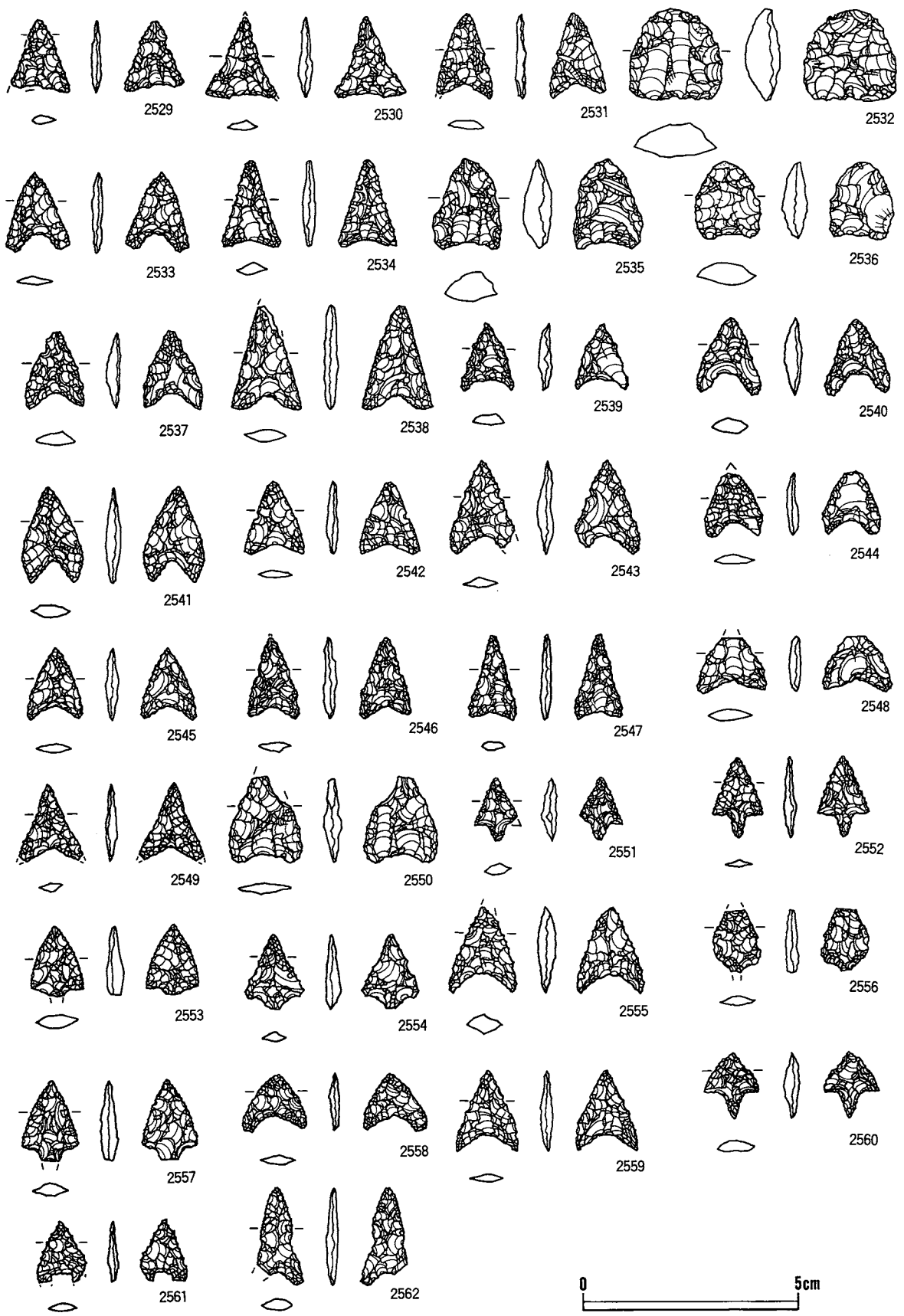


第248图 出土遗物 石器实测图(11)

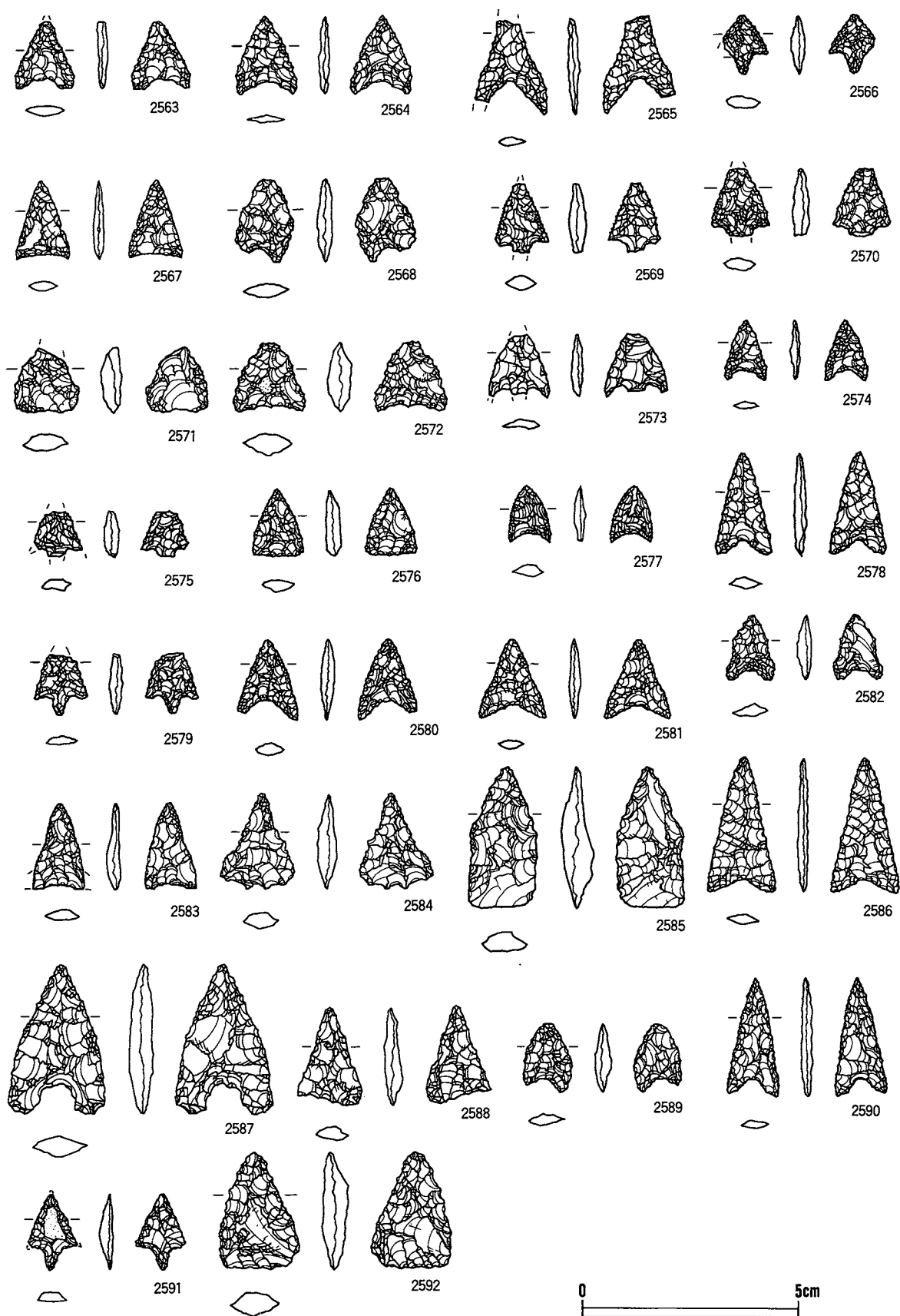


第249图 出土遺物 石器実測図(12)

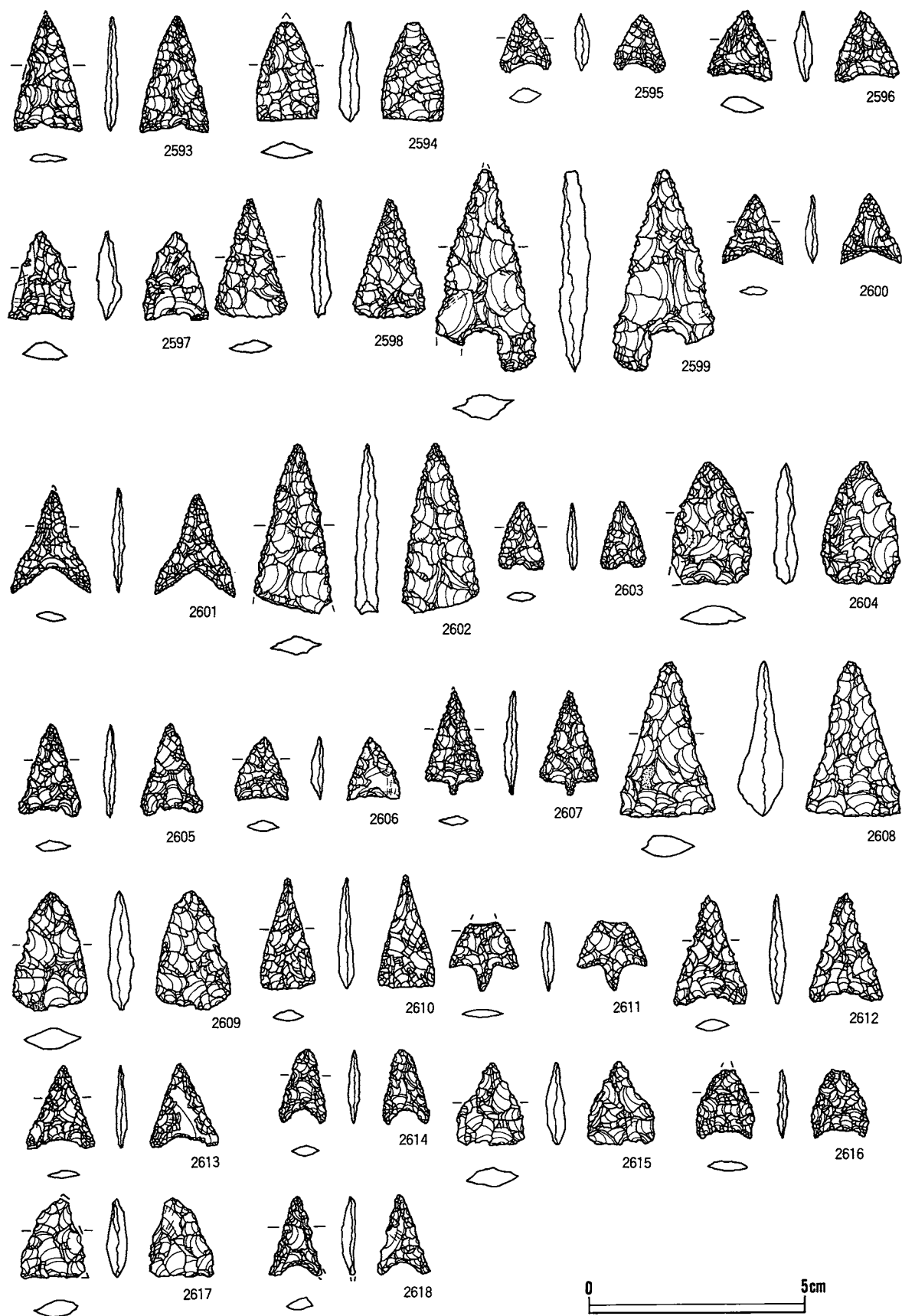




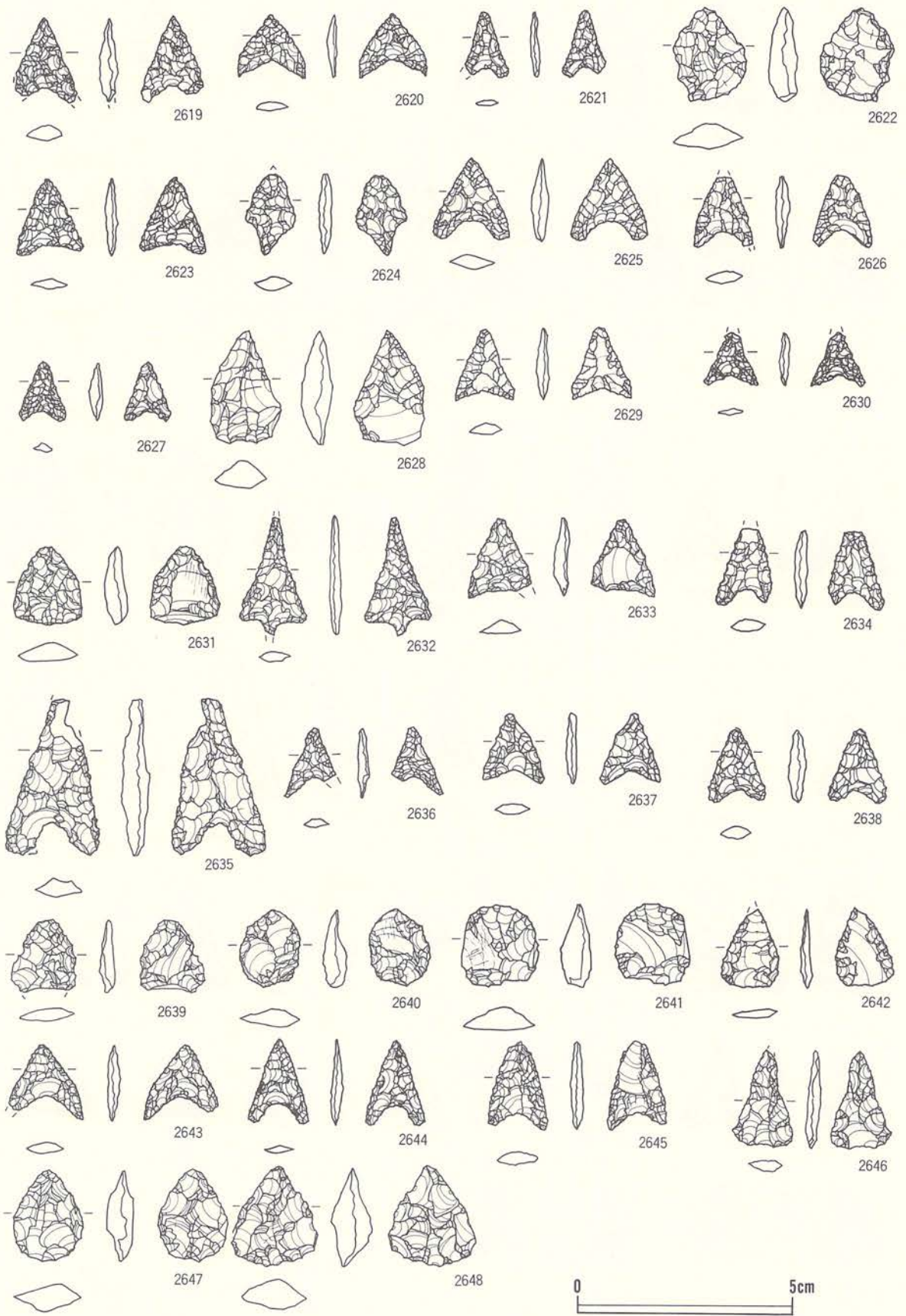
第250图 出土遗物 石器实测图(13)



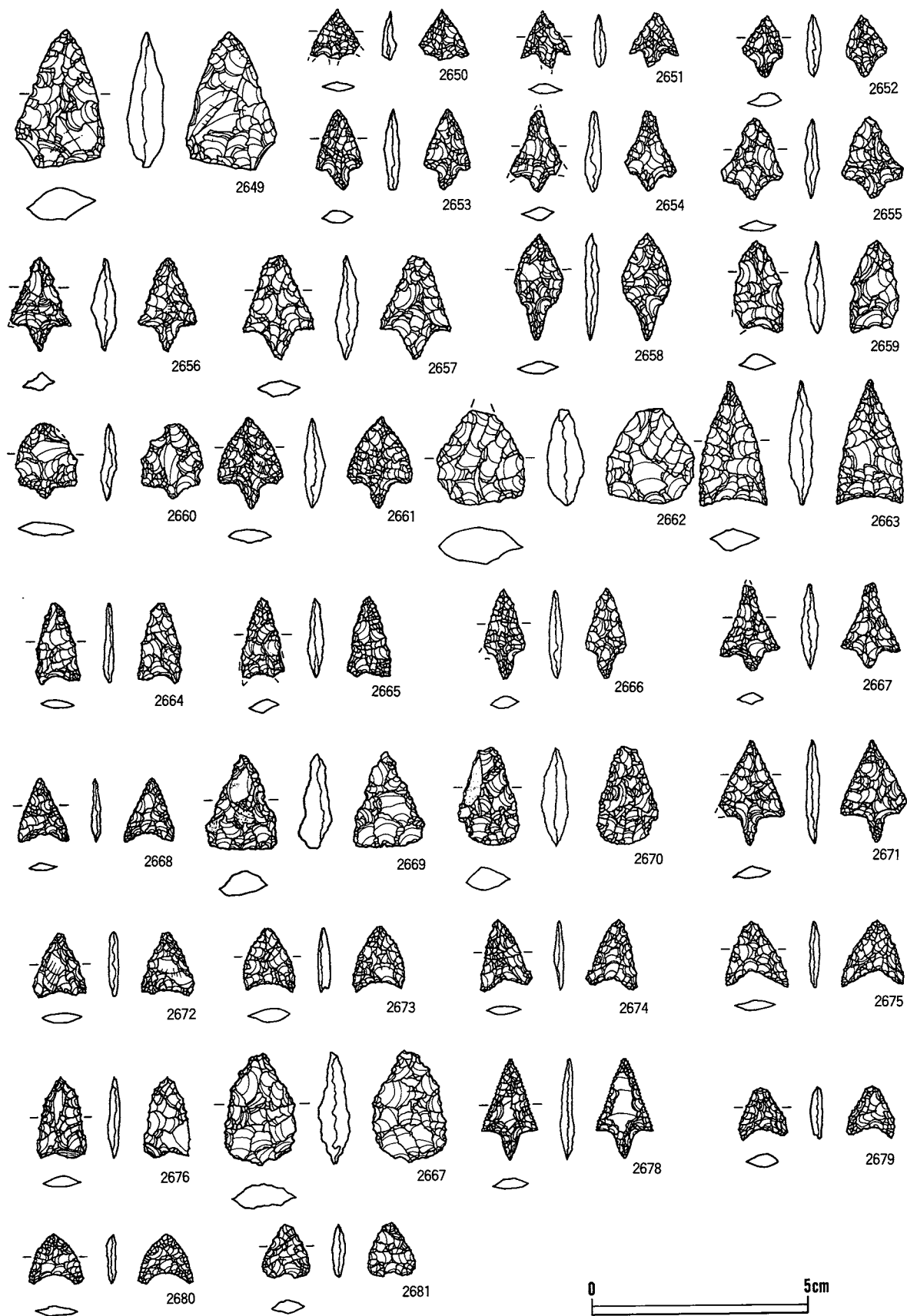
第251图 出土遗物 石器实测图(14)



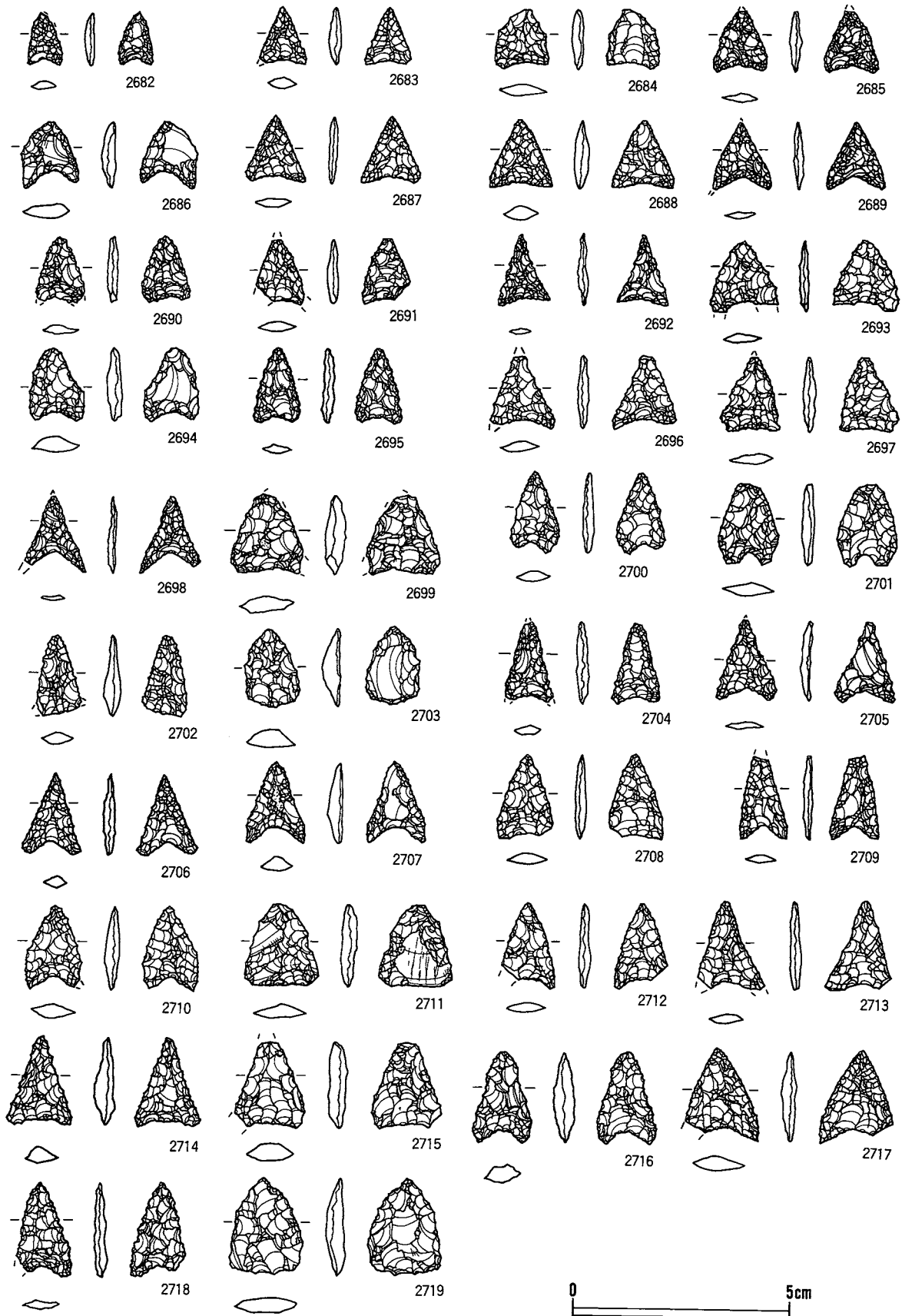
第252图 出土遗物 石器实测图(15)



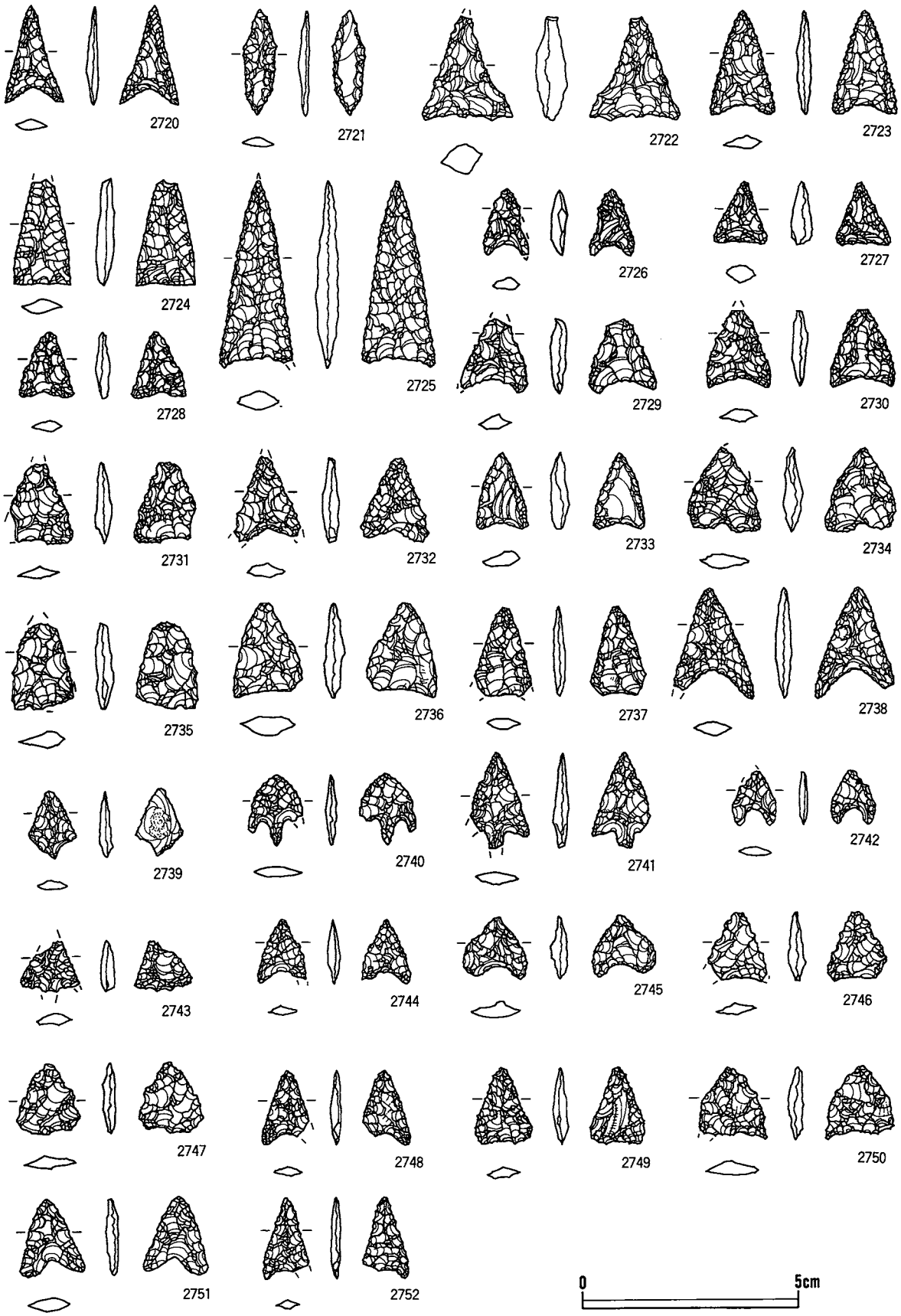
第253图 出土遺物 石器実測図(16)



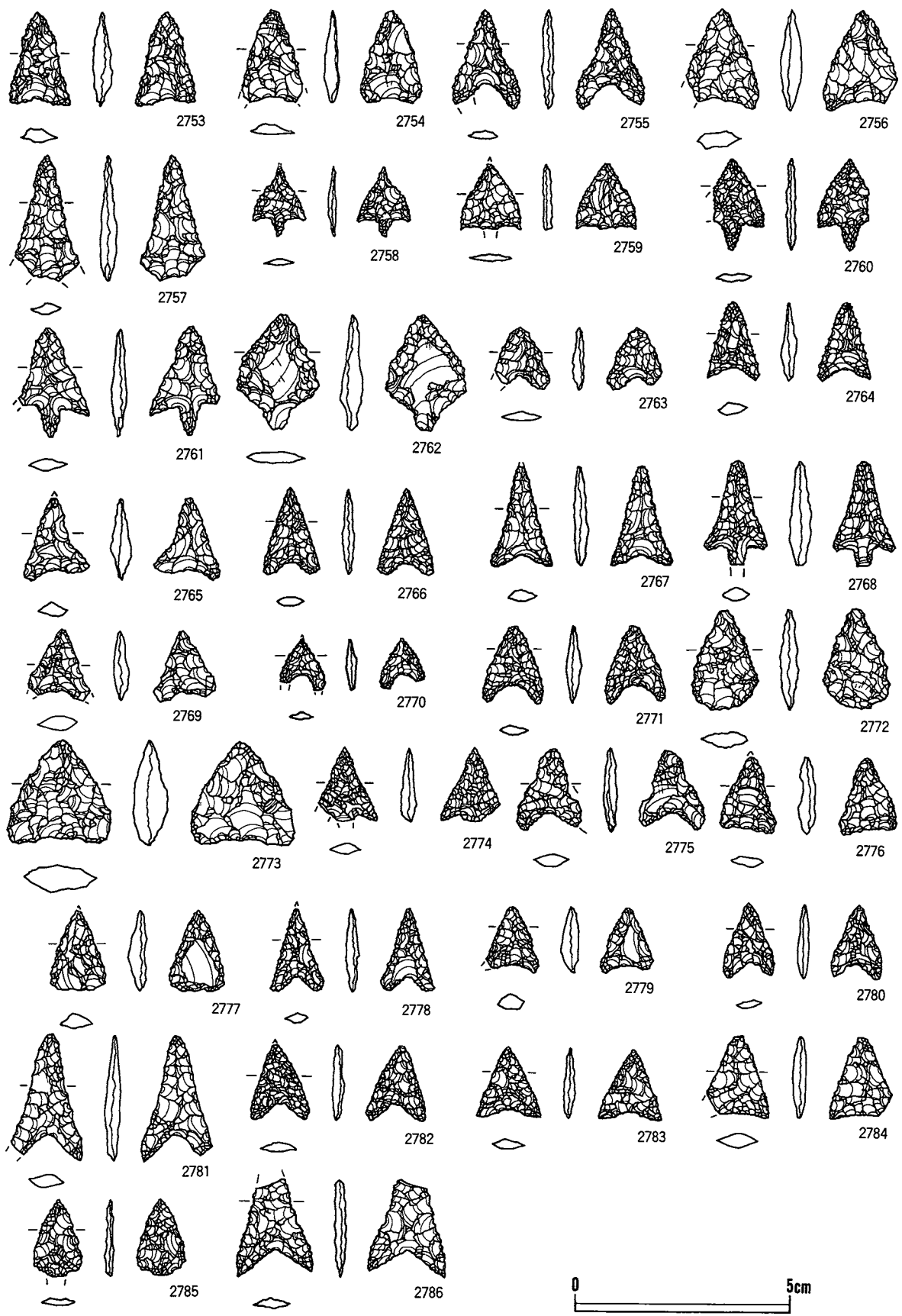
第254图 出土遗物 石器实测图(17)



第255图 出土遺物 石器実測図(18)

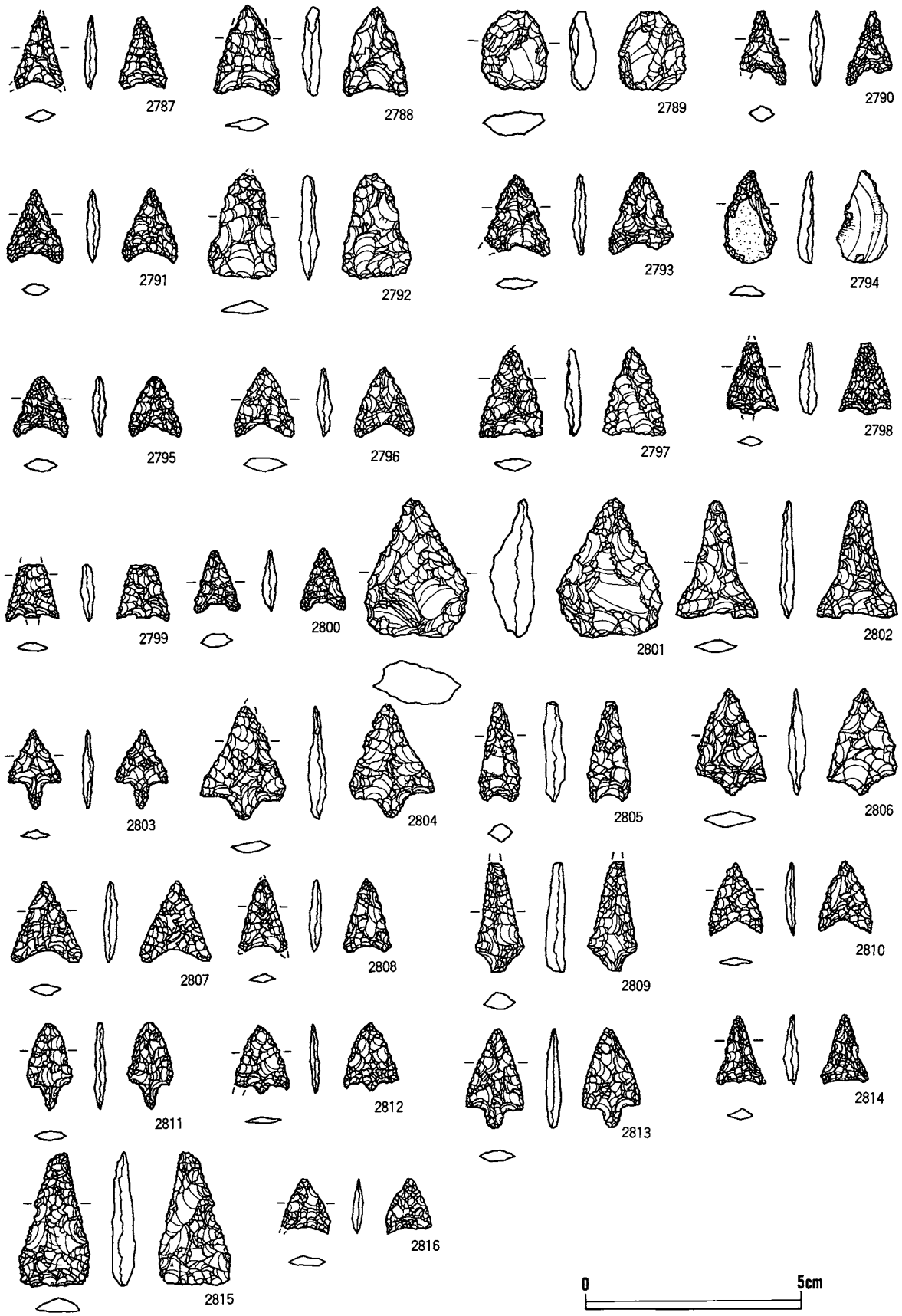


第256图 出土遺物 石器実測図(19)

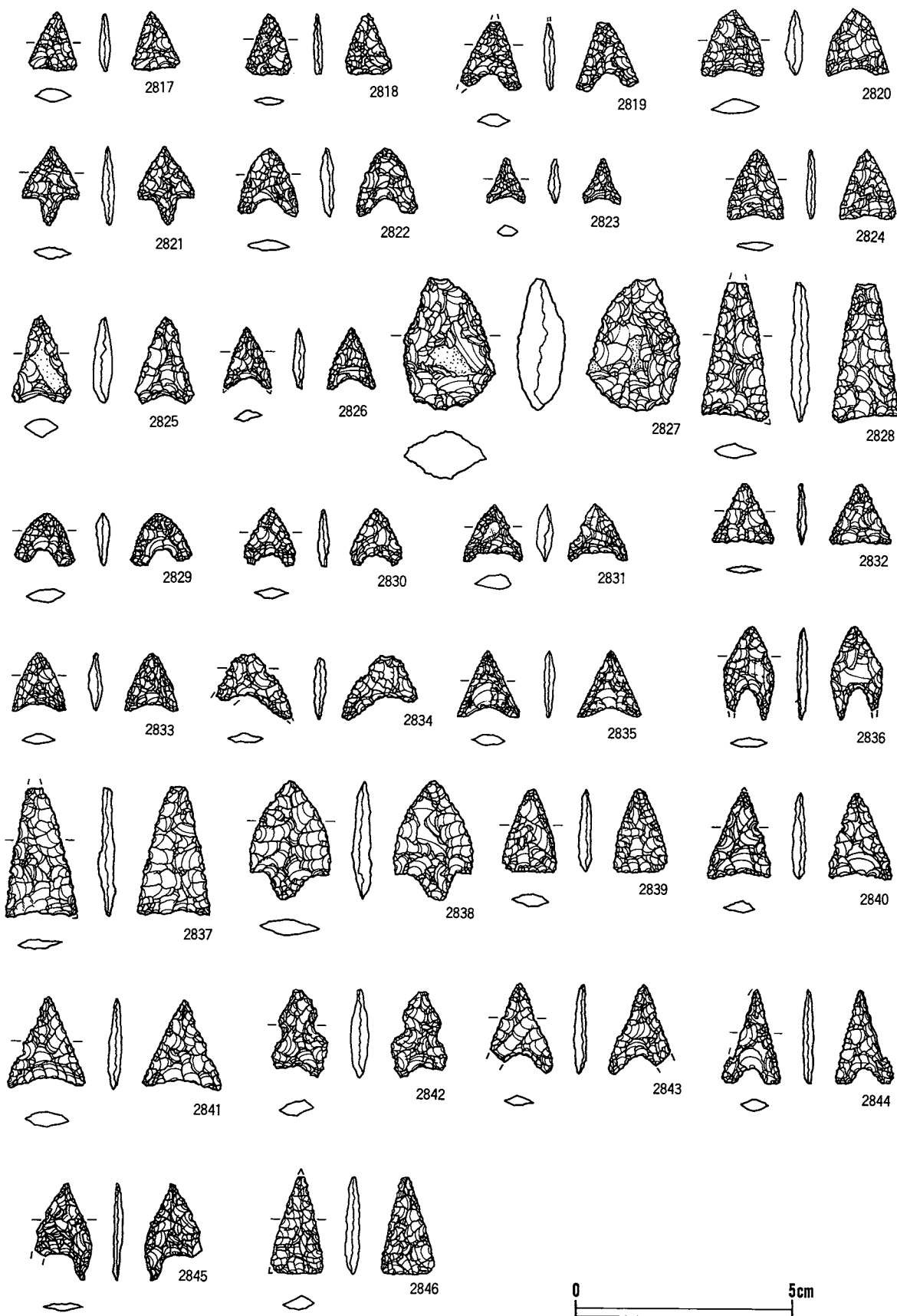


第257图 出土遗物 石器实测图(20)

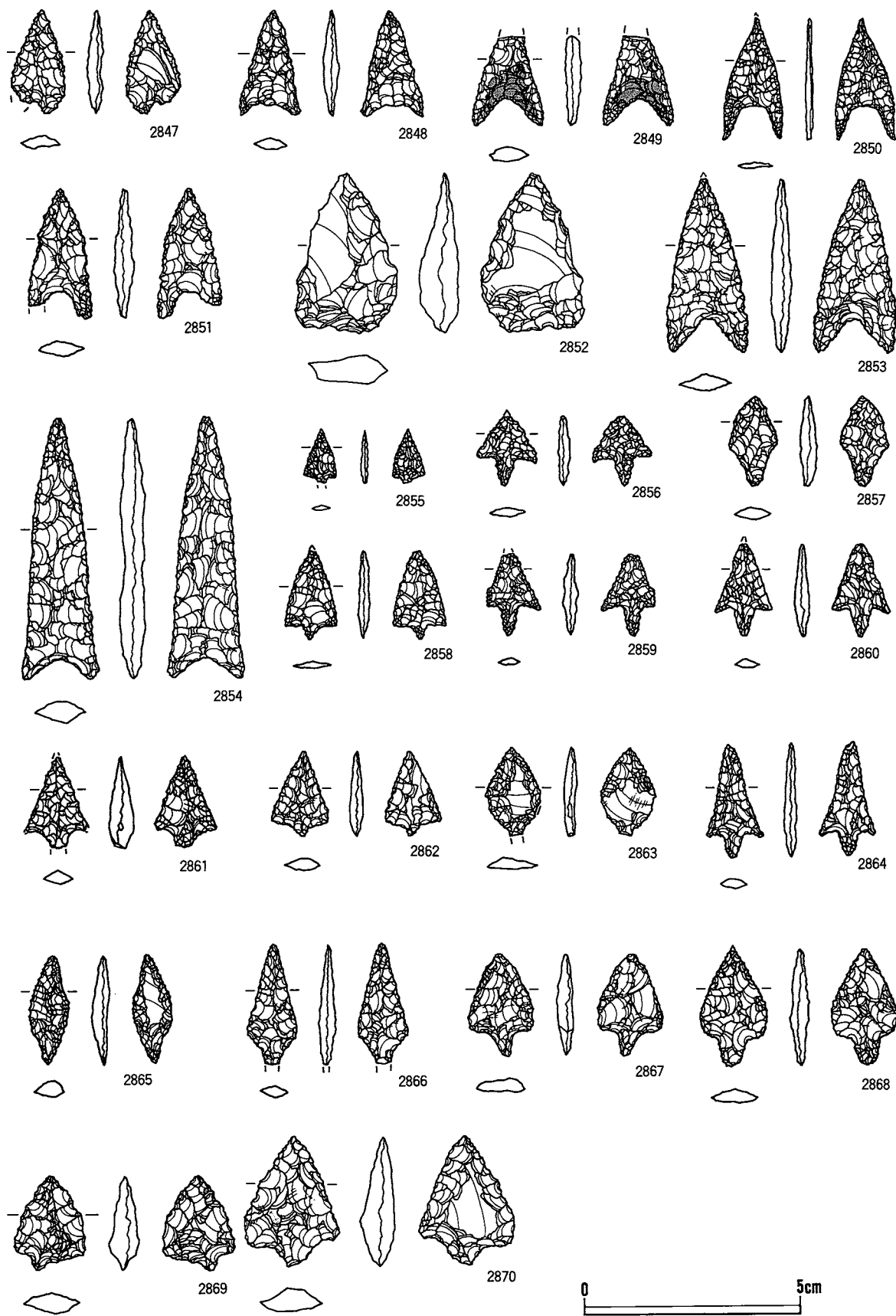




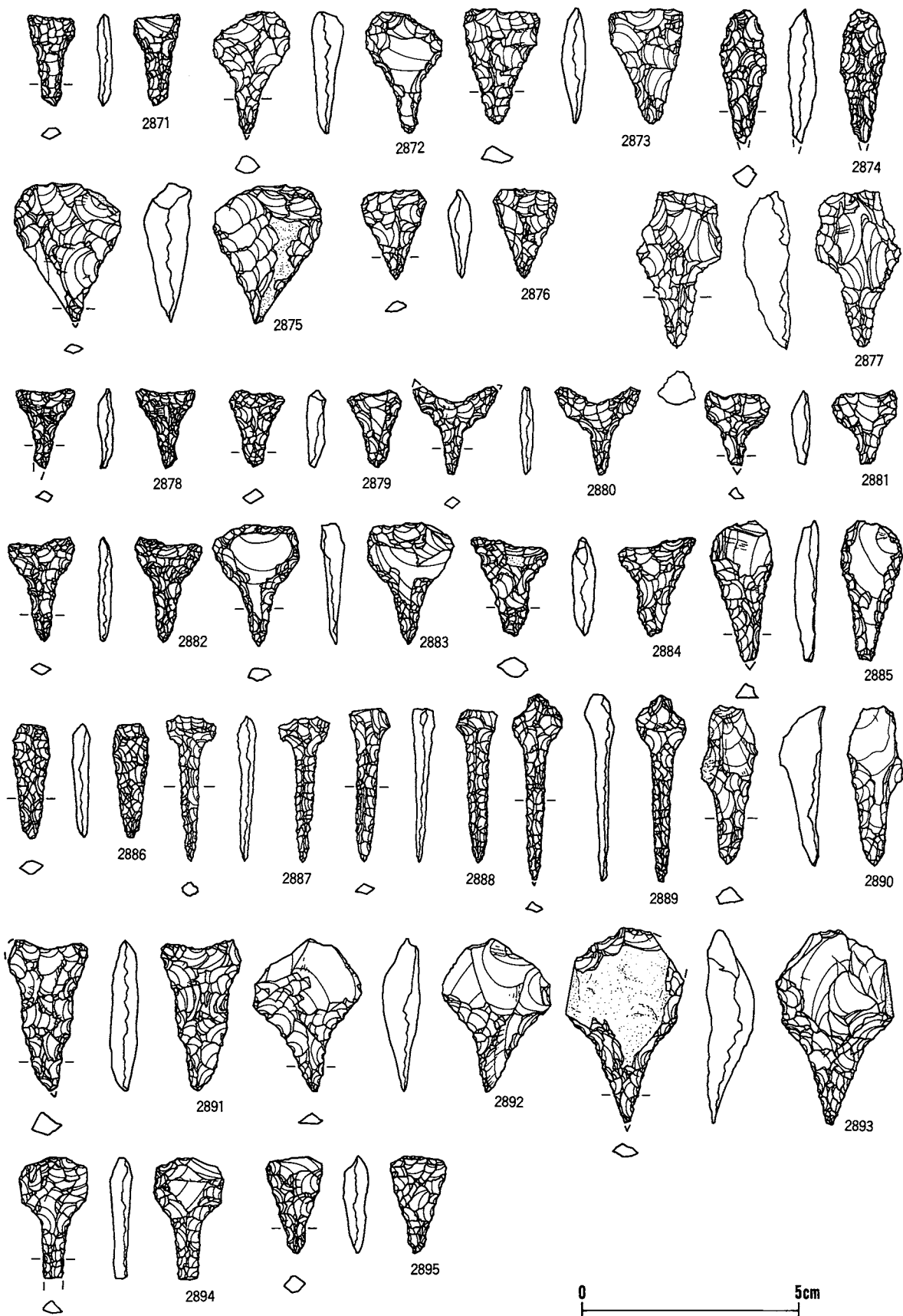
第258图 出土遗物 石器实测图(21)



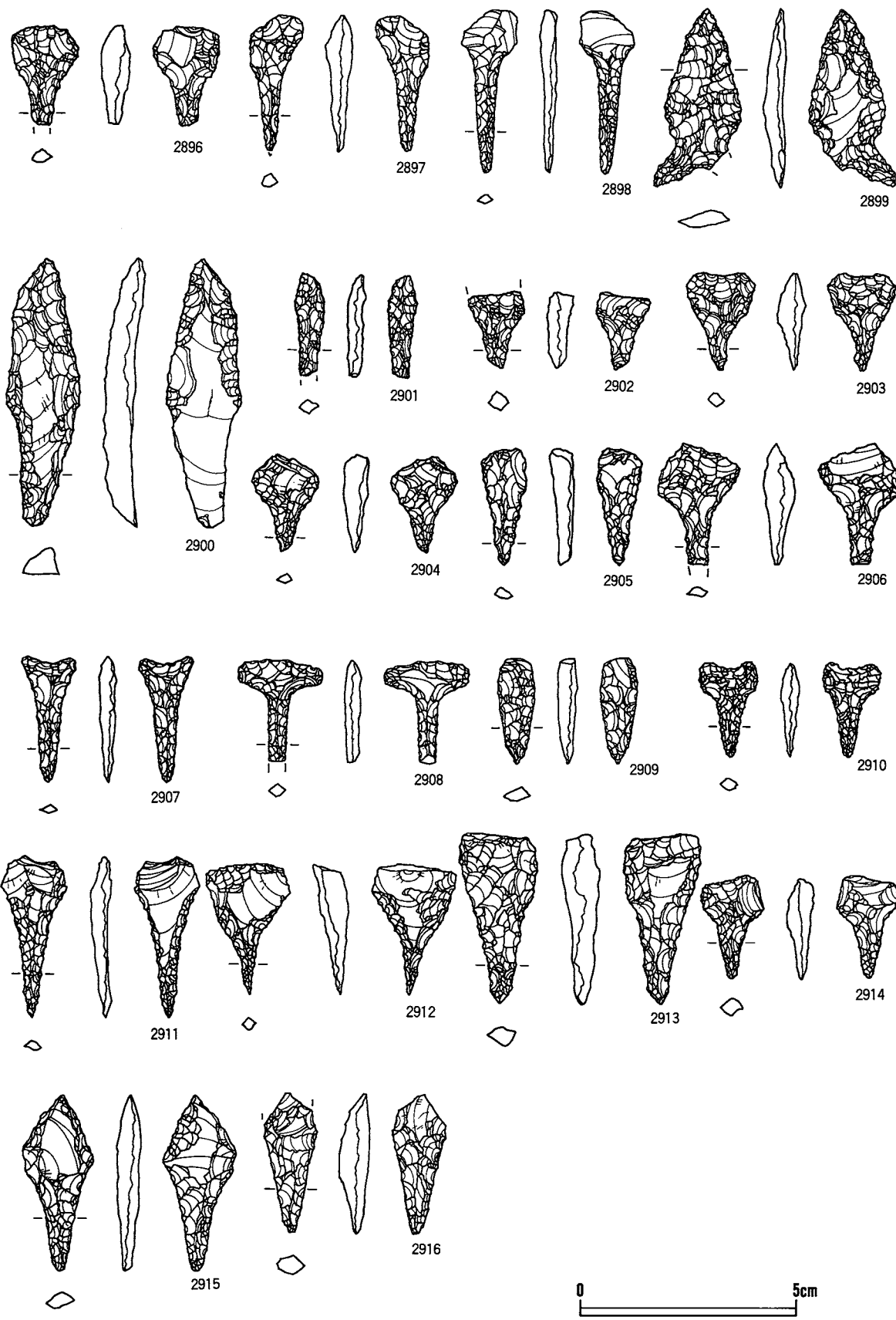
第259图 出土遗物 石器实测图(22)



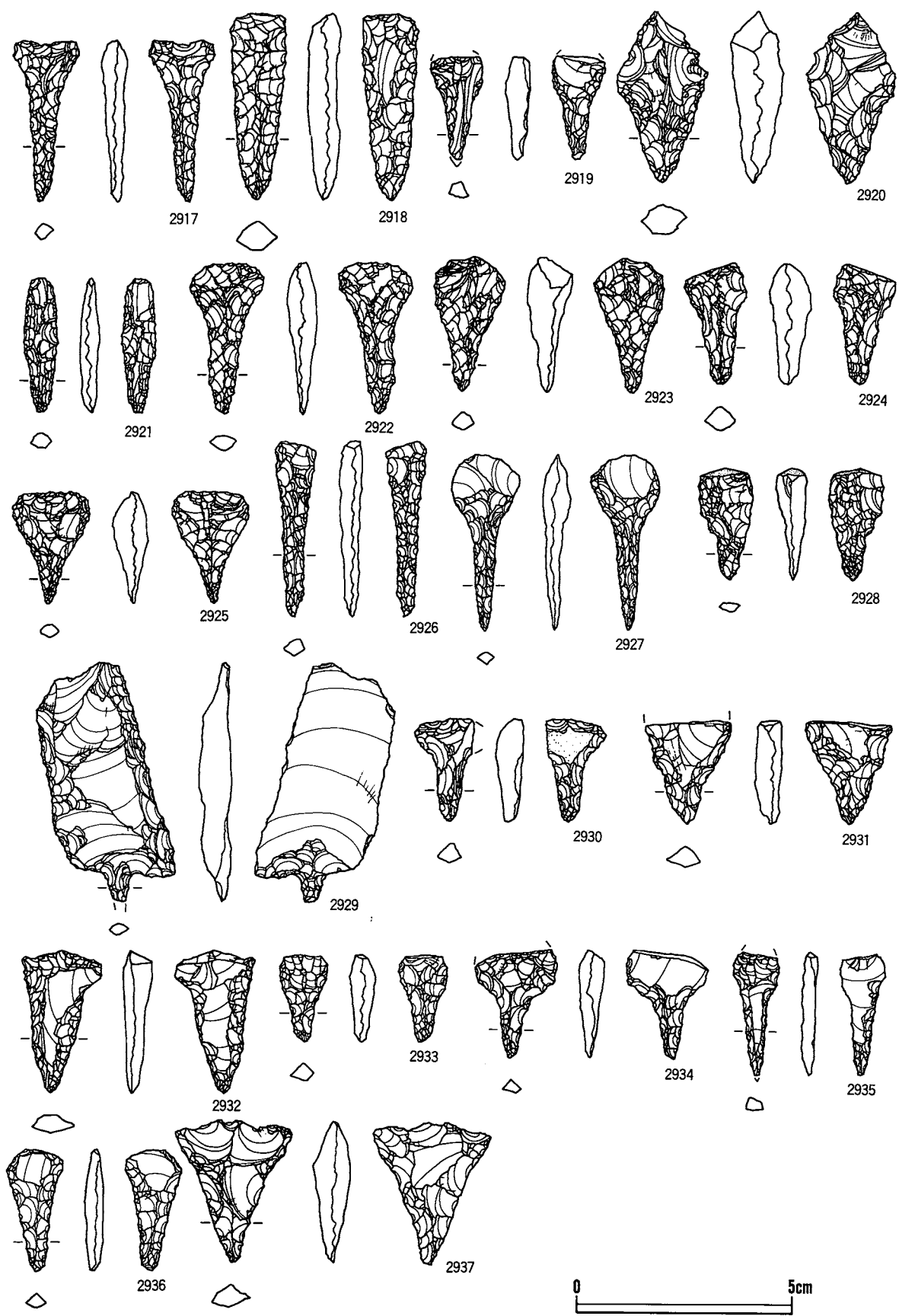
第260图 出土遗物 石器实测图(23)



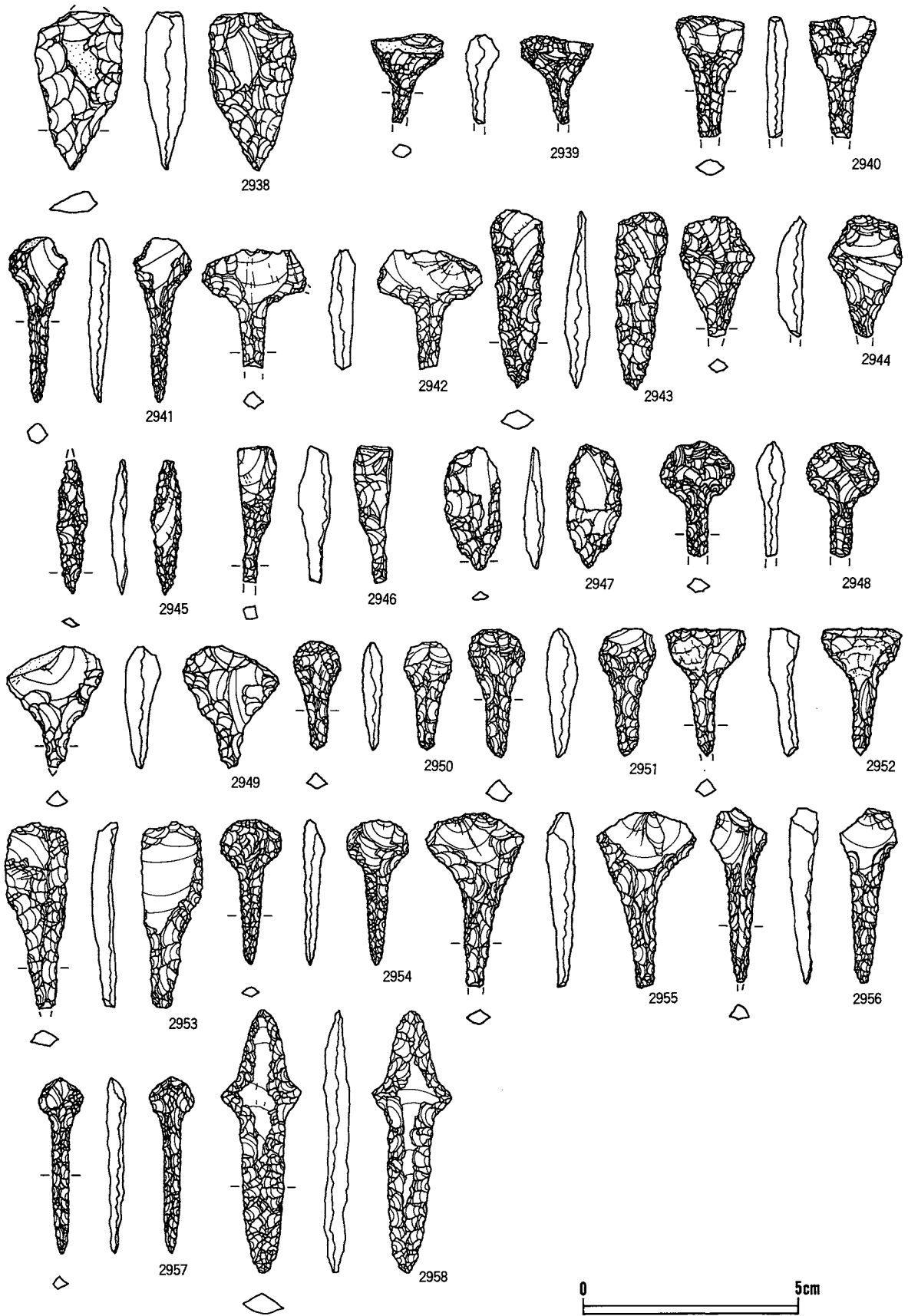
第261图 出土遗物 石器类测图(24)



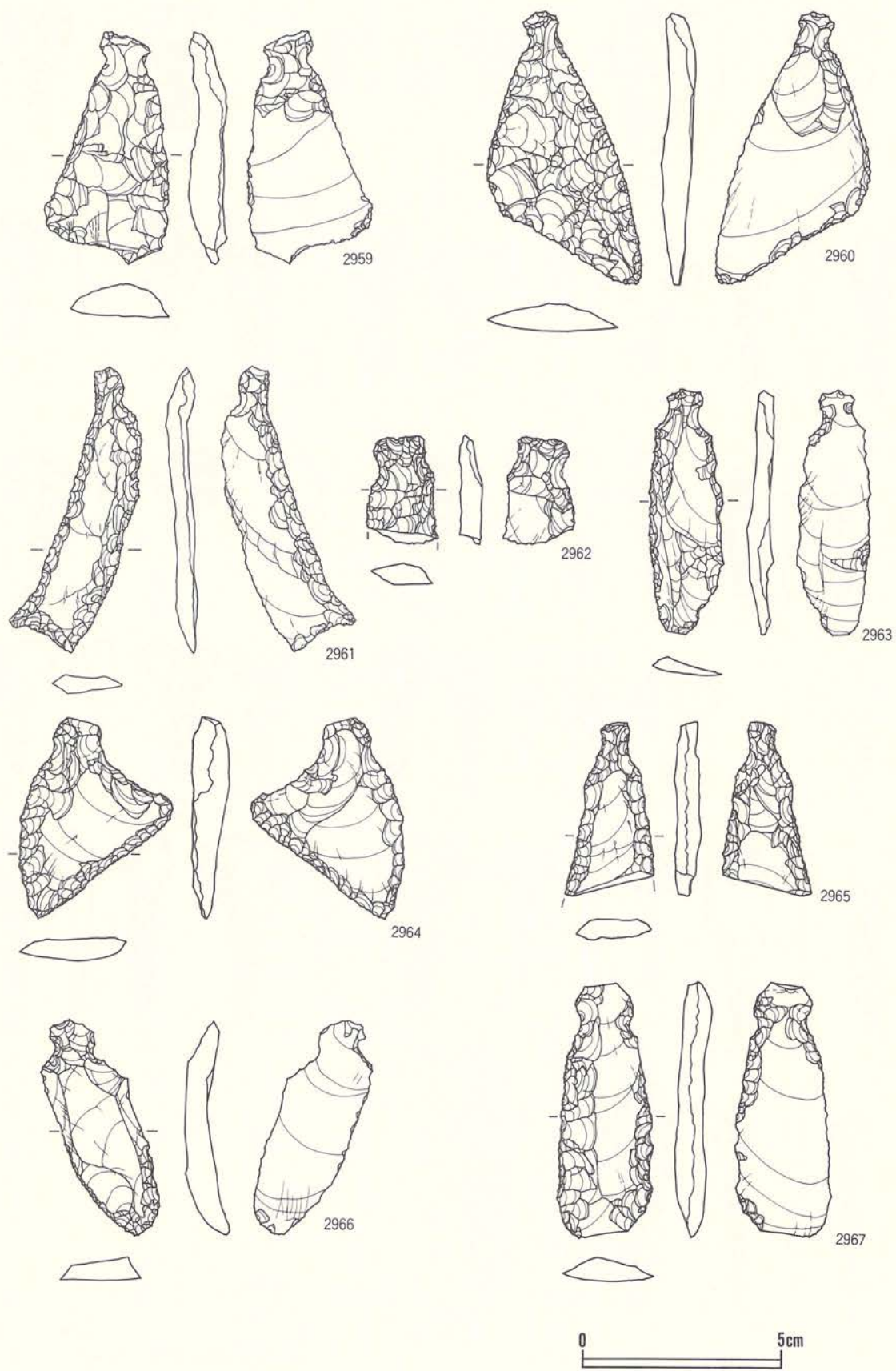
第262图 出土遗物 石器实测图(25)



第263图 出土遗物 石器实测图(26)

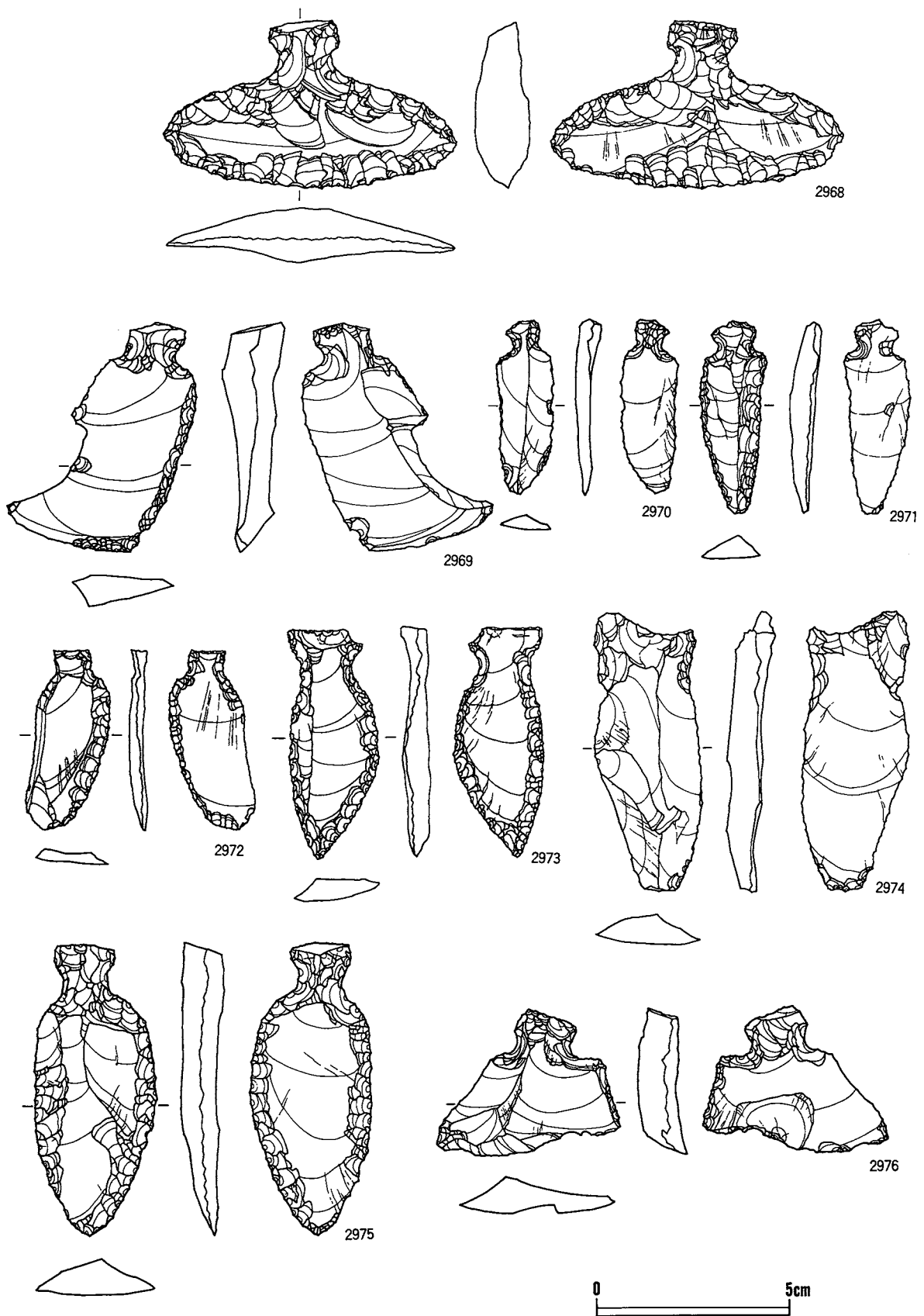


第264图 出土遺物 石器実測図(27)

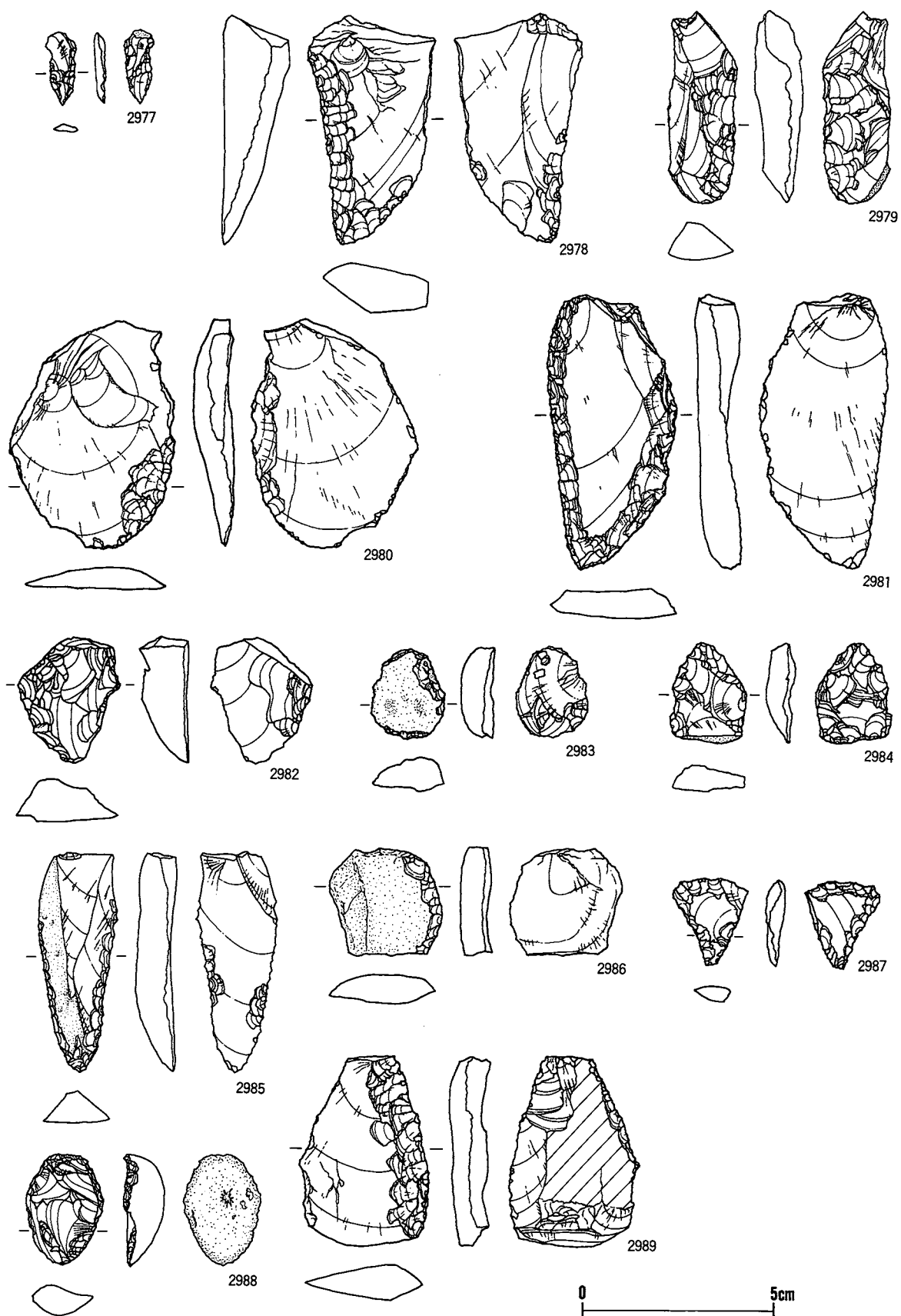


第265图 出土遺物 石器実測図(28)

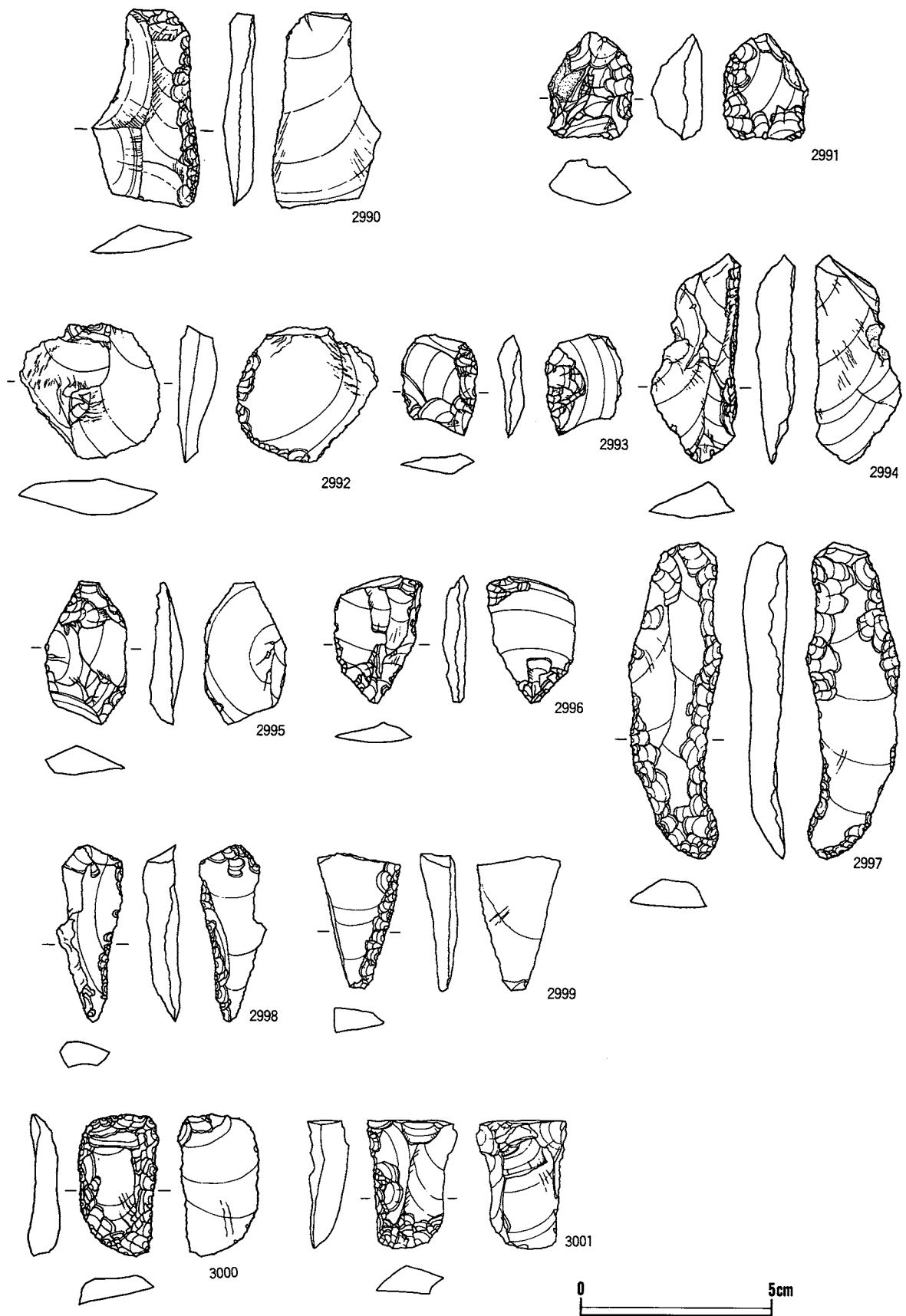




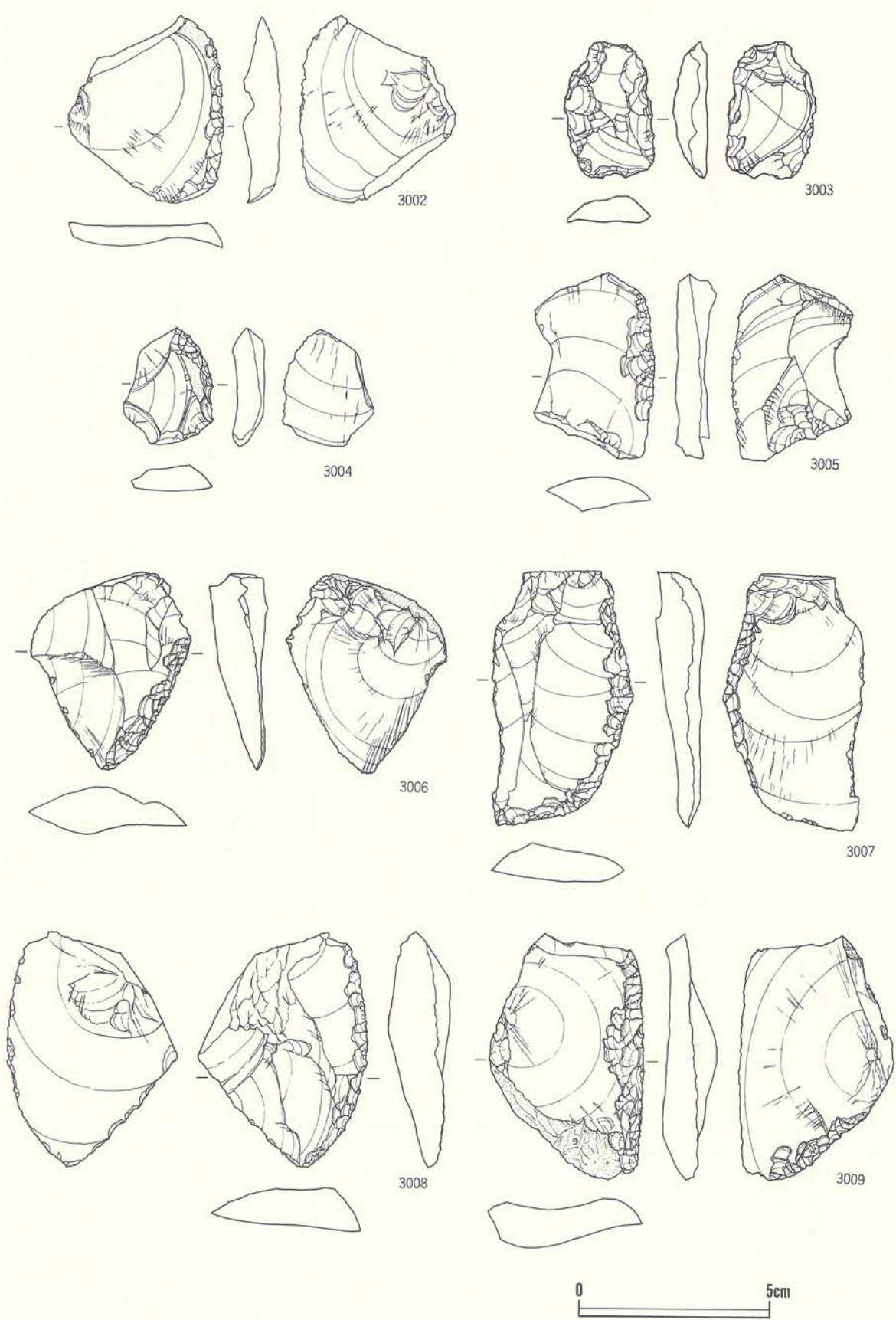
第266图 出土遺物 石器実測図(29)



第267图 出土遺物 石器実測図(30)



第268图 出土遗物 石器实测图(31)



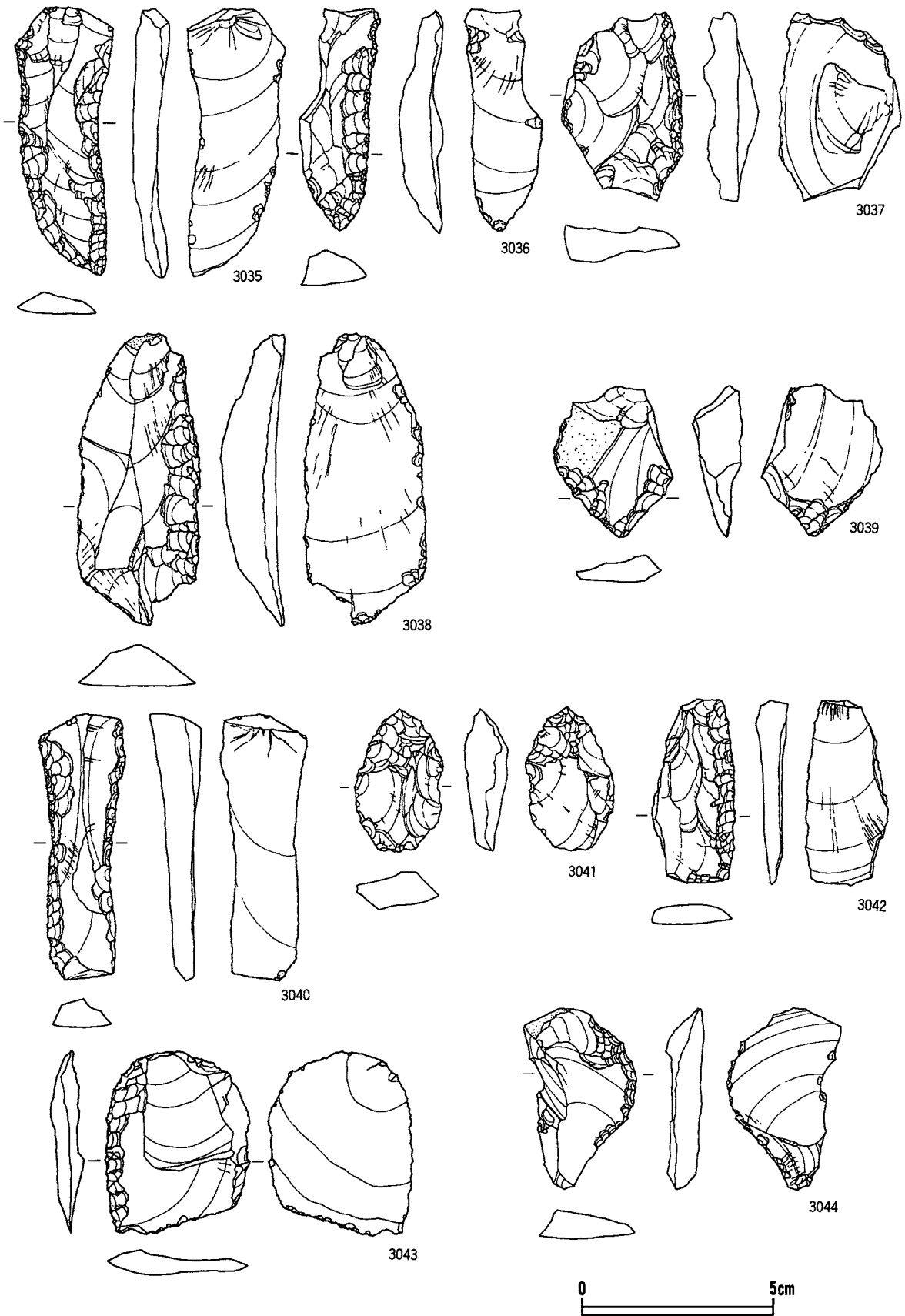
第269図 出土遺物 石器実測図(32)



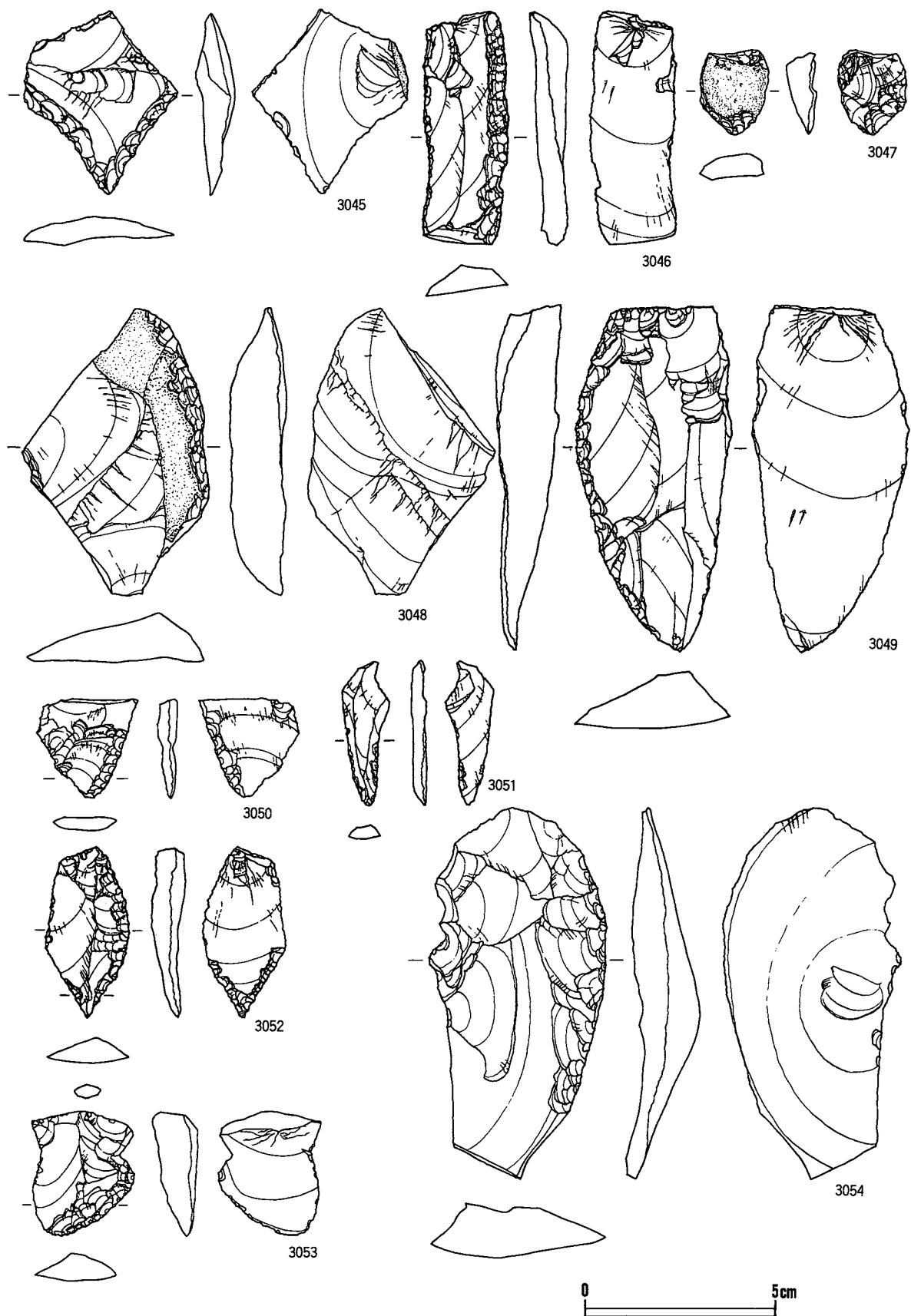
第270图 出土遗物 石器实测图(33)



第271图 出土遗物 石器实测图(34)

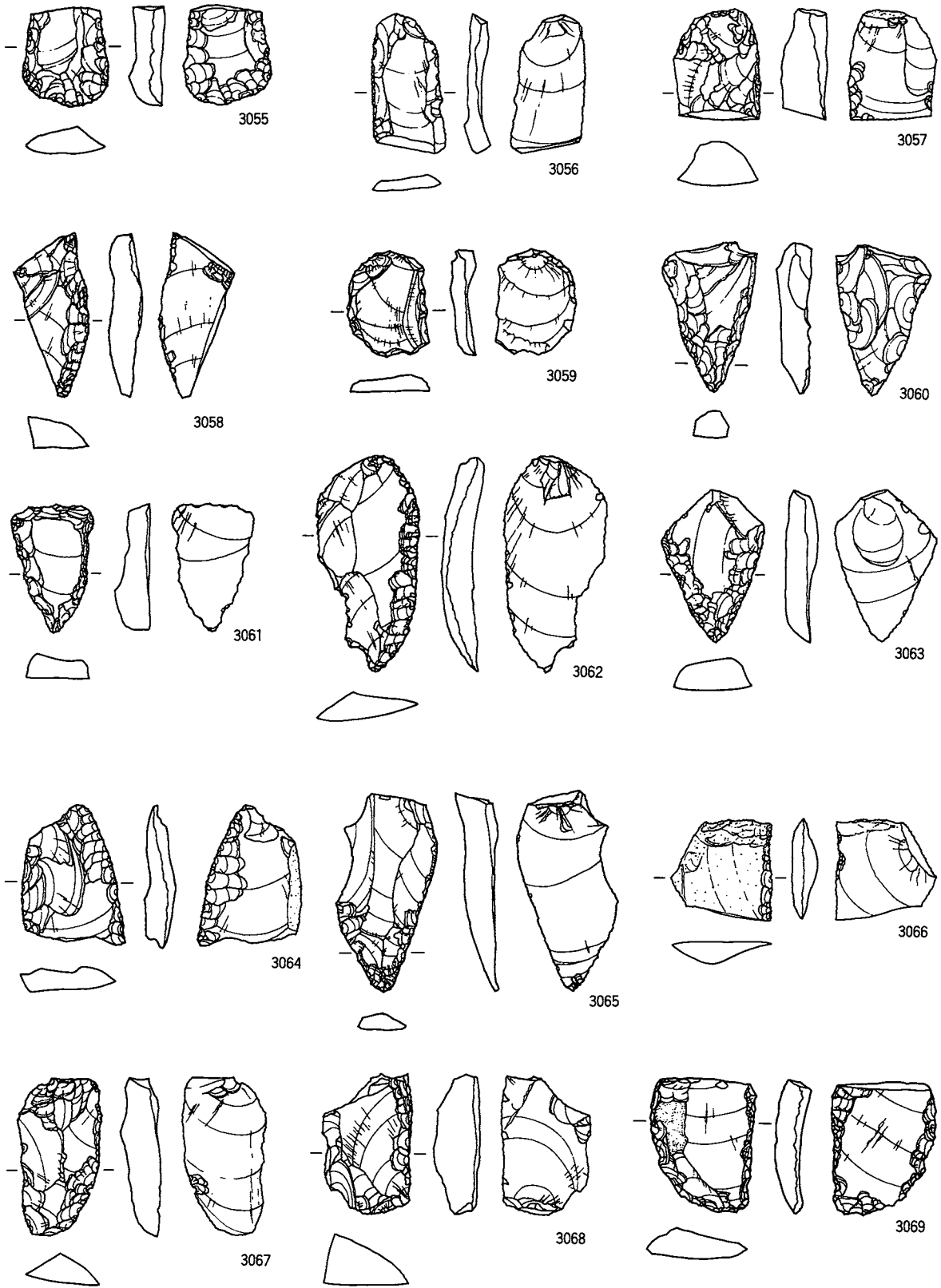


第272图 出土遗物 石器实测图(35)

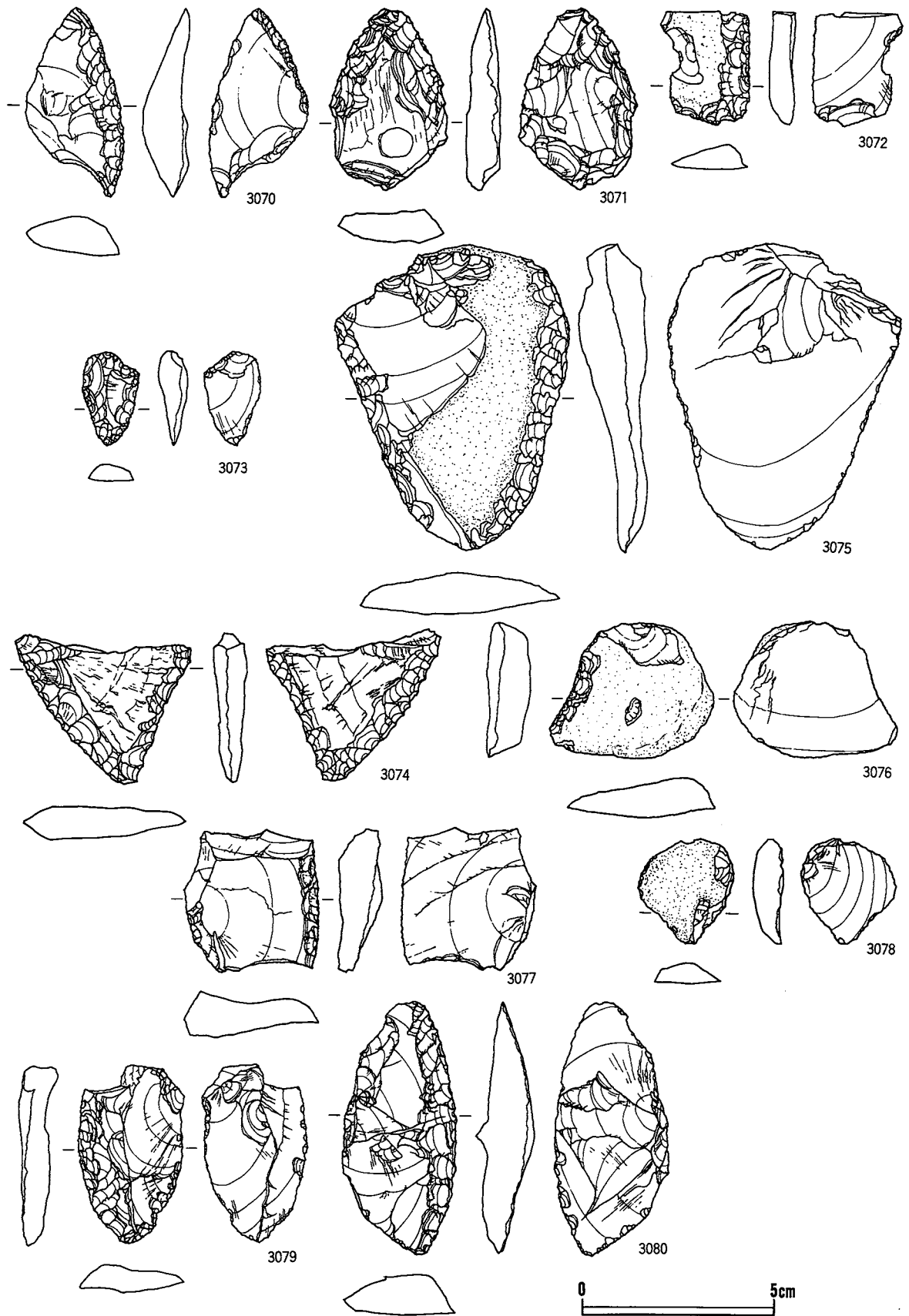


第273图 出土遗物 石器实测图(36)

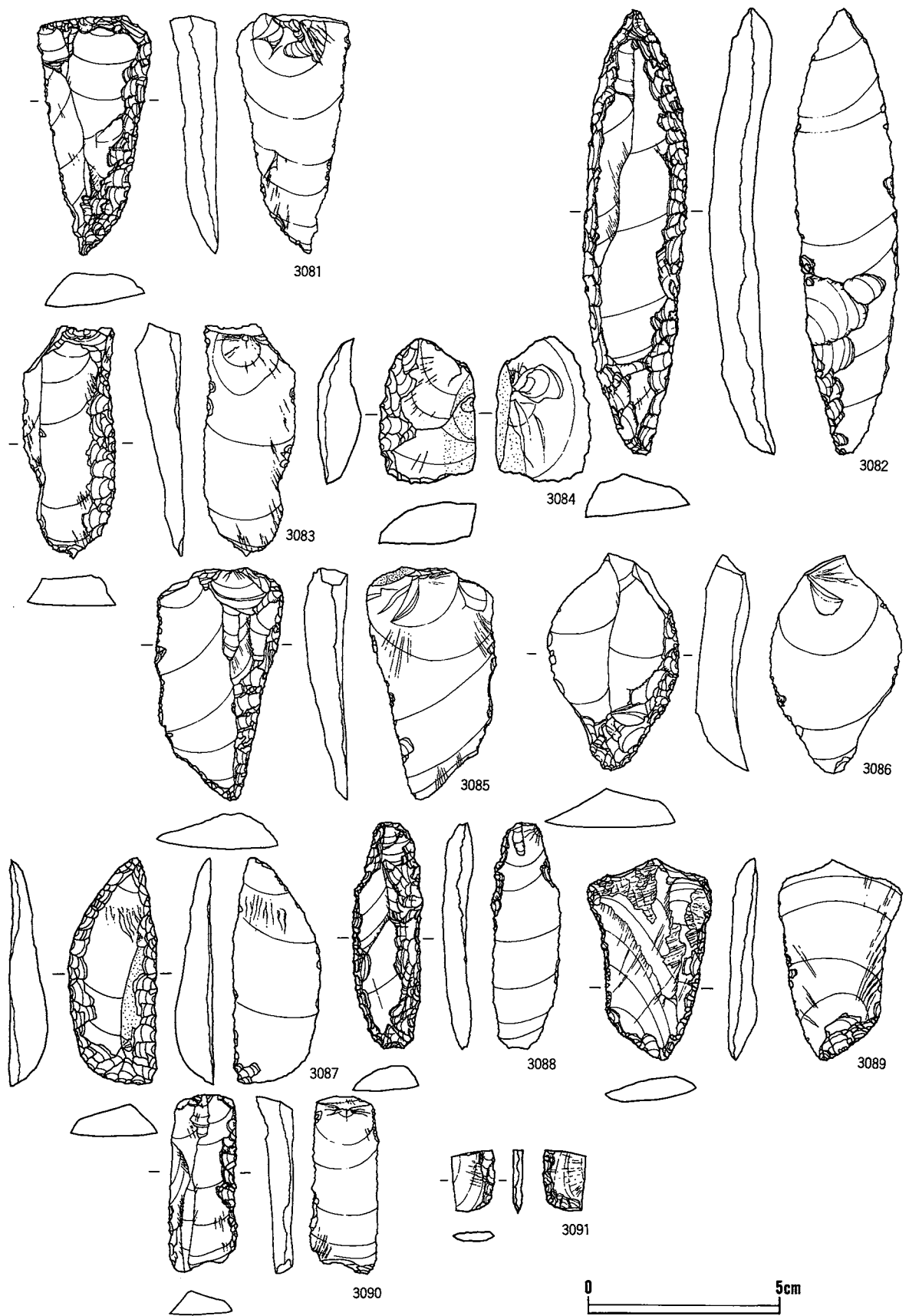




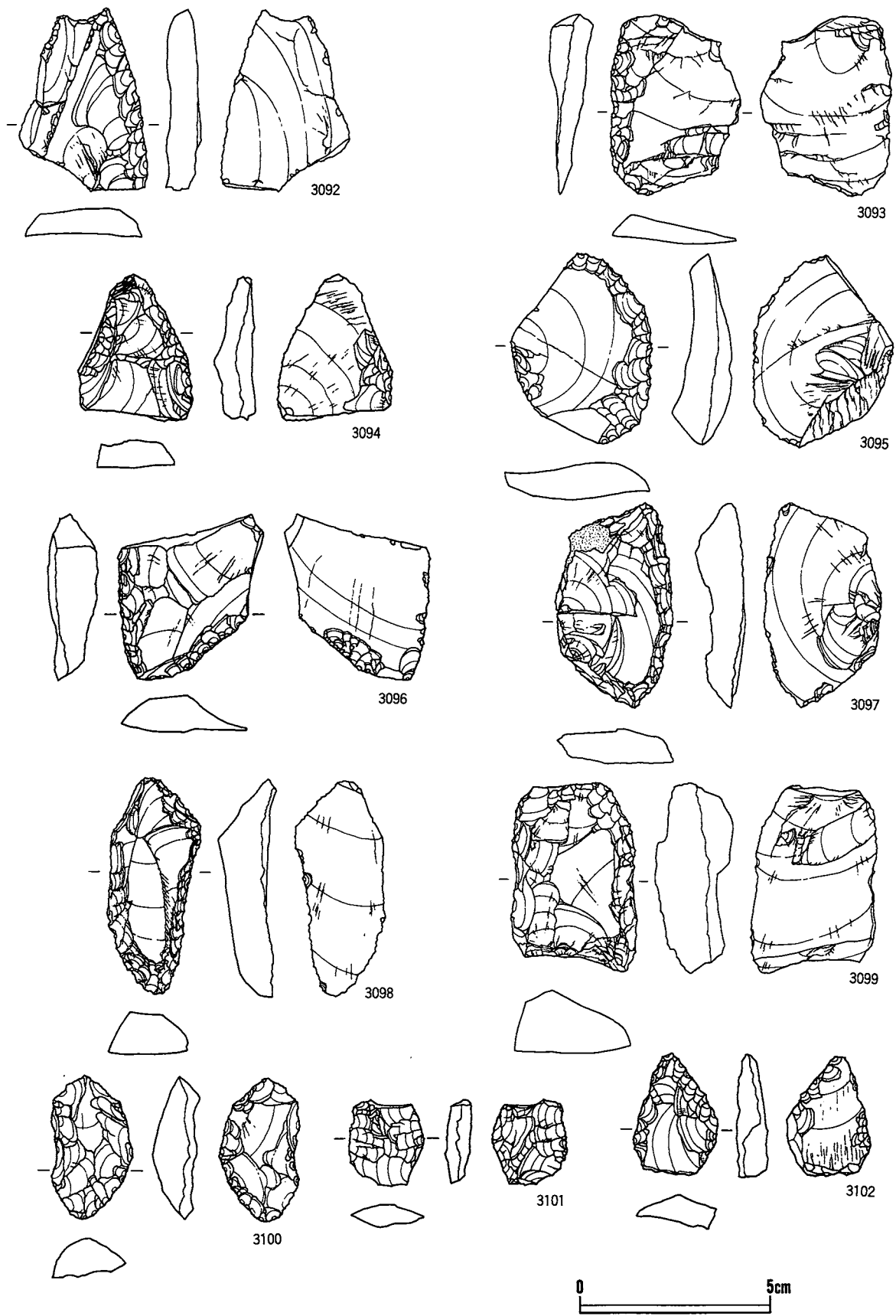
第274图 出土遗物 石器实测图(37)



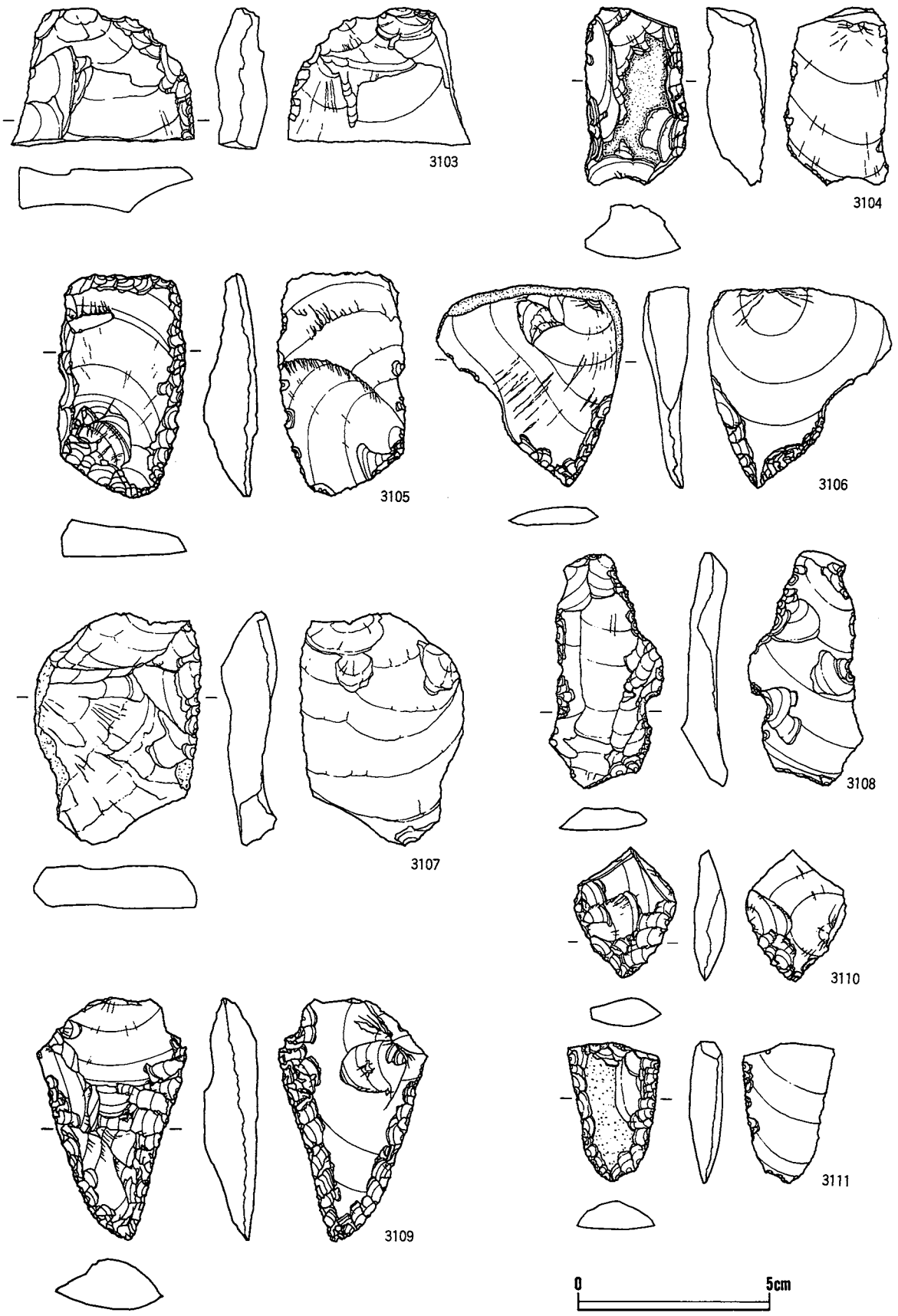
第275图 出土遺物 石器実測図(38)



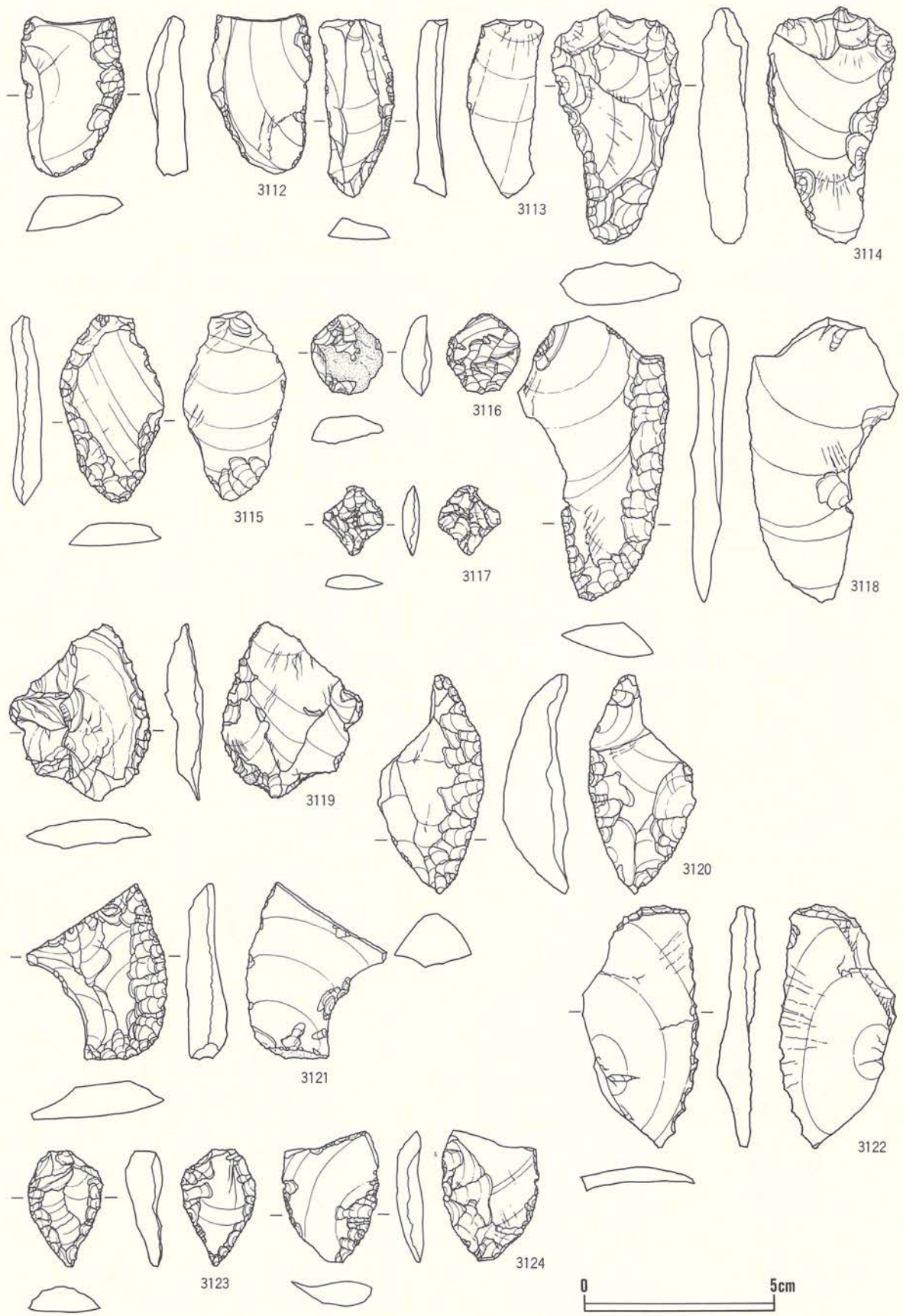
第276图 出土遺物 石器実測図(39)



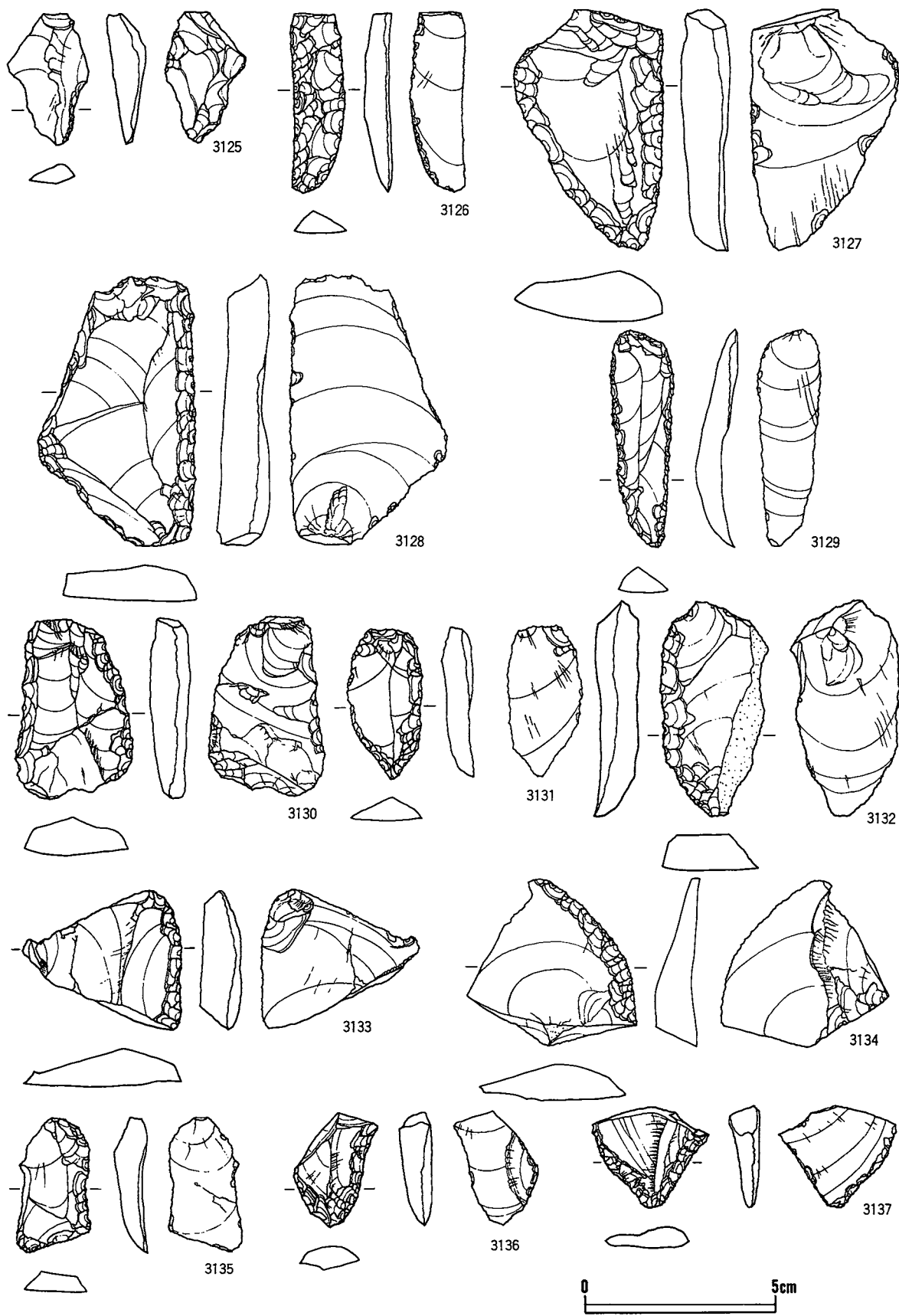
第277图 出土遗物 石器实测图(40)



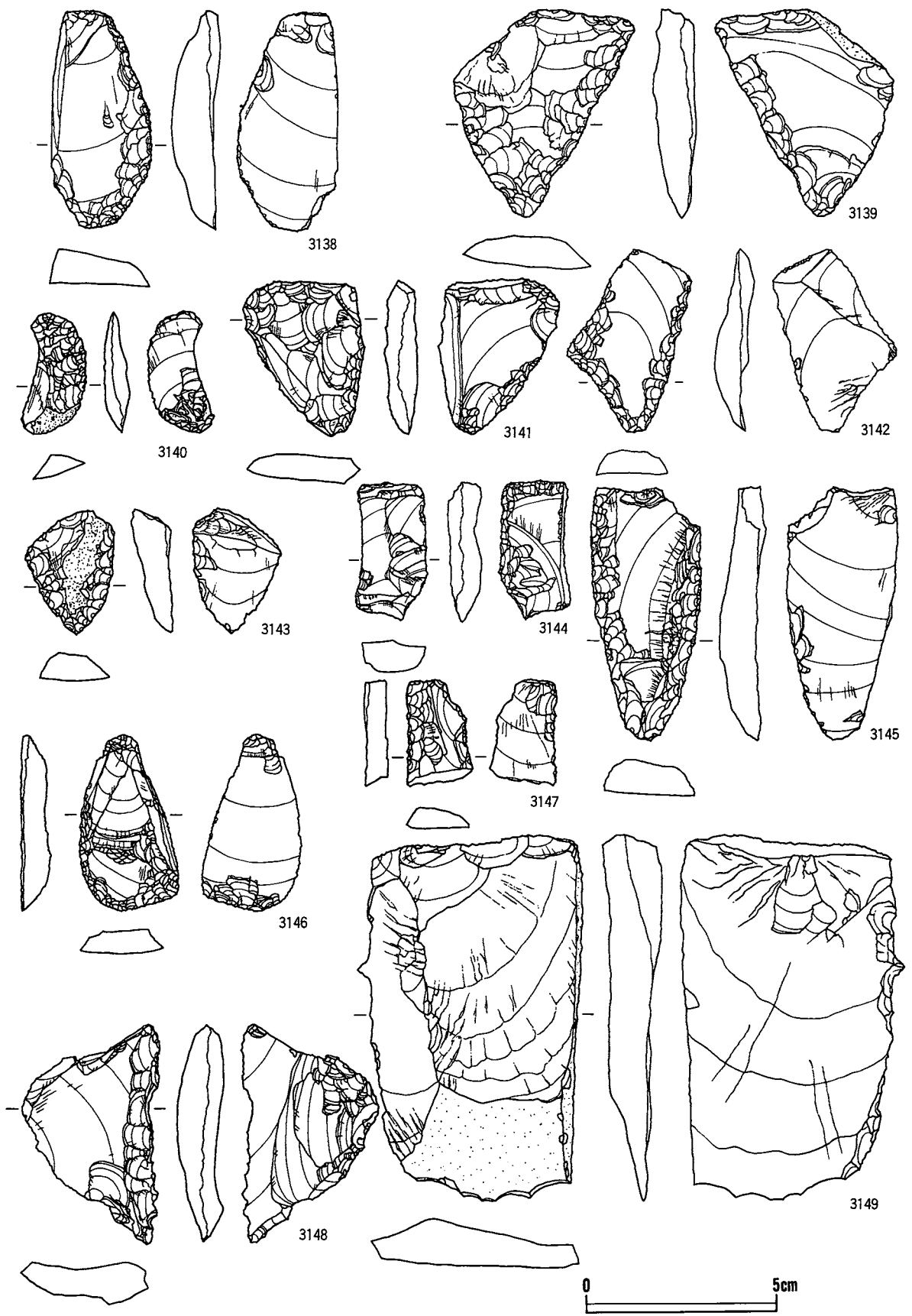
第278图 出土遗物 石器实测图(41)



第279图 出土遺物 石器実測図(42)

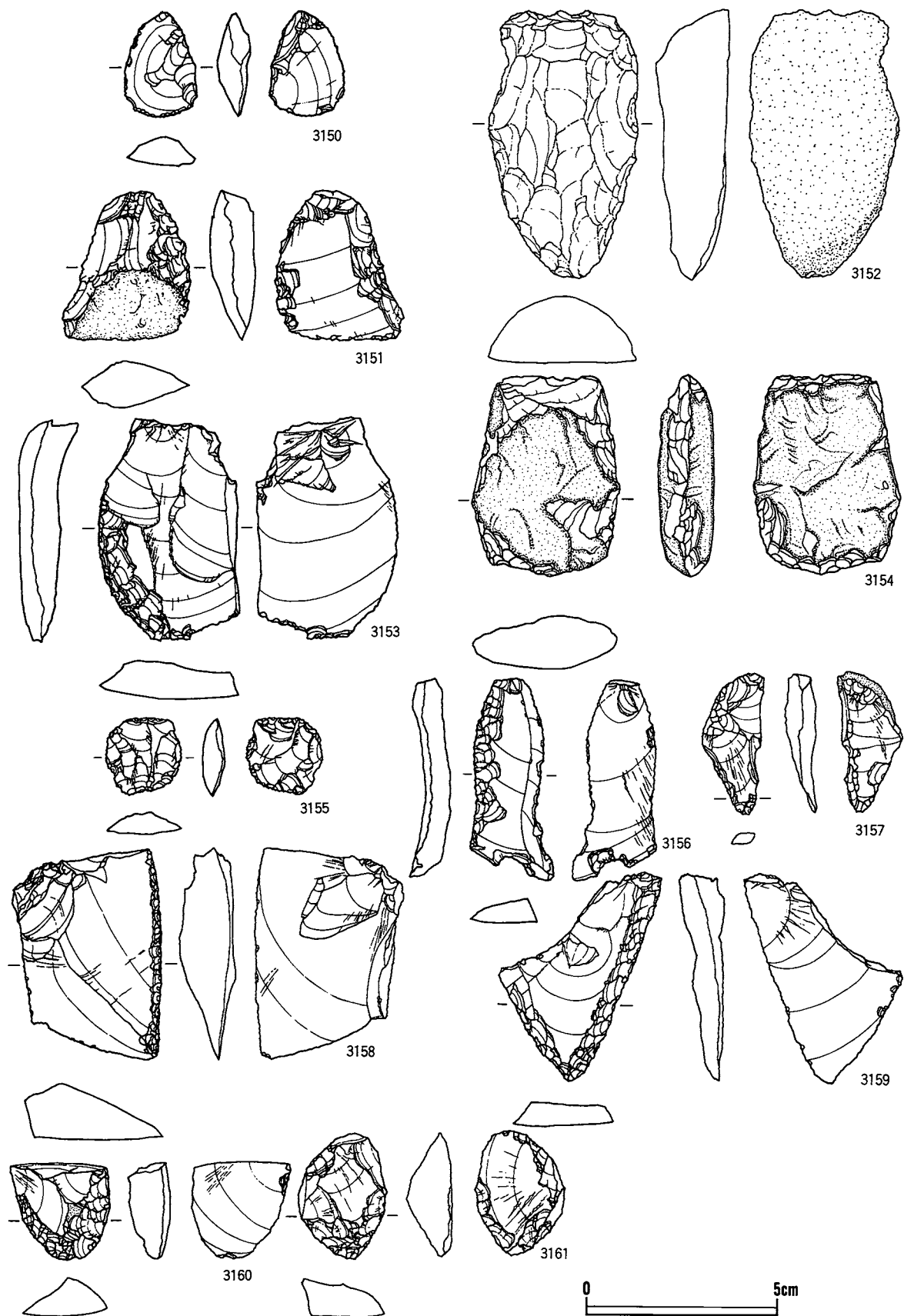


第280图 出土遗物 石器实测图(43)

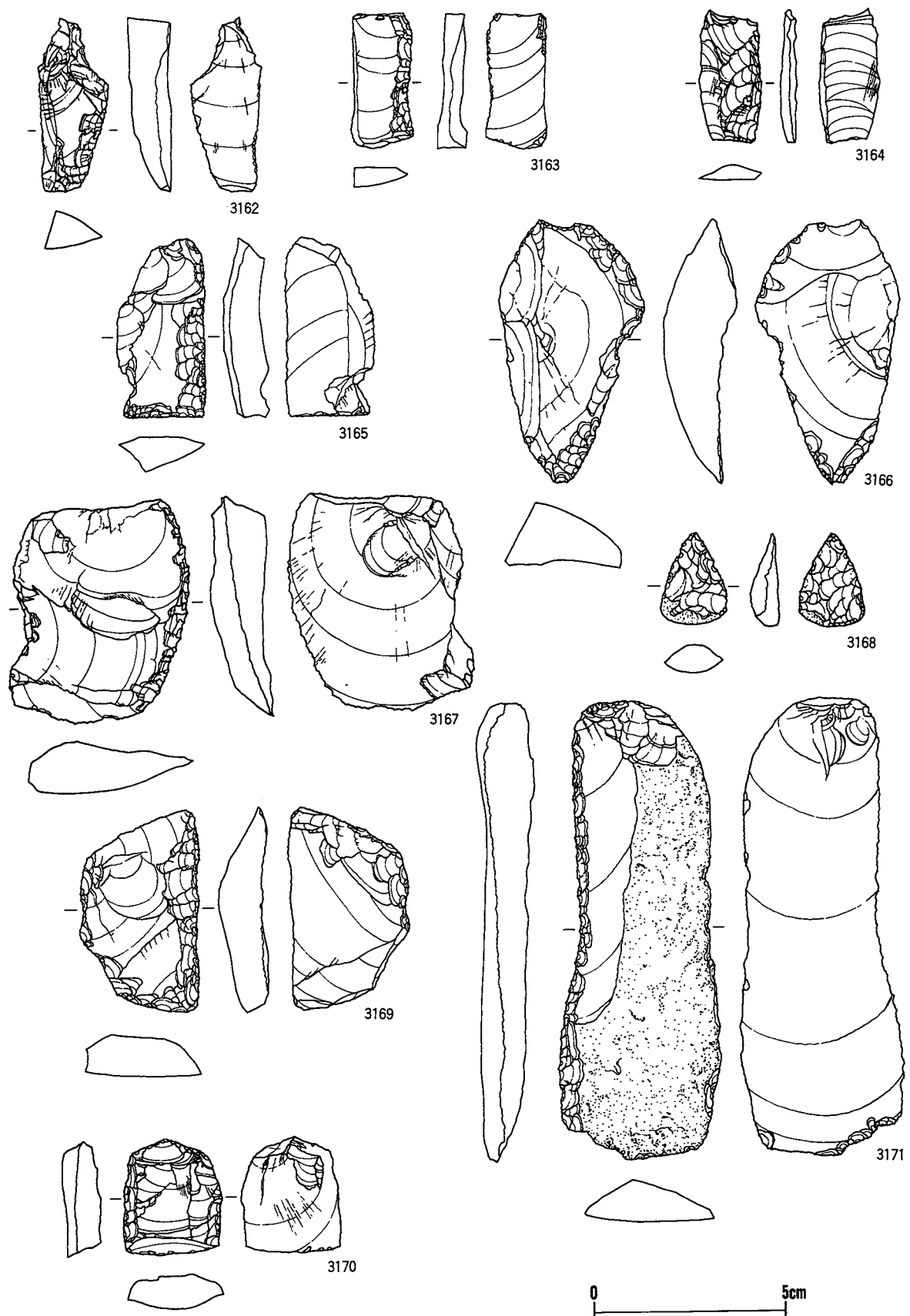


第281图 出土遺物 石器実測図(44)

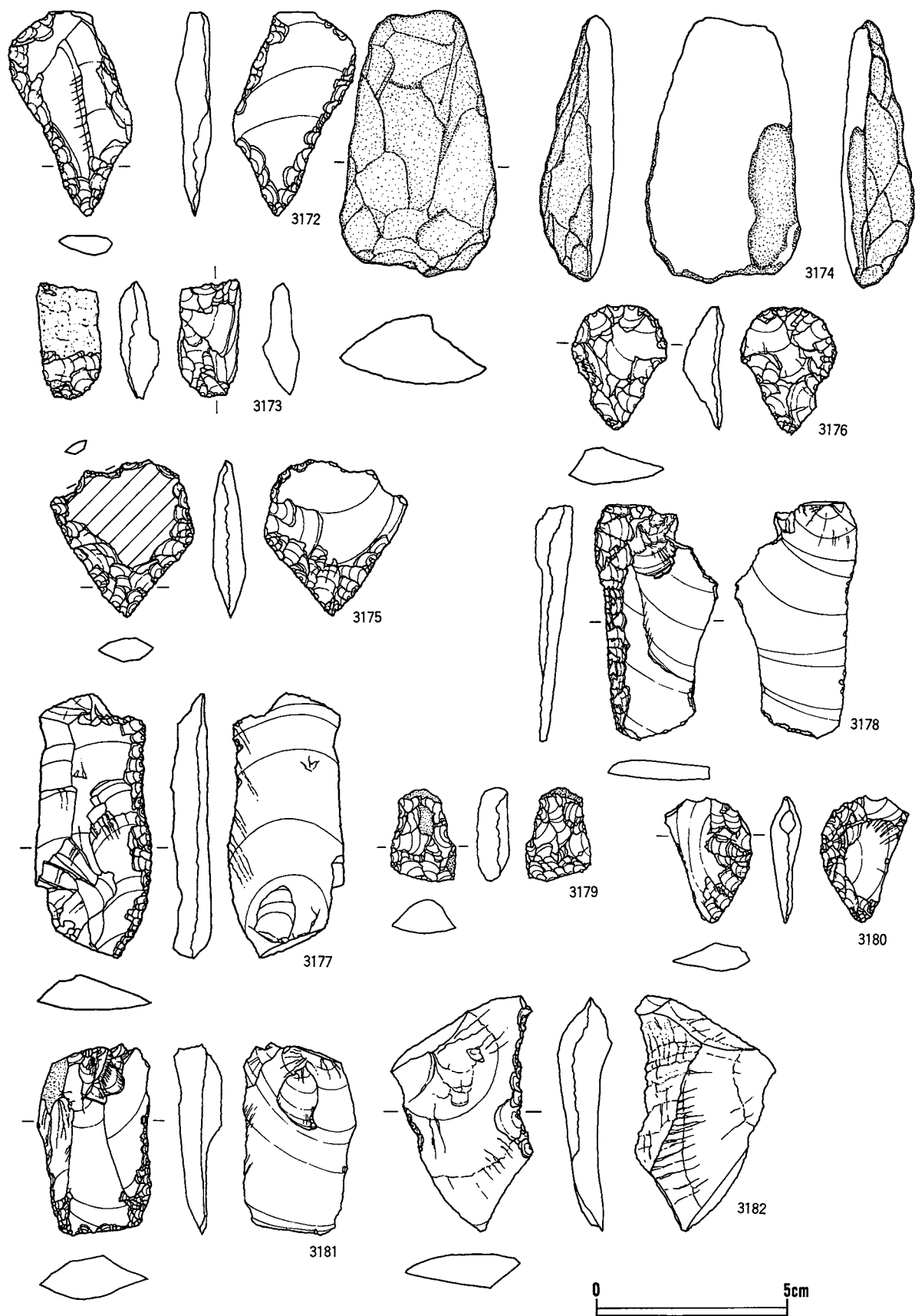




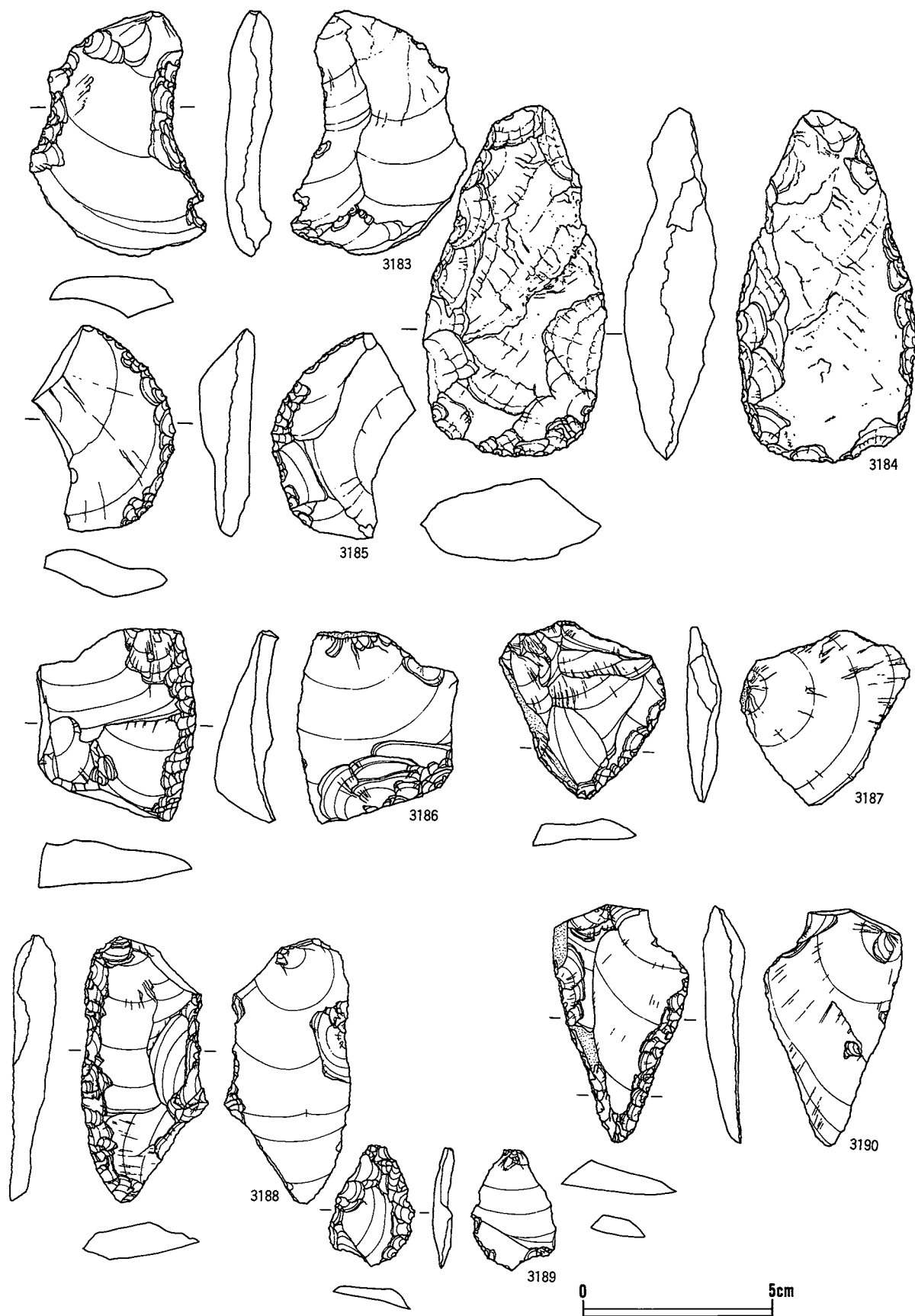
第282图 出土遗物 石器实测图(45)



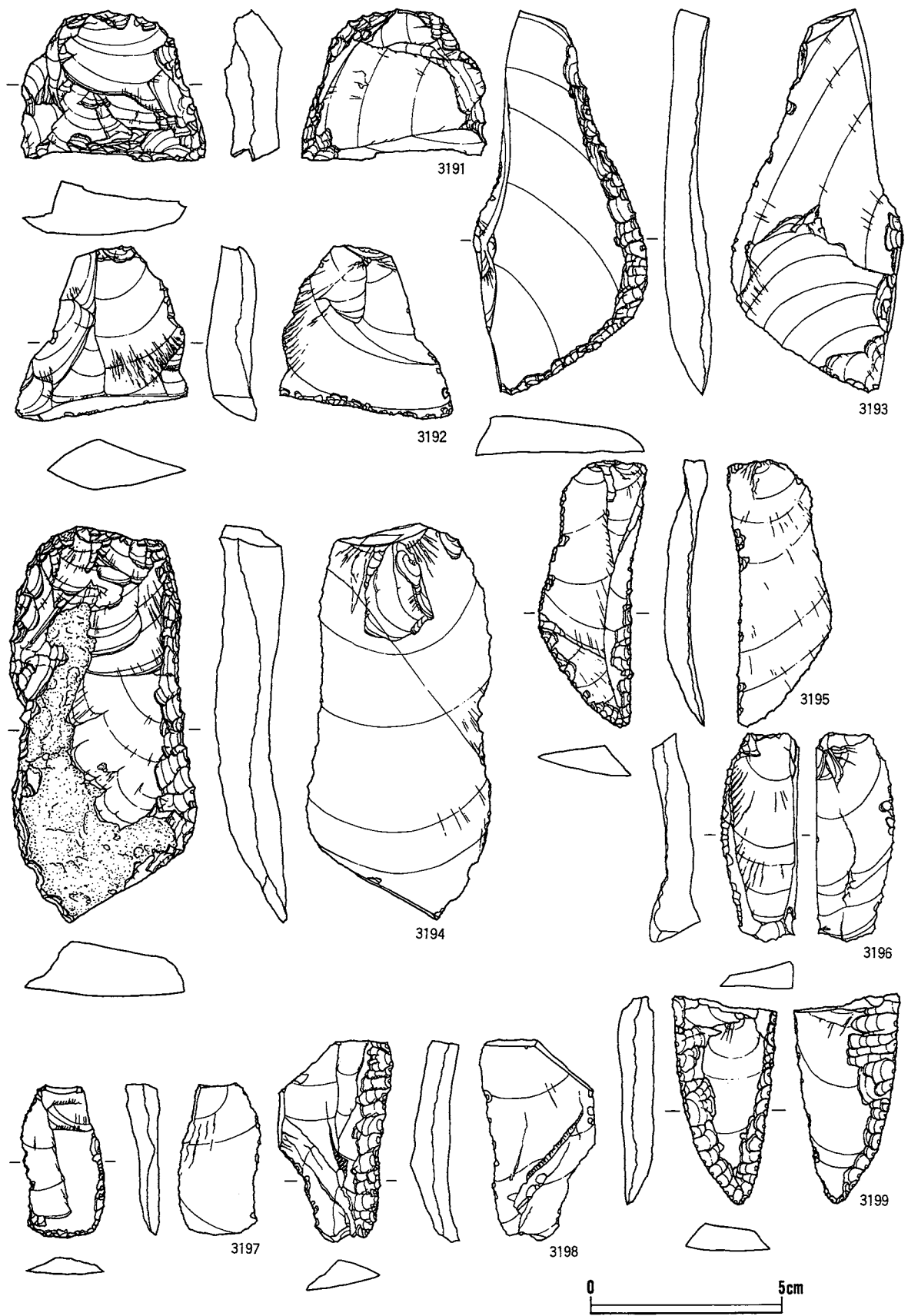
第283图 出土遺物 石器実測図(46)



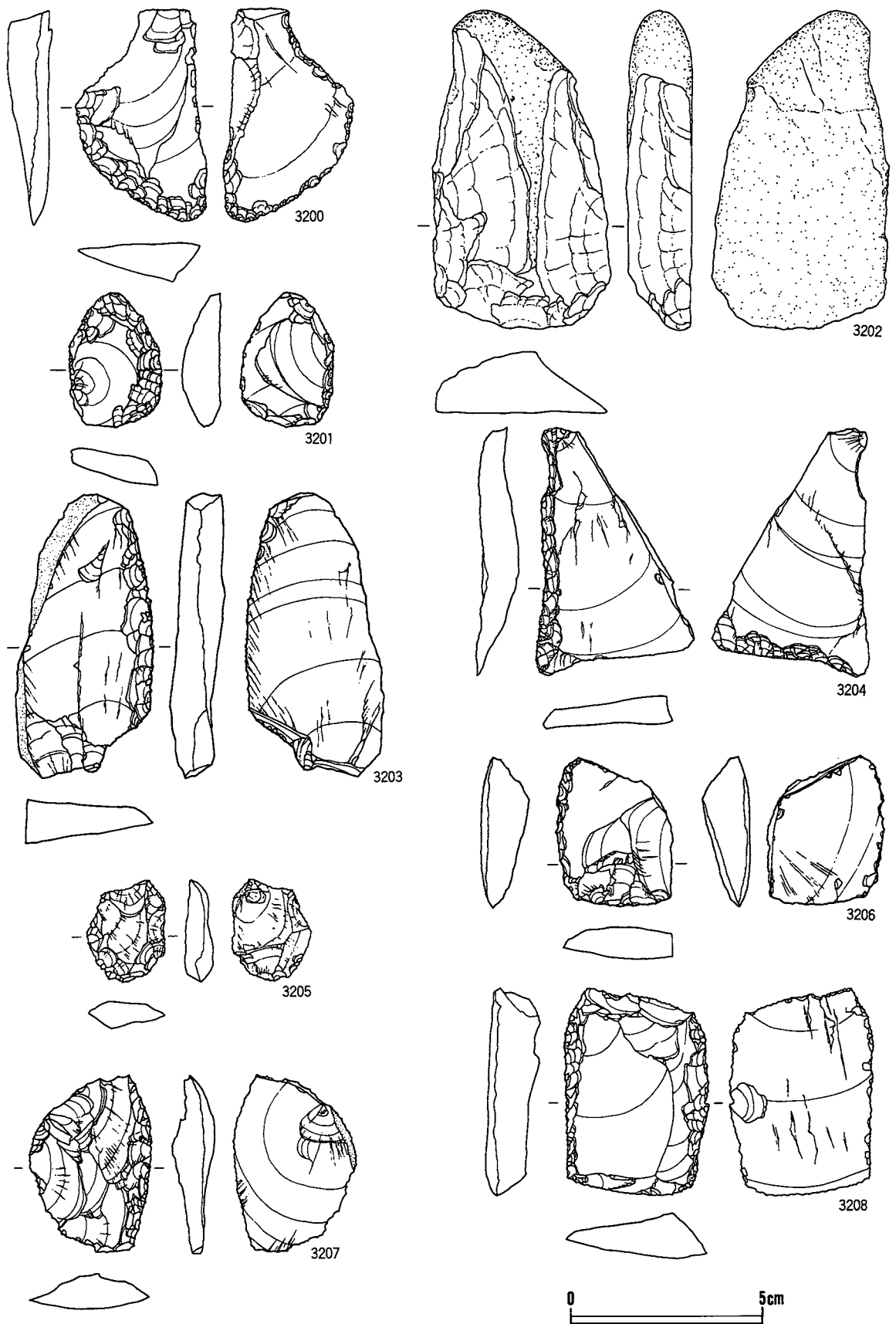
第284图 出土遗物 石器实测图(47)



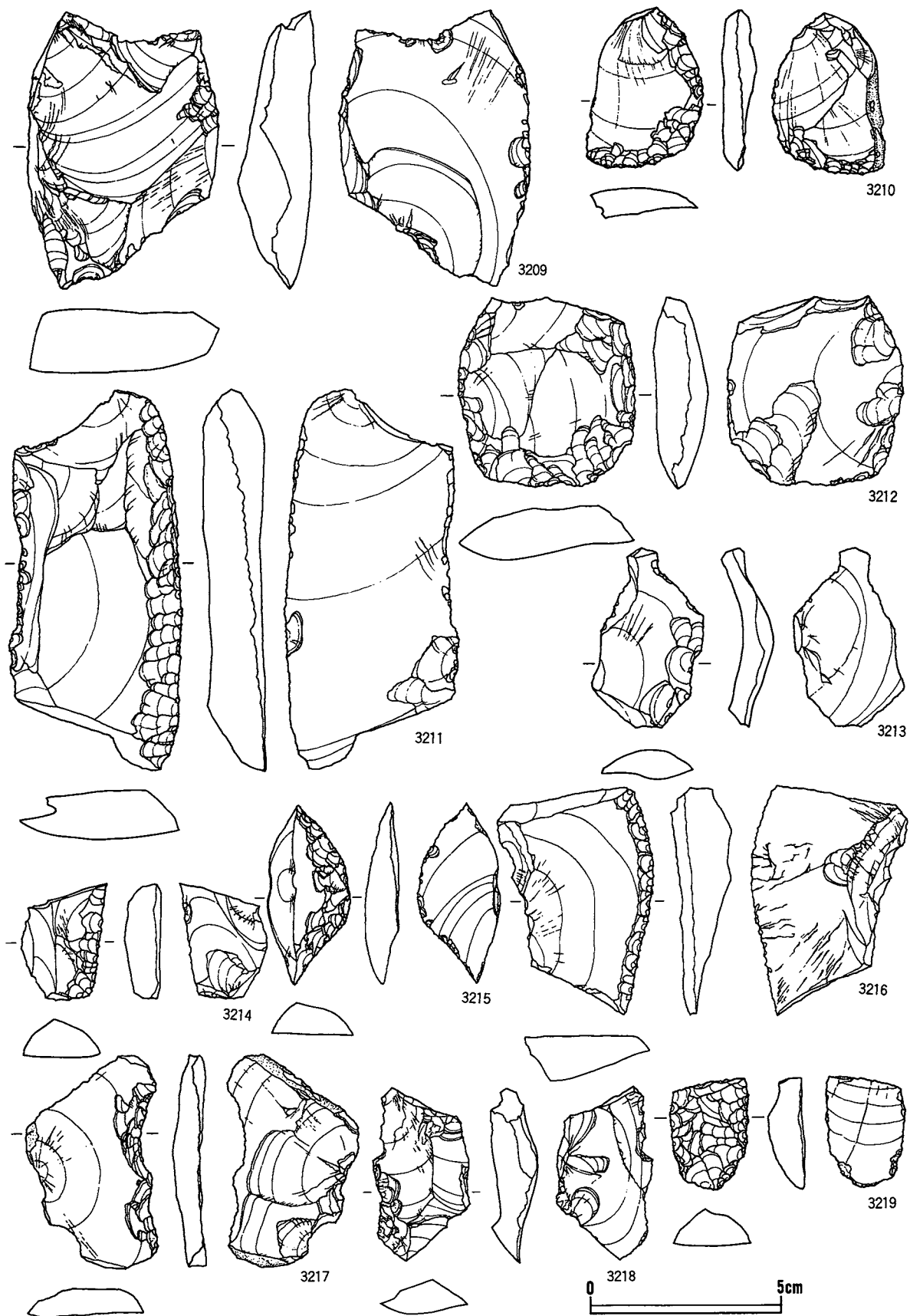
第285图 出土遗物 石器实测图(48)



第286图 出土遗物 石器实测图(49)



第287图 出土遺物 石器実測図(50)

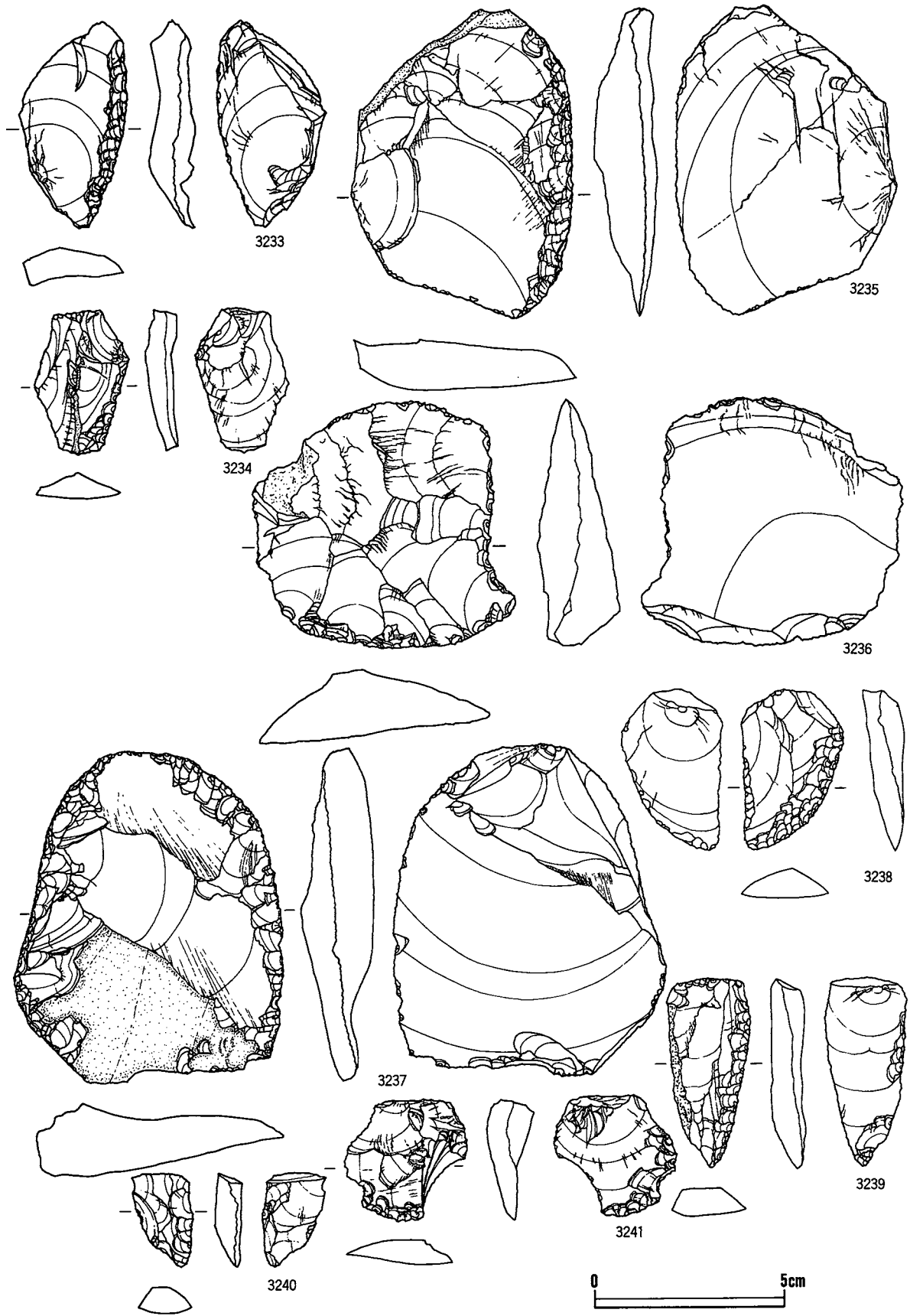


第288图 出土遺物 石器実測図(51)

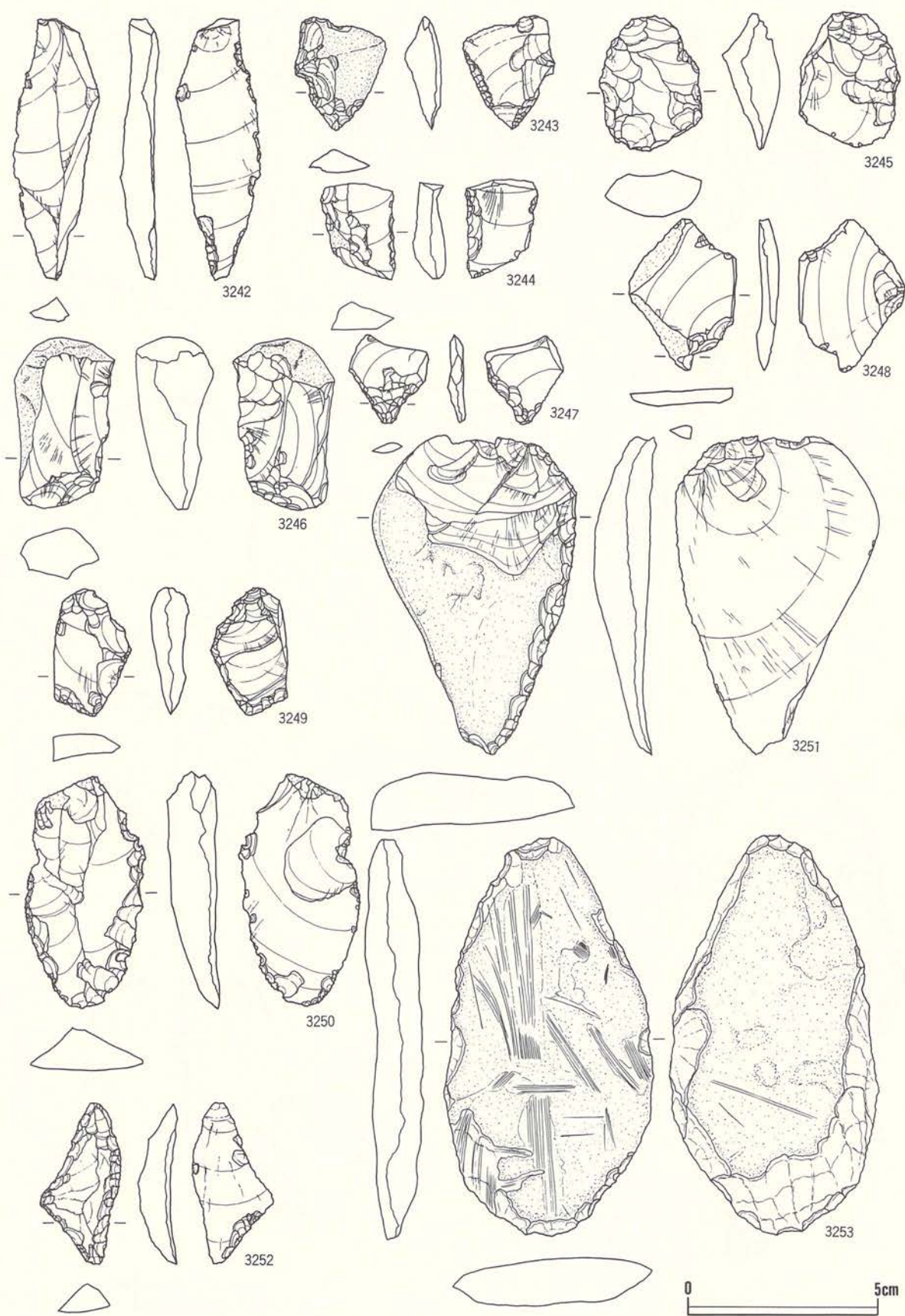


第289圖 出土遺物 石器実測図(52)

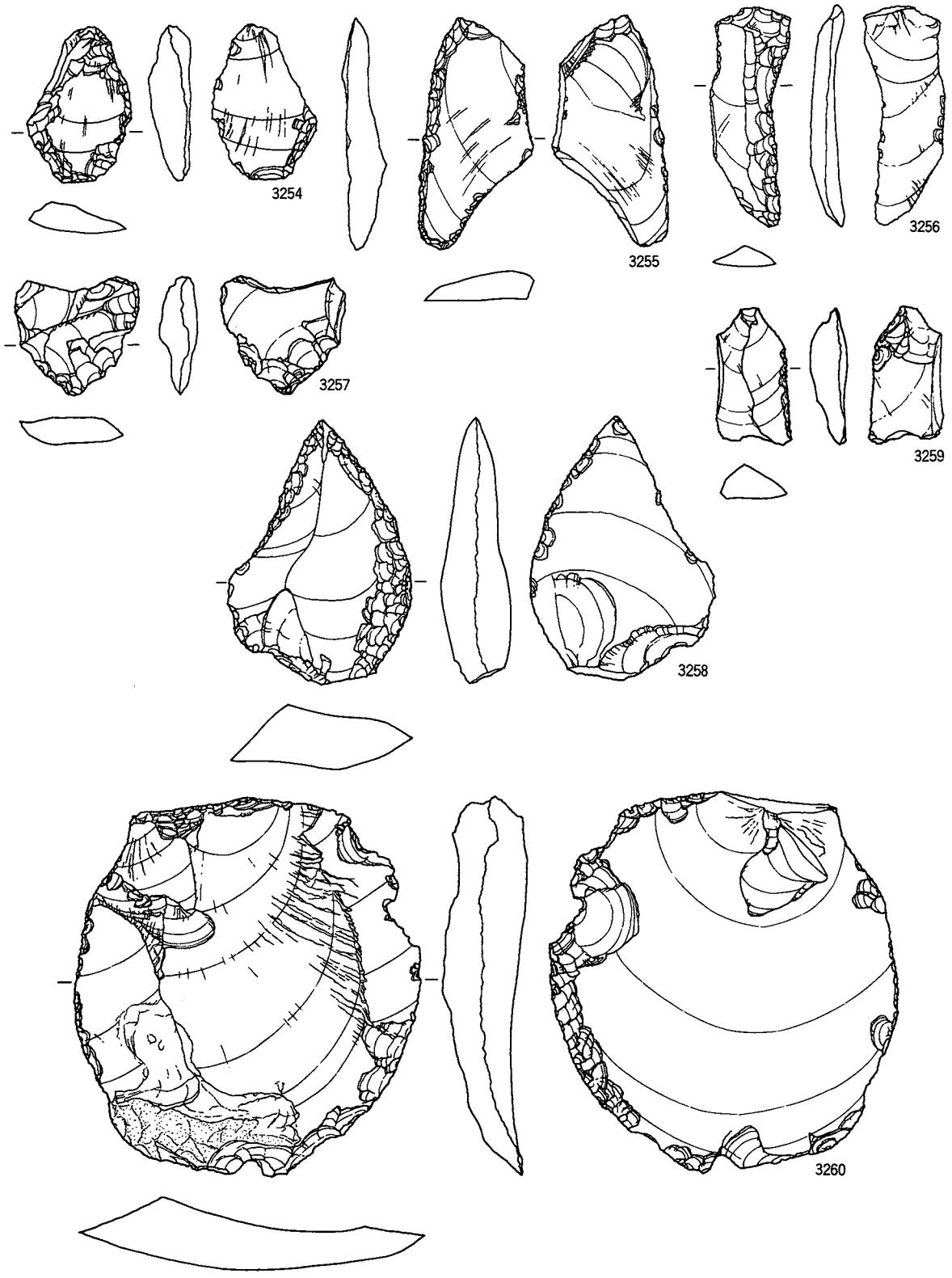




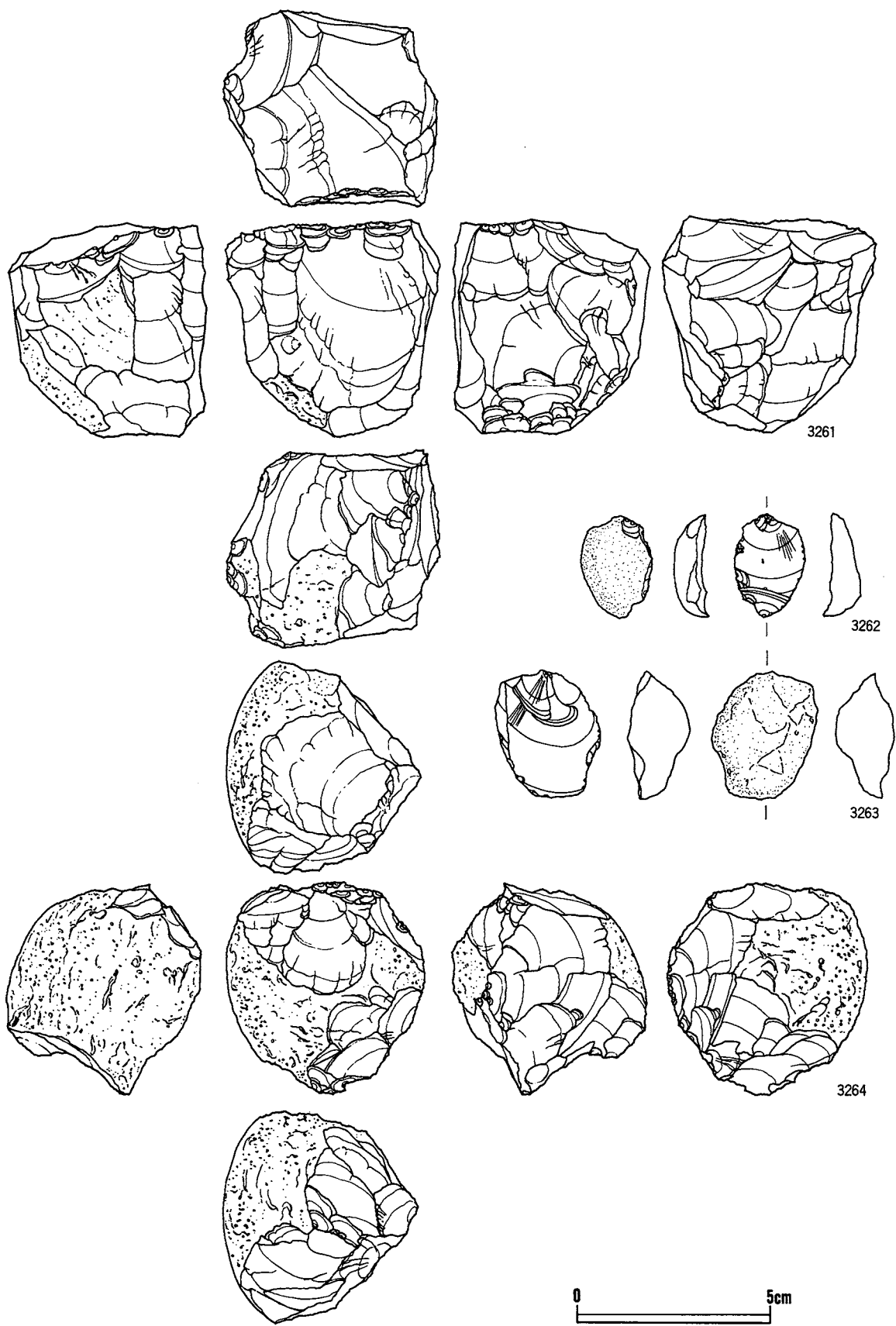
第290图 出土遗物 石器实测图(53)



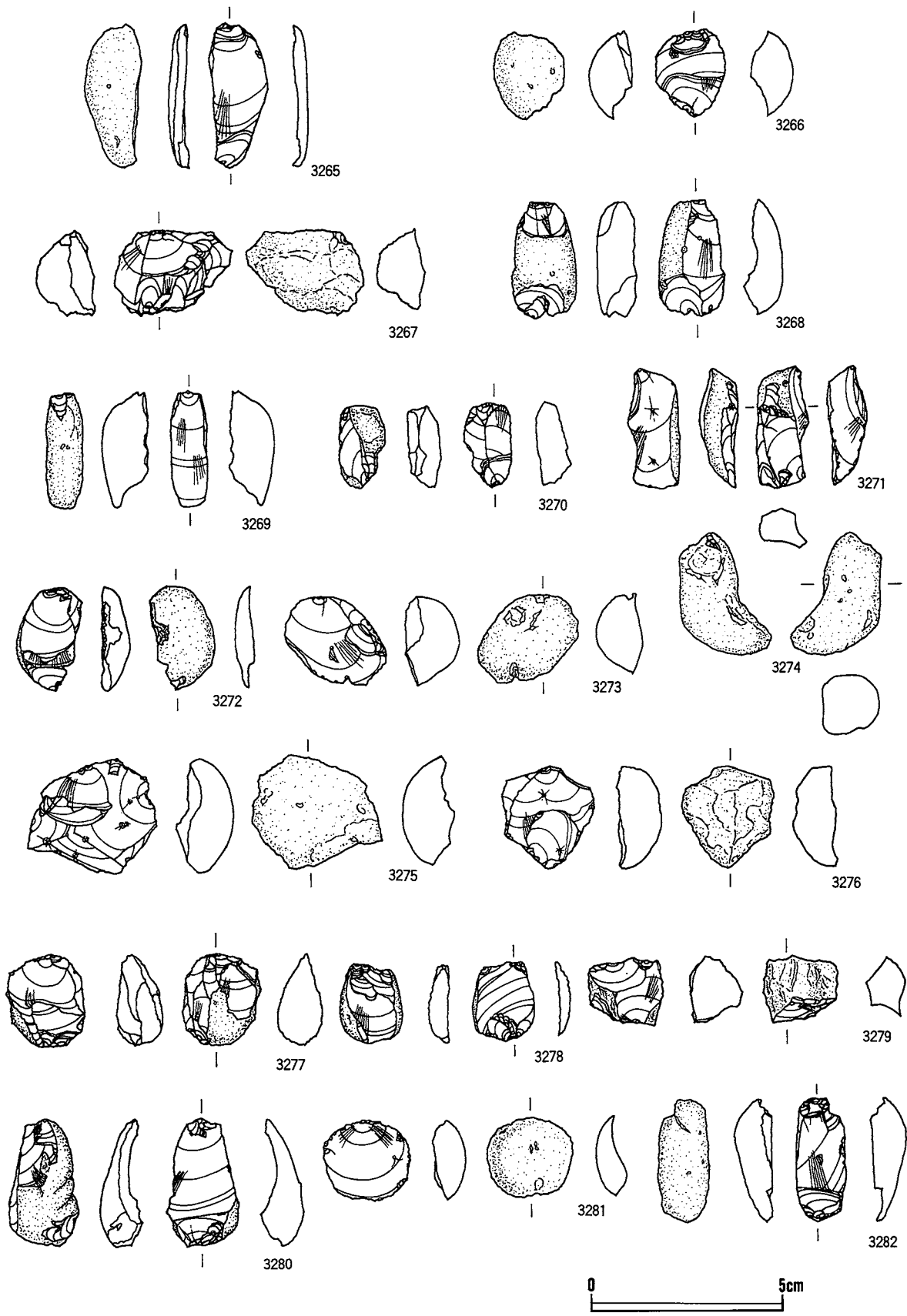
第291图 出土遺物 石器実測図(54)



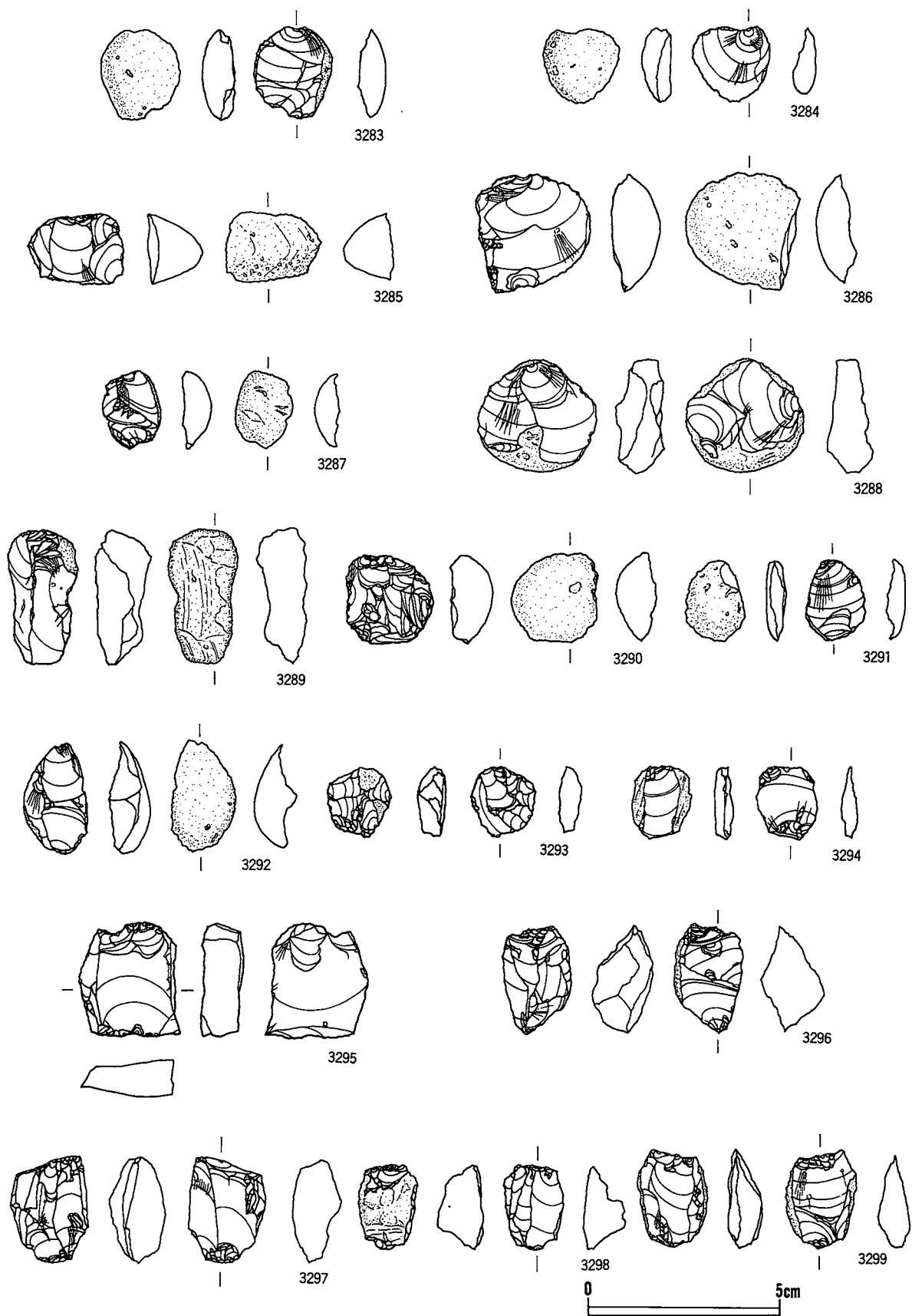
第292图 出土遺物 石器実測図(55)



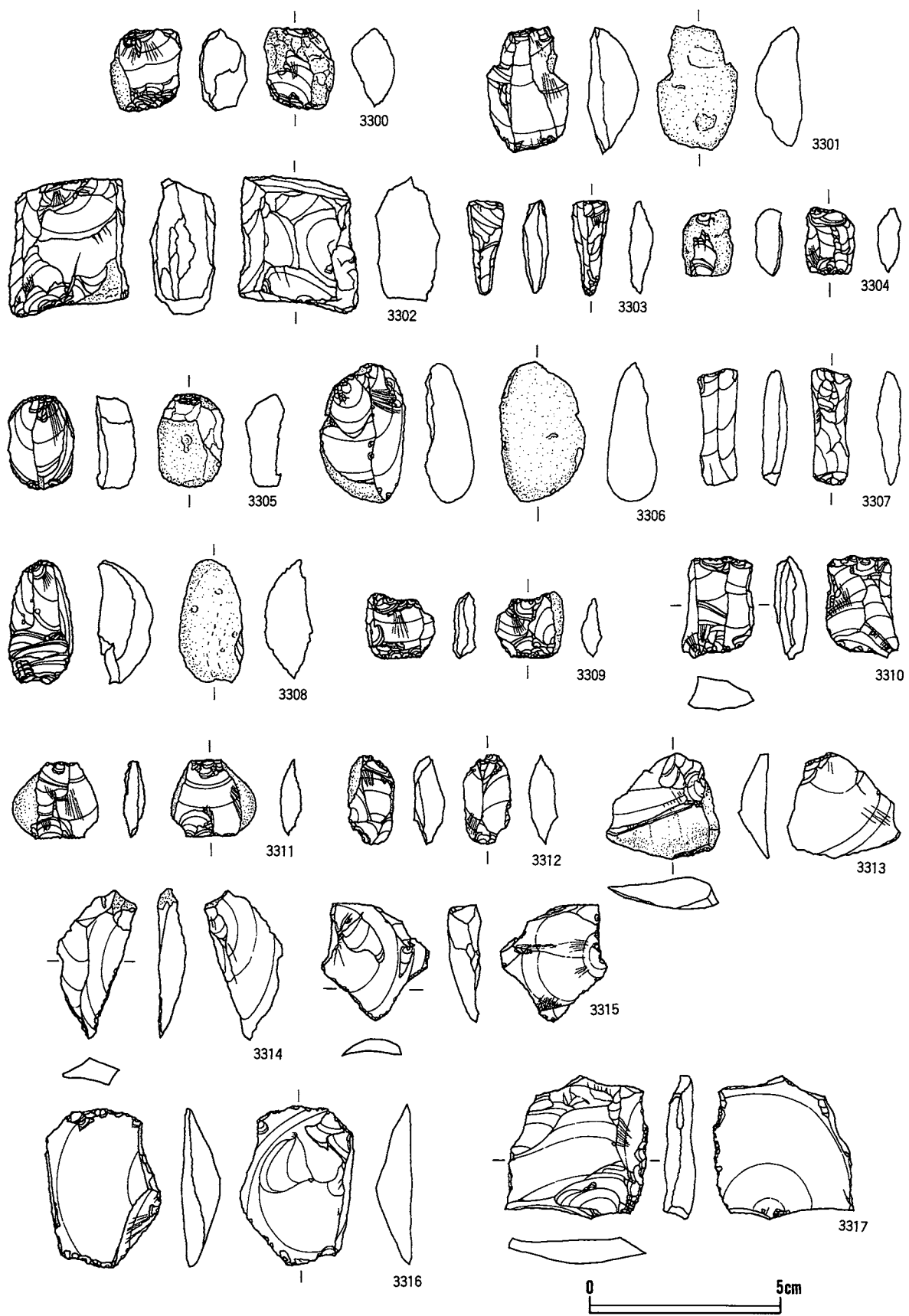
第293图 出土遗物 石器实测图(56)



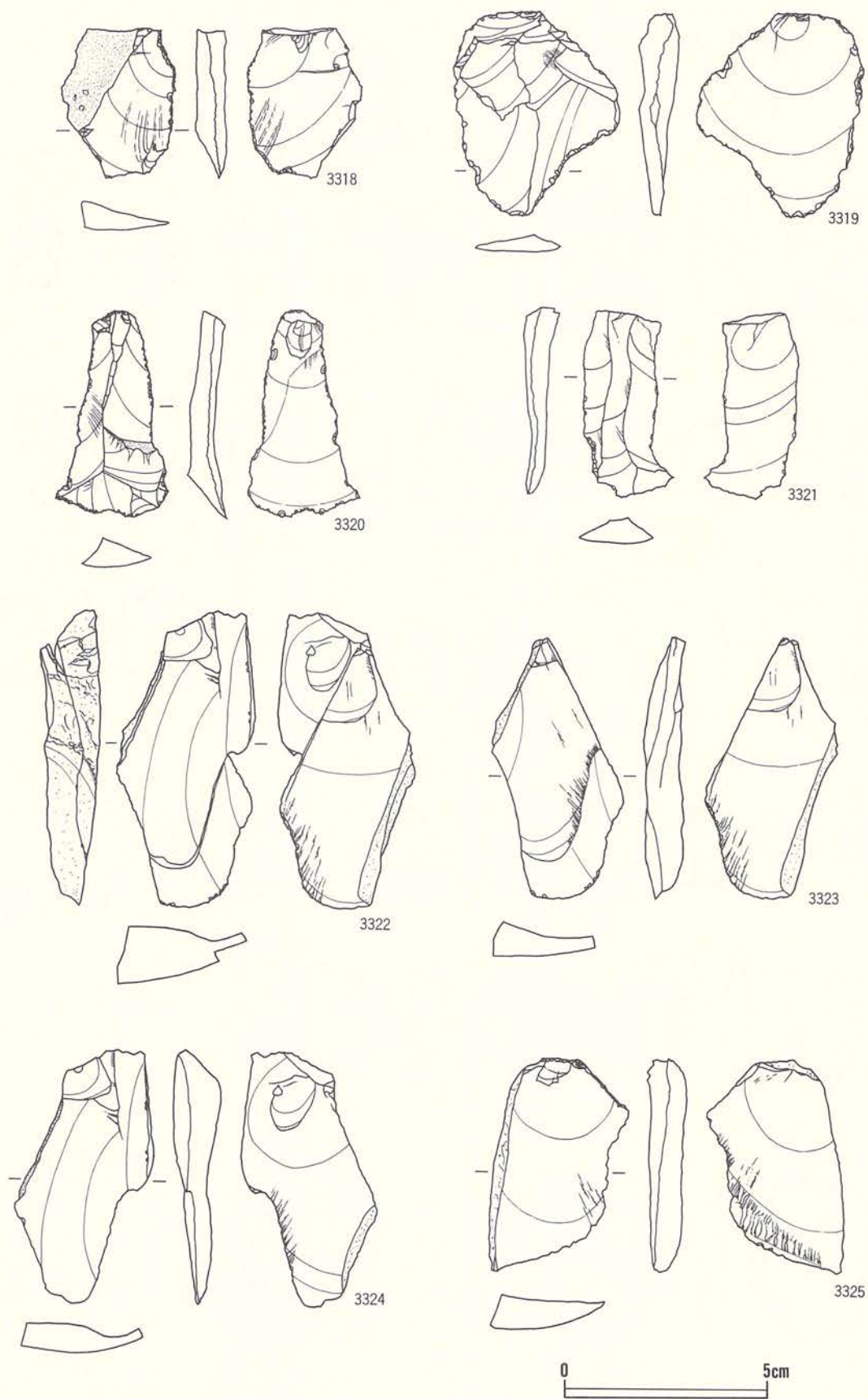
第294图 出土遺物 石器実測図(57)



第295图 出土遺物 石器実測図(58)

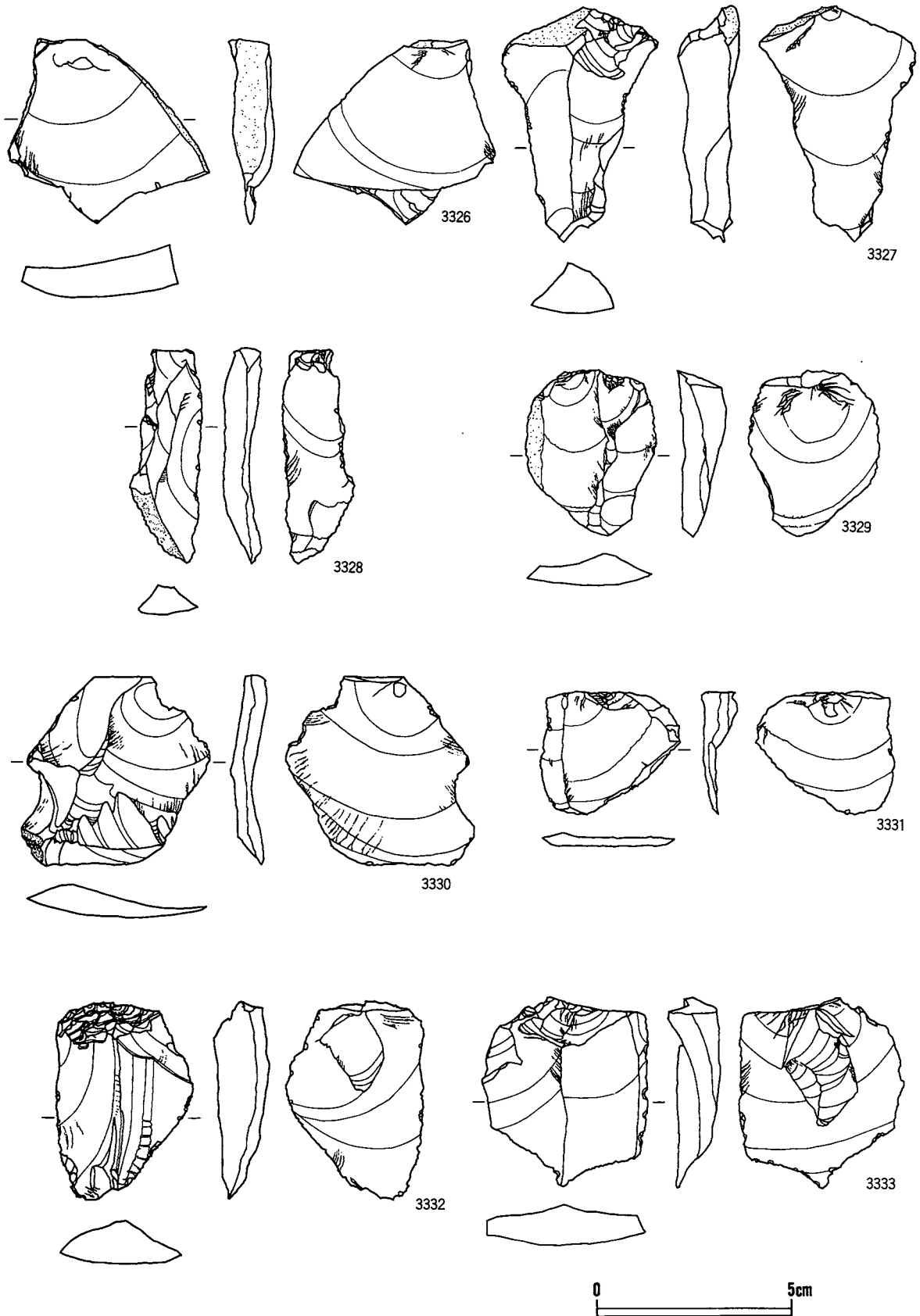


第296图 出土遺物 石器実測図(59)

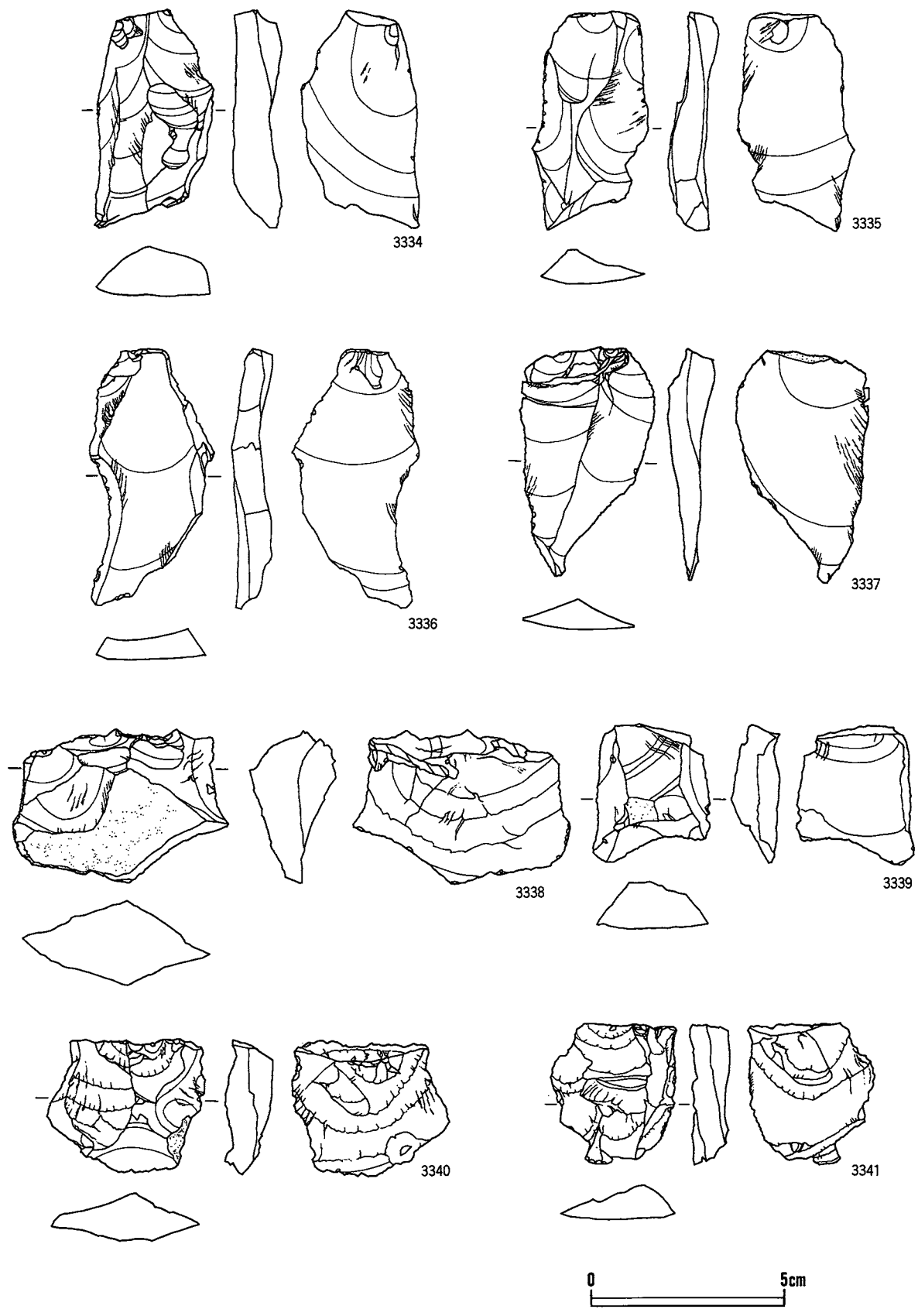


第297图 出土遺物 石器実測図(60)

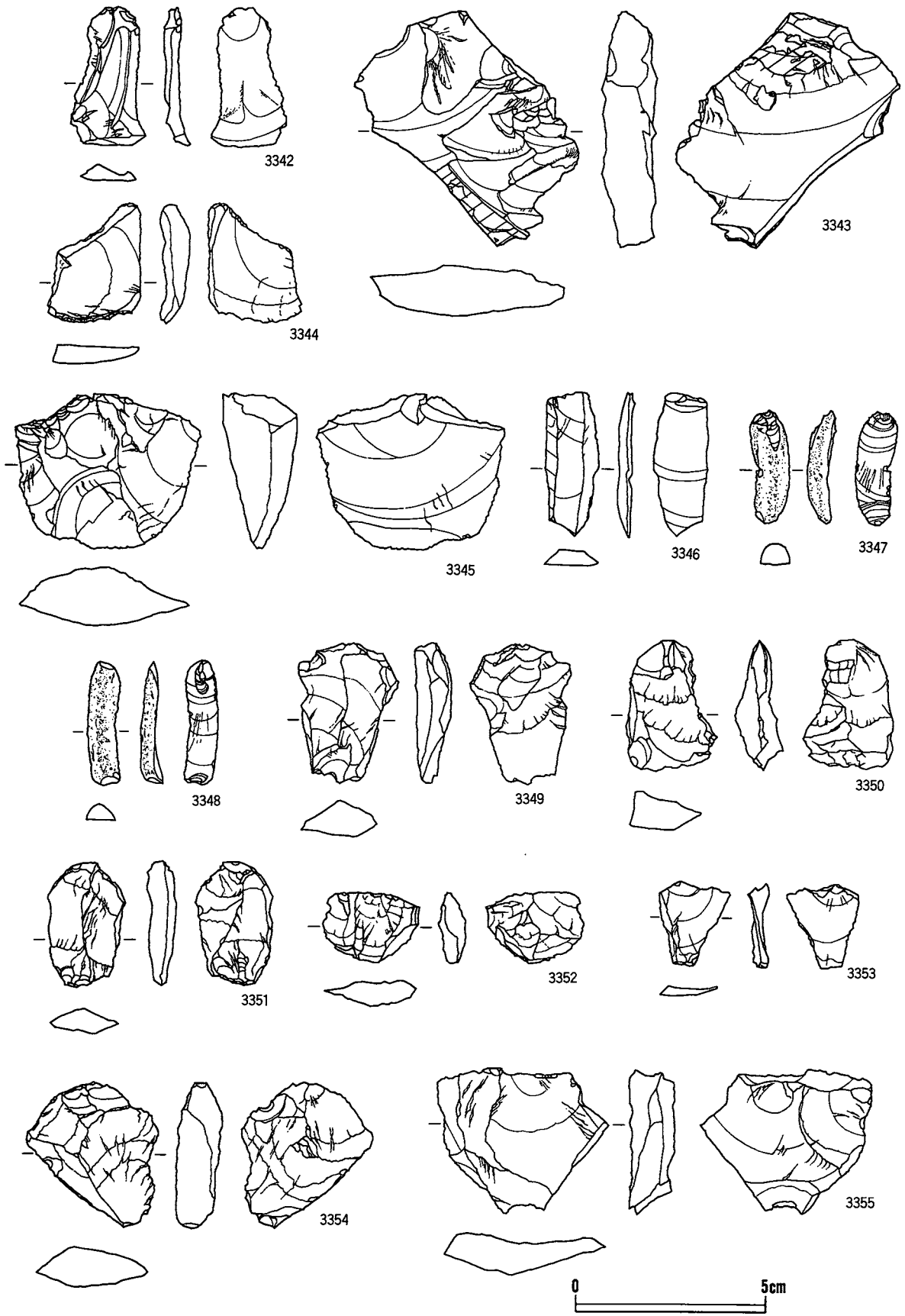




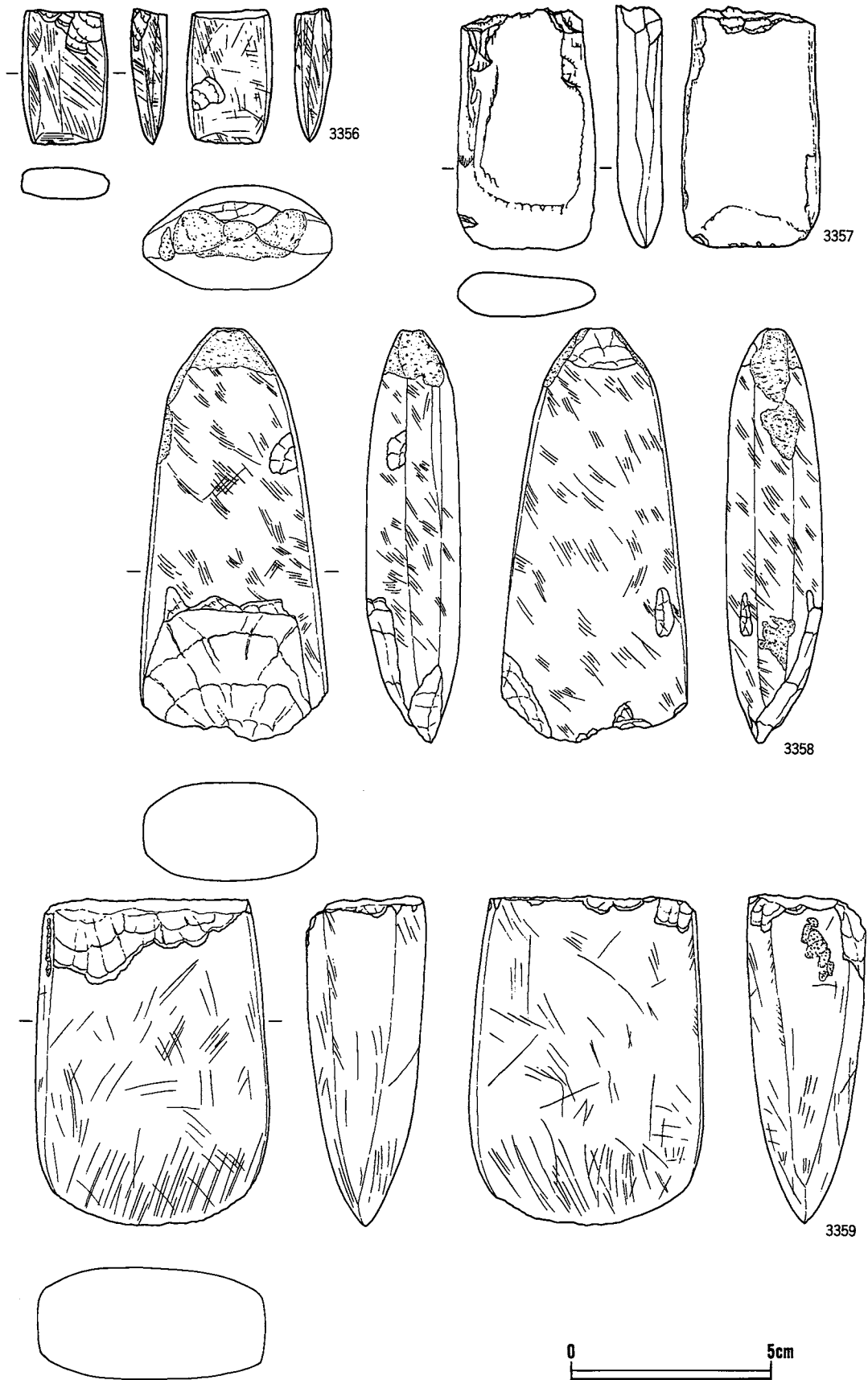
第298图 出土遗物 石器实测图(61)



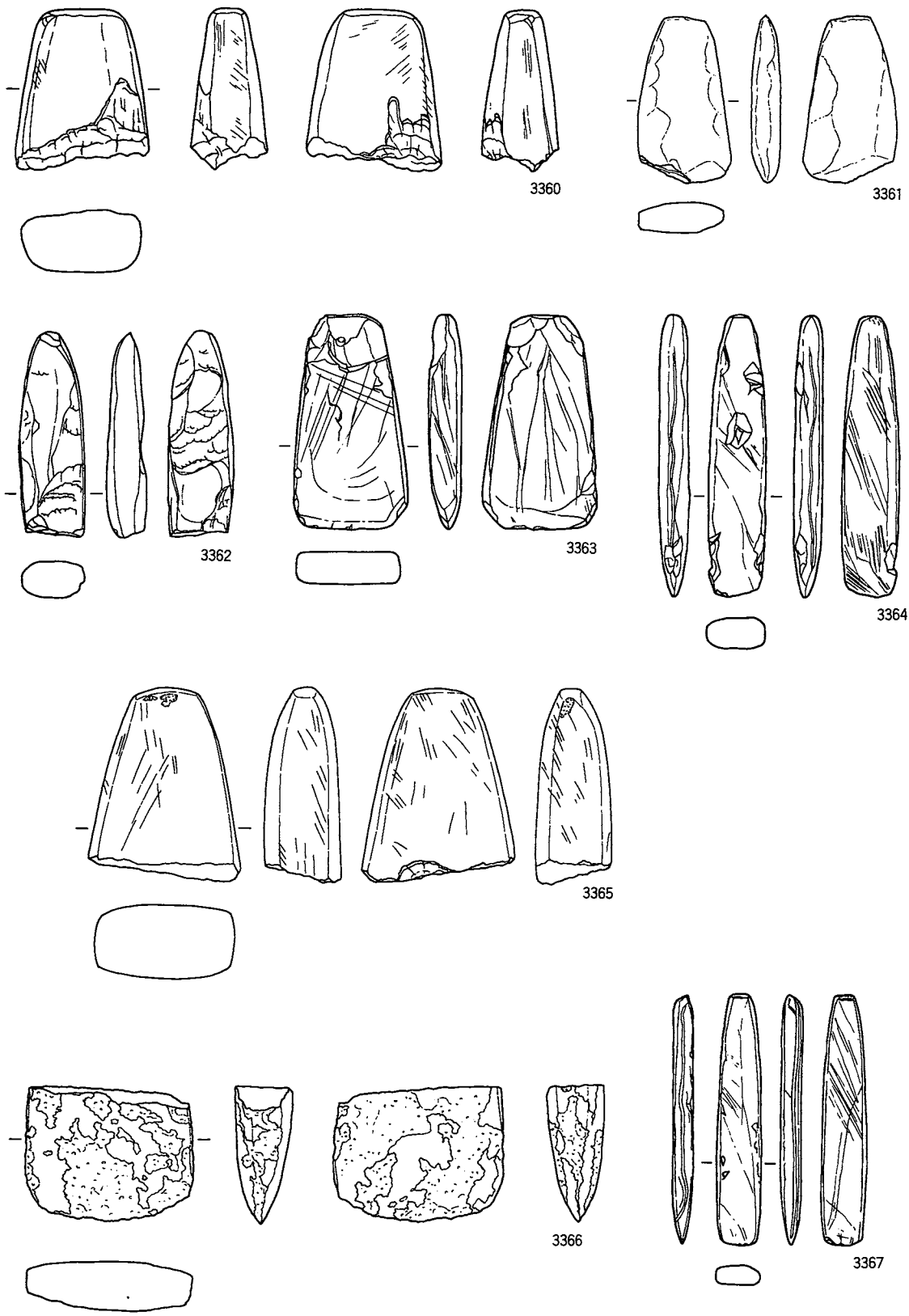
第299图 出土遗物 石器实测图(62)



第300图 出土遗物 石器实测图(63)

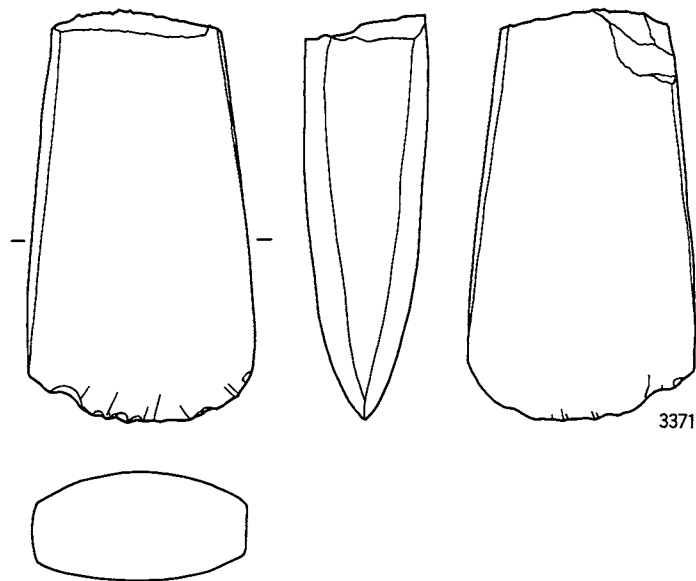
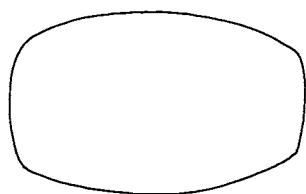
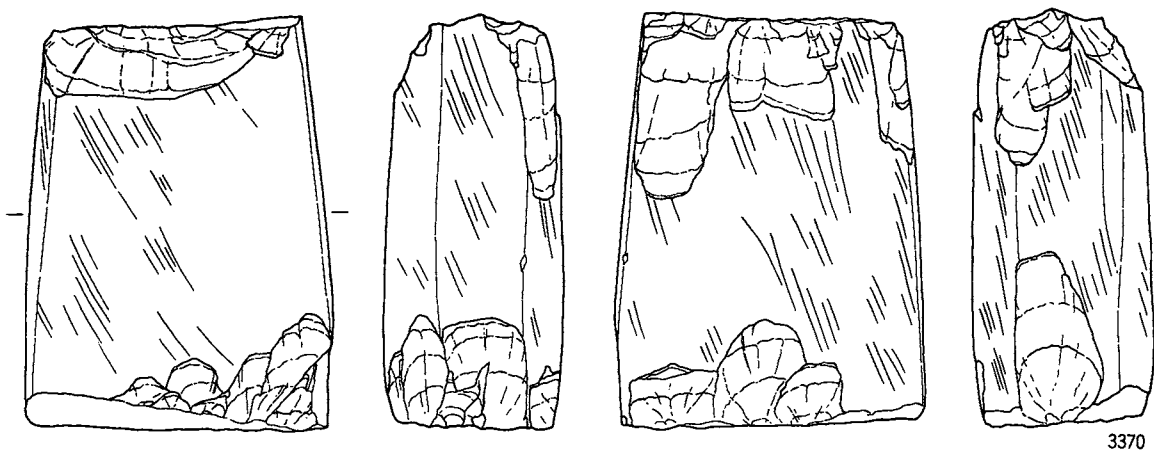
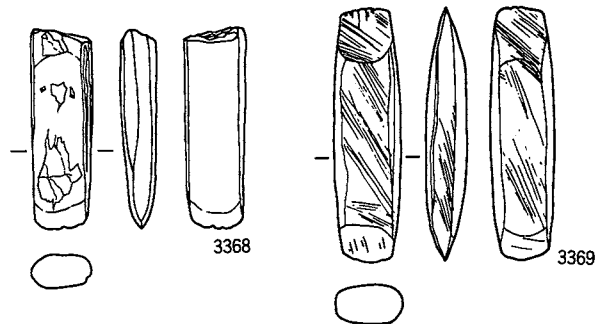


第301图 出土遗物 石器实测图(64)

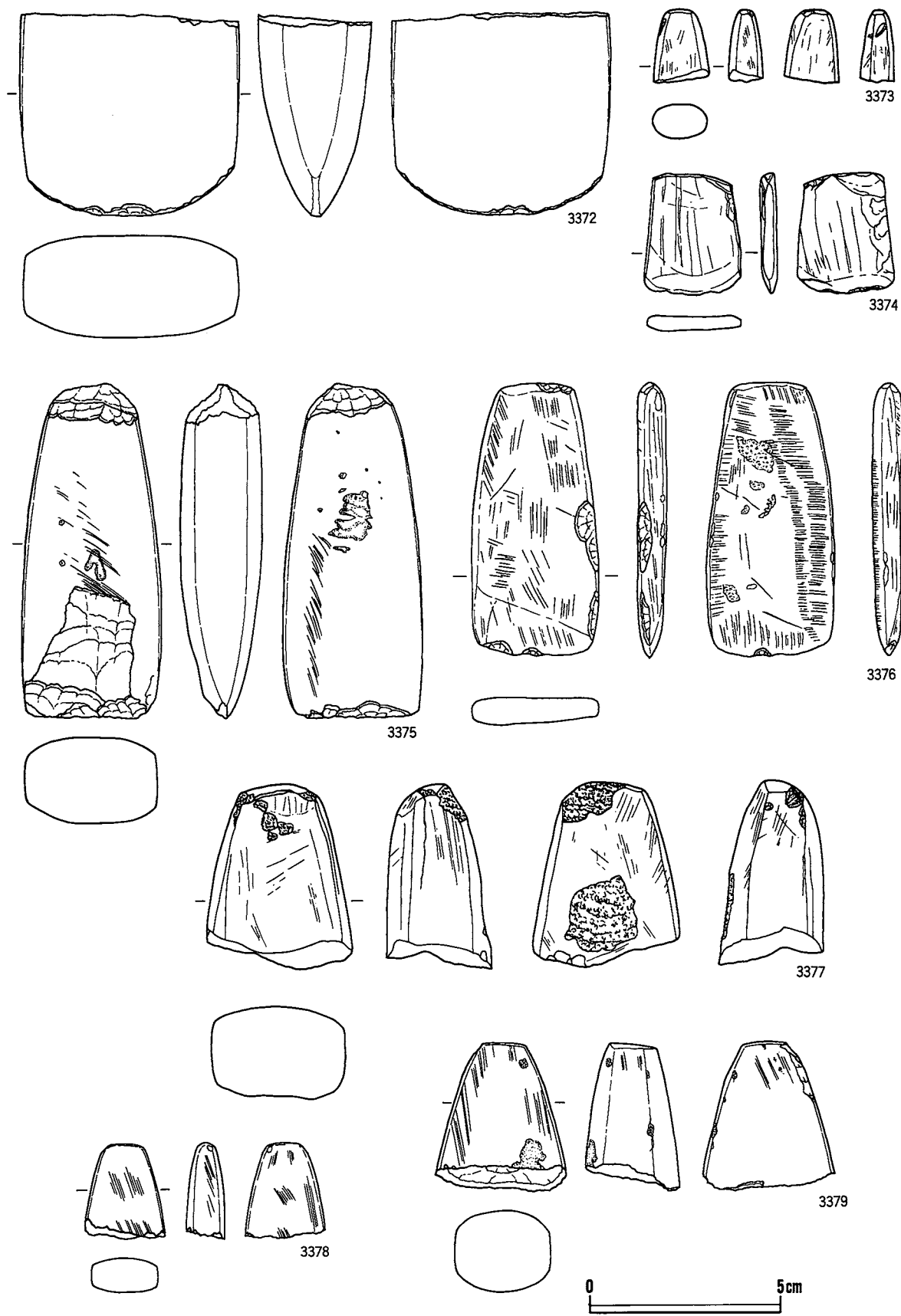


0 5cm

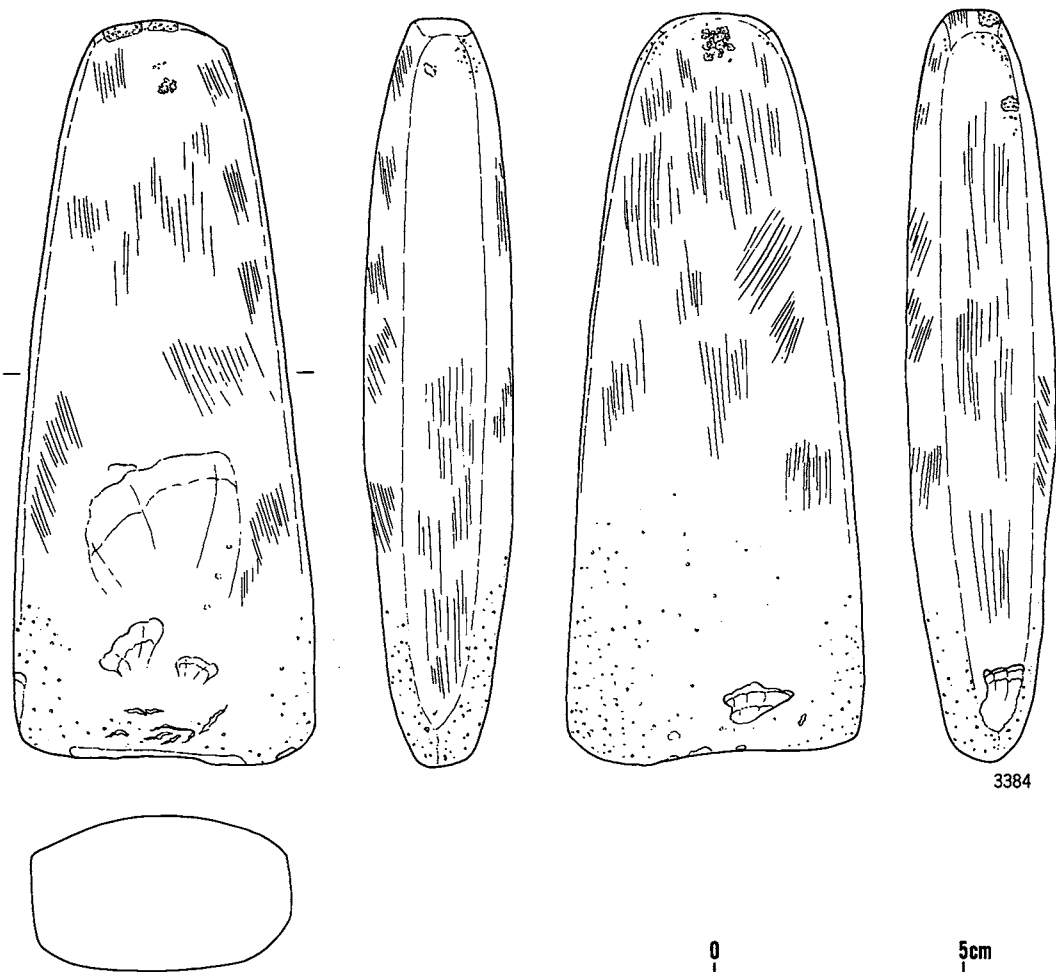
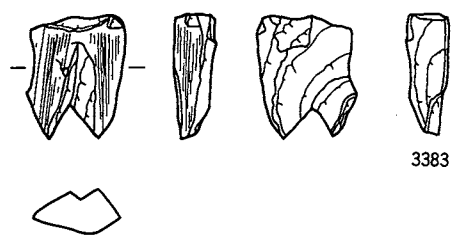
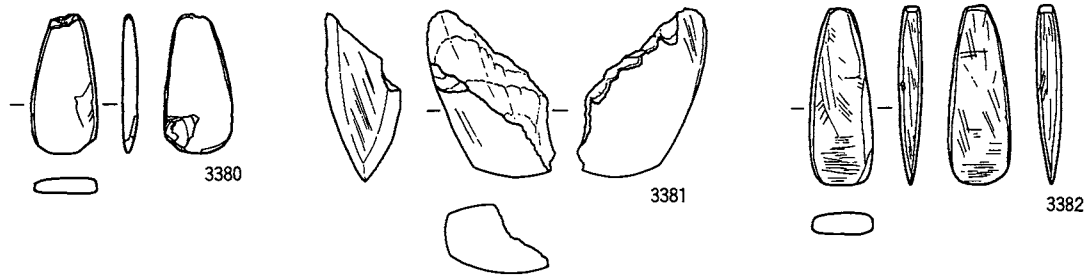
第302図 出土遺物 石器実測図(65)



第303图 出土遗物 石器实测图(66)

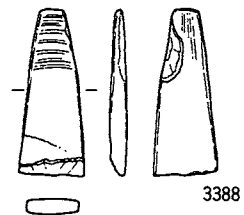
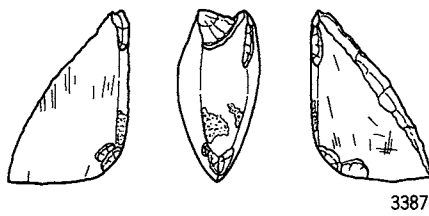
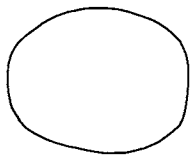
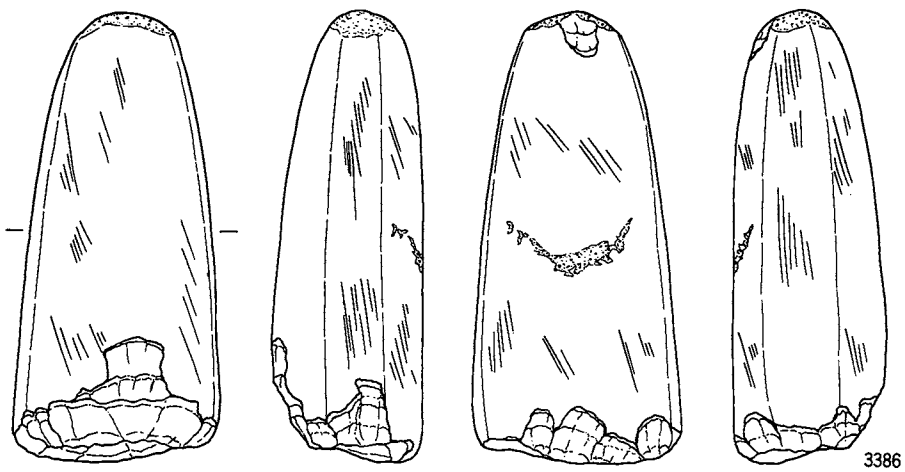
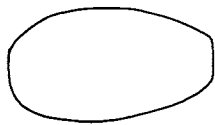
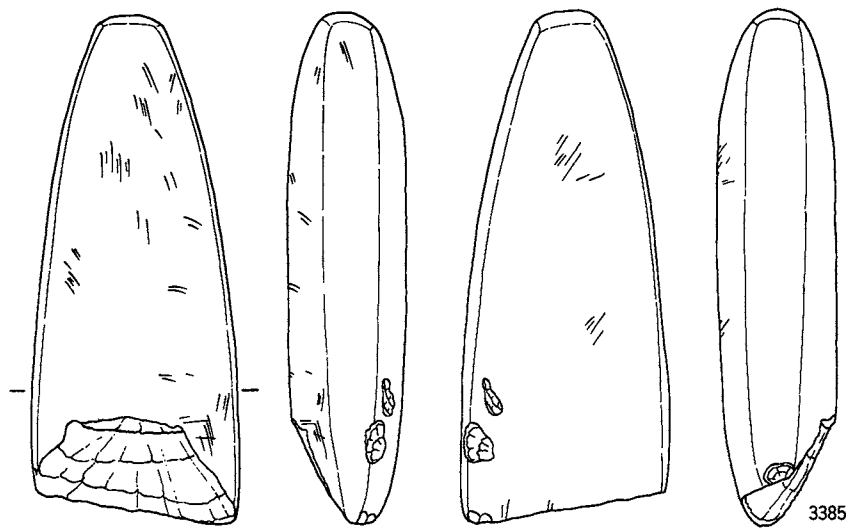


第304图 出土遺物 石器実測図(67)

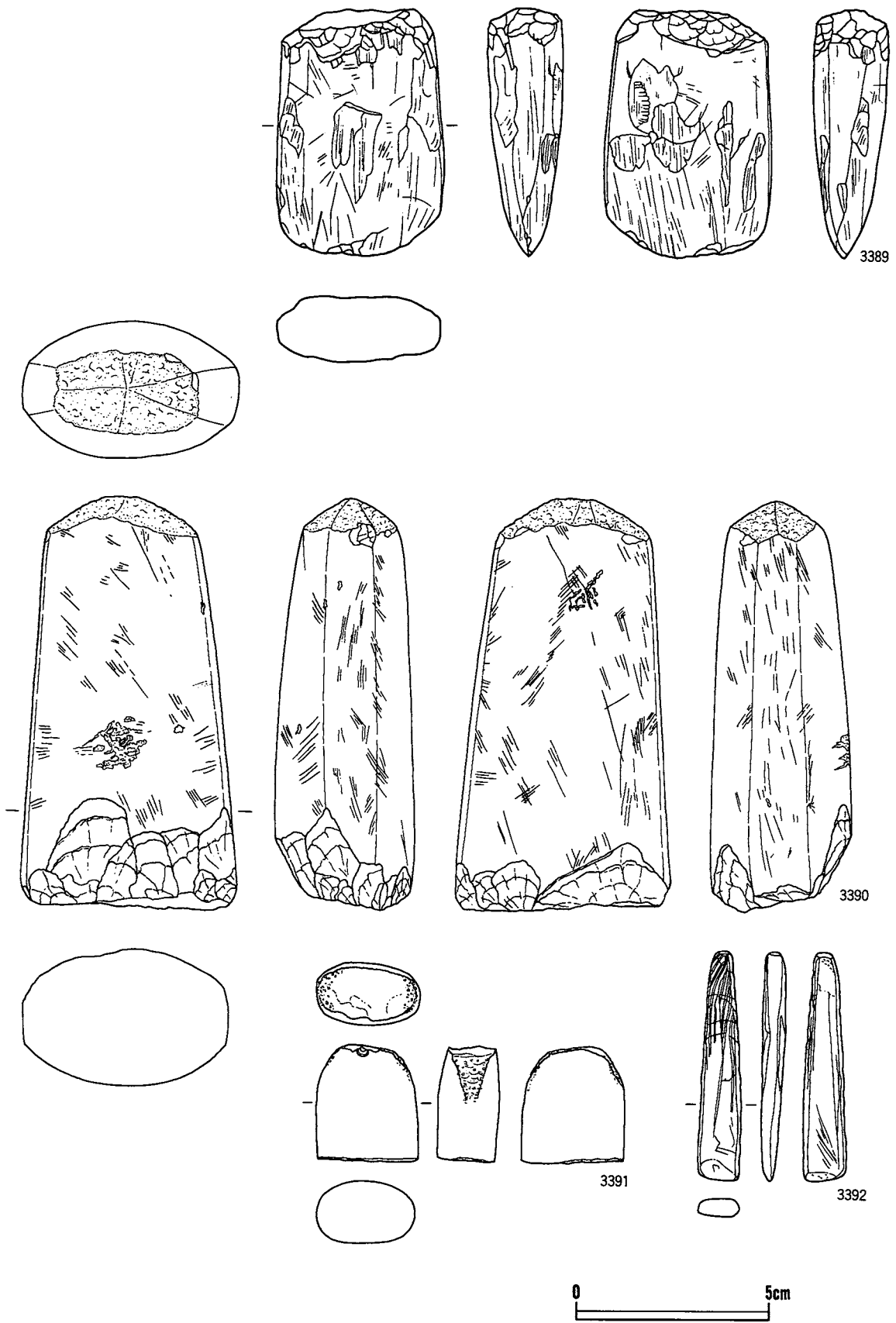


第305図 出土遺物 石器実測図(68)

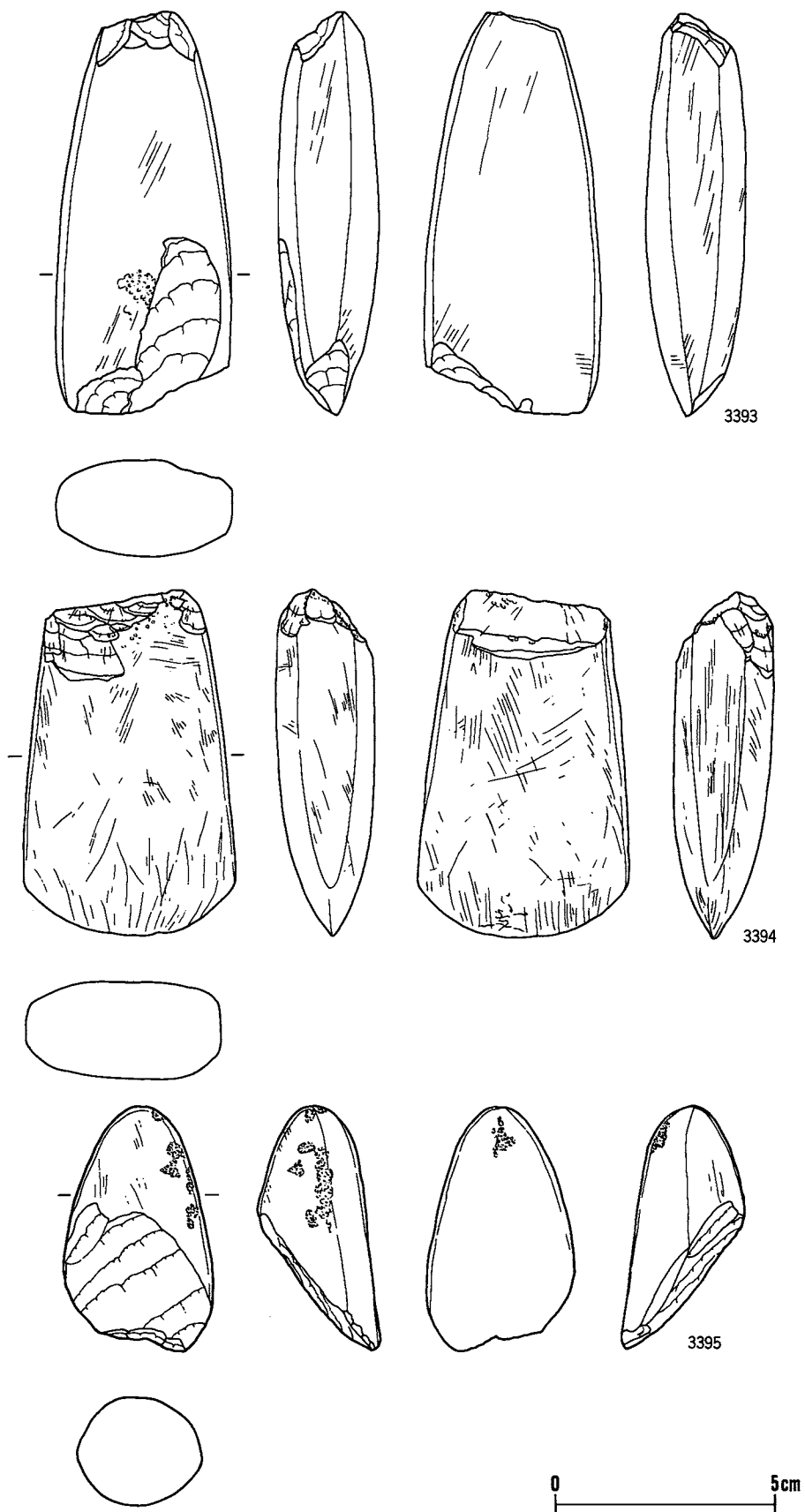




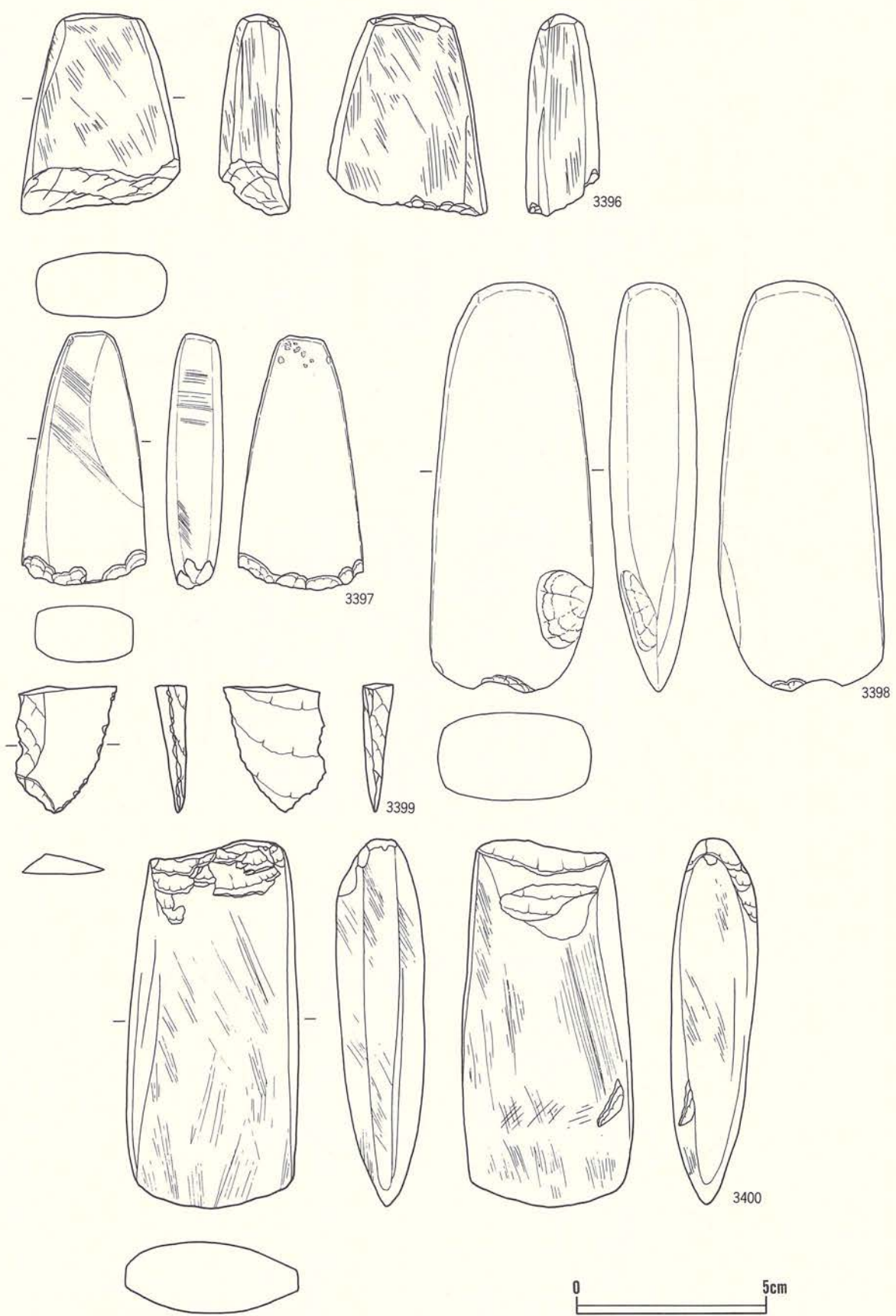
第306图 出土遺物 石器実測図(69)



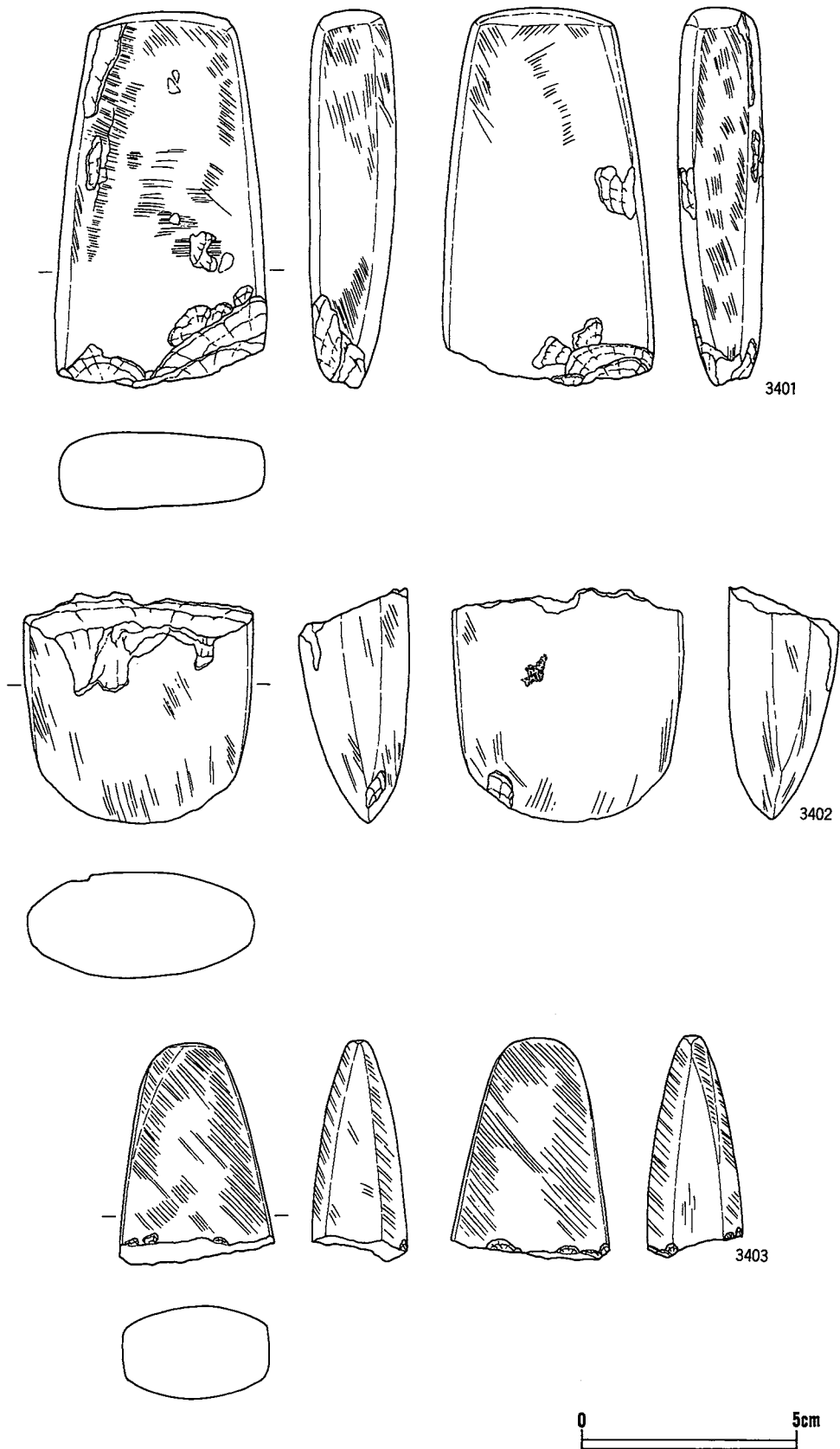
第307図 出土遺物 石器実測図(70)



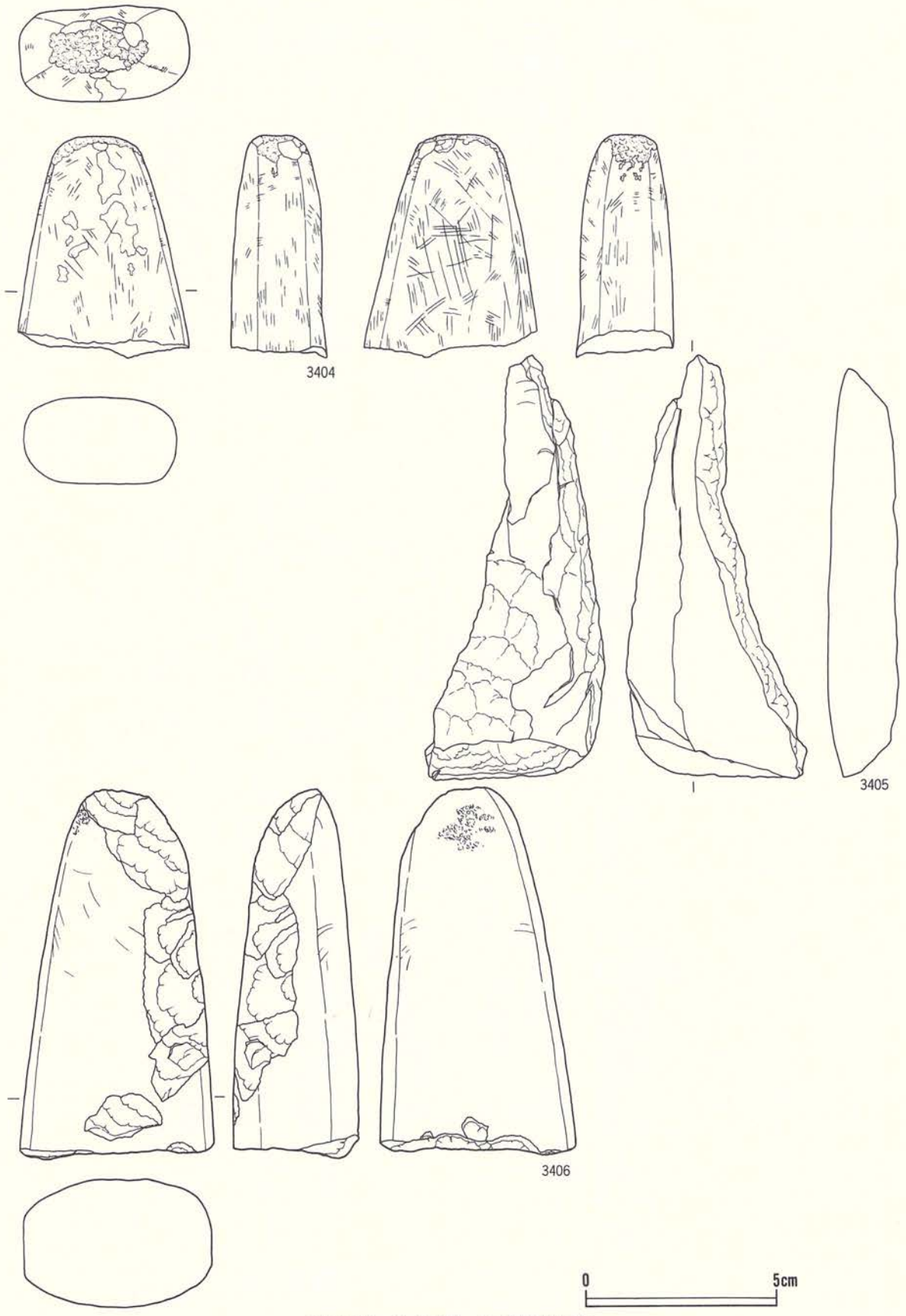
第308图 出土遗物 石器实测图(71)



第309图 出土遺物 石器実測図(72)



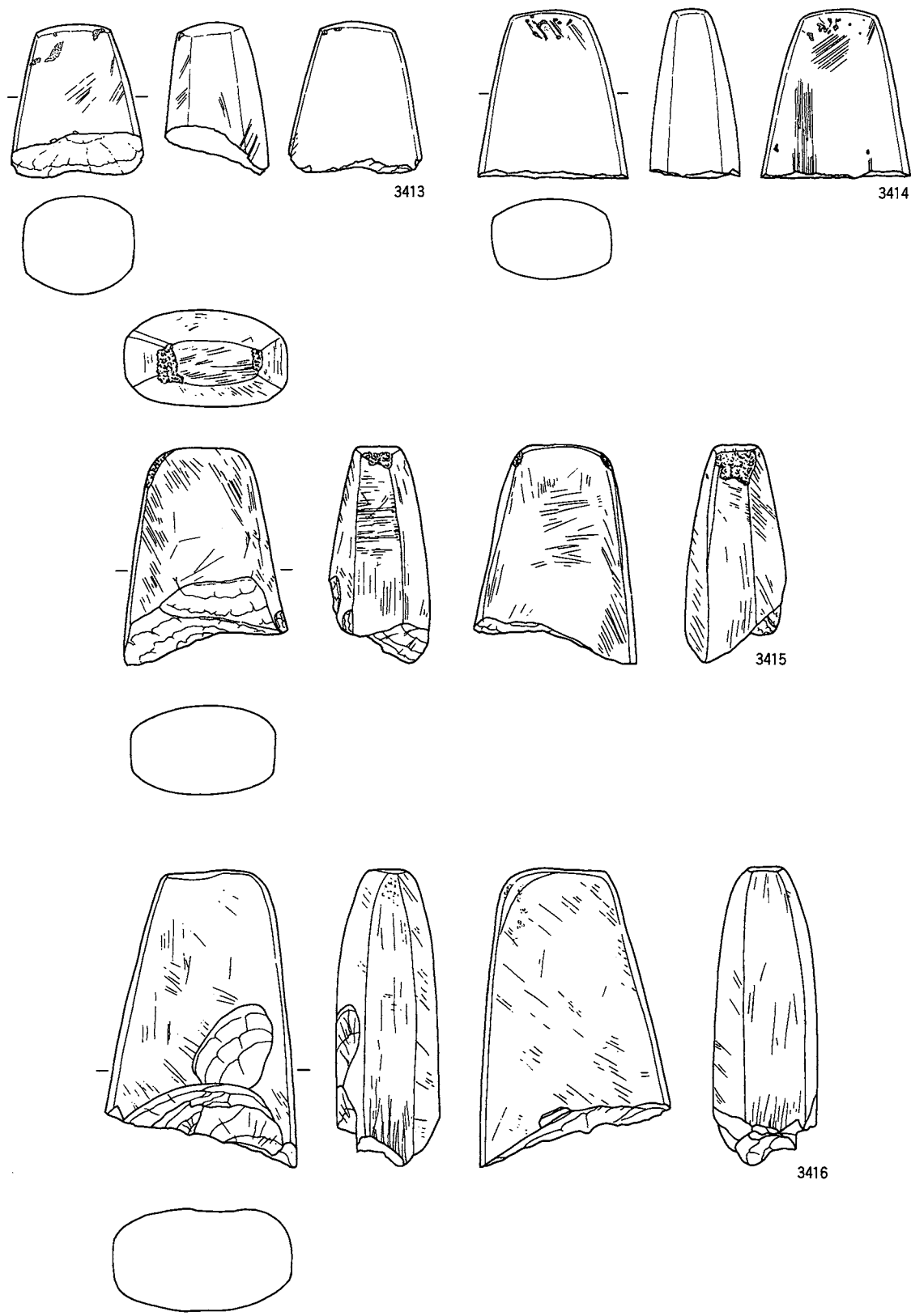
第310图 出土遺物 石器実測図(73)



第311图 出土遺物 石器実測図(74)

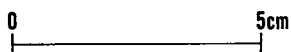
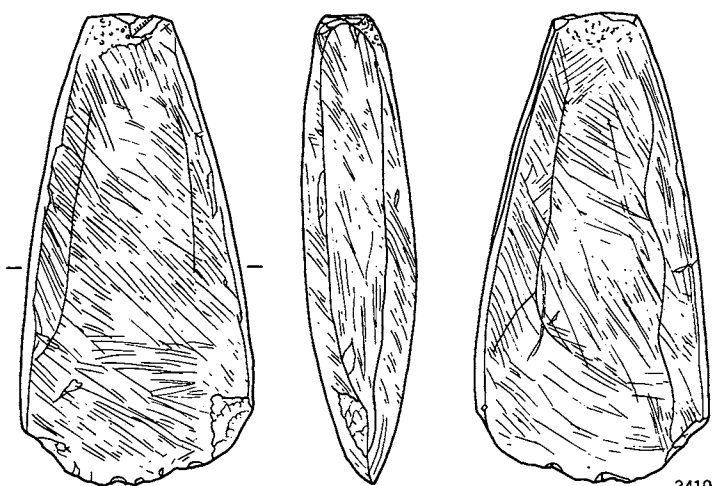
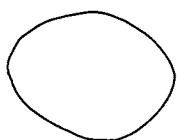
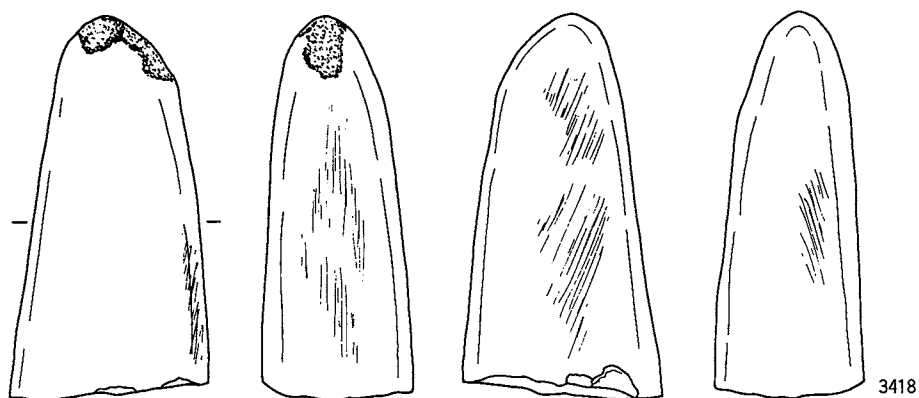
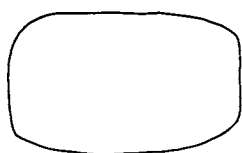
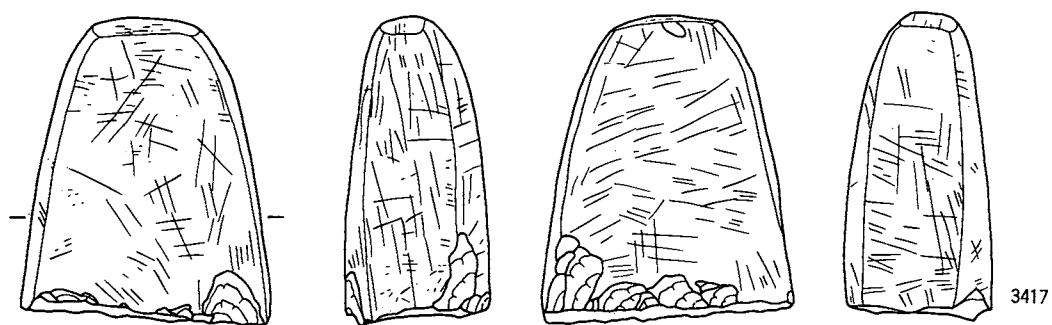


第312图 出土遺物 石器実測図(75)

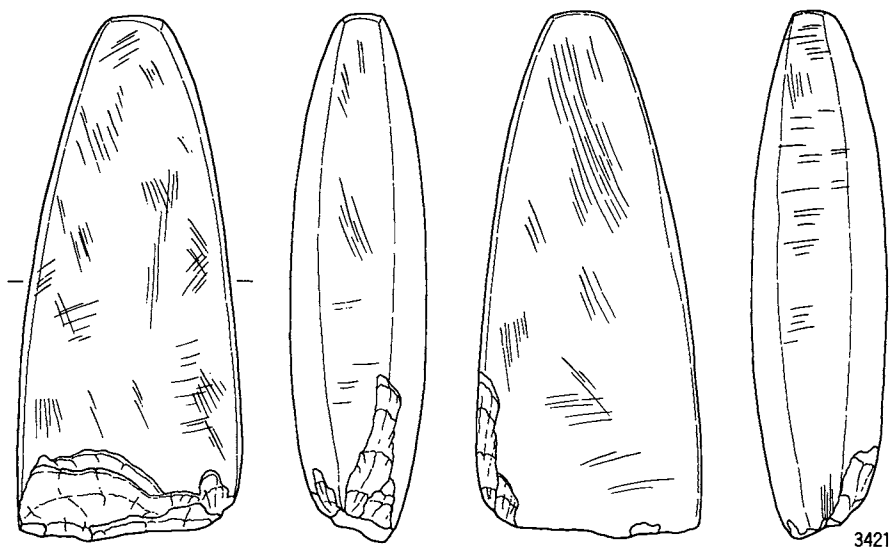
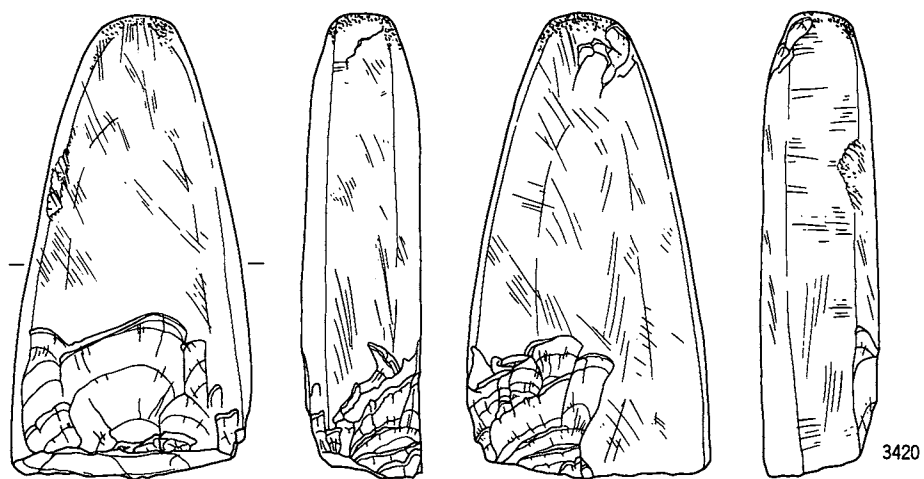


第313图 出土遺物 石器実測図(76)

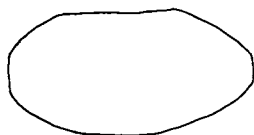
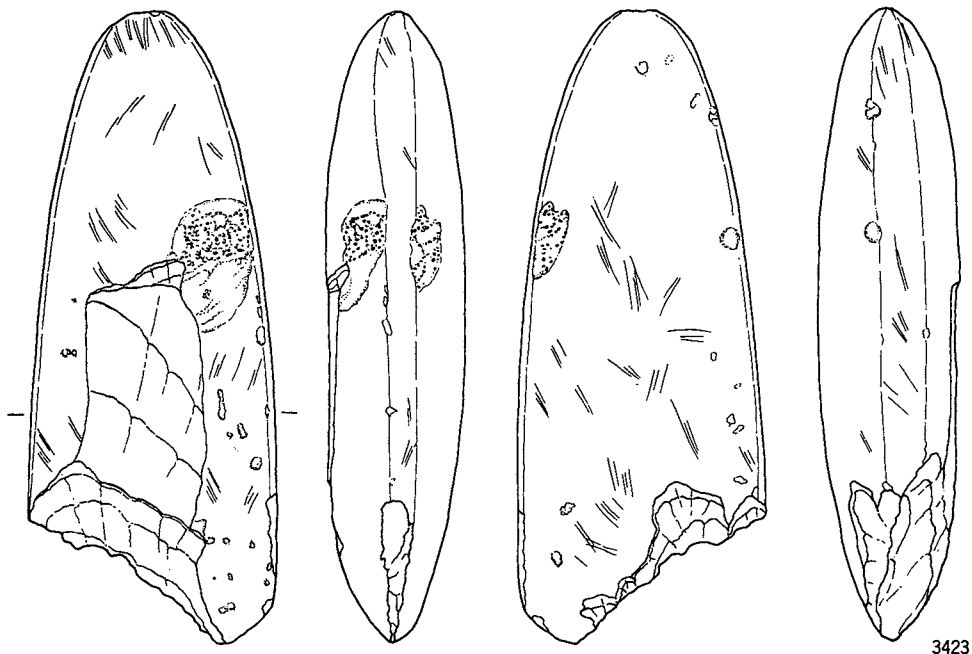
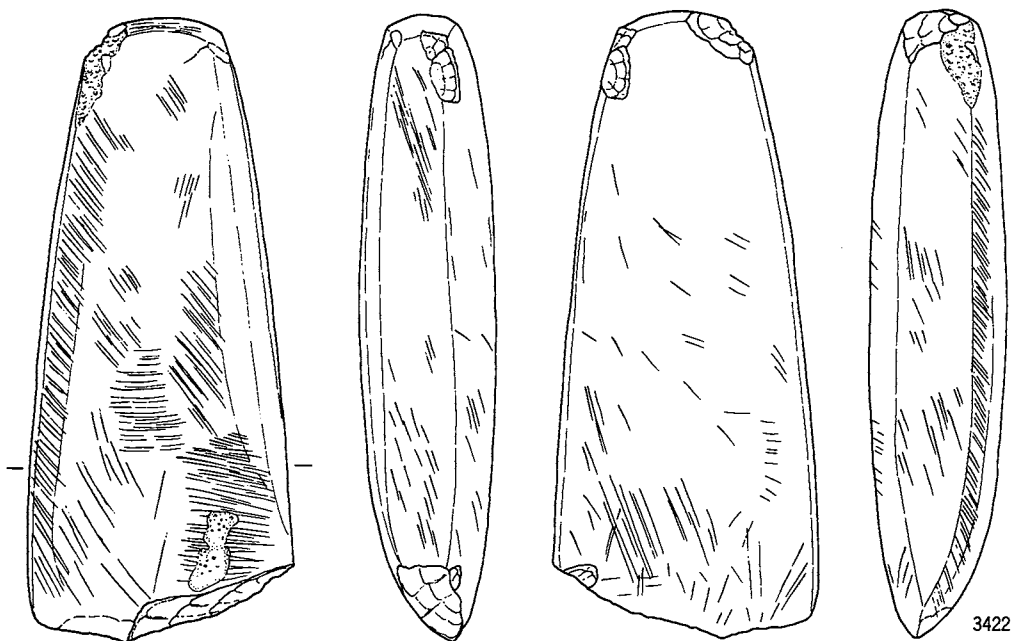




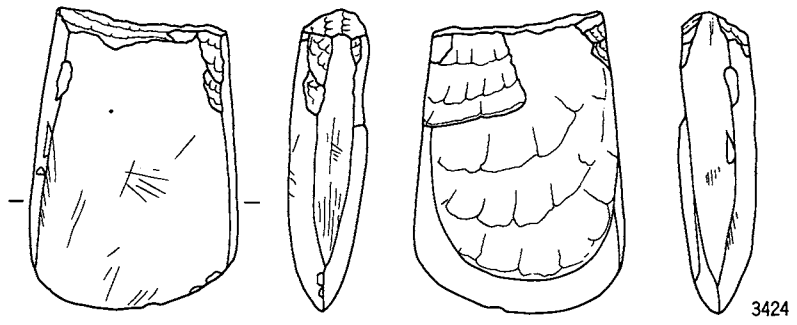
第314图 出土遗物 石器实测图(77)



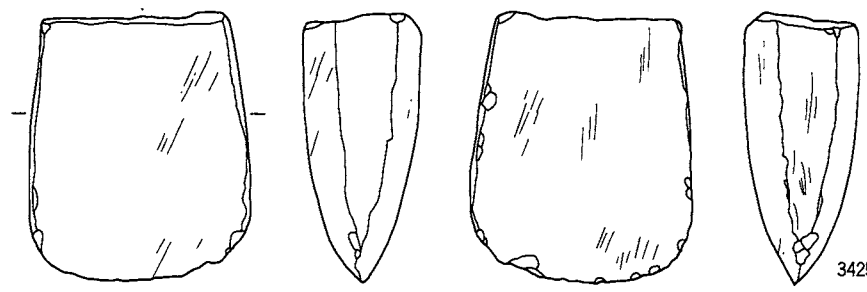
第315图 出土遺物 石器実測図(78)



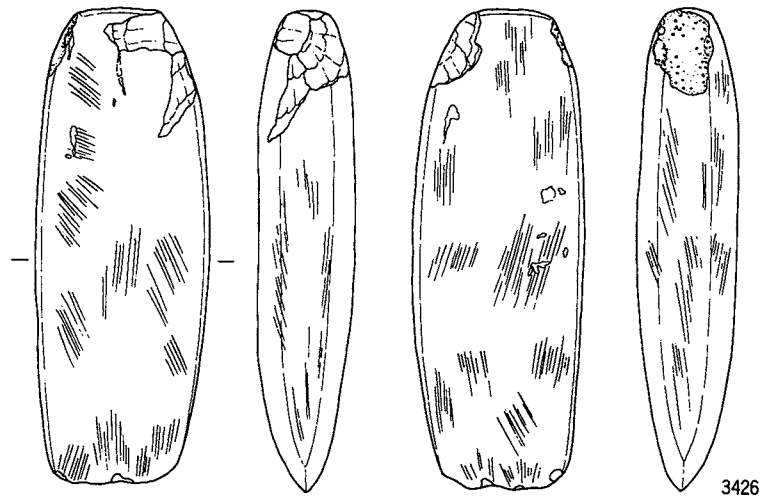
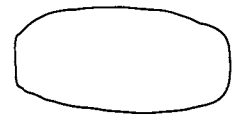
第316图 出土遗物 石器实测图(79)



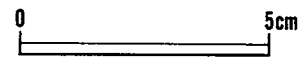
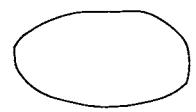
3424



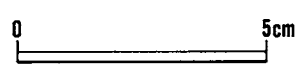
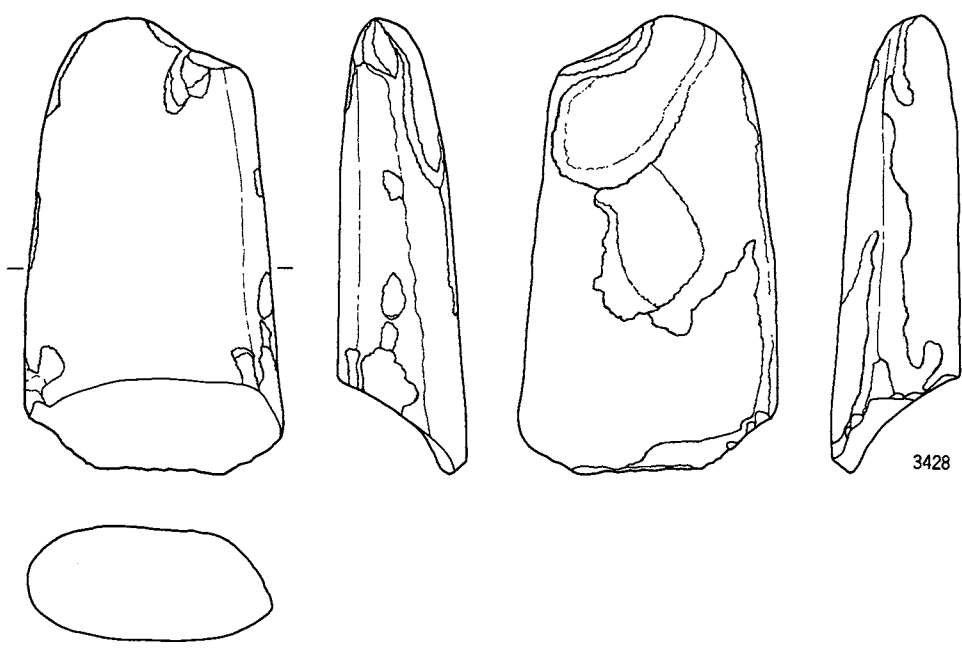
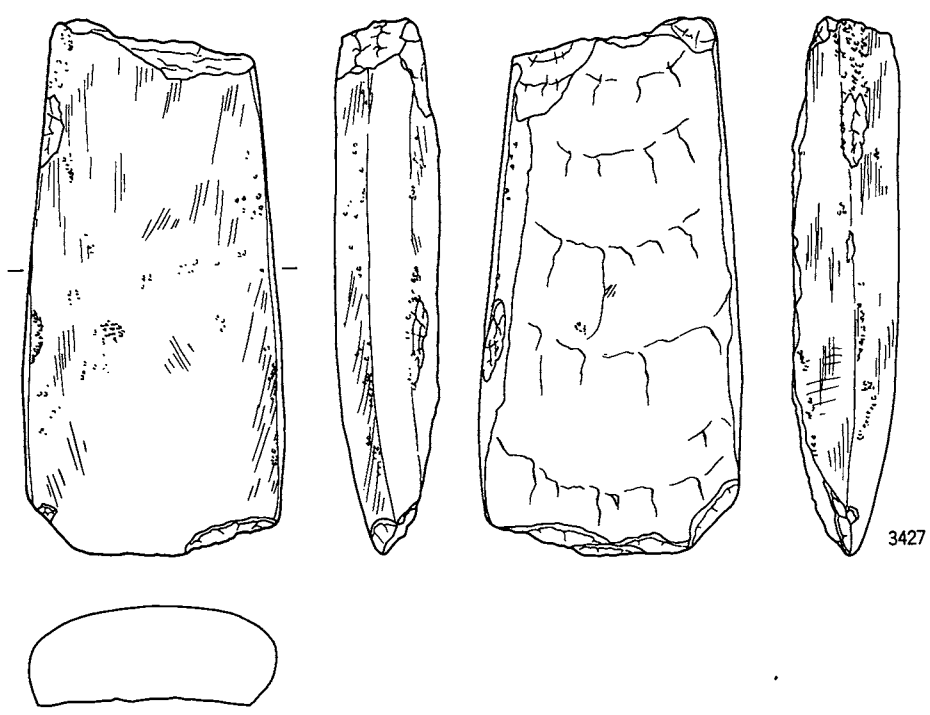
3425



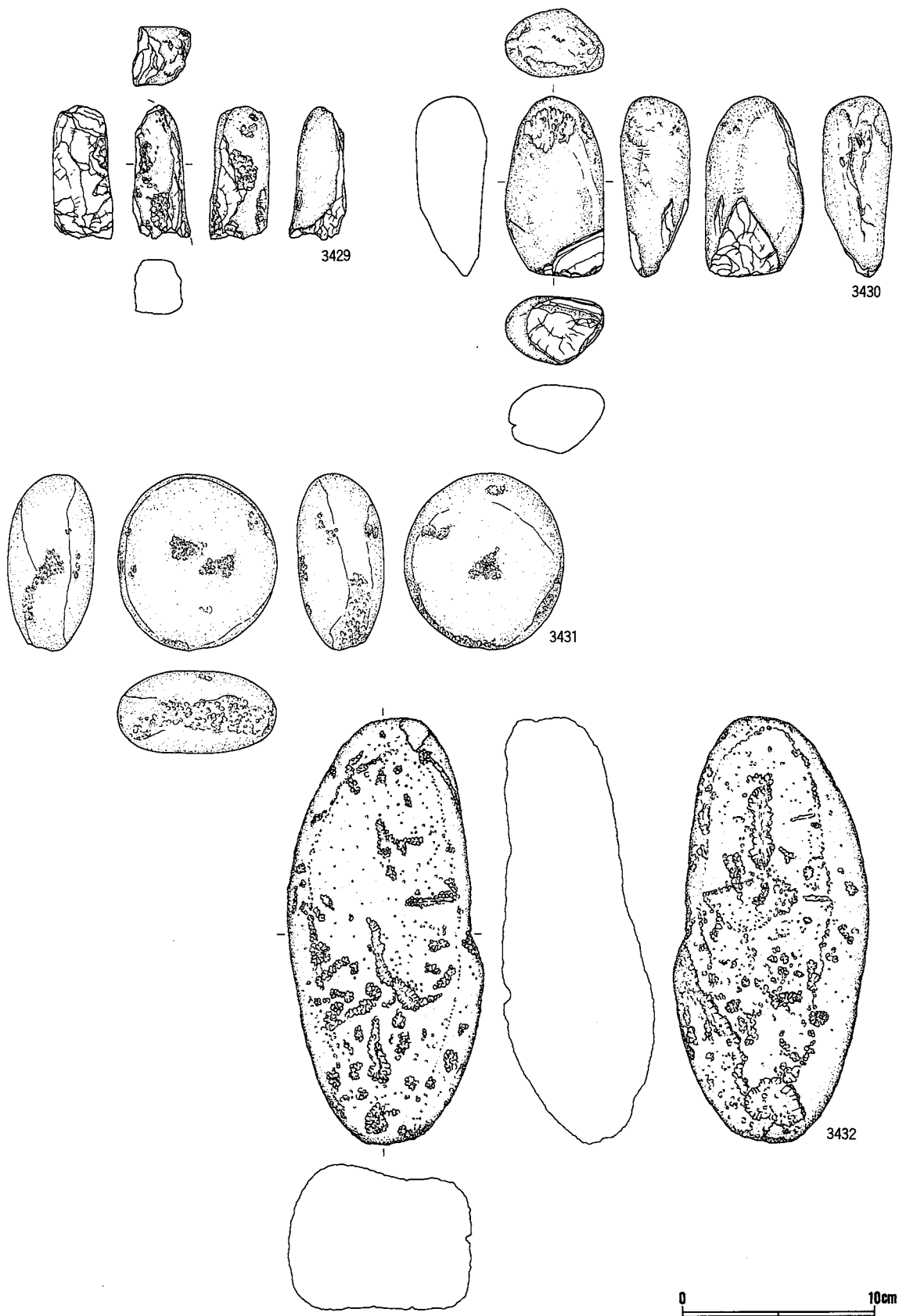
3426



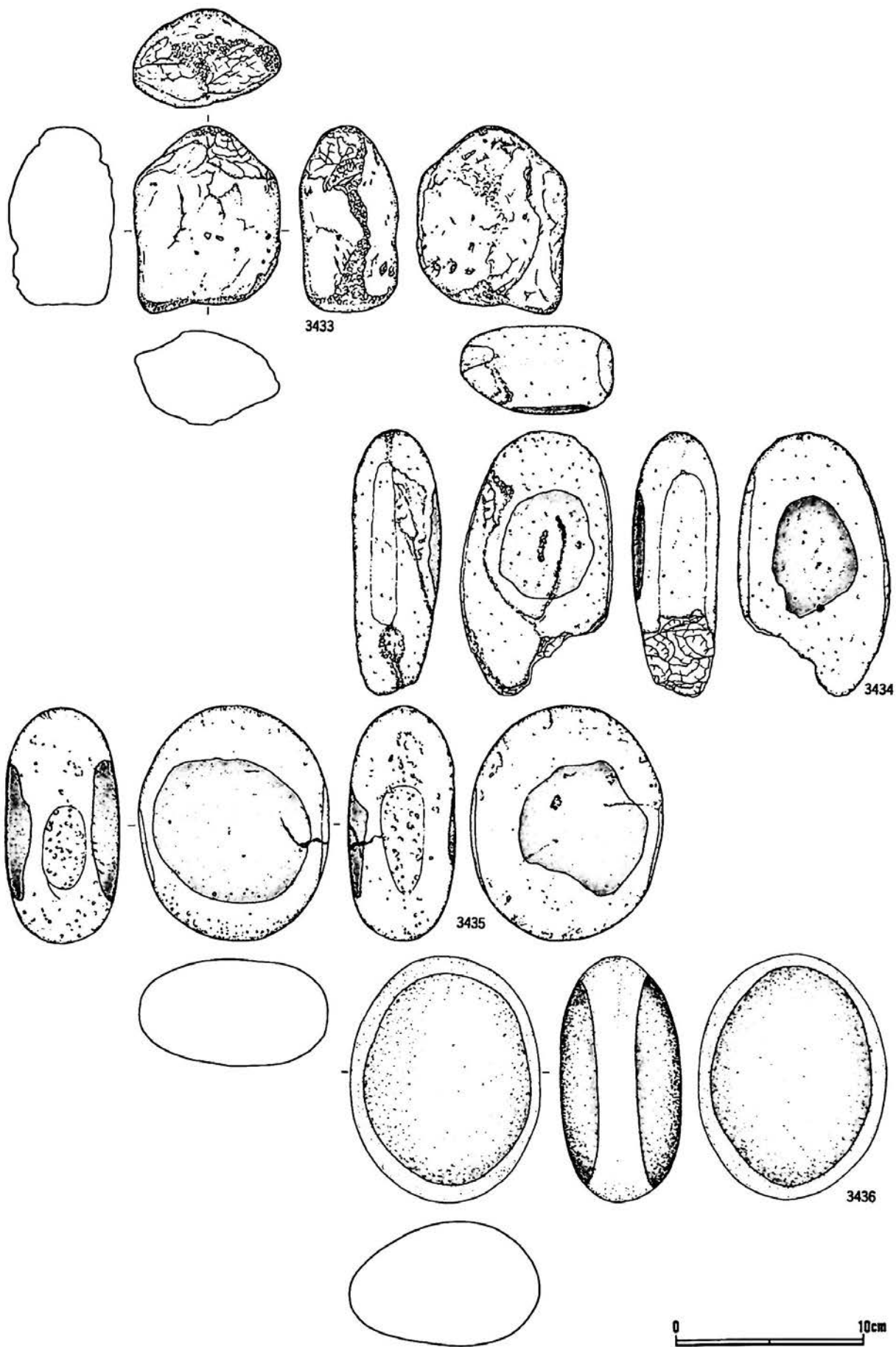
第317图 出土遺物 石器実測図(80)



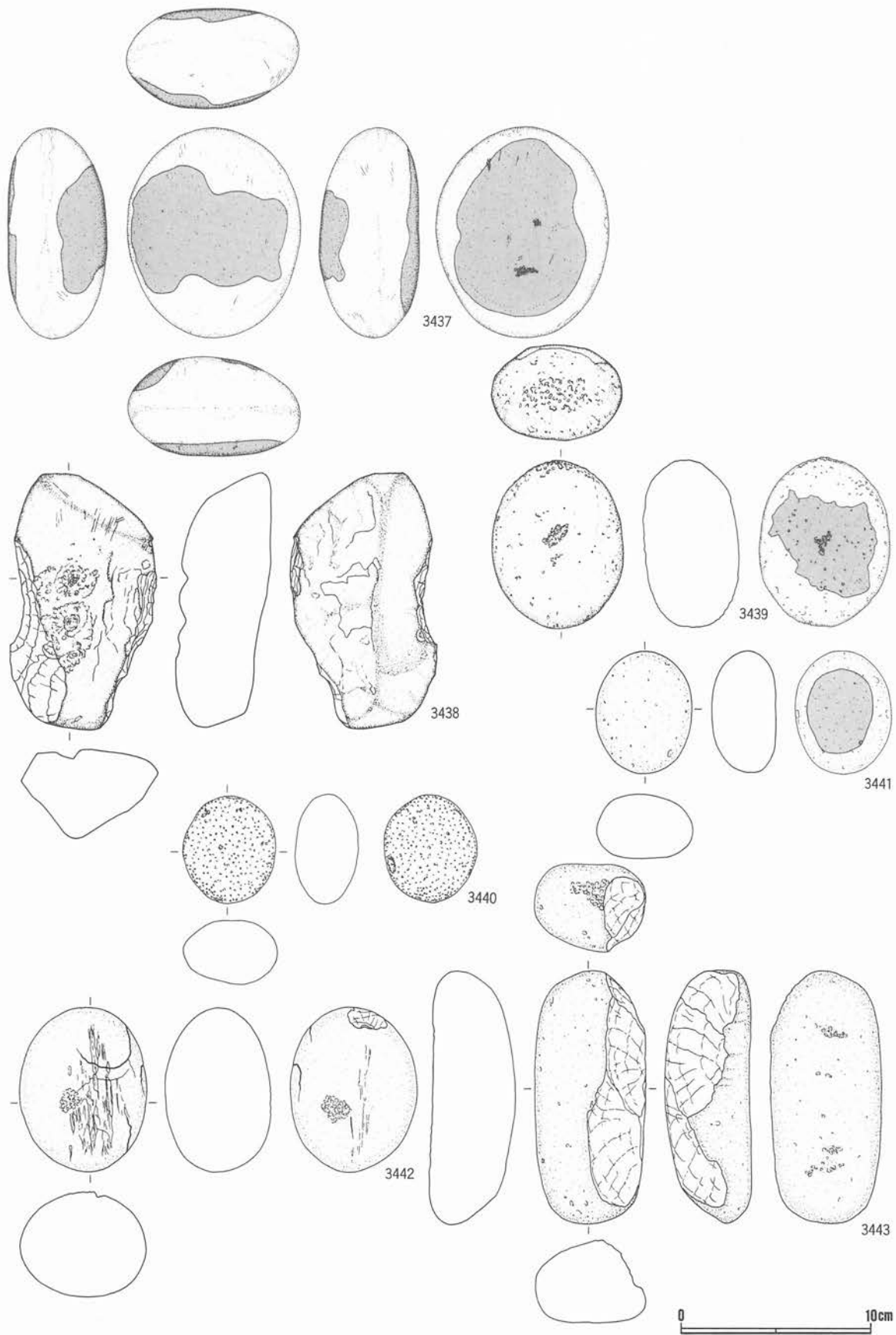
第318图 出土遺物 石器実測図(81)



第319图 出土遗物 石器实测图(82)

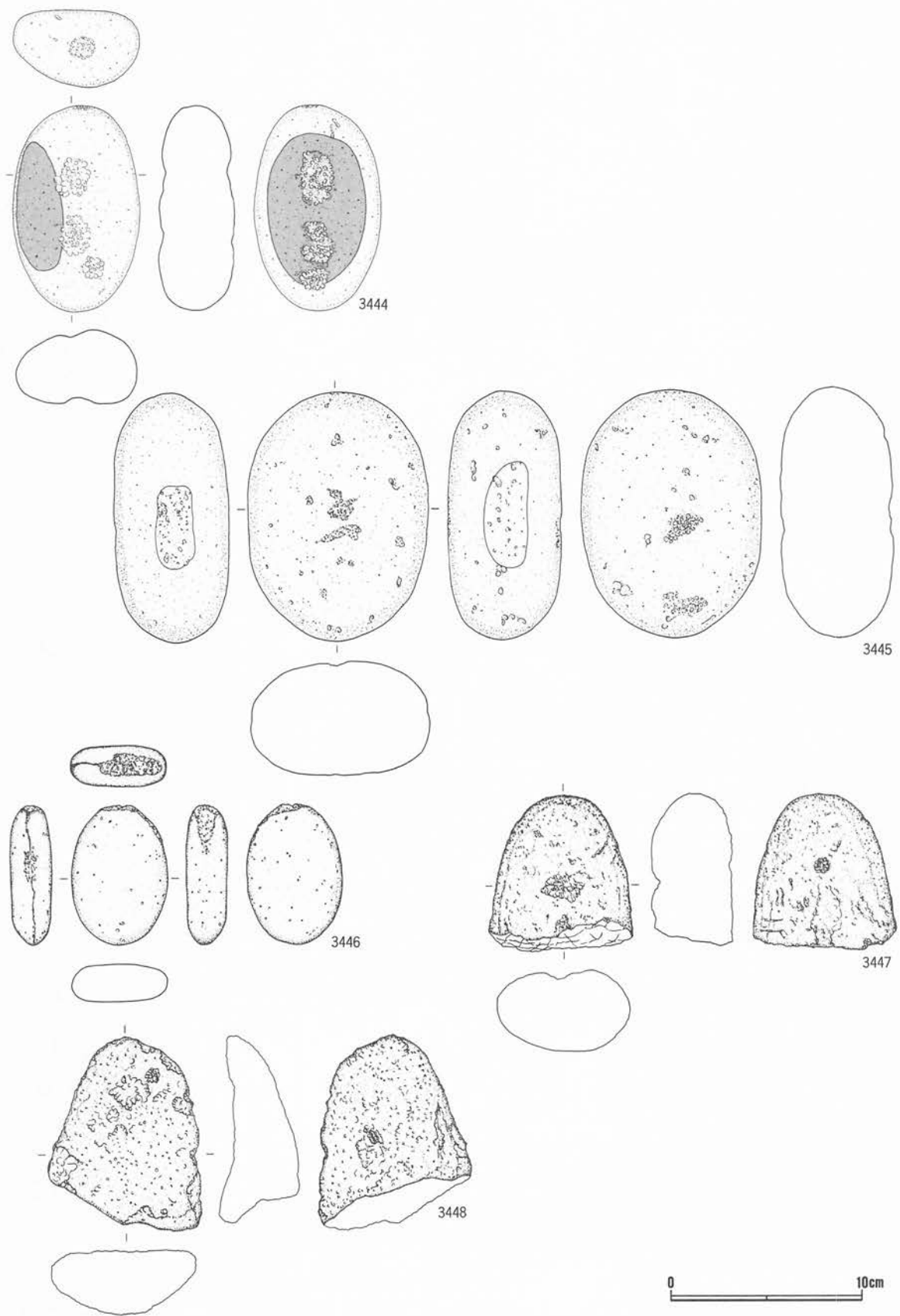


第320图 出土遺物 石器実測図(8)

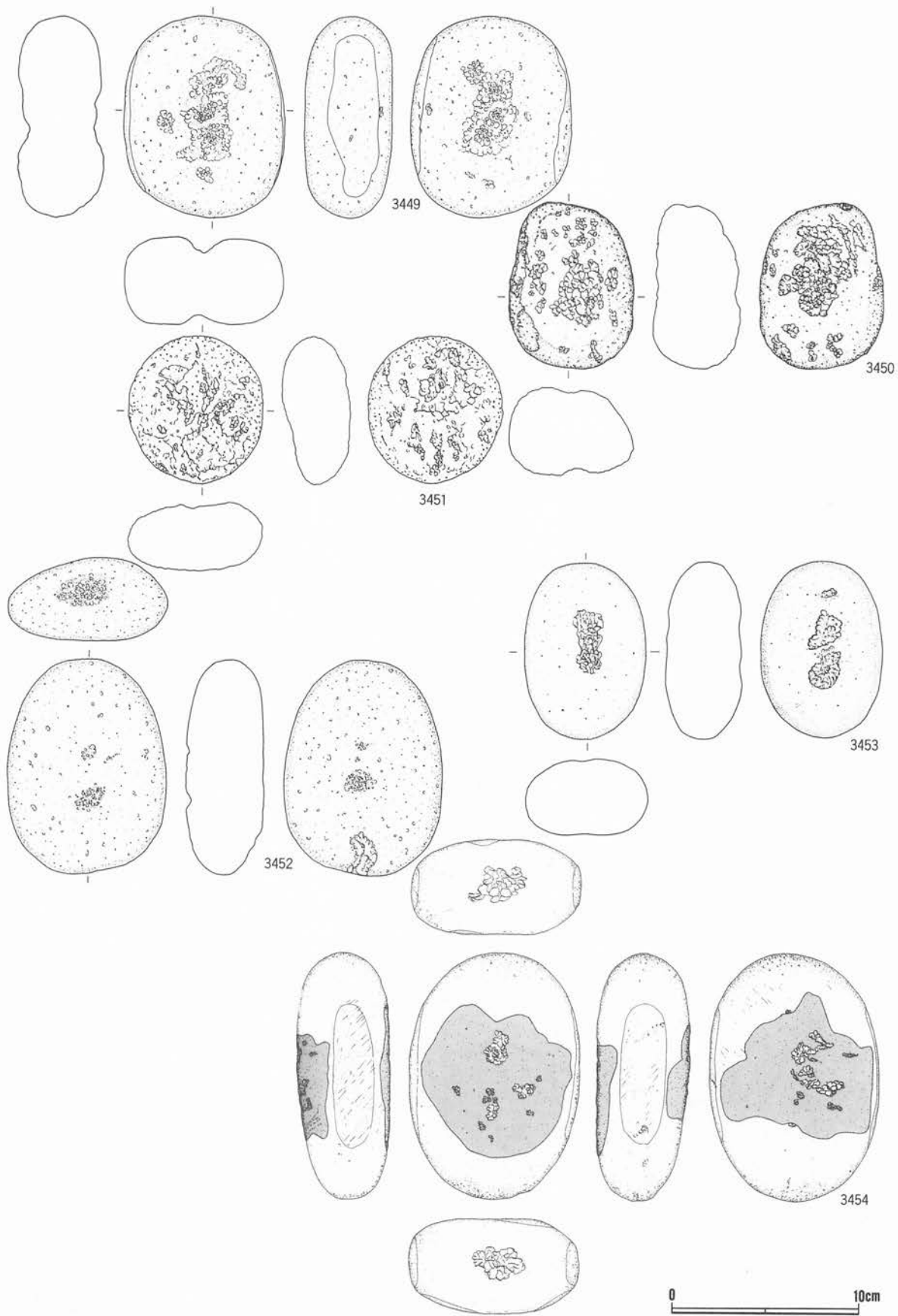


第321図 出土遺物 石器実測図(84)

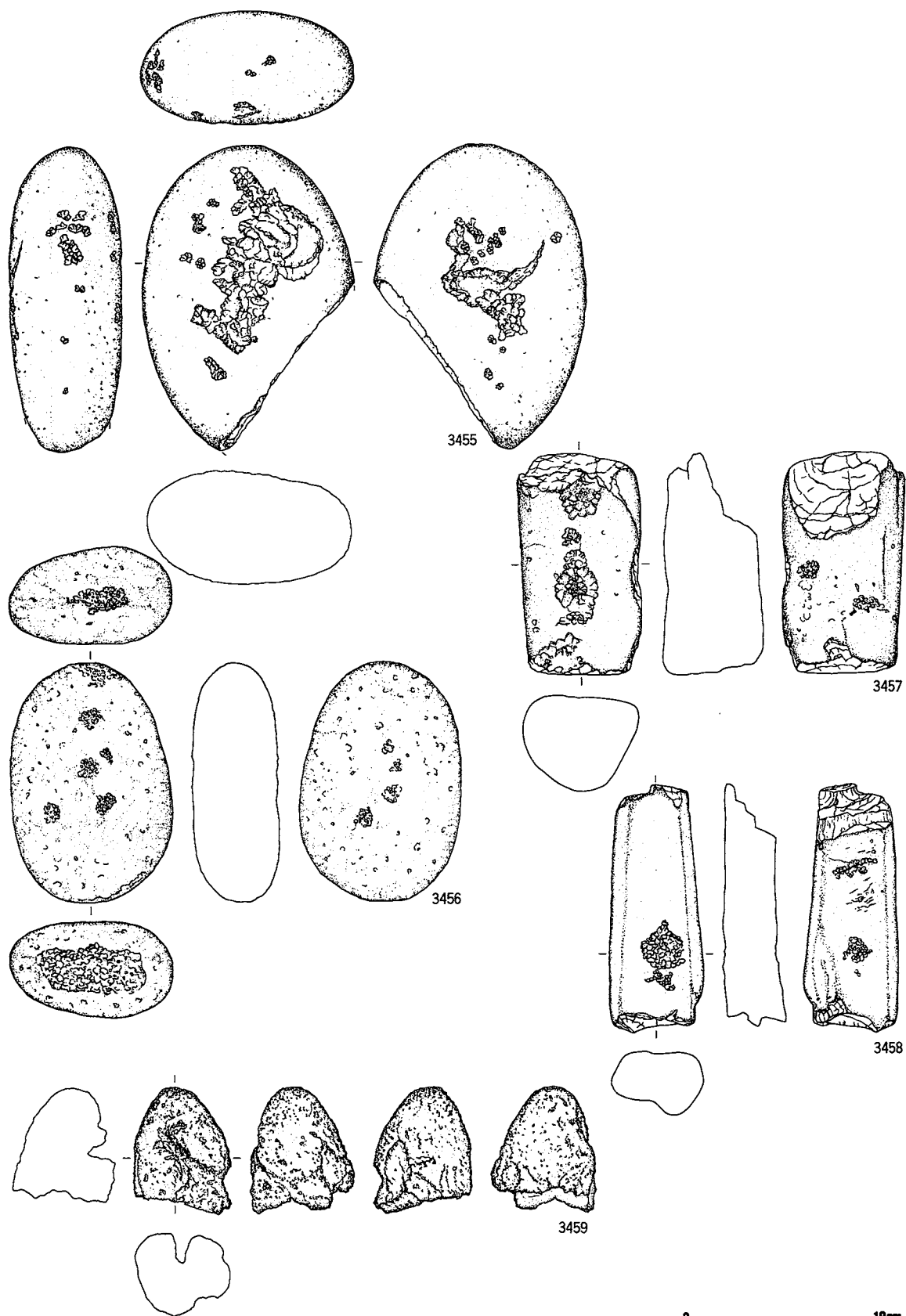




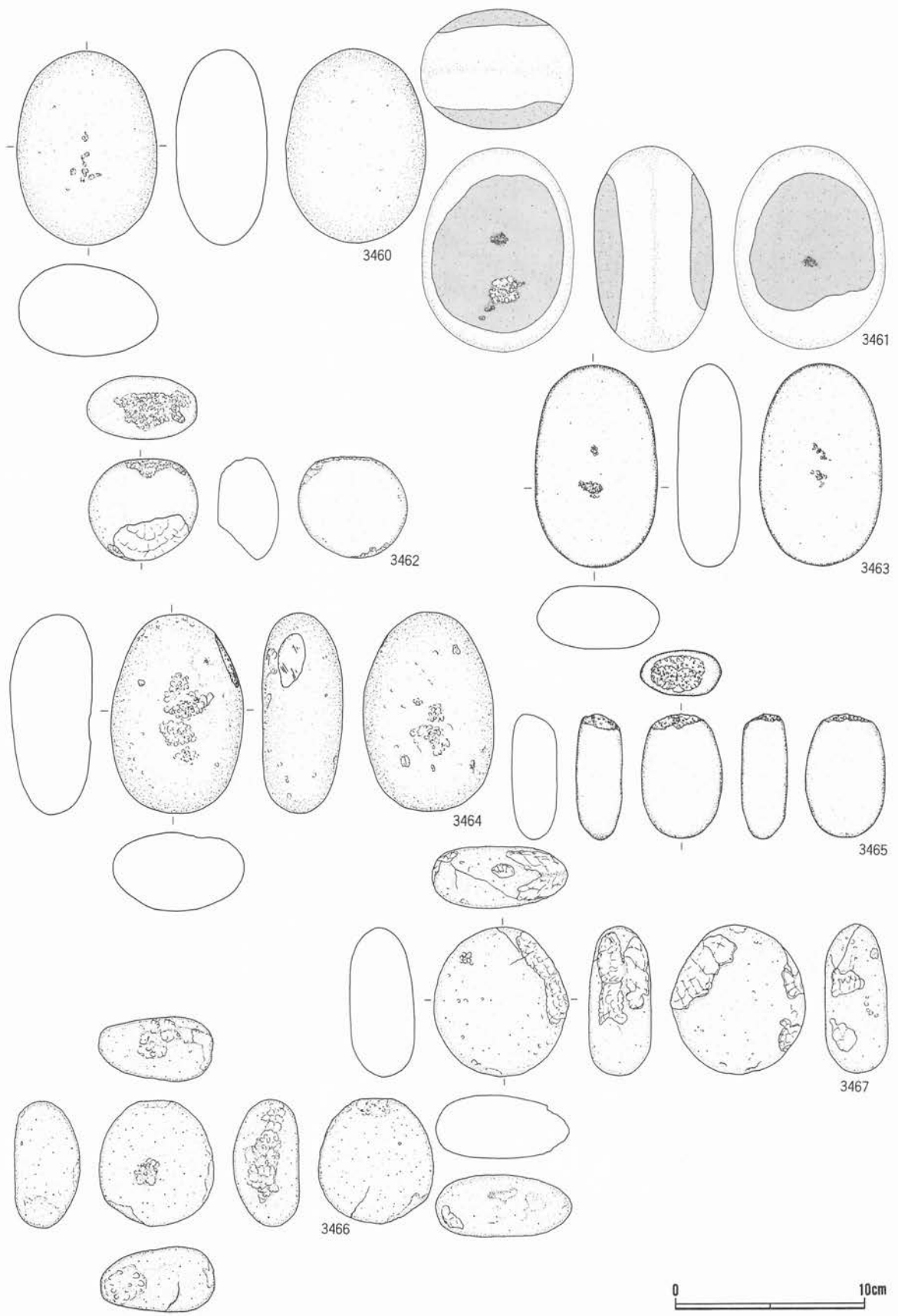
第322図 出土遺物 石器実測図(85)



第323図 出土遺物 石器実測図(86)



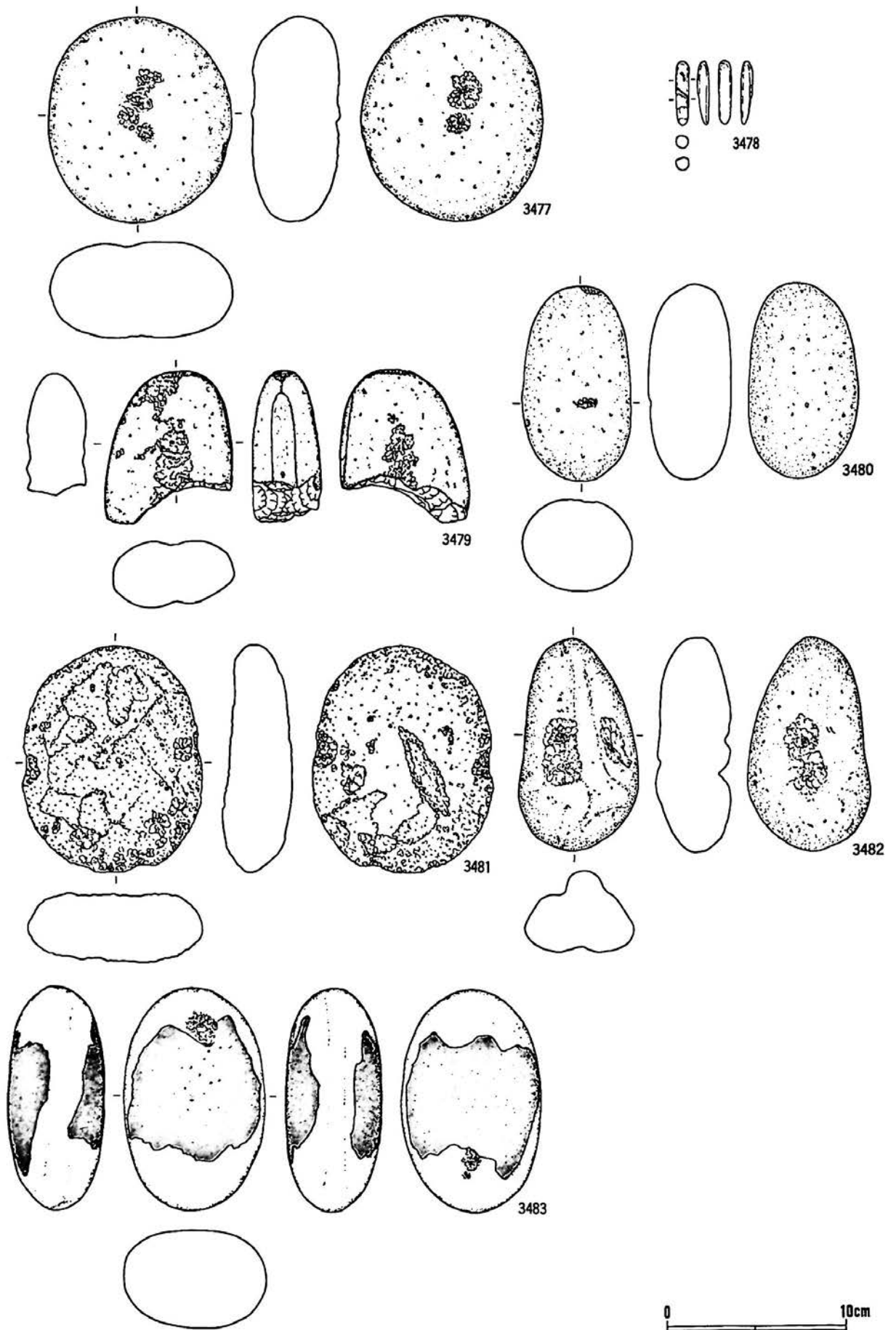
第324图 出土遗物 石器实测图(87)



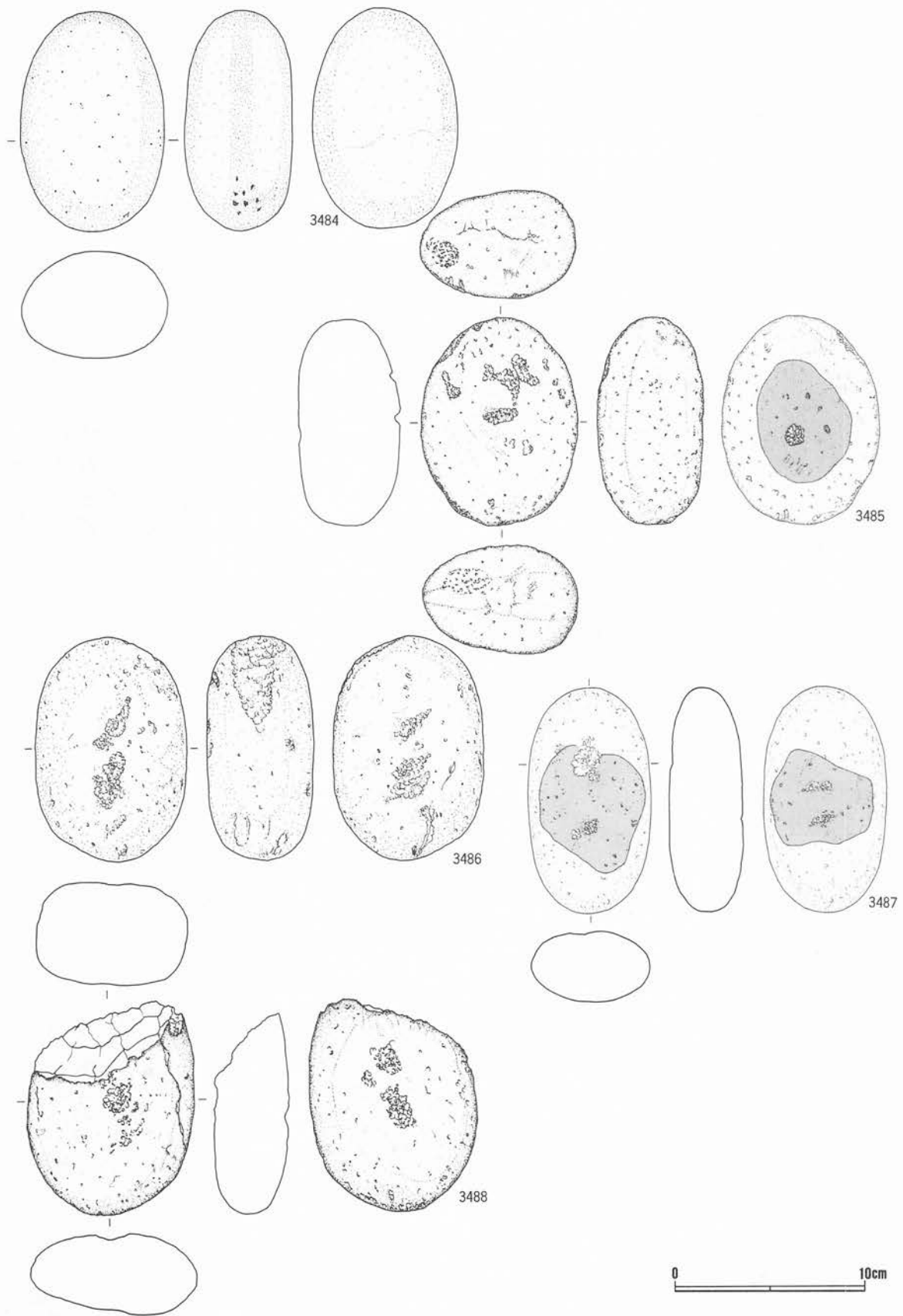
第325図 出土遺物 石器実測図(88)



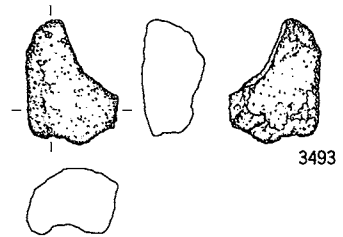
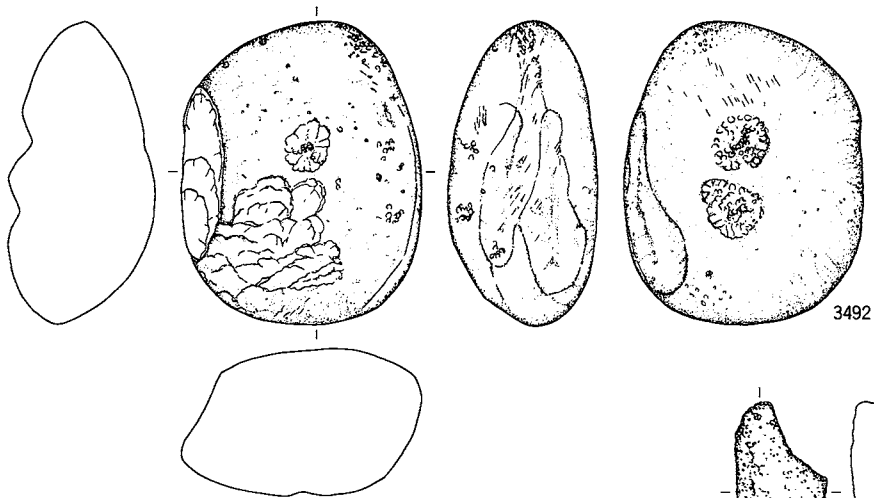
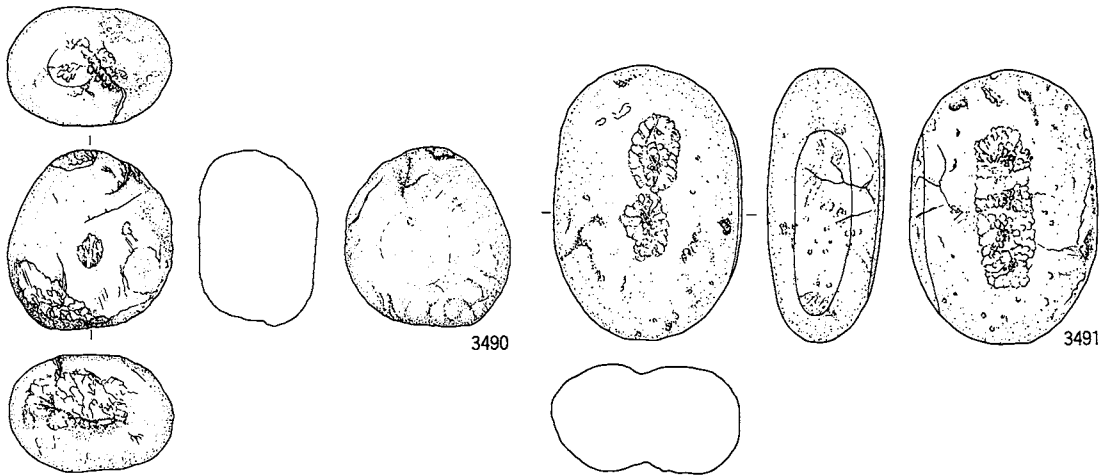
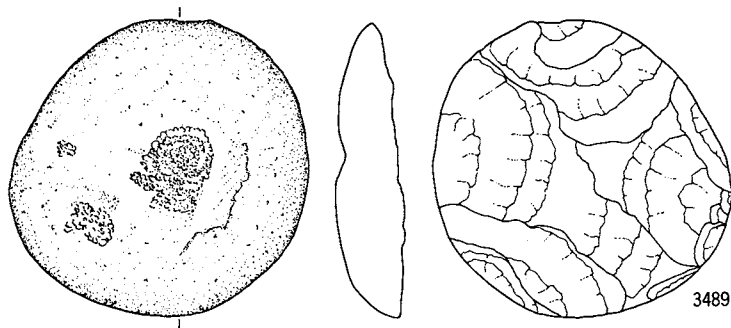
第326図 出土遺物 石器実測図(89)



第327图 出土遺物 石器実測図(90)

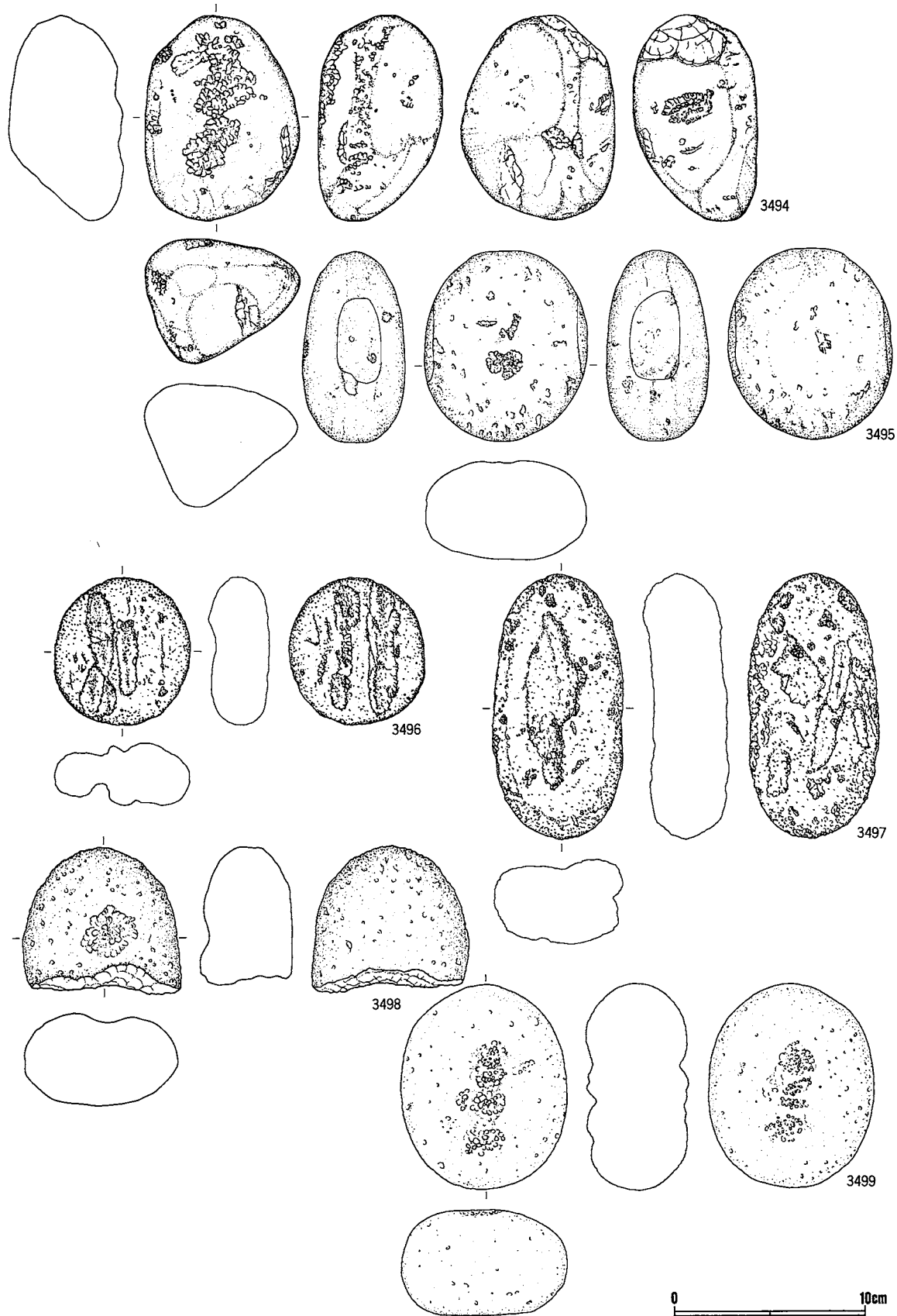


第328図 出土遺物 石器実測図(91)

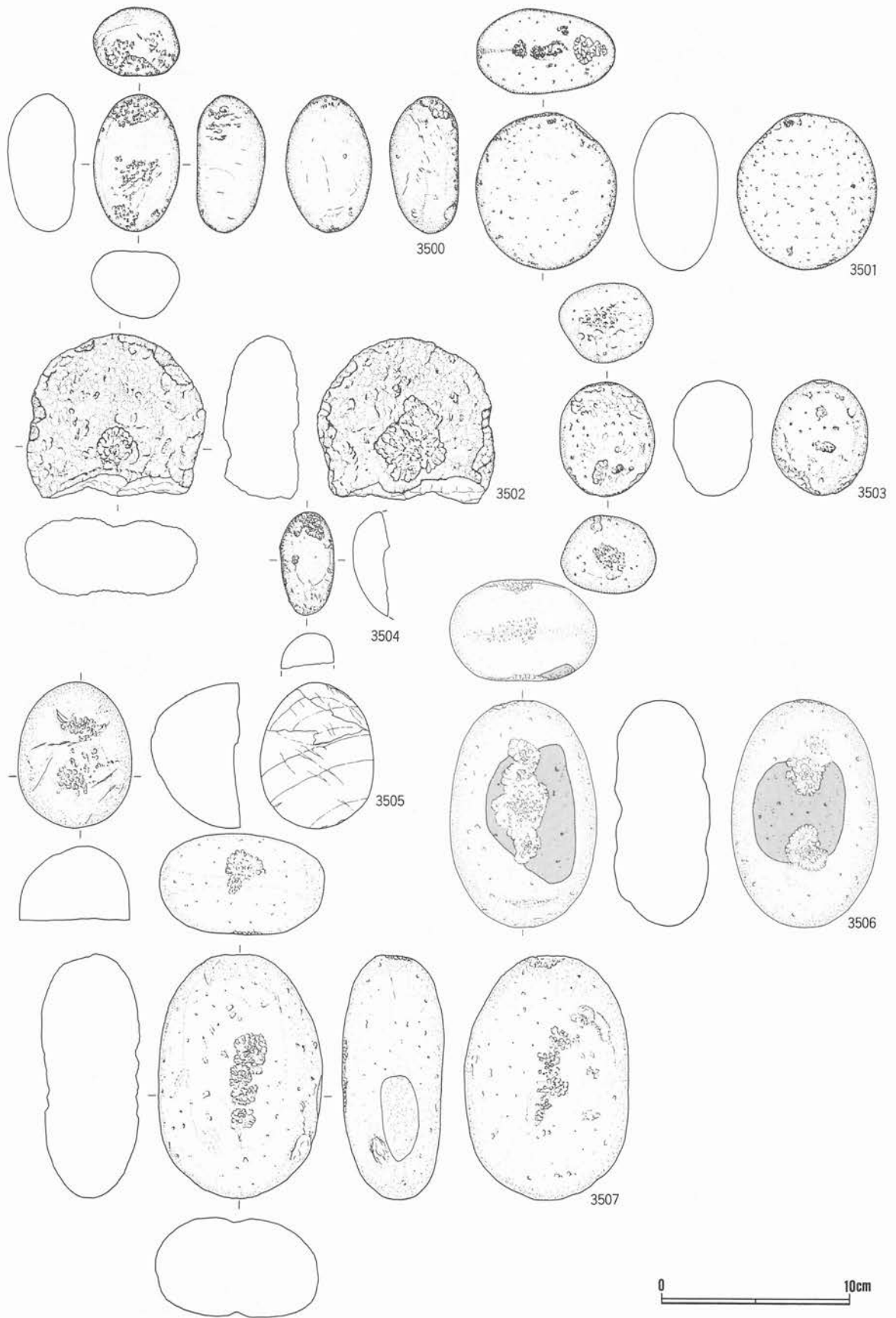


第329图 出土遺物 石器実測図(92)

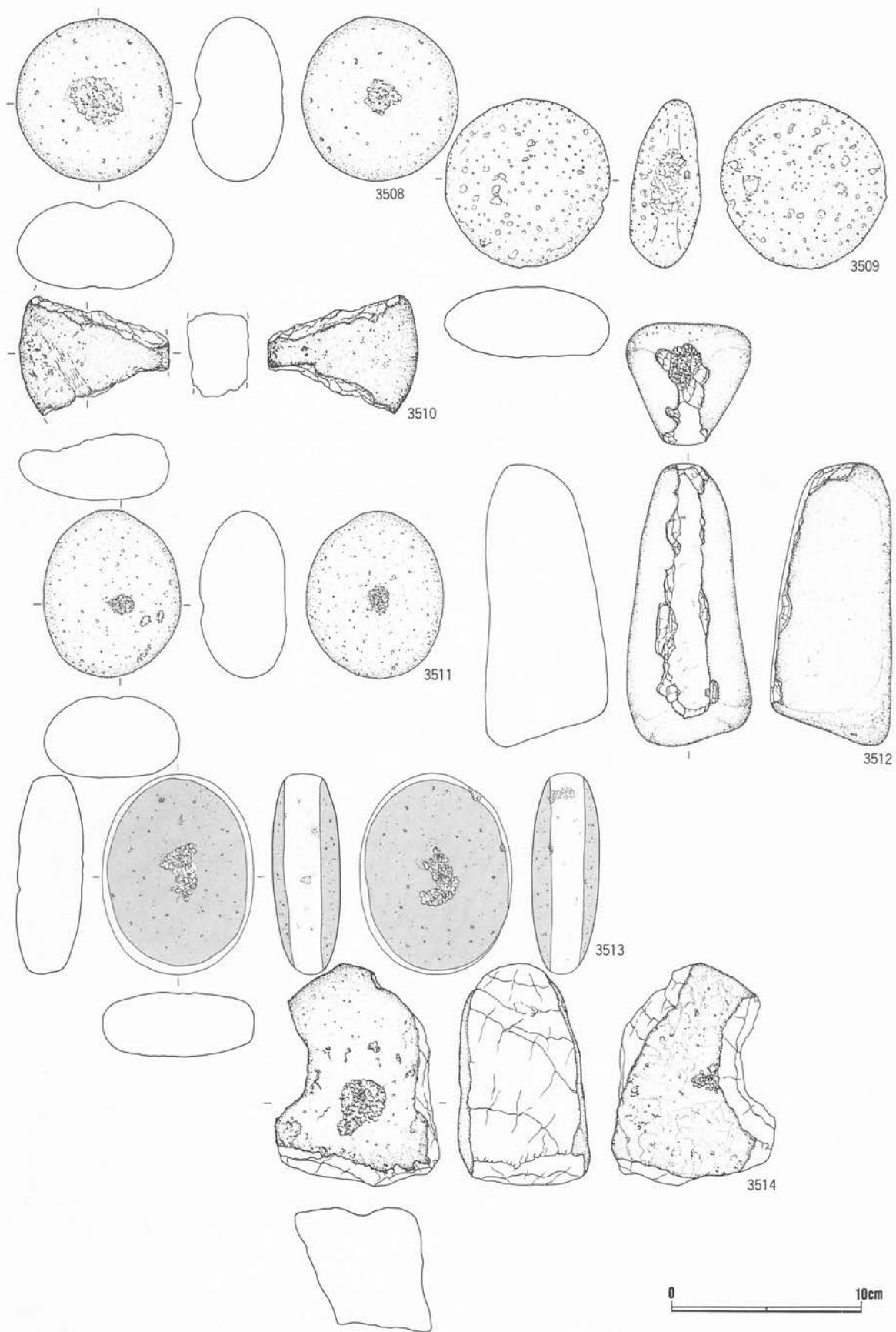




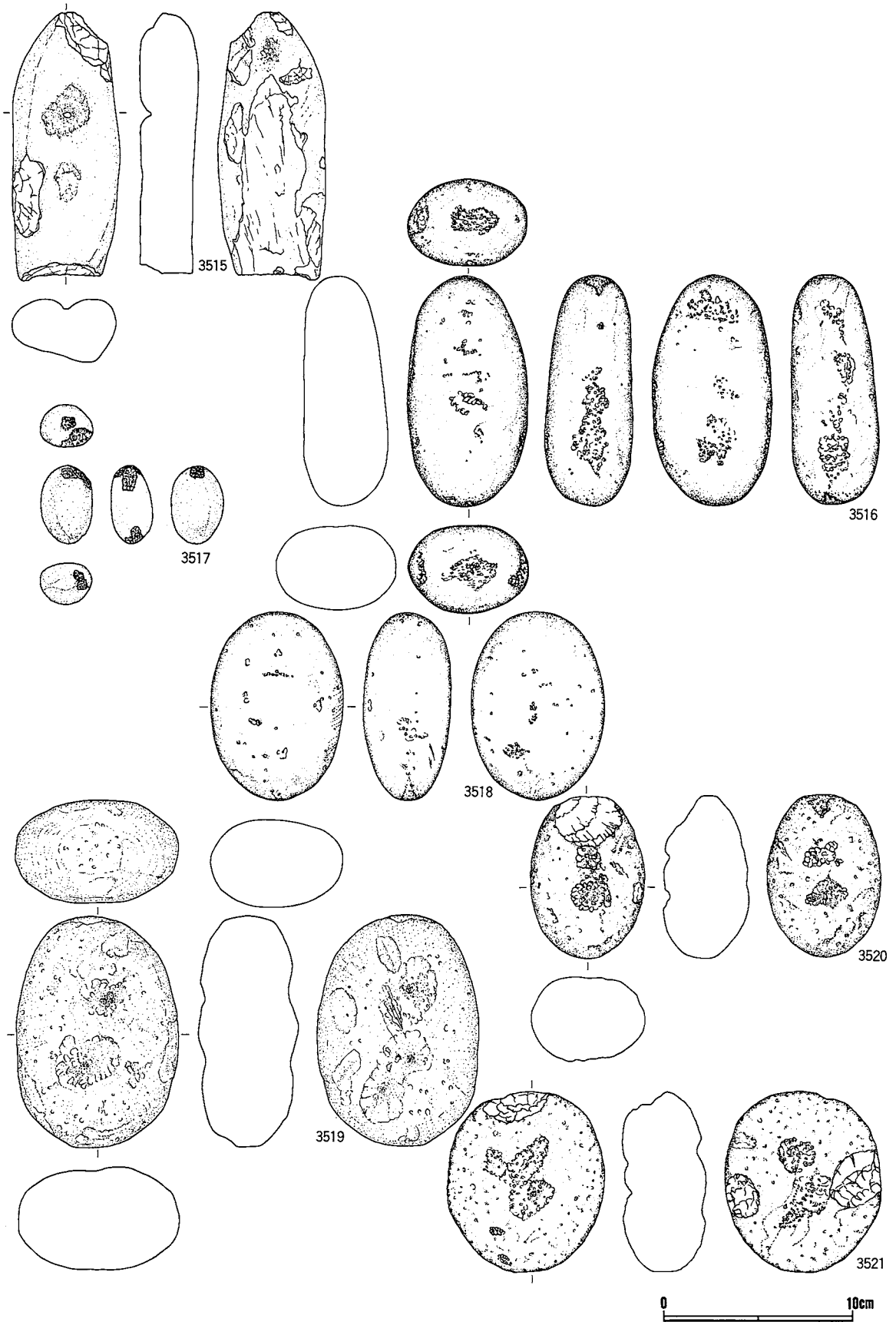
第330图 出土遗物 石器类测图(93)



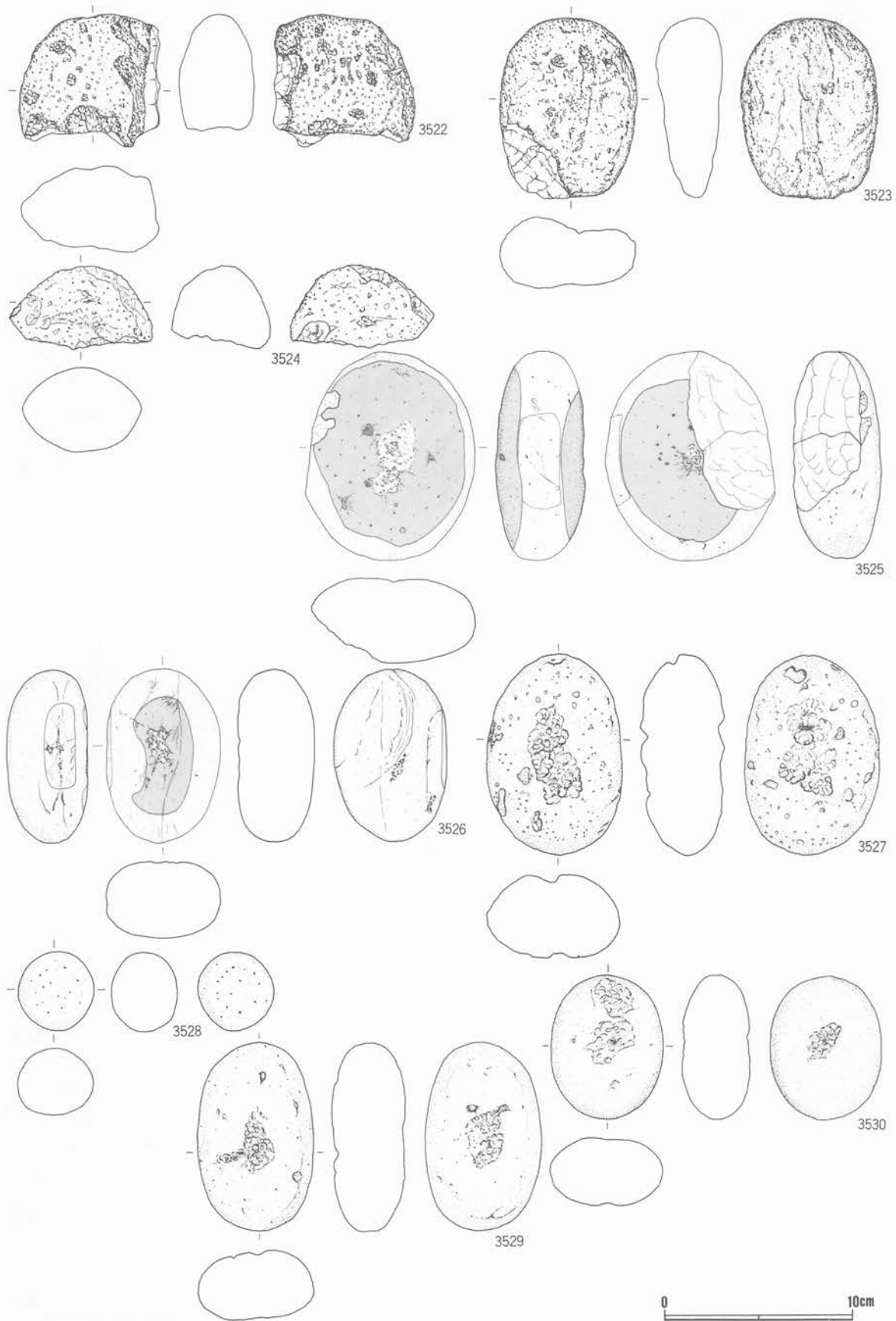
第331图 出土遺物 石器実測図(94)



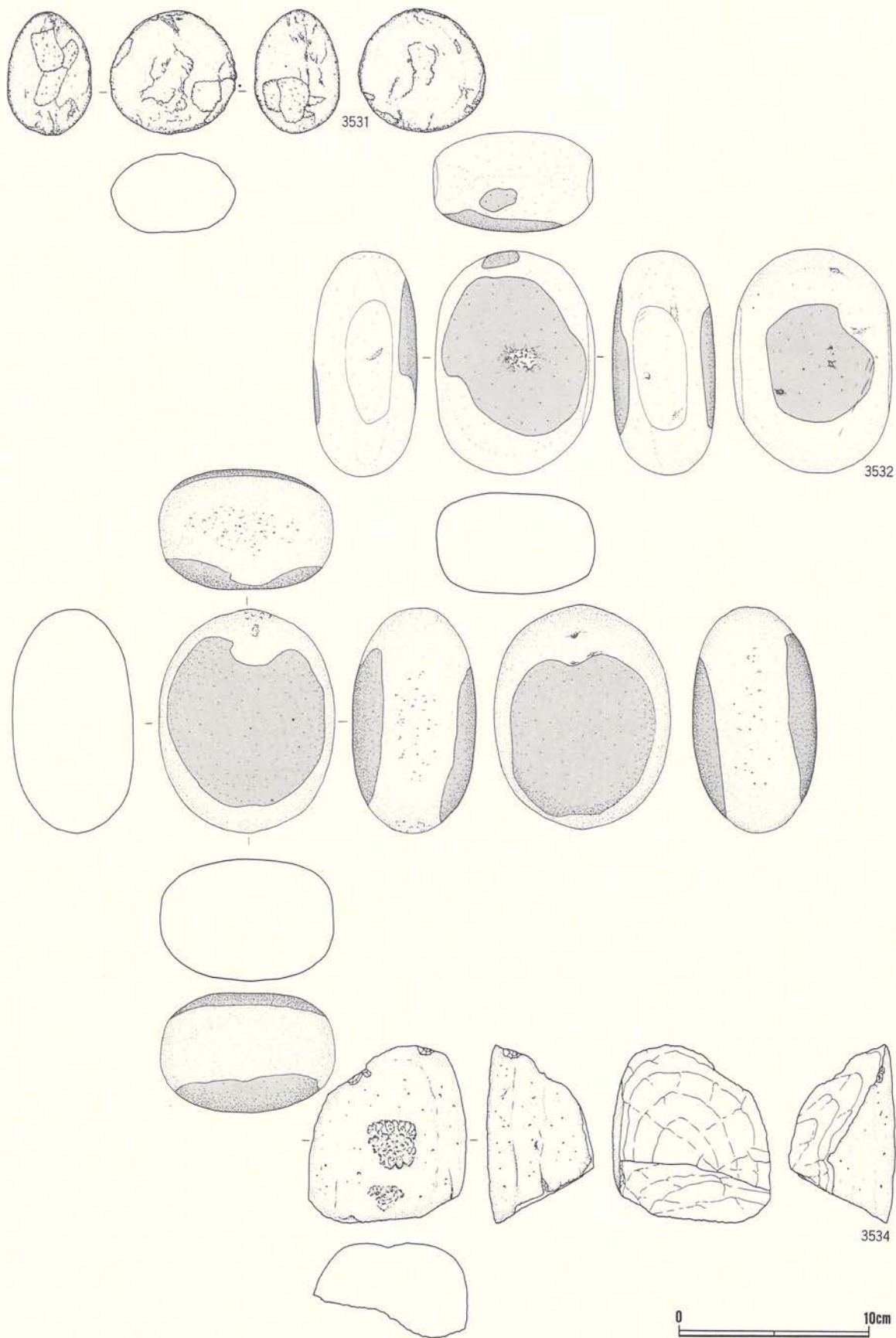
第332图 出土遺物 石器実測図(95)



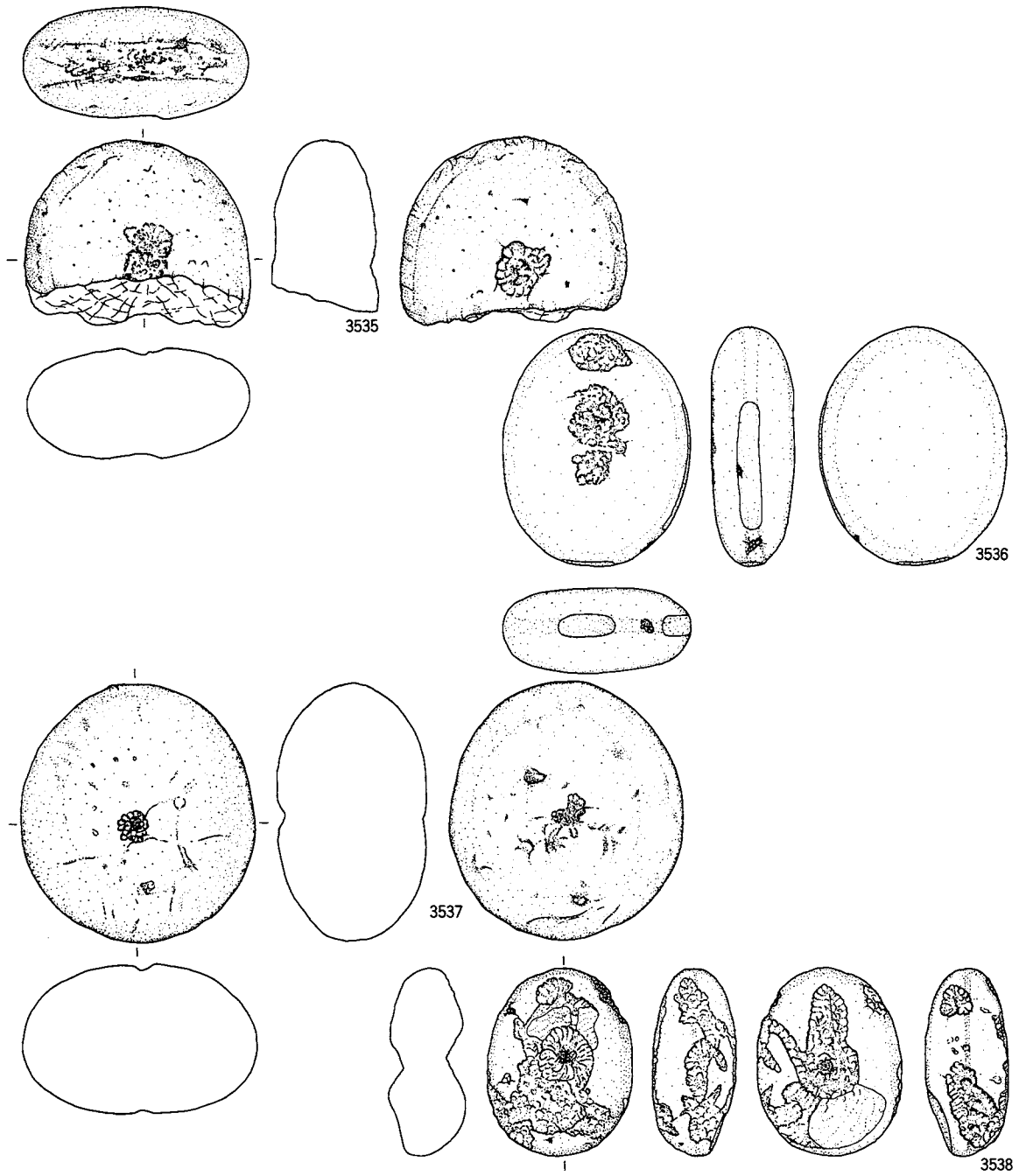
第333图 出土遺物 石器実測図(96)



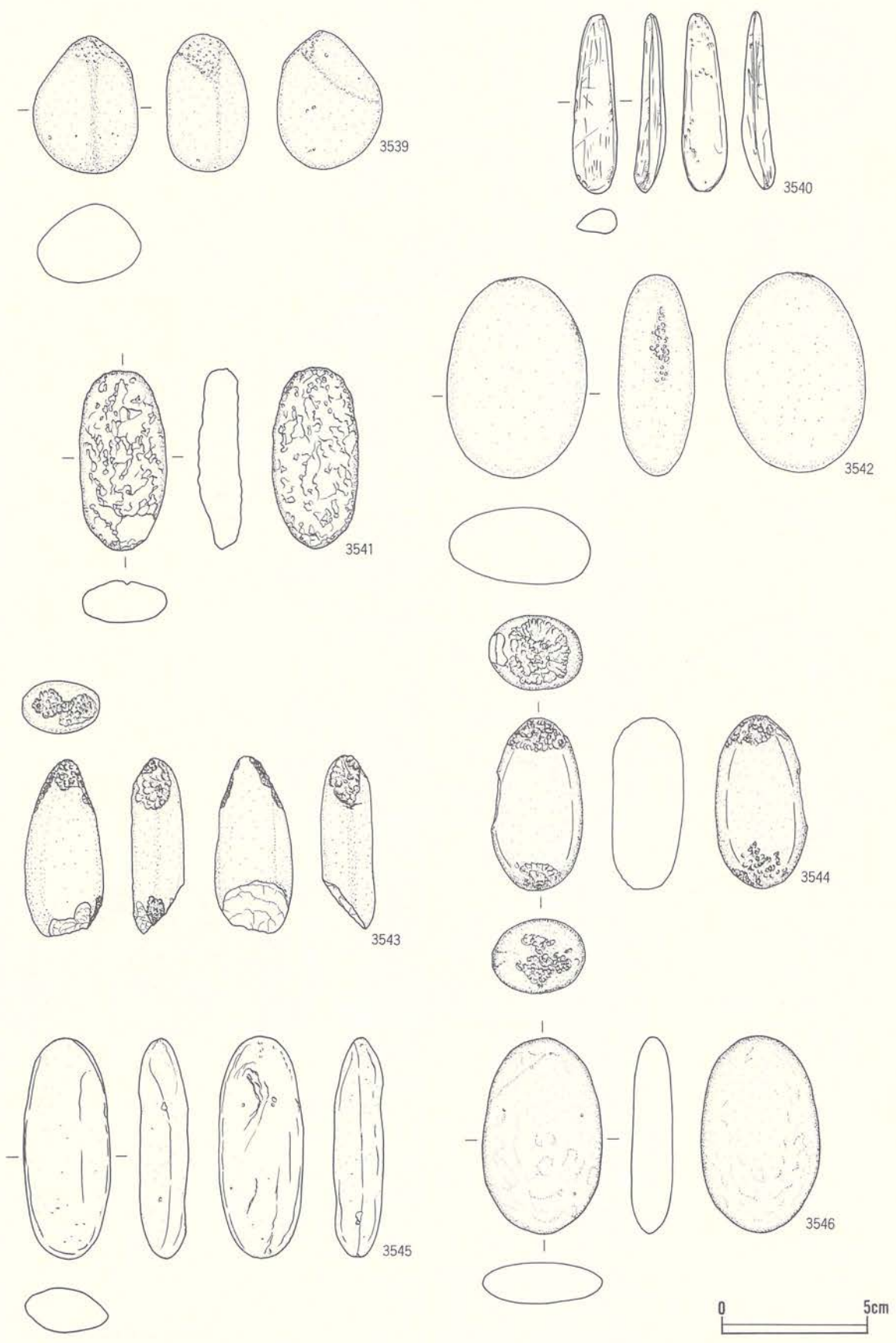
第334图 出土遺物 石器実測図(97)



第335図 出土遺物 石器実測図(98)

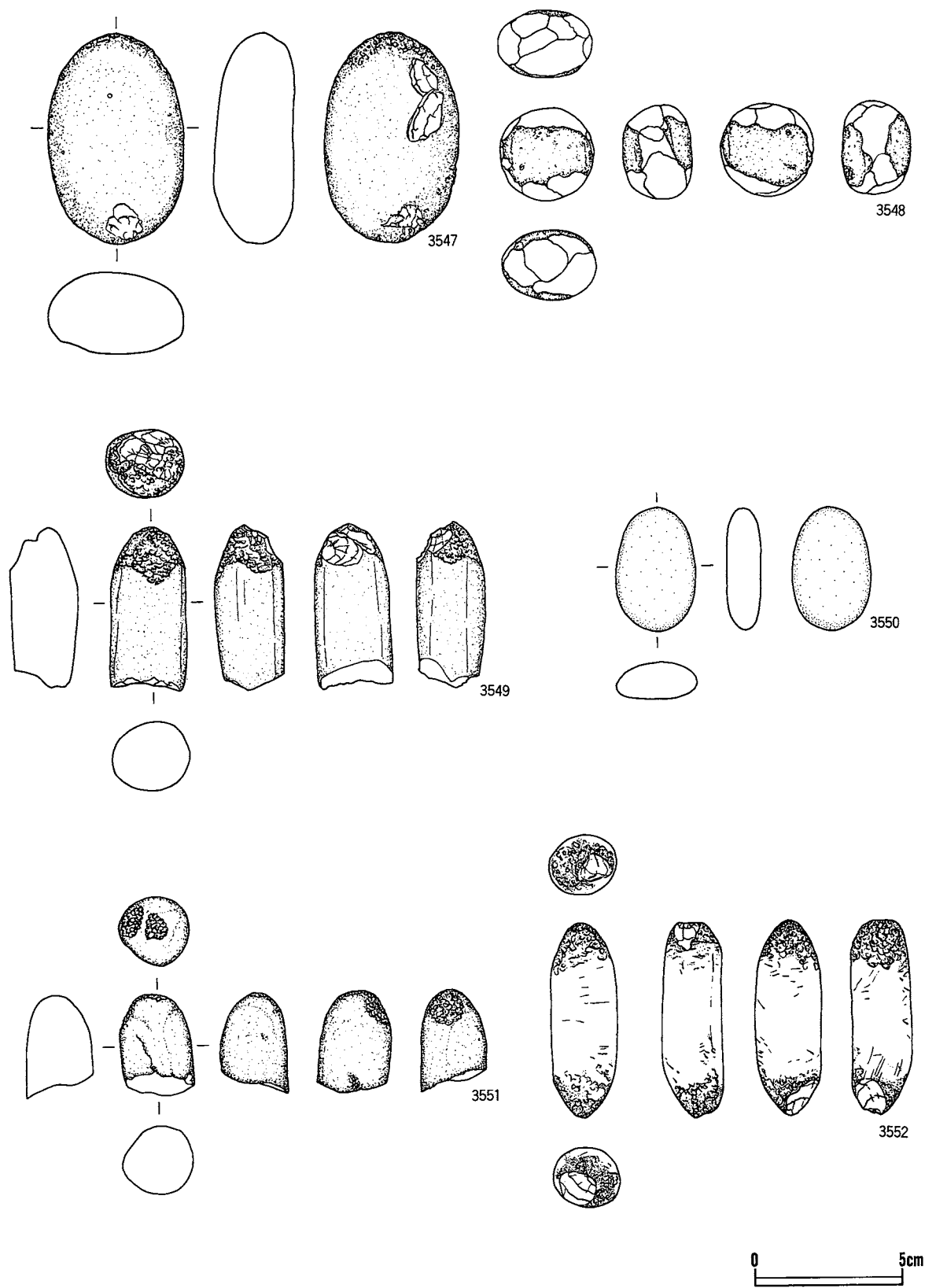


第336图 出土遺物 石器実測図(99)

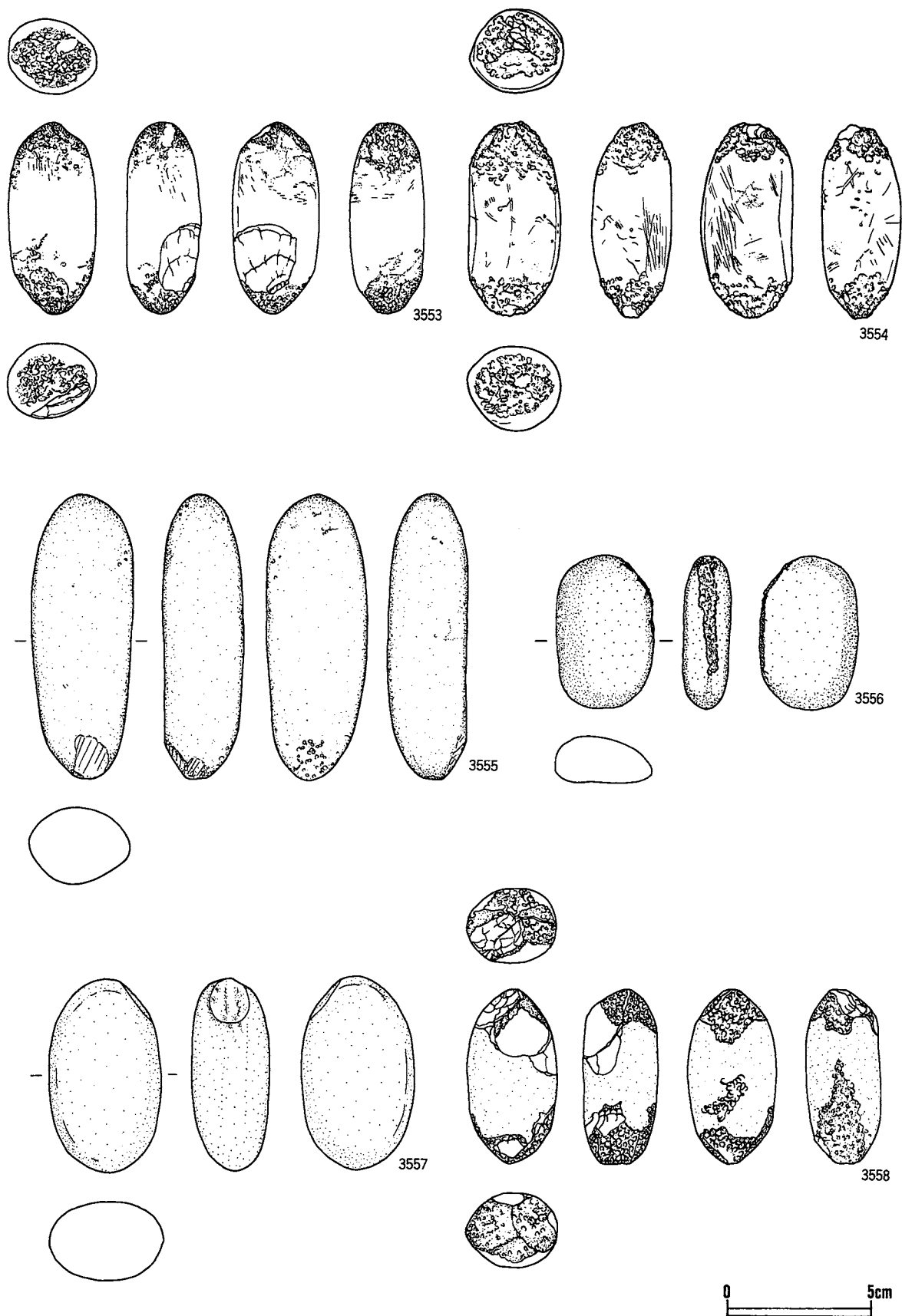


第337图 出土遺物 石器実測図(100)

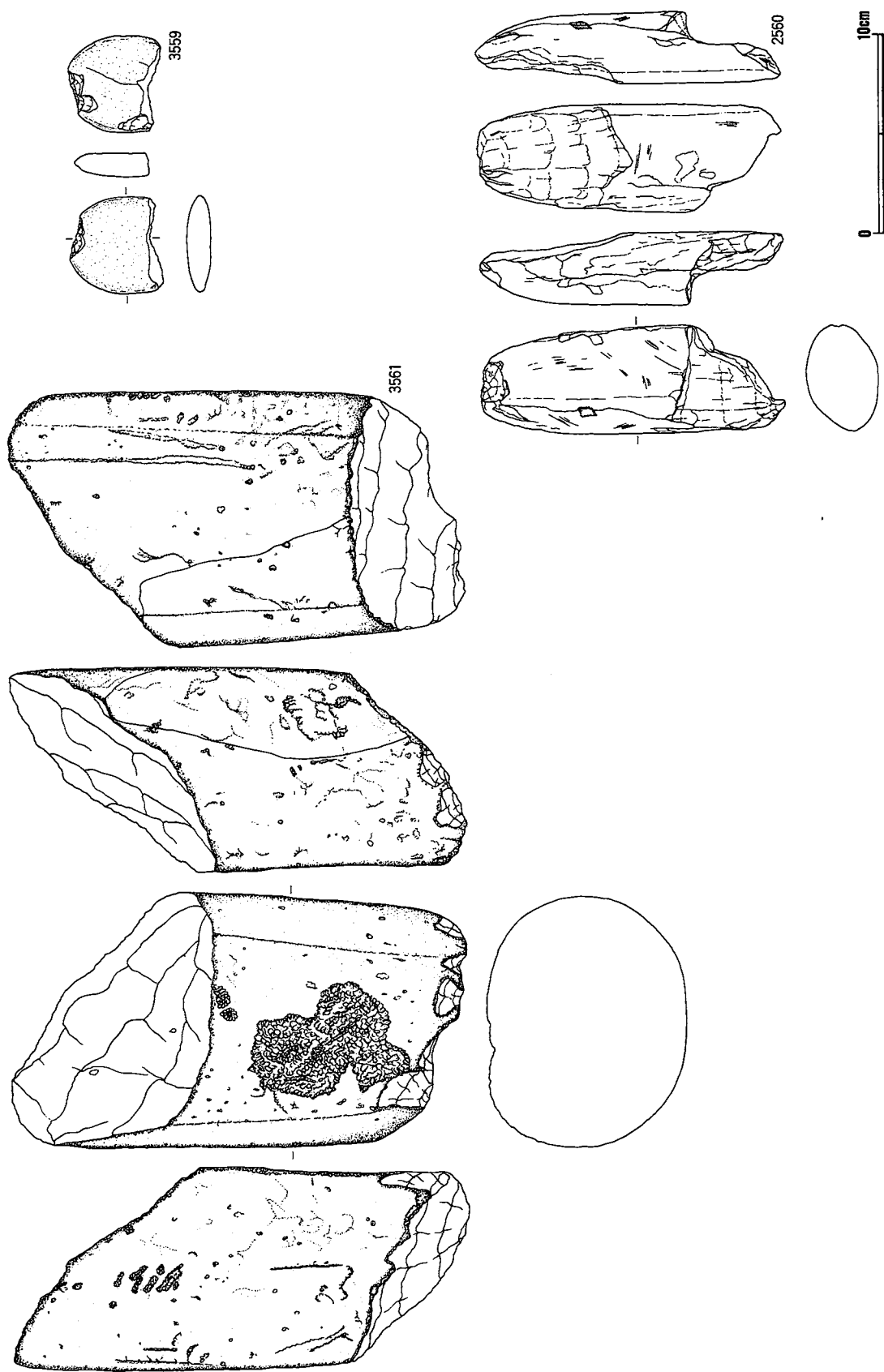




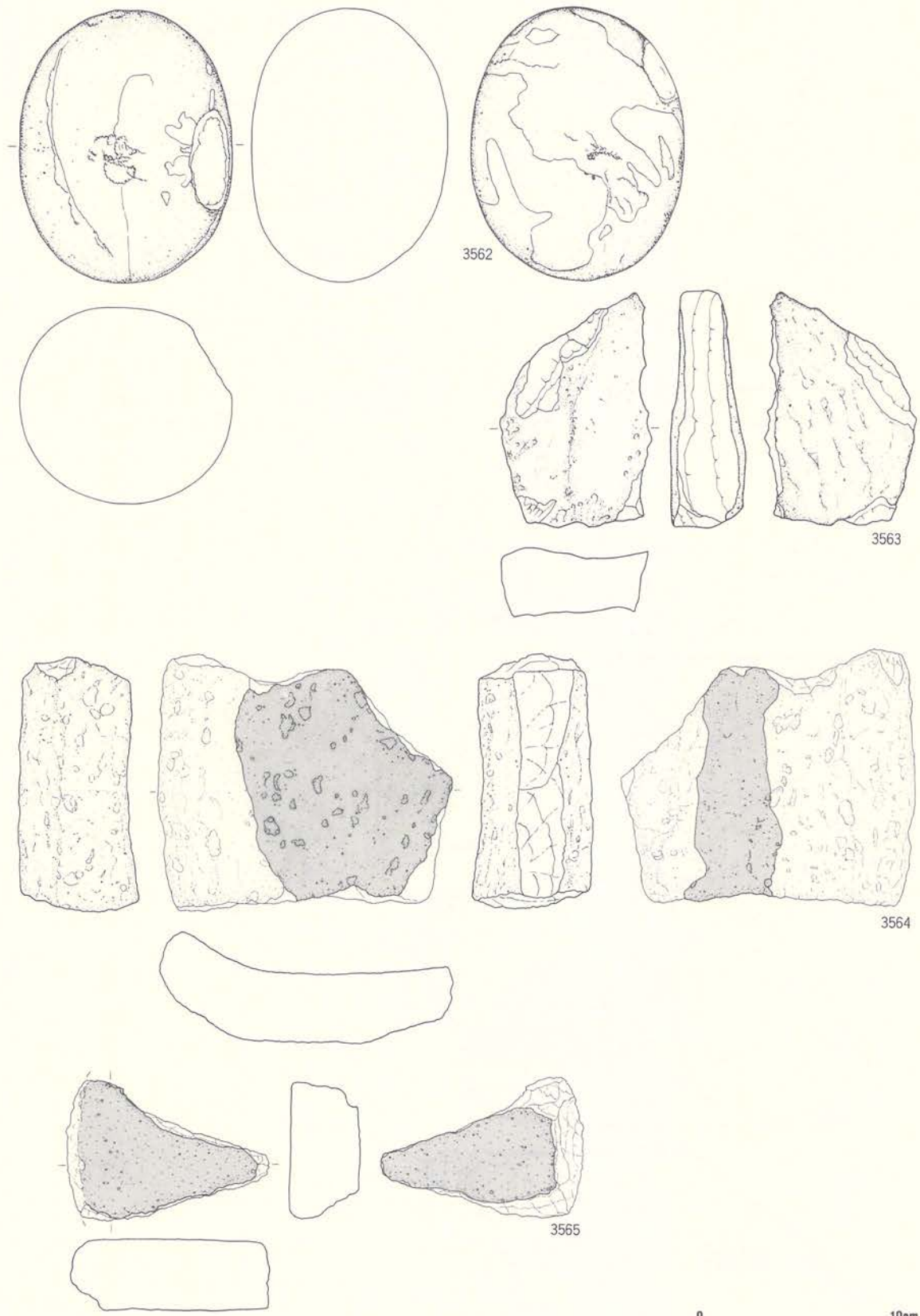
第338图 出土遺物 石器実測図(101)



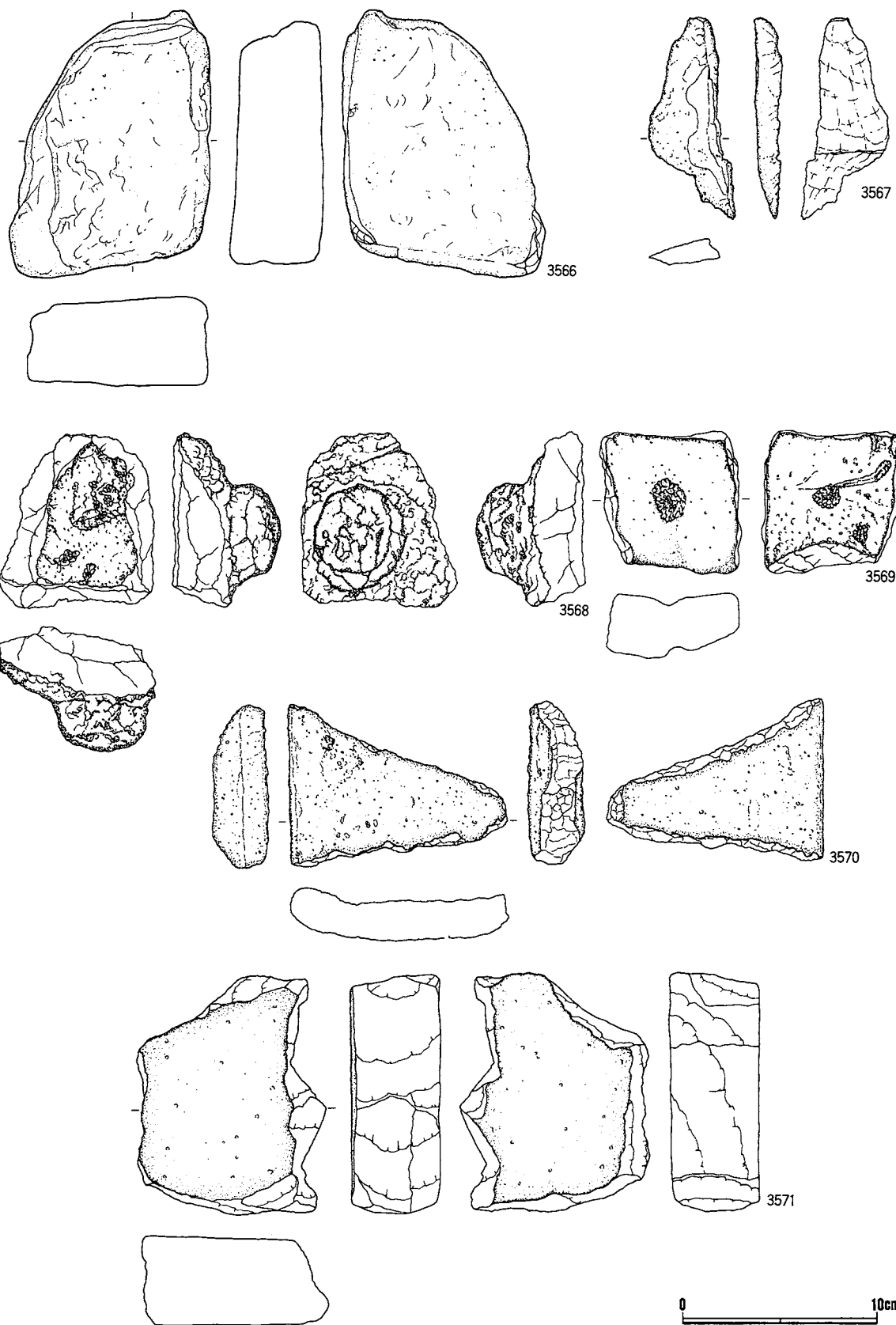
第339图 出土遺物 石器実測図(102)



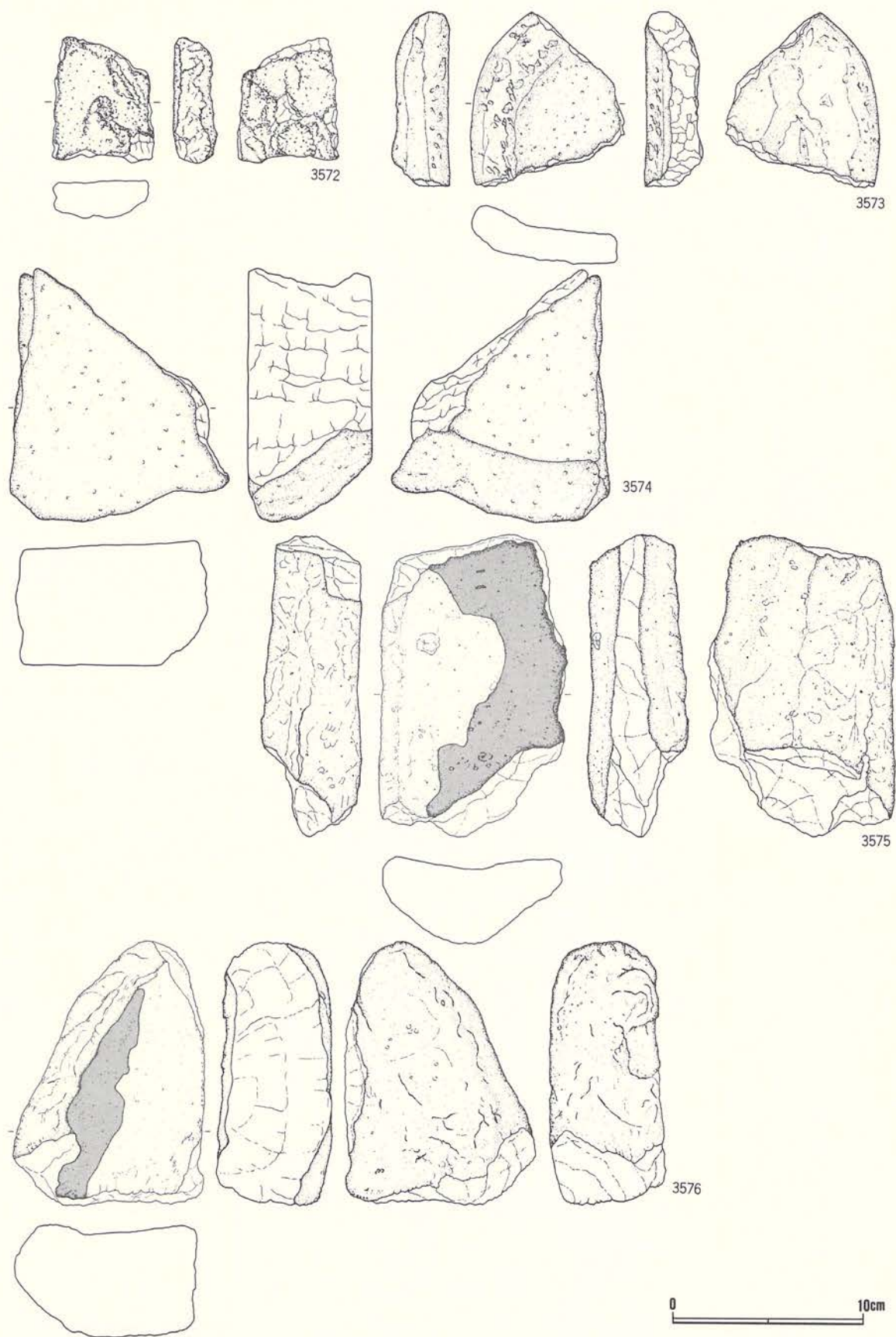
第340图 出土遺物 石器実測図(103)



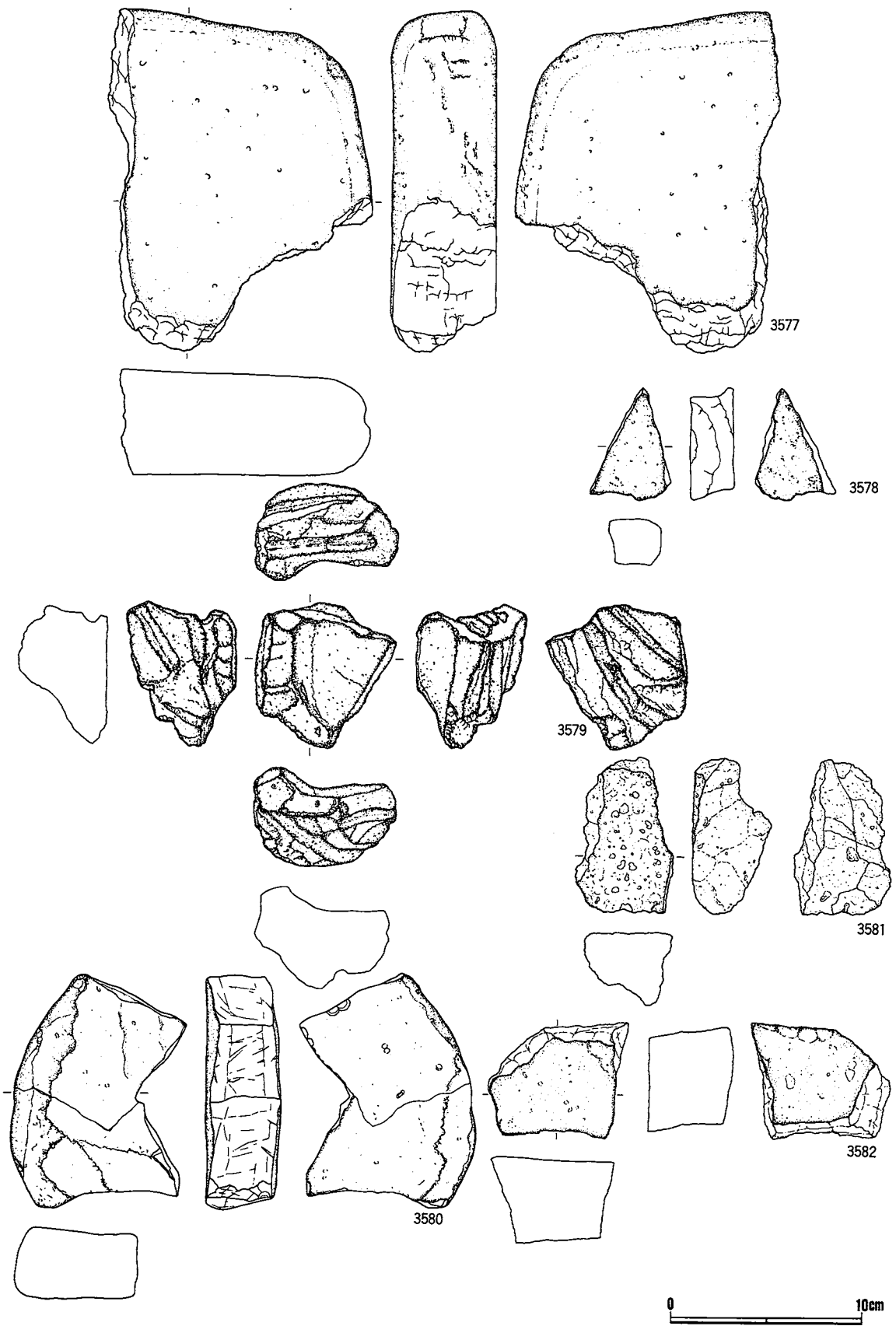
第341図 出土遺物 石器実測図(104)



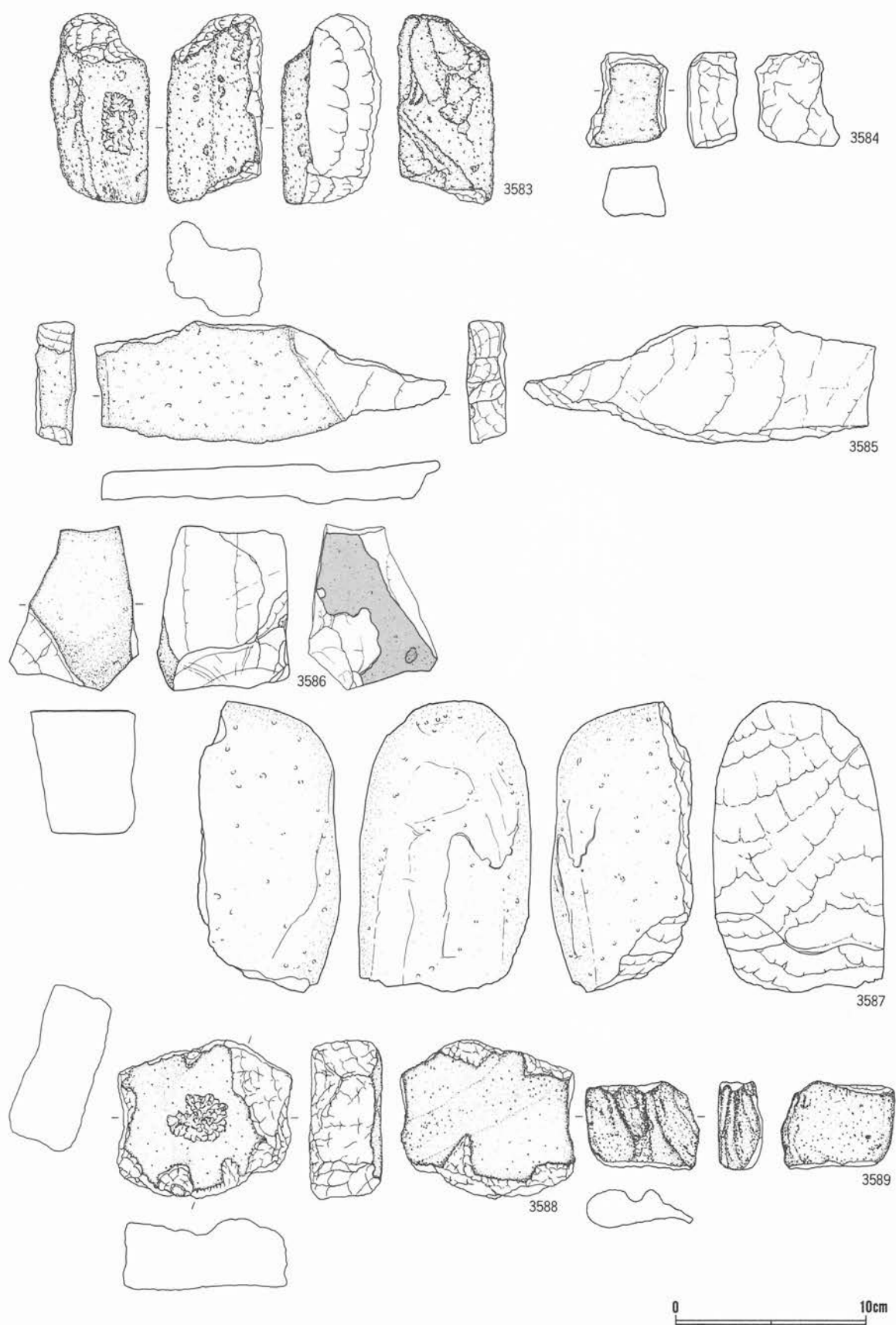
第342图 出土遺物 石器実測図(105)



第343図 出土遺物 石器実測図(106)

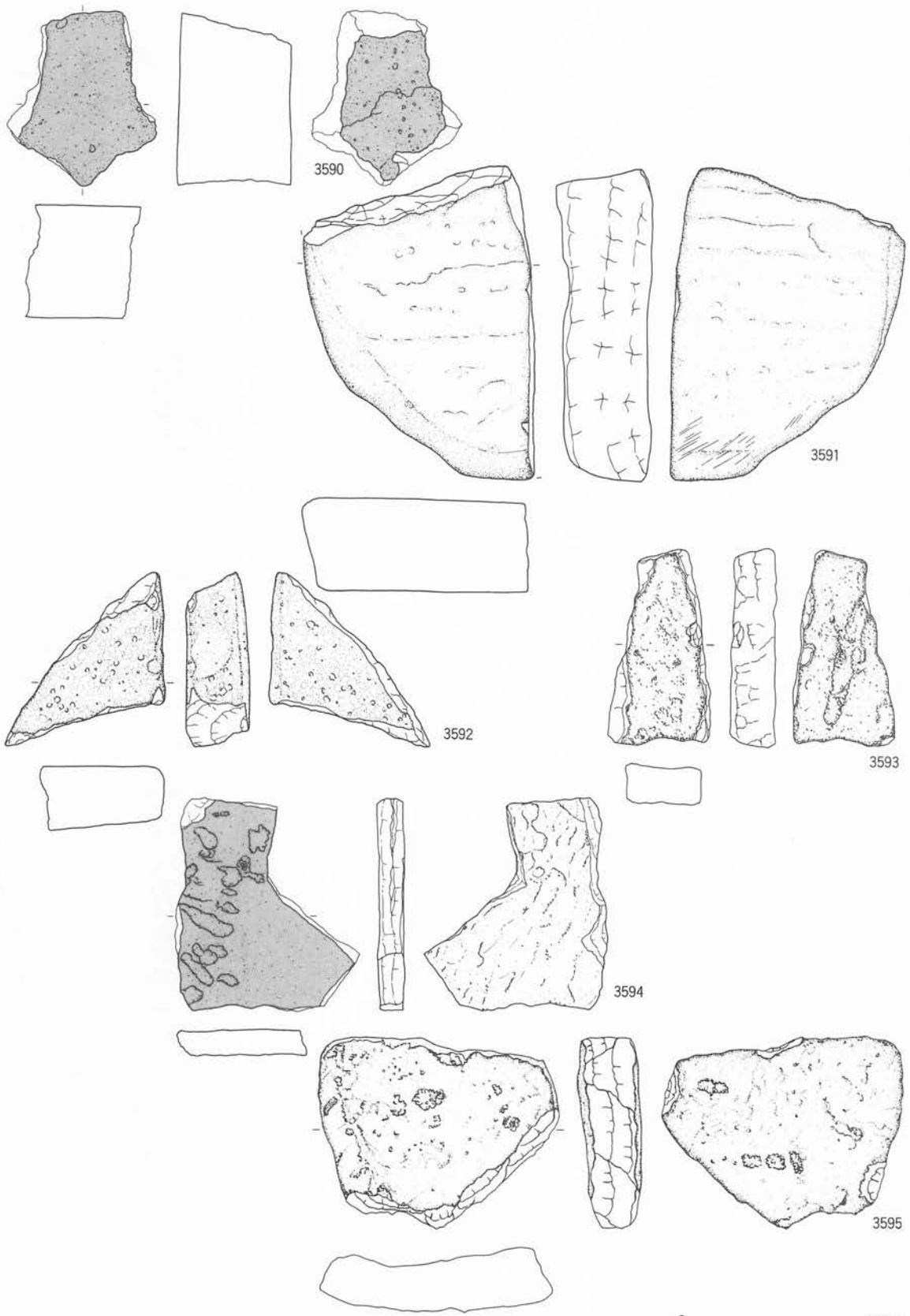


第344図 出土遺物 石器実測図(107)

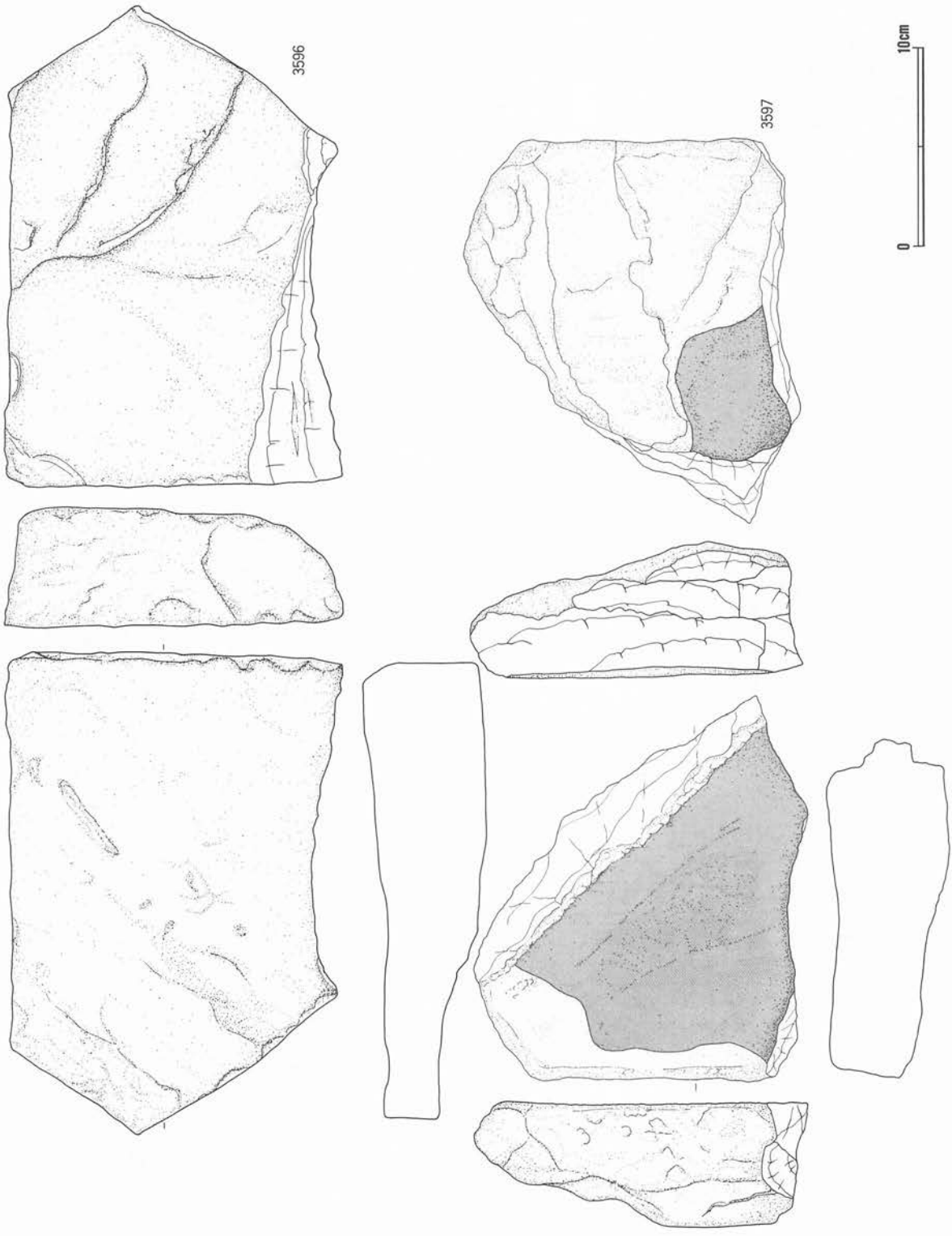


第345图 出土遺物 石器実測図(108)

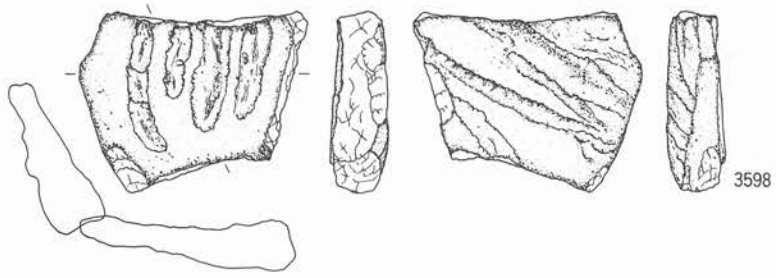




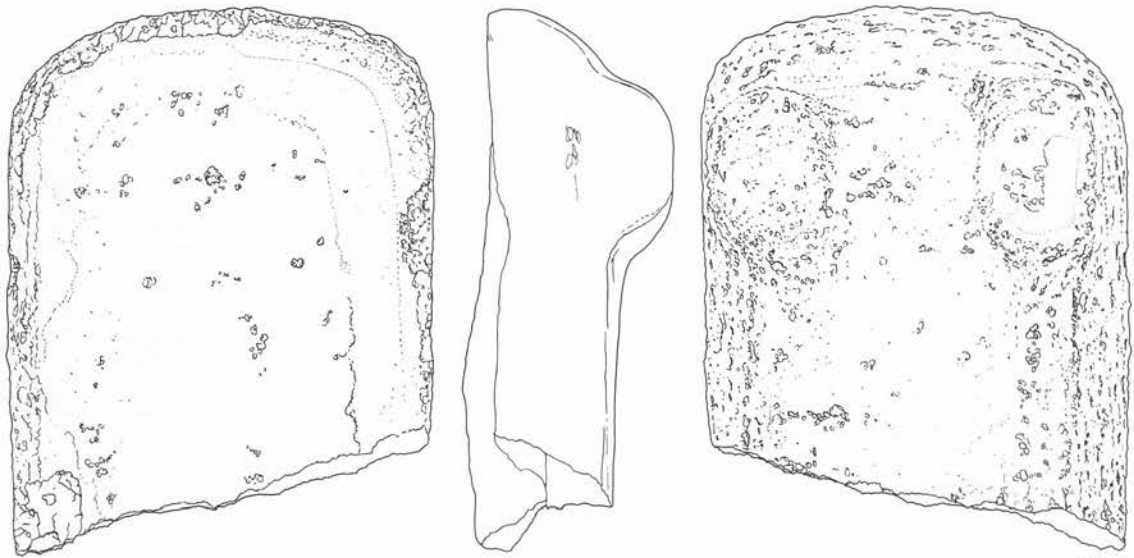
第346図 出土遺物 石器実測図(109)



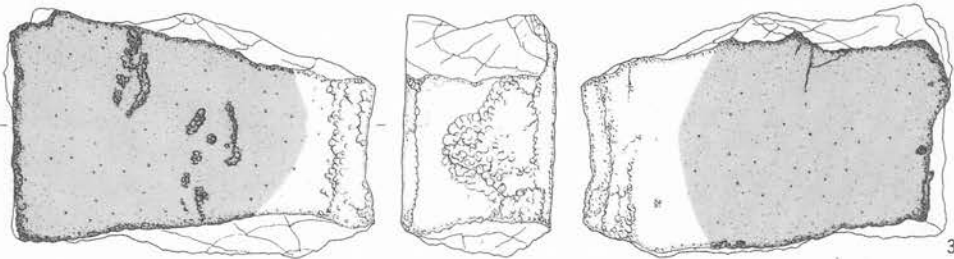
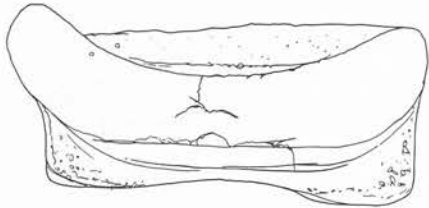
第347図 出土遺物 石器実測図(110)



3598



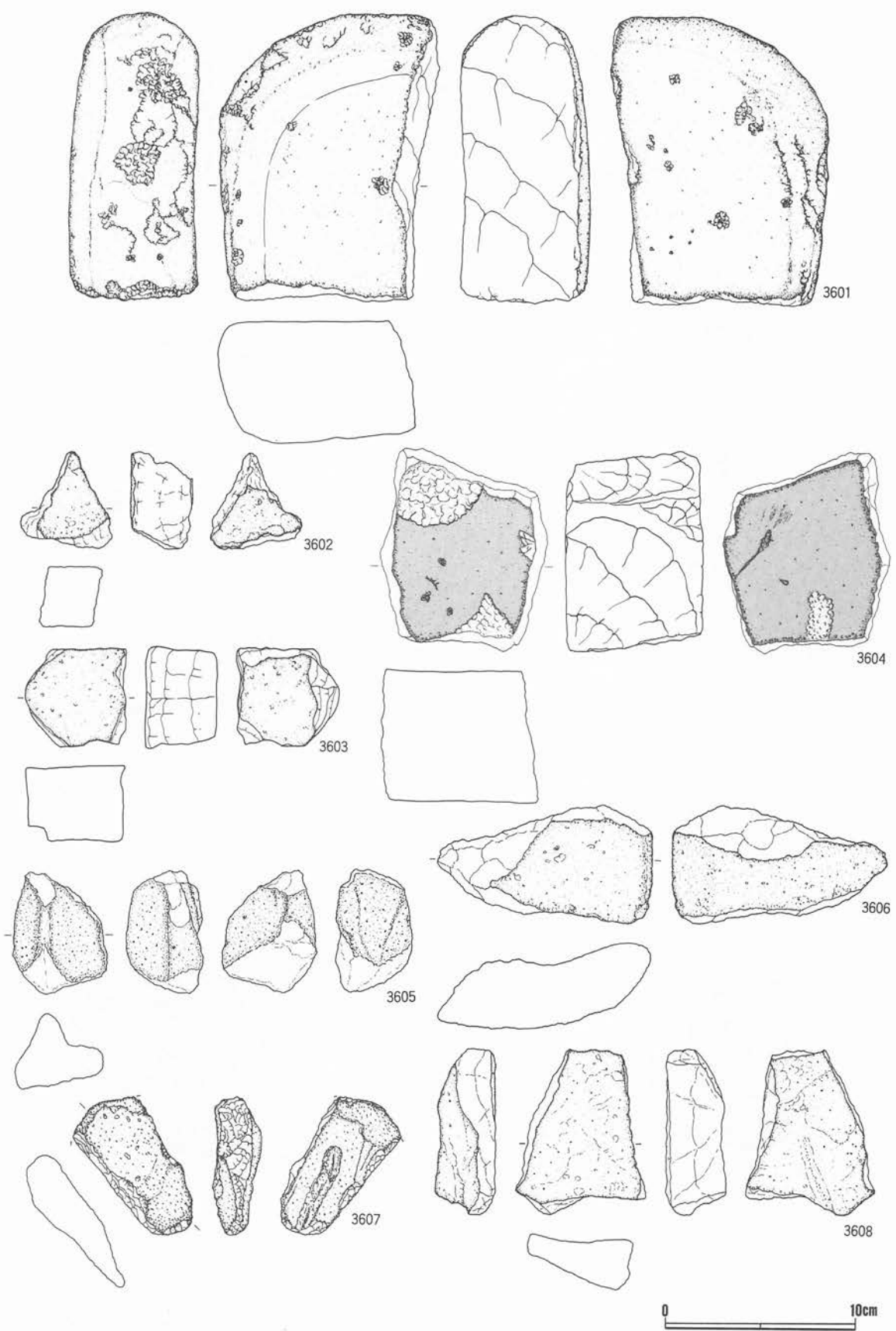
3599



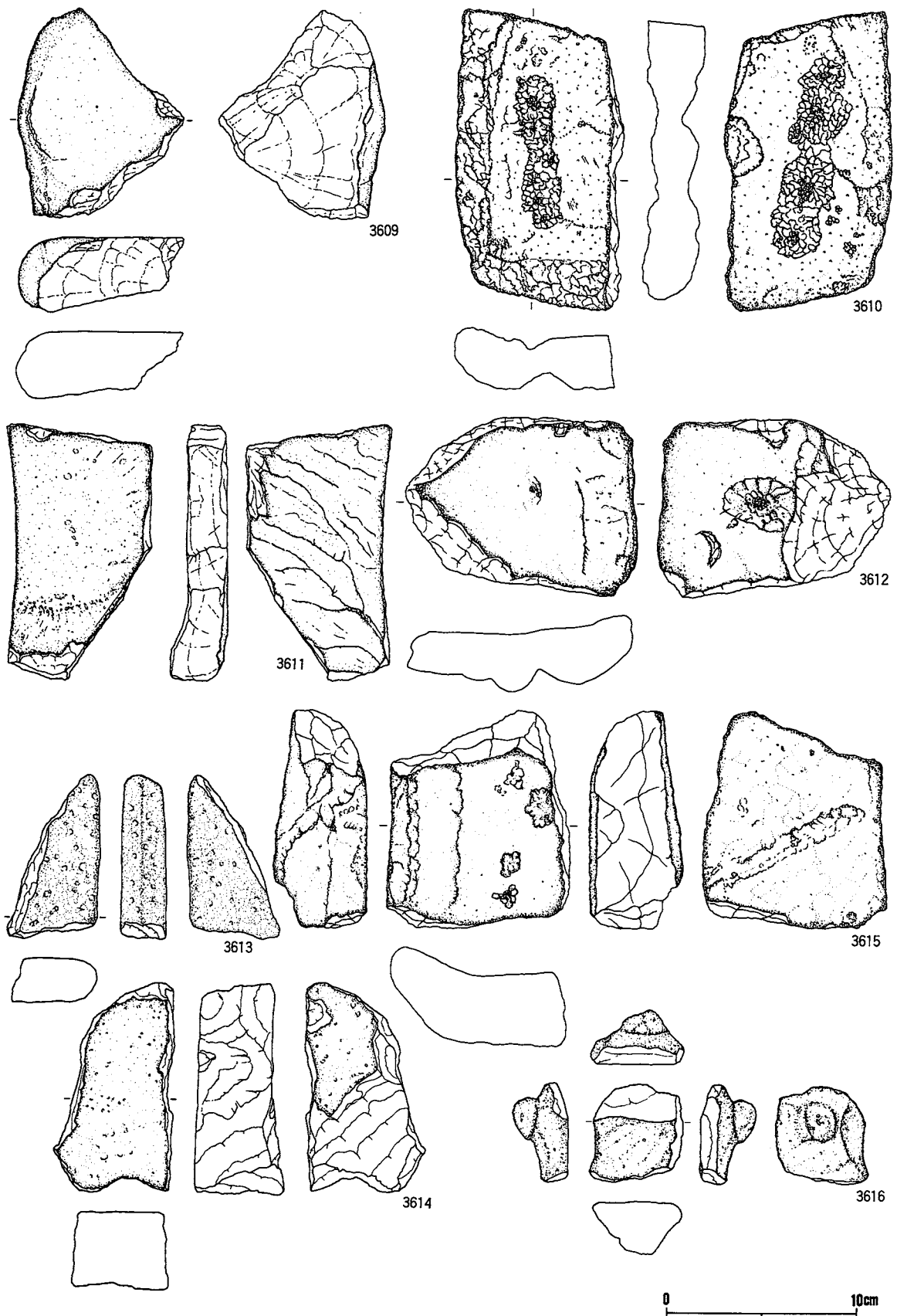
3600



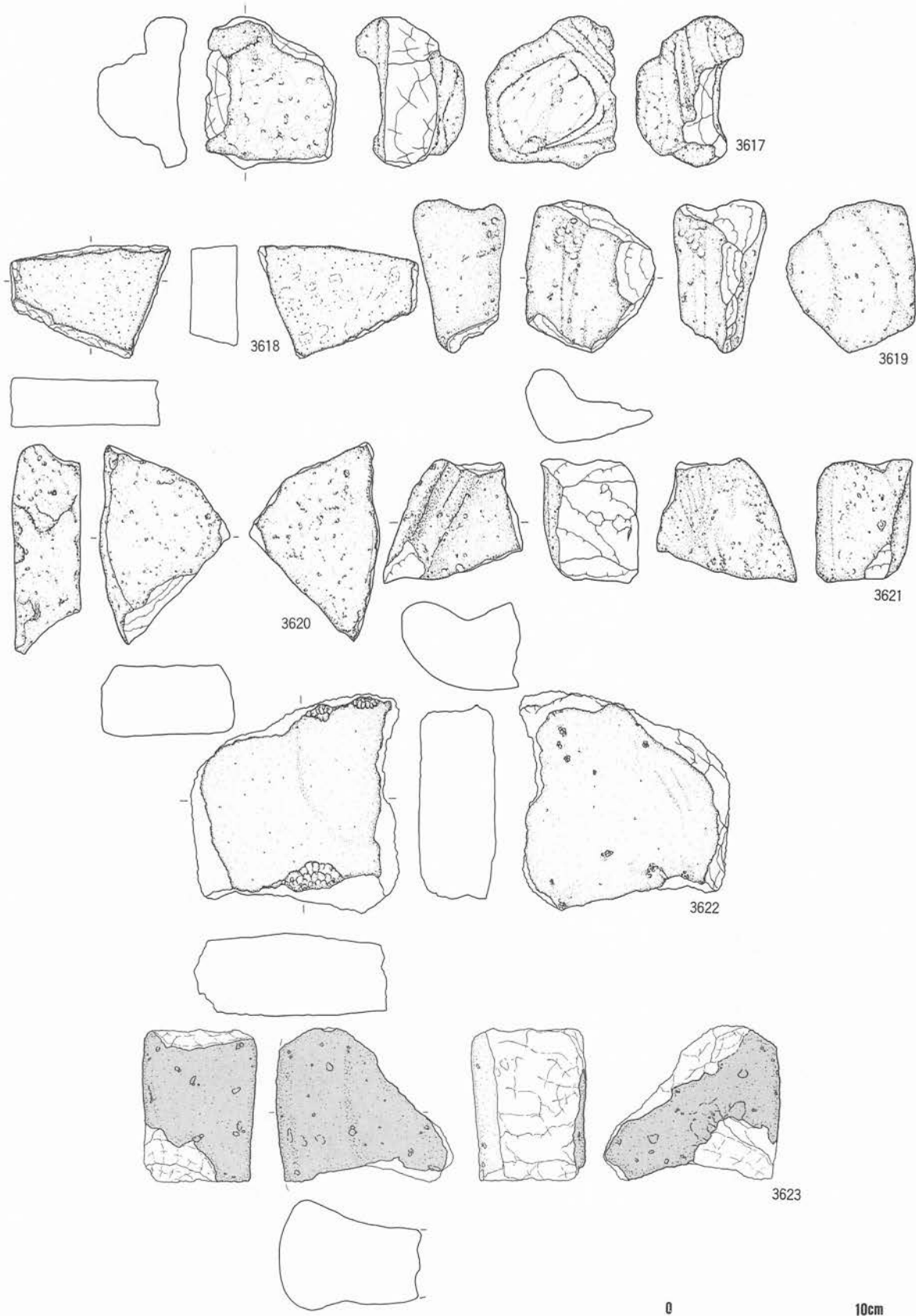
第348图 出土遺物 石器実測図(III)



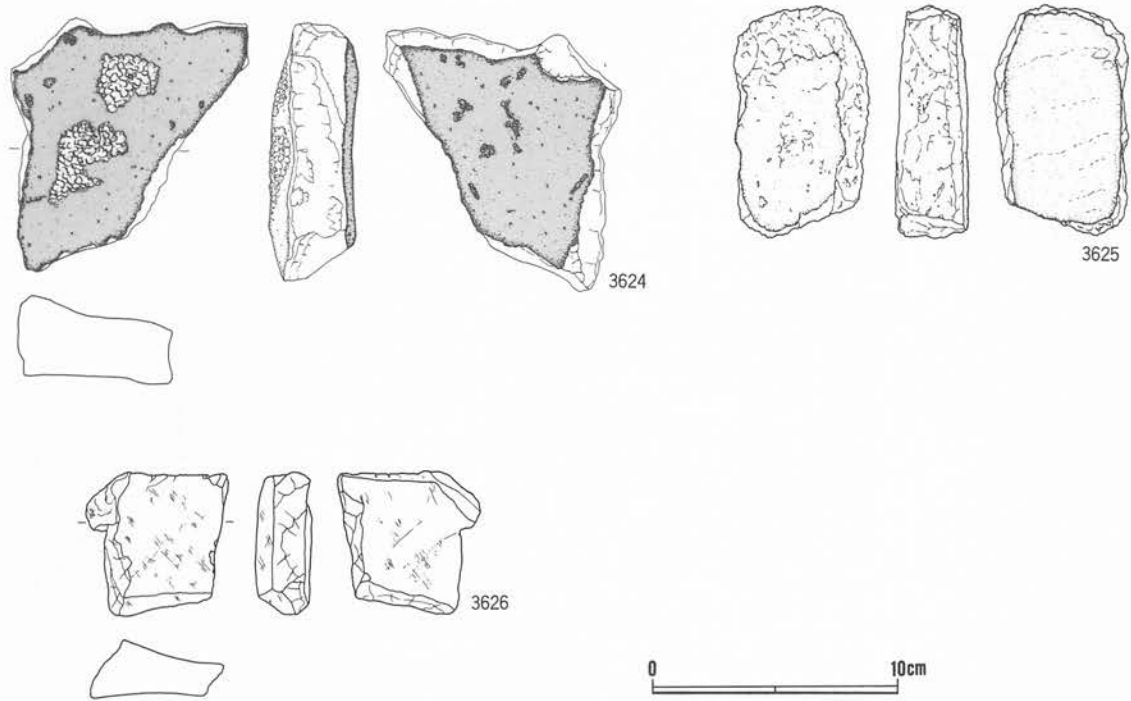
第349图 出土遺物 石器実測図(112)



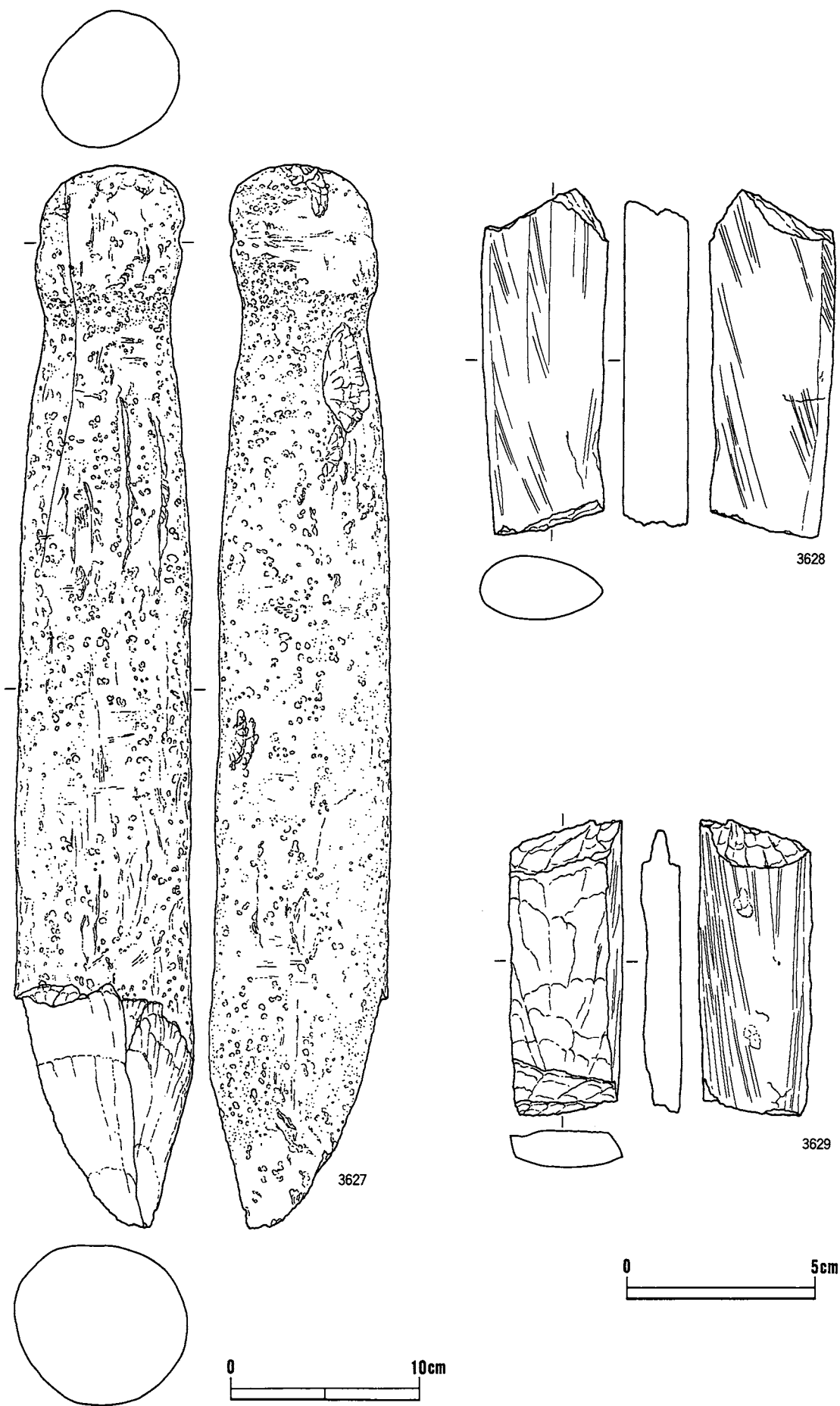
第350图 出土遗物 石器实测图(113)



第351図 出土遺物 石器実測図(114)

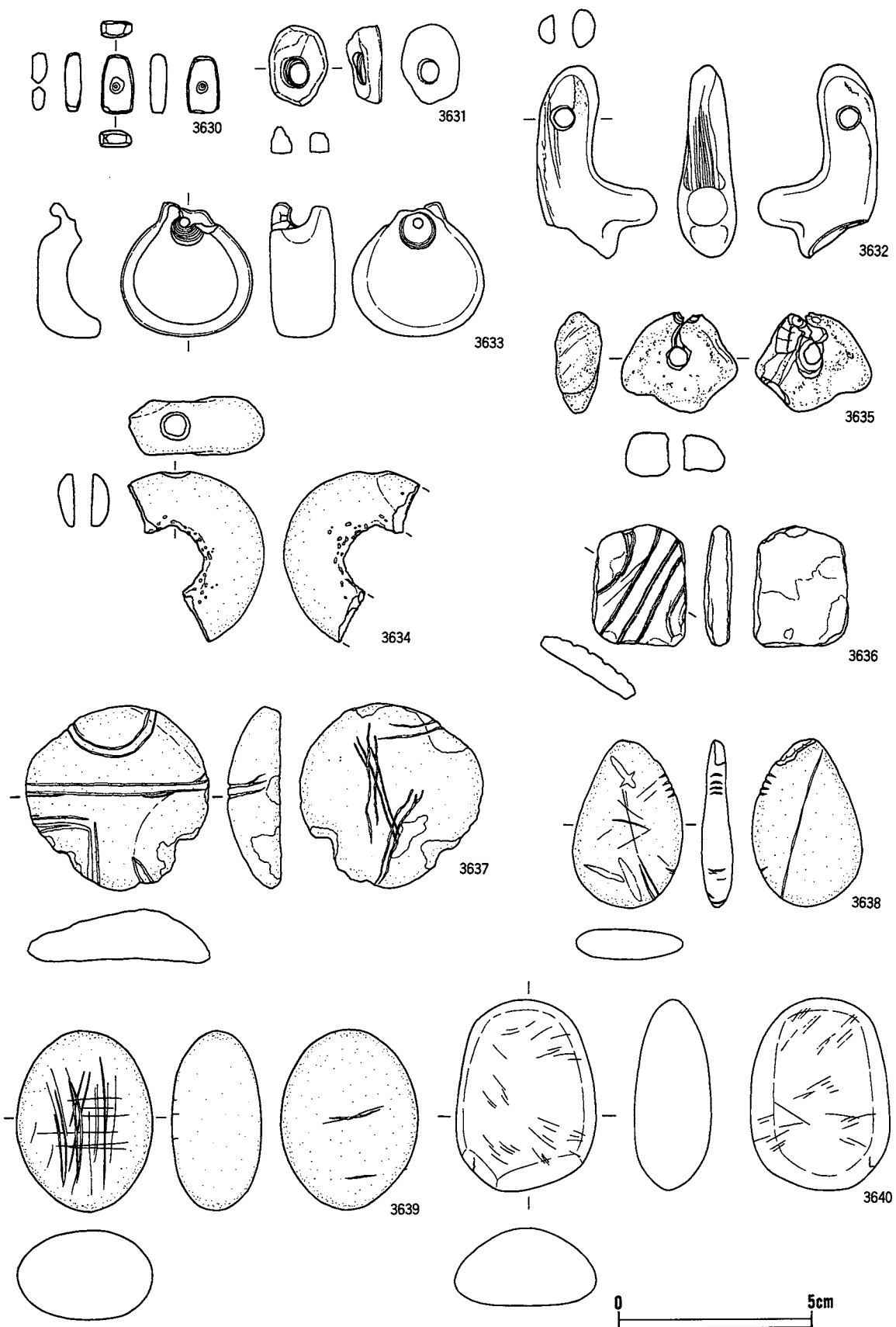


第352図 出土遺物 石器実測図(115)

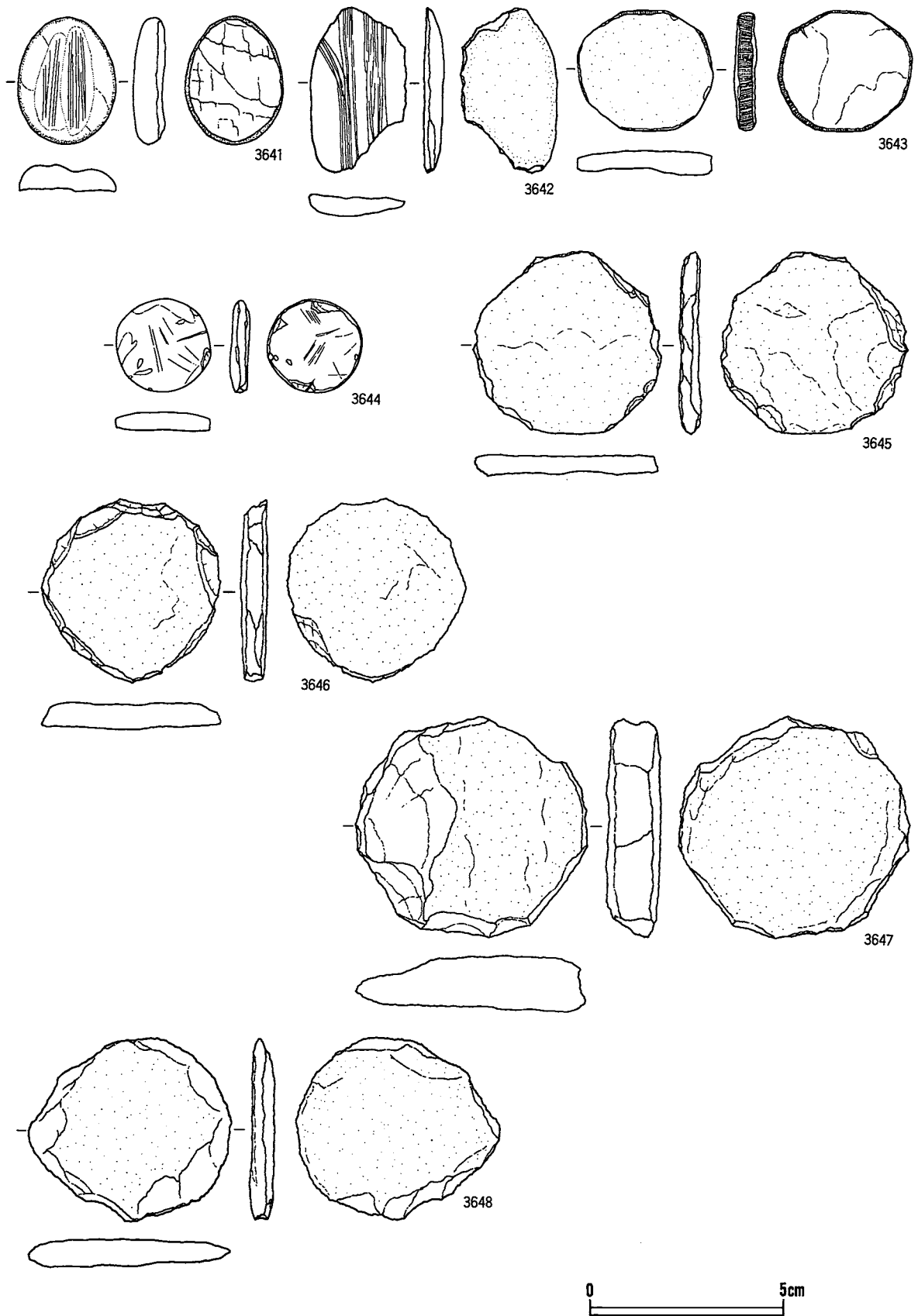


第353图 出土遺物 石器実測図(116)

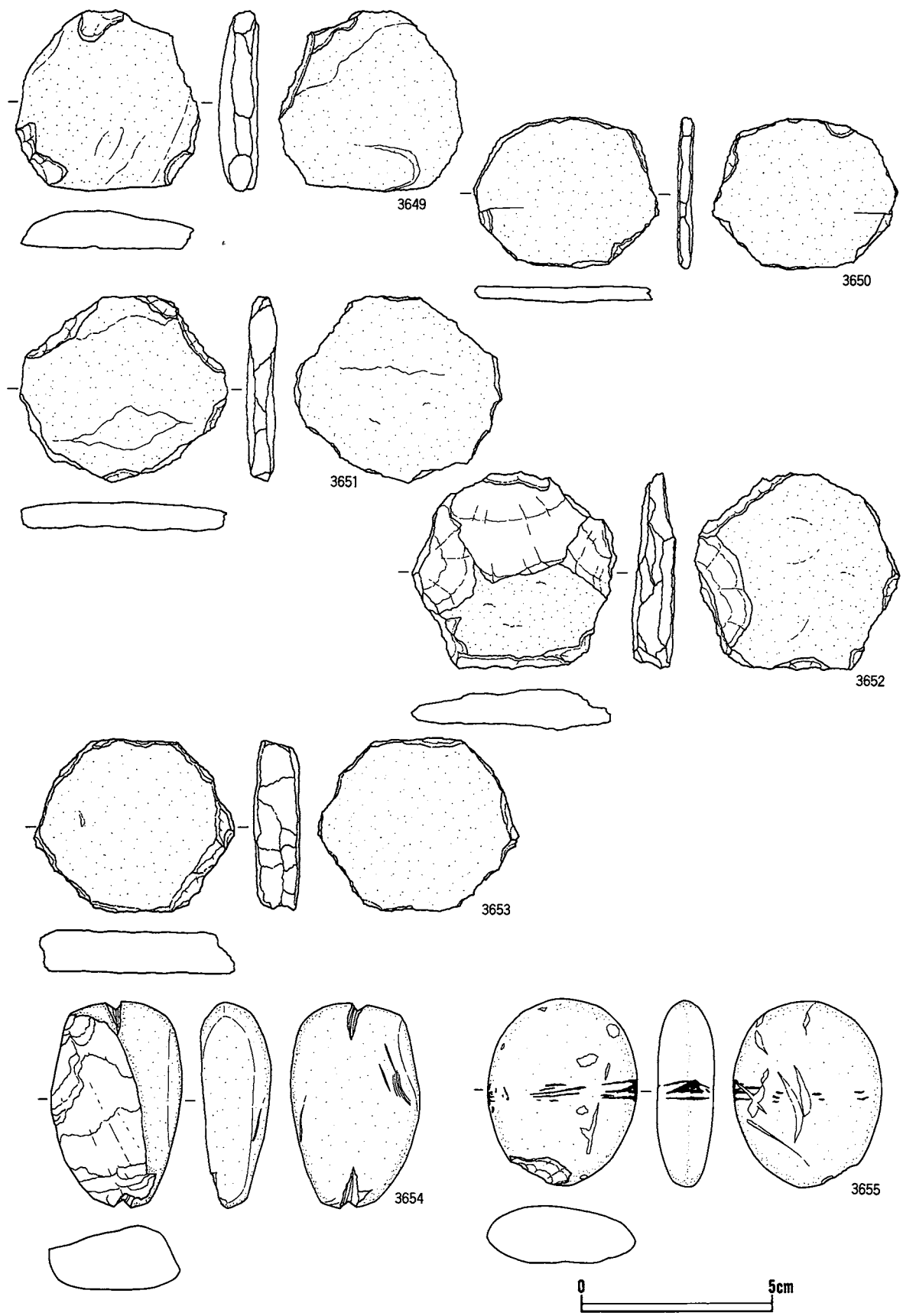




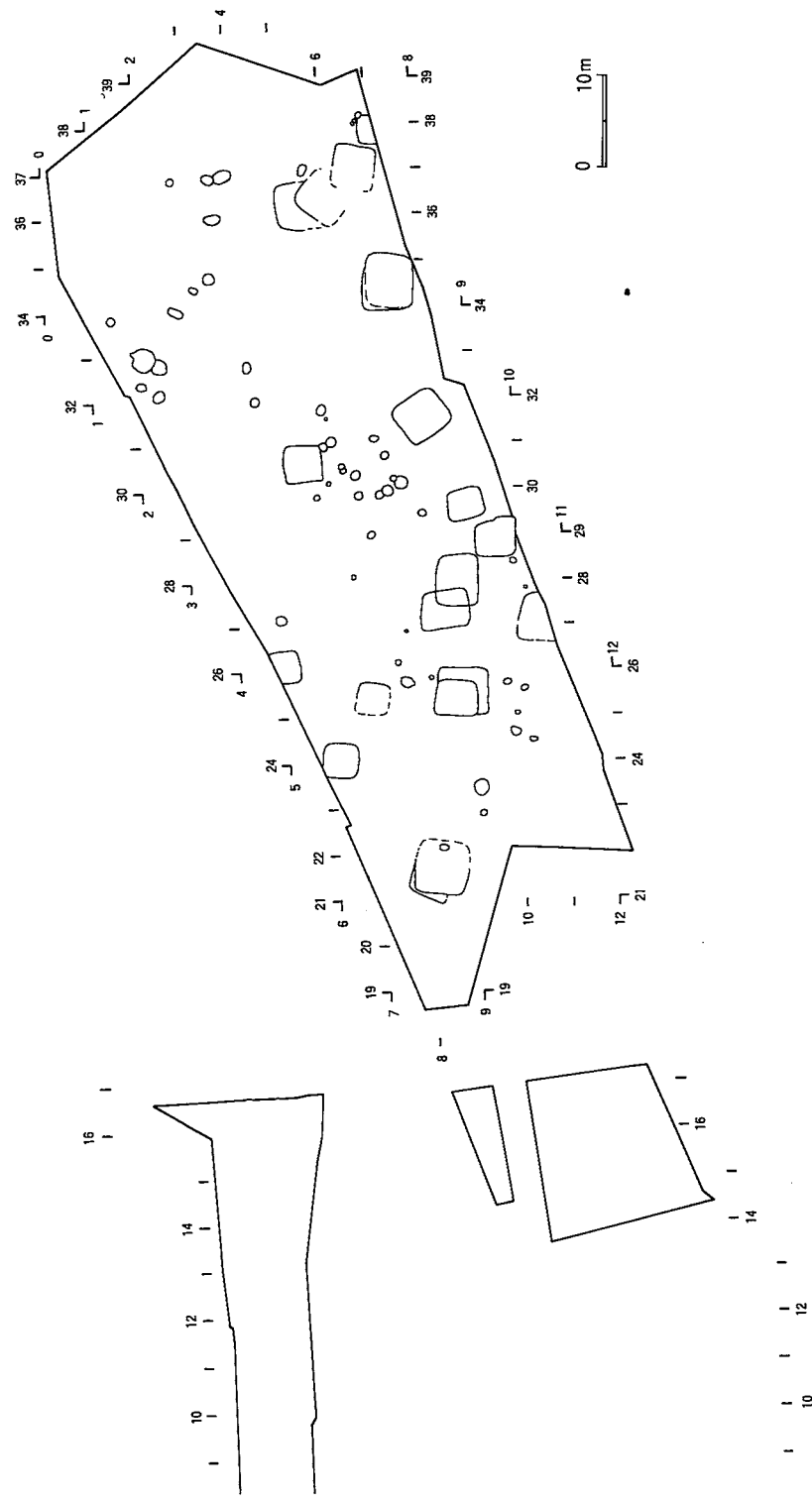
第354图 出土遺物 石製品実測図(1)



第355图 出土遺物 石製品実測図(2)



第356図 出土遺物 石製品実測図(3)



第357図 平安時代遺構配置図

## 4. 平安時代の遺構と遺物

### (1) 住居跡

平安時代の住居が19棟検出された。すべて東調査区からの出土である。以下にその遺構の性質と出土遺物を記す。

#### 4-25-SI 1

**遺構**（第10図575・第358図・写真図版77）

**位置**：調査区東地区北辺のほぼ中央にある。5-23-SI 1の10m東、6-25-SI 1の11m北にある。  
**壁軸の方向**：ほぼ東西南北である。

**検出状況**：貼床面だけが残っていた。規模と平面形：建物北辺が調査区外にはずれるため南北の寸法は推定値だが、東西3.6m、南北約4mのほぼ正方形である。

**カマド**：カマド構造部は検出されていないが、燃焼部と推定できる焼土が東辺の貼床面にあった。

**付属遺構**：床面より下の位置に2つの楕円形土坑があった。中からは土師器破片を含む土しか出土していないが、この住居に付属していたなんらかの穴であった可能性がある。どちらも東辺の近くにあった。柱穴は検出されなかった。

**時期**：出土した土師器坏の形態・製作技法から、9世紀前半代に廃棄された施設と推定した。

**出土遺物**：（第373図・写真図版225）

床面に数点の土師器破片が散乱していた。うち、図示したのは1点である（3656）。ロクロ使用内面無処理のものである。同様のものが、付属するP2からも出土している。同じ土坑からは、他に内面黒色処理の土師器坏（3657）が出土している。住居の床面構成土からは、須恵器壺の破片（3658・4382）が出土している。

9世紀前半代

#### 5-23-SI 1

**遺構**（第10図576・第359図・写真図版78・79）

**位置**：調査区東地区の中央よりやや西寄り、4-25-SI 1の約10m東にある。

**壁軸の方向**：ほぼ東西南北である。

**検出状況**：床面から約20cm上の面で検出された。住居中央部の床面より数cm浮いた状態で、炭化したヨシの茎と推定できる植物やタケ類と推定できる植物茎が検出された（写真図版79）。

焼けた屋根材の可能性もあろうが、住居が焼けたと考えられる材料に乏しい。

**規模と平面形**：東西4m、南北3.7mのほぼ正方形である。

**カマド**：不明である。ただし、東辺中央部に、焼土粒が多く入った土坑があった。このあたりにカマドがあったと推定した。

**付属遺構**：床面より下の位置に円形土坑が2つあった。どちらもカマドがあったと推定した東辺の南隅にある。柱穴は検出されなかった。

**時期**：出土した土師器坏・長胴甕の形態・製作技法から9世紀後半代に廃棄された施設と推定した。

炭化した植物茎

9世紀後半頃

**出土遺物**（第373図・写真図版225・226）

カマドがあったと推定した付近に土師器坏が集中していた。4点を図示した。内面無処理土師器坏が2点(3659・3660)、内面黒色処理土師器坏が1点(3662)、高台付き内面無処理土師器坏が1点(3661)である。高台は貼付られており、底部外側面は糸切り痕が残されたままである。長胴甕は4点を図示した。うち、3663・3665は床を覆う埋土中にあったもの、3664・3668はカマドを破壊して埋めた土の中に埋められていたものである。3668は第359図カマド断面図に図示されたように、口縁を下にして埋められていた。3663・3664・3668がロクロ使用品、3665がロクロ非使用品である。ロクロ使用3663の外底面には縄の圧痕が円形に残っている。付属するP1からも土師器坏が2点出土した(3666・3667)。どちらも内面無処理のものである。他に、釘と考えられる鉄製品(3669)が1点住居床面を覆う埋土中から出土した。

#### 5-30-SI1

**遺構**(第8図577・第360図・写真図版79・80)

位置:調査区東地区の中央よりやや東より、5-23-SI1の約48m東にある。

壁軸の方向:ほぼ東西南北である。

検出状況:床面だけが検出された。

規模と平面形:東西辺・南北辺とも4.0mの正方形である。

カマド:不明である。燃焼部の痕跡も検出されなかった。ただし、南辺中央部の床面上に灰白色粘土が貼られていた。その平面形は円形で、直径約40cm、厚さ約1cmである。

付属遺構:床面より下に土坑が2つあった。柱穴は未検出である。

#### 9世紀後半頃

時期:付属すると考えられた土坑から出土した土師器坏の形態・製作技法から9世紀後半頃に廃棄された遺構と推定した。

**出土遺物**(第374図・写真図版226)

付属すると推定した土坑P2埋土から土師器坏が1点出土した(3670)。ロクロ使用で、内面は黒色処理されている。深いタイプのものである。

#### 5-36-SI1(旧遺構名5-36-SI2)

**遺構**(第7図578・第361図・写真図版80)

位置:調査区東地区の南辺東端、5-30-SI1の約39m東にある。

壁軸の方向:ほぼ東西南北である。

検出状況:床面を覆う層が数cm残った状態で検出された。

規模と平面形:東西4.5m、南北は南半部が5-36-SI2に切られ不明であるが、ほぼ正方形と推定できる。

カマド:東辺のほぼ中央部床面に燃焼部と推定できる焼土があったが、カマド構造は存在しない。

付属遺構:床面より下から小さな土坑が3基検出された。P3はP1とP2に切られる。これらがすべて5-36-SI1に属するのかわ不明である。位置的にはすべてSI1に属する可能性もあるが、切り合いによる新旧関係から、P3をSI1に属する遺構、他の2つをSI2に属するものとしておく。ただし、これらに確信はない。柱穴は未検出である。

#### 9世紀後半代～10世紀前半代

時期:床面や付属すると推定された土坑埋土から出土した土師器坏の形態・製作技法から、9世紀後半代～10世紀前半代に廃棄された施設と推定した。

#### 出土遺物 (第374図・写真図版227)

P 1 底面に完形の土師器坏 (3683) が1点正立していた。内面黒色処理されたもので、内面を黒色処理したときの炭化物が、口縁部外面にも吸着している。

#### 5-36-SI 2 (旧遺構名 5-36-SI 3)

#### 遺構 (第7図579・第361図・写真図版80)

位置：調査区東地区の南辺の東端に近いところにある。5-36-SI 1 の南半部に重なる。こちらの床面の方がいくらか低くなっており、切り合い関係から、こちらが新しいと考えられる。

壁軸の方向：東に45度ほど傾く。

検出状況：床面を覆う層が数cm残った状態で検出された。

規模と形態：床面の一部しか検出できなかったので、正確な規模や形態は不明だが、周辺の建物とほぼ同じくらいの規模、形態と推測した。

カマド：東辺のほぼ中央部に燃焼部と推定できる焼土があった。

付属遺構：P 1・P 2 (旧遺構名 5-36-P 2) が検出されたが、この住居にともなう確信はない。

柱穴は未検出である。時期：床面や、付属すると推定した土坑埋土から出土した土師器坏の形態・製作技法から、10世紀中頃に廃棄された遺構と推定した。 10世紀中頃

#### 出土遺物 (第374～375・389図・写真図版226～228)

床面を覆う層から、ロクロ使用内面無処理土師器坏が2点 (3671・3674)、非ロクロ使用土師器長胴甕破片が2個体分出土した (3675・3681)。他に、床面から3点の土師器坏が検出された (3672・3673・3678)。それらはロクロ使用の内面無処理の製品で、器高が低いのが特徴である。P 2 から高台坏が1点出土した (3677)。付属する施設の可能性もある P 1 から内面黒色処理のロクロ土師器坏が1点 (3679) 出土したが、それは器高がいくらか高い。

#### 5-36-SI 2 西の土坑 5-36-P6 (遺構：第361図)

この土坑の開口部すぐ東にはカマドの燃焼部にも似た固い焼土部分があるので、この土坑は別の住居跡のカマド脇にある土坑とすべきかもしれないが、床面などがはっきりしなかったので独立した住居跡の名称は与えていない。だが、住居の可能性があるので、ここに解説を述べておく。紛らわしい場所に載せてしまったが、5-36-SI 2 の床の外側にあるので、5-36-SI 2 に付属する遺構ではないことは明らかである。

#### 出土遺物 (第374・375図・写真図版227・228)

P 6 の遺構底面から15点の土師器坏が出土した。15点には、ほぼ完形品が多いが、中には破損品も含まれている。破片をのぞく13点を図示した (3687～3699)。ロクロ使用内面無処理土師器坏が8点、ロクロ使用内面黒色処理土師器坏が2点、ロクロ使用内面黒色処理高台坏が3点出土した。高台付坏の底は糸切り後、高台を貼っただけのもの1点 (3696)、高台貼付後、外底面に同心円状押し引き沈線を付けたタイプのもの (3697・3698) である。前者は内面だけに黒色処理が施されるが、3698は内外面ともみがかれ、黒色処理が施されている。3696の高台が、3697・3698の高台よりも高い。

時期：出土した土師器坏や高台坏の製作技法、形態から、10世紀中頃に埋められた可能性がある。 10世紀中頃

#### 6-25-SI 1

**遺構**（第10図580・第362図・写真図版81）

位置：調査区東地区の中央よりやや西よりにある。4-25-SI1の約15m南にある。

壁軸の方向：ほぼ東西南北である。

検出状況：床面を覆う埋土が数cm残った状態で検出された。

カマド：東辺のほぼ中央部にある。床面に、カマド両袖の支柱として楕円形の垂角礫が埋められていた（写真図版81）。カマドは壊されていたが、両袖支柱の礫と礫の間はほぼ中央部の焼粘土塊上に土師器坏が1点（3703）伏せられていた（写真図版81）。

規模と平面形：西部を攪乱で削られ、東半部しか残っていないが、ほぼ正方形と推定できる。残された東辺の寸法は約4.2mである。

付属遺構：床面より下に2つの土坑があった。柱穴は未検出である。どちらの土坑も人為的に埋められたものである。

10世紀中頃 時期：壊されたカマドの上に伏せられた土師器坏（3703）の形態・製作技法、付属すると考えられる土坑内出土の土師器高台付皿（3705）の存在から、10世紀中頃に廃棄された住居と考えられる。

**出土遺物**：（第375・387図・写真図版228・229）

床面から、ロクロ使用内面無処理土師器坏が2点（3700・3704）出土した。土師器長胴甕破片が1点（3707）出土した。非ロクロ使用製品である。カマド破壊部の埋土からロクロ使用内面黒色処理土師器坏が1点（3702）出土した。内面無処理のロクロ土師器（3703）も、カマド破壊部の埋土中から出土した。こちらは、完形品で、カマド破壊後、そこを埋める時に、意図的に置かれた可能性が高い。P2から、高台付皿が1点（3705）、土師器坏が2点（うち1点を図示した3706）出土した。

他に、表土粗掘り時の採集品ではあるが、この住居の近くからの採集であること、また、全体の2/3ほどが残っていたことから、この住居跡にあった製品である可能性があるものに、3708がある。低い高台が貼られている。高台貼りつけ時の調整で、糸切り痕は消されている。

#### 6-37-SI1

**遺構**（第7図581・第363図・写真図版80）

位置：調査区東地区の南辺の東端に近いところにある。5-36-SI1の南東に隣接する。接するようがあるので、両者の存在時期には先後関係があるはずである。出土した遺物からは、6-37-SI1が古いと考えられる。

壁軸の方向：ほぼ東西南北である。

検出状況：床面だけが検出された。

カマド：未検出である。

規模と平面形：西半は検出できなかったが、南北辺は4.3mである。平面形はほぼ正方形と推定した。

付属遺構：床面より下に土坑が3基あった。柱穴は未検出である。

10世紀前半代 時期：出土土師器坏の形態・製作技法、灰袖陶器（K90）の形態から、10世紀前半代に廃棄されたと推定した。

**出土遺物**（第376・387図・写真図版229）



3713はP3の埋土1層から出土した。内面無処理ロクロ土師器ほぼ完形品である。床面を覆う埋土とP1埋土から、猿投のK90窯産の特徴を持つ灰釉陶器片が出土した(3715)。接合して、1/2ほどの残りの皿となったが、出土した時は2破片に割れていた。器内面の細かな凹凸に朱が付着している。

K90窯灰釉  
陶器片

#### 6-37-SI2

**遺構** (第7図582・第363図・写真図版80)

**位置**：6-37-SI1のすぐ南東に隣接する。接するようにあるので、両者の存在時期には先後関係があるはずである。出土した遺物からはこちらの方が新しいと推定できる。

**壁軸の方向**：東西南北である。

**検出状況**：床面だけが検出された。遺構の南半部は調査区の外側にある。

**カマド**：未検出である。

**規模と形態**：南半部が調査区外に出るので、南北の寸法は不明だが、東西は3.7mである。

**付属遺構**：土坑が1基、北辺東隅から検出された。

**時期**：土師器坏の形態から、10世紀中頃と推測した。

10世紀中頃

**出土遺物** (第376図・写真図版229)

ロクロ土師器坏(3710)は床面から正立の状態出土した。ほぼ完形品である。内面黒色処理されており、口縁部外側にも黒色処理時についたと思われる炭化物吸着部がある。他に、付属した可能性のある土坑から出土した土師器坏が4点(3点を図示した。3711・3712・3714)ある。すべてロクロ土師器で、内面黒色処理されたものと内面無処理のものがある。

#### 7-21-SI1

**遺構** (第12図583・第364図)

**位置**：6-25-SI1の約39m西にある。西辺と北辺の一部を残し、それ以外が8-21-SI1の大部分と重なる。

**壁軸の方向**：住居の西辺の軸は東に25度傾いている。

**検出状況**：床面を直接覆う層が数cm検出された。

**規模と形態**：東西辺、南北辺とも約4m、平面形はほぼ正方形と推定できる。

**付属遺構**：不明である。

**時期**：出土した土師器坏から9世紀後半代に廃棄されたと推定した。

9世紀後半  
代

**出土遺物** (第376・387図・写真図版229・230)

ロクロ使用内面無処理土師器坏が4点出土した。また、ロクロ使用内面黒色処理土師器坏が2点出土した。ロクロ使用内面黒色処理土師器には高台付きの土師器坏が2点出土した。糸切り後、高台を張り付けるが、その後、外底面の調整はおこなわれていない。他に須恵器破片が2点出土した。一つは長頸壺の底部、一つは壺の頸部から肩にかけての一部である。鉄器が3点出土している。3719はカマの刃の可能性ある。他の2点は刀子の刃の可能性ある。

#### 8-21-SI1

**遺構** (第12図584・364)

**位置**：7-21-SI1の東に重なる。

**壁軸の方向**：ほぼ東西南北。

規模と形態：東半部は現代の攪乱によりほとんど失われているが、壁南東隅の一部が残っている。それから、推定すると、東西5m、南北6mである。東西辺よりも南北辺がいくらか長い長方形と推定される。

検出状況：床面を覆う単層の埋土が数cm残った状態で検出された。

カマド：検出されなかった。残存している西側や北南辺には無いので、東側にあったと推定できるが、住居東側は攪乱により破壊されているので、正確なことは述べられない。

付属遺構：未検出。柱穴は未検出である。

#### 9世紀後半代

時期：出土した土師器坏の形態・製作技法から、9世紀後半代に廃棄された遺構と推定した。切り合い関係から、7-21-SI1よりも新しい。

#### 出土遺物（第378図）

ロクロ使用内面黒色処理の土師器坏が1点出土した。

#### 7-34-SI1

遺構（第7図585・第365図・写真図版81～83）

位置：5-36-SI1の約6m南西にある。床面が2段になっている部分が西北半部にあるので、2つの住居が重なっている可能性もある。

規模と形態：東西5.8m、南北5.4mのほぼ正方形である。

検出状況：床面から10cmほど上で検出された。

カマド：袖などは残っていなかったが、東辺中央部で焼土粒が多量に検出されたので、そのあたりにカマドがあったと推測した。

付属遺構：床面より下から2つの土坑が検出された。南辺東隅から出土した土坑埋土中央部に、土師器坏が複数廃棄されていた。柱穴は未検出である。

#### 9世紀前半代

時期：出土した土師器坏の形態・製作技法から、9世紀前半代に廃棄されたと推定した。

#### 出土遺物（第377・387・389図・写真図版230・231・232）

土師器坏が1枚出土した。ロクロ使用内面黒色処理土師器坏が10点出土した。ロクロ使用内面無処理土師器坏は2点出土した。うち、71は北辺そばの床面に伏せられていた。非ロクロ使用土師器坏は2点である。ロクロ使用内面黒色処理土師器には、底部糸切り後、外面をヘラ削りしている。非ロクロ使用土師器の内面は、よく磨かれた後黒色処理されている。また、外面は胴部、底部外面もヘラで削られている。土師器長胴甕が3点検出された。2点は、ロクロ成形後、外面をヘラ削りしている。1点は、成形にもロクロを用いていない。他に、須恵器壺口縁部が3個体分（3745・3747・3748）、壺胴部が1点（3749）、甕破片（3890・3891・3908～3911）が出土した。

#### 8-25-SI1

遺構（第11図586・第366図・写真図版84）

位置：8-21-SI1の約14m東にある。8-25-SI2と重なるが、それより古い。

壁軸の方向：ほぼ東西南北である。

規模と形態：東西3.5m、南北4.6mの長方形である。

検出状況：床面から約20cm上で検出された。

カマド：検出されなかった。ただし、東辺中央部に焼土粒が集中する箇所があったので、その

あたりにカマドがあったと推定した。

付属遺構：柱穴は未検出である。

時期：出土した土師器坏の形態と製作技法から、9世紀後半代に廃棄された遺構と推定した。 **9世紀後半代**

**出土遺物**（第378・379・387図・写真図版233～235）

土師器坏が5点、土師器長胴甕が1点、土師器鉢が1点、須恵器壺破片、須恵器甕破片が出土した。土師器坏はすべてロクロ使用製品である。内面黒色処理されたものが4点、内面無処理のものが1点である。長胴甕は非ロクロ使用製品である。鉢はロクロ使用製品である。内面はよく磨かれ、黒色処理されている。外底面から胴部にかけてはヘラ削りされている。

#### **8-25-SI 2**

**遺構**（第11図587・第366図）

位置：8-25-SI 1と重なり、それより新しい。

壁軸方向：東西南北。

規模と形態：東西5m、南北5.7mのやや長方形である。

検出状況：床面から約20cm上で検出された。

カマド：東辺の中央より少し南寄りから燃焼部床面が検出された。また、カマドの両袖と考えられる痕跡も残っているが、カマド本体の大方は破壊されているようである。

付属遺構：土坑が2つ、カマドの南から検出された。

時期：出土した土師器坏の形態、あるいは土師器皿が伴うことから、10世紀中頃に埋められた住居と判断した。 **10世紀中頃**

**出土遺物**（第378・379図・写真図版233～235）

3752～3756・3763のロクロ土師器坏は、床面に置かれた状態で検出された。3752は3753の上に重なっていた。3755・3763は伏せられた状態であった。3757・3765～3773は、付属するP 1から出土した。これらは、土坑内に土とともに埋められた状態で出土した。みな完形品あるいはほぼ完形品である。3761は、検出時にこの住居の近くから、出土したものである。遺構に伴った可能性もあるが、不明である。

#### **8-27-SI 1**

**遺構**（第11図588・第367・368図・写真図版84）

位置：8-25-SI 1の約6m東にある。8-28-SI 1と重なり、こちらの方が古い。

壁軸方向：ほぼ東西南北である。

規模と形態：東西4m、南北6mの長方形である。

検出状況：床面から約10cm上で検出された。

カマド：検出されなかった。ただし、東辺中央部に焼土の集中する箇所があったので、そのあたりにカマドがあった可能性はある。

付属遺構：不明。柱穴は未検出である。住居中央南寄り床下に、直方体状の土坑が1基ある。

時期：出土した土師器坏の形態と製作技法から、10世紀前半代に廃棄された遺構と推定した。 **10世紀前半代**

**出土遺物**（第379・387図・写真図版235）

床面を覆う埋土から土師器坏が3点（3773・3775・3776）、須恵器壺破片が1点（3778）出土した。土師器坏はすべてロクロ使用製品である。内面黒色処理されたものが1点、内面無処

理のものが2点である。3774は付属する土坑P1底から出土したが、坏にしては浅めである。

#### 8-28-SI1

**遺構**（第9図589・第367・368図・写真図版85）

**位置**：8-25-SI1の約6m東にある。8-27-SI1と重なるが、カマド痕跡の残存状況から考えて、こちらの方が新しいようである。

**壁軸方向**：ほぼ東西南北である。

**規模と形態**：東西7m、南北4.6mの長方形である。ただ、東西辺が南北辺に比べて長すぎるので、東西南北とも約5mのほぼ正方形の二つの住居跡が重なっている可能性もある。

**検出状況**：床面から約10cm上で検出された。

**カマド**：東辺北隅に検出された。

**付属遺構**：不明。柱穴は未検出である。カマドの北東に土坑P3があった。土坑を埋めた土のほぼ中央に中空な筒状の部分があり、その上に坏が伏せられていた(3777)。中空の筒状の部分は、口径0.10m、高さ0.35mの円筒形である。中空の筒状部分の周囲の土は、地山粘土ブロックや周囲の褐色シルトを主体とした、硬くしまる人為堆積土である。時期：出土した土師器坏の形態・製作技法から、10世紀前半代に廃棄された遺構と推定した。

**出土遺物**（第380・381・387・388図・写真図版235・236・237）

カマドの南に隣接する土坑内から、完形品、ほぼ完形品の土師器坏が6点(3787～3790・3792・3793)、筆で墨書された坏破片が2点(3795・3796)埋土中から出土した。また、カマドの周囲から、ほぼ完形の土師器坏が7点(3780～3786)出土した。床面を覆う埋土から須恵器壺破片が1点(3797)出土した。土師器坏の殆どはロクロ使用製品である。内面黒色処理されたものと、内面無処理のものがあり、内面無処理ものが多い。1点だけ非ロクロ使用製品がある。3777は土坑内中央の筒状の中空部を塞ぐように置かれていた坏である。内面無処理のロクロ土師器である。3789は非ロクロ使用製品だが、胴部外面と底部外面はヘラ削りされている。土師器長胴甕が1点出土した。非ロクロ使用製品である。3794は土師器の壺である。ロクロ使用製品である。

#### 8-29-SI1

**遺構**（第9図590・第369図・写真図版85）

**位置**：調査区東区の東南端から西に約47mのところにある。8-31-SI1の約6m西にあたり、9-28-SI1のすぐ東に隣接する。

**壁軸方向**：ほぼ東西南北である。

**規模と形態**：東西3.5m、南北4mのほぼ正方形である。

**検出状況**：床面から約10cm上で検出された。掘りくぼめられた壁が10cmほど残存している。

**カマド**：検出されなかったが、東辺中央部に焼土粒が集中する箇所があったので、そのあたりにカマドがあったと推定した。

**付属遺構**：不明である。柱穴は未検出である。

**出土遺物**（第381・388図・写真図版237）

3798は、住居北西角床面から出土した土師器長胴甕である。非ロクロ使用品である。胴部下  
部が無い、1/2周のみの残存である。

### 8-31-SI1

**遺構** (第9図591・第370図・写真図版85)

位置：8-27-SI1の約16m東にある。縄文時代中期大木10a式の住居の上に重なる。

壁軸方向：東西南北から西におよそ45度傾いている。

規模と形態：東西4.7m、南北5.3mのほぼ正方形である。

検出状況：床面から約20cm上で検出された。掘りくぼめられた壁が20cmほど残存している。

カマド：北辺中央部に灰白色粘土粒（火山灰分析資料No27を、この中から採取した。）が集中する箇所があった。そのあたりにカマドがあった可能性がある。カマドは意図的に破壊された可能性がある。カマドが破壊されたと思われる部分の埋土上に土師器坏が1点、正位に置かれていた。

付属遺構：不明である。柱穴も未検出である。

時期：出土した土師器の形態から、9世紀後半代と考えられる。

9世紀後半代

**出土遺物** (第381・388・389図・写真図版237・238)

3799と3800は、カマド破壊部と考えられる部分の埋土上面に置かれていた。3799は非ロクロ製品で、高台が貼りつけられている。3803は、内面黒色処理されたロクロ土師器鉢である。この類例は10-26-SI1でも出土している(3839)。

### 9-28-SI1

**遺構** (第9図592・第371図・写真図版86・87)

位置：8-29-SI1のすぐ南西に隣接する。接するようにあるので、それとの新旧関係があると考えられるが、出土遺物からは、こちらの方が若干古いように思われる。

壁軸方向：東西南北である。

規模と形態：東西3.8m、南北4.2mのほぼ正方形である。

検出状況：床面から約20cm上で検出された。掘りくぼめられた壁が20cmほど残存している。

カマド：東辺中央部に破損されたカマドと思われる部分があった。灰白色の火山灰と思われる粘土状のブロックが多く散在していた。そのうちの一部を火山灰分析資料No28として採取した。

付属遺構：土坑が2基あった。南西隅にあるP1からは多量の土錘が出土した。南東隅にあるP2は埋められていたが、ほとんど遺物は出土しなかった。

時期：出土した土師器の形態から、10世紀中頃に廃棄されたと考えられる。

10世紀中頃

**出土遺物** (第382・383・388図・写真図版237～239・244)

3834は、ロクロ土師器高台坏である。糸切り後、高台を貼りつけたもので、糸切り痕がきれいに残る。3804～3833は、土錘である。すべて、床面より下にある土坑埋土から出土した(写真図版87)。埋土中、それらがまとまっていた場所が2カ所あり、それらは、網に付いた状態で埋まっていたのかもしれないが、網の痕跡などは不明である。

### 10-26-SI1

**遺構** (第11図593・第372図)

位置：9-28-SI1の南辺を西に5mほど延長すると10-26-SI1の北辺東端に達する。また、8-27-SI1の真南5mの位置にもあたる。

壁軸方向：ほぼ東西南北である。

規模と形態：後の時代の攪乱などにより正確な形態は不明だが、東西は約5mである。南辺は調査区の外にその一部がまだのびていると考えられるので、正確な規模は不明である。検出された規模からは、南北も5m以上にはなると考えられる。

検出状況：床面が検出された。

カマド：東辺の中央部に破壊されたカマドがあった。燃焼部が検出された。

付属遺構：柱穴は未検出である。付属する土坑が1基あったが、記録を取っていない。

## 9世紀後半頃

時期：出土した土師器坏や内面黒色処理された鉢の形態から、9世紀後半頃のものと推定した。

出土遺物（第383図・写真図版239）

カマド脇にあった土坑からロクロ土師器坏が3点（3844～3846）出土した。内面無処理のものが1点、内面黒色処理のものが2点である。

### (2) 各種土坑

#### 1-33-P 1（第6図594・第45図）

位置：東調査区北東部北辺にある。縄文時代の土坑1-33-P 2を切る。検出面規模：長径0.97m、短径0.90m、深さ0.48m。形態：浅い円筒形。埋土：周囲の砂混じりシルトを用いた人為堆積土。遺物：土師器・須恵器の破片、縄文時代中期後半から後期初頭の土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、平安時代に埋められたと判断した。

#### 2-31-P 3（第6図595・第46図）

位置：東調査区ほぼ中央、北辺東よりにある。2-32-P 5を切る。検出面規模：長径1.20m、短径1.20m、深さ0.20m。形態：平面形が円形の浅い土坑である。埋土：平安時代埋土。地山粘土ブロックを含むことから、人為堆積と判断した。遺物：縄文時代中期土器破片をいくらか含む。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑。時期：堆積土の性質から、平安時代のものと考えられる。

#### 2-32-P 1（第6図596・第47図）

位置：東調査区ほぼ中央、北辺東よりにある。2-32-P 2を切る。長径2.52m、短径2.42m、深さ0.37m。形態：隅円方形の浅い堅穴。埋土：周囲の砂混じりシルト主体の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b式～縄文後期初頭土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：埋土や含まれる遺物から平安時代に埋められたと判断した。

#### 2-32-P 2（第6図597・第47図）

位置：東調査区ほぼ中央、北辺東よりにある。2-32-P 2に切られる。長径1.62m、短径1.52m、深さ0.32m。形態：隅円方形の浅い堅穴。埋土：周囲の砂混じりシルト主体の人為堆積土。遺物：土師器破片・須恵器破片・大木8b式～縄文後期初頭土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、平安時代に埋められたと判断した。

#### 2-32-P 3（第6図598・第47図）

位置：東調査区ほぼ中央、北辺東よりにある。長径（0.90）m、短径0.81m、深さ0.40m。形態：平面形楕円形の浅い土坑。埋土：周囲の砂混じりシルト主体の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式～縄文後期初頭土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土や含まれる遺物から、平安時代に埋められたと判断した。

**2-33-P 1** (第6図599)

位置：東調査区ほぼ中央、北辺にある。検出面規模：長径1.86m、短径0.76m、深さ0.17m。形態：埋土：平安時代埋土。柱痕跡有り。遺物：掘形埋土から土師器破片出土。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**2-36-P 1** (第6図600)

位置：東調査区北東部にある。検出面規模：長径0.92m、短径0.89m、深さ0.30m。形態：浅い円筒形。埋土：平安時代埋土。遺物：土師器破片・大木8b式土器も含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**3-34-P 1** (第6図601)

位置：東調査区北東部にある。中世の建物SB2のすぐ東にある。検出面規模：長径1.16m、短径1.12m、深さ0.24m。形態：浅い円筒形。埋土：平安時代以降の埋土と推定した。遺物：大木10b式～縄文時代後期前葉の土器破片が含まれる。性質：不明だが、人為的に埋められた土坑と判断した。時期：遺物は縄文時代のものしか含まれないが、土の性質から、平安時代以降中世のものの可能性が考えられる。

**3-35-P 2** (第6図603)

位置：東調査区北東部にある。中世の建物SB2のすぐ南にある。検出面規模：長径1.94m、短径1.00m、深さ0.52m。形態：平面形が不整楕円形の土坑。埋土：人為堆積。遺物：須恵器破片・大木10b式土器破片が含まれる。風化度1～2である。1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められた可能性がある。

**3-36-P 1** (第6図604)

位置：東調査区北東部にある。中世の建物SB2のすぐ南にある。検出面規模：長径1.36m、短径1.12m、深さ0.48m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。埋土：人為堆積。遺物：土師器や須恵器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められた可能性がある。

**3-36-P 2** (第6図605)

位置：東調査区北東部にある。中世の建物SB2のすぐ南にある。検出面規模：長径(0.60)m、短径0.56m、深さ0.62m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。埋土：人為堆積。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められた可能性がある。

**4-26-P 11** (第10図606・第49図)

位置：4-26-P12を切る。検出面規模：長径：1.18m、短径1.14m、深さ0.44m。形態：円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：土師器破片・須恵器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**4-27-P 6** (第8図607・第55図・写真図版43)

位置：東調査区ほぼ中央の北辺にある。縄文時代の土坑4-27-P1を切る。検出面規模：長径1.16m、短径1.12m、深さ0.24m。形態：ほぼ円筒形。埋土：縄文後期あるいは平安時代の埋土。遺物：土師器破片・大木9式～大湯式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不

明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められた可能性がある。

**4-29-P 10** (第8図608・第51図)

位置：東調査区ほぼ中央の北辺にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.72m、深さ0.24m。形態：円筒形。埋土：平安時代の埋土。須恵器破片・大木9式土器破片が含まれる。縄文土器の風化度は2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められた可能性がある。

**4-31-P 1** (第6図609・第52図)

位置と重複関係：調査区ほぼ中央の平安時代住居5-30-SI1の北東5mほどのところにある。検出面規模：長径1.10m、短径0.90m、深さ0.25m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：平安時代埋土。人為堆積。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質から平安時代のものの可能性が高い。

**4-32-P 2** (第6図610・第53図)

検出面規模：長径1.13m、短径0.80m、深さ0.23m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：ほぼ単層の人為堆積土。平安時代埋土。遺物：土師器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**5-25-P 4** (第10図611・第49図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。4-25-SI1の貼床面より下にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.72m、深さ0.52m。形態：平面形は不整円形で、底がボール状である。埋土：平安時代の埋土の人的堆積の単層である。遺物：土師器破片・縄文土器破片が含まれる。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**5-26-P 2** (第10図612・第55図)

位置と重複関係：調査区北辺のほぼ中央にある。多くの縄文時代土坑を切る。検出面規模：長径1.01m、短径(0.81)m、深さ0.32m。形態：平面形が不整円形の底がボール状の土坑。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木8b式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**5-27-P 4** (第8図613・第55図)

検出面規模：長径1.00m、短径0.80m、深さ0.35m。形態：楕円筒形。埋土：複数の層からなる人為堆積土。遺物：大木8b式～土師器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**5-29-P 2** (第8図614・第50図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の北西隅の1m西にある。検出面規模：長径1.10m、短径0.88m、深さ0.27m。形態：浅い楕円筒形。埋土：上下2層からなる人為堆積土。遺物：大木9式～土師器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。



**5-29-P 7** (第8図615・第57・58図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の西約1mにある。検出面規模：長径0.74m、短径0.66m、深さ0.17m。形態：底面がボール状の円筒形。埋土：上下2層に分けられる人為堆積土。遺物：大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：遺物は縄文時代のものしか含まれないが、埋土からは平安時代に埋められたと判断できる。

**5-30-P 2** (第8図735・第58図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南西約0.5mにある。検出面規模：長径0.51m、短径0.48m、深さ0.32m。形態：底面がボール状の円筒形である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：大木9式～土師器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断できる。

**5-30-P 7** (第8図616・第58図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南東隅に重なる。また、5-30-P8に切られる。検出面規模：長径1.21m、短径0.86m、深さ0.52m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断できる。

**5-30-P 8** (第8図617・第58図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南東隅に重なる。また、5-30-P7を切る。検出面規模：長径1.04m、短径0.71m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**5-35-P 3** (第6図618)

位置：東調査区の北東部南辺近くにある。5-36-SI1・2の付近にある。検出面規模：長径1.16m、短径1.12m、深さ0.24m。形態：浅い楕円形土坑。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。土師器破片・大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**5-36-P 2** (第7図621)

位置：東調査区の北東部南辺近くにある。5-36-SI1・2の付近にある。検出面規模：長径1.32m、短径0.88m。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。土師器破片・大木9式が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**6-23-P 12** (第7図736・第62図)

位置：東調査区の南西部東寄り北辺にある。検出面規模：長径1.30m、短径1.01m、深さ0.31m。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。土師器破片・大木9式が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**6-28-P 19** (第9図623・第66図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。検出面規模：長径0.67m、短径0.52m、深さ0.32m。形態

：楕円筒形である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：土師器破片が含まれることや埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-29-P 1** (第9図624・第68図・写真図版52)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南西隅の南約3.5mにある。縄文時代の土坑6-29-P4を切る。検出面規模：長径0.92m、短径0.88m、深さ0.38m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代よりも新しい時期に埋められたと判断した。

**6-29-P 8** (第9図625・第66図)

東調査区のほぼ中央にある。最も近い平安時代の住居跡からは7mほど離れている。検出面規模：長径0.82m、短径0.70m、深さ0.42m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土。時期：含まれる遺物や埋土から平安時代に埋められたと判断した。

**6-30-P 1** (第8図626・第69図・写真図版51)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南東隅の南約1mにある。縄文時代の土坑6-30-P6を切る。検出面規模：長径1.27m、短径0.95m、深さ0.36m。形態：楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-30-P 2** (第8図627・第68図・写真図版52)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南約1.5mにある。6-30-P3を切る。検出面規模：長径0.78m、短径0.68m、深さ0.20m。形態：不整筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-30-P 3** (第8図628・第68図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南約1.5mにある。6-30-P2に切られる。検出面規模：長径0.86m、短径0.60m、深さ0.24m。形態：不整筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b・9式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-30-P 9** (第9図629・第68図・写真図版51)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南約3mにある。検出面規模：長径1.04m、短径1.02m、深さ、0.62m。形態：円筒形。埋土：成分の異なる複数枚の層がほぼ水平に堆積する。人為堆積層。遺物：埋土最上部に土師器破片があったが、これは後に紛れたものと考えられる。大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土最上部には土師器破片があったが、埋土

や他の遺物から、大木10b式土器期に埋められたと判断した。

**6-31-P 2** (第8図630・第69図・写真図版51)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南東隅の東南東約3mにある。検出面規模：長径0.38m、短径0.38m、深さ0.14m。形態：浅い円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-31-P 5** (第9図631・第69図・写真図版51)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-31-SI1の北約3mにある。検出面規模：長径1.15m、短径(0.63)m、深さ0.31m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：須恵器破片・門前I式土器破片が含まれる。性質：時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**6-31-P 7** (第8図632・第69図・写真図版52)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡5-30-SI1の南東隅の東約3mにある。検出面規模：長径1.25m、短径0.99m、深さ0.28m。形態：不整楕円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：須恵器破片・大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-25-P 6** (第10図633・第75図・写真図版54)

位置：東調査区ほぼ中央にある。平安時代の住居跡6-25-SI1の南約1m、8-25-SI1・2の北約2mにある。検出面規模：長径1.40m、短径1.80m、深さ0.64m。形態：平面形が不整円形の掘り鉢状の土坑である。埋土：人為堆積土である。遺物：土師器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-25-P 7** (第10図634)

位置：東調査区ほぼ中央にある。平安時代の住居跡6-25-SI1の南東隅の約1.5m南東にある。検出面規模：長径0.70m、短径0.70m、深さ0.26m。形態：ボール状の土坑である。平安時代埋土の人為堆積単層土師器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-26-P 4** (第10図635)

位置：東調査区ほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-27-SI1の北約1.5mにある。検出面規模：長径0.50m、短径0.37m、深さ0.21m。形態：楕円筒型。埋土：平安時代埋土。人為堆積土。遺物：土師器破片、大木10b式土器破片が含まれる。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-27-P 22** (写真図版56)

位置：東調査区ほぼ中央にある。平安時代の住居跡6-25-SI1の東約7.5mにある。検出面規模：長径0.88m、短径0.46m、深さ0.32m。形態：浅い不整楕円形土坑。埋土：平安時代埋土に

地山粘土ブロックが混在する。人為堆積埋土。遺物：土師器片、大木10式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-29-P 1** (第9図636・第78図・写真図版58)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約2mにある。検出面規模：長径0.92m、短径0.70m、深さ0.46m。形態：隅円方形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：土師器破片・須恵器破片・大木8b式～後期前葉土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-29-P 7** (第9図637・第78図・写真図版58)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約6mにある。縄文時代の土坑7-29-P6を切る。検出面規模：長径1.20m、短径1.04m、深さ0.25m。形態：不整円形土坑。埋土：単層の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-29-P 8** (第9図638・第78図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約7mにある。7-29-P7を切る。検出面規模：長径1.20m、短径1.00m、深さ0.31m。形態：不整円形土坑。埋土：成分の異なる層が3層ほぼ水平に堆積した人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-29-P 9** (第9図738・第78図・写真図版58)

位置：東調査区のほぼ中央にある。8-29-SI1の北約5mにある。検出面規模：長径0.32m、短径0.30m、深さ0.25m。形態：浅い円筒形。埋土：平安時代埋土の単層。遺物：土師器片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や、埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-30-P 1** (第9図639・第79図・写真図版59)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約4mにある。長径2.02m、短径1.51m、深さ0.33m。形態：平面形が不整円形の土坑である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-30-P 2** (第9図640・第79図)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約5.5mにある。7-30-P1と重なる。検出面規模：長径0.72m、短径0.66m、深さ0.33m。形態：ほぼ円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**7-30-P 3** (第9図641・第79図・写真図版60)

位置：東調査区のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-31-SI1の北約3mにある。検出面規模：長径1.02m、短径1.06m、深さ0.40m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-19-P 1** (第12図739・第70図・写真図版61)

位置：東調査区南西部最西部にある。検出面規模：長径1.14m、短径0.83m、深さ0.21m。形態：二つのほぼ同じ大きさの浅い円形の土坑が連続したような形態である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層である。遺物：土師器片が少量含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：埋土の性質から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-22-P 6** (第12図642・写真図版88)

位置：東調査区南西部ほぼ中央にある。8-21-SI1の西に重なるような位置にある。長径1.13m、短径(0.66)m、深さ0.13m。形態：平面形が楕円形の浅いくぼみである。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。埋土：土師器破片・縄文土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-25-P 1** (第11図643・第84図)

位置：東調査区ほぼ中央の西よりにある。8-25-SI1・2の北約0.5mにある。検出面規模：長径0.64m、短径0.47m、深さ0.20m。形態：浅い楕円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層土師器破片・大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は0～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-27-P 12** (第11図644・第86図)

位置：東調査区ほぼ中央の南よりにある。平安時代の住居跡8-27-SI1・2と重なる。検出面規模：長径0.68m、短径0.46m、深さ0.35m。形態：楕円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木8b式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-29-P 1** (第9図645・第88図)

位置：東調査区ほぼ中央の南寄りにある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北約1mにある。中世末頃の井戸跡と考えられる8-29SE1に切られる。長径(0.48)m、短径(0.42)m、深さ0.58m。形態：不整円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-30-P 1** (第9図714・第90図・写真図版66)

位置：東調査区ほぼ中央の南寄りにある。平安時代の住居跡8-31-SI1の西約1mにある。検出面規模：長径0.60m、短径0.54m、深さ0.30m。形態：ほぼ円筒形。埋土：平安時代埋土の

人為堆積単層。遺物：土師器片、大木9～10式土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や、埋土の性質から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-30-P 2** (第9図646・第88図・写真図版66・67)

位置：東調査区ほぼ中央の南寄りにある。平安時代の住居跡8-29-SI1の東約0.5mにある。検出面規模：長径0.54m、短径0.52m、深さ0.45m。形態：円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：土師器破片・縄文が施された土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から平安時代に埋められたと判断した。

**8-30-P 10** (第9図647・第91図・写真図版67)

位置：東調査区ほぼ中央の南よりにある。平安時代の住居跡8-29-SI1の東約0.5mにある。検出面規模：長径0.85m、短径0.72m、深さ0.42m。形態：円筒形。埋土：単層の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**8-30-P 15** (第9図648・第91図)

位置：東調査区ほぼ中央の南よりにある。平安時代の住居跡8-29-SI1の北東隅の東北東約2mにある。検出面規模：長径1.03m、短径0.88m、深さ0.64m。形態：円筒形。埋土：2つの層に分けられる人為堆積層である。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**9-22-P 1** (第12図649・第82図)

位置：東調査区南西部の東よりにある。平安時代の住居跡8-21-SI1南東隅の東約5mにある。検出面規模：長径0.84m、短径0.75m、深さ0.21m。形態：浅い皿状である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**9-22-P 6** (第12図740・第82図)

位置：東調査区南西部のほぼ中央にある。平安時代の住居跡8-21-SI1南東隅の南東約5mにある。検出面規模：長径：1.04m、短径0.96m、深さ0.28m。形態：平面形が不整円形の浅い土坑である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9～10式土器破片が少量含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物や埋土から、平安時代に埋められたと判断した。

**9-23-P 3** (第11図650・第93図・写真図版71)

位置：東調査区南西部の東寄りにある。平安時代の住居跡8-21-SI1南東隅の東約6.5m、8-25-SI1・2の西約7mにある。検出面規模：長径1.89m、短径1.59m、深さ0.25m。形態：平面形が不整楕円形の浅い皿状の土坑である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**9-24-P 5** (第11図651・第95図・写真図版69)

位置：東調査区南西部の南東辺よりにある。平安時代の住居跡8-25-SI1・2の南西隅の南約

3 mにある。縄文時代の土坑 9-24-P10を切る。検出面規模：長径0.92m、短径0.84m、深さ0.82m。形態：円筒形である。埋土：縄文時代的埋土単層の人為堆積土。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は0～1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物から、平安時代に埋められたと判断したが、埋土の性質から縄文時代の可能性もある。

**9-25-P 1** (第11図652・第98図・写真図版88)

位置：東調査区南西部の南東辺寄りにある。平安時代の住居跡 8-25-SI 1・2の南約1.5mにある。検出面規模：長径1.12m、短径0.68m、深さ0.21m。形態：浅い楕円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式～門前I式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**9-25-P 4** (第11図653・第101図)

位置：東調査区南西部の南東辺寄りにある。平安時代の住居跡 8-25-SI 1・2の南約2.5mにある。検出面規模：長径0.71m、短径0.67m、深さ0.24m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**9-25-P 6** (第11図654・第98図)

位置：東調査区南西部の南東辺寄りにある。平安時代の住居跡 8-25-SI 1・2南東隅の南約3 mにある。検出面規模：長径0.82m、短径0.72m、深さ0.35m。形態：ほぼ円筒形である。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**9-28-P 1** (第9図655・第97図・写真図版70)

位置：東調査区ほぼ中央の南辺にある。平安時代の住居跡 9-28-SI 1の南西隅のすぐ西に隣接する。検出面規模：長径0.83m、短径0.68m、深さ0.53m。形態：楕円筒形。埋土：縄文時代中期埋土。中央に柱痕跡的埋土あり。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：柱が埋められていた可能性がある。時期：採集された遺物の中に土師器破片があったので、平安時代に埋められたと判断したが、埋土の性質からは、縄文時代中期の遺構の可能性が考えられる。

**9-29-P 1** (第9図656・第88図)

位置：東調査区ほぼ中央の南辺にある。平安時代の住居跡 8-29-SI 1に重なる。検出面規模：長径0.72m、短径0.60m、深さ0.45m。形態：ほぼ円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。時期：平安時代に埋められたと判断した。

**10-24-P 3** (第11図657・第104図・写真図版72)

位置：東調査区南西部の東南辺近くにある。検出面規模：長径0.50m、短径0.45m、深さ0.74m。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：須恵器破片。大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代、あるいは中世末頃に埋められたと考えられる。

**10-24-P 19** (第11図658・第101図)

位置：東調査区南西部の東南辺近くにある。検出面規模：長径0.84m、短径0.56m、深さ0.48m。  
埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代、あるいは中世末頃に埋められたと考えられる。

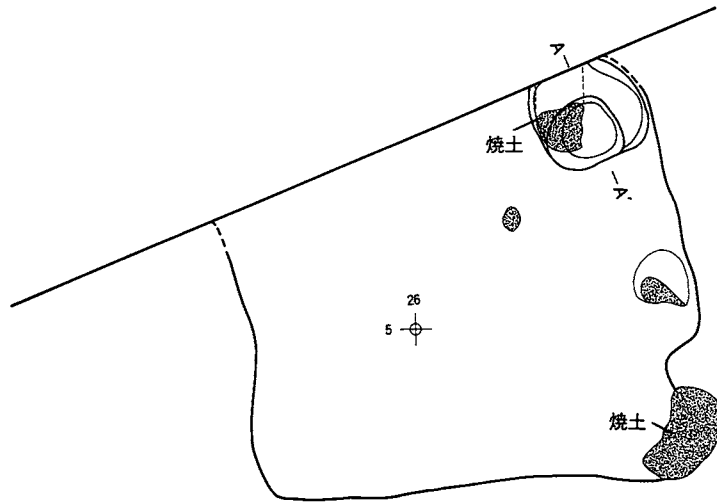
**10-27-P 1** (第9図659・第103図)

位置：東調査区南西部の東南辺近くにある。検出面規模：長径0.44m、短径0.40m、深さ0.08m。  
埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：平安時代、あるいは中世末頃に埋められたと考えられる。

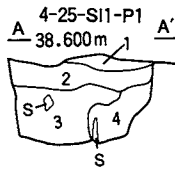
**3-15-P 1** (第13図742)

位置：西調査区北東角にある。検出面規模：長径1.01m、短径0.88m、深さ0.55m。形態：不整円筒形。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器完形品出土。性質：不明だが、埋められた土坑である。付近に住居があった可能性がある。時期：土師器の形態から、10世紀代に埋められた可能性がある。



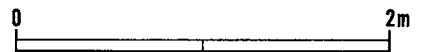


4-25-S11

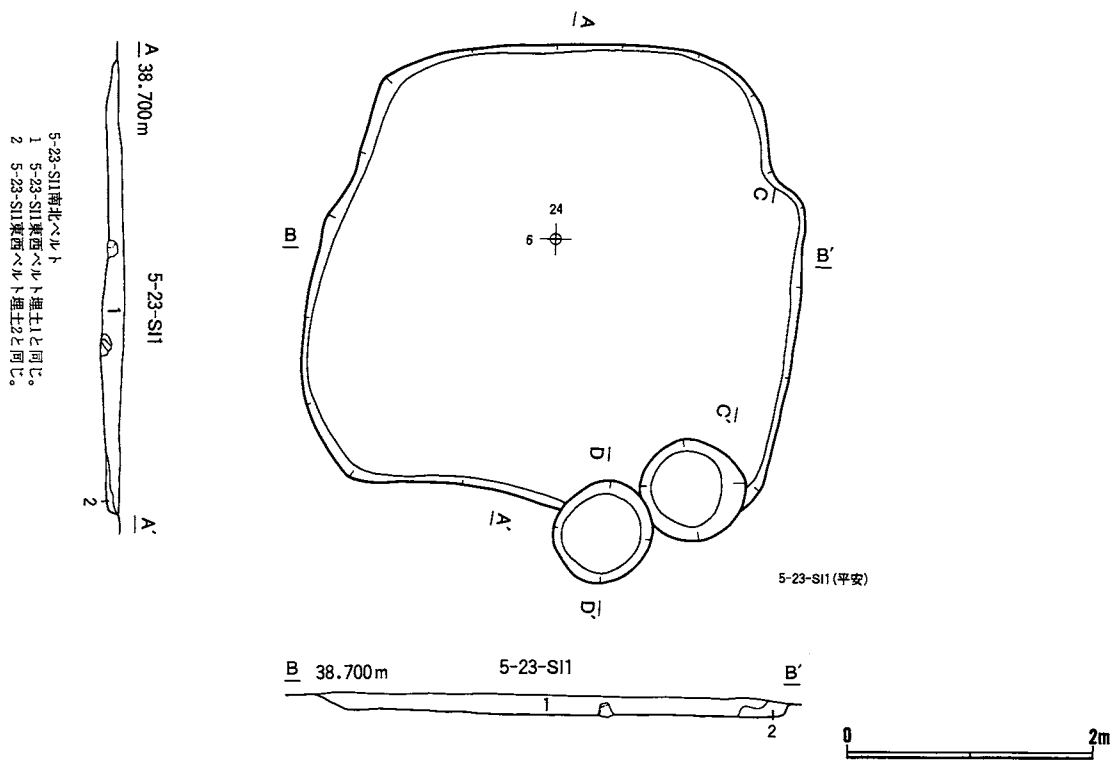


4-25-S11-P1

- 1 焼土ブロックを含む。焼土(現地成)。平安時代。
- 2 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。平安時代。人為堆積。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)が1%ほど散在。人為堆積。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が20%ほど散在。人為堆積。

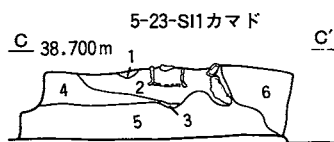


第358図 平安住居跡(1)



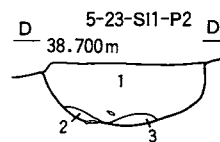
5-23-SI1東西ベルト

- 1 床面上層。10YR2/2シルト・粘土が主体。人為的埋土。土師器片、縄文中期土器片が比較的多く入る。
- 2 10YR3/2シルト・粘土と地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)が混在。柔らかい。粘土ブロック10%ほど。



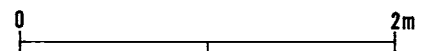
5-23-SI1カマド

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。
  - 2 10YR2/2シルト・10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土粒・焼土小ブロック(径2cm以下)が10%ほど散在する。
  - 3 焼土ブロック集中部。
  - 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が10%ほど散在。
  - 5 10YR3/2シルト・10YR2/2シルト・粘土が主体。平安住居の埋土。
  - 6 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色粘土地山小ブロック(径5mm以下)が1%散在。
- ※ 全て固くしまる。人為堆積。

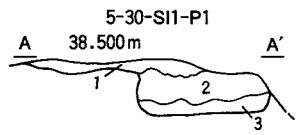
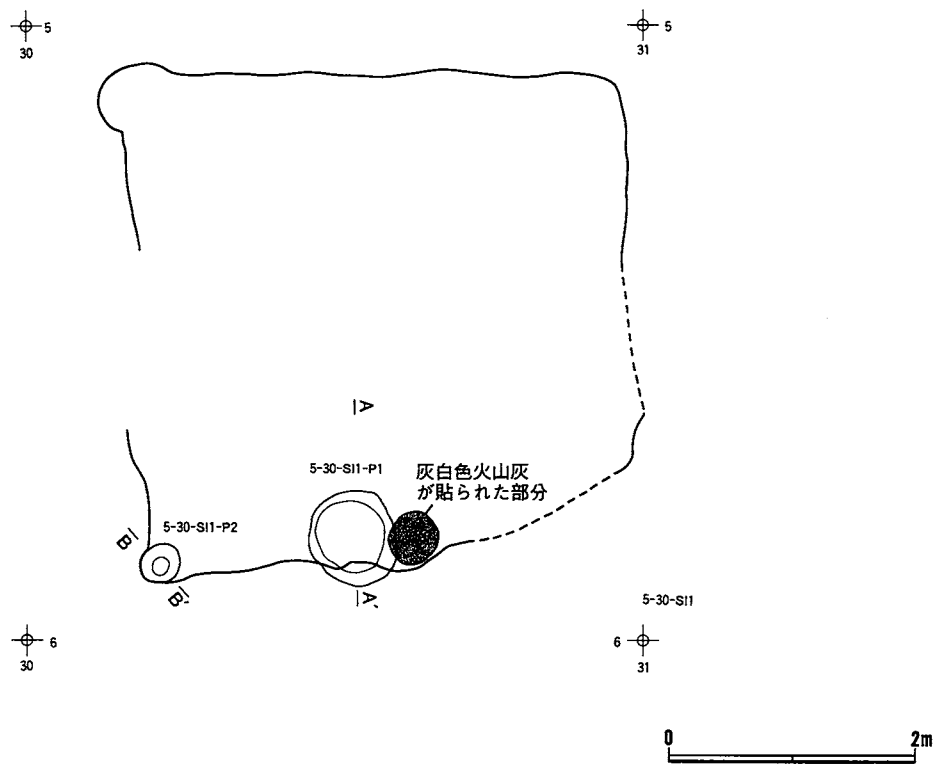


5-23-SI1-P2

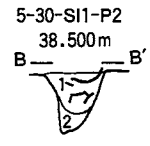
- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。固くしまる。黄色粘土地山小ブロック(径1cm以下)が極少量(0.1%くらい)入る。
- 2 成分は1と同じだが、炭化物片や土器片が少量入る。固くしまる。
- 3 成分は1と同じだが、地山黄色粘土小ブロック(径3cmなど)が1点入っている。固くしまる。



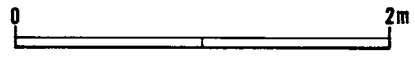
第359図 平安住居跡(2)



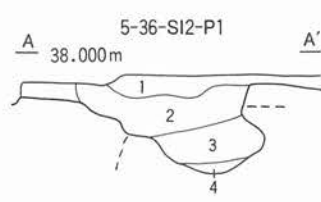
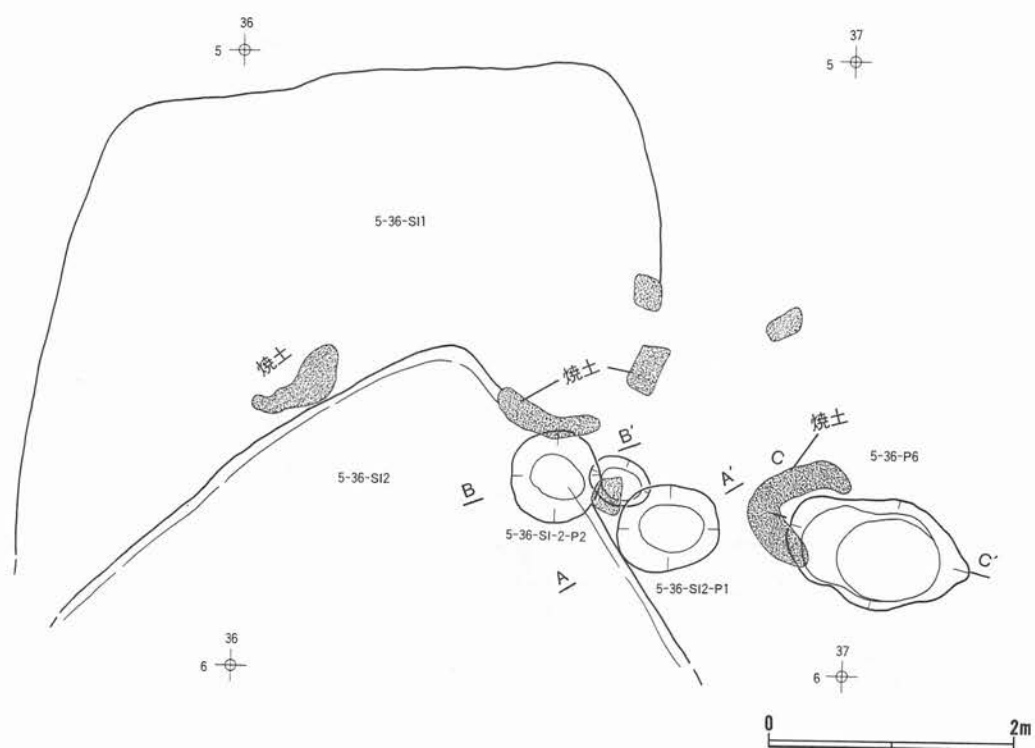
- 5-30-SI1-P1
- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山黄色粘土小ブロック(径3mm以下)が50%散在。貼床
  - 2 10YRシルト・粘土が主体。地山黄色粘土小ブロック(径1cm以下)2%散在。
  - 3 10YR2/2シルト・粘土が主体。固くしまる。



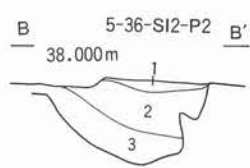
- 5-30-SI1-P2
- 1 10YR2/2黒褐色シルト・粘土が主体。砂混じり土、土師器大片入る。固くしまる。
  - 2 10YR3/2黒褐色シルト主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)1%散在。固くしまる。



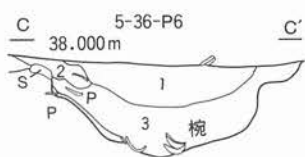
第360図 平安住居跡(3)



- 5-36-SI2-P1
- 1 10YR2/1黒色土が主体。焼土ブロック20%ほど散在する。灰白色浮石(径5-10mm)が5%ほど散在する。
  - 2 10YR1.7/1黒色土が主体。黄色地山粘土が5%ほど含まれる。
  - 3 成分は2と同じ。黄色地山粘土が10-30%散在する。
  - 4 黄色地山粘土ブロック。周囲の地山より柔らかい。



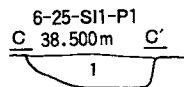
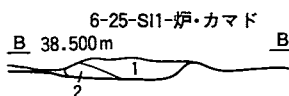
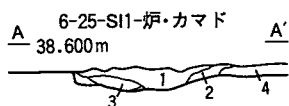
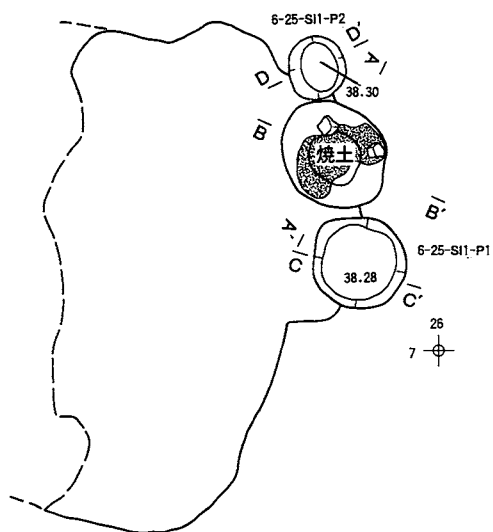
- 5-36-SI2-P2
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体の砂混じり土。灰白色地山粘土ブロック(径2cm以下)が1%散在する。焼土小ブロック(径8mm以下)も1%以下散在する。土師器片が多く含まれる。固く緊密。人為堆積層。
  - 2 成分は1に似る。地山粘土ブロックが10%ほど含まれる。
  - 3 成分は1に似る。地山粘土ブロックが20%ほど含まれる。



- 5-36-P6
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体の砂混じり土。地山粘土ブロック(径1cm以下)が1%以下散在する。灰白色地山粘土ブロック(径8mm以下)が1%以下散在する。固く緊密。人為堆積層。
  - 2 10YR2/2黒褐色シルト主体の砂混じり土。地山粘土ブロック(径2.5cm以下)が40%ほど散在する。固く緊密。人為堆積層。



第361図 平安住居跡(4)



6-25-SI1-P1

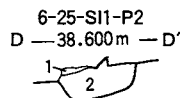
- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。土師器片がいくらか散在する。中礫もいくらか散在。人為堆積層。固くしまる。下の方に黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%以下散在。

6-25-SI1炉カマド南北ベルト

- 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。カマドの破片であろうか、固い焼土塊が散在する(70%ほど)。炭化物片がいくらか入る。
- 2 焼土塊と10YR3/2シルト・粘土が混在。炭化物片いくらか入る。
- 3 10YR3/2シルト・粘土が主体。焼土粒1%ほど散在。地山粘土小ブロック(径1cm以下)も少量散在。
- 4 10YR3/2シルト・粘土が主体。地山小ブロック少量散在。

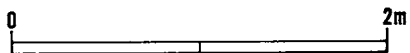
6-25-SI1炉カマド東西ベルト

- 1 南北ベルトの1と同じ。
- 2 10YR3/2シルト・粘土が主体。

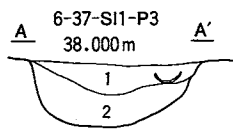
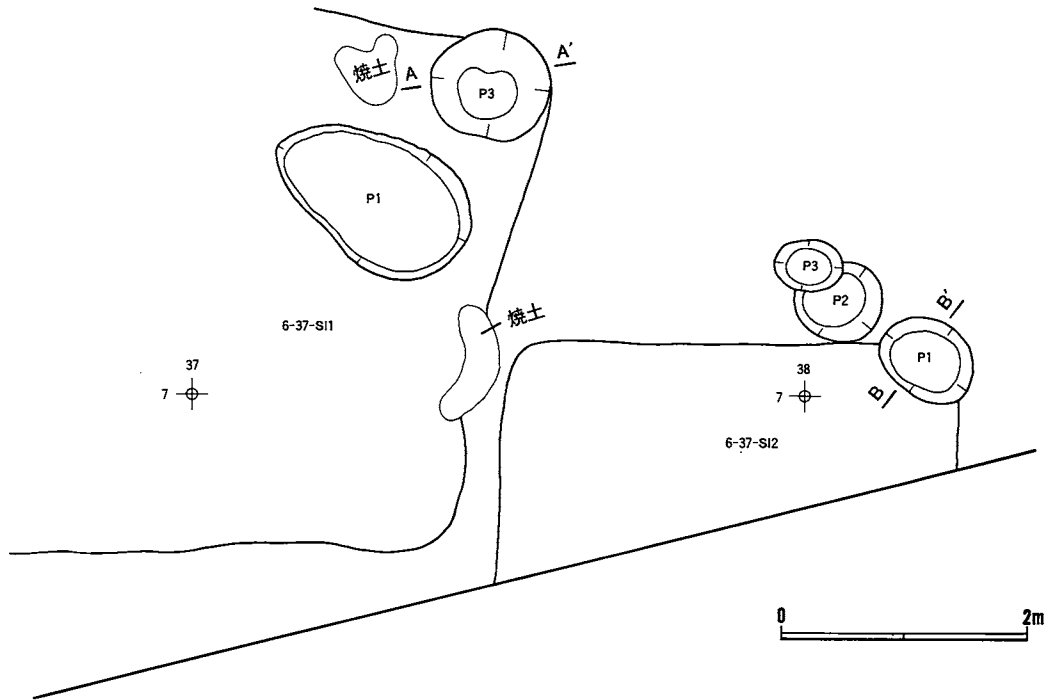


6-25-SI1-P2

- 1 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径2cm以下)が1~2%散在。6-25-SI1貼床埋土。
- 2 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が1%散在。

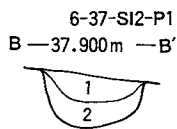


第362図 平安住居跡(5)



6-37-SI1-P3

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。焼土粒少量散在。
- 2 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径3cm以下)が2%ほど散在する。

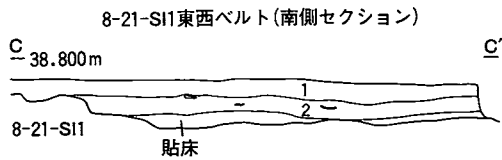
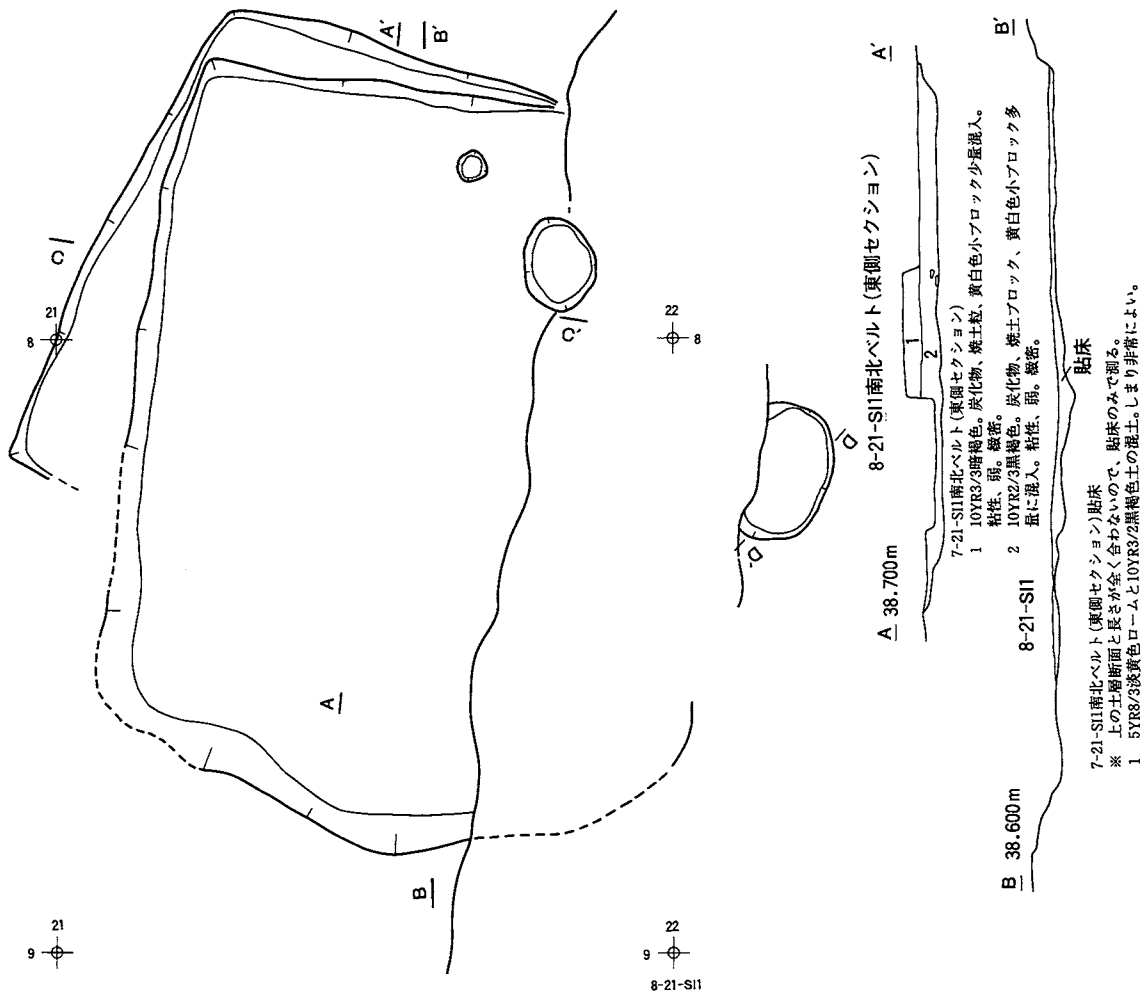


6-37-SI1-P1

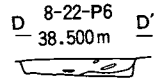
- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土少量含がMatrix。焼土小ブロック(径2cm以下)5%散在。固く緊密。
- 2 成分は1とほぼ同じ。地山粘土ブロック(径5cmほど)いくらか散在。かなり固い。緊密



第363図 平安住居跡(6)



8-21-S11東西ベルト(南側セクション)  
 ※ 土層は東側セクションと同じ。

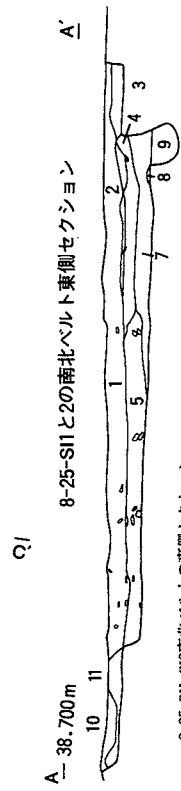
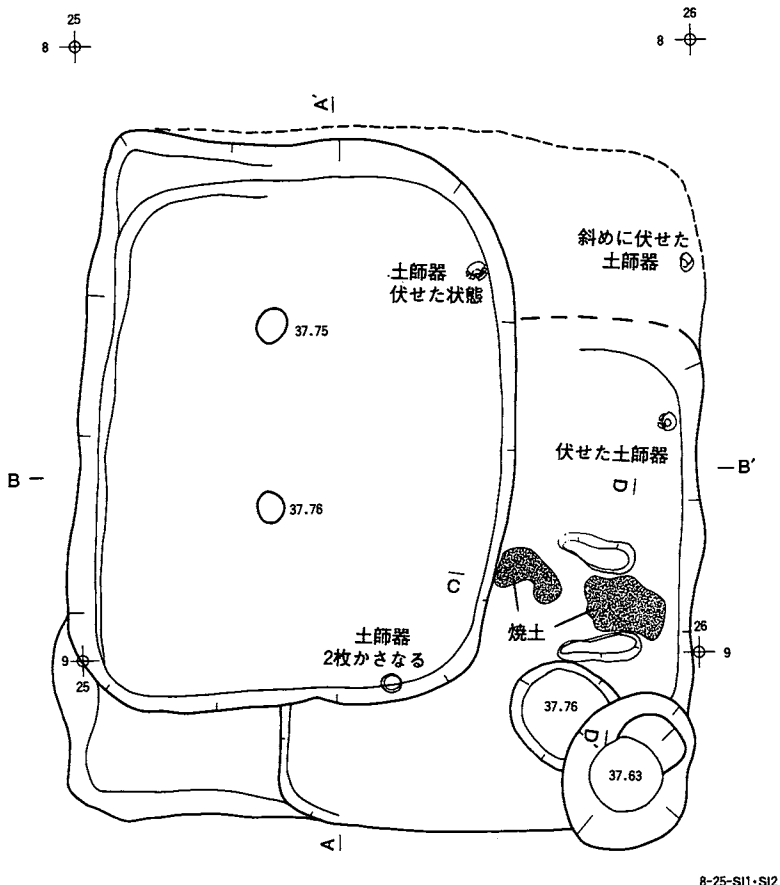


8-22-P6  
 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。火山灰2%ほど含まれる。  
 地山粘土(径5mm以下)3%ほど散在する。炭化物片、焼土粒(5mm以下)  
 2%ほど散在する。土師器破片が含まれる。

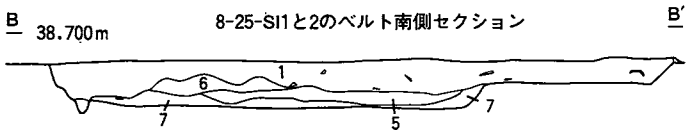
第364図 平安住居跡(7)



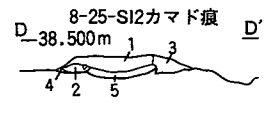
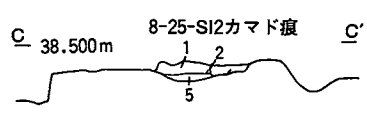




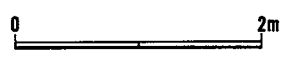
- 8-25-S11-S12南北ベルトの東側セクション
- 1 10YR3/2黒褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 2 10YR3/2黒褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 3 10YR6/8褐色。焼土。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 4 10YR6/8褐色。焼土。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 5 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 6 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 7 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 8 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 9 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 10 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。
  - 11 10YR3/4暗褐色。炭化物、焼土粒少量混入。粘性弱。しまり密。



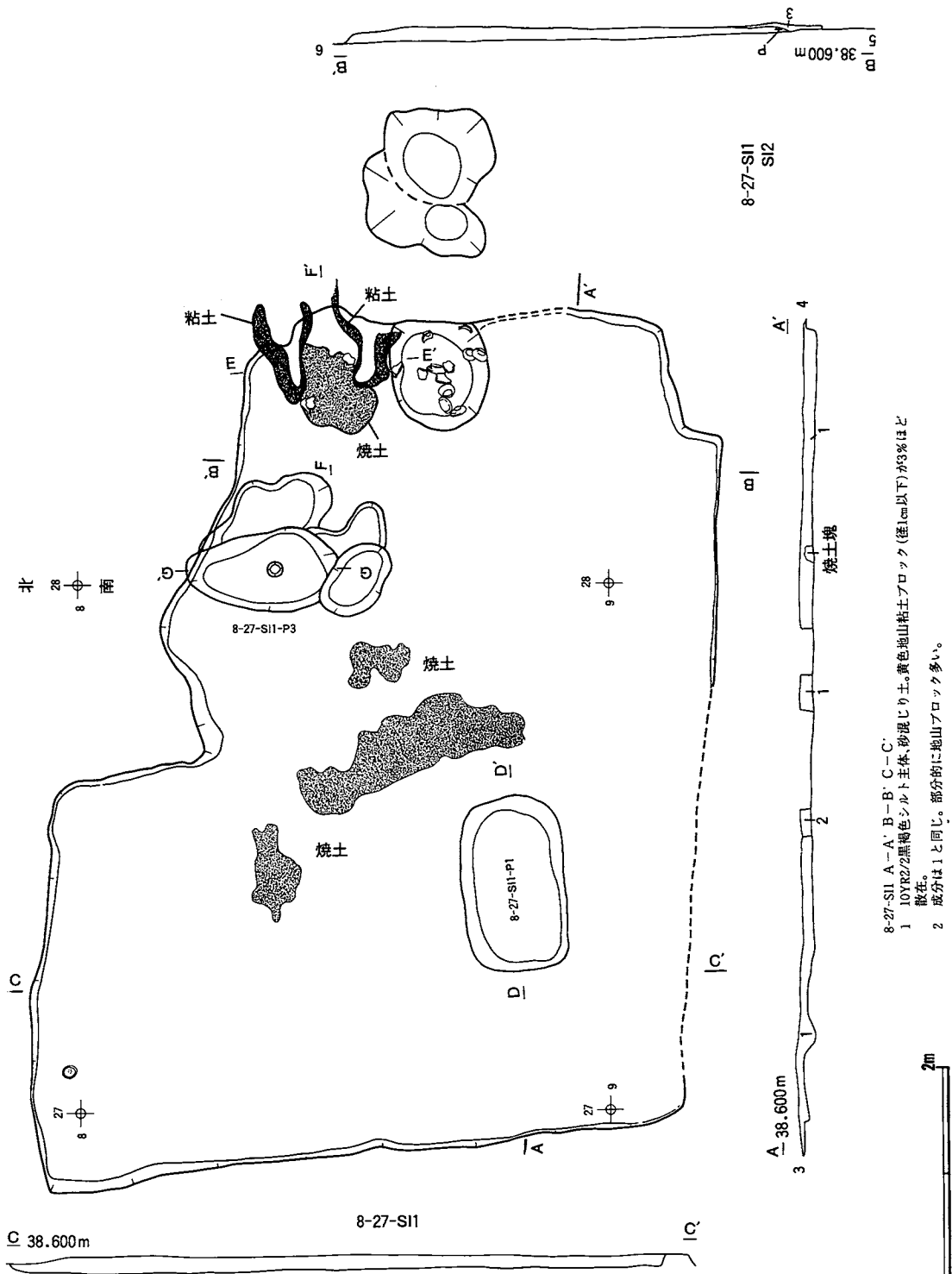
8-25-S11と2のベルト南側セクション  
※土層は東側セクションと同じ。



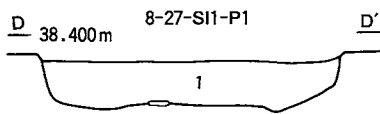
- 8-25-S12カマド痕 C-C'・D-D'
- 1 10YR3/4暗褐色。焼土粒、炭化物混入。粘性、無し。しまり中。
  - 2 5YR6/8褐色。焼土層。
  - 3 7.5YR4/6褐色。焼土・粘土の混塊。粘性、無し。しまりやや密。
  - 4 10YR3/2黒褐色。粘性、無し。しまり中。
  - 5 5YR4/8赤褐色。焼土層。



第366図 平安住居跡(9)

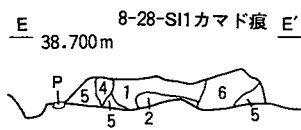
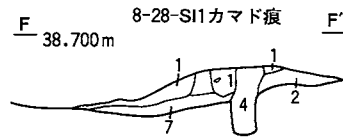


第367図 平安住居跡(10)



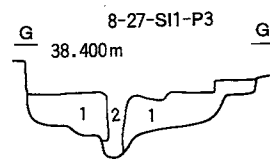
8-27-SI1-P1

- 1 10YR2/1黒色シルト・粘土。非常に緊密である。地山粘土入らない。土師器小片がいくらか入る。底面に土師器片あり。炭化物片(径1cm以下)1%以下散在。固くしまる。



8-28-SI1カマド痕 E-E' F-F'

- 1 7.5YR3/4暗褐色。焼土粒、炭化物混入。粘性、無し。しまり中。
- 2 10YR4/4褐色。炭化物、黄褐色土混入。粘性、無し。しまり中。
- 3 10YR3/4暗褐色。炭化物、黄褐色土混入。粘性、無し。しまりやや弱。
- 4 2.5Y4/4黄褐色。粘土層。粘性、弱。しまり密。(桂穴状土坑)
- 5 10YR2/3黒褐色。炭化物、粘土粒混入。粘性、無し。しまり密。
- 6 10YR3/4暗褐色。焼土ブロック混入。粘性、無し。しまり密。
- 7 5YR4/6赤褐色。焼土層(地山でなく、黒褐色土が焼けたもの)。

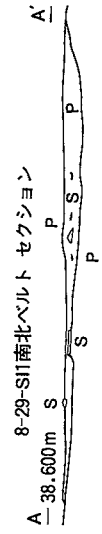
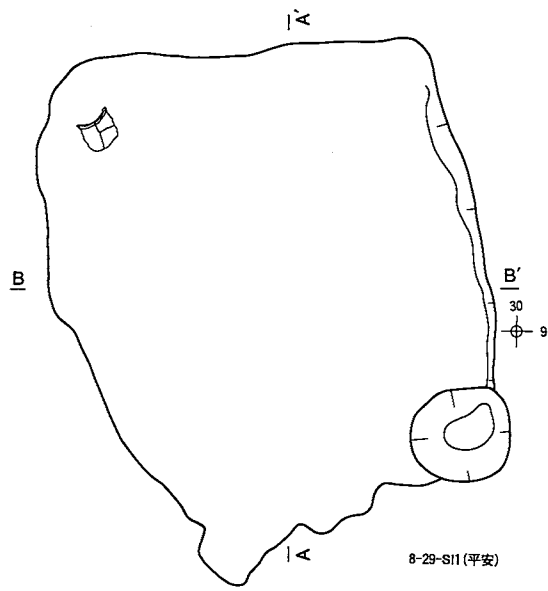


8-27-SI1-P3

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)が7%ほど散在する。固くしまる。
- 2 円柱状の空間。

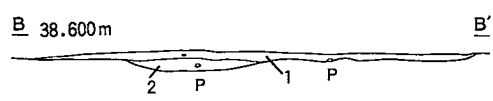


第368図 平安住居跡(11)

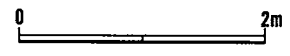


8-29-S11南北ベルトセクション  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体。炭化物片、焼土片いくらか散在。

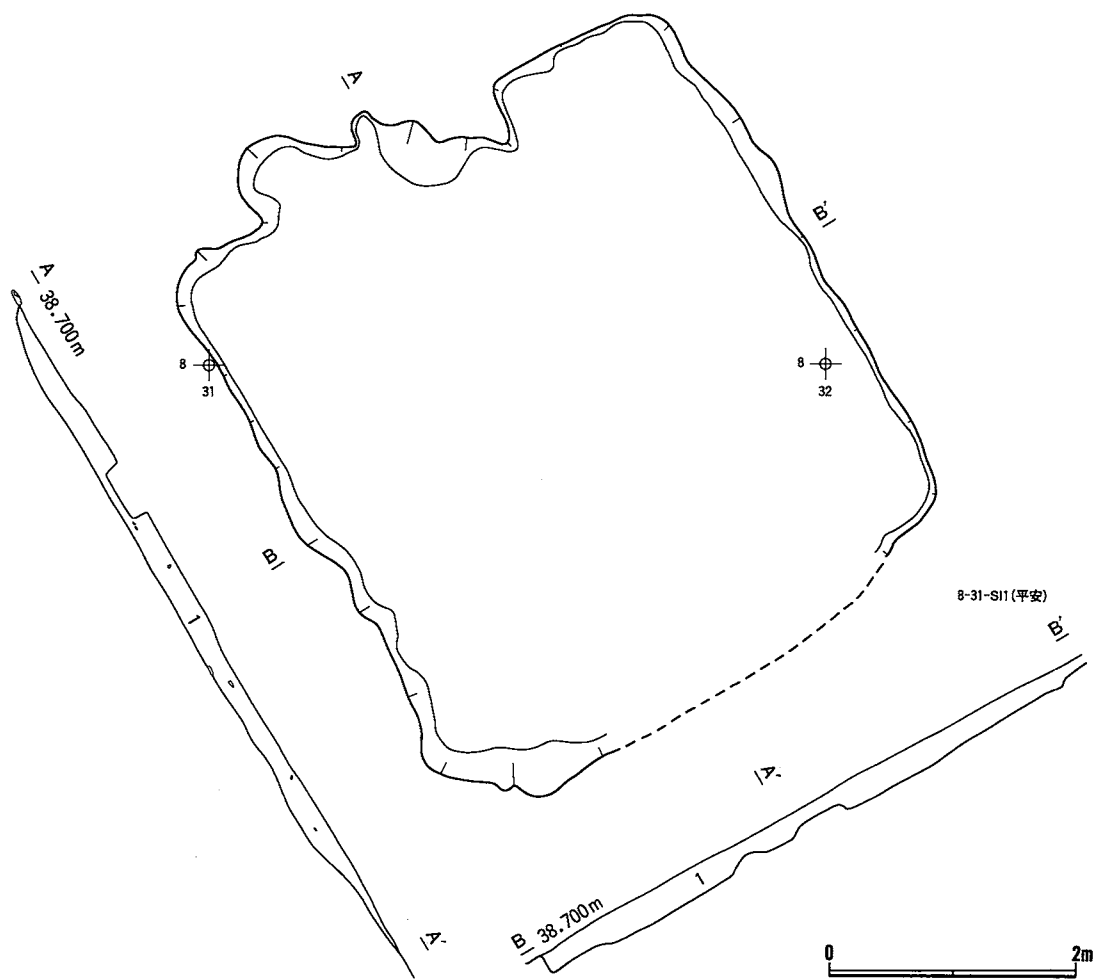
8-29-S21東西ベルト セクション



8-29-S11東西ベルトセクション  
1 10YR2/2黒褐色シルト主体。炭化物片、焼土片いくらかの散在。  
2 成分は1とほぼ同じ。地山小ブロック(径1cm以下)10%散在。



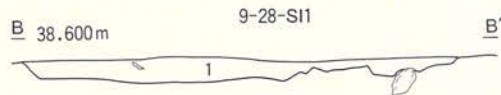
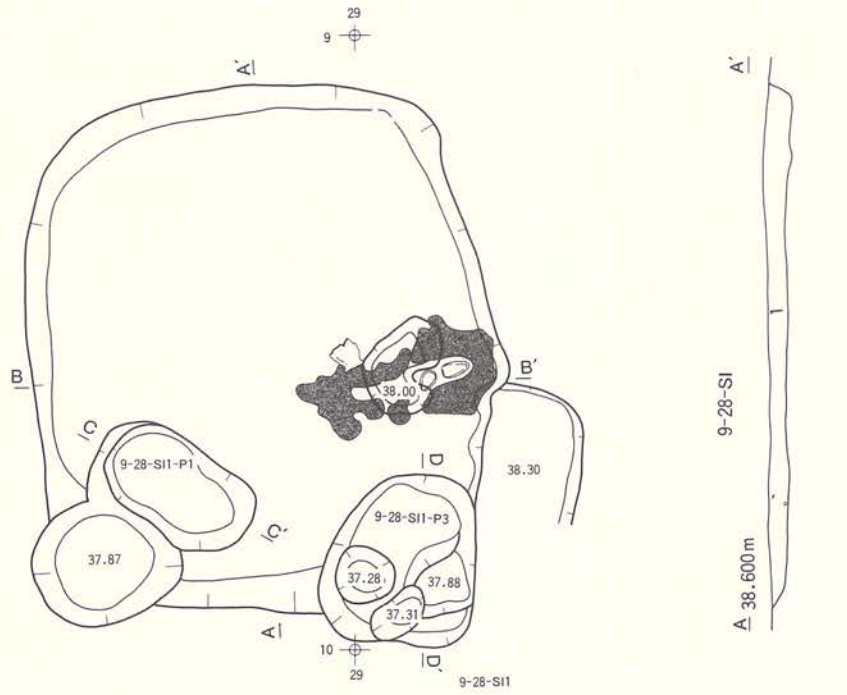
第369図 平安住居跡(12)



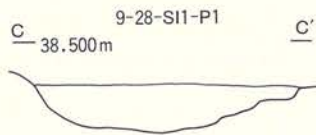
8-31-S11 A-A' B-B'

- 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂混じり土。黄色地山小アブロック(径1cm以下)3%ほど散在する。炭化物小片1%以下。

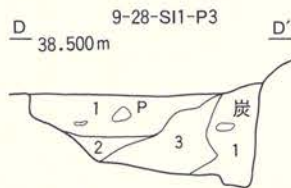
第370図 平安住居跡(13)



9-28-SI1 A-A' B-B'  
 1 10YR2/2黒褐色シルト主体、砂・粘土混じり土。固く緊密。縄文中期土器片比較的多く入る。平安土師器も入る。地山小ブロック(径1cm以下)が1%以下散在。



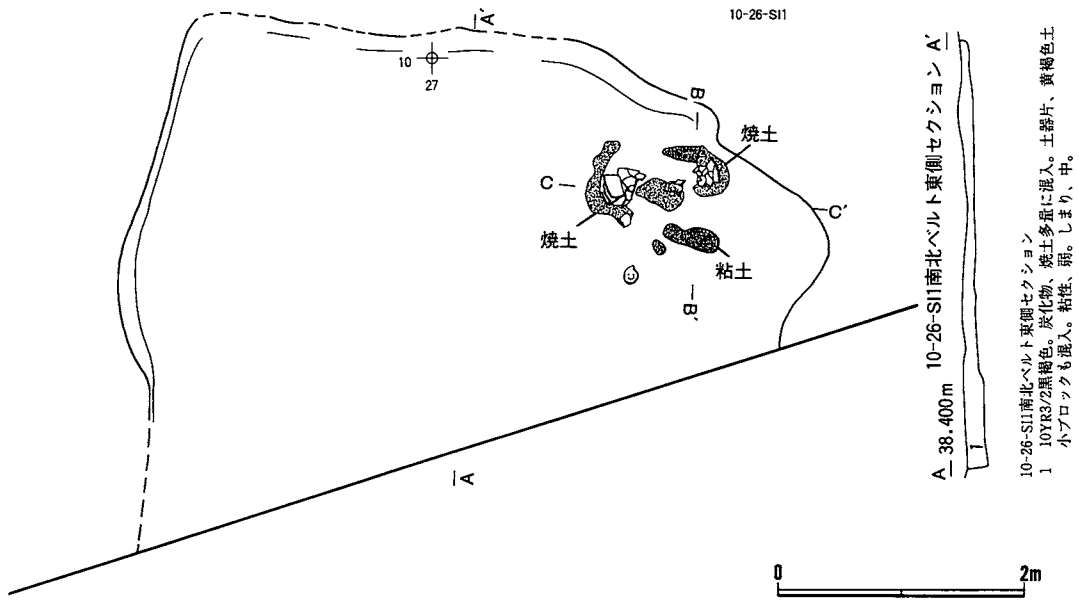
9-28-SI1-P1  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小粒1%ほど散在。固くしまる。



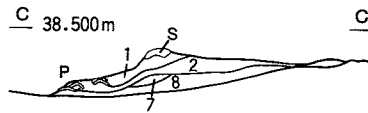
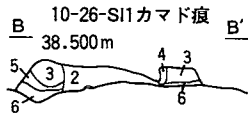
9-28-SI1-P3  
 1 10YR3/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)5%ほど散在。  
 2 10YR2/2シルト・粘土が主体。黄色地山粘土小ブロック(径1cm以下)2-3%散在。  
 3 地山黄色粘土ブロック(径1cm以下)95%散在。残りは10YR4/4-3/2。



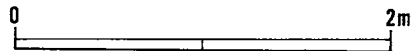
第371図 平安住居跡(14)



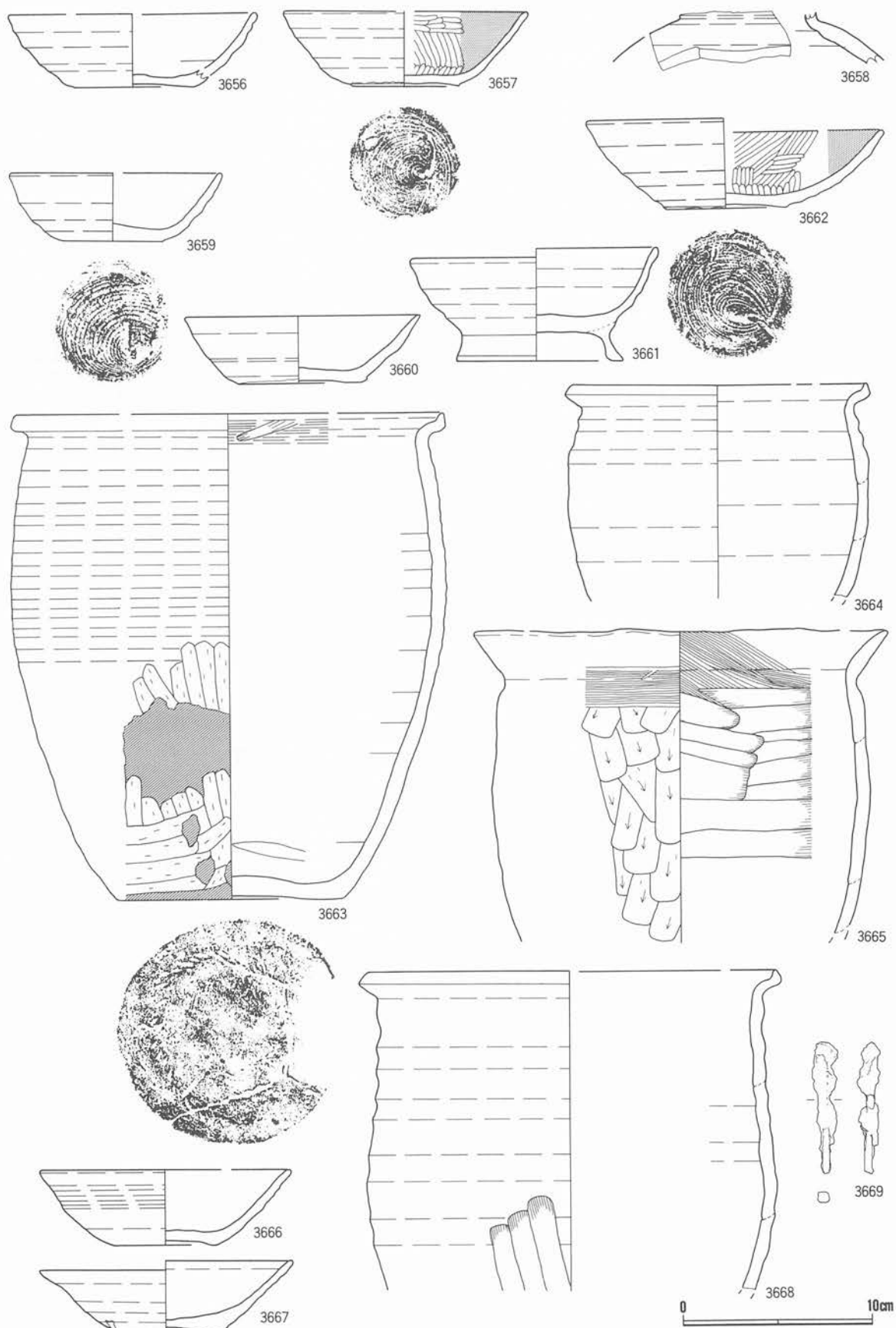
10-26-S11南北ベルト東側セクション  
 1 10YR3/2黒褐色。炭化物、焼土多量に混入。土器片、黄褐色土小ブロックも混入。粘性、弱。しまり、中。



- 10-26-S11カマド痕 B-B' C-C'
- 1 10YR2/2黒褐色。焼土、炭化物混入。粘性、無し。しまり密。
  - 2 10YR3/4暗褐色。焼土、炭化物混入。粘性、無し。しまり密。
  - 3 2.5YR7/3淺黄。粘性、中。しまり密。粘土混入。
  - 4 5YR5/6赤褐色。3が焼けて赤変したところ。
  - 5 7.5YR3/4褐色。焼土粒、黄褐色土小ブロック混入。粘性、無し。しまり密。
  - 6 10YR3/4暗褐色。粘性、無し。しまり中。
  - 7 5YR5/8明赤褐色。焼土層。粘性、無し。しまり中-やや弱。
  - 8 7.5YR4/4褐色。炭化物、焼土粒、黄褐色土ブロック混入。

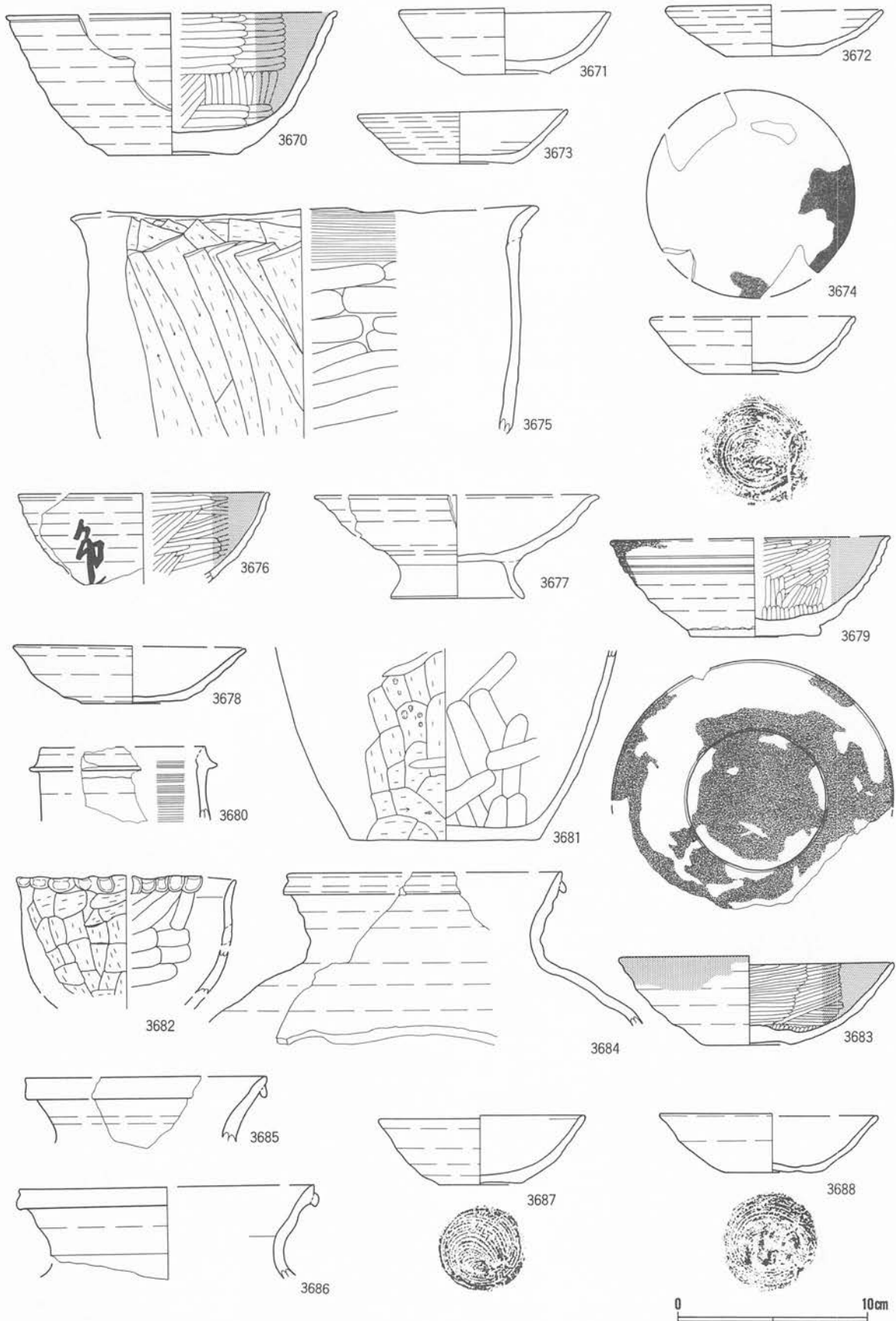


第372図 平安住居跡(15)

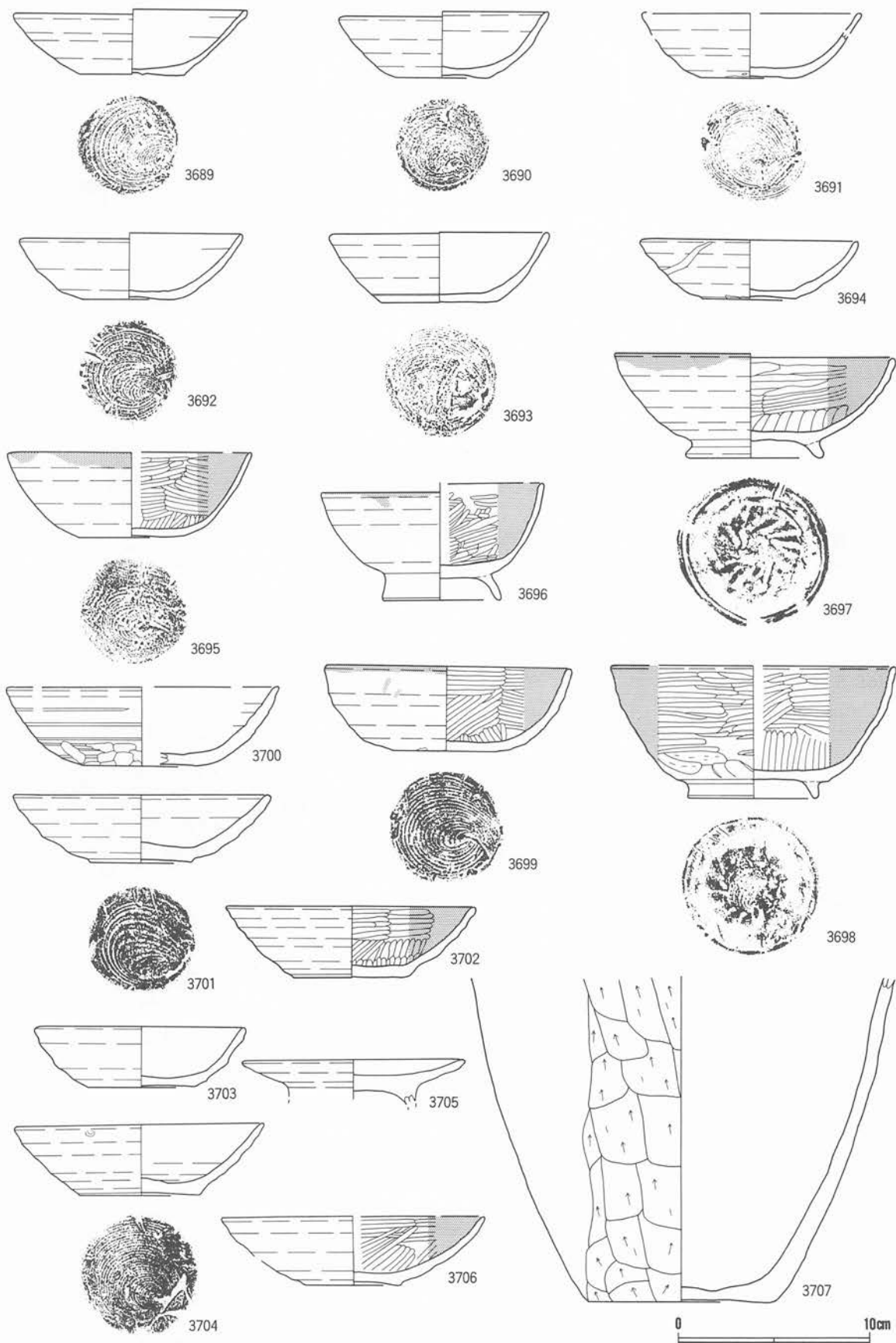


第373図 出土遺物 平安住居跡出土品(1)

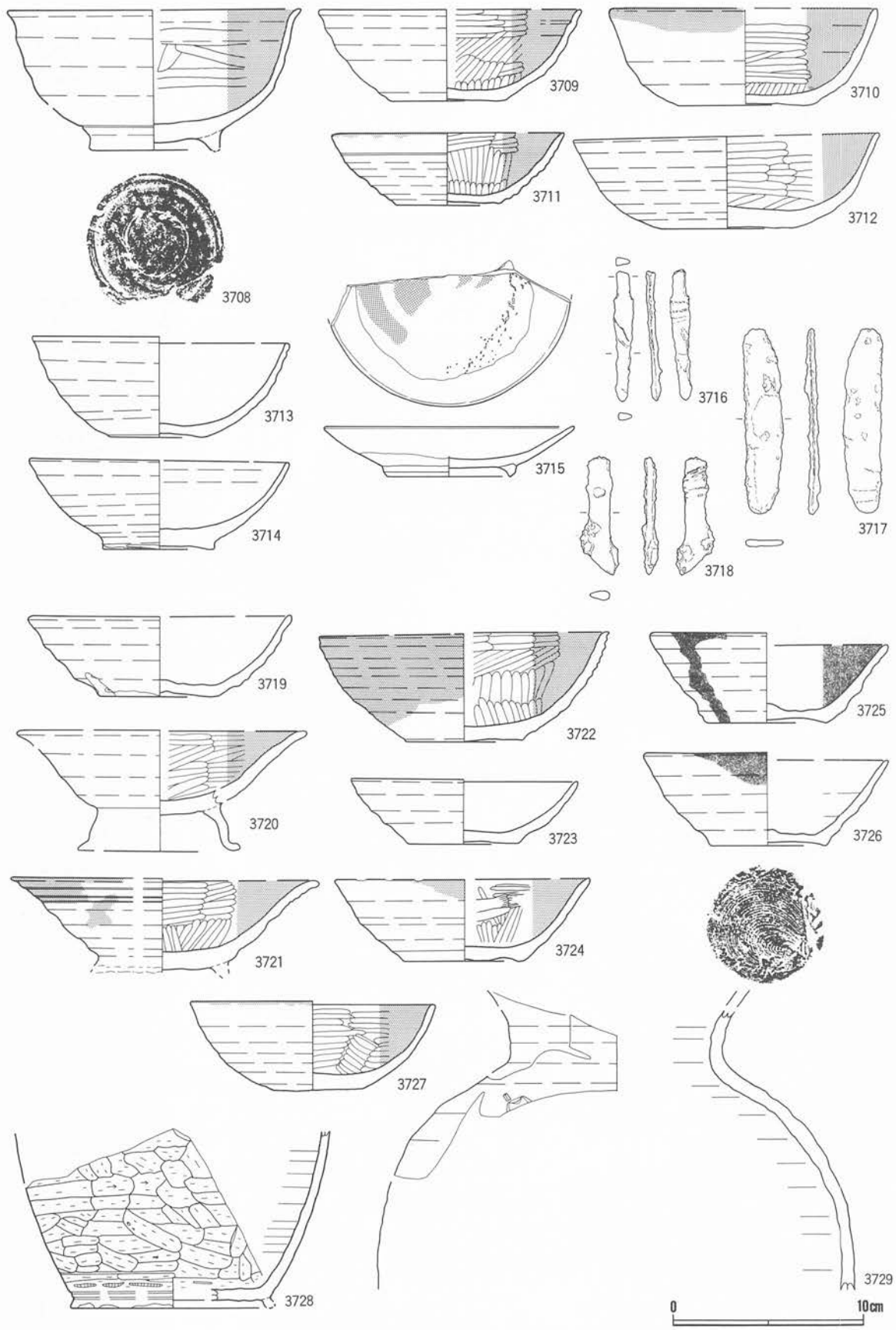




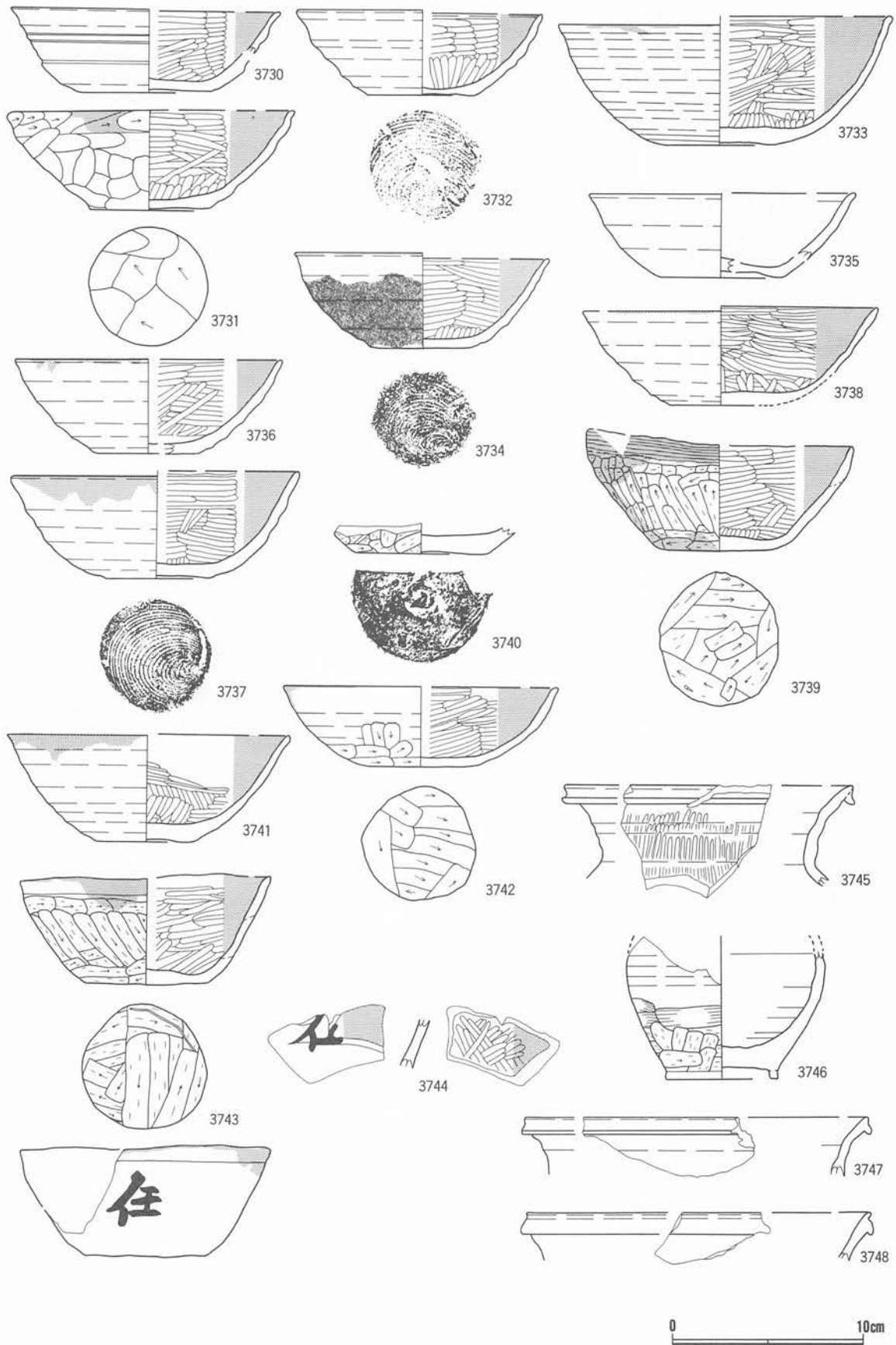
第374図 出土遺物 平安住居跡出土品(2)



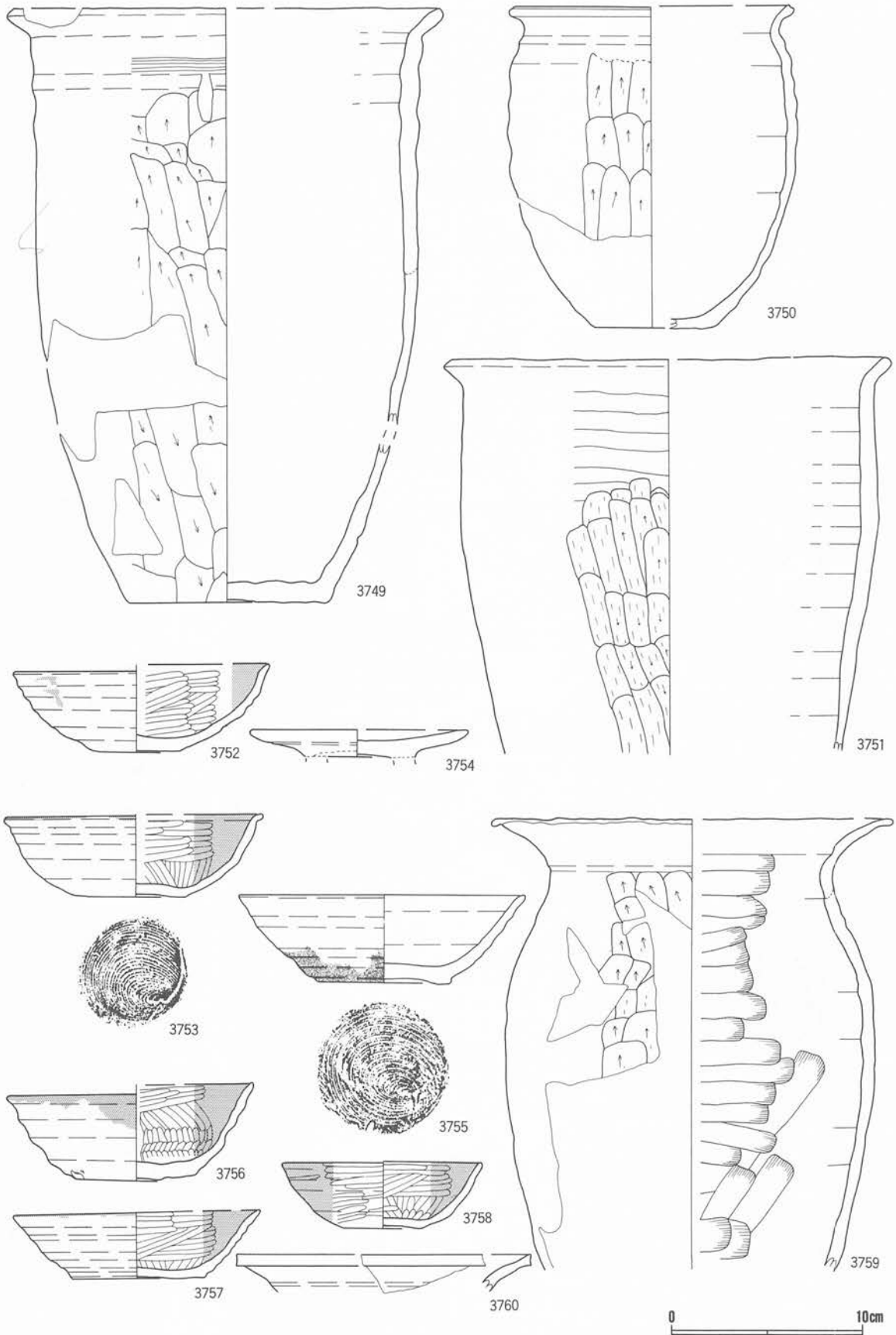
第375図 出土遺物 平安住居跡出土品(3)



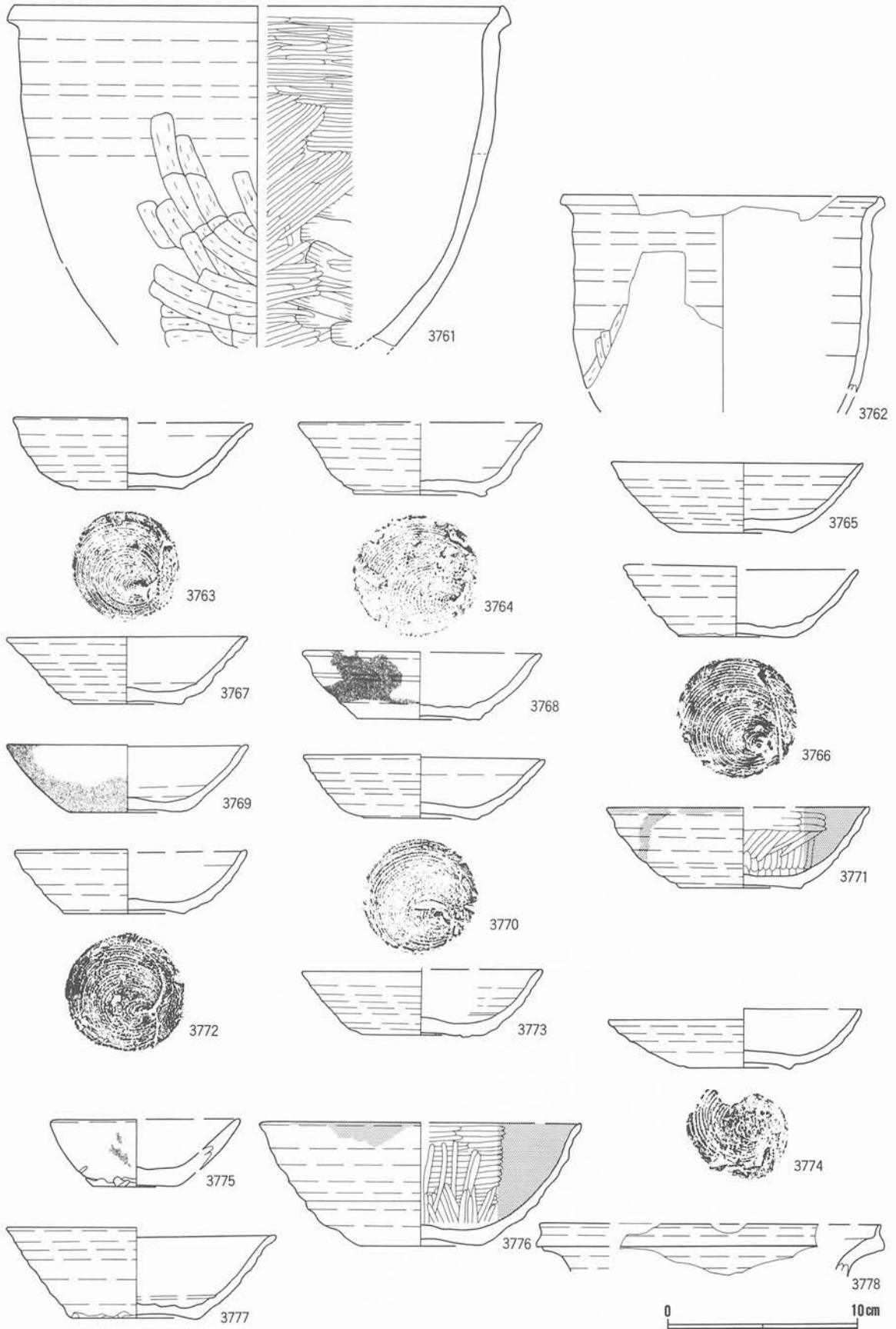
第376図 出土遺物 平安住居跡出土品(4)



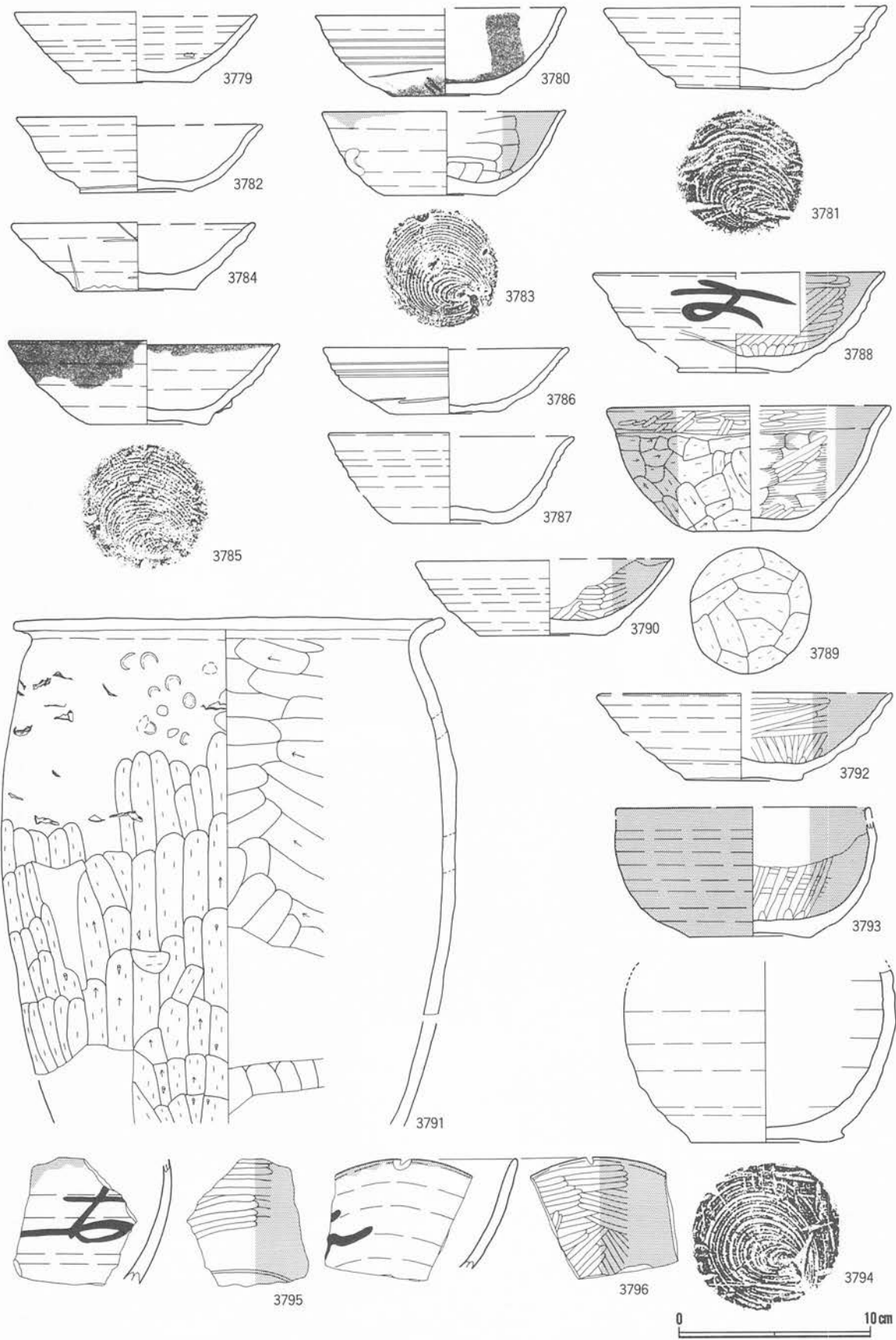
第377图 出土遺物 平安住居跡出土品(5)



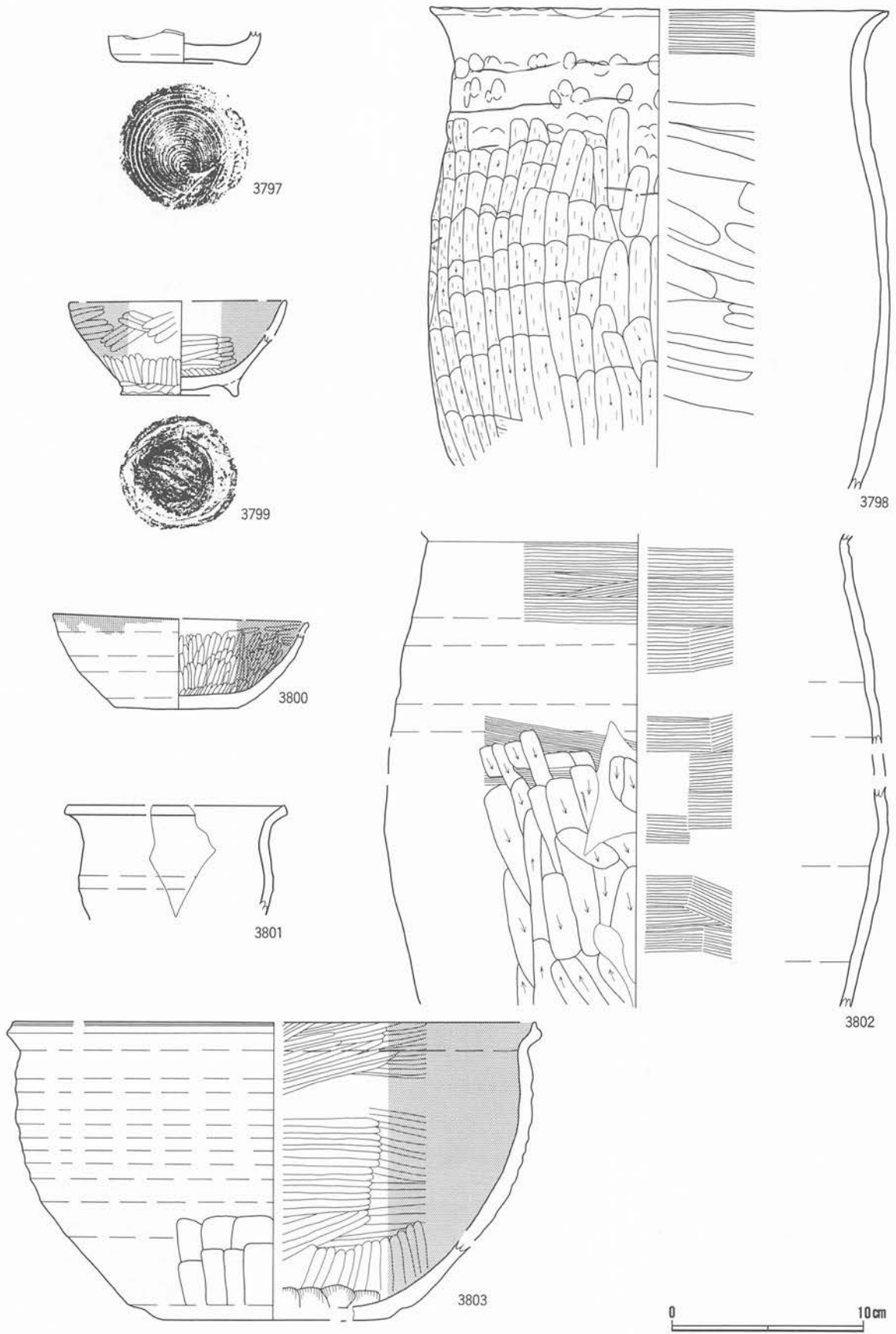
第378図 出土遺物 平安住居跡出土品(6)



第379図 出土遺物 平安住居跡出土品(7)

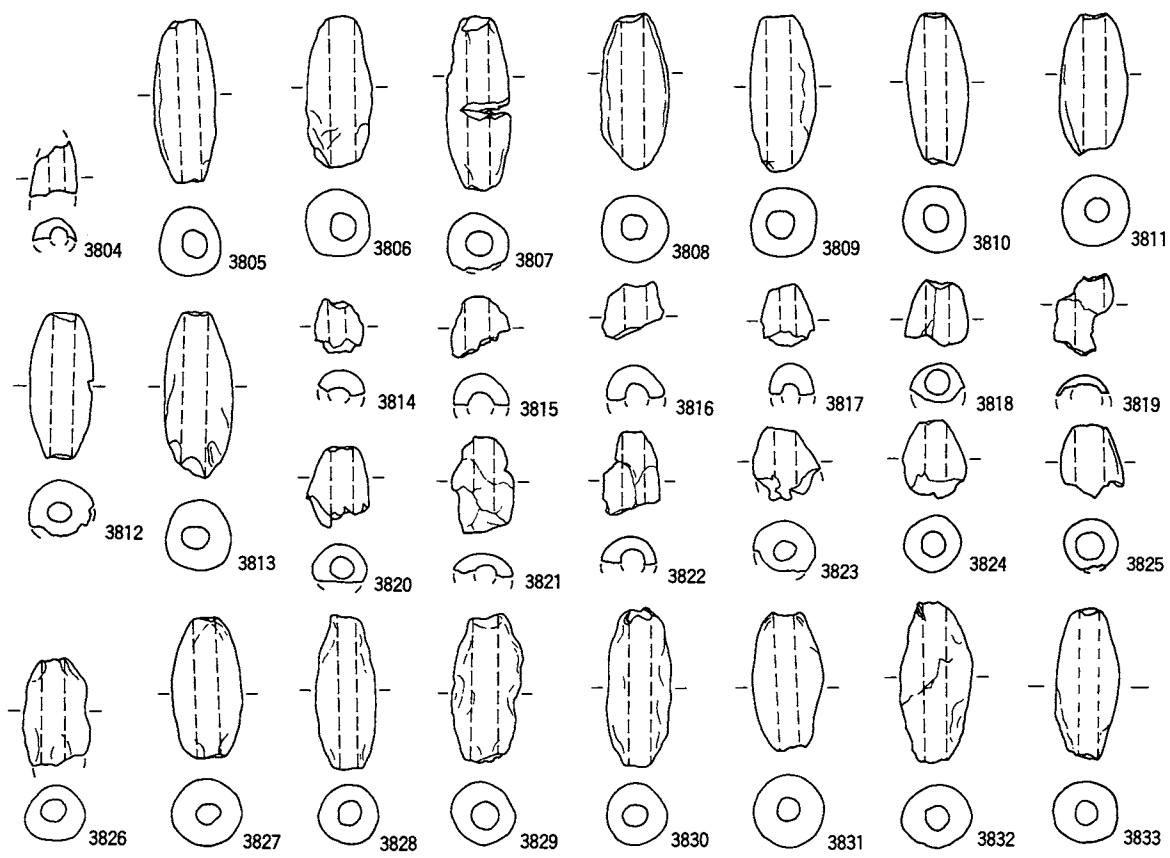


第380図 出土遺物 平安住居跡出土品(8)

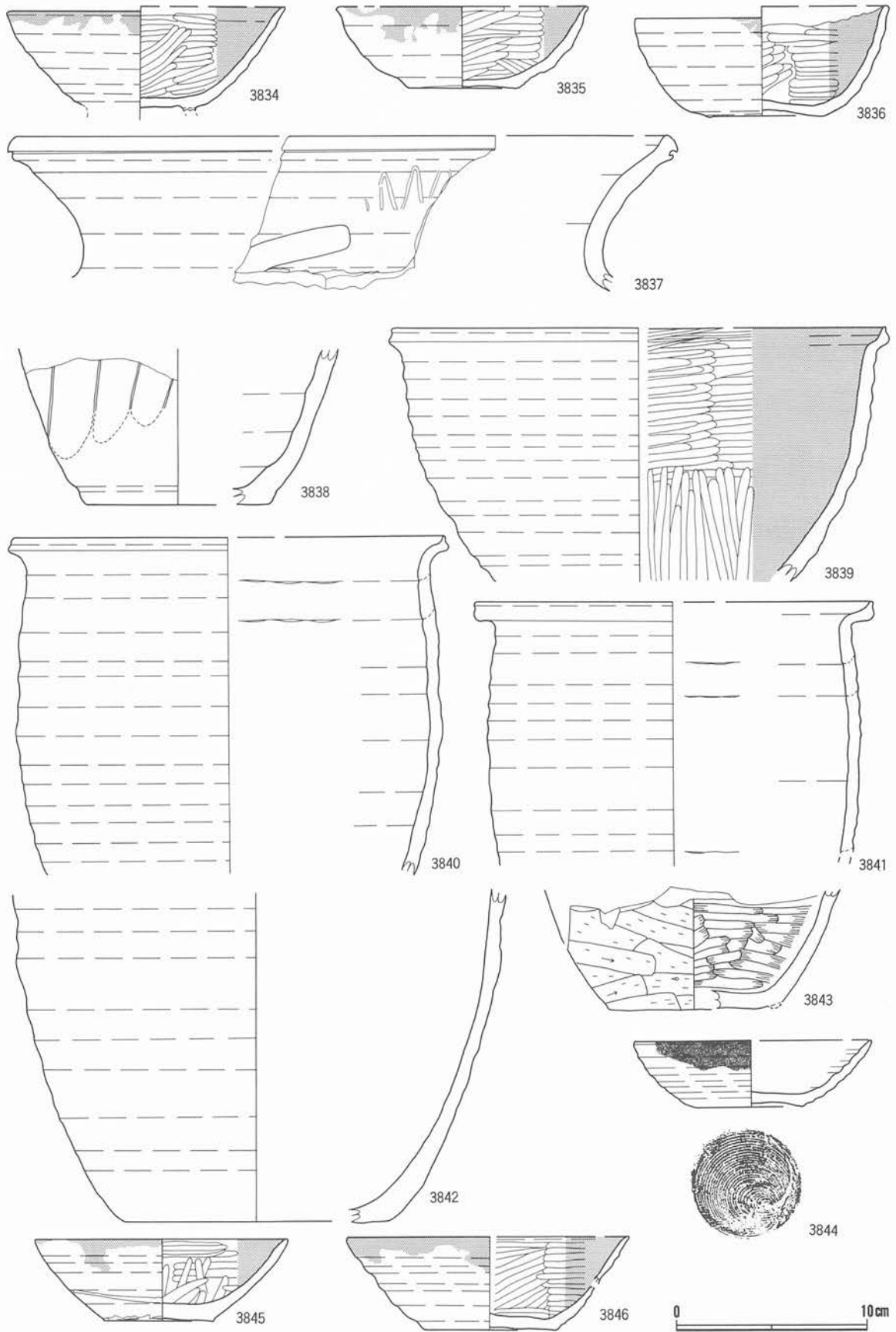


第381図 出土遺物 平安住居跡出土品(9)





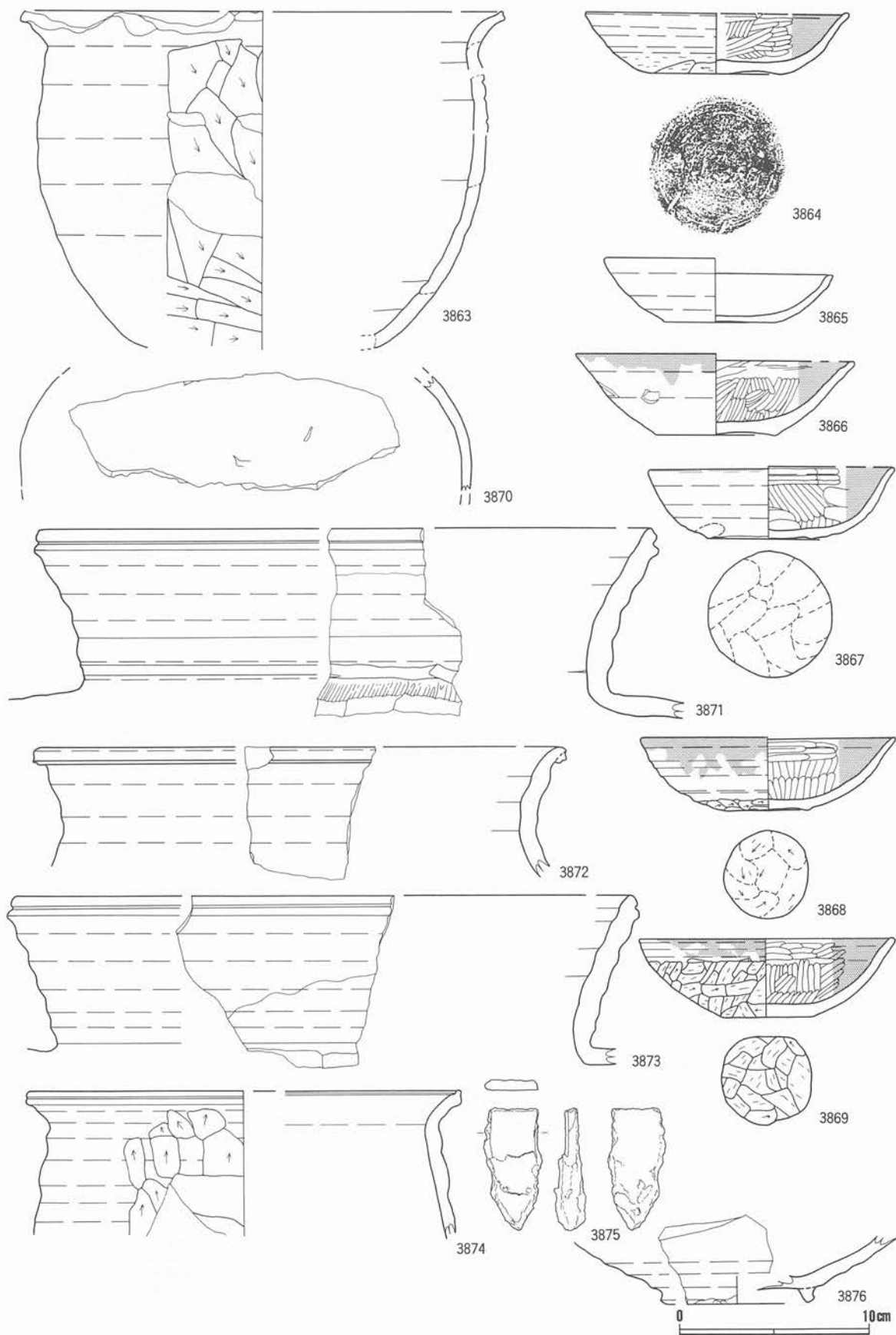
第382図 出土遺物 平安住居跡出土品(10)



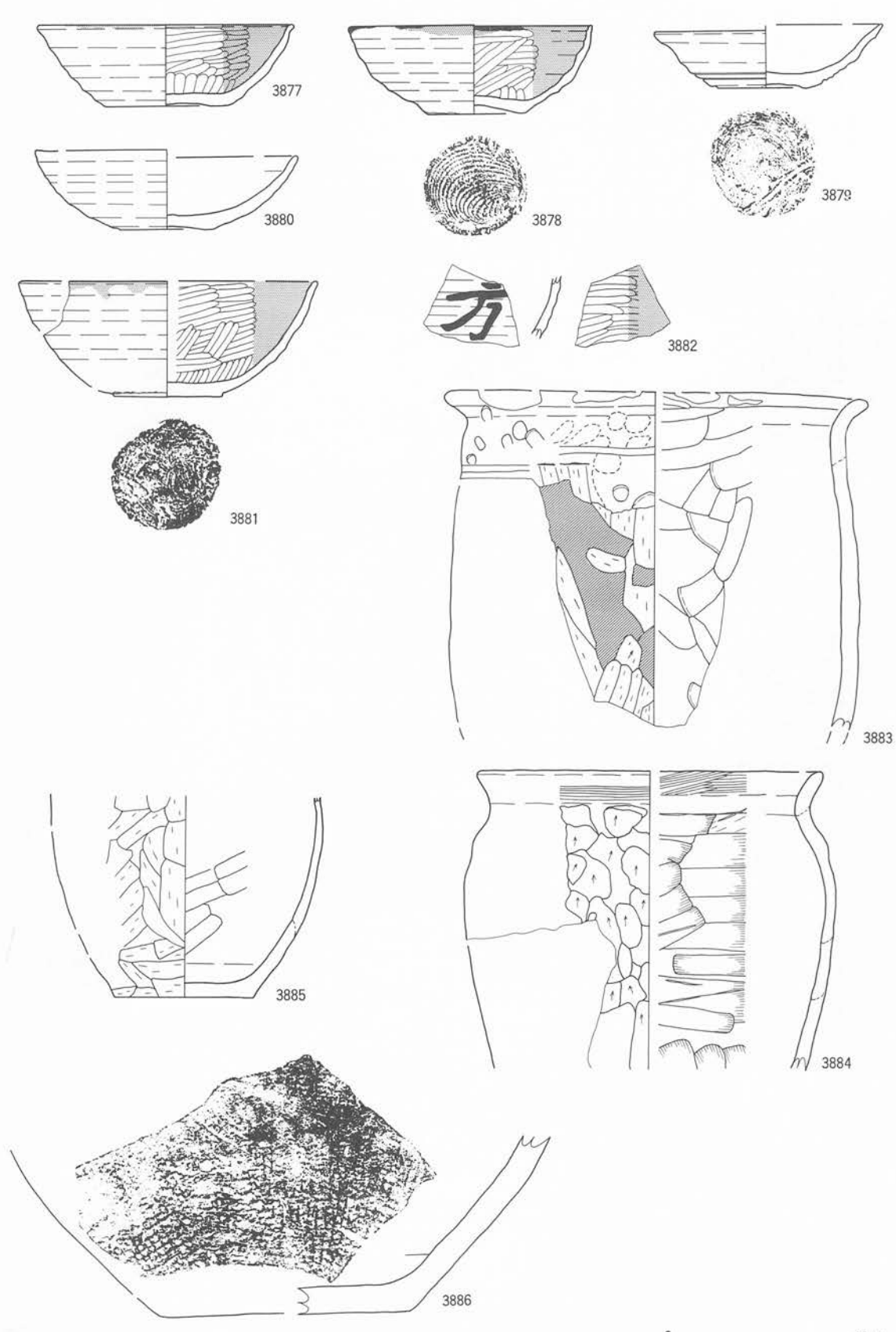
第383図 出土遺物 平安住居跡出土品(11)



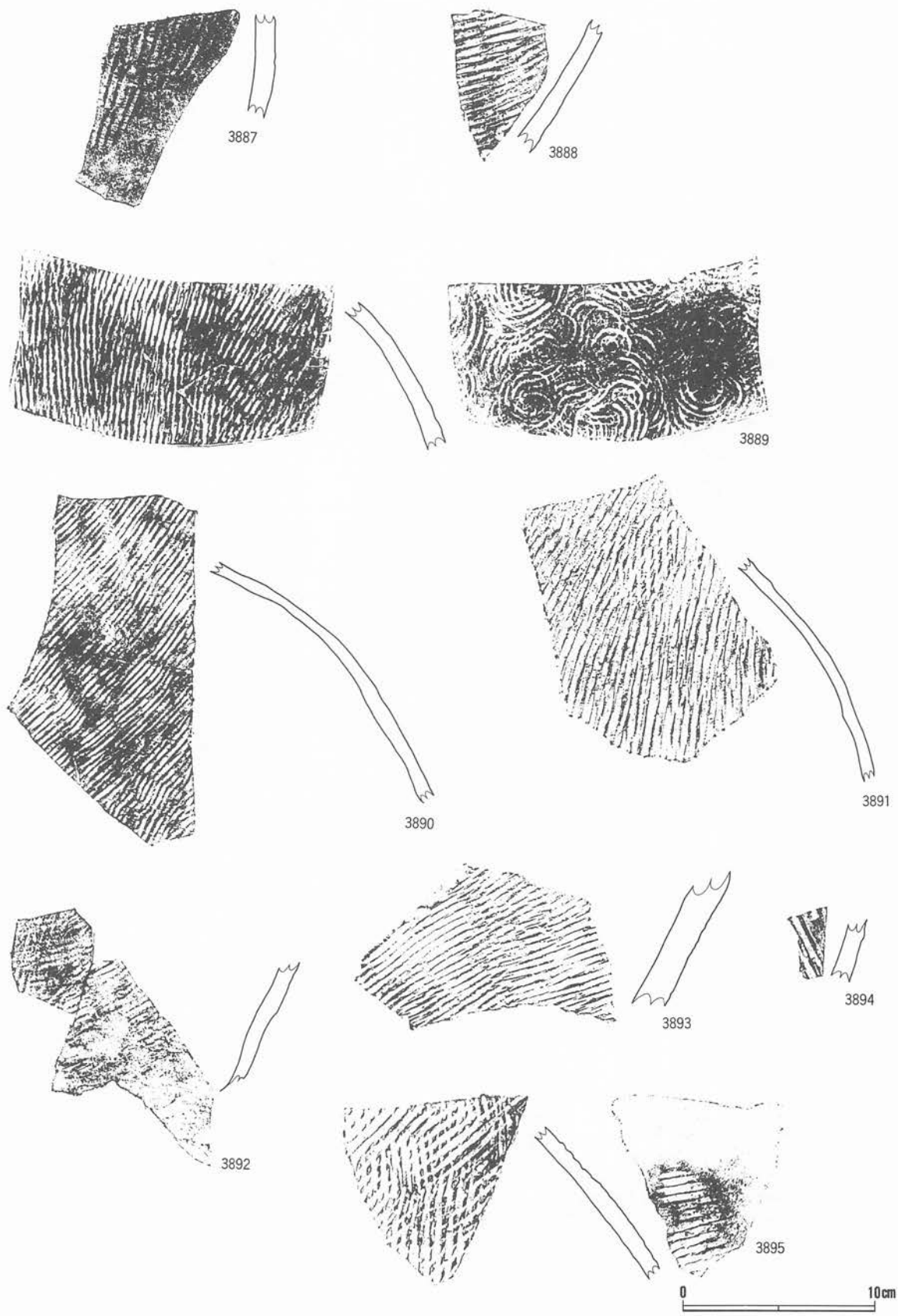
第384図 出土遺物 平安住居跡出土品(12)



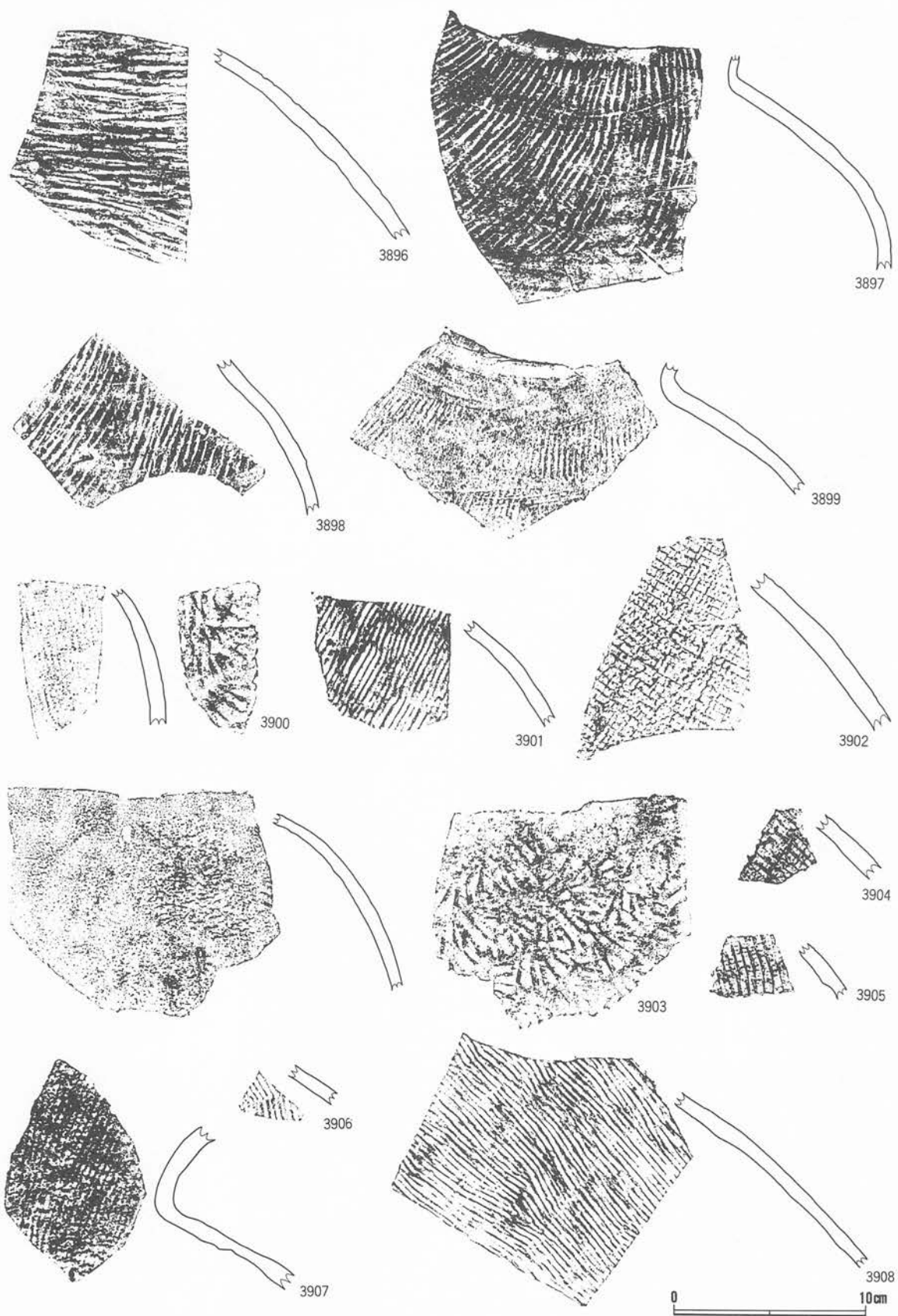
第385図 出土遺物 平安住居跡出土品(13)



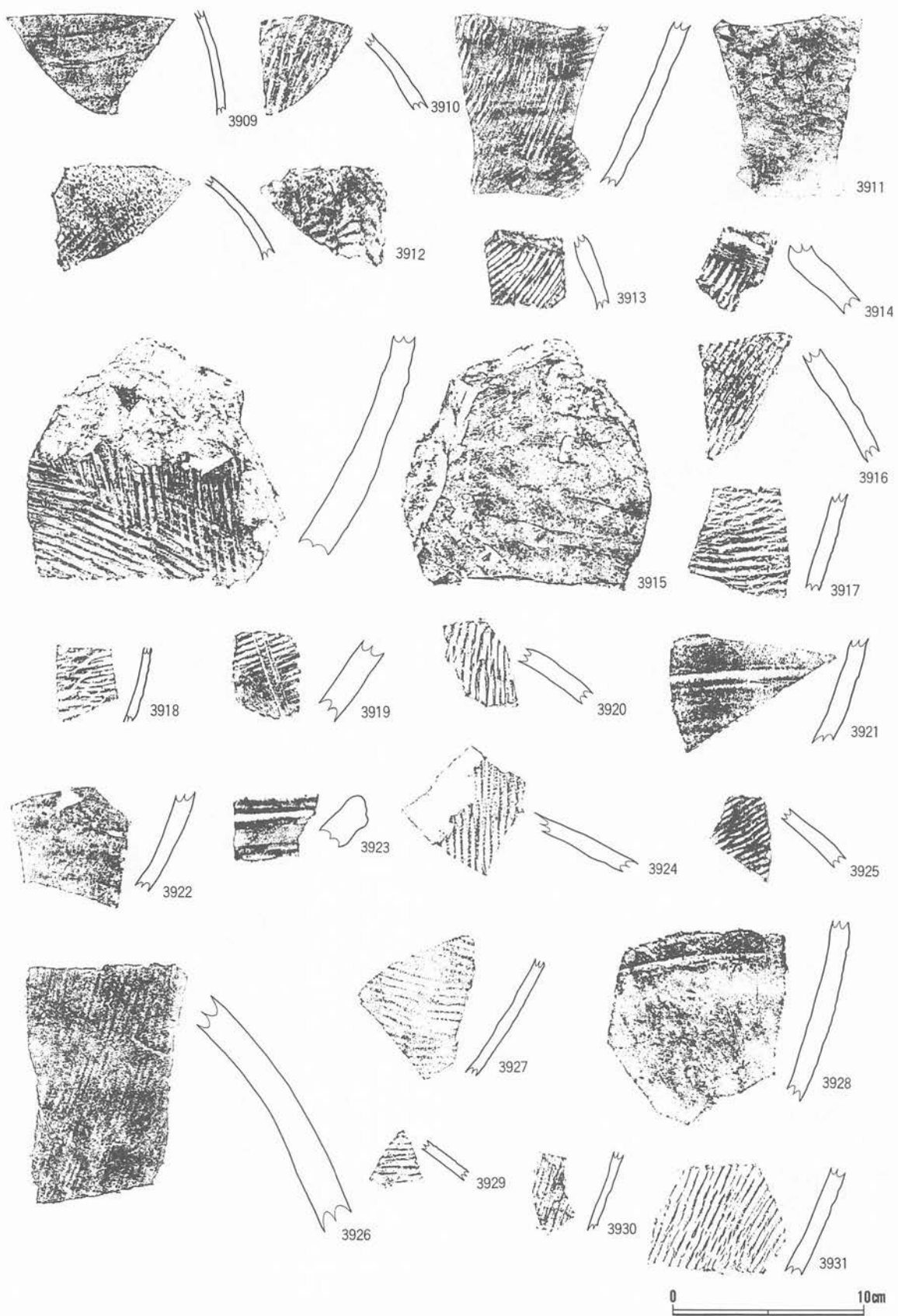
第386図 出土遺物 平安住居跡出土品(14)



第387図 出土遺物 平安時代須恵器(1)

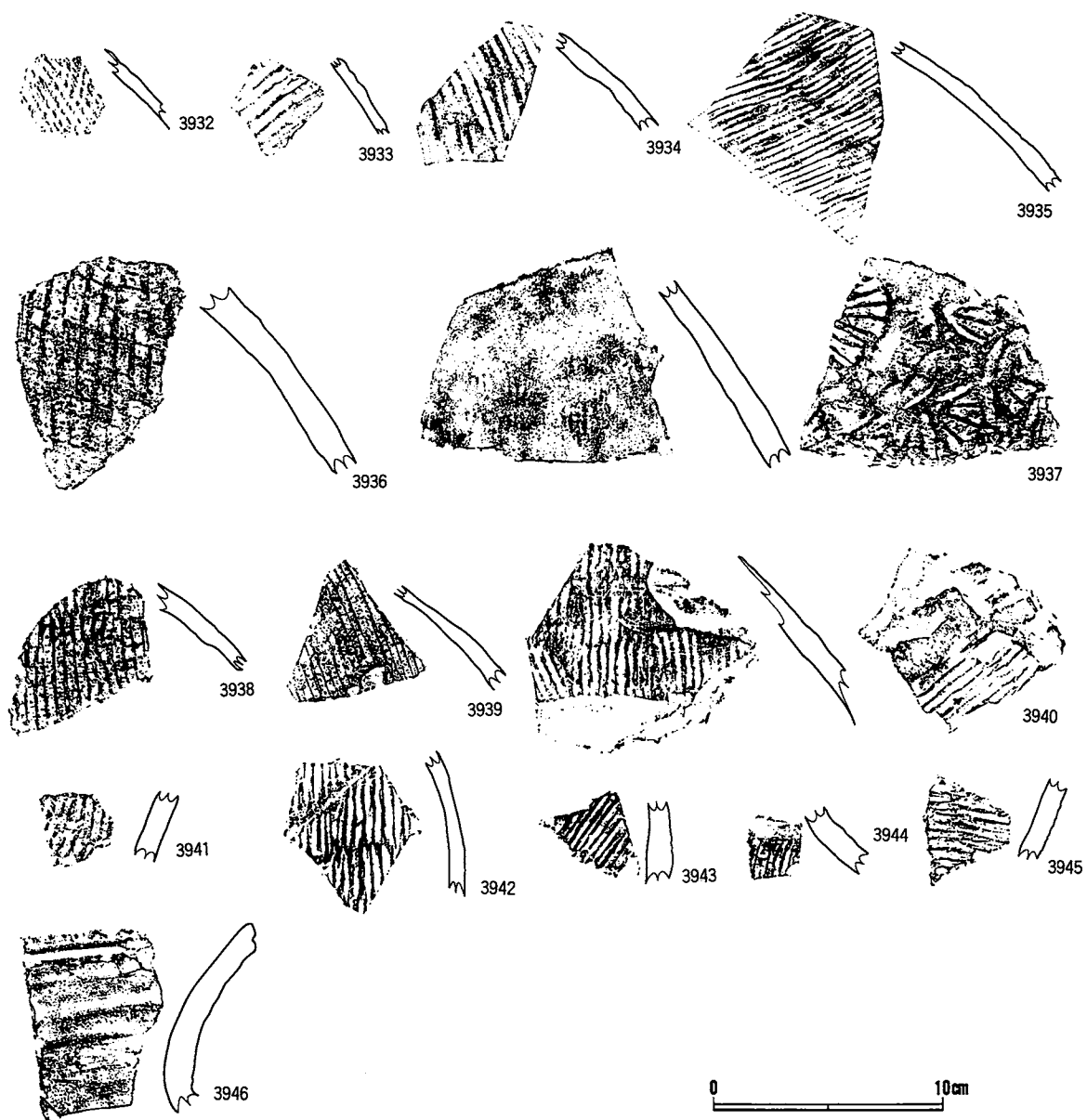


第388図 出土遺物 平安時代須恵器(2)

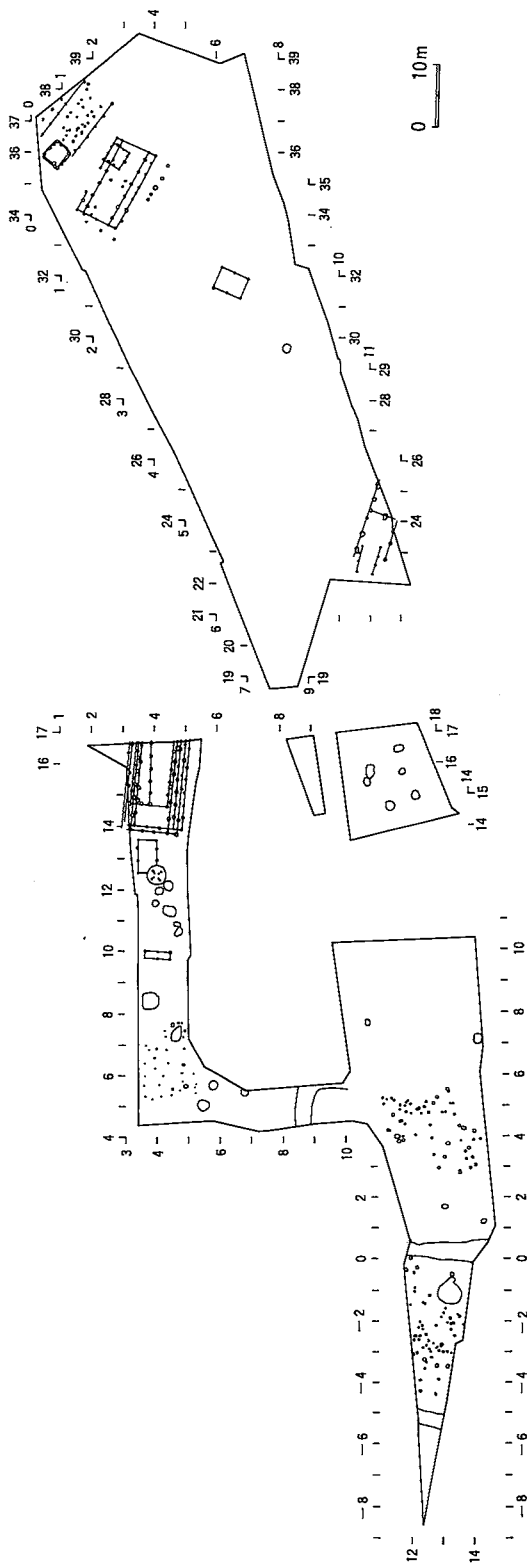


第389図 出土遺物 平安時代須恵器(3)





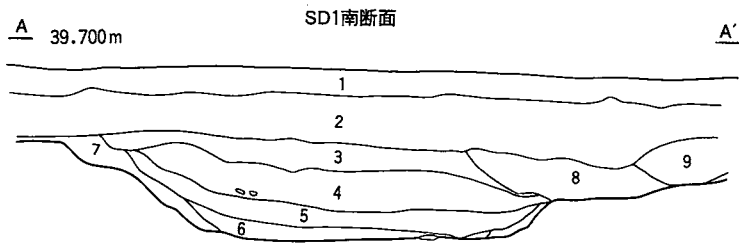
第390図 出土遺物 平安時代須恵器(4)



第391图 中世遺構配置図

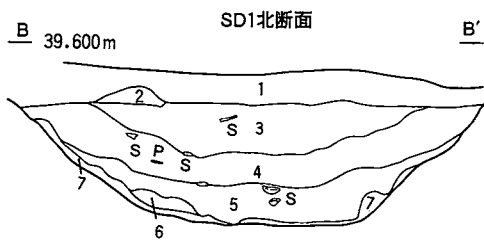


第392图 中世溝位置圖



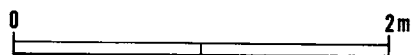
SD1南断面

- 1 10YR3.5/2シルト主体、砂含む土。しまりなし。現在の畑の土。
- 2 1とほぼ同じ土だが、1よりしまってる。
- 3 2と同じ土だが、少し固い。
- ※ 1-3、改田後南側を削り、家を建てるために土手に盛った土だろう。
- 4 10YR3/1.5黒褐色シルト主体。わずかに砂含む。よくしまった土。炭化物(5mm以下)3%散在。
- 5 4とほぼ同じ土だが、石が埋められているので堆積に多少時差があるかもしれない。4より土がしまり、粘土の割合が多い。
- 6 崩落した土が混じったためか、5よりさらに粘土質。色調は5とほぼ同じ。
- ※ 4-6、溝に埋められた土。
- ※ 4-6は水成堆積。北側断面の4・5層に対応する層。
- 7 地山の土に4の土が15%位混じっている。溝が使わなくなった後の、崩落土。10YR3/2よりやや暗い粘土質の土。
- 8 2・3とほぼ同じ土だが、地山ブロック(約1cm)5%散在。12-(6)-SD1より新しい溝の埋土。
- 9 2・3とほぼ同じ土だが、地山ブロック(5mm)5-6%散在。一部に大きいブロックがある。

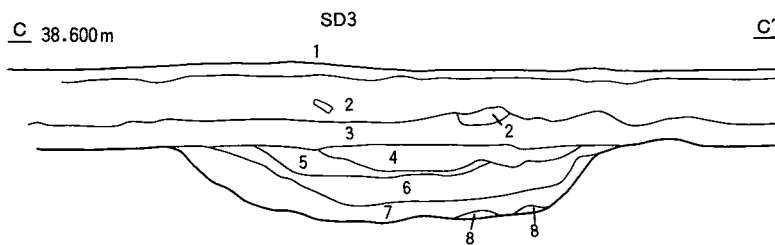


SD1北断面

- 1 10YR3/2黒褐色よりやや暗いシルト主体、わずかに砂含む土。しまりなし。現代の畑の土。
- 2 1とほぼ同じ成分。1よりしまっている。
- ※ 1-2、現代の土。
- 3 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含む。よくしまった土。地山ブロック(0.5-1.5cm)25%散在(bの部分)。aの部分は地山が0.5-1cmと小さく13%散在。人為的に埋められた土で、a・bの差は投げ入れられた方向を表すものか、南側の断面にこの層は見られないが、溝のどこまでこの層があったかは観察していない。4・5と成分は近い土。
- 4 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含むよくしまった土。炭化物(5mm)3%散在。
- 5 4とほぼおなじだが、石が埋められているため4とは堆積に多少の時差があったかもしれない。4・5の層は水成堆積で南側断面の4・5・6層にレベル、成分の点で対応する。
- ※ 3-5、溝に埋められた土。
- 6 10YR3/3暗褐色粘土主体のよくしまった土。地山ブロック(5mm以下)3%弱散在。
- 7 6とほぼ同じだが、ブロックがやや多く、5%前後散在。6・7層は溝が使われなくなったから、溝の壁から崩落した土。6は崩落の方向が7と異なるため、このような断面になったのだろう。
- ※ 6・7、壁の崩落土。

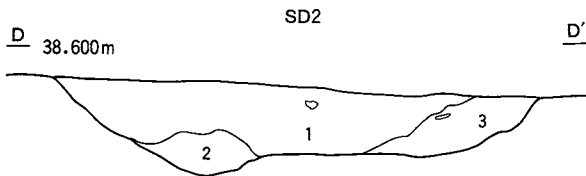


第393図 中世溝(1)



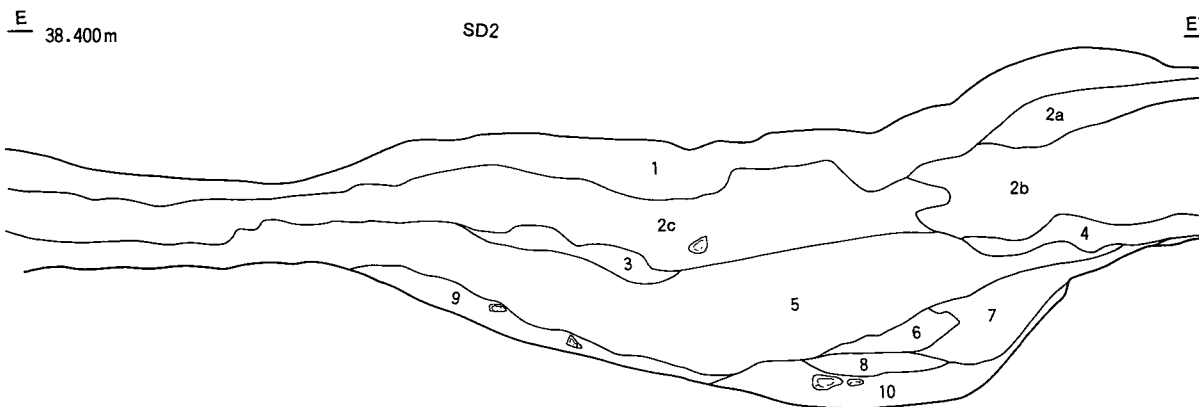
SD3

- 1 最新の水田耕作土：10YR5/1褐灰色粘土主体、細砂～粗砂が30～40%入る。マンガンの酸化した色が植物根状にある。
  - 2 水田造成時の盛り土：10YR5/1褐灰色粘土主体、2.5YR7/1灰白色粘土地山ブロック(径1～12cmほど)が30%入る。
  - 3 それ以前の水田耕作土：埋土1とほぼ同じ成分。
  - 4 10YR4/1褐灰色粘土
  - 5 10YR3/1黒褐色粘土主体、灰白色地山粘土小ブロック(径5mm以下)が1%以下散在する。
  - 6 埋土4とほぼ同じ成分。
  - 7 埋土5とほぼ同じ成分。
  - 8 2.5YR7/1灰白色粘土(周開の地山)ブロック。
- ※ すべて水成堆積。



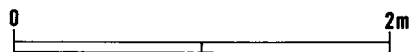
SD2 D-D'

- 1 10YR3/1黒褐色シルト主体。あまりしまっていない土。
- 2 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含むよくなった土。
- 3 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含むよくなった土。地山ブロック10%散在。



SD2 E-E'

- 1 10YR3.5/2シルト主体、砂含む土。しまりなし。表土。
- 2 a 10YR3.5/2シルト主体、砂含む土と地山黄色粘土ブロックが半々に混在する。
- 2 b 地山黄色粘土大ブロックが70%ほど散在する。10YR3.5/2シルト主体、砂含む土ブロックが混在する。
- 2 c 10YR3.5/2シルト主体、砂含む土と地山黄色粘土大ブロックが半々に混在する。
- 3 地山黄色粘土大ブロック主体で、10YR3.5/2シルト主体、砂含む土がぶろっくが散在する。
- 4 3に似るが、地山の量いくらかが少ない。
- 5 10YR3/1黒褐色シルト主体。あまりしまっていない土。近代以降の遺物が混じる。
- 6 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含む。近代以降の遺物が混じる。
- 7 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含むよくなった土。地山ブロック5%散在。炭化物(5mm)3%散在。
- 8 10YR3/1.5黒褐色シルト主体、わずかに砂含むよくなった土。炭化物(5mm)3%散在。
- 9 8とほぼ同じ成分だが、地山粘土小ブロックが5%ほど散在する。
- 10 8とほぼ同じ成分だが、地山粘土小ブロックが10%ほど散在する。



第394図 中世溝(2)

## 5. 中世の遺構と遺物

下館銅屋遺跡からは中世末頃に属すると考えられる遺構や遺物も出土した。中世の遺構として認識できたのは、溝跡3条、掘立柱建物跡10棟、土坑20基である。その範囲は全調査区におよんでいる。

ただ、東調査区からは検出されなかったが、西調査区には土地をいくつか区域分けするような比較的大きな溝があった。溝もほぼ中世末頃に廃棄されたとは考えられるが、溝の存続期間と、すべての中世末頃の遺構の存続期間とが完全に同じであるかは不明ではある。だが、それぞれの遺構の位置を述べるのに都合が良いので、西調査区に関しては、溝によって分けられた区域名を用いて以下では解説する。

### (1) 溝跡 (第392図・写真図版97・98)

西調査区には平坦面を5つに区画する溝が走っている。その溝によって分けることができる区域を便宜上、第392図のように、A・B・C・D・E地区と呼ぶ。

A地区 溝SD1によって分けられるA地区はほぼ平坦な面だが、調査区の端だったため、ほとんど調査はされていない。標高は39.5～39.6mである。

B地区 溝SD1と溝SD2に挟まれるB地区は緩い斜面である。その面から、中世末頃の柱穴が複数検出された。建物があった可能性があるが、構造は把握できなかった。中世末頃の土坑が2基出土し、そこからは鋳鉄に関する遺物が多数出土した。標高は38.3～39.5mである。

C地区 溝SD2と溝SD3に囲まれたC地区は平坦面である。中世末頃の柱穴が複数検出された。柱穴の分布する範囲は限られ、また、幾筋かの柱列も読みとれるので、建物が複数あると考えられるが、確実な構造は把握できなかった。この区域からも鋳鉄に関する遺物が複数出土している。標高は37.7mである。

D地区 溝SD3の東端が南に曲がっている。本来は溝SD3はそのまま南に延び、D地区とC地区とを分けていたと推測できる。D地区から検出された遺構の残り具合から考えると、D地区は水田造成時にかなり削られている。特に、C地区とD地区の境の、溝SD3が延びていたと推定される場所は、削られ、道になっていた。道の西側(C側)と、道の東端(D側)とでは、比高が1mほどある。道の標高は、溝SD3の底の高さとほぼ等しいので、その道の場所が、溝SD3だったと推測できるのである。標高は36.6～37mである。

E地区 溝SD3の北の調査区である。そこは、複数の掘立柱建物跡が立て替えられ、それに伴うと推定できる井戸なども検出された場所(E地区東部)と、構造を確実に把握できなかったが、建物跡があり、井戸なども付随していたと考えられる生活空間(E地区西部)に分けることができる。標高は38～38.6mである。

### SD1 (第16図660・写真図版98)

位置：西調査区最西部にある。ほぼ南北方向に延びる溝。遺構の南北両端は調査区の外に延びる。規模：検出面幅2.40m、底面幅1.50m、深さ0.66m。断面形：逆台形。埋土：最下部の堆積土は人為堆積である。一気に上部まで埋められたわけではないようだ。遺物：時期を特定できるような遺物は出土していない。性質：水路ではない。空間を分ける機能はあったようである。時期：溝の東のB地区は16世紀末～17世紀初頭頃の遺構があったようなので、この溝もそれら

とほぼ同じ時期に造られたと考えた。

#### SD 2 (第16図661・写真図版98)

位置：西調査区南部中央西のB地区と中央部のC地区を分ける位置にある。ほぼ南北方向に延びる溝である。遺構の南北両端は調査区の外に延びる。規模：検出面幅2.75m、底面幅1.30～1.50m、検出面からの深さは0.88m、現在の地表面からの深さは1.84mである。断面形：逆台形。埋土：最下部の堆積土は人為堆積である。性質：水路ではない。空間を分ける機能はあったようである。時期：溝の埋土からは近世の陶磁器が出土しているが、それらはいくまでも深い溝が埋まる過程で入ったものである。溝の東地区、西地区ともに16世紀末～17世紀初頭頃の遺物を含む遺構があるので、この溝も、同じ頃に使用されていたものと考えられる。

#### 出土遺物 (第418・419図・写真図版253)

4029～4031・4034は近世の国産陶磁器である。4034は唐津産陶器皿破片で、17世紀初頭のものと考えられる。4059は摺鉢である。

#### SD 3 (第16図662・写真図版67・98)

位置：西調査区中央部にある。溝の長軸方向は東西であるが、東部は南方向に曲がっている。ただし、後の時代の土地改変により、約4mだけ南へ延びるだけで、その先端部は、失われている。西端は調査区外へ延びる。規模：検出面幅2.52m、0.96m、深さ0.80m。断面形：逆台形。埋土：水成堆積による自然堆積と人為堆積の両方がある。性質：水路ではないと考えられる。時期：周辺の区域にある諸遺構とほぼ同じ時期のものだとすれば、16世紀末～17世紀初頭に廃棄されたと考えられる。

### (2) 掘立柱建物跡

建物を構成すると考えられる柱穴は多数出土したが、構造が把握できたものは少ない。以下には、構造が把握できた建物だけを述べるが、実際にはもう少し建物があったことを遺構配置図の柱穴の分布から推測することができるだろう。

#### SB 1

#### 遺構 (第6図663・第396図・写真図版93)

位置：東調査区北東端部にある。構造と規模：溝と柱穴が3.6m四方に巡る部分をSB1とした。平面形はほぼ正方形である。軸方向は東西南北から45度傾いている。その北東辺と南西辺にはSB1に平行して溝が走っている。幅0.6m、深さ約0.5m、断面形が逆台形の溝である。SB1の東南辺の南約2mあたりで次第に浅くなり消滅している。雨落ち溝のようなものかもしれない。

柱穴の集中の状況とその数からは、SB1に隣接して、他に2棟以上の掘立柱建物跡が重複していると考えられるが、明確な建物の構造は把握できなかった。柱列をいくつか図示したが、一つの構築物を構成する配置と認識できる柱列を見つけることはできなかった。すべての柱穴はSB1と同じ方向を向いている。時期：確実なことは言えないが、周辺から出土する陶器破片や、建物の規模から、中世末頃のものと考えた。

#### 出土遺物 (第418図・写真図版253)

一つの柱穴(1-36-PP12)埋土から4036が出土している。表面が酸化した焼き上がりの陶器

鉢の底部である。胎土の性質や色調から、付近の13～14世紀頃の産と推測した。内面はよく磨かれ滑らかになっている。こね鉢として利用されたのであろうか。

## SB 2

遺構（第6図664・第396図）

位置：東調査区北東部にある。SB 1の西5mほどにある。SB 1と同時に建っていたのか新旧関係があるかは不明である。構造と規模：柱穴の数と配置から考えると、ここにも2棟以上の掘立柱建物跡が重複しているのだろうが、構造をある程度把握できたのはSB 2の1棟だけである。桁方向13.5m、梁方向7mである。桁行は7間である。柱間寸法2～2.2mの5間が主体的な建物でその両先端に1間ずつ張り出しが付く。梁方向にも同じように1間ずつ張り出しが付くようであるが、北東辺の北西端から3本目と4本目の柱の間に、1本柱があると予想されたが、そこからは柱穴は検出されなかった。桁方向は168度西に傾いている。

建物の北側に位置的には重複する柱列などがあるが、柱穴を完全な構築物の配置としてはとらえられなかった。建物の南部にも構築物を構成するような複数の柱穴がある。これはSB 2に附随する部分のものかもしれない。時期：確実なことは言えないが、下館銅屋遺跡西調査区から検出された16世紀末～17世紀初頭頃まで使用されていたと考えられる建物跡と規模、構造とも類似するので、これもほぼ同じ頃の建物と考えた。

## SB 3

遺構（第6図665・第396図）

位置：東調査区北東部にある。SB 2の南東隅に重複する建物である。構造と規模：平面形はほぼ正方形となる。小さな柱穴が複数正方形に巡るので、複数回同じ場所で同じ構造の建物が建て替えられた可能性がある。SB 1に平面形や規模は類似するが、こちらには溝は附随していない。時期：SB 2に重複するが、新旧関係は不明である。建物の軸方向が両者ともほぼ同じなので、ほぼ同じ頃に利用されていたのではないかと推測した。

出土遺物（第418図・写真図版252）

SB 2・3の柱穴からは、土師器片や縄文土器片しか出土しなかった。建物の周辺の表土や遺構検出時に出土した、近世陶磁器を図示した。4032・4033・4035など1片が2cm以下の破片がほとんどである。

## SB 4

遺構（第9図666・写真図版93）

位置：東調査区ほぼ中央にある。この建物跡の南西約10mに8-29-SE 1とした井戸があった。構造と規模：桁行2間、梁行1間の掘立柱建物である。柱間寸法は桁行方向が2.3m、梁行方向が3.4mである。梁行方向の柱間寸法が広すぎるが、柱穴はほかには見つからなかった。桁行方向は南北方向から東に25度傾いている。時期：不明だが、今回の調査区から出土している他の掘立柱建物と同じように、中世末頃の建物と考えた。

## SB 5・6

遺構（第11図667・668）

位置：東調査区南西隅にある柱穴群の中にある。構造と規模：完全な構造は把握できていない。ただ、柱列や柱穴の数から2棟はあったと推定した。規模と形態：SB 5は、桁行3間、梁行



1間の部分が把握されている。柱間寸法は、桁方向が1.5m、梁方向が3mである。梁方向も1.5mずつだったのかもしれないが、あると予想した所からは柱穴は検出されていない。SB6も並行した柱列が2本把握されているだけであり、建物の構造は完全には把握されていない。柱間寸法は桁方向が2.0～2.5m、梁方向が2.5mと考えた。長軸方向は西に162度傾いている。時期：SB6のものとした柱穴(11-23-P1)の底から、古銭が重なって出土した。文字が読みとれるものはみな永楽通宝である。そのことから、中世に属する建物と推定した。西地区から出土した中国磁器などを使用していた遺構群との同時存在が考えられるので、この建物も16世紀末～17世紀初頭頃まで使用されたものではないかと推定した。

以下に、この建物の柱穴であった可能性のある土坑について述べる。

#### 10-23-P3 (第11図・第100図・写真図版72)

検出面規模：長径0.92m、短径0.80m、深さ0.75m。形態：円筒形。埋土：平安時代以降の埋土に似る人為堆積土。遺物：大木10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2である。性質：柱が建てられていた可能性がある。時期：中世末頃に埋められた可能性がある。

#### 11-23-P1 (第11図669・第100図・写真図版73)

長径0.87m、短径0.83m、深さ0.55m。埋土：平安時代埋土の人為堆積層。中央に柱が埋められていたと考えられる部分がある(実測図1層)。その部分には、多くの礫が入れられている。柱を抜かれ、礫を入れて埋め戻されたのではなかろうか。

#### 出土遺物 (第421図・写真図版255)

埋土1層から永楽通宝の模鑄銭が15枚ぴたりと重なって出土した。これらは、地鎮の目的で埋められた可能性がある。

#### 11-24-P1 (第11図670・第104図)

長径0.68m、短径0.66m、深さ0.64m。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。柱が埋められていたと考えられる。

#### 11-24-P2 (第11図671・第104図)

長径0.80m、短径0.63m、深さ0.64m。埋土：平安時代埋土の人為堆積単層。遺物：土師器破片・大木9式～10b式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、2が多い。埋土上部は、掘り抜かれているが、中部以下に柱痕跡が残る。

#### SB7～SB10

#### 遺構 (第13図672～675・第395図・写真図版3)

位置：西調査区北部E地区の東部3-15・4-15グリッド付近で4棟の掘立柱建物跡が検出された。柱穴の数から考えると、他にも重なる建物が数棟あった可能性がある。SB10→SB9→SB8→SB7の順に造られたと考えられる。空間的には新旧関係が確実にあるのに、それぞれの建物の柱穴の中には、柱痕跡が残るものが必ずあるので、同じ空間に建物が建てられる時、古い建物の柱は、すべて掘り抜かれたのではなく、根本から切られただけのものが多かったと考えられる。

**SB7** 桁行6間以上、梁行3間、梁方向に庇が1間ずつ付く。桁方向柱間寸法2mの部分と2.8mの部分がある。梁方向柱間寸法2m、庇寸法1.4m。

**SB8** 桁行6間以上、梁行3間、梁方向に庇が1間ずつ付く。桁方向柱間寸法2～2.1m。梁

方向柱間寸法 2 m、庇寸法 1.4 m。

**SB 9** 桁行 5 間以上、梁行 3 間。桁方向柱間寸法 2 ～ 2.1 m。梁方向柱間寸法 2 m。

**SB10** 桁行 5 間以上、梁行 3 間か？桁方向柱間寸法 2 m。梁方向柱間寸法 2 m。

時期：井戸や鑄物に使用した遺物が廃棄された土坑などとは敷地が別に作られているので、それらの遺構と同時に使用されていた建物跡と推定できる。したがって、16世紀末～17世紀初頭頃に使用されていたと推定した。SB 8 の柱穴 (4-14-PP15) の底から、天禧通宝が 1 点 (4064) 出土した。完全な建物とは認識出来なかったが、3-16-PP 9 柱穴から、大定通宝が 1 点 (4062)、4-16-PP18 柱穴から、天禧通宝が 1 点 (4065) 出土した。それらも柱列としては把握できる。建物であった可能性が高い。それらが利用されたのは 17 世紀初頭までと推定できることと、類似した構造、規模、位置の建物が重なるので、比較的長い間ここで建物が建て替えられながら利用されていたのであろう。

**出土遺物** (第 421 図・写真図版 255)

4062 は大定通宝本銭である。4064・4065 は天禧通宝で、どちらも模鑄銭と考えられる。

**SB11** (第 13 図 676・第 395 図)

位置：西調査区北部 E 地区の東部にある。SB 7 ～ 10 にほぼ平行する建物である。また、SB 7 とは約 2 m、SB 8 とは約 1 m しか離れていない。SB 9、SB10 とは 5 m 以上離れている。そして、測ったようにきれいに平行して建つ建物は SB10 である。したがって、SB10 に付随する建物の可能性がある。4-12-P 3 に切られる。構造と規模：桁行 3 間 (柱間寸法 2 m と 1.3 m)、梁行 1 間 (柱間寸法 3 m) である。桁行 2 間 (柱間寸法 2 m) に梁行 1 間 (柱間寸法 3 m) の建物に 1 間 (柱間寸法 1.3 m) の張り出しがあるとすべきかもしれない。時期：周辺の遺構の最新のものが 16 世紀末～17 世紀初頭のもと考えられる。この建物はこの付近の建物の中では、古い時期のものである SB10 に付随すると推測できる。

**SB12** (第 13 図 677・第 395 図)

位置：西調査区北部 E 地区ほぼ中央にある。井戸と考えられる 3-8-P 1 の東約 5 m にある。構造と規模：ほぼ南北方向の柱列が 2 本並行してはいるが、それを建物と考えて良いか疑問はある。ただし、柱間寸法が 2 m の 2 間分の柱列がきれいに並行していること、そして 2 本の柱列の間隔が、柱間寸法のちょうど半分の 1 m であることから、構造物と考えることにした。これだけで完結したものとは思われないが、周囲にこれにともなうと考えられる柱穴はみつからなかった。時期：この遺構だけでは、時期を特定する材料は無い。周辺の遺構の年代とほぼ同じ、16 世紀末～17 世紀初頭頃のもので推測した。

### (3) 各種土坑・井戸跡

#### 13- (一) - P 1

**遺構** (第 16 図 678・写真図版 91)

位置：西調査区 B 地区東部、溝 2 に近い位置にある。検出面規模：長径 3.73 m、短径 3.56 m。深さ 0.50 m。形態：平面形が不整形、底面に凹凸が甚だしい土坑である。遺構の上部は後の時代の水田造成時に、いくらか削られているようである。埋土：人為的に埋められた土である。埋土中に鑄物に関係すると考えられる炉の破片や鉄鍋の鑄型破片などが多量に含まれる。性質

：埋土中に含まれている遺物はすべて廃棄されたものばかりである。しかも、埋土は人為堆積土である。このことから、どこかでの使用の後、この土坑に鋳物に関わる物や、当時鋳物師たちが使用していた物の一部を廃棄したと推定した。時期：漳洲窯、景德鎮産の磁器破片が出土したことから、16世紀末～17世紀初頭頃に廃棄されたと判断した。

**出土遺物**（第402～407・409・410・415～417・421図・写真図版245～250・255）

鍋の鋳型（3957～3968）、鍋耳の鋳型（3948～3956）、羽口破片（3986～3997）、炉破片（3969～3985）などが多量に出土した。3947は、熔けた鉄を受け、その鉄を鋳型の中に流す匙と考えられるものである。匙の容量は約20ccである。鍋の鋳型と考えられるものは多くある。ただし、残りは悪く、確実に鋳型と言えるものは少ない。鍋耳の型には2形態ある。3948や3949のように、鍋の縁に接する辺以外に5辺を持つ角張ったタイプのも（以下では角形と呼ぶ）、3950のように、鍋の縁に接する辺以外の部分は3つの弧から成っているタイプのも（以下では3半円型と呼ぶ）である。大きさにも2タイプある。鋳型凹部の大きさから、完成した鍋耳の大きさには2種類ある。3948のように、幅12.2cmほどのもの、3949や3950のように、8.4～8.8cmのものである。推定される完成した耳の厚さはどのタイプのもも0.4cmである。鉄と接した部分は還元して灰色になっている。また、鋳型には蓋もある（3956）。3993～3997は羽口である。それらの表面は非常によく熔けていてガラス質になっている。羽口の口径には2種類がある。口径が約5～6cmのもの3988・3992などと9cm近いと考えられるもの（3989・3997など）である。炉の破片は、厚さが1～2cmである。表面がよく熔けてガラス質になった部分やそれほど熔けていない部分などがあるので、その違いから、燃焼部に近い部分や遠い部分を把握することができる。ガラスには緑色の部分や赤紫色の部分がある。中には、燃料の燃え残りの炭化物が付着している部分もある。他に、漳洲窯産の磁器破片が3点（4013～4015）、景德鎮産の磁器破片が1点（4016）出土した。他に埋土1層から永楽通宝（4084）が出土している。

鍋鋳型

鍋耳鋳型

匙

漳洲窯

景德鎮

**11-4-P1**（遺構：第15図682・写真図版90・遺物：第413・418図・写真図版249）

位置：西調査区南部のC地区にある。検出面規模：長径0.50m、短径0.50m、深さ0.12m。形態：ほぼ円筒形である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られているようである。埋土：人為的に埋められた土である。遺物：鍋の耳の鋳型破片、炉破片、土師器破片などが出土した。性質：埋土中に含まれている遺物はすべて廃棄されたものばかりである。埋土は人為堆積土である。このことから、どこかでの使用の後、鋳物に関わる物がこの土坑に廃棄されたと推定した。時期：年代を特定しやすい遺物は出土しなかった。しかし、13-(-1)-P1出土の鍋の耳のものと同じ種類の鍋耳の鋳型と炉破片（3984）が出土しているため、この土坑も16世紀末～17世紀初頭までには埋められたと判断した。

**11-4-P2**（遺構：第15図744・遺物：第404図）

位置：西調査区南部のC地区にある。検出面規模：長径0.72m、短径0.68m、深さ0.41m。形態：ほぼ円筒形。埋土：人為堆積土。遺物：炉破片（3957）が含まれていた。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-(-1)-P1から出土したものに類似する炉破片の存在から、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測した。

**10-7-P1**

**遺構**（第15図683・第400図・写真図版90）

## 梅とヨシ

位置：西調査区の南部中央D地区北部にある。検出面規模：長径1.00m、短径0.80m、深さ0.85m。形態：四角柱形である。遺構の上部は、後の水田造成時に削られたと考えられる。埋土：人為的に埋められたと考えられる土。性質：井戸であったと推定した。井戸鎮めの儀礼をおこなったような痕跡があった。底に25×20×13cmほどの大垂円礫があった。それを除くと、その直下にヨシと推測できる植物の茎が数本と梅の種1点が出土したのである。「うめてよし」ということにつながる儀礼をおこなった可能性がある。時期：永楽通宝が出土したので、永楽通宝が使用された時期のものと推測できる。また、13-（-1）-P1から出土した鍋鑄型破片とほぼ同じものが出土しているので、16～17世紀初頭頃までに埋められたと考えられる。

### 出土遺物（第421図・写真図版255）

井戸の底面から永楽通宝が1点（4067）出土した。本銭と考えられる。井戸が埋められる時、最初に入れた可能性がある。

### 4-11-P1（遺構：第13図699・写真図版90・遺物：第411～414図・写真図版248・249）

位置：西調査区E区のほぼ中央にある。周囲には類似した土坑がいくつかある。規模と形態：長径2.12m、短径1.68m、深さ0.32m。埋土：10YR2/1黒褐色シルト主体の単層である。拳大礫が多量に入る。遺物：炉破片（3977～3981）や羽口破片（3986～3988）、大木10b式土器破片が含まれる。土器破片の風化度は1～2である。性質：不明だが、土坑中に含まれる遺物の多くは廃棄されたものと考えられる。時期：13-（-1）-P1から出土したものに類似する炉破片、羽口の破片の存在から、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推定した。

### 3-8-P1（遺構：第13図695・写真図版89・遺物：419図・写真図版253）

位置：西調査区の北部にある。この土坑の西には細い柱穴が多数あり、それらは掘立柱建物を構成しそうだが確実な構造は把握できなかった。検出面規模：長径2.60m、短径2.54m、深さ2.48m。形態：平面形が隅円のほぼ筒型の土坑である。埋土：複数の埋土で構成される。人為的に埋められた層である。遺物：埋土中部には幅15cm、長さ2mほどの板と幅15cm、長さ1.2mほどの板が入れられていた。土師器と推定できる破片が出土している。風化度2である。性質：形態から、井戸が廃棄され、埋められたものと考えた。時期：時期を特定できる遺物は含まれていなかったが、付近にある遺構との関係から、中世末頃のものとして推定した。

### 3-11-P4（第13図700・第398図）

位置：西調査区の北部にある。検出面規模：長径1.12m、短径0.96m、深さ0.27m。形態：不整形の浅い土坑。埋土：人為堆積土である。遺物：炉破片がいくらか含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-（-1）-P1から出土したものに類似する炉破片の存在から、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推定した。

### 3-12-P1（第13図732・第398図）

位置：西調査区北東部北辺にある。遺構の約半分は調査区の外側に残る。付近には、類似する土坑が複数ある。検出面規模：長径（0.80）m、短径0.92m、深さ0.50m。形態：平面形が隅円楕円形の筒型土坑である。埋土：人為堆積土の単層。遺物：13-（-1）-P1から出土したものに類似する炉破片と土師器破片・縄文が施された土器破片が含まれる。土器は縄文時代中期後半以降の土器と推定できる。風化度2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-（-1）-P1から出土したものに類似する炉破片が含まれていたことから、16世紀

末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

#### 4-7-P 1 (第13図696)

位置：西調査区の北部にある。検出面規模：長径2.09m、短径1.64m、深さ0.52m。形態：平面形が不整楕円形の掘り鉢状の土坑である。埋土：人為堆積土の単層である。遺物：土師器破片と縄文が施された土器片が含まれる。風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：含まれる遺物は平安時代以前のものであるが、周囲の遺構と同じ、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

#### 4-12-P 1 (第13図701・第398図・写真図版90)

位置：西調査区北東部S B 7～11のすぐ西側にある。周囲には類似した形態の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.28m、短径1.14m、深さ0.26m。形態：浅い直方体形。底隅は丸くなる。埋土：多くの拳大の礫が入れられていた。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-(1)-P 1から出土したものに類似する炉の破片が出土したことから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められた遺構と考えられる。

#### 出土遺物 (第420図・写真図版254)

板碑の破片が1点出土した(4061)。粘板岩製である。梵字の「ヴァーンク」が刻まれている。板碑破損部には、複数回の加撃の痕跡がある。意図的に破壊されたものではなかろうか。他に、炉の破片も出土した。

#### 4-12-P 2 (第13図702・第398図)

位置：西調査区北東部にある。周囲には類似した形態の土坑が複数ある。検出面規模：長径1.56m、短径1.40m、深さ0.21m。形態：検出面が不整円形の浅いくぼみ。埋土：人為堆積土の単層。遺物：鍛冶炉破片や大木8b式～大木10b式土器破片が含まれる。土器破片の風化度は1～2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-(1)-P 1から出土したものに類似する炉の破片が出土したことから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められた遺構と考えられる。

#### 4-12-P 3 (遺構：第13図703・第398図・写真図版92・遺物：第413・416図・写真図版249)

位置：西調査区北東部にある。周囲には類似した形態の土坑が複数ある。検出面規模：長径3.12m、短径2.98m、深さ1.18m。形態：検出面がほぼ円形の逆四角錐形である。底面の四隅と、壁中位に四基ずつの柱穴がある。埋土：複数の層からなる人為堆積土。性質：形態から、廃棄され埋められた井戸と推定できる。遺物：炉破片(3983)・鉄製品(3998)・土師器破片・須恵器破片・大木8b式～門前I式土器破片が含まれる。土器破片の風化度は2である。時期：13-(1)-P 1から出土したものに類似する炉破片が出土したことから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められた遺構と考えられる。

#### 5-5-P 1 (第13図692・第399図)

位置：西調査区E区の西部にある。この土坑の少し北には細い柱穴が多数あり、それらは掘立柱建物を構成しそうであるが、確実な構造は把握できなかった。検出面規模：長径1.80m、短径1.80m、深さ0.84m。形態：平面形が不整円形の逆円錐形。そこは扁平である。埋土：人為的堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：確実な時期を特定できるものはないが、周辺の遺構と同じ16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと

推測できる。

**5-6-P 1** (第13図693・第399図)

位置：西調査区E区の西部にある。この土坑の少し北には細い柱穴が多数あり、それらは掘立柱建物を構成しそうであるが、確実な構造は把握できなかつた。検出面規模：長径1.40m、短径1.36m、深さ0.88m。形態：平面形が不整円形の逆円錐形。底面は扁平である。埋土：人為的堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：確実な時期を特定できるものはないが、周辺の遺構と同じ16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**6-5-P 1** (第15図694)

位置：西調査区E区の西部にある。この土坑の少し北には細い柱穴が多数あり、それらは掘立柱建物を構成しそうであるが、確実な構造は把握できなかつた。長径1.14m、短径1.00m、深さ0.65m。形態：平面形が不整円形の逆円錐形。底面は扁平である。埋土：人為的堆積土。遺物：採集されていない。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：確実な時期を特定できるものはないが、周辺の遺構と同じ16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**10-15-P 1** (第14図686)

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径1.40m、短径1.06m、深さ0.38m。形態：平面形が不整楕円形の土坑である。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土である。性質：不明であるが、埋められた土坑である。時期：周囲の遺構と同じように、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**10-15-P 2** (遺構：第14図687・遺物：第415図・写真図版249)

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径2.24m、短径1.24m、深さ0.40m。形態：平面形が楕円形のボート状土坑である。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土である。遺物：羽口(3991)が出土した。鋳物に関する炉の一部と思われる。性質：不明であるが、埋められた土坑である。時期：13-(-1)-P 1から出土したものに類似する炉破片が含まれることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**11-9-P 1** (遺構：第15図734・遺物：第408図・写真図版248)

位置：西調査区の南部中央D地区にある。検出面規模：長径0.80m、短径0.48m、深さ0.20m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られたようである。埋土：人為堆積土。遺物：鋳物に関わると考えられる炉の破片(3969・3970・3971)が含まれる。時期：13-(-1)-P 1出土のものと似る鍋鋳型破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**11-14-P 1** (遺構：第14図688・第400図・遺物：第408・413図・写真図版248・249)

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径1.45m、短径1.45m、深さ0.19m。形態：平面形がほぼ円形の筒状。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土。遺物：鋳型破片・縄文が施された土器破片が含まれる。土器片の風化度は2である。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-(-1)-P 1出土のものと似る炉破片が含まれることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**11-15-P 1** (第14図690・第400図)

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径1.47m、短径1.30m、深さ0.29m。形態：平面形が不整円形の筒状。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土。遺物：鋳型破片・縄文が施された土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る炉破片が含まれることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**11-16-P2**（遺構：第14図691・第400図・遺物：第404・408図・写真図版246・248）

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径1.68m、短径1.08m、深さ0.18m。形態：平面形が不整円形の筒状。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土。遺物：鋳型破片（3958）、炉破片（3972）・縄文時代後期前葉の土器破片が含まれる。性質：不明だが、埋められた土坑である。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る炉破片が含まれることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**12-14-P1**（遺構：第14図689・第400図・遺物：第404図・写真図版246）

位置：西調査区のD地区東部にある。検出面規模：長径1.02m、短径0.96m、深さ0.29m。形態：平面形が不整円形の凹レンズ状の浅い土坑である。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土。遺物：鍋鋳型破片（3959・3961）、土師器破片、縄文時代中期土器破片が含まれる。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る鍋鋳型破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**12-（-2）-P1**（遺構：第16図743・遺物：第415図・写真図版249）

位置：西調査区B地区ほぼ中央にある。検出面規模：長径2.28m、短径1.14m、深さ0.31m。形態：平面形が不整楕円形の浅い土坑である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られていると推測される。埋土：人為堆積土。遺物：平釘（3999）、羽口破片（3992）などがいくらか出土した。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る炉破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**13-（-1）-P3**（遺構：第16図679・遺物：第414図・写真図版249）

位置：西調査区B地区東部、13-（-1）-P1のすぐ東に隣接する。検出面規模：長径（0.60）m、短径0.62m。深さ0.35m。形態：平面形が不整円形の筒型である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られていると推測される。埋土：13-（-1）-P1の埋土に似る。人為堆積土である。遺物：炉破片（3985）が含まれる。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る炉破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**13-1-P1**（第16図680）

位置：西調査区の中央C地区にある。検出面規模：長径1.02m、短径0.90m。深さ0.45m。形態：平面形が不整円形の筒型である。埋土：人為堆積土。遺物：鍋鋳型破片・鋳物に関わると考えられる炉の破片が含まれる。時期：13-（-1）-P1出土のものと似る鍋鋳型破片、炉破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**13-4-P1**（第15図681）

位置：西調査区の中央C地区南辺にある。長径0.84m、短径0.60m、深さ0.50m。形態：平面形が不整円形の土坑である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られたようである。埋土：人為堆積土。遺物：鋳物に関わると考えられる炉の破片が含まれる。時期：13-（-

1) -P 1 出土のものと似る鋳物に関わると考えられる炉の破片が含まれることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

**14-7-P 1** (第15図684・第400図)

位置：西調査区の中央D地区南辺にある。検出面規模：長径1.46m、短径1.29m、深さ0.72m。  
形態：平面形が隅円方形の四角柱形である。水田造成時に遺構の上部は削られている。埋土：人為堆積土である。遺物：採集されていない。性質：規模や形態から、井戸の可能性はある。  
時期：確実に時期を特定できるものはないが、遺構のあり方から考えて、周囲の遺構と同じように中世末頃に埋められたものと判断した。

**14-1-P 1** (第16図685・写真図版91)

位置：西調査区の中央C地区南辺にある。検出面規模：長径0.90m、短径0.87m、深さ0.53m。  
形態：平面形が不整円形の土坑である。遺構の上部は後の時代の水田造成時にいくらか削られたようである。埋土：人為堆積土。遺物：鋳型破片が含まれる。時期：13-(-1)-P 1 出土のものと似る鋳型破片が入ることから、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたと推測できる。

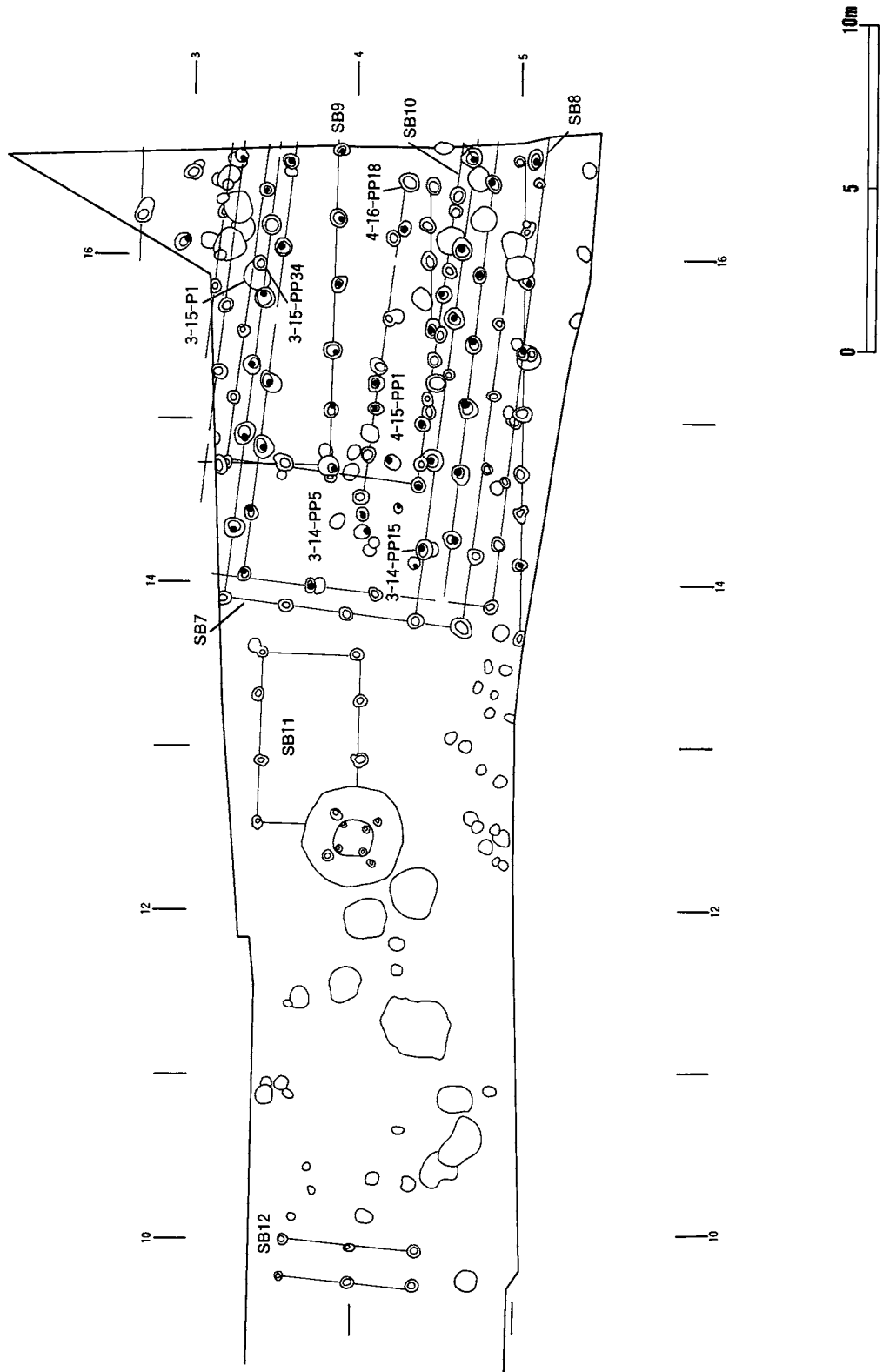
**7-24-P 1** (第10図704)

位置：東調査区の中央ライン西部にある。付近には平安時代の住居跡 6-25-SI 1、8-25-SI 1・2がある。検出面規模：長径0.75m、短径0.40m、深さ0.24m。形態：平面形は不整楕円形の浅い土坑である。埋土：平安時代型埋土の人為堆積単層である。遺物：炉破片・大木9式土器破片が含まれる。風化度は1～2で、1が多い。時期：13-(-1)-P 1 出土のものと似る炉破片が含まれることや埋土の性質から、16世紀末～17世紀初頭頃に埋められたものと判断した。

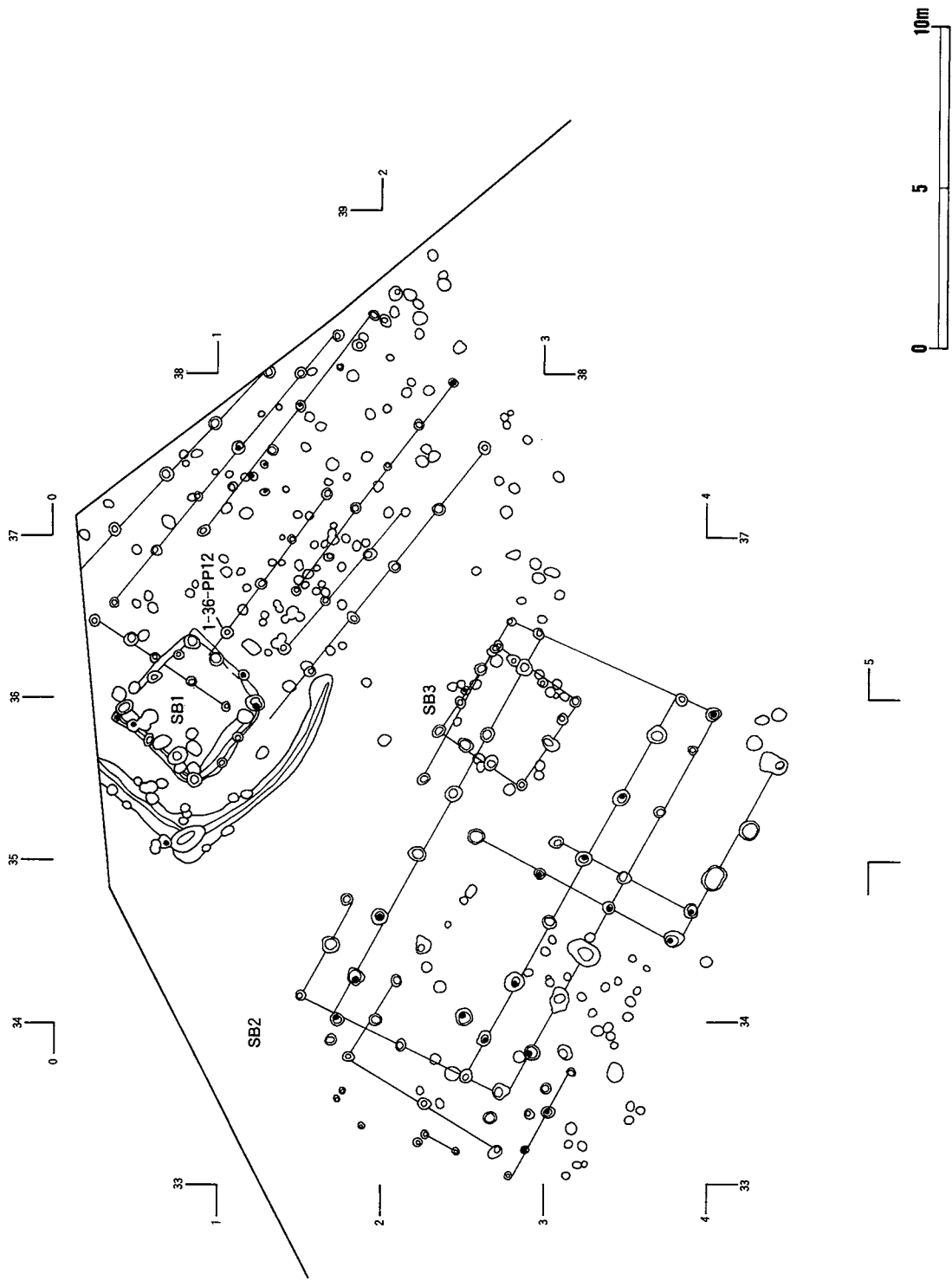
**8-29-SE 1** (第9図705・写真図版93)

位置：東調査区ほぼ中央の東より、南辺近くにある。SB 4の10mほど南西にある。規模：長径1.5m、短径1.4m、深さ2m以上。底から水が多量に湧き、周囲が崩落する危険があったので途中で精査を止めた。埋土：複数の層からなる人為堆積土である。遺物：埋土からは縄文時代・平安時代の遺物しか出土していない。これらは周囲の土中に多くある遺物である。性質：埋められた土坑である。形態と規模から、井戸であったと判断した。時期：周囲の遺構存在状況から、中世末期のものと判断した。

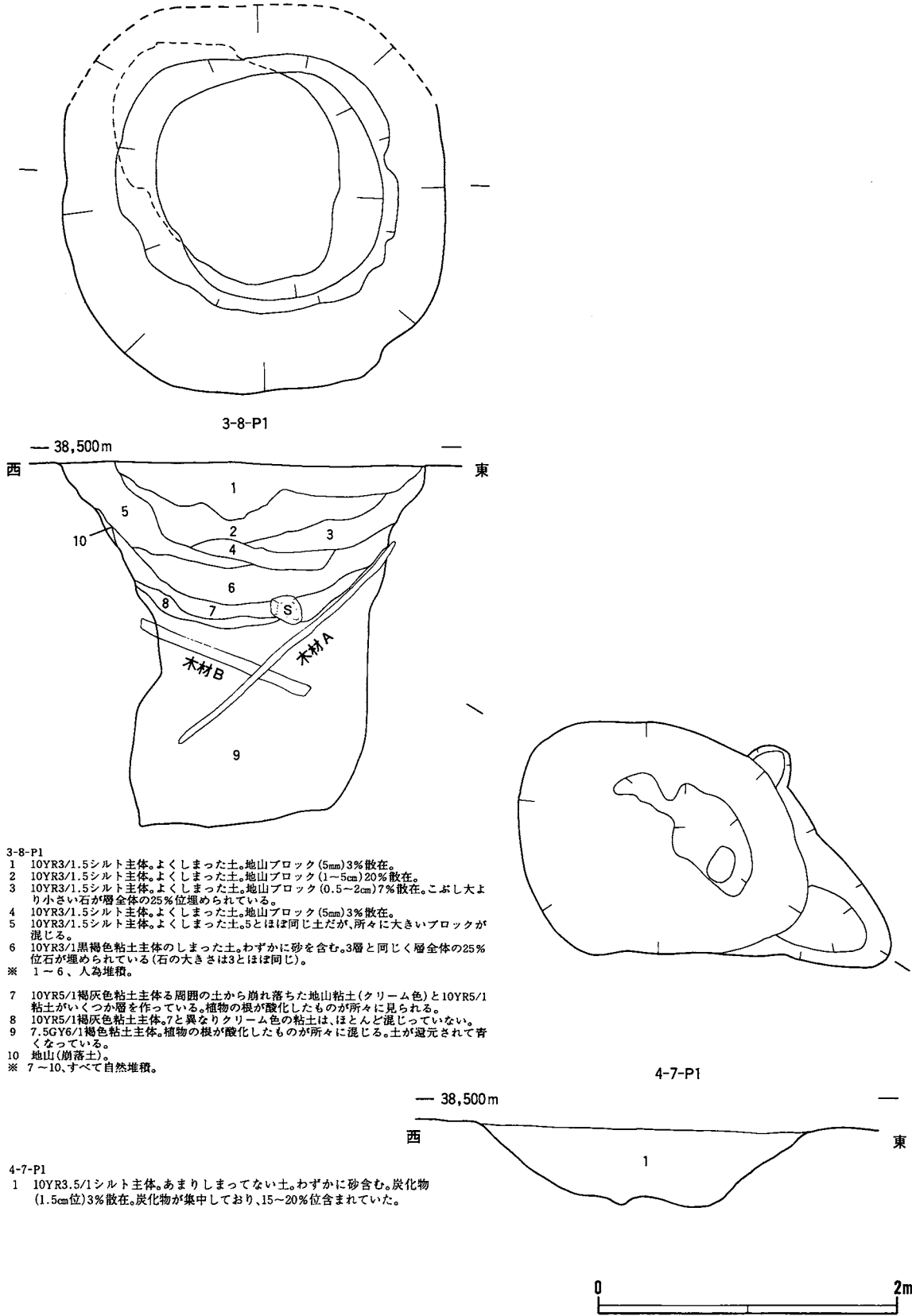




第395図 中世建物(1)



第396図 中世建物(2)

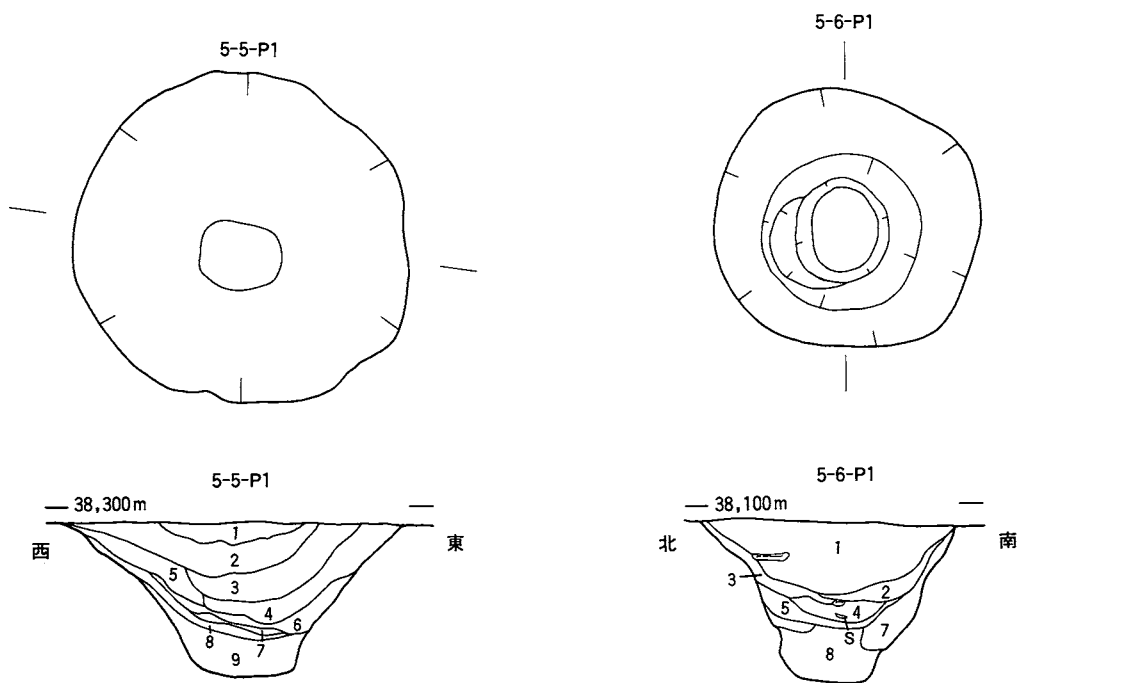


- 3-8-P1
- 1 10YR3/1.5シルト主体。よくしまった土。地山ブロック(5mm)3%散在。
  - 2 10YR3/1.5シルト主体。よくしまった土。地山ブロック(1~5cm)20%散在。
  - 3 10YR3/1.5シルト主体。よくしまった土。地山ブロック(0.5~2cm)7%散在。こぶし大より小さい石が層全体の25%位埋められている。
  - 4 10YR3/1.5シルト主体。よくしまった土。地山ブロック(5mm)3%散在。
  - 5 10YR3/1.5シルト主体。よくしまった土。5とはほぼ同じ土だが、所々に大きいブロックが混じる。
  - 6 10YR3/1黒褐色粘土主体のしまった土。わずかに砂を含む。3層と同じ層全体の25%位石が埋められている(石の大きさは3とはほぼ同じ)。
- ※ 1~6、人為堆積。
- 7 10YR5/1褐灰色粘土主体。周囲の土から崩れ落ちた地山粘土(クリーム色)と10YR5/1粘土がいくつか層を作っている。植物の根が酸化したものが所々に見られる。
  - 8 10YR5/1褐灰色粘土主体。7と異なりクリーム色の粘土は、ほとんど混じっていない。
  - 9 7.5GY6/1褐色粘土主体。植物の根が酸化したものが所々に混じる。土が還元されて青くなっている。
  - 10 地山(崩落土)。
- ※ 7~10、すべて自然堆積。

- 4-7-P1
- 1 10YR3.5/1シルト主体。あまりしまっていない土。わずかに砂含む。炭化物(1.5cm位)3%散在。炭化物が集中しており、15~20%位含まれていた。

第397図 中世土坑(1)



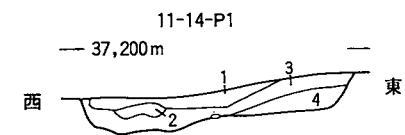
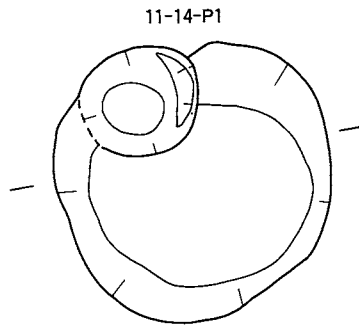


- 5-5-P1
- 1 10YR3.5/1シルト主体。しまった土。地山ブロック(5mm)3%散在。
  - 2 10YR3.5/1シルト主体。しまった土。地山ブロック(0.5-3cm)13%散在。
  - ※ 1-2、わずかに砂含む。
  - 3 10YR3.5/1シルト主体。しまった土。地山ブロック(5mm)5%、炭化物(5mm)3%散在。
  - 4 10YR3.5/1シルト主体。しまった土。地山ブロック(0.5-4cm)5%散在。
  - 5 10YR3.5/1シルト主体。しまった土。地山ブロック(1-8cm)20%散在。
  - ※ 3-5、粘土含む。
  - ※ 1-5は地山ブロックの大小の差はあるが、主体の土は同じで人為堆積と考える。
  - 6 10YR4/1、しまった土、粘土主体。地山ブロック含まず、自然堆積と考える。
  - 7 10YR5/1、しまった土、粘土主体。地山ブロック含まず、自然堆積と考える。
  - 8 ほとんどが地山の土で、この穴の使用後の崩落によるもの。
  - 9 10YR3.5/1、しまった土、粘土主体。自然堆積。一部に植物の根がさびたようなものが混じる。
  - ※ 9層が自然堆積した後、8-1層の土が埋め戻された。下の層ほど粘土の割合が高く、後から埋められた層はシルト主体の土になる。この断面では東西方向から埋め戻されたように見えるが、現在の斜面(傾斜は濃い)に直交する位置で、半截してしまったため堆積の方向については正確ではないだろう。

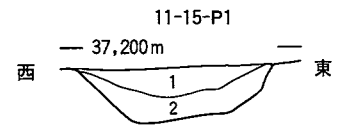
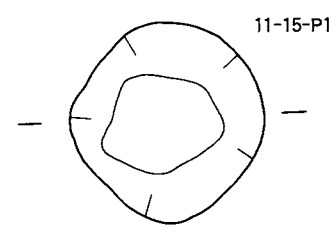
- 5-6-P1
- 1 10YR3.5/1シルト主体。よくしまった土。地山ブロック(0.5-4cm)20%散在。北半にわりあい大きなブロックが集中している。炭化物(0.5-1.5cm)5%散在。人為堆積。
  - 2 1と主体の土はほぼ同じ。地山ブロック(5mm)3%、炭化物(5mm)1%散在。人為堆積。
  - 3 10YR3.5/1粘土主体。地山がいくつかの層を作って入り込んでおり、周囲の層から崩れ落ちたものだろう。
  - 4 10YR3.5/1粘土主体。
  - 5 10YR3.5/1粘土主体。3とよく似た土。
  - 6 4とほぼ同じ土。
  - 7 10YR3.5/1粘土主体。地山ブロック(1.5cm)10%散在。
  - 8 10YR3.5/1粘土主体。地山ブロック(0.5-2cm)30%散在。
  - ※ 断面からは井戸が使われなくなり、8-7層(周囲からの崩落土)の上に6層が自然堆積。5-3層(崩落土)、4層が自然堆積し、2-1層のみ人為堆積したと考えられる。現在は北が高い緩斜だが、耕作のため上部もかなり削られている。



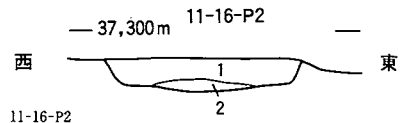
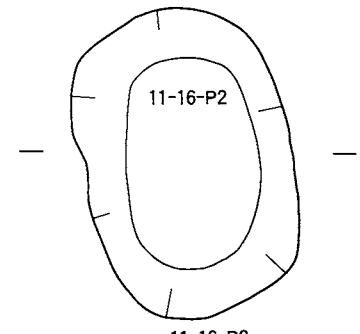
第399図 中世土坑(3)



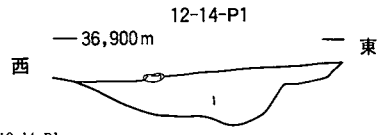
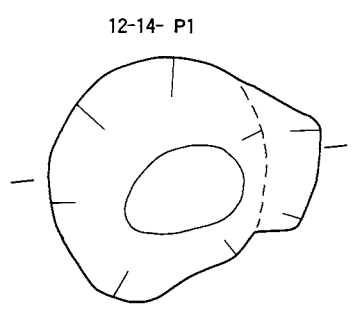
- 11-4-P1
- 1 10YR3/1.5黒褐色シルト主体。よくしまった土。砂含む。地山ブロック(5mm)3%散在。
  - 2 地山の土。1の土が7%程度入り込んでいる。
  - 3 1とほぼ同じ土だが、炭化物がわずかに多い。壊された炉・石・土器片が埋められている。よくしまった土。
  - 4 1とほぼ同じ土だが、地山ブロックがわずかに多い。



- 11-15-P1
- 1 10YR3/3暗褐色シルト主体、砂混じり土。黄白色粘土大ブロック、炉破片散在。
  - 2 10YR4/3鈍い黄褐色シルト主体、砂混じり土。黄白色粘土小ブロック混入。

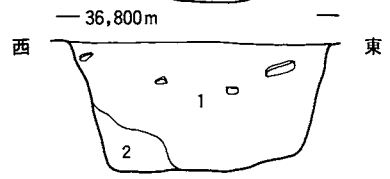
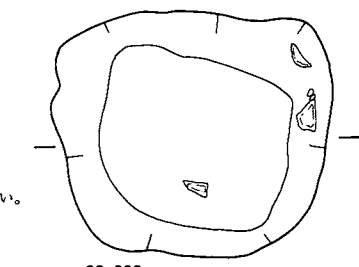
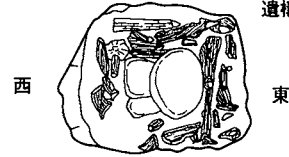


- 11-16-P2
- 1 10YR2/3黒褐色シルト主体、砂混じり土。炭化物、炉破片混入。
  - 2 5YR3/6明赤褐色シルト主体、砂混じり土。炉破片混入。



- 12-14-P1
- 1 10YR4/3鈍い黄褐色シルト主体、砂混じり土。焼土粒、炭化物混入。やややわらかい。

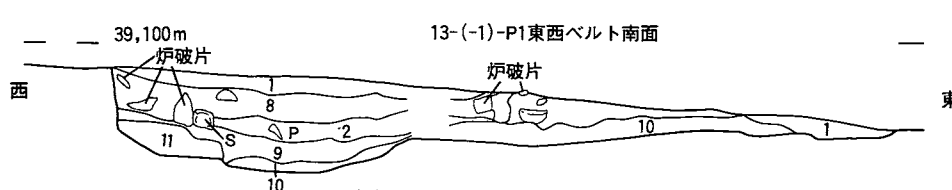
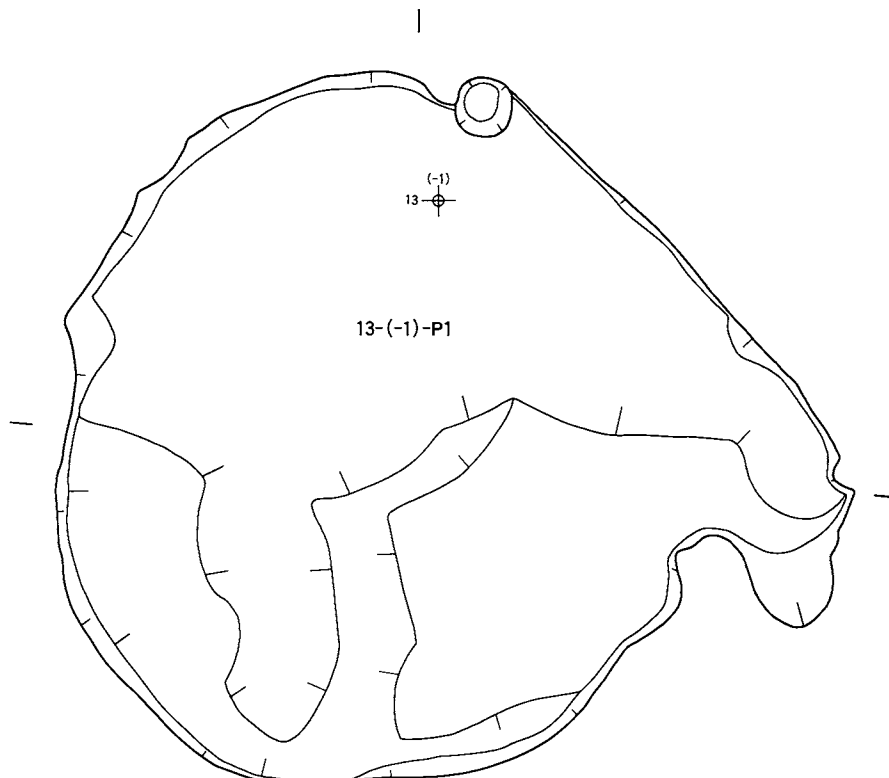
10-7-P1 底面直上の礫などのあり方  
遺構直上から見た図。



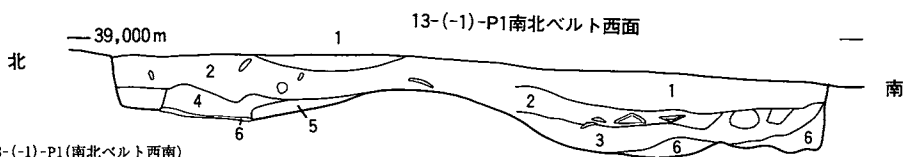
- 13-7-P1
- 1 10YR3.5/1シルト主体、砂混じり土。地山ブロック(0.5-3cm)25%散在。礫散在。
  - 2 地山ブロックと10YR3.5/1シルト主体、砂混じり土が混在する。



第400図 中世土坑(4)



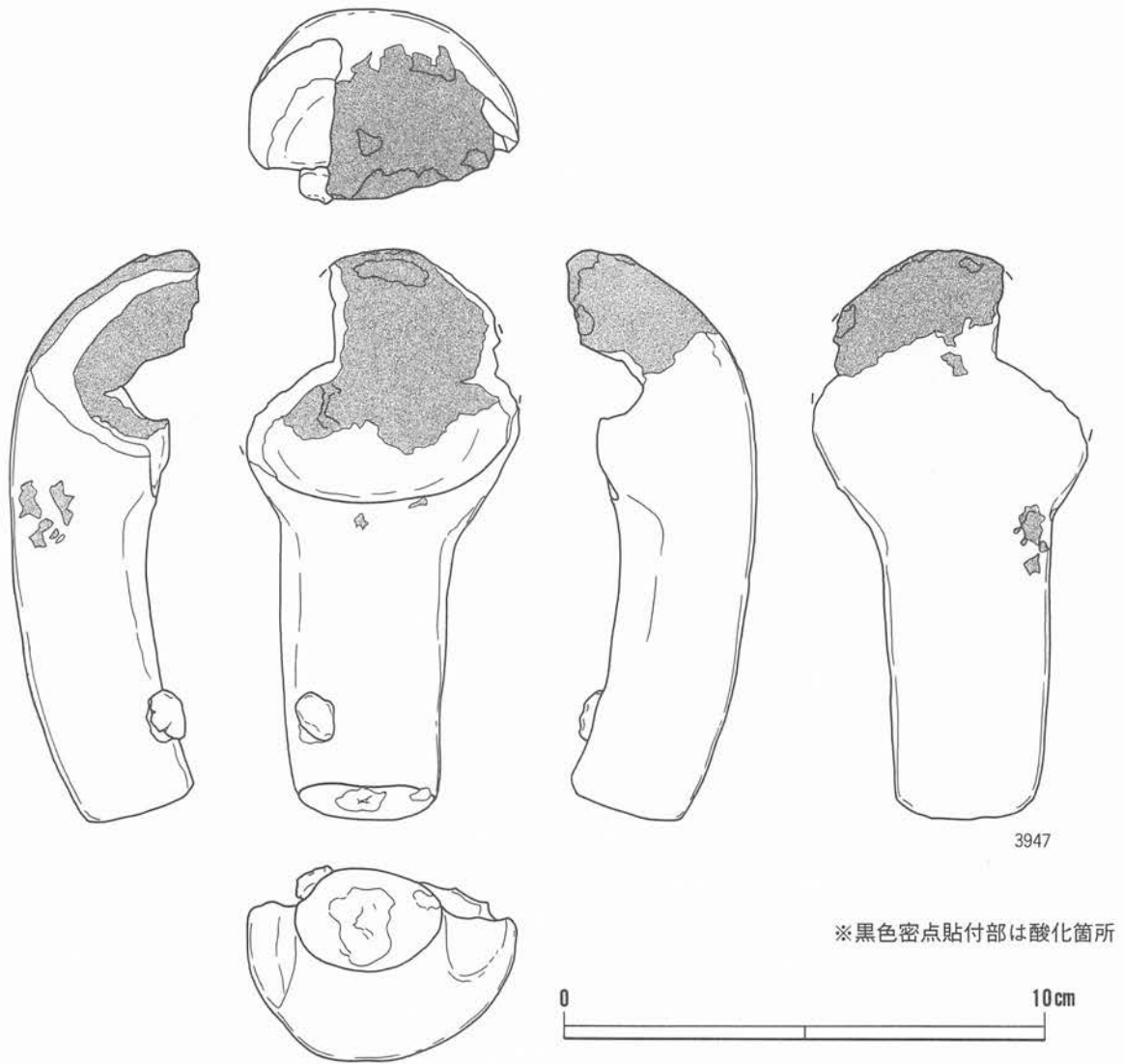
- 13-(-1)-P1 (東西ベルト南面)
- 1 10YR3/1シルト主体。よくしまった土。炭化物(5mm)5%散在。壊された炉(0.5~1cm)5%散在。炉破片散在。
  - 2 南北ベルトの2層と同じ土。炉破片散在。
  - 8 成分は1とほぼ同じだが、炉の破片(0.5~10cm)が2層と同じ位の密度で含まれている。炭化物(5mm)5%散在。
  - 9 2とほぼ同じ土だが、炭化物(5mm)は5%散在と少ない。地山ブロック(5mm前後)が3%程度混じる。
  - 10 9とほぼ同じ土だが、炭化物は殆ど混じらず、地山ぶろっく(5mm)が7%前後散在。
  - 11 ほとんどが地山の土だが、10YR3/2の土が9層から7層位入り込んでいる。
- ※ 遺物は2・8に集中している。  
 ※ 遺物は最上層、埋土1層(実測図の1・2・8層)、埋土2層(3・4・5・9・10・11層)、埋土2層下部(地山直上)で取り上げた。



- 13-(-1)-P1 (南北ベルト西南)
- 1 10YR3/1シルト主体。よくしまった土。炭化物(5mm)5%散在。壊された炉(0.5~1cm)5%散在。
  - 2 1とほぼ同じ土主体。炭化物(0.5~1cm)10~13%散在。炉の破片は砕かれた小さなものから10cm位の大きさのものまで、このに遺物が集中している(15~18%位)。
- ※ 1・2層から、鋳型、磁器片出土。  
 3 ほとんどが地山の土だが、10YR3/1の土が混じる。この層で、鉄滓や炉の破片を含む錆の多い面が見られた。  
 4 10YR3/2よりやや暗いシルト主体。よくしまった土。炭化物(5mm)3%、下部に鉄滓が埋められている。  
 5 ほとんどが地山の土だが、10YR3/1の土の混じりが多い。  
 6 地山(掘りすぎ)。  
 7 成分は1とほぼ同じ土。

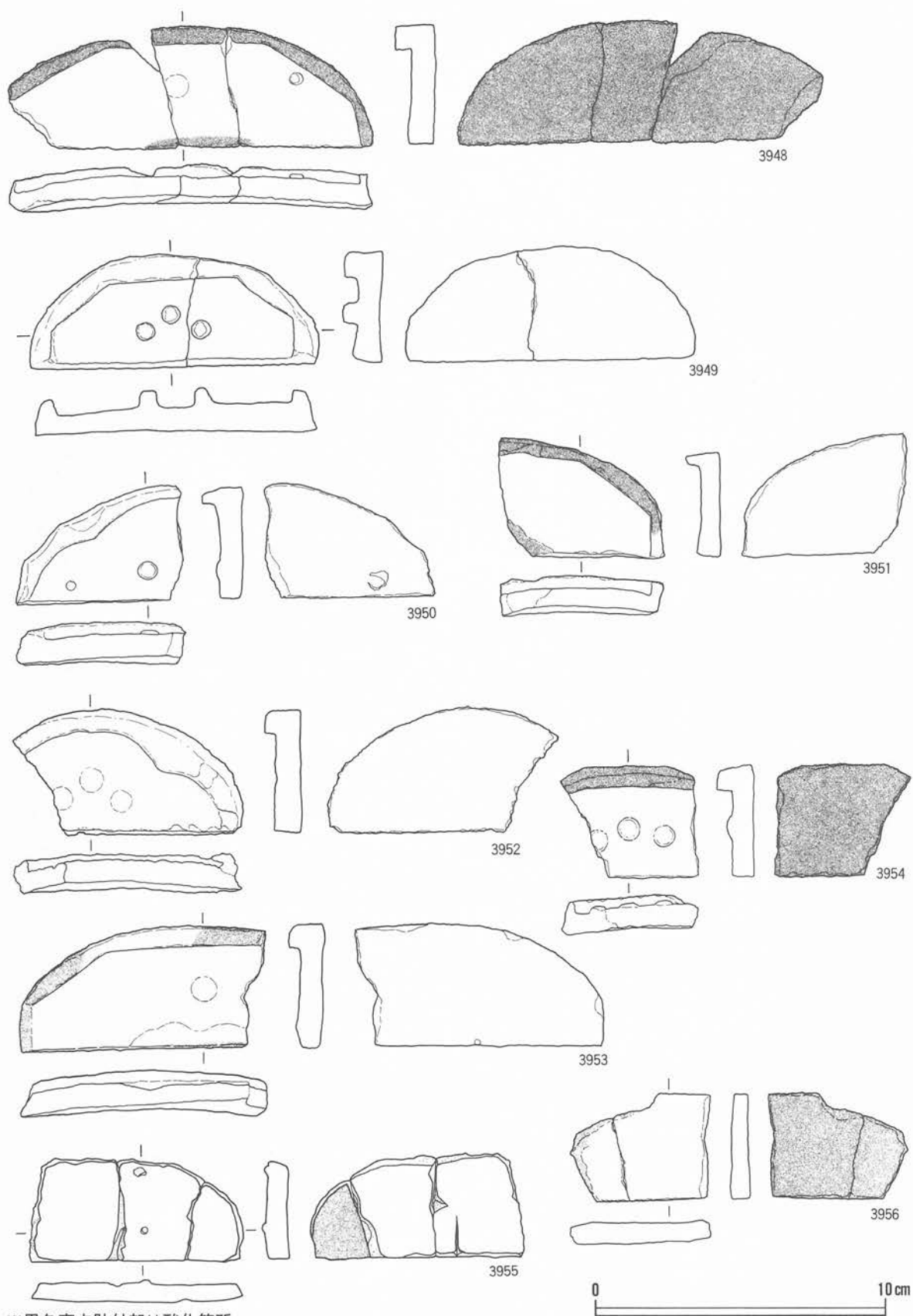


第401図 中世土坑(5)



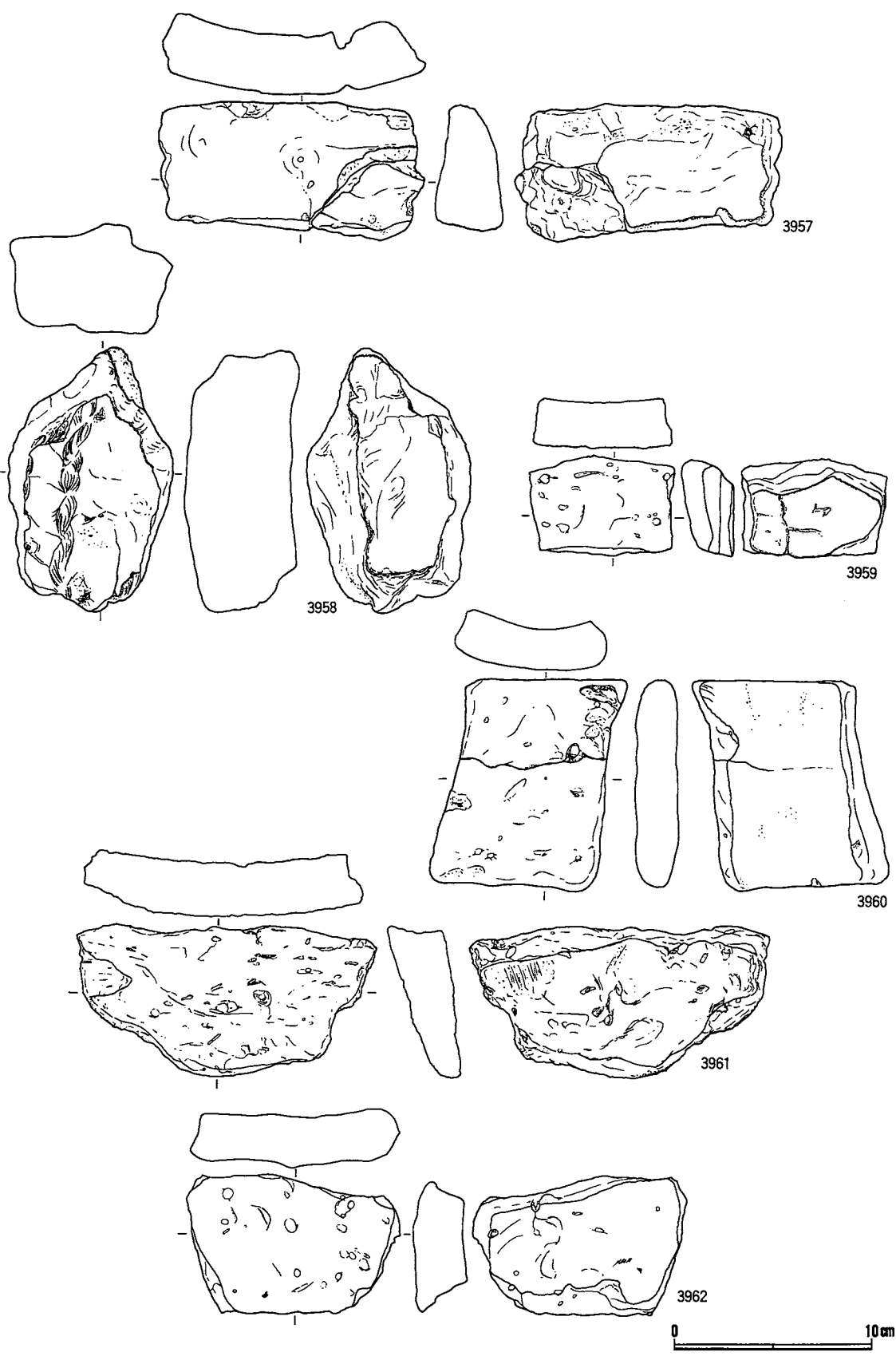
第402図 出土遺物 鋳物製作に使う匙



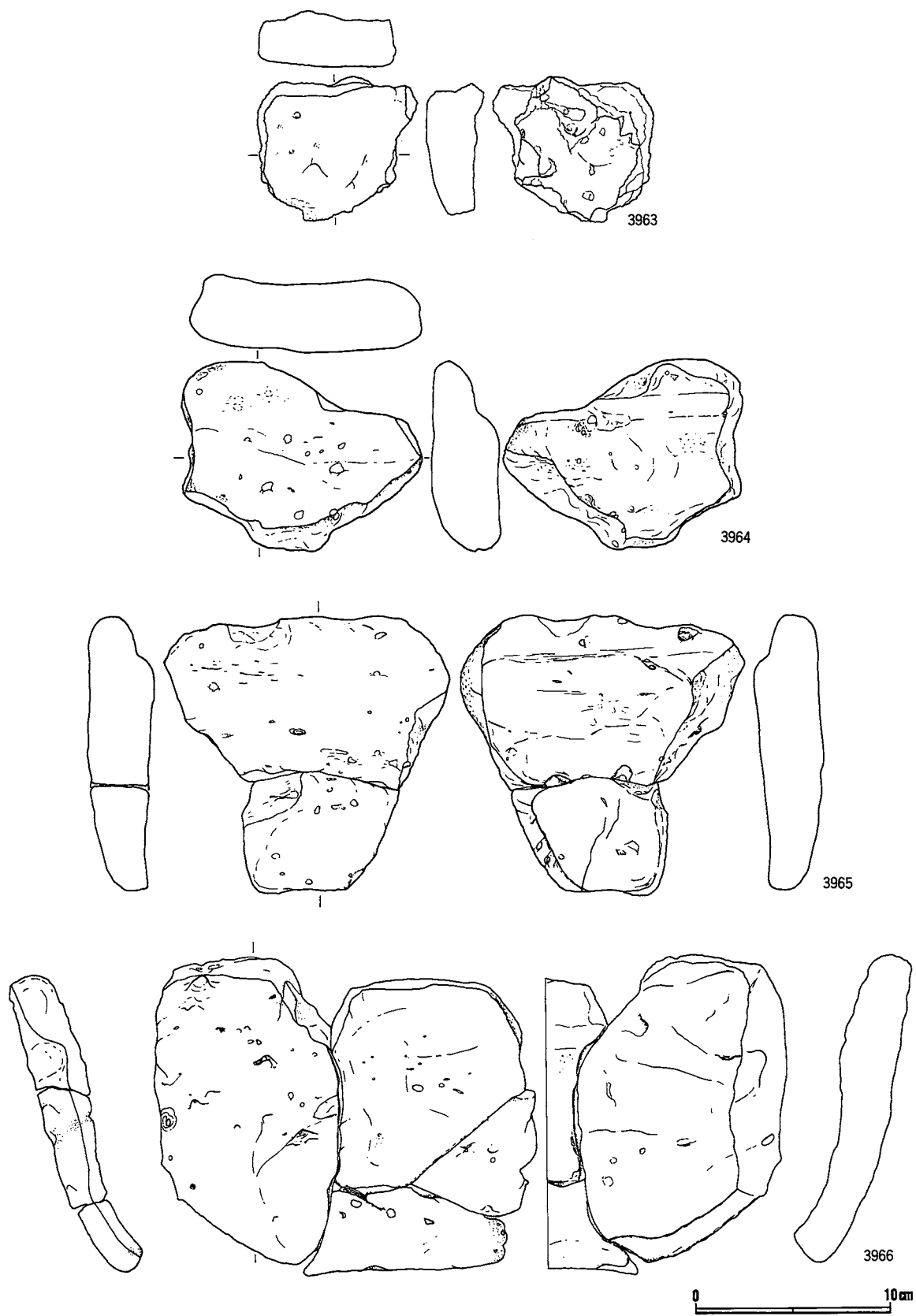


※黑色密点貼付部は酸化箇所

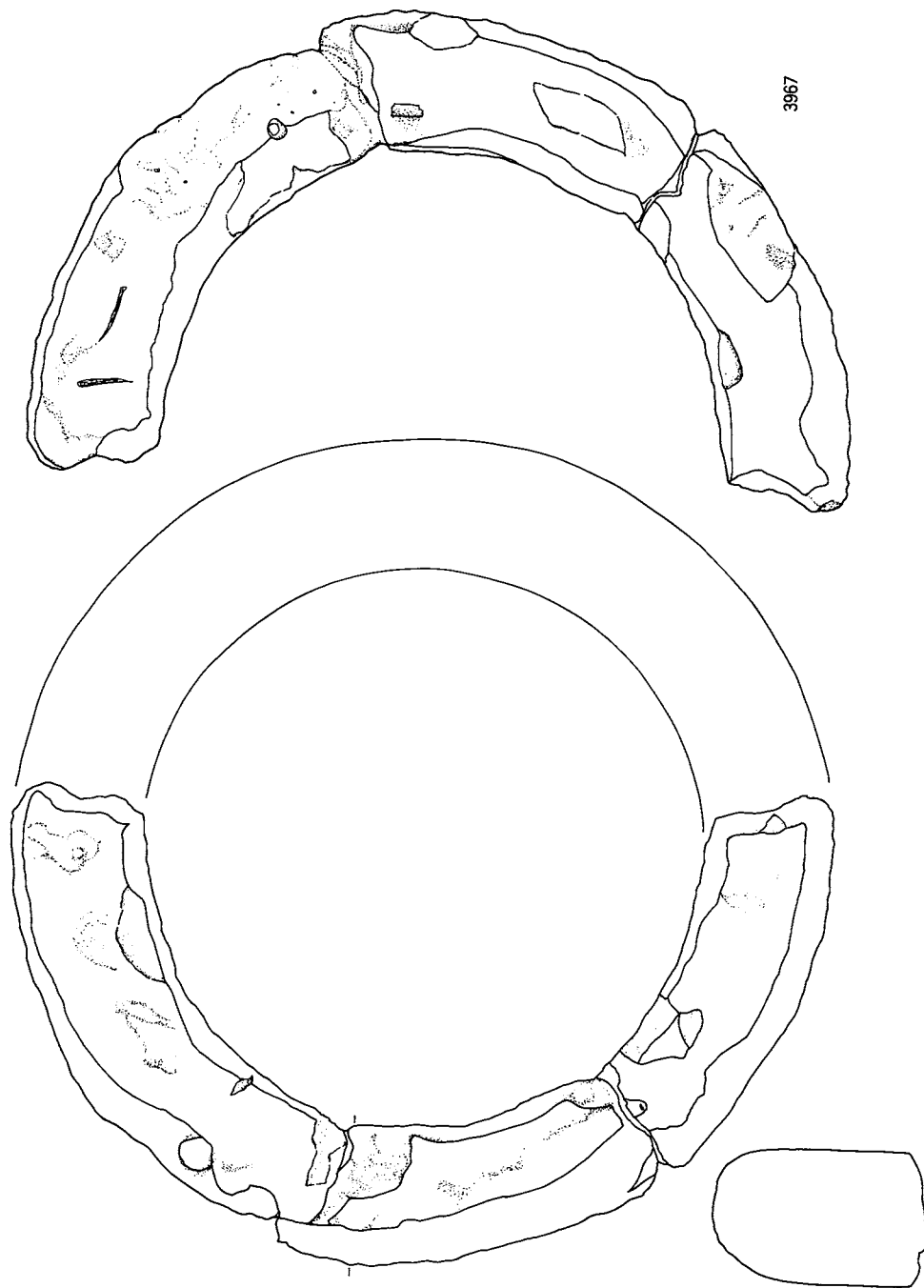
第403図 出土遺物 銅鑄型(1)



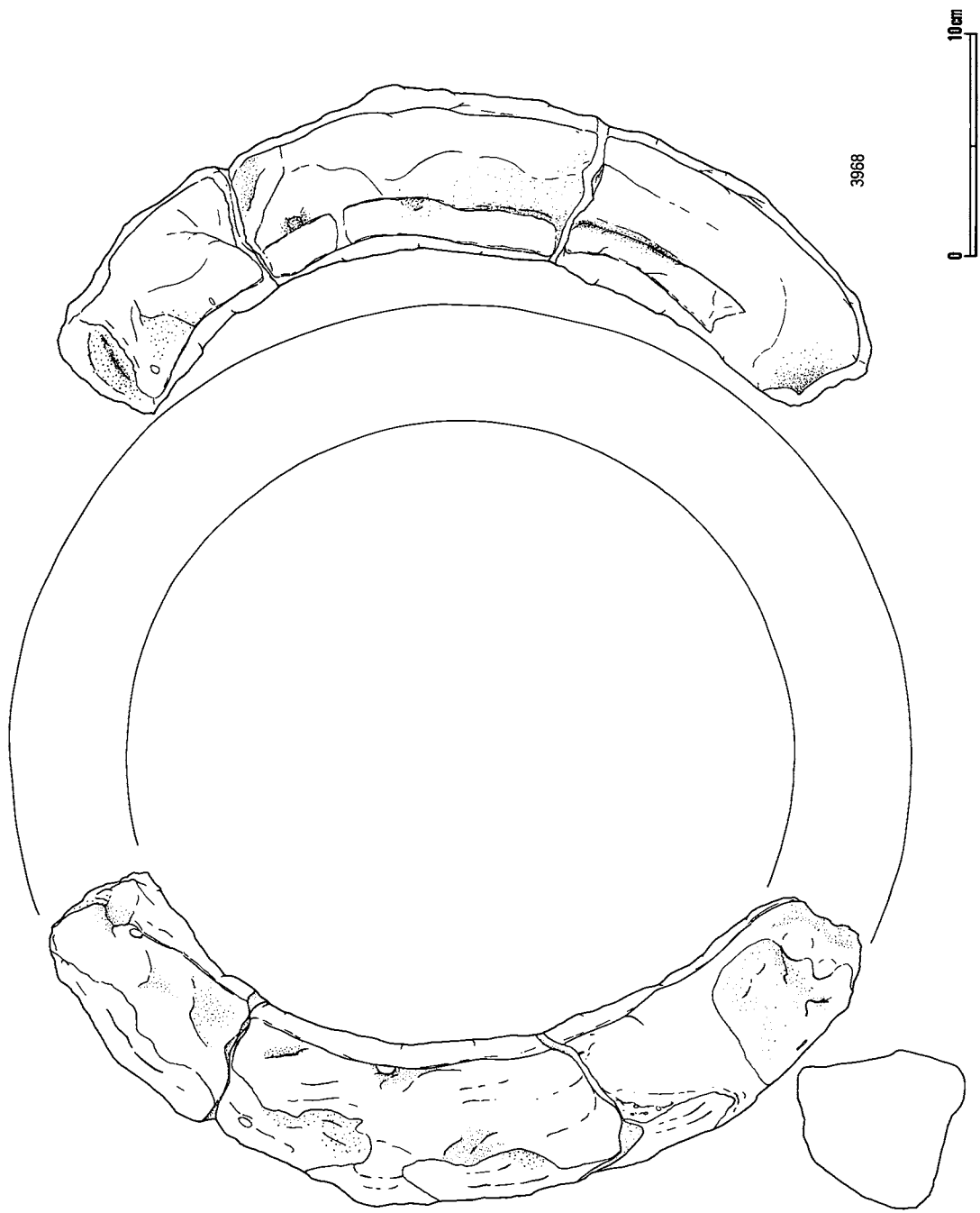
第404図 出土遺物 鍋鑄型(2)



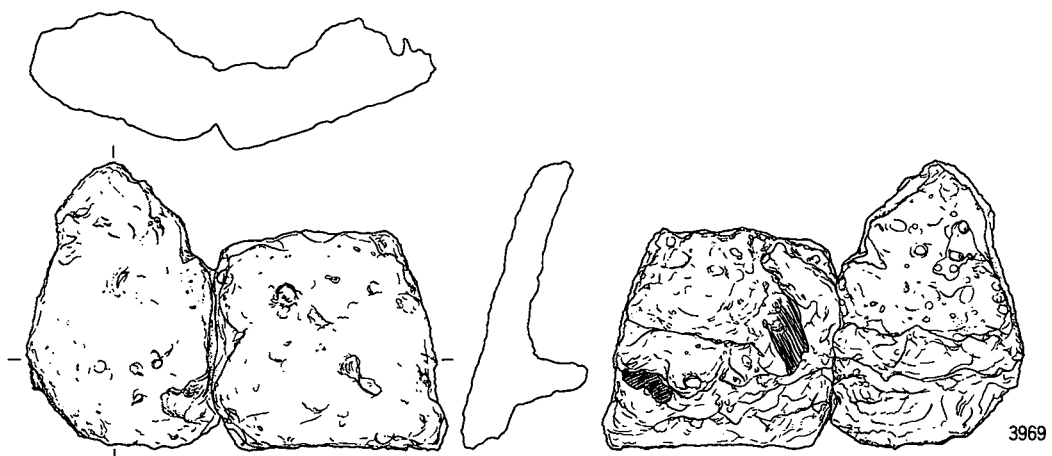
第405図 出土遺物 銅鑄型(3)



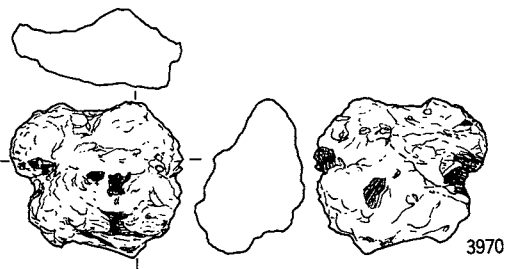
第406図 出土遺物 鍋鑄型(4)



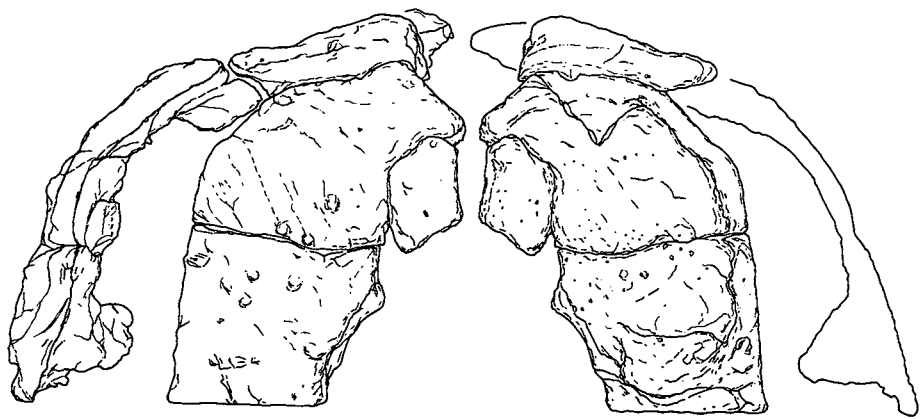
第407図 出土遺物 銅鑄型(5)



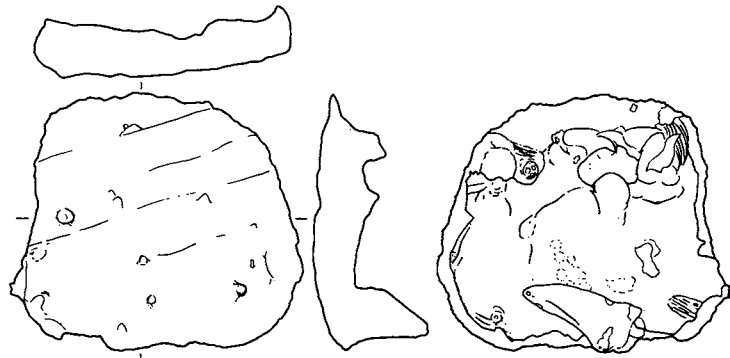
3969



3970



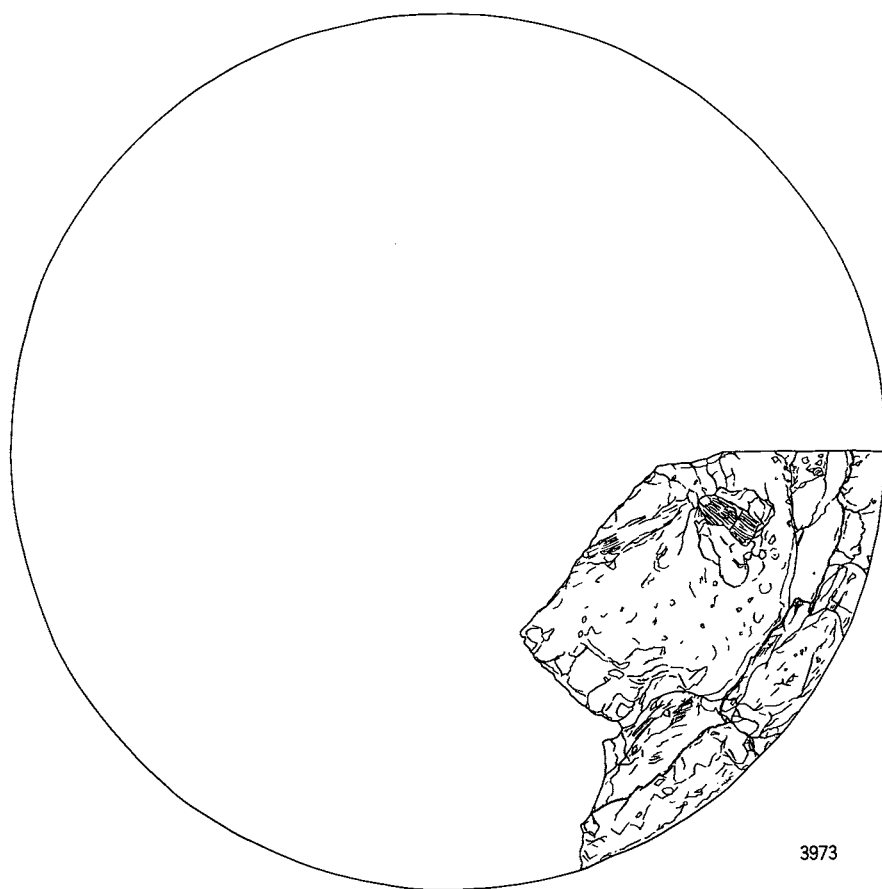
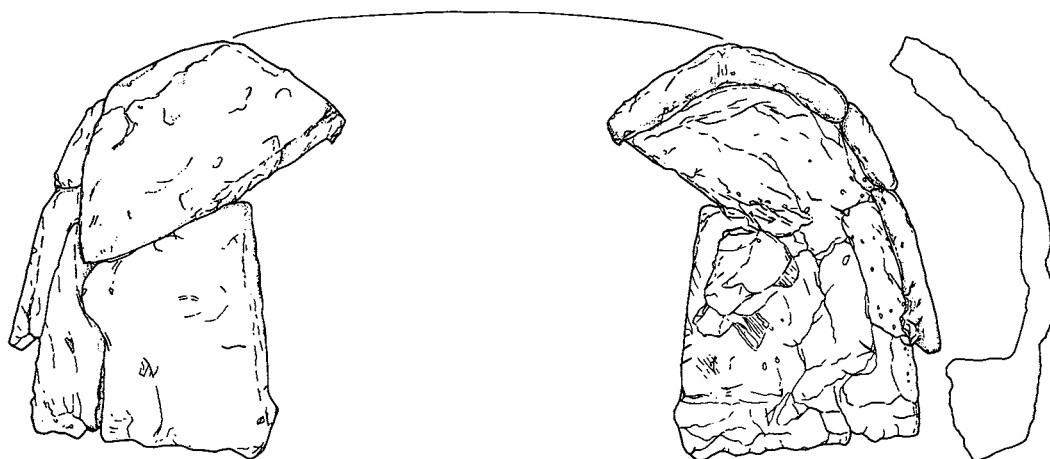
3971



3972



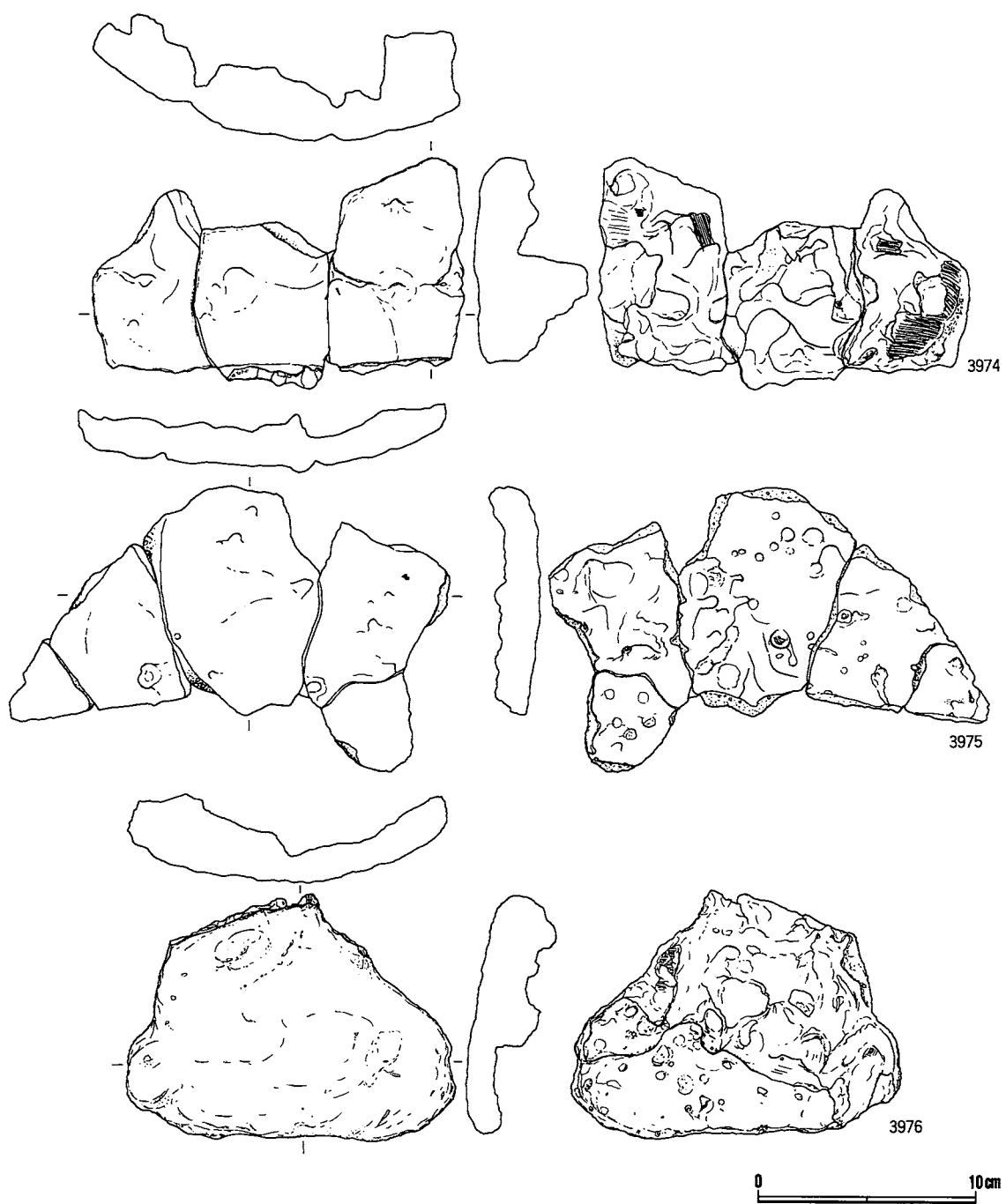
第408图 出土遺物 炉破片(1)



3973

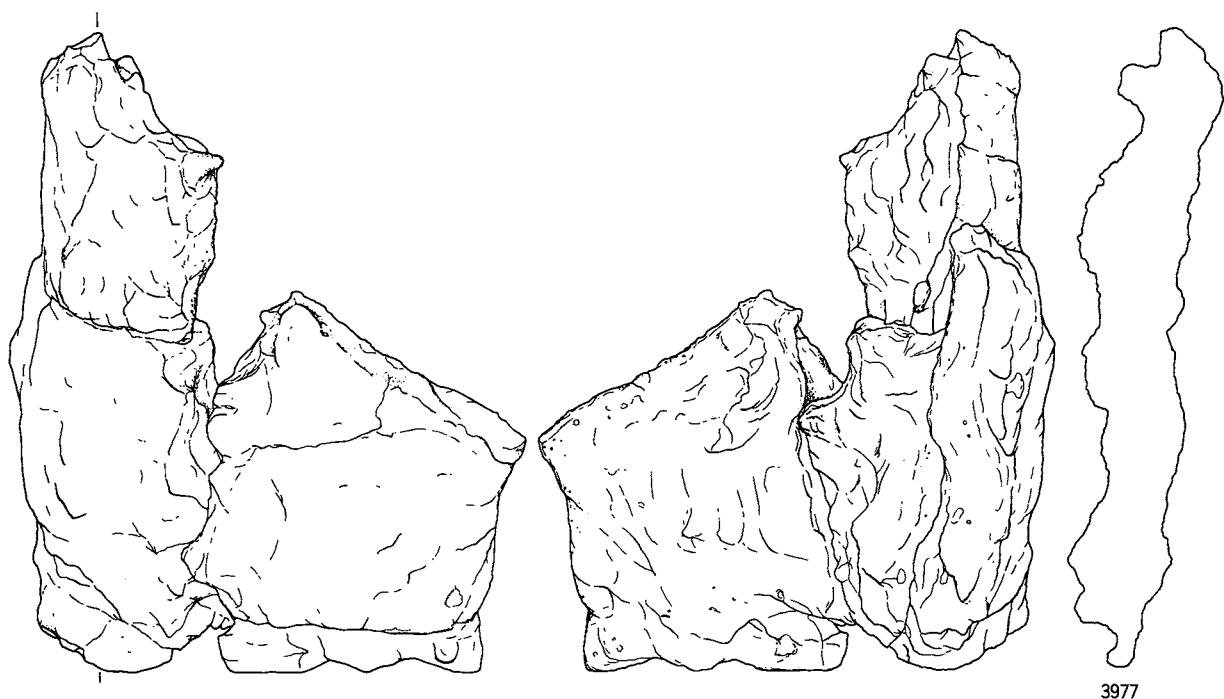


第409图 出土遗物 炉破片(2)

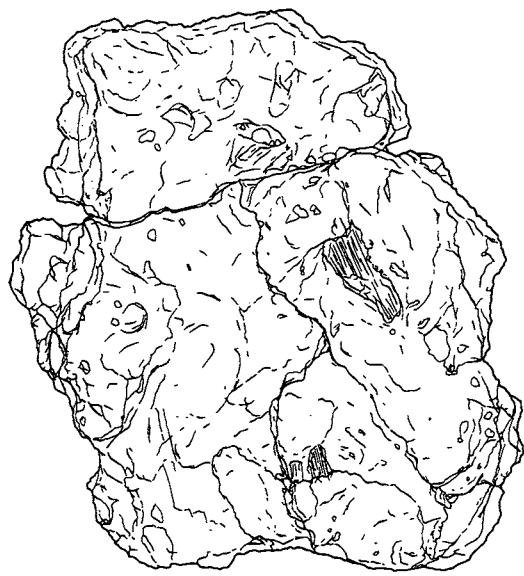
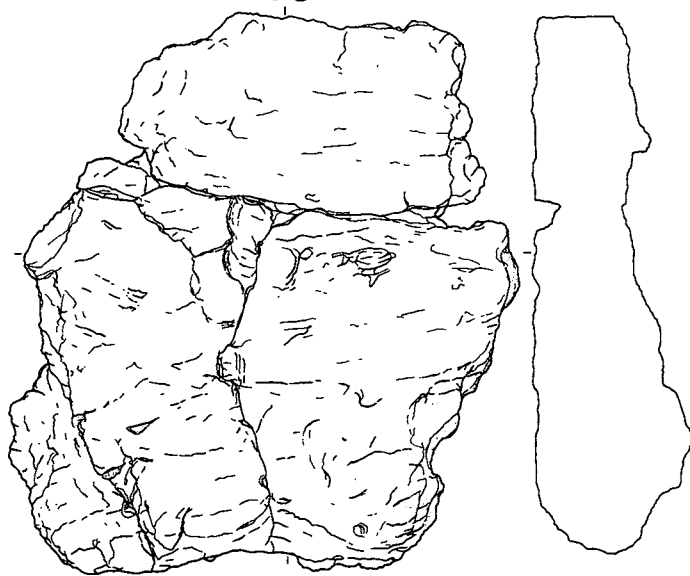


第410图 出土遗物 炉破片(3)





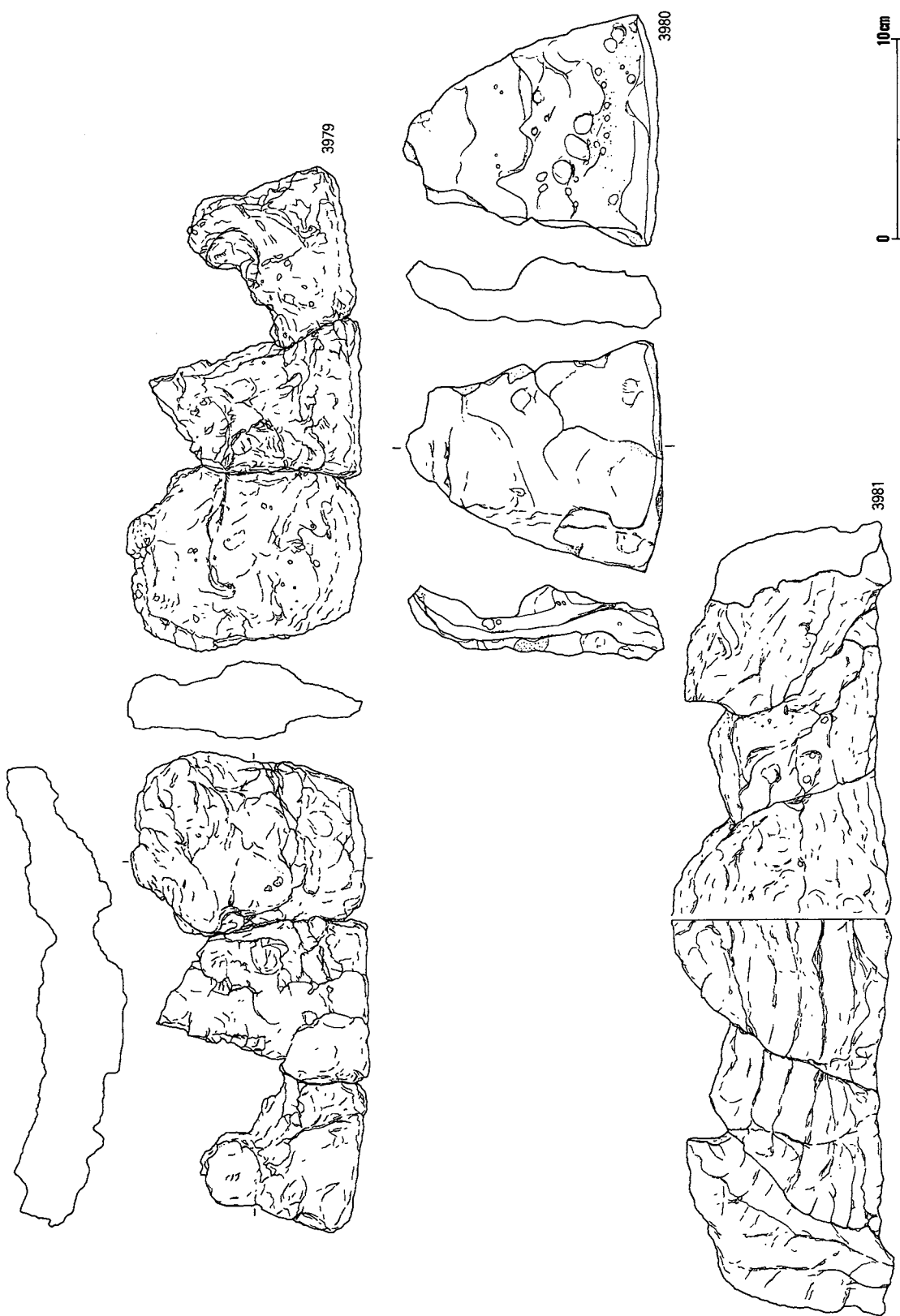
3977



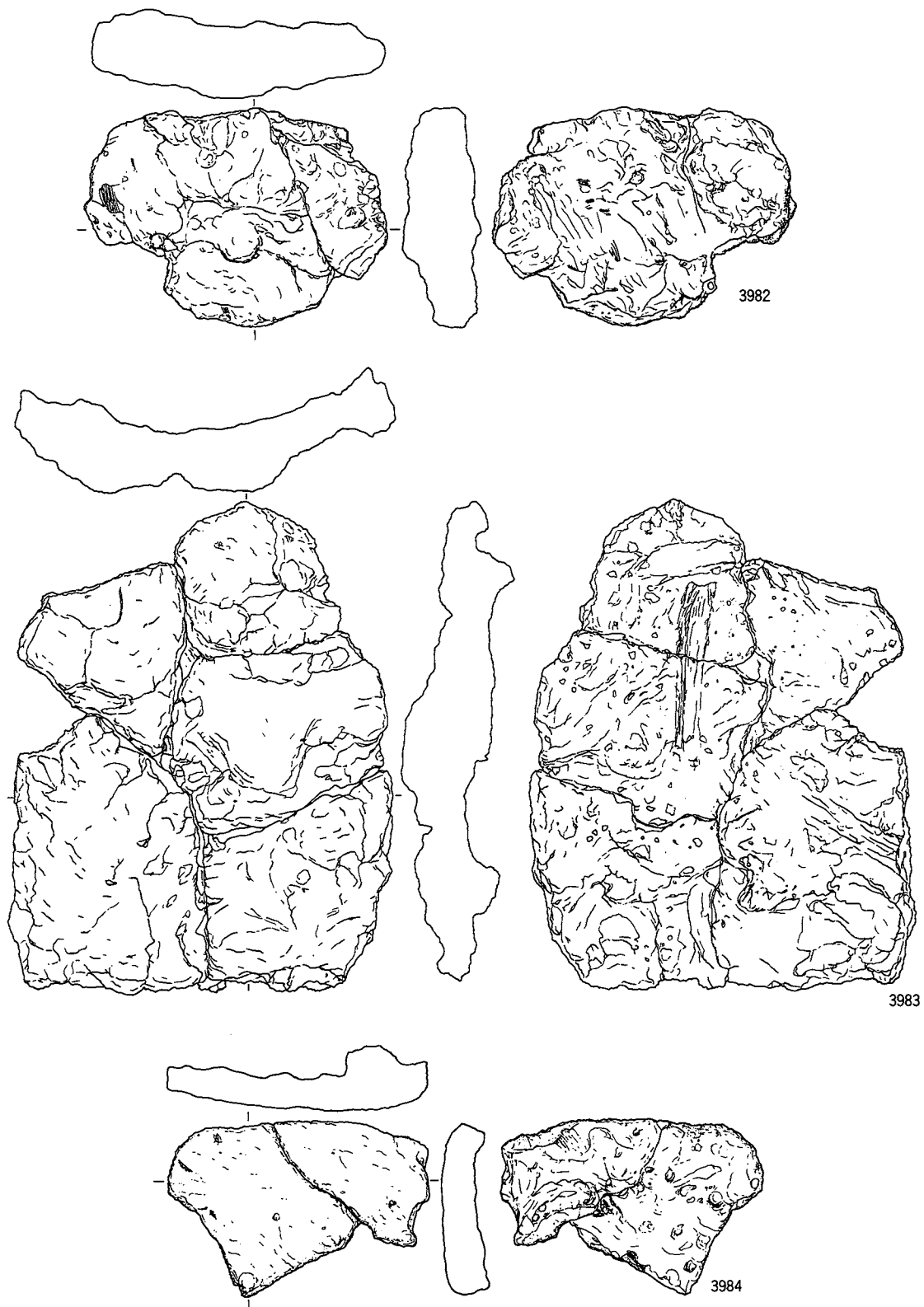
3978



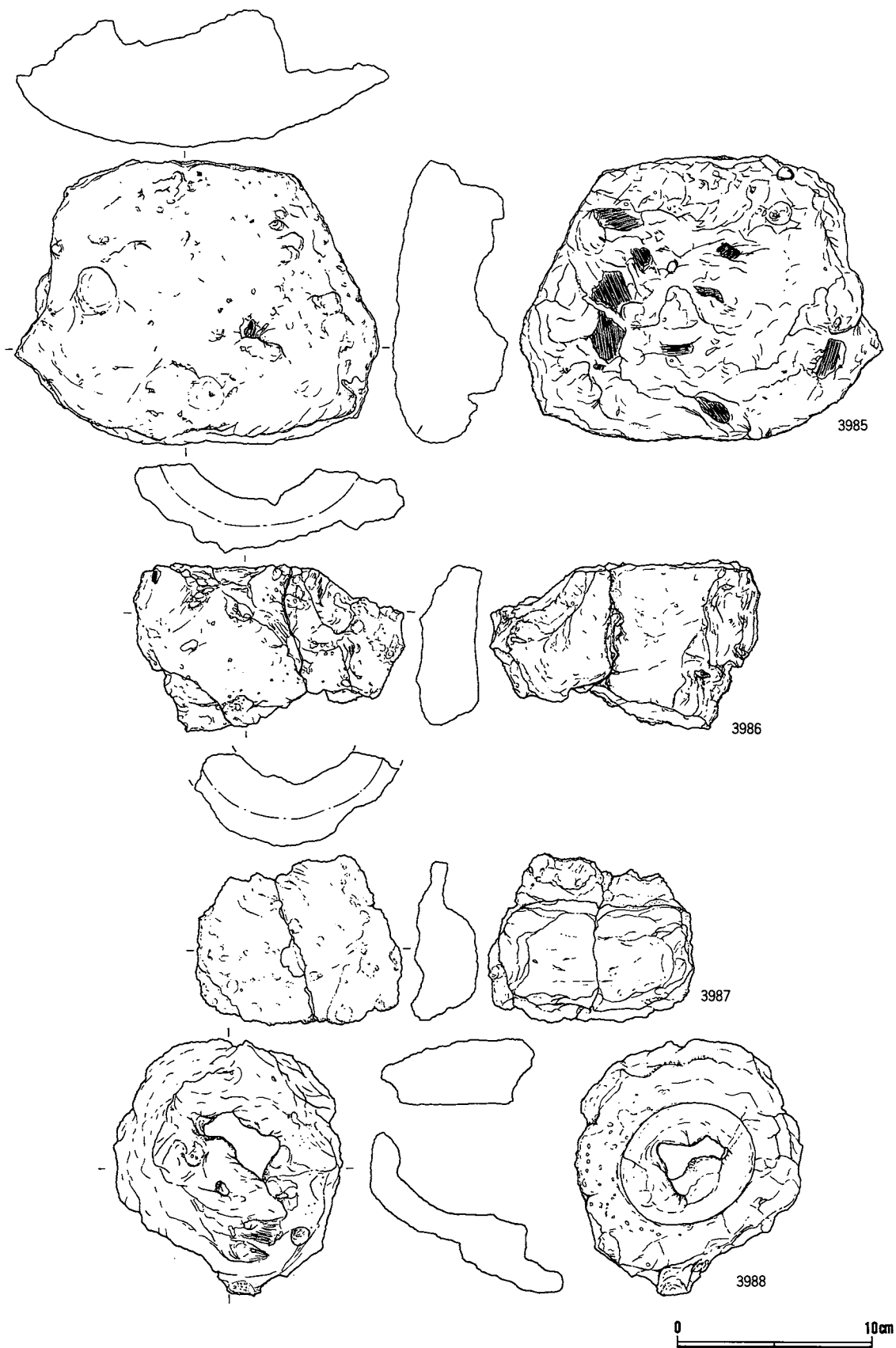
第411图 出土遗物 炉破片(4)



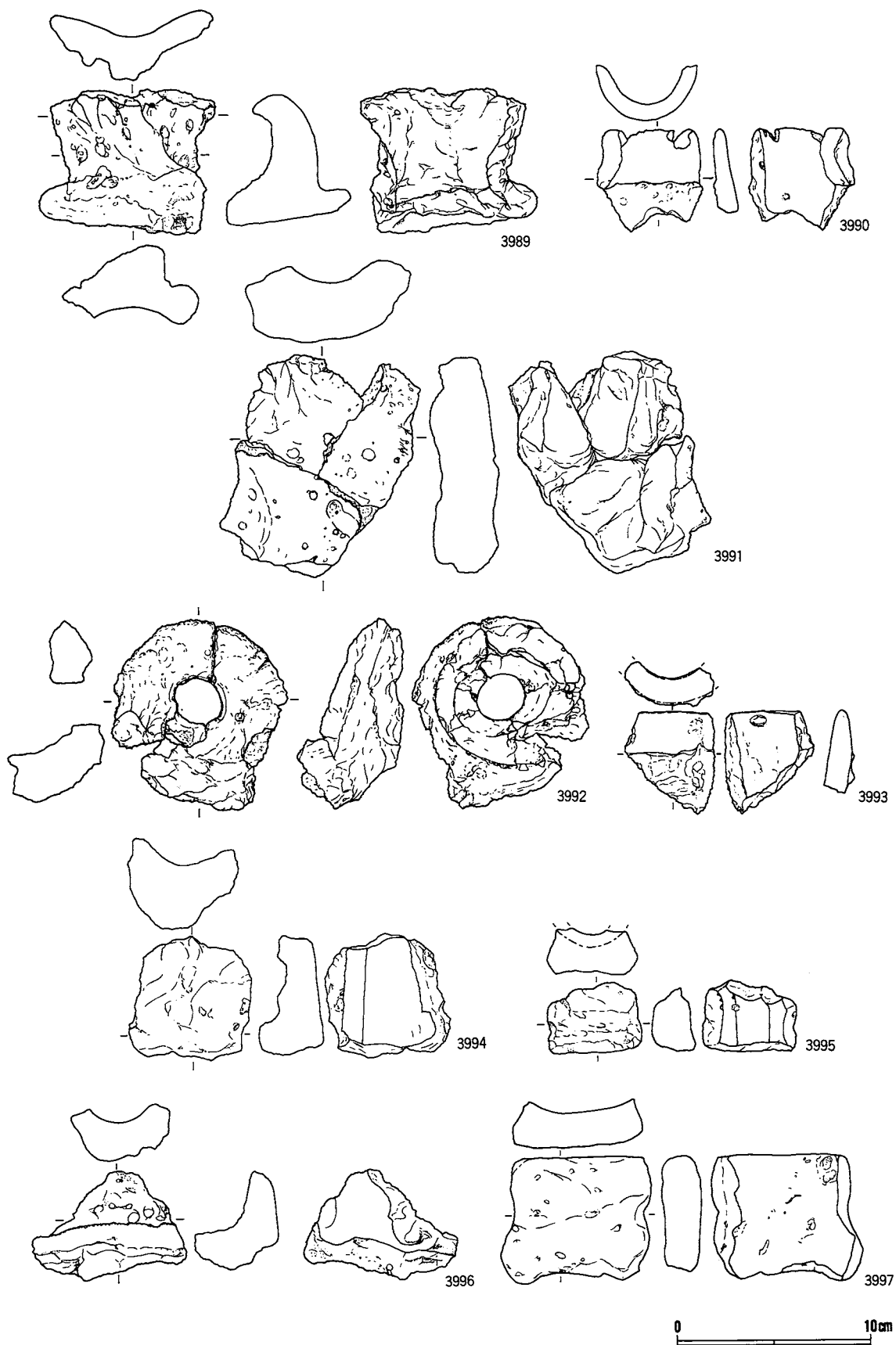
第412図 出土遺物 炉破片(5)



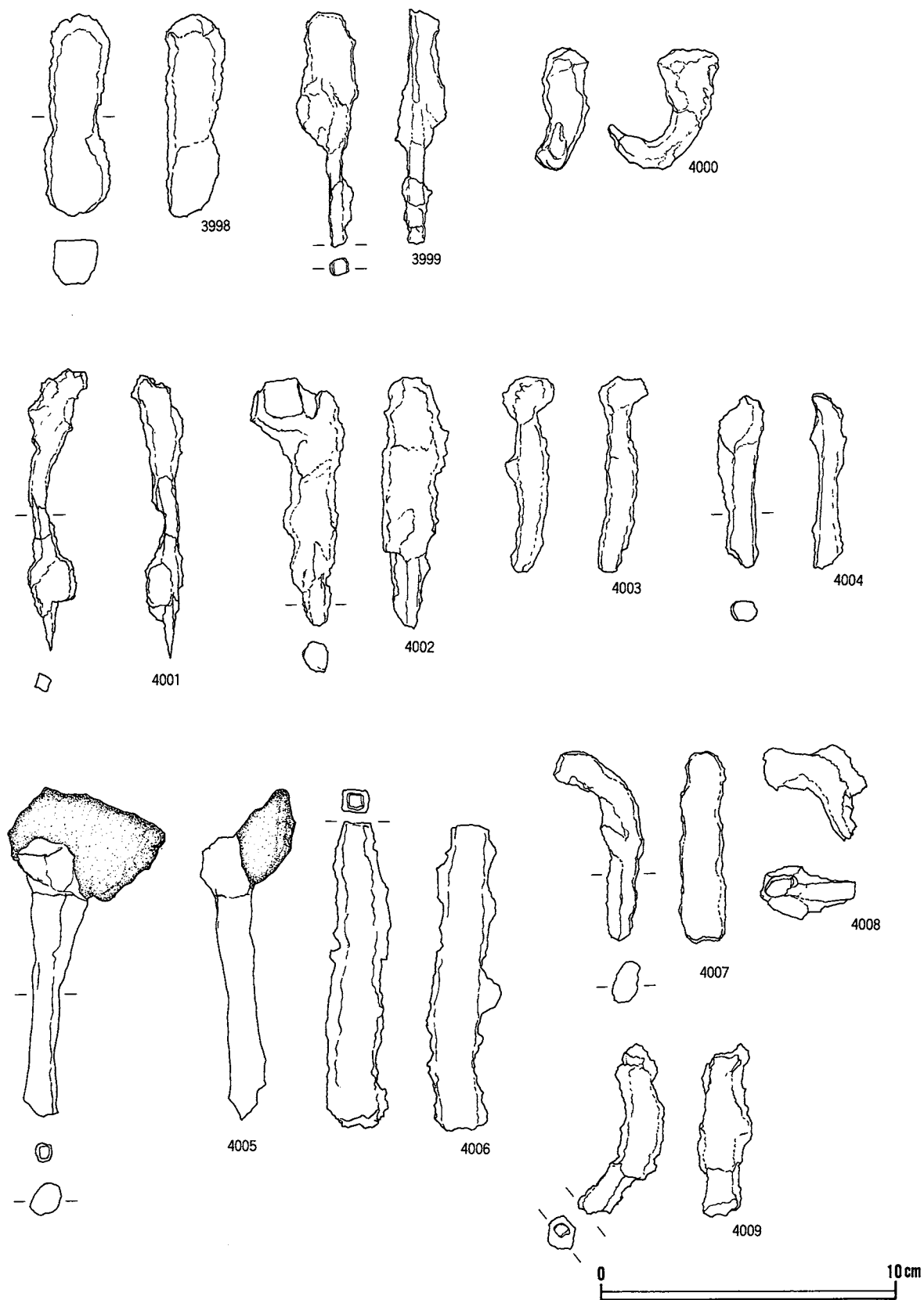
第413图 出土遺物 炉破片(6)



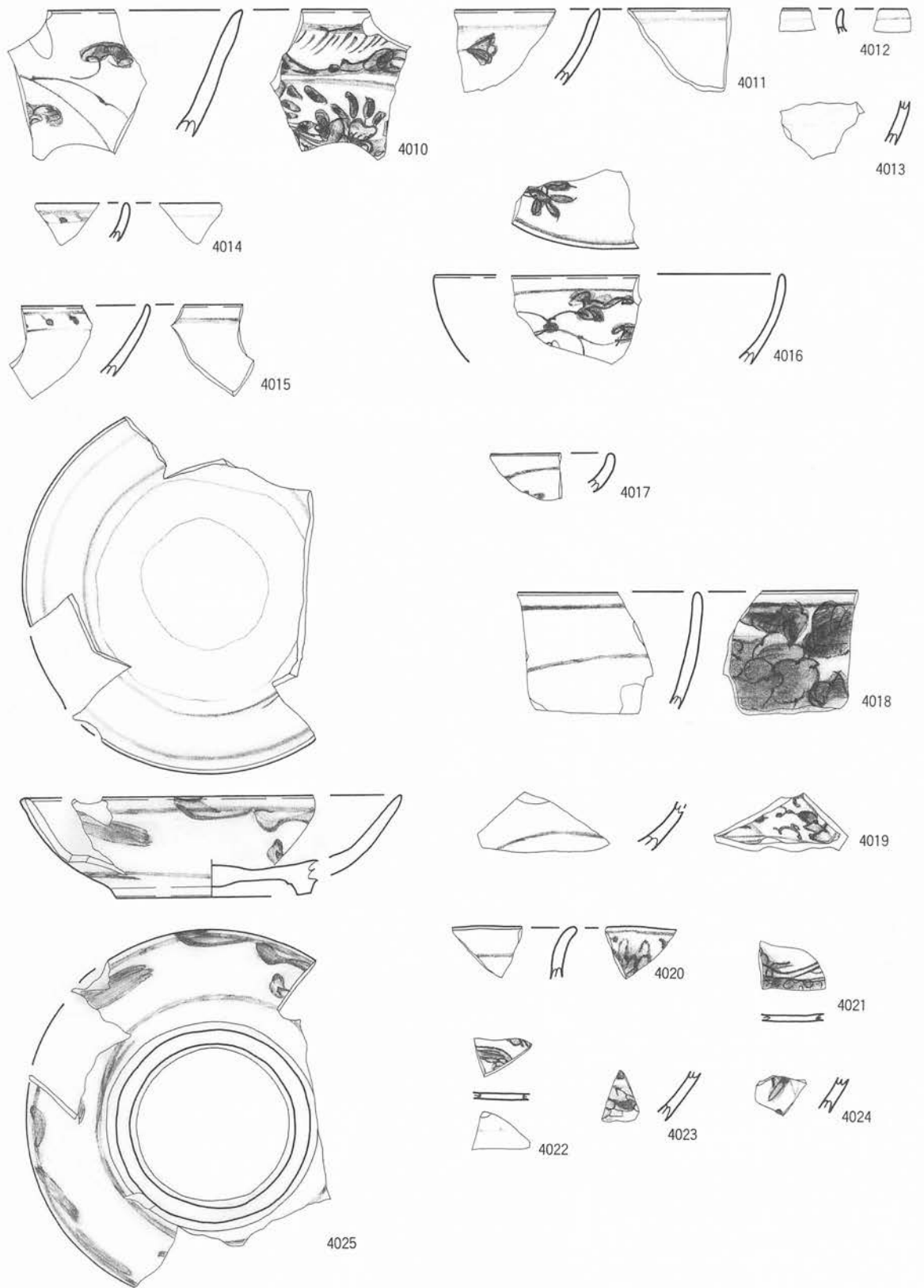
第414图 出土遺物 炉破片(7)



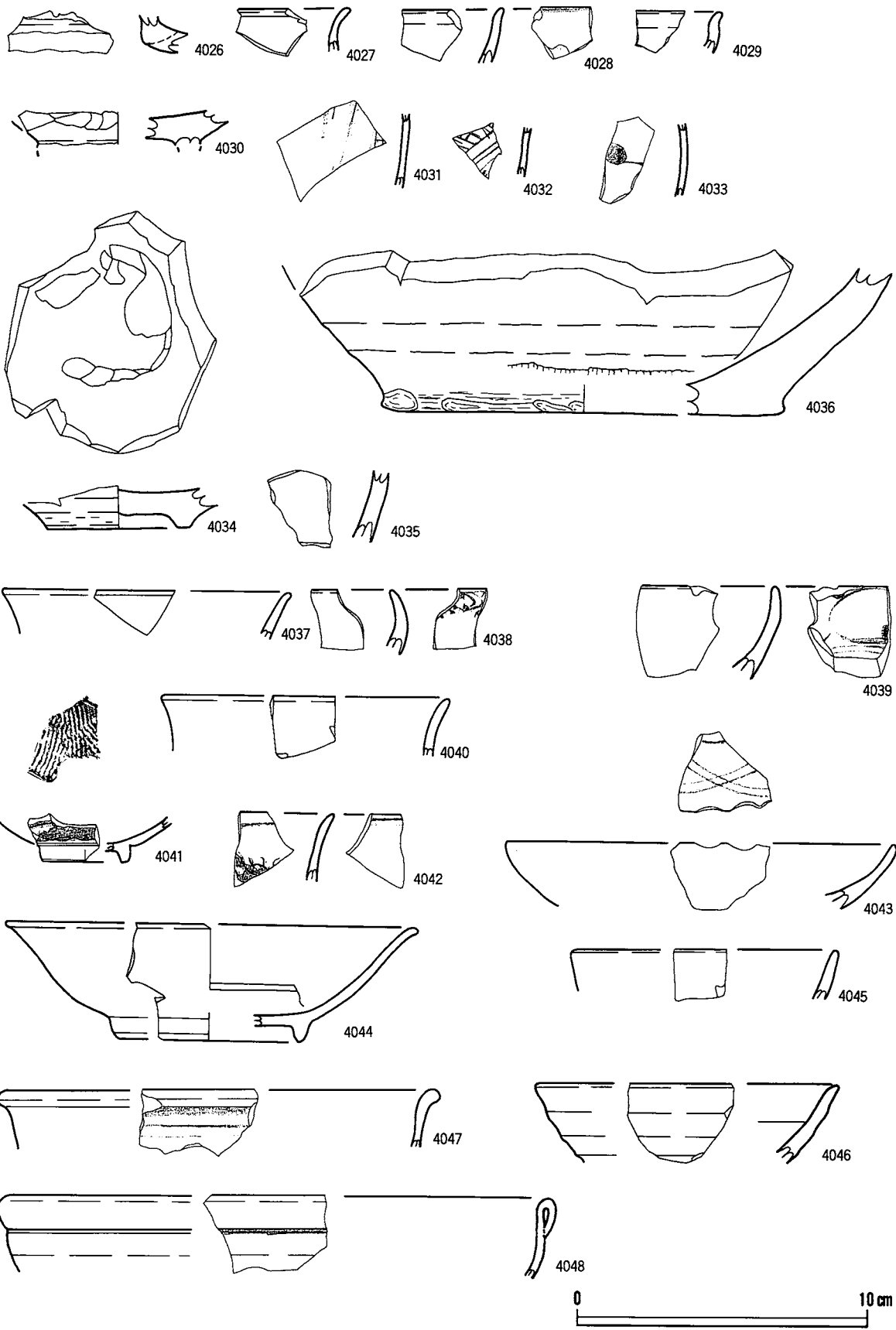
第415图 出土遺物 炉破片(8)



第416図 出土遺物 鉄製品

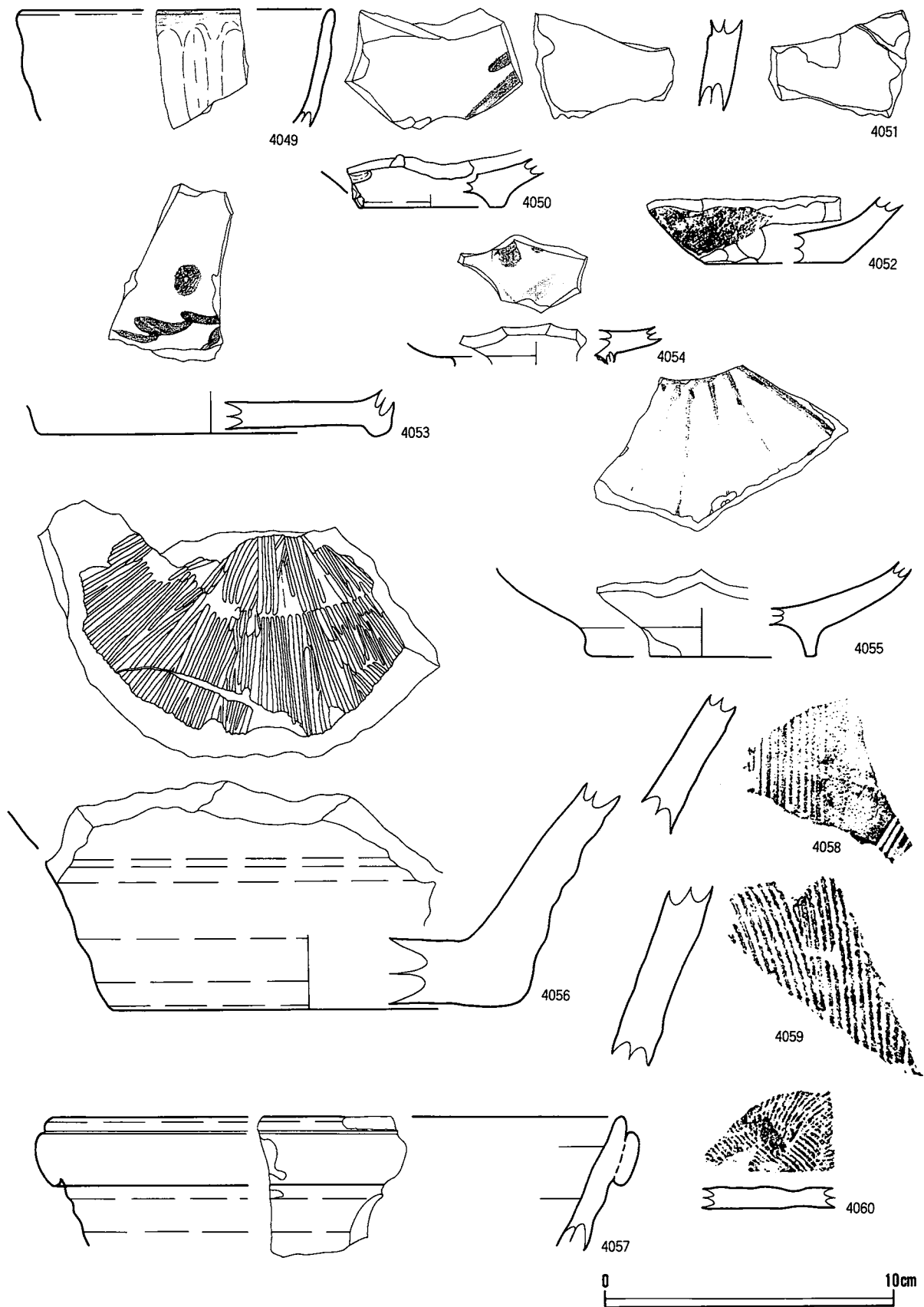


第417图 出土遺物 中国産磁器

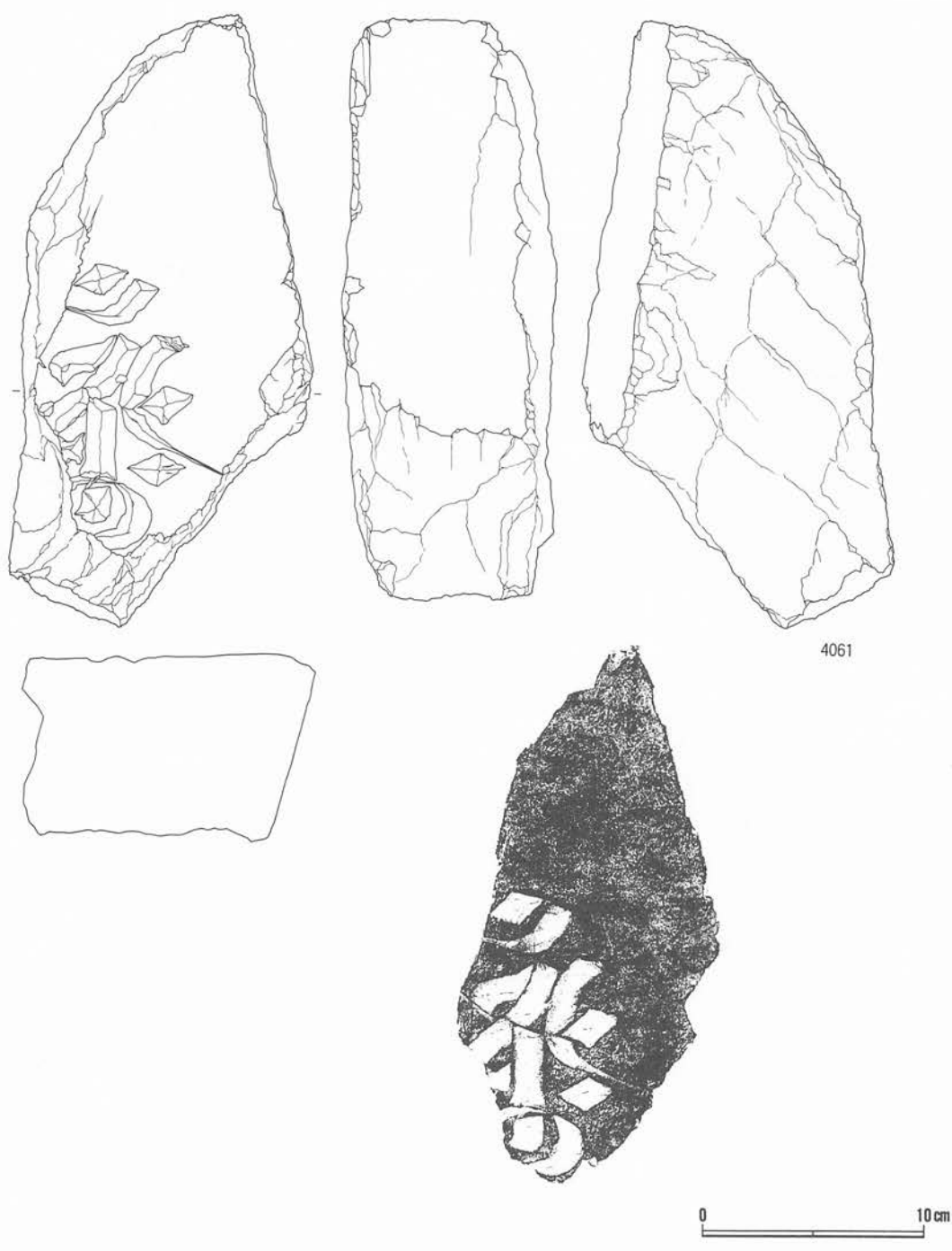


第418図 出土遺物 国産陶磁器(1)

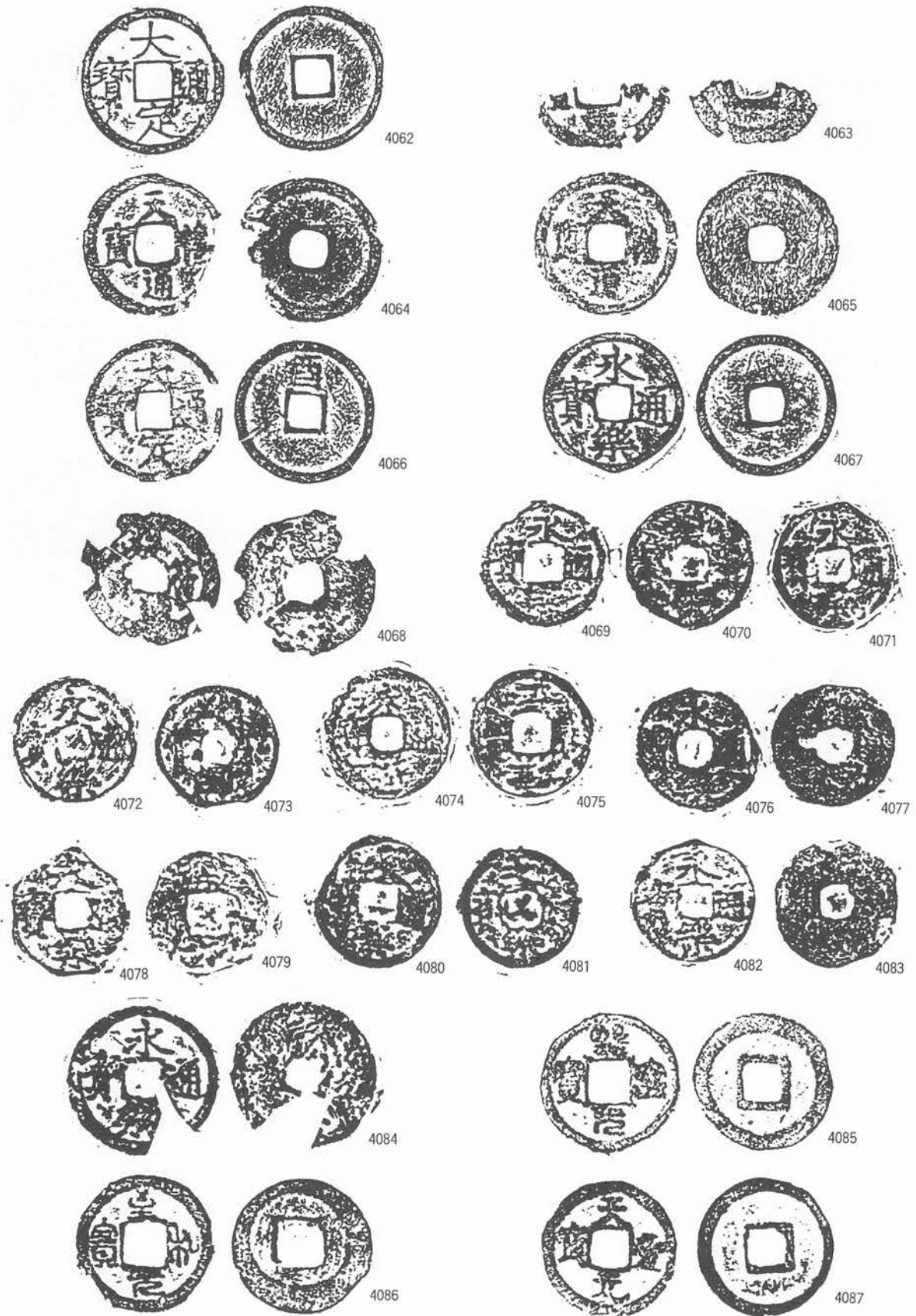




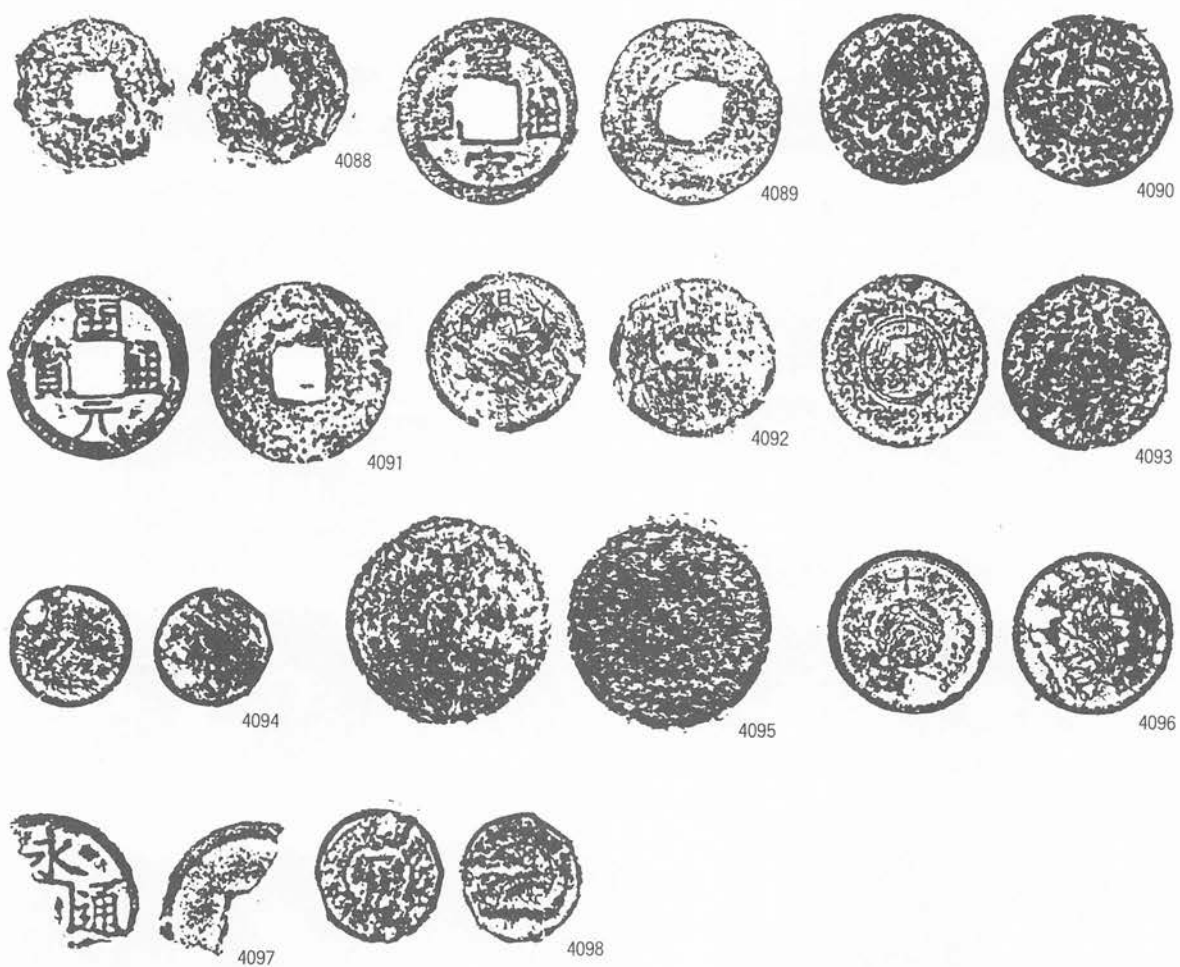
第419図 出土遺物 国産陶磁器(2)



第420図 出土遺物 板碑



第421図 出土遺物 古銭(1)



第422圖 出土遺物 古錢(2)

## 2. 下館銅屋遺跡の火山灰分析

株式会社 古環境研究所

### 1. はじめに

岩手県南部には、焼石火山や鬼首火山、さらに鳴子火山などのほか、十和田火山や北海道の洞爺火山、さらには中国地方の三瓶火山や九州地方の阿蘇火山、始良火山などの噴火に由来するテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が分布している。この地域では、これらのテフラを利用して地層の層位などを知ることができる。テフラの中には、理科学的な年代測定をはじめとする多くの手法によって噴火年代が明らかにされた指標テフラがあり、これらを過去の時間と空間の軸として編年をおこなう火山灰編年学（テフロクロロジー）が考古学的研究においても盛んに利用されている。

花泉町下館銅屋遺跡の発掘調査でもテフラが認められたことから、テフラ組成分析と屈折率測定により特徴記載をおこなって指標テフラとの同定を試み、土層の堆積年代に関する資料を収集することになった。

### 2. テフラ検出分析・火山ガラス比分析

#### (1) 分析試料と分析方法

分析の対象となった試料は、発掘調査担当者により採取された2試料（No.27、No.28）である。いずれの試料も10世紀前後の土師器を含む遺構埋土から採取されたものである。これらの試料について、テフラ検出分析と火山ガラス比分析をおこない、特徴の記載を試みた。テフラ検出分析と火山ガラス比分析の手順は、次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下でテフラ粒子の特徴を観察（テフラ検出分析）。
- 5) 分析篩により1/4-1/8mmの粒子を篩別。
- 6) 偏光顕微鏡下で、テフラ粒子250粒を観察し、火山ガラス比を求める（火山ガラス比分析）。

#### (2) 分析結果

試料中には、径2mmより大きい軽石やスコリア（色調の黒っぽい軽石）は検出されなかった。火山ガラス比ダイヤグラムを図1に、その内訳を表1に示す。試料番号27には、スポンジ状または繊維束状に発砲した軽石型火山ガラスが非常に多く含まれている（42.4%）。また、平板状のバブル型ガラス（1.2%）や分厚い中間型ガラス（0.8%）も少量含まれている。火山ガラスの色調は、白色または透明である。一方、試料番号28にもスポンジ状または繊維束状に発砲した軽石型火山ガラスが非常に多く含まれている（34.0%）。また、平板状のバブル型ガラス（0.8%）や分厚い中間型ガラス（0.8%）も少量含まれている。

### 3. 屈折率測定

#### (1) 測定試料と測定方法

試料中に含まれるテフラ粒子について、屈折率測定をおこない、指標テフラとの同定精度の向上を図った。屈折率の測定は、位相差法（新井1927）による。

#### (2) 測定結果

屈折率の測定結果を表2に示す。試料番号27には、重鉱物として斜方輝石のほか、単斜輝石や、ごくわずかな角閃石が含まれている。火山ガラスの屈折率（ $n$ ）は1.506-1.509である。また、斜方輝石の屈折率（ $\gamma$ ）は1.713-1.717である。試料番号28にも、重鉱物として斜方輝石のほか単斜輝石やごくわずかな角閃石が含まれている。火山ガラスの屈折率（ $n$ ）は1.506-1.509である。また、斜方輝石の屈折率（ $\gamma$ ）は1.714-1.723である。火山ガラスの色調や形態、重鉱物の組み合わせ、さらに屈折率の測定結果などから、これらのテフラは同一テフラと考えられる。

従来、本遺跡とその周辺では10世紀ころのテフラとして、915年に十和田火山から噴出したと考えられている十和田a火山灰（To-a 大池1972、町田ほか1981）が良く知られている。しかし、今回の屈折率の測定結果は、火山ガラスおよび斜方規制ともにTo-aとは類似していない結果が得られた。分析に先だって遺跡の土層表面を直接観察できなかったため、試料の産状に関する資料が十分でなく、詳しくは言及できないが、斜方輝石についてはその屈折率から下位のテフラからの混入の可能性も考えられる。ただし火山ガラスについては、量が多いことなどから、その可能性は小さいようである。

最近、仙台市とその周辺において、従来層相からTo-aとされた「灰白色火山灰」の中に火山ガラスの屈折率の異なるものが多く認められるようになってきた（古環境研究所、未公表資料）。同じテフラで火山ガラスの屈折率の異なることは、地点による火山ガラスの水和の程度の差によっても説明できる（新井房夫氏、個人談話）。しかし、To-aについてはテフラの層序や噴火の推移さらにテフラのユニットごとの岩石記載的な特徴把握など、基礎的な資料が十分収集されているとはいえない状況にある。To-a以外のテフラが存在する可能性も完全には否定できないことから、さらに多くの地点で記載分析をおこなう必要がある。

なお、このように微妙な問題を扱う際には、資料を採取する前に現地で詳細な土層の観察記載をおこなっておく必要がある。発掘調査担当者の方々には、採取された資料のみの分析では得られる情報も限られることに注意していただく必要がある。

### 4. まとめ

下館銅屋遺跡において採取された2試料について、テフラ検出分析、火山ガラス比さらに屈折率測定をおこなった。その結果、同定される可能性のもっとも大きかった十和田a火山灰（To-a、915年）とは異なる屈折率が得られた。To-aに同定される可能性もあるが、さらに多くの地点で記載分析を続けることが必要である。

#### 参考文献

新井房夫 1972 「斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフクロロジーの基礎的研究」『第四紀

町田 洋・新井房夫 1992 『火山灰アトラス』 p.276 東京大学出版会

町田 洋・新井房夫・森脇 広 1981 「日本海を渡ってきたテフラ」『科学』51 pp.562-569

大池昭二 1972 「十和田火山東麓における完新世テフラの編年」『第四紀研究』11 pp.232-233

表1 下館銅屋遺跡の火山ガラス比分析結果

試料	bw	md	pm	その他	合計
27	3	2	106	139	250
28	2	2	85	161	250

数字は粒子数。bw：バブル型、md：中間型、  
pm：軽石型

表2 下館銅屋遺跡の屈折率測定結果

試料	火山ガラス		重鉱物	屈折率
	最大径	屈折率(n)		
27	0.6mm	1.506-1.509	o p x > c p x, (ho)	o p x (γ) : 1.713-1.717
28	0.6mm	1.505-1.509	o p x > c p x, (ho)	o p x (γ) : 1.714-1.723

o p x : 斜方輝石、c p x : 単斜輝石、ho : 角閃石。屈折率の測定は位相差法(新井1972)による。

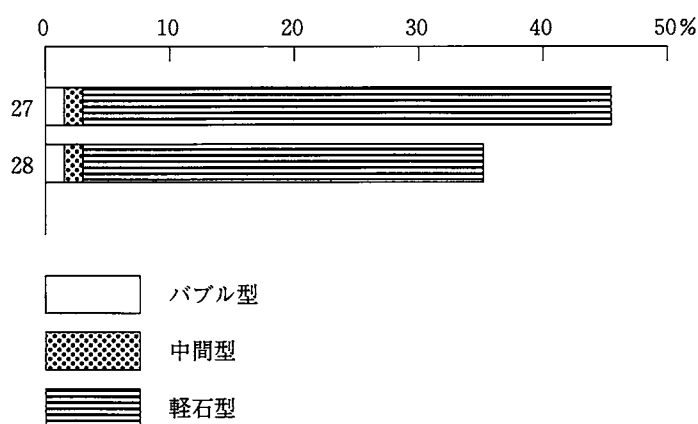


図1 下館銅屋遺跡の火山ガラス比ダイヤグラム

# 付 表

1. 土器観察表
2. 土器観察表（拓本分）
3. 土製品観察表
4. 土製円盤観察表
5. 石器観察表（石鏃・石錐・石匙）
6. 石器観察表（不定形石器）
7. 石器観察表（石核・利用されたフレイク等）
8. 石器観察表（フレイク）
9. 石器観察表（磨製石斧）
10. 石器観察表（敲石・凹石）
11. 石器観察表（礫石器・石皿）
12. 石器観察表（石製品）
13. 平安時代遺物観察表
14. 中世・近世陶磁器観察表
15. 炉・鍋鋳型・鉄製品観察表
16. 板碑・古銭観察表



1 土器観察表 (大型破片を含むほぼ完形品)

種別	器型	遺構名	出土地点・階位	目取(m)	径(m)	高(m)	備考	二次焼成	底部調整	ミガキ	風化度	胎土・磁物	骨針	器面調整	登録番号
105	1	99 3-27-S11	埋設土器No 2		9.4	13.7	底部以外内面に炭化物付着	外	2 or 3		1~2	Q/S多	無		RUP 4
105	2	99 3-27-S11	埋設土器No 2の下に敷かれていた		8.8	15.6	内面および外底部に炭素吸着	外	3		1	Q/S多	無		RUP 5
105	3	99 3-27-S11	埋設土器No 3		7.6	18.0	上部内面、下部外面が二次焼成 炉	内外	3		0~1	Q多	無	内外ミガキ	RUP 3
105	4	99 3-27-S11	埋設土器No 1		10.0	22.5	底部側面に炭素吸着	内外			1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP 2
106	6	99 5-28-S11	浅い凹地No 7		9.2	6.2	上部外面二次焼成 炉	外	3		1	Q多	無	内外ミガキ	RUP23
106	7	99 5-28-S11	土器埋設炉 東側土器		8.2	9.4	R I J P 4 0 と接合	内外		I a	1	Q/S多	無		RUP40
106	7	99 5-28-S11	炉No 1 埋設土器No 1		8.0	12.0	上部は風化が激しい二次焼成 炉	内外	II		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP38
106	8	100 5-28-S11	炉No 1 埋設土器No 2		8.0	21.5	破損部に朱が塗られる 内外面黒褐色	内外	II		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP39
107	9	100 6-28-S11	炉 埋設土器炉		23.2	8.0		内外	3		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP96
107	10	100 6-28-S11	埋設土器No 1		8.0	28.6		内外	1		1	Q多	無	内外ミガキ	RUP97
107	11	100 6-28-S11	床面土器No 3		10.0	18.0		内外	1		1	Q多	無	内外ミガキ	RUP25
107	12	100 6-28-S11-PP6	埋土		10.0	10.0		外	1		0~1	Q多	無	内外ミガキ	RUP26
108	13	100 5-25-S11	埋設土器 炉No 1		10.0	16.7		内外	1		1	Q多	無	内外ミガキ	RUP27
108	14	100 5-25-S11	埋設土器No 1		8.0	10.0		外			0~1	Q/S多	少量	内外ミガキ	RUP28
108	15	100 5-25-S11	埋設土器No 1		10.6	16.0		内外	3		1	Q/S多	無	内面なで	RUP28
108	16	101 5-26-S11	炉のすぐ南No 1		9.2	31.4		内外	3		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP7
108	17	101 3-29	炉No 3 最東炉埋設土器		8.4	30.3	内外面とも炭化物付着	内外	1		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP34
109	18	101 5-27-S11	埋土 2層最上層一括土器No 9		21.0	8.4		内外	1		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP30
109	19	101 5-27-S11	炉No 1 土器No 2		7.4	22.6		内外	2		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP29
109	20	102 5-27-S11-P3	埋土上部 土器No 1		10.2	12.4	内外面とも炭素吸着	内外		I ?		Q多	無	内外ミガキ	RUP37
110	21	102 5-27-S11	土器No 2		9.4	23.2		内外	2			Q多	無	内面ミガキ	RUP33
110	22	102 5-27-S11	炉No 1 土器No 1		12.3	19.7	内面底近く、幅 4cm 帯状に炭素吸着する	内外				Q/S多	無	内面ミガキ	RUP29
110	23	102 5-27-S11	床面直上層											RUF1084	
110	24	102 5-27-S11	床面直上層											RUF1112	
110	25	102 5-27-S11	埋設土器No 1		10.0	9.7					1~2	Q多	無	内面ミガキ	RUP31
110	26	102 5-27-S11	2層中一括土器No0912-1		30.8	12.6	外面炭素吸着		縄→沈線		1~2	Q多	無	内面ミガキ	RUP35
110	27	102 5-27-S11	2層上面No0911 埋設土器No 1		10.5	21.7					1	Q多	無	内外ミガキ	RUP32
110	28	102 5-27-S11-PP2	埋土		9.0	14.5		外		I b	1~2	Q多	無	内外ミガキ	RUP36
111	29	103 6-26-S12	炉No 2 土器No 1		32.2	9.3	内外面ミガキ	内外	1		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP92
111	30	103 6-26-S12	炉No 4 土器No 2		10.0	18.7	内外面ミガキ	内外	1		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP257
112	31	103 6-26-S12	炉No 1 土器No 1		10.0	23.0		内外			0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP218
112	32	104 6-26-S12	炉No 3 土器No 1		9.0	24.0		外			1	Q多	無	内外ミガキ	RUP93
112	33	104 6-26	埋設土器No 3		9.6	15.9					1	Q多	無	内外ミガキ	RUP132
113	34	104 6-26-S11	炉No 1 埋土		8.5	5.0		外			0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP109
113	35	104 6-26-S12	炉No 3 埋設土器炉No 2 埋土上部		10.0	7.7		内外	3		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP94
113	36	104 6-26-S12-P1	埋土上部 一括土器		11.0	29.3		外	3		1~2	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP95
113	37	105 7-36-S11	土器埋設炉No 1		7.8	26.2	P53とP54が炉の一对土器	内外		I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP147
114	38	105 5-36-S13	炉 2 下部 埋設土器No 1		28.0	4.9	P53とP54が炉の一对土器	外	2		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP53
114	39	105 5-36-S13	炉 3 埋土下半		4.0	35.2	P53とP54が炉の一对土器	内外		II b	2	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP54
114	40	105 5-36-S13	10VR2/2色土層		36.0	27.3		内外	4		0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP55
115	41	106 5-36-S13-4	10VR2/2色土層No 2		24.2	18.7		内外			1	Q多	無	外ミガキ	RUP64
115	42	106 5-36-S13-4	黒色土層最下部		10.6	18.7		内外			1	Q多	無	外ミガキ	RUP81
116	43	5-36-S13-4	10VR3/2色土層		13.6	8.8					1~2	Q多	無	外ミガキ	RUP84
116	44	5-36-S13-4									1~2	Q多	無		

韓国番号	遺構名	出土地点・層位	口径(㎜)	器高(㎜)	器重(㎏)	備考	二次焼成	底部調整	ミガキ	風化度	胎土・紋物	骨針	器面調整	登録番号
116 45	107 5-36-S13-4	10YR2/2色土	25.2	34.0	14.0	内面黒褐色	内外	3	I a	I	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP71
116 46	107 5-36-S13-4	10YR2/2色土層	17.9	12.0	12.0	内面黒褐色	外			I	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP72
116 47	107 5-36-S13-4	EPベルト(西半)		12.0	12.0	内面底縁以外に炭化物付着	内外				Q/S多	少量		RUP78
117 48	107 5-36-S13-4	10YR2/2色土層No7表面	13.3	11.0	11.0	内外面炭素吸着	内外				Q多	無		RUP68
117 49	107 5-36-S13-4	南北ベルト 黒色土層	6.2	9.2	9.2	内外面炭素吸着	内外				Q多	無		RUP215
117 50	107 5-36-S13-4	EPベルト(西半)埋土2層目(暗褐)	8.5	5.5	5.5	撫赤文	内外				Q多	無		RUP76
117 51	107 5-36-S13-4	10YR3/2色土層No1001一括土器	8.2	18.4	18.4		内外				Q/S多	無	内外ミガキ	RUP58
117 52	107 5-36-S13-4	南北ベルト(西半)埋土2層目(黒色土)	11.0	6.1	6.1		内外				Q多	無		RUP83
117 53	108 5-36-S13-4	EPベルト(西半)埋土2層目(黒色土)	30.5	8.9	9.0		内外	5	I	0	Q多金少	少量	内外ミガキ	RUP75
117 54	108 5-36-S13-4	黒色土層	18.4	28.5	28.5	内外面とも炭素吸着	外	5		1	Q多	無		RUP82
118 55	108 5-36-S13-4	埋土最上層10YR2/2色土	9.5	8.5	8.5	内面一部に炭化物付着	外	3		0~1	Q中	無		RUP73
118 56	108 5-36-S13-4	10YR2/2色土層	19.5	27.0	27.0	内外面とも炭素吸着	内外				Q多	無		RUP79
118 57	108 5-36-S13-4	No7表面	18.7	15.7	15.7	内外面とも炭素吸着	内外				Q中	無		RUP69
118 58	108 5-36-S13-4	埋土10YR2/2色土層	26.0	14.0	14.0	内外面とも炭素吸着	内外				Q多金少	無		RUP74
118 59	108 5-36-S13-4	黒色土層下部No2-4	9.5	6.6	19.1	内面は口縁部のみ強い二次焼成	内外	緋→沈線		1~2	Q/S多	無		RUP65
118 60	108 5-36-S13-4	No1004	21.4	10.0	10.0		内外				Q/S多	無		RUP60
118 61	108 5-36-S13-4	黒色土層最下部No1005	14.0	15.9	15.9		外		I a	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP61
118 62	109 5-36-S13-4	10YR2/2色土層No10	11.2	10.0	10.0		内外		網I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP67
119 63	109 5-36-S13-4	10YR2/2色土層No4-1 4-2	21.4	9.0	24.5	内面は、底部以外に炭素吸着	内外	5	I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP70
119 64	109 5-36-S13-4	黒色土層下部No4-1 4-2	14.7	5.0	13.9		外	2	網II	2	Q多	無	内外ミガキ	RUP63
119 65	109 5-36-S13-4	No1008	11.0	20.5	20.5		内外				Q多	無		RUP59
119 66	109 5-36-S13-4	No1002	21.0	8.6	35.4	内外面とも炭素吸着	内外				Q多	無		RUP66
120 67	109 5-36-S13-4	10YR2/2色土層No4	12.5	15.0	15.0	内外面とも炭素吸着	内外				Q多	無		RUP57
120 68	110 5-36-S11-P24	黒色土層No1006+最下部No1009	10.7	34.2	34.2	内外面とも炭素吸着	外	1	I b	0	Q/S多	少量		RUP56
120 69	110 5-36-S14	炉 埋設土器	11.0	20.5	20.5		外	2	I a	1~2	Q多	無	内外ミガキ	RUP216
120 70	110 5-36-S13-4	黒色土層最下部No1008	21.0	8.6	35.4	内面は炭素吸着	内外				Q/S多	無		RUP80
120 71	110 5-36-S13-4	黒色土層	6.8	4.1	19.3	炉 土器No 3	内外				Q多	無		RUP101
121 72	110 6-34-S11	埋設土器No 3	7.4	27.0	27.0	炉 土器No 4	内外	2	I	0~1	Q多	無	内外ミガキ	RUP101
121 73	110 6-34-S11	土器埋設土器No 4	7.5	25.0	25.0	炉 土器No 5	内外	2	I	0~1	Q多	無	内面ミガキ	RUP262
121 74	111 6-34-S11	土器埋設土器No 5、No 9	7.1	35.0	35.0	炉 土器No 9 内面の半分に炭素吸着	内外	2	I	0~1	Q多	無	内面ミガキ	RUP105
121 75	111 6-34-S11	土器埋設土器No 6	8.6	17.6	17.6	炉 土器No 6	内外	1	I or II	0~1	Q/S多	無	内面ミガキ	RUP106
122 76	111 6-34-S11	炉 4 埋設土器No 2	7.1	35.0	35.0	土器No 2	内外	2	I	0	少円隣多	無		RUP100
122 77	111 6-34-S11	土器埋設土器No 2	8.6	33.4	33.4	土器No 8	内外	2	I	0~1	Q/S多	無		RUP117
122 78	111 6-34-S11	黒色土層最下部一括	10.0	17.4	17.4	土器No 8	内外				Q多	無		RUP108
122 79	112 6-34-S11	No 8 埋設土器	6.2	17.2	17.2	土器No 7 胴部下部に焼成後外から穿孔	外	2	I	0~1	Q多	無		RUP112
123 80	112 6-34-S11-P16	埋土	16.4	5.0	20.5		内外	1	I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP112
123 81	112 6-34-S11-P3	埋土上部	27.5	8.7	36.9	焼成後外から穿孔(補修孔)	内外	1	I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP111
123 82	112 6-34-S11	埋設土器No 7、8	23.0	16.2	16.2	内外面上部炭素吸着	内外	3		1~2	Q多	無	内外ミガキ	RUP107
123 83	112 6-34-S11-P2	埋土下部	14.2	5.2	13.0	内外面ミガキ	外	2		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP110
123 84	112 6-34-S11	埋土	27.5	8.7	36.9	内外面ミガキ	内外	1	I	0~1	Q多	無	内外ミガキ	RUP119
124 85	113 6-34-S11	埋土	14.2	5.2	13.0	内外面ミガキ	外	2		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP119
124 86	113 6-34-S11	埋土	14.2	5.2	13.0	内外面ミガキ	内外	2		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP103
124 87	113 6-34-S11	埋土	14.2	5.2	13.0	内外面ミガキ	内外	2		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP120
124 88	113 6-34-S11	埋土	14.2	5.2	13.0	内外面ミガキ	内外	2		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP126
125 89	113 6-34-S11	埋土	9.0	6.6	13.7	木葉痕有	外	1	葉I a	1	Q/S多	無		RUP115
125 90	113 6-34	埋設土器No 3 土器周囲煉土の上	10.0	3.5	9.5		外	1と2		1	Q/S多	無		RUP102
125 91	113 6-34-S11	黒色土落ち込み	10.0	3.5	9.5	内外面とも黒褐色	外	1	I	1	Q/S多	無	内面ミガキ	RUP125

種別	報告写真	選標名	出土地点・層位	目録	経緯	面積	備考	二次焼成	底部調整	ミガキ	風化度	胎土・鉱物	骨針	調整	登録番号
125	92-113	6-34-S11	黒色土色(炭多量部)	5.1	5.1	外	外面一部に炭素吸着	内外	2	I	1	Q多	無		RUP113
125	93-113	6-34-S11	E Wベルト埋土2層目 黒色土	11.6	11.9	内	黒斑有	内外	1	0~1	0~1	Q多	少量	内外ミガキ	RUP123
125	94-113	6-34-S11	E Wベルト埋土2層目 黒色土	19.7	21.2	内		内外	1	1	1	Q/S多	無	2	RUP122
125	95-113	6-34-S11	黒色土層	7.4	15.2	外		外				Q多	無		RUP116
125	96	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	12.0	7.3	外		外		II a	0~1	Q/SKW多	無		RUP114
126	97	6-34-S11	E Wベルト埋土1層目 黒褐色土	9.2	9.4	外		外				Q/S多KW少	無		RUP121
126	98	6-34-S11	2層目 暗褐色土	25.2	20.5	内		内外	1	I	0~1	Q/S多	無	2	RUP124
126	99-113	6-34-S11	黒色土最下面一拵	8.6	36.0	内		内外	3	0~1	0~1	Q多	少量	2.5	RUP136
127	100-113	6-34-S11	埋土上部 埋設土器No 1	23.8	53.5	内外	内外面とも炭素吸着	内外	2	木葉	0	Q多	少量		RUP165
128	101-113	8-29-S12	炉南	22.9	34.8	内外		内外	2		0	Q多	無		RUP167
128	102-113	8-29-S12	炉No 1 土器(北側)	18.8	24.5	内外		内外	1		0	Q多	無		RUP169
128	103	8-29-S13	埋設土器No 1の周辺	8.0	31.5	内外		内外	1	I	0	Q多	無		RUP168
128	104-115	8-29-S13	炉No 1 埋設土器No 1	8.3	15.9	内外		内外	1	I b	0	Q多	無		RUP166
128	105-115	8-29-S12	炉 埋土器(北側)	10.0	31.5	内外		内外	1	I b	0	Q/S少	無		RUP170
129	106-115	8-31-S11	埋設土器炉のNo 4	8.8	22.5	外		外	2	I b	0~1	Q/S多	無	2.5	RUP185
129	107-115	8-30	焼土1 埋設土器炉内埋土	11.0	30.6	内外		内外	2	I or II	0~1	Q/S多	無		RUP188
129	108-116	9-30	埋設土器 炉No 1	10.5	27.2	内外		内外	2	I	0~1	Q/S多	無		RUP173
130	109-116	8-31-S12	炉No 3 埋設土器	30.9	30.9	内外		内外	1		0~1	Q多	無		RUP172
130	110-117	8-31-S12	炉No 2 埋設土器No 1	10.5	27.2	内外		内外	1		0~1	Q多	無		RUP263
130	111-117	8-31-S11-P1	埋土	24.2	24.2	外	R I J C O115から移動	外	1		0	Q多	無		RUP174
131	112-117	8-31-S12	炉No 4 埋設土器	7.4	4.3	外		外			0	Q多	少量		RUP171
131	113-117	8-31-S11	貼床面の埋土	11.2	5.4	外	内面炭素吸着	外底面		網II	1	Q中	無		RUP175
131	114-117	8-31-S12	炉No 4 埋設土器	11.0	7.6	内外	網代痕	内外		I	1~2	Q多	無		RUP187
131	115	9-26	炉No 3 北側埋土中	11.3	18.0	内外		内外		I a	1~2	Q多	無		RUP245
131	116-117	8-25-S12		7.4	17.6	内外		内外			2	Q/S多KW少	無		RUP196
131	117-117	10-23	埋設土器No 2 (埋設土器No 1 南隣の炉)	10.0	13.2	外		外			2	Q多	無	2	RUP195
131	118-117	10-23	埋設土器No 1	8.7	35.8	外		外	5	0~1	0~1	Q/S多KW少	無		RUP13
132	119-118	3-30-S1	炉No 2 埋設土器	7.0	26.7	内外	外面は風化度0、内面がいくらか風化	内外	5	0~1	0~1	Q/S多KW少	無		RUP11
132	120-118	3-30-S1	炉No 1 土器No 2	8.6	27.9	内外		内外	1	0~1	0~1	Q/S多	無		RUP8
132	121-118	3-30-S1	炉No 0 外土器	17.9	17.9	外		外	3	I a	0~1	Q多金少	無		RUP17
132	122-118	3-30-S1	土器No 3	8.8	37.1	内外		内外	5		0~1	Q/S多	無	2	RUP12
133	123-119	3-30-S1	炉No 1 土器No 2	6.7	17.0	内外		内外	1	I	0~1	Q/S多	無		RUP9
133	124-119	3-30-S1	炉No 0 内土器	9.0	21.3	内外		内外	1	I	0~1	Q/S多	無	2	RUP15
133	125-119	3-30-S1	炉No 5 土器No 1	9.6	22.5	内外	内外面とも黒褐色	内外	3	II a	0~1	Q/S多	無		RUP16
133	126-119	3-30-S1	土器No 2	7.8	35.9	内外		内外	5		0~1	Q/S多	無	1.5-2	RUP14
134	127-120	3-30-S1	炉No 3 土器No 1	7.1	5.1	内	内外面とも黒褐色	内	5		0~1	Q/S多	無		RUP19
134	128	3-30-S1	床面No7022	4.0	3.5	外	網文風化	外		1	1~2	Q/S多	無		RUP20
134	129-120	3-30-S1-P2	埋土	5.4	6.0	外		外			0~1	Q/S多	無		RUP21
134	130	3-30-S11-PP12-13	埋土	10.7	10.5	内外		内外		II a	0~1	Q多	無		RUP18
134	131-120	3-30-S1	浅凹 炭化層No 3	9.6	39.0	内外		内外	5		0~1	Q/S多	少量		RUP10
135	133-121	5-32-S1	炉No 1 埋設土器	10.2	45.8	内外		内外	5		0~1	Q/S多	無		RUP43
135	134-121	5-32-S1	埋土最上面から15cm 半一拵土器No 5	4.6	18.3	内外	内外面炭素吸着	内外	5	I	1	Q/S/KW多	無		RUP51
135	135-121	5-32-S1	炉No 5	9.5	11.2	内外		内外			0~1	Q多	無		RUP47
136	137-121	5-32-S1	北半埋土最上面より10cm 面一拵土器No 6	13.2	22.5	外		外		I a	0~1	Q/S多	無		RUP46
136	138-122	5-32-S1	炉No 3 埋設土器	9.0	26.4	内外		内外	3		0~1	Q多	無		RUP52

種別	種別	遺構名	出土地点・層位	D径(m)	径(m)	深(m)	備考	二次修成	底部調整	ミガキ	風化度	胎土・磁物	骨針	器面調整	登録番号
136	139	122	5-32-S1		11.0	20.0		内外			0~1	Q/S多	無		RUP144
137	142	121	5-32-S1	25.8	8.2	23.9	内外面炭素吸着	内外	1	I	0	Q/S多金少	少量		RUP145
137	143	122	5-32-S11-PP1		13.4	14.7	内外面一部に炭素吸着	内外			1	Q多	無		RUP214
136	140	122	5-32-S1		10.5	12.1	燃米文	内外			1	Q/S多	無		RUP50
136	141	122	5-31-S1		10.6	12.5	外面の一部に炭化物付着	内外			1	Q/S多	無		RUP42
137	145		5-32-S1		8.8	34.5		外			0	Q多金少	無		RUP49
137	144	122	5-32-S1	22.6	8.8	34.5		内外	1	I a	1	Q/S多	無		RUP138
138	146	123	7-34-S12	19.4	12.0	30.5		外	4		0	Q多	無		RUP139
138	147	123	7-34-S12		10.0	8.5		内外			1~2	Q/S多	無		RUP142
138	148	123	7-34-S12		8.6	6.5	外面に炭素吸着	内外		II a	1~2	Q/S多	無		RUP143
138	149		7-34-S12		9.4	5.7		内外		I	0~1	Q/S多	無		RUP141
138	150	7-34-S12	埋土		6.7	6.5	内面炭素吸着	外		I	1	Q/S多	無		RUP145
138	151	7-34-S12	埋土1層		6.1	9.2		外			1	Q/S多	無		RUP144
138	153	7-34-S12	埋土		12.1	15.0		内外		II b ?	2	Q多	無		RUP146
139	154	123	10-24-S1		8.5	16.4		内外		I	1	Q多	無		RUP189
139	155	123	10-24-S1		7.2	25.2		外		I	1	Q多	無		RUP194
139	156	124	10-24-S1	19.0	11.0	27.9	外部の一部に炭素吸着	内外	1	I a	1	Q多	無		RUP190
139	157	124	10-24-S1		7.4	27.6	外部の一部に炭素吸着	内外		I	1~2	Q多	無		RUP193
140	158	124	10-24-S1		21.0		底面粗砂多	内外	1		1~2	Q多	無		RUP192
140	159	124	10-24-S1		18.5			内外	3		1~2	Q/S多	無		RUP191
140	160	125	6-23-S1	29.8	10.9	12.7	内外面黒褐色	内外	3		1~2	Q多	無		RUP91
141	161	125	2-32区	16.6	9.2	12.7	内外面に炭化物付着		3	I	0~1	Q/S多	無		RUP1
141	162	125	3-28区		10.2	26.4	口縁部付近、底部付近に炭素吸着	外	1	I	0~1	Q/S多	無		RUP6
141	163	125	4-28区		10.8	8.5	口縁部付近、底部付近に炭素吸着	外		I	1~2	Q/S多	無		RUP24
141	164	125	3-30区		15.2	26.3	外底面に木炭痕あり	外			1~2	Q/S多	少量		RUP22
141	165	125	5-26区		13.3	15.0	底部付近内外面に炭素吸着	外			1	Q多	無		RUP88
141	166	126	5-26区		12.8	8.5	外部に炭素吸着	内外		網II ?	0~1	Q/S多	無		RUP86
142	167		5-26区		9.8	16.1		内外	3	II ?	1	Q多	無		RUP85
142	168	126	5-26区		21.8		口縁部の内面に炭素吸着	内外	3		1	Q多	無		RUP87
142	169		6-26区		8.0	23.2	RUP129と接合	外	3		1	Q多	少量		RUP129
142	169	126	6-26区		13.4	31.0	口縁部付近に内外面とも炭素吸着	内外	3		0~1	Q/S多	無		RUP127
142	170	126	6-34区		25.5			内外	2		0~1	Q/S多	無		RUP134
143	171	126	5-27区		9.8	27.6	内外面一部に炭素吸着	外	1		0~1	Q/S多	無		RUP128
143	175	127	6-26区		9.8	27.6		内外	1		0~1	Q/S多	無		RUP131
143	173	127	6-26区		11.4	14.3		外	3		1	Q/S多	無		RUP130
143	174	127	6-24区		9.6	25.5	内外面とも一部に炭素吸着	内外	2		1~2	Q多	少量		RUP222
143	172	127	6-34区		10.5	23.0	内外面とも一部に炭素吸着	内外	2		1~2	Q多	無		RUP133
144	176	127	7-20区		12.6	8.8		内外	3	I	1	Q多	無		RUP148
144	178	128	7-20区		5.0	10.4	内外面に炭素吸着	内			1	Q多	無		RUP150
144	177	128	7-20区		6.4	14.0	RUP156と同一個体	外	3		1	Q多	無		RUP149
144	178	128	7-20区		7.0	15.8	内面下半部に炭素吸着	内外	3	I	1	S少	無		RUP151
144	179	128	7-20区		5.7		RUP157と同一個体	内外	3		1~2	Q多	無		RUP152
144	180	128	7-21区		12.7		炭素吸着痕有	内外	3		1	Q多	無		RUP157
144	181	128	7-22区		10.8	22.9		内外	3		1~2	Q多	無		RUP156
144	182	128	7-20区		7.0			外	3		1	Q多	無		RUP154
145	183	128	7-22区		15.1			内外	1	I	1~2	Q/S多	無		RUP160
145	184	128	7-22区					内外	3		1	Q多	無		RUP155
145	185	128	7-26,7-22-PP9					内	3		1~2	Q多	無		RUP156
145	186	129	7-22区					内外	1		1~2	Q/S多	無		RUP155
145	187	129	7-34-S12					内外	1	I	1~2	Q/S多	無		RUP140

報告写真	遺構名	出土地点・層位	口径(φ)	口径(φ)	口径(φ)	備考	二次焼成	底部調整	ミガキ	風化度	胎土賦物	骨針	器面調整	登録番号
145	188 129	7-2区(8-30区)7-30-P6	16.4	13.0	13.0	内外面黒褐色 口縁部内面に炭化物付着	内外	3		1~2	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP161
146	189 129	7-25区	40.8	34.5	34.5	内外面炭素吸着	内外	1	I	1~2	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP158
146	190 130	7-30区		26.1	26.1	内外面炭素吸着	内外			1	Q多	無	内面ミガキ	RUP162
147	191 130	7-25~26区		14.8	29.8	捺糸→沈線→ミガキ 外底面に網代痕あり	内外				Q多	無	内面ミガキ	RUP159
147	192 130	8-24-P12		12.0	11.0	内外面黒褐色 底部中央内外から穿孔	内外	1	I	1	Q	無	内面ミガキ	RUP244
147	193 130	8-21区		12.6	16.5		外		Ia	1~2	Q/S多	無	RUP176	
148	194 130	8-25区		11.5	14.5		内外			2	Q多	少量	RUP177	
148	195 131	8-25区		13.0	24.8		内外			1	Q多	無	RUP178	
148	196 131	8-25区		27.5	32.2	細文→突帯貼付→一部縄文→ミガキ	内外			0~1	Q多	無	内外ミガキ	RUP179
149	197 131	8-30区		9.1	9.1		内外			1	Q多	無	RUP181	
149	198 131	8-30区		4.1	10.2	底部工具痕有	外			1	S少	少量	RUP182	
149	199 131	8-30区		13.7	16.5	外部一部に炭素吸着	外			1	Q/S多	無	RUP180	
150	201 132	8-31区		11.5	19.1	木葉痕	外		IIa b	0~1	Q/S中金少	無	RUP184	
150	202 132	9-23区		9.1	16.6	底部下位面に炭素吸着	外		IIa	0~1	Q/S多	無	RUP183	
150	203 132	10-24-P2		10.8	10.8	内面風化度2、外面風化度0~1	内外		IIa	1~2	Q/S多	無	RUP186	
151	204 132	10-27区		13.4	14.8		内外		I	1	Q多	無	RUP197	
151	205 132	10-27区		17.1	17.1		外			1	Q中	無	RUP198	
151	206 132	10-27区		10.2	24.3		内外	3		1~2	Q/S多	無	RUP200	
152	207	2-16-P7		24.1	14.8	細文→貼付突帯→沈線→刺突→ミガキ	内外			0~1	Q/S多	無	RUP201	
152	208 132	2-31-P4		21.8	23.9		内外			0~1	Q/S多	無	RUP203	
152	209 133	2-31-P4		17.6	15.4		外	2		0~1	Q/S多	無	RUP202	
152	210 133	3-27区		13.7	19.1	内外面黒褐色	外	1		0~1	Q/S多	無	RUP208	
153	212 133	2-32-P2		5.8	8.3		内外			1	Q多	無	RUP205	
153	213 133	2-32-P2		13.3	5.4	内外面黒褐色	内外	1		0~1	Q/S多	無	RUP204	
153	214 133	3-31-P1		11.8	11.8	内面下部に炭素吸着	内外			1	Q/S多	無	RUP207	
												無	RUP209	
												無	RUP263	
154	216 133	2-32-P2		28.4	21.8	外面黒褐色	内	1		0~1	Q多	少量	内外ミガキ	RUP206
155	217 133	5-28-P4		26.8	18.5	内外面黒褐色	内外	3		0	Q中	無	内外ミガキ	RUP212
155	218 134	5-36-P2		9.7	5.2		内外			2	Q多	無	内外ミガキ	RUP217
155	219 134	5-29-P2		4.3	8.1	内外面黒褐色	内外	4		1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP213
155	220 134	6-25-P6		30.0	14.6	RI017と同一外底部木葉痕 縄文→ミガキ	内外			1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP221
155	221	6-30-P8		8.6	7.0		外		I	1~2	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP224
155	222 134	6-35-P1		11.6	9.5		内外				Q多	無	内外ミガキ	RUP225
155	223 134	6-36-P5		8.4	19.8		内外		I	0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP229
156	224 134	5-26-P21		25.8	34.4	捺糸→沈線→円形刺突→ミガキ	内外			0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP211
156	225 135	5-28-P6		25.3	11.0	縄文→沈線→円形刺突→ミガキ	内外			0~1	Q/S多	無	内外ミガキ	RUP89
156	226 135	5-28-P6		5.2	9.5	内面に炭素吸着	外				Q/金多	無	内外ミガキ	RUP90
156	227 135	7-23-P1		6.2	5.8	内外面に炭化物付着外底面葉痕あり	内外	1			Q多	無	内外ミガキ	RUP230
157	228 135	6-36-P4		37.1	26.2		内外	1			Q/S多	少量	内外ミガキ	RUP228
158	229 136	6-36-P1					内外	1			Q多	無	RUP259	
158	230 136	6-28-P21					内	3			Q多	少量	RUP223	
158	231 136	6-24-P2		19.6	18.4	外面黒褐色 内外面炭素吸着	内			1	Q多	少量	RUP220	
158	232 136	6-36-P1		27.0	28.4	内外面黒褐色 捺糸→沈線	内外			0~1	Q/S多	無	RUP226	
159	233 137	6-22-P2		32.9	15.4	細文→沈線	内外		IIa	1~2	Q/S多	少量	RUP219	
159	234 137	7-23-P3		14.0	16.5	内面に炭化物付着	内外	1		0~1	Q/S多	無	RUP232	
159	235 137	7-30-P6		19.2	19.2		内外	1		1~2	Q/S多	無	RUP236	
159	236 137	7-29-P6		31.0	23.1		内外	5		1~2	Q/S多	無	RUP234	
159	237 137	7-27-P3		8.0	21.7	捺糸→沈線 内面炭素吸着	内外	1		1~2	Q/S多	無	RUP233	

報告番号	遺構名	出土地点・層位	口径(m)	経径(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備考	二次焼成	底面調整	ミガキ	風化度	胎土・磁物	骨針	器面調整	登録番号
160 238	7-31-P7	埋土一括土器	25.7	26.7	26.7	内面に炭素吸着				0	Q多	無	内面ミガキ	RUP237
160 239	138 6-30-P18	埋土		15.5	15.5	器表面に朱で文様を描く				1	Q多	少量	外内ミガキ	RUP235
160 240	138 6-30-P18	底面(埋土最下面)		8.0	4.5					0~1	Q多	無	外内ミガキ	RUP261
160 241	138 6-28-P21	埋土	27.0	16.1	16.1	縄文→突帯→押引刺突	内外			0~1	Q多	無		RUP223
161 242	139 7-31-P3	埋設土器		35.0	35.0	RUP163と同一個体	内外			0~1	Q/S多	無		RUP163
161 242	139 7-31-P3	埋設土器		9.6	6.6	外面炭化物付着	内外		I	1	Q/S多	無		RUP164
161 243	8-28-P2	埋土上部	11.5	3.3	6.5					1	Q多	無		RUP247
161 244	139 8-30-P9	埋土		26.0	2.3				網II	1	Q多	無	内外ミガキ	RUP249
162 245	139 8-19-P9-8-30-P9	埋土中、埋土上部一括土器		18.5	18.5	内面黒褐色 内外面一部に炭素吸着	外	2		1	Q多	無		RUP250
162 246	139 8-27-P2	埋土2層		22.5	22.5		外			1	Q多	無		RUP246
162 247	140 8-28-P6	埋土上部一括土器	21.8	10.8	10.8					1	Q中	無		RUP248
162 248	140 9-23-P3	埋土底面に近い所	23.5	10.5	10.5	内面の一部に炭素吸着		3		1	Q多	無		RUP251
163 249	140 10-25-P5	埋土1層 土器No 1	31.2	28.7	28.7	内外面一部に炭素吸着 捺糸→沈線	内外			1~2	Q多	無		RUP253
163 250	140 10-25-P5	埋土1層 土器No 2		3.8	5.2	細かい縄文 内外面炭素吸着 外底面網代直	内外			1~2	Q多	無		RUP254
163 251	140 10-24-P12	埋土 調整痕有	19.5	22.2	22.2	内外面炭素吸着	内外	1		0~1	Q多	無		RUP255
164 252	141 10-27-P3	埋土2層	26.3	40.8	40.8		内外	2		2	Q/S多	無		RUP256
165 254	141 不明(遺構内)	埋土2層 大土器No 1		27.0	27.0	内面黒褐色	外			1~2	Q/S多	無		RUP258
165 255	142 5-23-S11	貼付埋土		10.6	13.7		外			1~2	Q/S多	無		RUF822
166 256	6-21区	表土	15.1	20.0	6.1	内外面黒褐色 粗砂などほとんど見えず	外			2	Q多	無		ROJP5
166 257	141 2-32区	検出時		6.1	8.5		内外			1~2	Q多	無		ROJP2
166 258	8-5-SD1	埋土	10.0	24.9	8.9	外底面木葉痕あり	内外			1~2	Q多	無		RUP238
166 259	141 8-5-SD1	埋土	19.7	8.2	17.7	内外面一部に炭素吸着 外底面木葉痕あり	内外			1~2	Q多	無		RUP243
166 260	142 8-23区-8-23-P7	検出時、埋土一括土器No 1		7.2	8.0	内外面に炭化物付着	内外			1~2	Q多	無		ROJP8
166 261	142 7-19区	検出面		10.8	10.6	内外面に炭素吸着	内外		I	1	Q多	無		ROJP11
166 262	142 7-37区	検出時	17.5	9.8	6.9	内外面に炭素吸着	内外			1~2	Q/S多	無		ROJP7
166 263	142 10-25区	平安埋土		10.8	10.6	内外面に炭素吸着	内外			0~1	Q多	無		RUP240
166 264	142 8-16区	検出時		9.4	10.6		内外		I	1	Q多	無		ROJP6
166 265	142 6-27区	検出時		30.4	6.3	外面に炭素吸着	内外	3		0~1	Q多	無		ROJP4
166 266	10-25区	平安埋土		9.1	16.5		内外			0~1	Q多	無		RUP242
166 267	5-36-S11	6-36-P1 平安時代の土坑		4.4	20.4		内外			0~1	Q多	無		ROJP3
167 268	8-20-P1の北側	遺構外一括土器	11.2	9.1	9.1	一部反転実測				0~1	Q/S多	無		RUP241
167 269	141 2-32区	検出時		4.1	19.3	台付孔有		3		0~1	Q/S多	無		RUP137
167 270	142 8-20-P1の北側	遺構外一括土器	9.1	4.4	20.4	外底面木葉痕あり 縄文風化				0~1	Q/S多	無		RUF661
167 273	142 3-13-PP1	床面最上層		5.8	7.7	尖底土器				0~1	Q多	無		ROJP9
167 271	142 1-33区	近世検出時		11.0	11.0					0~1	Q多	無		ROJP10
167 272	142 4-25-S11	埋土		6.7	3.1	6.7×3.1×1.9cm 頁岩				0~1	Q多	無		RUP210
167 274	142 7-26-27区	表層粗掘		5.6	7.7	5.2×1.6×0.7cm 頁岩				0~1	Q多	無		
165 275	142 7-27区	検出時												
165 276	143 4-28-P9等	埋土												
165 277	143	表土												
165 278	6-33区	埋土												
165 279	143 8-20-PP1	埋土												

土器観察表の見方についての解説

- (1) 土器表面の色についての略記号  
 褐色→D、浅黄色→A、灰白色→K  
 ・色の場合、褐色は二次焼成の結果を示している
- (2) 胎土中に含まれる鉱物についての略記号  
 石英→Q、粗砂→S、黒雲母→KW  
 金雲母→金

(3) 文様施文パターン

- 1…縄文施文→沈線引→乾燥後ミガキ
  - 2…縄文施文→突帯貼付→乾燥後ミガキ
  - 3…縄文施文→突帯貼付→沈線引→乾燥後ミガキ
  - 4…縄文施文→沈線引→突帯貼付→乾燥後ミガキ
  - 5…縄文施文→沈線引→突帯貼付→乾燥後ミガキ
- (4) 外底面ミガキ  
 I…意図的にみがく

II…何か滑らかな平面の上で土器を制作して

- おり、結果的にみがかれていた場合  
 網土II…網代→ミガキII  
 網土II…網代→粘土付着→ミガキII  
 葉I…木葉→ミガキI  
 葉土I…木葉→粘土付着→ミガキI  
 網I…網代→ミガキI  
 網土I…網代→粘土付着→ミガキI  
 葉II…木葉→ミガキII  
 葉土II…木葉→粘土付着→ミガキII

## 2 土器観察表（拓本分）

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
168		280	3-27-S11炉		大木9			RIJF248
168		281	4-27-S11	埋土	大木9			RIJF713
168		282	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF714
168		283	4-27-S11	埋土	大木9			RIJF715
168		284	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF716
168		285	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF717
168		286	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF718
168		287	4-27-S11	埋土	大木9			RIJF719
168		288	4-27-S11	埋土				RIJF721
168		289	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF722
168		290	4-27-S11	埋土	大木9			RIJF723
168		291	4-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF724
168		292	4-27-S11	埋土	大木9			RIJF725
168		293	4-27-S11-PP2	埋土		擦痕		RIJF733
168		294	4-27-S11-PP4	埋土				RIJF734
168		295	4-28区・4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF735
168		296	4-27-S11-PP4	埋土				RIJF736
168		297	4-27-S11-PP4	埋土		網代		RIJF737
168		298	4-27-S11-PP4	埋土				RIJF738
168		299	4-27-S11-PP4	埋土				RIJF739
168		300	4-27-S11-PP8	床面直上層				RIJF745
168	144	301	4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF4405
168	144	301	4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF4406
168	144	302	4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF4403
168	144	302	4-27-S11-PP4	埋土1層	大湯			RIJF4404
169		303	4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF4402
169		304	4-27-S11-PP4	埋土	大湯			RIJF4407
169		305	5-28-S11	埋土最上部 南半	大湯			RIJF1203
169		306	5-28-S11	埋土最上部 南半	大木9			RIJF1208
169		307	5-28-S11-PP1	埋土最上部より-10cm	大木9			RIJF1211
169		308	5-28-S11	埋土最上部より-10cm	大木9			RIJF1205
169		309	5-28-S11-PP1	埋土最上部より-10cm	大木9			RIJF4300
169	144	310	6-28-S11	埋土	大木8 b			RIJF2475
169		311	6-28-S11-P1	埋土	大木9			RIJF2487
169		312	9-28-S11-P3		大木9			RIJF4082
169		313	6-28-S11-PP6	埋土 2枚目の炭化層直下	大木10 a			RIJF2498
169		314	6-28-S11-PP1	埋土	大木8 b			RIJF2489
169		315	6-28-S11-PP4	埋土	大木10 a 新			RIJF2493
169		316	6-28-S11-PP6	埋土1層	大木10 a 新			RIJF2497
169		317	6-28-S11-P1	埋土	大木8 b			RIJF2488
169		318	9-28-S11-P1	埋土下部				RIJF4073
169		319	9-28-S11-P1	貼床面の埋土	大木8 b			RIJF4074
169		320	9-28-S11-P2	埋土	大木9			RIJF4075
169		321	3-29-S11	周溝埋土	大木8 b			RIJF289
169	144	322	9-28-S11-P3	埋土	大木10 b			RIJF4081
169		323	9-28-S11-P2		大木10 a			RIJF4076
169		324	3-29-炉No1(中)	床面構成(貼床)	大木9			RIJF4256
169	144	325	3-29-S11-P1	周溝埋土	大木9 新			RIJF4253
169	144	326	3-29-S11-P1	周溝埋土	大木9			RIJF4254
169	144	327	3-29-S11-P1	周溝埋土	大木9 新			RIJF4255
169		328	3-29-炉No1	貼床構成層	大木9 新			RIJF302
170	144	329	5-27-S11	埋土	大木10 b			RIJF4291
170	144	330	5-27-S11	埋土	大木10 b			RIJF4292
170	144	331	5-27-S11	埋土				RIJF4293
170		332	5-27-S11炉No1	埋土				RIJF1043
170		333	5-27-S11炉No1	炉内埋土				RIJF1045
170		334	5-27-S11炉No1	埋土	大木9			RIJF1044
170		335	5-27-S11炉No1	炉囲土より下の土	大木10 b			RIJF1040
170		336	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1041
170		337	5-27-S11	埋土	大木8 b			RIJF1042

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
170		338	5-27-S11	埋土				RIJF1046
170		339	5-27-S11	埋土	大木10b			RIJF1050
170		340	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1051
170		341	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1052
170		342	5-27-S11	埋土	大木10b			RIJF1053
170		343	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1054
170		344	5-27-S11	埋土				RIJF1055
170		345	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1057
170		346	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1058
170		347	5-27-S11	埋土最下層部	大木9			RIJF1059
170		348	5-27-S11	埋土上部	大木9			RIJF1060
170		349	5-27-S11	埋土上部	大木9			RIJF1060
170		350	5-27-S11	埋土上部	大木9			RIJF1060
170		351	5-27-S11	埋土		木葉		RIJF1061
170		352	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1063
170		353	5-27-S11	埋土				RIJF1064
170		354	5-27-S11	埋土	大木10a新			RIJF1066
170		355	5-27-S11	埋土	大木10b			RIJF1067
170		356	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1068
170		357	5-27-S11	埋土				RIJF1082
170		358	5-27-S11	埋土	後期初頭			RIJF1074
170		359	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1034
170		360	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1035
170		361	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1071
170		362	5-27-S11	6-36-S11の10YR3/2層	大木9			RIJF1036
170		363	5-27-S11	埋土	大木10a新			RIJF1037
170		364	5-27-S11	貼床埋土	大木10b			RIJF1038
170		365	5-27-S11	埋土				RIJF1073
171		366	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1072
171		367	5-27-S11	埋土				RIJF1078
171		368	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1079
171		369	5-27-S11東西ベルト	埋土	大木10			RIJF1125
171		370	5-27-S11	埋土	大木10a新			RIJF1069
171		371	5-27-S11	埋土	大木10a新			RIJF1080
171		372	5-27-S11	埋土	大木10b			RIJF4288
171		373	5-27-S11東西ベルト	埋土	大木10			RIJF4289
171		374	5-27-S11東西ベルト	埋土	大木9			RIJF1126
171		374	5-27-S11	埋土	大木10b			RIJF1097
171		375	5-27-S11東西ベルト	床面	大木10			RIJF1128
171		376	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1086
171		377	5-27-S11	貼床埋土	大木10b			RIJF1087
171		378	5-27-S11	貼床埋土	大木10a新			RIJF1088
171		379	5-27-S11	埋土	大木10a新			RIJF1089
171		380	5-27-S11	埋土				RIJF1091
171		381	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1100
171		382	5-27-S11	埋土下層	大木9			RIJF1092
171		383	5-27-S11	埋土下層	大木10			RIJF1093
171		385	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1098
171		386	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1099
171		387	5-27-S11	埋土				RIJF1102
171		388	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1104
171		389	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1105
171		390	5-27-S11	埋土				RIJF1106
171		391	5-27-S11	埋土上部	大木10a新			RIJF1107
171		392	5-27-S11	埋土上部	大木10b			RIJF1108
171		393	5-27-S11	埋土	大木9			RIJF1109
171		394	5-27-S11	埋土				RIJF1115
171		395	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1110
171		396	5-27-S11	埋土	大木8b			RIJF1111
171		397	5-27-S11	埋土上層	大木9			RIJF1114
171		398	5-27-S11	埋土中間部	大木9			RIJF1120
171		399	5-27-S11	埋土	大木10			RIJF1120



挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
171		400	5-27-SI1	埋土	大木10			RIJF1121
171		401	5-27-SI1	埋土				RIJF1123
171		402	5-27-SI1東西ベルト	埋土最上面	大木10b			RIJF1129
171		403	5-27-SI1東西ベルト	土器No1	大木10b			RIJF1130
172		404	5-27-SI1東西ベルト	床面	大木10a新			RIJF1131
172		405	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10a			RIJF1132
172		406	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10a新			RIJF1133
172		407	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10a新			RIJF1143
172		408	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10			RIJF1137
172	144	409	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10			RIJF4290
172		410	5-27-SI1東西ベルト	床面	大木10a新			RIJF1139
172		411	5-27-SI1東西ベルト	埋土最上部	大木9			RIJF1145
172		412	5-27-SI1東西ベルト	埋土	大木10b			RIJF1146
172		413	5-27-SI1東西ベルト	埋土最上部	大木10b			RIJF1147
172		414	5-27-SI1東西ベルト	埋土最上部		木葉		RIJF1148
172		415	5-27-SI1-P5	埋土	大木9			RIJF1163
172		416	5-27-SI1-P5	埋土	大木9			RIJF1164
172		417	5-27-SI1-P5	埋土	大木9			RIJF1165
172	144	418	5-27-SI1-P5	埋土	大木9			RIJF4294
172		419	5-27-SI1-PP1	埋土	大木10			RIJF1170
172	144	420	5-27-SI1-PP1	埋土	大木9			RIJF4295
172	144	421	5-27-SI1-PP1		大木10a			RIJF4296
172		422	5-27-SI1-PP2	埋土	大木8b			RIJF1173
172		423	5-27-SI1-PP2	埋土	大木9			RIJF1174
172		424	5-27-SI1-PP2	埋土	大木9			RIJF4297
172	145	425	5-27-SI1-PP2	埋土	大木9			RIJF4298
172		426	5-27-SI1-P1	埋土	大木10a新			RIJF1151
172		427	5-27-SI1-P1	埋土	大木10a新			RIJF1152
172		428	5-27-SI1-P1	埋土	大木9			RIJF1153
172		429	5-27-SI1-P1	埋土	大木9			RIJF1154
172		430	5-27-SI1-P1	埋土	大木10			RIJF1157
172		431	6-26区	埋土	大木10b~			RIJF2301
172		432	6-26区	埋土上部	大木10b~			RIJF2302
172		433	6-26区	埋土	大木10b~			RIJF2304
172		434	6-26区	埋土	大湯			RIJF2305
172		435	6-26区	埋土	大湯			RIJF2306
172		436	6-26区	埋土2層 黑色土層	南境			RIJF2309
172		437	6-26区	土器内2層	大木10			RIJF2291
173		438	6-26区		大木10			RIJF2292
173		439	6-26区	埋土	大木10b~			RIJF2293
173		440	6-26区	埋土				RIJF2294
173		441	6-26区	埋土	大木10a新			RIJF2307
173		442	6-26区	埋土	南境			RIJF2310
173		443	6-26区	埋土	南境			RIJF2311
173		444	6-26区	埋土	大木8b			RIJF2313
173		445	6-26区	埋土	大木10			RIJF2316
173		446	6-26区	埋土上半(混土中)	後期初頭			RIJF2319
173		447	6-26区	埋土	大木10			RIJF2320
173	145	448	6-26区	埋土	大木10a			RIJF2322
173		449	6-26区	埋土				RIJF2297
173		450	6-26区	埋土	大木10b~			RIJF2299
173		451	6-26区	埋土				RIJF2323
173		452	6-26区	埋土	大木10			RIJF2324
173		453	6-26区	埋土	大木8a			RIJF2325
173		454	6-26区	埋土	大木10			RIJF2327
173		455	6-26区	埋土上半(混土中)	大木9			RIJF2328
173		456	6-26区	埋土				RIJF2330
173		457	6-26区	埋土				RIJF2331
173		458	6-26区	埋土	大木10b			RIJF2339
173		459	6-26区	埋土				RIJF2343
173		460	6-26区	埋土	大木10a新			RIJF2345
173		461	6-26区	埋土	大木10a			RIJF2346

棟号	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
173		462	6-26区	埋土	大木9			RIJF2347
173		463	6-26区	埋土	大木10a			RIJF2348
173		464	6-26-S11	埋土上部		網代		RIJF2168
173		465	6-26-S11	埋土	大木9			RIJF2169
173		466	6-26-S11	埋土				RIJF2199
173		467	6-26-S11	埋土上部	大木10b~			RIJF2200
173	145	468	6-26区	埋土		縄文		RIJF2353
173		469	6-26-S1	埋土上部	大木8b			RIJF2201
173		470	6-26-S1	埋土	大木10			RIJF2202
173		471	6-26-S1	埋土	南境			RIJF2148
173		472	6-26-S1	埋土				RIJF2151
173		473	6-26-S1	埋土				RIJF2150
173		474	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2149
173		475	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	大木9			RIJF2183
173		476	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	大木9			RIJF2184
173		477	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2154
173		478	6-26-S1	埋土	?			RIJF2161
173		479	6-26-S1	埋土	堀之内2			RIJF2162
174		480	6-26-S1	埋土	南境			RIJF2164
174		481	6-26-S1	埋土	南境			RIJF2165
174		482	6-26-S1	埋土上半	後期初頭			RIJF2172
174		483	6-26-S1	埋土	大木10a新			RIJF2173
174		484	6-26-S1	埋土上部	大木10b			RIJF2227
174		485	6-26-S1	埋土	大木10			RIJF2156
174		486	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2207
174		487	6-26-S1	埋土	大木10a			RIJF2209
174		488	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部				RIJF2210
174		489	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	大木9			RIJF2212
174		490	6-26-S1	埋土				RIJF2211
174		491	6-26-S1	埋土上半	?			RIJF2213
174	145	492	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	後期前葉			RIJF2214
174		493	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部				RIJF2216
174		494	6-26-S1東西ベルト	床面直上層	大木10			RIJF2239
174		495	6-26-S1	埋土	大木10a新			RIJF2176
174		496	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	南境			RIJF2186
174		497	6-26-S1東西ベルト	埋土		木葉		RIJF2242
174		498	6-26-S1	埋土	後期前葉			RIJF2157
174		499	6-26-S1東西ベルト					RIJF2238
174	145	500	6-26-S1	埋土	大湯			RIJF2158
174		501	6-26-S1東西ベルト					RIJF2240
174		502	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	大木10b			RIJF2187
174		503	6-26-S1	埋土				RIJF2195
174		504	6-26-S1	埋土上部	大木8b			RIJF2219
174		505	6-26-S1	埋土	後期初			RIJF2223
174		506	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2225
174		507	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2226
174		508	6-26-S1	埋土	南境			RIJF2229
174		509	6-26-S1	埋土	大木9			RIJF2230
174		510	6-26-S1	埋土	南境			RIJF2232
174		511	6-26-S1 1層	埋土	大木9			RIJF2179
174		512	6-26-S1	埋土西半	大木10a古			RIJF2180
174		513	6-26-S1	縄文遺構埋土最上部	大木10a新			RIJF2182
174	145	514	6-26-S1	埋土	堀ノ内2			RIJF2234
174		515	6-26-S1周溝	埋土	大木10b~			RIJF2244
174		516	6-26-S1周溝	埋土				RIJF2245
174		517	6-26-S1-PP1	埋土上部一括土器	大木10b			RIJF2249
174		518	6-26-S1-PP2	埋土				RIJF2251
174		519	6-26-S1-PP2	埋土	大木9			RIJF2252
174		520	6-26-S1-PP3	埋土	大木10b			RIJF2255
174		521	6-26-S12	床面直上層	大木9			RIJF2262
175		522	6-26-S12	床面直上層	大木10			RIJF2263
175	145	4100	6-26-S12	床面直上層				RIJF2265

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
175		523	6-26-SI2-P1	床面構成土	大木9			RIJF2270
175		524	6-26-SI2-P3	床面より下の埋土	大木9			RIJF2271
175		525	6-26-SI2-P4	床面より下の埋土	大木9			RIJF2272
175		526	6-26-SI2-PP1	埋土				RIJF2274
175		527	6-26-SI2-PP1	埋土	大木9			RIJF2276
175		528	6-26-SI2-PP2	埋土	大木9			RIJF2259
175		529	6-26-SI2炉No4	埋土	大木10a			RIJF2279
175		530	6-26区	埋土				RIJF2289
175		531	7-36-SI1	埋土上半	大木10a			RIJF3107
175		532	7-36-SI1		大木10			RIJF3110
175		533	5-36-SI13・4	埋土上部	後期最初頭			RIJF1466
175	145	534	5-36-SI13・4	埋土上部		網代		RIJF1698
175		535	5-36-SI13・4	埋土上部	南境			RIJF4415
175		536	5-36-SI13・4	埋土上部				RIJF1473
175		537	5-36-SI13・4	埋土上部	大木10			RIJF1475
175		538	5-36-SI13・4	埋土上部	大木10b			RIJF1487
175		539	5-36-SI13・4	埋土上部	大木10b			RIJF1487
175	145	540	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF4416
175		541	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF4416
176		542	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1489
176		543	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1492
176		544	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1493
176		545	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1495
176		546	5-36-SI13・4	埋土	門前I			RIJF1497
176		547	5-36-SI13・4	東隣の小Pit(6-24-p6)				RIJF1498
176		548	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF4418
176		549	5-36-SI13・4	埋土	南境			RIJF1506
176	145	550	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF4419
177		551	5-36-SI13・4	埋土		網代		RIJF1499
177		552	5-36-SI13・4	床面直上層				RIJF1513
177		553	5-36-SI13・4	床面直上層	大木10b			RIJF1514
177		554	5-36-SI13・4					RIJF1515
177		554	5-36-SI13・4	埋土上部		木葉		RIJF1515
177		555	5-36-SI13・4	埋土上部	大木10			RIJF1517
177		556	5-36-SI13・4					RIJF1519
177		556	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1519
177	147	4104	5-36-SI13・4	埋土10YR2/2色土層(最上層)				RIJF1520
177		557	5-36-SI13・4	埋土	後期初頭			RIJF1522
177		558	5-36-SI13・4	埋土	大木10			RIJF1524
177		559	5-36-SI13・4	埋土2層以下				RIJF1525
177		560	5-36-SI13・4	埋土2層以下	大木10a新			RIJF1527
177		561	5-36-SI13・4	埋土実測図1層				RIJF1528
177		562	5-36-SI13・4	埋土実測図1層	後期最初頭			RIJF1529
177		563	5-36-SI13・4	埋土	大湯			RIJF1530
177		564	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1533
177		565	5-36-SI13・4	埋土	大木9			RIJF1538
177	146	566	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1539
177		567	5-36-SI13・4	埋土	大木10a新			RIJF1540
177		568	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1544
177		569	5-36-SI13・4	埋土中	大木9			RIJF1547
177		570	5-36-SI13・4	埋土中	後期最初頭			RIJF1549
177		571	5-36-SI13・4	床面直上層	大木10b			RIJF1566
177		572	5-36-SI13・4	東側周辺検出時	大湯			RIJF1567
177		573	5-36-SI13・4	検出時	後期最初頭			RIJF1569
177		574	5-36-SI13・4	検出時				RIJF1570
177		575	5-36-SI13・4	褐色土				RIJF1573
178		576	5-36-SI13・4	北東半 3層目		木葉		RIJF1574
178		577	5-36-SI13・4	東半 埋土2層目 黒色土	大木10			RIJF1577
178		578	5-36-SI13・4	東半 埋土1層目 黒色土				RIJF1578
178		579	5-36-SI13・4	埋土最上層	後期最初頭			RIJF1594
178		580	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1598
178		581	5-36-SI13・4	埋土下部				RIJF1600

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
178	146	582	5-36-SI13・4	黒色土直下の3/4 暗褐色土層	大木10			RIJF1601
178		583	5-36-SI13・4	黒色土層下部No6	後期最初頭			RIJF1610
178		584	5-36-SI13・4	埋土最上層	大木10			RIJF1743
178		585	5-36-SI13・4	埋土	大木9			RIJF1744
178		586	5-36-SI13・4	埋土最上層	大木10			RIJF1747
178		587	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1752
178		588	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1754
178		589	5-36-SI13・4	土器内遺物	大木9			RIJF1622
178		590	5-36-SI13・4	埋土下層	大木10a新			RIJF1625
178		591	5-36-SI13・4	埋土上~下部	後期最初頭			RIJF1635
178		592	5-36-SI13・4	埋土上部	大木10b			RIJF1630
178		593	5-36-SI13・4	埋土2、3層	大木10			RIJF1631
178		594	5-36-SI13・4	床面構成層	大木9			RIJF1638
178		595	5-36-SI13・4	柱痕跡				RIJF1649
178		596	5-36-SI13・4	検出時	後期最初頭			RIJF1660
179	146	597	5-36-SI13・4	埋土実測図1層	門前I			RIJF1675
179		598	5-36-SI13・4	埋土上~中部	大木9			RIJF1661
179		599	5-36-SI13・4	10YR3/2色土層	大木10			RIJF1663
179		600	5-36-SI13・4	北半2層目(一部平安Pit埋土)	大木10b			RIJF1682
179		601	5-36-SI13・4	埋土上層				RIJF1552
179		602	5-36-SI13・4	埋土	後期最初頭			RIJF1554
179		603	5-36-SI13・4	床面構成層	後期最初頭			RIJF1559
179		604	5-36-SI13・4	埋土	大木9			RIJF1556
179	146	605	5-36-SI13・4	床面構成層	後期最初頭			RIJF1560
179	146	606	5-36-SI13・4	床層	後期最初頭			RIJF1561
179		607	5-36-SI13・4	床面直上層~床面	後期最初頭			RIJF1562
179		608	5-36-SI13・4	床面直上層~床面	後期最初頭			RIJF1563
179	146	609	5-36-SI13・4	埋土最上層	大木10b			RIJF1588
179	146	610	5-36-SI13・4	埋土最上層	大木8a			RIJF1589
179		611	5-36-SI13・4	埋土上部	後期最初頭			RIJF1687
179		612	5-36-SI13・4	埋土	門前I			RIJF1688
179		613	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1692
179		614	5-36-SI13・4	埋土				RIJF1693
179		615	5-36-SI13・4	埋土上部 黒色土	大木10b			RIJF1694
179	146	616	5-36-SI13・4	黒色土No8		網代		RIJF1704
179		4101	5-36-SI13・4	黒色土最下部No1005				RIJF1709
179		4102	5-36-SI13・4	黒色土最下部No1006				RIJF1711
179		617	5-36-SI13・4	黒色土最下部No1009	大木10b			RIJF1714
179	147	4103	5-36-SI13・4	南北ベルト実測図4層				RIJF1717
179	146	618	5-36-SI13・4	黒色土の下の地山粘土集中層		網代		RIJF1722
179		619	5-36-SI13・4	床面直上層	大木10b			RIJF1737
179		620	5-36-SI13・4南北ベルト	埋土				RIJF1764
179		621	5-36-SI13・4EWベルト	貼床埋土	大木9古			RIJF1766
179		622	5-36-SI13・4EWベルト	埋土	大木9			RIJF1767
179	147	4105	5-36-SI13・4EWベルト	埋土1層 黒褐色土				RIJF1768
179		623	5-36-SI13・4EWベルト	床面直上層と5-25-SI1埋土上部	後期前葉			RIJF1770
179		624	5-36-SI13・4EWベルト	埋土	後期最初頭			RIJF1769
180		625	5-36-SI13・4EWベルト	埋土	大木10			RIJF1771
180		625	5-36-SI13・4EWベルト	埋土	後期最初頭			RIJF1773
180		626	5-36-SI13・4EWベルト(東半)	埋土	後期最初頭?			RIJF4225
180		627	5-36-SI13・4EWベルト	床面構成層	大木10b			RIJF1776
180		628	5-36-SI13・4EWベルト	床面構成層	大木8b			RIJF1775
180	147	630	5-36-SI13・4EWベルト(西半)	床面より上埋土	大木10b			RIJF4422
180		631	5-36-SI13・4EWベルト	床面直上層と5-25-SI1埋土上部	大木10b			RIJF1778
180		632	5-36-SI13・4EWベルト	埋土	後期最初頭			RIJF1777
180		633	5-36-SI13・4	埋土	大木10b			RIJF1782
180		634	5-36-SI11炉2	埋土	大木10a新			RIJF1786
180		635	5-36-SI-P12	埋土		木葉		RIJF1795
180		636	5-36-SI4	埋土	大木8b			RIJF1813
180		637	5-36-SI4	埋土	後期最初頭			RIJF1821
180		638	5-36-SI4	埋土	大木9?			RIJF1809
180		639	5-36-SI4-P1	埋土	後期前葉			RIJF1827

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
180		640	5-36-SI4-P2	埋土	後期前葉			RIJF1830
180		641	5-36-SI4	埋土	門前 I			RIJF1822
180		642	5-36-SI4	埋土				RIJF4226
180		643	6-34-SI 1	埋土	大木 8 b			RIJF2725
180		644	6-34-SI 1	埋土	大木 9 古			RIJF2728
181	147	645	6-34-SI 1	埋土	大木10b			RIJF2729
181		646	6-34-SI 1	埋土	大木9			RIJF4427
181		647	6-34-SI1	埋土	大木10			RIJF2744
181		648	6-34-SI 1	埋土上部				RIJF2732
181		649	6-34-SI1	埋土	大湯			RIJF2734
181		650	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2736
181		651	6-34-SI1	埋土	大木8			RIJF2771
181		652	6-34-SI1	埋土				RIJF2731
181		653	6-34-SI1	埋土	南境			RIJF2810
181		654	6-34-SI1	埋土下半	大木9			RIJF2772
181		655	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2773
181		656	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2596
181		657	6-34-SI1	埋土上半	大木8b			RIJF2811
181		658	6-34-SI1	埋土	大木10			RIJF2574
181		659	6-34-SI1南北ベルト北半	埋土	大木8b			RIJF2802
181		660	6-34-SI1EWベルト	炭化物層	大木8b			RIJF2806
181		661	6-34-SI1EWベルト	埋土	大木8b			RIJF2807
181		662	6-34-SI1	埋土 1層	大木8b			RIJF2746
181	148	663	6-34-SI1	埋土1、2、3、6層	大木9			RIJF2747
181	148	664	6-34-SI1	埋土	大木9			RIJF2750
181	148	665	6-34-SI1	埋土	大木9			RIJF2748
181		666	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2751
181		667	6-34-SI1	周辺検出時	大木10			RIJF2753
181		668	6-34-SI1	埋土	大木10			RIJF2754
181		669	6-34-SI1	埋土上部	大木10b			RIJF2755
182		670	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2592
182		671	6-34-SI1	埋土	大木10b	木葉		RIJF2593
182		672	6-34-SI1	埋土	大木10			RIJF2575
182		673	6-34-SI1	埋土下部	大木10a			RIJF2757
182		674	6-34-SI1	埋土	大木9			RIJF2778
182		675	6-34-SI1	埋土上部	大木10a			RIJF2760
182		676	6-34-SI1	埋土	大木10			RIJF2761
182		677	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2766
182		678	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2782
182		679	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2783
182		680	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2784
182	148	681	6-34-SI1	埋土				RIJF2789
182		682	6-34-SI1	埋土	大木8b			RIJF2787
182	148	683	6-34-SI1	埋土	大木9			RIJF2790
182		684	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2798
182		685	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2791
182		686	5-34-SI1	黒色土層 下部	大木10			RIJF1459
182		687	6-34-SI1	埋土	大木10a新			RIJF2812
183		688	6-34-SI1	埋土8層	大木8b			RIJF2800
183		689	6-34-SI1	埋土	大木8b			RIJF2801
183		690	6-34-SI1EWベルト	埋土	大木10b			RIJF2582
183		691	6-34-SI1EWベルト	埋土最上部	大木10b			RIJF2804
183		692	6-34-SI1EWベルト	埋土	大木10a			RIJF2805
183		693	6-34-SI1EWベルト	埋土3、4層	大木8b			RIJF2803
183		694	6-34-SI1	埋土	大木9			RIJF2741
183		695	6-34-SI1	埋土	大木10a			RIJF2780
183	148	696	6-34-SI1	埋土下部 礫集積部	大木10b			RIJF2743
183		697	6-34-SI1	埋土				RIJF2594
183		698	6-34-SI1炉1	埋土	大木10a			RIJF2827
183		699	6-34-SI1土器炉	埋土	大木9			RIJF2830
183		700	6-34-SI1-P3	埋土	大木10a			RIJF2598
183		701	6-34-SI1-P14	埋土				RIJF2822

挿回	写回	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
183		702	6-34-S11-P16	埋土	大木8b			RIJF2823
183		703	6-34-S11-P9	埋土	大木10b			RIJF2818
183		704	6-34-S11-P11	埋土中部	大木8b			RIJF2820
183		705	6-34-S11-P17	埋土	大木8b			RIJF2824
183		706	6-34-S11-P18	埋土	大木8b			RIJF2826
183		707	8-28-S11	埋土				RIJF3579
183		708	8-29-S1-P2	埋土	後期初頭			RIJF3650
183		709	8-29-S1 1	埋土				RIJF3581
183		710	8-28区、8-28-S11付近	埋土	大木9古			RIJF3594
183	148	711	8-28区、8-28-S11付近	埋土				RIJF3600
183		712	8-29-S11-P1	埋土上部		木葉		RIJF3649
183	148	713	8-29-S12炉No1	埋土	大木10a			RIJF3658
183		714	8-29-S12-PP5	埋土	大木10			RIJF3670
183		715	8-29-S12-PP5	埋土	大木10			RIJF3671
184		716	8-29-S13炉No1	柱跡埋土				RIJF3677
184		717	8-31-S12~4	埋土4層(炭化物含層)	後期前葉			RIJF3816
184		718	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3777
184		719	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3763
184	149	720	8-31-S12~4	埋土上半		木葉		RIJF4374
184	150	4107	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF4373
184		721	8-31-S12~4	S11炉No1を埋める埋土				RIJF3780
184		722	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3787
184		723	8-31-S12~4	埋土上半		木葉		RIJF3790
184	149	724	8-31-S12~4	平安住居床面構成(貼床)				RIJF4375
184	149	725	8-31-S12~4	埋土上半		木葉		RIJF4376
184		726	8-31-S12~4	埋土上半	後期最初頭			RIJF4377
184		727	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3791
184		728	8-31-S12~4	埋土上半	後期初頭			RIJF3800
184		729	8-31-S12~4	埋土上半	後期初頭			RIJF4378
184	149	730	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF4379
184		731	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3813
184		732	8-31-S12~4	埋土上半	早期末			RIJF3815
184	149	733	8-31-S12~4	埋土上半	後期前葉			RIJF4380
184	149	734	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF4381
184	149	735	8-31-S12~4	埋土上半	後期前葉			RIJF4382
184	149	736	8-31-S12~4	埋土上半	大木10b			RIJF4383
184	149	737	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF4386
184	150	738	8-31-S12~4	埋土上半	後期初頭			RIJF4387
184	149	739	8-31-S12~4	埋土上半	大木10b			RIJF4388
184		740	8-31-S12~4	埋土上半	大木10b			RIJF3819
184	149	741	8-31-S12~4	埋土上半	後期前葉			RIJF4385
184	149	742	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF4389
184	149	743	8-31-S12~4	埋土上半		木葉		RIJF4384
184		744	8-31-S12~4	埋土上部1~3層	大木10b	木葉		RIJF3853
184		745	8-31-S12~4	平安住居貼床埋土	後期初頭			RIJF3855
185		746	8-31-S12~4	埋土上半	後期前葉			RIJF3857
185		747	8-31-S12~4	埋土上半				RIJF3859
185		748	8-31-S12~4	埋土上半	大木9			RIJF3862
185	149	749	8-31-S12~4	埋土上部				RIJF4390
185	150	750	8-31-S12~4	埋土上部				RIJF4391
185		751	8-31-S11-P1	埋土	後期初頭			RIJF3908
185		752	8-31-S11-P4	埋土2層	後期初頭			RIJF3918
185	150	753	8-31-S11	平安埋土	大木10			RIJF4392
185	150	754	8-31-S11	平安埋土				RIJF4393
185	150	755	8-31-S11-P2	平安住居床面構成(貼床)	大木10a新			RIJF4394
185	150	756	8-31-S11-P6	埋土	大木10b			RIJF4395
185	150	757	8-31-S12-PP1	埋土				RIJF4396
185		758	8-31-S11	埋土				RIJF4445
185	150	759	8-31-S12炉No3	埋土	大木10b			RIJF4446
185		760	8-31-S12炉No3	埋土	大木10b			RIJF4446
186		761	9-26炉No3	埋土最上面	大木10b			RIJF4024
186		762	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF312

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
186		763	3-30-SI	周辺検出時	大木9			RIJF319
186		764	3-30-SI	埋土南半	大木10b			RIJF324
186		765	3-30-SI	周辺検出時	大木10b			RIJF320
186		766	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF325
186		767	3-30-SI	埋土	大木10a新			RIJF326
186	150	768	3-30-SI	埋土	大木9			RIJF4257
	151	4108	3-30-SI	埋土				RIJF4258
186	150	769	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF4259
186	150	770	3-30-SI	埋土				RIJF4260
186		771	3-30-SI	土器No1埋土	大木10a新			RIJF330
186		772	3-30-SI	土器No2	大木10b			RIJF331
186		773	3-30-SI	埋土				RIJF334
186		774	3-30-SI	埋土	大木10			RIJF335
186		775	3-30-SI	埋土下半	大木10b		RIJF383と同一個体	RIJF339
186		776	3-30-SI	埋土上部	大木10b			RIJF341
186		777	3-30-SI	埋土最下層	南境			RIJF345
186		778	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF346
186		779	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF347
186		780	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF348
186		781	3-30-SI	埋土	大湯			RIJF350
186		782	3-30-SI	埋土上層	大木10b			RIJF351
186		783	3-30-SI	埋土				RIJF356
186		784	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF358
186		785	3-30-SI	埋土	大木10			RIJF361
186		786	3-30-SI	埋土最上部				RIJF363
186		787	3-30-SI	実測図9層				RIJF365
186		788	3-30-SI	埋土				RIJF374
186		789	3-30-SI	埋土上部	大木9			RIJF375
186		790	3-30-SI	埋土	大木10b		RIJF339と同一個体 両面	RIJF383
187		791	3-30-SI	埋土2層				RIJF384
187		792	3-30-SI	土器No1	後期最初頭			RIJF385
187		793	3-30-SI	埋土1層	大木10b			RIJF387
187		794	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF388
187		795	3-30-SI	埋土				RIJF389
187	151	796	3-30-SI	埋土	大木10b			RIJF4261
187		797	3-30-SI	埋土				RIJF4401
187	151	798	3-30-SI	埋土	大木9			RIJF4262
187	151	799	3-30-SI	炉埋土	大木9			RIJF4263
187	151	800	3-30-SI	外土器	大木9			RIJF4264
187		801	3-30-SI	実測図5層	大木8b			RIJF399
187		802	3-30-SI	埋土	大木9			RIJF402
187		803	3-30-SI	埋土	大木9			RIJF410
187		804	3-30-SI	埋土				RIJF406
187		805	3-30-SI	埋土1層	大木8b			RIJF4266
187		806	3-30-SI	埋土	大木9			RIJF411
187		807	3-30-SI	埋土a層	大木9			RIJF413
187		808	3-30-SI	埋土	大木10a新			RIJF417
187		809	3-30-SI1浅いくほみ	埋土	大木9			RIJF421
188	151	810	3-30-SI1浅いくほみ	埋土		網代		RIJF4265
188		811	3-30-SI1	埋土	大木10b			RIJF426
188		812	3-30-SI1炉No1	埋土	大木10b			RIJF428
188		813	3-30-SI1炉No4	埋土	大木10b			RIJF430
188		814	3-30-SI1-P1	埋土	大木10b			RIJF434
188		815	3-30-SI1-P1	埋土	大木10b			RIJF435
188		816	3-30-SI1-P2	埋土	大木10b			RIJF436
188		817	3-30-SI1-P3	埋土	大木9			RIJF437
188		818	3-30-SI1-P4	埋土	大木10			RIJF439
188		819	3-30-SI1-PP1	埋土	大木10a			RIJF441
188	151	820	3-30-SI1-PP3	埋土	大木9			RIJF4267
188	151	821	3-30-SI1-PP3	埋土	大木8b			RIJF4397
188		822	3-30-SI1-PP4	埋土	大木9			RIJF443
	151	4109	3-30-SI1-PP2	埋土				

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
188		823	3-30-SI1-PP6	埋土	大木10b			RIJF448
188	152	824	3-30-SI1-PP5	埋土	大木9			RIJF4268
188		825	3-30-SI1-PP5	埋土	大木9			RIJF446
188		826	3-30-SI1-PP7	埋土	大木8b			RIJF449
188	152	827	3-30-SI1-PP7	埋土	大木10b			RIJF4269
188		828	3-30-SI1-PP7	埋土	大木9			RIJF450
188		829	3-30-SI1-PP11	埋土				RIJF4271
188		830	3-30-SI1-PP7	埋土				RIJF451
188	152	831	3-30-SI1-PP11	埋土	大木10			RIJF4270
188	152	4110	3-30-SI1-PP11	埋土		木葉	底部外面は軽く磨かれる	RIJF4271
188		832	3-30-SI1-PP10	埋土	大木10b			RIJF453
188		833	3-30-SI1-PP12	埋土	大木10			RIJF456
189		834	3-30-SI1-PP12	埋土	大木9?			RIJF457
189		835	3-30-SI1-PP12・PP13	埋土	大木8b			RIJF459
189		836	3-30-SI1-PP13	埋土	大木9			RIJF460
189		837	3-30-SI1-PP15	埋土	大木9			RIJF462
189		838	3-30-SI1-PP18	埋土	大木10b			RIJF463
189		839	3-30-SI1-PP20	埋土	後期最初頭			RIJF464
189		840	3-30-SI1-PP23	埋土				RIJF466
189		841	3-30-SI1-PP26	埋土	大木10a			RIJF467
189		842	5-32-SI	黒色土層				RIJF1361
189		843	5-32-SI	黒色土層	大木8b			RIJF1364
189		844	5-32-SI	黒色土層	大木10a			RIJF1383
189		845	5-32-SI	黒色土層				RIJF1434
189		846	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木8b			RIJF1433
189		847	5-32-SI	黒色土層	大木9			RIJF1407
189		848	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木8a?			RIJF1408
189		849	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木10b			RIJF1439
189		850	5-32-SI	黒色土層	大木10a新			RIJF1409
189		851	5-32-SI	黒色土層				RIJF1446
189	152	852	5-32-SI	周溝埋土10YR3/2	大木9			RIJF1410
189	152	853	5-32-SI	黒色土層	大木10			RIJF4319
189		854	5-32-SI 一括土器No4	黒色土層	大木10b?			RIJF1452
189		855	5-32-SI	黒色土層	大木10a新			RIJF1444
189		856	5-32-SI 一括土器No4	黒色土層	大木10b			RIJF1451
190	152	857	5-32-SI	10YR3/2黒褐色土層	大木9			RIJF4320
190	152	858	5-32-SI	黒色土層				RIJF4321
190		859	5-32-SI 南半	黒色土層	大木10b			RIJF1413
190		860	5-32-SI 南半	黒色土層	大木10b			RIJF1414
190		861	5-32-SI 南半	黒色土層	大木9			RIJF1417
190		862	5-32-SI 南半	黒色土層	大木10b			RIJF1415
190		863	5-32-SI 一括土器No6	黒色土層	大木9			RIJF1419
190		864	5-32-SI 一括土器No6	黒色土層	大木10a新			RIJF1420
190		865	5-32-SI 一括土器No6	黒色土層	大木10			RIJF1421
190		866	5-32-SI 一括土器No6	黒色土層	大木8b			RIJF1422
190		867	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木10			RIJF1423
190		868	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木10b			RIJF1424
190		869	5-32-SI 南半	黒色土層	大木10b			RIJF1425
190		870	5-32-SI 南半	黒色土層	大木10b			RIJF1426
190		871	5-32-SI 南半	黒色土層	大木8b			RIJF1427
190		872	5-32-SI 南半	黒色土層	大木9			RIJF1430
190		873	5-32-SI	10YR3/2色土層壁際	大木10b			RIJF1367
190		874	5-32-SI	黒色土より下の10YR3/2色土	大木10b			RIJF1368
190		875	5-32-SI	黒色土層	大木9			RIJF1392
191		876	5-32-SI	黒色土層				RIJF1393
191		877	5-32-SI	黒色土より下の10YR3/2色土	大木9			RIJF1369
191		878	5-32-SI	上の床面を構成している土10YR3/2層	大木9			RIJF1370
191		879	5-32-SI	黒色土層	大木9			RIJF1394
191		880	5-32-SI	10YR3/2黒褐色土層(黒色土下の層よりすぐ)	大木10a			RIJF1395
191		881	5-32-SI	10YR3/2黒褐色土層				RIJF1396
191		882	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木10b			RIJF1398
191		883	5-32-SI	埋土最上部10YR3/2色土	大木10b			RIJF1398



挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
191		884	5-32-S1	床面直上層(10YR3/2色土)				RIJF4412
191		885	5-32-S1	埋土最上部10YR3/2色土	大木10a新			RIJF4413
191	153	886	5-32-S1	黒色土層	大木10b			RIJF4411
191		887	5-32-S11炉No1	黒色土層	大木10b			RIJF1372
191		888	5-32-S11炉No1	黒色土層	大木10			RIJF1374
191		889	5-32-S11炉No2	黒色土層	大木9			RIJF1375
191		890	5-32-S11炉No2	黒色土層	大木10b			RIJF1376
191		891	5-32-S11炉No1	黒色土層	大木10			RIJF1379
191		892	10-24住居1	埋土				RIJF4155
191		893	6-23-S11		大木9			RIJF1908
191	153	894	6-23-S11	埋土1層	大木9			RIJF1915
191		895	6-23-S11	埋土	大木9			RIJF1910
191		896	6-24-S11	床面直上層	後期最初頭			RIJF1963
191		897	6-24-S11	床面直上層	大木8b			RIJF1962
191		898	6-24-S11	床面直上層	大木9			RIJF1966
192		899	6-24-S11	床面直上層	大木9			RIJF1964
192		900	6-24-S11	床面直上層	大湯			RIJF1967
192		901	6-24-S11	床面直上層	大木9			RIJF1968
192		902	6-24-S11	床面直上層	大木9			RIJF1970
192		903	6-24-S12-PP1	埋土床面直上層	大木9?			RIJF1974
192		904	7-24炉No1	埋土	大木9			RIJF4431
192		905	7-24炉No1	埋土	大木9			RIJF4457
192		906	7-24炉No1	埋土	大木9			RIJF4456
192		907	5-26-S11	埋土3層 床面直上層	大木9			RIJF952
192		908	5-26-S11	埋土3層 床面直上層				RIJF953
192		909	5-26-S11	埋土3層 床面直上層				RIJF954
192		910	5-26-S11	実測図3層		木葉		RIJF955
192		911	5-26-S11炉	実測図3層	大木9			RIJF949
192		912	2-27-S11	埋土	大湯			RIJF36
192		913	2-32埋設土器1の隣	埋土	後期初頭			RIJF97
193		914	2-32埋設土器No1	埋土	大木9			RIJF4400
193	153	915	3-30埋設土器周辺	埋土	大木10b			RIJF4272
193		916	4-28埋設土器No1	埋土	大湯			RIJF759
193		917	5-26埋設土器No5、6、7周辺	実測図3層	大木9			RIJF959
193		918	5-26埋設土器No8	埋土	大木9			RIJF969
193		919	5-26埋設土器No7	実測図4層	大木9			RIJF961
193		920	5-26埋設土器No7	実測図4層	大木9			RIJF962
193		921	5-26埋設土器No7	実測図3層				RIJF963
193		922	5-26埋設土器No4	実測図3層		網代		RIJF956
193		923	5-26埋設土器No8	埋土	後期最初頭			RIJF966
193		924	5-26埋設土器群	実測図5、6層				RIJF970
193		925	5-26埋設土器群	埋土				RIJF971
193		926	5-26埋設土器群	埋土	後期初頭			RIJF972
193		927	6-24粘土入り土器	埋土				RIJF4423
193		928	6-24粘土入り土器	埋土				RIJF4424
193	153	929	6-26埋設土器No3	埋土最上部(地山ブロック集中層)	大木9			RIJF2287
193		930	6-27埋設土器No1	埋土	大木10			RIJF2388
193		931	6-28埋設土器No1	埋土				RIJF2506
193		932	6-28埋設土器No1	埋土	大木10a			RIJF2507
193		933	7-34埋設土器	埋土上半	大木10b			RIJF3105
193		934	6-34埋設土器No1、2、3周辺	埋土	大木10b			RIJF2831
193		935	6-34埋設土器No1、2、3周辺	埋土				RIJF2832
193		936	6-28埋設土器No1	埋土	大木10a新			RIJF2509
194	153	937	8-23埋設土器No1周辺	埋土上部	大木9			RIJF3213
194		938	10-27埋設土器No2	埋土				RIJF4452
194		939	10-27埋設土器No2	埋土				RIJF4451
194		940	1-34-P2	埋土				RIJF9
194		941	1-34-P2	埋土	大木8a?			RIJF10
194		942	1-34-P2	埋土	大木8a?			RIJF11
194		943	2-30-P2	埋土	大木9			RIJF38
194		944	2-31-P4	埋土	大木10b			RIJF48
194		945	2-31-P1	埋土	大木8b			RIJF44

棟号	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
194		946	2-31-P4	埋土		網代		RIJF49
194		947	2-31-P7	埋土	大木9			RIJF52
194		948	2-31-P7	埋土	大木10			RIJF54
194		949	2-32-P1	埋土	大木9			RIJF71
194		950	2-32-P1	埋土上部	後期初頭			RIJF75
194		951	2-32-P1	埋土	大木8b			RIJF72
194		952	2-32-P1	埋土				RIJF76
194		953	2-32-P1	埋土	大木10b			RIJF74
194		954	2-32-P1	埋土	大湯			RIJF77
194		955	2-32-P1	埋土	後期最初頭			RIJF80
195		956	2-32-P1	埋土下部				RIJF81
195		957	2-32-P1	埋土				RIJF82
195		958	2-32-P1	埋土	後期前葉			RIJF83
195		959	2-32-P1	埋土		網代		RIJF84
195		960	2-32-P1	埋土	大木10			RIJF87
195		961	2-32-P4	埋土				RIJF94
195		962	2-32-P2	埋土	大木8b			RIJF88
195		963	2-32-P2	埋土A	大木8b			RIJF4398
195		964	2-32-P1	埋土	大木9			RIJF86
195		965	2-32-P2	埋土	大木8b			RIJF4399
195		966	2-32-P3	埋土	南境			RIJF92
195		967	3-27-P1	埋土	大木9			RIJF240
195		968	3-27-P1	埋土	大木9			RIJF239
195		969	2-32-P4	埋土	大木8b			RIJF93
195	153	970	3-29-P1	埋土	大木9			RIJF4247
195		971	3-29-P2	埋土	大木9			RIJF270
195		972	3-29-P3	埋土		網代		RIJF276
195		973	3-29-P3	埋土	大木9			RIJF277
195		974	3-29-P3	埋土	大木9			RIJF278
195	153	975	3-29-P3	埋土				RIJF4249
195		976	3-29-P3	埋土				RIJF4250
195	153	4113	3-29-P3	埋土				
195		977	3-30-P2	周溝などの埋土	後期最初頭?			RIJF304
195		978	3-30-P2		大木10b			RIJF305
195		979	3-31-P1	埋土	大木10			RIJF468
195		980	3-31-P1	埋土	大木8b			RIJF469
195		981	3-32-P1	埋土上部	大木10			RIJF481
195		982	3-31-P3	埋土	大木10			RIJF471
195		983	3-34-P1	埋土	後期最初頭?			RIJF485
195		984	3-36-P3	埋土	後期前葉?			RIJF498
195		985	3-36-P5	埋土	大木10a			RIJF499
195		986	3-36-P5	埋土	後期前葉?			RIJF500
195		987	3-36-P6	埋土	大湯			RIJF502
195		988						RIJF516
195		989	4-12-P2	埋土		木葉		RIJF518
195		990	4-12-P3	埋土	後期初頭?			RIJF531
196		991	4-12-P3	貼床下の縄文埋土				RIJF538
196		992	4-12-P3	(中央焼土)貼床埋土	大木10			RIJF539
196	153	993	4-12-P3	埋土	後期最初頭?			RIJF4273
196		994	4-12-P4	埋土(特)層				RIJF4274
196		995	4-13-P1	埋土		網代		RIJF551
196		996	4-13-P2	埋土		網代		RIJF552
196		997	4-15-P3	埋土上部	大木9			RIJF597
196		998	4-16-P2	埋土	大木9			RIJF633
196		999	4-16-P9	埋土最上部				RIJF644
196		1000	4-26-P1	埋土最上部				RIJF673
196		1001	4-26-P3	貼床埋土	大木10			RIJF675
196		1002	4-26-P6	貼床埋土	大木10			RIJF678
196		1003	4-26-P7	埋土	大木9			RIJF680
196		1004	4-26-P10	埋土最上部				RIJF682
196		1005	4-26-P10	埋土直上層	大木10			RIJF683
196		1006	4-26-P11	埋土直上層カマド付近				RIJF684

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
196		1007	4-26-P11	床面直上層	大木 9			RIJF685
196		1008	4-27-P1	貼床痕より下の縄文埋土	大湯			RIJF691
196		1009	4-27-P2	床面直上層		木葉		RIJF694
196		1010	4-27-P3	埋土上部		木葉		RIJF700
196		1011	4-27-P6	縄文埋土	大湯			RIJF704
196		1012	4-28-P2	埋土	大木 9			RIJF753
196		1013	4-28-P4	埋土	大湯			RIJF757
196		1014	4-28-P4	埋土	大湯			RIJF755
196		1015	4-29-P1	埋土	大木 9			RIJF761
196		1016	4-29-P2	埋土	大木 9			RIJF763
196		1017	4-29-P2	埋土	大木 9			RIJF764
196		1018	4-27浅いくぼみNo1	埋土	大湯			RIJF748
196		1019	4-29-P2のすぐ北のPit	埋土	大木 9			RIJF762
196	154	1020	4-29-P2	埋土				RIJF4458
196		1021	4-29-P5	埋土	大木 1 0			RIJF767
196		1022	4-29-P4	埋土	大木 9			RIJF766
196		1023	4-29-P6	埋土	大木 9			RIJF768
196		1024	4-29-P8	埋土	大木 9			RIJF769
197		1025	4-29-P8	埋土	大木 1 0 b			RIJF770
197		1026	4-29-P8のすぐ南の P P	埋土				RIJF771
197		1027	4-29-P8	埋土	大湯			RIJF773
197	154	1028	4-29-P8	埋土	前期			RIJF4459
197		1029	4-29-P9	埋土	大木 9			RIJF774
	154	4114	4-29-P9	埋土	早～前期前半			RIJF4460
197	154	1030	4-29-P11	埋土	表裏縄文			RIJF4462
197	154	1031	4-29-P11	埋土	前期			RIJF4461
197	154	1032	4-29-P11	埋土	表裏縄文			RIJF4462
197	154	1033	4-29-P11	埋土	早～前期前半			RIJF4463
	154	4115	4-29-P11	埋土	早～前期前半			RIJF4464
197	154	1034	4-29-P11	埋土	早～前期前半			RIJF4465
197	154	1035	4-29-P11	埋土	早～前期前半			RIJF4466
197	154	1036	4-29-P11	埋土	早～前期前半	RIJF1186と接合		RIJF4467
197	154	1037	4-29-P11	埋土	早～前期前半			RIJF4468
197		1038	4-30-P2	埋土	前期			RIJF778
197		1039	4-30-P2	埋土	大木 9			RIJF779
197		1040	4-30-P2	埋土	大木 9			RIJF780
197		1041	4-31-P2	土器内埋土	大木 8 b			RIJF793
197		1042	4-31-P2	土器内埋土	後期最初頭			RIJF794
197		1043	4-32-P1	周辺埋土				RIJF799
197		1044	5-24-P1	埋土 4 層 (炭化物含層)	南境			RIJF839
197		1045	5-24-P1	埋土	大湯			RIJF840
197		1046	5-24-P7	埋土	大湯			RIJF844
197		1047	5-24-P7	埋土	大湯			RIJF843
197		1048	5-24-P7	埋土	大木 8 b			RIJF845
197		1049	5-24-P8	埋土	大木 9			RIJF848
197		1050	5-25-P2	床面を覆う埋土		木葉		RIJF853
197		1051	5-25-P4	埋土		木葉		RIJF855
197		1052	5-25-P2	床面を覆う埋土	後期前葉			RIJF854
197		1053	5-25-P5	埋土	後期初頭?			RIJF856
197		1054	5-25-P5	埋土	大木 9 ?			RIJF857
197		1055	5-25-P6	埋土最上部	大木 8 b			RIJF859
197		1056	5-25-P7	埋土	後期最初頭			RIJF860
197		1057	5-25-P7	埋土最上部	大木 9			RIJF862
197		1058	5-25-P11・P12	埋土	大木 1 0			RIJF866
197		1059	5-25-P12	埋土				RIJF867
197		1060	5-25-P13	埋土	大木 9			RIJF868
197		1061	5-25-P13	埋土	大木 9			RIJF869
197		1062	5-25-P15	1 層土器片集中区 北半	大木 9			RIJF870
197		1063	5-25-P15	埋土	大木 1 0			RIJF871
197		1064	5-25-P15	1 層土器片集中区 北半	大木 1 0			RIJF872
197		1065	5-25-P17	2 層 (炭化物層)	大木 9			RIJF873
197		1066	5-26-P1	埋土 1 層				RIJF898

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
197		1067	5-26-P1	埋土1～2層	後期最初頭			RIJF897
197		1068	5-26-P1	埋土2層(炭化物層)				RIJF899
198		1069	5-26-P1	埋土2層(炭化物層)		木葉		RIJF896
198		1070	5-26-P1	埋土2層(炭化物層)		網代		RIJF900
198		1071	5-26-P2	床面直上層				RIJF901
198	154	1072	5-26-P3	床面直上層		木葉		RIJF4277
198		1073	5-26-P4	床面直上層	大木10b			RIJF905
198		1074	5-26-P4	床面直上層				RIJF906
198		1075	5-26-P5	床面直上層	後期前葉			RIJF907
198		1076	5-26-P7	床面直上層	大木9			RIJF909
198		1077	5-26-P11	埋土2層(炭化物層)				RIJF912
198		1078	5-26-P5	床面直上層		網代		RIJF908
198		1079	5-26-P21	床面直上層		木葉		RIJF924
198		1080	5-26-P13	埋土3層上面	大木10			RIJF914
198		1081	5-26-P18	床面直上層	大木10			RIJF917
198		1082	5-26-P20	床面直上層	後期最初頭			RIJF920
198		1083	5-26-P20	床面直上層	大木10a		RIJF1186と接合	RIJF922
198		1084	5-26-P21	床面直上層		木葉		RIJF926
198		1085	5-26-P11	埋土2層(炭化物層)				RIJF913
198		1086	5-26-P21	床面直上層	大木10			RIJF923
198		1087	5-26-P21	床面直上層	後期初頭			RIJF927
198		1088	5-26-P23	床面直上層	大木10a新			RIJF930
198		1089	5-26-P24	床面直上層	後期前葉			RIJF931
198		1090	5-27-P1	埋土上部	南境			RIJF982
198		1091	5-26-P29	床面直上層	大木9			RIJF933
198		1092	5-27-P1	実測図7、8層	大木9			RIJF978
198		1093	5-26-P29	床面直上層	大木9			RIJF934
198		1094	5-26-P29	床面直上層	大木9			RIJF932
198		1095	5-27-P1	埋土	大木9			RIJF983
198		1096	5-27-P1	埋土				RIJF976
198	154	1097	5-27-P1	実測図7、8層	大木10a			RIJF4278
198	154	1098	5-26-P2	埋土	大木10a			RIJF4280
198		1099	5-27-P30	床面直上層	大木9			RIJF935
198		1100	5-27-P2	遺構群上部埋土	大木8b			RIJF984
198		1101	5-27-P3	埋土	南境			RIJF986
198	154	1102	5-27-P1	実測図5、6層	後期初頭			RIJF4279
198		1103	5-27-P2	埋土	大木9			RIJF985
199		1104	5-27-P3	縄文遺構埋土最上部	大木8b			RIJF987
199		1105	5-27-P3	周辺埋土				RIJF988
199		1106	5-27-P3	周辺埋土	後期前葉?			RIJF989
199		1107	5-27-P3	周辺埋土	大湯			RIJF991
199	155	1108	5-27-P3	縄文遺構埋土最上部				RIJF4281
199		1109	5-27-P3	埋土				RIJF993
199		1110	5-27-P3	縄文遺構埋土最上部	後期初頭?			RIJF992
199		1111	5-27-P4	埋土	大木9			RIJF994
199		1112	5-27-P4	埋土下部集中土器片	後期前葉			RIJF995
199		1113	5-27-P5	埋土		木葉		RIJF999
199		1114	5-27-P5	埋土	大木9			RIJF1000
199		1115	5-27-P5	埋土				RIJF1002
199		1116	5-27-P5	埋土	大木9			RIJF1005
199		1117	5-27-P6	埋土	大木8b			RIJF1006
199		1118	5-27-P6	埋土				RIJF1007
199		1119	5-27-P7	周溝埋土	大木10a			RIJF1009
199		1120	5-27-P7	周溝埋土	大木9			RIJF1010
199		1121	5-27-P7	周溝埋土	大木9			RIJF1011
199		1122	5-27-P7	周溝埋土	大木10a新			RIJF4282
199		1123	5-27-P8	床面直上層				RIJF4283
199		1124	5-27-P8	埋土	大湯			RIJF1014
199		1125	5-27-P9	埋土				RIJF1017
199		1126	5-27-P9	埋土	大木10			RIJF1019
199	155	1127	5-27-P9	埋土	後期最初頭			RIJF4284
199	155	1128	5-27-P9	埋土		木葉		RIJF4285

種別	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
199		1129	5-27-P11	埋土	大木10			RIJF1020
199		1130	5-27-P12	埋土	大木9			RIJF1022
199		1131	5-27-P12	埋土	大木10a新			RIJF1023
199		1132	5-27-P13・P14	埋土	大木9			RIJF1025
199		1133	5-27-P14	埋土	大木8b			RIJF1026
199		1134	5-27-P17	埋土	大木9			RIJF1029
199		1135	5-28-P1	ベルト埋土1	大木9		RIJF922と接合	RIJF1193
199		1136	5-28-P1	ベルト埋土1	大木10a			RIJF1186
199		1137	5-28-P1	ベルト埋土1	大木10			RIJF1191
199		1138	5-28-P1	ベルト埋土1	後期初頭			RIJF1192
199	155	1139	5-28-P1	ベルト埋土1	大木10a新			RIJF4299
199		1140	5-28-P1	ベルト埋土1	大木9			RIJF1187
199		1141	5-28-P1	ベルト埋土1	大木9			RIJF1188
200		1142	5-28-P2	埋土	大木8b			RIJF1195
200		1143	5-28-P2	ベルト埋土1				RIJF1196
200		1144	5-28-P3	ベルト埋土1	大木9			RIJF1198
200		1145	5-28-P3	ベルト埋土1	大木9			RIJF1199
200		1146	5-28-P4	ベルト埋土1	大木8b			RIJF1201
200		1147	5-28浅いくほみNo1	埋土最上面より-10cm	大木9			RIJF1212
200		1148	5-28浅いくほみNo2	埋土最上面より-10cm	後期前葉?			RIJF1214
200		1149	5-28浅いくほみ	埋土最上面より-10cm				RIJF1216
200		1150	5-28浅いくほみ	埋土最上面より-10cm	後期前葉?			RIJF4301
200	155	1151	5-28浅いくほみ	埋土最上面より-10cm	大木8b			RIJF4302
200		1152	5-29-P1	埋土最上面より-10cm	大木9			RIJF1217
200		1153	5-29-P1	埋土最上面より10~15cmの面	大木10			RIJF1218
200		1154	5-29-P1	埋土最上面より10~15cmの面	大木10			RIJF1219
200		1155	5-29-P1	埋土最上面より10~15cmの面	大木9			RIJF1220
200		1156	5-29-P2	埋土最上面より10~15cmの面	大湯			RIJF1221
200		1157	5-29-P2	埋土最上面より10~15cmの面	大木9			RIJF1225
200		1158	5-29-P3	埋土最上部	大木9			RIJF1227
200		1159	5-29-P3	埋土最上部	大木9			RIJF1228
200		1160	5-29-P6	埋土最上部 北半	大木9			RIJF1234
200		1161	5-29-P5	埋土最上部 北半	大木9			RIJF1230
200		1162	5-29-P5	埋土最上部 北半	大木8b			RIJF1231
200	155	1163	5-29-P5	埋土最上部 北半	繊維			RIJF4469
200		1164	5-29-P7	埋土最上部 北半	大木8b			RIJF1236
200		1165	5-30-P1	埋土	大木9			RIJF1243
200		1166	5-30-P1	土器No 2	大木9			RIJF1244
200		1167	5-30-P1	埋土最上部南半	大木9			RIJF1245
200		1168	5-30-P1	埋土最上部南半				RIJF1246
200		1169	5-30-P1	埋土		網代		RIJF1247
200		1170	5-30-P3	埋土10YR2/2色土層				RIJF1250
200		1171	5-30-P3	埋土10YR2/2色土層	大木8b			RIJF1251
200	155	1172	5-30-P3	埋土10YR2/2色土層	大木9			RIJF4303
200	155	1173	5-30-P3	埋土10YR2/2色土層	大木8b			RIJF4304
200		1174	5-30-P1	埋土最上面から-15cm	大木9			RIJF1249
200		1175	5-30-P4	埋土10YR2/2色土層	大木10			RIJF1252
200		1176	5-30-P6	10YR2/2色土層	大木8b		RIJF1254と接合	RIJF1253
200		1176	5-30-P6	埋土10YR2/2色土層	大木8b		RIJF1253と接合	RIJF1254
200		1177	5-30-P6	埋土10YR2/2色土層	大木8b			RIJF1255
200		1178	5-30-P10	埋土最上部10YR色土層	大木9			RIJF1263
200		1179	5-30-P10	黒色土より下の10YR2/2色土層	大木9			RIJF1275
200		1180	5-30-P10	埋土最上部	大木10			RIJF1269
200		1181	5-30-P8	10YR2/2色土層	大木8b			RIJF1256
200		1182	5-30-P10	埋土最上部	大木10b			RIJF1268
200		1183	5-30-P10	埋土最上部10YR色土層				RIJF1274
201	155	1184	5-30-P10	埋土最上部	大木9			RIJF4305
201		1185	5-30-P11	埋土10YR2/2色土層	大木9			RIJF1276
201		1186	5-30-P11	埋土10YR2/2色土層				RIJF1277
201	155	1187	5-30-P11	埋土10YR2/2色土層	大木9			RIJF4306
201		1188	5-30-P12	埋土10YR2/2色土層	大木9			RIJF1279
201		1189	5-30-P14	埋土10YR2/2色土層				RIJF1280

棟号	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
201	155	1190	5-30-P14	埋土10YR2/2色土層		木葉		RIJF4307
201		1191	5-31-P1・P2	埋土	南境			RIJF1288
201		1192	5-31-P3	10YR2/2色土層	大木9			RIJF4455
201		1193	5-31-P4	10YR2/2色土層	大木10			RIJF1290
201	155	1194	5-32-P4	10YR2/2色土層	大木9?			RIJF4315
201		1195	5-32-P4	10YR2/2色土層				RIJF1300
201		1196	5-32-P1	10YR2/2色土層				RIJF1302
201		1197	5-32-P1	10YR2/2色土層	大木9?			RIJF1303
201		1198	5-32-P1	10YR2/2色土層		網代		RIJF1308
201		1199	5-32-P1	10YR2/2色土層	後期最初頭			RIJF1313
201		1200	5-32-P1	10YR2/2色土層	大木8b			RIJF1316
201		1201	5-32-P1	10YR2/2色土層				RIJF1318
201	156	1202	5-32-P1	10YR2/2色土層	大木10a新			RIJF4308
201	156	1203	5-32-P1	10YR2/2色土層	大木10a新			RIJF4309
	156	4116	5-32-P1	10YR2/2色土層				RIJF4310
201	156	1204	5-32-P1	10YR2/2色土層		笹		RIJF4311
201	156	1205	5-32-P1	10YR2/2色土層	後期最初頭			RIJF4312
201	156	1206	5-32-P1	10YR2/2色土層	後期最初頭			RIJF4313
201	156	1207	5-32-P1	10YR2/2色土層	後期最初頭			RIJF4314
201		1208	5-32-P7	10YR2/2色土層下半	大木9			RIJF1330
201	156	1209	5-32-P7	10YR2/2色土層	大木10			RIJF4316
202		1210	5-32-P9	10YR2/2色土層下半	大木10			RIJF1333
202		1211	5-32-P9	10YR2/2色土層下半	大木10			RIJF1334
202	156	1212	5-32-P9	10YR2/2中の焼土層				RIJF4317
202	156	1213	5-32-P9	10YR2/2中の焼土層	大木10a新			RIJF4318
202		1214	5-32-P9	10YR2/2中の焼土層				RIJF1337
202		1215	5-36-P3	黒色土層 下部	大木10			RIJF1730
202		1216	5-36-P3	中央の黒色土層下半		木葉		RIJF1727
202		1217	5-36-P3	黒色土層 下部	大木8b			RIJF1731
202		1218	6-22-P1	埋土	大木9			RIJF1842
202		1219	6-22-P1	埋土	後期前葉?			RIJF1841
202		1220	6-22-P2	埋土	大木9			RIJF1846
202		1221	6-22-P2	埋土	大木9			RIJF1849
202		1222	6-22-P2	埋土	大木10			RIJF1852
202		1223	6-27-P6	黒色土層	大木9			RIJF2645
202		1224	6-23-P9		大湯			RIJF1866
202		1225	6-23-P8	埋土	大木10			RIJF1864
202		1226	6-23-P10	ベルト1層	後期前葉			RIJF1868
202		1227	6-23-P10	貼床埋土		木葉		RIJF1869
202		1228	6-23-P10	床面の埋土	大湯			RIJF1870
202		1229	6-23-P10	埋土	大湯			RIJF1872
202		1230	6-23-P10	埋土2層	後期前葉			RIJF1874
202		1231	6-23-P10	埋土	大木9			RIJF1875
202	157	1232	6-23-P10	カマド付近床面直上層埋土		網代		RIJF1876
202		1233	6-23-P10	埋土	後期前葉			RIJF1890
202		1234	6-23-P10	埋土	大湯			RIJF1886
202		1235	6-23-P10	ベルト1層	大湯			RIJF1880
202		1236	6-23-P10	貼床面の埋土	後期前葉			RIJF1878
202		1237	6-23-P10	埋土				RIJF1891
202		1238	6-23-P10	埋土	大湯			RIJF1887
202		1239	6-23-P10	埋土	大木9			RIJF1885
202		1240	6-24-P1	埋土	網取2			RIJF1817
203		1241	6-24-P2	埋土上部				RIJF1824
203		1242	6-24-P3	床面直上層埋土上部	大湯			RIJF1829
203		1243	6-24-P3	埋土	後期前葉			RIJF1930
203		1244	6-24-P3	埋土上部		網代		RIJF1931
203		1245	6-24-P3	床面直上層埋土上部				RIJF1935
203		1246	6-24-P9	床面直上層	大木10?			RIJF1946
203		1247	6-24-P5	床面直上層	大湯			RIJF1938
203		1248	6-24-P5	埋土最上部	門前I?			RIJF1939
203		1249	6-24-P5	埋土最上部	南境			RIJF1940
203		1250	6-24-P5	埋土最上部	後期初頭?			RIJF1942

棟号	写号	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
203		1251	6-24-P5	床面直上層	大木 8 b			RIJF1943
203		1252	6-24-P10	埋土	大木 9			RIJF1947
203		1253	6-24-P13	埋土	大木 1 0 b			RIJF1949
203		1254	6-24-P14	埋土	大木 9			RIJF1952
203		1255	6-24-P14	埋土		木葉		RIJF1953
203		1256	6-24-P14	埋土	大木 9 ?			RIJF1954
203		1257	6-25-P4	床面直上層	大湯			RIJF1979
203		1258	6-24-P15	埋土	大木10 a			RIJF1955
203		1259	6-24-P17	埋土上部	大木 8 b			RIJF1961
203		1260	6-25-P6	床面直上層	大木 8 b			RIJF1985
203		1261	6-25-P4・P6	床面直上層	後期前葉			RIJF1981
203		1262	6-25-P4・P6	床面直上層(下部)	大湯			RIJF1982
203		1263	6-25-P5	床面直上層(下部)	大湯			RIJF1983
203		1264	6-25-P5上	床面直上層(下部)				RIJF1984
203		1265	6-25-P8	床面直上層	大木 9			RIJF1991
203		1266	6-26-P1	埋土				RIJF2032
203		1267	6-26-P1	埋土				RIJF2034
203		1268	6-26-P1	埋土上部一括土器	大木 9			RIJF2035
203		1269	6-26-P1	埋土	大木 9			RIJF2036
203		1270	6-26-P1	埋土	大木 1 0			RIJF2038
203		1271	6-26-P2・P3	縄文遺構埋土最上部	大木 9			RIJF2039
203		1272	6-26-P2・P3	縄文遺構埋土最上部	大木 1 0			RIJF2040
203		1273	6-26-P2	縄文埋土上部	大木 1 0			RIJF2042
203		1274	6-26-P4	縄文住居埋土上部	大木 8 b			RIJF2048
203	157	1275	6-26-P5	縄文住居埋土上部	大木 9			RIJF2049
203		1276	6-26-P5	縄文住居埋土上部				RIJF2050
203		1277	6-26-P5	縄文住居埋土上部	大木 9			RIJF2054
203		1278	6-26-P6	縄文住居埋土上部	大木 1 0			RIJF2059
203		1279	6-26-P6	縄文住居埋土上部	大木 9			RIJF2060
203		1280	6-26-P7	縄文住居埋土上部	後期最初頭			RIJF2062
203		1281	6-26-P8	縄文住居埋土上部	大木 9			RIJF2070
204	157	1282	6-26-P10	埋土	堀之内 2			RIJF2073
204		1283	6-26-P10	埋土	後期前葉			RIJF2075
204		1284	6-26-P10	埋土	大湯			RIJF2076
204		1285	6-26-P10	埋土	後期初頭			RIJF2077
204	157	1286	6-26-P10	埋土	後期前葉			RIJF2078
204		1287	6-26-P10	埋土		網代		RIJF2079
204		1288	6-26-P11	埋土	大木 8 b			RIJF2083
204		1289	6-26-P12	埋土	後期最初頭			RIJF2088
204		1290	6-26-P12	埋土	大木 9			RIJF2091
204		1291	6-26-P12	埋土	大木 8 b			RIJF2092
204		1292	6-26-P12	床面直上層最下部	大木 1 0			RIJF2093
204		1293	6-26-P12	床面直上埋土	大木 1 0 a			RIJF2097
204		1294	6-26-P13	埋土	大木 9			RIJF2100
204		1295	6-26-P18		大木 9			RIJF2112
204		1296	6-26-P18		大木 9			RIJF2113
204		1297	6-26-P18	縄文住居跡埋土最上部	大木 9			RIJF2115
204		1298	6-26-P18	住居跡埋土最上部	大木 9			RIJF2117
204		1299	6-26-P19	縄文埋土上部	大木 9			RIJF2118
204		1300	6-26-P19	縄文住居跡埋土最上部	大木 9			RIJF4425
204		1301	6-26-P20	縄文住居埋土上部	大木 1 0 a			RIJF2119
204		1302	6-26-P20	縄文遺構埋土最上部	大木 1 0 b			RIJF2120
204		1303	6-26-P21	縄文遺構埋土最上部	大木 1 0			RIJF2124
204		1304	6-27-P1	埋土 2 層				RIJF2356
204		1305	6-27-P1	埋土 2 層床面含 (床面直上層)	大木 9			RIJF2358
204		1306	6-27-P1	埋土最上部	大木 1 0 a			RIJF2360
204		1307	6-27-P20	縄文遺構埋土最上部	大木 1 0 a			RIJF2122
204		1308	6-27-P2	3 層目 暗褐色土				RIJF2362
204		1309	6-27-P2	埋土 2 層目黒色土	大木 1 0			RIJF2364
204		1311	6-27-P3	焼土部埋土	大木 9			RIJF2371
204		1312	6-27-P3	床面	大木 1 0			RIJF2367
204		1313	6-27-P3	黒色土部 (炭多量部)	大木 9			RIJF2369

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
205		1314	6-27-P5	黒色土層	大木 9			RIJF2377
205		1315	6-27-P7	黒色土層	大木 8 b			RIJF2378
205		1316	6-27-P8	床面上	大木 1 0			RIJF2379
205		1317	6-28-P1	No1014 黒色土最下部	大木 8 b			RIJF2404
205		1318	6-28-P1	埋土	大木 9			RIJF2405
205		1319	6-28-P2	埋土	大木 1 0			RIJF2406
205		1320	6-28-P4	埋土	大木 9			RIJF2409
205		1321	6-28-P4	埋土	大木 9			RIJF2410
205		1322	6-28-P4	埋土	大木 9			RIJF2412
205		1323	6-28-P5	埋土	大木 9			RIJF2413
205		1324	6-28-P5	埋土	大木 8 b			RIJF2415
205		1325	6-28-P6	埋土	南境			RIJF2417
205		1326	6-28-P6	埋土 掘形?	大木 1 0 a			RIJF2418
205		1327	6-28-P6	埋土	大木 1 0			RIJF2421
205		1328	6-28-P6	埋土	大木 1 0			RIJF2422
205		1329	6-28-P9	埋土	後期最初頭			RIJF2428
205		1330	6-28-P11	No1015 黒色土最下部	大木 9			RIJF2432
205		1331	6-28-P11	No1011 黒色土最下部	大木 9			RIJF2434
205	157	1332	6-28-P11	No1016 黒色土最下部	大木 9			RIJF2435
205		1333	6-28-P11	No1015 黒色土最下部	大木 9			RIJF2433
205		1334	6-28-P11	No1017 黒色土最下部	大木 9			RIJF2438
205		1335	6-28-P11	No1015 黒色土最下部	大木 9			RIJF2436
205		1336	6-28-P11	黒色土層最下部	大木 9			RIJF2431
205		1337	6-28-P11	No1017 黒色土最下部	大木 8 b			RIJF2439
205		1338	6-28-P15	埋土	大木 9			RIJF4426
205		1339	6-28-P15	埋土一括土器No1				RIJF2451
205		1340	6-28-P12	埋土	大木 1 0			RIJF2441
205		1341	6-28-P12	埋土最下層	南境			RIJF2442
205		1342	6-28-P14	埋設土器周辺	大木 9			RIJF2449
205		1343	6-28-P12	埋土	大木 1 0 a			RIJF2443
205		1344	6-28-P12	(5-36-S11炉前庭部)		木葉		RIJF2445
206		1345	6-28-P16	周溝	大木 9			RIJF2453
206		1346	6-28-P16	埋土	大木 9			RIJF2454
206		1347	6-28-P16	埋土	大木 8 b			RIJF2455
206		1348	6-28-P16	埋土2層	大木 9			RIJF2456
206		1349	6-28-P17	ほほ床面10YR3/2層	門前 I			RIJF2458
206		1350	6-28-P17	床面構成層	大木 9			RIJF2463
206		1351	6-28-P17	埋土		網代		RIJF2461
206		1352	6-28-P17	埋土	大木 1 0			RIJF2462
206	157	1353	6-28-P17	埋土		笹		RIJF2464
206		1354	6-28-P20	埋土	大木 1 0			RIJF2469
206		1355	6-28-P19	埋土	大木 8 b			RIJF2466
206		1356	6-28フラスコ状Pit	埋土上部	大木 8 b			RIJF2500
206		1357	6-28フラスコ状Pit	埋土7層	大木 8 b			RIJF2502
206		1358	6-28-P20	埋土	大木 9			RIJF2471
206		1359	6-28-P20	埋土	大木 8 b			RIJF2470
206		1360	6-29-P2	埋土	大木 8 b			RIJF2649
206		1361	6-29-P2	検出面(埋土最上部)	大木 1 0 a			RIJF2652
206		1362	6-29-P2	埋土上半部	大木 9			RIJF2653
206		1363	6-29-P2	埋土	大木 9			RIJF2654
206		1364	6-29-P3	埋土上半部	大木 9			RIJF2655
206		1365	6-29-P8	埋土1層	大木 9			RIJF2663
206		1366	6-29-P9	埋土最上層下部	大木 9			RIJF2668
206		1367	6-29-P9	埋土2層上部	大木 9			RIJF2669
206		1368	6-29-P9	埋土1層	大木 9			RIJF2670
206		1369	6-29-P9	埋土1層	大木 9			RIJF2664
206		1370	6-29-P9	埋土1層(10YR3/2色土層)	大木 9			RIJF2666
206		1371	6-29-P9	埋土1層	大木 9			RIJF2667
206		1372	6-30-P3	黒色土層	大木 9			RIJF2675
206		1373	6-30-P3	黒色土層	大木 8 b			RIJF2677
206		1374	6-30-P4	黒色土層	大木 8 b			RIJF2684
206		1375	6-30-P1	黒色土層(炭多量部)	網取 2			RIJF2514



挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
206		1376	6-30-P4	黒色土より上の地山ブロック混在層	大木10			RIJF2681
206		1377	6-30-P4	黒色土層一括				RIJF2682
206		1378	6-30-P4	黒色土より上の地山ブロック混在層	大木9			RIJF2683
206		1379	6-30-P4	黒色土層	南境			RIJF2685
207		1380	6-30-P6	黒色土より上の10YR3/2色土層	大木10a			RIJF2686
207		1381	6-30-P6	黒色土下の10YR3/2色土層	大木9			RIJF2687
207		1382	6-30-P6	黒色土層上部の10YR3/2色土層	大木9			RIJF2688
207		1383	6-30-P6	黒色土下の10YR3/2色土層	大木10a			RIJF2689
207		1384	6-30-P9	10YR3/2色土層	大木8b			RIJF2702
207		1385	6-30-P9	10YR3/2色土層	大木8b			RIJF2526
207		1386	6-30-P7	黒色土下の10YR3/2色土層	大木10			RIJF2690
207		1387	6-30-P7	ベルト埋土1	大木9			RIJF2691
207		1388	6-30-P7	黒色土の下の10YR3/2色土層	大木8b			RIJF4232
207		1389	6-30-P10	黒色土層	後期初頭?			RIJF2533
207		1390	6-30-P10	黒色土層	後期前葉			RIJF2532
207	157	1391	6-30-P10	黒色土層		編代(縄)		RIJF2534
207		1392	6-30-P9	埋土2層目 黒色土	大木10b			RIJF2703
207		1393	6-30-P9	10YR3/2色土層	後期前葉			RIJF2701
207		1394	6-30-P9	10YR3/2色土層				RIJF2698
207	157	4117	6-30-P9	10YR3/2色土層				RIJF2705
207		1395	6-30-P14	黒色土層	後期初頭?			RIJF2538
207		1396	6-31-P3	埋土	大湯			RIJF2544
207		1397	6-31-P5	埋土	後期初頭			RIJF2716
207	157	1398	6-31-P12	埋土	前期			RIJF4470
207		1399	6-34-P1	埋土				RIJF2724
207		1400	6-34-P1	埋土				RIJF4233
207	158	1401	6-34-SI1	埋土	大木10b			RIJF2576
207	157	4118	6-34-SI1	10YR3/2色土層				RIJF2785
207		1402	6-35-P1	埋土	大木8b			RIJF2603
207		1403	6-33-P1	埋土	後期最初頭			RIJF2723
207	158	1404	6-36-P1	埋土上部(床面直上層~床面)	大木10b	木葉		RIJF2612
207		1405	6-36-P1	床面より上の層 厚さ5cm				RIJF2610
207		1406	6-36-P1	埋土最上部	大木10b			RIJF2607
207		1407	6-36-P1	床面より上の層 厚さ10cm	大木10b			RIJF2613
208		1408	6-36-P1	床面より上の層 厚さ5cm	大木10			RIJF2616
208	158	1409	6-36-P1	床面直上層~床面				RIJF4428
208		1410	6-36-P2	床面直上層~床面	大木9			RIJF2621
208		1411	6-36-P4	床面直上P1~床面	大木10			RIJF2625
208		1412	6-36-P4	床面直上P1~床面	大木8b			RIJF2626
208		1413	6-37-P2	床面				RIJF2639
208		1414	6-36-P6	床面直上層P1~床面	10b			RIJF2631
208		1415	6-36-P4	床面直上層~床面				RIJF4429
208		1416	6-36-P4	床面直上層~床面	大木9			RIJF4454
208		1417	7-25-P2	埋土	大木9			RIJF2849
208		1418	7-19-P1	埋土	大木10a新			RIJF2833
208	158	4119	7-22-P1	埋土				RIJF2843
209		1419	7-26-P2	埋土				RIJF4432
209	159	1420	7-26-P8	埋土	大木9			RIJF4433
209	159	1421	7-28-P4	埋土	大湯			RIJF2853
209		1422	7-28-P4	埋土中	大木8b			RIJF2854
209	159	1423	7-28-P4	埋土中				RIJF2855
209	159	1424	7-25-P6	埋土				RIJF4471
209		1425	7-28-P5	埋土	大木10b			RIJF2856
209		1426	7-28-P5	埋土中	大木10			RIJF2860
209		1427	7-28-P5	埋土中	大木10b			RIJF2858
209		1428	7-28-P5	埋土				RIJF2859
209		1429	7-28-P8	埋土	大木8b			RIJF2863
209		1430	7-29-P1	埋土	大木9			RIJF2874
209		1431	7-29-P2	埋土	大木9			RIJF2878
209	160	4120	7-29-P2	埋土				RIJF4241
209		1432	7-29-P3	埋土	大木10			RIJF2880
209		1433	7-29-P5	埋土最上部か?(水洗後不明となる)	大木10a新			RIJF2881

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
		210	1434 7-29-P1	埋土	大木 9			RIJF2875
		210	1435 7-29-P6	埋土最上部	大木 10 b			RIJF2886
		210	1436 7-29-P6	埋土下半	大木 8 b			RIJF2888
		210	1437 7-29-P6	埋土下半部	大木 9			RIJF2889
		210	1438 7-30-P1	埋土	南境			RIJF2909
		210	1439 7-30-P1	埋土	大木 8 b			RIJF2910
		210	1440 7-30-P4	埋土	後期最初頭			RIJF2916
		210	1441 7-29-P13	埋土	大木 10 b			RIJF2894
	160	210	1442 7-29-P13	埋土				RIJF2895
		210	1443 7-30-P5	埋土	大木 9			RIJF2918
		210	1444 7-30-P5	埋土	大木 9			RIJF2919
		210	1445 7-30-P5	埋土	大木 8 b			RIJF2921
		210	1446 7-30-P7	検出時	大木 9			RIJF2924
		210	1447 7-30-P7	埋土	大木 8 b			RIJF2923
		210	1448 7-30-P8	縄文埋土	後期前葉			RIJF2926
		210	1449 7-30-P8	埋土				RIJF2927
	160	210	4121 7-30-P8	埋土				RIJF4242
		210	1450 7-30-P5	埋土	大木 8 b			RIJF2920
		210	1454 7-30焼土1	埋土	大木 10			RIJF2948
		210	1455 7-31-P3・P6	埋土	大木 8 b			RIJF2968
		210	1456 7-31-P3	埋土	後期初頭			RIJF2960
		210	1457 7-31-P3	埋土	後期初頭			RIJF2962
		210	1458 7-31-P3	埋土				RIJF2963
		210	1459 7-31-P5	埋土		網代		RIJF2973
	160	210	1460 7-31-P3	埋土下半	門前 I			RIJF2964
		210	1461 7-31-P6	埋土				RIJF2975
		210	1462 8-19-P2	埋土	大木 8 b			RIJF3131
		210	1463 7-31-P9	埋土	大木 10			RIJF2980
		210	1464 7-31-P11	埋土下半	大木 10			RIJF2981
		211	1465 8-20-P1	埋土	大木 8 b			RIJF3149
		211	1466 8-21-P6	埋土				RIJF3169
		211	1467 8-21-P6	埋土	大木 9			RIJF3170
		211	1468 8-21-P6	埋土	大木 9			RIJF3171
	160	211	1469 8-22-P5	埋土	南境			RIJF3186
		211	1470 8-23-P2	埋土	大木 8 b			RIJF3192
		211	1471 8-23-P5・P6	縄文埋土(小柱穴類)	後期最初頭			RIJF3198
		211	1472 8-23-P6	埋土	大木 8 b			RIJF3204
		211	1473 8-23-P5	遺構?No1	大木 9			RIJF3199
		211	1474 8-23-P5	複数遺構埋土最上部				RIJF3201
		211	1475 8-23-P5	遺構?No1	大木 10			RIJF4322
		211	1476 8-23-P6	埋土	大木 10 a			RIJF3206
		211	1477 8-23-P6	埋土	大木 8 b			RIJF3207
		211	1478 8-23-P8	埋土	大木 8 b			RIJF3211
		211	1479 8-24-P2	埋土	大木 8 b			RIJF3216
		211	1480 8-24-P2	埋土上半部	大木 10 a			RIJF3220
		211	1481 8-24-P2	埋土	大木 9			RIJF4323
		211	1482 8-24-P4・P5・P6	隣の浅い凹地(平安)	後期前葉			RIJF3237
		211	1483 8-24-P4	床面構成土	大木 8 b			RIJF3223
		211	1484 8-24-P4	埋土上半部	大木 9			RIJF3224
		211	1485 8-24-P4	埋土上半部	大木 9			RIJF3228
		211	1486 8-24-P4	埋土上半(床面より上の層)	大木 10 a			RIJF3229
		212	1487 8-24-P4	貼床埋土	大木 9			RIJF4324
		212	1488 8-24-P6	埋土	大木 10 a			RIJF3248
		212	1489 8-24-P6	埋土	大木 9			RIJF4325
		212	1490 8-24-P6	埋土	後期前葉?			RIJF4326
	161	212	1491 8-24-P7	埋土	大木 8 b			RIJF4328
		212	1492 8-24-P7	埋土	後期前葉			RIJF3249
		212	1493 8-24-P7	埋土	大木 9			RIJF3250
		212	1494 8-24-P7	埋土	大湯			RIJF3253
		212	1495 8-24-P7	埋土	大木 9			RIJF4327
		212	1496 8-24-P7	埋土	大木 9			RIJF3256
		212	1497 8-24-P8	埋土上半部	大木 9			RIJF3261

種図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
212		1498	8-24-P8	埋土 床面より下	大木9			RIJF3263
212	161	1499	8-24-P8	埋土				RIJF4329
212	161	1500	8-24-P8	埋土 床面より下	大木9			RIJF4330
212		1501	8-24-P8	埋土上半	大木9			RIJF4438
212		1502	8-24-P9	埋土				RIJF3274
212		1503	8-24-P9	埋土	後期前葉			RIJF3277
212	161	1504	8-24-P9	床直上層	後期前葉			RIJF4331
212	161	1505	8-24-P9	埋土				RIJF4332
212	161	1506	8-24-P9	埋土	後期前葉			RIJF4333
212	161	1507	8-24-P9	埋土	後期前葉			RIJF4334
212	161	1508	8-24-P9	埋土	後期前葉			RIJF4335
212		1509	8-24-P11	埋土	後期前葉			RIJF3280
212		1510	8-24-P11	埋土	後期最初頭			RIJF3281
212		1511	8-24-P11	埋土		木葉		RIJF4246
212		1512	8-24-P11	埋土	大木9			RIJF3282
212	161	1513	8-24-P11	埋土	後期前葉			RIJF4336
212	161	1514	8-24-P11	埋土	後期初頭			RIJF4337
212	161	1515	8-24-P11	埋土		網代		RIJF4338
212		1516	8-24-P11	埋土				RIJF4339
212		1517	8-25-P1	床面直上層～上半部	大湯			RIJF3300
212		1518	8-25-P1	埋土 床面直上層	大湯			RIJF3301
212		1519	8-25-P1	床面直上層上半部	大湯			RIJF3302
212		1520	8-25-P1	床面直上層上半	大湯			RIJF3303
212	161	1521	8-25-P1	床面上層上半	大木9			RIJF4342
212	161	1522	8-25-P5	床面埋土	後期前葉			RIJF4343
212	161	1523	8-25-P5	床面埋土				RIJF4344
212		1524	8-26-P1	埋土下半?	大木10b			RIJF3434
212		1525	8-26-P1	埋土下半?	後期最初頭			RIJF3440
212		1526	8-26-P1	埋土下半?	大木9			RIJF3441
212		1527	8-26-P1	埋土下半?	大木9			RIJF3458
212		1528	8-26-P1	埋土下半?				RIJF3454
212		1529	8-26-P1	床面直上層～床面直上(4cm以内)	大木10b			RIJF3659
213	162	1530	8-26-P1	埋土下半?	大木9			RIJF4356
213	162	1531	8-26-P1	埋土下半?	大木8b			RIJF4357
213	162	1532	8-26-P1	埋土下半?	大木9?			RIJF4358
213	162	1533	8-26-P1	埋土下半?	大木9			RIJF4364
213	162	1534	8-26-P1	埋土上部(火山灰)	後期最初頭			RIJF4359
213	162	1535	8-26-P1	埋土上部(火山灰)	後期最初頭			RIJF4360
213	162	1536	8-26-P1	埋土上半	大木9			RIJF4362
	162	4122	8-26-P1	埋土				RIJF4363
213	162	1537	8-26-P1	埋土最上部	大木10b			RIJF4361
213		1538	7-26区,8-26-P1	埋土	大木9			RIJF4442
213		1539	7-26区,8-26-P1	埋土	大木9			RIJF4442
213		1540	8-26-P2	埋土床面直上層～床面	大木10b			RIJF3461
213		1541	8-26-P9	床面内	大木9			RIJF3483
213	162	1542	8-26-P4	縄文住居埋土上部		木葉		RIJF4365
213	162	1543	8-26-P9	縄文住居埋土上部	大木9			RIJF4366
213		1544	8-27-P1	床面	後期前葉			RIJF3498
213		1545	8-27-P1	貼床面埋土	後期初頭			RIJF3499
213		1546	8-27-P1	貼床面埋土		網代		RIJF3500
213		1547	8-27-P5	貼床面埋土	後期初頭			RIJF3504
213		1548	8-27-P5	貼床面埋土	後期初頭			RIJF3505
213	162	1549	8-27-P8	貼床面埋土	後期初頭			RIJF3509
213	162	1550	8-27-P8	貼床面埋土	大木10			ROKF4367
213		1551	7-30焼土1	埋土下半	大木8b			RIJF2939
213		1551	8-27-P14	貼床面埋土	大木10a新			RIJF3520
213		1552	7-30焼土1	埋土		網代		RIJF2942
213		1552	8-27-P12	貼床面埋土	大木10			RIJF3515
214		1553	7-30焼土1	埋土	大木10			RIJF2945
214		1553	8-28-P5	埋土	大木10a			RIJF3564
214		1554	8-28-P8	埋土	大木10a			RIJF3565
214		1555	8-28-P10	埋土	大木9			RIJF3570

棟号	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
214	162	1556	8-29-P1	埋土	大木10			RIJF3601
214		1557	8-29-P4	埋土西半	大木8b			RIJF3607
214		1558	8-30-P1	埋土3層	後期初頭			RIJF3687
214	163	1559	8-30-P4	埋土				RIJF4368
214		1560	8-30-P9	埋土最上部	大木9			RIJF3701
214		1561	8-31-P1	埋土		網代		RIJF3731
214	163	1562	8-31-P3	埋土	後期最初頭			RIJF4370
214	163	1563	8-31-P3	埋土	大木10a			RIJF4371
214		1564	8-31-P5	埋土	大木8b			RIJF3740
214		1565	8-31-P5	埋土	大木10b			RIJF3739
214		1566	8-31-P6	埋土	大木9?			RIJF3741
214		1567	8-31-P9	埋土	大湯			RIJF3747
214		1568	8-31-P12	埋土	後期最初頭			RIJF3751
214		1569	8-31-P12	埋土	大湯			RIJF3752
214		1570	8-31-P12	埋土				RIJF4372
214		1571	9-23-P1	埋土	大木10a			RIJF3959
214		1572	9-23-P3	埋土		木葉		RIJF3971
214	163	1573	9-23-P3	埋土				RIJF3972
214		1574	9-24-P10	埋土				RIJF3998
214		1575	9-23-P5	埋土	大木9			RIJF3973
214		1576	9-24-P2	埋土	大木8b			RIJF3980
214		1577	9-24-P8	埋土(下半?)		木葉		RIJF3991
214		1578	9-24-P9	埋土(下半?)	大木9			RIJF3993
215		1579	9-25-P3	埋土床面直上層~床面	大木8b			RIJF4001
215		1580	9-26-P6	貼床面埋土	大木10b			RIJF4447
215		1581	9-27-P1	埋土最上層10YR3/2黒褐色土	大木9			RIJF4029
215		1582	9-27-P1	埋土	後期前葉			RIJF4033
215		1583	9-27-P7	10YR2/2色土層	大木8b	RIJF4422と接合		RIJF4038
215		1584	9-27-P7	暗褐色土2層目	大木8b	RIJF4421と接合		RIJF4039
215		1585	9-28-P1	西床	大木8b			RIJF4047
215		1586	9-28-P3	北端埋土				RIJF4050
215		1587	9-28-P3	埋土上部30cm	大木9			RIJF4051
215		1588	9-28-S11を切る東南Pit	埋土	大木10a			RIJF4078
215		1589	9-30-P1	埋土	大木9			RIJF4093
215		1590	9-30-P2	埋土				RIJF4099
215		1591	10-22-P1	埋土	大木9			RIJF4105
215		1592	10-22-P2	埋土	後期初頭			RIJF4106
215		1593	10-24-P2		大木10b			RIJF4116
215		1594	10-24-P5	埋土	大木9			RIJF4120
215		1595	10-24-P6	埋土	大木10			RIJF4123
215		1596	10-26-P2	周辺検出時	大木10			RIJF4165
215		1597	10-26-P3	埋土	大木9			RIJF4167
215		1598	10-26-P2	埋土最上部	大木10b			RIJF4448
215		1599	10-26-P5	埋土(柱痕跡周囲)				RIJF4449
215		1600	11-23-P1	埋土	大湯			RIJF4190
215		1601	13-4-P2	埋土	大木10b?			RIJF4203
216		1602	1-34区,1-34-PP4	埋土	大木9			RIJF17
216		1603	2-30-PP1・PP5	埋土	大木9			RIJF40
216		1604	2-31-PP1	埋土	後期前葉			RIJF55
216		1605	2-31-PP2	埋土	大木10			RIJF56
216		1606	2-31-PP2	埋土	後期初頭			RIJF57
216		1607	2-31-PP3	埋土	大木9			RIJF60
216		1608	2-31-PP5	埋土	大木9			RIJF64
216		1609	2-31-PP5	埋土	大木8b			RIJF66
216		1610	2-31-PP7	埋土	大木9			RIJF69
216		1611	2-32-PP6	埋土	後期初頭			RIJF96
216		1612	2-33-PP1	埋土	大木9			RIJF100
216		1613	2-31-PP5	埋土	大木10			RIJF62
216		1614	2-33-PP3	埋土	大木9			RIJF108
216		1615	2-33-PP4	埋土	大木9			RIJF109
216		1616	2-33-PP5	埋土	大木10b			RIJF113
216		1617	2-33-PP9	埋土	大木10b			RIJF114

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
216		1618	2-33-PP10	埋土	門前I			RIJF115
216		1619	2-33-PP16	埋土	大木10			RIJF117
216		1620	3-13-PP6	埋土				RIJF139
216		1621	2-34-PP2	埋土	大湯			RIJF126
216		1622	3-13-PP12	埋土				RIJF146
216		1623	3-13-PP13	埋土	後期初頭			RIJF147
216		1624	3-14-PP16	埋土	大木9			RIJF165
216		1625	3-13-PP18	埋土	大木9			RIJF149
216		1626	3-13-PP20	縄文埋土				RIJF150
216		1627	3-15-PP28	埋土	大木9			RIJF202
216		1628	3-15-PP28	最東炉埋土	大木9			RIJF201
216		1629	3-14-PP23	埋土				RIJF167
216		1630	3-15-PP9	埋土炭化物層	大木9			RIJF190
216		1631	3-14-PP28	埋土2層				RIJF173
216		1632	3-14-PP30	埋土2層	大木9			RIJF175
216		1633	3-14-PP30	埋土				RIJF176
216		1634	3-15-PP10	周溝埋土	大木9			RIJF192
216		1635	3-14-PP7	埋土				RIJF158
216		1636	3-15-PP3	埋土上部10YR3/2	大木9			RIJF183
216		1637	3-15-PP22	埋土	大木9			RIJF197
217		1638	3-16-PP3	埋土上部	大木8b			RIJF211
217		1639	3-16-PP12	埋土最上部				RIJF218
217		1640	3-16-PP12	埋土最上部				RIJF219
217		1641	3-16-PP12	埋土最上部	大木9			RIJF223
217		1642	3-16-PP13	埋土最上部	大木8b			RIJF224
217		1643	3-16-PP18	埋土最上部	大木9			RIJF229
217		1644	3-16-PP19	埋土最上部	南境			RIJF232
217		1645	3-16-PP23	埋土上部	大木9			RIJF234
217		1646	3-16-PP29	埋土上部	大木9			RIJF238
217	163	1647	3-29-PP1	床面	大木8b			RIJF4251
217	163	1648	3-29-PP1	床面直上層				RIJF4252
217		1649	3-29-PP2	床面構成層	大木9			RIJF281
217		1650	3-29-PP3	周溝埋土	大木9			RIJF282
217		1651	3-29-PP10・PP11	床面構成層				RIJF288
217		1652	3-31-PP4	埋土	後期初頭			RIJF475
217		1653	3-31-PP6	埋土	後期初頭			RIJF477
217		1654	3-31-PP8	埋土	大木9			RIJF478
217		1655	3-34-PP2	埋土	大木10b			RIJF487
217		1656	4-13-PP9	埋土				RIJF557
217		1657	4-13-PP9	埋土	後期前葉			RIJF558
217		1658	4-13-PP17	埋土2~4層	大木9			RIJF564
217		1659	4-13-PP28	埋土2~4層	大木9			RIJF567
217		1660	4-14-PP6	埋土				RIJF574
217		1661	4-14-PP5	埋土上部	大木9			RIJF572
217		1662	4-14-PP9	埋土上部	大木9			RIJF576
217		1663	4-14-PP17	床面直上層	大木9			RIJF582
217		1664	4-14-PP23	床面直上層	大木9			RIJF585
217		1665	4-14-PP25b	床面直上層	後期前葉			RIJF589
217		1666	4-14-PP37	埋土	後期最初頭			RIJF594
217		1667	4-15-PP24	埋土	大木9			RIJF612
217		1668	4-15-PP25	埋土				RIJF614
217		1669	4-26-PP4	埋土				RIJF688
217		1670	4-15-PP27	埋土	後期前葉			RIJF616
217		1671	4-15-PP26	埋土	大木9			RIJF615
217		1672	4-15-PP1	埋土2層以下				RIJF600
218		1673	4-15-PP37	埋土No1大土器片(埋設土器のもの)	大木9			RIJF622
218		1674	4-15-PP39		大木9			RIJF627
218		1675	4-27-PP8	埋土				RIJF708
218		1676	4-29-PP2	埋土	大木9			RIJF777
218		1677	4-30-PP2	埋土	大木9			RIJF785
218		1678	4-30-PP2	埋土				RIJF787
218		1679	4-32-PP8	埋土2層	大木9			RIJF806

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
218		1680	4-35-PP1	埋土1、2層	後期初頭			RIJF808
218		1681	5-25-PP1	炭化物多量層	後期初頭			RIJF878
218		1682	5-25-PP1	炭化物多量層	南境			RIJF4408
218		1683	5-25-PP1	炭化物多量層	南境			RIJF4408
218		1684	5-25-PP1	炭化物多量層	南境			RIJF4408
218		1685	5-25-PP2	炭化物多量層				RIJF879
218		1686	5-25-PP5	床面直上層	大木9			RIJF881
218		1687	5-25-PP6	床面直上層	大木9?			RIJF882
218		1688	5-25-PP7	床面直上層	大木9			RIJF883
218		1689	5-25-PP11	炭化物多量層	大木9			RIJF884
218		1690	5-25-PP12	炭化物多量層	大木9			RIJF885
218		1691	5-26-PP1	床面直上層				RIJF938
218		1692	5-26-PP2	床面直上層	大木9			RIJF939
218		1693	5-26-PP3	床面直上層	大木8b			RIJF942
218		1694	5-26-PP4	床面直上層	大木9			RIJF944
218		1695	5-26-PP10	床面直上層	大木9?			RIJF948
218		1696	5-27-PP2	埋土	大木9			RIJF1031
218		1697	5-27-PP3	埋土	大木9			RIJF1032
218		1698	5-31-PP7	10YR2/2色土層	大木9			RIJF1296
218		1699	5-31-PP9	10YR2/2色土層	大木10			RIJF1297
218		1700	5-32-PP3	埋土最上層10YR2/2	後期前葉?			RIJF1339
218	163	1701	5-27-PP3	埋土	後期初頭			RIJF4287
218	163	1702	5-27-PP3	埋土	後期初頭			RIJF4286
218		1703	5-29-PP1	埋土最上部から-10cmの面	後期前葉			RIJF1239
218		1704	5-32-PP3	埋土最上層10YR2/2	大木10a			RIJF1340
218		1705	5-32-PP2	埋土最上層10YR2/2	大木9			RIJF1338
218		1706	5-32-PP6	10YR3/2色土層(10YR2/2色土より下の層)	大木9			RIJF1343
219		1707	5-32-PP6	10YR3/2色土層	大木8b			RIJF1344
219		1708	5-32-PP7	10YR3/2色土層				RIJF1346
219		1709	5-32-PP7	床面直上層(10YR3/2色土)	大木9			RIJF1348
219		1710	5-32-PP20	埋土最上層10YR2/2	大木9			RIJF1352
219		1711	5-32-PP26	埋土最上層10YR2/2	大木9			RIJF1354
219		1712	5-32-PP27	埋土最上層10YR2/2	後期前葉			RIJF1355
219		1713	5-32-PP37	10YR3/2色土層	大木9			RIJF1360
219		1714	6-23-PP1	埋土	大木9			RIJF1899
219		1715	6-23-PP1	埋土				RIJF1901
219		1716	6-23-PP2	埋土	大木10			RIJF1902
219		1717	6-25-PP10	埋土上部	大木10			RIJF1997
219		1718	6-25-PP13	床面直上層	大木9			RIJF1999
219		1719	6-26-PP7	縄文住居埋土	大木9			RIJF2136
219		1720	6-26-PPP(PP9?)	縄文住居埋土	大木10a			RIJF2138
219		1721	6-27-PP1	黒色土層上部の10YR3/2色土層	大木9			RIJF2380
219		1722	6-27-PP1	床面直上層	大木10a			RIJF2382
219		1723	6-27-PP2	埋土上部	大木10b			RIJF2384
219		1724	6-27-PP2	埋土上部	大木10a			RIJF2385
219		1725	6-30-PP1	埋土1層中 黒褐色土	後期前葉			RIJF2707
219		1726	6-31-PP2	埋土	大湯			RIJF2719
219		1727	6-31-PP9-PP8	埋土	大木8b			RIJF2720
219		1728	7-19-PP8	床面構成層	後期前葉?			RIJF2838
219		1729	7-24-PP5	埋土				RIJF2847
219	163	1730	7-27-PP11	埋土	大木9			RIJF2852
219		1731	7-29-PP11	埋土	大木10			RIJF2905
219		1732	7-31-PP14	埋土	大木10			RIJF2987
219		1733	7-32-PP1	埋土1、2層	大木10			RIJF2990
219		1734	8-19-PP13	埋土	大木9			RIJF3147
219		1735	8-20-PP3	埋土	後期前葉			RIJF3157
219		1736	8-21-PP13	埋土	大木9?			RIJF3172
219		1737	8-20-PP9	埋土	大木9			RIJF3159
220		1738	8-24-PP2	埋土				RIJF4339
220		1739	8-25-PP1	東南床面より下の層				RIJF3322
220		1740	8-25-PP6	床面直上層				RIJF3327
220		1741	8-26-PP6	床面クリーニング時	大木10			RIJF3492

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
		220	1742	8-28-PP1	埋土			RIJF3573
		220	1743	8-29-PP10	埋土上部	後期前葉		RIJF3613
	163	220	1744	8-30-PP28	床面直上層	大木9		RIJF4369
		220	1745	8-32-PP2	埋土	大木10b		RIJF3952
		220	1746	8-32-PP8	埋土上半	大木8b		RIJF3955
		220	1747	10-24-PP15	埋土	大木8b		RIJF4141
		220	1748	10-24-PP15	埋土	大木9		RIJF4142
		220	1749	9-29-PP3	埋土	大木8b		RIJF4090
		220	1750	10-24-PP3	埋土最上部	大木8b		RIJF4130
		220	1751	10-25-PP5	埋土1a層	大木8b		RIJF4160
		220	1752	10-24-PP25	埋土	大木9		RIJF4146
		220	1753	10-24-PP26	埋土上部	大木10a新		RIJF4147
	163	220	4123	11-24-PP8	埋土			RIJF4196
		220	1754	3-27区	床面直上層			RIJF255
		220	1755	3-28区	床面埋土	大木9		RIJF263
		220	1756	5-25区	床面直上層	後期前葉		RIJF890
		220	1757	5-25区	埋土1～2層	後期前葉		RIJF895
		220	1758	5-25区	埋土1～2層	大木9		RIJF4409
		220	1759	5-25区	床面直上層埋土3層	大木9		RIJF892
		220	1760	5-25区	床面直上層	大木9		RIJF894
		220	1761	5-26区	実測図3層	大木9		RIJF974
		221	1762	5-26区	実測図3層	大木10b		RIJF973
		221	1763	5-27区、6-27区	埋土最上部	大木9		RIJF1179
		221	1764	5-27区、6-27区	埋土最上部	大木10b		RIJF1181
		221	1765	5-27区、6-27区	埋土最上部	後期最初頭		RIJF1182
		221	1766	5-27焼土No1	ベルト埋土1	大木9		RIJF1184
		221	1767	6-27区	埋土	後期初頭		RIJF2393
		221	1768	7-22区	埋土	大木9	不掲載	RIJF2845
		221	1769	6-27区	床面直上層 埋土	大湯		RIJF2391
		221	1770	6-27区	床面直上層 埋土	後期前葉		RIJF2397
		221	1771	6-27区	埋土	大木9		RIJF2398
		221	1772	6-27区	埋土			RIJF2399
		221	1773	9-26区	埋土～埋土西半			RIJF4027
		221	1774	8-26区	床面より下		網代	RIJF3497
		221	1775	7-28区不整落ち込み	埋土	大木10b		RIJF4434
		221	1776	4-25-S11	埋土	大木9		RIJF665
		221	1777	4-25-S11	埋土		木葉	RIJF666
	163	221	1778	4-25-S11-P1・PP1	埋土		網代	RIJF4276
		221	1779	5-23-S11	埋土		木葉	RIJF816
		221	1780	5-23-S11	埋土			RIJF818
		221	1781	5-23-S11	埋土			RIJF819
	164	221	1782	4-25-S11-P1・PP1	埋土	後期前葉		RIJF4275
		221	1783	5-23-S11	埋土	後期前葉		RIJF820
		221	1784	5-23-S11	埋土	大湯		RIJF823
		221	1785	5-23-S11	埋土		網代	RIJF825
		222	1786	5-23-S11	埋土	後期前葉		RIJF829
		222	1787	5-23-S11	埋土			RIJF834
		222	1788	5-23-S11南北ベルト	埋土最上層			RIJF836
		222	1789	6-37-S11	貼床面より下の埋土	大木9		RIJF2640
		222	1790	6-25-S11-P2	床面直上層	大木9		RIJF2021
		222	1791	6-25-S11-P4	床面直上層	大木10		RIJF2022
		222	1792	6-25-S11-P7	床面直上層	大木10		RIJF2029
		222	1793	6-25区	遺構埋土	後期最初頭		RIJF2031
		222	1794	6-37-S11-P1	埋土	後期最初頭		RIJF2642
		222	1795	6-37-S11-P3	埋土			RIJF2644
	164	222	1796	6-36-S1状	埋土2層	大木9		RIJF4214
		222	1797	7-21-S11北側	地山直上層	大木9		RIJF2842
		222	1798	7-28-S11	埋土	後期前葉		RIJF2867
		222	1799	7-28-S11	埋土	大木10b		RIJF2868
		222	1800	7-28-S11	掘形埋土	後期前葉		RIJF2869
		222	1801	7-29区、7-29-S11	埋土	後期最初頭		RIJF2907
	164	222	1802	7-21-S12	埋土	大木10a新		RIJF4430

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
222		1803	7-34-S11	埋土				RIJF3012
222		1804	7-34-S11	埋土下部	大木10b			RIJF3015
222		1805	7-34-S11	埋土	大木10a新			RIJF3019
222		1806	7-34-S11	埋土	大木9			RIJF3022
222		1807	7-34-S11	埋土	大木9			RIJF3017
222		1808	7-34-S11	埋土	後期最初頭			RIJF3024
222		1809	7-34-S11	埋土	大木10a			RIJF3025
222		1810	7-34-S11	埋土1層	大木10a			RIJF3029
222		1811	7-34-S11北端	埋土(ベルト)	大木9			RIJF3050
222		1812	7-34-S11南北ベルト	埋土上部	大木10			RIJF3037
222		1813	7-34-S11	埋土下部	後期初頭			RIJF3042
223		1814	7-34-S11	埋土	大木10			RIJF3051
223		1815	7-34-S11	検出時		木葉		RIJF3053
223		1816	7-34-S11	埋土			RIJF3277と接合	RIJF4435
223		1817	7-34-S11	埋土				RIJF4436
223		1818	7-34-S11	埋土4層	大木9			RIJF4453
223		1819	7-34-S11-P9	埋土上半	大木10b			RIJF3064
223		1820	7-34-S11-P13	埋土上半	大木10a			RIJF3067
223		1821	7-34-S12	埋土1 下部	後期前葉			RIJF3078
223		1822	7-34-S12	埋土2層 下半	大木8b			RIJF3081
223		1823	7-34-S11-PP12	埋土上半	大木10a			RIJF3073
223		1824	7-34-S11-P14	埋土上半	大木10a			RIJF3069
223		1825	7-34-S12	埋土		網代		RIJF3082
223		1826	7-34-S12	埋土2層 下半	大木9			RIJF3084
223		1827	7-34-S12	埋土2層 下半	後期最初頭			RIJF3085
223		1828	7-34-S12炉No2	床面	大木9			RIJF3101
223		1829	7-34-S12	埋土2層 下半	大木10a			RIJF3088
223		1830	7-34-S12	埋土	大木10a			RIJF3091
223	164	1831	8-21-S11	埋土最上部				RIJF3175
223		1832	8-21-S11	埋土最上部		網代		RIJF3179
223		1833	8-25-S11	埋土	後期初頭			RIJF3339
223		1834	8-25-S11	埋土	後期初頭			RIJF3341
223		1835	8-25-S11南半		大木9			RIJF3332
223		1836	8-25-S11南半	埋土	後期前葉			RIJF3331
223		1837	8-25-S11南半	埋土				RIJF3336
223		1838	8-25-S11	埋土	後期前葉			RIJF3348
224		1839	8-25-S11	埋土				RIJF3363
224		1840	8-25-S11	埋土	後期前葉			RIJF3368
224		1841	8-25-S11	埋土1層	後期前葉			RIJF3376
224		1842	8-25-S11	埋設土器周辺の土器層		網代		RIJF3383
224		1843	8-25-S11	埋土	後期初頭			RIJF3389
224		1844	8-25区、8-25-S11	埋土上半				RIJF3399
224		1845	8-25区、8-25-S11	埋土	後期前葉			RIJF3400
224	164	1846	8-25区、8-25-S11	埋土上半				RIJF4346
224	164	1847	8-25-S11	埋土	大木8b			RIJF4345
224	164	1848	8-25-S11	埋土	後期初頭			RIJF4347
224	164	1849	8-25-S11	埋土上部	後期初頭			RIJF4348
224	164	1850	8-25-S11	埋土	大木10b			RIJF4349
224	164	1851	8-25-S11	埋土	後期前葉			RIJF4350
224	164	1852	8-25-S11	周辺検出時				RIJF4351
224		1853	8-25-S11	3層上部				RIJF4441
224		1854	8-25-S12	埋土				RIJF3413
224	164	1855	8-25-S11	埋土	大木10b			RIJF4353
224	164	1856	8-25-S11	埋土		網代		RIJF4352
224		1857	8-25-S12カマド	埋土	後期初頭			RIJF3417
224		1858	8-25-S12カマド	埋土	後期初頭			RIJF3418
224		1859	8-25-S12	埋土	大木9			RIJF3421
224		1860	8-25-S12	埋土	大木9			RIJF3426
224	165	1861	8-25-S12	埋土				RIJF4354
224	165	1862	8-25-S12カマド	埋土				RIJF4355
224		1863	8-27-S11	疑似カマド埋土	大湯			RIJF3533
224		1864	8-27-S11	貼床埋土		網代		RIJF3534



挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
224		1865	8-27-S11	埋土	大湯			RIJF3541
224		1866	8-27-S11-P3	埋土	大湯			RIJF3552
224		1867	8-29-S11南北ベルト	埋土		木葉		RIJF3618
224		1868	8-29-S11	埋土	後期前葉			RIJF3625
224		1869	8-29-S11	埋土	大湯			RIJF3626
224		1870	8-29-S11	埋土	後期初頭			RIJF3645
224		1871	8-29-S11	埋土		網代		RIJF3614
224		1872	8-29-S11	実測図による3層	後期前葉			RIJF3628
224		1873	9-28-S11	埋土上部	後期初頭			RIJF4058
224		1874	9-28-S11	埋土上部	後期初頭			RIJF4061
	165	4124	9-28-S11	埋土下部				RIJF4060
224		1875	10-27-S11-PP1	埋土	後期初頭			RIJF4183
224		1876	10-26-S11	埋土	大木9			RIJF4175
224		1877	10-26-S11	埋土・柱埋土	大木9			RIJF4177
224		1878	10-27-S11	埋土	後期前葉			RIJF4182
225		1879	3-31区	検出時	大木10b			ROJF123
225	165	1880	2-32区	検出時	大木8b			ROJF24
225		1881	7-25区	攪乱	大木9			ROJF294
225		1882	3-32区	表土粗堀	大木8b			ROJF479
225		1883	2-32区	検出時	大木8b			ROJF22
225		1884	3-31区	表土粗堀	大木8b			ROJF113
225		1885	5-35区	表土	大木8b			ROJF207
225		1886	7-20区	検出時	大木8b			ROJF275
225		1887	2-32埋設土器No1	周辺検出時	大木8b			ROJF485
225		1888	3-30区	検出時	大木8b			ROJF101
225		1889	8-19区	検出時	大木8b			ROJF480
225		1890	8-24風倒木	埋土	大木9			RIJF4440
	153	4111	8-24風倒木	埋土				RIJF3299
	153	4112	8-24風倒木	埋土				RIJF4340
225	165	1891	6-28区	検出時	大木9			ROJF245
225		1892	4-27区	表土粗堀	大木9			ROJF150
225		1893	6-27区	粗堀時	大木9			ROJF229
226		1894	7-21区	検出時	大木9			ROJF280
226		1895	6-30区	表土	大木9			ROJF255
226		1896	7-20区	検出時	大木9			ROJF273
226		1897	3-31区	表土粗堀	大木9			ROJF120
226		1898	3-29区	検出時	大木9			ROJF76
226		1899	3-31区	粗堀時	大木9			ROJF106
226		1900	5-32区	検出時	大木10a新			ROJF204
226	165	1901	3-31区	表土粗堀	大木10a新			ROJF112
226		1902	3-32区	表土粗堀	大木8b			ROJF129
226		1903	3-30区	表土粗堀	大木10b			ROJF91
226		1904	6-35区	近世検出時	大木10b			ROJF262
226	165	1905	3-35区	近世検出時	大木10b			ROJF474
226		1906	6-27区	検出時	大木10			ROJF240
226	165	1907	2-30区	粗堀	大木10b			ROJF14
226	165	1908	9-30付近より南	調査区外	後期最初頭			ROJF481
226	165	1909	8-26区	検出時 (8-26-P1周辺)	後期最初頭			ROJF476
227		1910	8-16区	表土	後期初頭			RIJF4437
227		1911	9-26区	表土	後期初頭			ROJF443
227		1912	3-29区	表土粗堀	後期初頭			ROJF61
227	166	1913	5-26区	検出時	後期初頭			ROJF192
227		1914	5-36区	近世検出時	後期初頭			ROJF210
227		1915	6-27区	表土粗堀	後期初頭			ROJF230
227		1916	8-28区	遺槽検出時	後期初頭			ROJF414
227		1917	3-28区	表土粗堀	後期初頭			ROJF52
227		1918	6-27区	粗堀時	後期初頭			ROJF232
227		1919	2-36区	近世検出時	後期初頭			ROJF27
227		1920	8-24区	検出時	後期初頭			ROJF380
227		1921	5-28区	検出時	後期初頭			ROJF196
227		1922	7-26区	表土粗堀	後期初頭			ROJF312
227		1923	6-27区	検出時	堀之内2			ROJF237

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	型式	底部痕跡	備考	登録No
		1924	7-28区	検出時	堀之内2			ROJF349
	166	1925	7-24区	検出時	後期前葉			ROJF293
	166	1926	6-27区	粗掘時	堀之内2			ROJF228
	166	1927	8-29-SE1	埋土				RIJF3684
		1928	6-23区、7-23区	検出時	後期初頭			ROJF211
		1929	8-25区	検出時	後期初頭			ROJF386
		1930	5-30区	表土	後期前葉			ROJF197
		1931	9-24区	表土	後期前葉			ROJF439
		1932	9-26区	攪乱	後期前葉			ROJF448
		1933	6-27区	粗掘時	後期前葉			ROJF233
		1934	5-32区	検出時				ROJF206
		1935	7-32区	表土	後期前葉			ROJF355
		1936	3-29区	攪乱(畑)				ROJF71
		1937	3-30区	表土粗掘	大木10			ROJF82
		1938	7-26区	表土粗掘	大木10			ROJF314
		1939	7-27区	表土	大木10			ROJF336
		1940	3-28区、5-28区	攪乱(畑)	大木10			ROJF50
		1941	7-20区	検出時	大木10			ROJF272
	167	1942	3-29区	粗掘時				ROJF57
		1943	7-26・27区	表土粗掘				ROJF329
		1944	5-26区	検出時				ROJF194
		1945	7-26・27区	表土粗掘				ROJF331
		1946	8-29区	表土				ROJF417
		1947	3-29区	表土粗掘				ROJF62
		1948	3-29区	表土粗掘				ROJF60
		1949	6-27区	表土粗掘				ROJF236
		1950	7-33区	表土				ROJF357
		1951	3-30区	表土粗掘				ROJF87
		1952	8-16区	検出時		縄?		ROJF3114
		1953	6-30区	表土		網代		ROJF257
	167	1954	3-30区	表土		網代		ROJF473
		1955	4-10区	表土(畑の上)		網代		ROJF144
		1956	4-25区	表土粗掘		網代		ROJF147
		1957	5-26区	検出時		網代		ROJF188
		1958	8-29-SE1	埋土		木葉		ROJF3685
		1959	4-28区	粗掘時		木葉		ROJF153
		1960	2-37区	表土		木葉		ROJF31
	167	1961	6-30区	表土		木葉		ROJF256
		1962	3-39区	表土		木葉		ROJF143
		1963	6-27区	検出時		木葉		ROJF242
	167	1964	8-26区	検出時(8-26-P1周辺)		木葉		ROJF477
		1965	9-16区	現代のゴミ穴		木葉		ROJF429
		4125	2-30区	表土				ROJF12
		4126	3-31区	表土	大木9			ROJF115
		4127	3-30区	表土	大木8b		821と接合	ROJF478
		4128	5-26区	表土	後期初頭			ROJF184
		4129	6-28区	表土	大木8b			R2470JF
		4130	6-30区	表土	早期~前期前葉			ROJF489
		4131	7-24区	攪乱	早期~前期前葉			ROJF490
		4132	7-31区	表土	早期~前期前葉			ROJF491
		4133	7-33区	表土	早期~前期前葉			ROJF492
		4134	4-29区	表土	早期~前期前葉			ROJF487
		4135	4-29区	表土	早期~前期前葉			ROJF488
		4136	4-36区	近世検出時				ROJF173
		4137	5-30区	表土				ROJF198
		4138	5-30区	表土				ROJF475
		4139	10-25区	表土	早期~前期前葉			ROJF493

3 土製品観察表

挿図	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	器種	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	登録No
230	1966	168	3-30-S11-P4	埋土1層	小型	(2.4)	(4.4)			RIJC07
230	1967	168	5-32-S11	埋土最上面から10~15cm	小型台付土器	(3.0)	(3.9)			RIJC023
230	1968	168	4-27-S11-PP2	埋土下部	小型	(3.8)	(4.4)			RIJC09
230	1969	168	4-27-P1	埋土最下面	ミニチュア土器	3.6	4.2			RIJC08
230	1970	168	5-32-S11	埋土 床面	ミニチュア土器	(5.4)	3.8			RIJC022
230	1971	168	5-36-S11	黒色土層下部	蓋	5.0	8.0			RIJC029
230	1972	168	5-36-S11	埋土 10YR3/2色土層	ミニチュア土器	4.1	2.7		大木10式か?	RIJC037
230	1973	168	5-36-S11	E Wベルト埋土3層	台付土器	(4.9)	(4.9)			RIJC047
230	1974	168	5-36-S11	黒色土層	ミニチュア土器	3.7	4.0			RIJC033
230	1975	168	5-32-P2	埋土上部	小型	(3.9)	(5.3)		大木10式	RIJC019
230	1976	168	5-30-P10	埋土中間部	ミニチュア土器	(3.5)	(2.3)			RIJC017
230	1977	168	5-27-S11	埋土 床面直上層	ミニチュア土器	4.2	3.9			RIJC015
230	1978	168	5-32-P2	埋土	ミニチュア土器	8.0	6.7		片口土器	RIJC018
230	1979	168	5-36-S11	E Wベルト埋土実測図2層	ミニチュア土器	(3.6)	(4.3)			RIJC044
230	1980	168	6-25-P6	埋土2層	小型 壺	6.8	6.4			RIJC051
230	1981	168	8-24-風倒木	埋土2・3層	小型	(3.5)	(5.2)			RIJC081
230	1982	168	6-26-P17	埋土	小型 壺	6.9	6.0			RIJC054
230	1983	168	7-28-P4	埋土	小型 深鉢	(5.6)	(5.1)		後期前葉	RIJC070
230	1984	168	8-31-S11	埋土上部	ミニチュア土器	(2.4)	(4.3)		子供の作品?	RIJC088
230	1985	168	9-26-P2	埋土	ミニチュア土器	(2.7)	(2.9)			RIJC091
230	1986	168	6-25-PP12	埋土	ミニチュア土器	(2.5)	(3.2)			RIJC052
230	1987	168	7-30-P6	埋土最下層	小型 鉢	3.7	5.0			RIJC079
230	1988	168	7-26-P11	埋土最上部	ミニチュア土器	4.3	4.0			RIJC065
230	1989	168	7-29-P4	埋土上部埋設土器	小型 壺	(6.5)	(6.7)			RIJC073
230	1990	168	9-21-P1	埋土	小型 壺	(6.5)	(4.8)		大木9式	ROJC090
230	1991	168	5-26区	表土	小型 深鉢	(6.8)	(5.3)			ROJC06
230	1992	169	8-24区	検出時	小型 鉢	3.9	(7.1)			ROJC023
230	1993	169	3-3区	検出時	ミニチュア土器	2.3	4.0		子供の作品?	ROJC01
230	1994	169	3-29区	表土	ミニチュア土器	(4.0)	(5.4)			ROJC03
230	1995	169	4-28区	表土	ミニチュア土器	(4.7)	(5.2)			ROJC05
230	1996	169	8-32区	検出時	ミニチュア土器	2.9	3.1			ROJC029
231	1997	169	3-29-S11炉No1	周辺埋土	土偶(胴)	(6.6)	(6.5)	2.0		RIJC096
231	1998	169	6-34-S11	埋土1層	土偶(胴~脚)	(7.7)	(4.6)	(1.6)		RIJC0106
231	1999	169	7-23-P4	埋土	土偶?	(2.7)	3.4	(1.0)		RIJC0108
231	2000	169	6-36-S11	黒色土層	土偶(胴~脚)	(6.0)	(4.4)	(3.5)		RIJC0107
231	2001	169	8-25-S11	埋土上半	土偶(胴)	(3.2)	(2.8)	(1.2)	頭か?	RIJC0113
231	2002	169	7-27区	遺構埋土	土偶(脚)	(4.8)	(4.0)	(5.0)		RIJC0109
231	2003	169	7-34-PP2	埋土	土偶(脚)	(4.8)	(2.6)	(4.1)		RIJC0110
231	2004	169	7-34-S12	埋土	土偶?	(3.0)	(3.0)	(1.2)		RIJC0111
231	2005	169	9-27-P1	埋土	土偶(頭)	(3.5)	(4.3)	(2.9)		RIJC0117
231	2006	169	9-28-S11-P3	埋土	土偶(胴)	(4.5)	(3.8)	(2.0)		RIJC0118
231	2007	170	11-23-P1	埋土	土偶(胴)	(8.9)	(6.6)	(2.5)		RIJC0120
231	2008	170	7-34埋設土器埋設土坑	埋土	土偶(胴)	(3.4)	(3.7)	(1.4)		RIJC0174
231	2009	170	6-26区	縄文住居?埋土上部	土偶?	(4.1)	(2.8)	(1.3)	胴部?	RIJC0104
231	2010	170	1-33区	近世遺構検出時	土偶(胴)	(4.9)	(4.7)	(1.8)		ROJC034
232	2011	170	3-12区	検出時	土偶(胴)	(6.0)	(4.4)	(1.5)		ROJC035
232	2012	170	8-29区	表土	土偶(胴)	(3.3)	(2.9)	(1.4)		ROJC055
232	2013	171	5-32-S11	検出時	土偶(頭)	(3.7)	(3.1)	(3.1)		ROJC038
232	2014	170	6-26区	攪乱部	土偶(頭)	(3.9)	(3.3)	(3.0)		ROJC039
232	2015	170	7-28区	検出時	土偶(胴)	(3.6)	(5.2)	(1.9)		ROJC048
232	2016	171	3-34区	表土	土偶?	(3.3)	(3.3)	(2.3)		ROJC037
232	2017	170	9-26-P6	埋土	土偶?	(3.5)	(3.0)	(2.8)		RIJC0116
232	2018	170	8-27区	表土		(2.9)	(2.9)	(2.2)		ROJC069
232	2019	170	8-30-PP24	埋土		4.4	3.1	(1.9)		RIJC0166
232	2020	171	5-35区	検出時		(3.9)	2.9	3.2		ROJC062
232	2021	171	6-34埋設土器No2	土器内部埋土		(2.9)	2.6	2.6		RIJC0131
232	2022	171	5-32-S11-PP4	埋土最上部		3.5	(3.9)	3.9		RIJC0123
232	2023	171	5-36-S11	埋土最上部		(2.5)	3.3	(3.3)		RIJC0153
232	2024	171	5-36-S11	黒色土層		1.2	(2.6)	3.0		RIJC0154
232	2025	171	5-36-S11	黒色土層下部		1.9	1.8	1.8		RIJC0126
232	2026	171	7-19-PP12	埋土		1.2	1.2	1.1		RIJC0133

挿図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	器種	高さ(㎝)	幅(㎝)	厚さ(㎝)	備考	登録No
232	2027	171	6-29-S11	埋土上部		1.1	1.4	1.2		RIJC0129
232	2028	171	7-25-PP1	埋土		2.3	2.4	2.4		RIJC0134
232	2029	171	5-36-S11	黒色土層		2.9	1.6	1.1		RIJC0125
232	2030	171	7-29-P6	埋土		2.4	3.1	3.0		RIJC0135
233	2031	171	6-34-S11	埋土最上部		2.6	3.9	1.7		RIJC0130
233	2032	171	8-29-S11	EWベルト 床面直上層		(2.2)	(1.7)	(1.3)		RIJC0137
233	2033	171	11-4-PP17	埋土		5.1	4.8	2.0		RIJC0139
233	2034	171	6-24-P13	埋土		5.8	(3.0)	(0.8)		RIJC0128
233	2035	172	3-27区	表土		4.2	4.2	4.2		ROJC073
233	2036	171	2-32-P4	埋土		4.8	4.9	2.3		RIJC0121
233	2037	172	7-34-S11	埋土最上部		(5.9)	2.5	1.9		RIJC0145
233	2038	172	6-34-S11	黒色土層		2.4	2.2	2.1		RIJC0169
233	2039	172	6-24-P13	埋土		3.6	2.9	1.8		RIJC0142
233	2040	172				4.6	2.9	1.4		RIJF2846
233	2041	172	4-10-P3	埋土	土錘	4.3	2.2	2.2		RIJC0141
233	2042	171	8-28-S11	埋土	土錘	4.2	2.0	2.0		RIJC0147
233	2043	171	8-23区	表土	土錘	3.6	1.4	1.3		ROJC081
233	2044	172	3-30-P2	埋土上部	斧形土製品	(5.9)	(3.7)	(1.7)		RIJC0140
233	2045	172	8-24-P7	埋土	斧形土製品	(2.4)	(2.6)	(1.0)		RIJC0146
233	2046	172	6-26-S12	埋土床面直上層	斧形土製品	(4.8)	(3.2)	(1.8)		RIJC0143
233	2047	172	7-31-P4	埋土	斧形土製品	(6.3)	(4.2)	(3.0)		RIJC0144
234	2048	172	8-26区	遺構埋土		(4.8)	(5.0)	(1.8)		RIJC0136
234	2049	172	6-30区	表土		(6.8)	(4.3)	(2.0)		ROJC076
234	2050	172	6-26-S11	埋土床面直上層		(3.9)	(6.0)	(2.6)		RIJC0168
234	2051	172	9-26区	表土		5.1	2.8	2.2		ROJC072
234	2052	173	5-27-S11	土器No 1		5.1	4.8	1.6		RIJC099
234	2053	173	6-34-S11	埋土上層		(3.6)	4.0	0.9		RIJC0105
234	2054	173	3-30区	検出時		(3.0)	5.0	(1.7)		ROJC036
234	2055	173	7-26区	表土		(3.8)	(4.0)	2.1		ROJC044
234	2056	173	5-36-S11	埋土10YR2/2色土層		(3.8)	(4.5)	(3.0)		RIJC0102
234	2057	173	8-23区	表土		(3.0)	(3.2)	(1.8)		ROJC068
234	2058	173	8-22区	検出時		(3.6)	(2.6)	0.8		ROJC053
234	2059	173	8-21-S11	埋土		(2.3)	(3.2)	(0.9)		RIJC0112
234	2060	173	7-26区	検出時		(3.5)	(3.7)	1.1		ROJC046
235	2061	173	5-26-P2	埋土	焼け粘土	(3.6)	4.9	2.0		RIJC1
235	2062	173	5-36-S11	黒色土層	焼け粘土	3.7	3.8	2.4		RIJC10
235	2063	174	6-24-S11	埋土上部	焼け粘土	4.0	6.4	3.0		RIJC20
235	2064	173	6-26-S11	床面直上層	焼け粘土	4.2	3.6	2.7		RIJC22
235	2065	173	7-34-S11南北ベルト	床面直上層	焼け粘土	3.6	2.6	2.5		RIJC60
235	2066	174	7-34-S12	埋土	焼け粘土	4.0	3.7	2.4		RIJC65
235	2067	173	8-30-P15	埋土	焼け粘土	3.4	3.2	2.0		RIJC81
235	2068	173	5-27-S11-PP2	埋土	焼け粘土	3.0	2.7	2.0		RIJC99
235	2069	173	8-31-S11-P1	埋土	焼け粘土	4.2	3.6	2.5		RIJC111
235	2070	174	5-32-S11?	検出時	焼け粘土	6.2	6.6	2.1		ROJC2

4 土製円盤観察表

種図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	土器型式	備考	登録No
236		2071	5-27-S11	炭化物多量層	4.2	4.3	0.5	9.3	大木10b	海綿状骨針少量含	RIJD58
236		2072	5-28-S11	床面構成土	4.3	6.5	0.8	30.7			RIJD60
236		2073	5-36-S11	中央の黒色土層	3.4	4.2	0.8	15.4	大木10a新		RIJD110
236		2074	5-36-S11	黒色土層	3.9	3.8	0.8	13.6			RIJD116
236		2075	5-36-S11	黒色土層	4.4	3.7	0.6	10.6	大木10		RIJD118
236		2076	5-36-S11	黒色土層	4.9	4.4	0.7	16.8			RIJD119
236		2077	5-36-S11	黒色土下部	3.5	3.6	0.7	10.0	大木10		RIJD122
236		2078	5-36-S11	埋土最上部	4.4	4.3	0.9	20.0	大木9新		RIJD137
236		2079	5-36-S11	埋土最上層10YR2/2	3.0	2.9	0.8	8.0			RIJD151
236		2080	5-36-S11	10YR2/2色土層	2.8	2.6	0.7	5.8	大木10		RIJD152
236		2081	5-36-S11	10YR2/2色土層	2.5	2.5	0.8	6.0			RIJD158
236		2082	5-36-S11	10YR2/2色土層	3.6	3.6	0.9	15.3	大木10a新		RIJD159
236		2083	5-36-S11	10YR2/2色土層	4.5	4.4	0.8	19.8			RIJD167
236		2084	5-36-S11	10YR3/2色土層	4.8	4.8	0.8	24.5			RIJD172
236		2085	5-36-S11EWベルト	10YR3/2色土層最上面	4.4	4.1	0.6	20.9	大木10b		RIJD176
236		2086	5-36-S12	3層目(暗褐色)	3.0	3.0	0.8	8.9			RIJD187
236		2087	5-36-S12-P3	床面構成層	4.5	4.8	1.1	27.4			RIJD190
236		2088	6-24-P2	埋土	4.4	3.8	1.3	19.0	大木9		RIJD193
236		2089	6-25-S11-P5	埋土	4.0	4.4	0.5	11.9	大木8b	海綿状骨針少量含	RIJD203
236		2090	6-26-P6	埋土	4.0	3.8	0.7	12.1	大木9		RIJD205
236		2091	6-26-P7	埋土	4.0	3.8	0.9	16.0		海綿状骨針少量含	RIJD207
236		2092	6-27-P7	埋土	2.5	2.5	0.6	4.4	大木8b		RIJD226
236		2093	6-28-P2	埋土	2.6	2.8	0.8	7.4	大木9新		RIJD233
236		2094	6-30-P4	埋土	2.6	3.6	0.5	6.2	大木8b		RIJD243
236		2095	6-30-P4	埋土上部	4.0	3.6	0.8	13.1	大木8b	海綿状骨針少量含	RIJD245
236		2096	6-34埋設土器No3	埋土	3.4	3.7	0.9	12.3			RIJD256
236		2097	7-26-P13	土器の周囲 焼土の上	4.1	4.0	0.7	12.5			RIJD281
236		2098	7-26-P16	埋土上部	3.9	4.7	0.8	16.8	大木9		RIJD283
236		2099	7-30-PP19	埋土	4.5	4.5	1.0	25.1	大木8b		RIJD324
236		2100	6-30-P18	埋土	3.5	3.9	0.8	11.3	大木10		RIJD326
236		2101	7-31-P3	焼土層とその上の層	5.1	5.6	1.3	42.3	大木9		RIJD339
236		2102	7-31-P6	埋土	3.7	4.4	0.7	13.6	大木10a新		RIJD342
236		2103	7-34-S11	埋土	3.5	4.0	0.7	9.8	大木10		RIJD352
236		2104	7-34-S12	貼床埋土	2.0	1.9	0.6	2.7			RIJD356
237		2105	7-34-S12?	埋土	4.6	4.7	1.0	26.0			RIJD358
237		2106	8-23-P1	床面?直上層	2.1	2.0	0.5	2.3	大木9	海綿状骨針少量含	RIJD381
237		2107	8-26-P4	埋土	5.1	4.1	0.9	21.5			RIJD400
237		2108	8-29-P2	埋土	4.0	4.2	1.0	20.8			RIJD412
237		2109	8-29-S11-P1	埋土	7.1	6.4	0.6	36.5	大木10		RIJD420
237		2110	9-24-P15	埋土	6.0	5.2	1.2	41.5		海綿状骨針少量含	RIJD448
237		2111	9-27-P1	埋土	3.8	4.1	0.7	14.5	大木10		RIJD450
237		2112	9-28-S11	埋土	3.8	4.0	0.7	14.3	大木10		RIJD454
237		2113	9-29-PP3	埋土下半~床面直上まで	2.9	2.9	1.0	9.6			RIJD458
237		2114	10-26-P4	埋土	5.1	5.0	0.9	26.2		海綿状骨針少量含	RIJD465
237		2115	10-26-P4	埋土上部	3.2	3.1	1.1	12.1	大木9		RIJD466
237		2116	10-26-P7	埋土	3.9	3.5	1.2	16.0	大木8b		RIJD467
237		2117	7-26-P13	埋土	4.6	4.1	0.8	19.2	大木8b		RIJD473
237	175	2118	3-30-S11	埋土上部	5.0	4.6	0.7	19.7			RIJD477
237	175	2119	4-27-S11-PP6	床面直上層	2.9	2.8	0.7	7.8			RIJD481
237	175	2120	5-27-S11	埋土	4.7	4.3	1.4	31.7	大木9		RIJD482
237	175	2121	5-27-S11	床面直上層	3.9	3.5	1.1	18.2		海綿状骨針少量含	RIJD483
237	175	2122	5-27-S11	床面直上層	3.8	3.5	0.6	10.1	大木8b		RIJD484
237	175	2123	5-36-S13-4	床面直上層	5.7	6.1	1.0	40.3			RIJD485
237	175	2124	5-36-S13-4	黒色有機質土から-30cm	3.3	3.6	0.8	11.5	大木10b		RIJD486
237	175	2125	5-36-S13-4	10YR3/2黒褐色床面より上の層	3.2	3.2	0.6	7.9			RIJD488
237	175	2126	5-36-S13-4	埋土最上層10YR2/2	2.7	3.4	0.8	9.3	後期初頭		RIJD489
237	175	2127	5-36-S13-4	埋土最上部10YR2/2	2.8	2.8	0.8	6.6		底部 網代痕あり	RIJD491
237	175	2128	5-36-S13-4	10YR3/2色土	4.2	7.0	0.9	29.8			RIJD493
237	175	2129	5-36-S13-4	黒色土	3.2	3.2	0.7	9.4			RIJD497
237	175	2130	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	6.7	6.8	0.8	40.6	大木10		RIJD498
237	175	2131	5-36-S13-4	黒色土層下部No7	4.9	5.2	0.7	18.6	大木10		RIJD499

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	土器型式	備考	登録No
237	175	2132	5-36-S13・4	黒色土層下部	3.0	2.8	0.7	6.4			RIJD501
237	175	2133	5-36-S13・4	南北ベルト実測図4層 黒色土層	3.8	3.3	0.7	10.6			RIJD502
237	175	2134	5-36-S13・4	南北ベルト実測図4層 黒色土層	3.0	3.3	0.7	8.3	大木10		RIJD503
237	175	2135	5-36-S13・4	南北ベルト実測図3層	2.9	3.0	0.7	7.3			RIJD504
237	175	2136	5-36-S13・4	埋土1層目黒褐色土	3.8	4.2	0.9	16.4	大木10		RIJD508
237	175	2137	5-36-S13・4	10YR2/2色土層	5.1	4.8	0.7	22.5			RIJD510
237	175	2138	5-36-S13・4	黒色土より下の10YR3/2	4.9	4.4	1.0	24.5	大木10b		RIJD511
238	175	2139	5-36-S13・4	黒色土層下部	5.2	5.0	0.8	23.4			RIJD512
238	175	2140	5-36-S13・4	黒色土層	4.3	3.9	1.0	21.7			RIJD513
238	175	2141	6-23-S1?	埋土	3.2	3.1	0.8	8.2			RIJD515
238	175	2142	6-25-S11カマド	埋土上部	3.1	3.0	1.1	11.1	大木9		RIJD518
238	175	2143	6-26-S11	埋土	3.6	4.0	1.0	15.9			RIJD522
238	175	2144	6-26-S11	床面直上層	4.6	4.8	1.0	29.0			RIJD524
238	175	2145	6-26区	床面直上層	3.2	3.1	1.1	12.3	大木8b		RIJD527
238	175	2146	6-26区	縄文住居埋土上部	5.8	5.4	1.0	36.8	大木8b		RIJD528
238	175	2147	6-28-S11-PP9	縄文住居埋土上部	3.3	3.5	1.2	16.9	大木9		RIJD531
238	175	2148	6-34-P1		3.7	3.9	0.8	14.7	大木10	口縁部 海綿状骨針少量	RIJD532
238	175	2149	6-34-S11	埋土2層 黒色土層	3.8	3.7	0.8	12.6			RIJD533
238	175	2150	6-34-S11	埋土1層	3.2	3.1	0.9	10.8			RIJD535
238	175	2151	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	4.9	5.3	0.7	19.6		海綿状骨針少量	RIJD536
238	175	2152	6-34-S11	黒色土層	4.1	4.2	1.0	22.6			RIJD537
238	175	2153	7-23-P2	黒色土の下の10YR3/2黒土層	4.0	3.7	1.1	19.9			RIJD541
238	175	2154	7-27-P2	埋土	4.3	4.2	0.8	17.8	大木9		RIJD544
238	175	2155	7-27-PP9	埋土1	3.1	2.9	0.8	6.7			RIJD546
238	175	2156	7-27-PP11	埋土	6.6	6.2	0.6	33.8	大木10a新		RIJD547
238	175	2157	7-29-P6	埋土	4.0	4.5	1.1	23.4	大木8b		RIJD548
238	175	2158	7-31-P3	埋土1、2、3、6層	3.1	2.9	0.8	8.8	後期最初頭		RIJD552
238	175	2159	7-31-P3	埋土	4.0	3.5	0.9	15.8		海綿状骨針少量	RIJD553
238	175	2160	7-31-P4	埋土1層、2層	4.9	4.5	0.8	14.5	大木10		RIJD556
238	175	2161	7-31-P7	埋土	3.8	4.4	0.7	15.2	大木10		RIJD559
238	175	2162	7-34-S11	埋土	3.1	2.6	0.8	6.4	大木8b		RIJD561
238	175	2163	7-34-S11	床面直上層～床面	4.1	4.2	0.9	18.6			RIJD563
238	175	2164	7-34-S11	床面直上層～床面	2.9	2.7	0.9	7.9			RIJD564
238	175	2165	8-24-P7	貼床埋土	1.8	1.9	1.1	3.9			RIJD567
238	175	2166	8-25-S11	埋土	7.7	7.5	1.0	67.3	後期前葉		RIJD568
238	175	2167	8-25-S11	埋土上半	5.8	5.1	0.8	29.1	後期前葉		RIJD569
238	176	2168	8-25-S11	埋土2層下半	7.5	7.0	1.2	67.6			RIJD570
238	176	2169	8-26-P1	床面	4.4	4.3	0.8	18.6	後期初頭		RIJD573
238	176	2170	8-29-S12	埋土	3.1	3.1	1.0	10.2			RIJD578
238	176	2171	2-36-PP2	床面構成層	3.9	5.4	0.8	20.2	大木10b		RIJD584
176	4140	3-27区	縄文埋土		2.5	2.6	0.7	5.9			RIJD476
176	4142	3-30-SI	床面直上層		2.2	2.4	0.7	4.3			RIJD478
176	4143	3-30-SI	床面直上層		3.7	3.7	0.8	13.8			RIJD489
176	4144	3-30-S11-PP14	埋土		3.3	3.4	0.8	11.0			RIJD480
176	4145	5-36-S13・4	黒色土層を掘り込む落ち込み		4.0	4.1	0.9	17.5			RIJD487
176	4146	5-36-S13・4	黒色土層上部		3.2	3.1	0.6	8.2			RIJD490
176	4147	5-36-S13・4	10YR3/2色土		2.5	2.8	0.7	6.1			RIJD492
176	4148	5-36-S13・4	10YR3/2色土		5.1	5.2	0.9	30.0			RIJD494
176	4149	5-36-S13・4	黒色土層		2.8	2.8	0.7	6.7			RIJD495
176	4150	5-36-S13・4	10YR2/2色土層		3.6	3.4	0.8	11.8			RIJD496
176	4151	5-36-S13・4	10YR2/2色土層(実測図3層)南北ベルト		2.5	2.9	0.7	7.1			RIJD500
176	4152	5-36-S13・4	1層目黒色土		3.4	3.5	0.7	10.6			RIJD505
176	4153	5-36-S13・4	10YR2/2色土層		2.4	2.6	0.6	4.2			RIJD506
176	4154	5-36-S13・4	10YR2/2色土層		5.0	5.1	0.6	23.1			RIJD507
176	4155	5-36-S13・4	10YR2/2色土層		2.7	2.4	0.8	7.0			RIJD509
176	4156	6-23-P9	埋土		3.6	3.7	0.8	15.0			RIJD514
176	4157	6-24-P13	埋土		2.2	2.3	0.5	3.9			RIJD516
176	4158	6-25-S11	貼床埋土		3.2	3.5	1.1	17.7			RIJD517
176	4159	6-26-P10	埋土		2.1	2.3	0.6	9.3			RIJD519
176	4160	6-26-P10	埋土		4.6	4.6	0.8	20.6			RIJD520
176	4161	6-26-P12	埋土		3.9	3.7	0.8	15.1			RIJD521
176	4162	6-26-S11	埋土床綿直上層		3.8	4.1	0.9	20.1			RIJD523

挿図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	土器型式	備考	登録No
	176	4163	6-26-SI1	埋土最上部	2.9	2.9	0.9	10.2			RIJD525
	176	4164	6-26-SI2	床面直上層	3.1	3.2	0.9	12.3			RIJD526
	176	4165	6-27-SI1-PP2	埋土	6.2	5.4	1.4	55.4			RIJD529
	176	4166	6-28-P17	埋土	3.2	3.2	0.8	10.2			RIJD530
	176	4167	6-34-SI1	埋土2層上部	4.1	3.9	0.7	14.0			RIJD534
	176	4168	6-34-SI1	埋土1層	3.7	3.9	1.1	20.1			RIJD538
	176	4169	6-34-SI1	床面直上層	3.7	3.4	0.9	16.3			RIJD539
	176	4170	6-34-SI1-P3	埋土	3.6	3.3	0.7	10.3			RIJD540
	176	4171	7-25-P6	埋土	2.9	2.7	1.1	10.8			RIJD542
	176	4172	7-25-P6	埋土3層	3.6	3.3	0.7	8.2			RIJD543
	176	4173	7-27-P2	埋土	3.5	3.7	0.8	12.5			RIJD545
	176	4174	7-29-P6	埋土	2.6	2.7	0.9				RIJD549
	176	4175	7-29-P6	埋土8層	4.2	4.3	0.8	14.9			RIJD550
	176	4176	7-31-P3	埋土	4.0	3.8	0.7	13.6			RIJD551
	176	4177	7-31-P3	埋土1層	2.6	2.7	0.9	8.2			RIJD544
	176	4178	7-31-P3	埋土最上部	2.2	2.5	0.9	5.9			RIJD555
	176	4179	7-31-P6	埋土下半	5.3	4.2	0.4	13.5			RIJD557
	176	4180	7-31-P7	埋土	2.5	2.7	0.8	6.9			RIJD558
	176	4181	7-31-PP15	埋土	3.7	3.5	0.7	11.5			RIJD560
	176	4182	7-34-SI1	床面直上層	3.0	2.9	0.6	6.5			RIJD562
	176	4183	7-36-SI1	埋土	1.6	4.9	1.0	27.4			RIJD565
	176	4184	8-24-P7	埋土	2.8	3.1	0.6	6.4			RIJD566
	176	4185	8-25-SI2	埋土	3.1	3.4	0.9	11.6			RIJD571
	176	4186	8-26-P1	埋土	3.7	4.0	0.7	12.8			RIJD572
	176	4187	8-26-P9	埋土	3.8	4.1	0.8	15.7			RIJD575
	176	4188	8-26-P20	埋土	3.4	3.2	0.7	8.5			RIJD576
	176	4189	8-27-P8	埋土	3.2	3.3	0.5	6.7			RIJD577
	176	4190	8-29-SI2	埋土	3.3	3.2	0.8	8.9			RIJD579
	176	4191	8-31-SI1	東側の土坑埋土最上部	3.7	3.7	0.7	11.9			RIJD581
	176	4192	8-31-SI1	貼床埋土	3.9	4.4	0.6	14.0			RIJD582
	176	4193	7-25区	検出時	2.2	2.6	0.6	5.0			ROJD260
	176	4194	7-29区	検出時	3.4	3.7	0.9	14.1			ROJD261
	176	4195	8-25区	攪乱	4.5	4.4	0.8	19.6			ROJD263
	176	4196	8-26区	表土	5.0	5.0	0.8	27.2			ROJD264

5 石器観察表 (石鏃・石錐・石匙)

※形態 凹無＝凹基無蓋、平無＝平基無蓋、凸無＝凸基無蓋

順	報告	発	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録番号
239	2172		3-32-P1	埋土	凹無	1.25	1.55	0.25	0.28	黒曜石	完形		R1S1145
239	2173		3-27-S11	縄文埋土床面直上層	凹無	(1.45)	(1.00)	0.35	(0.36)	黒曜石	かえり一部欠		R1S1199
239	2174	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.35	1.05	0.30	0.30	黒曜石	完形		R1S1225
239	2175	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.40	1.05	0.30	0.30	黒曜石	完形		R1S1234
239	2176	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.40	1.30	0.35	0.46	黒曜石	完形		R1S1222
239	2177	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.45	1.10	0.25	0.31	黒曜石	完形		R1S1229
239	2178	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.50	1.25	0.25	0.39	珩質頁岩	完形		R1S1233
239	2179	177	4-27-S11	埋土上部	凹無	1.80	1.05	0.30	0.36	黒曜石	完形		R1S1231
239	2180	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.80	1.05	0.30	(0.46)	珩質頁岩	かえり一部欠		R1S1236
239	2181	177	4-27-S11	床面直上層	有蓋	(1.80)	1.10	0.35	(0.48)	黒曜石	基部欠		R1S1220
239	2182	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.80	1.30	0.30	0.39	黒曜石	完形		R1S1219
239	2183	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.80	1.60	0.30	0.44	珩質頁岩	完形		R1S1224
239	2184	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.80	1.40	0.45	0.87	珩質頁岩	完形		R1S1232
239	2185	177	4-27-S11	床面直上層	凹無	1.85	1.30	0.25	0.41	黒曜石	完形		R1S1223
239	2186	177	4-27-S11	貼床埋土	凹無	(1.60)	(0.95)	0.35	(0.32)	黒曜石	先端・かえり一部欠		R1S1217
239	4197	177	4-27-S11-炉No1	埋土1層	有蓋5型	(1.50)	1.40	0.40	(0.71)	チャート	先端欠		R1S13115
239	2187	177	4-27-S11-PP3	埋土	凹無	1.25	1.30	0.30	0.40	黒曜石	完形		R1S1240
239	2188	177	4-27-S11-PP3	埋土	凹無	1.50	1.40	0.30	0.43	黒曜石	完形		R1S1241
239	4198	177	4-27-S11-PP9	埋土	凹無	(1.25)	1.15	0.30	(0.38)	メノウ	完形		R1S13114
239	4199	177	4-27-S11-PP3	埋土	有蓋	(1.75)	1.30	0.35	(0.50)	メノウ	先端一部欠		R1S13112
239	2189	177	4-27-S11-PP14	埋土上部	凹無	(1.30)	1.20	0.30	(0.35)	黒曜石	基部一部欠		R1S1244
239	2190	177	4-27-S11-PP4	埋土上部	凹無	(1.50)	1.40	0.30	(0.39)	チャート	先端一部欠		R1S1242
239	4200	177	4-27-S11-PP4	埋土上部	有蓋5型	2.60	1.45	0.30	0.75	珩質頁岩	完形		R1S12272
239	2191	177	5-28-S11	床面構成土	凹無	(1.60)	(1.40)	0.25	(0.41)	珩質頁岩	かえり一部欠		R1S1458
239	2192	177	5-28-S11	床面構成土	凹無	2.00	1.50	0.30	0.70	珩質頁岩	完形		R1S1459
239	2193	177	5-28-S11	床面構成土	有蓋	(2.00)	0.95	0.30	(0.44)	黒曜石	基部一部欠		R1S1460
239	2194	177	6-28-S11	床面構成面	凹無	1.60	1.10	0.30	0.27	珩質頁岩	完形		R1S1984
239	2195	177	6-28-S11	床面より下の層	凹無	1.95	0.95	0.40	0.46	メノウ	完形		R1S1983
239	2196	177	6-28-S11	床面直上層	凹無	2.10	1.30	0.45	0.65	黒曜石	完形		R1S1985
239	2197	177	6-28-S11	床面より下の層	凹無	2.05	1.85	0.50	1.28	黒曜石	完形		R1S1989
239	2198	177	6-28-S11	床面直上層	平無	2.15	1.90	0.90	2.59	黒曜石	完形		R1S1986
239	2199	177	6-28炉No1	埋土	凹無	(2.80)	1.20	(0.30)	(0.69)	チャート	かえり一部欠		R1S1046
239	2200	177	5-23-S11	埋土上部	有蓋5型	(2.05)	1.60	0.25	(0.47)	珩質頁岩	先端一部欠		R1S12118
239	2201	177	5-29-S11	床面直上層	凹無	1.65	1.30	0.30	0.42	黒曜石	完形		R1S180
239	2202	177	3-29-S11-P1	埋土	凹無	2.15	(1.65)	0.30	(0.62)	黒曜石	かえり一部欠		R1S1126
239	2203	177	3-29-S11	炭化物多量層	凹無	(1.35)	1.25	0.20	(0.29)	黒曜石	先端一部欠		R1S1455
239	2204	177	5-27-S11	床面直上層	凹無	(1.35)	1.20	0.30	(0.24)	珩質頁岩	先端一部欠		R1S12337
239	2205	177	5-27-S11	埋土最上部	凹無	1.40	1.05	0.35	0.32	黒曜石	完形		R1S1447
239	2206	177	5-27-S11	炭化物多量層の下の層	凹無	(1.40)	1.60	(0.35)	(0.43)	黒曜石	かえり一部欠		R1S1451
239	2207	177	5-27-S11	床面直上層	凹無	(1.50)	1.35	0.40	(0.68)	黒曜石	先端一部欠		R1S1450
239	2208	177	5-27-S11	東西ベルト埋土1層	凹無	(1.70)	1.45	0.30	(0.42)	珩質頁岩	先端一部欠		R1S1435
239	4201	177	5-27-S11	周溝埋土	有蓋	2.40	1.10	0.30	(0.49)	黒曜石	脚縁一部欠		R1S1442
239	2209	177	5-27-S11	床面直上層	凹無	2.00	1.30	0.30	0.52	黒曜石	完形		R1S12338
240	2210	177	5-27-S11	東西ベルト表側区3層	凹無	2.10	1.30	0.25	0.58	黒曜石	完形		R1S1439
240	2211	177	5-27-S11	埋土	凹無	2.10	1.30	0.30	0.53	黒曜石	完形		R1S1453



棟号	報告	写真	遺構名	出土地点・階位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
240	2212	177	5-27-S11	埋土2層	凹無	(1.25)	(1.50)	0.30	(0.54)	チャート	かえり一部欠	アスファルト付着	RIS12334
240	2213	177	5-27-S11	床面直上層	平無	2.25	1.85	0.60	2.10	頁岩	完形		RIS12336
240	2214	177	5-27-S11	床面直上層	有基5型	(1.90)	1.10	0.30	0.39	黒曜石	完形		RIS12335
240	2215	177	6-26区	縄文住居埋土最上層	凹無	(1.00)	(1.00)	0.20	(0.21)	黒曜石	かえり一部欠		ROS1450
240	2216		6-26-S1	床面直上層	凹無	1.25	1.00	0.30	0.24	黒曜石	完形		RIS1988
240	2217		6-26-S1	床面直上層	凹無	1.45	1.45	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1954
240	2218		6-26-S1	床面直上層	凹無	(1.60)	(1.05)	0.30	(0.29)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1959
240	4202		6-26-S1	埋土上部	凸無	2.41	1.60	0.68	1.81	黒曜石	完形	未成品	RIS13179
240	2219	177	6-26-S1	床面直上層	平無	1.60	1.45	0.45	0.81	黒曜石	完形		RIS1949
240	2220		6-26-S1	床面直上層	凹無	1.65	1.30	0.30	0.32	チャート	完形		RIS1945
240	2221	177	6-26-S1	床面直上層	凹無	1.65	1.35	0.30	0.49	黒曜石	完形		RIS1969
240	2222		6-26-S1	埋土上部	凹無	1.70	1.30	0.45	0.70	黒曜石	完形		RIS1926
240	2223		6-26-S1	床面直上層埋土最下層	凹無	1.70	1.15	0.30	0.46	黒曜石	完形		RIS1962
240	2224	177	6-26-S1	埋土最上部	平無	1.80	1.80	0.55	1.40	黒曜石	完形		RIS1980
240	2225		6-26-S1	床面直上層(埋土上部)	凹無	1.80	(1.30)	0.40	(0.62)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1951
240	2226	177	6-26-S1	床面直上層	凹無	1.90	(1.75)	0.40	(0.82)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1978
240	2227	177	6-26-S1	床面直上層	凹無	1.90	(1.40)	0.35	(0.62)	頁岩	かえり一部欠		RIS1971
240	2228	177	6-26-S1	床面直上層	平無	1.90	1.55	0.80	1.89	頁岩	完形		RIS11040
240	2229		6-26-S1	埋土最上部	凹無	2.00	1.65	0.30	0.64	黒曜石	完形		RIS1929
240	2230		6-26-S1	埋土上部	凹無	2.05	(1.25)	0.30	(0.45)	頁岩	かえり一部欠		RIS1930
240	2231		6-26-S1	埋土上部	凹無	(2.15)	(1.35)	0.30	(0.52)	メノウ	かえり一部欠		RIS1923
240	2232	177	6-26-S1	床面直上層	凹無	2.15	1.20	0.30	0.45	チャート	先端一部欠		RIS1943
240	2233	177	6-26-S1	床面直上層	平無	2.15	1.15	0.50	0.95	黒曜石	完形		RIS1968
240	2234		6-26-S1	床面直上層	凹無	2.15	1.45	0.60	1.39	チャート	完形		RIS1948
240	4203	177	6-26-S1	床面直上層	凹無	3.17	2.33	0.92	5.37	チャート	完形		RIS13127
240	2235		6-26-S1	床面直上層	凹無	2.20	1.70	0.50	1.37	チャート	完形	未成品?	RIS1950
240	2236		6-26-S1	埋土上部	平無	2.25	(1.50)	0.40	(1.16)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1922
240	2237	177	6-26-S1	床面直上層埋土最下層	凹無	2.25	1.30	0.30	0.30	チャート	かえり一部欠		RIS1966
240	4204	177	6-26-S1	床面直上層	平無	2.30	2.10	1.00	3.69	黒曜石	完形	未成品?	RIS1975
240	2238		6-26-S1	床面直上層	凹無	2.40	1.95	0.30	0.81	黒曜石	完形		RIS1944
240	2239		6-26-S1	床面直上層	平無	(2.40)	1.50	0.30	(0.88)	頁岩	先端一部欠		RIS1946
240	2240		6-26-S1	床面直上層	凸無	2.40	1.30	0.30	0.68	チャート	完形		RIS1941
240	4205	177	6-26-S1	床面直上層(埋土上部)	凹無	2.70	1.50	0.35	0.85	チャート	完形		RIS13129
240	2241		6-26-S1	埋土上部	凹無	2.70	1.80	0.60	2.10	チャート	完形		RIS1924
240	2242	177	6-26-S1	埋土を切る浅い土坑埋土	凹無	1.80	1.30	0.40	0.72	珪質頁岩	完形		RIS1050
240	2243	177	6-26-S1	東西へルト実測図9層	平無	1.90	1.60	0.40	0.98	黒曜石	完形		RIS1982
241	2244	177	6-26-S1	埋土を切る浅い土坑埋土	凹無	2.50	(2.05)	0.40	(1.56)	頁岩	かえり一部欠		RIS1049
241	2245	177	6-26-S11-PP1	埋土	凹無	1.80	1.15	0.25	0.39	黒曜石	完形		RIS11060
241	2246		6-26-S14	炉周辺埋土	凹無	2.20	1.10	0.30	0.75	珪質頁岩	完形		RIS11043
241	2247	177	6-26-S1	床面直上層	有基5型	(1.85)	(1.25)	0.40	(0.50)	黒曜石	基部・かえり一部欠		RIS1977
241	2248		6-26-S1	床面直上層(埋土上部)	有基5型	(1.95)	1.50	0.30	(0.50)	黒曜石	先端一部欠		RIS1963
241	2249		6-26-S1	埋土上部	有基5型	2.00	1.40	0.45	0.78	チャート	完形		RIS1984
241	2250	177	5-36-S11	黒色土下部	平無	1.20	1.10	0.25	0.23	黒曜石	完形		RIS1662
241	2251	177	5-36-S11	埋土最上層101R2/2色土層	凹無	(1.25)	1.10	0.25	(0.30)	チャート	先端一部欠		RIS1614
241	2252	177	5-36-S11	埋土最上層を掘り込む落ち込み	凹無	1.40	1.20	0.30	0.30	黒曜石	完形		RIS1664
241	2253	177	5-36-S11	黒色土層	平無	1.40	1.30	0.35	0.46	黒曜石	完形		RIS1982
241	2254	177	5-36-S11	黒色土層	凹無	1.40	1.30	0.25	(0.35)	チャート	かえり一部欠		RIS1525

標号	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
241	2255	177	5-36-S13-4	黒色有機質土上から-30cm	凹無	1.40	1.30	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1374
241	2256	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.45	1.00	0.20	0.23	黒曜石	完形		RIS1627
241	2257	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	(1.45)	1.20	0.30	(0.39)	黒曜石	先端一部欠		RIS1704
241	2258	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	(1.45)	(1.30)	0.25	(0.29)	黒曜石 (赤色残じり)	先端・かえり一部欠		RIS1584
241	2259	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 3 / 2 色土層	凹無	(1.45)	1.45	0.35	(0.58)	黒曜石	先端一部欠		RIS1363
241	2260	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.50	1.00	0.30	0.27	黒曜石	完形		RIS1471
241	2261	177	5-36-S13-4	埋土最上部	凹無	1.50	1.25	0.25	(0.38)	黒曜石	側縁一部欠		RIS1725
241	2262	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.50)	1.40	0.25	(0.41)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1638
241	2263	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	1.50	1.40	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1585
241	2264	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	1.55	1.15	0.25	0.36	黒曜石	完形		RIS1582
241	2265	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.55	1.35	0.30	0.54	チャート	完形		RIS1527
241	2266	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	平無	(1.55)	1.35	0.30	(0.46)	黒曜石	先端一部欠		RIS1551
241	2267	177	5-36-S13-4	黒色土下部	平無	1.55	1.45	0.35	0.54	黒曜石	完形		RIS1701
241	2268	177	5-36-S13-4	埋土最上部	凹無	1.55	1.50	0.40	0.53	黒曜石	完形		RIS1576
241	2269	177	5-36-S13-4	黒色土下部	平無	1.55	(1.20)	0.30	(0.35)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1625
241	2270	177	5-36-S13-4	中央の黒色土層	凹無	(1.60)	1.10	0.35	(0.49)	黒曜石	先端一部欠		RIS1561
241	2271	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.60	(1.15)	0.30	(0.39)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1529
241	2272	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.60	1.20	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1469
241	2273	177	5-36-S13-4	埋土最上部	凹無	(1.60)	(1.40)	0.25	(0.40)	珪質頁岩	先端・かえり一部欠		RIS1575
241	2274	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.60	1.25	0.35	0.62	黒曜石	完形		RIS1710
241	2275	177	5-36-S13-4	埋土最上部	凹無	1.60	1.50	0.25	0.43	黒曜石	完形		RIS1616
241	2276	177	5-36-S13-4	黒色有機質土より上の層	凹無	1.60	1.45	0.35	0.46	黒曜石	完形		RIS1366
241	2277	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.65	(1.20)	0.30	(0.43)	メノウ	かえり一部欠		RIS1640
241	2278	177	5-36-S13-4	埋土最上部 (1 0 Y R 2 / 2 )	凹無	(1.65)	1.50	0.40	(0.64)	メノウ	先端一部欠		RIS1572
241	2279	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土	凹無	1.65	(1.20)	0.30	(0.43)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1608
241	2280	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.70	0.80	0.20	0.26	黒曜石	かえり一部欠		RIS1654
241	2281	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 黒色土層	凹無	1.70	(1.10)	0.25	(0.29)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1592
242	2282	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.70)	(1.10)	0.25	(0.31)	黒曜石	側縁一部欠		RIS1630
242	4206	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 黒色土層	凹無	1.70	1.15	0.30	(0.34)	メノウ	完形		RIS13122
242	2283	177	5-36-S13-4	黒色土最上部	凹無	1.70	1.20	0.20	0.33	黒曜石	完形		RIS1566
242	2284	177	5-36-S13-4	黒色土上の落ち込み	凹無	1.70	1.45	0.35	0.58	黒曜石	完形		RIS1665
242	2285	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	1.70	1.50	0.45	0.73	黒曜石	完形		RIS1591
242	2286	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	1.70	1.50	0.25	0.43	黒曜石	完形		RIS1580
242	2287	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.70	1.50	0.30	0.51	珪質頁岩	完形		RIS1523
242	2288	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.75	(1.35)	0.30	(0.35)	珪質頁岩	かえり一部欠	アスファルト付着	RIS1629
242	2289	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層埋土	凹無	1.75	1.20	0.25	0.31	黒曜石	完形		RIS1601
242	2290	177	5-36-S13-4	1 0 Y R 2 / 2 色土層	凹無	1.75	(1.30)	0.30	(0.52)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1586
242	2291	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.80	(1.20)	0.25	(0.33)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1660
242	2292	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.80	1.20	0.25	0.43	チャート	完形		RIS1644
242	2293	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.80	1.30	0.25	0.46	珪質頁岩	完形		RIS1474
242	2294	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.80)	1.40	0.25	(0.41)	黒曜石	先端一部欠		RIS1528
242	2295	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.80)	1.55	0.35	(0.67)	黒曜石	先端一部欠		RIS1635
242	2296	177	5-36-S13-4	中央の黒色土層	凹無	1.80	1.50	0.30	0.76	黒曜石	完形		RIS1564
242	2297	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.80)	1.65	0.60	(1.21)	珪化木	先端一部欠		RIS1522
242	2298	177	5-36-S13-4	黒色土下部	平無	1.80	1.65	0.45	1.04	チャート	完形		RIS1620
242	2299	177	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.85	1.05	0.25	0.33	黒曜石	完形		RIS1658
242	2300	177	5-36-S13-4	黒色土最上部	凹無	1.85	1.30	0.35	0.59	黒曜石	完形		RIS1567

捕号	報告	写真	選標名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
242	2301	177	5-36-S13-4	中央の黒色土層	凹無	1.80	1.30	0.30	0.51	黒曜石	完形		RIS1558
242	2302	177	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(1.85)	1.55	0.30	(0.55)	黒曜石	先端一部欠		RIS1521
242	2303	177	5-36-S13-4	埋土最上部	凹無	1.85	(1.40)	0.30	(0.54)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1578
242	2304	177	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	1.90	(1.45)	0.30	(0.49)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1552
242	2305	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.90	1.25	0.20	0.37	黒曜石	完形		RIS1702
242	2306	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	(1.90)	1.40	0.30	(0.42)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1659
242	2307	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	1.90	(1.40)	0.25	(0.53)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1465
242	2308	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	平無	1.95	1.65	0.30	0.59	黒曜石	完形		RIS1549
242	2309	178	5-36-S13-4	黒色有機質土上から-30cm	凹無	2.00	1.45	0.25	0.41	頁岩	完形		RIS1381
242	2310	178	5-36-S13-4	黒色有機質土上から-30cm	凹無	2.00	(1.55)	0.50	(0.90)	頁岩	完形		RIS1380
242	2311	178	5-36-S13-4	10YR3/2最上層	平無	2.00	1.30	0.30	0.53	メノウ	完形		RIS1362
242	2312	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	1.95	(2.00)	0.30	(0.48)	チャート	先端一部欠		RIS1709
242	2313	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.00	1.60	0.45	0.76	黒曜石	完形		RIS1519
242	2314	178	5-36-S13-4	中央の黒色土層	凹無	2.00	1.50	0.25	0.58	黒曜石	完形		RIS1565
242	2315	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	(2.00)	1.85	0.25	(0.49)	チャート	先端一部欠		RIS1550
243	2316	178	5-36-S13-4	埋土最上部(10YR2/2色土)	凹無	2.10	(1.15)	0.30	(0.50)	黒曜石	先端一部欠		RIS1569
243	2317	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.10	1.80	0.30	0.52	黒曜石	完形		RIS1468
243	2318	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	2.10	1.60	0.30	0.61	メノウ	完形		RIS1588
243	2319	178	5-36-S13-4	埋土最上層10YR2/2	凹無	(2.15)	1.45	0.30	(0.58)	メノウ	先端一部欠		RIS1603
243	2320	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.25	(1.40)	0.30	(0.48)	メノウ	先端一部欠		RIS1531
243	2321	178	5-36-S13-4	黒色土上の落ち込み	凹無	2.15	1.40	0.35	0.60	珪質頁岩	完形		RIS1669
243	2322	178	5-36-S13-4	黒色土上の落ち込み	凹無	2.15	1.40	0.30	0.49	黒曜石	完形		RIS1670
243	2323	178	5-36-S13-4	10YR3/2色土	凹無	2.15	(1.20)	0.25	(0.45)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1358
243	2324	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	(2.20)	1.20	0.30	(0.62)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1542
243	2325	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	2.20	1.50	0.30	0.51	黒曜石	完形		RIS1641
243	2326	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	(2.25)	1.60	0.60	(1.21)	黒曜石	先端一部欠		RIS12342
243	2327	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土	凹無	2.30	(1.25)	0.30	(0.50)	黒曜石	先端一部欠		RIS1539
243	2328	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	2.30	(1.50)	0.30	(0.73)	チャート	かえり一部欠		RIS1544
243	2329	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.35	(1.50)	0.35	(0.66)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1632
243	2330	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	2.40	1.65	0.55	1.72	黒曜石	完形		RIS1548
243	2331	178	5-36-S13-4	NSベルト(北半)埋土	凹無	2.50	1.50	0.30	0.60	珪質頁岩	完形		RIS1482
243	2332	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.60	(1.35)	0.30	(0.84)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1639
243	2333	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	2.85	(1.50)	0.35	(0.90)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1712
243	2334	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	2.70	1.50	0.40	1.39	珪質頁岩	完形		RIS1621
243	2335	178	5-36-S13-4	黒色土下部	凹無	2.30	1.40	0.35	0.84	珪質頁岩	完形		RIS1703
243	2336	178	5-36-S13-4	黒色土層	平無	2.30	2.40	0.35	0.84	珪質頁岩	完形		RIS1634
243	2337	178	5-36-S13-4	黒色有機質土上から-30cm	凹無	(2.80)	1.30	0.40	(1.05)	チャート	完形		RIS1368
243	2338	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凹無	2.55	(2.00)	0.55	(1.67)	頁岩	先端一部欠		RIS15543
243	2339	178	5-36-S13-4	黒色土層	凹無	2.85	1.80	0.45	1.88	チャート	先端一部欠		RIS1637
243	2340	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土埋土	凹無	3.00	2.95	0.80	3.72	珪質頁岩	完形		RIS1597
243	2341	178	5-36-S13-4	黒色土層下部	凸無	3.45	(2.95)	0.70	(1.37)	珪質頁岩	完形		RIS1690
243	2342	178	5-36-S13-4	床面直上層	凹無	3.50	1.80	0.40	1.93	珪質頁岩	完形		RIS1692
243	2343	178	5-36-S13-4	10YR2/2	凹無	(1.85)	1.45	0.70	(1.74)	珪質頁岩	先端一部欠	未成品?	RIS1535
243	2344	178	5-36-S13-4	黒色土下部	平無	2.10	1.40	0.60	1.75	黒曜石	完形		RIS1646
244	2345	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凸無	2.20	1.40	0.50	1.25	黒曜石	完形		RIS1556
244	2346	178	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	凸無	2.20	1.40	0.50	1.25	黒曜石	完形		RIS1587
244	2347	178	5-36-S13-4	埋土最上部(10YR2/2色土)	平無	2.20	1.70	0.50	1.56	黒曜石	完形		RIS1568

圃名	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
244	2348	178	5-36-S13-4	10 Y R 2 / 2 色土層	平無	2.50	2.15	1.00	4.46	チャート	完形		RIS1583
244	2349	178	5-36-S13-4	黒色有機質土より上の層	有莖5型	3.15	2.50	0.80	4.29	チャート	完形		RIS1365
244	2350	178	5-36-S13-4	10 Y R 2 / 2 色土層	平無	2.50	1.50	0.40	0.82	チャート	完形		RIS1541
244	2351	178	5-36-S13-4	黒色土直下の10 Y R 3 / 4	凹無	1.35	0.95	0.20	0.17	黒曜石	完形		RIS1668
244	2352	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	1.45	1.55	0.30	0.43	メノウ	完形		RIS1680
244	2353	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土 (黒色土より下)	凹無	1.50	1.20	0.35	0.42	黒曜石	完形		RIS1683
244	2354	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	1.70	1.25	0.40	0.76	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1678
244	2355	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	1.80	1.15	0.30	0.36	黒曜石	完形		RIS1674
244	2356	178	5-36-S13-4	黒色土より下の10 Y R 3 / 2 色土層	凹無	1.80	1.50	0.35	0.68	黒曜石	先端一部欠		RIS1642
244	2357	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土層	凹無	1.80	1.50	0.30	0.62	黒曜石	完形		RIS1657
244	2358	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土層	凹無	2.10	1.60	0.40	0.60	黒曜石	完形		RIS1675
244	2359	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	2.10	1.40	0.25	0.40	珪質頁岩	完形		RIS1667
244	2360	178	5-36-S13-4	黒色土直下の10 Y R 3 / 4	凹無	2.15	(1.30)	0.35	(0.65)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1681
244	2361	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土 (P13を覆う土)	凹無	2.30	1.40	0.25	0.52	チャート	完形		RIS1685
244	2362	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	(2.40)	1.20	0.30	(0.63)	黒曜石	先端一部欠		RIS1682
244	2363	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	(2.80)	1.40	0.30	(0.76)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1679
244	2364	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土	凹無	(1.30)	1.10	0.30	(0.26)	黒曜石	先端一部欠		RIS1751
244	2365	178	5-36-S13-4	床面直上層	凹無	1.40	0.90	0.25	0.27	チャート	完形		RIS1757
244	2366	178	5-36-S13-4	床面直上層	凹無	1.50	1.40	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1752
244	2367	178	5-36-S13-4	床面直上層	有莖5型	(1.60)	1.40	0.35	(0.57)	黒曜石	先端一部欠		RIS1753
244	2368	178	5-36-S14	床面直上層	凹無	1.70	1.20	0.25	0.32	頁岩	完形		RIS1745
244	2369	178	5-36-S14	床面構成層	平無	2.00	1.40	0.25	0.63	黒曜石	完形		RIS1747
244	2370	178	5-36-S14	床面構成層	凹無	(2.00)	(1.25)	0.25	(0.37)	メノウ	完形		RIS1762
244	2371	178	5-36-S14	床面を含む層	凹無	2.10	1.50	0.40	0.86	桂木	完形		RIS1755
244	2372	178	5-36-S13-4	床面直上層	凹無	2.10	1.40	0.30	0.46	チャート	完形		RIS1756
244	2373	178	5-36-S14	床面直上層	凹無	2.25	1.20	0.25	0.51	珪質頁岩	完形		RIS1438
244	2374	178	5-36-S13-4	床面直上層	凹無	2.70	1.55	0.35	0.66	珪質頁岩	完形		RIS1726
244	2375	178	5-36-S13-4	床面構成層	有莖5型	(1.65)	1.30	0.25	(0.41)	チャート	先端一部欠		RIS1760
244	2376	178	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 床面より上の層	有莖1型	1.70	(1.50)	0.25	(0.70)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1754
244	2377	178	5-36-S13-4	床面直上層	有莖1型	1.80	1.10	0.25	0.28	蛋白石	完形		RIS1749
244	2378	178	5-36-S13-4	床面直上層	有莖	1.90	(1.20)	0.25	0.33	黒曜石	かえり一部欠		RIS1488
245	2379	178	5-36-S13-4	床面直上層	平無	1.90	1.70	0.40	0.86	黒曜石	完形		RIS1724
245	2380	178	5-36-S13-4	E W ベルト (東半) 2 層	凹無	1.80	1.40	0.40	0.61	チャート	完形		RIS1479
245	2381	178	5-36-S13-4	実測図2層ベルト	凹無	2.40	1.85	0.25	0.55	珪質頁岩	完形		RIS1477
245	2382	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図3層	凹無	1.35	(1.20)	0.20	(0.22)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1579
245	2383	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図3層	凹無	(1.50)	1.25	0.25	(0.37)	黒曜石	先端一部欠		RIS1697
245	2384	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	(1.60)	1.25	0.25	(0.32)	黒曜石	先端一部欠		RIS1721
245	2385	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	1.80	1.20	0.30	0.41	メノウ	完形		RIS1481
245	2386	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	1.95	1.40	0.30	0.58	チャート	完形		RIS1475
245	2387	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	2.15	1.60	0.40	0.71	珪質頁岩	完形		RIS1687
245	2388	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	(2.30)	(1.30)	0.30	(0.65)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1715
245	2389	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	2.45	1.70	0.55	1.84	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1476
245	2390	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	2.45	1.70	0.55	1.84	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1688
245	2391	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図4層黒色土	凹無	1.70	1.40	0.20	0.41	珪質頁岩	完形		RIS1722
245	2392	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図7層	凹無	(1.95)	(1.35)	0.35	(0.70)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1720
245	2393	178	5-36-S13-4	南北ベルト実測図7層	凹無	1.40	1.10	0.30	0.32	チャート	完形		RIS1517
245	2394	178	5-36-S13-4	焼面直上層	凹無	1.70	1.30	0.40	0.58	黒曜石	完形		RIS1786

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
245	2395	179	5-36-S13-4	埋土	凹無	1.80	1.35	0.40	(0.90)	黒曜石	先端一部欠		RIS1791
245	2396	179	5-36-S13-4	埋土	凹無	1.95	(1.60)	0.40	(0.94)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1795
245	4207	179	6-34-S11	黒色土層	凹無	(1.30)	1.05	0.25	(0.30)	メノウ	先端一部欠		RIS13131
245	2397	179	6-34-S11	埋土1層	平無	1.35	1.10	0.30	0.33	黒曜石	完形		RIS11028
245	2398	179	6-34-S11	埋土	凹無	(1.45)	(1.10)	0.25	(0.26)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1894
245	2399	179	6-34-S11	埋土最上層	平無	1.50	1.15	0.30	0.41	珪質頁岩	完形		RIS11019
245	2400	179	6-34-S11	埋土	凹無	1.50	1.20	0.25	0.31	珪質頁岩	完形		RIS1895
245	2401	179	6-34-S11	埋土最上層	凹無	1.60	1.50	0.20	0.43	メノウ	完形		RIS1888
245	2402	179	6-34-S11	埋土上層	凹無	1.70	(1.40)	0.35	(0.56)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1879
245	2403	179	6-34-S11	埋土上層	凹無	1.70	1.30	0.50	0.82	黒曜石	完形		RIS1890
245	2404	179	6-34-S11	埋土2層	凹無	(1.70)	1.20	0.30	(0.56)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1881
245	2405	179	6-34-S11	埋土上半	凹無	1.85	1.50	0.45	1.14	珪質頁岩	完形		RIS1885
245	2406	179	6-34-S11	埋土上半	凹無	1.90	(1.50)	0.30	(0.53)	頁岩	かえり一部欠		RIS1884
245	2407	179	6-34-S11	埋土2層	凹無	2.15	1.45	0.35	(0.63)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1889
245	4208	179	6-34-S11	黒色土より下の10YR3/2黒褐色土層	凹無	(2.15)	1.80	0.50	(0.60)	チャート	先端一部欠		RIS13132
245	2408	179	6-34-S11	埋土	凹無	2.15	1.80	0.50	1.13	珪質頁岩	完形		RIS1883
246	2409	179	6-34-S11	埋土	凹無	2.20	1.60	0.30	0.64	チャート	完形		RIS1893
246	2410	179	6-34-S11	埋土1層	平無	2.20	1.60	0.45	1.28	黒曜石	完形		RIS11029
246	2411	179	6-34-S11	埋土上半	平無	2.50	1.80	0.55	2.07	珪質頁岩	完形		RIS1882
246	2412	179	6-34-S11	埋土上半	凹無	(1.55)	(1.10)	0.25	(0.37)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1997
246	2413	179	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	凹無	1.80	1.25	0.25	0.45	黒曜石	完形		RIS1998
246	2414	179	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	凹無	1.90	1.30	0.25	0.44	珪質頁岩	完形		RIS11036
246	2415	179	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	凹無	2.20	(1.30)	0.30	(0.51)	メノウ	かえり一部欠		RIS11003
246	2416	179	6-34-S11	黒色土部(炭多量部)	凹無	1.45	1.25	0.30	0.40	メノウ	完形		RIS11011
246	2417	179	6-34-S11	黒色土部	凹無	1.50	1.10	0.25	0.34	黒曜石	完形		RIS11034
246	2418	179	6-34-S11	黒色土より下の10YR3/2	凹無	1.55	1.05	0.25	0.31	黒曜石	完形		RIS11027
246	2419	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	平無	1.60	1.15	0.35	0.42	黒曜石	完形		RIS11033
246	2420	179	6-34-S11	黒色土層上部10YR3/2色土	凹無	1.70	1.15	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS11008
246	2421	179	6-34-S11	黒色土層	凹無	1.75	1.25	0.30	0.36	黒曜石	完形		RIS11030
246	2422	179	6-34-S11	床面直上層	平無	1.75	1.60	0.35	0.76	黒曜石	完形		RIS11000
246	2423	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	凹無	1.80	1.40	0.35	0.48	珪質頁岩	完形		RIS11026
246	2424	179	6-34-S11	床面直上層	凹無	1.80	(1.45)	0.40	(0.60)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11001
246	2425	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	平無	1.90	1.30	0.50	0.91	珪質頁岩	完形		RIS11022
246	2426	179	6-34-S11	埋土1層10YR3/2	凹無	2.00	1.85	0.75	1.65	黒曜石	完形		RIS11029
246	2427	179	6-34-S11	ほぼ床面10YR3/2色土層	凹無	2.10	1.60	0.30	0.79	チャート	完形		RIS11015
246	2428	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	凹無	2.15	1.30	0.25	0.51	珪質頁岩	先端一部欠		RIS11005
246	2429	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	凹無	2.15	1.80	0.30	0.55	黒曜石	完形		RIS11020
246	2430	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	凹無	2.45	1.80	0.80	2.83	メノウ	完形		RIS11014
246	2431	179	6-34-S11	10YR3/2色土層	有妻	2.35	1.45	0.50	1.35	メノウ	完形		RIS11021
246	2432	179	6-34-S11	南にあるPit埋土	凹無	1.95	1.20	0.40	0.56	黒曜石	完形		RIS11053
246	2433	179	6-34-S11	10YR3/2北東の別土坑	凹無	2.05	1.25	0.35	0.69	黒曜石	完形		RIS11004
246	2434	179	8-29-S11	床面直上層上半部	凹無	1.60	1.50	0.50	0.74	黒曜石	完形		RIS11613
246	2435	179	8-29-S11	埋土床面より下?	凹無	1.85	(1.35)	0.45	(0.70)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11620
246	2436	179	8-29-S11	埋土床面より下?	凹無	(1.90)	(1.20)	0.30	(0.48)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11619
246	2437	179	8-29-S11	埋土床面より下?	凹無	(2.10)	(1.40)	0.30	(0.50)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS11622
246	2438	179	8-29-S11	床面直上層上半部	平無	2.10	1.50	0.65	1.81	珪質頁岩	完形		RIS11608
247	2439	179	8-29-S11	床面直上層上半部	凹無	2.30	1.95	0.90	3.29	黒曜石	完形		RIS11615

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
247	2440	179	8-29-S11	貼床埋土上部	凹無	2.45	(1.55)	0.25	(0.57)	チャート	かえり一部欠		RIS11606
247	2441	179	8-28-S11-P1	埋土	凹無	2.50	(1.70)	0.30	0.76	チャート	完形		RIS11715
247	2442	179	8-29-S11西南	埋土床面より下?	凹無	2.65	(1.55)	0.30	(0.85)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11621
247	2443	179	8-29-S12	床面直上層	凹無	2.75	1.95	0.60	2.28	珪質頁岩	完形		RIS12363
247	2444	179	8-31-S11-P1	埋土	凹無	1.60	(1.35)	0.30	(0.37)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11719
247	2445	179	8-31-S11-P1	埋土	凹無	2.15	1.75	0.35	0.69	珪質頁岩	完形	未成品か?	RIS11723
247	2446	179	8-31-S11-P1	埋土	凹無	2.20	(1.65)	0.65	(1.45)	黒曜石	完形		RIS11722
247	2447	179	8-31-S11-P1	埋土	凹無	2.40	1.65	0.45	0.95	黒曜石	完形		RIS11721
247	2448	179	8-31-S11-P1	埋土	有蓋5型	2.35	1.60	0.30	0.77	頁岩	完形		RIS11720
247	2449	179	8-31-S11-P2	埋土	凹無	2.00	1.50	0.50	0.84	珪質頁岩	完形		RIS11726
247	2450	179	3-30-S1	浅いくぼみ炭化物層No1	凹無	1.70	1.20	0.30	0.39	珪質頁岩	完形		RIS1123
247	2451	179	3-30-S1	床面埋土	凹無	1.50	1.30	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS1122
247	2452	179	3-30-S1	床面直上層	凹無	2.55	1.50	0.40	1.14	珪質頁岩	完形		RIS1115
247	2453	179	3-30-S1高溝	埋土	凹無	2.10	1.20	0.35	0.61	黒曜石	完形		RIS182
247	4209	179	3-30-S1炉No1	埋土上部	凹無	1.75	1.50	0.35	0.55	メノウ	完形		RIS13102
247	2454	179	3-30-S11-P1	埋土	凹無	1.70	1.30	0.25	0.36	黒曜石	完形		RIS1128
247	2455	179	3-30-S11-P1	埋土	凹無	1.80	1.20	0.25	0.36	黒曜石	完形		RIS1129
247	2456	179	3-30-S11-P4	埋土2層	凹無	2.00	1.15	0.25	0.38	黒曜石	完形		RIS1131
247	2457	179	3-30-S11-PP8	埋土	有蓋1型	1.90	1.45	0.60	1.54	黒曜石	完形	未成品か?	RIS1135
247	2458	179	5-36-S13-4	埋土最上部南半	凹無	1.70	(1.40)	0.35	(0.52)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1730
247	2459	179	5-36-S13-4	埋土最上部から-15cmの面埋土	凹無	1.80	1.50	0.30	0.51	黒曜石	完形		RIS1731
247	2460	179	5-36-S13-4	埋土最上部北半	平無	1.90	1.90	0.45	1.33	チャート	完形		RIS1727
247	2461	179	5-36-S13-4	埋土最上部南半	凹無	2.25	1.40	0.40	0.85	チャート	完形		RIS1729
247	2462	179	5-36-S13-4	埋土最上部から-15cmの面埋土	凹無	2.30	(1.20)	0.30	(0.69)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1734
247	2463	179	5-36-S13-4	埋土最上部から-15cmの面埋土	凹無	3.30	1.80	0.55	1.82	頁岩	完形		RIS1732
247	2464	179	7-34-S112?	床面一直上層	平無	1.40	(1.20)	0.30	(0.39)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11293
247	2465	179	7-37-S112	埋土	凹無	1.55	1.60	0.30	0.50	珪質頁岩	完形		RIS11283
247	2466	179	7-34-S12?	床面一直上層	凹無	1.60	1.40	0.35	0.44	メノウ	完形		RIS11292
247	2467	179	7-34-S12?	床面一直上層	凹無	1.90	(1.20)	0.30	(0.54)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11288
247	2468	179	7-34-S12	埋土	平無	2.10	1.35	0.60	1.36	チャート	完形		RIS12355
248	2469	179	7-37-S12	埋土	凹無	2.15	1.40	0.30	0.59	メノウ	完形		RIS11285
248	2470	179	7-34-S12?	床面埋土	凹無	2.25	1.50	0.35	0.71	チャート	完形		RIS11286
248	2471	179	7-37-S12?	埋土	凹無	2.30	1.20	0.30	0.47	珪質頁岩	完形		RIS11282
248	2472	179	7-34-S12?	床面一直上層	凹無	2.50	1.55	0.60	1.69	チャート	完形		RIS11290
248	2473	179	7-34-S11	床面一直上層	凸無	2.40	1.45	0.30	0.86	黒曜石	完形		RIS11189
248	2474	179	6-23-S12-PP1-PP2	貼床面より下の埋土	有蓋1型	2.40	1.45	0.30	0.86	黒曜石	完形		RIS11295
248	2475	179	6-23-S11	埋土	平無	(1.50)	(1.15)	0.35	(0.41)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1897
248	2476	179	6-23-S11	床面直上層	凹無	1.85	(1.50)	0.35	(0.61)	黒曜石	側縁・かえり一部欠		RIS1904
248	2477	179	6-23-S11	埋土最上部	平無	1.90	1.90	0.50	1.32	頁岩	完形		RIS1905
248	2478	179	6-23-S11	床面直上層	凹無	1.95	(1.70)	0.40	(0.92)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1896
248	2479	179	6-23-S11	床面直上層	凹無	2.65	2.00	0.70	2.22	珪質頁岩	完形		RIS1900
248	2480	179	1-34-P1	埋土	有蓋5型	2.60	1.10	0.40	0.78	珪質頁岩	完形		RIS118
248	2481	179	2-31-P2	埋土	平無	1.80	1.80	0.60	1.68	黒曜石	完形		RIS138
248	2482	179	2-31-P4	埋土	凹無	(2.00)	1.80	0.40	(0.71)	黒曜石	先端一部欠		RIS161
248	2483	179	2-32-P1	埋土最上部	凹無	1.65	1.10	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS126
248	2484	179	2-32-P1	埋土最上部	凹無	1.90	(1.25)	0.25	(0.47)	黒曜石	かえり一部欠		RIS128
248	2485	179	2-32-P1	埋土	凸無	2.55	1.65	0.50	1.69	頁岩	完形		RIS133

層別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
248	2486		2-32-P1	埋土最上部	有葦5型	(1.80)	1.00	0.30	(0.47)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS127
248	2487		2-32-P1	埋土1層	有葦	1.80	1.30	0.30	0.48	チャート	基部・かえり一部欠		RIS135
248	2488		2-32-P5	埋土	凹無	1.75	1.60	0.35	0.65	珪質頁岩	完形		RIS162
248	2489		3-27残いくほみ	埋土	凹無	1.50	(1.20)	0.30	(0.35)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1200
248	2490		3-18-P1	埋土	凹無	2.30	1.70	0.30	0.53	黒曜石	完形		RIS1141
248	2491		3-31-P1	埋土	凹無	2.95	1.90	0.65	2.99	頁岩	完形		RIS1143
248	2492		3-31-P1	埋土	平無	3.25	(1.50)	0.55	(1.53)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1144
248	2493		3-31-P3	埋土	凹無	1.95	1.50	0.30	0.60	頁岩	完形		RIS1162
248	2494		3-31-P3	埋土	凹無	(2.50)	1.30	0.30	(0.54)	メノウ	先端一部欠		RIS1163
248	2495		3-36-P3	埋土	有葦5型	2.65	1.15	0.35	0.68	頁岩	完形		RIS1164
248	2496		4-26-P6	埋土	凹無	1.65	1.20	0.30	0.40	黒曜石	完形		RIS1309
248	2497		4-27-P1	埋土	凹無	2.00	1.80	0.45	0.99	黒曜石	完形		RIS1249
248	2498		4-27-P3	埋土2~4層	凹無	(1.60)	1.20	0.30	(0.37)	チャート	先端一部欠		RIS1282
249	2499		4-27-P3	埋土2~4層	凹無	1.75	1.15	0.20	0.25	黒曜石	完形		RIS1283
249	2500		4-27-P3	埋土2~4層	凹無	1.90	(1.15)	0.40	(0.63)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1285
249	2501		4-28-P1	埋土	凹無	(1.55)	1.50	0.40	(0.68)	黒曜石	先端一部欠		RIS1250
249	2502		4-28-P4	埋土1層	凹無	1.55	1.45	0.30	0.35	黒曜石	完形		RIS1305
249	2503		4-29-P5	埋土	凹無	(1.80)	1.05	0.30	(0.42)	黒曜石	先端一部欠		RIS1308
249	2504		4-29-P8	埋土	凹無	1.85	(1.55)	0.35	(0.74)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1315
249	2505		4-29-P8	埋土	平無	1.80	1.70	0.60	1.63	黒曜石	完形	未成品か?	RIS1316
4210	4210	179	4-29-P8	埋土	凹無	2.15	1.80	0.30	0.59	チャート	完形		RIS1316
249	2506		4-29-P5-8	埋土最上部	凹無	1.75	1.25	0.35	0.64	黒曜石	完形		RIS1307
4211	4211	179	4-29-P11	埋土	凹無	2.85	1.00	0.40	0.75	頁岩	完形		RIS1307
249	2507		5-24-P5	埋土	凹無	2.10	1.35	0.35	0.69	チャート	完形		RIS1317
249	2508		5-24-P7	埋土上部	凹無	1.40	1.35	0.30	0.41	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1796
249	2509		5-24-P7	埋土上部	凹無	1.40	1.40	0.30	0.30	黒曜石	完形		RIS1800
249	2510		5-24-P7	埋土上部	凹無	1.60	1.30	0.25	0.29	黒曜石	完形		RIS1798
249	2511		5-24-P7	埋土上部	凹無	1.90	1.40	0.30	0.41	頁岩	完形		RIS1799
249	2512		5-24-P17	埋土	凹無	1.30	1.30	0.35	0.45	黒曜石	完形		RIS1797
249	2513		5-25-P5	埋土	凹無	1.45	0.90	0.30	0.35	黒曜石	完形		RIS1801
249	2514		5-25-P5	埋土	凹無	1.75	1.30	0.35	0.49	黒曜石	完形		RIS1802
249	2515		5-25-P7	埋土	凹無	1.50	0.95	0.25	0.22	黒曜石	完形		RIS1803
249	2516		5-25-P12	埋土	凹無	1.85	1.25	0.25	0.38	黒曜石	完形		RIS1805
249	2517		5-26-P1	埋土	凹無	1.60	1.05	0.20	0.33	黒曜石	完形		RIS1806
249	2518		5-26-P11	埋土	凸無	2.50	2.20	0.85	4.00	黒曜石	完形		RIS1807
249	2519		5-26-P14	埋土	凹無	1.95	1.20	0.25	0.41	黒曜石	完形		RIS1814
249	2520		5-26-P17	埋土	有葦1型	2.55	2.20	0.65	2.36	チャート	完形		RIS1815
249	2521		5-26-P18	埋土	凹無	1.85	(1.45)	0.40	(0.51)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1816
249	2522		5-26-P21	埋土	凹無	1.20	1.00	0.25	0.20	黒曜石	完形		RIS1817
249	2523		5-26-P23	埋土	凹無	(1.50)	(1.50)	0.30	(0.46)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1818
249	2524		5-26-P23	埋土	凹無	2.70	1.10	0.25	0.62	頁岩	完形		RIS1820
249	2525		5-26-P30	埋土	平無	3.15	2.10	0.85	4.01	黒曜石	完形		RIS1819
249	2526		5-26-P31	埋土	凹無	2.10	1.45	0.35	0.77	黒曜石	完形		RIS1821
249	2527		5-27-P5	埋土	有葦5型	1.95	1.30	0.40	0.55	チャート	完形		RIS12150
249	2528		5-27-P7	埋土	凹無	1.50	1.20	0.40	0.59	黒曜石	先端一部欠		RIS1827
250	2529		5-27-P9周辺	埋土最上部	平無	1.65	(1.30)	0.25	(0.33)	黒曜石	完形		RIS1832
250	2530		5-27-P9周辺	埋土最上部	平無	(1.85)	(1.65)	0.30	(0.51)	珪質頁岩	先端・かえり一部欠		RIS1830

博図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
250	2531		5-27-P9周辺	埋土最上部	平無	1.90	(1.30)	0.25	(0.38)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1831
250	2532	179	5-27-S11-P11	埋土	凹無	2.10	2.10	0.80	3.22	黒曜石	完形		RIS12339
250	2533		5-28-P1	埋土	凹無	1.80	1.50	0.30	0.53	珪質頁岩	完形		RIS1834
250	2534		5-28-P1	埋土	凹無	2.00	1.35	0.30	0.54	チャート	完形		RIS1835
250	2535		5-28-P5	埋土上部	凹無	2.05	1.60	0.65	1.86	黒曜石	完形		RIS1838
250	2536		5-28-P5	埋土上部	平無	1.80	1.55	0.55	1.32	黒曜石	完形		RIS1839
250	2537		5-28-P6	埋土	凹無	1.70	1.35	0.35	0.53	黒曜石	完形		RIS1840
250	2538		5-30-P5	埋土	凹無	(2.40)	1.60	0.35	(0.91)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1841
250	2539		5-31-P4	埋土最上部	凹無	1.55	1.20	0.30	0.42	黒曜石	完形		RIS1851
250	2540		5-31-P4	埋土	凹無	1.75	1.45	0.45	0.60	黒曜石	完形		RIS1853
250	2541		5-31-P4	埋土	凹無	2.20	1.40	0.40	0.69	黒曜石	完形		RIS1854
250	2542		5-31-P5	埋土	凹無	1.60	1.40	0.30	0.42	黒曜石	完形		RIS1855
250	2543		5-32-P1	埋土上部	凹無	2.10	(1.45)	0.40	(0.71)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1858
250	2544		5-32-P1	埋土最上部	凹無	(1.40)	1.30	2.50	(0.32)	黒曜石	先端一部欠		RIS1857
250	2545		5-32-P9	埋土	凹無	1.60	1.35	0.30	0.44	黒曜石	完形		RIS1859
250	2546		5-35-P3	埋土下部	凹無	(1.85)	1.20	0.35	(0.44)	黒曜石	先端一部欠		RIS1867
250	2547		5-36-P3	埋土最上部	凹無	1.90	1.10	0.30	0.40	珪質頁岩	完形		RIS1869
250	2548		6-23-P10	埋土	凹無	(1.20)	1.60	0.25	(0.41)	珪質頁岩	完形		RIS1081
250	2549		6-22-P10	埋土	凹無	1.75	(1.50)	0.30	(0.34)	黒曜石	先端一部欠		RIS1066
250	2550		6-23-P10	埋土	凹無	(1.90)	1.65	0.40	(0.87)	黒曜石	先端一部欠		RIS1077
250	2551	179	6-23-P10	埋土	有茎型	1.40	(1.05)	0.35	(0.30)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1073
250	2552		6-23-P10	埋土	有茎5型	1.80	1.15	0.25	0.28	メノウ	完形		RIS1076
250	2553		6-23-P10	埋土	有茎	(1.55)	1.20	0.40	(0.52)	黒曜石	先端一部欠		RIS1078
250	2554		6-23-P10	埋土	有茎	1.70	1.35	0.35	0.58	チャート	完形		RIS1079
250	2555		6-23-P10	埋土	有茎	1.95	1.55	0.40	(0.69)	珪化木	先端一部欠		RIS1067
250	2556	179	6-23-P10	実測図1層	凹無	(1.50)	1.15	0.30	(0.48)	黒曜石	先端一部欠		RIS1068
250	2557		6-23-P10	実測図1層	有茎	(1.80)	1.35	0.40	(0.61)	黒曜石	先端一部欠		RIS1069
250	2558	179	6-23-P10	埋土2層以下	凹無	1.40	1.50	0.25	0.33	黒曜石	完形		RIS12347
250	2559	179	6-23-P10	埋土2層以下	凹無	1.85	1.40	0.30	0.48	珪質頁岩	完形		RIS12349
250	2560	179	6-23-P10	埋土2層以下	有茎5型	1.50	1.30	0.35	0.38	黒曜石	完形		RIS1086
250	2561		6-24-P2	埋土	凹無	(1.45)	1.10	0.25	(0.28)	チャート	かえり一部欠		RIS1083
250	2562		6-24-P2	埋土	凹無	2.25	(1.10)	0.30	(0.40)	黒曜石	先端一部欠		RIS1087
251	2563		6-24-P9	埋土	凹無	1.75	1.40	0.25	0.44	黒曜石	完形		RIS1088
251	2564		6-24-P13	埋土上部	凹無	(2.20)	(1.65)	0.30	(0.62)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1089
251	2565		6-24-P14	埋土	有茎5型	1.35	(1.10)	0.35	(0.30)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1090
251	2566		6-24-P14	埋土	平無	1.80	1.25	0.30	0.42	黒曜石	完形		RIS1096
251	2567		6-25-P6	埋土	凹無	1.90	(1.30)	0.40	(0.76)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1097
251	2568		6-25-P6	埋土	有茎	(1.60)	1.15	0.40	(0.52)	チャート	先端一部欠		RIS1094
251	2569		6-25-P6	埋土	有茎	(1.50)	1.36	0.39	(0.66)	黒曜石	先端一部欠		RIS1093
251	2570		6-25-P8	埋土	平無	(1.45)	1.45	0.45	(0.88)	黒曜石	先端一部欠		RIS1100
251	2571		6-25-P8	埋土	凹無	1.55	1.60	0.50	1.04	黒曜石	完形		RIS1099
251	2572		6-25-P8	埋土	有茎	(1.35)	(1.35)	0.30	(0.38)	チャート	先端一部欠		RIS1102
251	2573		6-26-P5	埋土	凹無	1.35	1.00	0.30	0.23	黒曜石	完形		RIS1107
251	2574		6-26-P10	埋土	有茎	(1.00)	(1.05)	0.35	(0.32)	チャート	先端一部欠		RIS1106
251	2575		6-26-P10	埋土	平無	1.50	1.15	0.40	0.56	黒曜石	完形		RIS1110
251	2576		6-26-P14	埋土	凹無	1.30	1.00	0.30	0.27	黒曜石	完形		RIS1112



標	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
251	4212	179	6-26-PP20	埋土	平無	2.10	1.43	0.68	1.59	珪化木	完形		RIS13125
251	2578		6-28-P1	埋土	凹無	2.30	1.30	0.30	0.64	珪質頁岩	完形		RIS11114
251	2579		6-28-P2	埋土西半	有莖5型	(1.40)	1.20	0.30	(0.37)	黒曜石	先端一部欠		RIS11115
251	2580		6-28-P12	埋土	凹無	1.85	(1.40)	0.35	(0.56)	チャート	かえり一部欠		RIS11122
251	2581		6-28-P12	埋土	凹無	1.80	1.50	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS11123
251	2582		6-28-P17	埋土	凹無	1.50	1.15	0.35	0.39	黒曜石	完形		RIS11126
251	2583		6-28-P17	埋土	凹無	1.95	(1.20)	0.35	(0.53)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11125
251	2584		6-28-P18	埋土	凹無	2.20	1.70	0.50	0.94	黒曜石	完形		RIS11127
251	2585		6-29-P3	埋土	平無	3.20	1.60	0.70	3.20	凝灰岩	完形		RIS11133
251	2586		6-29-P9	埋土	凹無	3.05	1.55	0.25	0.89	珪質頁岩	完形		RIS11136
251	2587		6-30-P6	埋土	凹無	3.40	2.25	0.60	3.14	珪質頁岩	完形		RIS11143
251	2588		6-36-P2	黒色土層最下部	凹無	2.20	1.50	0.40	0.83	珪質頁岩	完形		RIS11153
251	2589		6-36-P2	黒色土層最下部	凹無	1.55	1.15	0.40	0.49	珪質頁岩	完形		RIS11151
251	2590		6-36-P2	黒色土層最下部	凹無	2.65	1.20	0.30	0.67	珪質頁岩	完形		RIS11150
251	2591	179	7-25-P5	埋土	有莖5型	2.65	1.15	0.30	0.39	黒曜石	完形		RIS12354
252	2592		7-26-P14	埋土	平無	2.62	1.86	0.62	2.73	頁岩	完形		RIS11365
252	2593		7-27-P3	埋土	凹無	2.62	1.58	0.30	1.01	チャート	完形		RIS11373
252	2594	179	8-23-P3	埋土	平無	(2.30)	1.40	0.45	(1.35)	メノウ	先端一部欠		RIS12358
252	2595	179	8-24-P7	埋土	凹無	1.30	1.15	0.35	0.34	黒曜石	完形		RIS12359
252	2596	179	8-24-P7	埋土上部黒褐色土	凹無	1.55	1.50	0.40	0.55	黒曜石	完形		RIS12360
252	2597		8-27-P3	埋土	凹無	2.00	1.45	0.52	1.13	黒曜石	完形		RIS11840
252	2598		9-30-P2	埋土	平無	2.70	1.65	0.45	1.29	頁岩	完形		RIS12044
252	2599		10-24-P11	埋土	凹無	(3.70)	(2.20)	0.60	(4.38)	頁岩	先端・かえり一部欠		RIS12044
252	2600	179	10-25-P5	埋土	凹無	1.55	1.40	0.30	0.32	黒曜石	完形		RIS12064
252	2601		10-25-P5	埋土	凹無	(2.27)	1.86	0.28	(0.54)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS12365
252	2602		10-27-P3	埋土	凹無	(3.83)	(1.83)	0.52	(2.95)	頁岩	基部欠		RIS12068
252	2603		11-24-P3・4	埋土	凹無	1.50	1.05	0.30	0.31	黒曜石	完形		RIS12090
252	2604		11-24-P5	埋土	平無	2.80	1.80	0.50	2.33	黒曜石	かえり一部欠		RIS12091
252	2605		2-16-P6	埋土	凹無	2.10	1.50	0.25	0.57	黒曜石	完形		RIS163
252	2606		3-16-P4	埋土	平無	1.40	1.20	0.30	0.36	黒曜石	完形		RIS1167
252	2607		4-11-P5	埋土	有莖1型	2.35	1.30	0.35	0.62	チャート	完形		RIS1306
252	2608		4-16-P7	埋土	平無	3.50	2.20	1.00	4.84	メノウ	完形		RIS1312
252	2609		4-27-S11-PP5	埋土	平無	2.70	1.75	0.60	2.01	黒曜石	先端一部欠		RIS1243
252	4213	180	4-30-PP4	埋土	凹無	(1.75)	1.65	0.35	(0.81)	メノウ	完形		RIS13120
252	2610		5-25-PP5	埋土	平無	2.55	1.30	0.40	0.88	珪質頁岩	完形		RIS1873
252	2611		5-26-PP3	埋土	有莖5型	(1.60)	1.60	0.30	(0.43)	黒曜石	完形		RIS1874
252	2612		5-32-PP21	埋土	凹無	1.90	1.70	0.40	1.02	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1863
252	2613		6-25-PP3	埋土	凹無	2.50	1.55	0.25	0.51	チャート	完形		RIS11162
252	2614		6-25-PP12	埋土	凹無	1.70	1.05	0.30	0.34	珪質頁岩	完形		RIS11163
252	2615		6-25-PP13	埋土	平無	1.90	1.50	0.40	0.87	黒曜石	完形		RIS11164
252	2616	180	6-26-PP2-PP3	埋土	凹無	(1.55)	1.30	0.25	(0.40)	黒曜石	先端一部欠		RIS12351
252	2617		6-26-PP11	埋土	平無	(1.80)	(1.50)	0.50	(0.93)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS11167
252	2618		6-30-PP9	埋土	凹無	1.80	(1.20)	0.35	(0.49)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11171
253	2619		6-30-PP9	埋土	凹無	1.90	(1.45)	0.40	(0.70)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11170
253	2620	180	7-26-PP10	埋土	凹無	1.45	1.55	0.25	0.34	黒曜石	完形		RIS12352
253	2621		11-23-PP2	埋土	凹無	1.50	(1.00)	0.20	(0.19)	黒曜石	かえり一部欠		RIS12092
253	2622		11-23-PP6	埋土	平無	2.15	1.65	0.65	2.10	チャート	完形	未成品か?	RIS12093

背号	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	高さ(m)	重さ(g)	石質	残存状況	備考	登録No
253	2623		11-24-PP2	埋土	凹無	1.70	1.55	0.30	0.49	黒曜石	完形		RIS12095
253	2624		2-16-PP1	埋土	有基	(1.85)	1.15	0.35	(0.51)	黒曜石	先端一部欠		RIS164
253	2625		3-14-PP10	埋土	凹無	1.85	1.75	0.40	0.76	珪質頁岩	完形		RIS1184
253	2626		3-15-PP20	埋土	凹無	(1.65)	(1.40)	0.30	(0.53)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1192
253	2627		3-16-PP8	埋土	凹無	1.35	1.05	0.35	0.31	黒曜石	完形		RIS1180
253	2628		3-16-PP8	埋土	平無	1.60	1.60	0.70	2.30	メノウ	完形		RIS1179
253	2629		3-31-PP4	埋土	凹無	1.65	1.35	0.30	0.40	黒曜石	完形		RIS1174
	4214	180	3-32-PP11	埋土	凹無	3.85	1.60	0.35	(1.24)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS13103
253	2630		3-35-PP3	埋土	凹無	(1.20)	1.25	0.20	(0.21)	黒曜石	先端一部欠		RIS1173
253	2631		4-10-PP4	埋土	凹無	1.80	1.60	0.45	1.15	黒曜石	完形		RIS1322
253	2632		4-12-PP11	埋土	有基	(2.70)	1.55	0.30	(0.76)	メノウ	先端・基部一部欠		RIS1330
253	2633		6-26埋設土器No1-3	周辺埋土	凹無	1.70	(1.50)	0.35	(0.62)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11044
253	2634		6-27区	縄文遺構埋土上部	凹無	(8.1)	2.8	0.31	(0.5)	黒曜石	先端一部欠		RIS1483
253	2635		10-28炉No1	埋土	凹無	(3.54)	2.8	0.64	(2.97)	頁岩	先端一部欠		RIS12057
253	2636	180	5-23-S11	埋土2層(カマド破壊部)	凹無	1.60	(1.10)	0.30	(0.29)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1416
253	2637	180	5-23-S11	貼床埋土	凹無	1.60	1.40	0.25	0.38	黒曜石	完形		RIS1408
253	2638	180	5-23-S11	貼床埋土	凹無	1.65	1.35	0.40	0.61	頁岩	完形		RIS1410
253	2639	180	5-23-S11	床面直上層	凹無	(1.60)	1.50	0.35	(0.68)	黒曜石	基部欠		RIS1395
253	2640	180	5-23-S11	床面直上層(中部)	凹無	1.80	1.40	0.55	1.06	黒曜石	完形		RIS1404
253	2641	180	5-23-S11	床面直上層(上部層)	平無	1.80	1.75	0.75	2.17	メノウ	完形	未成品か?	RIS1404
253	2642	180	5-23-S11	埋土最上層	平無	(1.85)	1.30	0.30	(0.57)	メノウ	先端一部欠		RIS12340
253	2643	180	5-23-S11	埋土(カマド状部)	凹無	1.90	(1.70)	0.30	(0.55)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1424
253	2644	180	5-23-S11	床面直上層(中部)	凹無	2.00	1.30	0.30	0.40	珪質頁岩	完形		RIS1415
253	2645	180	5-23-S11	床面直上層(上部層)	凹無	(2.00)	1.40	0.30	(0.68)	メノウ	先端一部欠		RIS1388
253	2646	180	5-23-S11	貼床より下の縄文埋土	平無	(2.30)	1.40	0.30	(0.64)	黒曜石	先端一部欠		RIS1400
253	2647	180	5-23-S11	埋土最上層	凸無	2.10	1.65	0.65	1.73	チャート	完形		RIS1427
253	2648	180	5-23-S11	床面直上層(中部)	凸無	2.40	2.00	0.90	2.92	黒曜石	完形		RIS1389
254	2649	180	5-23-S11	床面直上層(南北ベルト)	平無	3.00	2.05	0.80	4.00	チャート	完形		RIS1396
254	2650	180	5-23-S11	床面直上層(南北ベルト)	有基	(1.15)	(1.15)	0.30	(0.60)	黒曜石	基部・かえり一部欠		RIS1419
254	2651	180	5-23-S11	床面直上層(上部層)	有基5型	(1.25)	1.15	0.30	(0.24)	黒曜石	基部一部欠		RIS1393
254	2652	180	5-23-S11	床面直上層(上部層)	有基	1.40	0.95	0.30	0.33	黒曜石	完形		RIS1392
254	2653	180	5-23-S11	貼床面を含む埋土	有基5型	1.85	1.05	0.35	0.46	黒曜石	完形		RIS1402
254	2654	180	5-23-S11	床面直上層(下半)	有基	(1.85)	(1.20)	0.40	(0.56)	メノウ	先端・かえり一部欠		RIS1387
254	2655	180	5-23-S11	貼床より下の縄文埋土	有基	1.90	1.40	0.35	0.53	黒曜石	完形		RIS1399
254	2656	180	5-23-S11	埋土最上層	有基5型	2.10	(1.35)	0.60	(0.84)	メノウ	かえり一部欠		RIS1426
254	2657	180	5-23-S11	埋土最上層	有基5型	(2.40)	1.60	0.50	(1.13)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1425
254	2658	180	5-23-S11	貼床面を含む埋土	有基5型	2.40	1.15	0.30	0.70	頁岩	完形		RIS1401
254	2659	180	5-23-S11	埋土カマド(壊)	凹無	2.15	(1.10)	0.40	(0.77)	チャート	かえり一部欠		RIS1417
254	2660	180	5-23-S11	埋土最上層	有基1型	1.75	1.40	0.30	0.65	黒曜石	側縁一部欠		RIS1422
254	2661	180	5-23-S11	貼床埋土	有基5型	2.05	1.50	0.45	0.84	珪化木	先端一部欠		RIS1432
254	2662	180	5-26-A11	貼床埋土	平無	(2.20)	2.00	0.80	(3.49)	珪化木	完形		RIS1461
254	2663	180	5-30-S11	貼床埋土	凹無	2.90	1.50	0.55	1.87	黒曜石	完形		RIS1414
	4215	180	5-36-S12	埋土床面直上層	凹無	1.73	2.03	0.35	0.95	頁岩	完形		RIS12776
254	2664		6-24-S11	埋土上部	凹無	1.75	1.00	0.25	0.35	黒曜石	完形		RIS1910
254	2665		6-24-S11	床面直上層	凹無	(1.80)	(1.00)	0.35	(0.49)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1911
254	2666		6-24-S11	埋土上部	有基5型	2.00	(0.95)	0.35	(0.45)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1907
254	2667		6-24-S11	埋土上部	有基1型	(1.95)	1.35	0.40	(0.57)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1906

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(㎝)	幅(㎝)	厚さ(㎝)	重さ(㎏)	石質	残存状況	備考	登録No
254	2668	180	6-25-S11-P5/PP1	埋土	凹無	1.40	1.10	0.20	0.22	黒曜石	完形		RIS1919
254	2669	180	6-37-S11-P2	埋土	平無	2.15	1.65	0.70	1.63	黒曜石	完形		RIS1055
254	2670	180	6-37-S11-P2	埋土	凸無	2.20	1.40	0.60	1.35	黒曜石	完形		RIS1054
254	2671	180	6-37-S11	床面構成層	有蓋5型	2.35	(1.50)	0.30	(0.65)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1039
254	2672	180	7-21-S11	床面直上層	凹無	1.40	1.20	0.25	0.36	黒曜石	完形		RIS1184
254	2673	180	7-21-S11	貼床埋土	凹無	1.45	1.20	0.30	0.39	黒曜石	完形		RIS1179
254	2674	180	7-21-S11カマド	埋土	凹無	1.50	1.20	0.25	0.27	黒曜石	完形		RIS1185
254	2675	180	7-21-S11	床面直上層	凹無	1.55	1.40	0.30	0.33	黒曜石	完形		RIS1183
254	2676	180	7-21-S11	埋土	凹無	1.85	1.15	0.30	0.51	メノウ	完形		RIS1176
254	2677	180	7-21-S11	床面直上層	凸無	2.55	1.65	0.70	2.76	チャート	完形		RIS1181
254	2678	180	7-21-S11	埋土	有蓋5型	2.30	1.25	0.30	0.52	チャート	完形		RIS1177
254	2679	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	1.10	1.10	0.30	0.26	黒曜石	完形		RIS1219
254	2680	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	1.15	1.25	0.20	0.24	黒曜石	完形		RIS1276
254	2681	180	7-34-S11-PP11	埋土上部	凹無	1.20	1.20	0.30	0.34	黒曜石	完形		RIS1323
255	2682	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	(1.20)	0.85	0.30	(0.26)	黒曜石	先端一部欠		RIS1248
255	2683	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	1.30	(1.10)	0.30	(0.20)	黒曜石	かえり一部欠	未成品か？	RIS1226
255	2684	180	7-34-S11	床面	凹無	1.30	1.20	0.25	0.38	黒曜石	完形		RIS1190
255	2685	180	7-34-S11	貼床面の埋土	凹無	1.35	1.20	0.25	0.32	黒曜石	先端一部欠		RIS1211
255	2686	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	1.45	1.30	0.35	0.52	黒曜石	完形		RIS1196
255	2687	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	1.50	1.40	0.20	0.33	チャート	完形		RIS1257
255	2688	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	1.50	1.40	0.35	0.50	黒曜石	完形		RIS1247
255	2689	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	1.50	(1.40)	0.30	(0.34)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1197
255	2690	180	7-34-S11	床面	凹無	1.50	(1.15)	0.30	(0.37)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1212
255	2691	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	(1.50)	(1.10)	0.25	(0.34)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1246
255	2692	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	1.60	1.20	0.25	0.23	黒曜石	完形		RIS1218
255	2693	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	1.60	(1.50)	0.20	(0.42)	メノウ	かえり一部欠		RIS1265
255	2694	180	7-34-S11	貼床面の埋土	凹無	1.60	1.30	0.35	0.64	黒曜石	完形		RIS1188
255	2695	180	7-34-S11-PP1	埋土	凹無	1.65	1.05	0.30	0.44	メノウ	完形		RIS1322
255	2696	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	(1.65)	(1.40)	0.25	(0.38)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1233
255	2697	180	7-34-S11	貼床面の埋土	凹無	(1.70)	1.45	0.30	(0.62)	チャート	先端一部欠		RIS1210
255	2698	180	7-34-S11-P1	埋土	凹無	(1.75)	(1.40)	0.20	(0.24)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1317
255	2699	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	(1.75)	(1.65)	0.45	(1.16)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1206
255	2700	180	7-34-S11	貼床埋土	凹無	1.75	1.15	0.25	0.40	黒曜石	完形		RIS1191
255	2701	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	1.80	1.40	0.30	0.70	チャート	完形		RIS1203
255	2702	180	7-34-S11	床面直上層～床面	平無	1.80	(1.00)	0.40	(0.46)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1231
255	2703	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凸無	1.80	1.25	0.45	0.74	黒曜石	完形		RIS1198
255	2704	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	(1.80)	(1.10)	0.30	(0.39)	頁岩	先端・かえり一部欠		RIS1224
255	2705	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	(1.80)	1.40	0.30	(0.39)	黒曜石	先端一部欠		RIS1194
255	2706	180	7-34-S11	埋土最上部	凹無	1.85	1.40	0.30	0.47	珩質頁岩	完形		RIS1268
255	2707	180	7-34-S11	北端19960514No.1	凹無	1.85	1.35	0.40	0.55	黒曜石	完形		RIS1273
255	2708	180	7-34-S11	床面直上層	凹無	1.85	1.20	0.25	0.47	メノウ	完形		RIS1220
255	2709	180	7-34-S11	貼床面の埋土	凹無	(1.85)	1.10	0.20	(0.35)	珩質頁岩	先端一部欠		RIS1213
255	2710	180	7-34-S11	床面	凹無	1.90	(1.30)	0.35	(0.62)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1230
255	2711	180	7-34-S11	床面より上の層厚さ5cm	平無	1.90	1.70	0.40	0.93	黒曜石	完形		RIS1242
255	2712	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	1.95	(1.25)	0.30	(0.44)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1250
255	4216	180	7-34-S11	床面直上～床面埋土	平無	1.95	1.30	0.70	1.27	黒曜石	完形	未成品か？	RIS1234
255	2713	180	7-34-S11	床面直上層～床面	凹無	(2.00)	(1.50)	0.30	(0.52)	珩質頁岩	かえり一部欠		RIS1201

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
255	2714	180	7-34-S11	床面構成層	凹無	2.00	1.45	0.50	0.89	珪質頁岩	完形		RIS11279
255	2715	180	7-34-S11	貼床埋土	凹無	(2.00)	(1.65)	0.45	(1.17)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS11236
255	2716	180	7-34-S11	埋土最上部	凹無	2.05	1.35	0.50	1.02	チャート	完形		RIS11227
255	2717	180	7-34-S11	床面より上の層厚さ5cm	凹無	2.10	(1.65)	0.35	(0.76)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11253
255	2718	180	7-34-S11-PP1	埋土	凹無	2.15	(1.25)	0.30	(0.65)	チャート	かえり一部欠		RIS11483
255	2719	180	7-34-S11	床面構成層	平無	2.20	1.70	0.40	1.61	頁岩	完形		RIS11272
256	2720	180	7-34-S11	床面より上の層上半	凹無	2.20	1.35	0.30	0.44	珪質頁岩	完形		RIS11204
256	2721	180	7-34-S11	床面より上の層	有莖	2.40	0.80	0.25	0.41	珪質頁岩	完形		RIS11193
256	2722	180	7-34-S11	床面より上の層上半	平無	(2.40)	2.10	0.70	(2.34)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS11202
256	2723	180	7-34-S11	床面直上層~床面	凹無	2.40	1.45	0.30	0.85	珪質頁岩	完形		RIS11262
256	2724	180	7-34-S11	床面	平無	(2.40)	1.30	0.45	(1.14)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS11214
256	2725	180	7-34-S11	貼床面の埋土	凹無	(4.20)	(1.70)	0.55	(2.71)	頁岩	先端・かえり一部欠		RIS12356
256	2726	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	1.45	(1.00)	0.35	(0.36)	黒曜石	側縁一部欠		RIS11559
256	2727	180	8-25-S11	貼床埋土	平無	1.45	1.20	0.50	0.60	黒曜石	完形		RIS11552
256	2728	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	1.50	1.30	0.35	0.44	黒曜石	完形		RIS12361
256	2729	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	(1.60)	(1.50)	0.35	(0.64)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS11558
256	2730	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	(1.70)	1.45	0.35	(0.60)	黒曜石	先端一部欠		RIS11562
256	2731	180	8-25-S11	埋土上半	平無	(1.75)	(1.45)	0.35	(0.62)	黒曜石	先端一部欠		RIS11566
256	2732	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	(1.80)	(1.50)	0.40	(0.66)	黒曜石	先端一部欠		RIS11567
256	2733	180	8-25-S11	埋土下半	凹無	1.80	1.20	0.40	0.69	珪質頁岩	完形		RIS11547
256	2734	180	8-25-S11	埋土2層下部	凹無	(1.85)	1.65	0.45	(1.10)	黒曜石	先端一部欠		RIS11555
256	2735	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	(1.85)	1.45	0.40	(0.94)	黒曜石	先端一部欠		RIS11563
256	2736	180	8-25-S11	埋土1層下部	凹無	2.05	(1.60)	0.50	(0.68)	凝灰岩	かえり一部欠		RIS11553
256	2737	180	8-25-S11	埋土1層下部	凹無	2.05	(1.35)	0.35	(0.64)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11554
256	2738	180	8-25-S11	埋土上半	凹無	2.65	(1.80)	0.40	(1.09)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11564
256	2739	181	8-25-S11	埋土上半	有莖1型	1.55	1.10	0.25	0.32	チャート	完形		RIS11568
256	2740	181	8-25-S11	埋土上半	有莖5型	1.65	(1.30)	0.25	(0.34)	チャート	かえり一部欠		RIS11560
256	2741	181	8-25-S11	埋土	有莖5型	(2.20)	(1.35)	0.40	(0.76)	メノウ	莖部・かえり一部欠		RIS11570
256	2742	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	(1.25)	1.05	0.20	(0.21)	メノウ	先端一部欠		RIS11578
256	2743	181	8-27-S11	埋土上半	有莖	(1.25)	(1.10)	0.30	(0.37)	黒曜石	先端一部欠		RIS11592
256	2744	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	1.45	(1.10)	0.30	(0.29)	黒曜石	先端・莖部一部欠		RIS11581
256	2745	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	1.45	1.50	0.40	0.59	チャート	完形		RIS11589
256	2746	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	1.55	(1.35)	0.40	(0.54)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11585
256	2747	181	8-27-S11	埋土	平無	1.55	1.45	0.35	0.61	黒曜石	完形		RIS11597
256	2748	181	8-27-S11	埋土上半部	凹無	1.70	(1.05)	0.25	(0.32)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11588
256	2749	181	8-27-S11	埋土	平無	1.70	1.30	0.30	0.48	黒曜石	完形		RIS11593
256	2750	181	8-27-S11	埋土	凹無	1.70	(1.50)	0.40	(0.68)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11594
256	2751	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	1.75	1.50	0.30	0.54	珪質頁岩	完形		RIS11580
256	2752	181	8-27-S11	床面直上層	凹無	1.80	(1.00)	0.25	(0.28)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11576
257	2753	181	8-27-S11-P3	埋土	凹無	2.10	1.40	0.55	0.90	珪質頁岩	完形		RIS11707
257	2754	181	8-27-S11	貼床埋土	凹無	2.10	(1.40)	0.30	(0.65)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11574
257	2755	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	2.20	1.55	0.30	(0.64)	チャート	かえり一部欠		RIS11587
257	2756	181	8-27-S11	埋土上半	凹無	2.20	(1.70)	0.50	(1.19)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11583
257	2757	181	8-27-S11-P3	埋土	凹無	2.85	(1.55)	0.40	(1.10)	チャート	かえり一部欠		RIS11705
257	2758	181	8-27-S11	埋土上半	有莖5型	(1.60)	1.20	0.20	(0.20)	黒曜石	先端一部欠		RIS11577
257	2759	181	8-27-S11-P4	埋土	有莖	(1.50)	1.40	0.20	(0.40)	チャート	先端・莖部一部欠		RIS12362
257	2760	181	8-27-S11-P4	埋土	有莖5型	2.10	(1.20)	0.25	(0.48)	チャート	かえり一部欠		RIS11708

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
257	2761	181	8-27-S11	カマド床面より下の埋土	有蓋5型	2.50	(1.60)	0.40	(0.80)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS11573
257	2762	181	8-27-S11	埋土上半	有蓋5型	2.65	1.85	0.50	1.72	珪質頁岩	完形		RIS11584
257	2763	181	8-28-S11	埋土最上部	凹無	1.45	(1.25)	0.30	(0.35)	黒曜石	かえり一部欠		RIS11599
257	2764	181	8-28-S11	埋土最上部	凹無	1.75	1.20	0.35	0.48	珪質頁岩	完形		RIS11603
257	2765	181	8-28-S11	埋土最上部	凹無	(1.80)	1.50	0.45	(0.69)	メノウ	先端一部欠		RIS11598
257	2766	181	8-28-S11	埋土上半部	凹無	1.95	1.30	0.30	0.45	黒曜石	完形		RIS11600
257	2767	181	8-28-S11	埋土最上部	凹無	(2.25)	1.40	0.30	(0.56)	凝灰岩	先端一部欠		RIS11602
257	2768	181	8-28-S11	床面あるいは貼床埋土中	有蓋5型	(2.40)	1.45	0.50	(1.05)	チャート	先端一部欠		RIS11605
257	2769	181	10-27-S11	貼床面埋土	凹無	1.60	(1.45)	0.35	(0.50)	黒曜石	かえり一部欠		RIS12055
257	2770		2-32-P2	埋土2層	凹無	(1.15)	(1.00)	0.25	(0.16)	メノウ	先端・かえり一部欠		RIS156
257	2771		2-32-P2	埋土	凹無	1.75	1.35	0.40	1.28	黒曜石	完形		RIS143
257	2772		2-32-P2	埋土	凸無	2.25	1.55	0.45	1.28	珪質頁岩	完形		RIS147
257	2773		2-32-P2	埋土	平無	2.30	2.40	0.80	3.56	珪質頁岩	完形		RIS148
257	2774		2-32-P2	埋土	凹無	(1.65)	(1.40)	0.35	(0.48)	黒曜石	基部・かえり一部欠		RIS146
257	2775		2-32-P3	埋土	凹無	1.95	1.50	0.35	0.58	珪質頁岩	完形		RIS158
257	2776		2-32-P3	埋土	平無	(1.70)	1.30	0.40	(0.73)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS157
257	2777		2-32-P3	埋土	平無	(1.85)	1.25	0.40	(0.85)	チャート	先端一部欠		RIS159
257	2778		3-15-P1	埋土	凹無	(1.85)	1.25	0.30	(0.43)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1139
257	2779		3-15-P2	埋土	凹無	1.55	(1.20)	0.40	(0.53)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1157
257	2780		3-16-P2	埋土	凹無	1.70	1.20	0.25	0.36	黒曜石	完形		RIS1158
257	2781		3-36-P1	埋土	凹無	2.90	(1.65)	0.40	(0.88)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1151
257	2782		3-36-P1	埋土	凹無	(1.75)	1.35	0.30	(0.46)	黒曜石	先端一部欠		RIS1156
257	2783		4-12-P3	埋土上層	凹無	1.60	1.45	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS1261
257	2784		4-12-P3	埋土上層	凹無	1.80	(1.40)	0.35	(0.64)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1258
257	2785		4-12-P3	埋土上層	凹無	(1.80)	1.10	0.25	(0.30)	黒曜石	基部一部欠		RIS1259
257	2786		4-12-P3	埋土上層	凹無	(2.15)	1.80	0.30	(0.75)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1272
258	2787		4-12-P3	埋土上層	凹無	1.60	(1.10)	0.30	(0.36)	チャート	先端・かえり一部欠		RIS1297
258	2788		4-12-P3	実測図2層	凹無	(2.00)	1.50	0.60	(0.99)	珪質頁岩	先端一部欠	未成品か?	RIS1278
258	2789		4-12-P3	埋土1層	平無	1.80	1.50	0.45	1.79	メノウ	完形		RIS1273
258	2790		4-12-P3	実測図8層	凹無	1.70	(1.10)	0.30	(0.35)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1281
258	2791		4-13-P3	実測図1層	凹無	1.70	1.25	0.30	0.44	黒曜石	完形		RIS1286
258	2792		4-13-P3	実測図1層	凹無	(2.45)	1.70	0.30	(1.47)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1289
258	2793		4-13-P3	実測図1層	凹無	1.90	(1.45)	0.30	(0.57)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1292
258	2794		4-13-P3	実測図1層	凹無	2.10	1.20	0.35	0.80	黒曜石	完形		RIS1291
258	2795		4-13-P3	実測図1層	凸無	1.40	1.20	0.30	0.37	黒曜石	完形		RIS1287
258	2796		4-16-P10	埋土	凹無	1.55	1.40	0.40	0.48	黒曜石	完形		RIS1317
258	2797	181	4-26-P4-5	周辺埋土最上部	有蓋	(2.00)	1.40	0.30	(0.68)	黒曜石	先端一部欠		RIS1302
258	2798		4-27-P6	埋土最上部	有蓋	(1.65)	1.20	0.40	(0.58)	メノウ	先端・基部一部欠		RIS12345
258	2799		4-29-P10	埋土	有蓋	(1.25)	1.20	0.30	(0.42)	メノウ	先端・基部一部欠		RIS1318
258	2800		5-26-P2	埋土	凹無	1.40	1.05	0.35	0.34	黒曜石	完形		RIS1810
258	2801	181	5-29-P2	埋土	平無	3.15	2.40	1.00	6.21	メノウ	完形		RIS12341
258	2802		5-30-P11	埋土	凹無	2.70	1.85	0.35	1.05	珪質頁岩	完形		RIS1849
258	2803	181	5-37-P1・P2	埋土	有蓋5型	1.80	1.20	0.25	0.26	メノウ	完形		RIS12343
258	4217	181	6-23-P10	実測図1層	凹無	3.60	1.80	0.30	0.63	メノウ	完形		RIS13123
258	4218	181	6-26-P18	埋土	平無	3.16	2.44	0.72	5.42	チャート	完形	未成品か?	RIS13124
258	2804		6-30-P4	埋土	有蓋5型	(2.65)	1.95	0.45	(1.32)	黒曜石	先端一部欠		RIS11139
258	2805		6-30-P4	埋土	凹無	(2.25)	1.00	0.50	(0.92)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS11138

種	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
258	2806		6-31-P4	埋土上半	有蓋1型	2.40	1.60	0.35	0.98	チャート	完形		RIS1145
258	2807		6-31-P4	埋土上半	凹無	1.85	1.65	0.70	0.70	頁岩	完形		RIS1146
258	2808		6-37-P1	埋土	凹無	(1.65)	(1.10)	0.30	(0.36)	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1158
258	2809		6-37-P1	埋土	有蓋5型	(2.50)	1.15	0.45	(1.08)	珪質頁岩	先端・基部一部欠		RIS1159
258	2810		10-7-P1	埋土上半	凹無	1.90	1.22	0.24	0.37	チャート	完形		RIS12058
258	2811		11-4-P1ベルト	埋土	有蓋5型	1.60	1.05	0.30	0.38	黒曜石	完形		RIS12087
258	2812		13-4-P2	埋土	有蓋1型	1.52	(1.27)	0.20	(0.35)	メノウ	かえり一部欠		RIS12099
258	2813		2-34-PP1	埋土西半	有蓋5型	2.25	1.35	0.40	0.80	珪質頁岩	完形		RIS1168
258	2814		3-14-PP8	埋土	凹無	1.55	(1.05)	0.35	(0.32)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1177
258	2815		3-14-PP8	埋土	凹無	3.05	1.65	0.55	2.12	黒曜石	完形		RIS1178
258	2816		3-15-PP10	埋土深部	凹無	1.25	(1.10)	0.25	(0.25)	黒曜石	かえり一部欠		RIS1185
259	4219	181	4-14-PP4	埋土	凹無	1.65	(1.20)	0.30	(0.39)	チャート	先端・かえり一部欠		RIS13105
259	4220	181	4-10-PP23	埋土	有蓋	(1.35)	(1.15)	0.25	(0.30)	チャート	基部・かえり一部欠		RIS13104
259	2817		4-14-PP23	埋土	平無	1.30	1.10	0.25	0.25	黒曜石	完形		RIS1335
259	4221	181	4-14-PP26	埋土	平無	(2.35)	1.15	0.35	(0.99)	チャート	先端一部欠		RIS13106
259	2818		4-14-PP33	埋土	平無	1.40	1.00	0.25	0.26	黒曜石	完形		RIS1341
259	4222	181	4-14-PP33	埋土	平無	2.10	2.00	0.24	0.77	頁岩	完形	未成品?	RIS13108
259	4223	181	4-14-PP33	埋土	平無	(2.90)	(1.40)	0.50	1.96	チャート	完形		RIS13107
259	2819		4-15-PP4	埋土	凹無	1.55	1.40	0.40	0.64	黒曜石	先端・かえり一部欠		RIS1324
259	2820		4-15-PP34	埋土	凹無	1.85	1.30	0.30	0.43	黒曜石	完形		RIS1342
259	2821		4-15-PP39	埋土	有蓋1型	1.50	1.40	0.30	0.50	珪質頁岩	完形		RIS1350
259	2822		4-15-PP39	埋土	凹無	1.05	0.80	0.30	0.15	珪質頁岩	完形		RIS1349
259	2823		4-15-PP39	埋土	凹無	2.36	1.68	0.49	1.74	黒曜石	完形		RIS1348
259	4225	181	3-8区	中世遺構	—	1.60	1.30	0.30	0.40	チャート	完形		RIS13136
259	2824	181	4-26-PP4	埋土	凹無	1.95	1.35	0.45	0.83	黒曜石	完形		RIS12344
259	2825		3-14区	中世遺構	凹無	1.10	0.80	0.25	(0.30)	メノウ	かえり一部欠		RIS178
259	2826		4-11区	中世遺構	凹無	(1.40)	1.10	0.25	(0.30)	チャート	先端一部欠		RIS1202
259	4226	181	4-15区	中世遺構	有蓋1型	(1.95)	1.70	0.20	(0.84)	チャート	かえり一部欠		RIS13109
259	4224	181	4-16区	中世遺構	凹無	1.85	(1.15)	0.25	(0.40)	チャート	かえり一部欠		RIS13111
259	4227	181	4-16区	中世遺構	凹無	3.00	2.05	1.00	6.52	チャート	完形		RIS12085
259	2827		11-9区	中世遺構	凸無	(9.20)	1.50	0.40	(1.62)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS12101
259	2828		14-3-PP1	埋土	凹無	1.15	1.05	0.25	0.20	黒曜石	完形		RIS1548
259	4228	181	7-20区	検出時	凹無	1.20	1.10	0.25	0.25	黒曜石	完形		RIS1164
259	4229	181	3-13区	検出時	凹無	1.20	1.35	0.30	0.34	黒曜石	完形		RIS1215
259	2829	181	3-30区	攪乱(畑)	凹無	1.30	0.80	0.20	0.20	黒曜石	完形		RIS1484
259	4230	181	6-27区	細文遺構埋土上部	凹無	1.30	1.15	0.25	0.26	チャート	完形		RIS1404
259	2830	181	6-22区	表土	凹無	1.35	1.40	0.40	0.47	黒曜石	完形		RIS1370
259	2831	181	5-28区	検出時	凹無	1.35	1.40	0.25	0.31	珪質頁岩	完形		RIS1219
259	2832	181	3-31区	検出時	凹無	1.35	1.20	0.30	0.35	チャート	完形		RIS11071
259	2833	181	6-23区	検出時	凹無	1.45	1.35	0.30	0.44	黒曜石	完形		RIS11066
259	4231	181	8-23区	検出時	凹無	1.40	1.35	0.30	(0.41)	珪質頁岩	かえり一部欠		RIS1233
259	2834	181	3-34-4-34区	攪乱(現代の畑)	凹無	1.55	(1.70)	0.25	0.38	珪質頁岩	完形		RIS1460
259	2835	181	6-27区	検出時	凹無	2.10	1.50	0.25	(0.47)	メノウ	先端一部欠		RIS1171
259	2836	181	3-16区	検出時	凹無	(2.95)	(1.20)	0.25	(0.30)	珪質頁岩	先端一部欠		RIS1288
259	2837	181	4-13区	検出時	平無	2.70	1.80	0.45	1.63	チャート	完形		RIS1154
259	2838	181	3-11区	風倒木による攪乱か?	有蓋5型	1.70	1.30	0.30	0.62	チャート	完形		RIS11468
259	4232	181	4-10区	表土	凹無	1.70	1.30	0.30	0.62	チャート	完形		RIS11468

棟号	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
259	4233	181	4-13-4-16区	検出時	凹無	(1.75)	1.50	0.35	(0.75)	黒曜石	先端一部欠		RSI291
	2839	181	3-37区	暗渠?の埋土	凹無	1.85	1.25	0.30	0.65	メノウ	完形		RSI250
	4234	181	10-26区	検出時	凹無	1.80	(1.45)	0.40	(0.61)	黒曜石	かえり一部欠		RSI1070
	2840	181	9-31区	表土	凹無	1.95	1.40	0.30	0.64	メノウ	先端一部欠	未成品か?	RSI1068
	2841	181	7-21区	検出時	凹無	2.05	1.80	0.30	0.68	珪質頁岩	完形		RSI1594
	4235	181	6-36区	検出時	凹無	2.00	1.75	0.40	1.02	黒曜石	完形		RSI1526
	4236	181	6-25区	検出時	凹無	1.75	1.20	0.40	0.58	黒曜石	完形		RSI1425
	4237	181	6-27区	縄文遺構埋土最上部	凹無	1.70	1.25	0.30	0.56	頁岩	先端・かえり一部欠		RSI1483
259	2842	181	2-31区	表土粗掘	凹無	2.05	1.25	0.40	0.78	黒曜石	完形		RSI1129
	4238	181	4-35区	攪乱(現在の畑)	凹無	2.05	1.30	0.25	0.47	チャート	完形		RSI1471
259	2843	181	6-25区	検出時	凹無	2.05	1.40	0.30	0.51	メノウ	かえり一部欠		RSI1431
	2844	181	6-27区	検出時	凹無	2.15	1.35	0.30	(0.50)	珪質頁岩	側縁一部欠		RSI1458
259	2845	181	6-32区	検出時	凹無	2.15	(1.30)	0.20	(0.42)	黒曜石	かえり一部欠		RSI1508
259	2846	181	7-21区	検出時	凹無	(2.25)	1.20	0.35	(0.75)	メノウ	先端・かえり一部欠		RSI1597
260	2847	181	7-33区	攪乱	凹無	2.30	(1.20)	0.35	(0.70)	メノウ	先端・かえり一部欠		RSI1724
260	2848	181	6-29区	検出時	凹無	2.35	1.40	0.40	0.78	珪質頁岩	完形		RSI1195
	4239	181	3-27区	検出時	凹無	2.15	1.35	0.30	(0.53)	珪質頁岩	側縁一部欠		RSI1458
260	2850	181	9-25区	表土	凹無	(2.00)	1.65	0.35	(0.78)	珪質頁岩	先端一部欠	アスファルト付着	RSI1220
260	2851	181	9-25区	表土	凹無	2.85	1.35	0.15	0.43	チャート	完形		RSI1067
	4240	181	6-26区	検出時	凹無	2.90	1.45	0.50	(1.30)	頁岩	かえり一部欠		RSI1353
	2852	181	4-36区	縄文遺構埋土最上部	凹無	3.40	2.30	0.90	4.67	泥岩	完形		RSI1452
260	2853	181	4-35区	近世検出時	凸無	3.60	2.35	0.95	6.19	頁岩	完形		RSI1314
260	2854	181	2-37区	近世検出時	凹無	(3.95)	1.90	0.45	(2.63)	頁岩	先端一部欠		RSI1312
260	4241	181	3-37区	表土	凹無	5.85	1.75	0.60	4.54	頁岩	完形		RSI1138
	4242	181	10-26区	検出時	7メリ式	(1.00)	1.40	0.30	(0.37)	黒曜石	基部のみ残		RSI1256
260	2855	181	6-22区	表土	有茎	2.0	1.5	0.7	2.6	チャート	完形	未成品	RSI1495
	4243	181	4-15区	表土	有茎	(1.20)	0.80	0.20	(0.13)	黒曜石	基部一部欠		RSI1400
	4244	181	4-38区	攪乱	有茎5型	(2.35)	(1.20)	0.20	(0.50)	チャート	基部・かえり一部欠		RSI1470
260	2856	181	7-21区	検出時	有茎5型	(1.85)	1.40	0.35	(0.52)	頁岩	先端一部欠		RSI1472
260	2857	181	4-38区	攪乱	有茎5型	(1.55)	1.35	0.20	(0.30)	メノウ	先端一部欠		RSI1601
260	2858	181	7-34区	検出時	有茎5型	2.10	1.10	0.40	0.70	珪質頁岩	完形		RSI1321
260	2859	181	3-28区	表土粗掘	有茎5型	(1.95)	1.20	0.25	(0.44)	珪質頁岩	先端一部欠		RSI1731
260	2860	181	6-22区	表土	有茎5型	(2.15)	1.30	0.35	(0.47)	珪質頁岩	先端一部欠		RSI186
	4245	181	6-29区	検出時	有茎	(2.55)	1.30	1.30	(0.59)	珪質頁岩	先端一部欠		RSI1397
260	2861	182	6-25区	検出時	有茎	(2.05)	1.40	0.60	(0.62)	黒曜石	先端一部欠		RSI1503
260	2862	182	0-36区	2層	有茎	1.90	1.30	0.30	0.52	メノウ	先端一部欠		RSI1426
260	2863	182	7-20区	検出時	有茎5型	2.00	1.25	0.25	0.55	黒曜石	基部一部欠		RSI1553
260	2864	182	6-33区	攪乱	有茎5型	2.55	1.30	1.30	0.62	珪質頁岩	完形		RSI1511
260	2865	182	3-31区	表土粗掘	有茎	2.45	0.90	0.40	0.71	珪質頁岩	完形		RSI1217
260	2866	182	6-22区	表土	有茎5型	(2.70)	1.15	0.40	(0.79)	凝灰岩	基部一部欠		RSI403
260	2867	182	7-21区	検出時	有茎5型	2.35	1.50	0.40	1.10	黒曜石	完形		RSI1595
260	2868	182	10-26区	検出時	有茎5型	(2.65)	1.55	0.40	(1.12)	珪質頁岩	先端一部欠		RSI1069
260	2869	182	3-27区	表土粗掘	有茎	2.20	1.65	0.60	1.68	チャート	完形	未成品か?	RSI1176
260	2870	182	8-29区	表土	有茎	3.00	2.20	0.80	3.41	チャート	完形		RSI1065
	4246	182	4-27-S11	床面直上層		1.70	1.35	0.30	0.37	黒曜石	完形		RIS1230
	4247	182	4-27-S11	埋土上部		2.25	1.75	0.50	0.93	メノウ	完形		RIS1218

標号	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
261	4248	182	5-27-S11	埋土		2.20	1.08	0.60	(0.60)	黒曜石	完形	石鏃	RIS1441
261	2871	182	5-27-S11	埋土最上層		(2.15)	1.10	0.30	(0.64)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS1444
261	2872	182	5-27-S11	床面直上層		(2.80)	1.75	0.75	(2.48)	珪化木	鏃一部欠	石鏃	RIS1448
261	2873	182	5-27-S11	床面直上層		2.65	1.70	0.50	1.71	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1449
261	2874	182	5-27-S11	埋土2層		(3.00)	1.10	0.65	(1.94)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS12346
261	2875	182	5-27-S11	東西ベルト実測図3層		(3.30)	2.60	1.10	(6.82)	珪質頁岩	鏃一部欠	ピック	RIS1433
	4249	182	5-26-S11	埋土		2.70	1.75	0.80	2.74	チャート	完形	石鏃	RIS1431
	4250	182	6-26-S11	床面直上層		2.30	0.95	0.40	0.62	チャート	完形	石鏃	RIS1956
	4251	182	6-26-S11-P4	埋土		(2.10)	0.80	0.35	(0.59)	頁岩	基部・先端一部欠	石鏃	RIS11059
261	2876	182	6-26-S11	床面直上層		2.05	1.50	0.50	1.24	黒曜石	完形	石鏃	RIS12889
261	2877	182	6-26-S12-P1	埋土		3.60	1.95	1.10	6.09	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1979
	4253	182	5-36-S13-4	黒色土層最下部		1.30	0.90	0.30	0.30	黒曜石	完形	石鏃	RIS12890
	4254	182	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 床面より上の層		2.00	1.45	0.50	0.96	黒曜石	完形	石鏃	RIS12132
261	2878	182	5-36-S13-4	埋土最上層		1.70	1.35	0.30	0.37	黒曜石	鏃一部欠	石鏃	RIS1361
261	2879	182	5-36-S13-4	埋土最上層		(1.85)	1.35	0.40	(0.61)	黒曜石	鏃一部欠	石鏃	RIS1570
261	2880	182	5-36-S13-4	埋土最上層		1.75	1.30	0.40	0.80	チャート	完形	石鏃	RIS1375
261	2881	182	5-36-S13-4	埋土最上層		(1.70)	(2.00)	0.30	(0.59)	珪質頁岩	基部一部欠	石鏃	RIS1579
261	2882	182	5-36-S13-4	黒色土層		2.30	1.55	0.35	(0.82)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS1607
261	2883	182	5-36-S13-4	黒色土層		2.80	2.05	0.50	2.01	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1467
261	2884	182	5-36-S13-4	床面直上層		2.40	1.80	0.55	1.58	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1748
261	2885	182	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 最上層		3.25	1.40	0.50	1.92	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1360
261	4256	182	5-36-S13-4	黒色土層		3.22	1.45	0.40	1.40	頁岩	完形	石鏃	RIS1464
261	2886	182	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土層		2.60	0.85	0.40	0.85	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1656
261	2887	182	5-36-S13-4	10 Y R 3 / 2 色土層		3.35	1.20	0.40	0.80	チャート	完形	石鏃	RIS12888
261	2888	182	5-36-S13-4	黒色土下部		4.25	0.95	0.45	0.85	凝灰岩	完形	石鏃	RIS1713
261	2889	182	5-36-S13-4	中央の黒色土層		3.65	1.30	0.90	2.42	頁岩	完形	石鏃	RIS1647
261	2890	182	5-36-S13-4	黒色土層		3.40	1.85	0.65	3.23	頁岩	完形	石鏃	RIS1563
	4257	182	5-36-S13-4	黒色土層		(4.05)	1.65	0.45	(1.88)	頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS1511
	4258	182	5-36-S13-4	黒色土層上半		3.75	1.45	0.80	3.70	頁岩	完形	石鏃	RIS1473
261	2892	182	5-36-S13-4	黒色土層		3.50	2.50	0.80	4.18	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1628
261	2893	182	5-36-S13-4	黒色有機質土上から-30cm		(4.45)	2.70	1.10	(10.82)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS1382
261	2894	182	5-36-S13-4	埋土		(2.75)	1.60	0.50	(1.68)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS1784
261	2895	182	5-36-S13-4	南北ベルト実測図3層		2.20	1.30	0.60	1.05	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS1696
	4259	182	5-36-S13-4	埋土		(1.55)	1.03	0.30	(0.63)	頁岩	完形	石鏃	RIS1886
261	2896	182	6-34-S11	床面直上層		(2.30)	1.55	0.70	(1.78)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS12892
262	2897	182	6-34-S11	埋土1層		3.10	1.25	0.65	1.46	頁岩	完形	石鏃	RIS1992
262	2898	182	6-34-S11	埋土1層10 Y R 3 / 2 色土層		3.65	1.30	0.40	0.96	頁岩	完形	石鏃	RIS1991
262	4261	182	6-34-S11	埋土		6.03	2.60	1.05	17.00	頁岩	完形	石鏃	RIS13278
262	2899	182	6-34-S11状	床面直上層床面		4.05	1.90	0.55	(3.00)	珪質頁岩	基部一部欠	火頭器	RIS1887
262	2900	182	6-34-S11MS-ベルト	上半黒~黒褐色土		6.15	1.80	0.70	6.92	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS12893
262	2901	182	8-31-S11状	埋土床面直上層		(2.30)	0.70	0.40	(0.64)	珪質頁岩	鏃一部欠	石鏃	RIS12912
	4262	182	3-30-S1	床面直上層		(1.65)	1.20	0.60	(0.95)	珪質頁岩	完形	石鏃	RIS12883
262	2902	182	3-30-S1周溝	埋土		(1.65)	1.20	0.60	(0.95)	珪質頁岩	基部・鏃一部欠	石鏃	RIS12885



種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
262	2903	182	3-30-S11浅いくほみ	炭化層No2		2.20	1.60	0.60	1.22	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS12884
262	2904	182	3-30-S1	床面直上層		(2.20)	1.60	0.70	(1.57)	チャート	鏝一部欠	石鏝	RIS187
262	2905	182	3-30-S1	床面直上層		2.80	1.05	0.60	1.37	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS188
262	2906	182	3-30-S1	床面直上層		(2.80)	1.95	0.75	(2.43)	珪質頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS190
262	2907	182	3-30-S1	床面直上層		2.85	1.30	0.45	0.82	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS189
262	2908	182	5-36-S13・4	埋土直上層北半		(2.30)	1.95	0.40	(1.05)	チャート	鏝一部欠	石鏝	RIS1728
262	2909	182	5-36-S13・4	埋土直上層北半		2.40	1.90	0.45	0.98	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1735
262	2910	182	8-30埋設土器	炉No4土器内		2.15	1.35	0.45	0.83	メノウ	完形	石鏝	RIS1697
262	2911	182	2-31-P2	No2-1		3.70	1.55	0.50	1.61	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS141
262	2912	183	2-32-P1-P2	埋土直上層		2.95	1.95	0.70	2.52	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS12364
262	2913	183	3-34-P2	埋土		3.95	1.80	0.75	4.91	黒曜石	完形	石鏝	RIS1159
262	2914	183	5-28-P1	埋土		2.35	1.45	0.60	1.06	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS12887
262	2915	183	5-32-P1	埋土		4.05	1.70	0.60	2.62	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1856
262	2916	183	6-28-P12	埋土		3.15	1.25	0.70	2.16	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1121
263	2917	183	6-36-P2	埋土	黒色土層最下部	3.75	1.55	0.55	1.76	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1155
263	2918	183	7-26-P13	埋土上部		(2.35)	1.30	0.75	4.22	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11361
263	2919	183	7-27-P1	埋土		3.90	2.10	1.25	6.63	珪質頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS11367
263	2920	183	7-27-P3	埋土		3.10	0.85	0.45	1.14	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS12353
263	2921	183	7-27-P21	埋土		3.50	1.75	0.70	2.41	メノウ	完形	石鏝	RIS11378
263	2922	183	7-28-P4	埋土上部		3.50	1.65	1.05	3.38	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11384
263	2923	183	7-30-P6	埋土		3.15	1.45	0.85	2.67	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11442
263	2924	183	8-26-P1	埋土		2.75	1.45	1.85	2.87	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11791
263	2925	183	8-26-P16	埋土		2.60	1.80	0.80	2.44	チャート	完形	石鏝	RIS11832
263	2926	183	8-30-P8	埋土		4.05	0.95	0.55	1.48	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS12357
263	4263	183	8-30-P15	埋土		3.50	1.80	1.10	4.96	頁岩	完形	石鏝	RIS13305
263	2927	183	10-26-P2	埋土		4.05	1.60	0.70	2.09	メノウ	完形	石鏝	RIS12089
263	2928	183	2-30-PP1	埋土		2.55	1.30	0.75	1.84	黒曜石	完形	石鏝	RIS166
263	2929	183	6-30-PP8	埋土		(5.50)	3.75	0.70	(9.91)	珪質頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS12898
263	2930	183	8-30-PP1周辺	検出時		2.40	(1.40)	0.60	(1.45)	メノウ	鏝一部欠	石鏝	RIS12243
263	2931	183	5-23-S11	埋土直上層		2.35	2.00	0.65	2.72	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1420
263	2932	183	7-21-S11	床面直上層		3.30	1.90	0.70	2.90	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1180
263	4264	183	7-34-S11	貼床埋土		2.00	1.30	0.55	0.68	黒曜石	完形	石鏝	RIS1192
263	4265	183	7-34-S11	床面より上の層上半		(2.46)	1.55	0.40	(2.02)	頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS1205
263	2933	183	7-34-S11	床面直上層～床面		2.00	1.15	0.60	1.06	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11232
263	2934	183	7-34-S11	貼床埋土		2.50	1.90	0.50	1.68	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1195
263	2935	183	7-34-S12?	床面?直上		(2.85)	1.10	0.35	(0.81)	珪質頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS1187
263	2936	183	7-34-S11	貼床面の埋土		2.80	1.30	0.45	1.21	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1289
264	2937	183	7-34-S11	貼床面の埋土		3.25	2.75	0.80	4.50	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1186
264	2938	183	7-34-S11	床面より上の層上半		3.60	2.10	0.90	6.33	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1187
264	2939	183	8-27-S11	埋土		(2.05)	1.70	0.75	(1.44)	珪質頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS1277
264	4266	183	8-27-S11	床面直上層上半		2.60	1.45	0.80	2.69	頁岩	完形	石鏝	RIS11595
264	4267	183	8-29-S11	床面直上層上半		2.40	1.80	0.75	1.98	チャート	完形	石鏝	RIS12911
264	4268	183	8-29-S11	カマド埋土		2.25	1.50	0.50	1.11	チャート	完形	石鏝	RIS1636
264	2940	183	8-29-S11	床面直上層上半部		(2.75)	1.60	0.50	(1.63)	頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS1623
264	2941	183	8-29-S12	床面構成層		3.75	1.30	0.50	1.51	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS1612
264	2942	183	9-28-S11	埋土下部		(2.75)	2.40	0.55	(2.24)	頁岩	鏝一部欠	石鏝	RIS16959
264	2943	183	9-28-S11-PP1	埋土		4.05	1.25	0.60	2.35	珪質頁岩	完形	石鏝	RIS11896

棟号	報告	写真	遺構名	出土地点・階位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
264	2944	183	10-27-S11	貼床面埋土		(2.80)	1.70	0.70	(2.49)	珪質頁岩	錐一部欠	石錐	RIS12054
264	4269	183	4-11-P1	埋土		(3.25)	1.65	0.70	(2.96)	珪質頁岩	錐一部欠	石錐	RIS13228
	2945	183	3-34-PP1	埋土		3.10	0.75	0.40	0.73	珪質頁岩	完形	石錐	RIS1168
	4270	183	3-35-PP3	埋土		2.35	0.60	0.35	0.49	頁岩	完形	石錐	RIS13227
	4271	183	4-13-PP15	埋土		3.25	1.44	0.80	2.12	メノウ	完形	石錐	RIS13231
	4272	183	4-14-PP19	埋土		2.25	1.25	0.44	1.76	頁岩	完形	石錐	RIS12886
264	2946		5-30-P8	埋土		(3.15)	1.00	0.80	(2.06)	珪質頁岩	錐一部欠	石錐	RIS1843
264	2947		7-30-P3	埋土		2.80	1.30	0.50	1.58	珪質頁岩	完形	石錐	RIS11440
264	2948		14-2-PP4	埋土		(2.60)	1.70	0.65	(1.79)	チャート	錐一部欠	石錐	RIS12100
264	2949		7-21配石3周辺	検出面		(2.75)	2.20	0.80	(3.29)	頁岩	錐一部欠	石錐	ROS11310
264	2950	183	3-12区	糞乱(畑)		2.45	1.10	0.45	0.96	チャート	完形	石錐	ROS1160
264	2951	183	8-33区	検出面		2.95	1.30	0.75	2.03	珪質頁岩	完形	石錐	ROS11389
264	2952	183	3-30区	表土粗掘		(2.95)	1.85	0.70	(2.17)	チャート	錐一部欠	石錐	ROS1212
264	2953	183	0-35区	検出面		(4.25)	1.50	0.60	(2.94)	珪質頁岩	錐一部欠	石錐	ROS115
264	2954	183	5-25区	糞乱(畑)		3.30	1.40	0.50	1.23	メノウ	完形	石錐	ROS1338
264	2955	183	7-22区	表土		(3.95)	2.30	0.70	(3.51)	珪質頁岩	錐一部欠	石錐	ROS1605
264	2956	183	6-22区	表土		(4.00)	1.30	0.70	(1.93)	凝灰岩	錐一部欠	石錐	ROS1399
264	2957	183	3-31区	表土粗掘		4.00	1.00	0.50	1.01	チャート	完形	石錐	ROS1226
264	2958	183	5-25区	糞乱(畑)		6.10	1.80	0.55	4.15	珪質頁岩	完形	石錐	ROS1341
265	2959	183	5-36-S11	黒色土層下部		7.74	4.16	1.18	14.80	頁岩	完形	石匙	RIS12896
265	2960	183	5-36-S11	黒色土層		7.05	3.70	1.00	13.36	頁岩	完形	石匙	RIS12895
265	2961	183	6-34-S11EW ベルト	2層目		6.70	3.75	0.85	7.83	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12899
265	2962	183	6-28-P5	埋土		(2.70)	(1.75)	0.60	(3.12)	珪質頁岩	刃部欠	石匙	RIS12897
265	2963	183	6-30-P	埋土 3層	焼土層	5.45	1.65	0.70	3.84	チャート	完形	石匙	RIS12903
265	4273	183	7-30-P7	埋土		(2.80)	1.95	0.53	(4.10)	頁岩	刃部一部欠	石匙	RIS12901
265	2964	184	7-30-P10	埋土上半		5.00	3.60	0.90	11.54	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12902
265	2965	184	8-28-P1	埋土西半		(4.20)	(2.25)	0.65	(5.59)	珪質頁岩	刃部一部欠	石匙	RIS12905
265	2966	184	8-26-P1	埋土下半		4.99	2.04	0.58	5.78	頁岩	完形	石匙	RIS13049
265	2967	184	3-14-PP8	埋土		6.20	2.40	0.70	11.12	頁岩	完形	石匙	RIS12920
266	2968	184	8-32-PP8	埋土		4.30	7.50	1.35	30.60	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12906
266	2969	184	9-28-S11周辺	検出時		5.10	3.80	1.50	14.07	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12907
266	4274	184	5-25-S11	床面直上層		4.20	1.90	0.65	4.61	頁岩	完形	石匙	RIS12894
266	2970	184	7-34-S11	貼床構成土		3.97	1.32	0.31	1.79	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12904
266	2971	184	5-25区	糞乱(畑)		4.45	1.55	0.60	3.14	珪質頁岩	完形	石匙	ROS11339
266	2972	184	3-13区	検出時		4.70	1.95	0.35	3.90	珪質頁岩	完形	石匙	ROS11380
266	2973	184	9-23区	検出時		5.95	2.30	0.70	8.05	珪質頁岩	完形	石匙	ROS11385
266	2974	184	3-33区	近世検出時		6.50	2.40	0.90	12.07	メノウ	完形	石匙	ROS11382
266	4275	184	3-28区	表土		6.60	2.55	0.95	13.95	頁岩	完形	石匙	ROS11381
266	2975	184	8-29区	検出時		6.65	2.80	1.00	15.93	珪質頁岩	完形	石匙	ROS11384
266	2976	184	7-29区	検出時		3.90	4.60	1.10	12.38	珪質頁岩	完形	石匙	RIS12900
266	4276	184	7-22区	検出面						珪質頁岩	完形	石匙	ROS11383

6 石器観察表 (不定形石器)

順	写	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
267		2977	4-27-S11	埋土上部	1.90	0.80	0.25	0.25	黒曜石	完形		RISC622
267		2978	4-27-S11	床面直上層	5.95	3.30	1.35	26.70	チャート(赤)	完形	表皮残る	RISC462
267		2979	4-27-S11	埋土直上層	4.90	1.75	1.25	7.19	白色頁岩	完形		RISC58
267		2980	4-27-S11	床面直上層	5.90	4.30	1.10	24.07	灰褐色頁岩	完形		RISC466
267	184	2981	4-27-S11	床面下の浅いくぼみ	7.00	3.30	1.20	23.60	灰褐色頁岩	完形		RISC931
267	184	2982	4-27-S11-PP1	埋土	3.30	2.65	1.30	9.03	灰褐色頁岩	完形		RISC930
267		2983	4-27-S11-PP3	埋土	2.30	1.90	0.90	3.63	黒曜石	完形	表皮残る	RISC469
267		2984	4-27-S11-PP4	埋土	2.60	2.00	0.80	3.64	チャート	完形		RISC624
267	184	2985	6-28-S11	床面直上層	5.70	2.10	0.90	11.64	黒褐色頁岩	完形		RISC988
267	184	2986	5-25-S11	埋土	2.80	2.90	0.80	8.26	黒褐色頁岩	完形		RISC936
267	184	2987	3-29-S11周溝	埋土	2.25	1.95	0.50	1.59	メノウ	完形		RISC895
267		2988	3-29-S11-P1	埋土	2.80	2.00	1.10	5.47	黒曜石	完形		RISC438
267		2989	5-27-S11	刃No1を埋める埋土	4.90	5.36	1.10	16.07	灰褐色頁岩	完形		RISC479
268	184	2990	5-27-S11	埋土2層	5.10	2.80	0.80	8.23	灰褐色頁岩	完形		RISC938
268		2991	5-27-S11	埋土	2.80	2.20	1.30	7.87	チャート(赤)	完形		RISC639
268		2992	5-27-S11東西ベルト	実測図3層	3.50	3.60	0.95	10.60	褐色頁岩	完形		RISC640
268		2993	5-27-S11東西ベルト	実測図3層	2.60	2.00	0.70	2.51	灰褐色頁岩	完形		RISC641
268		2994	5-27-S11	炭化物多量層	5.45	2.20	0.80	9.09	灰褐色頁岩	完形		RISC82
268		2995	5-27-S11	埋土2層	3.70	2.10	0.80	6.19	灰褐色頁岩	完形		RISC83
268		2996	5-27-S11-P1	埋土	3.30	2.30	0.65	3.82	灰褐色頁岩	完形		RISC86
268	185	2997	5-27-S11-P1	埋土	8.20	2.40	1.10	18.56	灰褐色頁岩	完形		RISC898
268		2998	5-27-S11-PP1	埋土	4.60	1.70	1.00	4.86	灰褐色頁岩	完形		RISC87
268		2999	6-26-S1	埋土層上部	3.50	2.15	0.60	5.74	黒褐色頁岩	完形		RISC196
268	185	3000	6-26-S1	埋土上部	3.70	2.10	0.90	6.29	灰褐色頁岩	完形		RISC976
268		3001	6-26-S1	埋土上部	3.30	2.30	1.10	7.33	灰褐色頁岩	完形		RISC199
269	185	3002	6-26-S1	埋土上部	4.90	4.00	1.00	11.15	黒褐色頁岩	完形		RISC977
269		3003	6-26-S1	床面直上層	3.50	2.30	0.50	6.43	黒褐色頁岩	完形		RISC509
269		3004	6-26-S1	床面直上層	3.00	2.40	0.80	5.66	灰褐色頁岩	完形		RISC204
269	185	3005	6-26-S1	床面直上層	4.80	3.10	0.90	13.40	メノウ	完形		RISC980
269	185	3006	6-26-S1	床面直上層	5.10	4.20	1.20	20.80	チャート(黄)	完形		RISC978
269	185	3007	6-26-S1	床面直上層	6.70	3.70	1.30	25.77	灰褐色頁岩	完形		RISC901
269		3008	6-26-S1	床面直上層	6.00	4.50	1.60	36.33	黒褐色頁岩	完形		RISC508
269		3009	6-26-S1	床面直上層	6.40	4.05	1.40	30.73	チャート	完形		RISC979
270	185	3010	6-26-S1東西ベルト	実測図3層	5.00	3.70	1.10	18.26	灰褐色頁岩	完形		RISC715
270		3011	6-26-S12/PPNo2	埋土	2.80	2.00	1.00	4.91	黒曜石	完形		RISC633
270		3012	5-26-S11	埋土	1.80	2.00	0.60	2.28	チャート(赤)	完形		RISC175
270		3013	5-36-S13-4	10YR3/2色土層	5.90	3.10	1.00	19.89	チャート(赤)	完形		RISC176
270		3014	5-36-S13-4	10YR3/2色土層	2.90	2.60	0.80	4.13	黒褐色頁岩	完形		RISC948
270	185	3015	5-36-S13-4	10YR3/2色土層	5.25	2.50	0.60	8.47	灰褐色頁岩	完形		RISC949
270	185	3016	5-36-S13-4	黒色土層	5.70	2.50	1.30	9.87	灰褐色頁岩	完形		RISC120
270		3017	5-36-S13-4	黒色土層	4.80	3.20	1.30	15.83	灰褐色頁岩	完形		RISC949
270		3018	5-36-S13-4	黒色土層	2.20	2.90	0.60	4.47	灰褐色頁岩	完形		RISC118
270	185	3019	5-36-S13-4	黒色土層上半	5.80	4.00	1.50	38.15	黒褐色頁岩	完形		RISC951
270	185	3020	5-36-S13-4	黒色土層上半	(4.20)	3.20	1.10	17.23	灰褐色頁岩	完形	刃部一部欠	RISC950
271	185	3021	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	3.50	1.80	1.20	9.84	灰褐色頁岩	完形		RISC952

圃田	号	報告	遺構名	出土地点・階位	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
271	3022	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	2.90	2.50	0.90	6.90	褐色頁岩	完形			RISC651
271	185	5-36-S13-4	黒色土層	4.60	2.90	0.60	7.92	灰褐色頁岩	完形			RISC956
271	3024	5-36-S13-4	10YR2/2色土下半	4.70	3.00	1.50	20.79	灰褐色頁岩	完形			RISC953
271	185	5-36-S13-4	10YR2/2色土下半	5.65	2.60	0.70	10.30	濃黒褐色頁岩	完形			RISC955
271	3026	5-36-S13-4	10YR2/2色土No9	6.20	2.20	1.25	9.49	灰褐色頁岩	完形			RISC954
271	3027	5-36-S13-4	10YR2/2色土下半	3.80	2.55	0.85	5.97	黒褐色頁岩	完形			RISC131
271	3028	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	2.05	2.70	0.30	1.36	灰褐色頁岩	完形			RISC133
271	3029	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	3.50	2.15	0.65	3.12	灰褐色頁岩	完形			RISC132
271	3030	5-36-S13-4	黒色土層	3.75	2.50	0.70	6.94	灰褐色頁岩	完形			RISC957
271	3031	5-36-S13-4	黒色土層	3.70	2.50	1.00	5.76	灰褐色頁岩	完形			RISC958
271	3032	5-36-S13-4	黒色土層上の落ち込み	3.00	3.35	0.80	8.12	灰褐色頁岩	完形			RISC959
271	3033	5-36-S13-4	黒色土層上の落ち込み	3.10	2.10	1.00	5.71	灰褐色頁岩	完形			RISC135
271	3034	5-36-S13-4	黒色土層	3.95	1.70	0.70	4.12	灰褐色頁岩	完形			RISC661
272	3035	5-36-S13-4	黒色土層を掘り込む落ち込み	6.90	2.45	0.95	12.42	灰褐色頁岩	完形			RISC960
272	3036	5-36-S13-4	黒色土層	5.80	2.05	1.15	9.51	灰褐色頁岩	完形			RISC664
272	3037	5-36-S13-4	黒色土層	4.90	3.20	1.40	15.43	灰褐色頁岩	完形			RISC136
272	3038	5-36-S13-4	黒色土層	7.60	3.10	1.70	30.01	灰褐色頁岩	完形			RISC662
272	3039	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	3.90	3.10	1.30	10.27	灰褐色頁岩	完形			RISC140
272	3040	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	6.80	2.20	0.70	13.48	灰褐色頁岩	完形			RISC386
272	3041	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	3.60	2.25	1.10	7.96	灰褐色頁岩	完形			RISC387
272	3042	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	4.75	2.10	0.80	7.47	濃黒褐色頁岩	完形			RISC495
272	3043	5-36-S13-4	黒色土層	4.70	3.70	0.60	10.49	灰褐色頁岩	完形			RISC496
272	3044	5-36-S13-4	黒色土層	5.70	2.90	1.00	11.34	灰褐色頁岩	完形			RISC961
273	3045	5-36-S13-4	黒色土層	4.80	3.95	1.00	12.14	灰褐色頁岩	完形			RISC1069
273	3046	5-36-S13-4	黒色土と10YR2/2混土	6.00	2.20	1.00	12.59	黒褐色頁岩	完形			RISC666
273	3047	5-36-S13-4	10YR2/2~10YR3/2	2.18	1.75	0.80	2.89	黒礫石	完形			RISC388
273	3048	5-36-S13-4	10YR3/2色土層	7.50	4.85	1.50	42.51	灰褐色頁岩	完形			RISC146
273	3049	5-36-S13-4	黒色土層	9.00	4.10	1.60	50.33	灰褐色頁岩	完形			RISC390
273	3050	5-36-S13-4	中央の黒色土	2.60	2.60	0.50	2.62	灰褐色頁岩	完形			RISC148
273	3051	5-36-S13-4	中央の黒色土	3.70	1.20	0.40	1.28	灰褐色頁岩	完形			RISC149
273	3052	5-36-S13-4	黒色土層下部	4.40	2.10	0.85	5.79	灰褐色頁岩	完形			RISC680
273	3053	5-36-S13-4	黒色土層下部	3.20	2.60	0.70	7.24	灰褐色頁岩	完形			RISC675
273	3054	5-36-S13-4	黒色土層下部	9.70	4.60	1.60	50.13	灰褐色頁岩	完形			RISC683
274	186	5-36-S13-4	黒色土層	2.50	2.20	0.90	4.78	灰褐色頁岩	完形			RISC1070
274	3056	5-36-S13-4	黒色土層最下部	3.50	1.90	0.30	3.00	灰褐色頁岩	完形			RISC963
274	3057	5-36-S13-4	西端バルトにかかると土埋土	2.70	2.15	1.10	8.19	灰褐色頁岩	完形			RISC156
274	3058	5-36-S13-4	埋土実測区2層	4.10	1.90	0.85	5.28	灰褐色頁岩	完形			RISC150
274	3059	5-36-S13-4	埋土実測区2層	2.60	2.00	0.60	3.51	灰褐色頁岩	完形			RISC151
274	3060	5-36-S13-4	(実測区3層)	3.75	2.35	0.90	6.42	チャート	完形			RISC982
274	3061	5-36-S13-4	南北バルト(実測区4層・3層も含む)	5.40	2.00	0.60	4.71	灰褐色頁岩	完形			RISC499
274	3062	5-36-S13-4	南北バルト(実測区4層・3層も含む)	5.40	2.55	1.10	8.88	灰褐色頁岩	完形			RISC498
274	3063	5-36-S13-4	南北バルト(実測区7層)	3.90	2.60	0.80	6.65	黒褐色頁岩	完形			RISC153
274	3064	5-36-S13-4	埋土	3.50	2.60	0.80	5.89	黒褐色頁岩	完形			RISC500
274	186	5-36-S13-4	埋土	5.00	2.50	1.05	8.58	灰褐色頁岩	完形			RISC984
274	3065	5-36-S13-4	10YR3/2色土層	2.50	2.55	0.60	3.51	灰褐色頁岩	完形			RISC965
274	3066	5-36-S13-4	床直上層	3.90	2.10	1.05	6.67	灰褐色頁岩	完形			RISC163
274	3067	5-36-S13-4	床面を構成する層	3.50	2.20	1.20	10.12	黒褐色頁岩	完形			RISC694

断面	写真	報告	選稱名	出土地点・層位	長さ(㎝)	幅(㎝)	厚さ(㎖)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
274	186	3069	5-36-S13-4	床面構成層	(3.30)	2.60	0.90	6.83	黒～灰褐色頁岩	完形		RISC970
275	186	3070	5-36-S13-4	床面直上層	4.90	2.60	1.20	10.31	灰褐色頁岩	完形		RISC967
275	186	3071	5-36-S13-4	床面直上層	4.70	3.00	0.90	11.52	チャート	完形		RISC968
275	186	3072	5-36-S13-4	床面直上層	2.90	2.30	0.70	4.95	灰褐色頁岩	完形		RISC969
275	186	3073	5-36-S13-4	床面直上層	2.40	1.50	0.70	1.70	チャート(黄)	完形		RISC996
275	186	3074	5-36-S13-4	床面直上層～床面	3.90	4.50	0.90	12.97	チャート	完形		RISC966
275	186	3075	5-36-S13-4	床面	7.90	6.10	1.05	61.57	褐色頁岩	完形		RISC971
275	186	3076	5-32-S13-4	埋土上半	3.50	4.30	0.90	15.48	黒褐色頁岩	完形		RISC505
275	186	3077	5-32-S13-4	埋土上部	3.70	3.50	1.20	14.59	黒褐色頁岩	完形		RISC504
275	186	3078	6-34-S1	埋土最上部	2.70	2.45	0.50	4.59	黒曜石	完形		RISC741
275	186	3079	6-34-S11	埋土最上部下部	4.60	2.70	1.10	9.08	灰褐色頁岩	完形		RISC990
276	186	3080	6-34-S11	埋土上部	6.60	2.95	1.50	22.13	黒褐色頁岩	完形		RISC999
276	187	3081	6-34-S11	埋土上部	6.20	2.90	1.20	15.03	灰褐色頁岩	完形		RISC1001
276	187	3082	6-34-S11	埋土上部	11.70	2.70	1.70	38.22	灰褐色頁岩	完形		RISC1000
276	187	3083	6-34-S11	埋土上部	6.05	2.35	1.20	15.10	灰褐色頁岩	完形		RISC994
276	187	3084	6-34-S11	10 Y R 3 / 2 色土層	3.80	2.50	1.10	9.23	灰褐色頁岩	完形		RISC737
276	187	3085	6-34-S11	黒色土層 (炭多量部)	6.05	3.30	0.90	16.37	黒褐色頁岩	完形		RISC991
276	187	3086	6-34-S11	床面直上層	4.65	3.40	1.20	20.68	黒褐色頁岩	完形		RISC996
276	187	3087	6-34-S11	上半黒～黒褐色土	5.85	2.30	1.00	11.79	灰褐色頁岩	完形		RISC992
276	187	3088	6-34-S11	床面直上層	5.90	1.75	0.55	8.00	灰褐色頁岩	完形		RISC993
276	187	3089	6-34-S11	黒色土層	5.30	3.20	5.50	8.28	灰褐色頁岩	完形		RISC740
276	187	3090	6-34-S11	黒色土層	4.60	1.85	1.00	6.08	灰褐色頁岩	完形		RISC223
276	187	3091	6-34-S11	黒色土より下の10 Y R 3 / 2	1.60	1.10	0.25	0.62	黒曜石	完形		RISC384
277	187	3092	6-34-S11	10 Y R 3 / 2 色土層	4.70	3.40	0.90	11.54	灰褐色頁岩	完形		RISC733
277	187	3093	6-34-S11	黒色土層より下の10 Y R 3 / 2	4.70	3.40	1.10	12.69	灰褐色頁岩	完形		RISC734
277	187	3094	6-34-S11	黒色土より下の10 Y R 3 / 2	3.75	3.00	1.10	9.67	黒褐色頁岩	完形		RISC226
277	187	3095	6-34-S11	埋土2層目 黒色土	4.95	3.60	1.50	20.96	灰褐色頁岩	完形		RISC997
277	187	3096	6-34-S1	床面	4.30	3.80	1.30	18.35	灰褐色頁岩	完形		RISC995
277	187	3097	6-34-S1	埋土とての周辺	5.35	3.10	1.30	18.49	黒色頁岩	完形		RISC998
277	187	3098	6-34-S11-P21	埋土	5.60	2.40	1.50	15.68	灰褐色頁岩	完形		RISC1003
277	187	3099	6-34-S11-P1	埋土	4.90	3.30	2.00	34.24	灰褐色頁岩	完形		RISC1002
277	187	3100	7-34-S1	埋土	3.70	2.20	1.20	8.11	灰褐色頁岩	完形		RISC919
277	187	3101	7-34-S1北端	01960514No1	2.20	2.00	0.70	3.01	灰褐色頁岩	完形		RISC1026
277	187	3102	7-34-S1	貼床面より下の埋土	3.10	2.20	0.80	5.11	灰褐色頁岩	完形		RISC1025
278	187	3103	7-34-S12?	埋土	3.60	4.80	1.40	24.31	灰褐色頁岩	完形		RISC276
278	187	3104	7-34-S12	埋土	5.70	2.70	1.50	21.56	灰褐色頁岩	完形		RISC1028
278	187	3105	7-34-S12?	床面直上層	4.60	3.30	1.40	24.39	灰褐色頁岩	完形		RISC1030
278	187	3106	7-34-S12?	床面直上層	5.70	4.80	1.20	16.83	灰褐色頁岩	完形		RISC1031
278	188	3107	8-31-S1状	埋土上半	5.20	4.30	1.45	37.29	褐色頁岩	完形		RISC1053
278	188	3108	8-31-S1状	埋土最上部	6.00	4.30	1.45	37.29	チャート(赤)	完形		RISC1054
278	188	3109	8-31-S1状	埋土最上部	6.10	3.00	1.20	16.01	灰褐色頁岩	完形		RISC1055
278	188	3110	8-31-S1状	床面直上層～床面	3.40	3.90	1.35	25.01	灰褐色頁岩	完形		RISC1057
278	188	3111	8-31-S11東側Pit	床面直上層	6.30	2.60	0.80	6.07	灰褐色頁岩	完形		RISC1058
279	188	3112	8-31-S11東側Pit	埋土最上部	3.65	1.40	0.80	7.21	灰褐色頁岩	完形		RISC1059
279	188	3113	8-31-S11東側Pit	埋土最上部	4.15	2.70	0.80	9.62	灰褐色頁岩	完形		RISC1060
279	188	3114	8-31-S12-PP4	埋土	4.70	2.00	0.90	6.97	黒褐色頁岩	完形		RISC1077
279	188	3115	3-30-S11	埋土炭化物層	6.10	3.40	1.30	24.19	灰褐色頁岩	完形		RISC598
279	188	3115	3-30-S11	埋土最上部	4.85	2.75	0.80	8.36	灰褐色頁岩	完形		RISC598

棟号	写号	報告	建構名	出土地点・層位	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
279		3116	3-30-S11	埋土最上部	2.10	1.90	0.70	2.36	黒曜石	完形		RISC440
279		3117	3-30-S11	床面より下層	1.80	1.60	0.45	0.85	チャート(赤)	完形		RISC22
279		3118	3-30-S11浅いくほみ	炭化層No1	7.35	4.00	1.00	17.18	灰褐色頁岩	完形		RISC446
279		3119	3-30-S11-PP12	埋土	4.60	3.70	0.70	12.02	チャート(黄)	完形		RISC30
279	188	3120	3-30-S11b	床面構成層	5.70	2.80	1.75	20.12	灰褐色頁岩	完形		RISC28
279		3121	5-32-S11a	埋土最上面	4.60	3.70	1.10	15.12	灰褐色頁岩	完形		RISC945
279		3122	5-32-S11f	埋土最上部	6.30	3.10	1.00	12.24	灰褐色頁岩	完形		RISC101
279	188	3123	5-32-S12?	埋土最上部南半	3.00	2.00	0.95	4.43	濃黒褐色頁岩	完形		RISC1084
279		3124	5-32-S1	埋土	3.40	2.50	0.70	4.32	黒褐色頁岩	完形		RISC99
280		3125	3-30埋土器No2	埋土	3.40	2.10	1.00	4.86	黒褐色頁岩	完形		RISC447
280		3126	3-29-P1	埋土	4.60	1.40	0.70	4.41	褐色頁岩	完形		RISC595
280	188	3127	3-29-P3	埋土	6.30	3.90	1.30	30.07	灰褐色頁岩	完形		RISC1076
280	188	3128	3-29-P3	埋土	7.00	4.10	1.40	38.89	灰褐色頁岩	完形		RISC1075
280		3129	3-30-P9	埋土	5.60	1.70	1.10	6.22	黒褐色頁岩	完形		RISC896
280	188	3130	3-34-P1	埋土	4.65	3.00	1.10	17.82	灰褐色頁岩	完形		RISC1078
280		3131	4-26-P8	埋土	3.90	2.00	0.80	4.76	灰褐色頁岩	完形		RISC460
280		3132	4-26-P8	埋土	5.60	2.80	1.20	19.04	黒褐色頁岩	完形		RISC619
280		3133	5-24-P17	埋土	4.30	4.10	1.10	13.52	黒褐色頁岩	完形		RISC630
280	188	3134	5-25-P15	埋土	3.60	4.40	1.10	15.57	灰褐色頁岩	完形		RISC935
280		3135	5-25-P17	埋土	3.50	1.90	0.50	4.54	灰褐色頁岩	完形		RISC74
280		3136	5-25-P18	埋土	2.90	2.20	0.85	3.97	灰褐色頁岩	完形		RISC75
280	188	3137	5-26-P17	埋土	2.60	3.10	0.80	4.19	灰褐色頁岩	完形		RISC937
281	188	3138	5-28-P5	埋土	5.70	3.65	1.20	17.13	灰褐色頁岩	完形		RISC939
281		3139	5-32-P4	埋土	5.40	4.70	0.70	19.76	褐色頁岩	完形		RISC107
281		3140	6-23-P11	埋土	3.10	1.70	0.70	2.37	黒曜石	完形		RISC184
281	188	3141	6-24-P2	埋土	4.00	3.20	0.80	12.10	灰褐色頁岩	完形		RISC973
281		3142	6-25-P6	埋土	4.80	3.25	0.60	8.37	黒褐色頁岩	完形		RISC194
281		3143	6-26-P6	埋土	3.20	2.30	1.00	6.39	黒褐色頁岩	完形		RISC208
281	188	3144	6-26-P7	埋土	3.60	1.80	0.80	6.64	褐色頁岩	完形		RISC975
281	188	3145	6-26-P16	埋土	6.60	2.90	1.20	21.31	灰褐色頁岩	完形		RISC900
281	189	3146	6-27-P3	埋土	4.60	2.60	0.80	9.64	灰褐色頁岩	完形		RISC981
281	189	3147	6-27-P5	埋土	2.70	1.70	0.60	3.36	灰褐色頁岩	完形		RISC982
281	189	3148	6-28-P2	埋土	4.60	2.60	0.80	9.64	灰褐色頁岩	完形		RISC984
281	189	3149	6-28-P4	埋土	5.70	3.60	1.20	18.31	灰褐色頁岩	完形		RISC902
282		3150	6-28-P6	埋土	9.50	5.80	1.20	83.99	ホルンフェルス	完形		RISC902
282	189	3151	6-28-P11	埋土	2.70	1.90	0.85	2.29	白色頁岩	完形		RISC722
282	189	3152	6-28-P14	埋土	3.90	3.30	1.70	13.13	灰褐色頁岩	完形		RISC985
282	189	3153	6-28-P15	埋土	7.00	3.90	1.70	58.15	ホルンフェルス	完形		RISC986
282	189	3154	6-30-P13	埋土上部	5.80	3.70	0.95	22.93	灰褐色頁岩	完形		RISC987
282	189	3155	6-36-P2	埋土 黒色最下部	5.20	3.80	1.50	36.88	粘板岩	完形		RISC732
282	189	3156	7-19-P3	埋土	2.00	1.90	0.50	2.11	黒褐色頁岩	完形		RISC1004
282	189	3157	7-25-P6	埋土	5.20	2.20	1.00	7.63	黒褐色頁岩	完形		RISC1005
282	189	3158	7-26-P13	埋土	3.60	1.60	0.85	3.55	黒曜石	完形		RISC1080
282	189	3159	7-27-P21	埋土上部	5.50	3.80	1.45	28.84	チャート	完形		RISC1010
282	189	3160	7-25-P6	埋土	5.40	4.10	1.20	12.39	黒褐色頁岩	完形		RISC1012
282		3161	7-25-P8	埋土	2.50	2.60	1.10	6.51	褐色頁岩	完形		RISC531
283		3162	7-26-P13	埋土	3.20	2.20	1.20	7.06	灰褐色頁岩	完形		RISC534
283				埋土	4.50	1.80	1.10	7.21	灰褐色頁岩	完形		RISC765

観測	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
283		3163	7-29-P	埋土	3.50	1.60	0.50	4.24	黒褐色頁岩	完形		RISC778
283		3164	7-30埋設土器No.1のPit内	埋土及び周辺	3.45	1.60	0.40	2.43	黒褐色頁岩	完形		RISC373
283	189	3165	7-31-P11	埋土上部	4.60	2.30	0.90	9.74	黒褐色頁岩	完形		RISC1022
283		3166	7-3埋設土器を入れたPit<ピット	埋土1	6.75	3.80	1.90	31.71	灰褐色頁岩	完形		RISC280
283	190	3167	7-28-P4	埋土	5.70	4.70	1.50	37.64	メノウ	完形		RISC1013
283		3168	7-28-P4	埋土	2.40	1.70	0.80	2.80	黒曜石	完形		RISC245
283	190	3169	7-28-P5	埋土	5.20	3.10	1.30	21.42	黒褐色頁岩	完形		RISC1014
283	190	3170	7-28-P7	埋土	3.00	2.50	1.10	8.97	灰褐色頁岩	完形		RISC1015
283	190	3171	7-30-P10	埋土上半	11.80	4.20	1.50	63.38	灰褐色頁岩	完形		RISC1021
284		3172	7-31-P6	埋土	5.30	3.20	0.50	10.36	灰褐色頁岩	完形		RISC257
284	190	3173	8-20-P9	埋土	3.10	1.70	1.00	5.04	黒曜石	完形		RISC1034
284		3174	8-23-P7	埋土	6.90	4.10	1.80	53.01	ホルンフェルス	完形		RISC1085
284	190	3175	8-27-P1	埋土	4.10	3.75	0.85	9.72	灰褐色頁岩	完形		RISC1040
284	190	3176	8-27-P3	埋土	3.30	2.45	1.00	5.68	黒褐色頁岩	完形		RISC1041
284	190	3177	8-27-P7	埋土	6.80	3.00	1.00	17.94	黒褐色頁岩	完形		RISC1043
284	190	3178	8-27-P7	埋土	6.10	3.20	1.00	13.04	灰褐色頁岩	完形		RISC1044
284	190	3179	8-27-P7	埋土	2.40	1.70	0.85	4.03	黒曜石	完形		RISC1045
284	190	3180	8-28-P6	埋土	3.30	2.30	0.80	4.00	灰褐色頁岩	完形		RISC1047
284	190	3181	8-29-P2	埋土	5.00	2.90	1.20	15.99	黒褐色頁岩	完形		RISC1051
284	190	3182	9-24-P10	埋土	6.10	3.65	0.90	18.44	灰褐色頁岩	完形		RISC1061
285	190	3183	9-24-P10	埋土	6.40	4.60	1.20	29.15	灰褐色頁岩	完形		RISC1062
285	190	3184	9-28-P3	埋土1層	9.20	4.80	2.35	93.50	灰褐色頁岩	完形		RISC1083
285	191	3185	10-27-P3	埋土2～6層	5.40	3.80	1.40	17.65	チャート(黄)	完形		RISC1065
285	191	4277	11-27-P1	埋土	5.00	4.20	1.60	51.54	黒褐色頁岩	完形		RISC910
285		3186	3-16-P5	埋土	4.60	4.40	0.90	13.39	黒褐色頁岩	完形		RISC14
285	191	3187	3-27-PP1	掘形埋土	6.95	3.25	1.10	22.89	灰褐色頁岩	完形		RISC17
285	191	3188	3-36-PP3	埋土	3.10	2.20	0.60	2.92	燧黒褐色頁岩	完形		RISC1079
285	191	3189	5-25-PP1	埋土中部一括土器	6.20	3.60	1.10	15.56	灰褐色頁岩	完形		RISC934
286		3190	5-31-PP7	埋土	3.90	4.80	1.50	23.38	灰褐色頁岩	完形		RISC97
286	191	3191	5-32-PP4	埋土	4.50	4.50	1.30	20.91	濃黒褐色頁岩	完形		RISC940
286	191	3192	5-32-PP36	埋土	10.00	4.50	1.20	41.82	灰褐色頁岩	完形		RISC943
286	191	3193	5-32-PP36	埋土	10.30	4.90	1.85	89.45	灰褐色頁岩	完形		RISC941
286	191	3194	5-32-PP36	埋土	6.90	2.80	1.10	12.20	黒褐色頁岩	完形		RISC942
286	191	3195	5-36-PP42	埋土	5.40	2.00	1.50	10.67	灰褐色頁岩	完形		RISC944
286	191	3196	6-26-PP7	埋土	4.00	2.15	0.50	4.61	灰褐色頁岩	完形		RISC1071
286	191	3197	7-27-PP11	埋土	5.25	2.90	1.20	12.78	黒褐色頁岩	完形		RISC1011
286	191	3198	8-29-PP8	埋土	9.00	3.15	1.00	38.73	黒褐色頁岩	完形		RISC1050
286	192	4278	8-31-PP17	埋土	5.40	3.40	1.00	15.24	灰褐色頁岩	完形		RISC906
286	192	3199	9-26-PP4	埋土	3.50	2.40	1.00	7.49	灰褐色頁岩	完形		RISC1063
287	192	3200	10-24-PP12	埋土	8.20	4.60	1.65	78.40	白色頁岩	完形		RISC1064
287	192	3201	11-24-PP2	埋土	7.30	3.50	1.40	31.91	黒褐色頁岩	完形		RISC1066
287	192	3202	3-28区	縄文埋土	6.40	4.10	1.05	17.19	黒褐色頁岩	完形	表皮残る	RISC592
287	192	3203	6-27風樹木No.1	埋土	2.60	2.00	0.80	3.75	灰褐色頁岩	完形		RISC983
287	192	3204	4-25-S11-P1	埋土	3.80	3.00	0.80	14.12	灰褐色頁岩	完形		RISC929
287	192	3205	5-23-S11	床面直上層	4.55	3.10	1.10	12.61	灰褐色頁岩	完形		RISC933
287	192	3206	6-25-S11	床面構成層								RISC97
287	192	3207	6-25-S11	貼床埋土								RISC974

種別	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(kg)	石質	残存状況	備考	登録No
287		3208		床面構成層	4.80	3.60	1.10	26.99	黒褐色頁岩	完形		RISC747
288	192	3209		埋土	7.20	5.00	2.00	65.24	灰褐色頁岩	完形		RISC1006
288	192	3210		北側床面埋土	4.10	2.90	0.70	10.84	黒褐色頁岩	完形		RISC1007
288		3211		検出時	9.90	4.50	1.60	74.99	灰褐色頁岩	完形		RISC260
288	192	3212		床面より上の層上半	4.90	4.60	1.30	35.35	灰褐色頁岩	完形		RISC905
288		3213		床面直上層-床面	4.65	2.90	1.40	9.05	灰褐色頁岩	完形		RISC264
288		3214		床面直上層-床面	3.00	2.20	1.00	6.16	黒褐色頁岩	完形		RISC266
288		3215		東西ベルト床面直上層	4.70	2.10	0.80	6.80	灰褐色頁岩	完形		RISC405
288		3216		東西ベルト床面直上層	5.90	4.00	1.55	30.66	黒褐色頁岩	完形		RISC406
288	192	3217		床面	5.50	3.40	0.85	13.21	灰褐色頁岩	完形		RISC1024
288		3218		床面	4.50	2.50	1.25	10.23	チャヤート(黄)	完形		RISC269
288		3219		床面構成層	2.90	2.10	1.00	6.42	チャヤート	完形		RISC1023
289		3220		貼床埋土	6.45	2.60	1.10	8.05	濾黒褐色頁岩	完形		RISC916
289		3221		貼床面の埋土	2.70	2.50	1.00	4.32	チャヤート(赤)	完形		RISC543
289	192	3222		埋土上部	4.30	1.70	0.70	4.24	チャヤート(赤)	完形		RISC1027
289	192	3223		埋土上部	3.00	1.80	0.65	3.81	チャヤート(赤)	完形		RISC1081
289	192	3224		埋土	2.20	2.50	1.00	5.36	チャヤート	完形		RISC1046
289	192	3225		埋土	5.80	5.40	1.05	15.32	黒褐色頁岩	完形		RISC1049
289	193	3226		床面直上層上半部	6.75	2.90	1.75	17.84	黒褐色頁岩	完形		RISC1082
289	193	3227		床面直上層	5.90	2.70	1.20	21.16	灰褐色頁岩	完形		RISC1052
289	193	3228		埋土	8.10	2.70	1.40	18.12	灰褐色頁岩	完形		RISC899
289		3229		埋土	2.80	2.70	0.40	4.14	灰褐色頁岩	完形		RISC644
289	193	3230		埋土 2層(竪と同一)	3.35	2.30	1.10	8.18	黒褐色頁岩	完形		RISC947
289	193	3231		埋土 2層(竪と同一)	5.30	2.80	1.30	18.35	黒褐色頁岩	完形		RISC946
289	193	3232		埋土	5.20	1.90	0.90	3.79	黒褐色頁岩	完形		RISC989
290		3233		埋土 7層	5.40	2.35	1.20	13.44	黒褐色頁岩	完形		RISC219
290		3234		埋土	3.70	2.40	0.80	5.82	黒褐色頁岩	完形		RISC749
290		3235		埋土	8.00	5.80	1.65	71.76	灰褐色頁岩	完形		RISC759
290	193	3236		埋土	6.50	7.05	1.50	58.84	黒褐色頁岩	完形		RISC903
290	193	3237		埋土	8.60	7.05	1.80	104.87	黒褐色頁岩	完形		RISC904
290		3238		埋土	4.20	2.20	1.10	9.33	黒褐色頁岩	完形		RISC248
290	193	3239		埋土	4.95	2.20	0.90	10.20	黒褐色頁岩	完形		RISC1018
290	193	3240		埋土	2.45	1.70	0.70	2.80	黒褐色頁岩	完形		RISC1019
290	193	3241		埋土	3.18	3.20	1.20	7.50	灰褐色頁岩	完形		RISC1020
291	193	3242		埋土	6.80	2.20	1.00	9.59	灰褐色頁岩	完形		RISC1036
291	193	3243		埋土	2.95	2.40	0.90	4.58	チャヤート	完形		RISC1037
291		3244		埋土	2.50	1.90	0.80	3.58	黒曜石	完形		RISC37
291		3245		埋土最上層	3.50	2.60	1.50	12.43	黒褐色頁岩	完形		RISC38
291		3246		埋土 1層	4.50	2.70	2.00	22.97	黒褐色頁岩	完形		RISC42
291		3247		埋土 2層	2.80	2.05	0.45	1.41	黒褐色頁岩	完形		RISC607
291		3248		実測図 2層	3.95	2.80	0.59	5.96	黒褐色頁岩	完形		RISC44
291		3249		実測図 5層	3.25	2.00	1.00	5.70	灰褐色頁岩	完形		RISC43
291	193	3250		実測図 1層	6.50	3.15	8.50	22.09	チャヤート(黄)	完形		RISC1057
291	193	3251		埋土	8.30	5.30	1.60	58.66	褐色頁岩	完形		RISC1073
291		3252		埋土	4.20	2.10	1.00	5.01	メノウ	完形		RISC610
291	194	3253		埋土	14.00	5.50	1.20	94.16	灰褐色頁岩	完形	表皮残存	RISC1068
292		3254		埋土	3.80	2.60	1.05	7.61	灰褐色頁岩	完形		RISC616



種別	号	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(t)	石質	残存状況	備考	登録No
292	194	3255	2-34区・2-34-PP1	表土・埋土	5.70	2.70	0.70	12.28	黒褐色頁岩	完形		RISC1072
292	194	3256	3-14区	表土	5.50	2.00	0.80	6.03	灰褐色頁岩	完形		RISC1074
292	194	3257	3-16区・4-16区	表土	2.90	3.00	0.90	7.84	メノウ	完形		RISC897
292	194	3258	5-15区・5-16区	表土	6.50	4.60	1.75	42.14	黒褐色頁岩	完形		RISC932
292	194	3259	8-16区	表土	3.40	1.85	0.90	3.63	灰褐色頁岩	完形		RISC1033
292	194	3260	8-25区	表土	9.30	8.60	2.10	120.64	黒褐色頁岩	完形		ROSC554
194	4279	1-37区		検出時	3.75	3.00	1.05	12.90	灰褐色頁岩	完形		ROSC524
194	4280	3-13区		表土	8.70	3.70	1.70	54.14	チャート	完形		ROSC518
194	4281	2-28区		攪乱(畑)	6.25	4.80	1.25	28.60	黒褐色頁岩	完形		ROSC525
194	4282	3-28区		攪乱	4.40	2.70	0.70	7.94	灰色頁岩	完形		ROSC527
194	4283	3-29区		攪乱(畑)	6.15	1.95	0.50	7.22	メノウ	完形		ROSC519
194	4284	3-37区		検出時	5.70	3.10	1.40	18.97	灰色頁岩	完形		ROSC526
195	4285	4-13区		表土粗掘	5.30	4.80	1.10	26.52	灰褐色頁岩	完形		ROSC528
195	4286	4-27区		表土粗掘	5.30	3.20	0.70	11.84	黒褐色頁岩	完形		ROSC529
195	4287	4-28区		表土粗掘	5.15	3.50	1.00	24.32	チャート	完形		ROSC530
195	4288	5-25区		攪乱(畑)	5.30	3.75	1.15	18.45	黒褐色頁岩	完形		ROSC531
195	4289	5-26区		検出時	4.00	1.75	0.60	4.87	黒褐色頁岩	完形		ROSC532
195	4290	5-29区		攪乱	4.10	3.15	1.00	12.83	黒褐色頁岩	完形		ROSC533
195	4291	5-34区		攪乱	4.30	2.95	1.00	11.74	赤チャート	完形		ROSC534
195	4292	5-36区		近世検出時焼土面	3.20	2.15	0.80	5.85	チャート	完形		ROSC535
195	4293	5-36区		近世検出時焼土面	3.65	2.45	1.20	7.46	灰褐色頁岩	完形		ROSC536
195	4294	6-25区		検出時	3.75	2.50	0.90	7.41	灰褐色頁岩	完形		ROSC538
195	4295	6-23区		攪乱(畑)	6.10	3.70	1.10	23.59	黄~灰褐色頁岩	完形		ROSC537
195	4296	6-29区		表土	5.50	4.70	0.60	18.20	安山岩	完形		ROSC539
195	4297	6-29区		検出時	3.90	1.70	0.75	4.86	灰褐色頁岩	完形		ROSC540
195	4298	6-37区		検出時	4.50	2.25	0.80	8.13	黒褐色頁岩	完形		ROSC541
195	4299	6-35区		検出時	6.70	3.80	1.60	33.98	黒褐色頁岩	完形		ROSC542
195	4300	7-19区		検出時	2.25	1.90	0.80	2.90	黒曜石	完形		ROSC543
195	4301	7-25区		粗掘表土	5.00	2.20	1.05	14.15	黒褐色頁岩	完形		ROSC544
195	4302	7-25区		表土	7.30	2.70	0.70	17.27	灰褐色頁岩	完形		ROSC545
195	4303	7-26区		検出時	5.80	2.30	0.80	10.41	灰褐色頁岩	完形		ROSC546
196	4304	7-26・27区		表土粗掘	7.50	2.30	1.25	23.44	黒褐色頁岩	完形		ROSC547
196	4305	7-27区		検出時	5.30	4.35	0.50	13.29	灰褐色頁岩	完形		ROSC548
196	4306	7-31区		表土	5.60	3.70	1.20	20.79	灰褐色頁岩	完形		ROSC549
196	4307	7-31区		表土	4.20	1.60	1.10	6.58	チャート	完形		ROSC550
196	4308	7-33区		攪乱	4.85	2.65	1.20	13.34	灰褐色頁岩	完形		ROSC551
196	4309	7-35区		攪乱	2.30	1.70	1.00	3.33	黒曜石	完形		ROSC552
196	4310	8-21区		近世検出時住居跡?	5.40	2.70	1.40	20.67	黒褐色頁岩	完形		ROSC553
196	4311	8-23区		1980年代 攪乱	4.50	2.50	1.00	13.32	黒褐色頁岩	完形		ROSC554
196	4312	8-26区		検出時	6.60	2.70	0.70	13.56	灰褐色頁岩	完形		ROSC555
196	4313	8-26区		表土	5.80	3.40	1.05	20.49	灰褐色頁岩	完形		ROSC556
196	4314	8-27区		表土	3.00	2.50	1.00	7.02	黒褐色頁岩	完形		ROSC557
196	4315	8-28区		表土	3.90	2.70	0.80	7.36	黒褐色頁岩	完形		ROSC558
196	4316	8-30区		検出時	5.65	3.40	1.15	24.26	黒褐色頁岩	完形		ROSC561
196	4317	9-26区		表土	6.95	3.70	1.30	31.09	灰褐色頁岩	完形		ROSC563

7 石器観察表 (石核・利用されたフレイク等)

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	残存状況	備考	登録No
293	3261	197	3-27-S11	床面 石核No1	石核	5.40	5.50	4.80	201.07	チャート(黄)			RI0CR67
293	4318	197	4-27-S11	埋土	石核	5.20	5.10	4.80	145.78	チャート(黒)			RI0679
293	3264	197	4-27-S11	床面直上層	石核	3.35	3.35	2.55	4.39	黒礫石			RI0CR999
293	3262	197	4-27-S11-PP9	埋土	石核	3.70	1.60	1.60	12.74	黒礫石			RI0C702
293	3263		3-29-S11	床面直上層	石核	2.30	1.80	1.80	2.41	黒礫石			RI0C218
294	3265		5-36-S13-4	黒色土層	石核	3.20	2.15	2.15	4.06	黒礫石			RI0C1126
294	3266		5-36-S13-4	埋土直上層	石核	3.00	2.15	1.75	8.03	黒礫石(灰)			RI0C1149
294	3267	198	5-36-S13-4	黒色土	石核	3.00	0.95	0.95	5.10	黒礫石			RI0C1175
294	3268	198	5-36-S13-4	10YR2/2色土層	石核	3.00	0.95	0.95	4.36	黒礫石			RI0C1202
294	3269	198	5-36-S13-4	10YR2/2色土下半	石核	2.20	1.10	1.10	2.14	黒礫石			RI0C1305
294	3270		5-36-S13-4	黒色土層	石核	3.10	1.50	1.50	4.46	黒礫石			RI0C1324
294	3271	198	5-36-S13-4	黒色土下部	石核	2.70	1.60	1.60	2.92	黒礫石			RI0C1384
294	3272	198	5-36-S13-4	黒色土層直下部	石核	2.10	2.80	2.80	8.22	黒礫石			RI0C1321
294	3273	198	5-36-S13-4	黒色土より下の10YR3/2色土層	石核	3.30	1.90	1.90	11.53	黒礫石			RI0C1390
294	3274	198	5-36-S13-4	周溝埋土10YR3/2	原石	2.95	3.50	3.50	10.76	黒礫石			RI0C1411
294	3275	198	5-36-S11P2	埋土	石核	2.60	2.30	2.30	6.35	黒礫石			RI0C1448
294	3276	198	5-36-S13-4	床面を構成する層	石核	2.65	2.48	1.95	16.10	黒礫石			RI0C1415
294	4319	198	5-36-S13-4	埋土	石核	3.60	2.10	1.10	12.70	黒礫石			RI0C1418
	4320	198	5-36-S13-4	埋土	石核	2.40	2.00	2.00	5.75	黒礫石			RI0C3267
294	3277	198	3-30-S1	埋土直上層	石核	1.80	2.00	1.60	2.02	黒礫石			RI0C3268
294	3278	198	3-30-S1	埋土直上層	石核	3.20	1.85	1.85	4.44	黒礫石			RI0C255
294	3279		3-30-S1	床面直上層	石核	2.15	2.25	2.25	5.10	黒礫石			RI0C270
294	3280		3-30-S1	床面直上層	石核	3.20	1.30	1.30	3.76	黒礫石			RI0C284
294	3281		3-30-S1	床面埋土	石核	3.20	1.30	1.30	4.47	黒礫石			RI0C288
294	3282		3-30-S1	床構成層	石核	2.40	2.05	2.05	4.20	黒礫石			RI0C262
295	3283	198	3-30-S1	床面より下の層	石核	1.90	2.00	2.00	2.55	黒礫石			RI0C280
295	3284		3-30-S1周溝	埋土	石核	1.80	2.50	2.50	6.36	黒礫石			RI0C312
295	3285		3-30-S1	埋土	石核	2.90	2.85	2.85	10.37	黒礫石			RI0C1055
295	3286		5-32-S11?	埋土直上層 北半	石核	1.90	1.40	1.40	2.27	黒礫石			RI0C1060
295	3287		5-32-S11?	埋土直上層 北半	石核	2.90	3.10	3.10	10.17	黒礫石			RI0C1064
295	3288		5-32-S11?北半	埋土直上層から-10cmの面埋土	石核	3.55	1.70	1.70	8.35	黒礫石			RI0C351
295	3289	198	3-32-P3	埋土	石核	2.60	2.30	2.30	5.58	黒礫石			RI0C1557
295	3290	198	6-25-P5上	埋土	石核	2.10	1.60	1.60	1.89	黒礫石			RI0C3271
295	3291		8-30-P15	埋土	石核	2.80	1.70	1.70	3.89	黒礫石			RI0C345
295	3292	198	3-31-PP11	埋土直上層	石核	1.60	1.05	1.75	2.11	黒礫石			RI0C3269
295	3293		8-25-S11	埋土上半	石核	1.90	1.50	1.50	1.21	黒礫石			RI0C3272
295	3294		13-4-P1	埋土	石核	2.90	2.50	1.05	10.60	チャート(黄)			RI0CR551
295	3295	198	6-28-S11-PP1	埋土	ピエス・エスキーク	2.85	1.80	1.55	6.40	黒礫石			RI0C217
295	3296		3-29-S11	周溝埋土	ピエス・エスキーク	2.70	2.05	1.30	6.77	黒礫石			RI0C232
295	3297	198	3-29PNo1	埋土直上層	ピエス・エスキーク	2.20	1.60	1.05	3.85	黒礫石			RI0C1678
295	3298	198	6-26-S11	9層	ピエス・エスキーク	2.50	1.80	0.80	4.52	黒礫石			RI0C1705
295	3299	198	6-26-S11-P2	埋土	ピエス・エスキーク	3.20	2.00	1.15	4.95	黒礫石			RI0C1386
296	3300	198	5-36-S11	黒色土より下の黒褐色土	ピエス・エスキーク	3.25	3.10	1.25	7.99	黒礫石			RI0C1388
296	3301	198	5-36-S11	黒褐色土	ピエス・エスキーク	2.40	1.00	0.60	24.47	珪化木			RI0CR880
296	3302	198	8-29-S11	床面直上層上半	ピエス・エスキーク	1.70	1.30	0.65	1.75	灰褐色頁岩			RI0CR80
296	3303	198	3-30-S11	埋土直上層	ピエス・エスキーク								RI0C252
296	3304	198	3-30-S11	床面直上層	ピエス・エスキーク								

写真	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	種類	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	登録No
296	3305	198	3-30-S11-P1	埋土	ピエス・エスキーク	2.40	1.70	0.90	4.10	黒曜石			R10C299
296	3306	198	3-30-S11-P1	埋土	ピエス・エスキーク	3.65	2.15	1.00	9.87	黒曜石			R10C302
296	3307	198	2-31-P1	埋土	ピエス・エスキーク	2.95	1.05	0.60	2.10	チャート			R10C0R11
296	3308	198	5-32-S1	埋土	ピエス・エスキーク	3.20	1.70	1.40	7.80	黒曜石			R10C1069
296	4321	198	6-27-P2	埋土	ピエス・エスキーク	2.30	2.05	1.55	8.30	黒曜石			R10C1764
296	3309	198	6-27-P7	埋土	ピエス・エスキーク	1.70	1.80	0.60	1.93	黒曜石			R10C1768
296	3310	198	6-36-P4	埋土中	ピエス・エスキーク	2.55	1.60	0.85	4.44	黒褐色頁岩			R10C0R610
296	3311	198	8-31-P8	埋土	ピエス・エスキーク	2.00	2.25	0.50	2.41	黒曜石			R10C3270
296	3312	198	6-26-PP5	埋土	ピエス・エスキーク	2.30	1.20	0.80	1.89	黒曜石			R10C1627
	4322	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.60	2.70	1.65	17.52	黒曜石			R10C1886
	4323	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.95	2.80	2.10	25.63	黒曜石			R10C1887
	4324	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.50	2.95	2.30	26.05	黒曜石			R10C1888
	4325	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.75	2.30	1.40	14.9	黒曜石			R10C1889
	4326	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.90	2.40	1.20	14.82	黒曜石			R10C1890
	4327	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.60	2.90	2.35	28.28	黒曜石			R10C1891
	4328	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	3.10	2.70	1.20	13.47	黒曜石			R10C1892
	4329	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	4.65	3.30	2.50	39.88	黒曜石			R10C1893
	4330	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	2.40	3.40	2.30	32.09	黒曜石			R10C1894
	4331	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	6.10	4.40	2.20	72.41	黒曜石			R10C1895
	4332	198	6-34-S11	周溝埋土	原石	5.70	3.00	2.10	37.27	黒曜石			R10C1896

8 石器観察表 (フレイク)

種図	写図	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考	登録No
296		3313	5-23-S11-P2	埋土	2.65	2.95	0.70	4.80	灰褐色頁岩		R1u1911
296		3314	5-27-S11	床面直上層	3.85	1.70	0.50	2.53	灰褐色頁岩		R1u2003
296	199	3315	5-36-S13-4	埋土1層目 黒褐色土	3.10	2.80	0.80	5.64	灰褐色頁岩		R1u3845
296	199	3316	5-36-S13-4	1.0 YR 2/2 色土	4.15	3.00	0.95	12.42	灰褐色頁岩		R1u3811
296	199	3317	5-36-S13-4	黒色土層	3.70	3.80	0.75	11.63	灰褐色頁岩		R1u3741
297	199	3318	5-36-S13-4	黒色土下部	3.70	2.80	0.70	6.84	灰褐色頁岩		R1u3798
297	199	3319	5-36-S13-4	黒色土下部	5.00	4.00	1.00	14.21	灰褐色頁岩		R1u3771
297	199	3320	5-36-S13-4	周海埋土	4.00	2.80	0.70	6.81	黒褐色頁岩		R1u3836
297		3321	8-29-S11	床面埋土	5.00	2.05	0.70	5.49	灰褐色頁岩		R1u4605
297		3322	5-26区	フレイクプロックNo.1	7.20	3.45	1.35		黒褐色頁岩	3323と3324の接合品	R1SF26
297		3323	5-26区	フレイクプロックNo.1	6.50	2.60	0.90	13.71	黒褐色頁岩	R1SF25と接合	R1SF25
297		3324	5-26区	フレイクプロックNo.1	6.30	2.30	1.20	13.70	黒褐色頁岩	R1SF26と接合	R1SF26
297		3325	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.35	2.80	8.25	14.18	黒褐色頁岩		R1SF24
298		3326	5-26区	フレイクプロックNo.1	4.90	5.10	1.05	20.88	黒褐色頁岩		R1SF12
298		3327	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.95	4.00	1.25	18.52	黒褐色頁岩		R1SF14
298		3328	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.45	1.70	0.90	6.76	黒褐色頁岩		R1SF20
298		3329	5-26区	フレイクプロックNo.1	4.25	3.35	1.10	13.06	黒褐色頁岩		R1SF13
298		3330	5-26区	フレイクプロックNo.1	4.80	6.15	5.85	12.68	黒褐色頁岩		R1SF15
298		3331	5-26区	フレイクプロックNo.1	3.10	3.45	8.25	4.56	黒褐色頁岩		R1SF16
298		3332	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.00	3.50	1.35	18.47	黒褐色頁岩		R1SF18
298		3333	5-26区	フレイクプロックNo.1	4.80	4.20	1.10	19.58	黒褐色頁岩		R1SF19
299		3334	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.40	3.00	1.15	19.68	黒褐色頁岩		R1SF21
299		3335	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.60	3.00	0.90	13.16	黒褐色頁岩		R1SF23
299		3336	5-26区	フレイクプロックNo.1	6.70	3.20	0.75	12.28	黒褐色頁岩		R1SF7
299		3337	5-26区	フレイクプロックNo.1	5.70	3.45	1.10	12.62	黒褐色頁岩		R1SF10
299		3338	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.95	5.60	2.25	29.99	メノウ		R1SF5
299		3339	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.50	3.00	1.25	11.92	メノウ		R1SF6
299		3340	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.40	3.95	1.20	13.52	メノウ		R1SF8
299		3341	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.55	3.20	0.90	10.52	メノウ		R1SF9
300		3342	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.55	1.75	3.75	2.28	メノウ		R1SF11
300		3343	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	6.20	3.55	1.35	33.99	メノウ		R1SF3
300		3344	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	3.15	2.45	0.70	3.86	メノウ		R1SF27
300		3345	5-26-PP4	埋土上部 フレイク集中部	4.00	4.80	1.90	28.39	メノウ		R1SF28
300		3346	5-36-S11	黒色土下部	3.75	1.40	0.35	2.28	灰褐色頁岩		R1SF29
300		3347	6-34-S1水	床面直上層～床面	2.90	0.85	0.60	2.06	黒曜石		R1SF30
300		3348	7-34埋設土器-ベルト	埋土3	3.20	0.75	0.45	1.41	黒曜石		R1SF31
300		3349	6-26FNo2	P.21	3.60	2.60	0.90	7.04	チャート		R1SF1
300		3350	6-26FNo2	P.21	3.30	2.40	1.00	6.24	チャート		R1SF2
300		3351	6-26FNo2	P.21	3.20	2.05	0.65	4.31	チャート		R1SF3
300		3352	6-26FNo2	P.21	1.80	2.50	0.70	2.57	チャート		R1SF4
300		3353	6-26FNo2	P.21	2.20	1.85	0.30	1.09	チャート		R1SF5
300		3354	3-29-P3	埋土	3.90	2.85	1.10	11.31	チャート		R1SF6
300		3355	3-29-P3	埋土	3.75	4.50	1.15	17.28	チャート		R1SF7

9 石器観察表 (磨製石斧)

種別	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	形態	石質	残存状況	備考	登録No
301	200	3356	4-27-S11-PP4	埋土上部	(3.30)	2.15	0.80	(9.7)	I O	砥石	基部欠		RIPSA13
301	200	3357	6-28-S11	床面直上層	(5.98)	3.45	1.12	(39.4)	III O 薄	玄武岩質安山岩	基部欠	基部部礫石に転用	RIPSA27
301	200	3358	6-28-S11	磨斧No1 床面直上層	(10.20)	4.65	2.60	(154.7)	III A 厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部欠		RIPSA28
301	200	3359	6-28-S11	床面構成層	(8.10)	5.80	2.75	(264.1)	III A 厚	玄武岩質安山岩	基部欠		RIPSA29
302	200	3360	3-29-S11	床面直上層	(4.00)	3.30	0.90	(35.1)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA48
302	200	3361	5-27-S11	埋土1～2層	(4.10)	2.30	0.70	(9.8)	II A 厚	粘板岩	刃部一部欠		RIPSA51
302	200	3362	6-26-S11埋土を切る土坑	東西ベルト9層	(5.10)	1.65	1.00	(10.8)	I O	粘板岩	刃部欠		RIPSA51
302	200	3363	5-36-S13-4	黒色土層	(5.20)	2.80	0.80	(17.3)	II A 薄	粘板岩	基部一部欠		RIPSA50
302	200	3364	5-36-S13-4	黒色土層	(7.00)	1.40	0.74	(9.3)	I O	粘板岩	基部一部欠		RIPSA17
302	200	3365	5-36-S1	1 O Y R 3 / 2 色土層	(4.80)	3.80	1.80	(55.1)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA18
302	200	3366	5-36-S1	1 O Y R 2 / 2 色土層	(3.30)	4.20	1.20	(31.9)	III A 厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部のみ残		RIPSA20
302	200	3367	5-36-S1	黒色土下部	(6.20)	1.13	0.50	(5.4)	I O	粘板岩	完形		RIPSA49
303	200	3368	5-36-S1南北ベルト	美淵園7層	(4.00)	1.25	0.75	(6.7)	I O	粘板岩	基部欠	長軸両端に刃部	RIPSA21
303	200	3369	5-36-S1	黒色土層	(5.05)	1.40	0.80	(9.3)	I O	綠色細粒凝灰岩	完形		RIPSA19
303	200	3370	5-36-S1	黒色土層下部	(8.30)	6.15	3.60	(340.0)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	胸部のみ残		RIPSA23
303	200	3371	5-36-S1	黒色土層最下部	(8.20)	4.60	2.50	(154.9)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	基部欠		RIPSA22
304	200	3372	5-36-S1EHWベルト(西半)	3層目(暗緑)	(5.27)	5.75	2.95	(141.8)	III A 厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部のみ残		RIPSA24
304	200	3373	8-29-S12	床面直上層	(1.95)	1.45	0.90	(3.7)	I O ?	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA40
304	200	3374	8-31-S1状	埋土床面直上層～床面まで	(3.17)	2.55	0.40	(5.1)	II A 薄	粘板岩	基部欠		RIPSA52
304	201	3375	8-31-S1状	埋土床面直上層～床面まで	(8.80)	3.67	2.19	(115.4)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	基部・刃部欠		RIPSA55
304	200	3376	10-24-S11	埋土	(7.10)	3.30	0.75	(31.3)	II A 薄	硬砂岩	ほぼ完形		RIPSA42
304	200	3377	3-30-S11	床面直上層	(4.80)	3.80	2.00	(64.9)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	基部のみ残		RIPSA7
304	201	3378	2-31-P6	埋土	(2.50)	2.00	1.40	(8.1)	—	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA1
304	201	3379	2-32-P1	埋土2層+3層 ほとんどは2層	(2.90)	3.40	2.50	(46.3)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA2
305	201	3380	3-27浅いくほみ	埋土	(2.80)	1.38	0.30	(1.6)	I O	粘板岩	ほぼ完形	礫石	RIPSA2
305	201	3381	4-27-P1	埋土	(3.40)	2.55	1.50	(10.2)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	刃部破片		RIPSA7
305	201	3382	4-27-P3	埋土上部	(3.55)	1.30	0.40	(2.8)	I O	チャート	完形		RIPSA112
305	201	3383	5-25-P1	埋土	(2.40)	1.95	0.80	(4.4)	III A 厚 ?	綠色細粒凝灰岩	胸部破片		RIPSA14
305	201	3384	5-32-P9	埋土上部	(14.90)	5.90	3.00	(450.0)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	刃部破片		RIPSA16
306	201	3385	6-23-P10	美淵園1層	(10.15)	4.15	2.25	(164.1)	III A 厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部欠		RIPSA25
306	201	3386	6-26-P10	埋土	(8.95)	4.20	3.00	(178.9)	III A 厚 ?	綠色細粒凝灰岩	刃部欠	基部部礫石に転用	RIPSA26
306	201	3387	7-31-P3	埋土	(3.50)	2.50	1.50	(12.8)	III A 厚 ?	流紋岩質安山岩硬砂岩	刃部破片		RIPSA32
306	201	3388	7-31-P6	埋土	(3.48)	1.30	0.35	(2.1)	I O ?	粘板岩	刃部欠		RIPSA33
307	201	3389	8-23-P3	埋土下部	(6.35)	4.30	1.65	(94.7)	III A 厚	粘板岩	基部欠		RIPSA35
307	201	3390	8-27-P1	埋土	(10.50)	5.60	3.50	(323.0)	III A 厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	刃部欠	基部部礫石に転用	RIPSA37
307	202	3391	8-27-P7	埋土	(3.00)	2.63	1.60	(24.8)	?	粘板岩	基部残	礫石の可能性あり	RIPSA44
307	202	3392	10-26-P2	美淵園による5～6層	(5.90)	1.10	0.70	(5.3)	I O	粘板岩	完形		RIPSA43
308	202	3393	3-11-P1	埋土	(9.10)	3.95	2.20	(126.6)	III A 厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	基部・刃部欠		RIPSA3
308	202	3394	4-11-P4	埋土	(7.80)	4.80	2.20	(139.3)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部欠		RIPSA8
308	202	3395	4-13-P2	埋土	(5.50)	3.35	2.50	(41.1)	III A 厚 ?	アイサイト	基部のみ残		RIPSA9
309	202	3396	4-15-P3	埋土	(5.20)	4.10	1.80	(63.9)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA11
309	202	3397	3-30-PP2	埋土	(6.60)	3.30	1.50	(54.7)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	刃部欠		RIPSA6
309	202	3398	7-20-PP27	埋土中部	(10.60)	4.40	2.30	(170.2)	III A 厚 ?	ホルンフェルス	刃部一部欠		RIPSA46
309	202	3399	7-21-PP1	埋土	(3.35)	2.70	0.80	(5.9)	III A 厚 ?	綠色細粒凝灰岩	刃部破片		RIPSA30
309	202	3400	5-26区埋土器群周辺	埋土	(9.60)	4.50	2.30	(167.5)	III A 厚	綠色細粒凝灰岩	基部欠		RIPSA15

種別	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重さ(g)	形態	石質	残存状況	備考	登録No
310	202	3401	7-34-S11	床面直上層~床面	(8.70)	4.90	1.90	(148.2)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	刃部欠		RIPSA34
310	202	3402	8-27-S11	埋土上半	(5.35)	5.30	2.50	(98.5)	皿A厚	粘板岩	刃部のみ残		RIPSA38
310	203	3403	8-25-S11	床面直上層	(5.10)	4.60	2.20	(96.8)	皿A厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	基部のみ残	基部部破石に転用	RIPSA36
311	203	3404	8-28-S11	貼床埋土	(5.75)	4.50	2.50	(101.6)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	基部のみ残		RIPSA39
311	203	3405	10-27-11	埋土	(11.50)	4.75	1.75	(96.7)	皿A厚?	流紋岩質安山岩硬砂岩	胴~刃部一部残		RIPSA53
312	203	3407	7-30-P1	埋土	(10.05)	5.10	3.20	(223.7)	皿A厚?	流紋岩質安山岩硬砂岩	基部・刃部欠	基部部破石に転用	RIPSA31
312	203	3408	4-14-PP19	3層上部	(2.70)	4.50	1.40	(18.6)	皿A厚?	緑色細粒凝灰岩	刃部破片		RIPSA10
312	203	3409	8-29-SE1	検出面	(9.70)	4.80	2.50	(192.3)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	基部部・刃部欠		RIPSA41
312	312	3409	7-22区	表土粗掘	(5.30)	2.20	0.90	(16.0)	皿A薄	粘板岩	ほぼ完形		ROPSA9
312	312	3410	5-23区	表土粗掘	(4.30)	2.00	0.55	(7.3)	皿A薄	粘板岩	刃部破片		ROPSA18
312	312	3411	4-25区	表土	(3.75)	4.00	1.80	(18.8)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	刃部破片		ROPSA20
312	312	3412	7-26区	検出時	(5.10)	4.60	1.50	(27.4)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	刃部破片		ROPSA11
313	203	3413	8-25区	表土	(3.73)	3.30	2.60	(43.3)	皿A厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	基部のみ残		ROPSA19
313	203	3414	3-34区	表土	(4.15)	3.70	2.20	(53.4)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	基部のみ残		ROPSA9
313	313	3415	7-20区	検出時	(5.30)	4.00	2.40	(75.2)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	基部のみ残		ROPSA7
313	313	3416	9-25区	表土	(7.35)	4.70	2.50	(134.2)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	基部のみ残		ROPSA15
314	203	3417	10-24区	表土	(6.15)	5.00	2.80	(164.3)	皿A厚	玄武岩質安山岩	基部のみ残		ROPSA16
314	204	3418	8-28区	検出時	(7.70)	4.00	3.00	(110.8)	皿A厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	基部のみ残		ROPSA13
314	204	3419	8-29区	表土	(9.35)	4.70	2.30	(157.2)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	ほぼ完形		ROPSA14
315	204	3420	4-30区	表面採集	(9.35)	4.70	2.30	(164.4)	皿A厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部欠		ROPSA17
315	204	3421	4-30区	表土粗掘	(10.50)	4.50	2.70	(189.8)	皿A厚	流紋岩質安山岩硬砂岩	刃部欠	基部部破石に転用	ROPSA4
316	204	3422	3-27区	表土粗掘	(12.50)	5.30	2.50	(301.8)	皿A厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	刃部欠		ROPSA1
316	204	3423	5-15区	粗掘時	(12.60)	5.00	2.80	(239.4)	皿A厚	緑色細粒凝灰岩	刃部欠		ROPSA5
317	204	3424	7-36区	検出時	(6.00)	4.10	1.50	(67.6)	皿A厚	乾紋岩	刃部欠		ROPSA12
317	204	3425	5-16区	検出時	(5.40)	4.40	2.10	(91.2)	皿A厚	安山岩質凝灰岩硬砂岩	基部欠		ROPSA13
317	204	3426	3-32区	表土粗掘	(9.50)	3.50	2.00	(115.9)	皿O厚	玄武岩質凝灰岩硬砂岩	ほぼ完形		ROPSA2
318	204	3427	7-20区	検出面	(10.70)	5.20	2.10	(200.6)	皿A厚	玄武岩質凝灰岩硬砂岩	基部欠		ROPSA8
318	204	3428	7-24区	検出時	(9.10)	5.10	2.30	(146.4)	皿A厚	ホルンフェルス	基部・刃部欠		ROPSA10

磨製石斧・破石・凹石・石皿の石材名称とその産地について  
3：粘板岩 北上山地西縁(薄衣北部) 古生界  
6：砂質粘板岩 北上山地西部 古生界  
8：凝灰質硬砂岩 北上山地 古生界  
9：安山岩質凝灰岩硬砂岩 北上山地 古生界  
10：流紋岩質安山岩硬砂岩(砂岩) 古生界  
11：硬砂岩 北上山地西縁 古生界  
12：アルコーヌ砂岩 北上山地 千厩~大東 中生界  
16：普通輝石・紫輝輝石安山岩 須川岳 第四系  
17：普通輝石・紫輝輝石安山岩(溶岩) 須川 第四系  
18：普通輝石・紫輝輝石安山岩 一関市街南西部 中新統  
19：玄武岩質安山岩 北上山地(千厩~水沢東部) 古生界  
21：緑色細粒凝灰岩 北上山地(前沢東~水沢東) 古生界  
26：柱状凝灰岩 奥羽山地 中新統  
28：アイサイト質凝灰岩 石越 中新統  
29：アイサイト 石越 新第三系 中新統  
37：滑石 北上山地(宮守?~鶴ノ木?~水沢) 古生界  
38：蛇文岩 北上山地(宮守?) 古生界

破石・凹石の観察表記載について  
(1) 形態の欄について  
数字は素材の形態を示す  
1：重円形で、平面 縦：幅の値がほぼ1：1。断面が厚いもの  
2：重円形で、平面 縦：幅の値がほぼ2：1。断面が厚いもの  
3：重円形で、棒状の素材  
4：鏝のフレイク  
5：三角柱型の棒状鏝  
6：不定形の鏝  
7：板状の鏝  
数字の後に付くアルファベットは、石器において凹部や基部がある位置を示す  
C：鏝の中央  
E：鏝の端  
NE：鏝の端に近いところ  
(2) 磨・捺面の欄  
数字は、それらの面の箇所数を示す  
(3) 凹部・基部の欄  
数字は凹部・基部箇所の個数を示す

Lは、直径1cm以上の凹部・基部を示す。  
Sは、直径1cm未満の凹部・基部を示す。  
磨製石斧の形態は、考察(P.681)に述べた分類を用いている。

10 石器観察表 (敲石・凹石)

種別	号	報告	遺構名	出土地点・層位	形状	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	磨・擦面	表裏面	凹部	表裏面	凹部	側面	底部	頂部	縁部	変異No		
319	205	3429	4-27-S11	床面直上層	アレイク	(6.9)	(3.1)	3.1	84.1	粘板岩	定形			表2 L		片側面 2 L 1 S		片側面 2 L 1 S		1 L		RHS30		
319	205	3430	4-27-S11	床面直上層	3	9.4	5.1	3.5	232.2	8	定形			表3 0.9×0.8						1 L		RHS28		
319	205	3431	4-27-S11	床面直上層	I C	9.1	8.3	4.5	360.0	硬砂岩	定形			表1.1×1.1×0.1		1 1.8×1.0				2 1.5×1.0			RHS29	
319	205	3432	4-27-S11	床面直上層	2	22.2	10.2	6.8	1310.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形			表3 L						両頂部に 3 L と 1 L			RHS230	
320	205	3433	5-27-S11	埋土 1 ~ 2 層	1	9.8	7.8	5.2	513.0	石英	定形					片側面に 1 L				両頂部に 3 L と 1 L			RHS47	
320	205	3434	6-26-S11	床面直上層	2	(13.8)	8.1	4.3	640.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	3 / 4 残					片側面に 1 L							RHS374	
320	205	3435	6-26-S11	磨石No 1	2	12.2	10.1	5.5	1030.0	8	定形					両側面に 1 L と 1 L							RHS93	
320	205	3436	6-26-S11	磨石No 2	2	12.8	9.9	6.5	1220.0	1 8	定形												RHS375	
321	205	3437	6-26-S11	磨石No 3	2	11.0	8.8	5.2	780.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形													RHS376
321	206	3438	6-26-S11 東西ベルト	築園1層	2 - 4 C	13.5	7.7	4.2	560.0	8	定形			表 1 L 表 1 S									RHS92	
321	206	3439	6-26-S11-PP3	埋土	2 C	8.8	6.8	5.0	433.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形			表 3 L							片頂部に 1 S		RHS384	
321	206	3440	5-36-S11	1 O Y R 2 / 2 色土層	1	5.6	4.3	3.5	59.9	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS232	
321	206	3441	5-36-S13-4	黒色土下部	2 // 3	6.4	5.0	3.4	162.8	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS67	
321	206	3442	5-36-S13-4	黒色土下部	2 C	8.6	6.6	5.5	330.0	2 6	定形												RHS68	
321	206	3443	5-36-S13-4	黒色土下部	2 C	10.0	8.5	4.7	670.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形			表 2 L 表 2 S		片側面 1 L					片頂部に 3 L		RHS66	
321	206	3443	5-36-S13-4	1 O Y R 3 / 2 色土層	2 C	13.3	5.8	4.5	527.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形									片頂部 1 L		RHS69		
322	206	3444	5-36-S13-4-P23	埋土	2 C	10.7	6.6	4.0	400.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形									片頂部 1 L			RHS73	
322	206	3445	5-36-S13-4 (復元)	Q S E 床面直上	3	11.5	6.5	7.0	780.0	1 9	定形												RHS70	
322	213	3446	5-36-S13-4ERベルト	3層目 暗褐色土	2 C	12.8	9.3	5.9	1038.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形										片頂部に 2 L		RHS71	
322	213	3446	5-36-S13-4ERベルト	3層目 (暗褐色)	2	7.3	5.0	2.2	119.4	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS210	
322	3447	5-36-S13-4		黒色土の下の地山粘土集中層	2 C	8.2	7.5	4.1	222.7	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	1 / 2 残												RHS234	
322	3448	5-36-S13-4		1 O Y R 3 / 2 色土層	2 C	10.2	8.0	4.1	176.8	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	破片												RHS233	
323	206	3449	6-34-S11	黒色土層	2 C	10.8	8.6	4.7	610.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	1 / 4 残												RHS104	
323	206	3450	6-34-S11ERベルト西半	1層目 黒褐色土	2	8.5	5.5	5.7	340.0	8	定形												RHS106	
323	206	3451	6-34-S11ERベルト	3層目 暗褐色土	1	7.9	7.2	3.7	159.7	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	一部欠損												RHS456	
323	206	3452	6-34-S11-PP9	埋土	2 C	11.5	8.5	4.2	600.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS239	
323	207	3453	7-34-S12?	床面突出時	2 C	9.4	6.5	4.1	340.0	硬砂岩	定形												RHS107	
323	207	3454	7-34-S12	床面直上	2 C	13.1	8.9	4.8	905.0	硬砂岩	定形												RHS422	
324	207	3455	7-34-S12	床面直上	2 C	(15.7)	10.9	5.6	1320.0	硬砂岩	定形												RHS424	
324	207	3456	8-29-S12	炉石	2 C	12.3	8.3	4.5	720.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	3 / 4 残												RHS423	
324	207	4334	8-31-S1状	埋土 (下半?)	1	6.3	5.2	1.8	66.3	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	破片												RHS165	
324	207	4334	8-31-S1状	埋土 (上半?)	2 // 3	12.4	6.5	6.0	390.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	破片												RHS173	
324	207	3457	8-31-S11-PP1	埋土	3	11.5	6.4	5.2	430.0	硬砂岩	両端破片												RHS249	
324	207	3458	8-31-S12-PP10	埋土	3	12.9	4.9	3.2	297.3	粘板岩	両端破片												RHS181	
324	207	3459	3-30-SDI炉石周辺	貼体埋土内	2 // 3	6.6	5.0	5.4	92.8	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	1 / 2 残												RHS184	
325	207	3460	3-30-S11	床面直上層	2 C	10.3	7.4	5.8	590.0	粘板岩	定形												RHS10	
325	207	3461	5-32-S11?	埋土直上層	2 C	10.7	8.0	6.3	690.0	硬砂岩	定形												RHS57	
325	207	3462	6-25-S11	埋土直上層	1	5.4	5.8	3.3	143.8	粘板岩	3 / 4 残												RHS84	
325	207	3463	6-25-S11-PP4	埋土	2	10.7	6.5	3.3	400.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS85	
325	208	3464	3-31-P3	埋土	2 C	10.6	7.0	4.2	478.0	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS14	
325	213	3465	4-30-P2	埋土	2	6.6	4.2	2.4	102.2	硬砂岩	定形												RHS207	
325	208	3466	5-25-P9	埋土	1 C	6.6	6.1	3.5	179.2	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS40	
325	208	3467	5-26-P3	埋土	1	7.9	7.2	3.3	258.8	普通輝石・紫鉄輝石安山岩	定形												RHS40	
326	208	3468	5-27-P12	埋土	1 C	7.5	6.7	2.2	208.2	硬砂岩	定形													RHS43





順	報	調査名	出土地点・層位	形状	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(g)	石質	残存状況	備考	磨・擦面	表面	凹部	表裏面	底部	側面	頂部	登録No
332	210	3513 7-22焼土1	埋土(焼土部分)	2 C	10.5	8.0	3.5	420.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			表1裏1両側面に1ずつ	表2L 裏2L 1 S	表2L 裏2L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	頂部に1L	RHS116
332	211	3514 8-20配石1周辺	検出時	2 C	11.7	8.7	6.7	718.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩	破片			表2L 裏2L	表2L 裏2L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	頂部に1L	RHS138
333	211	3515 8-25-S11	埋土	3	14.2	5.7	3.3	400.0	粘板岩	3/4残			表1L	表1L	表1S 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS147
333	211	3516 8-28-S11	埋土最上層	2//3	12.2	6.4	4.6	560.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩	3/4残			表2L	表2L	表1S 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS158
333	211	3517 8-29-S11	床面直上層	1	10.5	9.0	3.2	33.8	硬砂岩		二次焼成		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に4Lと1L	RHS164
333	211	3518 8-29-S11	床面より下の層	3 E	4.1	2.7	2.2		硬砂岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に4Lと1L	RHS195
333	211	3519 11-9-SD1	埋土	2	9.7	6.8	4.7		普通輝石・紫蘇輝石安山岩		二次焼成		表2L 裏4L	表2L 裏4L	表2L 裏4L	表裏面に1L	側面に1L	片頂部に1L	RHS197
333	211	3520 13-0-SD1	埋土	2 C	12.0	8.3	5.2		普通輝石・紫蘇輝石安山岩		二次焼成		表2L 裏2L	表2L 裏2L	表2L 1 S 裏2L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS168
333	211	3520 8-29-SE1	埋土	2 C	8.5	5.8	4.3		普通輝石・紫蘇輝石安山岩	3/4残	一部削落		表1L 裏1L	表1L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS169
333	211	3521 8-29-SE1	埋土	1 C	9.5	8.0	4.3		普通輝石・紫蘇輝石安山岩	4/9残	片端部削落		表2L 裏1L	表2L 裏1L	表2L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS248
334		3522 8-29-SE1	埋土4	1	7.0	7.4	4.0	153.4	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L 裏1L	表1L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334		3523 8-29-SE1	埋土上層(磨群上層まで)	2	9.5	7.3	3.5	190.3	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表2L 裏1L	表2L 裏1L	表2L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334		3524 1-36区	2層	2	(4.4)	(7.4)	(5.5)	98.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩		全周削打一部削落	表1 裏1	表1L + 1L	表1L + 1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334		3525 2-30区	検出時	2 C	10.8	(8.9)	4.5	587.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表3L 裏3L	表3L 裏3L	表3L 裏3L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3526 3-29区	検出時(細)	2 C	9.2	5.8	4.1	347.0	硬砂岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3527 6-23区	検出時	2 C	10.7	7.2	4.3	350.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表3L 裏3L	表3L 裏3L	表3L 裏3L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3528 6-35区	近世検出時住居跡?	1//3	4.1	3.9	3.3	75.7	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表2L 裏3 S	表2L 裏3 S	表2L 裏3 S	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3529 6-35区	検出時	2 C	10.0	6.1	3.9	360.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3530 6-35区	検出時	2 C	7.6	6.0	3.6	251.9	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
334	211	3530 7-20区	検出時	1	6.2	6.4	4.4	243.9	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	211	3531 7-21区	検出時	2 C	11.4	7.1	4.9		硬砂岩		一部削落		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	211	3532 7-21区	検出時	8	12.5	7.5	6.4		硬砂岩				表1L 裏1L	表1L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	212	3533 7-22区	検出時	2 C	11.7	8.3	5.3	680.0	硬砂岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	212	3533 7-22区	検出時	2	11.7	9.2	6.3	1030.0	硬砂岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	212	3533 7-26区	表土	1//3	7.0	5.9	5.0		普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表2L	表2L	表2L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
335	212	3534 7-32区	検出時	4 C	9.4	8.3	5.6	441.0	硬砂岩	1/2残			表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
336	212	3535 8-21区	1980年代 焼乱	1-2 C	(8.6)	10.4	5.2	629.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
336	212	3536 8-28区	検出時	2 C	10.8	8.6	3.8	560.0	アトコース砂岩				表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
336	212	3537 8-28区	検出時	1 C	12.0	10.8	6.9	1220.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	3539 6-26	表土	2 C	8.7	6.6	3.8	281.4	硬砂岩				表1L 裏1L	表1L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4337 6-26-S11	縄文住居埋土上層	3	4.7	3.6	2.8	68.3	9		小型		表1L 裏1L	表1L 裏1L	表1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4337 6-26-S11	埋土直上層	2	4.5	3.3	1.0	21.2	硬砂岩		小型		表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表1L + 1L 裏1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4337 6-26-S11	埋土1層目	2	6.1	1.6	0.8	10.9	凝灰岩質粘板岩		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4337 6-26-S11	3層目暗褐色土	2	6.2	3.0	1.5	35.3	8		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4338 5-36-S13-4	床面直上層(床面)10TR3/2	2-3 E	7.3	3.3	2.6	78.6	2 6	両端一部欠損		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247	
337	212	4342 6-34-S11-P17	埋土	2	6.8	4.8	2.6	133.1	硬砂岩		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4342 6-34-S11	埋土最上層	3 E	(6.0)	(2.6)	(1.8)	30.7	2 6	3/4残	小型 二次焼成		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4343 8-29-S11	埋土床面より下 西側	3 E	5.8	3.0	2.6	51.5	硬砂岩		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4343 8-31-S11	埋土床面直上層	3	7.6	2.9	1.7	51.6	6		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4343 8-31-S11	床面直上層下半部-床面	2	6.7	4.1	1.4	57.9	1 0		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
337	212	4343 8-31-S11	埋土(下半?)	2//3	7.1	4.5	2.7	125.6	8		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
338	213	4341 3-30-S11	床面直上層	3	6.7	3.3	2.8	75.8	2 6		小型		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4342	3-30-S11	埋土 炭化物層	3 E	9.5	3.4	2.4	137.9	普通輝石・紫蘇輝石安山岩	片端一部欠損			表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4343	3-30-S11	床面直上層	3 N E	(5.5)	3.3	2.9	66.8	粘板岩	1/2残			表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4344	7-20埋設土器3	埋土	2-3 E	(4.1)	(2.8)	(2.3)	27.7	粘板岩	1/2残			表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4345	7-25埋設土器1	埋土上層	2-3 E	5.3	2.8	2.3	54.4	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4346	6-26-P10	埋土	3	11.6	3.6	3.3	196.7	普通輝石・紫蘇輝石安山岩				表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247
213	4347	7-27-P15	埋土	2	5.0	3.3	2.5	59.4	硬砂岩		小型 二次焼成		表1L	表1L	表1L	表裏面に1L	側面に1L	両頂部に1Lと1L	RHS247

種別	野	報告	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	残存状況	備考	磨・擦面	表裏面	凹部	表裏面	底部	側面	底部	頂部	底部	登録No.
214	4348	7-23-P3		埋土	2-3 E	5.9	3.4	1.9	61.4	普通輝石・紫輝輝石安山岩	完形	小型										RHS216
214	4349	7-29-P1		埋土	3 E	7.5	3.8	2.8	116.6	硬砂岩	完形	小型										RHS219
338	3548	8-24-P7		埋土	1	3.2	3.2	2.3	28.0	硬砂岩	下部一部破損	全周磨蝕さ？										RHS427
		8-24-P7		埋土	3 E	8.5	3.0	2.6	93.5	硬砂岩	下部一部破損											RHS221
338	3549	8-24-P7		埋土	3 E	(5.5)	2.5	2.3	52.2	粘板岩	3/4残	上部磨蝕劣										RHS428
338	3550	8-28-P10		埋土	2	4.2	2.7	1.2	21.5	粘板岩												RHS436
		8-26-P2		埋土	1	2.8	2.6	1.7	15.7	普通輝石・紫輝輝石安山岩	完形	小型										RHS148
214	4350	9-28-P3		埋土・地山層	2 E	6.7	4.4	2.4	107.1	硬砂岩	完形	小型										RHS226
214	4351	7-27-PP3		埋土	3 E	6.3	2.9	2.7	84.7	普通輝石・紫輝輝石安山岩	完形	小型										RHS218
214	4352	10-24-PP7		埋土	3 E	5.9	2.8	2.2	50.3	粘板岩	完形	小型										RHS227
338	3551	3-15-PP31		埋土	3 E	3.4	2.5	2.2	26.5	粘板岩	1/2残	小型										RHS313
338	3552	3-16-PP7		埋土	3 E	6.6	2.2	2.0	43.3	粘板岩	残部一部破損	小型										RHS199
214	4353	4-14-PP5		埋土	3 E	4.3	2.7	2.1	32.1	砂岩	両端欠損	小型										RHS205
214	4354	4-14-PP23		埋土	2-3 E	6.1	3.3	2.3	52.6	粘板岩	片断部一部破損	小型										RHS206
339	214	3553	3-27区	縄文埋土	3 E	6.6	3.0	2.6	71.4	粘板岩	片断部一部破損	小型										RHS200
339	214	3554	3-27区	縄文埋土	3 E	6.7	3.2	2.9	66.5	2 6	片断部一部破損	小型										RHS201
214	4355	5-25区		縄文埋土上部	3	6.9	2.8	2.3	52.6	粘板岩	完形	小型										RHS208
215	4356	5-30区		表土		5.7	2.6	2.5	37.4	粘板岩		小型										ROM587
215	4357	7-32区		表土		5.7	3.3	2.7	78.3	粘板岩		小型										ROM588
215	4358	8-26遺構？		埋土	2-3 E	6.2	3.4	2.3	79.4	石英		小型										RHS222
339	215	3555	8-28-S11	床面より下の埋土	3 E	9.8	3.7	2.8	154.3	硬砂岩	完形	小型										RHS223
339	215	3556	9-28-S11	埋土	2	5.3	3.4	1.6	40.2	硬砂岩	完形	小型										RHS450
339	215	3557	2-32区	2層 漸移層	3 E	6.7	4.0	2.7	106.7	粘板岩	完形	小型										ROM5121
339	215	3558	9-25区	検出時	3 E	6.0	3.1	2.5	51.9	硬砂岩	完形	小型										ROM589

11 石器観察表 (礫石器・石皿)

箱号	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重さ(g)	石質	残存状況	備考	登録No
		4359	5-36-S13-4	埋土2層目黒色土	礫石器	13.4	8.0	3.0	365.0	硬砂岩			RIGS432
	215	4360	5-36-S13-4	埋土2層目黒色土	礫石器	9.3	7.8	2.2	237.5	硬砂岩			RIGS433
	215	4361	5-36-S13-4	3層目	礫石器	11.9	10.0	2.0	345.0	粘板岩			RIGS434
	215	4362	5-36-S13-4	3層目	礫石器	11.3	7.8	1.3	130.0	粘板岩			RIGS435
	215	4363	8-31-S11	床面直上層	礫石器	16.5	14.0	2.5	880.0	粘板岩			RIGS443
	216	4364	8-31-S11	床面直上層	礫石器	11.4	11.3	2.2	430.0	粘板岩			RIGS444
	216	4365	4-31-P2	埋土	礫石器	5.7	5.7	5.0	143.3	凝灰岩			RIGS431
	216	4366	11-23-P1	埋土上部	礫石器	8.2	5.1	9.2	60.1	粘板岩			RIGS445
	216	4367	11-23-P1	埋土上部	礫石器	8.8	4.8	1.2	62.8	粘板岩			RIGS446
	216	4368	7-21区	埋土上部	礫石器	12.0	10.0	2.4	440.0	粘板岩			RIGS439
340		3559			礫石器								
340		3560			礫石器								
340	216	3561	5-36-S11	周囲礫	凹石炉石	22.0	12.0	10.0	3620.0	硬砂岩			
341		3562	6-34-S11	1 O Y R 3 / 2 色土	凹石炉石	13.0	10.0	12.0	200.0	硬砂岩			
341	217	4369	5-27-S11		礫石器								
341		3563	5-28-S11	床面礫成層	石皿	12.0	7.7	3.8	330.0	デイサイト			43
341		3564	5-25-S11炉	周濶埋土	石皿	13.0	14.9	6.1	1020.0	デイサイト質凝灰岩			44
341		3565	7-34-S12?	石皿	石皿	7.1	10.3	3.6	330.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RISQ15
342		3566	7-34-S12?	床面直上層	石皿	13.7	10.3	4.8	1060.0	硬砂岩			RISQ16
342		3567	5-36-S13-4	黒色土層	石皿	10.4	3.6	15.0	40.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ13
342		3568	5-36-S13-4	黒色土層下部	有脚石皿→凹石	9.0	7.9	5.5	270.0	デイサイト			RISQ51
342		3569	5-36-S13-4	黒色土下部	石皿→凹石	7.3	7.3	3.3	180.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ63
342	217	3570	5-36-S13-4	埋土最上層10YR2/2	石皿	8.3	11.1	2.6	180.0	デイサイト			RISQ18
342		3571	5-36-S13-4・6-36-P2	埋土下部	石皿	12.3	9.7	4.5	920.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ19
343		3572	6-34-S11	埋土上部	石皿	6.5	5.3	2.3	100.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ20
343		3573	6-34-S11	黒色土部 (炭多量部)	石皿	9.2	8.1	3.1	160.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ23
343		3574	6-34-S11	1 O Y R 3 / 2 色土	石皿	13.2	11.5	6.5	1240.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ22
343		3575	8-29-S12-PP5	床面直上層内	石皿	15.8	9.6	5.3	700.0	デイサイト			RISQ35
343		3576	8-29-S12	埋土	石皿	13.8	10.0	6.0	1080.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ36
344		3577	8-29-S12-PP5	埋土	石皿	17.9	13.9	6.5	2060.0	デイサイト			RISQ37
344		3578	8-31-S11-P1	埋土	石皿	5.8	4.2	2.3	70.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ63
344		3579	3-30-S11	床面直上層	石皿	7.8	7.0	5.5	200.0	デイサイト			RISQ62
344		3580	3-29-P3	埋土	石皿	12.1	10.9	3.9	685.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ64
344		3581	3-31-P3周辺	埋土上部	石皿→砥石	8.2	4.2	3.8	120.0	デイサイト			RISQ72
344	217	4370	3-36-P1	埋土	石皿	8.0			300.0	デイサイト			RISQ3
344		3582	4-27-P3	埋土2~4層	石皿	6.1	7.3	4.5	260.0	硬砂岩			RISQ3
345		3583	5-27-P7	埋土4層	石皿→砥石	10.0	5.0	5.2	220.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ2
345		3584	6-24-P13	埋土	石皿	5.0	4.3	2.6	80.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ4
345		3585	6-24-P5	埋土	石皿	6.3	18.4	2.2	300.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ5
345		4371	6-27-P3	埋土	石皿	10.0	6.7	6.9	540.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ10
345	217	3586	6-28-P5	埋土	石皿	8.7			335.0	アルコーヌス砂岩			RISQ30
345	217	4372	6-36-P1	埋土	石皿	10.0	9.0	9.8	1580.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ27
345		3587	7-20-P3	埋土	石皿	15.3	9.0	3.8	350.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			RISQ32
345		3588	7-23-P1	埋土1、2層	石皿→凹石	8.3	9.1	3.8	350.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ181
345		3589	7-26-P7	埋土	石皿→砥石	4.7	6.0	2.3	60.0	デイサイト質凝灰岩			RISQ89

緯度	経度	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(m)	重さ(g)	石質	残存状況	備考	登録No
346	217	3590	6-30-P		埋土3層(焼土層)	石皿	8.9	7.6	5.9	530.0	デイサイト		被熱	RIS049
346		3591	8-20-P2		埋土	石皿	16.2	11.4	4.9	1500.0	硬砂岩		被熱	RIS054
346		3592	8-23-P4		埋土2層	石皿	9.0	8.3	3.3	230.0	デイサイト		被熱	RIS056
346		3593	8-23-P6		埋土	石皿→砥石	10.0	7.5	2.3	160.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RIS057
346		3594	8-24-P2		埋土	石皿	9.9	9.4	1.9	200.0	硬砂岩		被熱	RIS059
347		3595	10-23-P4		埋土	石皿→凹石	9.8	12.4	3.3	350.0	デイサイト質凝灰岩			RIS075
347		3596	8-20-P2		埋土	石皿	19.5	24.2	6.0	3500.0	硬砂岩		被熱	RIS055
347		3597	9-23-P7		埋土	石皿	16.7	19.4	6.4	2280.0	硬砂岩			RIS073
348		3598	2-34-PP2		埋土	石皿→砥石	7.4	9.2	2.4	130.0	デイサイト			RIS01
348	218	3599	3-28-PP14		埋土最上部	石皿→砥石	22.8	17.5	6.6	2700.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RIS033
348		3600	7-22-PP9		埋土	石皿→凹石	10.2	15.0	6.3	1400.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩		被熱	RIS043
349	218	3601	7-22-PP9		埋土	石皿→凹石	15.1	11.6	6.6	1770.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩		被熱	RIS044
349		3602	11-24-PP2		埋土	石皿	5.1	4.8	3.2	60.0	デイサイト		被熱	RIS079
349		3603	7-21配石2			石皿	6.1	5.2	3.2	200.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩		被熱	RIS042
349		3604	10-27		縄文埋土	石皿→凹石	10.5	8.7	7.2	1130.0	デイサイト		被熱	RIS077
349		3605	7-29-S11-7-29区		S I I 1検出時	石皿	6.7	4.9	3.9	100.0	デイサイト質凝灰岩			RIS048
349	219	3606	8-25-S11		埋土	石皿	6.2	11.3	3.6	250.0	デイサイト質凝灰岩			RIS060
349		3607	4-12-P3		実測図11層	石皿→砥石	7.2	6.3	2.4	80.0	デイサイト			RIS06
349		4375	4-12-P3		埋土	石皿→凹石	12.2	10.5	3.2	465.0	デイサイト質凝灰岩			RIS07
349		3608	5-36-P2		埋土中	石皿	8.7	6.9	3.2	140.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RIS017
350	220	3609	11-24-P2		埋土	石皿	11.0	8.7	3.9	380.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RIS078
350	220	3610	4-13-PP25		埋土	石皿→凹石	15.8	8.8	3.2	540.0	デイサイト質凝灰岩		被熱	RIS08
350	220	3611	8-29-SF1		埋土4	石皿	13.3	7.6	3.0	380.0	アルコース砂岩			RIS066
350	220	3612	8-29-SF1		埋土4	石皿→砥石	9.6	11.8	3.6	420.0	デイサイト			RIS067
350		3613	3-11区		風倒木による覆乱か?	石皿	8.6	4.7	2.4	100.0	デイサイト質凝灰岩			ROS01
350		3614	3-30区		表土粗掘	石皿	11.5	6.3	4.2	480.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS03
350	220	4376	3-31区		検出時	石皿→凹石	10.5	12.5	4.8	705.0	デイサイト質凝灰岩			ROS04
350		3615	4-25区		粗掘時	石皿→凹石	11.4	9.6	4.9	480.0	デイサイト質凝灰岩			ROS07
350		3616	4-33区		表土	石皿	5.2	4.9	2.9	60.0	デイサイト質凝灰岩			ROS08
351		3617	5-25区		覆乱(畑)	有脚石皿	7.8	6.8	5.7	220.0	デイサイト質凝灰岩			ROS09
351		3618	6-29区		検出時	石皿	5.8	8.3	2.6	200.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS012
351	220	4377	6-31区		表土	石皿	14.0	11.3	3.0	840.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS013
351	219	4378	7-12区		検出時	石皿→凹石	8.0	6.7	4.8	160.0	デイサイト質凝灰岩			ROS0218
351		3619	7-20区		検出時	石皿	13.0	6.0	3.8	500.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS014
351	221	4378	7-21区		検出時	石皿	12.0	9.0	4.2	630.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS015
351	219	4374	7-22区		検出時	石皿→凹石	10.4	6.8	3.5	300.0	デイサイト質凝灰岩			ROS0187
351	221	4379	7-26区		表土	石皿	6.7	7.2	4.9	180.0	デイサイト質凝灰岩			ROS095
351	221	3620	7-37区		検出時	石皿	11.4	10.8	4.0	640.0	デイサイト質凝灰岩			ROS021
351		3621	8-22区		表土	石皿→凹石	8.0	9.1	5.7	370.0	デイサイト質凝灰岩			ROS023
351	221	3622	8-26区		表土	石皿	10.3	9.6	3.6	300.0	デイサイト質凝灰岩			ROS024
351	221	3623	8-28区		検出面	石皿	8.0	9.1	5.7	370.0	デイサイト質凝灰岩			ROS025
352	221	3624	8-30区		表土	石皿→凹石	10.3	9.6	3.6	300.0	デイサイト質凝灰岩			ROS028
352	221	3625	10-24区		検出時	石皿→凹石	9.4	5.5	3.0	250.0	普通輝石・紫蘇輝石安山岩			ROS030
352	221	4380	10-29区		検出時	石皿	10.0	6.5	2.2	230.0	デイサイト		平安以降の砥石	ROS031
352		3626	3-36区		表土	砥石	5.8	5.8	2.3	90.0	砂岩			ROS05

12 石器観覧表 (石製品)

種別	写真	報告	遺構名	出土地点・層位	形態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石質	残存状況	備考	登録番号
353	222	3627	5-36-S13-4	10 YR 3 / 2 土層	石棒	57.1	9.4	8.7	6500	粘板岩	基部欠損		RIS011
353	222	4381	5-32-S1	埋土	石棒	9.4	4.0	3.8	205.0	凝灰岩	一部のみ残存		RIS009
353	222	3628	6-36-P2	埋土	石刀	9.0	3.3	1.6	81.6	粘板岩	一部のみ残存		RIS012
353	222	3629	8-26区	表土	石刀	7.8	3.0	1.0	41.5	粘板岩	一部のみ残存		RIS014
354	223	3630	5-32-S11(9)No1	埋土	垂飾品	1.5	0.8	0.4	0.8	粘板岩			RIS052
354	223	3631	6-27区	縄文遺構埋土最上部	垂飾品	2.0	1.5	0.9	2.9	滑石			RIS053
354	223	3632	5-32-S1	ベルト埋土1	垂飾品?	4.8	3.2	1.4	13.1	凝灰岩			RIS051
354	223	3633	7-36-S11	埋土	垂飾品	3.4	3.4	1.6	16.6	凝灰岩			RIS055
354	223	3634	2-33-PP13	埋土	垂飾品?	4.4	3.4	1.3	17.0	凝灰岩			RIS046
354	223	3635	8-28-S11	埋土最上部	垂飾品?	2.5	3.0	1.2	8.3	黒曜石			RIS056
354	223	3636	7-31-P3	埋土	線刻品	3.0	2.5	0.6	6.1	粘板岩			RIS042
354	223	3637	8-31-S11	貼床埋土	線刻品	4.8	4.7	1.3	28.6	凝灰岩			RIS043
354	223	3638	8-21-S11	貼床埋土	線刻品	4.3	2.8	0.8	11.5	粘板岩			RIS041
354	223	3639	8-26遺構No2	埋土	条線痕あり	4.6	3.6	2.3	53.1	ホルンフェルス			RIS0453
354	223	3640	7-31-P1	埋土	磨り痕あり	4.9	3.5	2.0	53.1	緑色凝灰岩			RIS035
355	223	3641	7-31-P6	埋土	砥石?	3.3	2.5	0.7	8.4	ホルンフェルス			RIS040
355	223	3642	4-13-PP20	埋土	砥石?	4.2	2.5	0.5	5.5	粘板岩	縁は磨れている		RIS037
355	223	3643	9-31-PP4	埋土	凹盤状石製品	3.5	3.2	0.6	9.1	粘板岩	縁は磨れている		RIS028
355	223	3644	3-29区	埋土	凹盤状石製品	2.4	2.4	0.5	4.5	粘板岩			ROSO4
355	224	3645	5-36-S11	埋土	凹盤状石製品	4.7	4.8	0.6	17.4	粘板岩			RIS07
355	224	3646	5-36-S11	埋土最上部 10 YR 2 / 2	凹盤状石製品	4.5	4.5	0.6	20.7	粘板岩			RIS09
355	224	3647	5-36-S11	黒色土層	凹盤状石製品	5.7	5.9	1.3	70.0	ホルンフェルス			RIS06
355	224	3648	3-28-P3	埋土	凹盤状石製品	4.7	5.2	0.7	21.7	粘板岩			RIS03
356	224	3649	7-26-P6	埋土3層	凹盤状石製品	4.7	4.8	1.0	33.0	粘板岩			RIS020
356	224	3650	7-26-P7	埋土	凹盤状石製品	3.9	4.9	0.4	10.6	粘板岩			RIS021
356	224	3651	7-28-P2	埋土	凹盤状石製品	4.8	5.4	0.7	25.0	粘板岩			RIS022
356	224	3652	8-24-P2	埋土最上部	凹盤状石製品	5.1	5.3	1.1	36.4	粘板岩			RIS023
356	224	3653	3-15-PP22	埋土	凹盤状石製品	4.8	5.2	1.2	44.1	ホルンフェルス			RIS02
356	224	3654	7-33区	検出時	石錘	5.4	3.4	1.9	42.8	粘板岩			ROSO25
356	224	3655	8-30区	検出時	石錘	4.9	3.9	1.5	39.2	粘板岩	アスファルト結物質の糸痕あり		ROSO26

13 平安時代遺物観覧表

標号	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録番号
373	3656	225	4-25-S11	埋土 No 2 No 3	13.0	6.5	3.9	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW4
373	3657	225	4-25-S11-P2	埋土 No 2		4.0	5.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW5
	4382	225	床面構成土					須恵器壺		R1HW19
373	3658	225	4-25-S11	貼床埋土				須恵器壺		R1HW21
373	3659	225	5-23-S11	カマド破壊部埋土 No 3	11.3	3.8	5.6	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW10
373	3660	225	5-23-S11	カマド破壊部埋土 No 2	13.2	8.8	6.0	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW31
373	3661	225	5-23-S11	埋土 No 2	13.4	3.2	5.4	土師器高台坏	ロクロ内面無調整	R1HW37
373	3662	225	5-23-S11	床面直上層	15.6			土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW9
373	3663	226	5-23-S11	床面直上層	22.6	12.0	24.9	土師器長胴壺	ロクロ使用	R1HW176
373	3664	225	5-23-S11	カマド破壊部埋土 No 4	15.8			土師器長胴壺	ロクロ使用	R1HW171
373	3665	225	5-23-S11	埋土	22.0			土師器長胴壺	ロクロ不使用	R1HW172
373	3666	226	5-23-S11	埋土No 1	13.4	4.0	5.4	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW32
373	3667	226	5-23-S11	埋土No 2	13.5	3.6	5.1	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW33
373	3668	226	5-23-S11	カマド破壊部埋土 No 4	19.8			土師器長胴壺	ロクロ使用	R1HW170
373	3669	226	5-23-S11	埋土				鉄釘		R1T12
374	3670	226	5-30-S11-P2	埋土 1層	17.5	7.0	7.5	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW14
374	3671	226	5-36-S12	埋土	11.0	4.5	3.5	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW15
374	3672	226	5-36-S12	床面直上層				土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW12
374	3673	226	5-36-S12	埋土No 1	11.3	5.2	2.8	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW13
374	3674	226	5-36-S12	床面直上層				土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW16
374	3675	227	5-36-S12	床面直上層	24.9			土師器長胴壺	ロクロ不使用	R1HW173
374	3676	226	5-36-S12	床面構成層	13.4			土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW178
	4384	227	5-36-S12	埋土				須恵器壺	器外面墨書	R1HW184
374	3677	227	5-36-S12-P2	埋土	15.0	7.0	5.5	土師器高台坏	ロクロ内面無調整	R1HW34
374	3678	227	5-36-S12	埋土	12.4	5.4	3.0	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW19
374	3679	227	5-36-S12-P1	埋土上～下部	14.8	7.0	5.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW18
374	3680	227	5-36-S12-P1	埋土 3層	14.2	6.8	4.7	須恵器壺	ロクロ内面黒色処理	R1HW17
374	3681	227	5-36-S12	埋土		10.0	10.2	土師器長胴壺		R1HW143
374	3682	227	5-36-S11-P1	埋土	12.0		5.0	土師器碗	ロクロ不使用	R1HW175
374	3683	227	5-36-S11-P10	埋土 No 1	14.6	5.0	4.7	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW174
374	3684	227	5-36-S12	埋土				須恵器壺		R1HW22
374	3685	227	5-36-S12	検出時				須恵器壺		R1HW35
374	3686	227	5-36-S12	埋土				須恵器壺		R1HW38
374	3687	227	5-36-P6	埋土 3層No 2	11.4	4.4	3.7	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW37
374	3688	227	5-36-P6	埋土 3層No 3	11.5	5.1	3.1	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW202
375	3689	228	5-36-P6	埋土 3層No 4	12.3	5.3	3.1	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW203
375	3690	228	5-36-P6	埋土 3層No 7	10.9	4.9	3.5	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW204
375	3691	228	5-36-P6	埋土 3層No 8	11.4	4.9	3.4	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW205
375	3692	228	5-36-P6	埋土 3層No 9	11.6	4.8	3.4	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW206
375	3693	228	5-36-P6	埋土 3層No 1 0	11.5	6.0	3.7	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW207
375	3694	228	5-36-P6	埋土 3層No 6	11.4	5.0	3.1	土師器坏	ロクロ内面無調整	R1HW208
375	3695	228	5-36-P6	埋土 3層No 1 6	12.8	5.6	4.5	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW20
375	3696	228	5-36-P6	埋土 1層No 1	11.6	6.1	6.1	土師器高台坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW210
375	3697	228	5-36-P6	埋土 3層No 1 1	14.6	6.9	5.5	土師器高台坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW28
375	3698	228	5-36-P6	埋土 3層No 1 2	14.5	6.7	6.9	土師器高台坏	ロクロ内面黒色処理	R1HW209

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録No
375	3699	228	5-36-P6	埋土3層No1,4	12.8	4.5	5.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW21
375	3700		6-25-S11-P2	埋土No1			4.5	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW40
375	3701	228	6-25-S11	埋土No2	13.4	3.2	5.4	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW37
375	3702	228	6-25-S11	カマド破壊部埋土	13.0	6.0	3.7	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW38
375	3703	228	6-25-S11	カマド破壊部埋土	11.0	5.5	3.2	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW35
375	3704	228	6-25-S11	埋土No1	13.2	6.4	3.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW36
375	3705		6-25-S11-P2	埋土	11.8	6.8		土師器坏高台皿	ロクロ口使用	RIHW42
375	3706		6-25-S11-P2	埋土上部	13.8	5.2		土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW41
375	3707	229	6-25-S11	埋土No3		9.8	17.1	土師器長胴甕	ロクロ内面黒色処理	RIHW177
376	3708	229	6-25区	表土	15.5	6.0	5.8	土師器坏高台坏	ロクロ内面黒色処理	ROHW7
376	3709	229	6-37-S11	埋土2層 No2	14.0	6.2	4.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW47
376	3710	229	6-37-S12	埋土 No1	14.1	7.0	5.1	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW49
376	3711	229	6-37-S12-P2	埋土 No2	12.2	5.5	3.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW51
376	3712	229	6-37-S12-P2	埋土 No4	16.2	7.2	5.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW53
376	3713	229	6-37-S11-P1	埋土1層 No1	13.8	5.2	5.4	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW45
376	3714	229	6-37-S12-P2	埋土 No1	13.7	6.1	4.9	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW50
376	3715	229	6-36-P1	埋土				灰釉陶器皿	RIGW2と接合	RIGW1
376	3716	229	6-37-S12	埋土				灰釉陶器皿	RIGW1と接合	RIGW2
376	3717		7-21-S11	埋土				刀子		RIW2
376	3718		7-21-S11	埋土				刀子		RIW3
376	3719	229	7-21-S11	埋土	14.0	6.2	4.3	刃物		RIW12
376	3720	230	7-21-S11	埋土	15.3	8.8	6.5	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIW14
376	3721	230	7-21-S11	埋土	16.2	6.2	5.8	土師器坏高台坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW57
376	3722	230	7-21-S11	埋土	15.4	6.0	3.4	土師器坏高台坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW61
376	3723	230	7-21-S11	埋土	12.0	6.2	5.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW67
376	3724	230	7-21-S11	埋土	13.4	6.6	4.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW59
376	3725	230	7-21-S11	埋土	12.6	6.1	4.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW63
376	3726	230	7-21-S11	埋土	12.9	6.1	4.9	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW86
376	3727	230	7-21-S11	埋土	13.0	4.9	4.8	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW60
376	3728	230	7-21-S11	埋土	14.2	6.4	4.4	須恵器壺	ロクロ内面黒色処理	ROHW15
376	3729	230	7-21-S11	埋土				須恵器壺		RIHW70
377	3730	230	7-34-S11	埋土				須恵器壺		RIHW165
377	3731	231	7-34-S11	埋土	13.0	4.9	4.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW168
377	3732	230	7-34-S11カマド	埋土 No1	15.0	6.2	5.2	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW70
377	3733	231	7-34-S11カマド	埋土 No2	12.8	5.8	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW68
377	3734	231	7-34-S11	埋土 No5	17.6	6.0	6.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW72
377	3735	231	7-34-S11-P1	埋土 No1	13.2	5.0	5.6	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW73
377	3736	231	7-34-S11-P2	埋土 No4	14.1	4.5	6.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW74
377	3737	231	7-34-S11-P2	埋土 No3	10.4	5.0	5.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW75
377	3738	231	7-34-S11-P2	埋土 No5	15.2	5.7	5.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW78
377	3739	231	7-34-S11-P2	埋土 No6	15.6	6.5	5.2	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW81
377	3740	231	7-34-S11	埋土	14.0	6.2	6.2	須恵器坏	ロクロ不使用内面黒色処理	RIHW80
377	3741	231	7-34-S11-P2	埋土 No2	14.7	5.1	5.5	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW84
377	3742	232	7-34-S11-P2	埋土 No7	6.0	6.0	4.2	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW186
377	3743	232	7-34-S11-P2	埋土 No6	6.4	6.4	5.8	土師器坏	ロクロ不使用内面黒色処理 器外面黒色処理	RIHW79
										RIHW83
										RIHW82

種類	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録No
377	3744	231	7-34-S11-P2	埋土				土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW65
377	3745	231	7-34-S1	埋土				須恵器壺		RIHW76
377	3746	231	7-34-S1	埋土				須恵器壺		RIHW183
377	3747	232	7-34-S1	埋土				須恵器壺		RIHW187
377	3748	232	7-34-S1-P2	埋土1層			31.3	須恵器壺	ロクロ使用	RIHW189
378	3749	233	7-34埋設土器	埋土	23.2	10.6		土師器長胴壺	ロクロ使用	RIHW185
378	3750	232	7-34埋設土器土師器No2	埋土	14.2	6.2	16.8	土師器小壺	ロクロ使用	RIHW182
378	3751	233	7-34埋設土器土師器No1	埋土	22.9		20.9	土師器長胴壺	ロクロ使用	RIHW87
378	3752	233	8-21-S12	埋土南壁	13.5	4.6	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW92
378	3753	233	8-25-S12	埋土	13.5	5.5	4.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW149
378	3754	233	8-25-S12	埋土	13.0	6.6	3.6	土師器高台皿	ロクロ使用	RIHW108
378	3755	233	8-25-S12	埋土2層 No 6	15.1	4.7	7.2	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW91
378	3756	233	8-25-S12	埋土	13.0	6.4	4.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW89
378	3757	233	8-25-S12	埋土2層 No11	13.0	7.0	3.6	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW192
378	3758	233	8-25-S12	埋土	10.5	4.0	3.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RISW194
378	3759	234	8-25-S12	埋土上半部	20.9		23.7	土師器長胴壺	ロクロ不使用	ROHW18
378	3760	235	8-25-S11	埋土上半部	26.0		18.0	須恵器壺	ロクロ内面黒色処理	RIHW187
379	3761	233	8-25-S11	埋土上半部	17.0		11.5	土師器鉢	ロクロ使用	RIHW97
379	3762	234	8-25-S12	條出時	12.6	3.9	5.8	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW99
379	3763	234	8-25-S12	貼床埋土	13.0	4.0	7.0	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW141
379	3764	234	8-25-S12	埋土2層 No 8	13.3	6.2	3.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW101
379	3765	234	8-25-S12-P1	埋土 No 5	12.4	6.4	3.8	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW102
379	3766	234	8-25-S12-P1	埋土 No 2	12.8	5.6	3.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW103
379	3767	234	8-25-S12-P1	埋土 No 4	12.6	6.5	3.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW142
379	3768	234	8-25-S12-P1	埋土2層 No 7	12.8	6.0	3.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW140
379	3769	234	8-25-S12-P1	埋土2層	12.8	3.4	6.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW104
379	3770	234	8-25-S12-P1	埋土	13.8	6.5	4.1	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW105
379	3771	234	8-25-S12-P1	埋土2層 No12	12.2	4.4	6.5	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW106
379	3772	234	8-25-S12-P1	埋土2層 No13	12.8	6.5	4.1	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW133
379	3773	235	8-25-S12-P1	埋土	13.4	2.9	5.4	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW138
379	3774	235	8-27-S11	埋土 No 1	10.2	5.0	3.5	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW139
379	3775	235	8-27-S11	埋土上半部	17.0	6.2	6.5	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW143
379	3776	235	8-27-S11	埋土	14.2	6.8	4.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RISW88
379	3777	235	8-27-S12-P3	埋土3層				須恵器壺		RIHW145
379	3778	235	8-27-S11	埋土上半部	12.7	5.9	3.8	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW111
380	3779	235	8-28-S11	埋土東北壁	13.1	5.5	4.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW117
380	3780	235	8-28-S11カマド	南側埋土	14.8	6.8		土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW116
380	3781	235	8-28-S11カマド	南側埋土	12.9	6.0	4.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW110
380	3782	235	8-28-S11カマド	埋土	12.8	5.9	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW146
380	3783	235	8-28-S11カマド	北側埋土	12.8	6.2	3.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW144
380	3784	235	8-28-S11カマド	北側埋土	14.2	4.5	6.4	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW125
380	3785	235	8-28-S11カマド	南側埋土	12.8	5.4	3.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW126
380	3786	236	8-28-S11カマド	南側土坑埋土	15.4	6.0	5.2	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW127
380	3787	236	8-28-S11カマド南土坑	埋土	12.8	4.9	6.0	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW118
380	3788	235	8-28-S11カマド南土坑	埋土	15.0	6.5	6.4	土師器坏	ロクロ不使用内外面黒色処理	RIHW127
380	3789	236	8-28-S11カマド南土坑	埋土	13.5	6.6	4.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW123



種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)(長さ)	底径(cm)(幅)	器高(cm)	種類	備考	登録No
380	3791	236	8-28-S11	北西隅床面No 1	14.0		26.5	土師器長胴甕	ロクロ不使用	RIHW189
380	3792	236	8-28-S11カマド南土坑	埋土	15.5	6.2	4.6	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW122
380	3793	236	8-28-S11カマド南土坑	埋土	13.4	6.6	6.8	土師器坏	ロクロ内外面黒色処理	RIHW124
380	3794	236	8-28-S11	カマド付近埋土		8.1		土師器蓋?	ロクロ使用	RIHW190
380	3795	237	8-28-S11カマド南土坑	埋土上半部	13.5	4.6	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理 器外面墨書	RIHW87
380	3796	236	8-28-S11カマド南土坑	埋土	13.4		4.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理 器外面墨書	RIHW86
381	3797	236	8-28-S11	埋土上半部				須惠器蓋		RISW93
381	3798	237	8-29-S11付近	No 1			24.1	土師器長胴甕	ロクロ不使用	RIHW194
381	3799	237	8-31-S11カマド	埋土 No 1	11.4	6.2	5.0	土師器坏	ロクロ不使用内外面黒色処理	RIHW130
381	3800	237	8-31-S11カマド	埋土 No 2	13.2	6.3	4.5	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW131
381	3801	237	8-31-S11	床面直上層上半部				土師器小甕	ロクロ使用	RIHW215
381	3802	238	8-31-S11	埋土				土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW193
381	3803	238	8-31-S11	カマド破壊部の埋土	27.4	15.7	12.0	土師器鉢	ロクロ使用内面黒色処理	RIHW188
382	3804		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0205
382	3805	244	9-28-S11-P1	埋土	4.3	1.6		土鏝	9.8g 完形品	RIJC0176
382	3806	244	9-28-S11-P1	埋土	4.1	1.8		土鏝	10.5g 完形品	RIJC0177
382	3807		9-28-S11-P1	埋土	4.5	1.7		土鏝	(8.5g)一部欠損	RIJC0178
382	3808		9-28-S11-P1	埋土	4.0	1.8		土鏝	(8.9g)一部欠損	RIJC0179
382	3809	244	9-28-S11-P1	埋土	4.1	1.8		土鏝	9.9g 完形品	RIJC0180
382	3810	244	9-28-S11-P1	埋土	4.2	1.7		土鏝	10.0g 完形品	RIJC0181
382	3812	244	9-28-S11-P1	埋土	3.7	1.7		土鏝	10.0g 完形品	RIJC0182
382	3813	244	9-28-S11-P1	埋土	3.9	1.7		土鏝	(8.3g)一部欠損	RIJC0183
382	3814		9-28-S11-P1	埋土	4.3	1.9		土鏝	11.5g 完形品	RIJC0184
382	3815		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0185
382	3816		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0186
382	3817		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0187
382	3818		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0188
382	3819		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0189
382	3820		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0190
382	3821		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0191
382	3822		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0192
382	3823		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0193
382	3824		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0194
382	3825		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0195
382	3826		9-28-S11-P1	埋土				土鏝	一部残存	RIJC0196
382	3827	244	9-28-S11-P1	埋土	3.8	1.9		土鏝	一部残存	RIJC0197
382	3828	244	9-28-S11-P1	埋土	4.1	1.6		土鏝	10.4g 完形品	RIJC0198
382	3829	244	9-28-S11-P1	埋土	4.0	1.8		土鏝	8.5g 完形品	RIJC0199
382	3830		9-28-S11-P1	埋土	4.2	1.8		土鏝	10.2g 完形品	RIJC0200
382	3831		9-28-S11-P1	埋土	3.6	1.9		土鏝	(9.7g)一部欠損	RIJC0201
382	3832		9-28-S11-P1	埋土	4.2	1.9		土鏝	9.8g 完形品	RIJC0202
382	3833	244	9-28-S11-P1	埋土	4.0	1.9		土鏝	9.9g 完形品	RIJC0203
383	3834	237	9-28-S11-P3	埋土1層 No 1	15.0	5.5	5.7	土師器高台坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW154
383	3835	238	9-28-S11-P3	埋土1層 No 1	13.2	6.0	4.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW155
383	3836	238	9-28-S11-P3	埋土2層 No 3・4	13.5	6.2	5.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW156
383	3837	238	9-28-S11	貼床埋土				須惠器甕		RISW130

種別	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録No
383	3838	239	10-26-S11カマド	埋土		9.8	8.4	土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW198
383	3839	239	10-26-S11カマド	埋土 築口付近	26.0		13.5	土師器坏	ロクロ使用内面黒色処理	RIHW197
383	3840	239	10-26-S11カマド	カマド付近埋土	22.8		17.8	土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW195
383	3841	239	10-26-S11カマド	埋土	21.0		14.0	土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW196
383	3842	239	10-26-S11カマド	埋土		14.0	17.3	土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW199
383	3843	239	10-26-S11-P1	埋土				須恵器壺		RISW133
383	3844	239	10-26-S11-P1	埋土	12.1	3.5	5.6	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW165
383	3845	239	10-26-S11-P1	埋土	13.3	5.9	3.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW163
383	3846	239	10-26-S11-P1	埋土	14.8	6.4	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW164
384	3847	240	3-15-P1	埋土 No 1	13.2	5.5	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW1
384	3848	240	3-15-P1	埋土 No 1	14.0	6.0	4.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW2
384	3849	240	3-15-P1	埋土 No 2		5.5	6.9	土師器小壺	ロクロ不使用	RIHW3
384	3850	240	3-15-P1	埋土 No 1	13.0		15.0	土師器長胴甕	ロクロ不使用	RIHW168
384	3851	241	4-27-P4	埋土 No 1	15.4	7.9	6.6	土師器高台坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW7
384	3852			埋土				漆砂金具	鉄鍔	RIT1
384	3853	240	3-36-P4	埋土	18.0		13.9	土師器甕?	ロクロ使用	RIHW169
384	3854	240	5-36-P2	埋土 2層	10.8	4.5	3.8	土師器耳皿	ロクロ使用	RIHW26
384	3855	240	5-36-P2	埋土		5.2	3.7	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW27
384	3856	240	5-36-P2	埋土 1層 No 1	11.8	5.2	2.9	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW29
384	3857	240	5-36-P2	埋土	15.0	4.5	6.0	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW25
384	3858	241	6-30-P1	埋土				須恵器壺		RIHW144
384	3859	241	6-30-P1	埋土	22.0		14.2	土師器長胴甕	ロクロ不使用	RIHW179
384	3860	241	6-30-P1	埋土	15.6		13.1	土師器鉢	ロクロ不使用	RIHW178
384	3861	242	6-37-P2	埋土	14.3	5.8	5.7	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW86
384	3862	241	6-37-P2	埋土	10.8	3.5	4.4	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW55
385	3863	241	6-30-P4	埋土 上部	25.2	10.7	17.8	土師器鉢	ロクロ使用	RIHW180
385	3864	241	6-30-P8	埋土 最上部	14.0	7.0	3.3	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW167
385	3865	243	9-25-P1	埋土 1層 No 5	12.0	5.9	3.3	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW161
385	3866	243	9-25-P1	埋土 上部 No 2	14.8	6.4	4.4	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW160
385	3867	243	9-25-P1	埋土	13.0	6.6	3.6	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW149
385	3868	243	9-27-P6	埋土 上部	13.6	4.5	4.0	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW153
385	3869	243	9-27-P6	埋土 上部		4.7	4.1	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	RIHW152
385	3870	241	6-30-P8	埋土 No 1	13.2			須恵器壺		RISW49
385	3871	241	6-30-P6	埋土				須恵器壺		RISW48
385	3872	242	6-31-P4	埋土				須恵器壺		RISW59
385	3873	242	6-31-P4	埋土				須恵器壺		RIHW159
385	3874	242	8-30-P2	埋土 1層	23.0		7.6	土師器長胴甕	ロクロ使用	RIHW191
385	3875	243	13-(-1)-P1	埋土				刀子?		RIT15
385	3876	243	4-26区	検出時	13.4	6.6	4.2	須恵器	ロクロ内面黒色処理	RISW135
386	3877	243	4-26区	表土	12.6	5.2	4.6	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	ROHW8
386	3878	243	7-36区	遺構埋土 No 1	11.8	5.0	3.1	土師器坏	ロクロ内面無処理	ROHW4
386	3879	243	7-25区	掃乱	13.6	4.8	4.2	土師器坏	ロクロ内面無処理	RIHW71
386	3880	243	5-27区	表土	15.5	6.0	5.8	土師器坏	ロクロ内面黒色処理	ROHW10
386	3881	243	4-34区	表土				土師器坏	器外面黒書「方」	ROHW5
386	3882	243	7-22区	検出面	22.0		17.2	土師器長胴甕	ロクロ不使用	ROHW31
386	3883	243	7-22区	埋土	18.0		15.4	土師器長胴甕	ロクロ不使用	ROHW16
386	3884	244	7-22埋設土器No3すく南	埋土				土師器長胴甕	ロクロ不使用	RIHW81

採掘	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	口徑(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録No
386	3885	244	7-23区	埋土		10.5	7.2	須臾器壺		ROH17
386	3886	244	5-30-P10	埋土				須臾器壺		RISW227
387	3887	228	6-25-S11	埋土				須臾器壺		RISW43
387	3888	229	6-37-S11	埋土				須臾器壺		RISW68
387	3889	230	7-21-S11	埋土				須臾器壺		RISW167
387	3890	231	7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW78
387	3891	232	7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW80
387	3892	232	7-34-S11-P3	埋土				須臾器壺		RISW84
387	3893	234	8-25-S11	埋土				須臾器壺		RISW196
387	3894		8-27-S11	埋土				須臾器壺		RISW87
387	3895	236	8-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW91
388	3896	237	8-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW95
388	3897	237	8-29-S11	埋土				須臾器壺		RISW99
388	3898	237	8-29-S11	埋土				須臾器壺		RISW100
388	3899	237	8-31-S11	埋土				須臾器壺		RISW115
388	3900	238	8-31-S11	埋土				須臾器壺		RISW117
388	3901	238	9-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW120
388	3902	238	9-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW121
388	3903	238	8-31-S11	埋土				須臾器壺		RISW118
388	3904	239	9-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW125
388	3905	239	9-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW126
388	3906		5-32区	條出時						RISW142
388	3907	238	9-28-S11	埋土				須臾器壺		RISW123
388	3908	232	7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW180
388	3908	232	7-34-S11	埋土				須臾器壺	RISW181と接合 RISW180と接合	RISW180
389	3909		7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW181
389	3910		7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW182
389	3911	232	7-34-S11	埋土				須臾器壺		RISW184
389	3912		8-31-S11	埋土				須臾器壺		RISW190
389	3913	240	3-35-P1	埋土				須臾器壺		RISW210
389	3914	240	4-32-P1	埋土				須臾器壺		RISW12
389	3915	240	3-36-P1	埋土				須臾器壺		RISW27
389	3916	227	5-36-S12-P2	埋土				須臾器壺		RISW13
389	3917		5-36-S12-P2	埋土				須臾器壺		RISW41
389	3918	228	5-36-S12-P1	埋土				須臾器壺		RISW42
389	3919	241	6-30-P4	埋土				須臾器壺		RISW40
389	3920	241	6-30-P4	埋土				須臾器壺		RISW46
389	3921	241	6-31-P2	埋土				須臾器壺		RISW47
389	3922	242	6-31-P2	埋土				須臾器壺		RISW52
389	3923	242	6-31-P4	埋土				須臾器壺		RISW53
389	3924	242	6-31-P4	埋土				須臾器壺		RISW54
389	3925	242	6-31-P4	埋土				須臾器壺		RISW56
389	3926		6-31-P4	埋土				須臾器壺		RISW58
389	3927	242	7-23-P1	埋土				須臾器壺		RISW60
389	3928		3-26-P1	埋土				須臾器壺		RISW71
389	3929		6-30-P4	埋土				須臾器壺		RISW141
389	3930		6-30-P4	埋土				須臾器壺		RISW146
389	3930		6-30-P4	埋土				須臾器壺		RISW149

報號	報告	写真	遺構名	出土地点・層位	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	種類	備考	登録No
389	3931	241	6-30-P4	埋土				須惠器甕		R1SW151
390	3932		6-31-P4	埋土				須惠器甕		R1SW152
390	3933		6-31-P4	埋土				須惠器甕		R1SW153
390	3934		6-31-P4	埋土				須惠器甕		R1SW156
390	3935	242	6-31-P4	埋土				須惠器甕		R1SW158
390	3936	242	6-32-P1	埋土				須惠器甕		R1SW163
390	3937	242	6-32-P1	埋土				須惠器甕		R1SW164
390	3938		7-29-P7	埋土				須惠器甕		R1SW170
390	3939	242	7-30-P3	埋土				須惠器甕		R1SW175
390	3940	242	8-30-P2	埋土				須惠器甕		R1SW202
390	3941		10-24-P3	埋土				須惠器甕		R1SW230
390	3942	242	6-30区	検出時				須惠器甕		R1SW177
390	3943		2-35-PP6	埋土				須惠器甕		R1SW6
390	3944		3-34-PP1	埋土				須惠器甕		R1SW11
390	3945		7-30-PP2	埋土				須惠器甕		R1SW72
390	3946		8-29-SE1	埋土				須惠器甕		R1SW201

14 中世・近世陶磁器観察表

採図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	種類	器種	備考	登録No
417	4010	250	4-16-SD1	埋土	漳州窯産染付	皿	16世紀末～17世紀初頭	RICP1
			10-23-P2	埋土No13		碗		RICP2
			11-9-SD1	埋土上部		碗	端反り碗	RICP3
417	4011	250	12-(-1)-PP1	埋土(検出面から約10cm)		碗		RICP4
417	4012	250	12-(-2)-P2	埋土		碗		RICP5
417	4013	250	13-(-1)-P1	東西ベルト 埋土最上層		碗		RICP6
417	4014	250	13-(-1)-P1	埋土1層	漳州窯産染付	碗		RICP7
417	4015		13-(-1)-P1	埋土1層	漳州窯産染付			RICP9
417	4016	250	13-(-1)-P1	埋土1層	景德鎮産染付			RICP8
417	4017	250	5-36区	攪乱		碗		ROCP1
417	4022	250	5-36区	攪乱	景德鎮産染付	皿		ROCP2
			6-35区	検出時				ROCP3
			7-29区	検出時				ROCP4
			8-22区	検出時				ROCP5
417	4025	251	9-20～21区	表土～検出面	漳州窯産染付	皿	ROCP7と接合	ROCP6
417	4025	251	9-20～21区	表土～検出面	漳州窯産染付	皿	ROCP6と接合	ROCP7
417	4018	250	9-22区	表土				ROCP8
417	4021	250	11-15・16区	表土～検出面	景德鎮産染付	皿		ROCP9
417	4020	250	表採			碗		ROCP10
417	4019	253	表採			碗		ROCP11
417	4023				景德鎮産染付	碗		ROCW119
417	4024	250				碗		ROCW258
418	4026	252	3-14-PP6	埋土(検出面から約10cm)		甕?		RICW4
418	4027	253	11-4-P1	埋土上部		皿		RICW25
418	4028	253	12-(-1)-PP1	埋土(検出面から約10cm)		皿		RICW30
418	4029	253	13-0-SD1	(新しい方の埋土)		皿		RICW39
418	4030		13-0-SD1	埋土(検出面から約40cm)		碗		RICW37
418	4031		13-0-SD1	(新しい方の埋土)		碗		RICW41
418	4032		4-37区	検出時(表土)		碗		ROCW52
418	4033	253	3-37区	検出時		碗		ROCW33
418	4034	253	13-0-SD1	埋土(検出面から約40cm)	唐津産陶器(砂目)	皿	17世紀初頭	RICW38
418	4035	253	3-39-SD1	埋土		碗		RICW6
418	4036	253	1-36-PP12	埋土	瓷器系陶器(東北地方産)	片口鉢	13世紀後半～14世紀	RICW1
418	4037		1-37区	検出時				ROSW5
418	4038	252	3-37区	中～近世検出時				ROCW30
418	4039	252	3-36区	中～近世検出時	肥前産陶器	皿	18世紀	ROCW26
418	4040		3-37区	中～近世検出時		皿		ROCW32
418	4041		4-10区	表土(畑の土)	肥前産陶器	碗	18世紀	ROCW39
418	4042		4-32区	表土粗掘		碗?		ROCW46
418	4043		5-28区	表採No14	肥前産染付	皿	18世紀	ROCW57
418	4044	253	5-30区	表土粗掘時	中国産染付	皿	16世紀	ROCW62
418	4045		8-29区	表土		碗		ROCW120
418	4046		10-26区	表土		碗		ROCW165
418	4047		6-28区	粗掘時		鉢		ROCW74
418	4048		6-30区	表土		鉢		ROCW75
419	4049		3-31区	表土粗掘		碗		ROCW20
419	4050	253	2-37区	中近世検出時	肥前産染付	皿	17世紀前半	ROCW9
419			4-13区					RICW10
419	4051		3-35区	検出時		甕		ROCW25
419	4052		10-13区	水田耕作土より下の層				ROCW154
419	4053	253	3-28区	検出時	瀬戸・美濃産陶器	鉢	17世紀	ROCW16
419	4054		12-5区	表土粗掘		碗		ROCW179
419			4-13区	表土(畑の耕作土)	肥前産染付	皿	17世紀前半	ROCW41
419	4056	254	10-26区	攪乱	東北地方産陶器	播鉢	19世紀	ROCW215
419	4057	252	4-30区	表土粗掘		播鉢		ROCW43
419	4058	253	3-8-P1	埋土				RICW3
419	4059	253	13-0-SD1	埋土				RICW35
419	4060	252	9-25区	表土				ROCW142
			2-30区	表土		皿	灰釉陶器	

15 炉・鍋鑄型・鉄製品観察表

挿図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	登録No
402	3947	245	13-(-1)-p1	埋土 2層	土製匙	11.9	5.7	4.1	匙の容量は約20cc	215
403	3948	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳	9.4	3.1	0.9	型の深さは約0.4cm	275
403	3949	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳	7.5	2.9	0.9	型の深さは約0.4cm	276
403	3950	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳		3.0	0.9	型の深さは約0.4cm	280
403	3951	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳		3.0	1.0	型の深さは約0.4cm	278
403	3952	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳		3.2	0.9	型の深さは約0.4cm	277
403	3953	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳		3.2	1.0	型の深さは約0.4cm	279
403	3954	245	13-(-1)-p1	埋土 1層	鑄型鍋耳		2.8	0.9	型の深さは約0.4cm	281
403	3955	245	13-(-1)-p1	埋土最上部	鑄型鍋耳			0.5	型の蓋の部分	283
403	3956	245	13-(-1)-p1	埋土	鑄型鍋耳			0.5	型の蓋の部分	282
404	3957		11-4-P2	埋土	鍋鑄型					26
404	3958	246	11-16-P2	埋土	鍋鑄型					27
404	3959	246	12-14-P1	埋土上部	鍋鑄型					29
404	3960	246	13-(-1)-P1	埋土 1層	鍋鑄型					42
404	3961	246	12-14-P1	埋土上部	鍋鑄型					30
404	3962		13-(-1)-P1	埋土 2層	鍋鑄型					45
405	3963	246	13-(-1)-P1	埋土 1層	鍋鑄型					44a
405	3964	246	13-(-1)-P1	埋土 1層	鍋鑄型					44b
405	3965	246	13-(-1)-P1	埋土 1層 (検出面から 5 cm)	鍋鑄型					52
405	3966	246	13-(-1)-P1	埋土 2層 (一括)	鍋鑄型				47と接合	46
405	3966	246	13-(-1)-P1	埋土 2層 1 (一括)	鍋鑄型				46と接合	47
406	3967	247	13-(-1)-P1	埋土 1層	鍋鑄型					43
407	3968	247	13-(-1)-P1	東西ベルト実測図 8層	鍋鑄型				49と50と接合	48
407	3968		13-(-1)-P1	埋土 2層	鍋鑄型				48と50と接合	49
407	3968		13-(-1)-P1	埋土 2層 下部	鍋鑄型				48と49と接合	50
408	3969	248	11-14-P1	埋土	炉破片					20
408	3970	248	11-14-P1	埋土	炉破片					21
408	3971	248	11-14-P1	埋土	炉破片				23と接合	22
408	3971	248	11-15	埋土	炉破片				22と接合	23
408	3972	248	11-16-P2	埋土	炉破片					24
409	3973	248	13-(-1)-P1	埋土 1層最下部	炉破片					31
410	3974	248	13-(-1)-P1	埋土 1層最下部	炉破片					32
410	3975	248	13-(-1)-P1	埋土 1層最下部	炉破片				34と接合	33
410	3975	248	13-(-1)-P1	埋土 1層	炉破片				33と接合	34
410	3976	248	13-(-1)-P1	埋土 3層	炉破片					35
411	3977	248	4-11-P1	埋土最上部	炉破片				2と接合	1
411	3977	248	4-11-P1	埋土上部	炉破片				1と接合	2
411	3978	248	4-11-P1	埋土 (東西ベルト)	炉破片					3
412	3979	248	4-11-P1	東西ベルト 埋土	炉破片				15と接合	14
412	3979	248	4-11-P1	埋土	炉破片				14と接合	15
412	3980	249	4-11-P1	埋土	炉破片					4
412	3981	249	4-11-P1	埋土	炉破片				6と7と接合	5
412	3981	249	4-11-P1	埋土上部	炉破片				5と7と接合	6
412	3981	249	6-28-S11-P2	埋土	炉破片				5と6と接合	7
413	3982	249	4-11-P1	(東西ベルト) 埋土	炉破片					10
413	3983	249	4-12-P3	埋土最上部	炉破片				9と接合	8
413	3983	249	4-13-P3	実測図 1層	炉破片				8と接合	9
413	3984	249	11-4-P1	埋土 1層	炉破片					19
414	3985	249	13-(-1)-P3	埋土	炉破片					36
414	3986	249	4-11-P1	埋土上部	羽口破片					11
414	3987	249	4-11-P1	埋土	羽口破片					12
414	3988	249	4-11-P1	埋土	羽口破片					13
415	3989	249	9-22	表土~検出面	羽口破片					16
415	3990	249	11-3	検出時	羽口破片					25
415	3991	249	10-15-P2	埋土	羽口破片				18と接合	17
415	3991	249	10-15-P2	埋土	羽口破片				17と接合	18
415	3992	249	12-(-2)-P1	埋土	羽口破片					28
415	3993	249	13-(-1)-P1	埋土 1層	羽口破片					37
415	3994	249	13-(-1)-P1	埋土 1層最下部	羽口破片					38
415	3995	249	13-(-1)-P1	埋土 1層最下部	羽口破片					39
415	3996	249	13-(-1)-P1	埋土 1層	羽口破片					40

挿図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	種類	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	登録No
415	3997	249	13-(-1)-P1	埋土 2層	羽口破片					41
416	3998		4-12-P	埋土 実測図 8層	鉄製品					
416	3999		12-(-2)-P1	埋土	鉄釘					
416	4000		13-(-1)-P1	埋土	鉄製品					
416	4001		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					
416	4002		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					
416	4003		13-(-1)-P1	埋土 南北ベルト実測図 2層	鉄釘					
416	4004		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					
416	4005		13-(-1)-P1	埋土 1層下部	鉄釘					
416	4006		13-(-1)-P1	埋土 1層下部	鉄釘					
416	4007		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					
416	4008		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					
416	4009		13-(-1)-P1	埋土 1層	鉄釘					

### 16 板碑・古銭観察表

挿図	報告	写図	遺構名	出土地点・層位	縦(m)	横(m)	厚さ(m)	備考	登録No
420	4061		4-12-P1	埋土				粘板岩 梵字(ヴァーンク)破片	板碑No 2
421	4062	255	3-16-PP9	埋土 L=38.035m	2.52	2.51	0.14	大定通寶	RI古銭1
421	4063		4-12-P3	埋土 2層			0.12		RI2
421	4064	255	4-14-PP15	埋土 L=38.193m 柱痕の最下部	2.51		0.12	天福通寶 模鑄銭	RI3
421	4065	255	4-16-PP18	埋土 L=38.226m 柱痕の最下部	2.5	2.53	0.14	天福通寶 模鑄銭	RI4
421	4066		8-16-SD1	埋土	2.52	2.52	0.13	大定通寶 背面上の酉の文字 模鑄銭	RI5
421	4067	255	10-7-P1	底面	2.44	2.45	0.13	永楽通寶	RI6
421	4068		11-4-P11	埋土			0.10	模鑄銭	RI7
421	4069	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.1	2.12	0.12	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4070	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.21	2.22	0.09	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4071	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.14	2.15	0.10	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4072	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.14	2.18	0.09	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4073	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.23	2.15	0.13	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4074	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.27	2.28	0.10	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4075	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.22	2.23	0.12	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	7046	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.13	2.12	0.10	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4077	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.13	2.16	0.11	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4078	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.15	2.14	0.08	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4079	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.2	2.2	0.13	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4080	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.28	2.26	0.15	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4081	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.19	2.16	0.10	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4082	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.24		0.13	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4083	255	11-23-P1	埋土 実測図 1層	2.18	2.18	0.11	永楽通寶 模鑄銭	RI8
421	4084	255	13-(-1)-P1	埋土 実測図 1層	2.52	2.51	0.20	永楽通寶	RI9
421	4085		0-36区	表土	2.49	2.46	0.14	熙寧元寶 篆書タイプ 模鑄銭	R01
421	4086		0-36区	表土	2.48	2.46	0.12	至和元寶 篆書タイプ 模鑄銭	R02
421	4087		1-36区	表土	2.46	2.45	0.14	天聖元寶 真書タイプ 模鑄銭	R03
422	4088		1-37区	検出時	2.01	2.12	0.13	不明 模鑄銭	R04
422	4089		3-33区	近世遺構検出時	2.51	2.43	0.13	皇宋通寶 真書タイプ 模鑄銭	R05
422	4090		4-11区	検出時	2.3	2.3	0.13	一銭 大正五年	R08
422	4091	255	4-36区	近世遺構検出時	2.43	2.44	0.14	開元通寶	R06
422	4092		6-22区	検出時			0.19	十銭 昭和十□年 アルミニウム	R09
422	4093	255	6-23区	検出時	2.3	2.3	0.13	一銭 大正□年	R010
422	4094	255	8-23区	表土	1.61	1.62	0.17	昭和十六年 アルミニウム	R014
422	4095		9-21区	表土	2.75	2.78	0.17	不明	R011
422	4096		9-24区	検出時	2.2	2.2	0.16	十銭 昭和十七年 アルミニウム	R012
422	4097		10-15区	表土			0.13	永楽通寶	R07
422	4098		表面採集		1.78	1.77	0.18	一銭 昭和十四年 アルミニウム	R013

## Ⅶ 考 察

### 1. 出土した縄文時代中期末葉から後期初頭の土器について

下館銅屋遺跡の今回の調査区から出土した縄文時代の土器は数多い。遺構内外出土品を合わせると、コンテナ約250箱分の土器が出土した。そのほとんどが大木9式～大木10b式といった中期末葉の土器である。また、土器の相対的存在時期を今回の調査結果に基づいて考察できる状態で出土したのは、中期末～後期初頭の土器だけであった。以下に、中期末～後期初頭の土器の分類と、それらを用いた時期の遺構との関連から考えられることを述べる。

#### 1. 土器の分類

この報告書では、池谷1988、本間1994の大木10a式・大木10b式の分類を基本にして大分類し、出土遺物に合わせて小分類をおこなった。池谷1988で大木10bの第3段階に分類しているものは、本間1994の観音堂式（後期最初頭）とした。

【大木9式】（以下の考察で遺物の説明に記される数字は報告書に記された遺物番号である。）

H型： 幅広の沈線でH字形に区画されたもの（4・7など）

JC型： 沈線で囲ったJ字あるいはC字型の文様で区画されたもの（11・189など）

今回の調査では、これら2者に新旧関係は認められなかった。

【大木10a式】

I類）古S型： S字形の、いわゆるアルファベット文を施されたもの（9・10など）

→本文中では、大木10a式（古）段階と呼んでいる。

II類）新J型： 口縁部の無文帯からJ字形の無文帯が延びるもの（17など）

→本文中では、大木10a式（新）段階と呼んでいる。

III類）新縄島型： 器上半部に縄文が充填された短い帯状文様が施されるもの

→本文中では、大木10a式（新）段階と呼んでいる。

・器上半部に無文帯文様が施されるが、この無文帯は一本につながっている。

今回の調査では、II類とIII類とに新旧関係があることは確実に認められなかった。ただし、

1例、II類→III類の可能性を示した例がある（次の節を参照）。

【大木10b式】

I）接触隆起型：口縁部の無文帯につながるJやL字形の無文帯先端部が他の無文帯に接触した部分に粘土が張り付けられ、隆起しているもの。

II）接触沈線型：接触隆起型と文様モチーフはほぼ同じだが、無文帯の接触部は、沈線で区画されているだけのもの。

III）口縁突起型：口縁部にリング状の突起が4基付く、いわゆる朝顔形の土器。

・接触隆起型、接触沈線型とも、一見、大木10a新縄島型に似る無文帯文様だが、こちらの無文帯は一本ではなく、いくつかの完結した帯が接合されて出来たものである。

・大木10a式（新）段階、新縄島型～大木10b式には沈線で文様帯を区画するものと、隆線で文様帯を区画するものがある。隆線で文様帯を区画するものの多くは大木10a式（新）段階のもので、大木10b式のものめったにない。

今回の調査では、I～III類に新旧関係は認められなかった。



【縄文時代後期初頭～前葉の土器】

後期Ⅰ：地文が縄文で、土器上半部に沈線で方形の区画が描かれるもの

後期Ⅱ：地文が縄文、撚糸文で、大木10b式の文様に似るが、無文帯同士が接触した部分に2個一対の刻みが施されるもの（観音堂式の一部）（208・209）

後期Ⅲ：連続した刻みが鎖状に施されるもの、いわゆる門前Ⅰ式土器

後期Ⅳ：器上半部に崩れたL字あるいはJ字の無文帯文様と小さなドーナツ状の貼り付けを持つもの（55）

後期Ⅴ：小さなドーナツ状の張り付け2つを1単位で縦位に貼るもの（224・225）

後期Ⅵ：沈線で鎖状の文様を描くもの（250・253）

後期Ⅶ：口縁部の一ヶ所に懸垂文を施すもの（42）

後期Ⅷ：平衡した沈線でくの字形の文様を描くもの（網取Ⅱ式の古相）（241）

後期Ⅸ：いわゆる大湯式土器

これらの土器の新旧関係については後の節で述べる。

2. 大木9式・大木10a式（古）段階・（新）段階・大木10b式土器について

図と地の関係

(1) 図と地の関係を考える。

下館銅屋遺跡の調査では、住居の新旧関係から、大木9式→大木10a式（古）段階→10a式（新）段階→10b式という相対的新旧関係を把握することができた。この4者の呼称を、ここでの説明の都合上、古い方から順に1→2→3→4という呼称に置き換える。ここで言う大木9式は、1節で分類した、H型、JC型で、9式の中では最新段階のものである。

1～4への新旧関係があることはわかったにしても、2と3を同じ10a式の中でとらえる確固たる理由はあるのだろうか。あるいは、3の文様は、一見、4の文様に似ている。また、後にも述べるが、土器文様から離れ、土器を用いた炉の構造のことを考えてみると、3は2よりも4にこそ近いのである。ただし、ここでは、単に土器の文様による分類をすることにして、土器を用いた他の生活様式との関係については、別の機会にあらためて考えてみたい。

ここでは、土器製作者が実際にそのように意識していたか否かは正確にはわからないが、文様を描く際に、描き手が「図」としていたもの「地」としていたものの変化を推測し、それによって、土器を分類してみる。

土器	図文様の位置	図文様モチーフ	地文様
1	器全体	区画沈線縄文充填 「鳥」アルファベットの	縄文/無文
2	器全体	区画沈線縄文充填 「鳥」アルファベットの	縄文/無文
3	器上半部	区画沈線縄文充填 「鳥」アルファベットの	縄文/無文
3	器上半部	区画隆線縄文充填 「鳥」アルファベットの	縄文/無文
4	器上半部	区画沈線無文帯 「連結」	
4	器上半部	区画沈線無文帯+隆起部 「連結」	

これを以下のように、大木9式や大木10式のこれまでの枠とは別の分け方ができる。

a：図文様の位置で分けた場合

器全体・・・大木9式、大木10a(古)



となる可能性がある。

#### (2) 炉における土器の状態の差

炉に土器が立てられた状態で埋められていたのは、大木9式(6-28-SI1の炉)と、大木10a式(古)段階(5-28-SI1の炉)の炉であった。

炉燃焼部の両脇に口を炉中央に向け、横倒しの状態で埋められていたのは大木10a式(新)段階(3-29-SI1・6-34-SIなどの炉)と大木10b式(3-30-SI・5-32-SIなどの炉)であった。

下館銅屋遺跡の今回の調査では、多くの場合、大木9・10a(古)段階期は、土器を正立した状態で埋めている炉なのに対し、大木10a(新)・10b式期は土器を横倒しにして埋めている炉であるということができた。ただし、例外もある。9-30-SIの炉と考えられた108が立てた状態で埋められていた例である。この土器は文様が描かれる位置からも、モチーフからも大木10a(新)と考えられたものである。しかし、元来、中世の甕のような形態の土器108は、大木10a(新)Ⅲ類や大木10b式といった、土器を横倒しにして埋めるタイプの炉には使えない形態である。炉に埋めるためにそのような土器を選択するというのは、多くの大木10a(新)Ⅲ類や大木10b式土器を用いた炉とは異なる構造の炉を造ろうと、最初から計画していたことになろう。あるいは、108を大木10a(古)段階の土器や、古段階と新段階の間に中段階の土器を設定する必要があるのかもしれないが、ここではこれ以上は述べられない。

#### 4. 土器の製作について

##### (1) 土器の外底面の調整について

土器の外底面に植物の葉や網代の痕跡が残されているものがある。それらのような痕跡が残るものは、痕跡の無いものよりも少ない。また、痕跡の無いものでも、底面が磨かれていなければ本来は何かの痕跡があった可能性のあるものもある。したがって、外底面の状態は、次のように表現するのが良いだろう。

「磨かれたもの」 「磨かれたもの」と、「磨かれなかったもの」である。磨かれなかったものの中には、葉や網代の痕跡が残るものがある。また、磨かれたものの中にも、磨きかたが入念ではなかったので、葉や網代の痕跡が一部残る場合がある。このようなものの存在から、磨かれる前には大方の深鉢型の土器の底には何らかの敷物の痕跡があったのではないかと推測した。

「磨かれなかったもの」

また、葉や網代の痕跡がきれいに残っているものがあるので、土器製作後、器の様々な調整の時にもその敷物は付いたままだったこともあったと考えられる。ただし、敷物はずして、粘土を少し付け、簡単に磨いているものもある。入念に磨かれているものの中には、敷物はずした後、粘土を付けてから入念に磨いたものがあることが推測される。

##### (2) 土器製作時に用いた敷物について

敷物

それら、土器の敷物に利用された葉には、樹木の中でも大きな葉が選択されている。ただし、中には、笹のように、大きな面積を持たない葉が利用されている場合がある(227・1204など)。この場合、数枚が重ねられていることがあった(1353)。このことから、土器の底に敷かれるものは一枚ものである必要はないことがわかる。

葉で、最も多く利用されているのは、ホオノキと考えられる。また、トチノキも少しあるようである。どちらも長さ20cm幅10cm以上の大きな葉である。それらは、葉の表面を地面側にし置き、土器底と直接接するのは葉の裏面である。

また、土器底に敷かれた植物葉の共通項は、「大型の葉」というものではなかった。笹を敷く例があったからである。笹を複数枚敷き、土器底全体を載せた例もあるが、笹は1枚だけ用いられ、土器底がはみ出る場合もあった。すべての葉が同定できたわけではないが、ホオノキ・トチノキ・笹に共通なのは、調理と関わる可能性のある葉であるという点ではなからうか。土器作りの用具には、土器作りをおこなった人の身近にある葉、あるいはその人に親近感のある葉が用いられた可能性があるのではなからうか。

ところで、植物の葉が土器製作時に敷物として利用される場合、葉本来の大きさのままでちょうど良いだろうが、網代の場合はどうであろうか。網代も土器製作に都合のよい面積のものがあるのであろう。網代も土器製作用具の一つと考えることができるのではなからうか。このことから次のことが類推できる。網代の製作者は土器製作者の可能性が高い。網代を編む人が土器を製作したのである。

以上、土器底に敷かれた用具が葉であれ、網代であれ、それを用いた土器製作者とそれらの用具が身近な関係にあるとすれば、土器製作者は、食物を調理する人であり、網代を編む人である可能性が高い。これは、家庭内労働をする人であり、女性である可能性が高からう。

#### 5. 縄文時代中期最終末～後期初頭土器の文様の変遷について

##### (1) 大木10b式以降の土器について

住居跡5-36-SI3・4を埋める堆積土には大木10b式土器以降の土器が多数堆積していた。堆積土は厚さ50cmほどあり、土器の出土状況を見る限り、住居跡に出来た窪地には、随時、土が入られ、窪地は次第に埋まっていったようだったが、時折、土器の大型破片や、器の一部が破損しただけの土器が複数個、面的に広がるように放置されたようだった。写真図版14-下段は、5-36-SI3・4がかなり埋まった後、最後の堆積層となる土層が堆積する最初の段階で放置された土器、土器破片のあり方を撮影したものである。

5-36-SI3・4を埋める土中には、今述べたような、土器が広がる面が2面あった。最初の面は、住居が放棄されてから、いくらか土が堆積してからのものである。住居の壁に近い部分は厚く堆積しているが、中央に近い部分は数センチしか堆積していない。この面からの遺物は、「黒色土最下面」、あるいは「黒色土下面」、として取り上げた。遺物観察表中、そう記されているのは、同一の面のことである。その面から15～20cmほど土が堆積してから放置された土器群は、「10YR2/2黒褐色土層」、あるいは「埋土最上層」として、取り上げた。以上の2層の最下面に遺物が放置されたのである。ここでは、便宜上、下の遺物放置面を中層面、上の遺物放置面を上層面と呼ぶ。住居廃棄時に放置された土器などが広がる面、床面を下面と呼ぶ。

第35図上部は、上面からの遺物出土状況である。第35図下部は、中面からの遺物出土状況である。No.を付けて取り上げた遺物のうち、底部のある1/3個体以上の破損品や、縄文以外の文様のあるものに限って実測し、図示した。それらをまとめたのが第2図である。それぞれの面に放置されていた土器は、製作、使用時期については不明だが、放置されたのはかなり接近した時期と考えられる。

中層面から出土した土器は大木10b式として把握できるものである。上層面から出土した土器は後期初頭の土器として把握されるものである。中層面の下には床面の直上層があり、その下の面は床面である。5-36-SI3・4の炉には大木10a式(新)段階土器が埋められていた。

したがって、この住居跡は、住人に放棄された後、すぐに埋められることなく、窪地として存在しており、大木10b式土器を使用していた人々が、大木10b式土器を放置したり、後期初頭の土器を使用していた人々がその頃の土器を放置したりしたのであった。

中層面に放置された土器群の土器が、住居を放棄してからどれほどの時がたってからのものであるかは、不明だが、5-36-SI 3・4の床面を覆う土が15cmほど堆積してからのものである。また、5-36-SI 3・4の西隣には、大木10a式（新）段階の住居である、6-34-SI 1・2・3が造られ、人々が生活していた。中層面の土器は、それらの住居に人々が生活している間の土器ではない。それらは、少なくとも、6-34-SI 1～3の人々が去った後に放置された土器である。したがって、5-36-SI 3・4が放棄されてから堆積した15cmほどの土は、一気に埋められた様相ではないので、3回炉が造り替えられるだけの時間を経ている間に堆積した可能性がある。比較的長い時間の経過があったのではなかろうか。

中層面に大木10b式土器が放置されてから、更に15cmほど土が堆積した後に、上層面の土器群が放置された。土の様子から考えると、この20cmの土の堆積も、一気に埋められたものではなく、比較的長い時間を経ているようである。したがって、この住居跡の堆積層だけでは、中層面の土器群と上層面の土器群が連続した時期のものであるかは正確には把握できない。ただし、中層層の土器群よりも上層面の土器群が相対的に新しいということは確実である。

下館銅屋遺跡の今回の調査区内では、後期初頭の土器の変化を層位的に把握できる場所はない。したがって、次には、遺跡出土の土器や周辺の同時期の遺跡の例を参考にして、この遺跡出土の土器の相対的新旧関係を考えてみる。

## (2) 観音堂式、門前I式土器との関係

5-36-SI 4を覆う埋土の最上層から出土した41は、文様モチーフからは、熊谷1986で述べられた「連鎖状隆線、ボタン状貼付文を多用する」今村1977の言う門前I式土器（熊谷は門前I b式と呼んでいる）と分類できる。第1図上半部には41（p77）と同一層の同一面（上層面）から出土した土器の出土状況が描かれている。p64p69p73などが同一面から出土している。それらは、ほぼ同時にその面に置かれたと解釈できるだろう。それより15cm下にある面（中層面）からは大木10b式土器が複数出土している。この15cmの間には、遺物が面的に広がる面は無い。

熊谷1986でも、本間1994でも、今村1977で言う門前I式と大木10b式との間には1型式入ると考えられている。そしてその型式は、いずれの論考でも後期最初頭に位置づけられるとしている。熊谷1986では岩手県南部のその型式を門前I a式と呼び、本間1994では観音堂式と呼んでいる。これらの考えに従えば、上層最下面から出土した土器群は、門前I式に併行するものであり、中層面から出土した土器群は、大木10b式土器で、その間には1型式入ることになる。ただし、下館銅屋遺跡では、残念ながら、それを層位的に示せる出土状況は無い。

## 後期最初頭

中層面に人々が大木10b式土器を複数置いてから、15cmの土が堆積する間にどれだけの時が経過しているのかは不明である。15cm上の面である上層面からは、門前I式土器を含む土器が置かれていたのだが、上層面を含む同一層からは、p74も出土している（本考察では後期I群としたもの）。それは観音堂式に含められるものである。そのことから、中層面が形成されてから、上層面が形成されるまでには土器1型式分ほどの時が経過していたのかもしれない。

以上のように、下館銅屋遺跡の調査結果からは、大木10b式土器の次に来る土器を明確には

できないが、本間1994の観音堂式に対応する土器などはいくらか出土している。それらは、文様モチーフの類似度からは大木10b式に近く、器形の類似度からは、5-36-SI上層最下面の土器群に近いものである。本考察では後期Ⅰ群（58）・後期Ⅱ群（図1-208・209）としたものである。

#### 6. 埋設土器について

埋設土器は47基検出された。大木8b式2基、大木9式（新）段階13基、大木10a式（古）段階5基、大木10b式2基、大木9～10式と思われる縄文が施文された土器が25基である。

これらは一様の埋設状況ではなかった。

1：深鉢を正立させて埋めるもの。

1a：底のあるもの。

1b：底中央が打ち欠かれ、穿孔されているもの。

1c：胴部だけのもの。

2：小さな壺が大きな土坑に埋められているもの。

1bは住居の中に埋められていたり、住居に近いところに埋められていたりする。土器をゆったりと埋められる土坑を掘り、そこに土器を埋めている。3-27-SI1内の埋設土器と6-28SI1に重なる埋設土器は底部中央に穿孔されていた。そして、それらの土器を埋める前に、ちょうど土器の穿孔された底のすぐ下に別の土器の破片を数枚敷き、その上に土器を置いていた。そして、それらの土器は、住居床面より少し低い面まで器全体がしっかりと埋められていた。

今回の調査区からは大木9～大木10b式土器使用期の住居跡が45棟ほど検出され、大木10a新～大木10b式土器使用期のものが多かった。だが、住居と関係する状態で出土した埋設土器は大木9式と大木10a式（古）段階のものだけであった。大木10a（新）や大木10b式の住居内には埋設土器はないのである。

1a、1cは狭い範囲に複数がまとまって埋められている傾向がある。5-26グリッドや7-20グリッド、10-27グリッドからまとまって検出された。また、1bと異なり、土器を埋める土坑は、明確にはわからない場合が多い。土器とほぼ同じ大きさの土坑を掘っているだけなのであろう。更に、住居床面に埋められていたが故に土器全体が残っている1bとは異なり、これらの土器の場合、底に近い部分しか残っていないものが多い。これは当時の地表面から土坑を掘り、土器を埋めたからなのであろう。

文様がわかる土器については、大木10b式の1例以外は大木9式か大木10a式（古）段階土器である。しかし、1例でも存在するという事は、大木10b式土器使用期にも、土器を正立に埋める風習があったことになる。そして、縄文が施された部分だけしか残ってなくて明確に時期を特定できない土器が多いので、どの時期の土器が多いとは言えない。

また、10-27グリッドの埋設土器群の場合、大木9式（新）段階と大木10a式（古）段階が一列に並んでいる。これらは、型式には新旧があるので、埋められた時にも新旧関係があると考えべきだろうが、埋めた人々は埋める場所を‘意識して’隣接した場所にしたのではなかろうか。そうだとすれば、埋設土器が埋められた場所の上には何かがあり、ある程度の長い年月にわたって、そのほぼ正確な位置がわかるようにされていたのではなかろうか。埋設土器を埋める場所の選択については後にやや詳しく考察する。

2は1とは異なる概念上のものであったろう。1の場合は土器を埋めるために土坑は掘られたと考えることしかできないが、2の場合は、土器だけではなく、むしろ、別のものを埋めるために土坑を掘り、その一部に何かを入れたであろう土器、あるいは空の土器を添えたと言うべきかもしれないのである。

#### 7. 埋設土器が埋められた場所について

6で見たように、1b型は家の中の床下に埋められ、1a・1c型は家の外に複数個が集められていた。2型は、何かを埋めるための土坑の中に添えられていた。ここでは、1a・1c型について少し考えてみる。

1a・1c型は、家の外に埋められていた。それらは単独であることは珍しく、2基以上が集まっている。最も多くの埋設土器が集まっていたのは5-26埋設土器群である。ここは約4m四方の平坦地に8基の埋設土器があった。他には、3基の土器が一列に並んでいる例が2例ある。7-20埋設土器群と10-27埋設土器群である。3基の土器がまとまっていた例は6-26埋設時群の1例である。

これらが集まっている場所は、当時の住居の外である。したがって、それらが埋められている間、そこは住居を建てない場所として認識されていたことになる。

5-26埋設土器群には、大木10b式～後期最初頭頃の土器があったが、近くにあるその頃の家は、直線距離にして20mほど離れている大木10b式期の3-30SI1である。

6-26埋設土器群には大木9（新）式が2基並び、そのうちの1基に大木10a（古）式土器の一部が重なっていた。このことから、二つの土器が意図的に重ねられたのでない限り、それは大木10a（古）式土器の方が、大木9（新）式土器よりも後に埋められたことを示している。そして、大木10a式土器を埋めた人は、その場所を、土器を埋める場所として認識していたろうが、土器を埋めようとしたちょうどその場所に古い時代に埋められた土器があるとは思っていなかったことになろう。いずれにしても、大木10a式土器を埋めた人も大木9式土器を埋めた人も、その場所を埋設土器を埋める場所として認識していたということは重要なことを示す。

他に、10-27埋設土器群でも、大木9式（新）段階と大木10a式（古）段階土器がならんで埋められていた。ここでも、大木式9式（新）段階土器を埋めた人も大木10a式（古）段階土器を埋めた人も、その場所を埋設土器を埋める場所と認識していたのであろう。

7-20埋設土器群には、器形から考えると後期初頭のものと考えられる土器3基が隣接して一直線に並び、少し離れて大木10a式（古）段階土器が1基埋められていた。

7-22埋設土器群には、大木9式（新）段階土器が埋められていた。

以上の埋設土器群は、多くの場合、住居跡とは重ならない。例外は6-26埋設土器群が、6-26SI～5-27SIと重なっている例だけである。6-26埋設土器群は大木9式（新）段階～大木10a式（古）段階土器である。6-26SI～5-27SIは大木10a式（新）段階土器である。

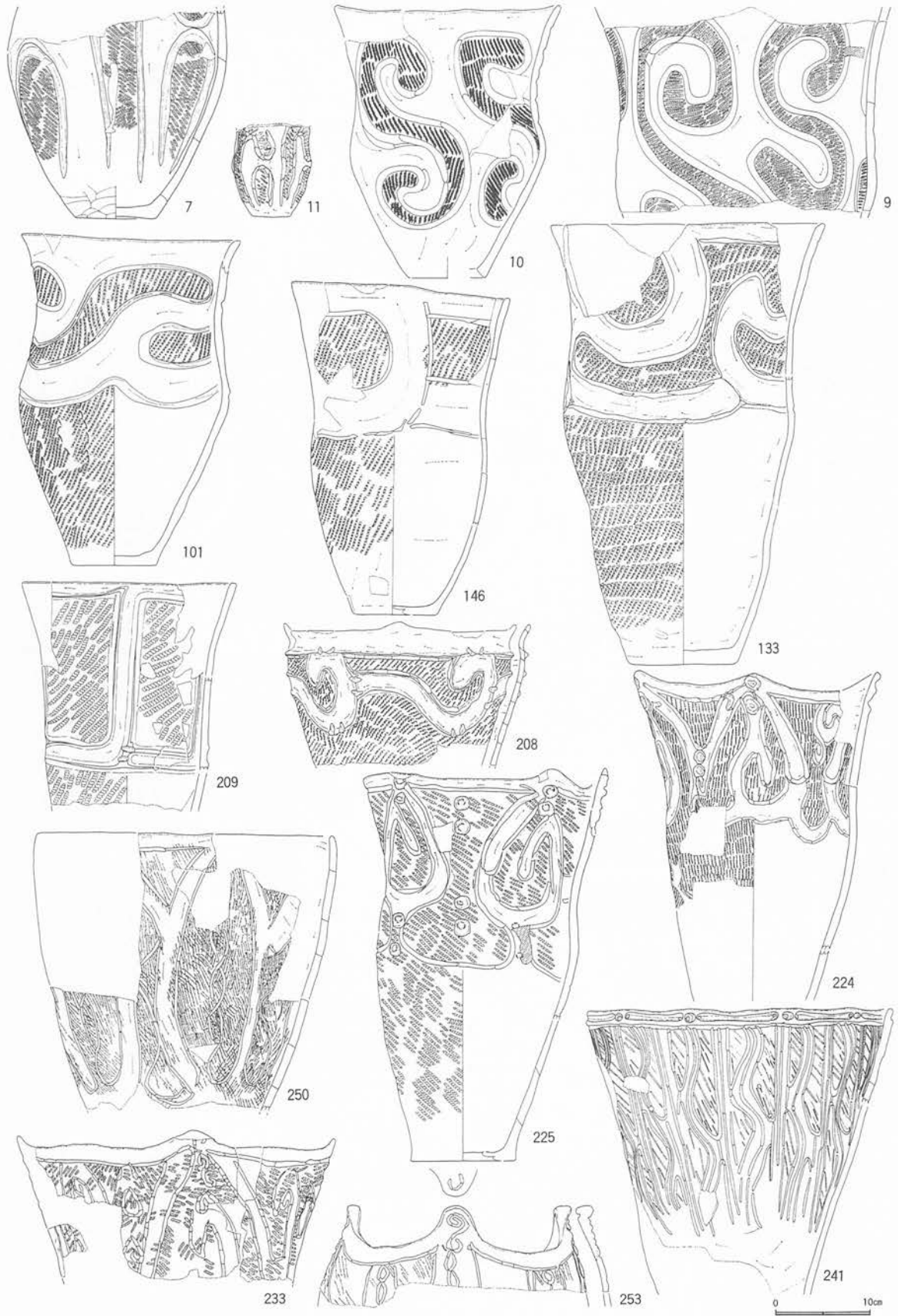


図1 下館銅屋遺跡出土の大木9式～後期初頭土器



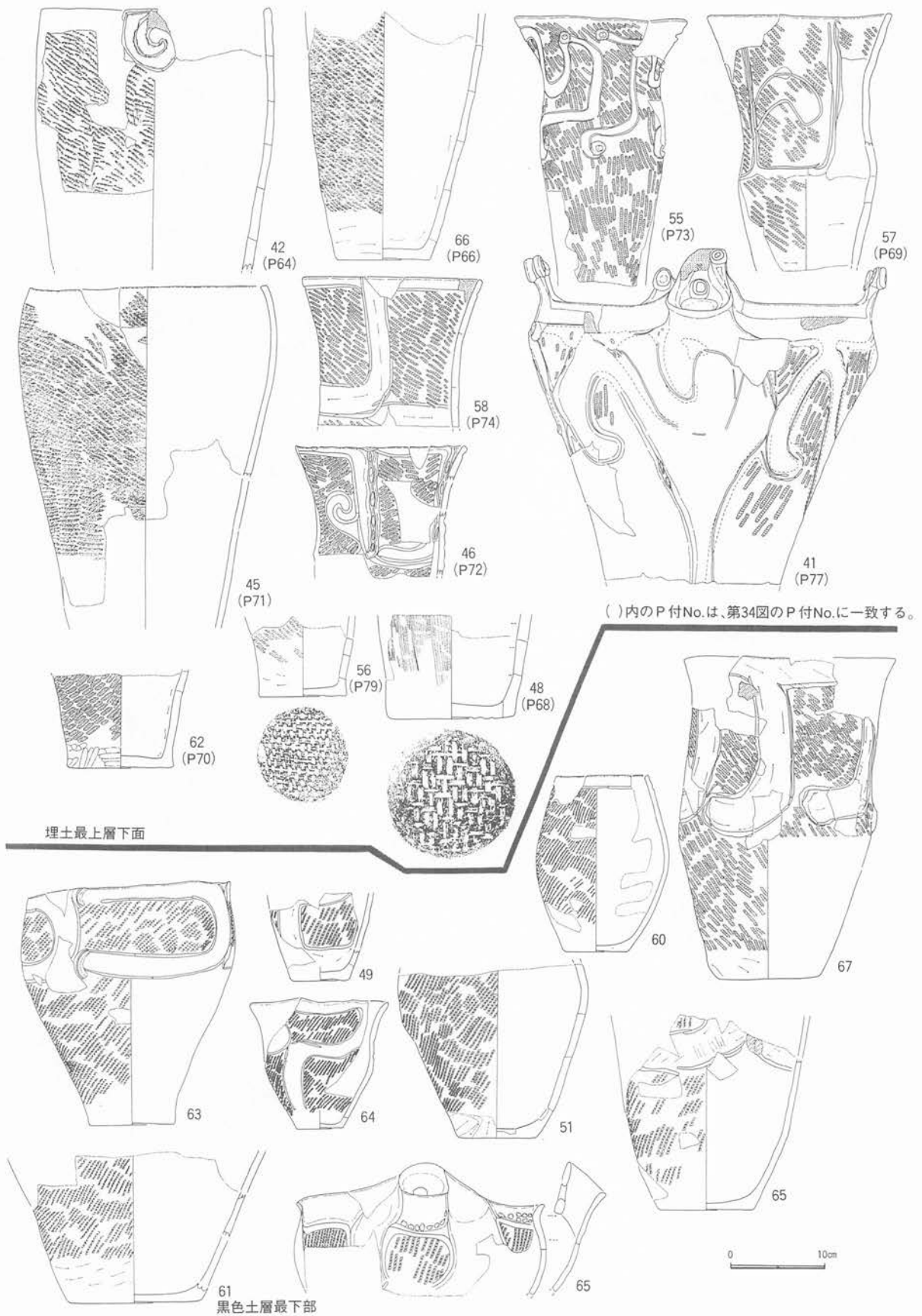


図2 5-36-S13・4埋土から出土した土器

## 2. 大木9～10式土器を用いた頃の住居について

下館銅屋遺跡からは、大木9～10式土器使用期の住居跡が45基検出された。大木8a・8b式土器や、縄文後期初頭～前葉の土器、それらの時期の各種土坑も検出されたが、住居跡は見つかっていない。調査区の外にも遺跡は広がっているので、大木9～10式土器使用期の前後の時期の住居は、調査区の外に残っていると推定している。以下には、住居の炉に土器が埋められていて、住居と使用土器との関係が確実に把握できた大木9式～10b式土器使用期の住居について考察する。

住居跡は同一個所に複数回造り替えられたものが多かった。そして、今回の調査で特徴的なことは、同一個所に造り替えられた住居の場合、炉に用いられた土器は常に同じ型式であるという点である。このことは、土器型式としてわれわれが把握しているものの変化が何を反映しているのかを考える、一つのヒントになる。以下にそのことを中心に考察をおこなう。

### 1. 住居跡の時期と分布

住居跡があったカ所は20カ所である（図1）。

大木9式	1カ所	住居2
大木9式(新)段階	2カ所	住居1・9
大木10a式(古)段階	2カ所	住居7・10
大木10a式(新)段階Ⅱ類	3カ所	住居3・12・16
大木10a式(新)段階Ⅲ類	4カ所	住居8・13・15・17
大木10b式	4カ所	住居4・11・14・19

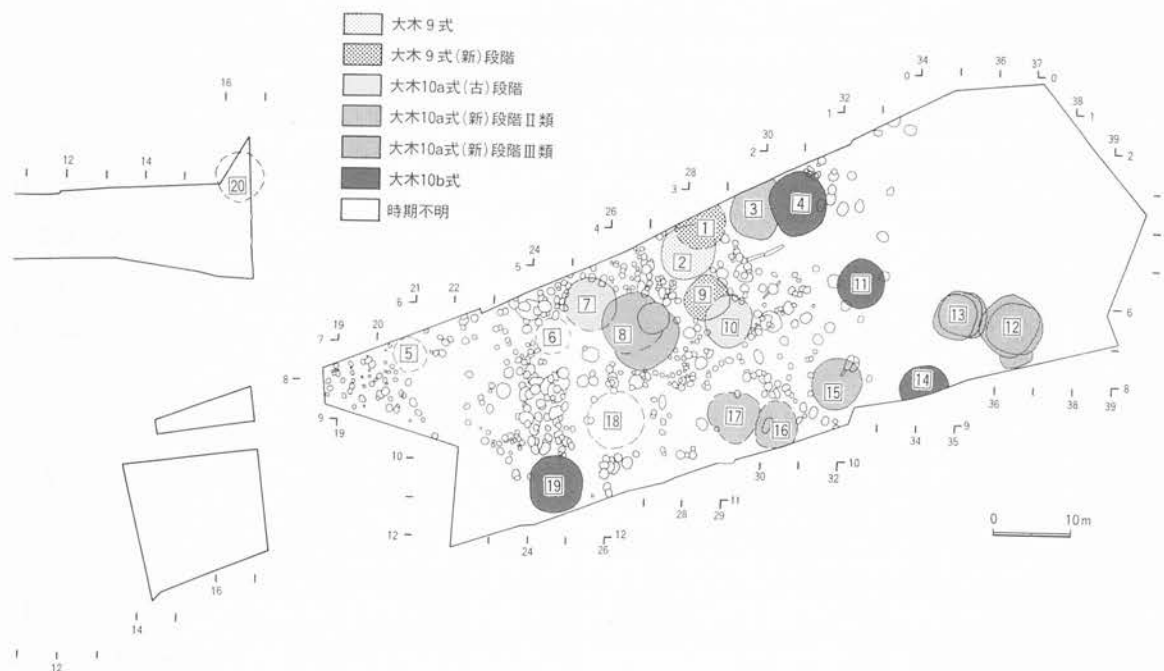


図1 縄文時代住居跡配置図

土器の残り具合が悪く、正確な時期は不明だが炉に横倒しになった土器が埋められていることから、大木10a(新)Ⅲ類か大木10b式と考えられるものが1カ所・・・住居20

炉に土器が埋められておらず、細かな時期の特定が難しいものが2カ所・・・住居5・18

大木9式のものとした2の炉は後期の土坑に切られ、全貌は不明だが、残された形態からは、複式炉と推定できるものではあった。土器は埋設されていなかった。ただし、住居のものと推定される柱穴からは大木9式土器が出土し、また、2の住居跡は大木9式土器を炉に用いた1に切られていた。それで、大木9式としたのである。

## 2. 住居と炉の関係

### (1) 炉が造られる時

住居には炉が存在する。1軒の住居が新築される時は、炉も新たに造られると推定できる。ただし、同じ場所で建物を建て替えるときは、どうしたのであろうか。普通には炉も新たに造り替えると考えられる。下館銅屋遺跡の場合、住居跡が多数重複していたため、検出された柱穴が、すべてどの建物のものであるか判明したわけではない。また、柱穴と炉以外には住居跡の存在を示す遺構がなかった場所もある。そうした場合、炉と建物の立て替えが常に同時におこなわれているかを検証できない。だが、炉の数と周溝の数が一致している場合、建物が造り替えられる場合、炉も新たに造られていると考えられる。そこで、以下では、建物が新たになるたびに、炉も新たにされる、と考えて論を進める。

### (2) 土器型式と炉の形態

#### a: 埋設土器を伴わない炉

**住居2・5・18** 埋設土器を伴わない炉を持つ例が3カ所あった。住居2・5・18である。その中で、住居の切り合い関係などから、時期がある程度把握できたのは住居2で、それは大木9式の可能性がある。住居5は、床面と考えられるところから埋め込まれた埋設土器との関係から、大木10a式(古)段階のもの可能性もあるが、正確には不明とするしかない。

#### b: 大木9式(新)段階土器を使う炉

**住居1・9** 大木9式(新)段階土器を埋めて使った炉は、住居1・9で検出された。これらの土器は正立して埋められていた。1は住居壁際から住居中央に向かって、3つの浅い掘り込みが直線状に並び、その延長上4つ目の施設として土器が埋設されるタイプの複式炉である。最も壁際の窪みの底面は非常に固くなっており、まるで意図的に踏み固めたようであった。近世建物の土間の部分のような堅さである。住居9は、2つの浅い掘り込みが直線状に並び、その延長上3つ目の施設として土器が埋設されるタイプの複式炉である。

#### c: 大木10a式(古)段階土器を使う炉

**住居10** 大木10a式土器を埋めて使った炉は住居10で検出された。この土器は正立して埋められていた。ただし、用いられていたのは底の無い、胴の部分しか残っていない土器である。土器の内部には焼土は検出されなかったが、土器周囲に焼土は形成されていた。その焦土のあり方から、その場で出来たものと考えられた。しかし、土器内部、土器内に空間があったとして、その底面に当たる部分に焼土が全く検出されなかつた理由は不明である。一つ考えられることは、土器周囲に焼土が形成される理由となった事象が、土器内部のものに関しては後に取り除かれた可能性であるが、不明である。

この炉も複式炉である。住居壁際から住居中央に向かって直線状に2つの浅い掘り込みが並び、3つ目の施設として、埋設土器炉があるタイプである。

d：大木10a式（新）Ⅱ類土器を使う炉

この土器を用いる炉の形態には2種類ある。住居16のように、土器を正立させるものと、住居12のように、二つの土器を横たえるものである。ただし、どちらの土器も複式炉の一部として利用されている。

住居16

住居12

住居15の場合は、土器は複式炉の3つ目の施設として埋められている。住居壁際から住居中央に向かう形態の一つの長方形な浅い掘り込み穴があり、その中央に向かう延長上に連続して、土器が埋められるのである。浅い掘り込み穴の中は使用のされかたから、二つの空間に分けられていたと考えられる。壁に近い方は、非常に固く踏み固められていた。中央に近い方は焼土が形成されていた。

住居15

住居12の場合は、一対の土器が中央に口縁を向けあって、横倒しの状態で埋められていた。その場合、土器内面は炉の床面となめらかに連続するような状態で埋められていた。あまり残りはよくなかったが、土器は複式炉の一部として存在していた。住居壁際から住居中央に向かって直線状に2つの浅い掘り込みが並び、3つ目の施設として、地床炉とその両脇に埋設土器炉があるタイプである。壁際から2つ目の部分の周囲には灰白色粘土などを用いた囲いが作られており、それに囲まれた部分にも焼土が形成されている。

3の場合は、土器破片が炉の中央に敷かれていただけの可能性があるので、この住居の時期の土器が利用されたか否か複数の解釈ができるものではあるが、ここで説明しておく。土器大破片が敷かれていたのは複式炉の3つ目の施設である。住居壁際から住居中央に向かって直線状に3つの浅い掘り込みが並び、その3つ目の施設中央底面に、土器大破片が敷かれたものである。窪み底面、つまり土器破片の裏面は焼けていた。壁際から2つ目の掘り込み面底には灰白色の粘土が一面に塗られていた。

e：大木10a式（新）Ⅲ類土器を使う炉

大木10a式（新）Ⅲ類の土器を利用した炉を持つ住居跡は4カ所ある。2個一対の埋設土器を用いる炉、1個の埋設土器を用いる炉がある。いずれも、土器は炉脇に位置し、炉の中央に口を向け、土器内面と炉床面がなめらかに連続するような状態で、斜めあるいは横倒し状に埋められている。また、いずれも2つの掘り込み部からなる複式炉である。住居壁際から中央に向かって2つの窪みが続き、その2つ目の地床炉の脇に土器が埋められるのである。

住居8・13・  
15・17

f：大木10b式土器を使う炉

大木10b式の土器を利用した炉を持つ住居跡は4カ所ある。2個一対の埋設土器を用いる炉、1個の埋設土器を用いる炉がある。これらは、大木10a式（新）Ⅱ類の炉と構造はほぼ同じである。いずれも2つの掘り込み部からなる複式炉で、中央よりの地床炉の脇に土器は埋められている。そして、更に、住居4や19には、2個一対の土器を埋めた炉の底面中央にも土器を正立して埋めるタイプのものもある。

住居4・11・  
14・19

以上を簡単にまとめると次のようになる。炉の構造は、土器型式が変化すると同時に少しずつ変化してはいるが、特に大きな変化をする時期がある。その時期は、土器の特徴も大きく変わる境の時期ようである。大木10a式（新）Ⅲ類としている、土器自体の特徴も曖昧なもの

時期の間に変化が起きているようである。

大木9式(新) .....	2 (3) つの窪み+正立土器埋設炉
大木10a式(古) .....	2つの窪み+正立土器埋設炉
大木10a式(新) II類 .....	2つの窪み+正立土器埋設炉
大木10a式(新) II類 .....	2つの窪み+1つの窪み脇に横倒し土器埋設炉
大木10a式(新) III類 .....	1つの窪み+1つの窪み脇に横倒し土器埋設炉
大木10b式 .....	1つの窪み+1つの窪み脇に横倒し土器埋設炉

### (3) 土器型式と住居・炉の造り替えの時期

最初にも述べたが、今回の調査で検出された住居の場合、同一空間に造り替えられた複数の住居に伴う炉に使用されている土器の方式は同じものである例がほとんどであった。ただし、例外が2例ある。住居4と11である。

**住居4** 住居4について：これらには3回の炉の造り替えで、6つの土器が用いられていた。それらは文様モチーフも地文の縄文も異なっているが、型式は皆同じ大木10b式である。ただし、それらの3期の炉をはずした下から、更に古い炉が見つかった。それを炉0としたが、それは大木10a(新) II類の土器である。

**住居11** 住居11について：この住居の場合、建物の東にある炉は4回の造り替えがおこなわれていた。西にある炉は1基だけであった。そして、東の4基の土器は皆大木10b式であったが、西の1基の土器は大木10a(新) II類土器であった。東の4基の土器は皆文様モチーフも地文の縄文も異なっている。

以上から、今回の調査で出土した多くの住居の場合から、住居を新たな空間に移動させて造る時には、新たな土器型式が既に採用されてからの場合が多いことがわかるが、中には、4や11の例のように、最初の1軒目の時だけは、古い型式の土器を用いる場合もあったことがわかる。そして、同一の型式の土器が作られて続けている間は、同じ場所で、住居は造り替えられ続ける場合が多かったのである。

### 3. 炉を造る人と土器を作る人の関係

#### (1) 文様モチーフの比較 (図2～8参照)

2で見てきたように、下館銅屋遺跡の大木10a式(新) III類、大木10b式土器を使用した炉には、1つの炉に2つの土器が埋められている場合があった。住居13・16・4で比較的残りの良いセットが見られる。これらの土器の比較をおこない、炉を新たに造るときに、土器も新たに作るのか否か、ある家の炉に用いる土器は、その家の人間が作るのか否かを考えてみる。

**住居13** 住居13の場合、74と76、79と82がセットである。79は胴部下半部しか残っていなかったもので、文様モチーフについては述べられない。74と76は同一型式ではあるが、文様モチーフは異なる。

**住居16** 住居16の場合、101と102がセットである。両者は同一型式で、文様モチーフは同じであるが、土器の高さの差が6cmほどある。

**住居4** 住居4の場合、123と132がセットである。両者は同一型式で文様モチーフは異なる。

以上、少ない例ではあったが、炉を造る時に、2つの土器が一人の人物によって新調されたとは簡単には言えないような例が多いことがわかる。15の例は大きさが異なる点を除けばかなり類似した土器ではある。

(2) 土器文様モチーフと地文縄文の関係

ところで、文様モチーフが異なるからといって、別人が作ったとは言えない。文様モチーフが異なるということは、ほぼ同時に作ったとはいづらい要素ではあるが、同じ人が異なる時に作ったことを示すこともあろうし、また、ほぼ同じ時に、同じ人が別モチーフの土器を作ることもあるだろう。次には、地文の縄文の施し方を見てみる。文様モチーフが異なる土器を比較する場合は、それこそが、土器製作者個人の技を示すのではなかろうか。

最初に、一つの土器の地文施文のあり方をパターン化しておく。ただし、下館銅屋遺跡から出土した深鉢の例に限る。

1 a : 一つの原体を用いて、同じ運動によって施文する。多くの土器がこれにあたる。

1 b : 一つの原体を用いて、異なる運動によって施文する。狭い範囲に充填する時に用いる手法である。9・10・14など

2 : 二つ以上の異なる原体を用いて、同じ運動によって施文する。76・82・172など

1の場合は、一般には一人の人間によっておこなわれたことと考えておくべきなのであろう。2の場合も、一つの土器の成形、調整、文様施文が一連の工程だとすれば、一般には一人の人間によっておこなわれたことと考えておくべきなのであろう。縄文原体が異なる土器を、単純に、異なる人間による製作と推定することはできないのである。

縄文原体、文様モチーフ、土器の大きさ、器形は類似しているのに、異なる運動で縄文が施文される異個体の場合は、異なる人間による製作である可能性が高いのではなかろうか。つまり、縄文原体に注目して製作者のことを考えるよりも、縄を転がすときの運動のあり方に注目する方が、より製作者のことを考えやすいのではなかろうか。

具体例に戻ろう。

住居跡15の炉埋設土器 101・102の場合

101と102はどちらも大木10a式新段階隆起線タイプである。両者の大きさには違いがあるが、プロポーションは似ている。縄文はどちらのものも複節であるが、節の大きさに若干の違いがある。また、縄を転がす角度が違っている。文様モチーフは同じである。ただ、文様の形状が異なっている。

以上のことから、101と102は同時に使用されはしたが、同一人物が同じ時に製作したものであるとはいづらい。

住居4の炉埋設土器 123と132の場合

123と132はどちらも大木10b式沈線タイプである。ただし、文様モチーフは異なる。123は単節縄文、132は複節縄文である。節の大きさ、撚りの方向は同じである。縄文を転がす角度はやや異なる。一度に連続して転がされる長さはほぼ等しい。同一人物の製作か否か、答えるのは難しい。

この二つは文様モチーフが異なる。文様モチーフは同じ人物の製作でも、変えられることは充分考えられる。だが、両個体が同一人物による同じ時の製作品と本当に言えるか否かは不明としか言えない。肉眼による胎土の比較によれば、132には海綿状骨針が少量入るが、123には入らない。ただ、これも、粘土の違いを言ったに過ぎなく、異なる人間の製作であることを証明している属性ではない。同じ人間でも、製作時が異なれば、違う材料で土器を製作すること

もあるかもしれない。

### (3) 施文具と文様モチーフの関係

(2)で見たように、同じ縄を使い、しかも、同じ文様モチーフが描かれた土器というのは、一つの炉に用いられた土器には存在しない。次に、下館銅屋遺跡から出土した土器を比較し、同じ施文具が用いられた同じ文様モチーフの土器を探してみる。

整理の段階では、口縁部の破片はすべて抽出し、できるだけ多くの、拓本を掲載するように心がけた。また、地文の縄文を比較する目的で、できるだけ多くの破片の拓本を掲載したつもりだが、同じ施文具、同一文様モチーフの土器は見つけられていない。

接合の段階で、同一文様モチーフで、同じ施文具、器表面が類似した特徴を持つ土器は、選択されるのだが、大方は同一個体として接合されてしまうだけである。異個体で特徴の類似したものは珍しい。珍しい、と書いたのは、類似した特徴の土器で接合できなかったものもあるからである。しかし、それらは、胴部の破片で、互いに接合面が見いだせなかっただけの同一個体と考えられる。

文様モチーフが同じ土器を比較すると、施文具である縄文に違いがあるものばかりである。

以上から、同一個人による同じ時の製品と仮定できる個体は、そう簡単には見いだせないことがわかる。

## 4. 家の構造の2種について

下館銅屋遺跡の縄文時代中期には2種類の構造の家があった。一つは太い柱を3～6本立て、構造を支えるタイプである。他の一つは、比較的細い柱を周囲に複数立てる構造のものである。前者には所謂「周溝」が巡るが、後者には「周溝」は無い。

## 周溝

### (1) 周溝のある建物

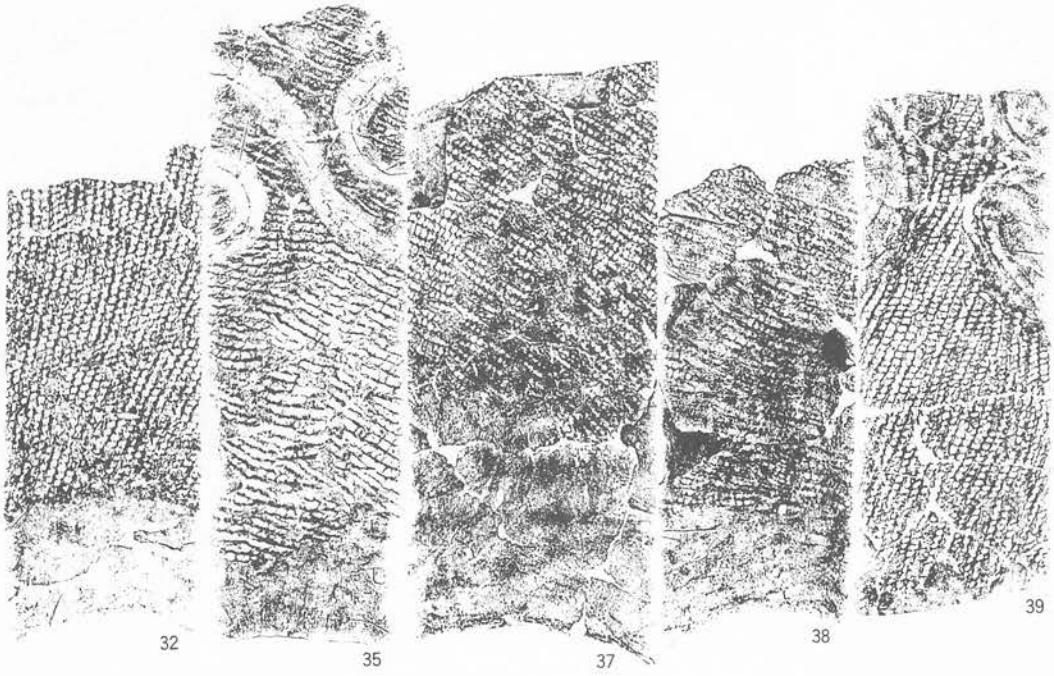
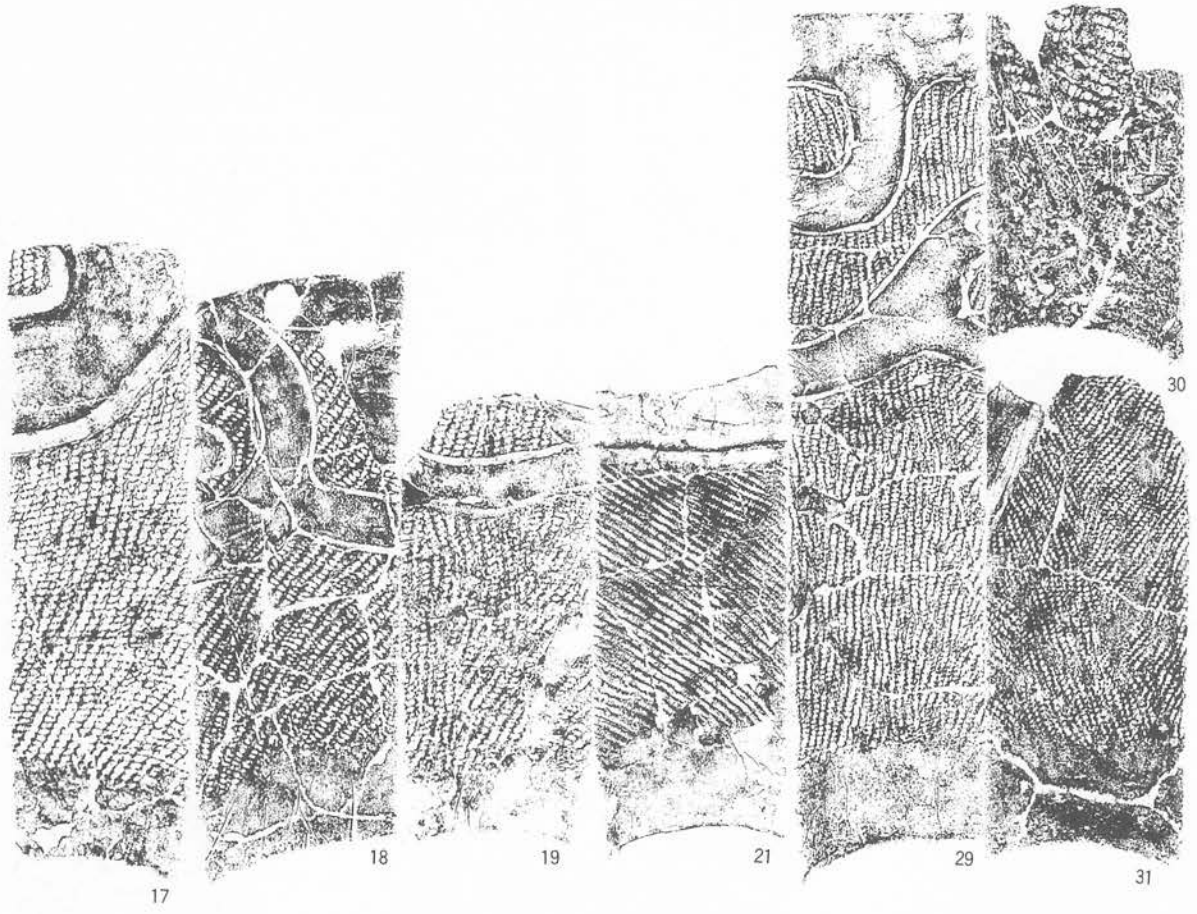
周溝と言われている溝は、床と土壁の堺にある。溝の幅、溝の深さ、断面形から、その溝は、板のようなものが埋められていて、壁として存在していた可能性が考えられる。

周溝を持つ住居は、太い柱穴を3～6本三角形、四角形、五角形、六角形、に配置する。柱痕跡が検出されていないので、どのくらいの太さの柱が入れられていたかは不明だが、柱穴の規模が直径60～70cmもあるものも多い。そして、その柱は壁からいくらか離れた位置にある。

### (2) 周溝の無い建物

周溝の無い建物もある。5-32-SI・6-28-SI1・9-30-SI1がそれにあたる。5-32-SIは大木10b式期にあたる。他の2者は大木10a式期にあたる。それらが存在した時期には周溝のある住居も複数あることから、周溝のある住居と無い住居とは同時に存在したと考えられる。

5-32-SIの場合は、直径30cm以下の比較的細い柱穴を5～6本巡らせていたと推定できる。そして、柱穴は建物の壁際に近い位置にあるようである。6-28-SI1の場合も、柱穴の規模から考えると細い柱ではあろうが、柱穴は4本分しか無い。9-30-SI1の場合は、太い柱穴が5本五角形に並び、細い柱穴が2本分それに加わる。



S=1/4

图2 土器拓本(1)



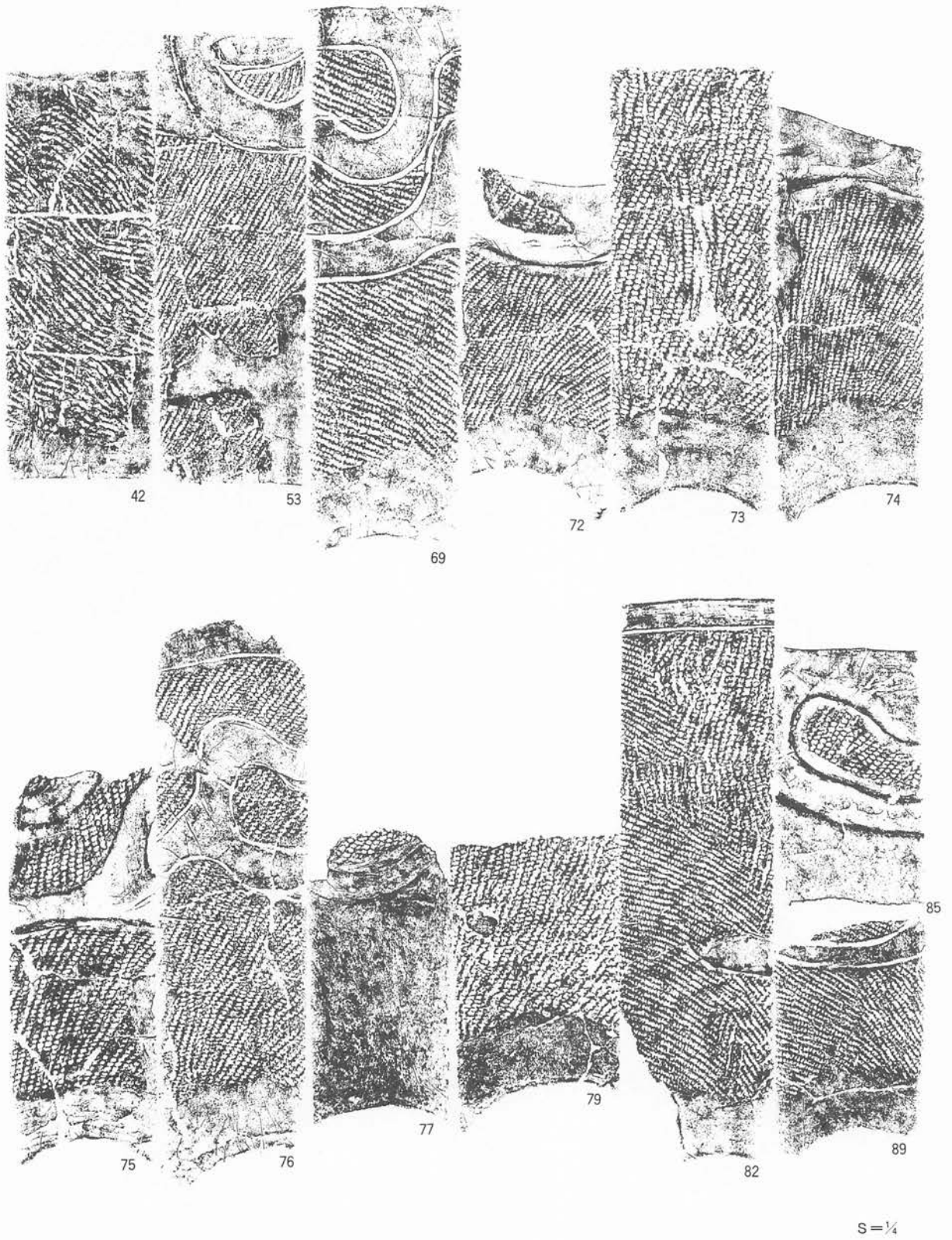
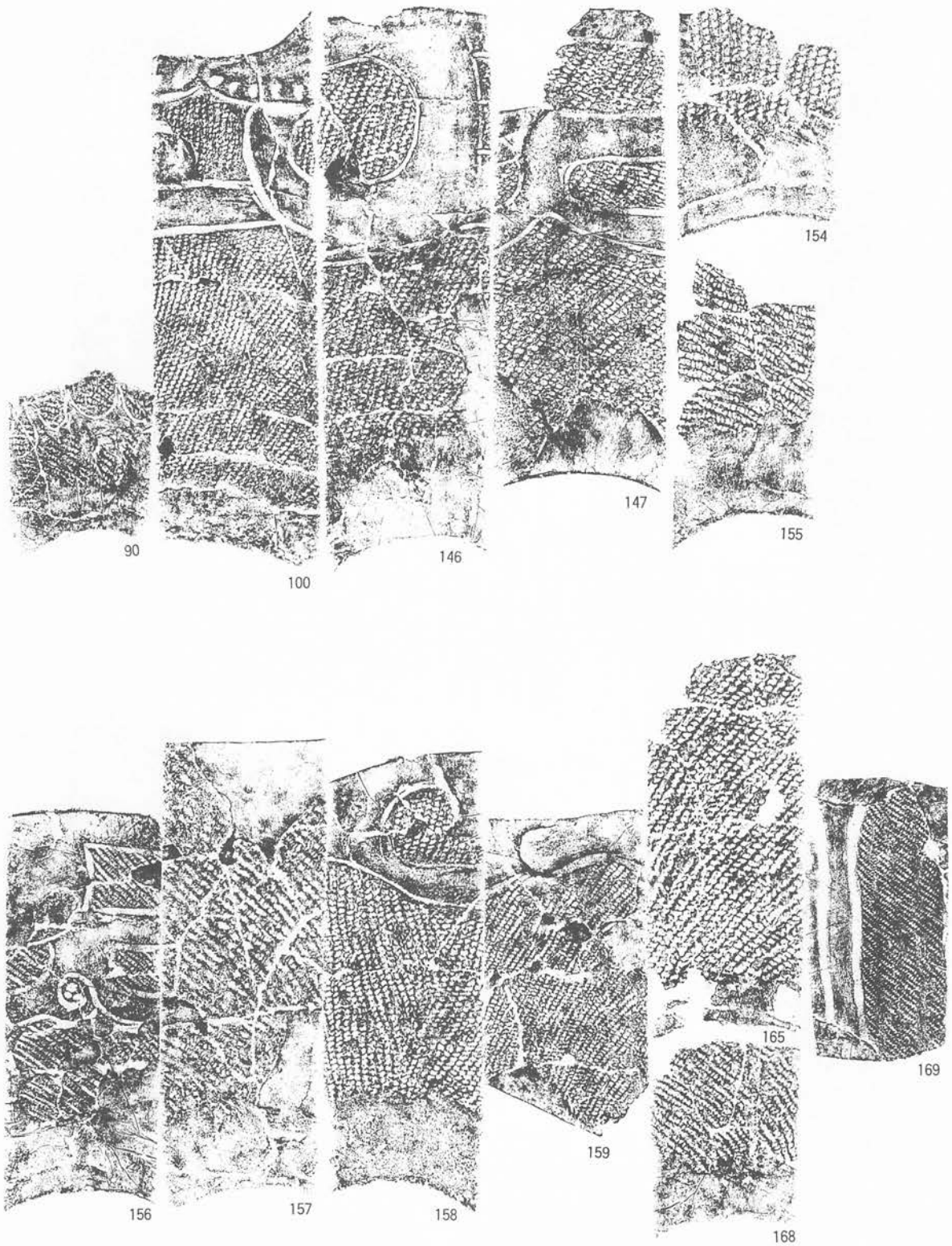
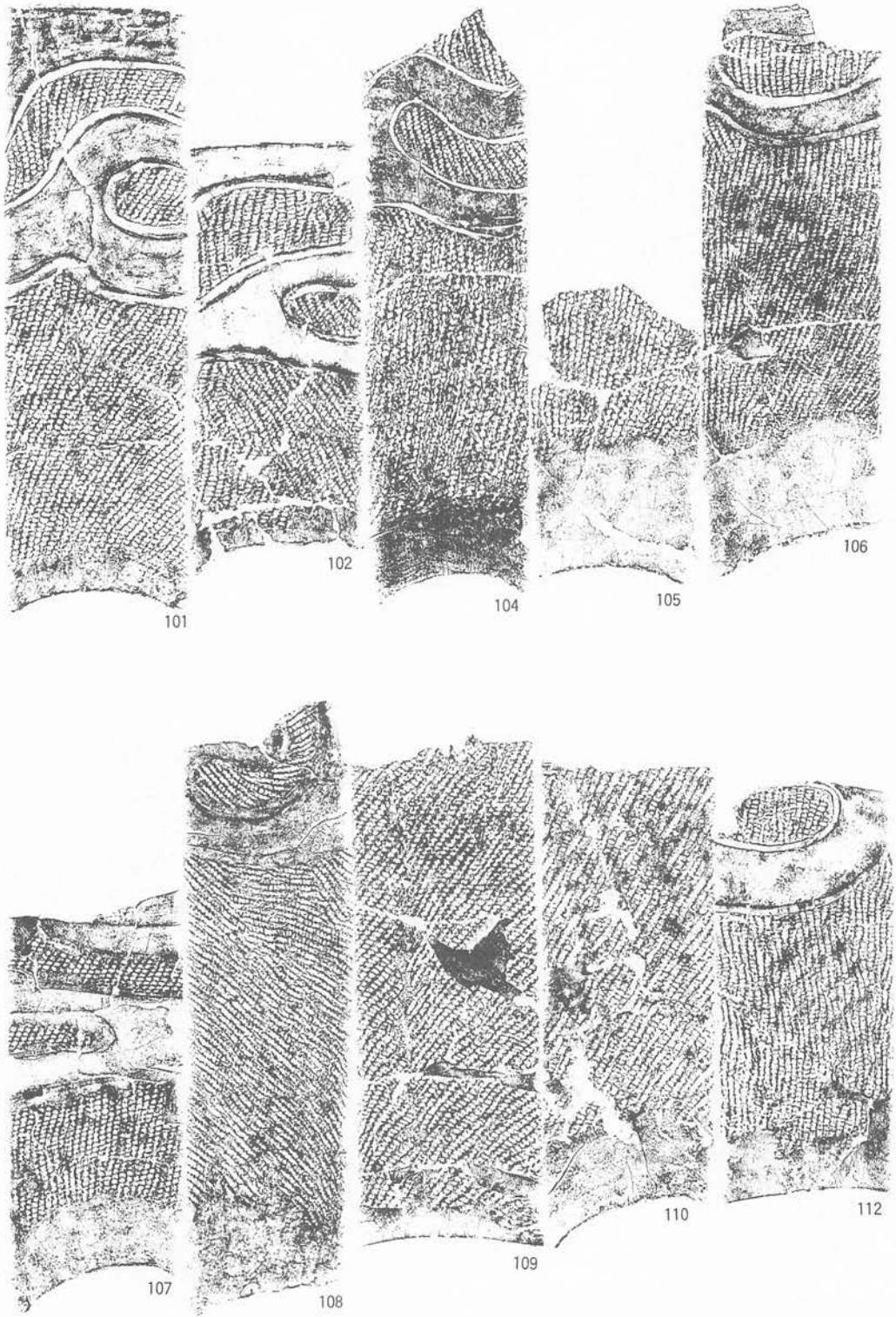


图3 土器拓本(2)



S=1/4

图4 土器拓本(3)



S=¼

图5 土器拓本(4)

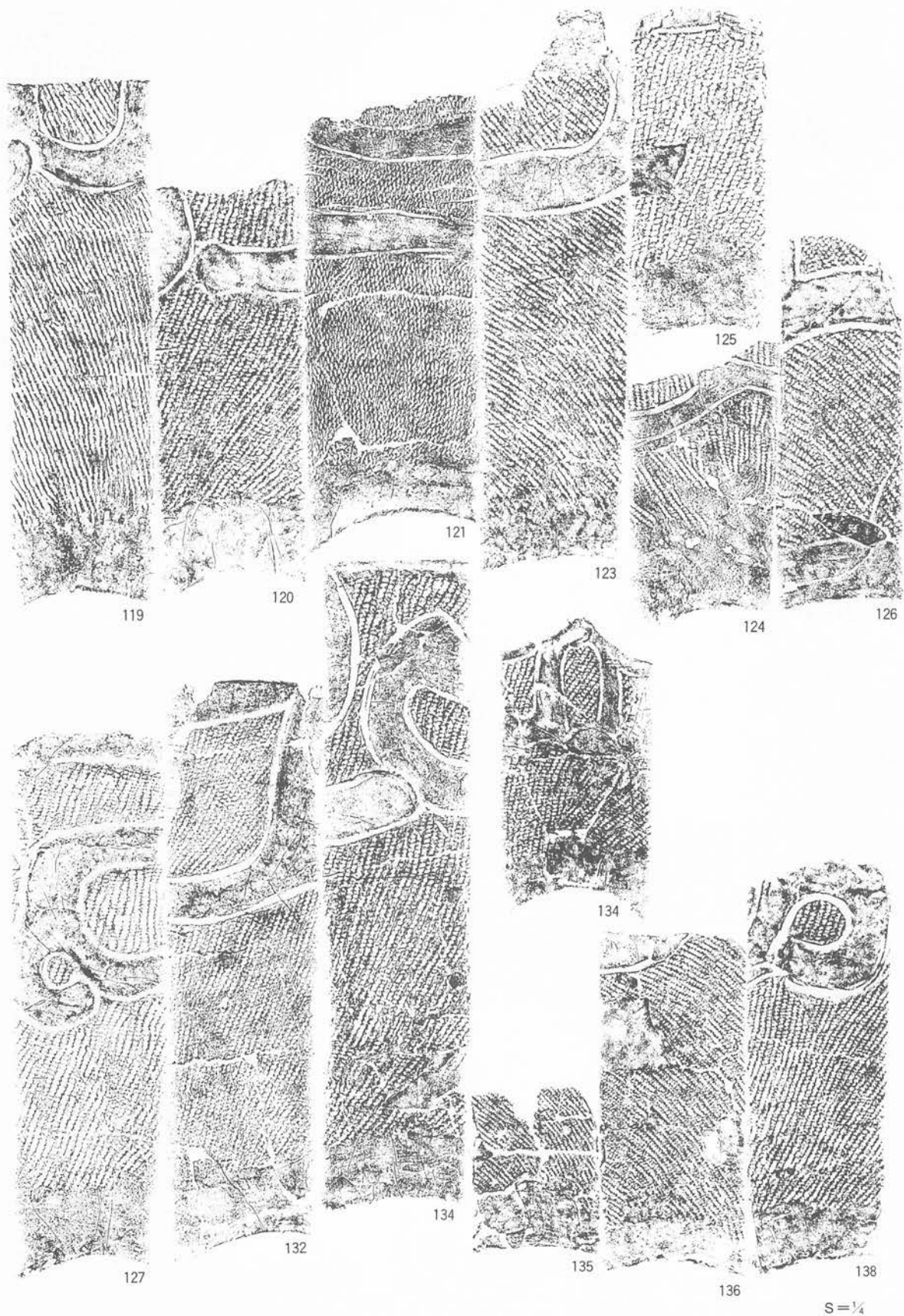


图 6 土器拓本(5)

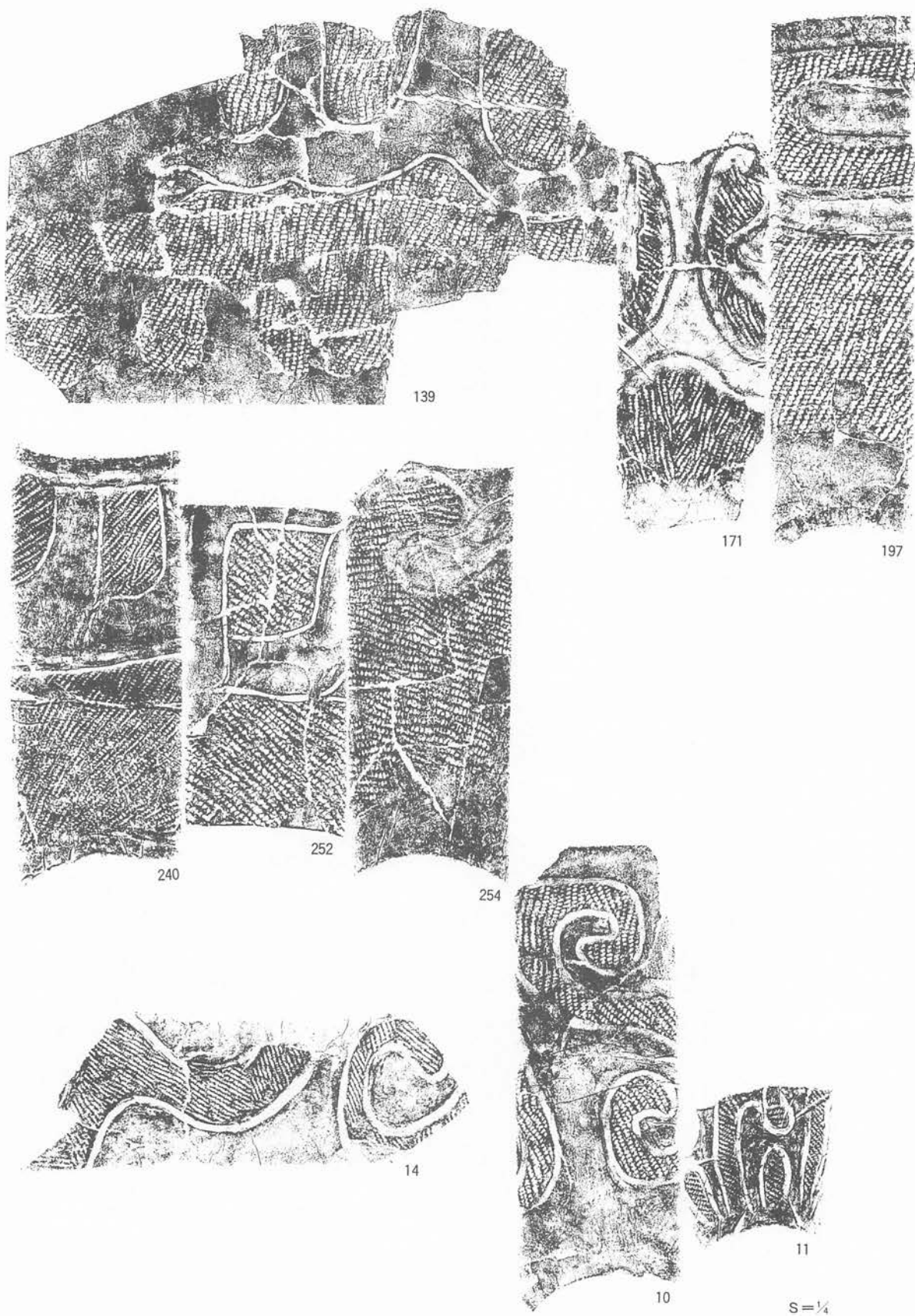
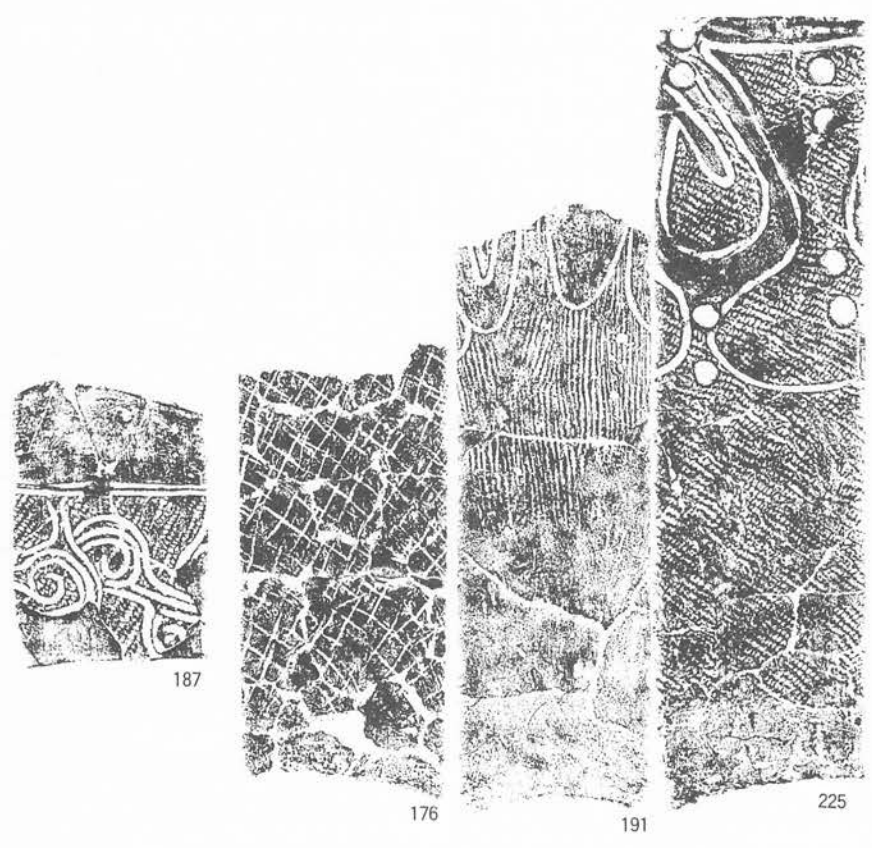
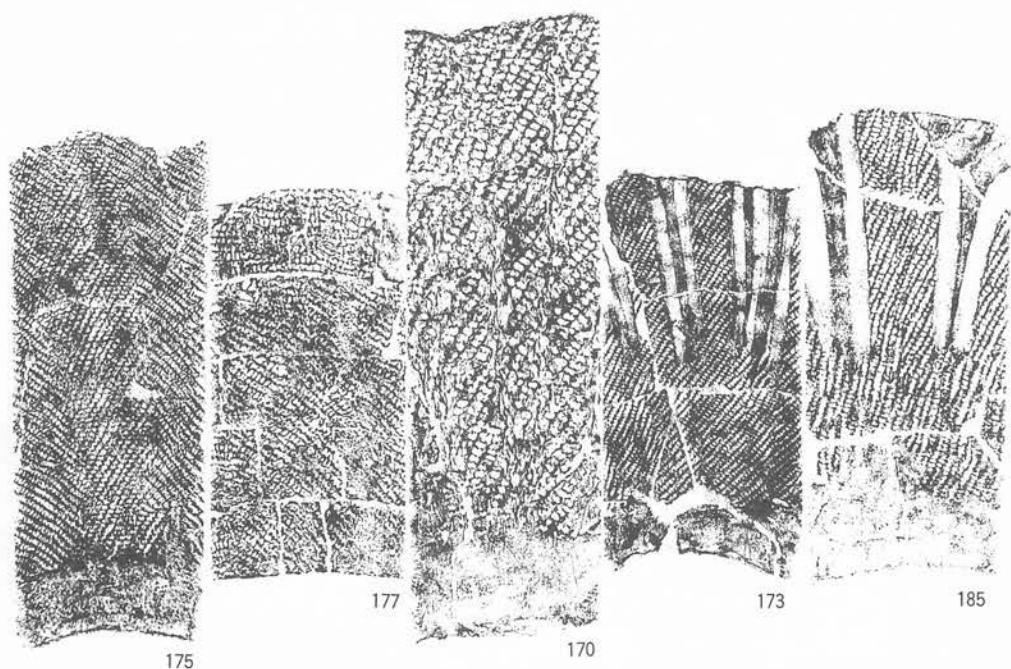


图7 土器拓本(6)



S = 1/4

图 8 土器拓本(7)

### 3. 下館銅屋遺跡出土の石器について

#### 1. 石器の種類と量について

下館銅屋遺跡の今回の調査区からは、遺構内埋土出土品、遺構外出土品を合わせて22,170点の石器が出土した。この中には、石核や原石も含まれる。原石としてここにあげたのは、黒曜石、チャートなど、剥片石器の素材として利用されているものである。以下で述べることは、特に断らない限り、遺構内外含めての出土遺物についてのことである。

##### (1) 種類 (器種)

遺跡からフレイクや石核が出土し、遺跡で製作されたと考えられる石器。

剥片石器：石鏃 (4,449点)、石錐 (273点)、石匙 (37点)、不定形石器 (1,650点)、利用されたフレイク (utilized flake、以下ではu.フレイクと略す。7,290点)、ピース・エスキュー (98点)、石核および原石 (6,831点)。

遺跡からはその製作加工にかかわる遺物が出土しないので、他の場所で製作され、遺跡に持ち込まれたと考えられる石器、石製品。

磨製石斧 (73点)、石皿 (313点)、石棒 (15点)、石刀 (2点)、各種石製品 (87点)。ただし、各種石製品には、円盤状石製品のように、製作に関わるフレイクなどは採集されていないが、その石材の入手しやすさから考えて、この遺跡で作られた可能性の高いものもある。

原石を持ち込み、簡単に加工されて、あるいは加工されることなく利用された石器。

敲石・凹石 (599点)、礫石器 (483点)。

##### (2) 量

剥片石器加工の過程で生まれたフレイクやチップが多量に出土したが、計量はしていない。ここで述べるのは、利用された石器と石核、剥片石器製作用と推定できる原石についてである。

黒曜石の原石や石核は5,204点出土した。石核は、両極打法で剥離されているものがほとんどである。表皮が残っておりネガティブな剥離面を持つものを石核とした。ポジティブな剥離面が残るものでも、厚さから考えて原石の1/2以上が残存していると思われるものは、更に石核として利用される可能性もあるので、石核に入れた。また、この中にはピース・エスキューとして利用されたかもしれないものも少量混じっている。

黒曜石の原石は、遺跡のある台地には自然状態では含まれていないので、加工されていない原石であっても、それが遺跡に存在すれば、即、人間が採集し、持ち込んだものと考えられる。遺構内埋土から出土した原石および石核は3,269点である。そのうち、未加工品は114点である。一部を打ち欠いただけのものは多数ある。

黒曜石以外の剥片石器材料の原石や石核は1,627点出土した。遺跡のある場所には、普通にはチャートやメノウ、頁岩といった自然礫は存在しないので、それらが存在すれば、人間が運んだものと考えられることができる。よって、未加工の自然礫でも、石器の材料とされた石材のものは、遺跡から採集されたものであれば、石器製作の目的で運び込まれた原石と考えた。調査過程では、どんな自然礫もまずは採集しておき、袋詰めする段階で、調査員が観察しながら、廃棄し、石器の材料に用いられた石材であれば、どんな形状、規模のものでも、遺物として認定した。それでも、その選択は、水洗する以前におこなわれていることなので、単なる自然礫

として、調査の過程で廃棄されたものもあるかもしれない。

利用されたもので最も多く出土したのは、u. フレイクで、7,290点出土した。フレイクの鋭い縁辺部に長さ2mm以下の剝落痕が連続して付くものをu. フレイクと考えた。スクレイパー的に用いた場合は、このような剝落痕がフレイクの片面のみに付くと考えられるが、ナイフのように、刃の両面に力が均等に加わる場合、剝落痕は刃の両面に付く場合があると考えられる。

したがって、そのような剝落痕を持つフレイクがあった場合、それもu. フレイクである可能性があるのだが、そのような剝落痕は、自然営力で、他の何かにフレイクがぶつかった場合でも付く可能性がある。したがって、そのような痕跡しか持たぬフレイクはu. フレイクにできなかった。よって、実際は、u. フレイクはもっと多く出土している可能性がある。

次に多く出土したのは、石鏃である。4,449点出土した。この92%にあたる4,096点は調査面積約3,000m<sup>2</sup>の東調査区から出土したものである。1平方メートルあたり1.37点の石鏃が出土したことになる。この数は、通常の遺跡の出土数に比べると特別多いと感じられる。だが、石鏃がどの土器使用期のものかは正確に把握できないし、後に述べるが、遺跡から出土する石鏃の数は実際の使用量とどのような関係にあるのかを把握するのは大変困難である。

次に多く出土したのは、不定形石器で、1,650点出土した。これらには、スクレイパーとして利用されたもの、ナイフとして利用されたもの、両方の機能の備えられたものなどがある。これらは、u. フレイクと同じように使われた場合もあろう。

敲石・凹石は599点出土した。この中には小破片も含まれている。完形品や1/2以上の破片は365点、1/4ほどの破片も含めると384点となる。1/4ほどの破片でも接合するか否かは確かめることができる。以上の384点はすべて異個体なので、遺跡には少なくとも384点以上の敲石・凹石があったことにはなる。また、石皿破片の転用品もいくらかある。

石皿は313点出土した。すべて破損品である。この中には小破片も含まれている。

それ以外の石器は300点以下の出土である。石錐273点、磨製石斧73点、石匙37点、円盤状石製品49点、石棒15点、石刀2点などである。

次に、出土した石器の量が示すことについて少し考えてみる。石器はその帰属時期を特定することが難しいが、出土土器や検出された遺構が最も多い、大木9式～大木10b式に、石器が伴うと仮定して考えてみる。

最初に石鏃について考える。大木9式～大木10b式の間の住居は45軒検出された。単純に全出土石鏃数を全出土住居数で割ると、1軒につき93点を所有していた数となる。とはいえ、1軒は数年は続いているのであろうから、1年に換算すると、更に少ない石鏃量になる。例えば、1軒が10年継続した家であったとすれば、1年に約9点の石鏃を所有したことになる。ただし、実際は、大木8b式から後期初頭頃の土器も比較的多く出土しているので、それらの時代の人々の使用した石鏃もこの数の中に含まれていると考えられる。だとすれば、大木9式から10式の時期に属する石鏃の数は更に少なくなる。

このことから、調査で出土した石鏃の数は、遺跡に暮らした人々が所有していた実際の数よりかなり少ない数字と考えるべきだということがわかる。石鏃が出土したという事実から、当時、石鏃を使ったなんらかの生活があったことを推測することはできても、量的なことは述べることができないことが多いのであろう。



下館銅屋遺跡に暮らした人々が所有し、使用した石鏃の数は実際は更に多かったと考えられる。出土数の4,449点という数字を使って、当時の石鏃使用活動の内容を具体的に推測することはできないが、次のようなことは推測できる。下館銅屋遺跡に数百年の間に暮らした人々は、4,449点以上の石鏃を持っていたはずであるということである。

石匙の出土数は37点で、剝片石器中では最も少ない。この石器は、柄の形態や、そこに糸の痕跡が残っていた例があることから、個人が携帯していた石器と推測されているので、その石器の量はそれを携帯していた人々の数と関係することが推測できる。しかし、石鏃の量の記述の部分でも述べてきたが、遺跡から検出された石器は当時使用されたもののすべてではない。したがって、この37点という数字は、あまり具体的なことを述べられる数字ではない。ただ、検出数が少ないことは、個人持ちの道具で、しかも、生涯一人が所有する数はかなり少なかった可能性を示唆すると考えることもできよう。

他に、個人持ちの道具で、個人の所有数が比較的少ないと推測できる道具に斧がある。下館銅屋遺跡からは73点の磨製石斧が検出された。そのうち、完形品や使用には耐えられるが一部欠損していると推定できるものが10点である。基部だけの全くの破損品が16点、刃部だけの破損品が10点、刃部先端の一部だけの全くの破損品が6点、胴部のどこかのほんの一部の欠損品が1点である。

以上、出土量とそれから考えられることを簡単に述べた。だが、出土した量はあくまでも、それぞれの石器の使用形態やそれぞれの生活でのそれぞれの文脈上で生まれることなので、それぞれの石器が出土するにおよんだ文脈を読みとらないことには、出土した石器の数から知ることができる内容は限られたものであるということをおぼえてはいけない。

## 2 残存状態

石鏃、石錐、石匙、不定形石器には完形品もあれば、破損品もある。

磨製石斧には完形品はほとんどない。刃の幅の狭い小型のものに少量完形品があるだけである。割れ方から、使用の最中に割れたものが多いと考えられる。破損品が接合した例は1例ある。破片には、刃だけが残っているものも、基部だけが残っているものもある。

欠損品のうち、今回採集されなかった欠損部分は、どこにあるか不明である。石斧全体の1/2以下の欠損品には、刃の部分が11点、基部が17点ある。欠損部分は、使用地で廃棄されたか、遺跡内に持ち帰られたかのどちらかであった可能性があるだろう。それは今回の調査では確かめられない。当時のそれぞれの人々の心の動きについては不明なので、様々な推測ができるだけである。ただ、刃の先だけがみつかった3381・3383・3387・3399・3407・3411・3412の例などは、その刃の先が小さいことから、それは遺跡内で破損し、廃棄された例と推測できよう。斧とはいえ、集落内でも用いられたのであろう。

また、斧と考えられるものの基部だけが出土した場合は、刃の部分はその使用地に廃棄された可能性を考えることもできるが、刃の部分だけが出土している個体の場合、その個体の基部が出土しない理由を考える前に、調査で出土する遺物量というのは、当時存在した実際の量よりも少ないのだということをおぼえておくべきであろう。

石皿の完形品は無い。必ずどこか割れている。その割れ方から考えて、それらは意図的に割られたと考えられる。二次的に焼けているものが多い。また、大抵の石皿破片は、砥石や凹石

として用いられていたり、何かに転用されている。このことから考えれば、これらは石皿として認識するよりは、それぞれ、砥石や凹石と分類すべきであろう。更に、当時の人々と同じように、単に、何かに都合の良い石材として見るべきなのかもしれない。石皿そのものについて考えるならば、使える石皿は、この遺跡を去る人々がどこかへ持っていったのであろう。

敲石・凹石は完形品も破損品もある。使用中に割れたと考えられる形態の割れ方が多い。

石棒・石剣はすべて破損品である。

### 3 石器素材の選択について

石器素材は、小型の剥片石器とそれ以外の石器とでは大きく異なる。小型の剥片石器は、黒曜石、頁岩、メノウ、チャート、珪化木などの、緻密でねばりけのある石材が選ばれている。一方、原石をそのまま利用する石器（敲石・凹石）や、原石を利用したり、原石を打ち欠く場合でも、大きな剥片を利用して作る石器（石皿・石棒・磨製石斧）は、上に述べた小型の剥片石器とは異なる石材が選択されている。

石器により異なる石材が選択されているのは、第一義的にはそれぞれの石器の機能、用途に合わせられているのであろうし、第二義的には磨製石斧や石皿などのような、製作地が遺跡以外であると考えられる石器の入手経路、つまり社会環境の問題とも関係しているのであろう。

以下に、石器ごとの石材をまとめておく。小型剥片石器以外の石材の鑑定は佐藤次郎氏によるものである。佐藤氏は石材産地の推定もおこなったので参考までにそれも添えておく。次に述べる数字は、特に断らない限り、実測図や写真を掲載したものだけの観察結果である。

	黒曜石	頁岩	チャート	メノウ	珪化木	凝灰岩	蛋白石	ホルンフェルス
石鏃	402	163	89	53	4	4	1	
石錐	8	64	8	7	1	1		
石匙	2	16	1	1				
不定形石器	15	239	5	20			2	

石鏃では黒曜石が56%、頁岩が23%、チャートが12%、メノウが7%であった。石鏃では黒曜石が圧倒的に多く用いられたことがわかる。遺跡から出土した全個体4,449点では黒曜石は2,936点で66%を占めることになる。石錐でも10%だけ、黒曜石は利用されている。だが、全出土数273点中では、43点が黒曜石製で、16%となる。石匙は37点が全出土数であるが、黒曜石製は2点で、5%である。小型の剥片石器でも、より大きくなるにつれて、黒曜石の利用度は下がる。不定形石器では84%が頁岩製である。ただし、黒曜石のものは小さなものである。

出土している黒曜石製の石核や原石で最大のものは、4.9cmより少し大きなものだが、出土した石核や原石の大方が4cm以下である、長い石錐や、大きな石匙、不定形石器などを作るには適していない。一方、黒曜石製の石鏃の最長のものは3.25cmである。黒曜石の原石は、石鏃を製作することを第一の目として採集されていたと考えることができる。

藁科氏の黒曜石の原産地同定による（本報告書第VI章参照）と、蛍光x線分析では、隕石系の成分であるとのことである。ただし、花泉で採集されるものも、水沢市折居、隕石町で採集されるものも皆隕石系である。したがって、蛍光x線による成分の分析では、隕石系黒曜石が

採集できるいずれの産地で採集されたかは不明とのことである。下館銅屋遺跡出土のものは、遺跡からの近さを考えれば、遺跡に最も近い、花泉町内の滝沢層からの採集のものが多くと考えるのが最も自然である。

敲石（大型・中型のもの）：

普通輝石・紫蘇輝石安山岩と硬砂岩がほとんどである。普通輝石・紫蘇輝石安山岩は奥羽山地産、硬砂岩は北上山地産である。

敲石（小型のハンマー・ストーン）：

粘板岩、珪質凝灰岩がほとんどである。どちらも北上山地産である。

凹石（大型・中型の敲石と同一であるものがほとんど）：

普通輝石・紫蘇輝石安山岩がほとんどである。奥羽山地産である。

磨石（大型・中型の敲石と同一であるものが多い）：

硬砂岩が多い。普通輝石・紫蘇輝石安山岩もある。硬砂岩は北上山地産、普通輝石・紫蘇輝石安山岩は奥羽山地産である。

石皿（砥石ではないタイプ）：

普通輝石・紫蘇輝石安山岩（奥羽山地産）、デイサイト（石越周辺産）である。

石皿（砥石タイプ）：

デイサイトが多い。石越周辺産である。

砥石タイプには他に、溶岩（普通輝石・紫蘇輝石安山岩）も利用されている。奥羽産地産である。

石皿や砥石は、硬く、多孔質である石を利用している。多くの孔は、ちょうど「おろしがね」様の機能を持つ。それに適した石は、安山岩である。

ただ、石皿が、磨くことにより、用いられるのであれば、砂岩でもよいかもしれない。石皿の使用面が滑らかになっているのは、硬いものと接触する使用形態だからであろう。多くの孔は、粉を挽くのに適している。ただし、粉を挽く場合、摺る用具も用いるのだが、その用具が磨石、摺石ということなのだろう。多くの場合、大型・中型の敲石がそれに相当する。

石皿は、どこかで生産された後に、下館銅屋遺跡に入ってきたと考えられる。それは、石皿を製作した時に生じるとされるフレイクが遺跡には存在しないからである。

一方、大型・中型の敲石の材料は、河原石である。そして、それらの材料となる使用されていない河原石は遺跡から多量に出土した。このことから、敲石に利用された河原石は、使用に際して採集されるのではなく、あらかじめ多く収集されていると推測できる。

石皿は、大きな岩を剥離して製作されているようである。したがって、岩の産出地で製作がおこなわれていると推測できる。そして、製品が遺跡に入ってきているのであろう。

剥片石器の素材は、黒曜石、頁岩、チャートなどである。黒曜石は、現在でも、遺跡から1kmほど離れた滝沢層と呼ばれる礫層で採集できる。縄文時代にも、その層が露出している場所さえあれば、黒曜石の採集は可能であったろう。遺跡から出土する原石で最も多いのは、黒曜石である。また、遺跡から出土する石鏃に利用されている最も多い石材は、黒曜石である。

ただし、石匙や石錐は黒曜石の割合は低い。それは、滝沢層で採集される黒曜石の原石の大きさに規定されているようである。

遺跡から出土する黒曜石原石は丸い転石で、直径4 cm以下のものがほとんどである。最大のもは一部が剝離されているものだが、 $(4.9) \times (4.4) \times 2.5\text{cm}$ 、最小は $1.5 \times 1.1 \times 0.8\text{cm}$ である。最も多いのは2～3 cmの円礫である。これらの原石の大きさから、それらから製作できる石器は、石鏃か小さな石錐や小型の不定形石器であることが推測できる。出土した黒曜石製石鏃の最大ものは長さが3.25cm、最小のものは長さが1.00cmである。黒曜石製石錐の最大のもの長さが3.95cmである。

一方、石匙の多くは直径4 cmの原石からは作れない大きさである。また、不定形石器のほとんども、それらの原石からは作れない大きさである。実際、石匙や不定形石器のほとんどは頁岩製である。

#### 4 使用状況について

使用のあり方までわかる遺物は少数である。ただし、表面に残された痕跡から、使用形態を推測できるものがある。

【石皿】石皿は多孔質のデイサイトがもっぱら用いられている。多くは食用の粉や顔料などの製粉に用いられたと推測できる。表面の小さな凹凸の規模から2種類には分けることができる。

【敲石】石皿破片を再利用したものが比較的多い。これなどは、集落内に落ちていた遺物を再利用した場合もあるだろう。

【小型の敲石】石鏃などを作るための剝片を取るための敲石と推測できる。黒曜石などの小円礫を両極打法で割るには、重さ60gほどの小型敲石がちょうど良いと考えられる。

#### 5 石鏃についての記述

以下には、下館銅屋遺跡から、最も多量に出土した製品である石鏃について考察をおこなう。

石鏃は、出土した遺構ごと、大きさの小さいものから大きいものの順に並べた。最初に述べておけるが、「遺構から出土した」とはいえ、それらの出土品は、遺構に意図的に入れられたものではなく、遺構が埋められる、あるいは埋まる過程で、土と共に入ったものである。したがって、その遺構の性質を示すものでもなく、その遺構を使用した時点での使用品でもない。

住居跡から出土したものは、埋土の上部出土のものから下部出土のもの順に並べた。土器破片の堆積状況を見ると、5-36-SIのように、床面に近い埋土からは、大木10b式が出土し、床面から遠い埋土からはそれよりも更に新しい時期のものが出土している。したがって、石鏃も、上部出土のものの中には、門前式などの後期初頭に属するものが含まれていると推定することができる。ただし、それぞれの土器に伴う石鏃がどの個体であるかはわからない。

##### (1) 観察される石鏃の属性

石鏃は矢の先に付けられてはじめて、製作者の目的にあった道具として完成する。したがって、石鏃の(1)重さ、(2)長さ、(3)幅、(4)厚さ、といったよく観察される4つの属性は、柄に付けられて、矢として完成して意味を持つ性質である。この4つの属性のうち、重さと長さの二つは、使用過程において変化させられていくと考えられている。つまり、使用による石鏃先端の破損部を再加工し、石鏃全体としては短くなったものを再び利用することがあると考えられており、そのように観察されてもいるのである。長さが変化すると、重さも変

化することである。このことから、厚さがある一定の石鏃群では、重さはそれほど気にする必要のない属性であると考えられることができる。全出土石鏃を見ると、厚さが0.40cm未満のものの場合、最も軽いものは0.13g（長さ1.2cm）である。厚さが0.40cm未満で重さが1gを越すものは2点しかなく、それらは長さが2.7cmのもの、3.85cmのものである。厚さが0.45cm未満のものでも、1gを越す重さのものは16点しかない。しかも、それらの長さは、皆2cm以上のものである。厚さ0.45cm未満のものは全部で97点あるのだが、そのうち81点は長さが2cmを越えるものでも、重さは1g以下なのである。例えば、2586は、長さ3.05cmで、重さは0.89gである。

つまり、厚さ0.45cm未満の石鏃の場合、大方は1g以下で、重量差は更に小さい。これは、石鏃を柄に装着するとき使用するアスファルトなどの接着剤、紐、あるいは根ばさみ等の重さでいくらかでも調節できる違いでしかないだろう。勿論、その1g以下の違いが、用途を限定してゆくのだという意見もあるかもしれないが、それは先に述べたように、一つの石鏃の長さが増減し、重量も増減してなお利用されている事実や、石鏃の中に重いものも軽いものもある事実から、様々な用途があったのだと考えればよいのである。

ただし、厚さが0.60cmを越えるもののはほとんどは2gを越すものである。4～6gのものも多い。これらも微々たる差とも言えるが、薄いタイプの石鏃の数倍の重さなので、これらは機能、用途の異なる道具であった可能性もある。重さは、厚さと関連させて考える必要があろう。ただ、この種のもののは未製品とも考えられているものなので、後にもう少し詳しく述べる。

## (2) 形態分類

柄への装着法の違いを反映する形態として、大きくは有茎のものと無茎のものに2分できる。ただし、石鏃に付着したアスファルトの痕跡（2217・2287・2849）から考えると、有茎も無茎も同じ形態の柄に同じ方法で装着されていた例もあることが推測できる。また、例えば、2377・2858・2862のように、茎のあるものでも、それは1～2mmほどの長さで、あまり装着にも関係あるとは思えないものもある。したがって、形態の分類が示すことは、物理的機能差ではなく、文化的差を示しているだけの可能性もある。ただし、茎部がそれなりに長いもの（2350・2678など）は、装着形態の違いを示しているとも考えられる。

出土したのは、有茎のものが264点、無茎のものが4,185点である。圧倒的に無茎石鏃が多い。他に、有茎石鏃、無茎石鏃の中でも、特徴的な形態をしたものが複数ある場合がある。例えば、2321・2342・2565・2601、2845・2850、2325・2836のような場合である。このようなものの場合も、個人的な趣味や文化的な趣味など、個別の何かを示している可能性もあろうが、今回は細かな分類はおこなわなかった。

ただし、簡略にした分類を以下のようにおこなった。

無茎石鏃（凹基無茎・平基無茎・凸基無茎）

有茎石鏃（茎部が5mm未満のもの＝1型・茎部が5mm以上のもの＝5型）

## (3) 大きさ・重さ

最小の石鏃は黒曜石製の無茎石鏃（2823）で、長さ1.05cm、幅0.80cm、厚さ0.30cmである。最大のものは頁岩製の無茎石鏃（2854）で、長さ5.85cm、幅1.75cm、厚さ0.60cmである。

【長さ】図示した完形品、ほぼ完形品727点では、長さが1.00～1.40cm未満のものは53点で約7%だが、1.40～1.45cm未満のものは26点、1.45～1.50cm未満のものも22点で、これらの値より少

し大きなものが最も多く出土した。長さ1.40～2.05cm未満のものが432点で、全体の60%を占める。

【幅】図示した完形品、ほぼ完形品727点では、幅の最も狭い値は0.80cmで、5点あった。0.80～1.00cm未満のものは16点だが、1.00cmのものは19点あり、1.00～1.20未満のものは123点である。そして、1.00～1.85cm未満のものは671点で、全体の92%を占める。特に、1.20～1.55cm未満のものは421点で全体の58%である。

ところで、石鏃の幅の値が示していることは、矢の柄の幅の値でもあろう。つまり、石鏃の先端部の両側基部方向にある「かえり」状の尖った両端部が、柄からいくらかでも突出し、何かの機能を持っていたとすれば、石鏃の幅は、それが装着された柄の幅よりもいくらかは大きかったと考えるべきであることになる。そうであるとすれば、最小の値であった0.80cmでも、それが装着された柄の幅よりも広がったことになるのかもしれない。したがって、柄の幅はおよそ0.80cm以下であったと想定できよう。

あるいは、石鏃の先端だけが出ていればよいという形状に作られる矢もあったかもしれない。それらは、(2193・2658・2863)のように、「かえり」が無いもの、あるいは、柄に装着すると、「かえり」の部分がなくなる形状のもの(2215・2561・2701・2742・2836・2847)から、考えることができる。それらの石鏃の幅が、0.95～1.40cmほどであることから、柄の幅は0.80cmほどであることが推測できる。

【厚さ・重さ】厚さは0.25～0.40cmのものが圧倒的に多い。遺構内出土品2,929点の観察結果では、0.25～0.45cm未満のものが2,142点あり、全体の73%を占める。0.60cm以上のものは、291点で、約10%である。しかしながら、0.60cm以上の厚さのものがあるということは、石鏃状のものには薄いものと厚いものがあると考えられる。

厚さ0.25～0.45cm未満で、長さ3.0cm以下のものの重さは、0.15～1.61g、平均0.50gである。厚さ0.60cm以上で、長さ3.0cm以下のものの重さは1.27～6.52g、平均2.46gである。

ただし、厚いものは複数の論考で推測されているように、「未成品」と考えられないこともない(註1)。薄いタイプの石鏃の多くは、製品に残された剥片剥離時の剥離面の有無の観察から、石鏃製作に選択されるフレイク自体がすでに完成品に近い厚さである場合が多いと考えられる。

そうであるならば、製品を作るのに厚いフレイクが選択されている理由は、薄い石鏃を作るためではなく、厚い製品を作ることにある可能性があろう。厚いタイプでも厚さが0.60～0.80cmぐらいで、全面が剥離され、複数存在するのものは、「未成品」ではなく、独立した種類の製品の可能性も想定する必要があるのではなかろうか。その場合、矢の柄の幅が0.80cm以下であるとすれば、0.80cmの厚さのものを装着するのは大変困難である。したがって、それらは、弓矢に用いられたのではなく、握って使うタイプの、槍や「やす」状のものである可能性もあろう。それら厚いものは、重さも薄いタイプの石鏃に比べると大変大きい。

#### (4) 製作法について

下館銅屋遺跡からは、多量の石鏃が出土した。石鏃の完成品のみならず、未成品と考えられるものや、製作途中に出たチップや、製品製作に用いるフレイクを剥離した後に廃棄された石核も多く出土した。また、未使用の黒曜石原石も遺構内出土遺物だけで114点出土した。少な

くとも黒曜石製の石鏃は、遺跡で製作されものが多量にあることを知ることができる。

出土品の中に、その形態の特徴から、未成品と考えることができるものが数点ある。2660・2686・2694などは、加工途中でなんらかの理由により製作を放棄されたものと考えた。また、完成品と考えられるものの中に、製作に用いる剥片選択の条件を示すものがいくつかあるので、それを示しながら、観察された製作法の一つを述べてみる。

石鏃の表裏両面に剥片を剥離したときの面が残されているものがある(図1)。そのような剥離面が残された状態で完成品と考えられる場合、製作者は、剥片選択時に既に完成品の厚さを決めていたことになる。実際、両面とも調整剥離が全面におこなわれているものも含め、完成品の厚さは、0.25~0.40cmのものが多く、両面に剥片剥離時の面が残された製品の厚さも0.25~0.40cmに入る。厚さ0.25~0.40cmの石鏃の製作について考えると、剥片剥離時に、できるだけ完成品の厚さに近い剥片を剥離しようと努めたであろうことが推測できる。このことから、剥片選択時に、すでに完成品にできるだけ近いものを選ぼうとしていることが読みとれる。

以上のことから、理想の剥片を剥離することを石鏃製作の第一手順とすることができよう。ただし、両面あるいは片面が入念に調整剥離された完成品が多いことを考えると、剥片選択時に選択された剥片がどのくらい完成品の厚さに近いかは正確には言えない。全面を入念に調整された完成品の厚さには、0.30cmほどのものが最も多い。それらを製作するのに選択された剥片は0.30cmよりは厚かったことがわかる。

#### 両極打法

そのような、薄くてほぼ均一な厚さ、つまり打瘤があまり厚くない剥片を、小さな円礫の原石から剥ぐには、両極打法が適している。遺跡から出土している黒曜石の原石は皆、石鏃の大きさに近い円礫である。そして、出土している黒曜石の石核や剥片は、両極打法で割られたものが多い。

#### 小型敲石

下館銅屋遺跡で黒曜石製の石鏃を多量に製作し、その製作のための剥片が両極打法で割られたのであれば、当然そのときに用いられたハンマーや台石も複数あるはずである。それについて、少し推測しておく。下館銅屋遺跡からは小型の敲石が20点ほど出土した。凹石は多量に出土した。小型敲石が両極打法をおこなうときのハンマーで、凹石がそのときに用いられる台石ではなかろうか。筆者が下館銅屋遺跡から出土した凹石に用いられている材質と同じ石を台石に用い、実験したところ、台石には簡単に傷が付いた。一回の加撃で1カ所の傷が付いた。

#### (5) 柄への装着の仕方について

柄に装着する時にアスファルトを用いた痕跡が残るものが6点ある。2181・2287をもとに考えると、石鏃の左右の「かえり」の先端部は柄からあまり突出していない可能性がある。遺物番号2334の場合は、2mmぐらいつつ左右に「かえり」が突出していた可能性がある。

#### 6 磨製石斧について

##### (1) 観察される磨製石斧の属性

磨製石斧には刃の幅が2cm以下のものや、刃の幅が5cmを越すものもあり、それらは同じ名称で呼ばれているが、機能、用途に違いがあったと考えられる。また、石で出来た部分はあくまでも組み合わせ道具の一部である。つまり、普通われわれが磨製石斧と呼んでいる石で出来た部分は、1:刃、2:柄に装着する部分(以下では基部と呼ぶ)である。したがって、斧としての道具自体は、石で出来た部分を樹木の枝などの柄に装着してはじめて完成品となるので

ある。よって、以下では、柄に装着され、使用される時の状態を想定できる属性を観察することにする。

観察される属性には、全体の形態、全体の長さ、全体の幅、全体の厚さ、刃の幅、刃の形状、基部の形態、基部の幅、全体の重さなどである。他に石材も大切な属性である。この中で、柄に装着された場合の機能、用途の違いを反映しそうな属性は、1：基部の幅、2：刃の幅、3：全体の厚さ、4：全体の重さである。ただし、4の全体の重さという属性は、そのほとんどが欠損品である出土品の観察では、正確なことを知ることができない。ただ、ある重さ以上か以下かということは、大きさに関係する他の属性から推測することができ、知る必要がある内容は、それからわかる内容でほぼ十分である。

## (2) 法量と形態による分類

出土品全73点の観察により、1：刃の幅、2：全体の平面形、3：(基部厚さ/基部幅)×100の値、この3つを組み合わせることにより、大きくは3つのタイプに分けることができる。この3つのタイプは、3つのそれぞれの用途に用いられると推測できる。

### 1：刃の幅

刃の幅は約Ⅰ：2cm以下で1cm台が中心のもの、Ⅱ：約2～3cmのもの、Ⅲ：約3cm以上のものの3つに分けられる。Ⅲの場合、多くは4～5cmである。

### 2：全体の平面形

石器全体の平面形がほぼ長方形のもの(0型)とばち形(A型)のものに2分できる。0型は基端部の幅と刃部の幅がほぼ同じものであり、A型は基端部の幅が刃部の幅の1/2～2/3であるものと言い換えることもできる。0型には石器中央がやや膨らむものも含めた。あくまでも、基端部の幅と刃の幅を重視するのである。これは、用途差の推測を可能とする、柄の形態や柄への装着法を考えた分類をおこなうためである。

### 3：(基部厚さ/基部幅)×100の値

この値は、刃の幅による分類のⅡとⅢのものについて有効な値である。(基部厚さ/基部幅)×100の値が約40以下のもの(薄型)と約50以上のもの(厚型)とに2分できる。厚型のは、基部がしっかりしており、刃の幅も広く、重いものが多い。この値が高いものは、しっかりした斧として利用されていた可能性が高い。なお、基部とは、柄を着ける部分のことである。

以上の3つの属性分類を組み合わせると、下館銅屋遺跡から出土した73点のほとんどは、以下のような3つのタイプに分けられた。

Ⅰ0型：鑿のような加工具として利用されたと推測できる。刃の平面形はほぼ直刃である。

ⅡA薄型：加工具として利用されたと推測できる。刃の平面形はほぼ直刃である。

ⅢA厚型：斧として利用されたと推測できる。刃の平面形は円刃が多い。斜刃のものも少量ある。

## (3) 石材の選択と製作場所について

佐藤二郎氏の鑑定によると、下館銅屋遺跡から出土した磨製石斧に利用された石材は、すべて遺跡付近で入手できるものではない。その多くは、北上川を渡った北上山地にある。

また、遺跡から出土した剥片や自然石には、磨製石斧の石材として利用されているものはなかった。磨製石斧は、下館銅屋遺跡以外の場所で製作され、移入されたと推測できる。



ところで、磨製石斧の石材には7種類ほどの石が選択されている。また、石斧の形態も統一されていない。このことから、石斧の生産地は1ヶ所ではないと推測することができる。また、石斧が使用された時期がどの土器型式の使用時期であるかは不明であるが、大木8b式から大湯式などの後期前葉までの間に使用されていたものである可能性がある。したがって、遺跡から出土した73点の石斧は、製作された時代も異なるものが含まれていもいと推測できる。石斧の移入のルートなども時期によって異なっていたかもしれないが、今はそれについての考察はできない。

次に、佐藤二郎氏による、石材産地推定を述べておく。

粘板岩：北上山地西縁（薄衣北部）：古生界

緑色細粒凝灰岩：北上山地（前沢東部から水沢東部にかけて）：古生界

硬砂岩：北上山地西縁：古生界

安山岩質凝灰岩硬砂岩：北上山地（鶴ノ木変成岩？）：古生界

流紋岩質安山岩硬砂岩：北上山地：古生界

玄武岩質安山岩：北上山地（千厩から水沢東部）：古生界

玄武岩質凝灰岩硬砂岩：北上山地（鶴ノ木変成岩、水沢東部）：古生界

蛇紋岩：北上山地（宮守村？）：古生界

デイサイト：宮城県石越町：新第三系中新統

（註1）東久留米市教育委員会1994、四柳1997など。

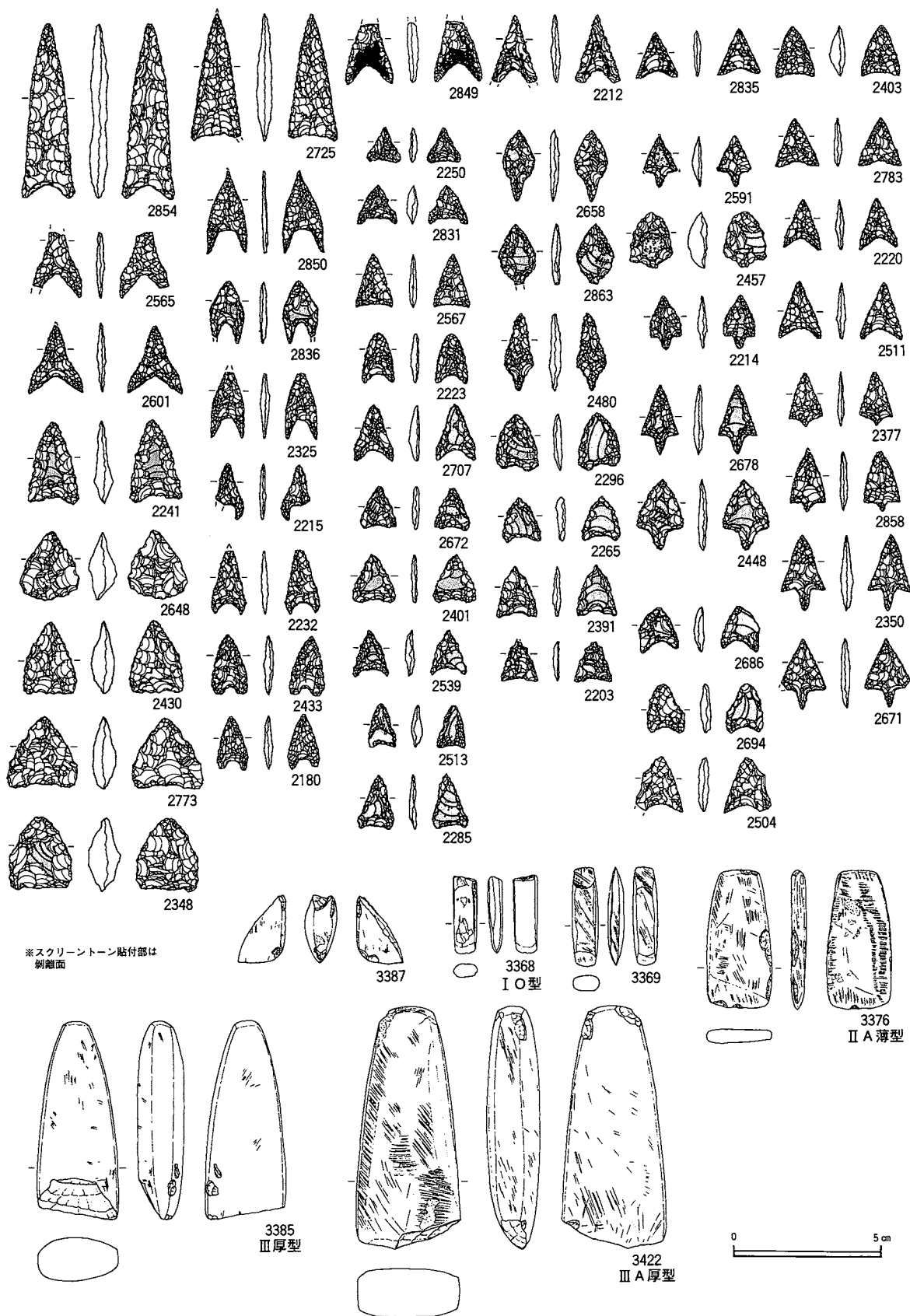


図1 下館銅屋遺跡出土の石鏃と磨製石斧

## 4. 遺跡の時代別遺物量の変化と土地利用の変遷—まとめにかえて—

### 1. はじめに

今回の調査では、下館銅屋遺跡として把握される場所の一部を調査したに過ぎない。また、それぞれの時期の生活圏を考えるならば、遺跡として把握されている場所もその生活に必要な場所のほんの一部に過ぎない。したがって、今回の調査で知ることのできたことは、それぞれの時代に遺跡に暮らした人々の生活の一部である。

だが、我々が知ることができるのは、当時の生活の一部でしかないにしても、今回の調査で知ることができたことは多い。以下には、それぞれの時代の人々の生活を考える一つの方法として、土地利用の変遷を見てみる。同じ場所を時代によって違った利用をしていたということは、それぞれの時代の生活内容の違いを示しているであろうし、時代ごとの自然環境の変化をも示していることになるだろう。

### 2. 土器型式から把握される遺跡の利用時期

最初に、遺跡から出土した土器型式とその大ざっぱな出土量を述べる。今回の調査では、遺構どうしの新旧関係を把握できるような状態で検出された遺構は少ない。ただし、遺構内から出土した土器型式をもとにした、型式ごとの遺構の帰属時期を述べることはできる。この場合、時間の単位は土器型式である。土器型式ごとの存続期間の絶対時間の違いは不明である。したがって、たとえば、ある型式の土器の量あるいは、それらを含む遺構の量が多い場合、その量を時間の長さ、と解釈することも、限られた時間内での使用人数の多さと解釈することもできる。それについては、ここでは触れない。ここで述べるのは、ただ単に、どの型式の土器が最も多く用いられていたかを示し、どの型式の土器を用いた生活が量的に最も多かったかを述べるだけである。

また、遺構から出土した遺物にしても、多くの場合、遺構を埋める土の中に単に紛れていたにすぎないものがほとんどである。遺構内出土の遺物は、「その」遺構の中に、意図的に入れられたわけではない場合がほとんどなので、ある遺構とその遺構内埋土出土の遺物との関係は、単に、その遺物とその遺構の埋土に入っていたということ、以外は読みとれないことが多い。ただ、ある遺構が埋められた時に、その遺構の周囲にあった土で埋められた場合は、遺構内埋土出土の遺物は、それらの遺構の周囲にあった土の状態を示していることになる。したがって、土の中に入っていた遺物は、遺構が埋められた当時にはすでに土の中に入っていたわけで、細かく考えるならば、遺構が埋められた「時期」と同じか、あるいはそれより前の「時期」を示しているはずである。これらのことから、遺構内出土遺物が示す時期は、場合によっては、遺構が埋められた時期とは異なることもあるだろう。

以上のように考えれば、住居跡に埋められていた埋設土器炉や埋設土器などのように、その遺構の切り合い関係などから、細かな時期差を把握できる可能性があるものの例を除けば、今回の調査では、どの型式の土器が多く出土したかを把握することしかできないことになる。それでも、土器型式ごとの出土量の違いは、間接的には土地利用の変化をも語ることになる。

全出土土器破片の型式を特定するのは難しい。遺構内出土土器を採集した遺構ごとの袋のうち、型式を特定することのできたものの袋数を以下にあげておく。最初に次の数字の見方を述

べておく。

たとえば大木7式が4袋となっているが、それは、その型式の頃に使用されていた遺構が4つあるということを示しているのではない。大木7式土器破片を1破片でも含んでいた袋が4つある、という意味である。遺構内出土遺物を採集した袋は1遺構につき1袋の場合が多いが、1つの遺構から出土した土器破片を複数の袋に取り上げた場合もあるので、その型式の土器破片を含んでいた遺構数は1～4である可能性がある。

また、より新しい時期の遺構からは、それより古い時期の土器破片も出土する。したがって、たとえば、最も多くの袋に入っていたのは大木9式土器であるが、大木9式土器使用期の遺構が最も多いことを即示しているわけでもない。より新しい時期に使用された遺構には、より古い時期の遺物が含まれる。したがって、大木9式土器破片は、大木9式土器使用期・大木10式土器使用期・縄文時代後期土器使用期・平安時代のそれぞれの時期の遺構から出土していた。それは大木9式土器が多量に散乱していたことをも示している。たとえば、大木9式土器よりも古い大木8b式土器破片が含まれていた袋は624である。土の中に散乱していた土器破片の絶対数が大木9式土器破片よりも少なかったために、大木8b式土器破片を含む遺構数が少なかったのである。

以上のようなことから、次の数字は、即その型式の土器使用期の遺構数を示すわけではないが、散乱していた土器破片の量の傾向をある程度示していることにはなる。

#### 早期末～前期

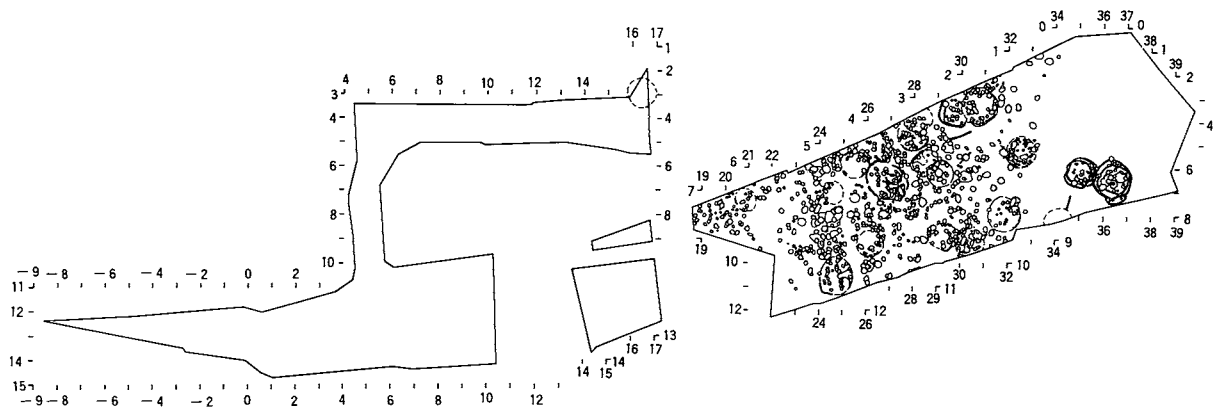
前半	15袋
大木7式	4袋
大木8a式	10袋
大木8b	624袋
大木9式	3216袋
大木10式	2476袋
後期初頭～前葉	554袋
土師器	652袋

### 3. 縄文時代早期から前期前半頃の遺構

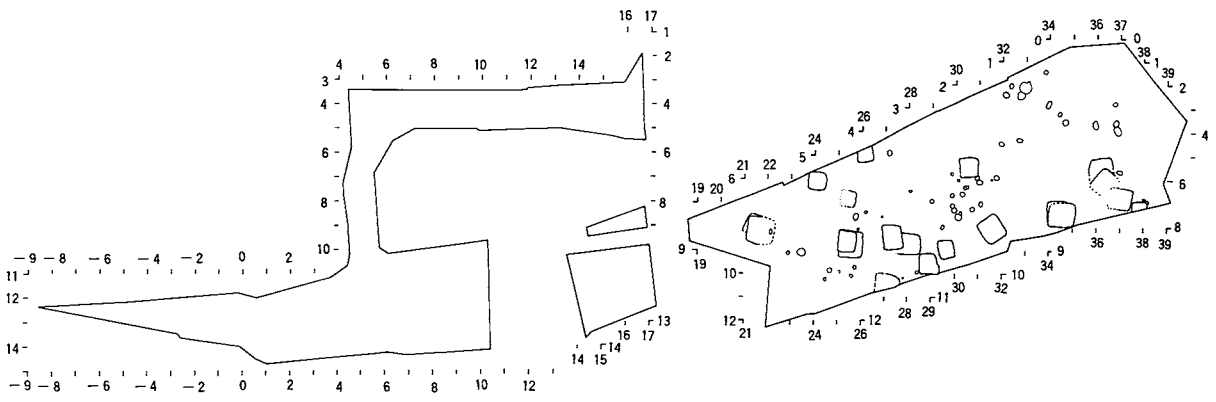
この時期の土器の出土量は多くはない。しかも、その分布も限られている。東調査区ほぼ中央の北辺あたりからその東部にかけて土器破片がいくらか散在するくらいである。ただし、4-28-P9やその周辺からは、早期末から前期前葉にかけてのいずれかの時期のもので推測できる表裏縄文の尖底土器片が比較的まとまって出土した。また、ほぼ同じ時期のものであると思われる胎土中に繊維が含まれていたであろう土器片は、東地区の北東部ではいくらか散在していた。

これらの時期の遺構と考えられるものに落とし穴がある。それらの落とし穴からは、時期を確定することに使えるような遺物は出土していないが、それらの落とし穴の埋土が自然堆積土であることから、次のように考えることができる。

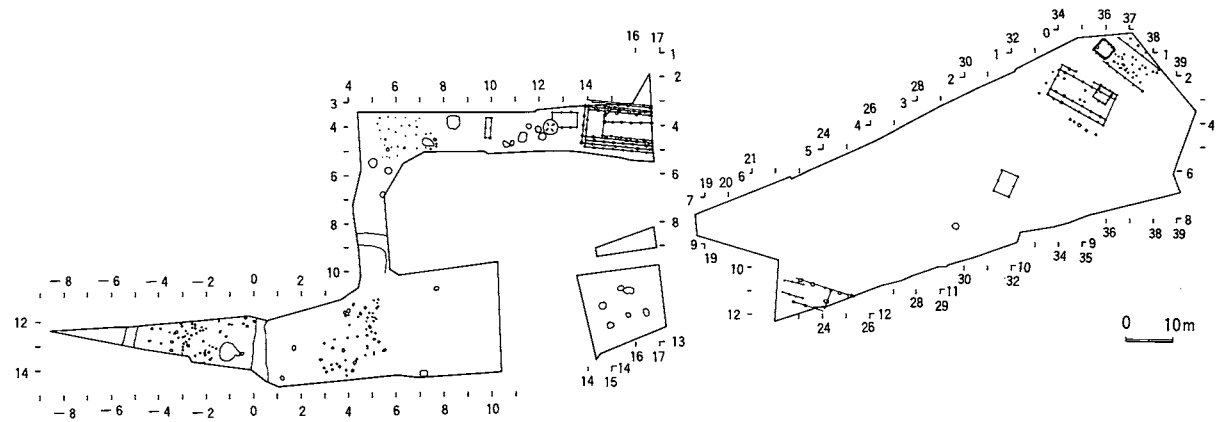
結論から述べれば、それらの落とし穴は、縄文時代早期末から前期前葉にかけての時期のものであると考えられる。その理由は以下である。落とし穴は自然堆積土で埋まっていた。このことから、それらの落とし穴は、必要ではなくなった後、放置されていたことがわかる。また、それらの



縄文時代早期～後期前葉



平安時代



中世末頃

図1 土地利用の変遷

堆積土には、その最上部を除いて、人工遺物は入っていなかった。落とし穴が利用されていた時期や、その使用が終わった直後の時期、落とし穴の周辺では、物を頻繁に使うといった内容の人々の日常生活はなかったと推測できる。落とし穴の周辺からは大木8b式～大木10b式にかけての土器が多く出土するが、それらの土器破片が自然堆積土中になくということは、それらの土器がまだ周囲の土の中にはなかった頃に、それらの落とし穴が利用されていたことになる。そして、あまり多くはないが、それらの遺構に比較的近いところから早期末～前期前半にかけての土器片が出土している。これらのことから、それらの落とし穴が早期末～前期前半にかけての時期に利用されていたのではないかと考えた。

早期末から前期にかけては、調査区は動物が歩くような場所ではあったが、人々の生活からは少し離れていたと推測できる。

#### 4. 縄文時代中期中葉

縄文時代中期中葉の土器は比較的多くある。大木8aは少ないが、大木8bはかなりある。ただし、確実にその時期の遺構と言えるものは少ない。ただ、採集された土器片の量や、いくらかある埋設土器などの存在を考えれば、調査区近くに住居跡があると推測できる。

#### 5. 縄文時代中期末葉

今回の調査区から最も多く出土した土器は縄文時代中期末葉のものである。中でも大木9式と10a(新)段階・10b式が多い。そして、検出された遺構のほとんどはこれらの時期のものである。それらの時期の住居が45棟ほど検出された。ただし、同じ土器型式の時代に建っていた住居は大木9式期が3軒、最も多い大木10b式期で8軒ほどであった。調査区は当時の居住地の一部にしかすぎなかったと考えることができるので、住居跡が3軒しかない大木9式の時期には人々が少なかったと考えるより、その時期の出土土器の多さから、住居が建てられる場所が今回の調査区の外にあると考えるべきなのであろう。東調査区の中央部北辺寄りに大木9式時使用期の住居跡は集中し、南寄りからは未検出なので、その時期の住居は東調査区の中央部北辺のすぐ北側にあったと考えられる。

また、それらの時期の土坑が多数検出された。それらのほとんどは人為的に埋められたものである。ただし、その用途がわかったものは無い。6-30-P18は、土坑底の中央より壁に近い場所に、朱で色どられた壺が置かれていた。土坑中央底には、腐食後土や水分となるような有機質のものがあつたのかもしれないが、不明である。墓の可能性もあろうが、明らかにできなかった。

6-30-P18

墓?

土坑の多くは、住居とは重ならない位置にあった。ただし、住居は長期にわたり場所を変えて作られた。よって、土坑も、それぞれの住居にともなう時期に、それらの住居には重ならない位置に作られてはいたのだが、時期の異なる住居跡とは重なる土坑もある。それでも、土坑は集中して作られる場所がいくつか決まっており、住居が作られる場所とは区別されていたようである。それぞれの性質によって遺構を作る場所を限定していた傾向は、埋設土器の設置場所からもうかがえる。それについては、次に更に詳しく述べる。

#### 6. 縄文時代中期の埋設土器が埋められた場所と住居の位置について

埋設土器には、家の中の床下に埋められたタイプ、家の外に埋められたタイプがあるが、ここで注目するのは、家の外に埋められたものである。

家の外に埋められていたタイプの埋設土器には、埋設土器が単独である場合と、2基以上が集まっている場合がある。最も多くの埋設土器が集まっていたのは5-26埋設土器群である。ここは約4m四方の平坦地に8基の埋設土器があった。他には、3基の土器が一行に並んでいる例が2例ある。7-20埋設土器群と10-27埋設土器群である。2基が並ぶのは2例ある。7-25・26埋設土器と4-28埋設土器である。これらが集まっている場所は、当時の住居の外である。したがって、それらが埋められている間、そこは住居を建てない場所として認識されていたことになる。

#### 7. 縄文時代後期初頭～前葉

縄文時代後期初頭～前葉の土器も比較的多くある。ただし、遺構は少ない。住居はない。だが、土器が比較的多く出土していることから、近くに住居があることが想定できる。後期初頭～前葉の土器片が出土した遺構は、基ある。それらはすべて土坑である。また、大木10aや大木10b式の住居の埋土から、後期前葉の大土器片が出土する場合も多いので、後期前葉頃までは、中期末葉の住居がまだ、埋まりきっておらず、それらはくぼみとして認識でき、付近に居住していた人々は、土器破片や他のものをそのくぼみに廃棄していたのであろう。

ただし、注目しておく必要のある点が1点ある。大木8b式～大木10b式までの遺構埋土の色調などの性質は同じで、土だけではそれらの帰属時期の違いを把握することはできなかったが、後期初頭～前葉の時期の遺構埋土の色調は、それ以前のものに比べ、わずかに黒みが強く、色調の観察により、帰属時期の違いを把握することができる場合が多かった。このことは、大木10b式から後期前葉にかけての時期に、自然環境の変化があり、いくらか異なる性質の土が育まれた可能性が考えられるのではなかろうか。そして、その時期を最後に、人々は一旦この土地を去るのである。

#### 8. 平安時代 9～10世紀

縄文時代後期前葉を最後に、調査区は人々の生活から遠い場所となる。再び人々の生活が始まるのは9世紀である。そして、10世紀中頃にまた人々はこの地を去るのである。

その間100年ほどの間、人々が居住し、住居も、そのつど新たなものが建てられたりもしていたようである。住居が造られる空間は限られていたようである。例えば、7-21-SI1や8-21-SI1のように、ほぼ同じ場所に重なる住居が複数ある。これらの新旧の住居に住んだ人々が、連続する同じ家系の人々であったのか否かなどの考察はできなかったが、道や畑のような、住居を取り巻く空間利用がある程度長期に渡り、固定されていたことを想像することもできるのではなかろうか。家は東西南北に向いているものが多い。

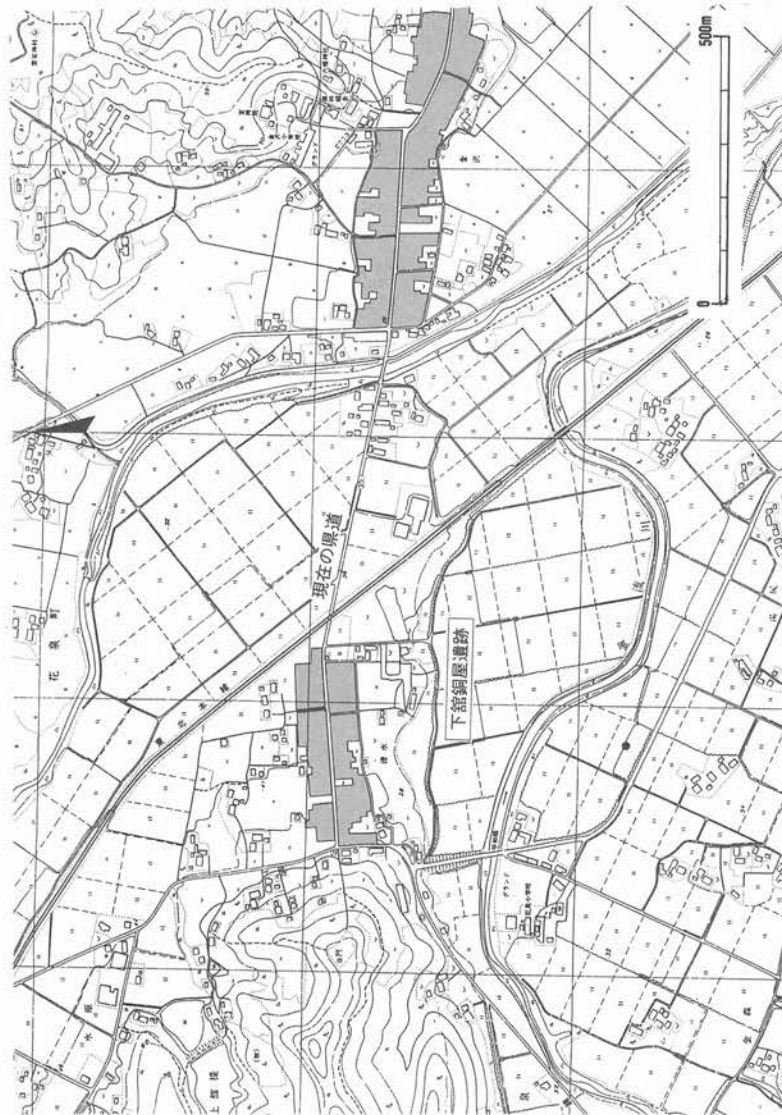
#### 9. 中世末 16世紀末～17世紀前半

16世紀末～17世紀前半頃と考えられる掘立柱建物跡や、鉄の鋳物をおこなった遺物を出土する土坑などがあった。東地区の北東部から、掘立柱建物跡が出土した。また、西地区からは掘立柱建物跡と鉄の鋳物をおこなった後の遺物を廃棄した土坑が出土した。

他に、その時期のものと思われる溝がある。平坦な場所を区画している可能性があるので、中世城館の一部である可能性もある。

#### 10. 近世以降

17世紀前半頃を最後に、遺跡調査区内には建物などが建てられなくなった。それは、近世に



※ 現在の住宅密集地

図2 現在の居住区域との比較

入り、この地を治める政治構造が変わるとともに、土地の所有形態に変化があったことを示唆する。現在の住宅密集地（図2ほぼ中央）の形態の基礎となった町がその頃形成されたことを示しているのではなかろうか。その場合、土地の割り方を決めた重要な要素となったのは道である可能性がある。現在の町の中心を、県道（今回の緊急調査の原因と関わる道）が走っているが、その道の前身となる道は、近世に作られた可能性があるのである。

近世に、伝清水城域に奉られた八幡神社と、金沢の町にある八幡神社とを結ぶ位置に道は作られたのではなかろうか。その道は近代以降も唯一の主要道として用いられていた。そして、明治に入ると、その道を横切り、鉄道が敷かれた。自動車利用の頻度が高くなったこととともに、この道が鉄道を横切るということが、今回の県道と鉄道の立体交差化と県道移設の原因になったのである。平安時代や中世に居住域として用いられていた台地縁辺に、20世紀末、多量の自動車交通量をみこして、主要道を移すのである。

このように、土地は、人間との関係において、利用形態が変化してゆく。下館銅屋遺跡は、



今回の調査区のみではなく、その近隣にまだまだ広く残っている。また、遺跡として認識されていないが、現在水田として利用されている低地は、平安時代にも水田として利用されていたであろう。そのことが、平安時代（9～10世紀）、あるいは中世にこの地に人々が居住した理由であろう。

#### 11. 遺跡の地表面の高さについての推測

最後に、余談ではあるが、縄文時代中期当時の地表面の高さについて少し述べておく。埋設土器には、土器の底に近い部分しか検出されなかった例が多い。そのような場所では、後の時代に埋設土器の上半部が、耕作などで切られてしまったと考えられる。したがって、土器の大きさを考えれば、ある程度、当時の地表面の高さを推定することができるようになる。5-26区からは埋設土器が複数出土した。それらの土器は、本来あったはずの器全体の半分以下しか残っていない。それぞれの器は大きさにはばらつきがあるが、埋められた時に、どの土器の上部の高さも地表面とほぼ同じ高さにあったとすれば、残っている土器が大きいほど土器本来の大きさが大きかったことになる。土器の大きさから考えて、当時の地表面は少なくとも30cmほどは削られていると推測できる。30cmとは、ちょうど現在の畑の耕作土の厚さに匹敵する。このことから、縄文時代中期当時の地表面の高さは、現在の地表面とそれほどかわらなないと、推測できる。

また、今回の調査区から検出された縄文時代の住居の多くは、竪穴とは認識できない状態で出土した。それは、平安時代の住居についても当てはまる。しかし、その事実は、検出された住居が竪穴式の住居ではなく、平地式の住居であったことを示すのではなく、竪穴の壁部分が削られた結果であると考えられることは、本文中で述べたとおりである。厚さ30cmほどの耕作土を剥ぐと床面の約10cmほど上の埋土であった5-32-SIなどの縄文時代住居や、耕作土を剥ぐとほぼ床面であった5-36-SI 1・2などの平安時代住居があったことから、下館銅屋遺跡における当時の住居の竪穴は、縄文時代にしても、平安時代にしても、30～50cmほどの深さだったのでないかと推測される。

#### 12. おわりに

今回の調査区を見ても明らかだが、遺跡とは、廃墟である。人々がそこに暮らす間は、遺跡は、常に壊され、新たな何ものかが付け足される。その行為が終わった時、つまり人々がそこを去った時、そこは廃墟となり、何かは流出、消滅し、何かは残り、土が覆い、遺跡となる。

今回、調査された場所は、間もなく新たな道となり、今後、ある一定期間多くの人々に利用されることとなろう。遺跡周辺に住む人々も、単に通過してゆくだけの人々もいる。その道は、様々な文化を運ぶ開かれた場所である。残された遺跡の上には、更に新たな歴史が築かれるのである。

11ヶ月の調査と引き替えに、数千年の歴史を刻んだ土地は剥がされた。だが、下館銅屋遺跡は、今回の調査ですべてが消えたわけではない。新たな道の周囲に、今も遺跡は残る。今回の調査で知ることのできなかった物、出来事が、そこには眠る。将来、今回の調査で読み落としたことも含め、この地に暮らした人々の無言の歴史を知ることのできる日もあるだろう。

参考文献

- 池谷信之 1988 「東北地方における縄文時代中期末葉土器の変遷と後期土器の成立」『沼津市博物館紀要』12  
pp.69～112
- 今村啓爾 1977 「称名寺式土器の研究（下）」『考古学雑誌』63-2 PP.22～60
- 熊谷常正 1986 「門前式土器の検討」『岩手県立博物館研究報告』4 PP.39～61
- 永井久美男編 1994 『中世の出土銭－出土銭の調査と分類－』兵庫埋蔵銭調査会
- 丹羽 茂 1981 「大木式土器」『縄文文化の研究』4 PP.6～60
- 東久留米市教育委員会 1994 『神明山南遺跡』
- 本間 宏 1990 「東北地方南部における縄文後期前葉土器群の変遷課程」『縄文後期の諸問題』pp.215～266  
縄文セミナーの会
- 本間 宏 1994 「大木10式土器の考え方」『しのぶ考古』10 pp.3～24
- 三上徹也 1990 「縄文石器における「完形品」の概念について」『縄文時代』1 pp.105～132 縄文時代文化  
研究会
- 四柳 隆 1997 「千葉県における石鏃の製作－縄文時代中期の石鏃製作跡から－」『人間・遺跡・遺物』3  
pp.312～334 麻生優先生退官記念論文集

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長 佐 藤 基  
副 所 長 伊 藤 直 司

[管理課]

管 理 課 長 澤 田 寛  
主 任 立 花 多加志  
主 事 千 葉 勝 彦

嘱 託 藤 島 恵 子  
〃 新 田 ト ヨ

[調査課]

調 査 課 長 小 田 野 哲 憲  
課 長 補 佐 高 橋 與 右 衛 門  
〃 中 川 重 紀  
主 任 文 化 財 佐 々 木 清 文  
專 門 調 査 員 〃 高 橋 義 介  
〃 酒 井 宗 孝  
文 化 財 古 館 貞 身  
專 門 調 査 員 〃 小 笠 原 健 一 郎  
〃 中 村 比 呂 志  
〃 工 藤 徹  
〃 小 山 内 透  
〃 金 子 佐 知 子  
〃 岩 淵 計  
〃 菊 地 榮 壽  
〃 宮 本 節 子  
〃 下 田 隆 衛  
〃 早 坂 悟  
〃 鳥 居 達 人  
〃 濱 田 宏  
〃 金 子 昭 彦  
〃 晴 山 雅 光  
〃 木 戸 口 俊 子  
〃 相 津 吉 彦  
〃 阿 部 勝 則  
〃 羽 柴 直 人

文 化 財 星 雅 之  
專 門 調 査 員 〃 高 木 晃  
〃 佐 々 木 琢  
〃 半 澤 武 彦  
〃 朝 倉 雄 大  
〃 杉 沢 昭 太 郎  
〃 溜 浩 二 郎  
〃 菊 池 貴 広  
〃 村 上 拓  
〃 中 村 直 美  
期 限 職 員 柴 田 慈 幸  
〃 鈴 木 浩 二  
〃 鈴 木 聡  
〃 平 澤 里 香  
〃 山 口 俊 規  
〃 熊 谷 佳 恵  
〃 佐 々 木 志 麻  
〃 佐 藤 綾 子  
〃 玉 山 健 一  
〃 中 野 敦 夫  
〃 布 谷 義 彦  
〃 松 川 由 次  
〃 七 田 芳 直  
〃 鈴 木 見 誌  
〃 平 めぐみ

[資料課]

資 料 課 長 佐 々 木 嘉 直

文 化 財 松 尾 芳 幸  
專 門 調 査 員

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第297集

下館銅屋遺跡発掘調査報告書

主要地方道弥栄金成線道路改築工事（金沢街道踏切）関連調査報告

《分冊1 本文編》

印刷 平成11年3月12日

発行 平成11年3月25日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

電話 (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

印刷 株式会社 吉田印刷

〒020-0016 盛岡市名須川町23-27

電話 (019) 625-2323

FAX (019) 622-1377